東京都埋蔵文化財センター調査報告　第 377 集

新宿区

市谷本村町遺跡

－市ヶ谷警察総合庁舎の整備に伴う埋蔵文化財の調査（A 区～ C 区）－

（第２分冊）

2023・11

東京都埋蔵文化財センター

東京都埋蔵文化財センター調査報告　第 377 集

新宿区

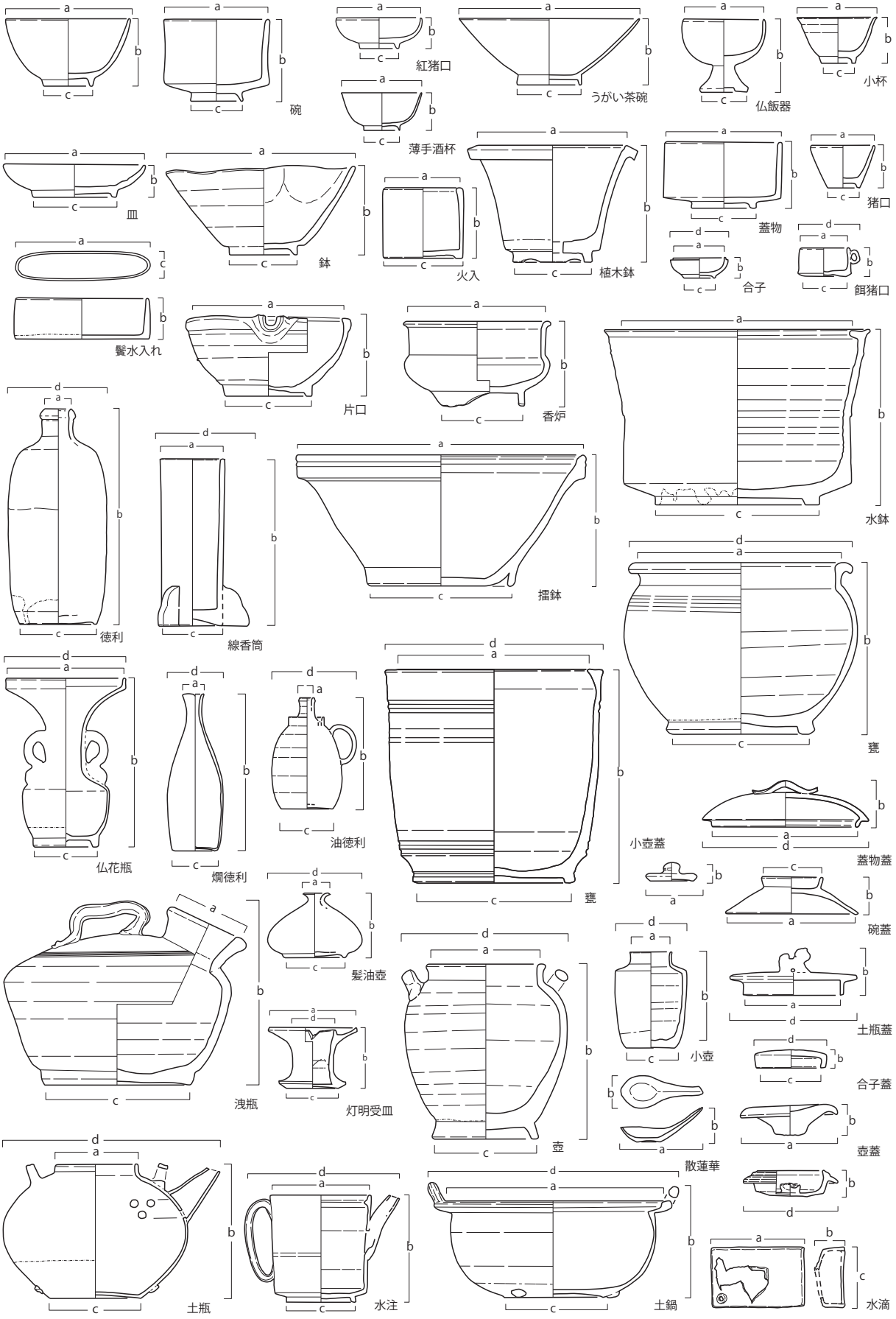
市谷本村町遺跡

－市ヶ谷警察総合庁舎の整備に伴う埋蔵文化財の調査（A 区～ C 区）－

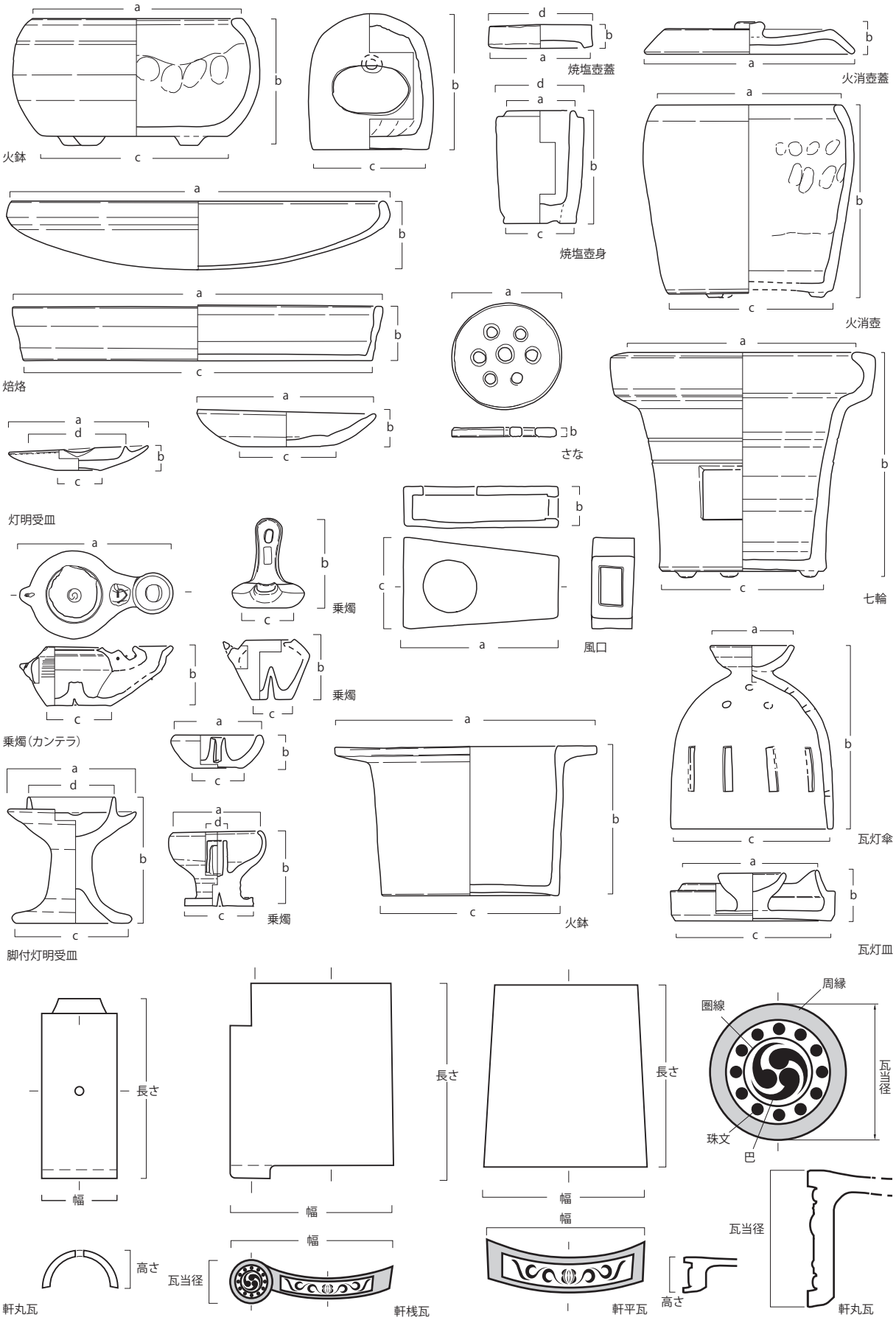
（第２分冊）

2023・11

東京都埋蔵文化財センター



陶磁器・土器・瓦計測部位凡例図①



陶磁器・土器・瓦計測部位凡例図②

目　次（第２分冊）

凡例
目次
Ⅴ　出土遺物
　1　中世以前の遺物 …… 1
　2　近世以降の遺物 …… 5
　（1）磁陶器・土器 …… 5
　　A　主要遺構の出土資料 …… 5
　　B　文字資料 …… 259
　（2）瓦 …… 288
　（3）陶磁器・土器・瓦転用品 …… 318
　（4）土製品・ミニチュア …… 319
　（5）木製品 …… 350
　（6）石製品 …… 383
　（7）金属製品 …… 411
　（8）銭貨 …… 435
　（9）骨角貝製品 …… 445
　（10）ガラス製品 …… 451
　（11）近代以降の陶磁器 …… 456
　（12）レンガ …… 463
　（13）近代以降の骨・樹脂製品 …… 465
　（14）近代以降のガラス製品 …… 467
Ⅵ　文献史料の調査 …… 473
Ⅶ　自然科学分析
　1　新宿区市谷本村町遺跡のローム層分析 …… 500
　2　Ｂ区 588 号遺構出土舶載陶磁器胎土の元素組成分析 …… 510
　3　硯石材の実体顕微鏡画像と元素組成分析 …… 515
　4　市谷本村町遺跡 C536 号遺構から出土した木製品の樹種 …… 520
Ⅷ　調査の成果と課題 …… 531
引用・参考文献 …… 538
報告書抄録

挿 図 目 次

第 1 図　中世以前の遺物（1）（1/3）……2
第 2 図　中世以前の遺物（2）（1/3）……3
第 3 図　近世の陶磁器・土器（1）（1/3）……8
第 4 図　近世の陶磁器・土器（2）（1/3）……9
第 5 図　近世の陶磁器・土器（3）（1/3）…… 10
第 6 図　近世の陶磁器・土器（4）（1/3）…… 11
第 7 図　近世の陶磁器・土器（5）（1/3・1/4）…… 12
第 8 図　近世の陶磁器・土器（6）（1/3）…… 13
第 9 図　近世の陶磁器・土器（7）（1/3）…… 14
第 10 図　近世の陶磁器・土器（8）（1/3）…… 15
第 11 図　近世の陶磁器・土器（9）（1/3）…… 16
第 12 図　近世の陶磁器・土器（10）（1/3）…… 17
第 13 図　近世の陶磁器・土器（11）（1/3・1/4）…… 18
第 14 図　近世の陶磁器・土器（12）（1/3・1/4）…… 19
第 15 図　近世の陶磁器・土器（13）（1/3・1/4）…… 20
第 16 図　近世の陶磁器・土器（14）（1/3）…… 21
第 17 図　近世の陶磁器・土器（15）（1/3）…… 22
第 18 図　近世の陶磁器・土器（16）（1/3）…… 23
第 19 図　近世の陶磁器・土器（17）（1/3）…… 24
第 20 図　近世の陶磁器・土器（18）（1/3・1/4）…… 25
第 21 図　近世の陶磁器・土器（19）（1/3・1/4・1/6）… 26
第 22 図　近世の陶磁器・土器（20）（1/3）…… 27
第 23 図　近世の陶磁器・土器（21）（1/3）…… 28
第 24 図　近世の陶磁器・土器（22）（1/3）…… 29
第 25 図　近世の陶磁器・土器（23）…… 30
第 26 図　近世の陶磁器・土器（24）（1/3）…… 31
第 27 図　近世の陶磁器・土器（25）（1/3・1/4）…… 32
第 28 図　近世の陶磁器・土器（26）（1/3）…… 33
第 29 図　近世の陶磁器・土器（27）（1/3）…… 34
第 30 図　近世の陶磁器・土器（28）（1/3）…… 35
第 31 図　近世の陶磁器・土器（29）（1/3）…… 36
第 32 図　近世の陶磁器・土器（30）（1/3）…… 37
第 33 図　近世の陶磁器・土器（31）（1/3）…… 38
第 34 図　近世の陶磁器・土器（32）（1/3）…… 39
第 35 図　近世の陶磁器・土器（33）（1/3）…… 40
第 36 図　近世の陶磁器・土器（34）（1/3）…… 41
第 37 図　近世の陶磁器・土器（35）（1/3）…… 42
第 38 図　近世の陶磁器・土器（36）（1/3）…… 43
第 39 図　近世の陶磁器・土器（37）（1/3・1/6）…… 44
第 40 図　近世の陶磁器・土器（38）（1/3）…… 45
第 41 図　近世の陶磁器・土器（39）（1/3）…… 46
第 42 図　近世の陶磁器・土器（40）（1/3）…… 47
第 43 図　近世の陶磁器・土器（41）（1/3）…… 48
第 44 図　近世の陶磁器・土器（42）（1/3）…… 49
第 45 図　近世の陶磁器・土器（43）（1/3）…… 50
第 46 図　近世の陶磁器・土器（44）（1/3・1/4）…… 51
第 47 図　近世の陶磁器・土器（45）（1/3）…… 52
第 48 図　近世の陶磁器・土器（46）（1/3）…… 53
第 49 図　近世の陶磁器・土器（47）（1/3）…… 54
第 50 図　近世の陶磁器・土器（48）（1/3）…… 55
第 51 図　近世の陶磁器・土器（49）（1/3）…… 56
第 52 図　近世の陶磁器・土器（50）（1/3）…… 57
第 53 図　近世の陶磁器・土器（51）（1/3）…… 58
第 54 図　近世の陶磁器・土器（52）（1/3）…… 59
第 55 図　近世の陶磁器・土器（53）（1/3）…… 60
第 56 図　近世の陶磁器・土器（54）（1/3）…… 61
第 57 図　近世の陶磁器・土器（55）（1/3）…… 62
第 58 図　近世の陶磁器・土器（56）（1/3）…… 63
第 59 図　近世の陶磁器・土器（57）（1/3）…… 64
第 60 図　近世の陶磁器・土器（58）（1/3・1/4）…… 65
第 61 図　近世の陶磁器・土器（59）（1/3・1/4）…… 66
第 62 図　近世の陶磁器・土器（60）（1/3・1/4）…… 67
第 63 図　近世の陶磁器・土器（61）（1/3）…… 68
第 64 図　近世の陶磁器・土器（62）（1/3）…… 69
第 65 図　近世の陶磁器・土器（63）（1/3）…… 70
第 66 図　近世の陶磁器・土器（64）（1/3）…… 71
第 67 図　近世の陶磁器・土器（65）（1/3）…… 72
第 68 図　近世の陶磁器・土器（66）（1/3）…… 73
第 69 図　近世の陶磁器・土器（67）（1/3）…… 74
第 70 図　近世の陶磁器・土器（68）（1/3）…… 75
第 71 図　近世の陶磁器・土器（69）（1/3）…… 76
第 72 図　近世の陶磁器・土器（70）（1/3）…… 77
第 73 図　近世の陶磁器・土器（71）（1/3）…… 78
第 74 図　近世の陶磁器・土器（72）（1/3）…… 79
第 75 図　近世の陶磁器・土器（73）（1/3）…… 80
第 76 図　近世の陶磁器・土器（74）（1/3・1/4）…… 81
第 77 図　近世の陶磁器・土器（75）（1/3）…… 82
第 78 図　近世の陶磁器・土器（76）（1/3）…… 83
第 79 図　近世の陶磁器・土器（77）（1/3）…… 84
第 80 図　近世の陶磁器・土器（78）（1/3・1/4・1/6）… 85
第 81 図　近世の陶磁器・土器（79）（1/3）…… 86
第 82 図　近世の陶磁器・土器（80）（1/3・1/4）…… 87
第 83 図　近世の陶磁器・土器（81）（1/3）…… 88
第 84 図　近世の陶磁器・土器（82）（1/3）…… 89
第 85 図　近世の陶磁器・土器（83）（1/3）…… 90
第 86 図　近世の陶磁器・土器（84）（1/3）…… 91
第 87 図　近世の陶磁器・土器（85）（1/3）…… 92
第 88 図　近世の陶磁器・土器（86）（1/3）…… 93
第 89 図　近世の陶磁器・土器（87）（1/3）…… 94
第 90 図　近世の陶磁器・土器（88）（1/3）…… 95
第 91 図　近世の陶磁器・土器（89）（1/3・1/4）…… 96
第 92 図　近世の陶磁器・土器（90）（1/3）…… 97
第 93 図　近世の陶磁器・土器（91）（1/3）…… 98
第 94 図　近世の陶磁器・土器（92）（1/3）…… 99
第 95 図　近世の陶磁器・土器（93）（1/3・1/6）… 100
第 96 図　近世の陶磁器・土器（94）（1/3）…… 101
第 97 図　近世の陶磁器・土器（95）（1/3）…… 102
第 98 図　近世の陶磁器・土器（96）（1/3）…… 103
第 99 図　近世の陶磁器・土器（97）（1/3）…… 104
第 100 図　近世の陶磁器・土器（98）（1/3）…… 105
第 101 図　近世の陶磁器・土器（99）（1/3）…… 106
第 102 図　近世の陶磁器・土器（100）（1/3）…… 107
第 103 図　近世の陶磁器・土器（101）（1/3）…… 111
第 104 図　近世の陶磁器・土器（102）（1/3）…… 112

第 105 図　近世の陶磁器・土器（103）（1/3）…… 113
第 106 図　近世の陶磁器・土器（104）（1/3）…… 114
第 107 図　近世の陶磁器・土器（105）（1/3）…… 115
第 108 図　近世の陶磁器・土器（106）（1/3・1/6）… 116
第 109 図　近世の陶磁器・土器（107）（1/3）…… 117
第 110 図　近世の陶磁器・土器（108）（1/3）…… 118
第 111 図　近世の陶磁器・土器（109）（1/3）…… 119
第 112 図　近世の陶磁器・土器（110）（1/3）…… 120
第 113 図　近世の陶磁器・土器（111）（1/3）…… 121
第 114 図　近世の陶磁器・土器（112）（1/3）…… 122
第 115 図　近世の陶磁器・土器（113）（1/3・1/6）… 123
第 116 図　近世の陶磁器・土器（114）（1/3・1/6）… 124
第 117 図　近世の陶磁器・土器（115）（1/3）…… 125
第 118 図　近世の陶磁器・土器（116）（1/3）…… 128
第 119 図　近世の陶磁器・土器（117）（1/3）…… 126
第 120 図　近世の陶磁器・土器（118）（1/3）…… 130
第 121 図　近世の陶磁器・土器（119）（1/3）…… 131
第 122 図　近世の陶磁器・土器（120）（1/3）…… 132
第 123 図　近世の陶磁器・土器（121）（1/3）…… 133
第 124 図　近世の陶磁器・土器（122）（1/3）…… 134
第 125 図　近世の陶磁器・土器（123）（1/3）…… 135
第 126 図　近世の陶磁器・土器（124）（1/3）…… 136
第 127 図　近世の陶磁器・土器（125）（1/3）…… 137
第 128 図　近世の陶磁器・土器（126）（1/3）…… 138
第 129 図　近世の陶磁器・土器（127）（1/3）…… 139
第 130 図　近世の陶磁器・土器（128）（1/3・1/6）… 140
第 131 図　近世の陶磁器・土器（129）（1/3・1/6）… 141
第 132 図　近世の陶磁器・土器（130）（1/3・1/6）… 142
第 133 図　近世の陶磁器・土器（131）（1/3）…… 143
第 134 図　近世の陶磁器・土器（132）（1/3）…… 144
第 135 図　近世の陶磁器・土器（133）（1/3・1/4・1/6）… 145
第 136 図　近世の陶磁器・土器（134）（1/3・1/6）… 146
第 137 図　近世の陶磁器・土器（135）（1/3・1/4）… 147
第 138 図　近世の陶磁器・土器（136）（1/3）…… 148
第 139 図　近世の陶磁器・土器（137）（1/3）…… 149
第 140 図　近世の陶磁器・土器（138）（1/3）…… 150
第 141 図　近世の陶磁器・土器（139）（1/3）…… 151
第 142 図　近世の陶磁器・土器（140）（1/3）…… 152
第 143 図　近世の陶磁器・土器（141）（1/3）…… 153
第 144 図　近世の陶磁器・土器（142）（1/3）…… 154
第 145 図　近世の陶磁器・土器（143）（1/3）…… 155
第 146 図　近世の陶磁器・土器（144）（1/3）…… 156
第 147 図　近世の陶磁器・土器（145）（1/3・1/4）… 157
第 148 図　近世の陶磁器・土器（146）（1/3）…… 158
第 149 図　近世の陶磁器・土器（147）（1/3・1/4）… 159
第 150 図　近世の陶磁器・土器（148）（1/3）…… 160
第 151 図　近世の陶磁器・土器（149）（1/3）…… 161
第 152 図　近世の陶磁器・土器（150）（1/3）…… 162
第 153 図　近世の陶磁器・土器（151）（1/3）…… 163
第 154 図　近世の陶磁器・土器（152）（1/3）…… 164
第 155 図　近世の陶磁器・土器（153）（1/3）…… 165
第 156 図　近世の陶磁器・土器（154）（1/3）…… 168
第 157 図　近世の陶磁器・土器（155）（1/3）…… 169
第 158 図　近世の陶磁器・土器（156）（1/3・1/4）… 170
第 159 図　近世の陶磁器・土器（157）（1/3・1/4）… 171
第 160 図　近世の陶磁器・土器（158）（1/3）…… 172
第 161 図　近世の陶磁器・土器（159）（1/3）…… 173
第 162 図　近世の陶磁器・土器（160）（1/3・1/4）… 174
第 163 図　近世の陶磁器・土器（161）（1/3）…… 175
第 164 図　近世の陶磁器・土器（162）（1/3）…… 176
第 165 図　近世の陶磁器・土器（163）（1/3）…… 177
第 166 図　近世の陶磁器・土器（164）（1/3）…… 178
第 167 図　近世の陶磁器・土器（165）（1/3）…… 179
第 168 図　近世の陶磁器・土器（166）（1/3）…… 180
第 169 図　近世の陶磁器・土器（167）（1/3・1/6）… 181
第 170 図　近世の陶磁器・土器（168）（1/3・1/4）… 182
第 171 図　近世の陶磁器・土器（169）（1/3・1/6）… 183
第 172 図　近世の陶磁器・土器（170）（1/3）…… 184
第 173 図　近世の陶磁器・土器（171）（1/3）…… 185
第 174 図　近世の陶磁器・土器（172）（1/3・1/4）… 186
第 175 図　近世の陶磁器・土器（173）（1/3）…… 188
第 176 図　近世の陶磁器・土器（174）（1/3）…… 189
第 177 図　近世の陶磁器・土器（175）（1/3）…… 190
第 178 図　近世の陶磁器・土器（176）（1/3・1/4・1/6）191
第 179 図　近世の陶磁器・土器（177）（1/3）…… 192
第 180 図　近世の陶磁器・土器（178）（1/3）…… 193
第 181 図　近世の陶磁器・土器（179）（1/3）…… 194
第 182 図　近世の陶磁器・土器（180）（1/3）…… 195
第 183 図　近世の陶磁器・土器（181）（1/3）…… 196
第 184 図　近世の陶磁器・土器（182）（1/3）…… 197
第 185 図　近世の陶磁器・土器（183）（1/3）…… 198
第 186 図　近世の陶磁器・土器（184）（1/3・1/6）199
第 187 図　近世の陶磁器・土器（185）（1/3）…… 200
第 188 図　近世の陶磁器・土器（186）（1/3）…… 201
第 189 図　近世の陶磁器・土器（187）（1/3）…… 202
第 190 図　近世の陶磁器・土器（188）（1/3）…… 203
第 191 図　近世の陶磁器・土器（189）（1/3）…… 204
第 192 図　近世の陶磁器・土器（190）（1/3）…… 205
第 193 図　近世の陶磁器・土器（191）（1/3）…… 206
第 194 図　近世の陶磁器・土器（192）（1/3）…… 207
第 195 図　近世の陶磁器・土器 文字資料（1）…… 263
第 196 図　近世の陶磁器・土器 文字資料（2）…… 264
第 197 図　近世の陶磁器・土器 文字資料（3）…… 265
第 198 図　近世の陶磁器・土器 文字資料（4）…… 266
第 199 図　近世の陶磁器・土器 文字資料（5）…… 267
第 200 図　近世の陶磁器・土器 文字資料（6）…… 268
第 201 図　近世の陶磁器・土器 文字資料（7）…… 269
第 202 図　近世の陶磁器・土器 文字資料（8）…… 270
第 203 図　近世の陶磁器・土器 文字資料（9）…… 271
第 204 図　近世の陶磁器・土器 文字資料（10）…… 272
第 205 図　瓦（1）（1/4）…… 292
第 206 図　瓦（2）（1/4）…… 293
第 207 図　瓦（3）（1/4）…… 294
第 208 図　瓦（4）（1/4）…… 295
第 209 図　瓦（5）（1/4）…… 296
第 210 図　瓦（6）（1/4）…… 297
第 211 図　瓦（7）（1/4）…… 298
第 212 図　瓦（8）（1/4）…… 299
第 213 図　瓦（9）（1/4）…… 300
第 214 図　瓦（10）（1/4）…… 301
第 215 図　瓦（11）（1/4）…… 302
第 216 図　瓦（12）（1/4）…… 303

第 217 図　瓦（13）（1/4）…… 304
第 218 図　瓦（14）（1/4）…… 305
第 219 図　瓦（15）（1/4）…… 306
第 220 図　瓦（16）（1/4）…… 307
第 221 図　瓦（17）（1/4）…… 308
第 222 図　瓦（18）（1/4）…… 309
第 223 図　瓦（19）（1/4）…… 310
第 224 図　B・C 区出土瓦刻印（1）（1/1）…… 311
第 225 図　B・C 区出土瓦刻印（2）（1/1）…… 312
第 226 図　陶磁器・土器転用品（1/2・1/3）…… 317
第 227 図　土製品・ミニチュア（1）（1/2）…… 320
第 228 図　土製品・ミニチュア（2）（1/2）…… 321
第 229 図　土製品・ミニチュア（3）（1/2）…… 322
第 230 図　土製品・ミニチュア（4）（1/2）…… 323
第 231 図　土製品・ミニチュア（5）（1/2）…… 324
第 232 図　土製品・ミニチュア（6）（1/2）…… 325
第 233 図　土製品・ミニチュア（7）（1/2・1/3）… 326
第 234 図　土製品・ミニチュア（8）（1/2）…… 327
第 235 図　土製品・ミニチュア（9）（1/2）…… 328
第 236 図　土製品・ミニチュア（10）（1/2）…… 329
第 237 図　土製品・ミニチュア（11）（1/2）…… 330
第 238 図　土製品・ミニチュア（12）（1/2）…… 331
第 239 図　土製品・ミニチュア（13）（1/2）…… 332
第 240 図　土製品・ミニチュア（14）（1/2）…… 333
第 241 図　土製品・ミニチュア（15）（1/2・1/4）…… 334
第 242 図　土製品・ミニチュア（16）（1/2）…… 335
第 243 図　土製品・ミニチュア（17）（1/2）…… 336
第 244 図　土製品・ミニチュア（18）（1/2）…… 337
第 245 図　土製品・ミニチュア（19）（1/2）…… 338
第 246 図　土製品・ミニチュア（20）（1/2）…… 339
第 247 図　土製品・ミニチュア（21）（1/2）…… 340
第 248 図　土製品・ミニチュア（22）（1/2）…… 341
第 249 図　土製品・ミニチュア（23）（1/2）…… 342
第 250 図　土製品・ミニチュア（24）（1/2・1/4）…… 343
第 251 図　木製品（1）（1/3・1/4・1/5）…… 351
第 252 図　木製品（2）（1/3）…… 352
第 253 図　木製品（3）（1/3・1/4・1/5）…… 353
第 254 図　木製品（4）（1/5）…… 354
第 255 図　木製品（5）（1/5）…… 355
第 256 図　木製品（6）（1/5）…… 356
第 257 図　木製品（7）（1/5）…… 357
第 258 図　木製品（8）（1/4・1/5・1/6）…… 358
第 259 図　木製品（9）（1/3・1/4・1/6）…… 359
第 260 図　木製品（10）（1/3）…… 360
第 261 図　木製品（11）（1/3）…… 361
第 262 図　木製品（12）（1/3・1/4・1/6）…… 362
第 263 図　木製品（13）（1/3・1/4）…… 363
第 264 図　木製品（14）（1/3・1/4・1/6）…… 364
第 265 図　木製品（15）（1/3・1/4・1/6）…… 365
第 266 図　木製品（16）（1/6）…… 366
第 267 図　木製品（17）（1/6）…… 367
第 268 図　木製品（18）（1/4）…… 368
第 269 図　木製品（19）（1/4）…… 369
第 270 図　木製品（20）（1/4）…… 370
第 271 図　木製品（21）（1/4）…… 371
第 272 図　木製品（22）（1/4・1/6）…… 372
第 273 図　木製品（23）（1/3・1/4・1/8）…… 373
第 274 図　木製品（24）（1/3・1/4・1/6）…… 374
第 275 図　木製品（25）（1/3・1/4）…… 375
第 276 図　石製品（1）（1/3）…… 384
第 277 図　石製品（2）（1/2・1/3・1/8）…… 385
第 278 図　石製品（3）（1/3）…… 386
第 279 図　石製品（4）（1/2・1/3）…… 387
第 280 図　石製品（5）（1/2・1/3）…… 388
第 281 図　石製品（6）（1/2・1/3・1/8）…… 389
第 282 図　石製品（7）（1/3）…… 390
第 283 図　石製品（8）（1/2・1/3）…… 391
第 284 図　石製品（9）（1/2・1/3）…… 392
第 285 図　石製品（10）（1/2・1/3）…… 393
第 286 図　石製品（11）（1/2・1/3）…… 394
第 287 図　石製品（12）（1/2・1/3）…… 395
第 288 図　石製品（13）（1/2・1/3・1/8）…… 396
第 289 図　石製品（14）（1/3・1/3・1/8）…… 397
第 290 図　石製品（15）（1/2・1/3・1/8）…… 398
第 291 図　石製品（16）（1/3）…… 399
第 292 図　石製品（17）（1/2・1/3・1/8）…… 400
第 293 図　石製品（18）（1/3）…… 401
第 294 図　石製品（19）（1/3）…… 402
第 295 図　石製品（20）（1/2・1/3・1/8）…… 403
第 296 図　金属製品（煙管）（1）（1/2）…… 412
第 297 図　金属製品（煙管）（2）（1/2）…… 413
第 298 図　金属製品（煙管）（3）（1/2）…… 414
第 299 図　金属製品（煙管）（4）（1/2）…… 415
第 300 図　金属製品（その他）（1）（2/3・1/2）…… 419
第 301 図　金属製品（その他）（2）（1/2）…… 420
第 302 図　金属製品（その他）（3）（2/3・1/2・1/3）… 421
第 303 図　金属製品（その他）（4）（1/2）…… 422
第 304 図　金属製品（その他）（5）（2/3・1/2）…… 423
第 305 図　金属製品（その他）（6）（2/3・1/2・1/3）… 424
第 306 図　金属製品（その他）（7）（1/2・1/3）…… 425
第 307 図　金属製品（その他）（8）（1/2・1/3）…… 426
第 308 図　金属製品（その他）（9）（1/2・1/3）…… 427
第 309 図　金属製品（その他）（10）（2/3・1/2）… 428
第 310 図　金属製品（その他）（11）（1/2）…… 429
第 311 図　銭貨（1）（2/3）…… 436
第 312 図　銭貨（2）（2/3）…… 437
第 313 図　銭貨（3）（2/3）…… 438
第 314 図　銭貨（4）（2/3）…… 439
第 315 図　銭貨（5）（2/3）…… 440
第 316 図　骨角貝製品（1）（1/2）…… 446
第 317 図　骨角貝製品（2）（1/2）…… 447
第 318 図　骨角貝製品（3）（1/2）…… 448
第 319 図　骨角貝製品（4）（1/2）…… 449
第 320 図　ガラス製品（1）（1/2）…… 452
第 321 図　ガラス製品（2）（1/2）…… 453
第 322 図　ガラス製品（3）（1/2）…… 454
第 323 図　近代以降の陶磁器（1）（1/2・1/3）…… 457
第 324 図　近代以降の陶磁器（2）（1/3）…… 458
第 325 図　近代以降の陶磁器（3）（1/2・1/3）…… 459
第 326 図　近代以降の陶磁器（4）（1/2・1/3）…… 460
第 327 図　近代以降の陶磁器 文字資料（縮尺任意）　461
第 328 図　レンガ（1/2・1/3・1/6）…… 464

第 329 図　近代以降の骨・樹脂製品（1/3）…… 466
第 330 図　近代以降のガラス製品（1）（1/3）…… 469
第 331 図　近代以降のガラス製品（2）（1/3・1/4）… 470
第 332 図　近代以降のガラス製品（3）（1/3・1/4）… 471
第 333 図　「江戸全図」（部分）…… 478
第 334 図　「江戸大絵図」（部分）…… 478
第 335 図　「新板江戸外絵図』（部分）…… 478
第 336 図　「御府内往還其外沿革図書」（1）…… 479
第 337 図　「御府内往還其外沿革図書」（2）…… 480
第 338 図　「御府内往還其外沿革図書」（3）…… 481
第 339 図　「屋敷渡預絵図証文」トレース図（1）… 482
第 340 図　「屋敷渡預絵図証文」トレース図（2）… 483
第 341 図　「屋敷渡預絵図証文」トレース図（3）… 484
第 342 図　「屋敷渡預絵図証文」トレース図（4）… 485
第 343 図　土地範囲区分（御府内往還其外沿革図書・延宝年中之形）…… 486
第 344 図　C1 区南西側基本層序トレンチの重鉱物組成および軽鉱物組成 …… 504
第 345 図　C2-3 区 3001 号西壁の重鉱物組成および軽鉱物組成 …… 505
第 346 図　C4 区調査区北壁の重鉱物組成および軽鉱物組成 …… 505
第 347 図　重鉱物・軽鉱物 …… 509
第 348 図　市谷本村町遺跡陶磁器分析個体 …… 511
第 349 図　陶磁器二元分布図集成統合 …… 514
第 350 図　硯表面の実体顕微鏡画像集成（1）…… 516
第 351 図　硯表面の実体顕微鏡画像集成（2）…… 517
第 352 図　市谷本村町遺跡市ヶ谷警察総合庁舎地点から出土した木製品の顕微鏡写真（1）…… 527
第 353 図　市谷本村町遺跡市ヶ谷警察総合庁舎地点から出土した木製品の顕微鏡写真（2）…… 528
第 354 図　市谷本村町遺跡市ヶ谷警察総合庁舎地点から出土した木製品の顕微鏡写真（3）…… 529
第 355 図　市谷本村町遺跡市ヶ谷警察総合庁舎地点から出土した木製品の顕微鏡写真（4）…… 530
第 356 図　尾張藩拝領以前の土地利用 …… 532
第 357 図　市谷邸西御殿期の土地利用 …… 533
第 358 図　紀年銘を有する墓石の年代別数量 …… 536

表　目　次

第 1 表　中世以前の遺物観察表 ……4
第 2 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（1）…… 208
第 3 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（2）…… 209
第 4 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（3）…… 210
第 5 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（4）…… 211
第 6 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（5）…… 212
第 7 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（6）…… 213
第 8 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（7）…… 214
第 9 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（8）…… 215
第 10 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（9）… 216
第 11 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（10）… 217
第 12 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（11）… 218
第 13 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（12）… 219
第 14 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（13）… 220
第 15 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（14）… 221
第 16 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（15）… 222
第 17 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（16）… 223
第 18 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（17）… 224
第 19 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（18）… 225
第 20 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（19）… 226
第 21 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（20）… 227
第 22 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（21）… 228
第 23 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（22）… 229
第 24 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（23）… 230
第 25 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（24）… 231
第 26 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（25）… 232
第 27 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（26）… 233
第 28 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（27）… 234
第 29 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｂ区）（28）… 235
第 30 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｃ区）（1）… 236
第 31 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｃ区）（2）… 237
第 32 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｃ区）（3）… 238
第 33 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｃ区）（4）… 239
第 34 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｃ区）（5）… 240
第 35 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｃ区）（6）… 241
第 36 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｃ区）（7）… 242
第 37 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｃ区）（8）… 243
第 38 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｃ区）（9）… 244
第 39 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｃ区）（10）… 245
第 40 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｃ区）（11）… 246
第 41 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｃ区）（12）… 247
第 42 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｃ区）（13）… 248
第 43 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｃ区）（14）… 249
第 44 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｃ区）（15）… 250
第 45 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｃ区）（16）… 251
第 46 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｃ区）（17）… 252
第 47 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｃ区）（18）… 253
第 48 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｃ区）（19）… 254
第 49 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｃ区）（20）… 255
第 50 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｃ区）（21）… 256
第 51 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｃ区）（22）… 257
第 52 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｃ区）（23）… 258
第 53 表　近世の陶磁器・土器観察表（Ｃ区）（24）… 259
第 54 表　焼塩壺観察表（1）…… 260
第 55 表　焼塩壺観察表（2）…… 261
第 56 表　近世の陶磁器・土器 文字資料一覧表（1）　273
第 57 表　近世の陶磁器・土器 文字資料一覧表（2）　274
第 58 表　近世の陶磁器・土器 文字資料一覧表（3）　275
第 59 表　近世の陶磁器・土器 文字資料一覧表（4）　276
第 60 表　主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（1）… 277
第 61 表　主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（2）… 278
第 62 表　主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（3）… 279
第 63 表　主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（4）… 280
第 64 表　主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（5）… 281

第 65 表　主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（6）… 282
第 66 表　主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（7）… 283
第 67 表　主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（8）… 284
第 68 表　主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（9）… 285
第 69 表　主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（10） 286
第 70 表　主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（11） 287
第 71 表　瓦観察表（1）…… 313
第 72 表　瓦観察表（2）…… 314
第 73 表　瓦観察表（3）…… 315
第 74 表　瓦刻印一覧表 …… 316
第 75 表　陶磁器・瓦転用品観察表 …… 318
第 76 表　土製品・ミニチュア観察表（1）…… 344
第 77 表　土製品・ミニチュア観察表（2）…… 345
第 78 表　土製品・ミニチュア観察表（3）…… 346
第 79 表　土製品・ミニチュア観察表（4）…… 347
第 80 表　土製品・ミニチュア観察表（5）…… 348
第 81 表　土製品・ミニチュア観察表（6）…… 349
第 82 表　木製品観察表（1）…… 376
第 83 表　木製品観察表（2）…… 377
第 84 表　木製品観察表（3）…… 378
第 85 表　木製品観察表（4）…… 379
第 86 表　木製品観察表（5）…… 380
第 87 表　木製品観察表（6）…… 381
第 88 表　木製品観察表（7）…… 382
第 89 表　石製品観察表（1）…… 404
第 90 表　石製品観察表（2）…… 405
第 91 表　石製品観察表（3）…… 406
第 92 表　石製品観察表（4）…… 407
第 93 表　石製品観察表（5）…… 408
第 94 表　石製品観察表（6）…… 409
第 95 表　石製品観察表（7）…… 410
第 96 表　金属製品（煙管）観察表（1）…… 416
第 97 表　金属製品（煙管）観察表（2）…… 417
第 98 表　金属製品（その他）観察表（1）…… 430
第 99 表　金属製品（その他）観察表（2）…… 431
第 100 表　金属製品（その他）観察表（3）…… 432
第 101 表　金属製品（その他）観察表（4）…… 433
第 102 表　金属製品（その他）合金成分表（1）…… 433
第 103 表　金属製品（その他）合金成分表（2）…… 434
第 104 表　銭貨観察表（1）…… 441
第 105 表　銭貨観察表（2）…… 442
第 106 表　銭貨観察表（3）…… 443
第 107 表　銭貨観察表（4）…… 444
第 108 表　骨角貝製品観察表 …… 450
第 109 表　ガラス製品観察表 …… 455
第 110 表　近代以降の陶磁器観察表（1）…… 462
第 111 表　近代以降の陶磁器観察表（2）…… 463
第 112 表　レンガ観察表 …… 465
第 113 表　近代以降の骨・樹脂製品観察表 …… 467
第 114 表　近代以降のガラス製品観察表 …… 472
第 115 表　尾張家添地以前 屋敷地所持者変遷（1）… 487
第 116 表　尾張家添地以前 屋敷地所持者変遷（2）… 489
第 117 表　尾張家添地以前 屋敷地所持者変遷（3）… 491
第 118 表　尾張家添地以前 屋敷地所持者履歴（1）… 493
第 119 表　尾張家添地以前 屋敷地所持者履歴（2）… 494
第 120 表　尾張家添地以前 屋敷地所持者履歴（3）… 495
第 121 表　尾張家添地以前 屋敷地所持者履歴（4）… 496
第 122 表　延宝年中以前の土地利用 …… 497
第 123 表　宝暦～明和期 屋敷地所持者 …… 498
第 124 表　上地に伴う手当金受給者 …… 499
第 125 表　重軽鉱物分析結果 …… 503
第 126 表　陶磁器分析結果表 …… 513
第 127 表　硯分析値表（1）…… 518
第 128 表　硯分析値表（2）…… 519
第 129 表　市谷本村町遺跡市ヶ谷警察総合庁舎地点から
　出土した木製品の樹種組成…… 526
第 130 表　（2）…… ＋＋＋
第 131 表　（2）…… ＋＋＋

Ⅴ　出土遺物

1　中世以前の遺物

中世以前の出土遺物はきわめて少量で、遺存状況も小片にとどまる。遺構出土のものがあるが、いずれも近世の遺構に混入する形での出土である。内容としては縄文土器がほぼ大半を占め、わずかに古墳時代と考えられる土器・土製品も出土している。

B47 号（第 1 図 1）　深鉢の胴部破片で、蕨手状の沈線区画内に列点が施される。縄文後期前葉・堀之内 1 式の所産である。

B337 号（第 1 図 2 ～ 5）　2 は単節縄文が施される堀之内 1 式の深鉢口縁部、3 は単節縄文施文の胴部破片で前期後葉・諸磯式と考えられる。4 は胴部破片、5 は胴部下位～底部の無文の破片であるが、前者は堀之内 1 式、後者は中期後葉・加曽利 E2 式であろう。

B448 号（第 1 図 6）　隆帯による三角形区画に 2 条の三角形刺突文が沿う中期中葉・勝坂 1 式である。

B808 号（第 1 図 7）　土錘で、長軸中央に径 1mm の孔が穿たれる。古墳時代の所産であろうか。

B868 号（第 1 図 8 ～ 10）　8 ～ 10 はいずれも短頸壺の破片と考えられ、被熱により表面が剥落する。古墳時代の所産としておきたい。

B589・2843・5086 号（第 1 図 11 ～ 14）　11・12 は深鉢の口縁部破片で、撚糸文が施される。早期前葉・撚糸文系土器の一群である。13 は胎土に繊維を含み、単節縄文が施される深鉢胴部で、前期中葉･黒浜式であろう。14 は深鉢の口縁部破片で、表面は単節縄文施文、口唇内面に 1 条の沈線が巡る堀之内 2 式である。

B920 号（第 2 図 1）　加曽利 E2 式の口縁部破片で、隆帯による渦巻文と長方形区画がみられる。

B1445 号（第 2 図 2）　深鉢胴部で、断面三角形の隆帯に 2 条の角押文が沿う勝坂 1 式である。

B1804 号（第 2 図 3）　深鉢胴部で、地文を条線文とする加曽利 E2 式である。

B1902 号（第 2 図 4）　深鉢の口縁部破片と考えられ、隆帯による立体的な渦巻文が施される。

B2322 号（第 2 図 5）　無文の深鉢胴部で、胎土の特徴から中期初頭・五領ヶ台式と考えられる。

B2779 号（第 2 図 6）　深鉢の口縁部破片で、横位の沈線下に単節縄文が充填される後期初頭・称名寺式である。

B2807 号（第 2 図 7）　文を単節縄文とし、縦位の沈線が垂下する加曽利 E3 式である。

B3083 号（第 2 図 8）　深鉢胴部で、2 本一単位の沈線による弧状の文様が施される。詳細は不明ながら堀之内式に比定される。

B5084 号（第 2 図 9）　文を条線文とする加曽利 E2 式である。

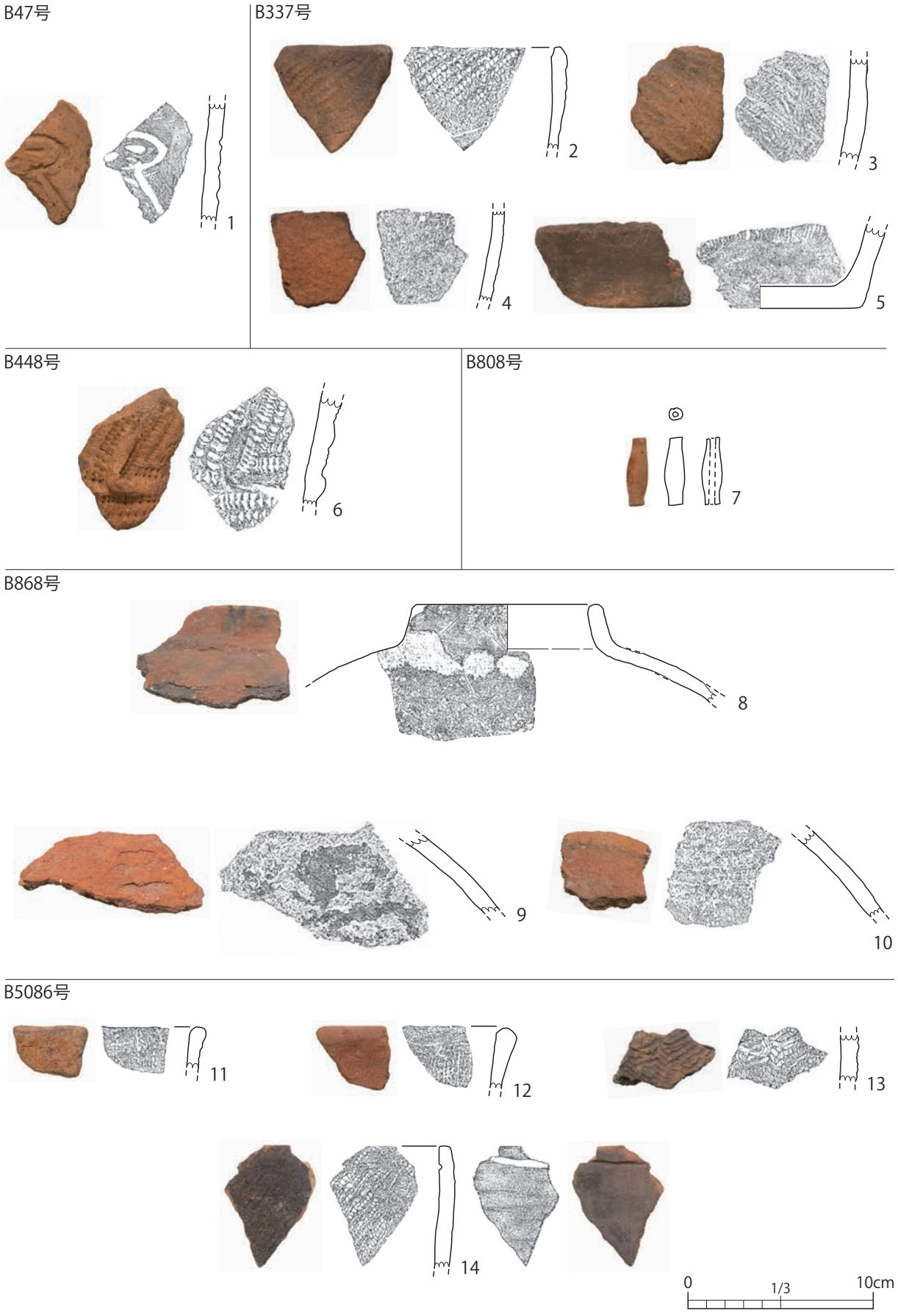
B5124 号（第 2 図 10）　位に節が並ぶ単節縄文が施される。勝坂 3 式と考えられる。

C305 号（第 2 図 11）　単節縄文を地文とし、横位の沈線文が施される諸磯 a 式である。

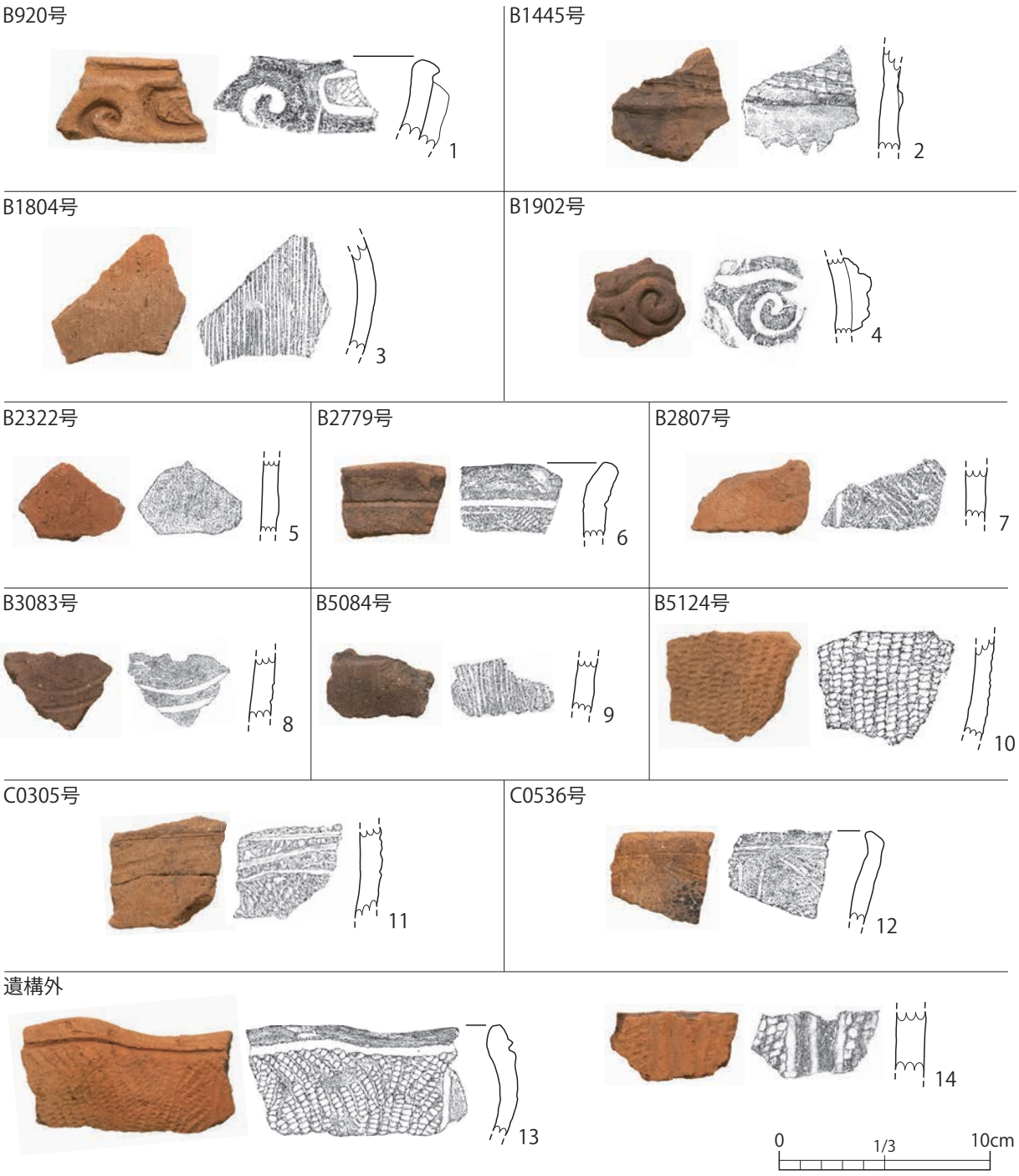
C536 号（第 2 図 12）　深鉢の口縁部で、口唇が屈曲し、2 本一単位の沈線による区画文が施される。堀之内 2 式に比定される。

遺構外（第 2 図 13・14）　13 は深鉢の口縁部破片で、口唇に単沈線が巡り、体部は多方向からの単節縄文施文と沈線区画がみられる。加曽利 E4 式であろう。14 は地文を単節縄文とし、3 本一単位の沈線が垂下させ、沈線間の地文を磨消する加曽利 E3 式である。

（大綱信良）



第 1 図　中世以前の遺物（1）（1/3）



第 2 図　中世以前の遺物（2）（1/3）

第 1 表　中世以前の遺物観察表

掲載番号		出土地点	時期	型式	器種	部位	重量 (g)	胎土	焼成	文様要素
挿図	番号									
1	1	B47 号	縄文時代後期前葉	堀之内式	深鉢	胴部	24.9	黒色粒子 / 石英 / 長石	良好	沈線区画文 / 列点文
1	2	B337 号	縄文時代後期前葉	堀之内式	深鉢	口縁部	34.7	長石 / 石英	良好	単節縄文 RL/ 口唇内面に横走沈線
1	3	B337 号	縄文時代中期後葉	諸磯式	深鉢	胴部	39.8	黒色粒子 / 石英 / 長石	良好	単節縄文 RL
1	4	B337 号	縄文時代後期前葉	堀之内式か	深鉢	胴部	23.7	長石 / 石英 / 黒色粒子	良好	単節縄文 RL か
1	5	B337 号	縄文時代中期後葉	加曽利 E2 式	深鉢	底部	75	石英	普通	撚糸文 R
1	6	B448 号	縄文時代中期中葉	勝坂 1 式	深鉢	胴部	50.7	長石 / 石英 / 黒色粒子	良好	隆帯による三角形区画文 / 隆帯脇に 2 条の三角形刺突文
1	7	B808 号新段階	古墳時代～古代		土錘		3.9	長石 / 石英	良好	完形 / 長軸中央に径 1 mm 穿孔
1	8	B868 号	古墳時代		短頸壺	口縁部	88.6	石英 / 長石	普通	赤焼須恵器か / 被熱により表面剥落
1	9	B868 号	古墳時代		短頸壺	胴部	31	石英 / 長石	普通	赤焼須恵器か / 被熱により表面剥落
1	10	B868 号	古墳時代		短頸壺	胴部	33.8	石英 / 長石	普通	赤焼須恵器か / 被熱により表面剥落
1	11	B5086 号	縄文時代早期前葉	撚糸文系	深鉢	口縁部	10.6	長石 / 石英 / 黒色粒子	良好	撚糸文 R
1	12	B5086 号	縄文時代早期前葉	撚糸文系	深鉢	口縁部	15.7	長石 / 石英 / 黒色粒子	良好	撚糸文 R
1	13	B5086 号	縄文時代中期中葉	黒浜式	深鉢	胴部	18.7	繊維 / 長石 / 石英	普通	単節縄文 LR か
1	14	B5086 号	縄文時代後期前葉	堀之内 2 式	深鉢	口縁部	25.3	石英 / 長石 / 黒色粒子 / 赤色スコリア	良好	単節縄文 LR/ 口唇内面に横走沈線文
2	1	B920 号	縄文時代中期後葉	加曽利 E2 式	深鉢か	口縁部	53	黒色粒子 / 石英 / 長石	良好	隆帯による渦巻文・長方形区画文 / 口唇に横走沈線文 / 区画内に単節縄文 RL/ 区画内の隆帯脇に沈線文
2	2	B1445 号	縄文時代中期中葉	勝坂 1 式	深鉢	胴部	27.5	石英 / 長石 / 黒色粒子	普通	断面三角形の横位隆帯文 / 隆帯脇に 2 条の角押文
2	3	B1804 号	縄文時代中期後葉	加曽利 E2 式	深鉢	胴部	340	チャート / 石英 / 長石	良好	条線文
2	4	B1902 号	縄文時代中期後葉	加曽利 E2 式	深鉢か	口縁部	29	石英 / 長石	良好	隆帯による渦巻文
2	5	B2322 号	縄文時代中期初頭	五領ヶ台式	深鉢	胴部	17.5	雲母 / 石英 / 黒色粒子	普通	無文
2	6	B2779 号	縄文時代後期初頭	称名寺式か	深鉢	口縁部	28.7	黒色粒子 / 石英 / 角閃石 / 長石	良好	沈線による 2 本一単位の横位区画文 / 区画内に単節縄文 RL 充填
2	7	B2807 号	縄文時代中期後葉	加曽利 E3 式	深鉢	胴部	26	石英 / 長石 / 黒色粒子 / チャート	良好	単節縄文 LR/ 縦位の沈線文
2	8	B3083 号	縄文時代後期前葉	堀之内式か	深鉢	胴部	19.9	チャート / 砂岩 / 石英 / 長石	普通	沈線による 2 本一単位の弧状文
2	9	B5084 号	縄文時代中期後葉	加曽利 E2 式	深鉢	胴部	18.1	石英 / 長石	普通	条線文
2	10	B5124 号	縄文時代中期中葉	勝坂 3 式か	深鉢	胴部	37.3	チャート / 黒色粒子 / 石英 / 長石 / 赤色スコリア	良好	単節縄文 RL
2	11	C305 号	縄文時代中期後葉	諸磯 a 式	深鉢	胴部	30.5	チャート / 石英 / 長石 / 赤色スコリア	良好	単節縄文 LR/ 横走沈線文
2	12	C536 号	縄文時代後期前葉	堀之内 2 式	深鉢	口縁部	24	チャート / 石英 / 黒色粒子 / 長石 / 赤色スコリア	良好	口唇に横走沈線文 /2 本一単位の沈線による区画文
2	13	B2-1 区	縄文時代中期後葉	加曽利 E4 式	深鉢	口縁部	74	石英 / 長石 / チャート	普通	口唇に横走沈線文 / 沈線による区画内 / 単節縄文 RL
2	14	B1-4 区	縄文時代中期後葉	加曽利 E3 式	深鉢	胴部	28.2	長石 / 石英 / チャート	普通	単節縄文 RL/3 本一単位の沈線による懸垂文 / 懸垂文間の縄文磨消

2　近世以降の遺物

（1）磁器・陶器・土器（第 3 ～ 204 図、第 2 ～ 70 表）

A　主要遺構の出土状況

図版に掲載した出土遺物実測図には、図版 1 頁ごとに 1 から番号を付した。必要に応じて俯瞰図、写真等を付けているが、原則として正面図に番号を表記した。磁器のほかは、施釉箇所の境界を断面図に▲で表示している。磁器は、蛇ノ目釉剥ぎされたものを除き、高台畳付部分の釉剥は省略した。俯瞰写真は、文様の上下に応じて図示したが、不明瞭な摺絵など施文が曖昧なものについては、正面図に従う方向としているものがある。また見込みに文様が施されている場合は、俯瞰写真を掲載した。この際、口径の大きい遺物については、全体の俯瞰写真ではなく見込み部分のみとした場合がある。

出土陶磁器・土器の分類および観察表の表記は、『東京都新宿区内藤町遺跡』（新宿区内藤町遺跡調査会編 1992）に基づき行った。材質から磁器、陶器、土器に分類し、焼き締め陶器などの炻器に分類されるものについては陶器に含めた。また、陶器、炻器の胎土に染付で文様を描いた瀬戸・美濃産の丸碗、広東碗、端反碗などの碗や湯呑、皿、鉢など太白焼・新製焼と呼ばれるものについては、陶器に分類した。次に碗、皿、鉢などの種類、さらに大碗、中碗などの器種を記した。器種については内容を判別し易くするため、大碗、中碗、小碗、大皿、中皿、五寸皿、小皿など法量に基づいた分類のほか、対象に応じてうがい碗、盤、焙烙など用途による分類を記しているものがある。なお、極小皿は小皿に含めた。なお、遺物に墨書、釘書き、線刻、刻印などがみられる場合には、備考欄にその内容を記載した。

出土遺物については、取り上げを行った遺物の全てについて重量を計測し、本調査において出土した遺物の数量的な把握につとめた。このうち、主な遺構の出土遺物については第 60 ～ 70 表の集計表にまとめている。集計表の記載内容は、種類および器種により分類した各項目について、点数と重量を記した。また、遺構ごとに材質ごと（磁器、陶器、土器）の重量をまとめ、それぞれの合計を示した。

次に出土遺物の概観を述べる。磁器は、葵の文様を描く陶磁器が出土している。葵をモチーフとした文様は、三つ葉葵を描くものから染付の文様としてフタバアオイを描くものなどがある。磁器碗、陶器の碗、皿、鉢がある。また、磁器の皿には葵の葉を象ったとみられる釘書きが施されたものがあり、小皿に多くみられる。徳川家の家紋は三つ葉葵であるが、この家紋の素材となったフタバアオイは、茎の先端に二葉がつくもので、葵をモチーフとするものの、家紋と違いやや写実的であるといえる。

焼塩壺は、小川望氏の分類（小川 2008）に従い、身をコップ形のⅠ～Ⅴ類、鉢形のⅠ～Ⅲ類、蓋をア～オに分類し、更にそれぞれの刻印、器形、成整形技法、金雲母の有無など胎土の特徴などを第 54・55 表の観察表に別途記載した。それぞれの刻印については、図版に示したとおりである。なお、刻印については、可能な限り拓本を実測図と併せて掲載した。

以下では主要遺構出土の陶磁器・土器の様相を記す。

B44 号（第 3 図）

大型土坑の B44 号では、磁器の丸碗（第 3 図 3・5）、型打ち皿（第 3 図 6・7）、陶器では刷毛目碗（第

3 図 9)、鉄絵で草花文を描く小皿（第 3 図 10)、灰釉の香炉（第 3 図 11)、灰吹（第 3 図 12)、練鉢（第 3 図 13）のほか、土器皿がまとまって出土している。

B63 号（第 5 図）

磁器は、草花文の中碗（第 5 図 1)、端反形の小坏（第 5 図 2)、蓋物蓋（第 5 図 3）があり、陶器には型打ちの皿（第 5 図 5）や釘書きをもつ灰釉徳利（第 5 図 8）等がある。また B44 号と同様に土器皿が集中して出土している。

B181 号（第 7・8 図）

磁器は、肥前産の小碗（第 7 図 6）や中鉢（第 8 図 1）に加え、中国産とみられる薄手の端反碗（第 7 図 4）や皿（第 7 図 11・12）がある。陶器には鉄釉の中壺（第 7 図 13)、土器は無耳で胴部が屈曲する焙烙（第 8 図 3・4）等がある。

B588 号（第 12 ～ 25 図）

平面長方形の大型土坑で、貿易陶磁が多数含まれる。

磁器は、中国産の碗として芙蓉手の碗（第 12 図 1)、端反形で蛇ノ目高台となる中碗（第 12 図 5・6)、網目文の青花碗（第 12 図 9・10）等がある。皿・盤は、漳州窯の餅花手（第 13 図 4)、色絵の変形皿（第 13 図 3)、鉢植えが描かれるもの（第 13 図 5、第 20 図 1)、昆虫とみられる意匠のもの（第 14 図 3・4)、馬を意匠とするもの（第 14 図 5、第 18 図 1 ～ 4)、楼閣文（第 16 図 6)、孔雀の羽根を意匠とする小皿（第 16 図 4）などが中国産のもので、この中には揃いで複数個体が出土するものもある。また白磁のもの（第 16 図 2)、五彩が施されるもの（第 17 図 2、第 20 図 2）も舶載品であろう。肥前産のものとしては、芙蓉手の大皿（第 14 図 1）がある。壺は、第 20 図 4 が景徳鎮窯のもので、第 10 図 4 の蓋と組み合う優品である。蓋物（第 19 図 5)、香炉（第 20 図 3）は肥前産である。

陶器も中国産のものが一定数あり、見込みに水鳥が描かれる第 21 図 2 は揃いで複数個体の出土がある。また第 21 図 3 は、被熱の影響があるが、緑釉の盤で口縁を輪花とする。国産のものは。京・信楽産の大碗（第 21 図 1）や鉢（第 22 図 1)、水指（第 21 図 7、第 22 図 5)、花生（第 23 図 1）のほか、瀬戸・美濃産の水鉢（第 21 図 6)、肥前産の香炉（第 22 図 3）や片口（第 22 図 4)、産地不明の茶入（第 22 図 8)、志戸呂産の徳利（第 23 図 3）等がある。第 22 図 9 は薄手の中壺で、舶載品の可能性がある。

土器は、瓦灯傘（第 23 図 5)、瓦灯皿（第 23 図 6)、炬燵（第 24 図 4）等があるが数量は少ない。本遺構では、茶道具や舶載陶磁器など 17 世紀に帰属すると推定される遺物に加え、図示していないが「くらわんか手」の茶碗や徳利等の 18 世紀中頃の遺物も含まれる。第 25 図は被熱痕跡のある遺物の中でとりわけ溶着が顕著な例を示したが、こうした遺物が多数出土していることは、火災後の片付けに伴う可能性がある。この頃の大規模な火災としては、延享 2 年（1745）の六道火事や宝暦 10 年（1760）の宝暦大火などがあるが、遺構の廃絶時期は 18 世紀前半頃と推定されることから、享保 10 年（1725）に発生し本御殿を焼失した火災に関わる遺構と考えられる。

B808 号（第 31 図）

道路状遺構の B808 号では、覆土を新・中・古の三段階に分け、可能な限り遺物も各段階単位で取り上げた。ただし時期的に大きな差異はなく、遺物の遺存状況も小破片が主体で数量的に多くない。磁器は波佐見系の碗（第 31 図 10・15）や皿（第 31 図 3）があり、他にコンニャク印判で栗文とする皿（第 31 図 2）などがある。陶器は陶胎染付の碗（第 31 図 1）、灰釉碗（第 31 図 5）、京・信楽産と考えられる腰折碗（第 31 図 20）、錆釉が施される水注（第 31 図 23）等がある。土器は器壁高が 2cm 前後となる焙烙（第 31 図 6）、「播磨大極上」の刻印の焼塩壺身（第 31 図 7）等がある。

B1132 号（第 39 図）

磁器は、波佐見系の碗（第 39 図 2･4）、白磁の仏飯器（第 39 図 9）、猪口（第 39 図 10）等がある。陶器には、腰錆碗（第 39 図 13・14）、肥前系の灰釉碗（第 39 図 16）や刷毛目碗（第 39 図 17）、香炉（第 39 図 19）、鉄釉の小壺（第 39 図 23）、産地不明の中鉢（第 39 図 20）がある。土器は火鉢や焼塩壺、焙烙等が出土している。

B1445 号（第 42 ～ 46 図）

南北に長い大型の地下室である B1445 号では、おおむね覆土を上下に二分して遺物の取上げを行った。

上部の磁器は、「太明年製」銘のある大碗（第 42 図 1）、中碗（第 42 図 2 ～ 6）、小碗（第 42 図 12 ～ 15）、皿（第 42 図 23 ～ 23）、等があり、このうち第 42 図 23 は鍋島焼である。また第 42 図 27･28 はセットの可能性がある。第 43 図 1 は白磁の水注で、水鳥をかたどっている。陶器は、瀬戸・美濃産の御室茶碗（第 43 図 5）や腰錆碗（第 43 図 6）、肥前系の刷毛目茶碗（第 43 図 7）、鬢水入れ（第 43 図 14）等がある。土器は焙烙（第 43 図 15･16）のほか、脚部に獣面が付された盤（第 44 図 2）、「泉州麻生」の刻印の焼塩壺身（第 44 図 3 ～ 5）等があり、下部の出土遺物も時期的に大きな差異は見られない。

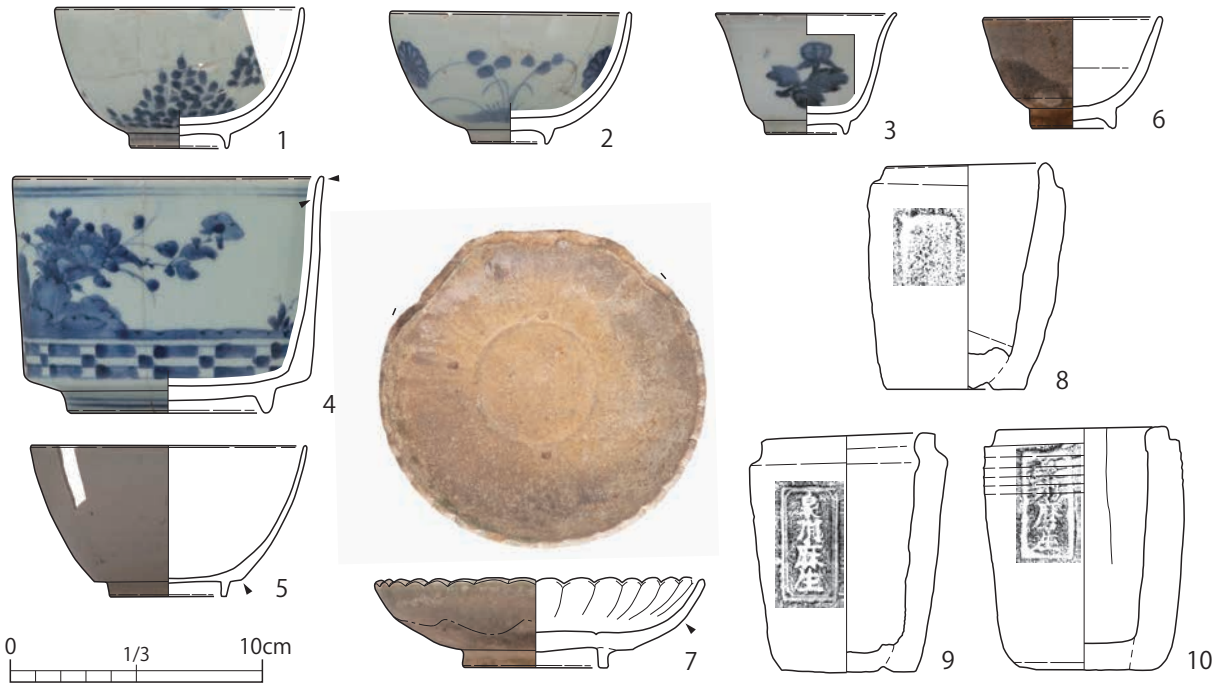
B2290 号（第 58 ～ 61 図）

大型土坑の B2290 号は覆土が焼土を主体とし、出土陶磁器・土器にも被熱の痕跡が見られる。

磁器は、肥前産の碗（第 58 図 1 ～ 3）、中国産の芙蓉手碗（第 58 図 4）、上絵付が施される蓋物（第 58 図 15･16）や蓋物蓋（第 60 図 3･4）、皿（第 59 図 1 ～ 5）、染付の小壺（第 59 図 6･7）等がある。陶器は、鉄釉の碗（第 60 図 5）、肥前系の大鉢（第 60 図 6）、花生（第 60 図 7）、底部付近に「イセ」の刻印がある中瓶（第 60 図 8）等があった。

第 3 図　近世の陶磁器・土器（1）（1/3）

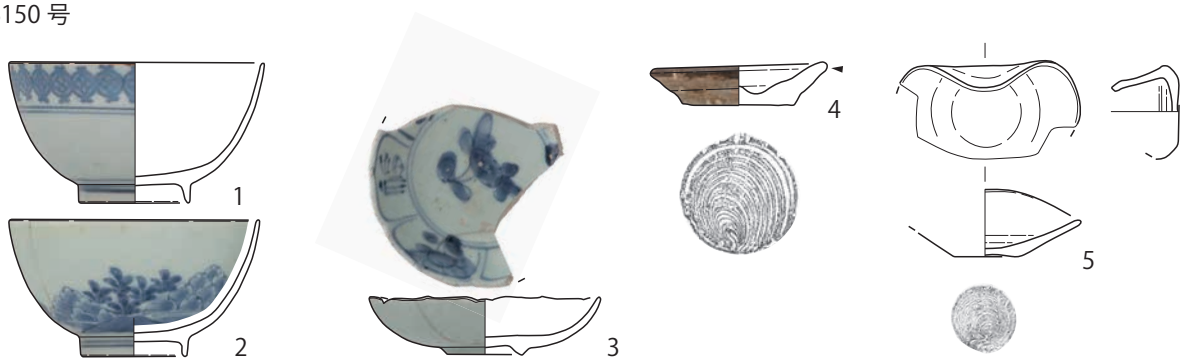
B58 号



第 4 図　近世の陶磁器・土器（2）（1/3）

第 5 図　近世の陶磁器・土器（3）（1/3）

B150 号



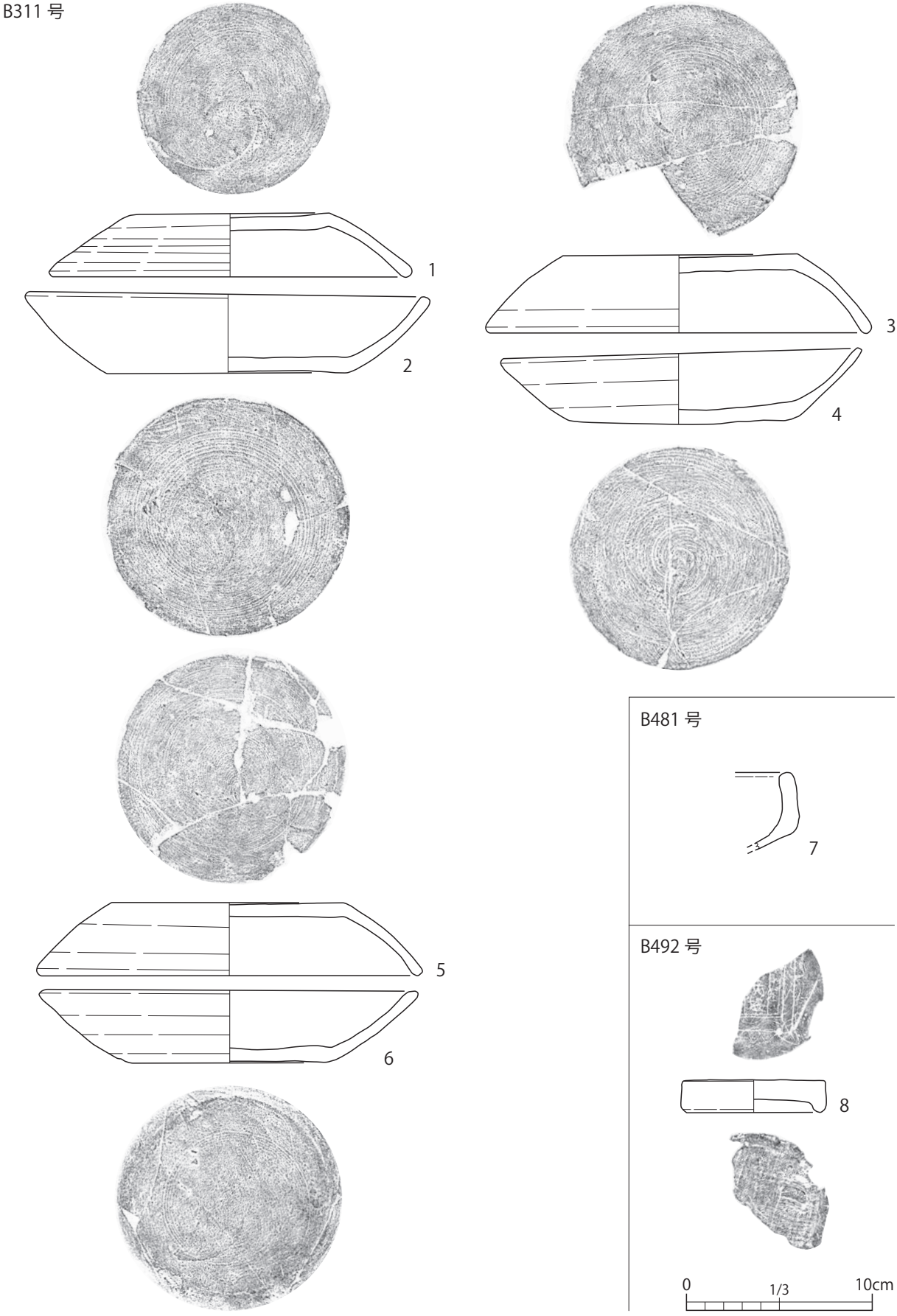
B165 号

B171 号

第 6 図　近世の陶磁器・土器（4）（1/3）

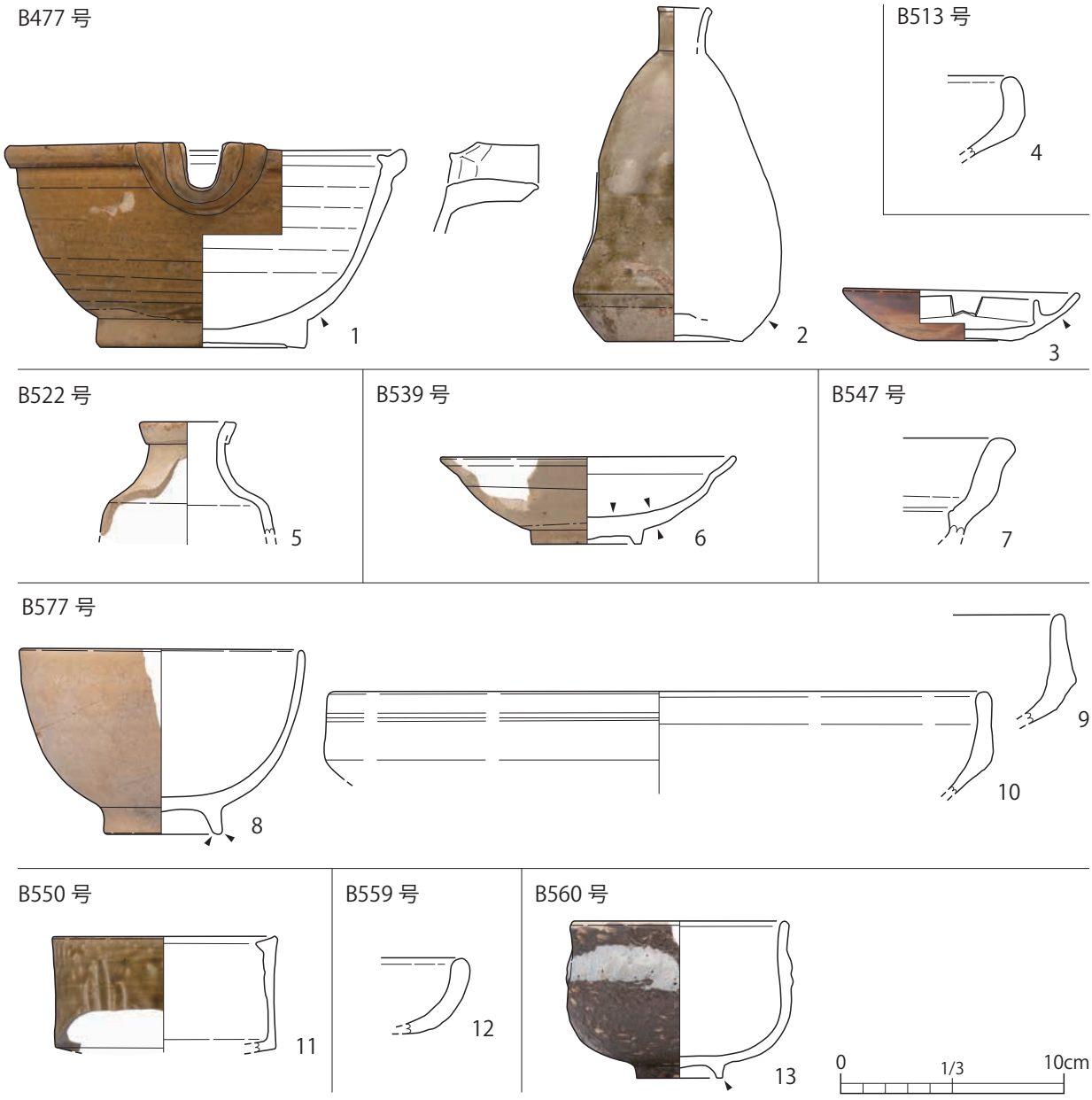
第 7 図　近世の陶磁器・土器（5）（1/3・1/4）

第 8 図　近世の陶磁器・土器（6）（1/3）



第 9 図　近世の陶磁器・土器（7）（1/3）

第 10 図　近世の陶磁器・土器（8）（1/3）



第 11 図　近世の陶磁器・土器（9）（1/3）

第 12 図　近世の陶磁器・土器（10）（1/3）

B588 号

1
S=1/4

2

3
S=1/4

4
S=1/4

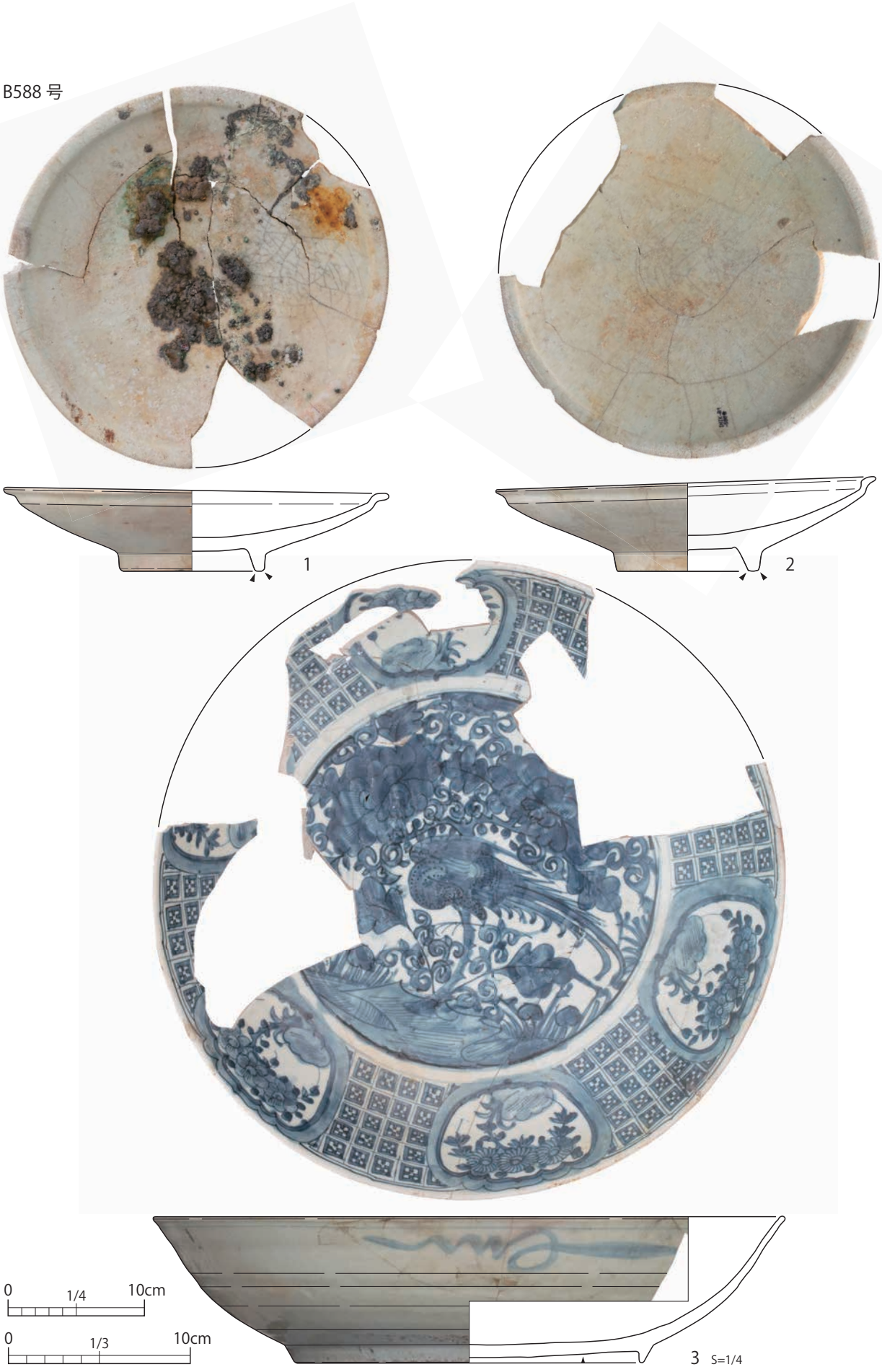
5

0 1/4 10cm　0 1/3 10cm

第 13 図　近世の陶磁器・土器（11）（1/3・1/4）

B588 号

第 14 図　近世の陶磁器・土器（12）（1/3・1/4）



第 15 図　近世の陶磁器・土器（13）（1/3・1/4）

第 16 図　近世の陶磁器・土器（14）（1/3）

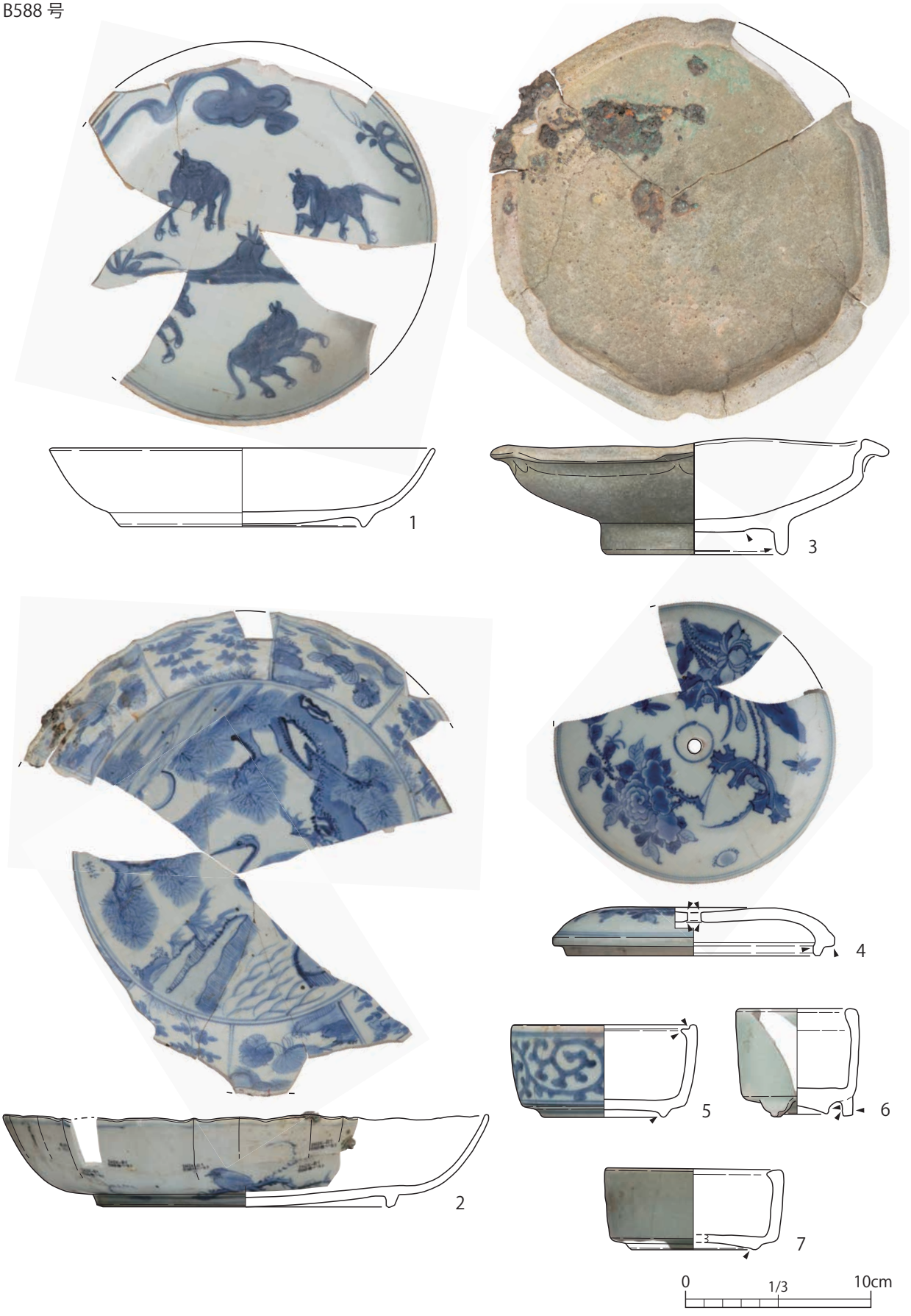
B588 号

第 17 図　近世の陶磁器・土器（15）（1/3）

B588 号

第 18 図　近世の陶磁器・土器（16）（1/3）

B588 号



第 19 図　近世の陶磁器・土器（17）（1/3）

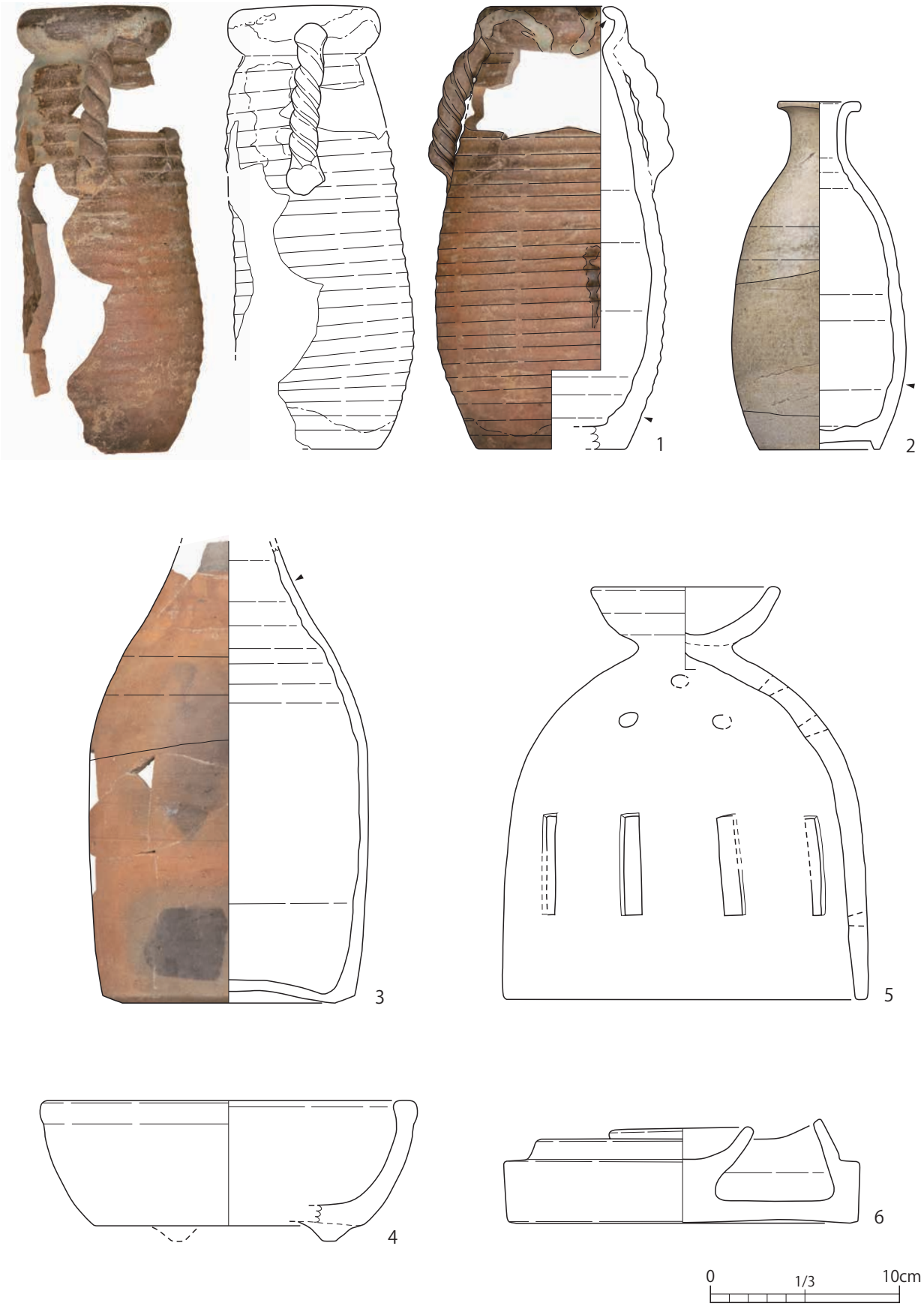
第 20 図　近世の陶磁器・土器（18）（1/3・1/4）

B588 号

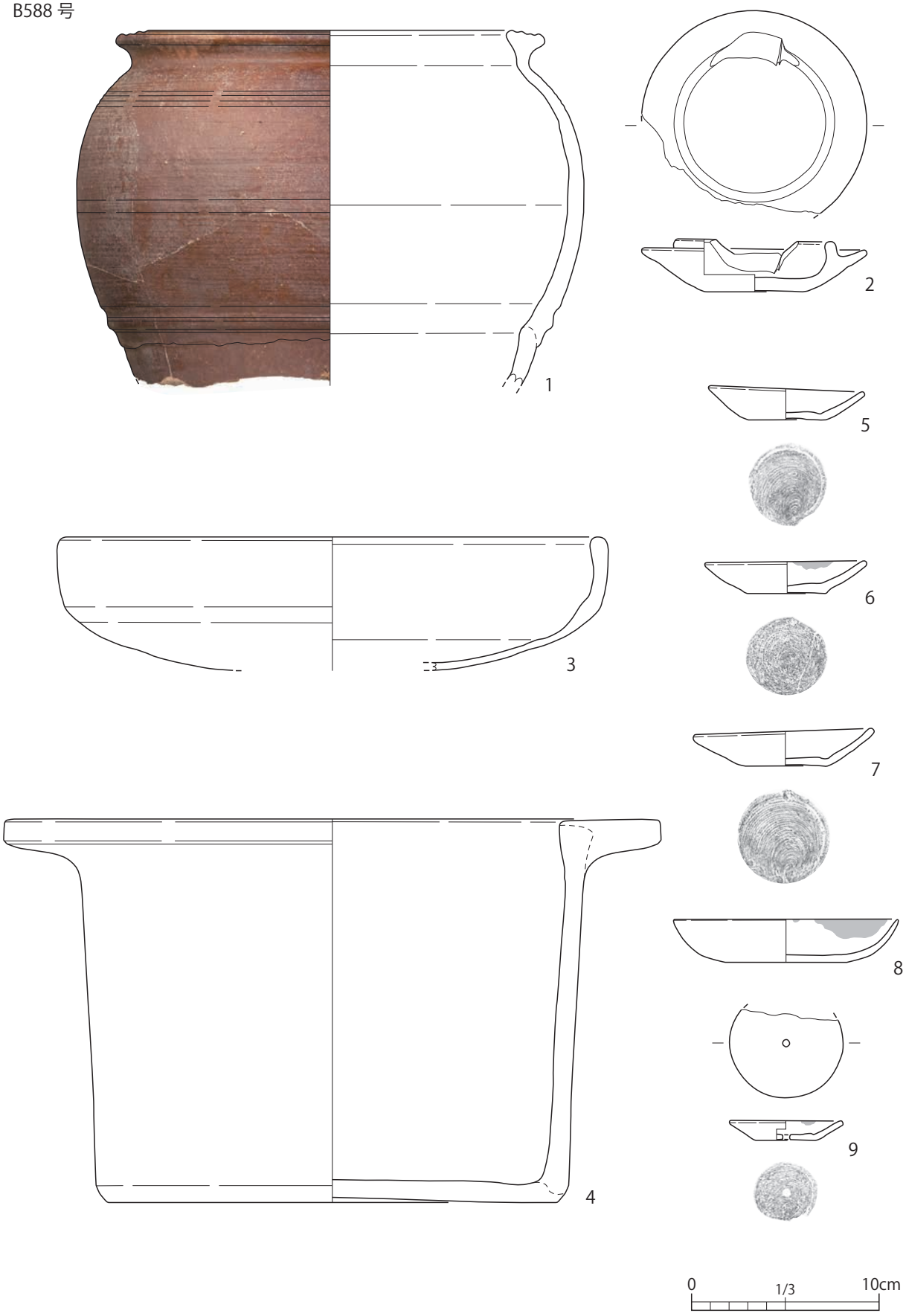
第 21 図　近世の陶磁器・土器（19）（1/3・1/4・1/6）

第 22 図　近世の陶磁器・土器（20）（1/3）

B588 号



第 23 図　近世の陶磁器・土器（21）（1/3）

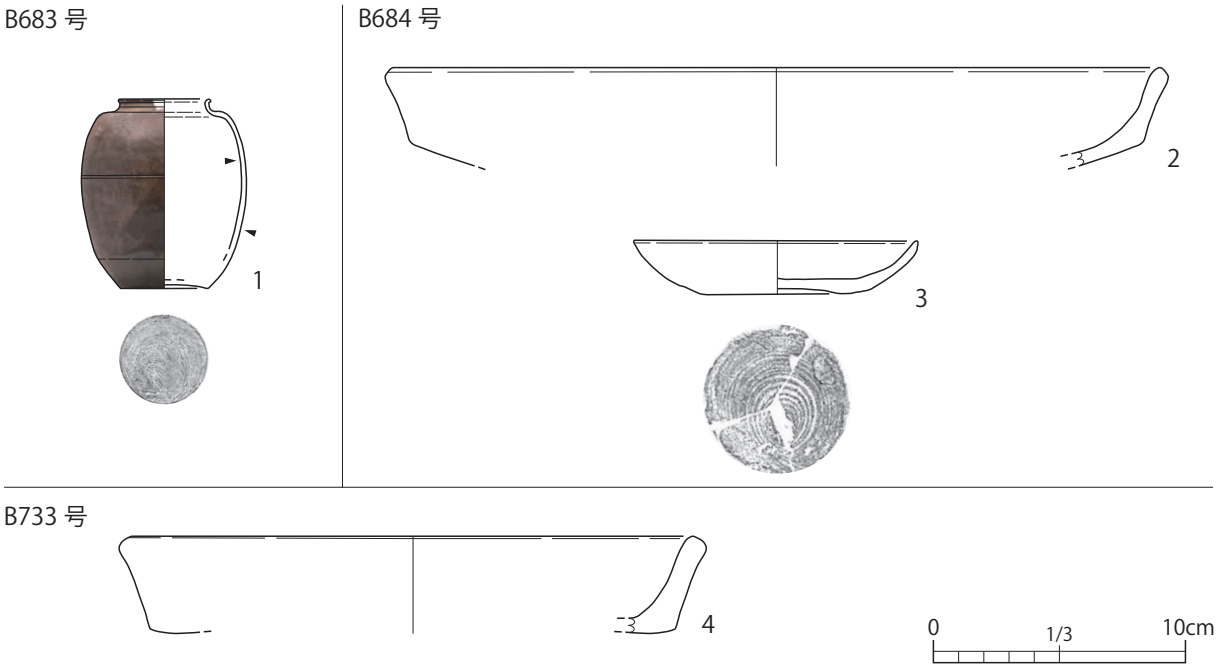


第 24 図　近世の陶磁器・土器（22）（1/3）

第 25 図　近世の陶磁器・土器（23）（上段：縮尺任意、下段：1/4）

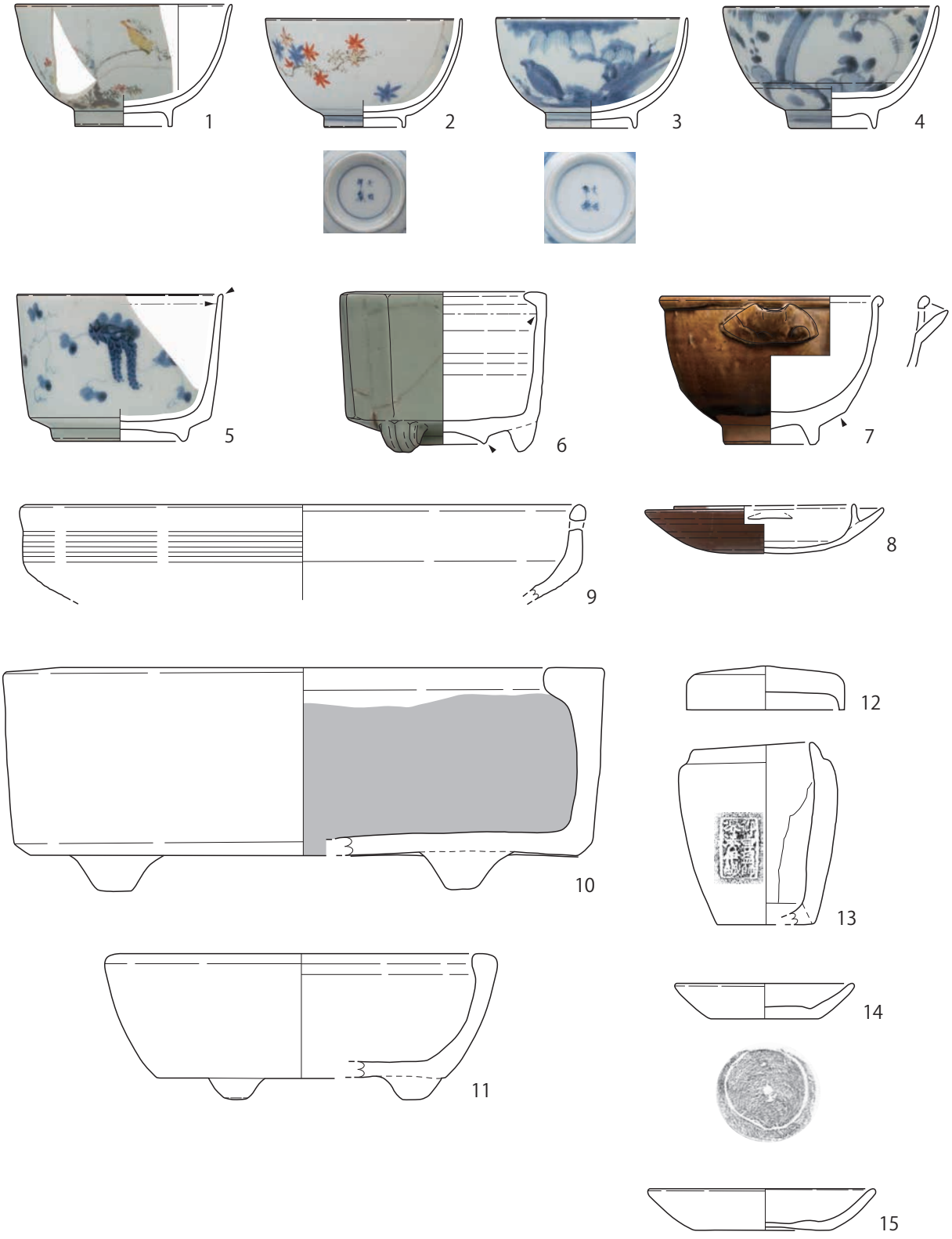
第 26 図　近世の陶磁器・土器（24）（1/3）

第 27 図　近世の陶磁器・土器（25）（1/3・1/4）



第 28 図　近世の陶磁器・土器（26）（1/3）

B745 号



第 29 図　近世の陶磁器・土器（27）（1/3）

B800 号

第 30 図　近世の陶磁器・土器（28）（1/3）

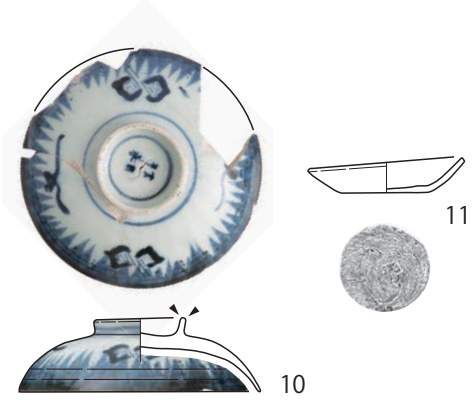
第 31 図　近世の陶磁器・土器（29）（1/3）

B810 号

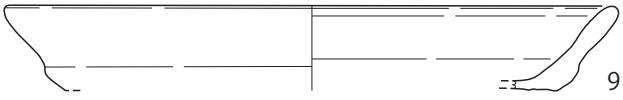
B817 号

B820 号

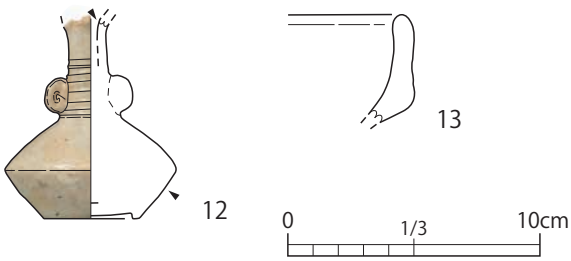
B849 号



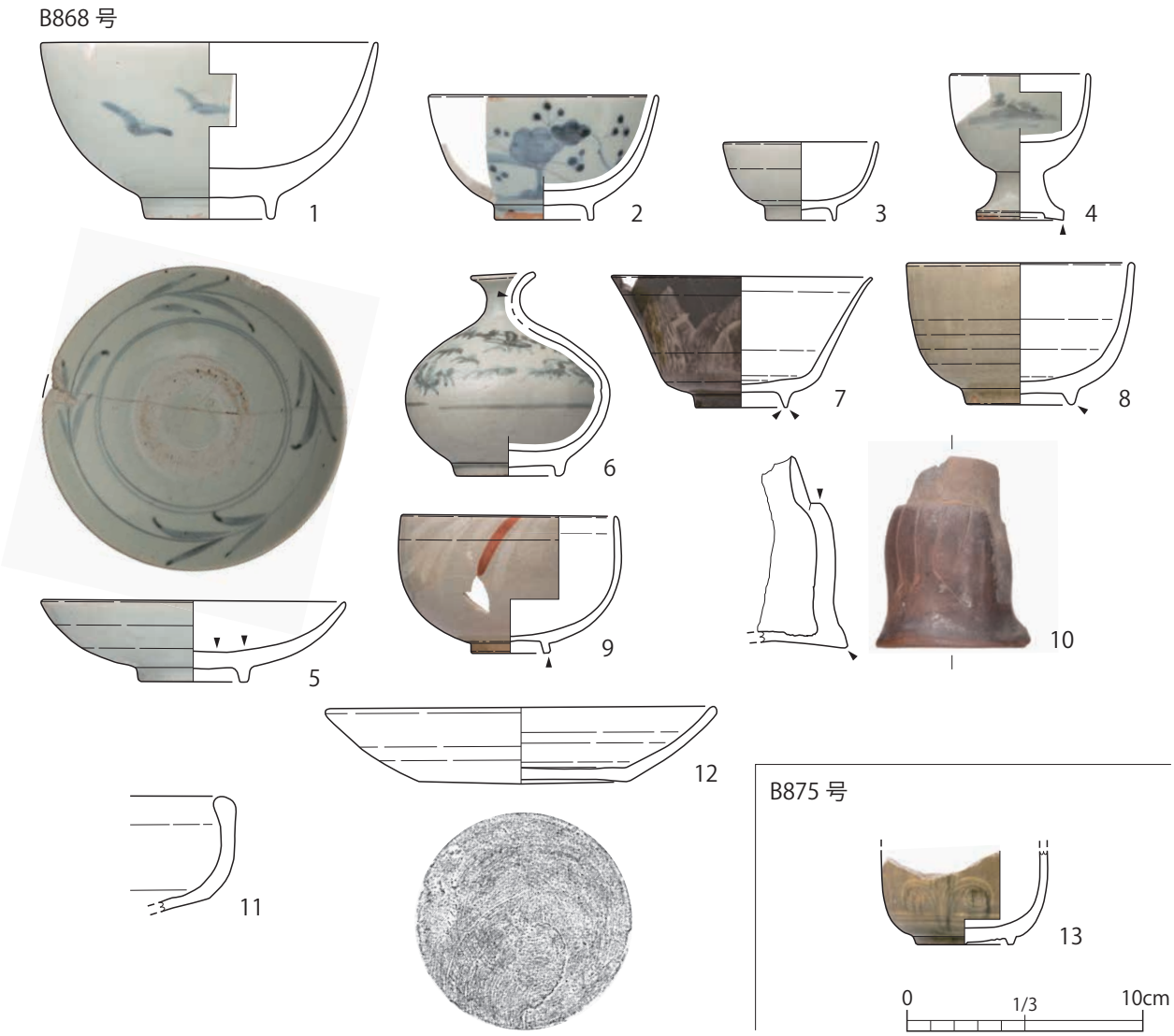
B838 号



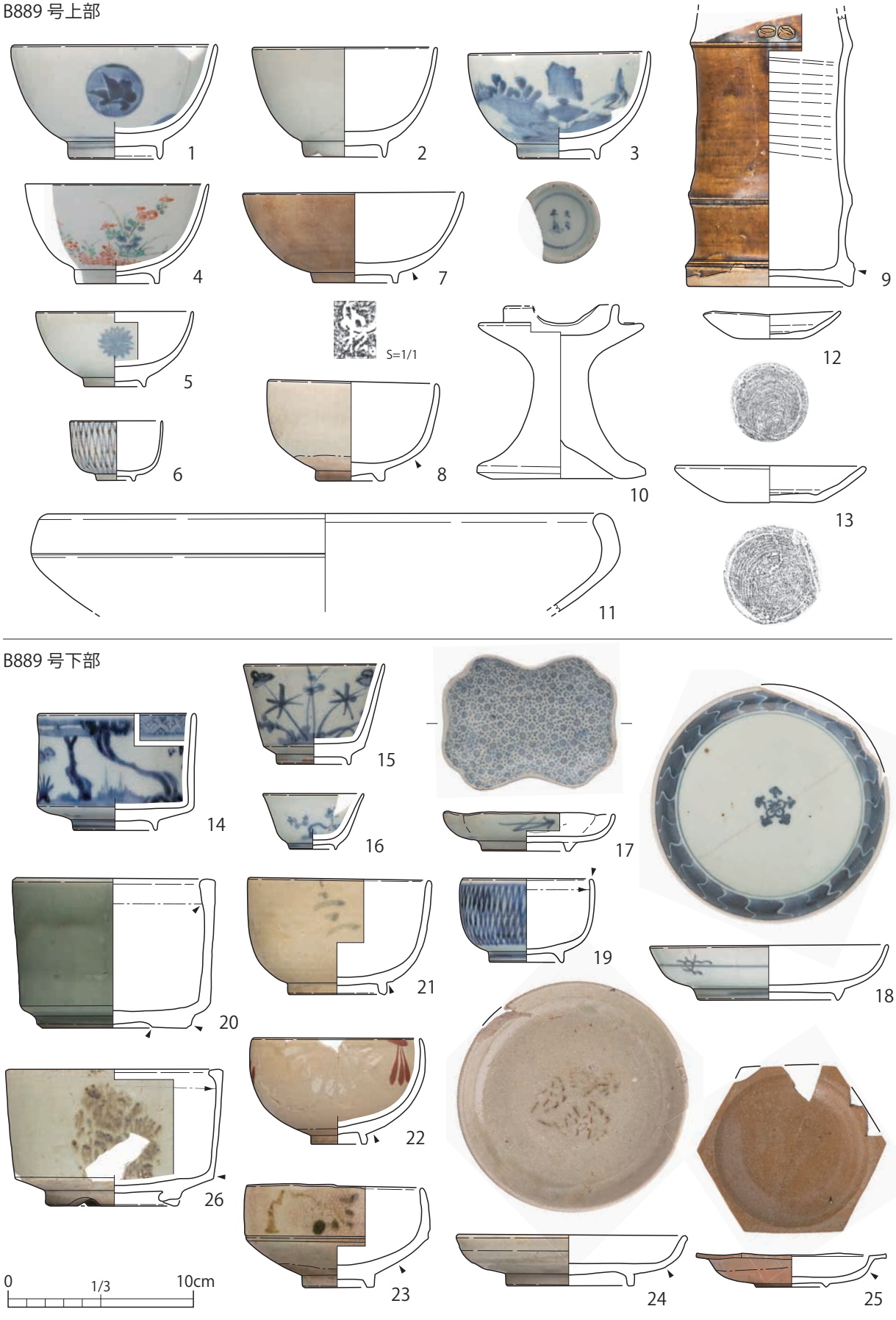
B1102 号



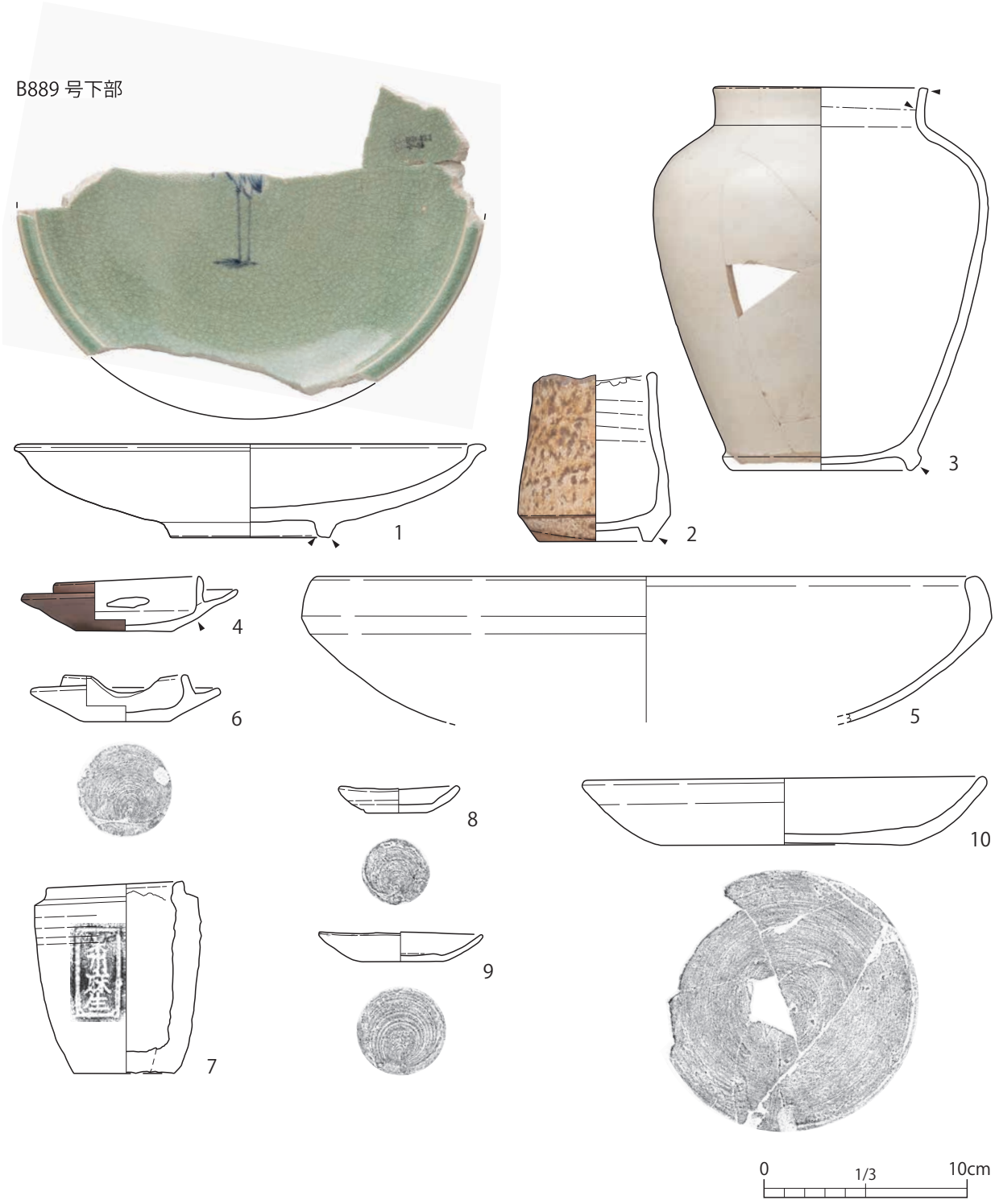
第 32 図　近世の陶磁器・土器（30）（1/3）



第 33 図　近世の陶磁器・土器（31）（1/3）

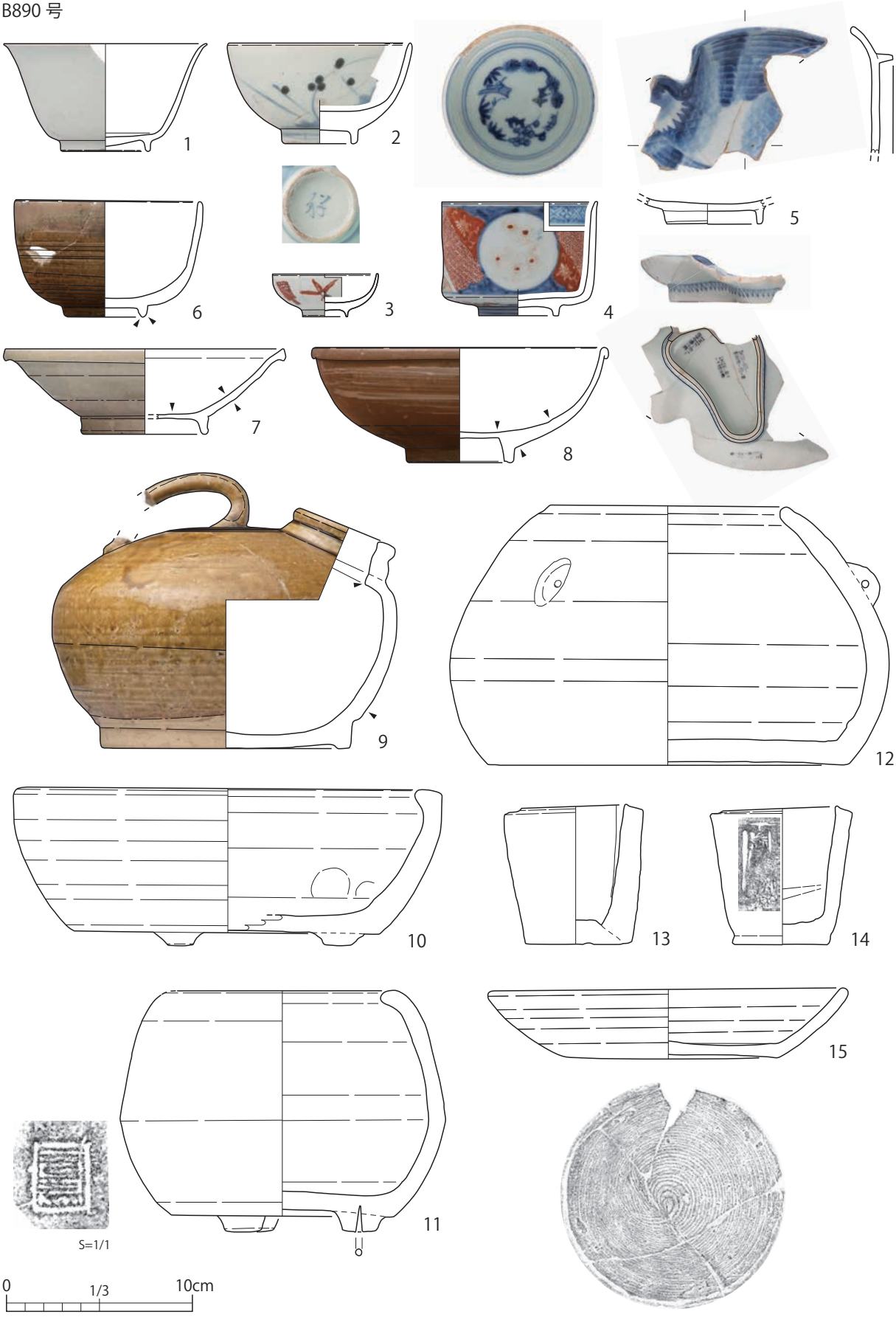


第 34 図　近世の陶磁器・土器（32）（1/3）

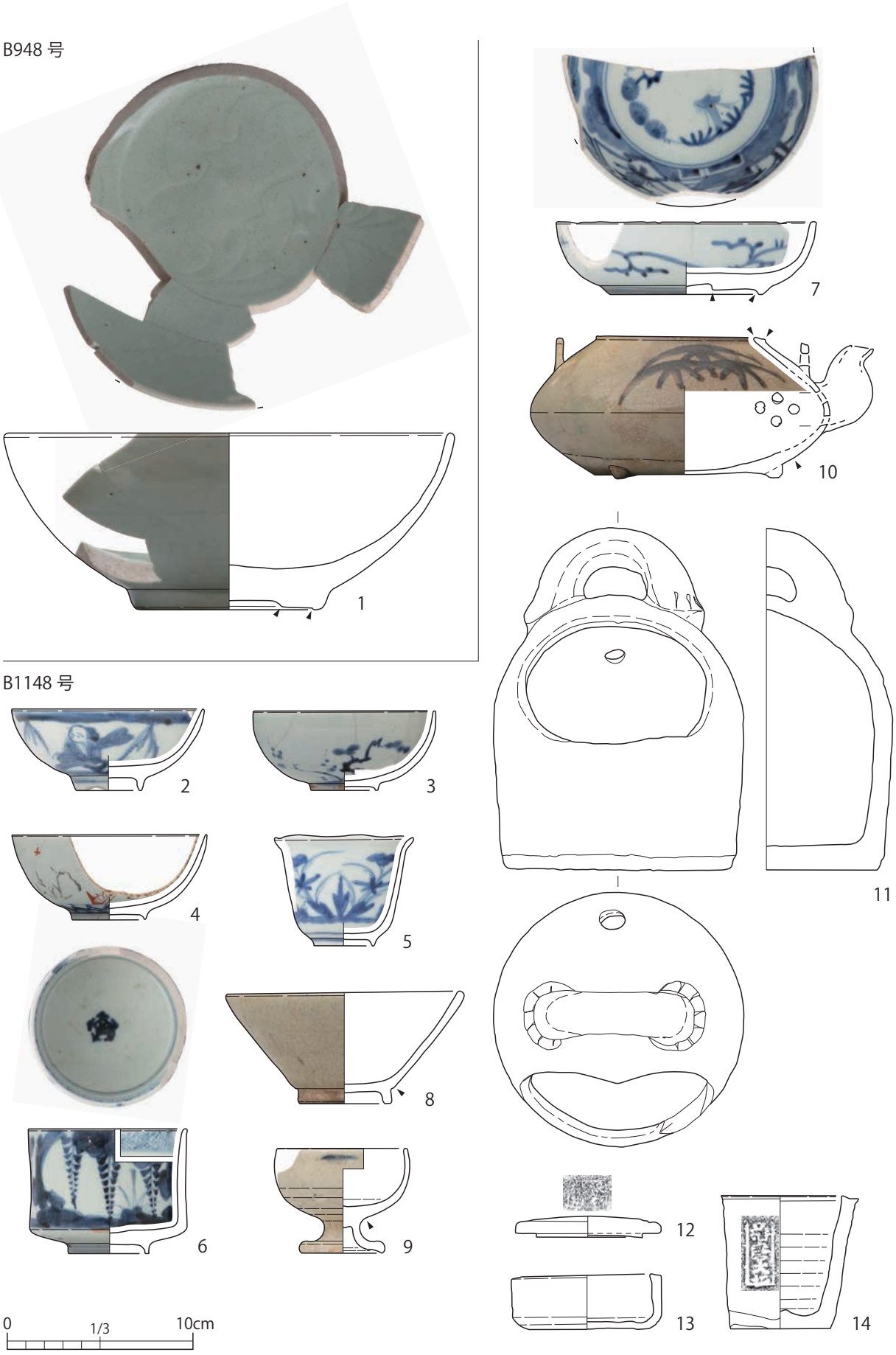


第 35 図　近世の陶磁器・土器（33）（1/3）

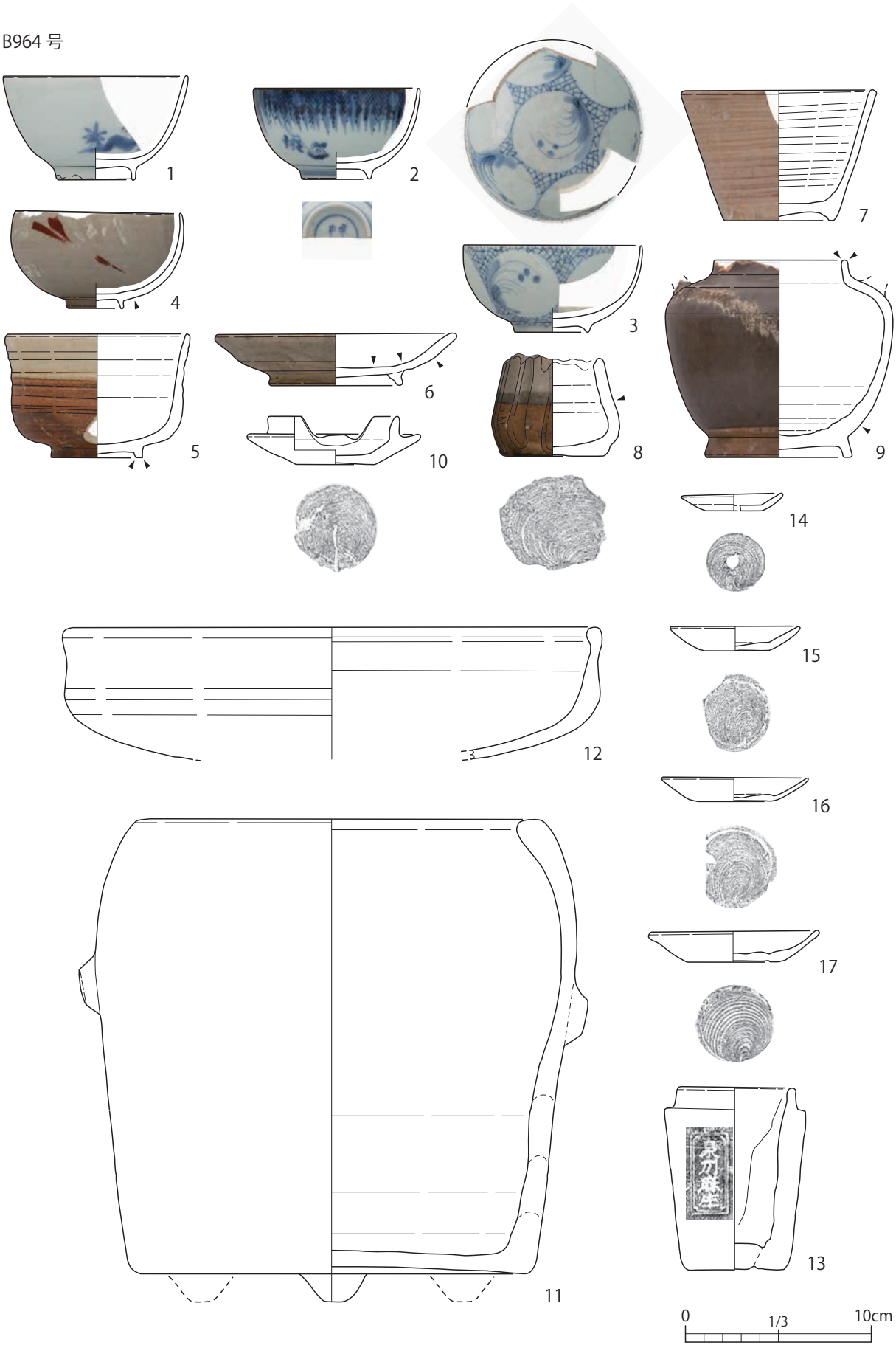
B890 号



第 36 図　近世の陶磁器・土器（34）（1/3）



第 37 図　近世の陶磁器・土器（35）（1/3）

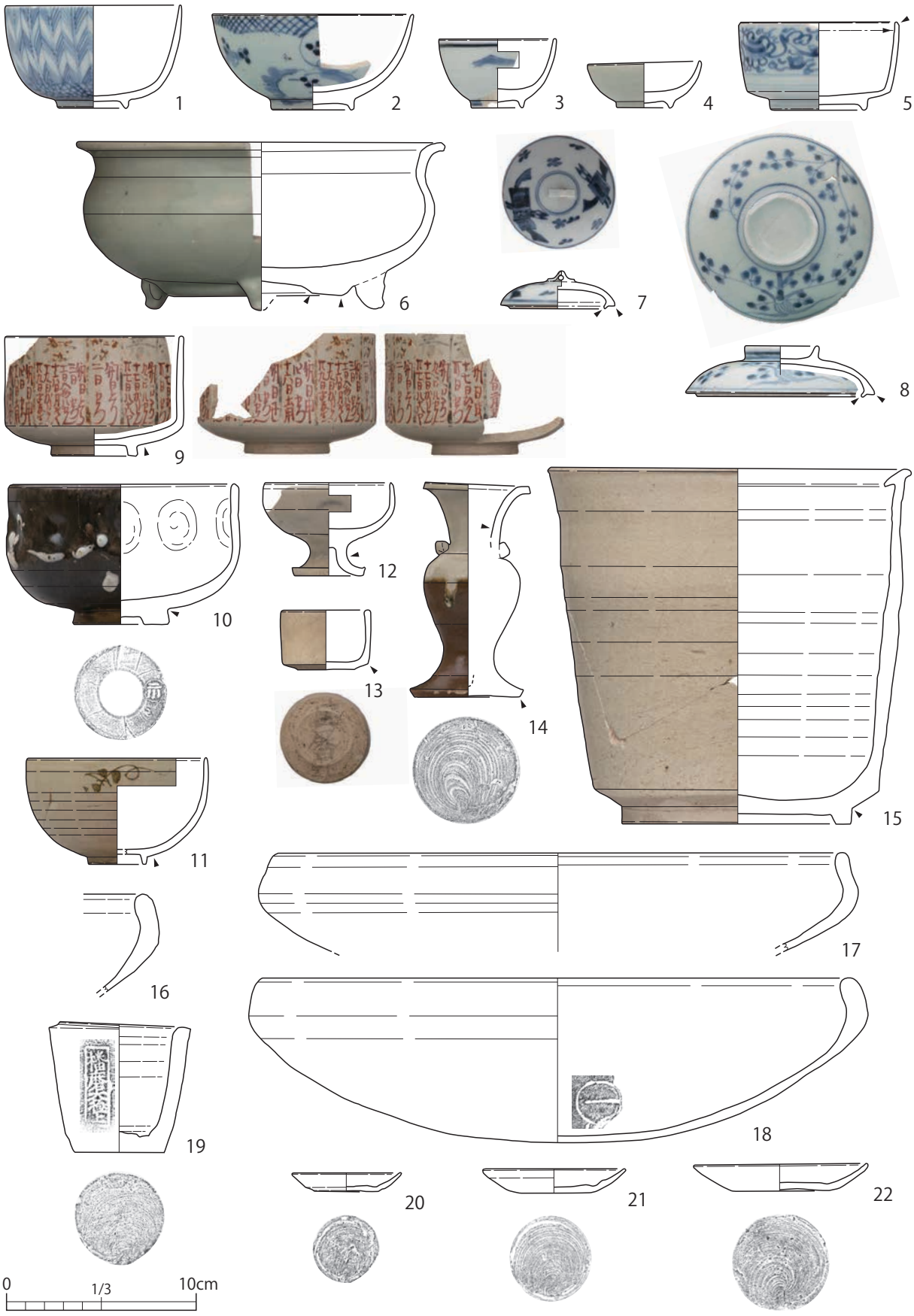


第 38 図　近世の陶磁器・土器（36）（1/3）

B1132 号

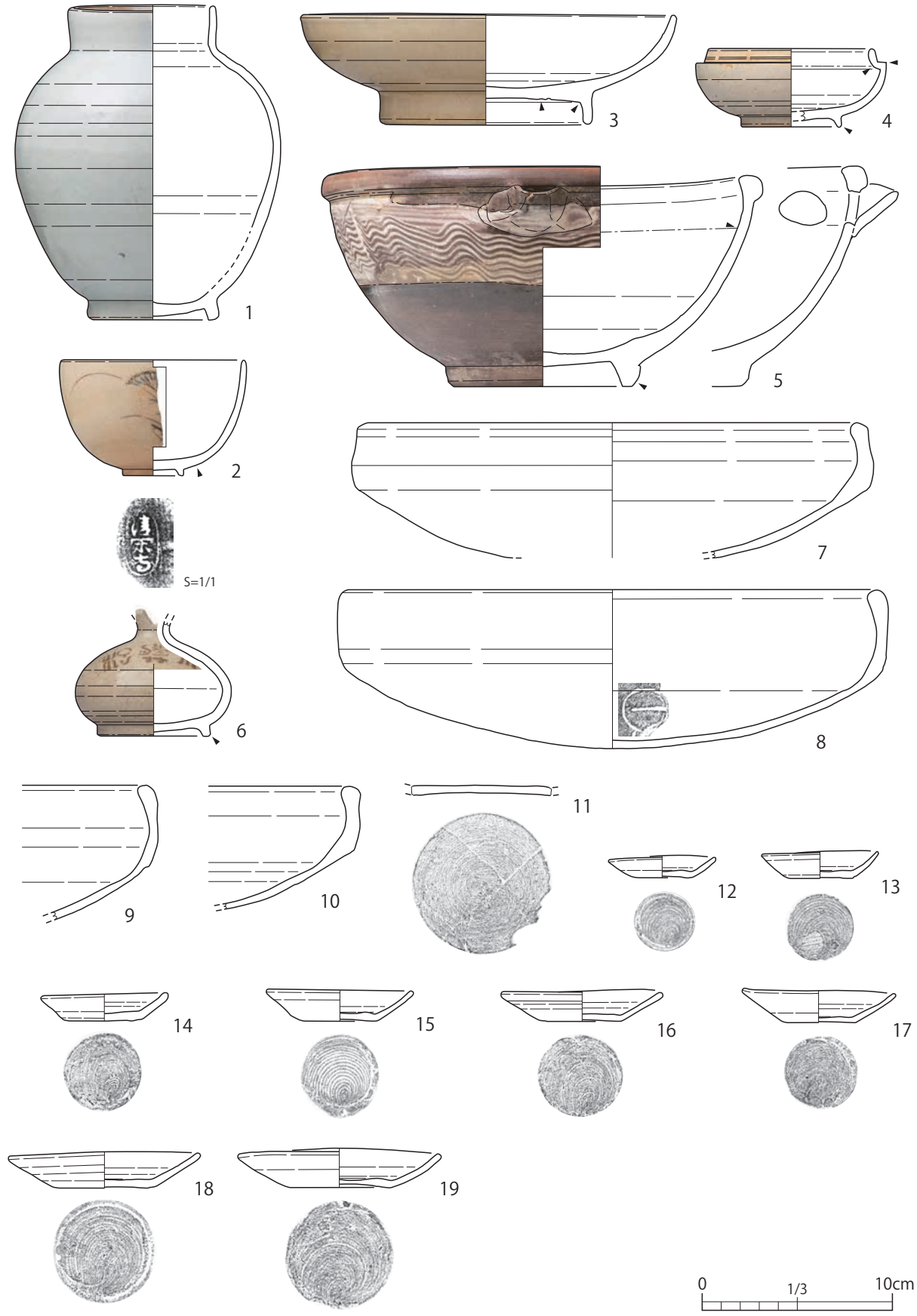
第 39 図　近世の陶磁器・土器（37）（1/3・1/6）

B1159 号



第 40 図　近世の陶磁器・土器（38）（1/3）

B1190 号



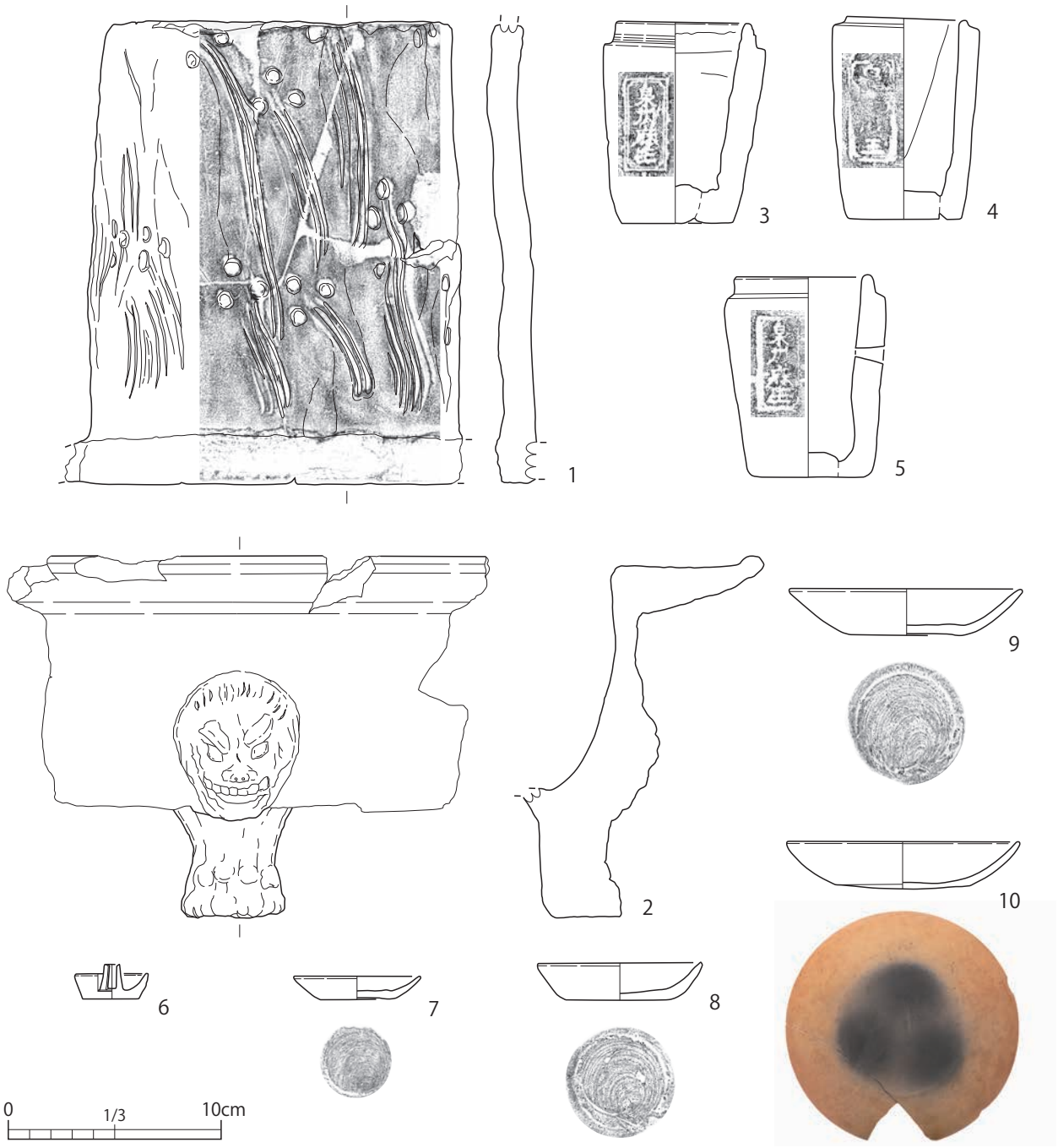
第 41 図　近世の陶磁器・土器（39）（1/3）

第 42 図　近世の陶磁器・土器（40）（1/3）

B1445 号上部

第 43 図　近世の陶磁器・土器（41）（1/3）

B1445 号上部



第 44 図　近世の陶磁器・土器（42）（1/3）

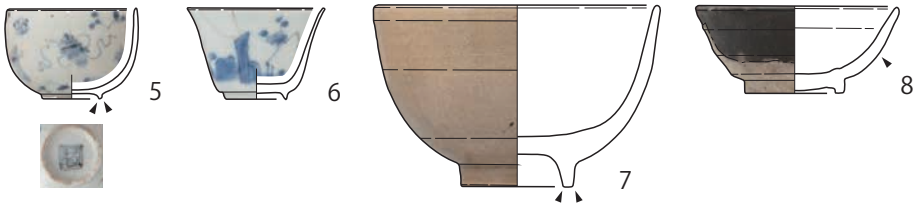
B1445 号下部

第 45 図　近世の陶磁器・土器（43）（1/3）

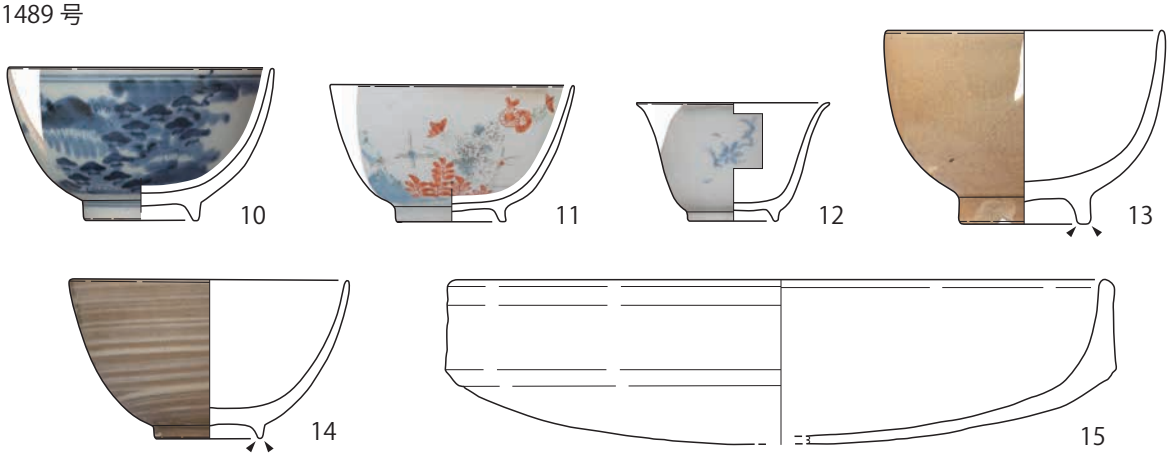
第 46 図　近世の陶磁器・土器（44）（1/3・1/4）

B1475 号上部

B1475 号下部



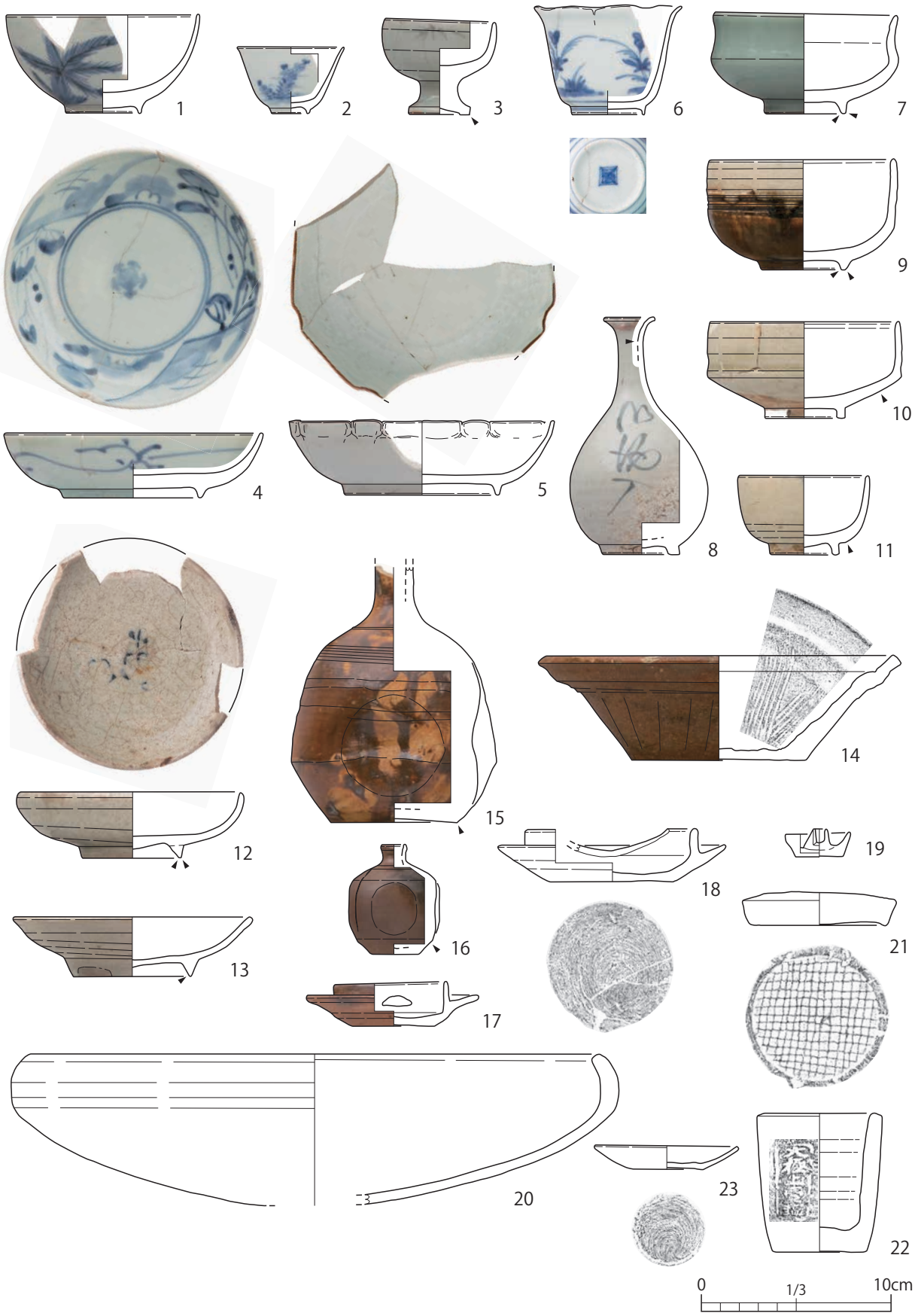
B1489 号



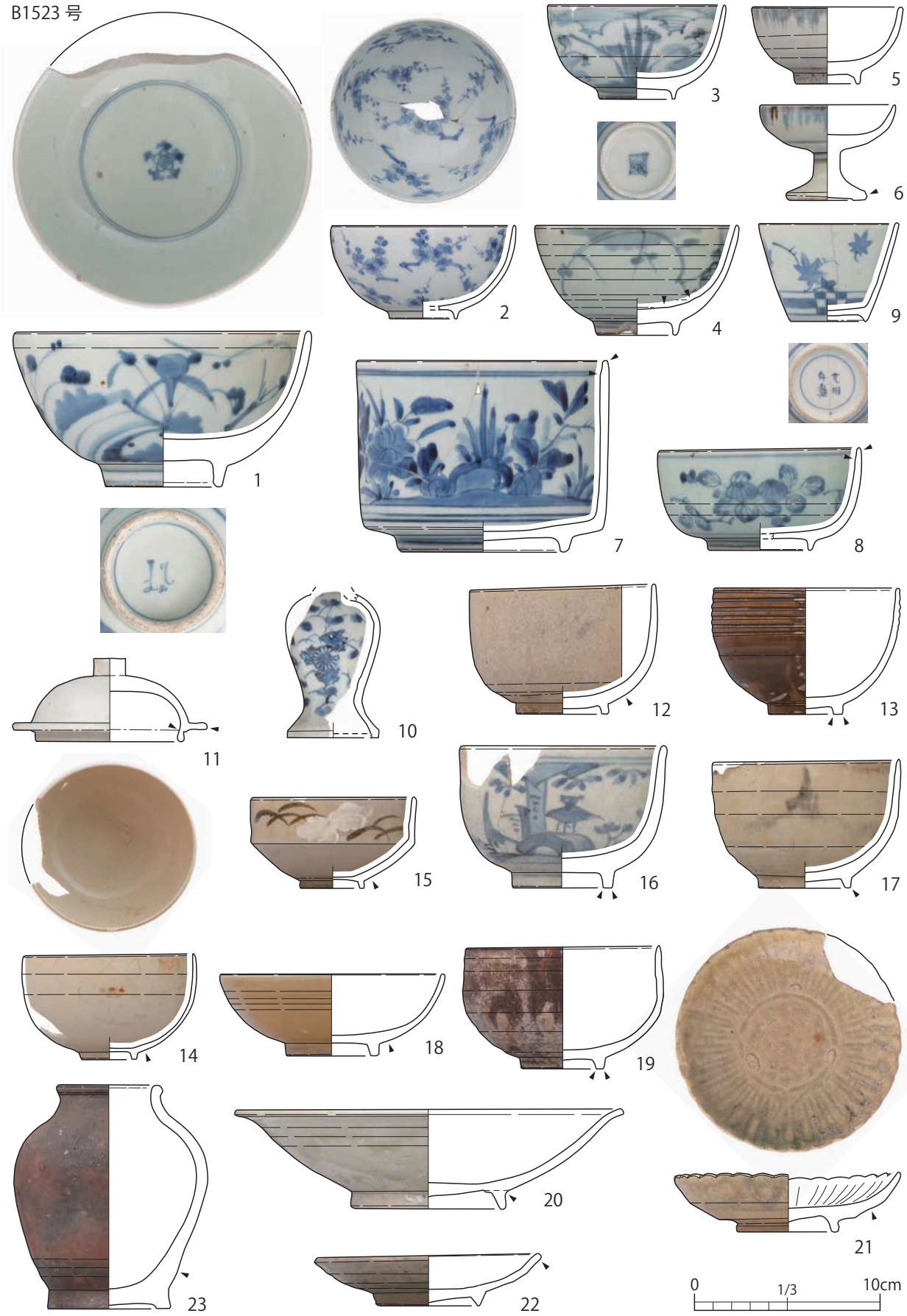
0 1/3 10cm

第 47 図　近世の陶磁器・土器（45）（1/3）

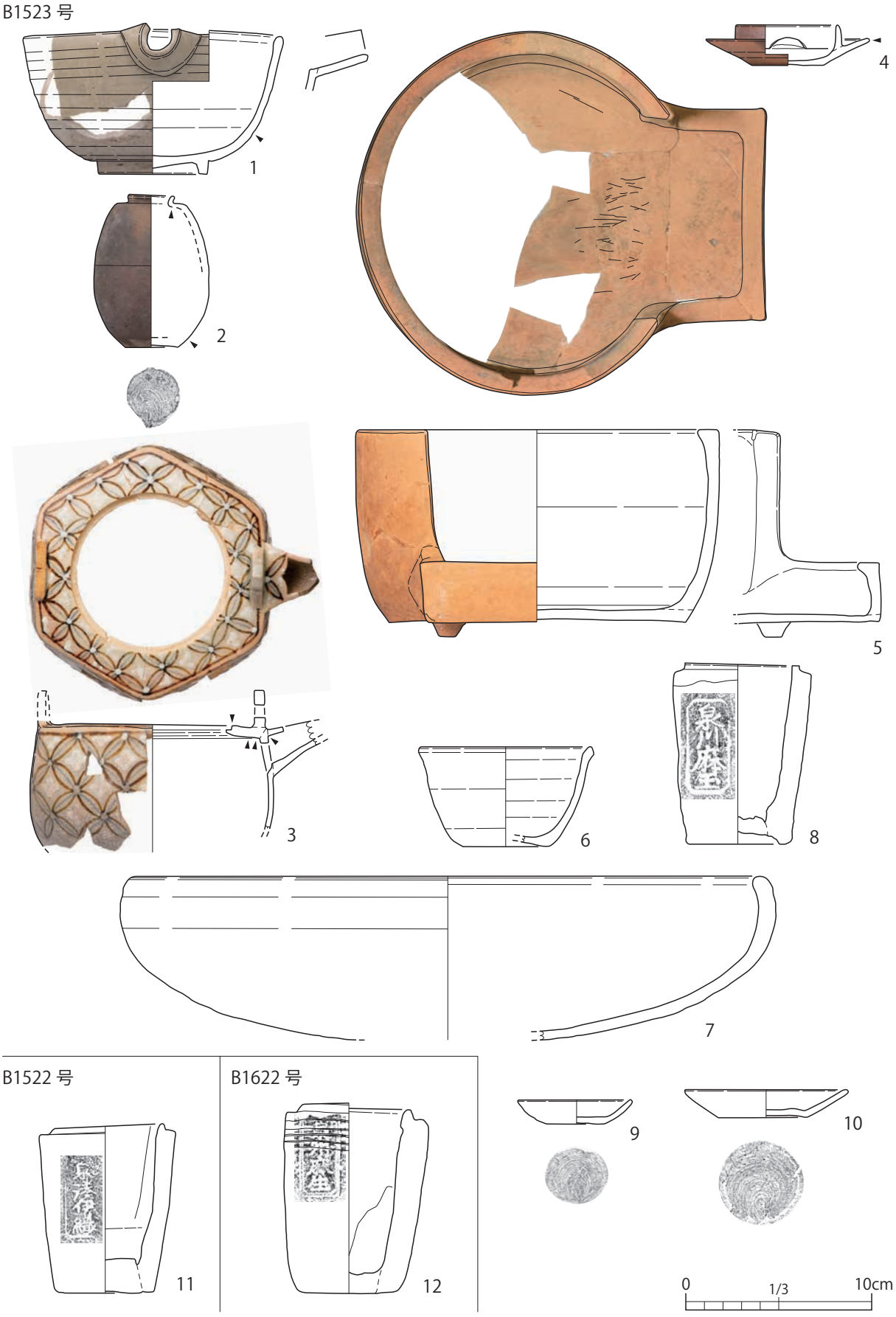
B1505 号



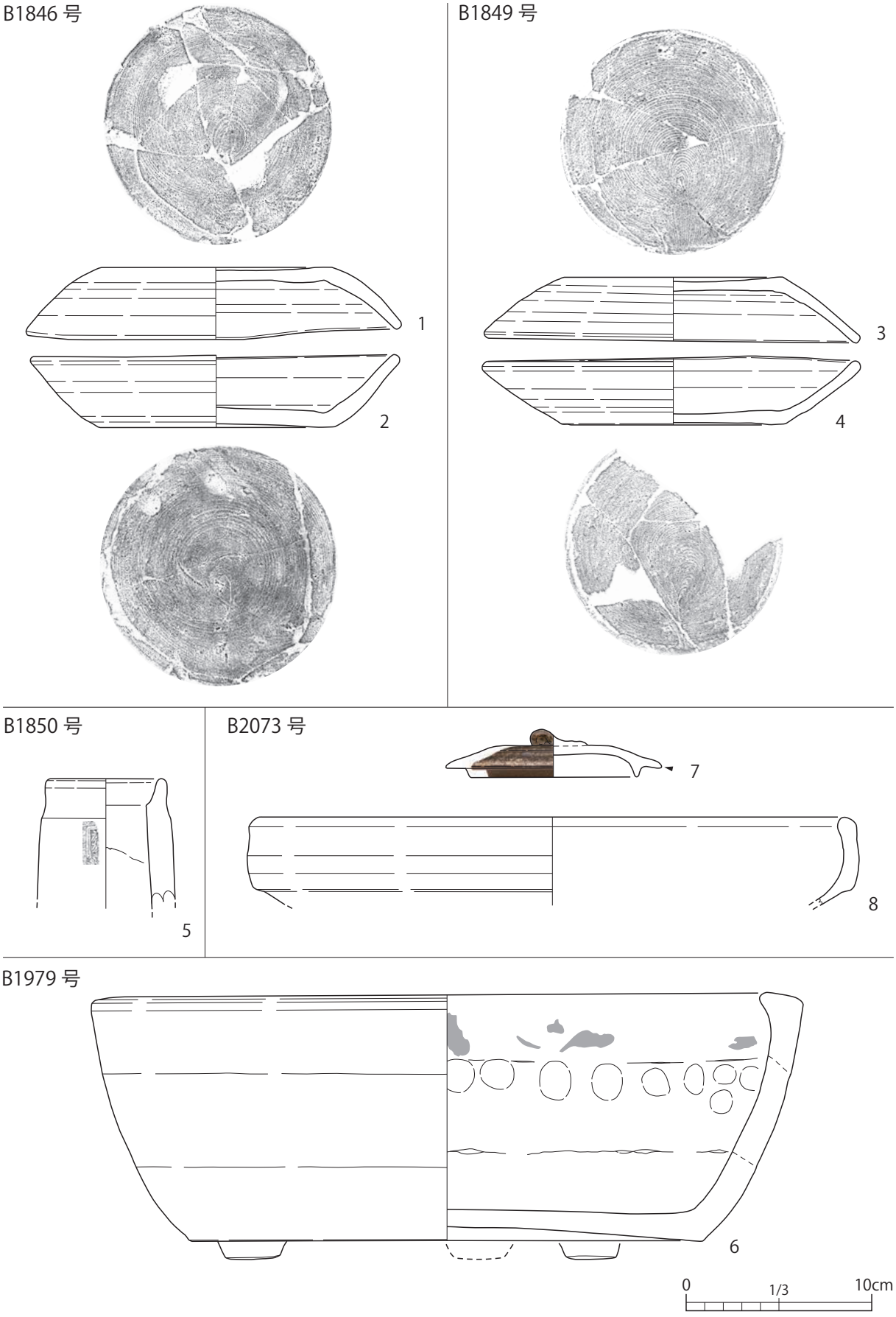
第 48 図　近世の陶磁器・土器（46）（1/3）



第 49 図　近世の陶磁器・土器（47）（1/3）



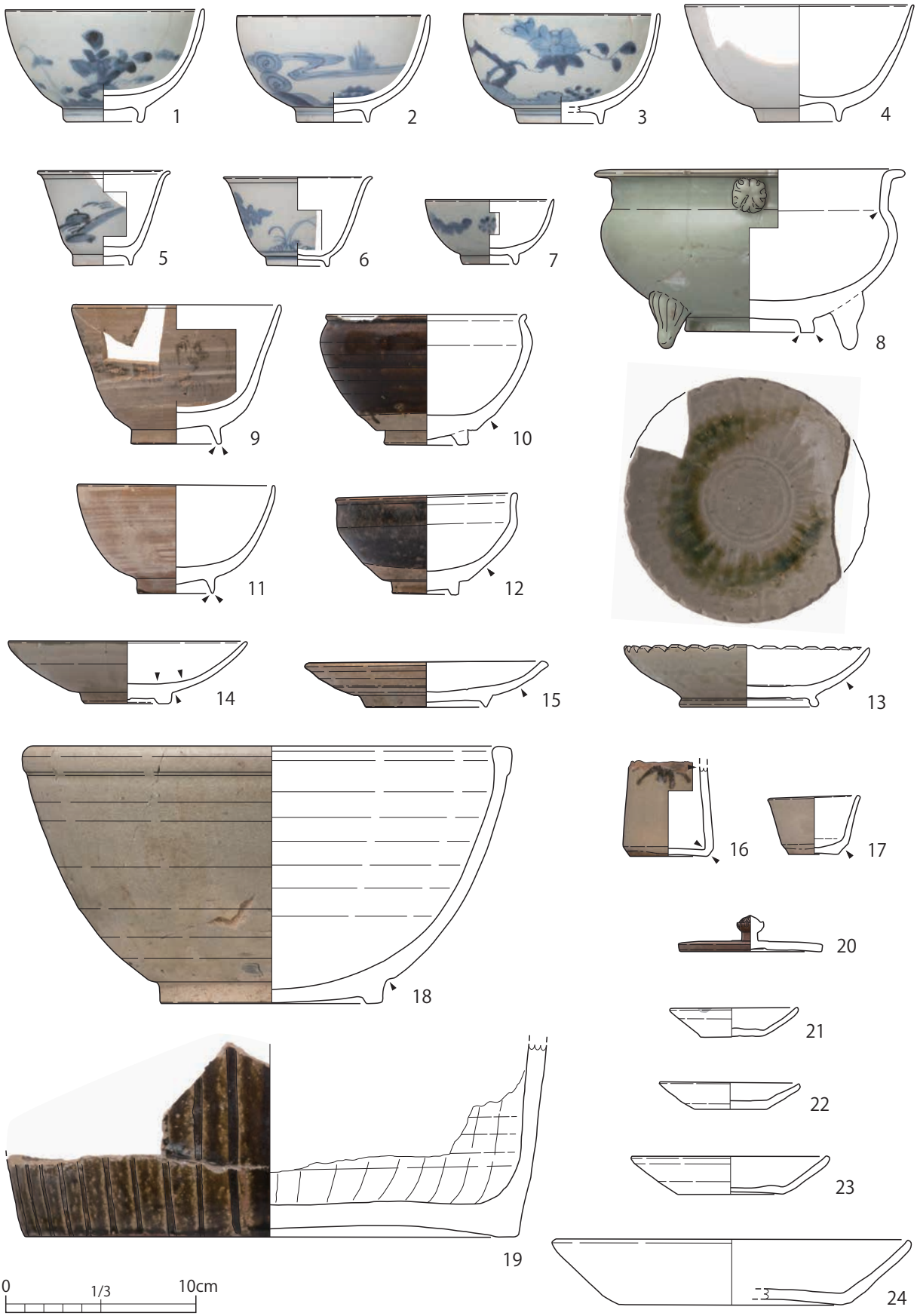
第 50 図　近世の陶磁器・土器（48）（1/3）



第 51 図　近世の陶磁器・土器（49）（1/3）

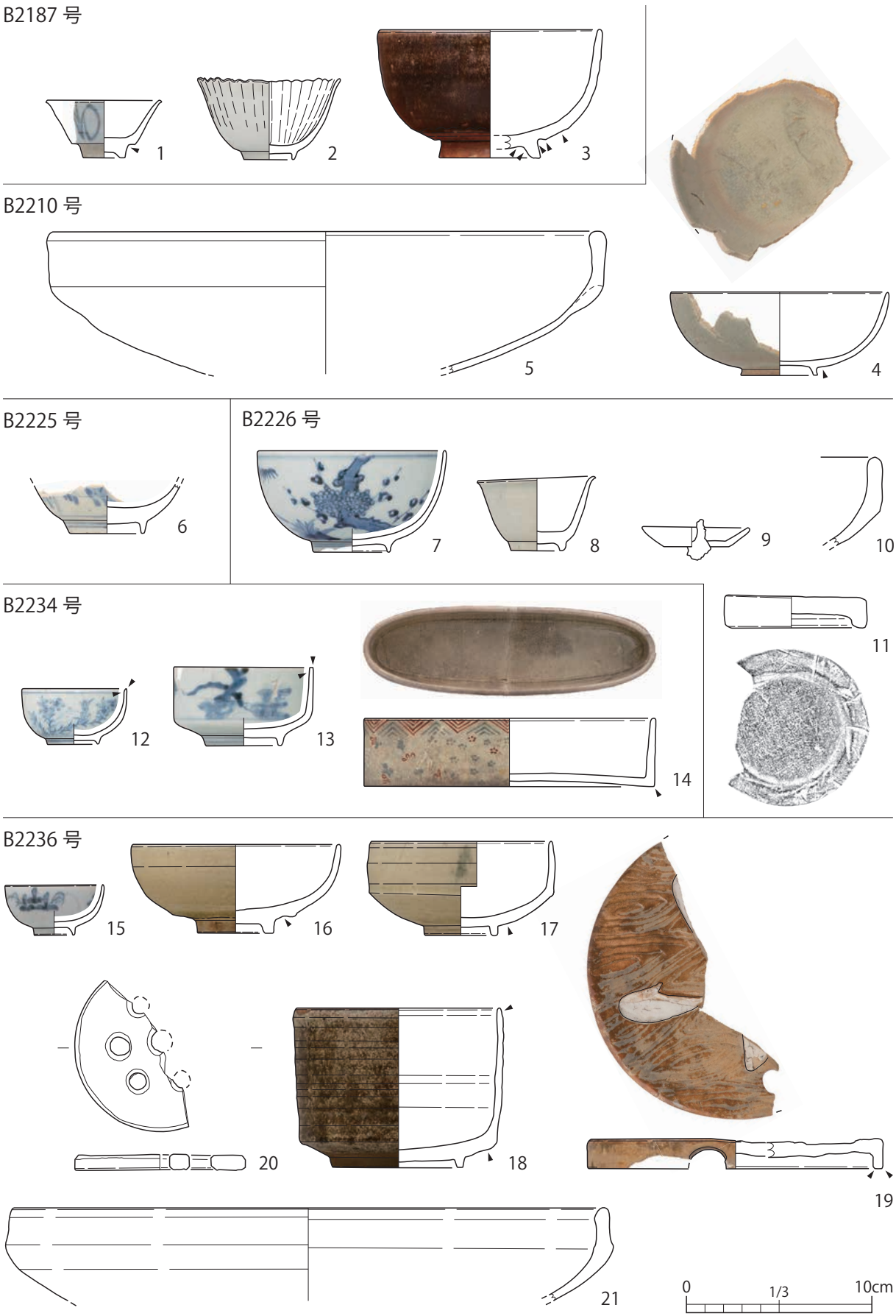
第 52 図　近世の陶磁器・土器（50）（1/3）

B2086 号



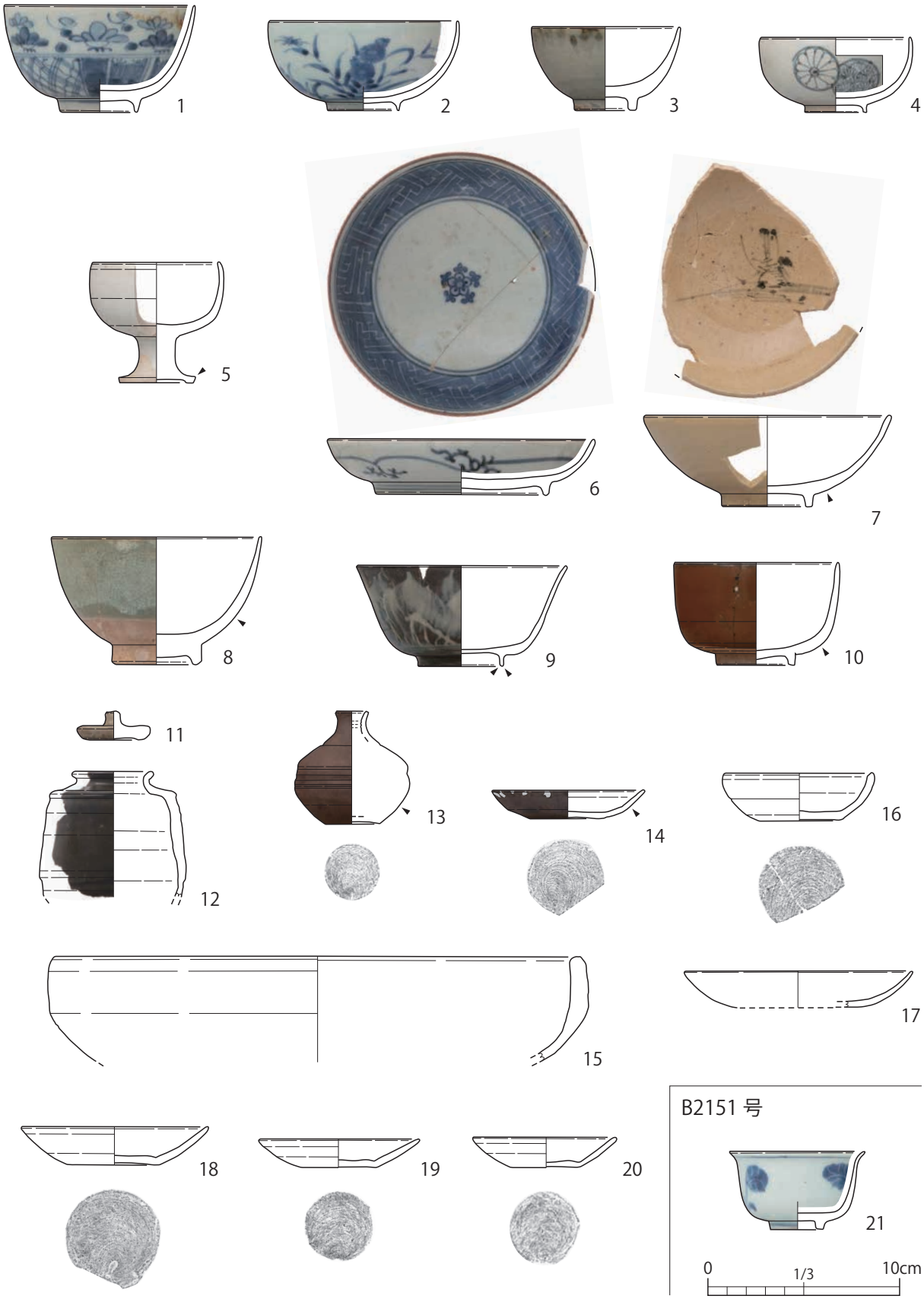
第 53 図　近世の陶磁器・土器（51）（1/3）

第 54 図　近世の陶磁器・土器（52）（1/3）



第 55 図　近世の陶磁器・土器（53）（1/3）

B2223 号



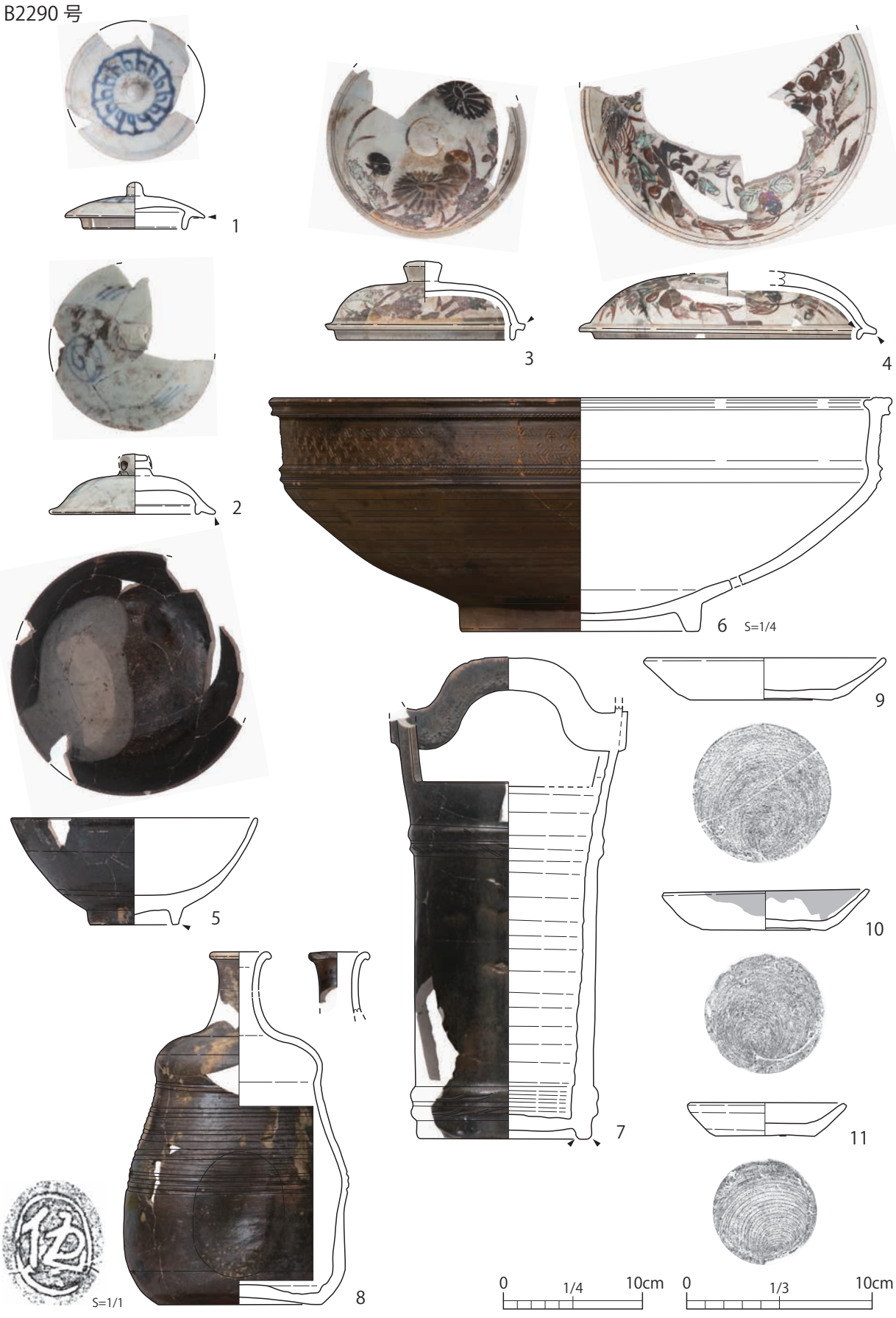
第 56 図　近世の陶磁器・土器（54）（1/3）

第 57 図　近世の陶磁器・土器（55）（1/3）

B2290 号

第 58 図　近世の陶磁器・土器（56）（1/3）

第 59 図　近世の陶磁器・土器（57）（1/3）



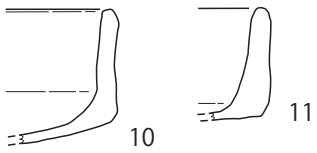
第 60 図　近世の陶磁器・土器（58）（1/3・1/4）

第 61 図　近世の陶磁器・土器（59）（1/3・1/4）

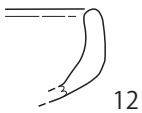
第 62 図　近世の陶磁器・土器（60）（1/3・1/4）

B2311 号

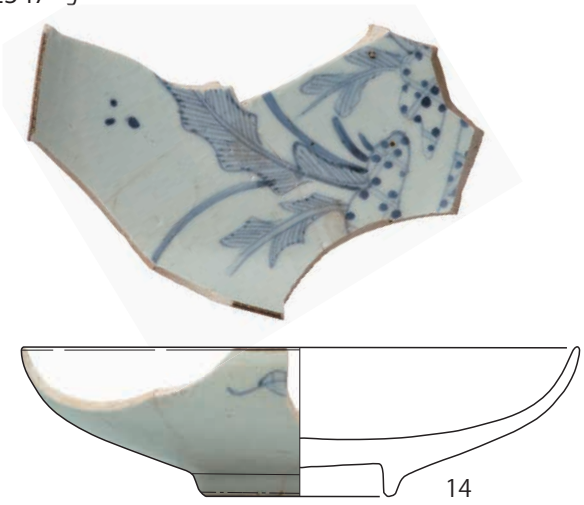
B2314 号



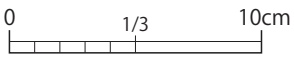
B2334 号



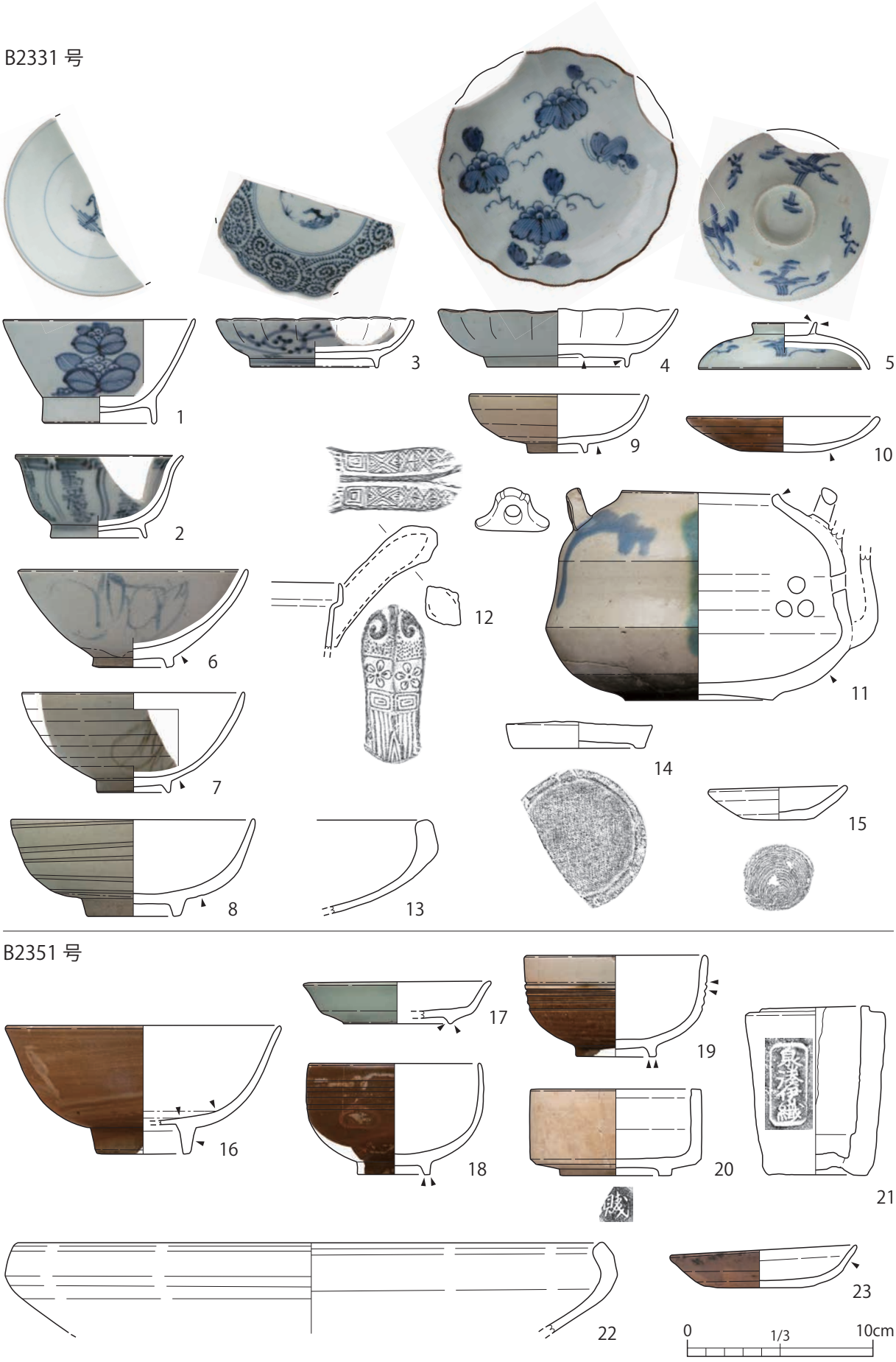
B2347 号



B2346 号



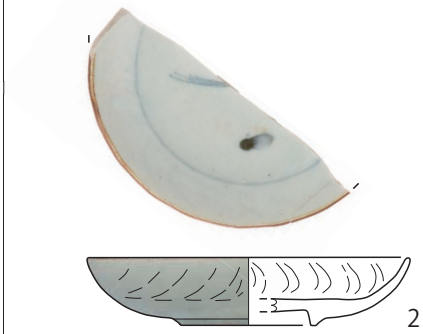
第 63 図　近世の陶磁器・土器（61）（1/3）



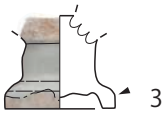
第 64 図　近世の陶磁器・土器（62）（1/3）

B2356 号

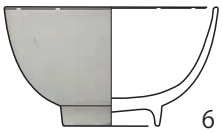
B2368 号

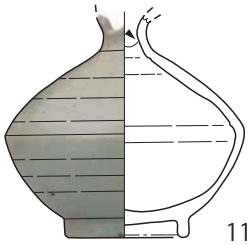


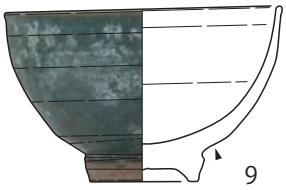
B2377 号

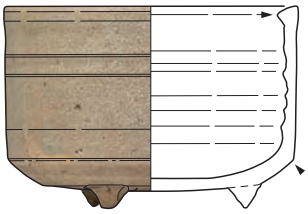


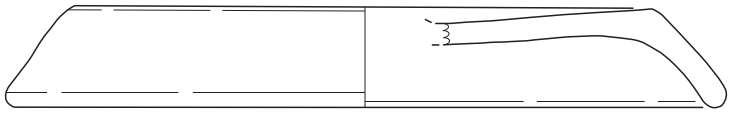
B2382 号

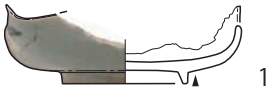




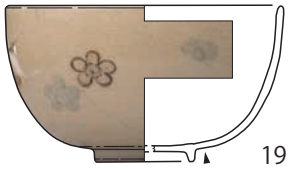


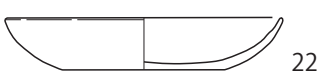


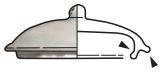


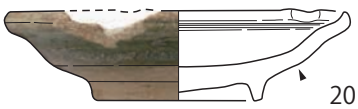


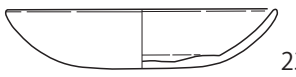
B2383 号

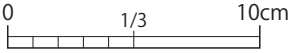










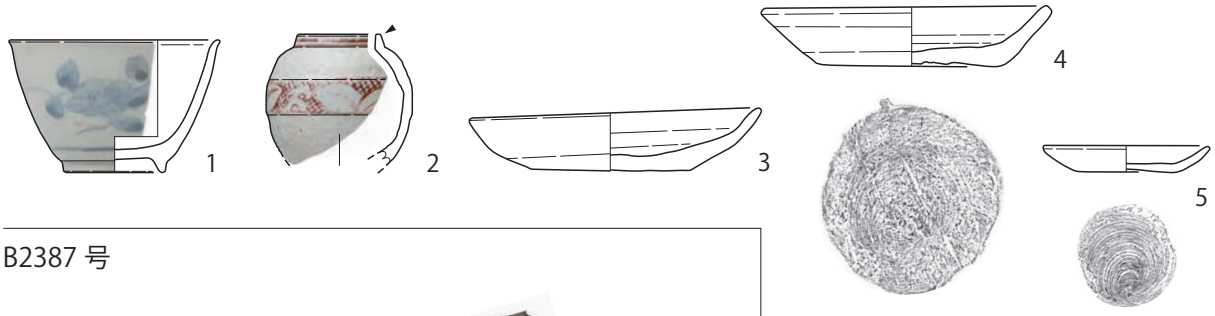


第 65 図　近世の陶磁器・土器（63）（1/3）

B2381 号

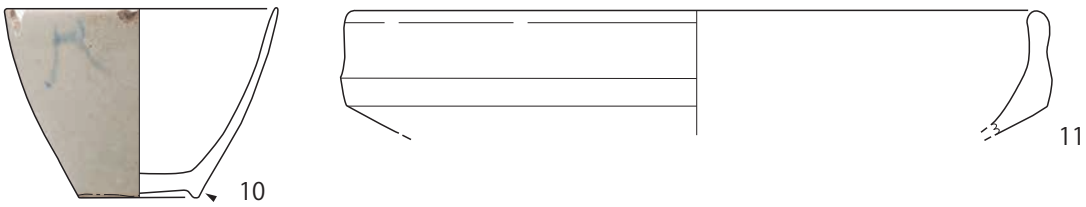
第 66 図　近世の陶磁器・土器（64）（1/3）

B2384 号

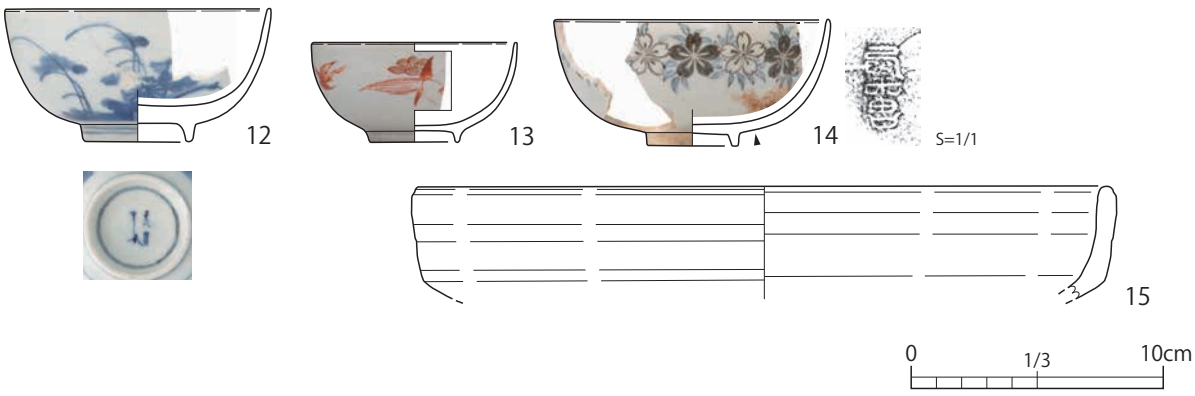


B2387 号

B2389 号

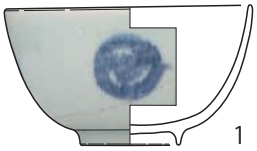


B2392 号

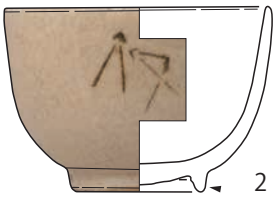


第 67 図　近世の陶磁器・土器（65）（1/3）

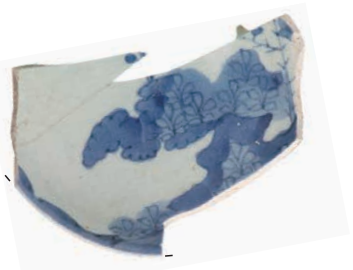
B2394 号

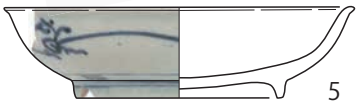


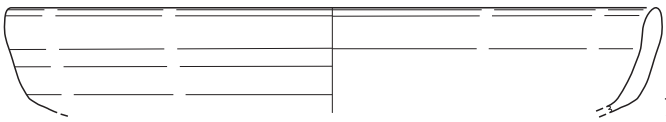
B2397 号

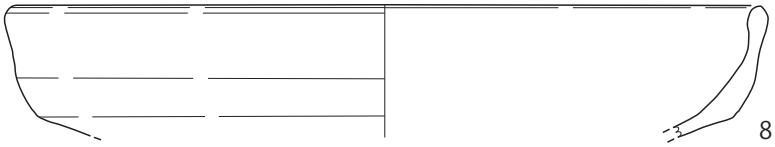


B2399 号

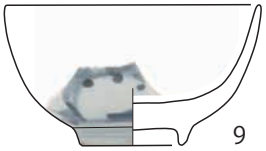


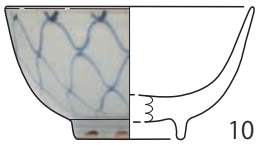


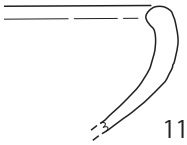


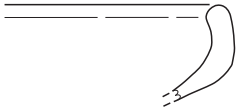


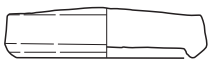
B2480 号

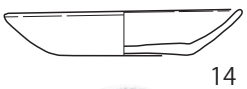




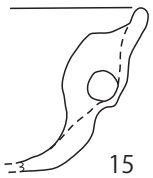




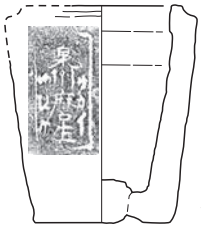




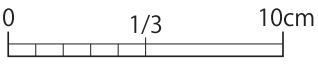
B2414 号



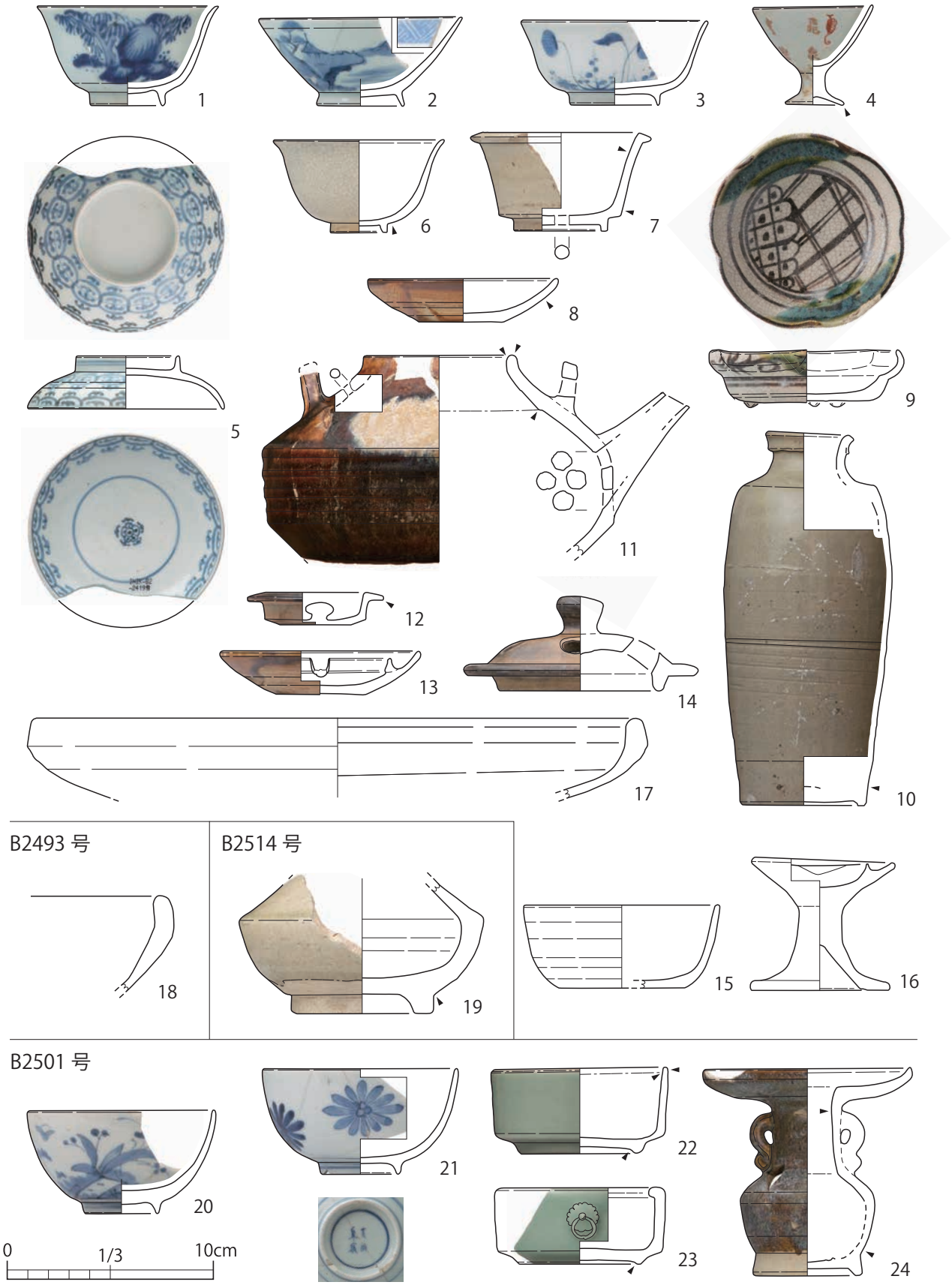
B2427 号



B2488 号

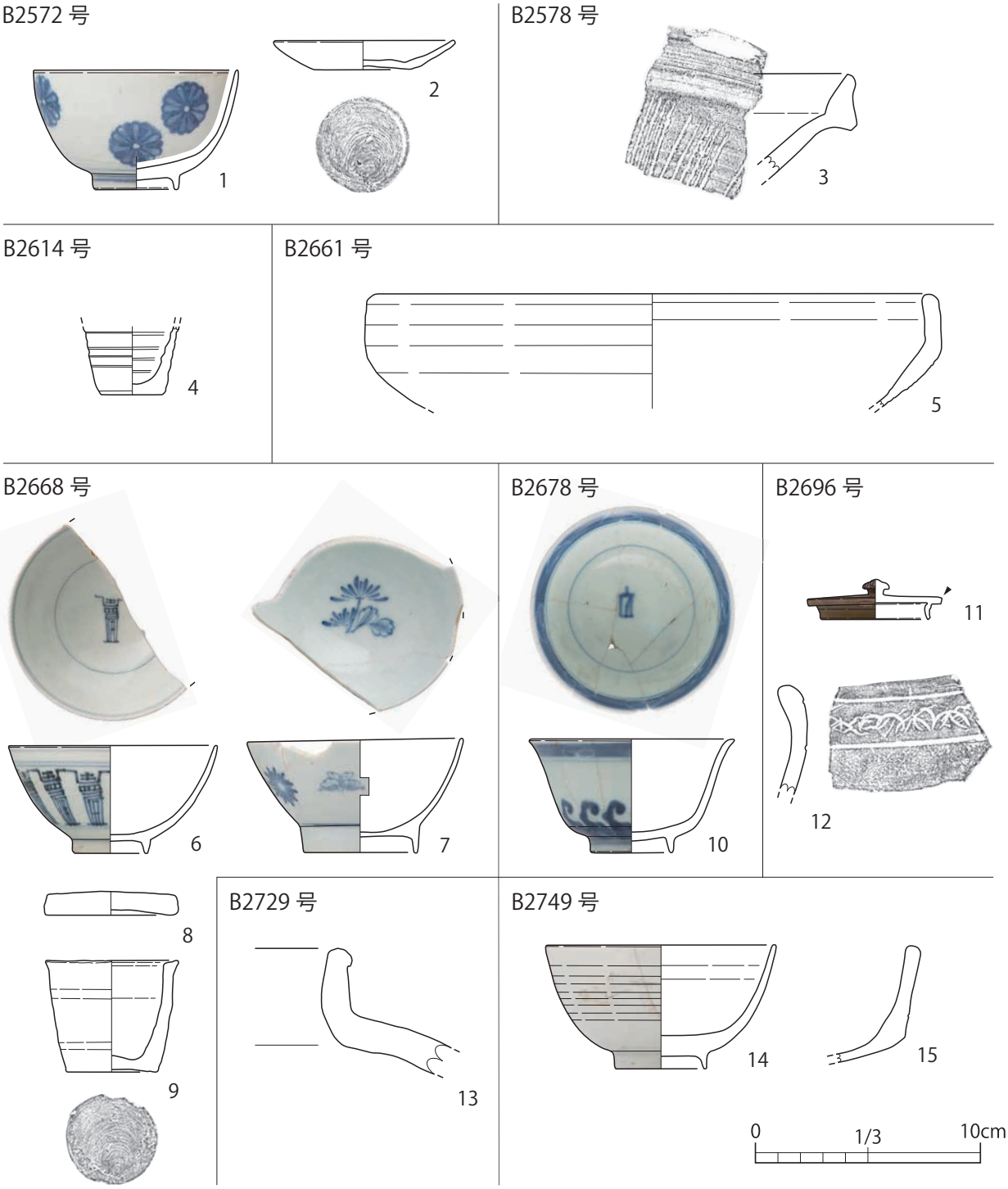


第 68 図　近世の陶磁器・土器（66）（1/3）



第 69 図　近世の陶磁器・土器（67）（1/3）

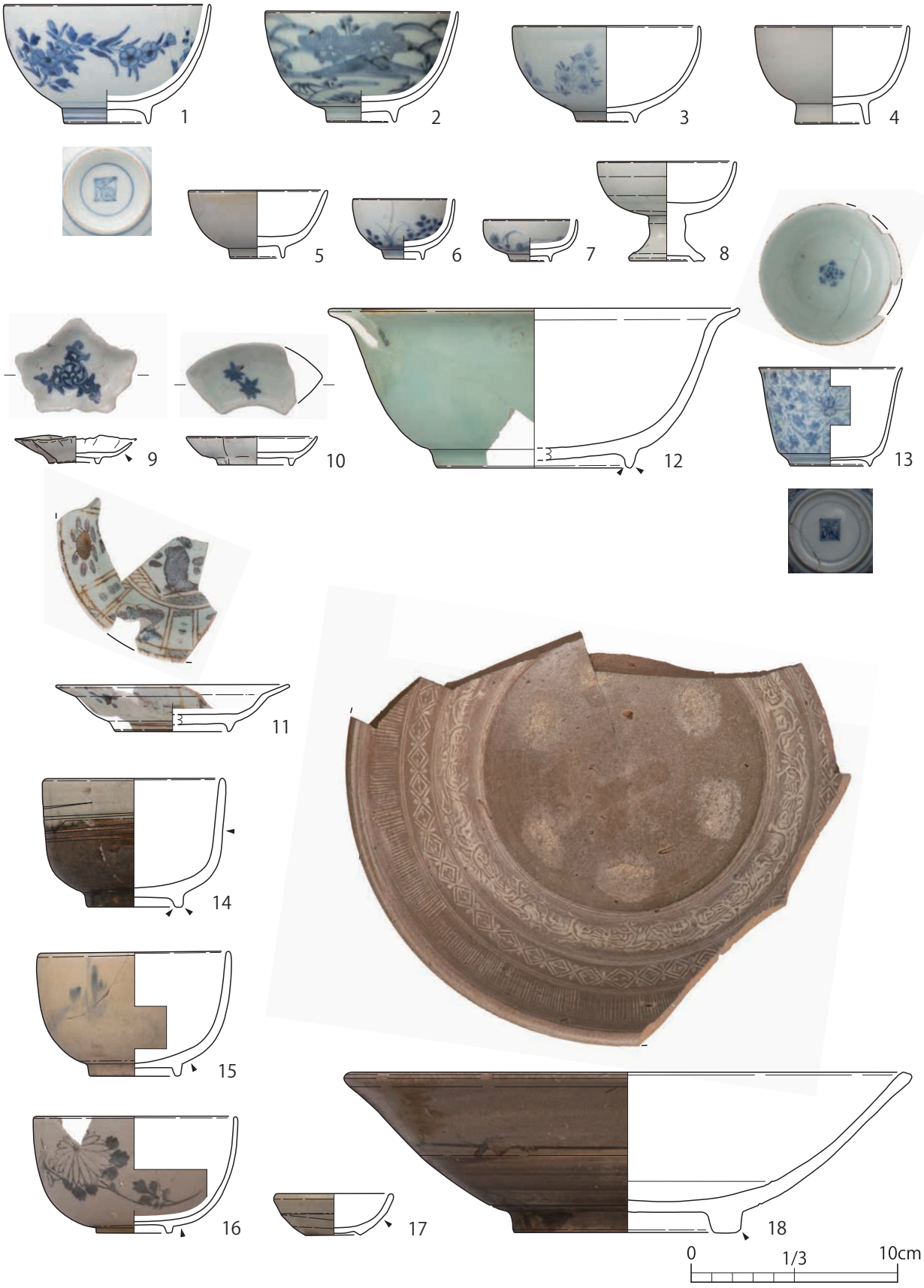
第 70 図　近世の陶磁器・土器（68）（1/3）



第 71 図　近世の陶磁器・土器（69）（1/3）

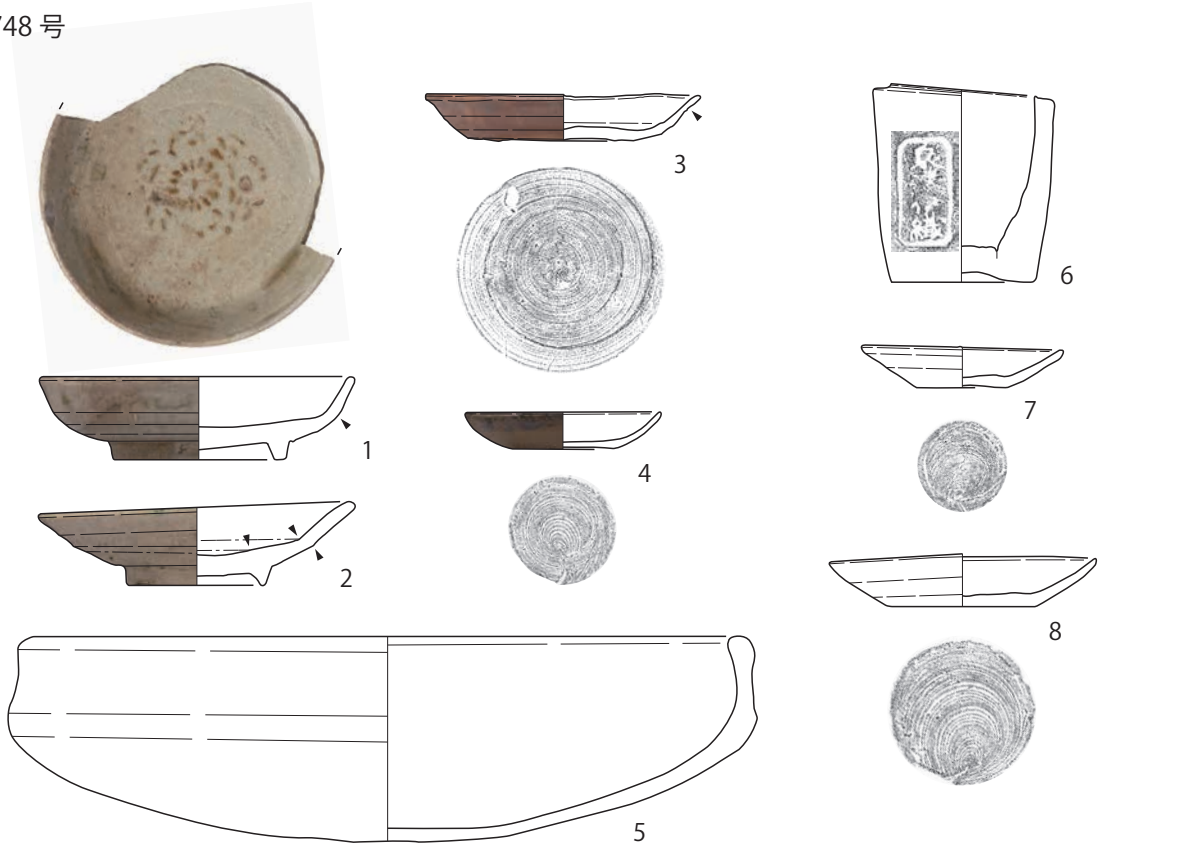
第 72 図　近世の陶磁器・土器（70）（1/3）

B2748 号

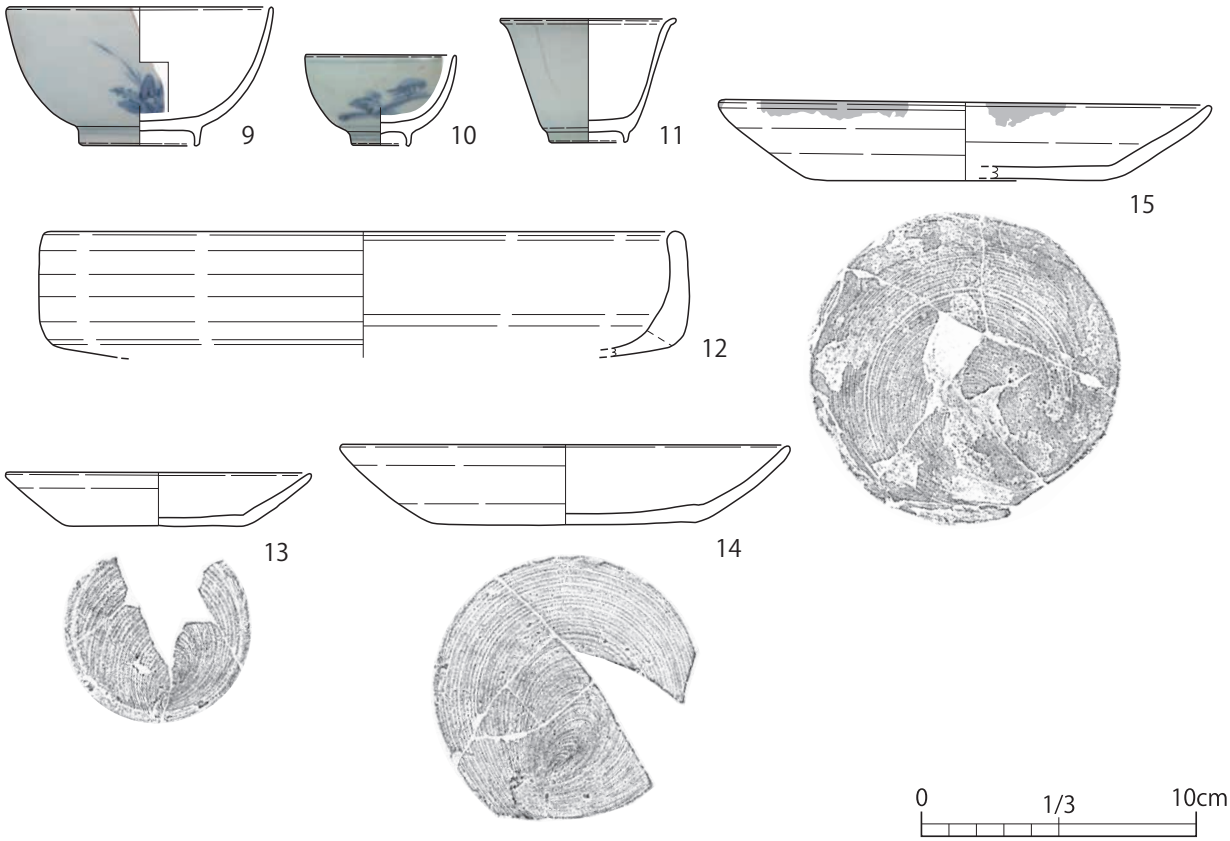


第 73 図　近世の陶磁器・土器（71）（1/3）

B2748 号

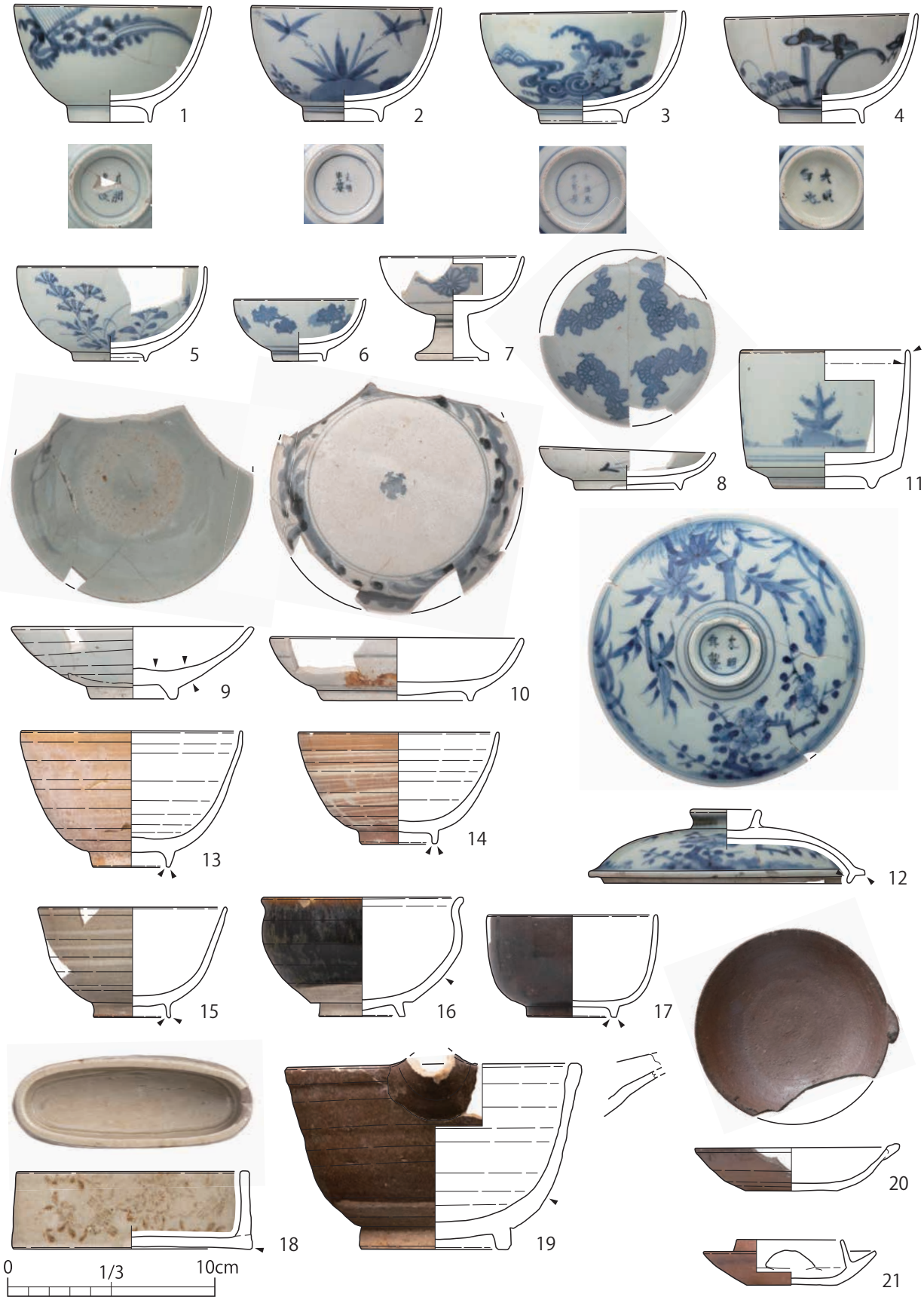


B2761 号



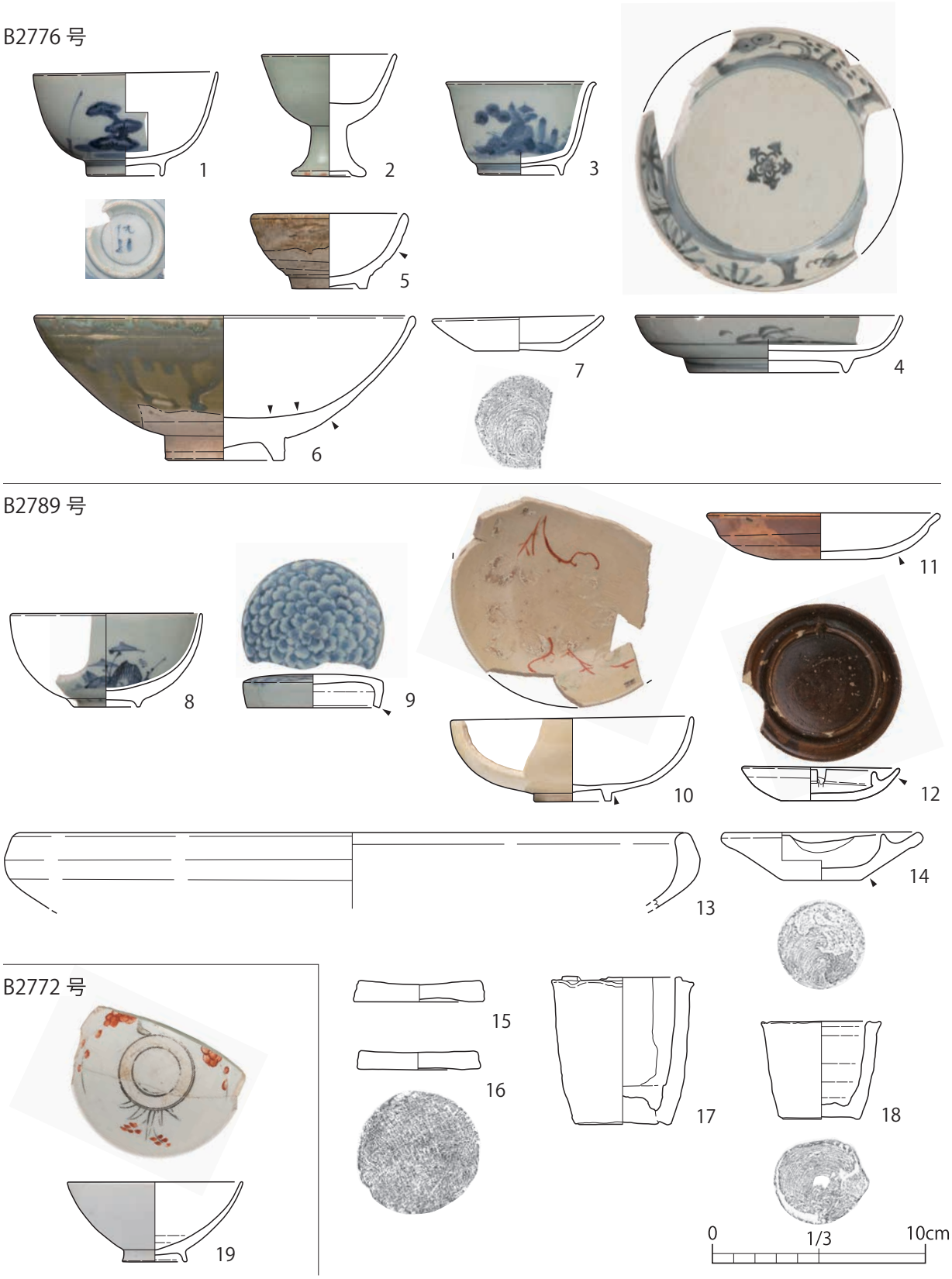
第 74 図　近世の陶磁器・土器（72）（1/3）

B2769 号

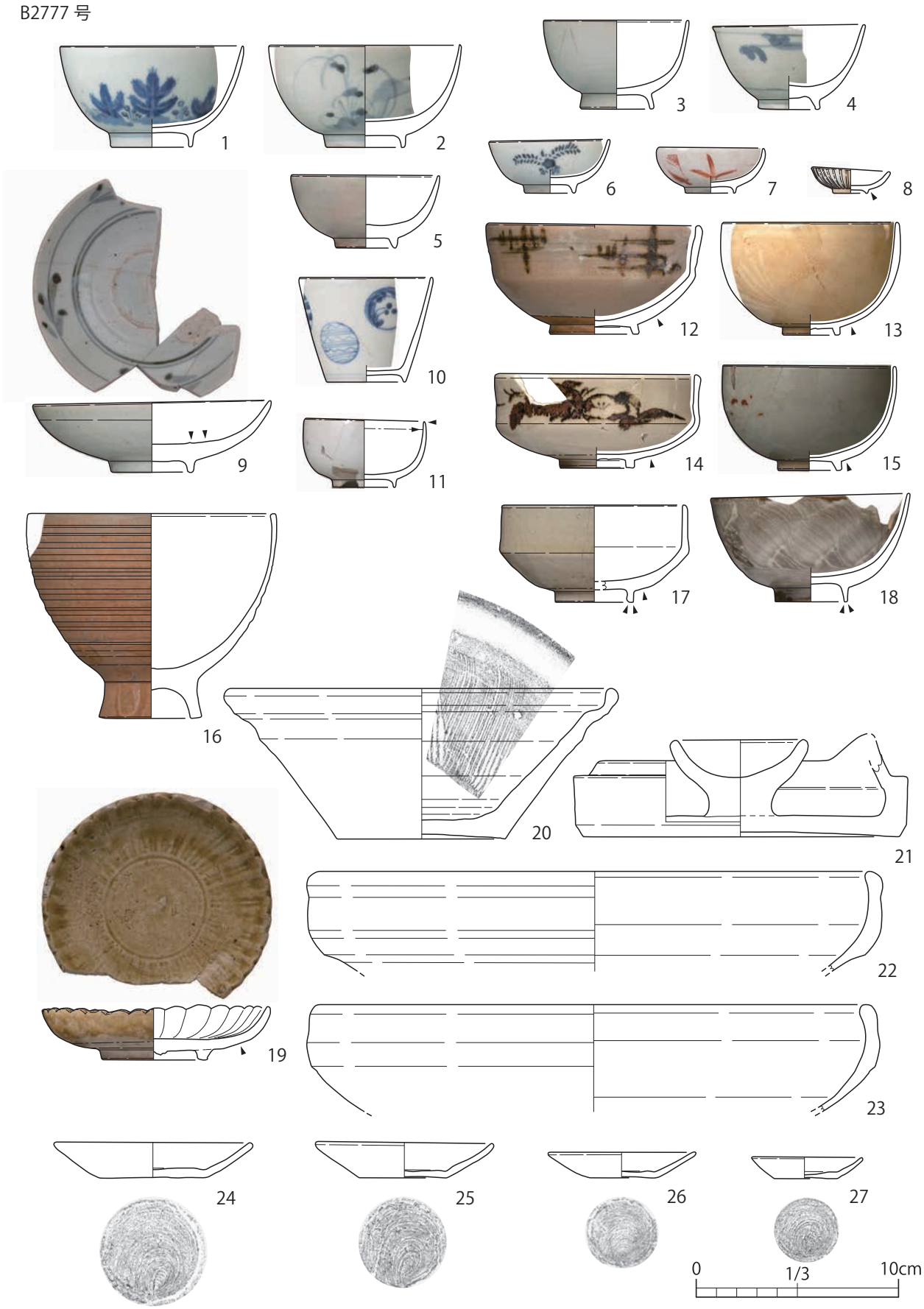


第 75 図　近世の陶磁器・土器（73）（1/3）

第 76 図　近世の陶磁器・土器（74）（1/3・1/4）



第 77 図　近世の陶磁器・土器（75）（1/3）

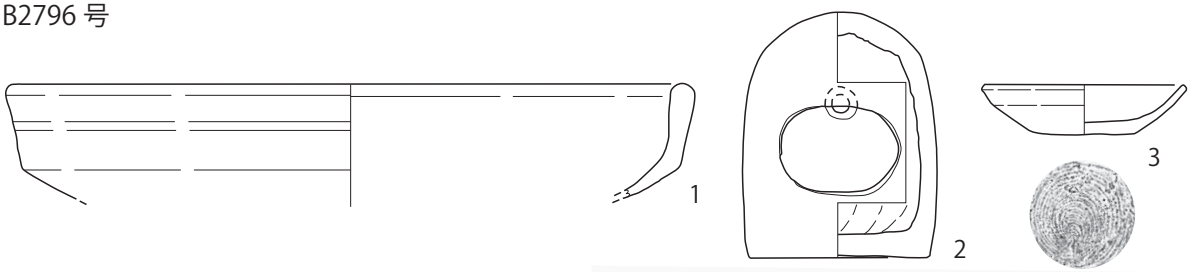


第 78 図　近世の陶磁器・土器（76）（1/3）

B2796 号

第 79 図　近世の陶磁器・土器（77）（1/3）

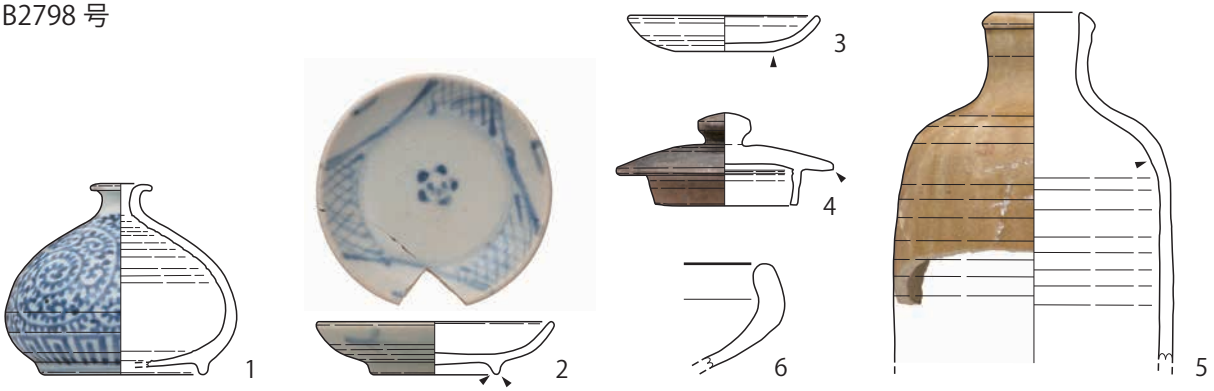
B2796 号



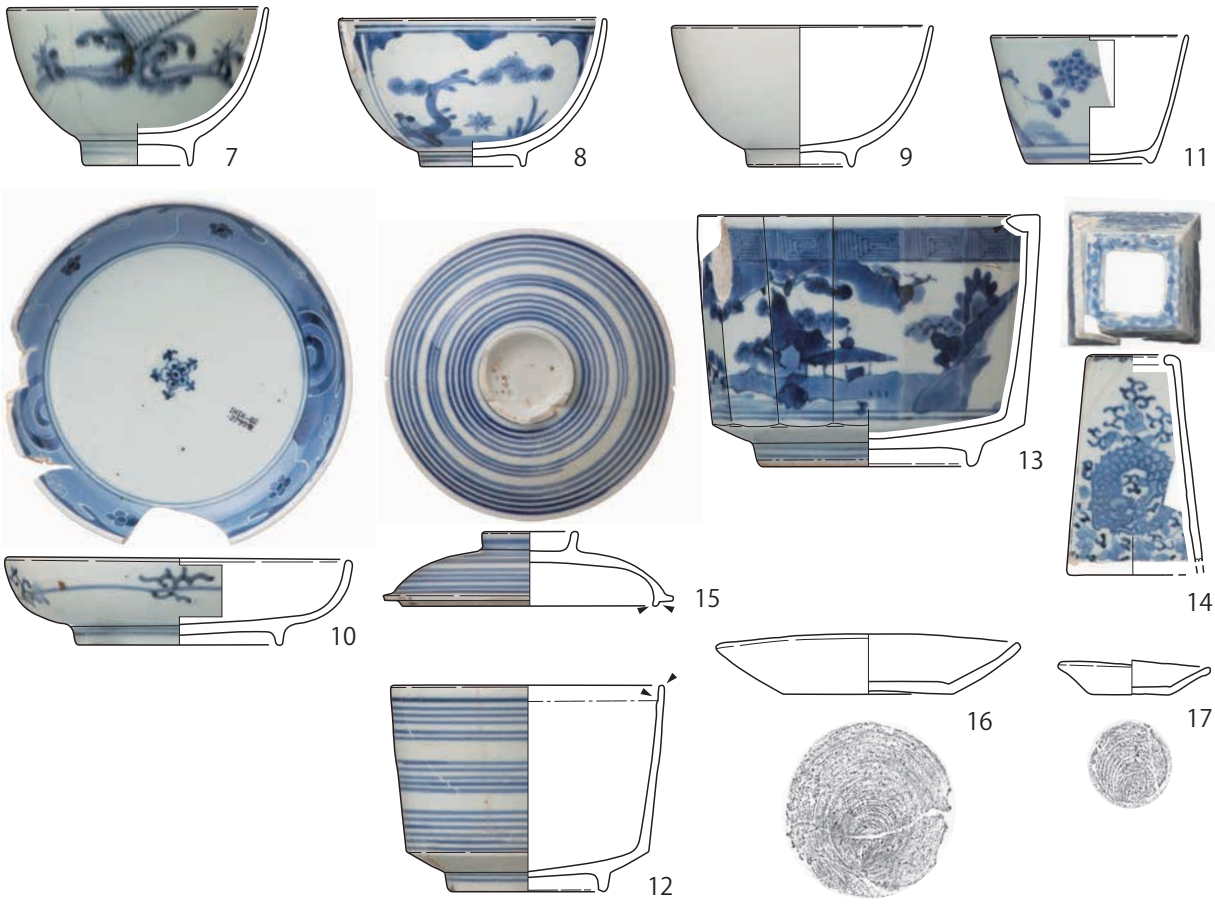
B2806 号

第 80 図　近世の陶磁器・土器（78）（1/3・1/4・1/6）

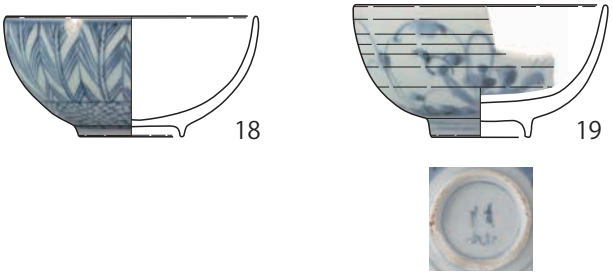
B2798 号

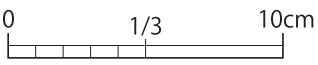


B2799 号

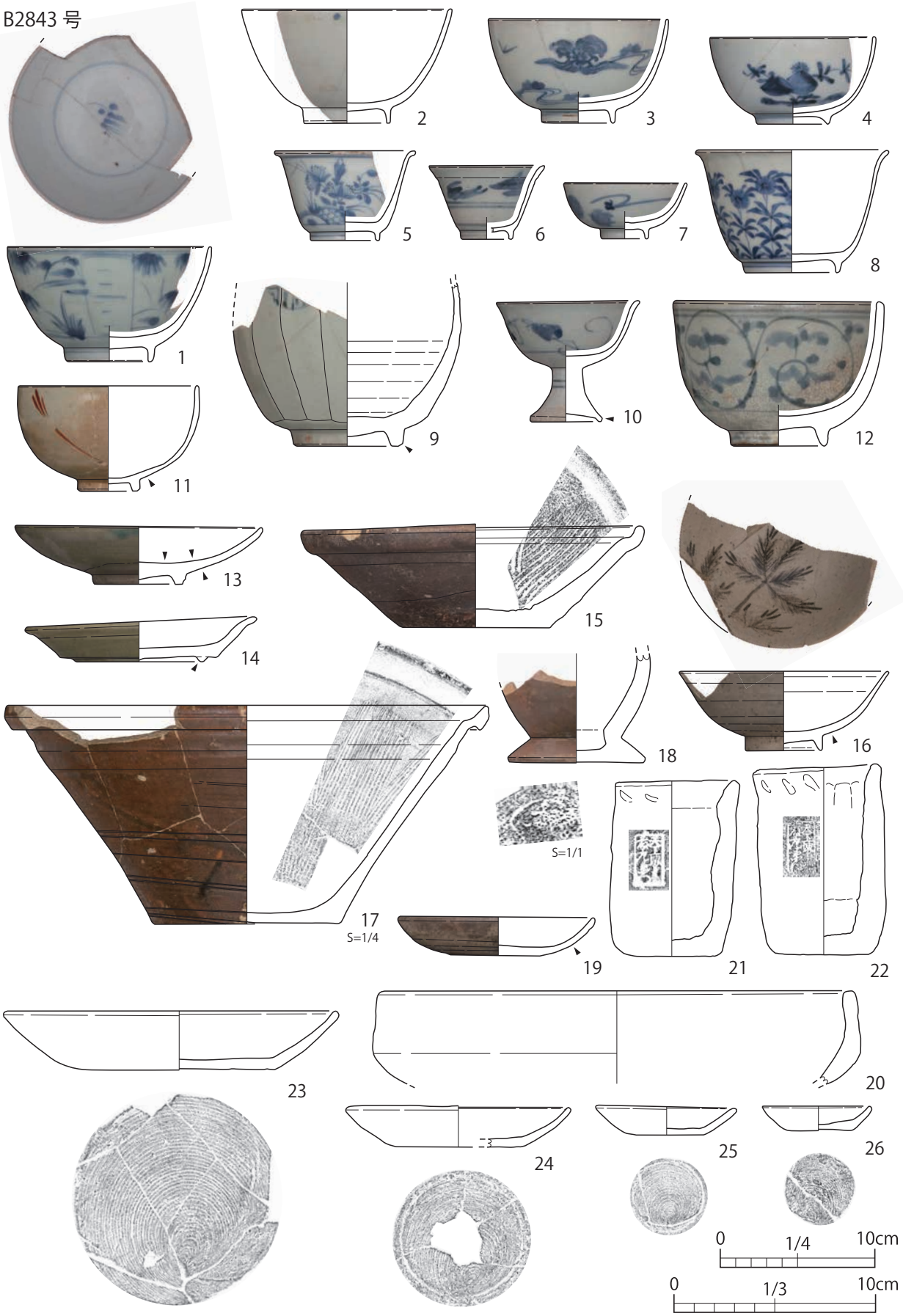


B2805 号





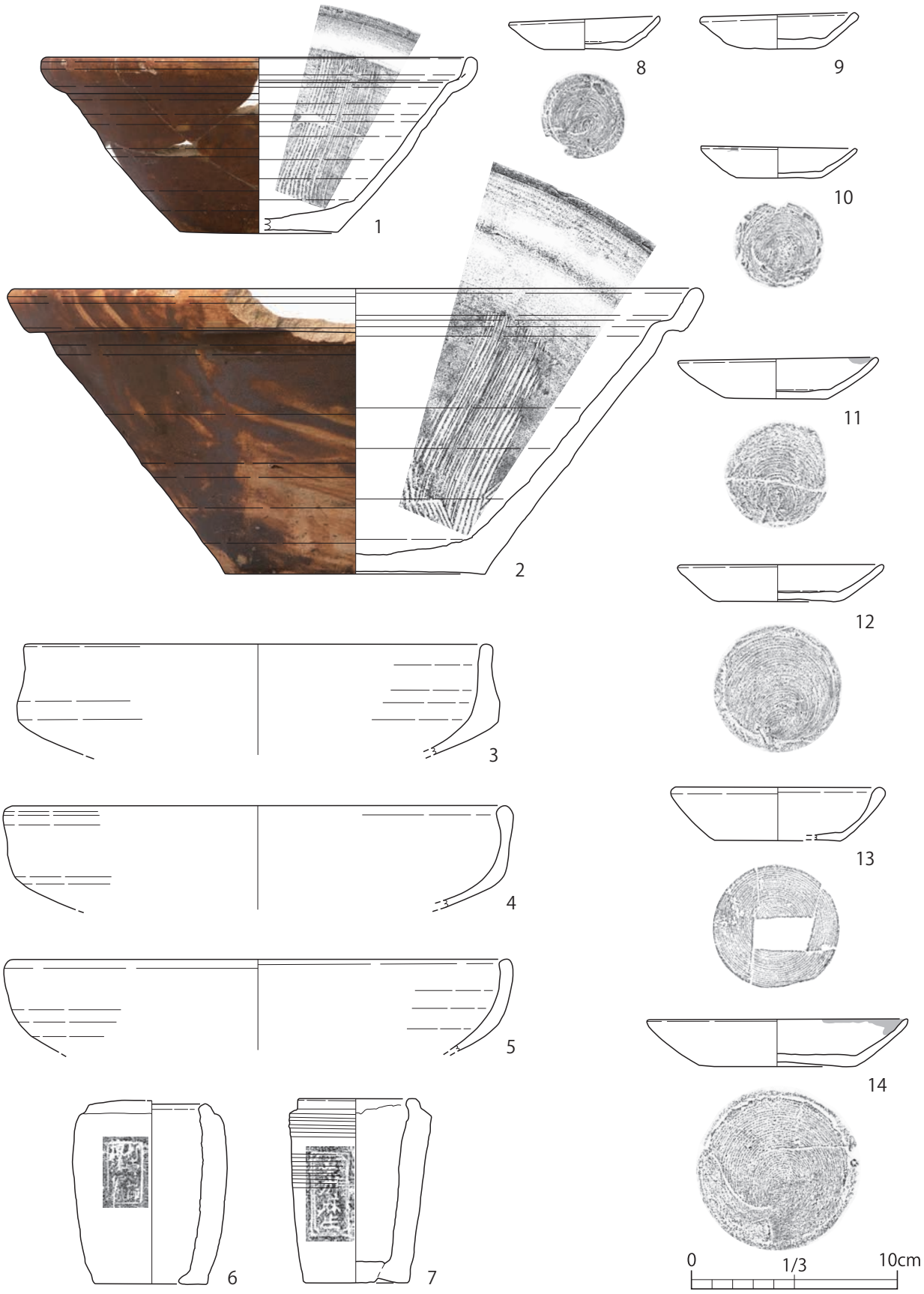
第 81 図　近世の陶磁器・土器（79）（1/3）



第 82 図　近世の陶磁器・土器（80）（1/3・1/4）

第 83 図　近世の陶磁器・土器（81）（1/3）

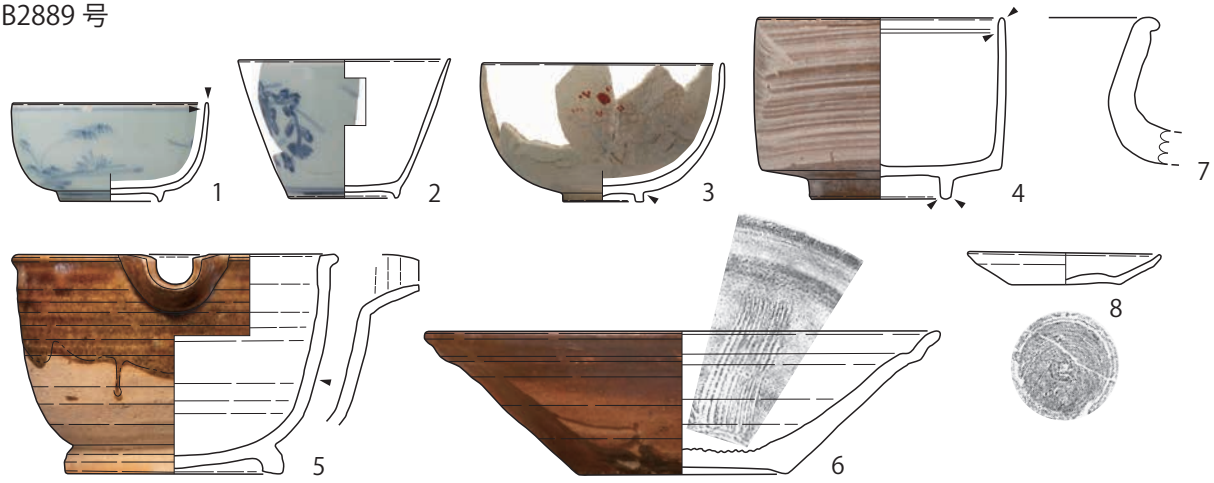
B2847 号



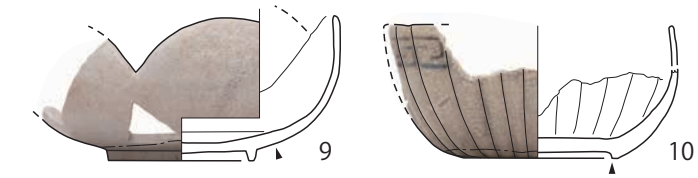
第 84 図　近世の陶磁器・土器（82）（1/3）

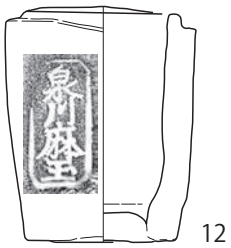
第 85 図　近世の陶磁器・土器（83）（1/3）

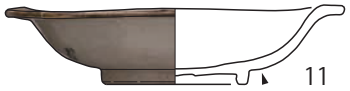
B2889 号



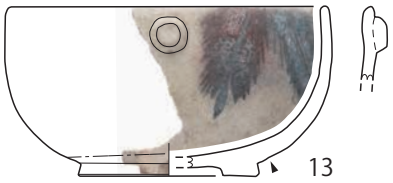
B3023 号上層



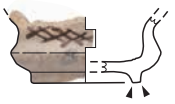


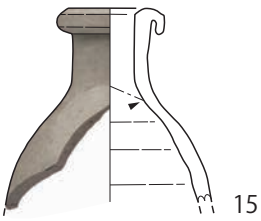


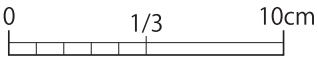
B3023 号下層



B3024 号





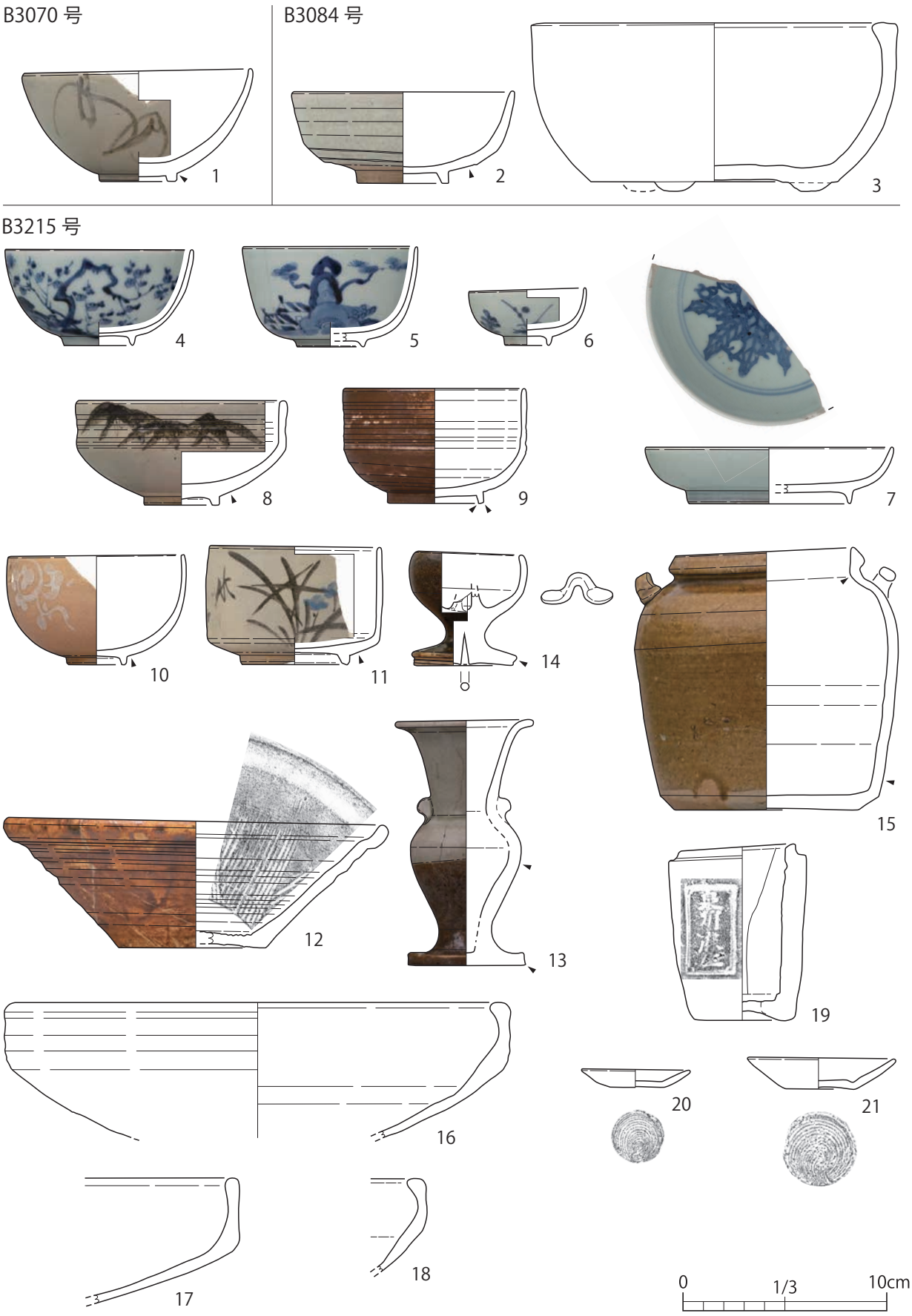


第 86 図　近世の陶磁器・土器（84）（1/3）

第 87 図　近世の陶磁器・土器（85）（1/3）

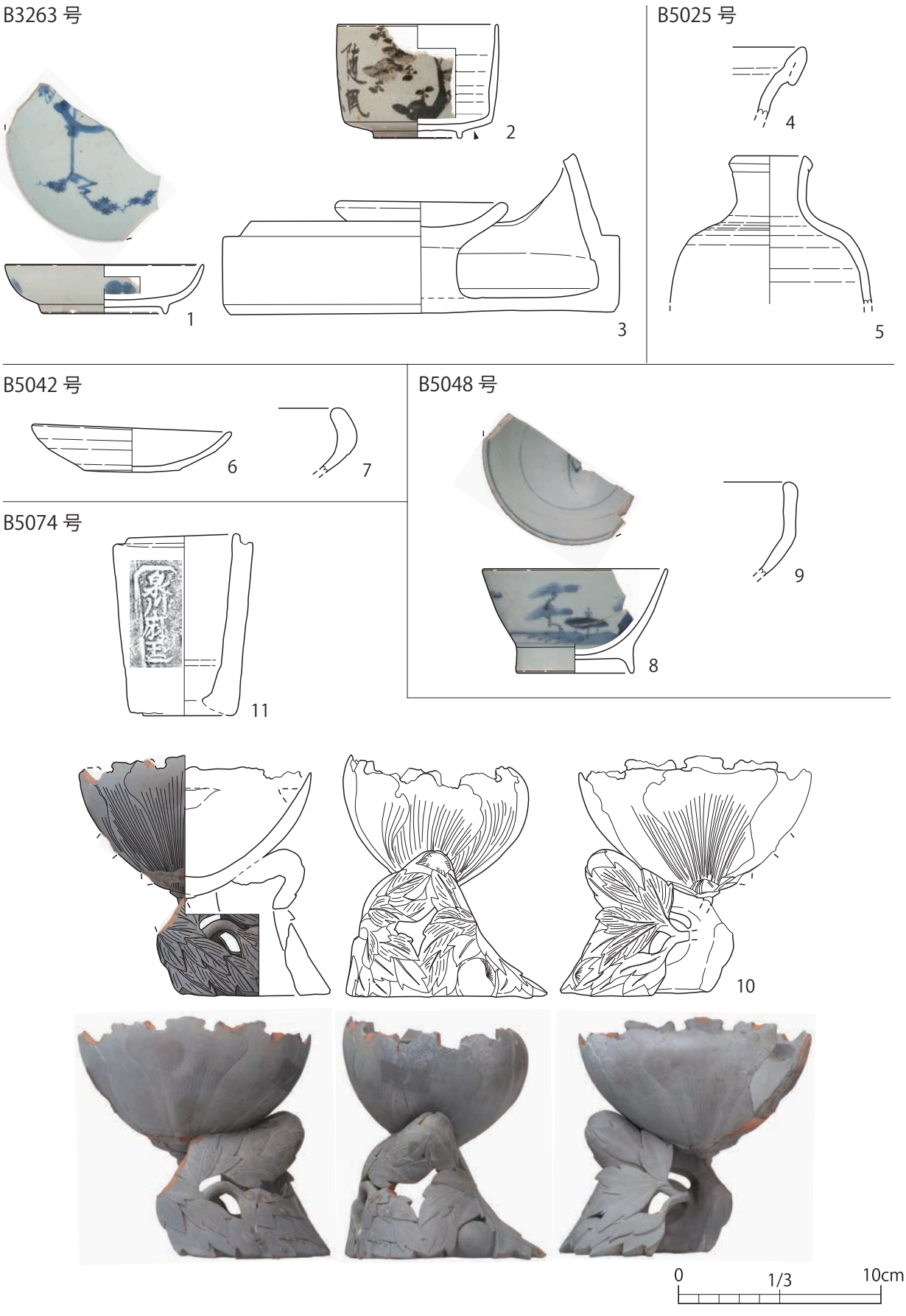
第 88 図　近世の陶磁器・土器（86）（1/3）

第 89 図　近世の陶磁器・土器（87）（1/3）

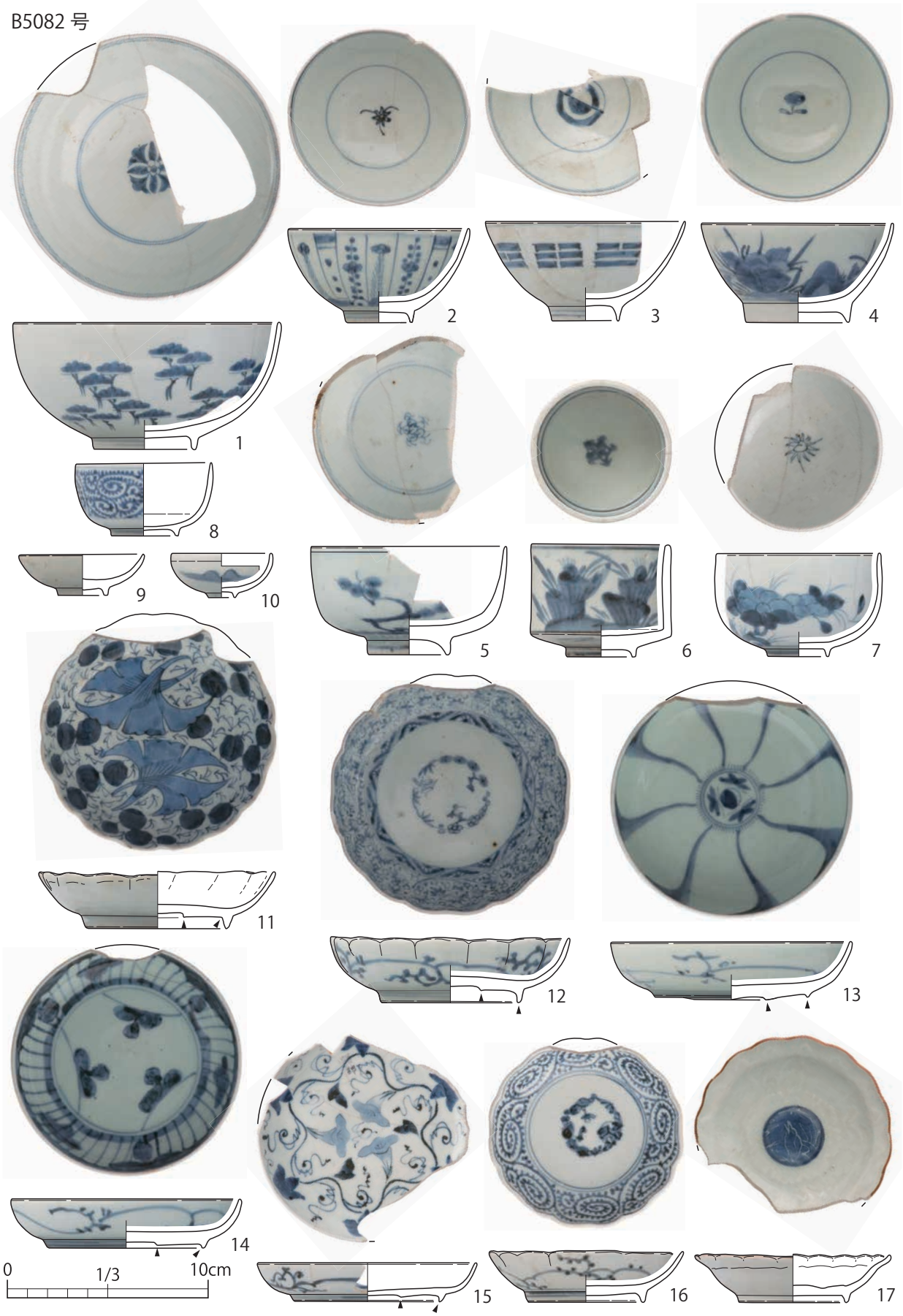


第 90 図　近世の陶磁器・土器（88）（1/3）

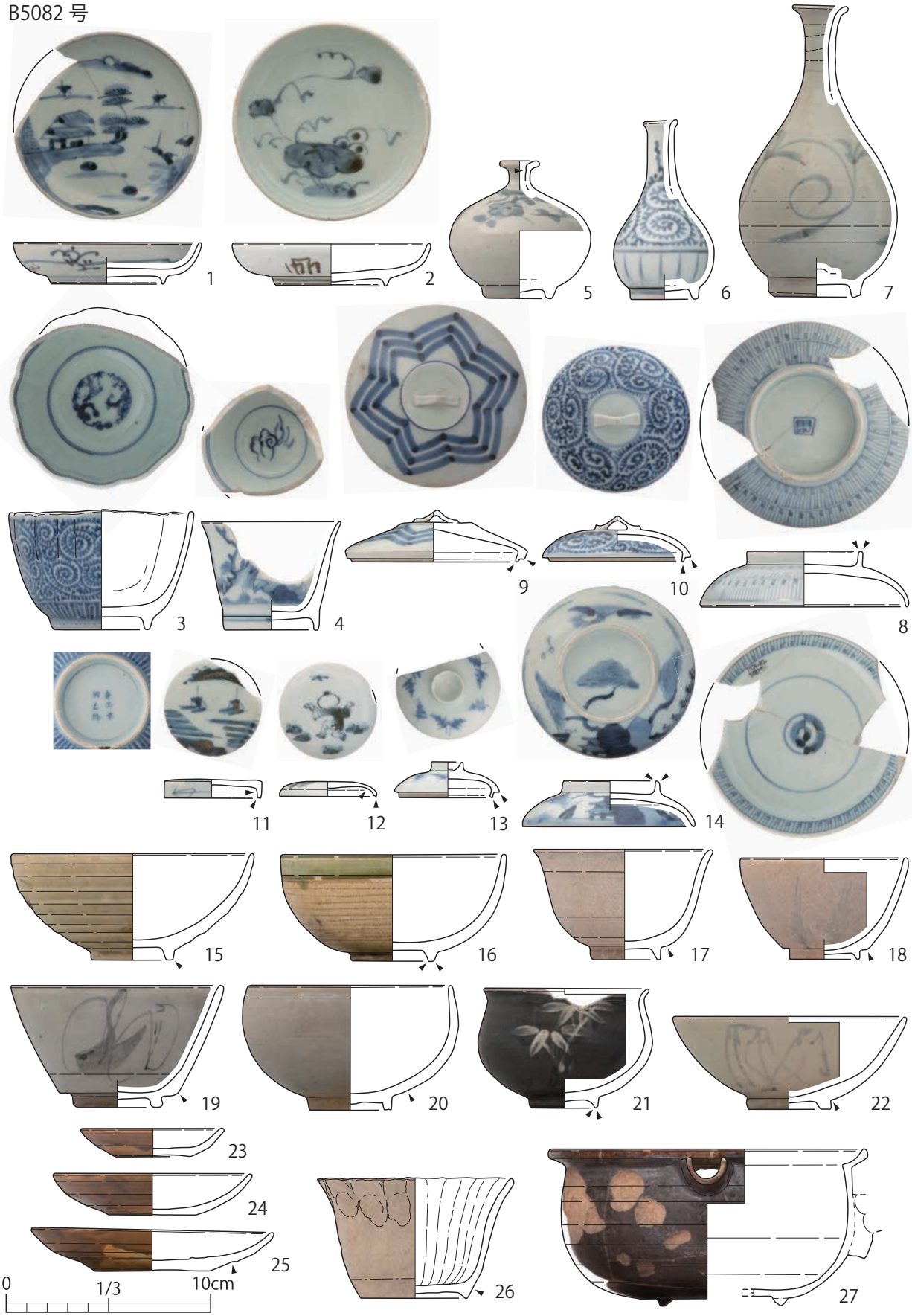
第 91 図　近世の陶磁器・土器（89）（1/3・1/4）



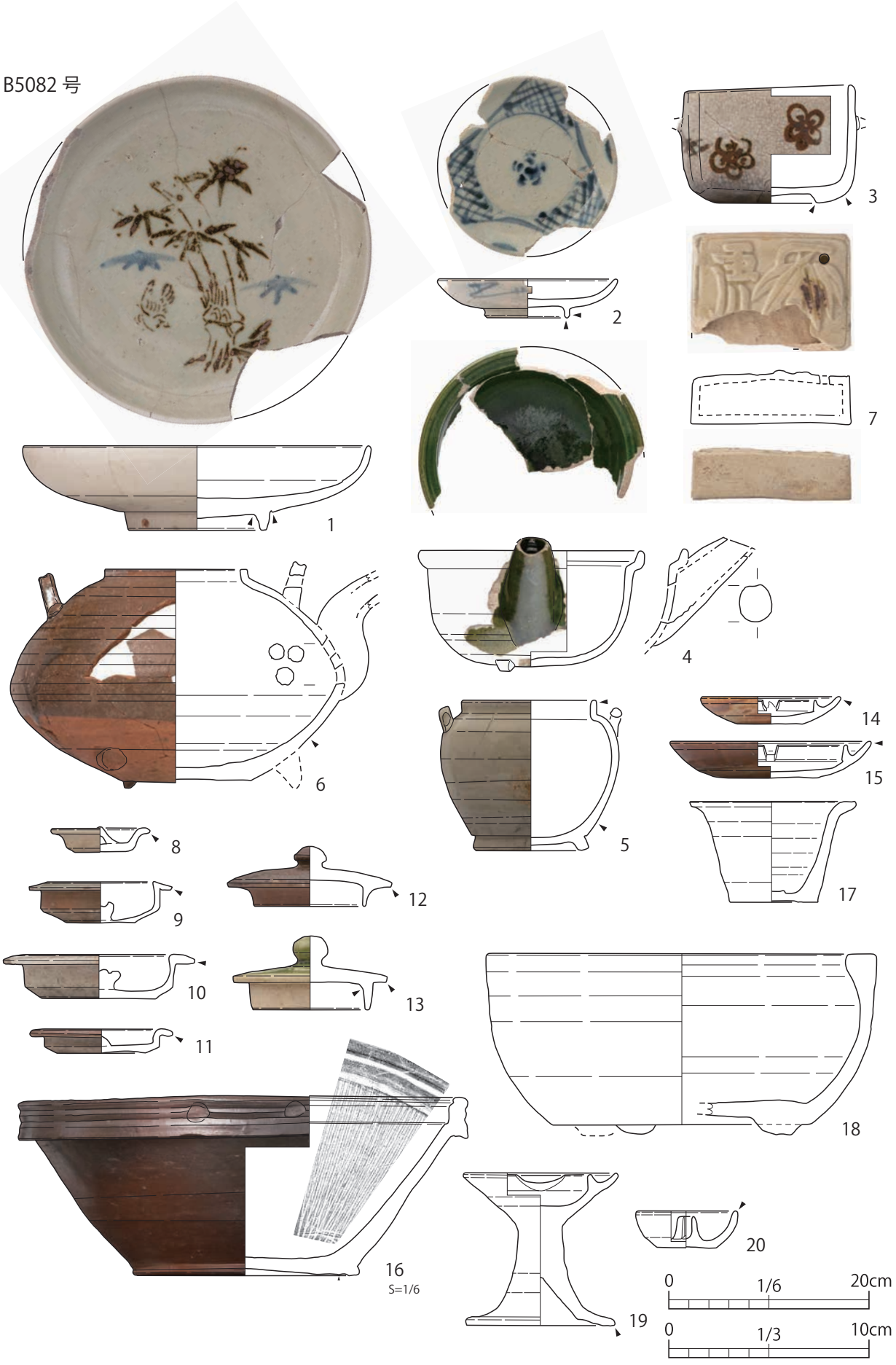
第 92 図　近世の陶磁器・土器（90）（1/3）



第 93 図　近世の陶磁器・土器（91）（1/3）

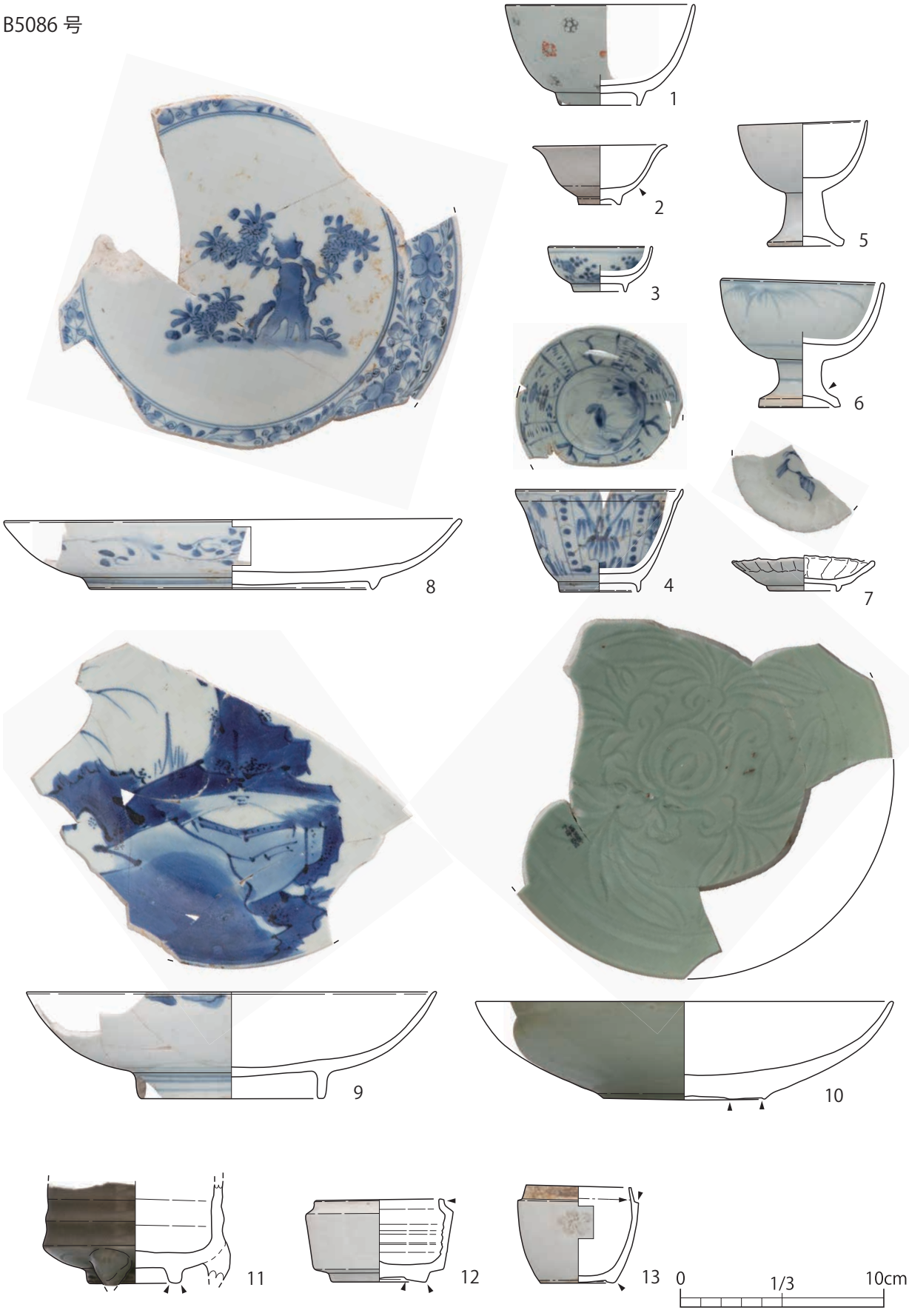


第 94 図　近世の陶磁器・土器（92）（1/3）

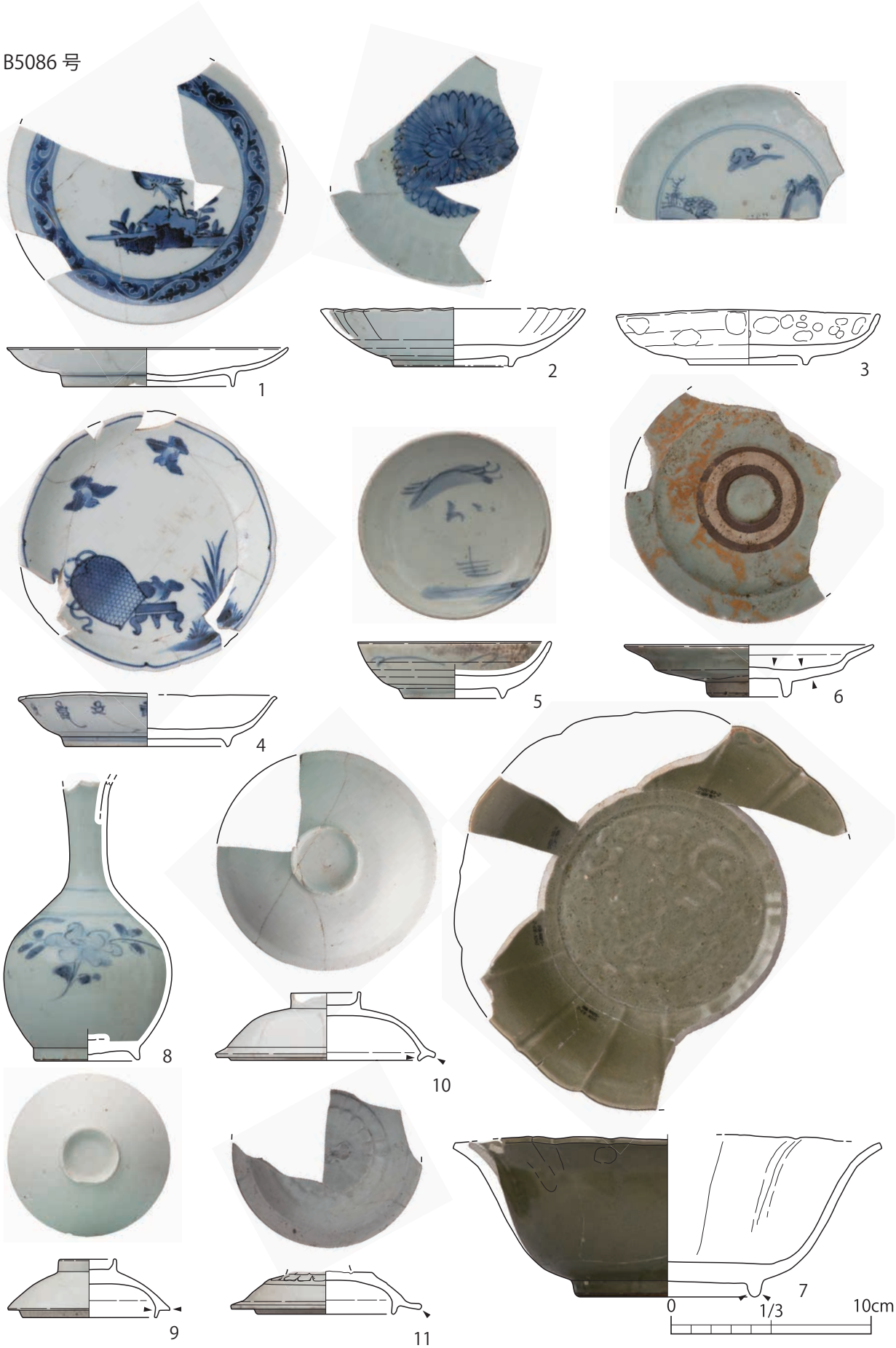


第 95 図　近世の陶磁器・土器（93）（1/3・1/6）

第 96 図　近世の陶磁器・土器（94）（1/3）

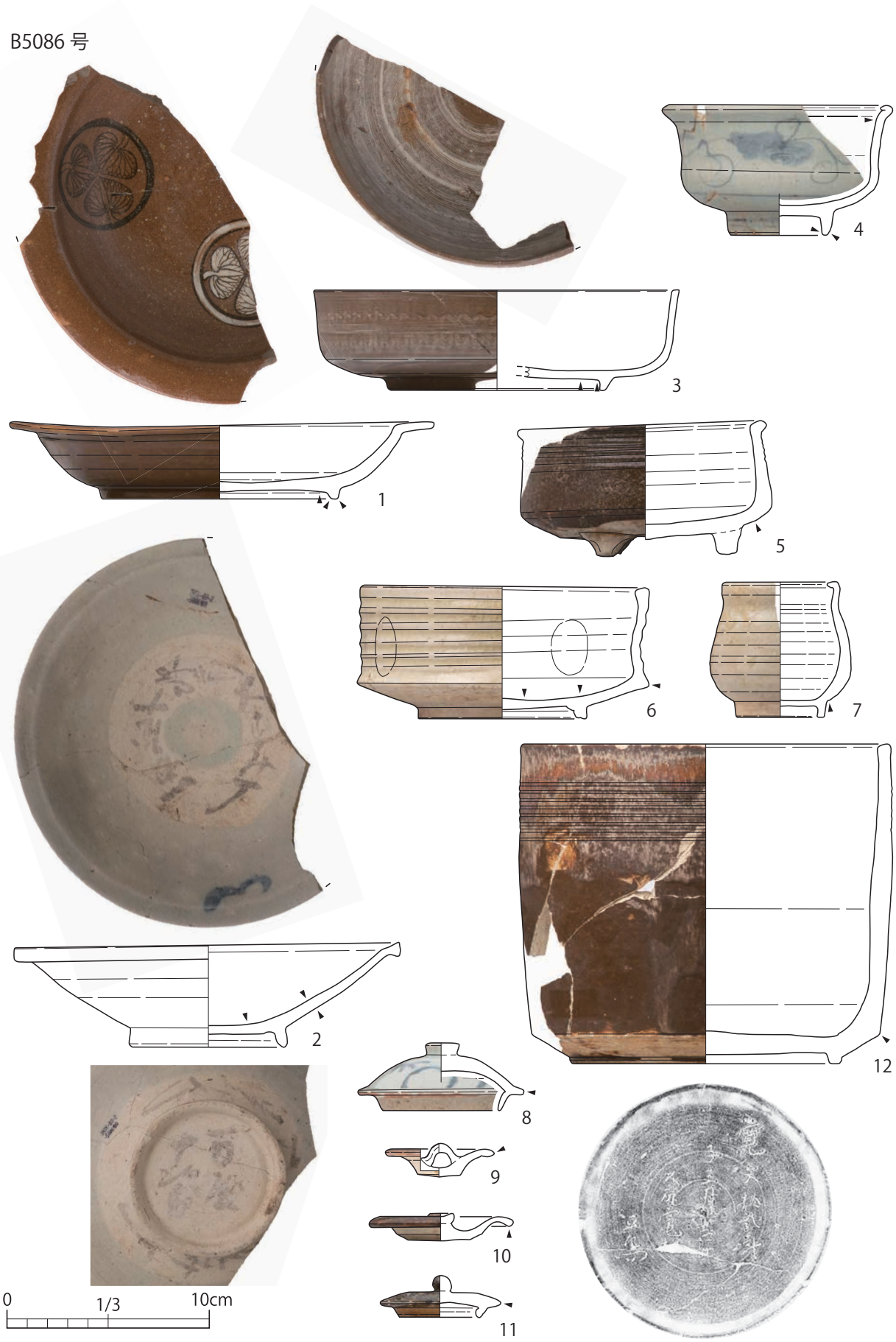


第 97 図　近世の陶磁器・土器（95）（1/3）



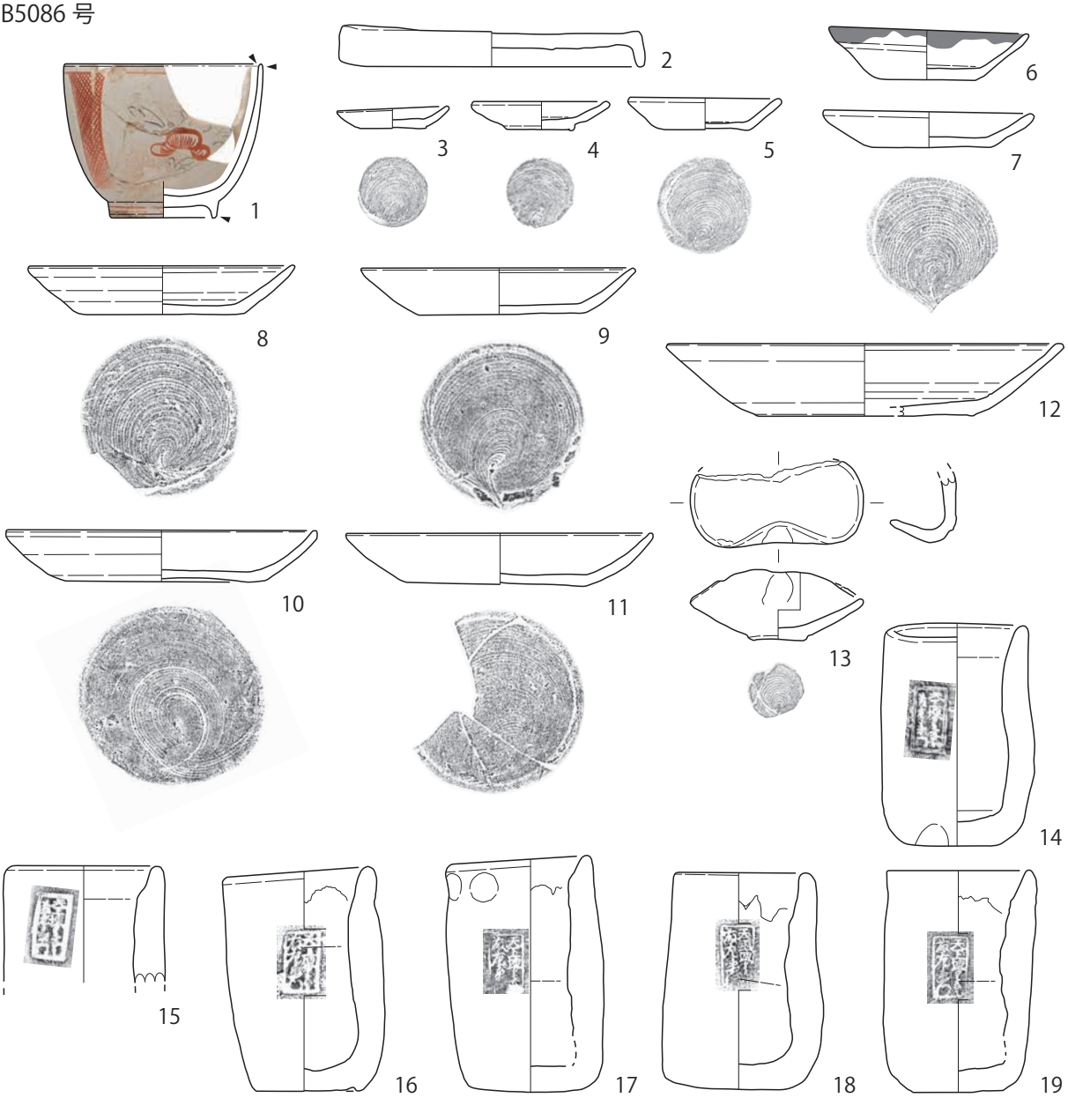
第 98 図　近世の陶磁器・土器（96）（1/3）

第 99 図　近世の陶磁器・土器（97）（1/3）

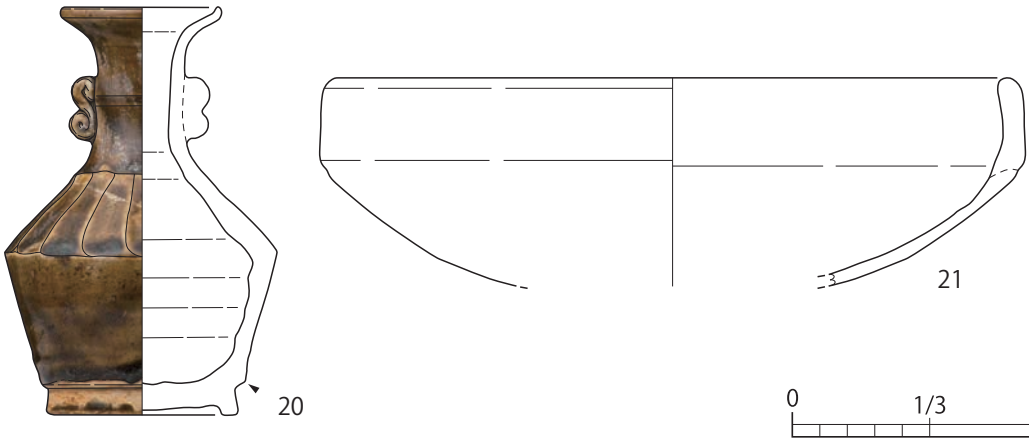


第 100 図　近世の陶磁器・土器（98）（1/3）

B5086 号

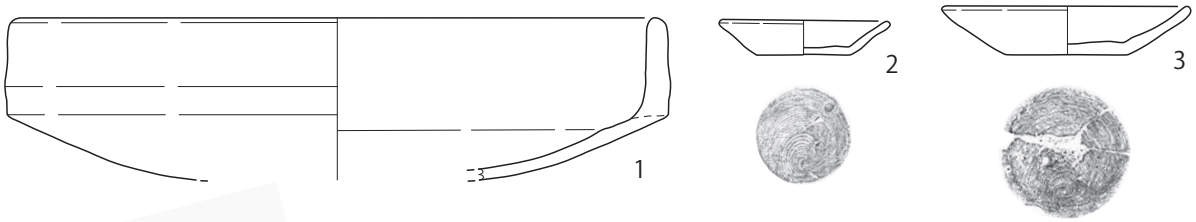


B5088 号

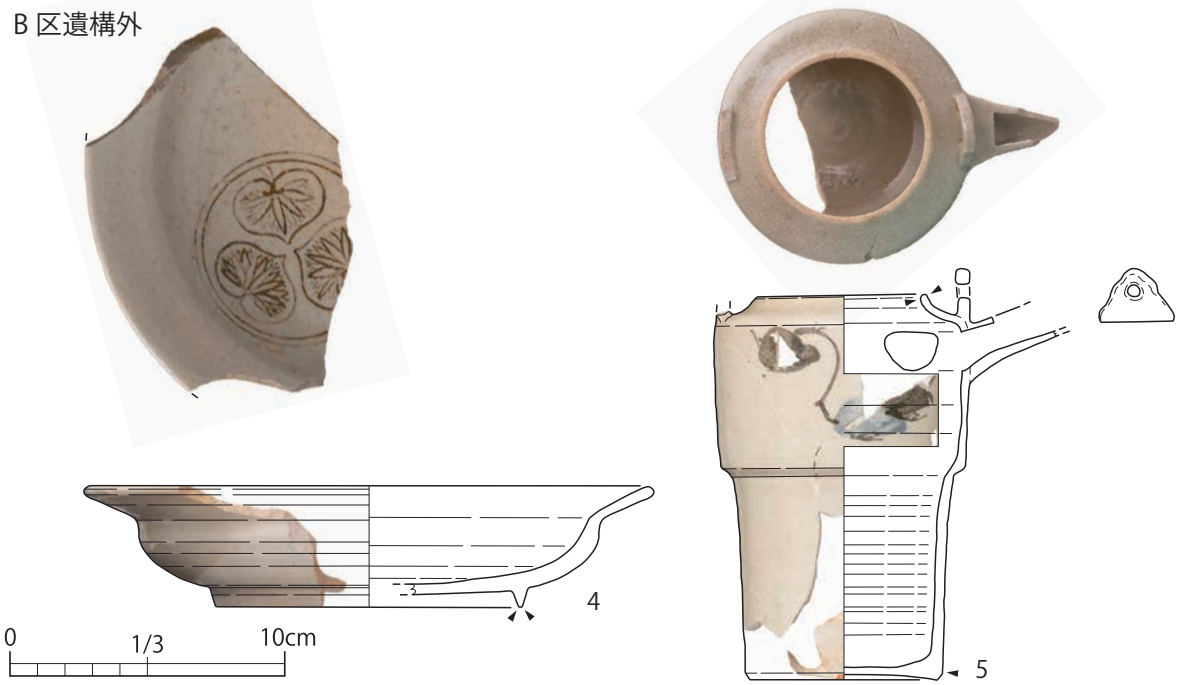


第 101 図　近世の陶磁器・土器（99）（1/3）

B5185 号



B 区遺構外



第 102 図　近世の陶磁器・土器（100）（1/3）

B3223 号（第 91 図）

磁器は、「大明成化年製」銘のある大碗（第 91 図 4）、コンニャク印判で菊花文とする小碗（第 91 図 3）、高台幅が広い仏飯器（第 91 図 5）等がある。

陶器は、白泥の刷毛目を有する肥前産の碗（第 91 図 6・8）、瀬戸・美濃産の天目碗（第 91 図 9）、灰吹（第 91 図 11）、水注（第 91 図 12）、志戸呂産の灯明皿（第 91 図 13）と灯明受皿（第 91 図 14）等がある。

土器は、体部に刺突文様をもつ火鉢（第 91 図 15）、灯明受皿（第 91 図 16）、器壁高が深い焙烙（第 91 図 18）、「泉州麻生」銘の焼塩壺身（第 91 図 16）等がある。

B5082 号（第 93 ～ 96 図）

比較的浅い大型土坑で、下層を中心に遺物が多く出土している。

磁器は、碗（第 93 図 1 ～ 17）、皿（第 93 図 11 ～ 17 図、第 94 図 1・2）、鉢（第 94 図 3・4）、瓶（第 94 図 5 ～Ⅶ）、蓋（第 94 図 8 ～ 14）があり、第 93 図 1 の大碗は外面に松林と鶴が描かれる。第 93 図 13 の小皿は蛇ノ目凹型高台で、見込みに月、蝶、二重圏線捻花文、陽刻花弁、草花文の各種の文様が見られる。また第 94 図 8 の碗蓋は、内面中央に陰陽文、口縁部に暦文、外面全体に暦文がみられ、高台内に銘款がある。

陶器は、碗（第 94 図 15 ～ 22）、柿釉の小皿（第 94 図 23 ～ 25）、型打ちの鉢（第 94 図 26）、織部風の蓋物（第 95 図 3）、豊楽焼と考えられる緑釉の急須（第 95 図 4）、鉄釉の土瓶（第 95 図 6）、灰釉の小壺（第 95 図 6）、落し蓋（第 95 図 8 ～ 11）、土瓶蓋（第 95 図 12・13）、灯明受皿（第 95 図 14・15）、堺産の擂鉢（第 95 図 16）等がある。

土器は、鉢形容器（第 95 図 17）、火鉢（第 95 図 18）、脚付灯明受皿（第 95 図 19）、たんころ（第 95 図 20）、輪積み成形で蚊遣りと考えられる壺（第 96 図 1）のほか、焼塩壺や皿、焙烙がある。

B5086 号（第 96 ～ 101 図）

大型の採土坑で、B589 号および B2843 号と同一の遺構である。

磁器は、肥前産の中碗（第 96 図 11 ～ 14）、「太明成化年製」銘の端反碗（第 96 図 18）、中国・景徳鎮窯の可能性がある碗（第 96 図 15、第 97 図 4）、上絵付の中碗（第 97 図 1）、染付皿（第 97 図 8・9）、青磁皿（第 97 図 10）、五寸皿（第 98 図 1 ～ 4）、青磁の大鉢（第 98 図 7、）蓋物（第 97 図 12・13）、中瓶（第 98 図 8）、蓋物蓋（第 98 図 10 ～ 12）等がある。

陶器は、青緑釉の中碗（第 99 図 2・3）、京・信楽産で三つ葉葵文が施される中碗（第 99 図 7）、産地不明の大碗（第 99 図 5・6）、上絵付の大皿（第 99 図 1）、鉄絵と白泥で三つ葉葵文を描く中皿（第 100 図 1）、褐釉と白泥による中鉢（第 100 図 3）、香炉（第 100 図 4 ～ 6）、美濃焼で高台内に「寛文拾弐年　子三月三日　久尻窯■　平左衛門」と刻書される鉄釉の中甕（第 100 図）、各種の蓋（第 100 図 8 ～ 11）、橋状の把手が付く灯明皿（第 99 図 9）等がある。

土器は、土器皿のほか、蓋（第 101 図 2）、耳皿（第 101 図 13）、輪積みでコップ形の焼塩壺身（第 101 図 14 ～ 19）が出土している。なお、14 ～ 19 の刻印はいずれも「天下一堺ミなと」「藤左衛門」となる。

本遺構の出土遺物は、おおむね 17 世紀後半に比定されるものが多く、本調査地点では古相に位置づけられる。貿易陶磁は一定量出土するが、破片資料が多く、B588 とは様相が異なる。

C111 号（第 104・105 図）

磁器は肥前産のみが出土しており、瀬戸・美濃産のものは含まれない。碗は第 104 図 1 ～ 4 のほか筒形碗等がある。

陶器は瀬戸・美濃産の擂鉢、腰錆碗、鎧茶碗、刷毛目碗、柳茶碗、灯明受皿、鉄絵鉢、水鉢、捏鉢、二条沈線鉄釉流し灰釉碗、輪禿皿、太白焼がある。京・信楽産は、小杉碗、篆書の「御」、「松」等といった文字を上絵付し長石釉を施す筒形碗がある。肥前産は京焼風陶器平碗がある。そのほか、産地不明の土鍋、土瓶がある。

炻器は志戸呂産の灯明皿、堺・明石系の擂鉢がある。

出土遺物は概ね 18c 後半頃から 19c 初めの時期と推定され、時期に幅がある。

C140 号（第 107 ～ 109 図）

磁器は、第 140 図 1・2 の碗、第 140 図 4 ～ 6 の皿、第 140 図 8・9 の蓋物蓋があり、7 は手描きによる五弁花で口縁内面には墨弾き文様が巡る。

陶器は、灰釉の丸碗（第 107 図 10 ～ 12）、せんじ碗（第 108 図 1 ～ 4）、京・信楽産の灰釉碗（第 108 図 5・6）、皿（第 108 図 7 ～ 9）、口縁部に敲打が巡る香炉（第 108 図 11）、唐津・武雄系と考えられる鉄泥の大皿（第 108 図 10）、灯明皿（第 108 図 15・16）、灯明受皿（第 108 図 17）、餌猪口（第 108 図 19）等がある。

土器は、灯明受皿や焙烙のほか、「イツミ」「花焼塩」「■タ」と刻印がある焼塩壺蓋（第 108 図 23）がある。

C244 号（第 112 ～ 117 図）

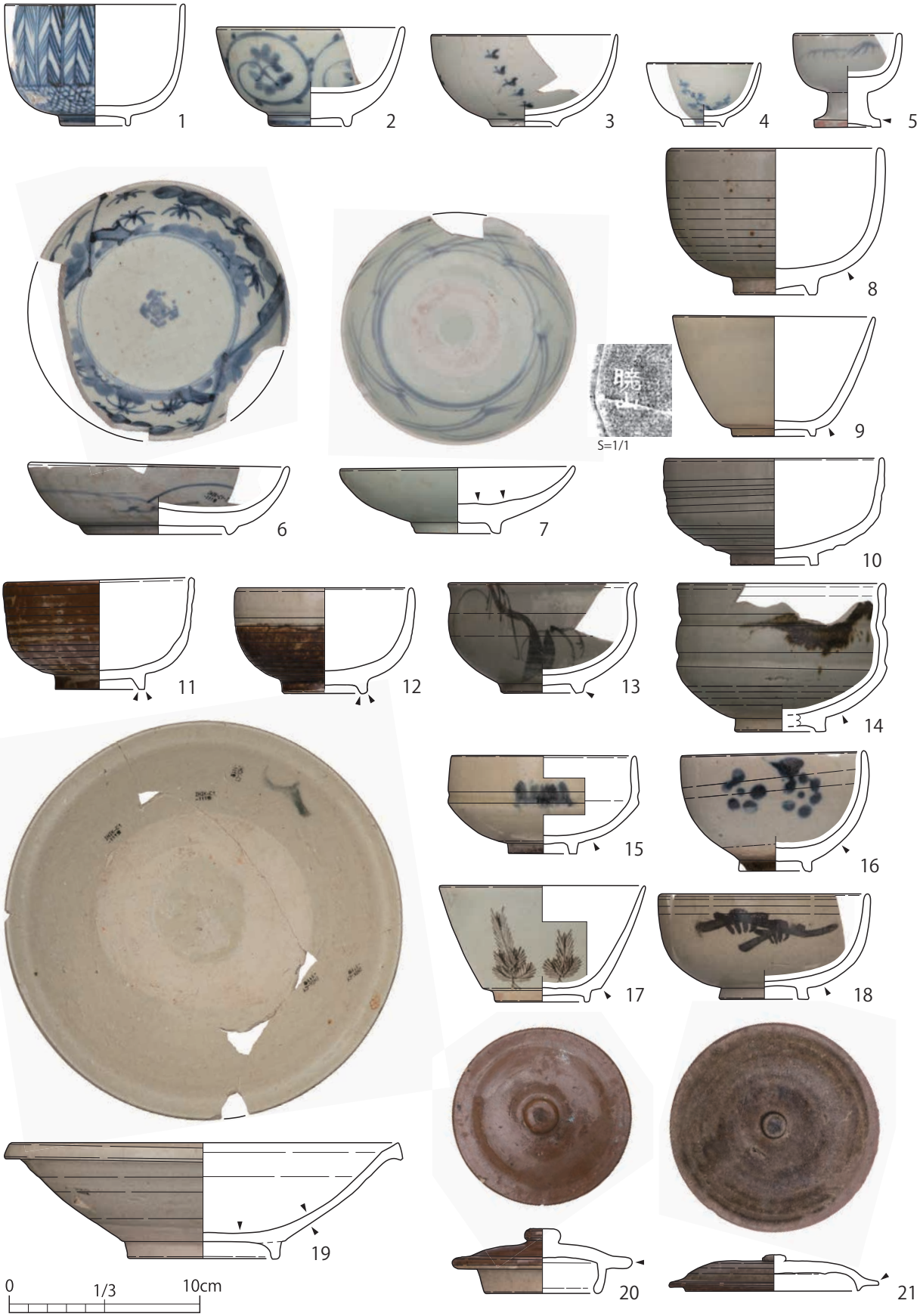
磁器は肥前産及び瀬戸･美濃産のものがあるが、数量は瀬戸･美濃産がやや上回る。碗、碗蓋が多く、鉢の一部に焼継ぎをするものがみられる。肥前産のものは、大碗、端反碗、広東碗、薄手の浅い半球碗、皿、鉢、植木鉢、蓋、髪油壺、線香立て、戸車（第 115 図 5）、薄手酒杯がある。碗は端反碗が多い。器高が低く、高台がハの字状に下方が開くものがあり、皿は蛇ノ目凹型高台につくるものが多く、「竹末」（文字）、「六角形」（記号）「葵形？」（記号）などの釘書きを施すものが多い。ほかに、胎土が精良で肥前系とみられる生産地不明の端反碗、灰落し等がある。第 113 図 8 は、徳川家の家紋である三つ葉葵を染付で施したものである。瀬戸･美濃産のものは、端反碗、湯呑、植木鉢、蓋、神酒徳利、燗徳利がある。端反碗は、L 及び M サイズが多く、S サイズは少ない。器壁を薄く作り、高台が高く断面が三角形をなすものが多い。また、蛍手のもの（第 113 図 5）、外面体部に鉄釉を施すものなどがある。

陶器は瀬戸・美濃産が大半で、柳茶碗、小杉碗、平碗、広東碗、梅花文碗、擂鉢、甕がある。柳茶碗（第 115 図 10）は、幹、枝の区別が不明瞭な、簡略化された文様となっているが、当該遺構からは、同様のものが多数出土している。擂鉢は瀬戸・美濃産のもの（第 116 図 11）のほか、堺・明石

産のもの（第 116 図 11・12）があり、見込みの擂り目が放射状のものと三角形のものがあり、いずれも 19 世紀第 1 四半期頃の特徴を示す。小杉碗は小片が多く図示できるものがないが、やや小型のものが多く、文様の有無は不明である。ほかに、太白焼の広東碗、黒色の鉄釉を施す植木鉢、織部の皿、梅花文端反碗、梅花文広東碗、萩焼の開口碗、丹波焼の甕がある。なお、型打ち成形の軟質の陶器皿（第 115 図 12）があり、内面は陽刻により花弁及び花芯を表現し、内外面に緑釉を施す。
土器は、京都産の可能性がある七宝の装飾を施す涼炉や、19 世紀初め頃の特徴を示す焙烙がある。
出土遺物の時期は、尾張藩上屋敷跡遺跡 11 小期の 3-b1 から 3-b2 小期にあたると考えられ、1800 年から 1830 年頃の、C251 号と比べて僅かに先行する時期の遺物が主体である。

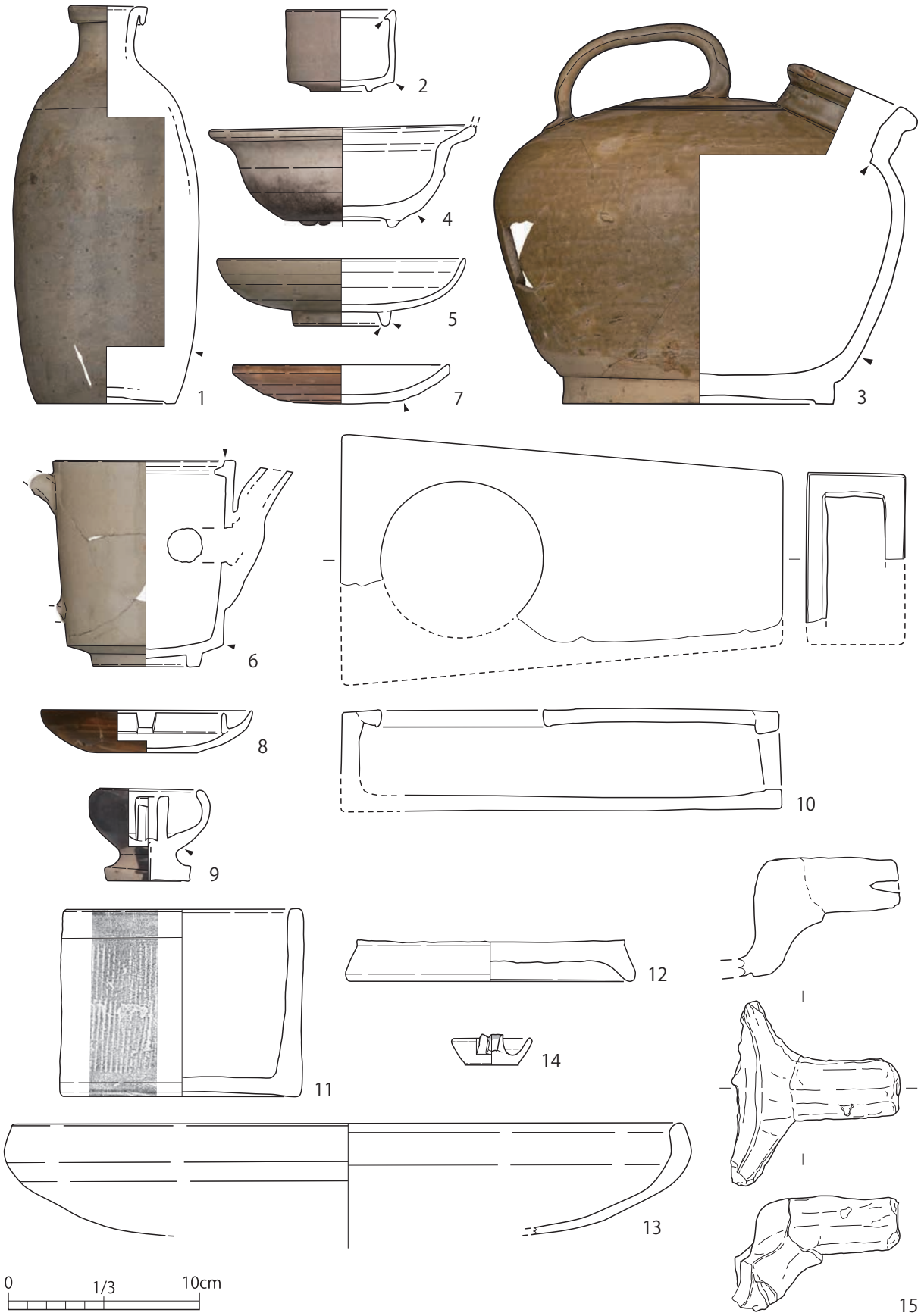
第 103 図　近世の陶磁器・土器（101）（1/3）

C111 号



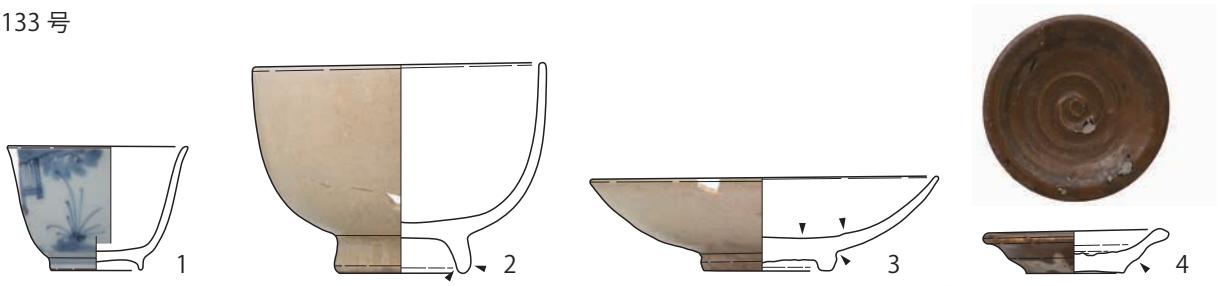
第 104 図　近世の陶磁器・土器（102）（1/3）

C111 号

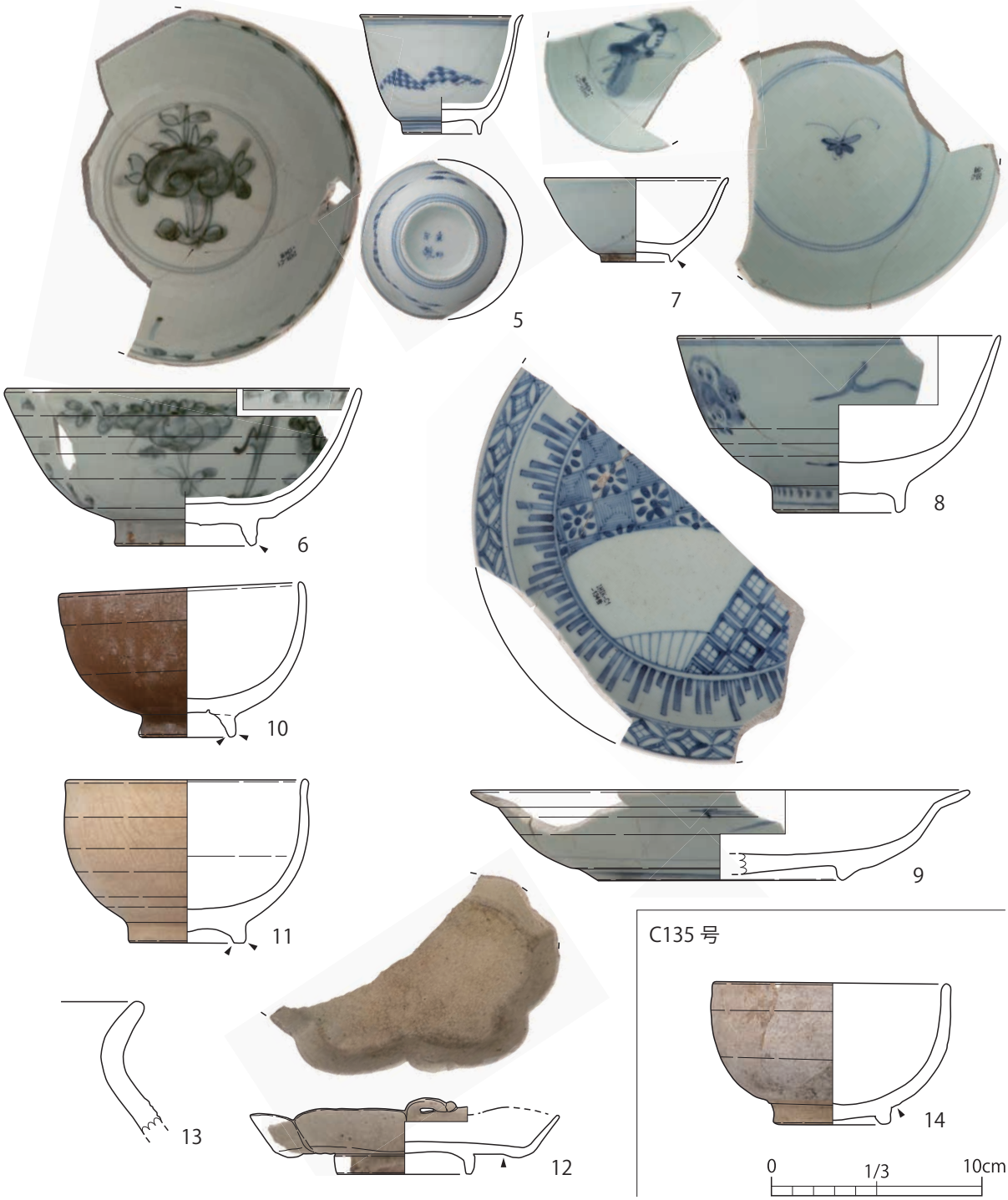


第 105 図　近世の陶磁器・土器（103）（1/3）

C133 号



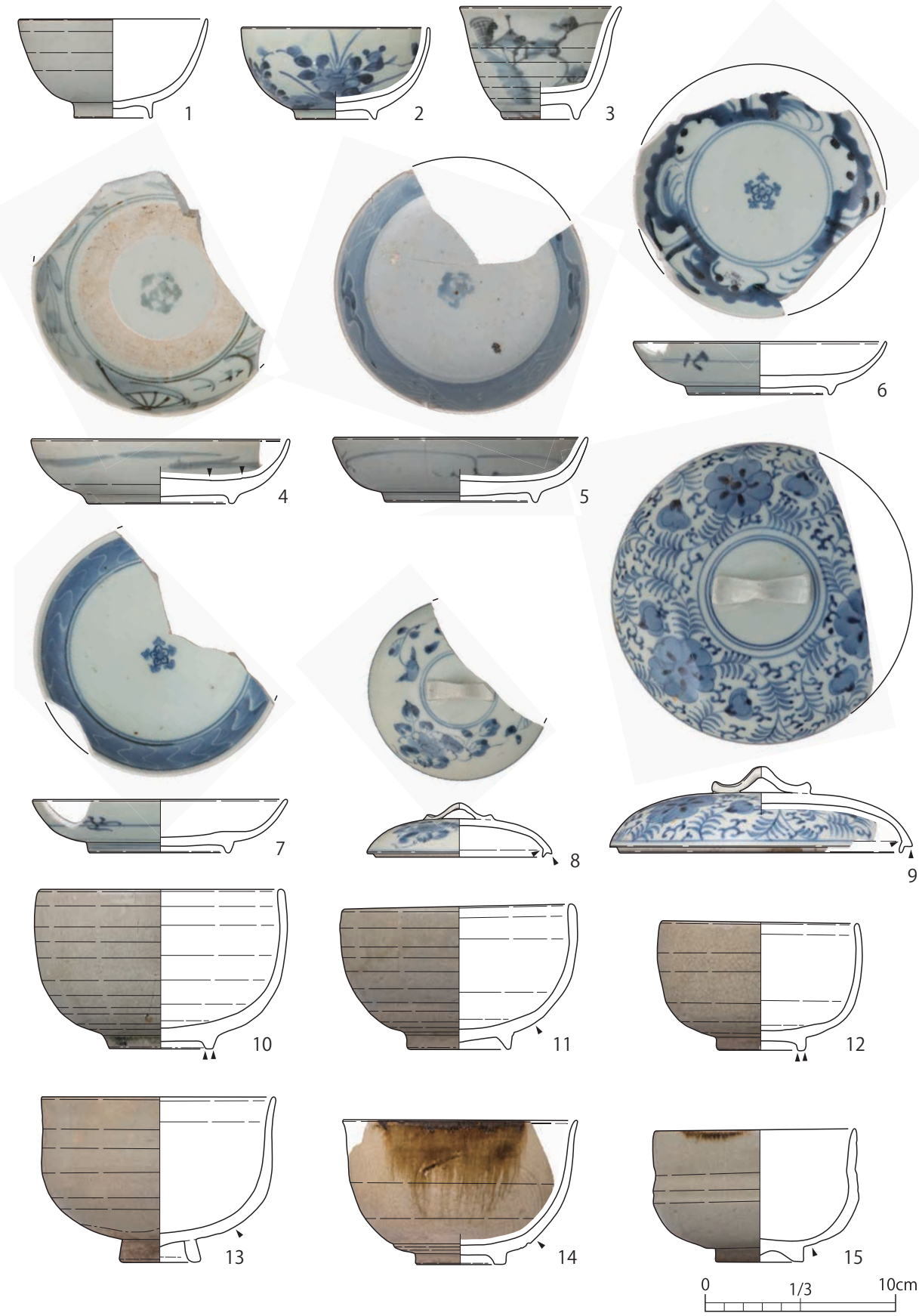
C134 号



C135 号

第 106 図　近世の陶磁器・土器（104）（1/3）

C140 号

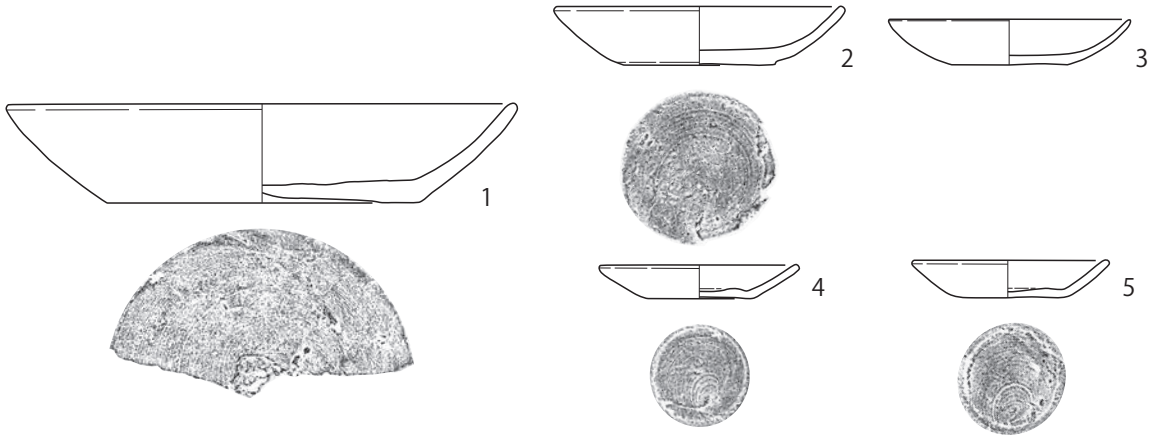


第 107 図　近世の陶磁器・土器（105）（1/3）

C140 号

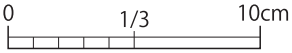
第 108 図　近世の陶磁器・土器（106）（1/3・1/6）

C140 号



C150 号

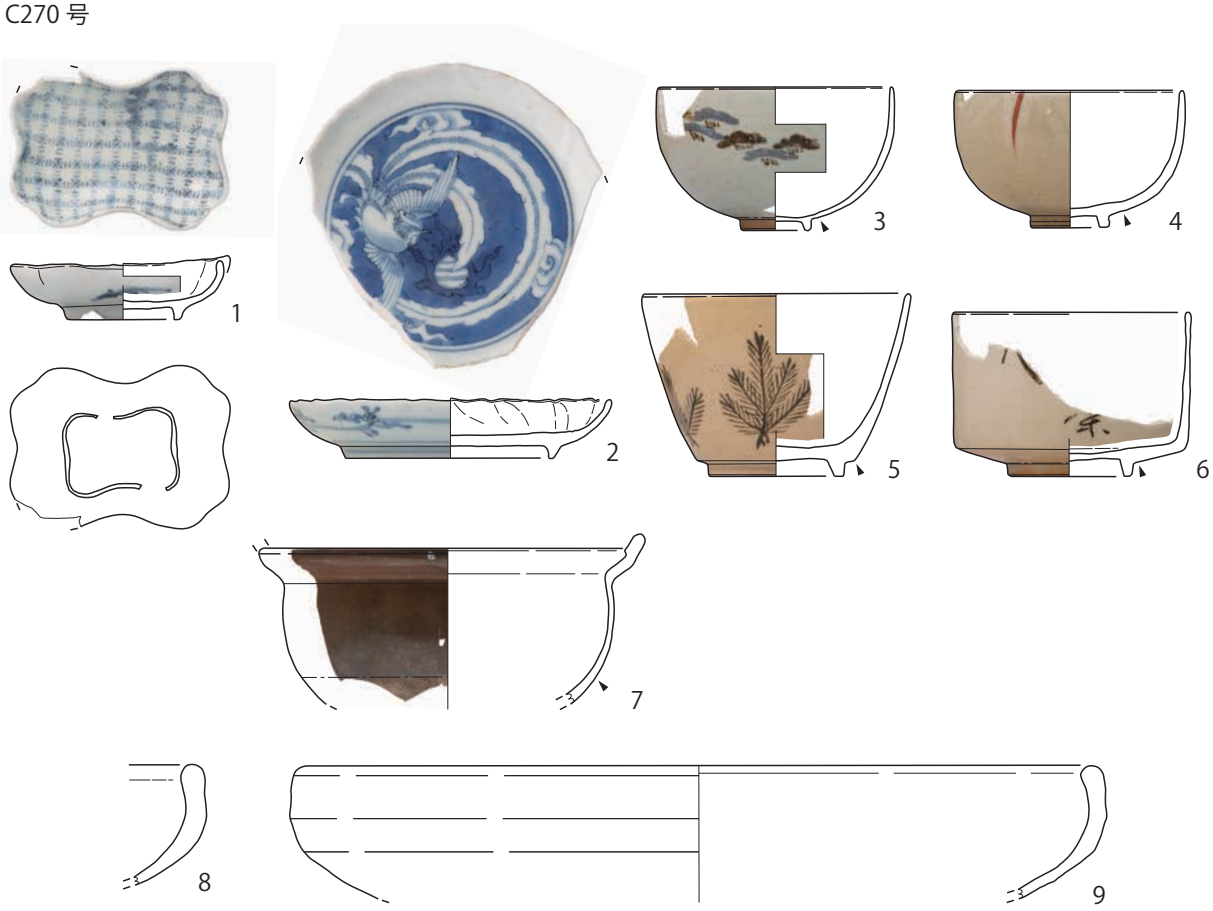
C182 号



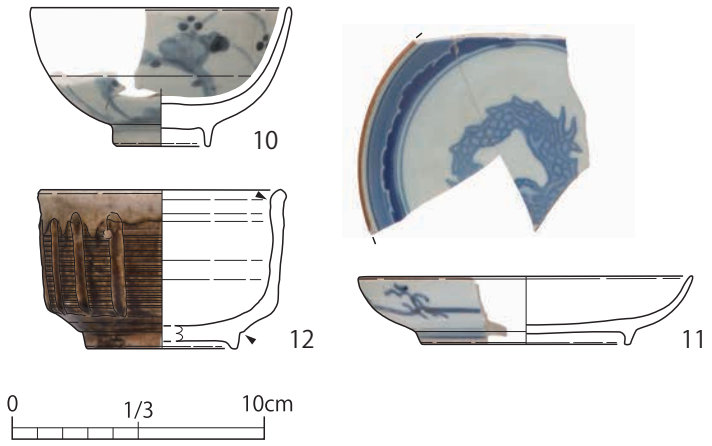
第 109 図　近世の陶磁器・土器（107）（1/3）

第 110 図　近世の陶磁器・土器（108）（1/3）

C270 号



C231 号



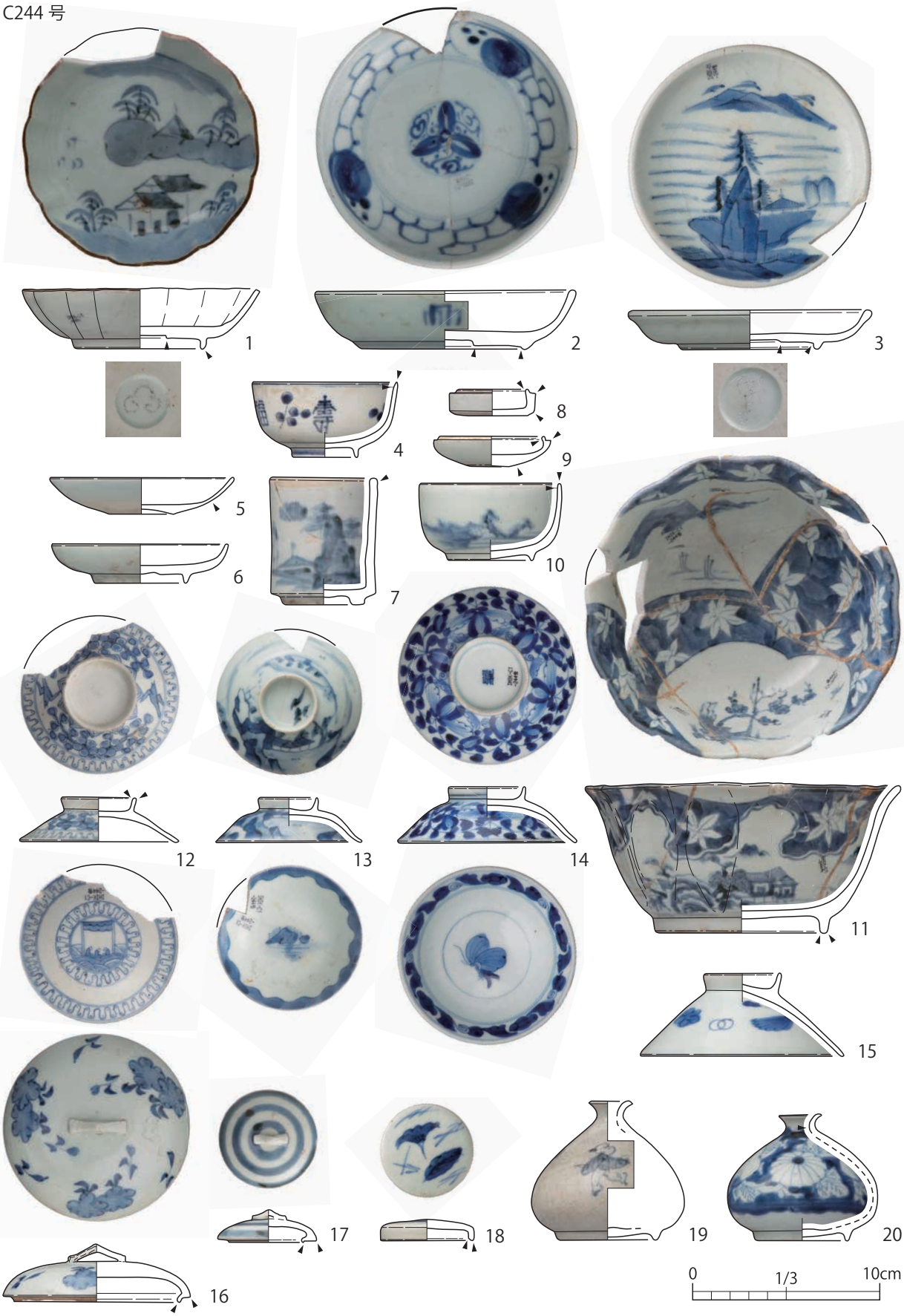
C259 号

第 111 図　近世の陶磁器・土器（109）（1/3）

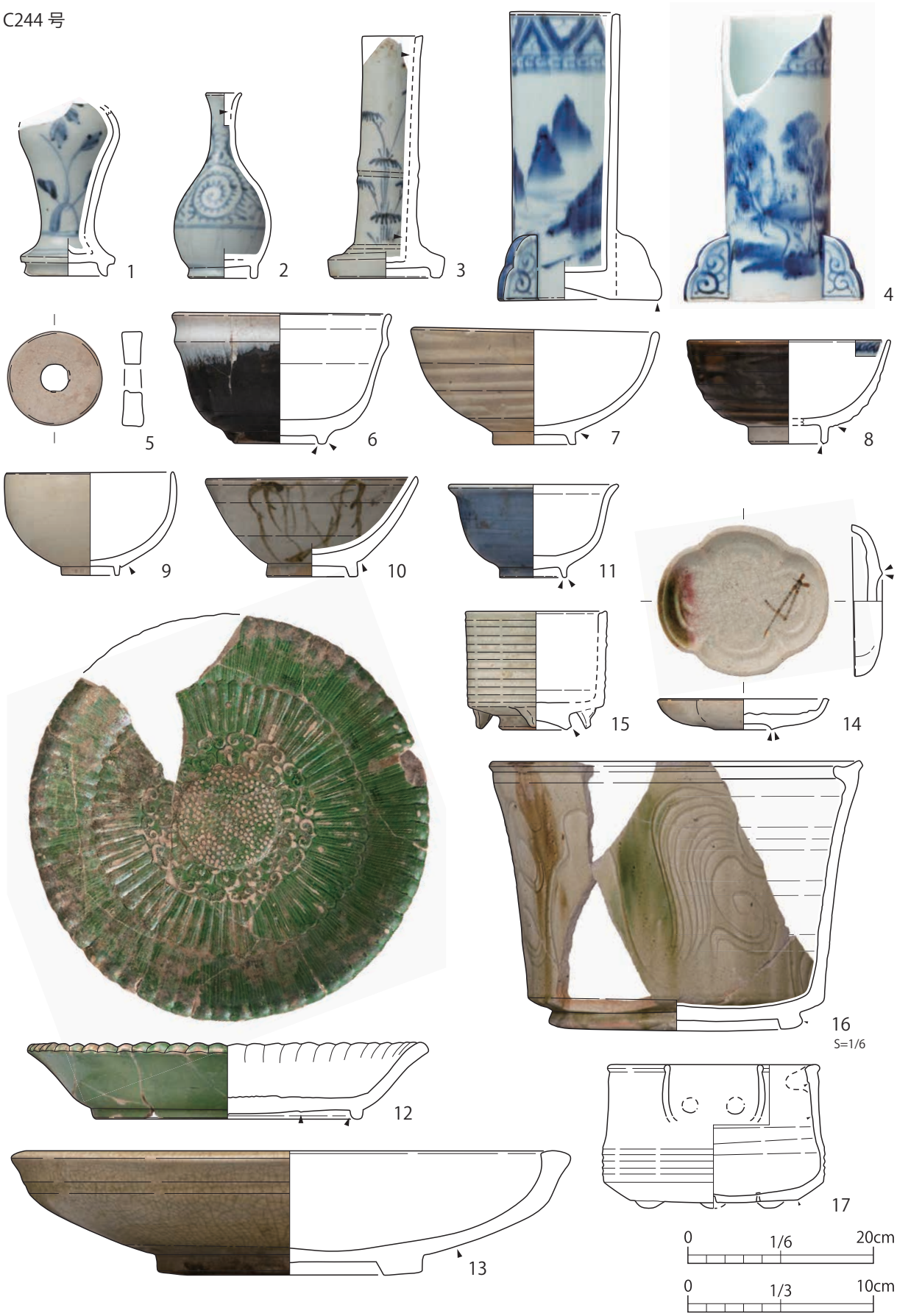
第 112 図　近世の陶磁器・土器（110）（1/3）

C244 号

第 113 図　近世の陶磁器・土器（111）（1/3）



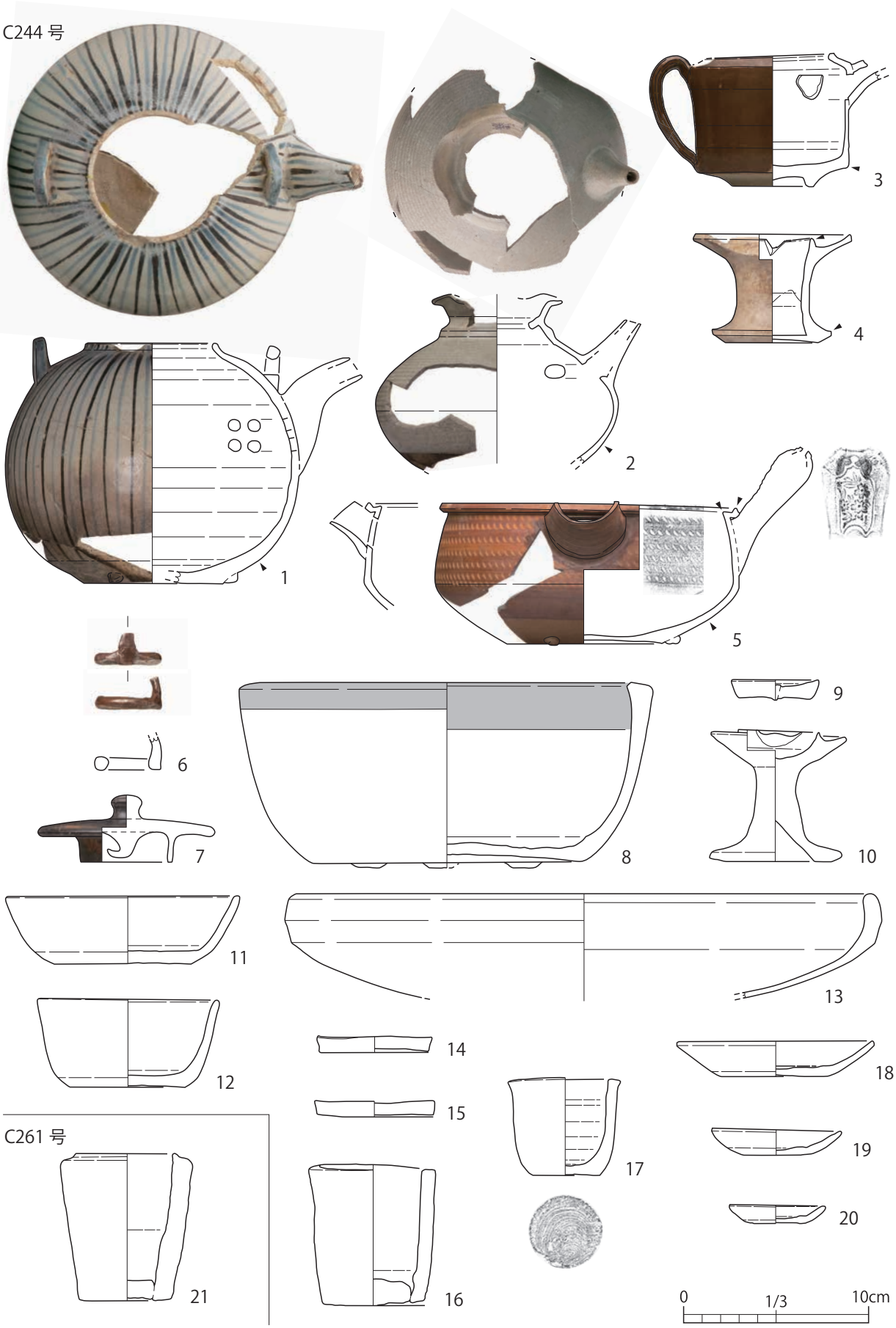
第 114 図　近世の陶磁器・土器（112）（1/3）



第 115 図　近世の陶磁器・土器（113）（1/3・1/6）

C244 号

第 116 図　近世の陶磁器・土器（114）（1/3・1/6）



第 117 図　近世の陶磁器・土器（115）（1/3）

C251 号（第 118 ～ 138 図）

出土遺物の数量は磁器、陶器ともに非常に多く、磁器は碗、蓋、陶器は瓶が多い。

磁器は肥前産及び瀬戸･美濃産のものがあり、碗、碗蓋が多く、ほかに皿、鉢、壺、瓶、水注、蓋、散蓮華などがある。碗は広東碗（第 119 図 15 ～ 17）のほか、端反碗（第 119 図 1 ～ 4、第 120 図 9 ～ 11・14 ～ 19)、があるほか、体部が直線的に開く蓋、身が兼用となるような形状のもの（第 119 図 5 ～ 10）がある。鉢はやや大きいサイズのもののほか、蓋物、段重、植木鉢がある。瓶は大瓶（第 126 図 1)、神酒徳利（第 125 図 19・20)、髪油壺（第 125 図 21)、蓋は碗蓋が大半を占めるが、大小の蓋物蓋、合子蓋が含まれる。第 126 図 4 は摘み（高台）端部及び笠（口縁）端部に釉剥ぎがなされ、碗としても蓋としても使用可能であるが、実測図は蓋として掲載した。鉢、蓋には主に大きいサイズのものに焼継ぎをするものがみられる。

陶器は碗、皿、鉢、瓶、水注、鍋、蓋、器台など賀出土している。第 128 図 2 は瀬戸・美濃産の梅花文碗である。器形は広東碗であるが、ほかに第 128 図 13 のような端反碗がある。内面全体に白泥（白化粧土）を掛け、外面には白泥で梅花、鉄で花芯と枝を描き、高台畳付を除く内外面全体に透明釉を施す。第 128 図 19 は萩焼の開口碗である。第 128 図 22・23 は復興織部の変形皿である。素地に長石釉をかけ、緑釉で内外面亥文様を施す。向付として使用されたと考えられる。鉢は栄螺や鮑などの貝を象ったとみられるもの（第 128 図 24）が出土している。内面には巻き貝を思わせるらせん状の隆起をつくり、緑釉を施す。外面は鉄釉が施され、フジツボあるいは棘を模したとみられる突起が数箇所につけられ器全体を支える。瓶は極めて多く、完形のものも多数あり、5 ～ 10 個体以上がまとまって出土する状況がみられた。ほとんどが高田徳利形と呼ばれる徳利(第 132 図 1 ～ 6)で、釘書きを施すものが多い。徳利はこれらのほか、三方向に面をもついわゆる三角徳利（第 132 図 7)、胴部の 2 ～ 3 箇所をへこませた、ぺこかん徳利（第 132 図 8）がある。鉢は植木鉢が多い。焼成前に底部を穿孔し、高台部分をアーチ形に 3 箇所程度きり取って灰釉または鉄釉を施す。ほかに口縁部を摘まんで変形させ、内外面に灰釉を施した後緑釉を掛けた菓子鉢とみられるものがある。

土器は鉢形容器、火消し壺、火消し壺蓋、火鉢、焜炉、涼炉、七輪、七輪部品の五徳や風口、蚊遣り、カンテラ、秉燭、灯明受皿、皿など賀出土している。蚊遣りとみられる鉢形のもの（第 130 図 12）は、体部上位と底面の数箇所を焼成前に穿孔しており、容器内で燃焼が続くようにつくられる。口縁部は欠損のため詳らかではなく、蓋をかぶせるため上位ですぼまるものと考えられるが、穿孔の一部とみられる箇所も観察される。

出土遺物の内容から、本遺構の廃絶時期は、C536 号とほぼ同時期ではあるが、僅かに先行すると推定される。第 2 次西御殿の解体時までの可能性が高いが、他の遺構と比較して内容に違いがみられるのは、多量廃棄された状況と併せて御殿内における位置的な違いにも考慮すべきであると考えられる。

C305 号（第 140 ～ 146 図）

調査区を南北に貫く往還で、層位により上・中・下の 3 層に分けて図示した。

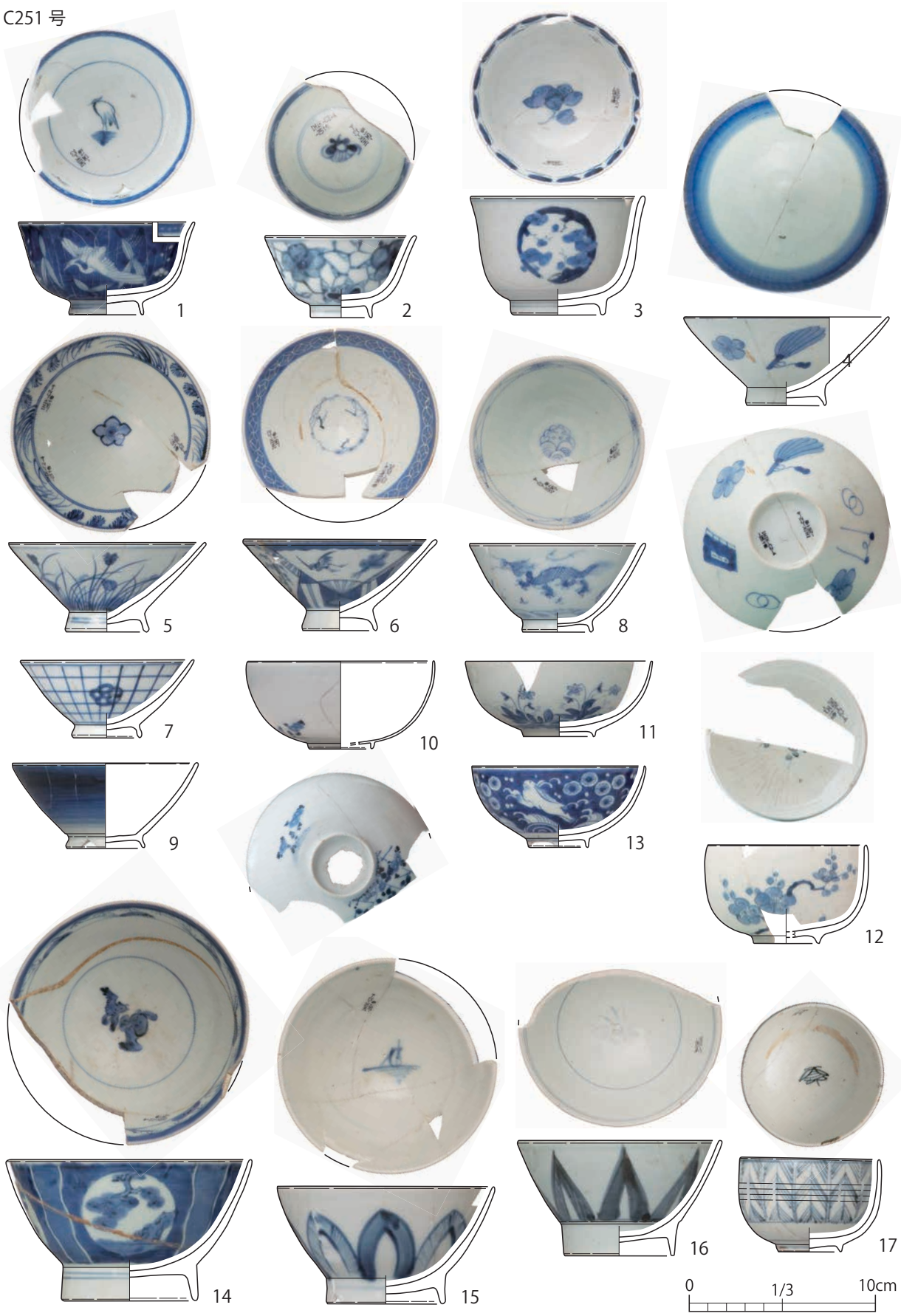
上層では、磁器は雪輪梅樹文を描く中碗（第 140 図 15)、口銹の小皿（第 140 図 16)、中皿（第 140 図 17）等がある。陶器は灰釉碗（第 140 図 18）や鉄釉の小碗（第 140 図 19）のほか、鉢、香炉、

瓶が見られた。土器は焙烙（第 141 図 4）等を図示した。

中層は遺物量が多く、磁器では碗（第 141 図 7 ～ 19）、仏飯器（第 141 図 20 ～ 23）、皿（第 142 図 1 ～ 4）、香炉（第 142 図 5）、猪口（第 142 図 6）、腰丸形の蓋物（第 142 図 7･8）、碗蓋（第 142 図 10 ～ 12）、蓋物蓋（第 143 図 1･2）等がある。陶器は碗（第 143 図 3 ～ 15）のうち、9 は「帯山」の刻印がある。第 144 図 1 ～ 3 の小皿はいずれも型紙摺で内面に鉄絵を描いたもので、付け高台である。蓋（第 144 図 7 ～ 11）は水注蓋や合子蓋等があり、他に水注や水滴、洩瓶等がある。土器は火鉢（第 144 図 16）、鉢形容器（第 145 図 2）のほか、焼塩壺の蓋と身が出土している。

下層では、磁器は染付碗の第 145 図 10 や白磁碗の第 145 図 11、また第 145 図 12 の小碗は見込に上絵付で花文様、外面に扇面、草花文、流水文を描く。陶器は第 145 図 17 の小杉碗のほか、灰釉で呉須絵が描かれる第 145 図 19 の小碗、また中皿や水注蓋がある。第 146 図 1 の小甕は、鉄釉で体部に凹線が重なり、丹波産のものと考えられる。土器は焙烙や焼塩壺を図示した。

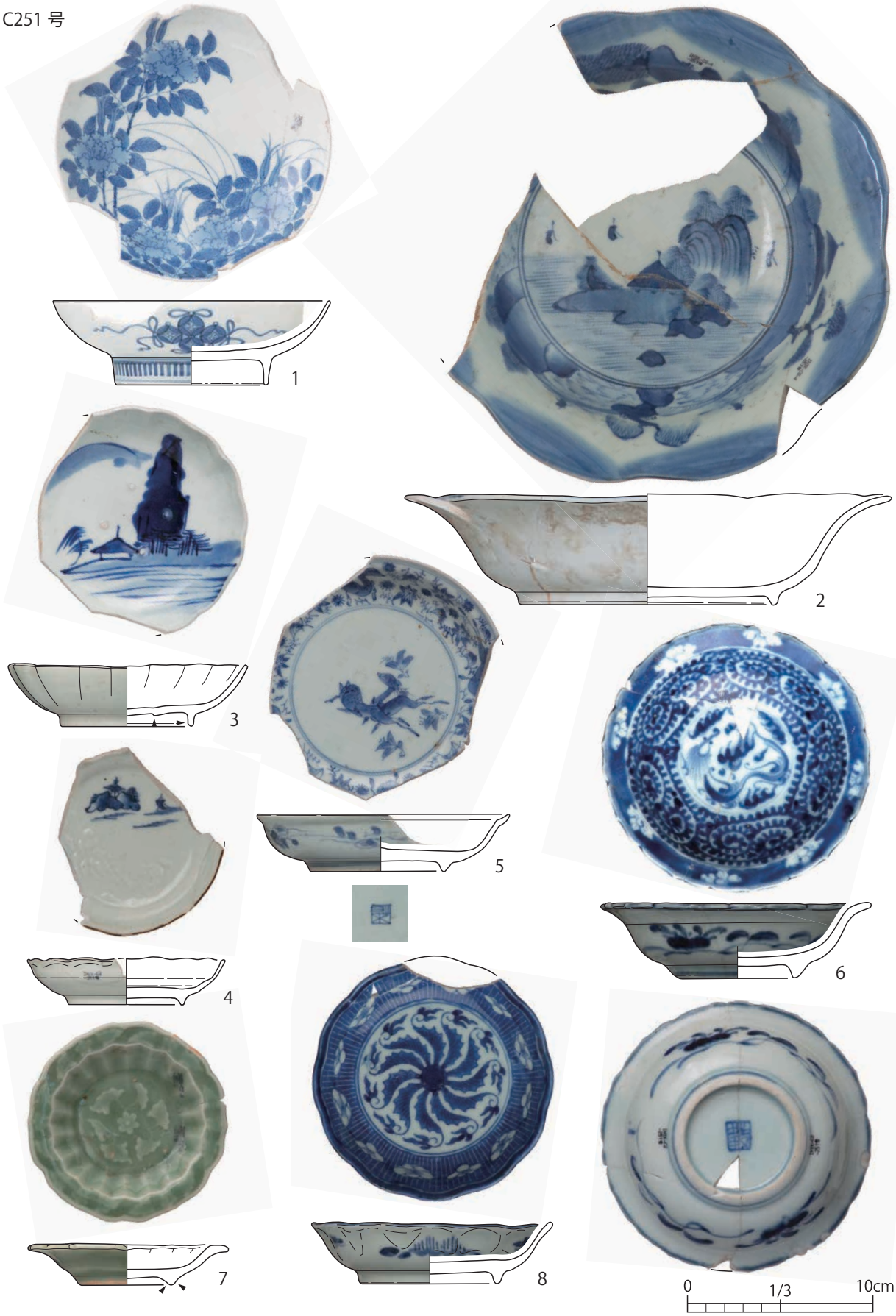
第 118 図　近世の陶磁器・土器（116）（1/3）



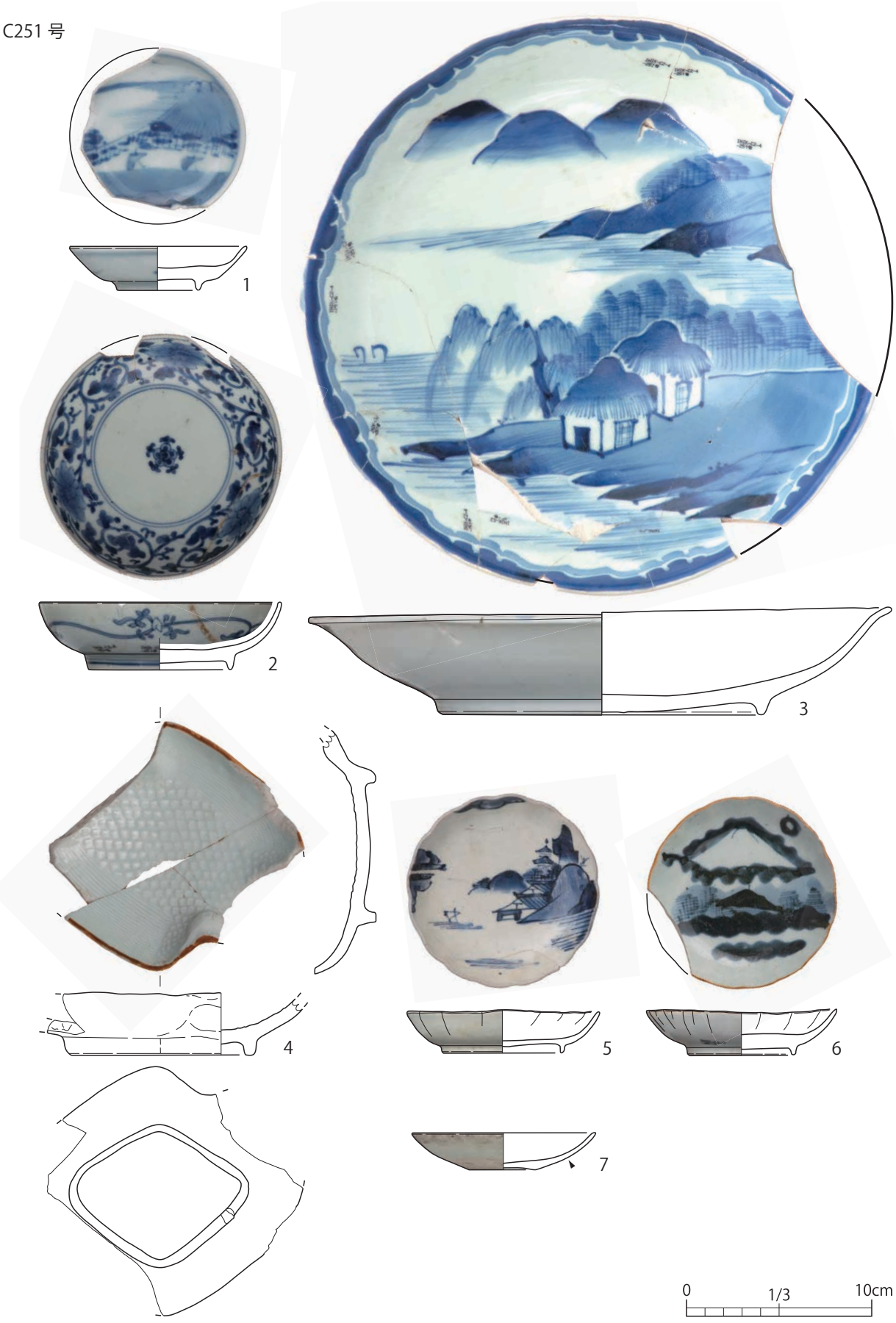
第 119 図　近世の陶磁器・土器（117）（1/3）

C251 号

第 120 図　近世の陶磁器・土器（118）（1/3）



第 121 図　近世の陶磁器・土器（119）（1/3）



第 122 図　近世の陶磁器・土器（120）（1/3）

第 123 図　近世の陶磁器・土器（121）（1/3）

第 124 図　近世の陶磁器・土器（122）（1/3）

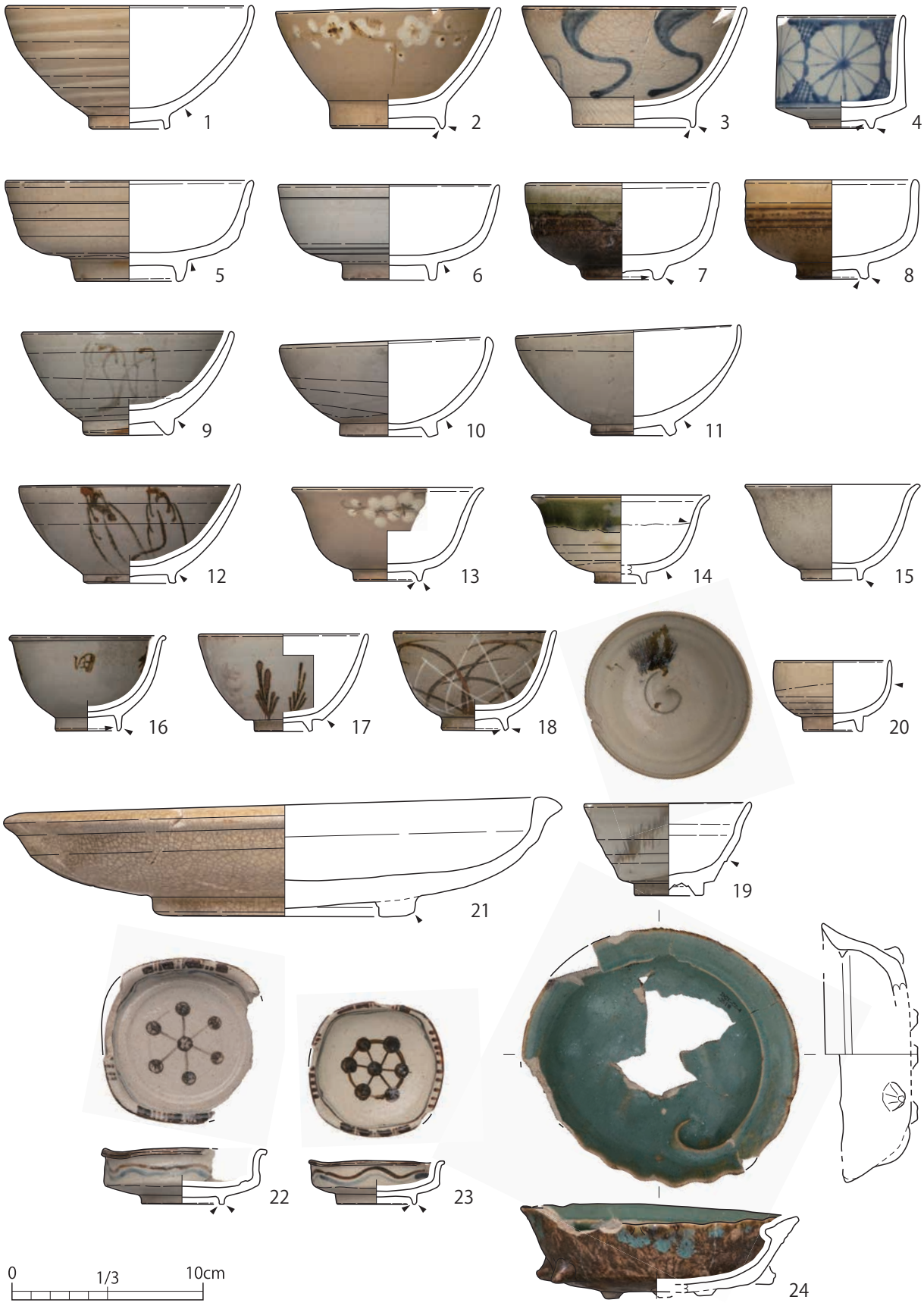
C251 号

第 125 図　近世の陶磁器・土器（123）（1/3）

第 126 図　近世の陶磁器・土器（124）（1/3）

第 127 図　近世の陶磁器・土器（125）（1/3）

C251 号



第 128 図　近世の陶磁器・土器（126）（1/3）

第 129 図　近世の陶磁器・土器（127）（1/3）

C251 号

第 130 図　近世の陶磁器・土器（128）（1/3・1/6）

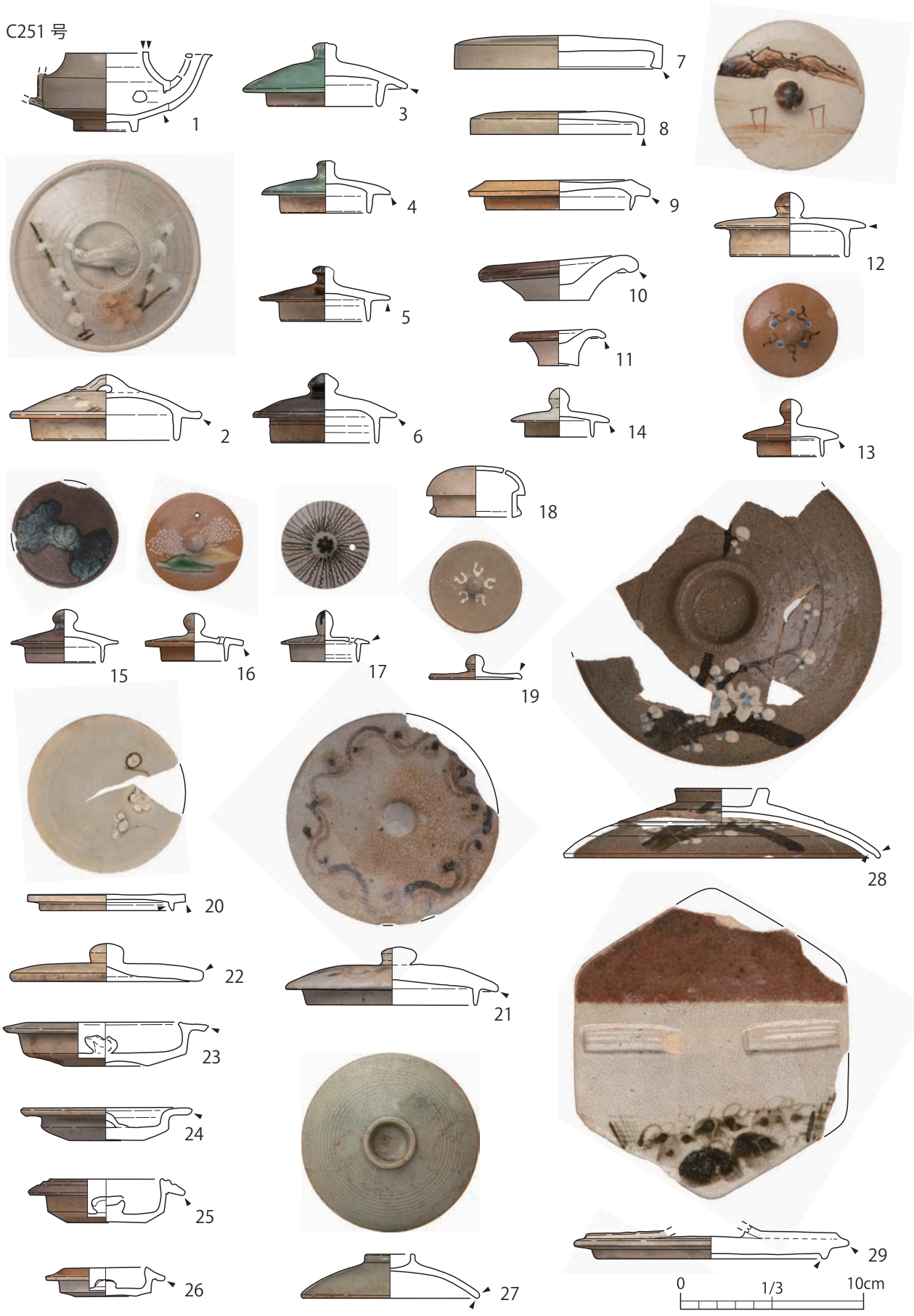
C251 号

第 131 図　近世の陶磁器・土器（129）（1/3・1/6）

第 132 図　近世の陶磁器・土器（130）（1/3・1/6）

C251 号

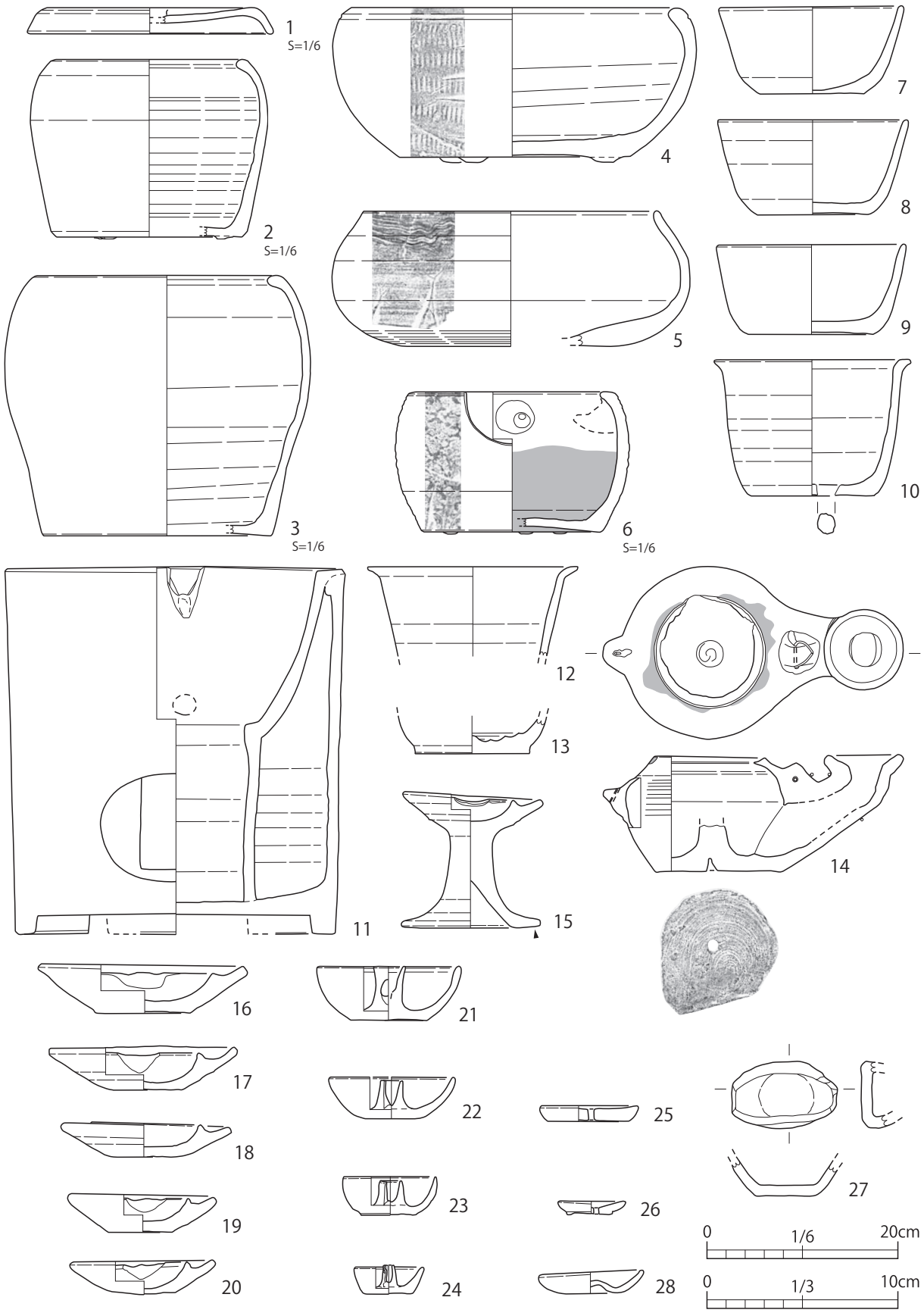
第 133 図　近世の陶磁器・土器（131）（1/3）



第 134 図　近世の陶磁器・土器（132）（1/3）

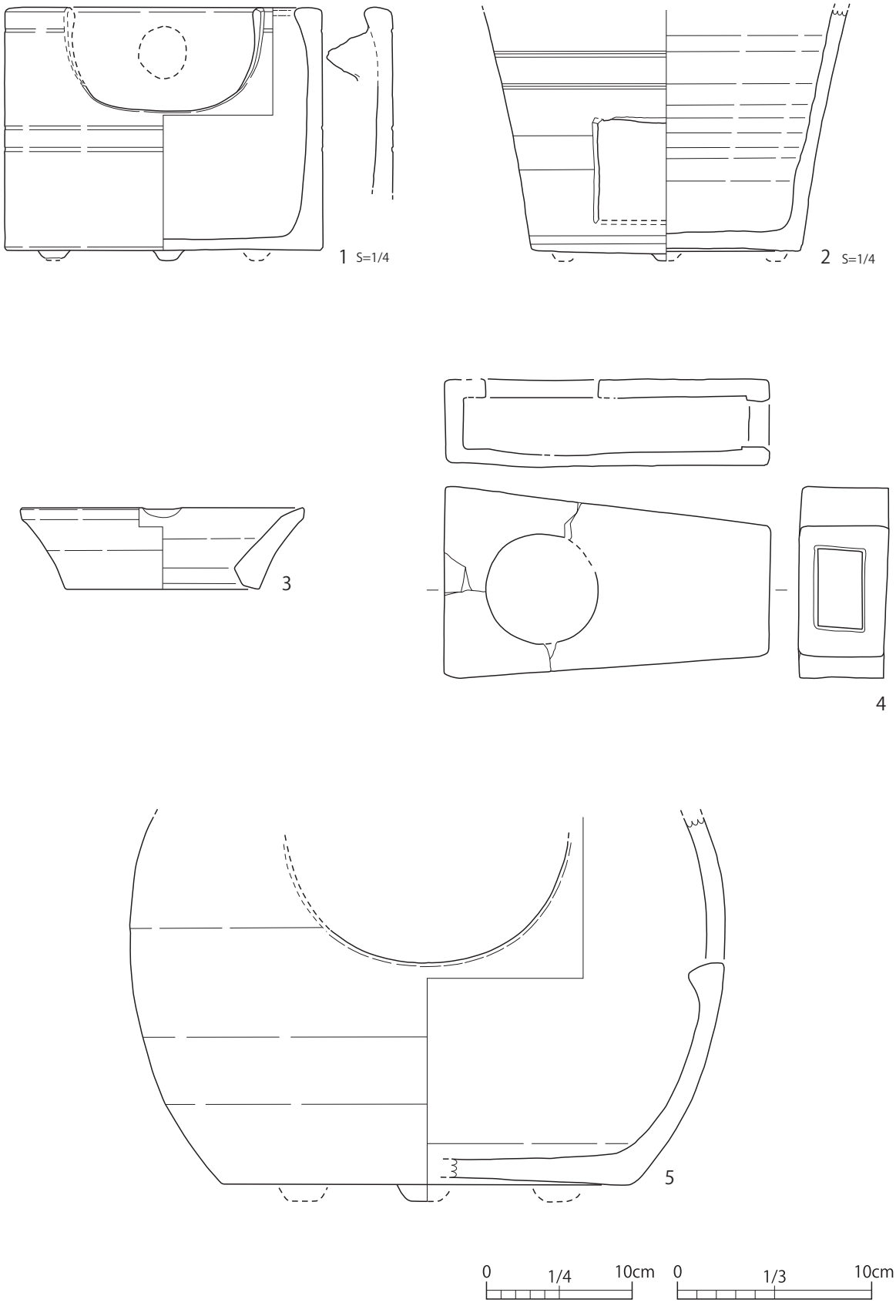
第 135 図　近世の陶磁器・土器（133）（1/3・1/4・1/6）

C251 号

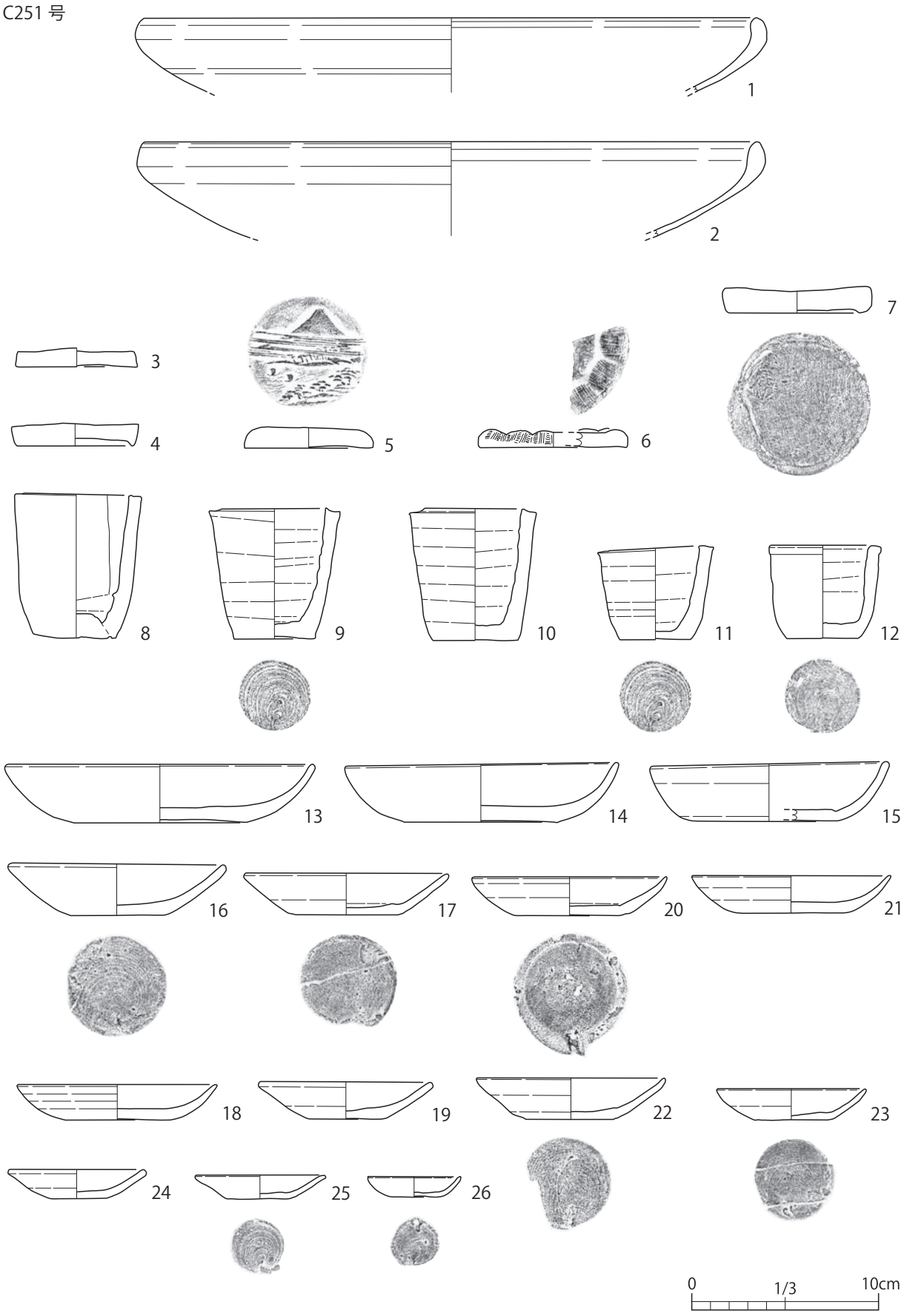


第 136 図　近世の陶磁器・土器（134）（1/3・1/6）

C251 号



第 137 図　近世の陶磁器・土器（135）（1/3・1/4）



第 138 図　近世の陶磁器・土器（136）（1/3）

C278 号

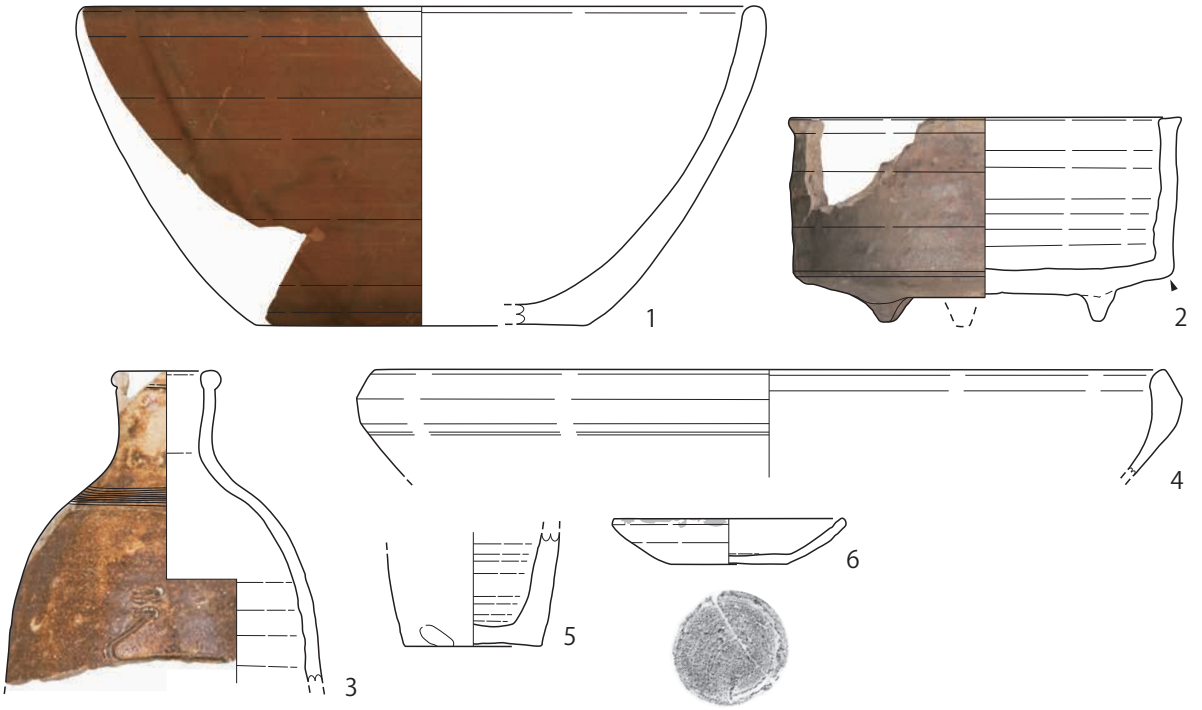
第 139 図　近世の陶磁器・土器（137）（1/3）

C304 号

C305 号上層

第 140 図　近世の陶磁器・土器（138）（1/3）

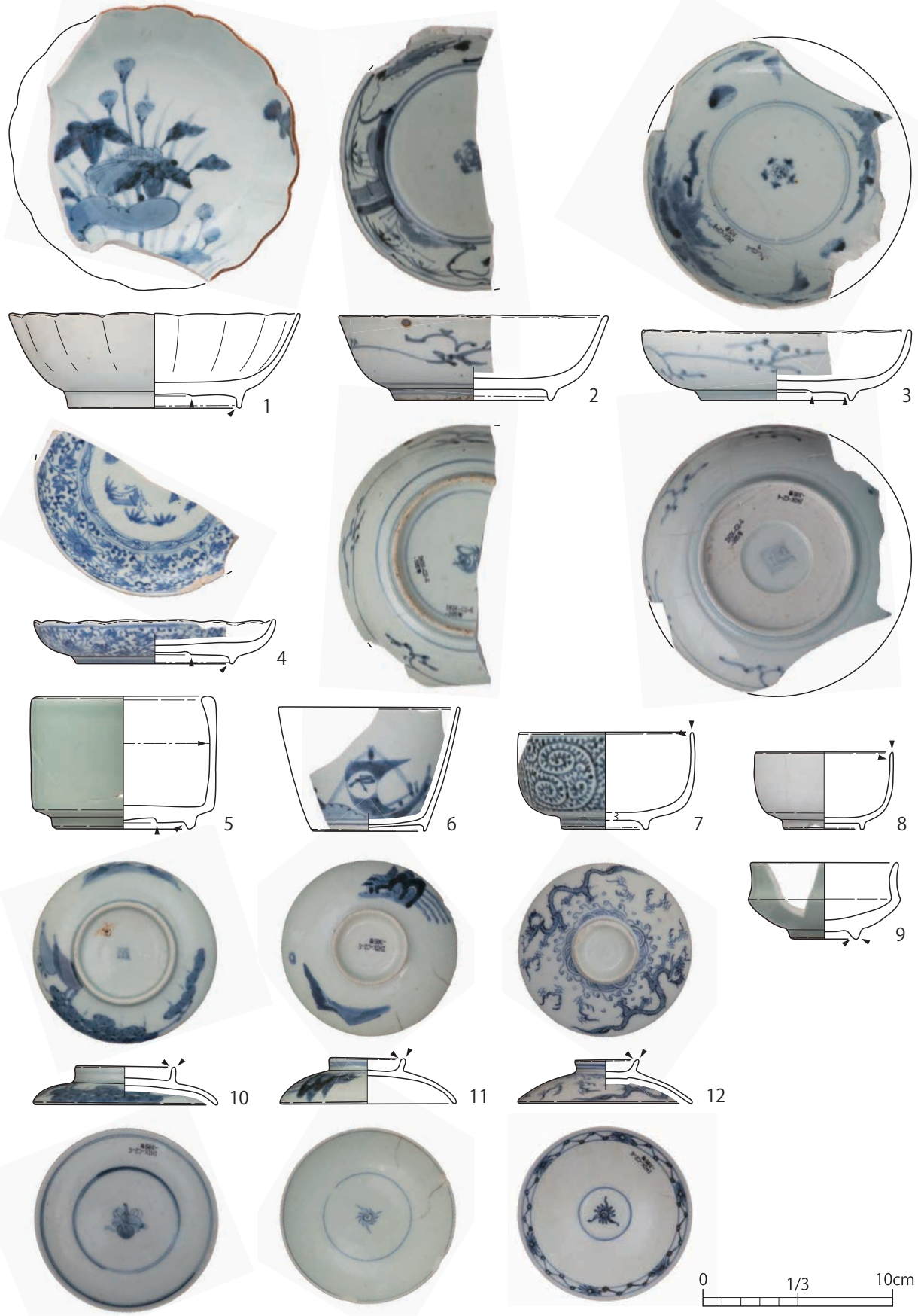
C305 号上層



C305 号中層

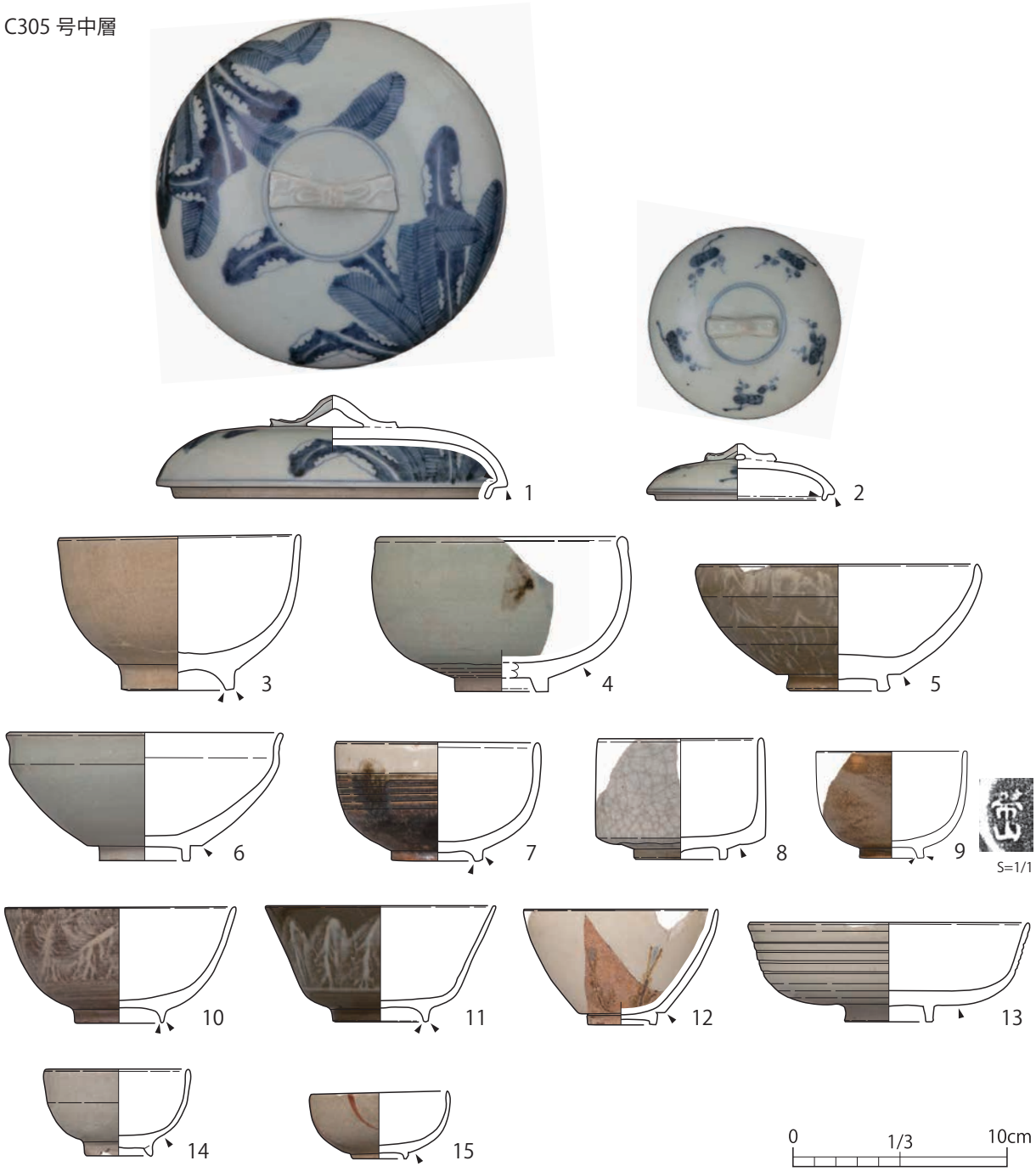
第 141 図　近世の陶磁器・土器（139）（1/3）

C305 号中層



第 142 図　近世の陶磁器・土器（140）（1/3）

C305 号中層



第 143 図　近世の陶磁器・土器（141）（1/3）

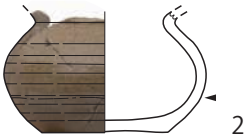
C305 号中層

第 144 図　近世の陶磁器・土器（142）（1/3）

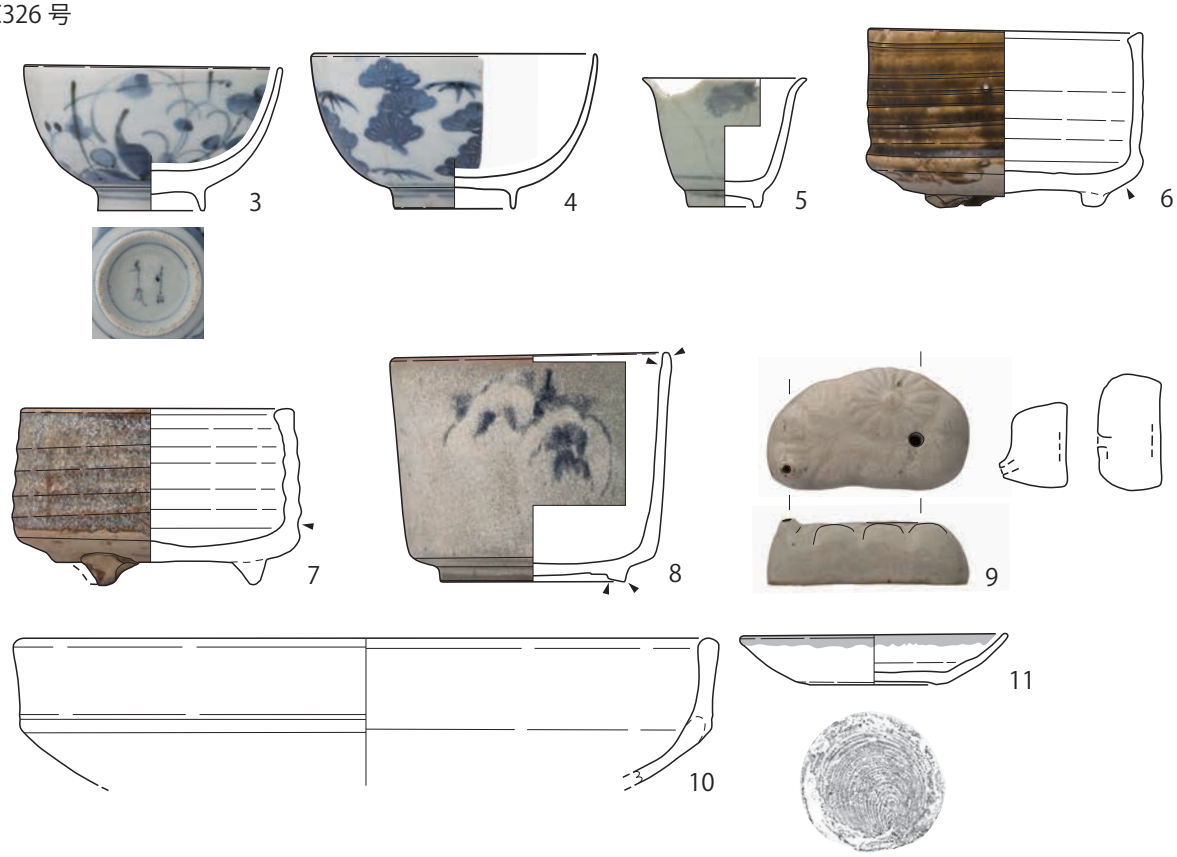
第 145 図　近世の陶磁器・土器（143）（1/3）

C305 号下層

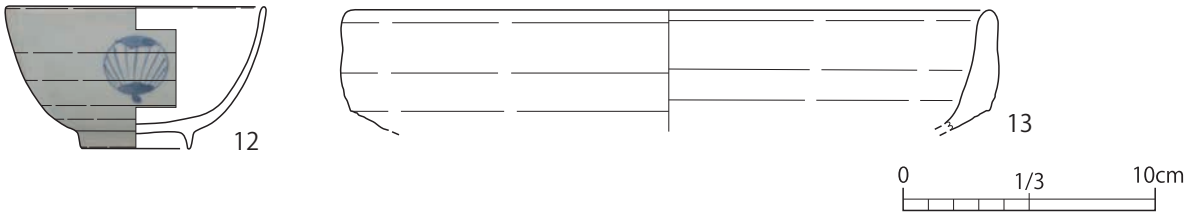
C320 号



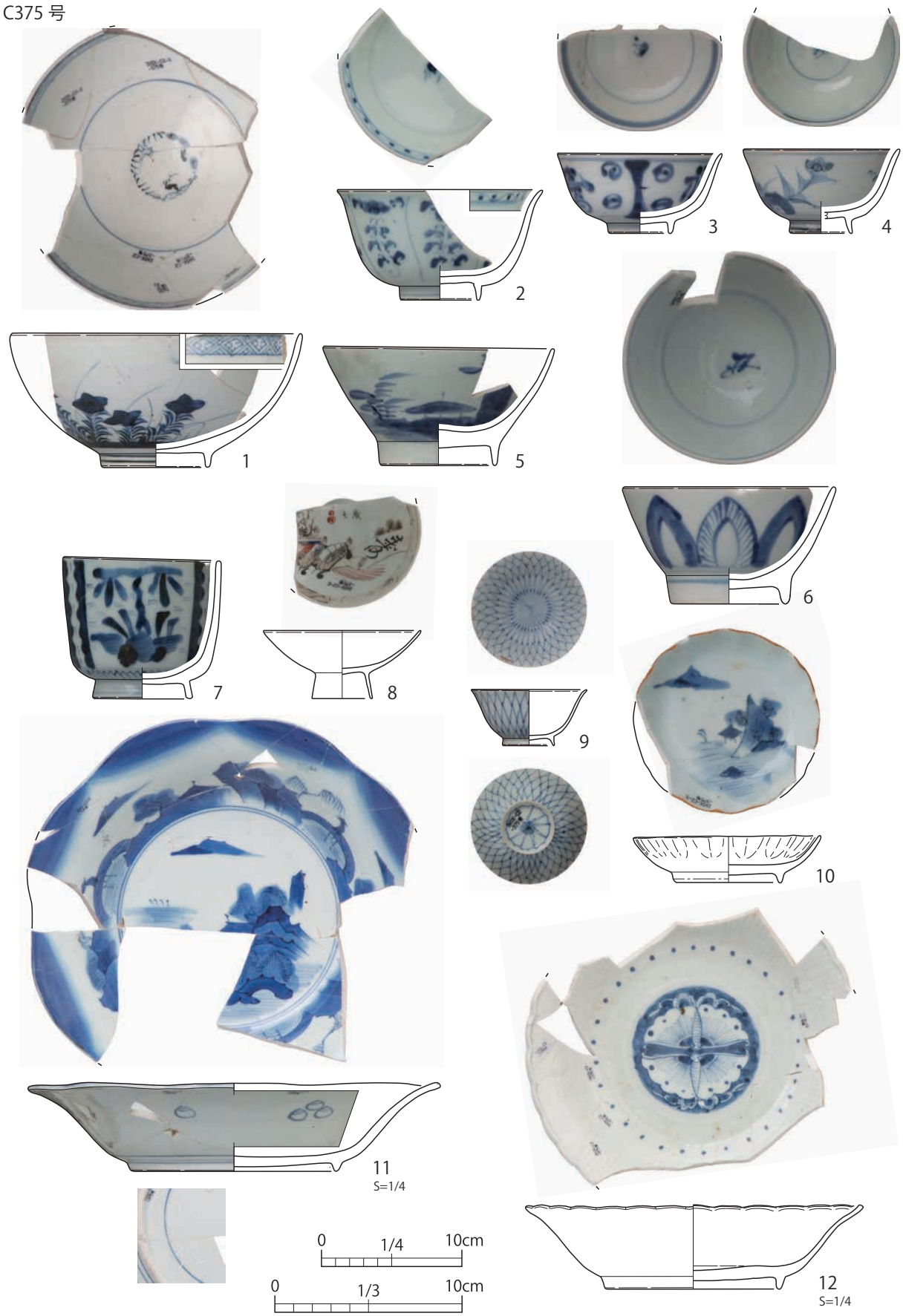
C326 号



C331 号

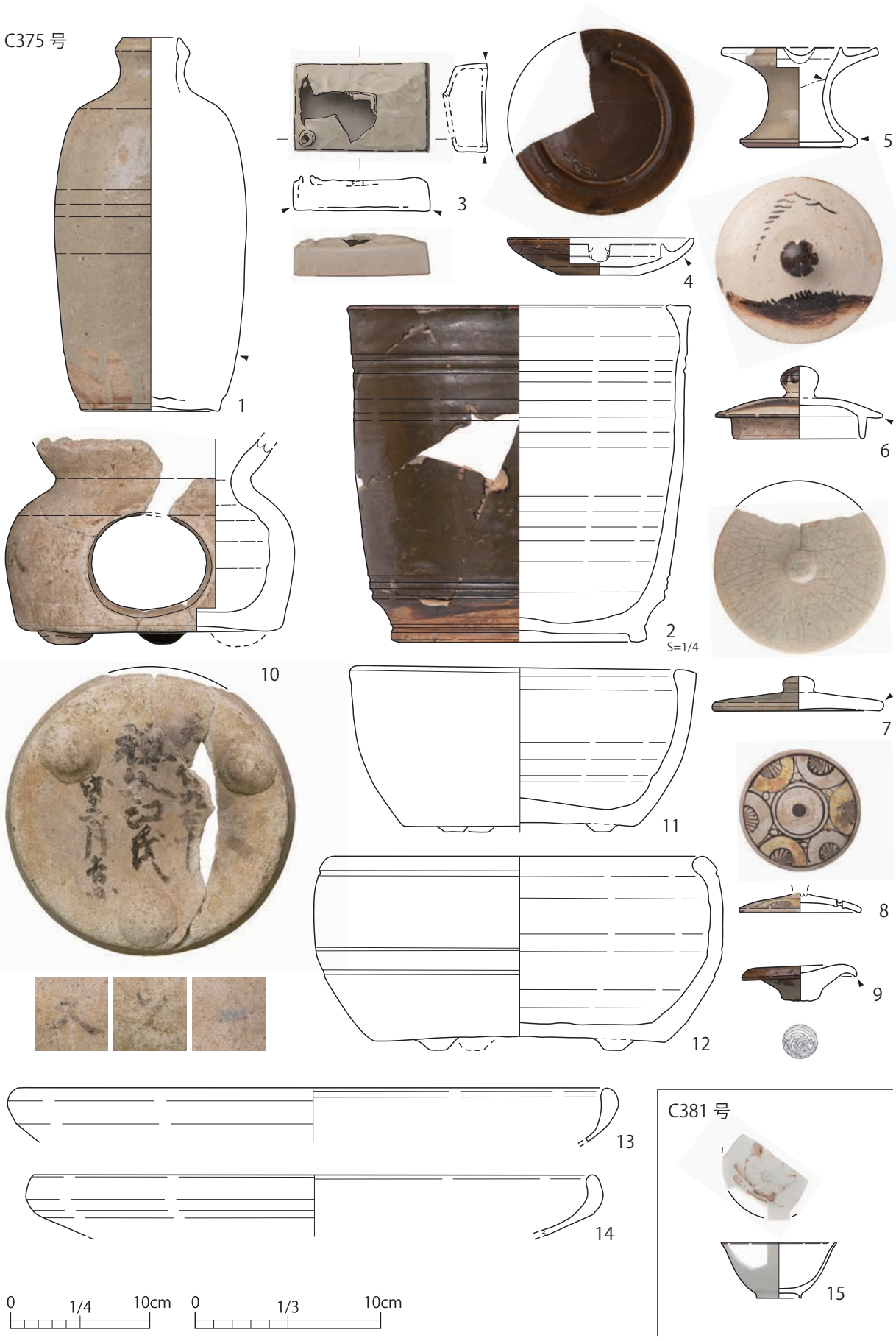


第 146 図　近世の陶磁器・土器（144）（1/3）



第 147 図　近世の陶磁器・土器（145）（1/3・1/4）

第 148 図　近世の陶磁器・土器（146）（1/3）

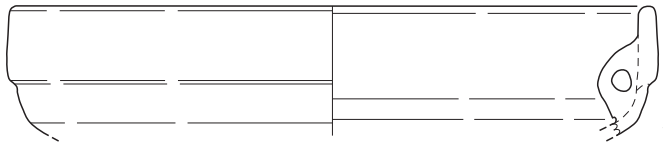


第 149 図　近世の陶磁器・土器（147）（1/3・1/4）

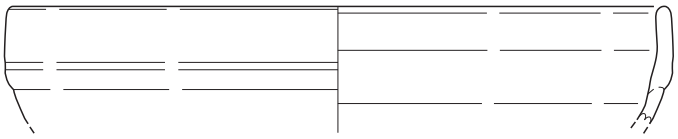
第 150 図　近世の陶磁器・土器（148）（1/3）

第 151 図　近世の陶磁器・土器（149）（1/3）

C475 号



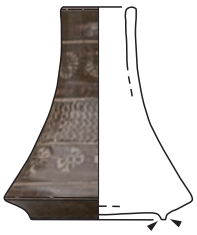
1



2

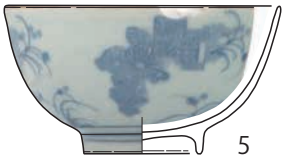
C486 号

3

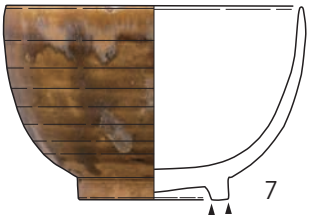


4

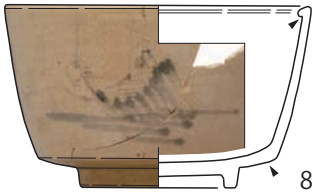
C505 号



5

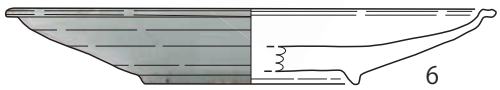


7

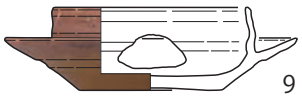


8

S=1/1

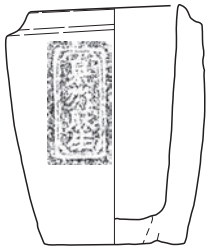


6



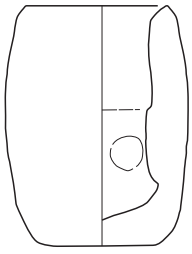
9

C454 号



10

C478 号



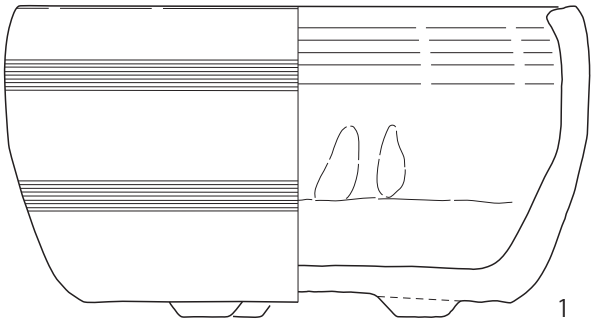
11

0 1/3 10cm

第 152 図　近世の陶磁器・土器（150）（1/3）

第 153 図　近世の陶磁器・土器（151）（1/3）

C511 号



1

2

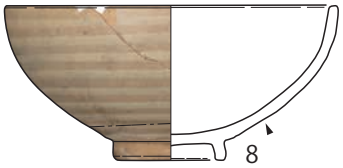
3

C514 号

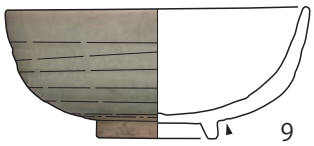
4

5

6



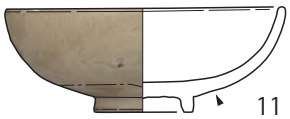
8



9

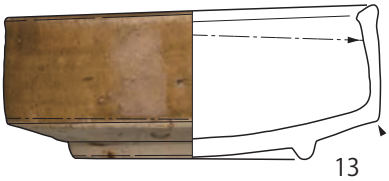
7

10

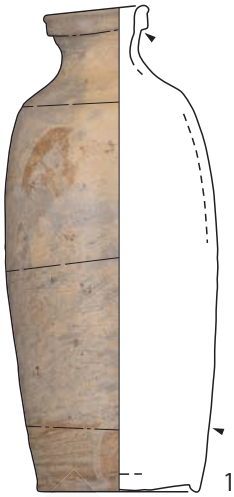


11

12

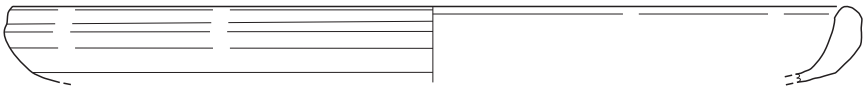


13

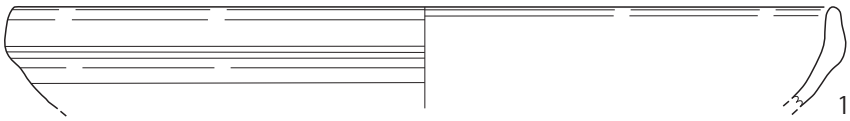


14

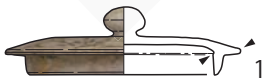
C526 号



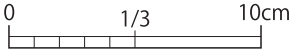
16



17



15



第 154 図　近世の陶磁器・土器（152）（1/3）

C521 号

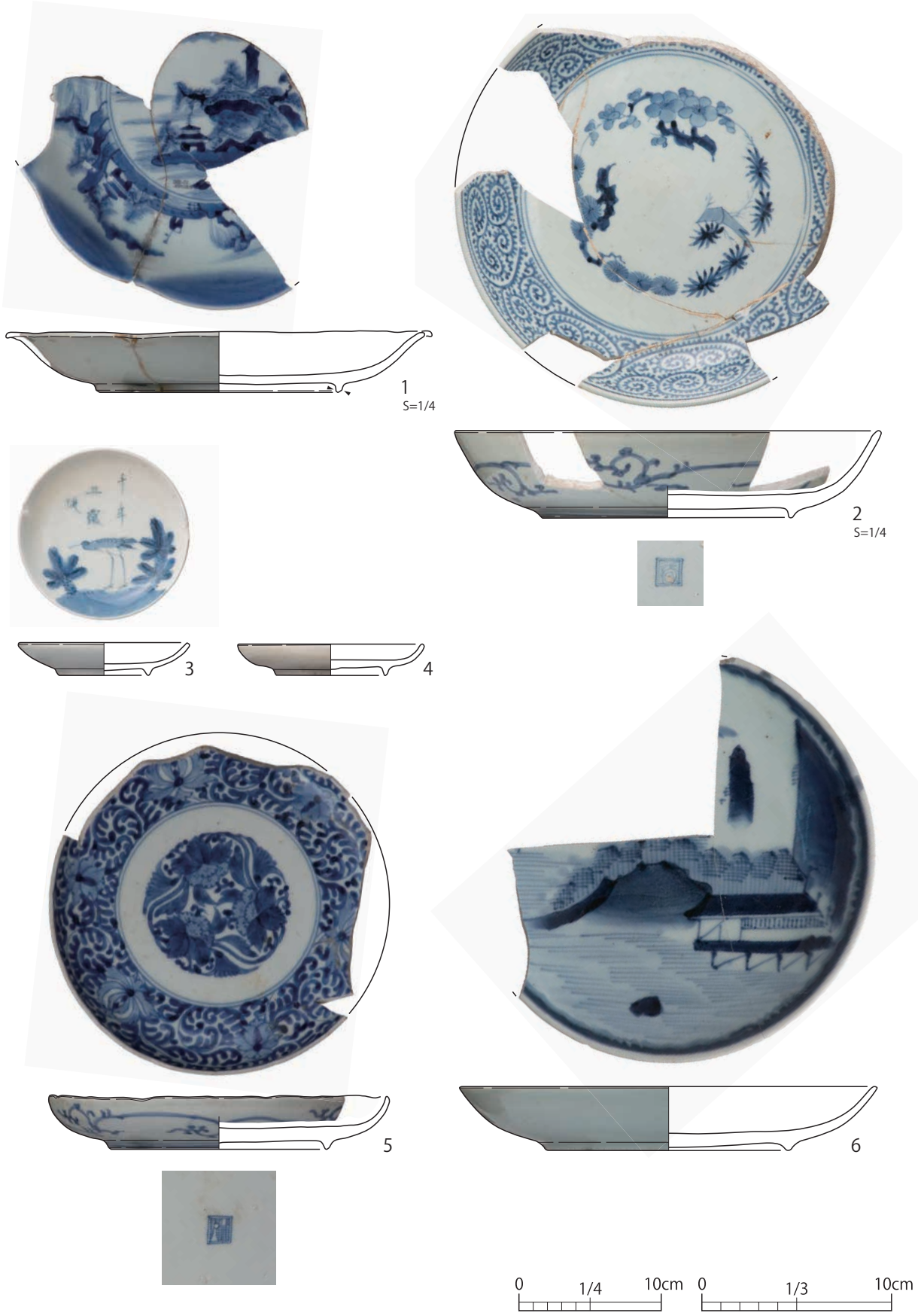
第 155 図　近世の陶磁器・土器（153）（1/3）

第 156 図　近世の陶磁器・土器（154）（1/3）

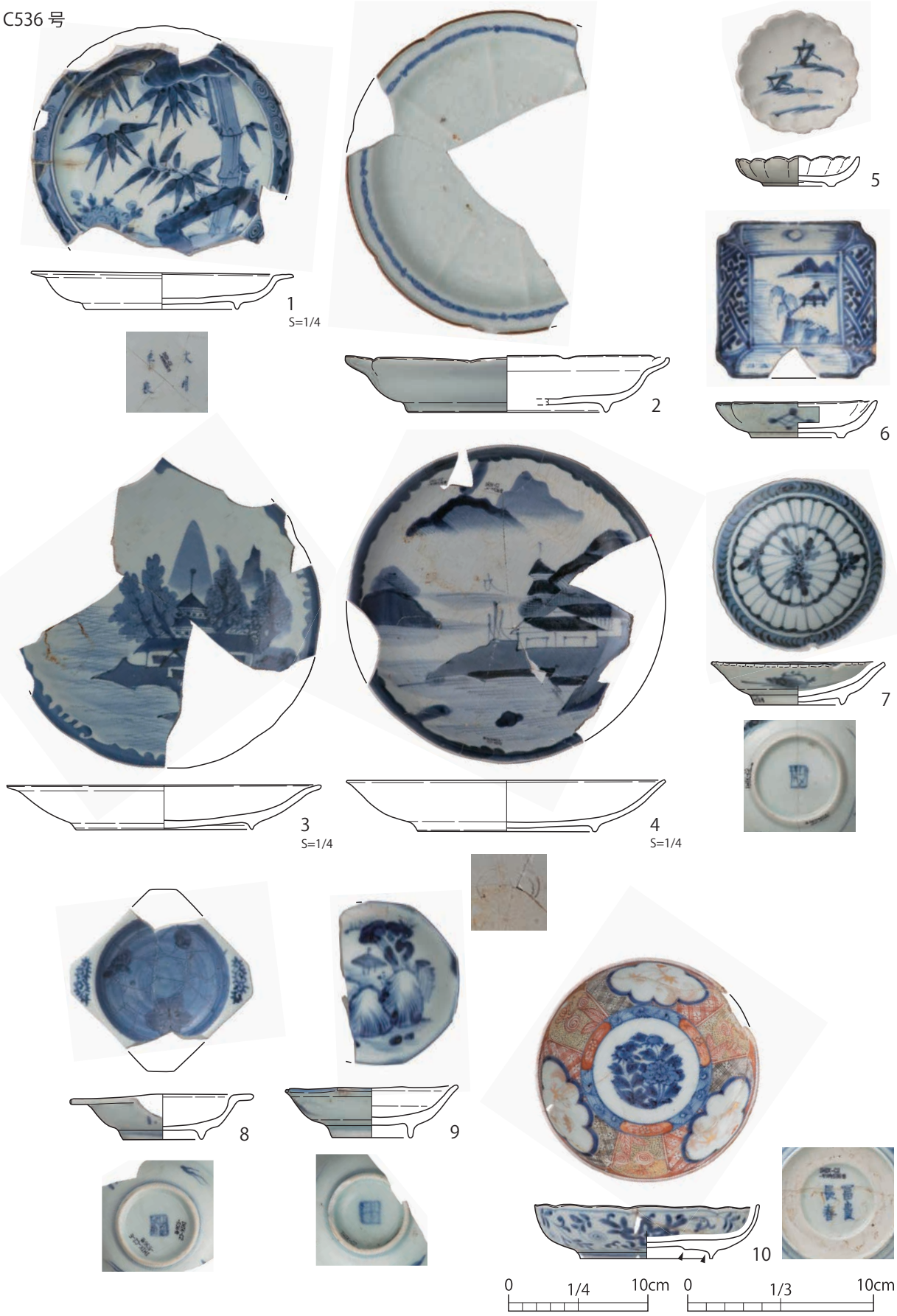
C536 号

第 157 図　近世の陶磁器・土器（155）（1/3）

C536 号



第 158 図　近世の陶磁器・土器（156）（1/3・1/4）



第 159 図　近世の陶磁器・土器（157）（1/3・1/4）

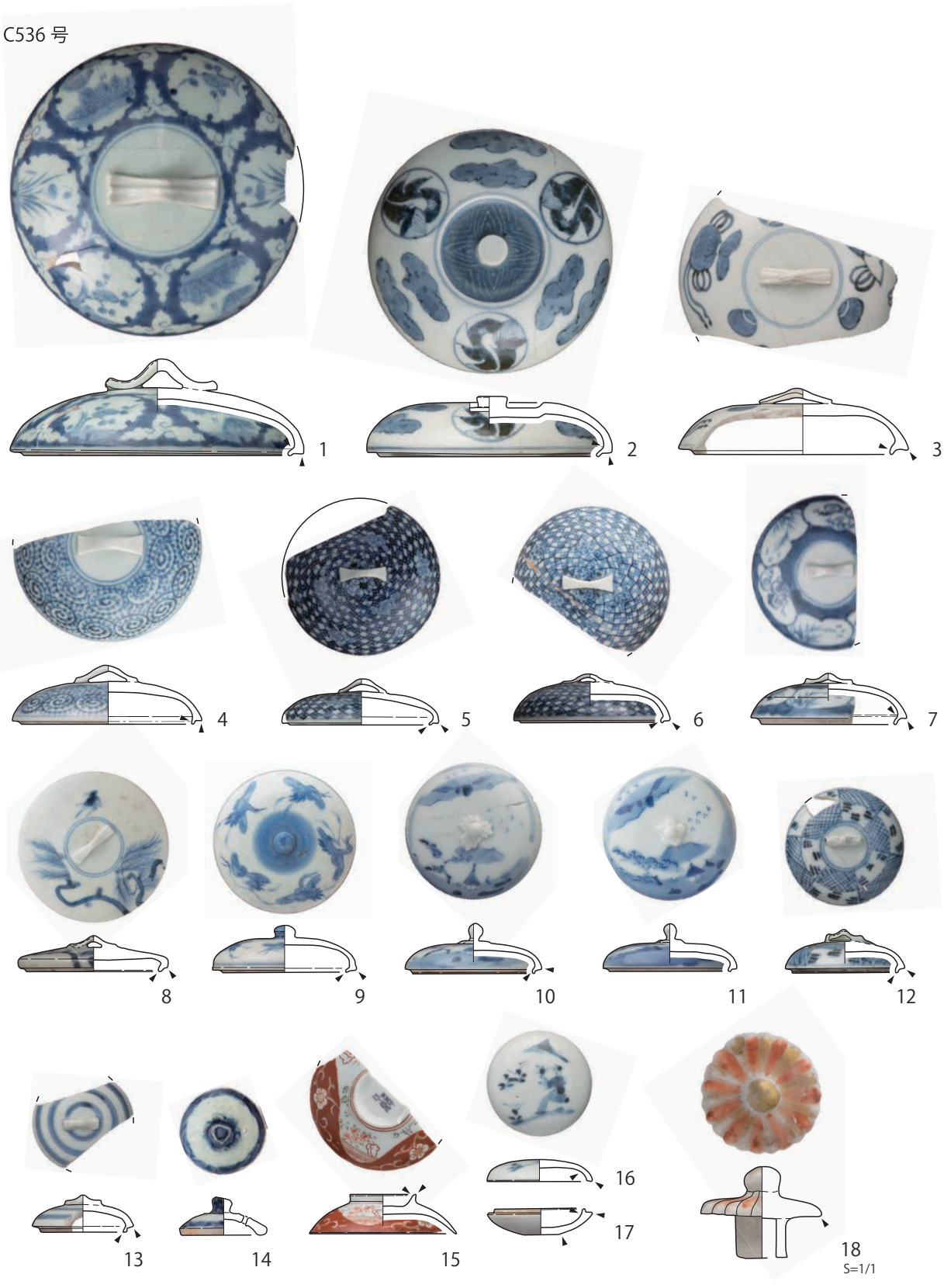
第 160 図　近世の陶磁器・土器（158）（1/3）

C536 号

第 161 図　近世の陶磁器・土器（159）（1/3）

C536 号

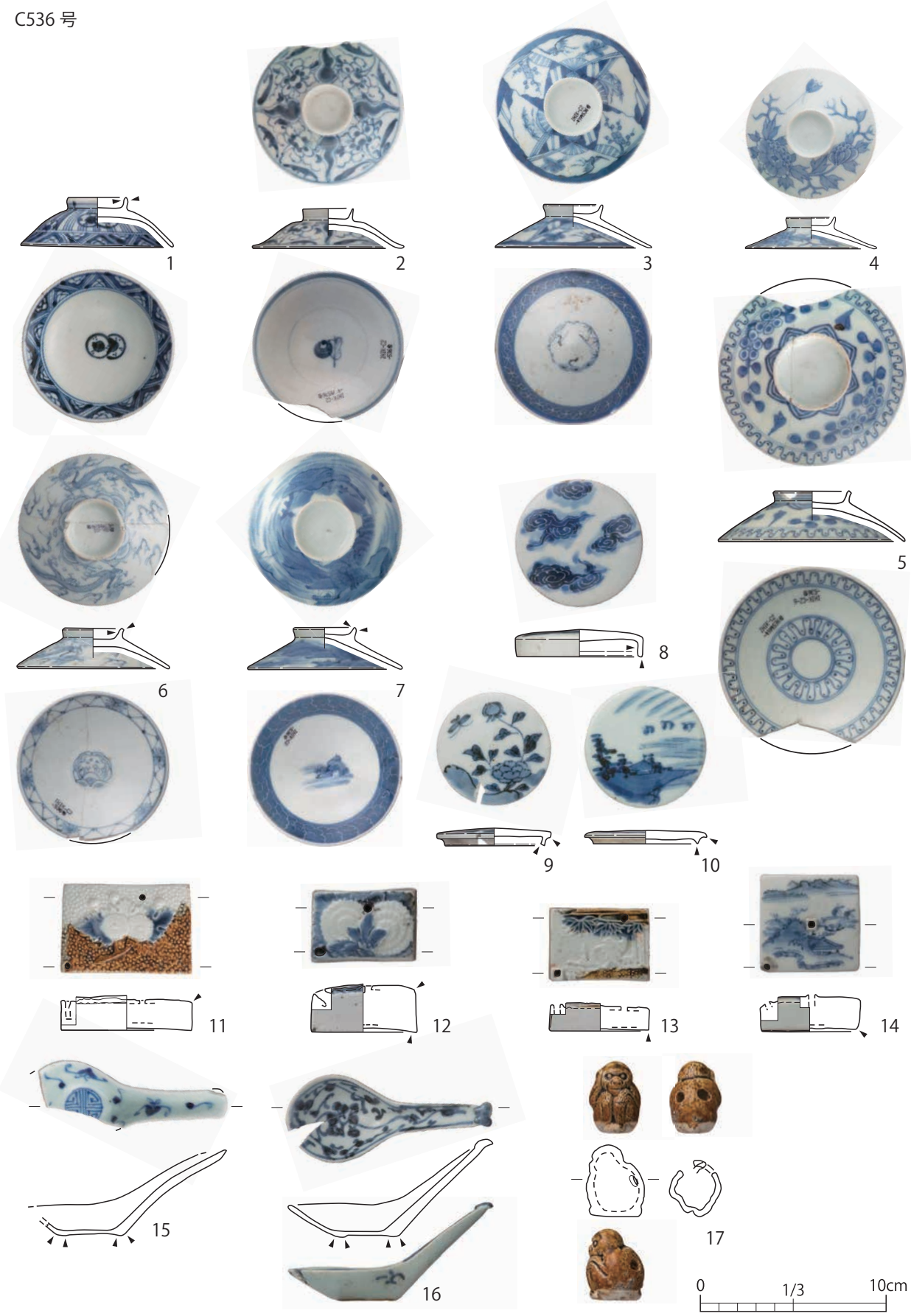
第 162 図　近世の陶磁器・土器（160）（1/3・1/4）



第 163 図　近世の陶磁器・土器（161）（1/3）

第 164 図　近世の陶磁器・土器（162）（1/3）

C536 号

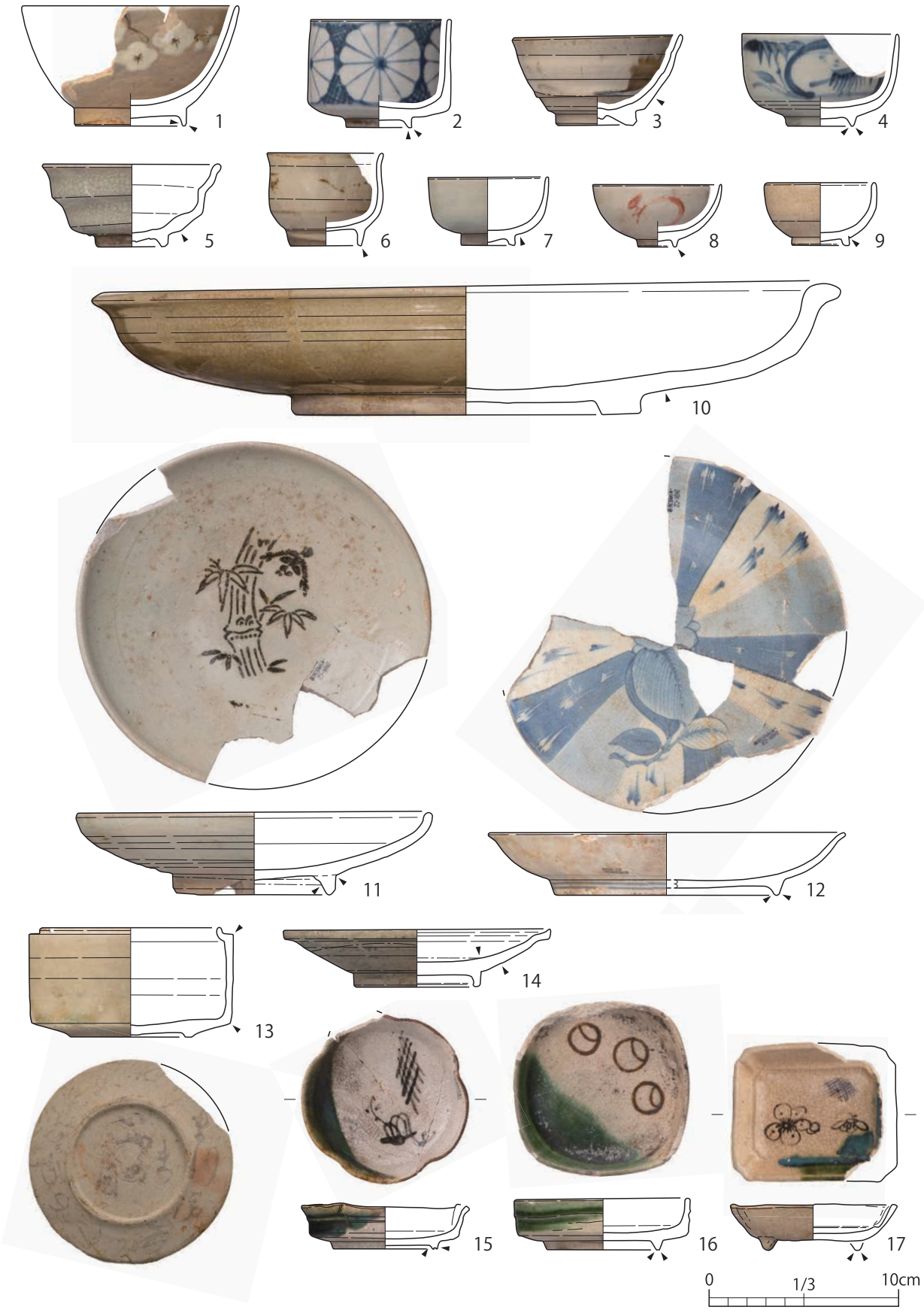


第 165 図　近世の陶磁器・土器（163）（1/3）

C536 号

第 166 図　近世の陶磁器・土器（164）（1/3）

C536 号



第 167 図　近世の陶磁器・土器（165）（1/3）

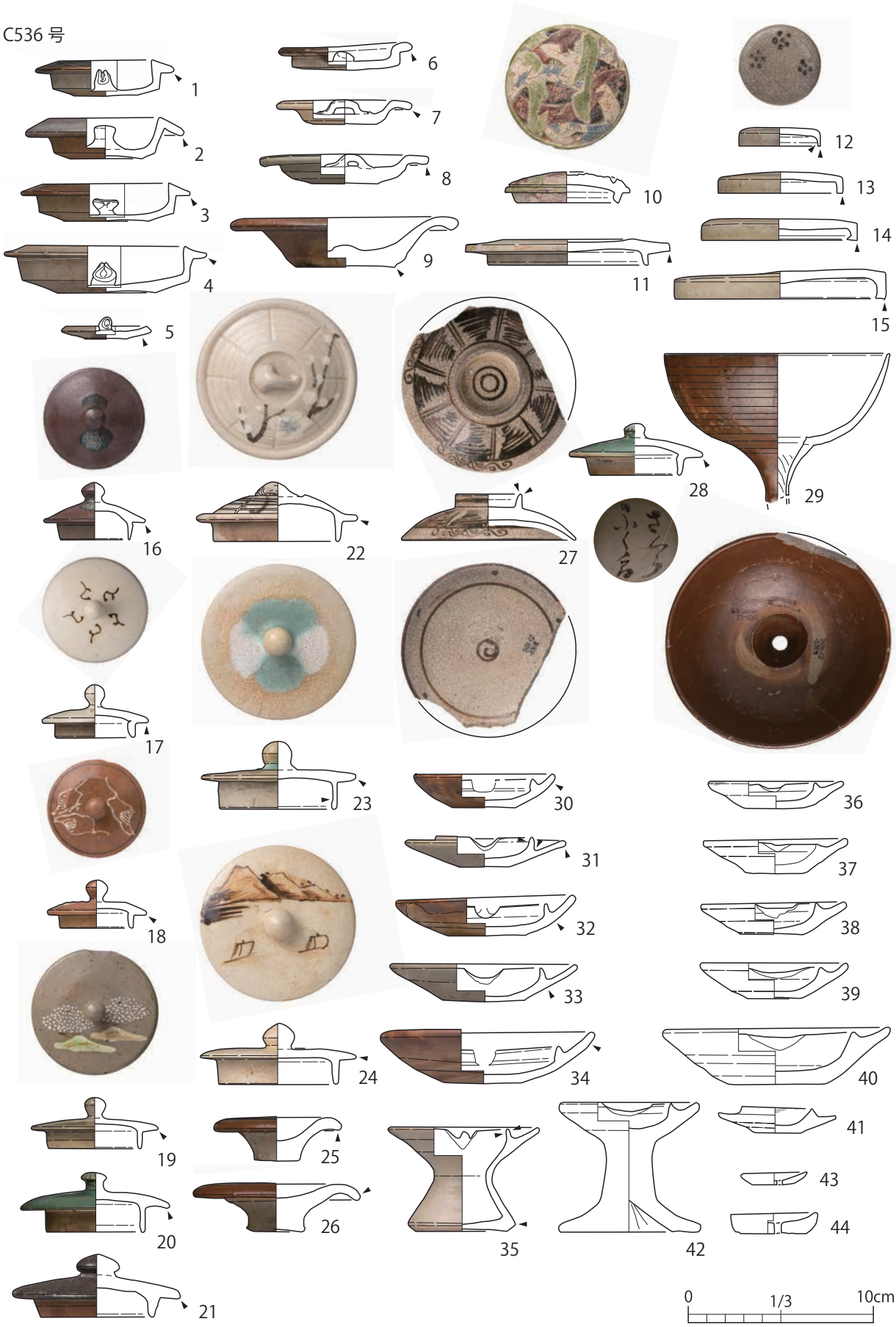
第 168 図　近世の陶磁器・土器（166）（1/3）

C536 号

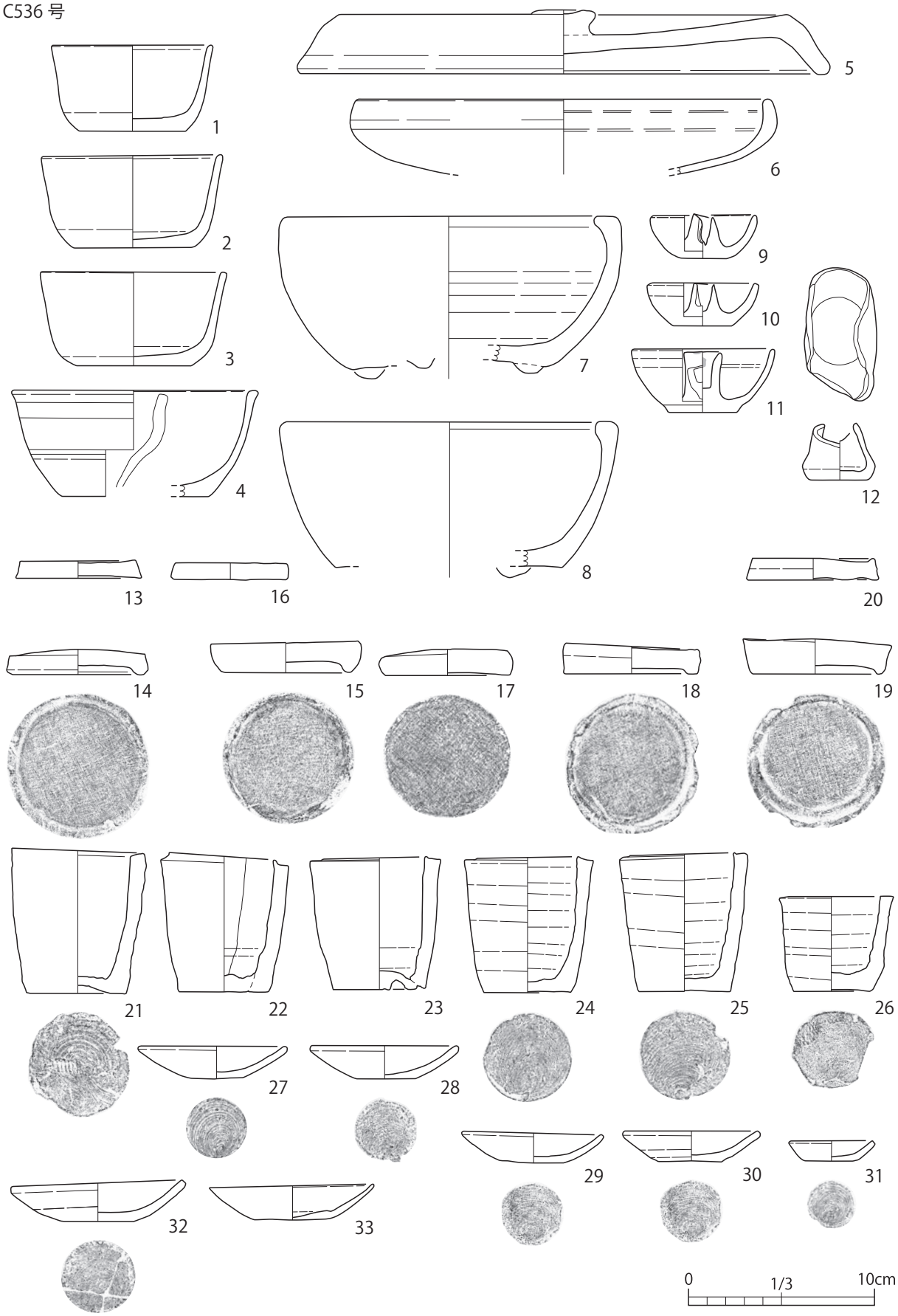
第 169 図　近世の陶磁器・土器（167）（1/3・1/6）

第 170 図　近世の陶磁器・土器（168）（1/3・1/4）

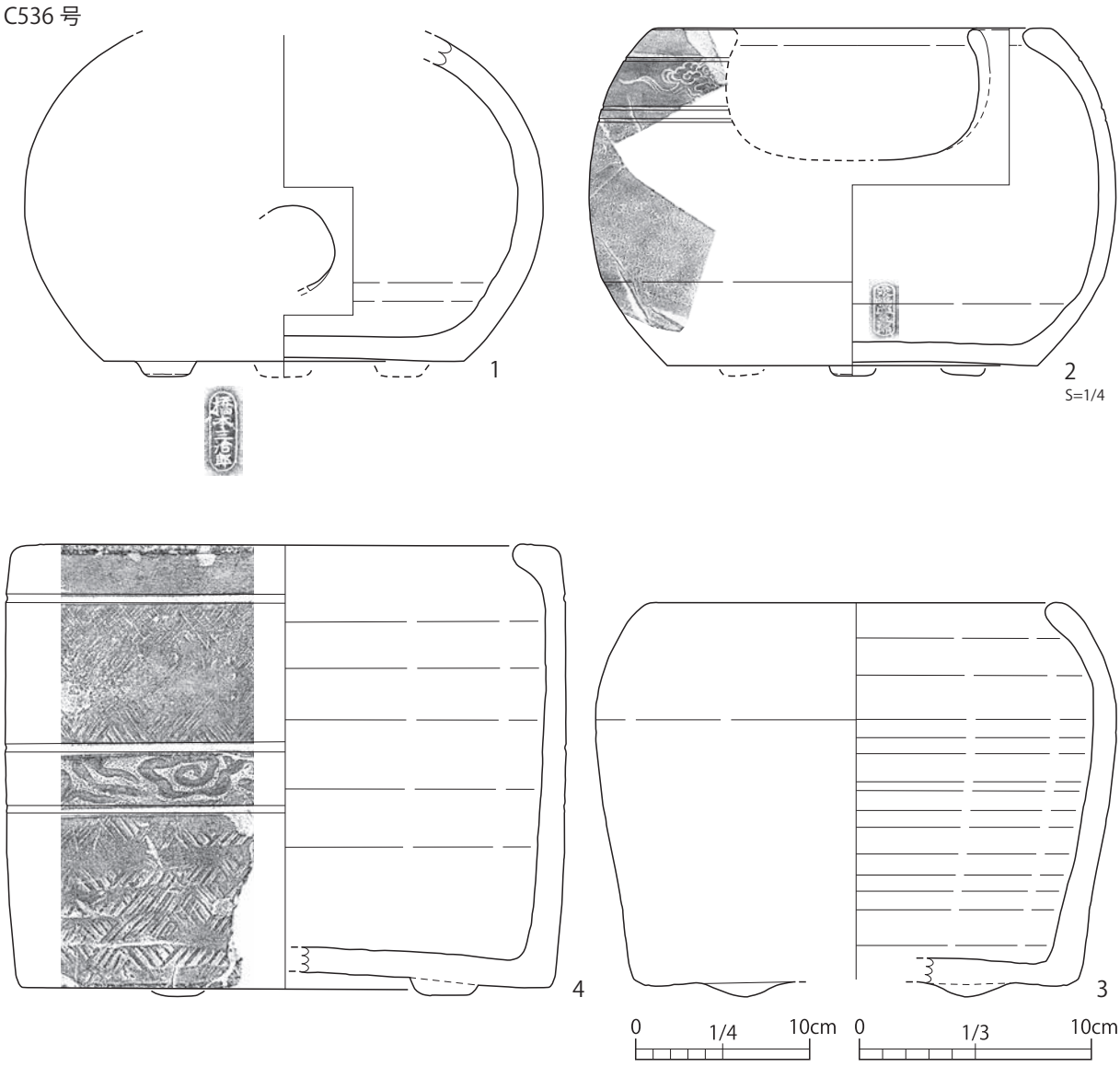
第 171 図　近世の陶磁器・土器（169）（1/3・1/6）



第 172 図　近世の陶磁器・土器（170）（1/3）



第 173 図　近世の陶磁器・土器（171）（1/3）



第 174 図　近世の陶磁器・土器（172）（1/3・1/4）

C536 号（第 156 ～ 174 図）

遺物は陶磁器、木製品、金属製品などが多量に出土している。

陶磁器には肥前および瀬戸・美濃産の磁器、釘書きのみられる高田徳利、美濃産の三角徳利、薩摩焼土瓶、木型打ちでない型打ち皿、いわゆる清朝磁器の散蓮華、瀬戸美濃擂鉢、瓦質の蚊遣りなどがある。第 156 図 1 は、見込みに五弁花と二重圏線、口縁部に上絵付で七宝繋ぎ文を施すが、全体的に不自然なものとなっている。また、外面は染付で描かれた梅樹文、鳥、雪輪、草花文に加え、上絵付で梅花、鳥、草、鈴虫などを描く。これら外面の色絵も蛇足気味で、上絵付けの文様は江戸で加筆した可能性がある。

出土遺物には寛政期のものが多い。清朝磁器は、散蓮華、小鉢などが僅かに含まれるのみで、清朝磁器碗等を含む同時期の遺構とは差異がある。出土陶磁器・土器の時期相は 18c 末～ 19c 初と考えられる。ここから遺構の廃絶時期は天保頃 1830 年代前半頃で、これは第二次西御殿の造営後、西御殿長局が取り壊され、厩が整備された時期に近い。

C598 号（第 184 ～ 187 図）

第 1 次西御殿解体に伴う大型の廃棄土坑で、C305 号底面における遺構検出段階では、当該遺構はロームを多量に含む覆土であり、周囲の他の遺構を切る状況が観察される。また、このロームを多量に含む覆土は、C598 号の覆土のみならず、整地土として広範囲に広がる様子が C305 号セクションベルトの土層断面に観察される。

甕の成形は紐作りとして報告されているものが多いが、孫太等は底部に糸切痕の残る場合があり、回転により施文される沈線が施されている等、大きなものであっても轆轤で成形することが多いように考えられる。

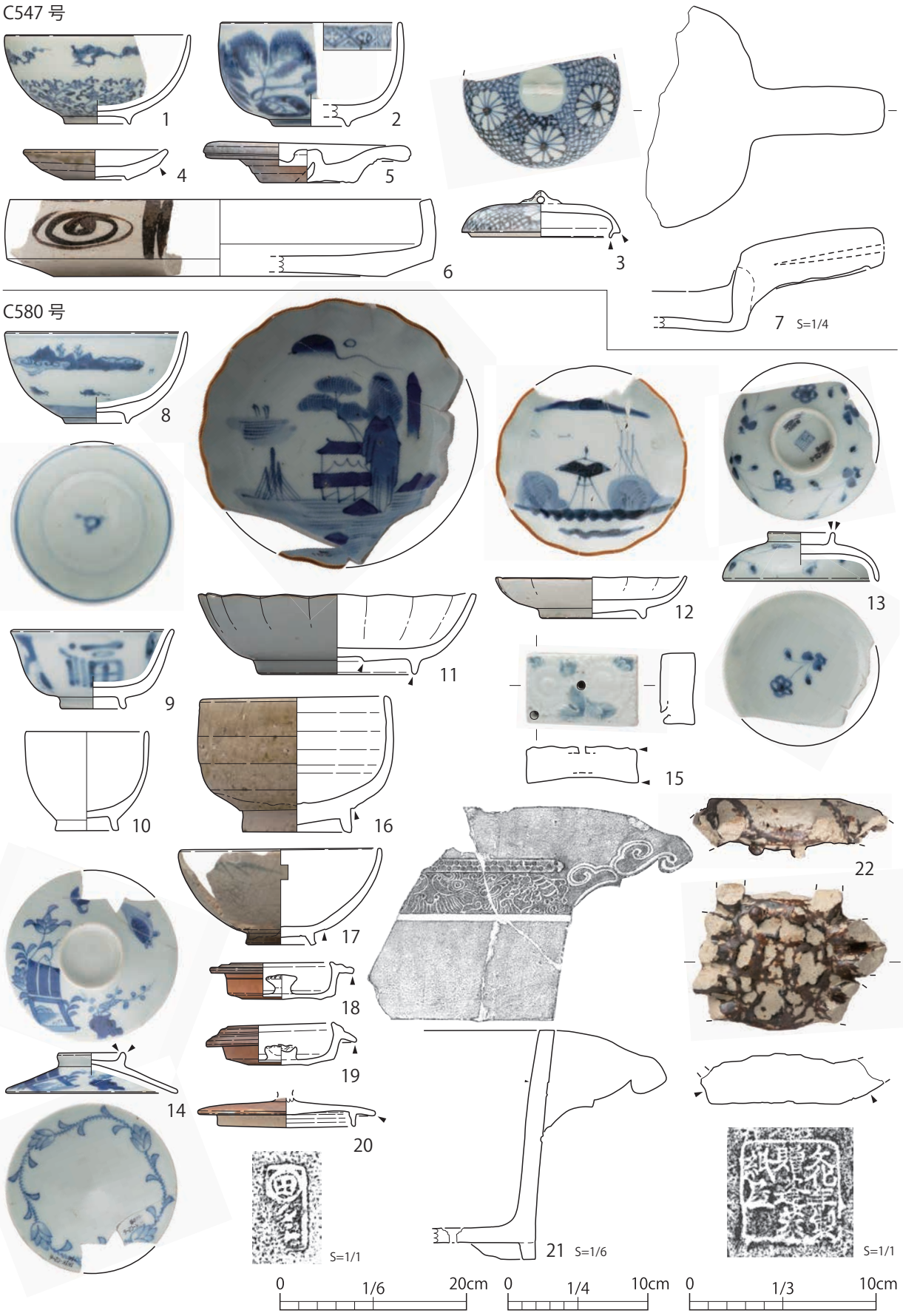
C605 号（第 183 図）

磁器は第 183 図 1 の松文が施された蓋物、陶器には同図 3 の腰錆碗や 7 の秉燭がある。18 世紀半ば頃の遺物が主体であるが、覆土には C304 号（整地土）に含まれていたとみられる遺物の混入がある。近接して C598 号が構築されており、下層に遺物が集中する傾向がある。

第 175 図　近世の陶磁器・土器（173）（1/3）

第 176 図　近世の陶磁器・土器（174）（1/3）

第 177 図　近世の陶磁器・土器（175）（1/3）



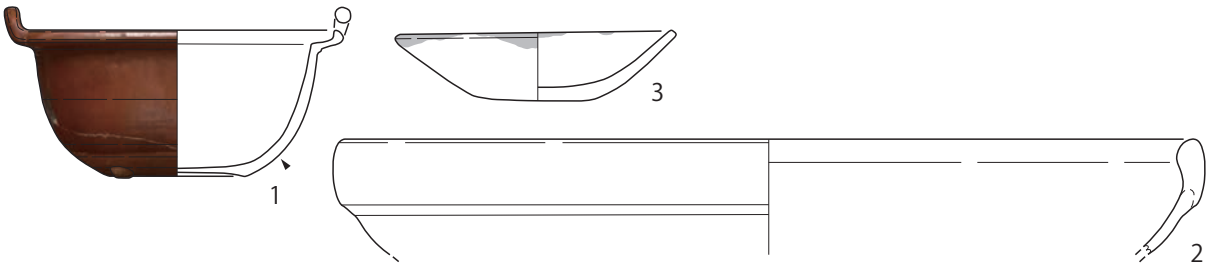
第 178 図　近世の陶磁器・土器（176）（1/3・1/4・1/6）

第 179 図　近世の陶磁器・土器（177）（1/3）

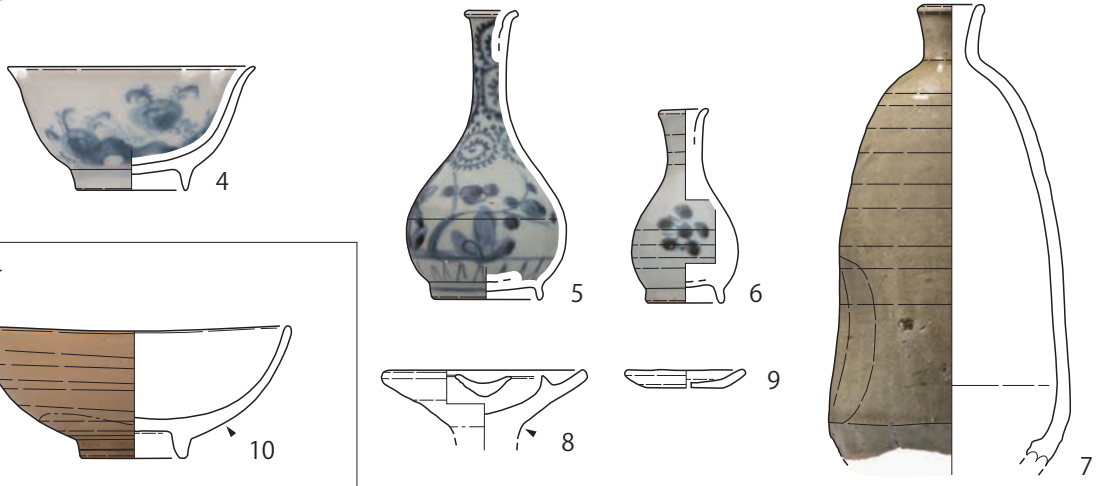
C586 号

第 180 図　近世の陶磁器・土器（178）（1/3）

C590 号



C591 号

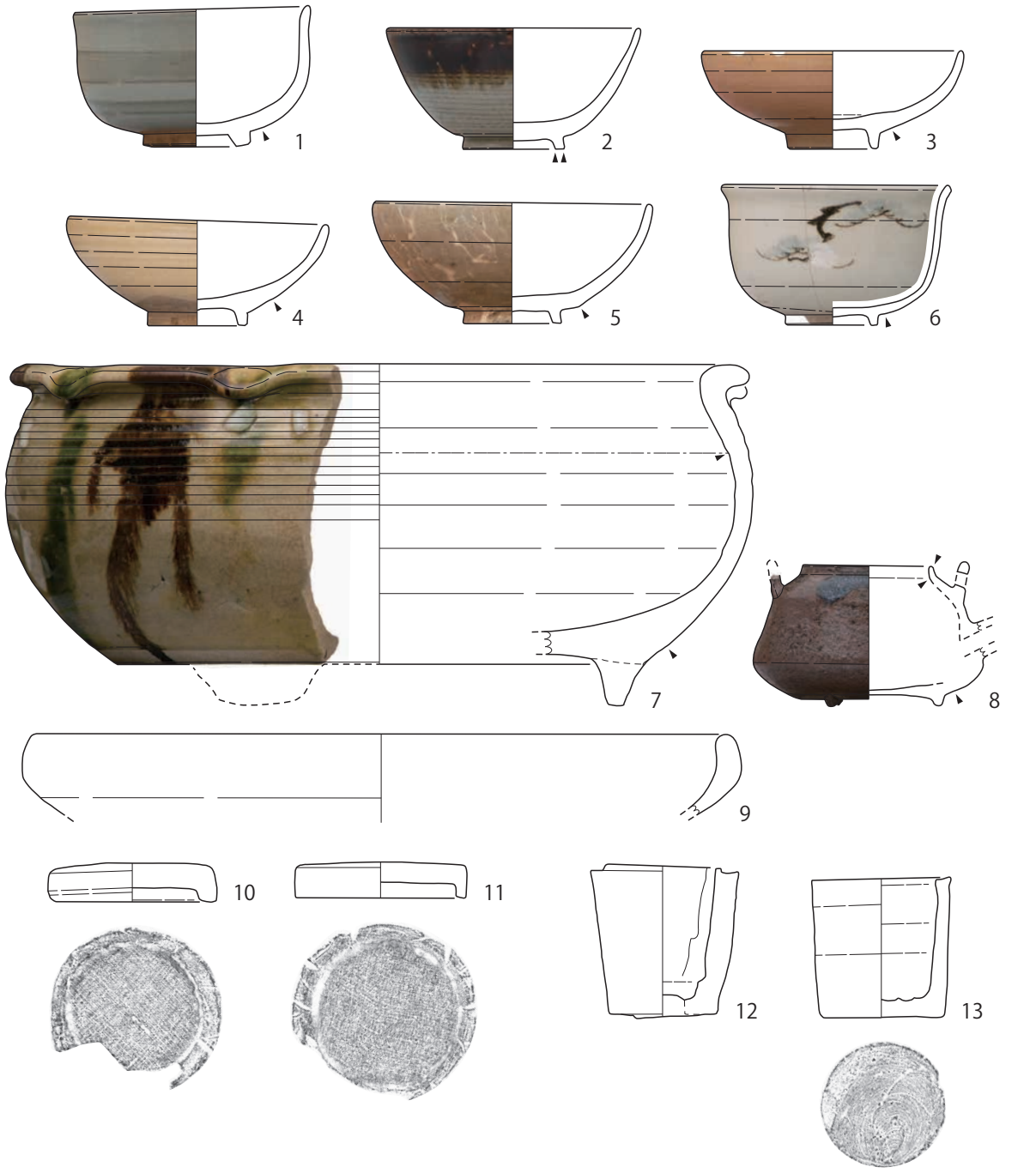


C597 号

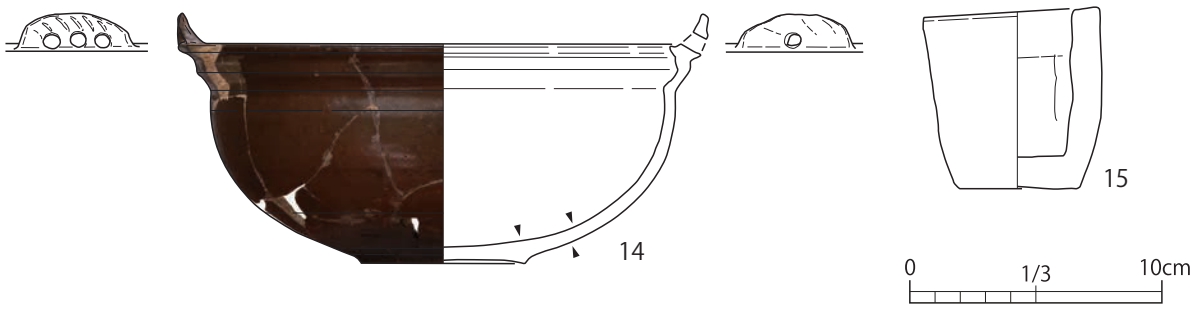
C603 号

第 181 図　近世の陶磁器・土器（179）（1/3）

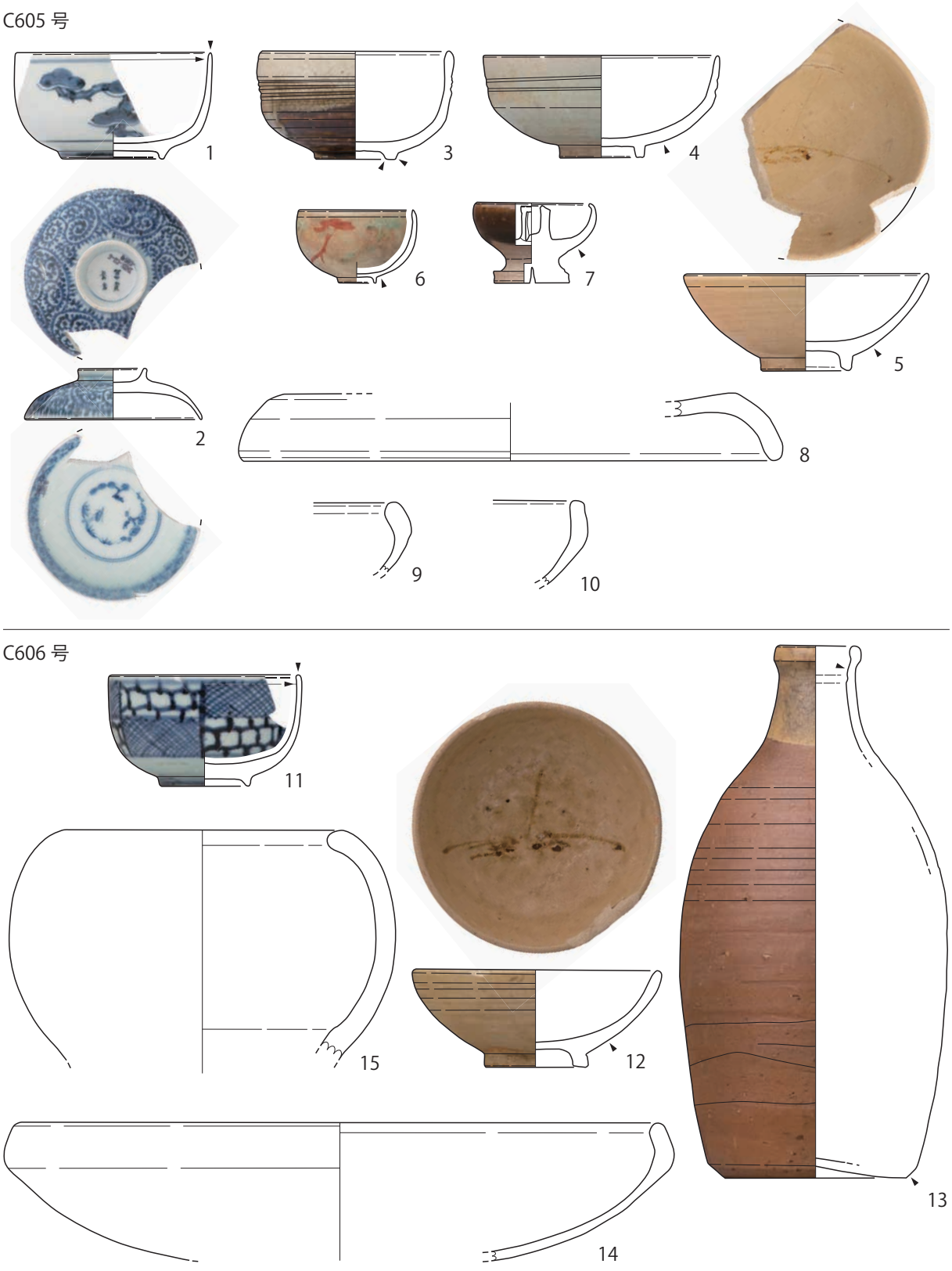
C603 号



C566 号



第 182 図　近世の陶磁器・土器（180）（1/3）



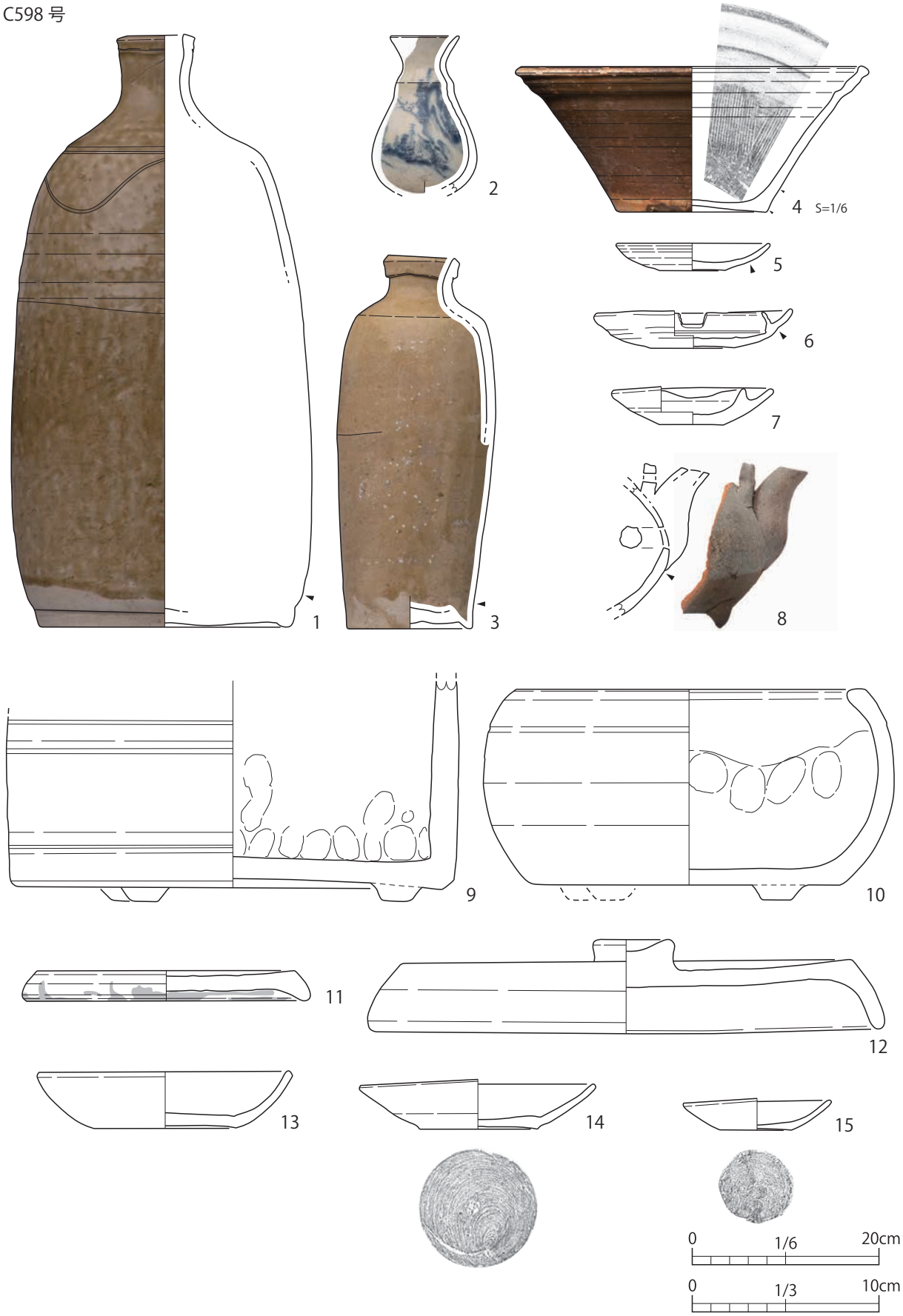
第 183 図　近世の陶磁器・土器（181）（1/3）

C598 号

第 184 図　近世の陶磁器・土器（182）（1/3）

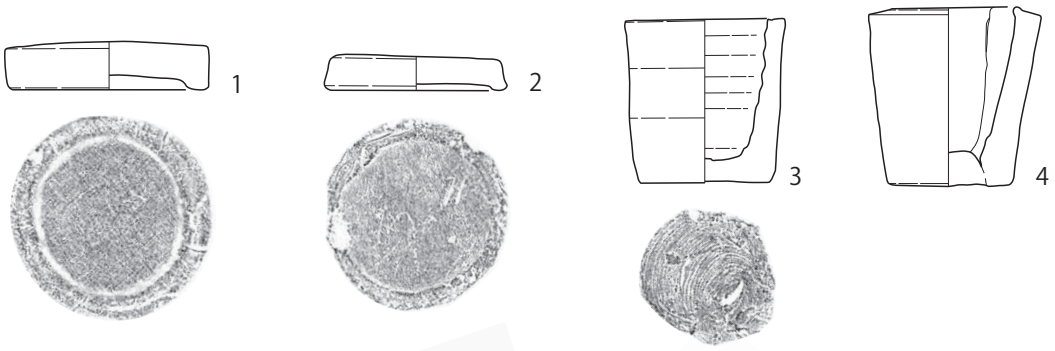
C598 号

第 185 図　近世の陶磁器・土器（183）（1/3）

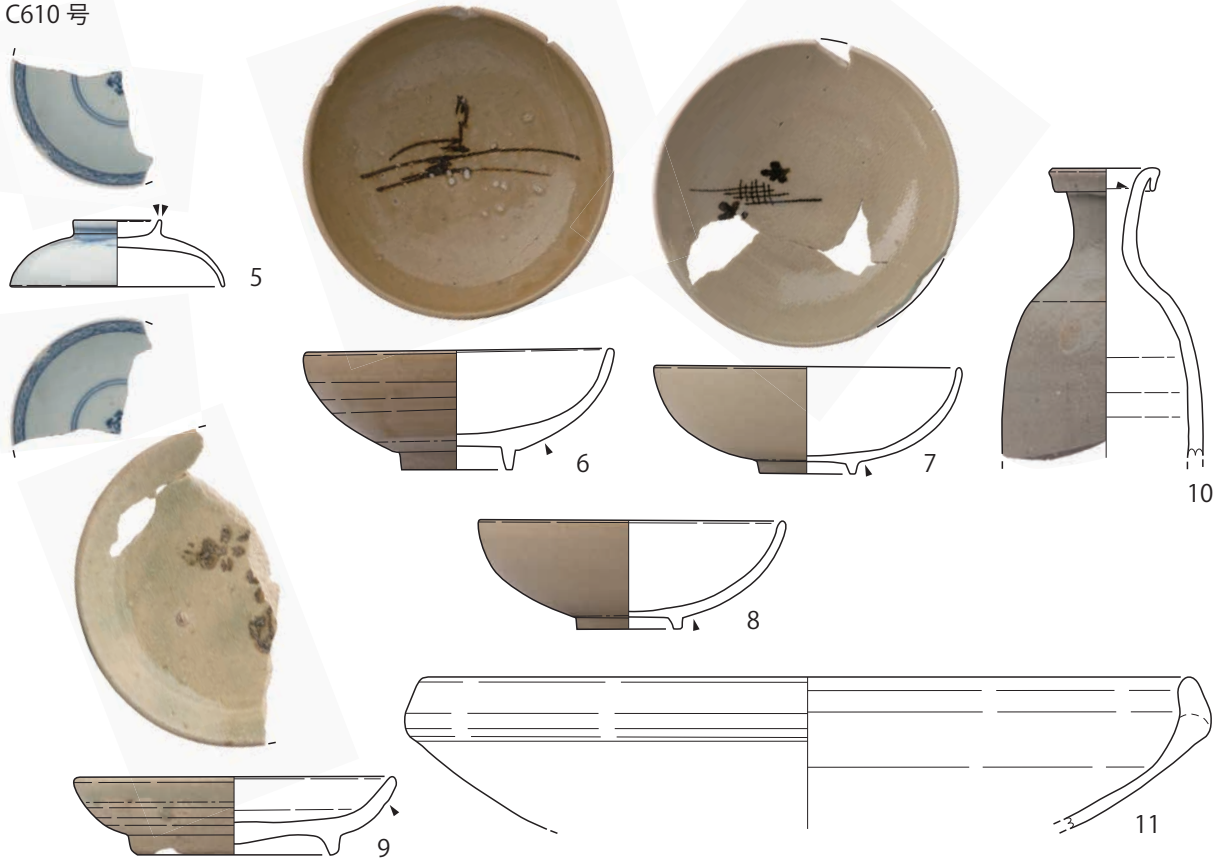


第 186 図　近世の陶磁器・土器（184）（1/3・1/6）

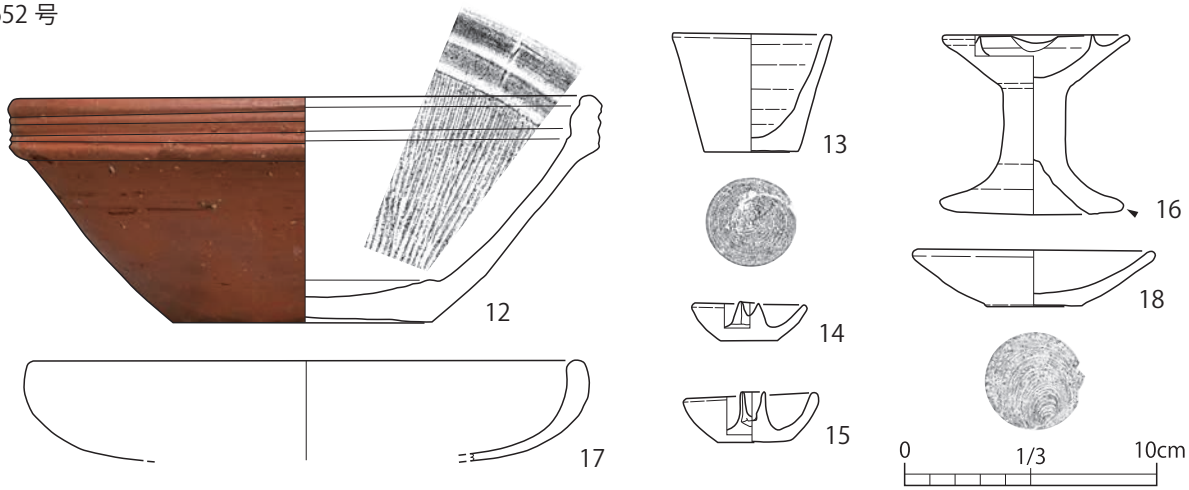
C598 号



C610 号

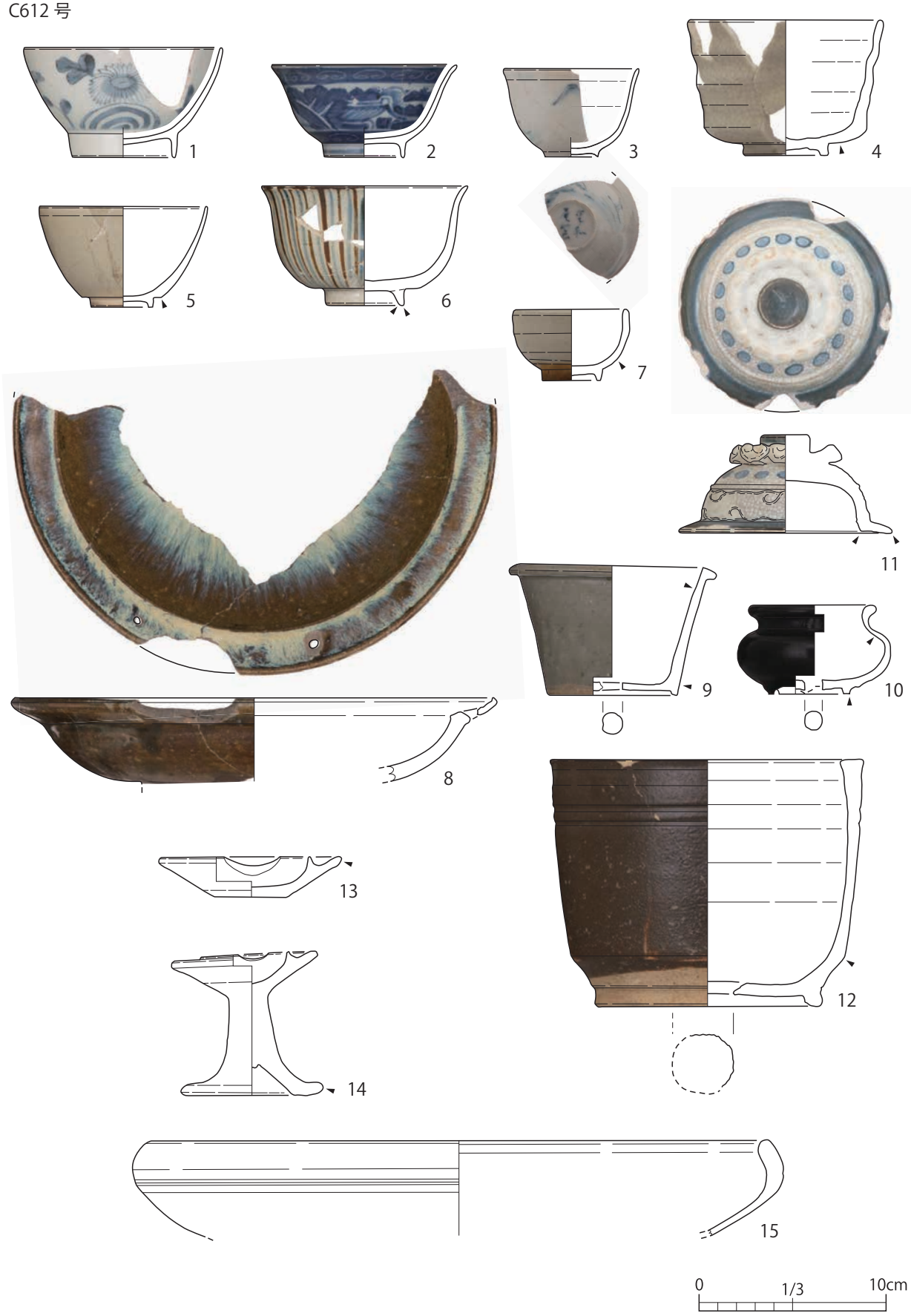


C652 号



第 187 図　近世の陶磁器・土器（185）（1/3）

C612 号

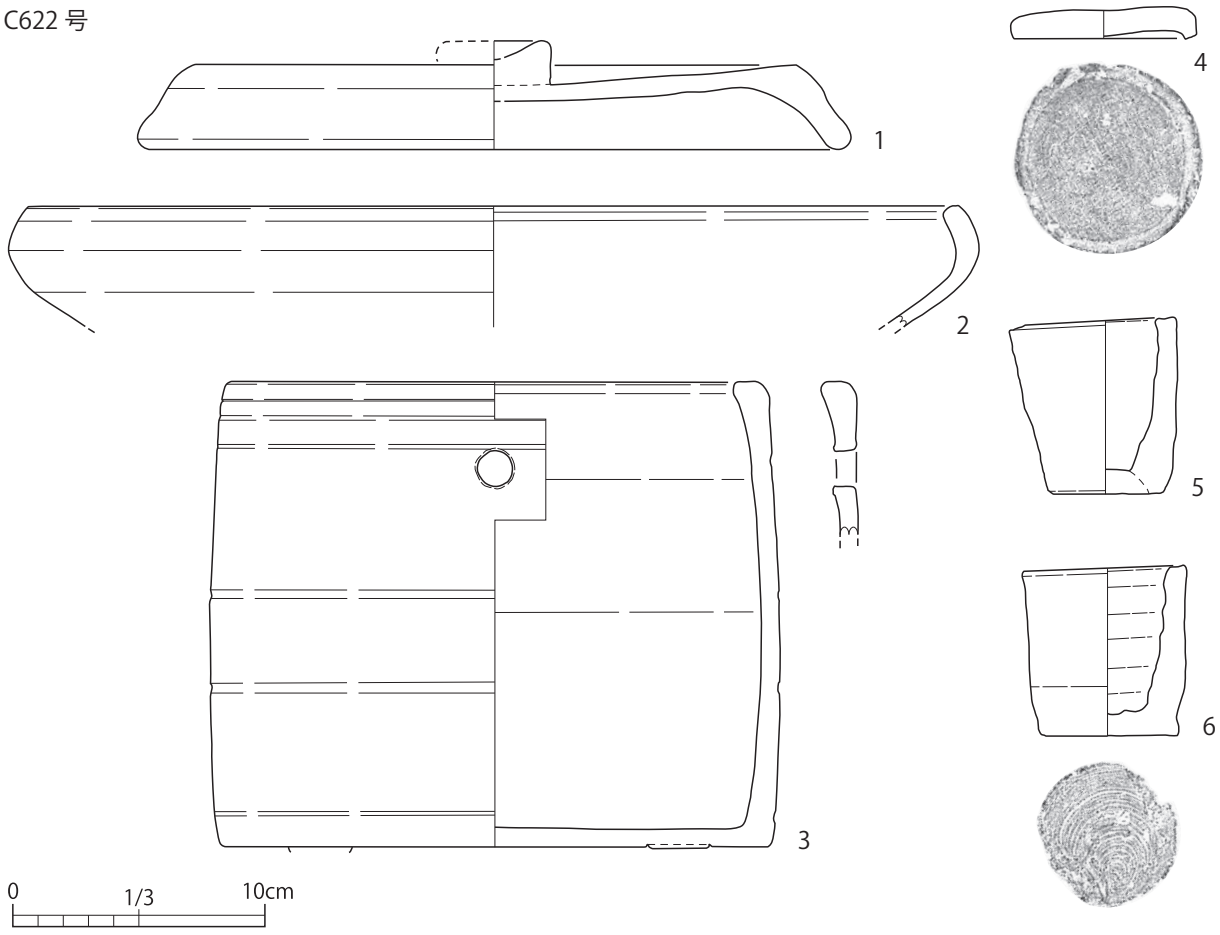


第 188 図　近世の陶磁器・土器（186）（1/3）

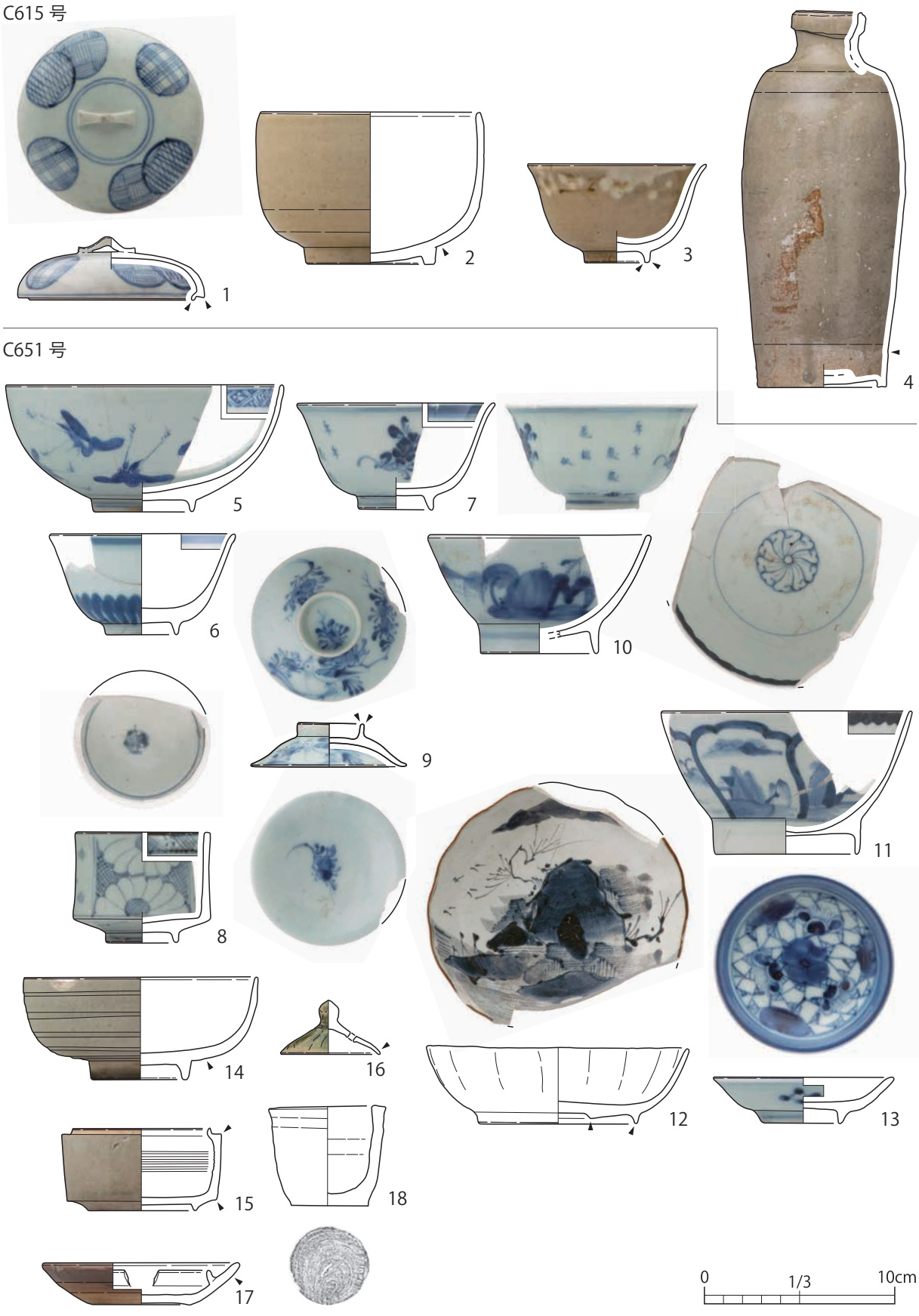
C622 号

第 189 図　近世の陶磁器・土器（187）（1/3）

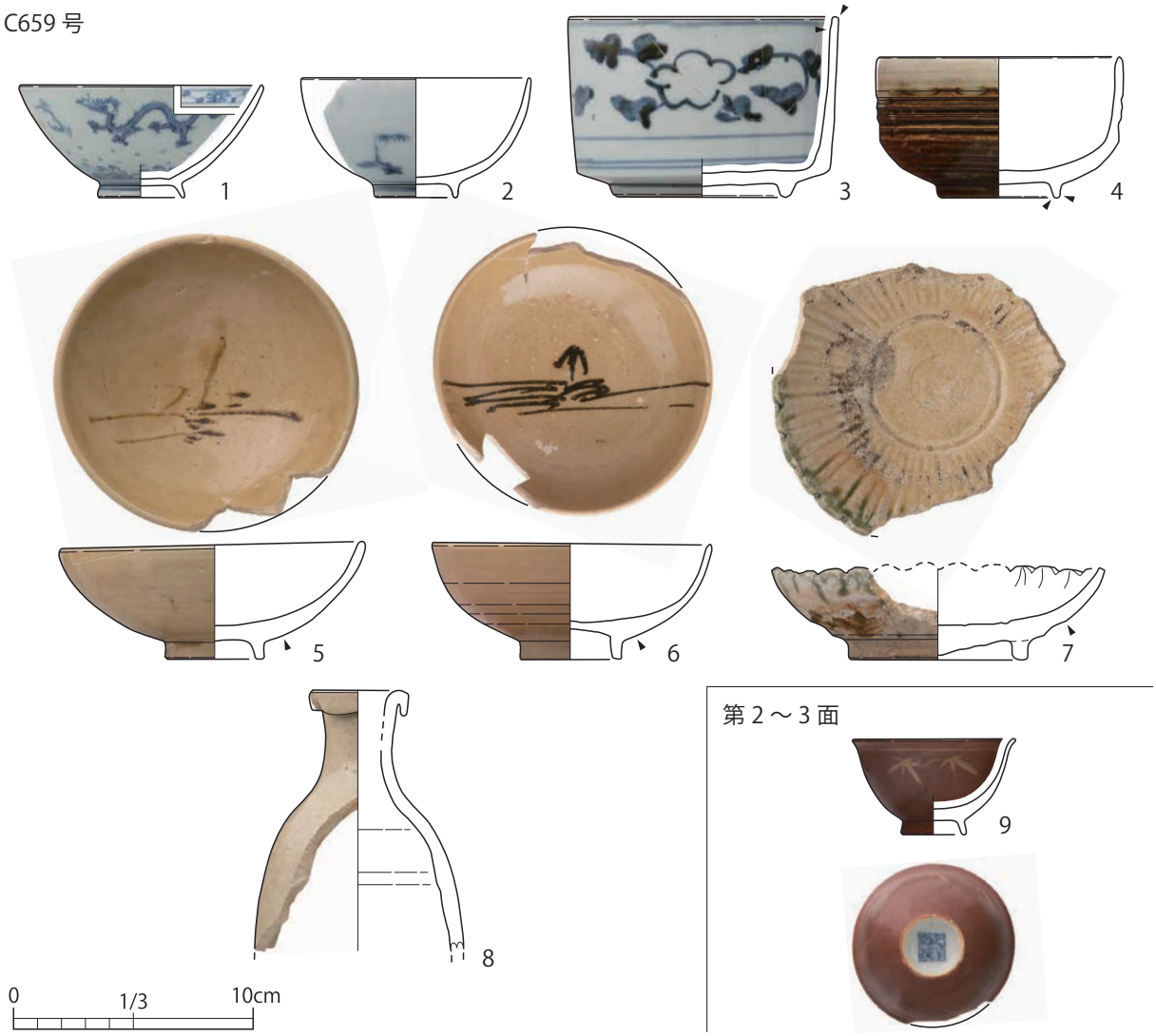
第 190 図　近世の陶磁器・土器（188）（1/3）



第 191 図　近世の陶磁器・土器（189）（1/3）



第 192 図　近世の陶磁器・土器（190）（1/3）



第 193 図　近世の陶磁器・土器（191）（1/3）

第 194 図　近世の陶磁器・土器（192）（1/3）

第 2 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）(1)

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
3	1	B36	土器	皿	中皿	195	40	116		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	胴衣皿。上皿。底部糸切未調整。
3	2	B36	土器	皿	中皿	194	39	120		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	胴衣皿。下皿。底部糸切未調整、轆轤左回転。見込みは中央から螺旋状にナデ。
3	3	B44 上部	磁器	碗	中碗	100	54	43		灰白	轆轤	染付	肥前	外：雪持ち笹、岩、高台脇一重圏線、高台二重圏線。
3	4	B44 上部	磁器	碗	小杯	70	50	32		灰白	轆轤	染付	肥前	内：文様無し。外：山水文、滝。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明年製」銘。
3	5	B44 上部	磁器	碗	中碗	96	51	38		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み五弁花、二重圏線。外：体部上位雪輪文、下位花唐草文、高台脇一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明成化年製」銘。
3	6	B44 上部	磁器	皿	小皿	96	20	50		灰白	型打ち	染付	肥前	内：二重圏線、草花文。外：体部唐草文、高台内面一重圏線。高台畳付無釉。
3	7	B44	磁器	皿	小皿	88	23	66		灰白	型打ち	染付	肥前	内：見込み椿、鳥、岩。外：３～５個一組の丸文。高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明成化年製」銘。口銹。
3	8	B44	陶器	碗	中碗	(110)	78	46		灰白	轆轤	灰釉	肥前	高台畳付無釉。
3	9	B44	陶器	碗	中碗	(107)	58	38		灰黄	轆轤	白泥、透明釉	肥前？	内：巻刷毛目、外：巻刷毛目。高台畳付無釉、砂付着。
3	10	B44 上部	陶器	皿	小皿	123	31	70		灰白	轆轤	御深井釉、鉄	瀬戸・美濃	内：見込みに型紙摺りの鉄絵で草花文。
3	11	B44 上部	陶器	鉢	香炉	110	73	94		灰白	轆轤	鉄釉（飴釉）	瀬戸・美濃	三足。外：体部に半菊文。見込みに目跡 5。口縁端部敲打痕あり。
3	12	B44 上部	陶器	鉢	灰吹	56	70	44	66	灰白	轆轤	灰釉	不明	底部を除く外面に施釉。内面無釉。口縁端部敲打痕。
3	13	B44 上部	陶器	鉢	練鉢	136	78	70		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	削り出し高台。見込みに目跡 3。
3	14	B44	陶器	水注	中水注	45		76	148	灰白	轆轤、貼付	鉄釉（飴釉）	瀬戸・美濃	被熱。口縁端部釉剥ぎ。把手貼付。高台煤付着。
3	15	B44	土器	皿	小皿	58	12	34		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
3	16	B44	土器	皿	小皿	82	19	44		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
3	17	B44	土器	皿	小皿	79	22	41		にぶい黄	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。摩滅著しい。
3	18	B44	土器	皿	小皿	84	18	46		にぶい黄	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。摩滅著しい。
3	19	B44	土器	皿	小皿	84	19	45		にぶい黄	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。摩滅著しい。
3	20	B44	土器	皿	小皿	79	17	44		にぶい黄	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。摩滅著しい。
3	21	B44	土器	皿	小皿	86	16	38		にぶい黄	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。摩滅著しい。
4	1	B58	磁器	碗	中碗	98	56	38		灰白	轆轤	染付	肥前	内：文様無し。外：梅、若葉文、高台脇一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、渦「福」字銘。
4	2	B58	磁器	碗	中碗	94	52	30		灰白	轆轤	染付	肥前	内：文様無し。外：草花文、コンニャク印判菊花文。高台内「大明年製」銘。
4	3	B58	磁器	碗	小坏	72	48	32		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判折枝菊文。
4	4	B58	磁器	鉢	蓋物	122	94	78		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：草花文、一松文様、口縁部二重圏線、高台二重圏線。高台畳付無釉。
4	5	B58	陶器	碗	中碗	108	60	46		灰白	轆轤	灰釉	京・信楽	削り出し高台。
4	6	B58	陶器	碗	小坏	70	44	32		灰黄	轆轤	灰釉	不明	被熱。
4	7	B58	陶器	皿	小皿	130	35	56		灰黄	型打ち	灰釉？	瀬戸・美濃	被熱。内面は型打ちで成形する。口縁はヘラで切り花弁状に成形。付け高台。
4	8	B58	土器	鉢	焼塩壺身	63	90	54	78	にぶい橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
4	9	B58	土器	鉢	焼塩壺身	69	95	53	78	橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
4	10	B58	土器	鉢	焼塩壺身	67	97	46	77	にぶい橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
5	1	B63	磁器	碗	中碗	96	49	35		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文。
5	2	B63	磁器	碗	小杯	70	49	32		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文、高台二重圏線。
5	3	B63	磁器	蓋	蓋物蓋	100	41		120	灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判桐文散らし。笠上面端部二重圏線、笠部下位一重圏線、座は二重圏線に草花文。
5	4	B63	陶器	碗	中碗	(113)	54	(42)		黄灰	轆轤	白泥、透明釉	肥前	内：蛇ノ目釉剥ぎ、砂付着、巻刷毛目。外：巻刷毛目。高台畳付砂付着。
5	5	B63	陶器	皿		149×105	40	60		灰白	型打ち	御深井釉	瀬戸・美濃	付け高台。外面はヘラで切れ目を入れる。
5	6	B63	陶器	鉢	擂鉢					灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	
5	7	B63	陶器	鉢	擂鉢					にぶい黄褐	輪積	鉄泥	丹波	
5	8	B63	陶器	瓶	中瓶	42	208	70	93	黄灰	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	釘書き「七」。胴部下位は釉拭き取り。
5	9	B63	土器	皿	小皿	97	20	53		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
5	10	B63	土器	皿	小皿	78	17	41		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
5	11	B63	土器	皿	小皿	59	11	32		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
5	12	B63	土器	皿	小皿	56	11	32		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
5	13	B63	土器	皿	小皿	98	21	53		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
5	14	B63	土器	皿	小皿	83	16	45		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	
5	15	B63	土器	皿	小皿	79	16	43		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
5	16	B63	土器	皿	小皿	97	20	51		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
5	17	B63	土器	皿	小皿	92	20	48		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
5	18	B63	土器	皿	小皿	98	20	53		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
5	19	B63	土器	皿	小皿	93	21	50		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
5	20	B63	土器	皿	小皿	98	22	52		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
5	21	B63	土器	皿	小皿	98	22	5.0		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
5	22	B63	土器	皿	小皿	99	21	51		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
5	23	B63	土器	皿	小皿	97	20	49		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
6	1	B150	磁器	碗	中碗	101	56	43		灰白	轆轤	染付	肥前	内：文様無し。外：コンニャク印判輪宝文繋ぎ、二重圏線、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。口銹。
6	2	B150	磁器	碗	中碗	98	55	40		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：五葉若葉文、岩、二重圏線、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。
6	3	B150	磁器	皿	小皿	90	23	29		灰白	型打ち	染付	肥前	内：見込み花卉文、体部「福」字、花卉文。
6	4	B150	陶器	蓋	中壺蓋		17			灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	底部糸切未調整、轆轤左回転。外面のみ施釉。
6	5	B150	土器	皿	耳皿		27				手捻り	無釉	江戸在地	
6	6	B165	磁器	碗	中碗	99	47	41		灰白	轆轤	染付	肥前	外：鶴、若松文、笹文。
6	7	B165	磁器	碗	中碗	72	42	28		灰白	轆轤	染付	肥前	外：柵。高台脇渦文。
6	8	B165	磁器	碗	中碗	85	39	34		灰白	轆轤	白磁	肥前	
6	9	B165	磁器	碗	小碗	61	23	29		灰白	轆轤	染付	肥前	外：笹葉文。
6	10	B165	磁器	皿	小皿	75	16	42		灰白	轆轤	染付	肥前	内：桐文。
6	11	B165	磁器	鉢	猪口	74	53	44		灰白	轆轤	白磁	肥前	外：体部に型紙摺による白土で沢潟文を描く。

第 3 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（2）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
6	12	B165	磁器	鉢	猪口	73	54	47		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文。二重圏線、高台内一重圏線、「大明年製」銘。
6	13	B165	磁器	鉢	猪口	56	39	34		灰白	轆轤	白磁	肥前	
6	14	B165	陶器	碗	中碗	99	63	35		灰白	轆轤	錆釉	瀬戸・美濃	
6	15	B165	陶器	碗	中碗	93	58	32		灰黄	轆轤	灰釉、上絵付	京・信楽	外：上絵付で秋草文を描く。
6	16	B165	陶器	鉢	香炉	108	67	91		灰白	轆轤	鉄釉（飴釉）	瀬戸・美濃	外：体部の 1 箇所に半菊文を施し、反対側に半菊文を彫りかけた痕跡が残る。口縁部に敲打痕あり。
6	17	B165	陶器	瓶	中瓶	38	186	54		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	徳利。釘書きあり。
6	18	B165	陶器	瓶	中瓶	37	175	70	95	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	外：底部は釉拭き取り。頸部に針金巻き付け。釘書き「ヤマ〝万〝」
6	19	B171	磁器	碗	中碗	100	57	44		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判文、流水文、鳥。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。
6	20	B171	磁器	碗	中碗	98	57	42		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文、馬。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。
6	21	B171	磁器	碗	中碗	94	45	42		灰白	轆轤	染付	肥前	外：山水文、帆掛け船、一重圏線、高台二重圏線、高台内銘款。
6	22	B171	磁器	碗	中碗	82	38	28		灰白	轆轤	錆釉染付	肥前	うがい碗。内：草花文、馬。外面：錆釉。
6	23	B171	磁器	碗	小碗	62	32	28		灰白	轆轤	染付	肥前	外：一重圏線、横縞文。高台一重圏線。
6	24	B171	磁器	碗	小碗	64	25	36		灰白	轆轤	白磁	肥前	
6	25	B171	磁器	碗	仏飯器	96	64	48		灰白	轆轤	白磁	肥前	
7	1	B171	陶器	碗	中碗	99	64	49		浅黄	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	腰錆碗。高台畳付は釉を拭き取り。外面体部中位に沈線 2 条。口縁部やや開く。
7	2	B171	炻器	壺	大壺	108	250		350	にぶい黄褐	輪積？	自然釉	信楽？	石英等の砂粒を含む。
7	3	B181	磁器	碗	小碗	90	54	39		灰白	轆轤	青磁	肥前	口銹。
7	4	B181	磁器	碗	中碗	94	50	43		灰白	轆轤	青花	中国	外：山水楼閣文、口縁部二重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明嘉靖年製」銘。
7	5	B181	磁器	碗	小碗	56	49			灰白	轆轤	染付	肥前	外：蝶文。
7	6	B181	磁器	碗	小碗	60	32	26		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文、高台一重圏線。内面赤色物質付着。
7	7	B181	磁器	碗	小碗	50	34	24		灰白	轆轤	白磁	肥前	被熱。
7	8	B181	磁器	碗	小杯	45	29	21		灰白	轆轤	白磁	肥前	高台無釉。
7	9	B181	磁器	皿	小皿	130	35	44		灰白	轆轤	青磁	肥前	見込み蛇ノ目釉剥ぎ。
7	10	B181	磁器	皿	小皿	(77) × 98	26	(50) × 51		灰白	型押し	染付	肥前	内・外型により高台まで成形。内：草文等。
7	11	B181	磁器	皿	小皿	(77) × 117	24	(51) × 65		灰白	型押し成形	青花	中国	被熱。
7	12	B181	磁器	皿	中皿	230	32	(144)		灰白	轆轤	青花	中国	内：人物ほか。外：唐草文。
7	13	B181	陶器	壺	中壺	90	(150)		150	にぶい褐	轆轤、貼付	鉄釉	不明	底部欠損。内外面全体に施釉。耳貼付。
8	1	B181	磁器	鉢	中鉢	208	71	(98)		灰白	轆轤	染付	肥前	内：花卉文、宝文ほか。外：唐草文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。
8	2	B181	土器	壺		110				明黄褐	轆轤？	無釉	常陸？	肩部縦方向のケズリ。
8	3	B181	土器	鍋	焙烙	(254)				にぶい褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
8	4	B181	土器	鍋	焙烙	(258)				にぶい褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
8	5	B181	土器	皿	小皿	73	17	44		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤右回転。
8	6	B181	土器	皿	小皿	88	18	48		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。見込み、底部煤付着。
8	7	B353	磁器	碗	大碗	154	79	56		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み五弁花、二重圏線。外：草花文、雁金。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、不明文字銘。
8	8	B353	磁器	碗	中碗	104	53	40		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み蛇ノ目釉剥ぎ。外：梅、雪持ち笹、草花文。一重圏線、高台二重圏線。
8	9	B353	磁器	碗	中碗	98	52	40		灰白	轆轤	染付	肥前	外：丸に三階松。高台脇一重圏線、高台二重圏線、高台内角渦「福」字銘款。
8	10	B353	磁器	碗	中碗	84	46	32		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文。一重圏線、高台二重圏線。
8	11	B353	陶器	碗	中碗	102	60	44		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	腰錆碗。
8	12	B353	陶器	皿	小皿	122	27	62		浅黄橙	轆轤	御深井釉、鉄釉	瀬戸・美濃	高台を除く内外面に施釉。見込みに型紙摺りにより草花文を鉄絵で描く。
8	13	B353	土器	鍋	焙烙	284	(63)			灰黄	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
8	14	B353	土器	皿	小皿	86	16	42		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
8	15	B353	土器	皿	小皿	116	21	62		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
9	1	B311	土器	皿	中皿	190	35	103		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	低部糸切未調整。轆轤左回転？。胞衣埋納容器上皿。微細な雲母片、白色粒子を僅かに含む。
9	2	B311	土器	皿	中皿	211	44	130		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	低部糸切未調整。轆轤左回転？。胞衣埋納容器下皿。微細な雲母片、白色粒子を僅かに含む。内面は螺旋状のナデ調整痕が明瞭。
9	3	B311	土器	皿	中皿	202	42	127		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	低部糸切未調整。轆轤左回転？。胞衣埋納容器上皿。微細雲母片、白色粒子僅かに含む。
9	4	B311	土器	皿	中皿	190	42	119		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	低部糸切未調整。轆轤左回転？。胞衣埋納容器下皿。微細雲母片、白色粒子僅かに含む。
9	5	B311	土器	皿	中皿	202	40	124		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	低部糸切未調整。轆轤左回転？。胞衣埋納容器上皿。微細雲母片、白色粒子僅かに含む。
9	6	B311	土器	皿	中皿	198	40	107		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	低部糸切未調整。轆轤左回転？。胞衣埋納容器下皿。微細な雲母片を僅かに含む。
9	7	B481	土器	鍋	焙烙					橙	回転台	無釉	江戸在地	深め、器壁高 4cm 前後。
9	8	B492	土器	蓋	焼塩壷蓋	72	18		77	橙	型押し	無釉	不明	
10	1	B367	磁器	皿	中皿	235	33	87		灰白	轆轤	染付	肥前	内：楼閣山水文、網干。外：唐草文、二重圏線、高台二重及び一重圏線、高台内一重圏線。高台内目跡 1 。
10	2	B367	陶器	瓶	中瓶	43	219	124		橙	轆轤	鉄釉、うのふ釉	瀬戸・美濃	徳利。内：釘書きあり。底面を除外面及び口縁部内面に施釉。肩部に螺旋文。
10	3	B367	土器	鐘	瓦灯皿	204	122	226		灰黄	回転台、貼付	無釉	江戸在地	フード高 71㎜。
10	4	B361	磁器	皿	五寸皿	146	28	83		灰白	轆轤	青花	中国	内：見込み扇子、口縁部は呉須で薄い横縞状。高台畳付及び内面無釉。高台砂付着。
10	5	B371	磁器	碗	大碗	154	86	60		灰白	轆轤	染付	肥前	内：草花文、二重圏線。外：草花文、雲、一重圏線、高台一重圏線、高台内一重圏線。
10	6	B371	磁器	碗	中碗	96	56	40		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：コンニャク印判魚文、水草。一重圏線、高台一重圏線、高台内一重圏線、「大明年製」銘
10	7	B371	磁器	碗	中碗	86	60	50		灰白	轆轤	染付	肥前	内：文様無し。外：岩、五葉若葉、雁金。一重圏線、高台一重圏線、高台内一重圏線、「大明年製」銘
10	8	B371	土器	鍋	焙烙	273				灰黄	回転台	無釉	江戸在地	深め、器壁高 4cm 前後。
10	9	B371	土器	皿	小皿	66	12	41		にぶい黄橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
10	10	B476	陶器	碗	中碗	118	59	39		灰黄	轆轤	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	柳茶碗。外面体部には鉄絵で柳文様を描く。削り出し高台。

第 4 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（3）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
11	1	B477	陶器	鉢	片口	171	90	89		灰白	轆轤、貼付	鉄釉（飴釉）	瀬戸・美濃	削り出し高台。
11	2	B477	陶器	瓶	小瓶	22	150	61	92	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	三角徳利。底部糸切後、ヘラケズリ調整。
11	3	B477	陶器	器台	灯明受皿	104	24	46	64	にぶい赤褐	轆轤、貼付	柿釉	瀬戸・美濃	受部貼付。受部端釉剥ぎ。外：環状溶着痕あり。
11	4	B513	土器	鍋	焙烙					橙	回転台	無釉	江戸在地	口縁部やや内湾、腰折。
11	5	B522	陶器	瓶	中瓶	41				灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	徳利。
11	6	B539	陶器	鉢	中鉢	(130)	39	49		灰黄	轆轤	灰釉、緑釉	肥前？	内：蛇ノ目釉剥ぎ、緑釉を 1 箇所かける。削り出し高台。
11	7	B547	陶器	鉢	擂鉢					灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	
11	8	B577	陶器	碗	大碗	124	83	50		灰白	轆轤	無釉	肥前	高台畳付は無釉で砂付着
11	9	B577	土器	鍋	焙烙					橙	轆轤	無釉	江戸在地	深め、器壁高 4cm 前後。
11	10	B577	土器	鍋	焙烙	294				橙	轆轤	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
11	11	B550	陶器	鉢	香炉	99				灰	轆轤	鉄釉（飴釉）	瀬戸・美濃	外：体部に半菊文を施す。口縁部は平坦につくり、やや内傾する。
11	12	B559	土器	鍋	焙烙					にぶい褐	回転台	無釉	江戸在地	浅め、器壁高 2cm 前後。
11	13	B560	陶器	碗	中碗	(95)	70	38		浅黄	轆轤	長石釉、鉄、呉須	不明	内：口縁部まで長石釉。外：高台外側まで鉄釉。
12	1	B588	磁器	碗	大碗	122	80	47		灰白	轆轤	青花	中国	景徳鎮窯。被熱。内：見込み水鳥？花卉文。外：花卉文、高台二重圏線。
12	2	B588	磁器	碗	中碗	87	52	39		灰白	轆轤	青花	中国	被熱。内：見込み草花文、鳥、二重圏線、口縁部二重圏線。外：口縁部二重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「古雅」銘。
12	3	B588	磁器	碗	中碗	94	50	41		灰白	轆轤	青花	中国	被熱。内：見込み鳳凰、二重圏線、口縁部二重圏線。外：口縁部二重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明成化年製」銘。
12	4	B588	磁器	碗	中碗	99	56	44		灰白	轆轤	染付	肥前	外：雪輪、石垣。
12	5	B588	磁器	碗	中碗	95	50	45		灰白	轆轤	青花	中国	景徳鎮窯。蛇ノ目高台。高台無釉。内：見込み寿字、二重圏線、口縁部二重圏線。外：寿字散らし、口縁部二重圏線、高台二重圏線。
12	6	B588	磁器	碗	中碗	95	49	43		灰白	轆轤	青花	中国	景徳鎮窯。蛇ノ目高台。高台無釉。内：見込み山水文、二重圏線、口縁部二重圏線。外：人物二人（遊戯？）、山水文、口縁部二重圏線、高台二重圏線。
12	7	B588	磁器	碗	中碗	113	65	45		灰白	轆轤	染付・青磁	肥前	被熱。内：見込み五弁花、二重圏線。外：体部青磁釉、高台内二重圏線、「大明成化年製」銘。口銹。
12	8	B588	磁器	碗	仏飯器	48	55	28		灰白	轆轤	染付	肥前？	被熱。外：口縁部横縞文、体部「南無」字連続、体部下位は横縞文及び一重圏線、脚部一重圏線。
12	9	B588	磁器	皿	小皿	133	42	43		灰白	轆轤	青花	中国	被熱。内：網目文。外：網目文、高台二重圏線、高台内二重圏線、「雅」銘。
12	10	B588	磁器	皿	小皿	132	41	48		灰白	轆轤	青花	中国	被熱。内：網目文。外：網目文、高台二重圏線、高台内二重圏線、「状元」銘。
12	11	B588	磁器	皿	五寸皿	146	28	76		灰白	轆轤	青花	中国	被熱。松、鳥（鶴か）。高台内砂付着。
13	1	B588	磁器	皿	大皿	312	78	140		灰白	型打ち	青磁、白泥	中国	漳洲窯。被熱。被熱によるひずみあり。見込みに白泥で文様を描く餅花手。高台内無釉。高台には砂付着。
13	2	B588	磁器	皿	中皿	198	26	110		灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	内：見込みは上絵付で草花文を描く。体部は陰刻で波文等を描く。外：高台内目跡３。
13	3	B588	磁器	皿	中皿	231×182	42	175×123		灰白	鋳込み	色絵	中国	被熱。景徳鎮窯。
13	4	B588	磁器	盤		386	99	174		灰白	轆轤	瑠璃釉、白泥	中国	漳洲窯。素地の高台内面を除き白泥を施した上に瑠璃釉を掛け、更に白泥で文様を描く。高台畳付に砂付着、高台内面は無釉とし、ケズリ痕あり。
13	5	B588	磁器	盤		130	44	57		灰白	轆轤	青花	中国	漳洲窯。被熱。内：見込み鉢植え草花文、口縁部二重圏線。蛇ノ目高台、高台畳付無釉、砂付着。
14	1	B588	磁器	盤		392	88	152		灰白	轆轤	染付	肥前	芙蓉手。花鳥文大皿。高台内銘款「朱・米」。目跡あり。B890 号出土破片と接合。
14	2	B588	磁器	皿	中皿	196	42	68		灰白	轆轤	青磁	不明	被熱。口縁部に印刻で花弁文。高台内褐色。
14	3	B588	磁器	皿	小皿	134	42	59		灰白	轆轤	青花	中国	被熱。漳洲窯。内：見込み文様、文字あり。口縁部二重圏線。外面：文様無し。蛇ノ目高台、高台畳付無釉、砂付着。
14	4	B588	磁器	皿	五寸皿	138	43	60		灰白	轆轤	青花	中国	被熱。漳洲窯。内：見込み文様、文字。口縁部二重圏線。外：蛇ノ目高台、高台畳付無釉、砂付着。
14	5	B588	磁器	皿	中皿	130	44	57		灰白	轆轤	青花	中国	被熱。漳洲窯。内：見込み水牛。蛇ノ目高台、高台畳付無釉、砂付着。
15	1	B588	磁器	皿	中皿	209	46	77		灰白	轆轤	白磁	肥前？	被熱。高台に砂付着。
15	2	B588	磁器	皿	中皿	207	52	78		灰白	轆轤	白磁	肥前？	被熱。高台畳付無釉。高台に砂付着。
15	3	B588	磁器	盤		459	107	254		灰白	轆轤	青花	中国	漳洲窯。内：見込み花鳥文、体部花卉文ほか。外：唐草文？底面無釉、砂付着。
16	1	B588	磁器	皿	中皿	174	42	68		灰白	轆轤	青花	中国	被熱。景徳鎮窯。外：高台内一重圏線及び「大明永楽年製」銘。高台畳付無釉、砂付着。
16	2	B588	磁器	皿	五寸皿	165	35	114		灰白	鋳込み	白磁	中国	鯉を絵付けで描く。
16	3	B588	磁器	皿	五寸皿	144	34	74		灰白	轆轤	青花	中国	漳洲窯。内：見込み草花文、体部花卉文、宝文。外：5 点。高台畳付無釉、砂付着。
16	4	B588	磁器	皿	小皿	−×85	26	84×40		灰白	糸切細工	染付	肥前	被熱。貼付高台。内：孔雀文。外：草花文。
16	5	B588	磁器	皿	小皿	139	35	50		灰白	轆轤	青花	中国	漳洲窯。内：花文様。外：口縁部二重圏線及び「大明永楽年製」銘。高台畳付無釉、砂付着。
16	6	B588	磁器	皿	小皿	223	30	134		灰白	轆轤	青花	中国	被熱。内：見込み楼閣山水文、馬、口縁部卍崩し文、扇子、波文。外：口縁部一重圏線、高台二重圏線。
16	7	B588	磁器	鉢	猪口	95	57	51		灰白	轆轤	染付・青磁	肥前	被熱。内：見込み五弁花、二重圏線、四方襷文。外：体部青磁釉、高台内二重圏線、「大明年製」銘。口銹。高台畳付無釉。
16	8	B588	磁器	鉢	猪口	69	55	38		灰白	轆轤	染付	肥前	被熱。内：文様無し。外：岩。口銹。
17	1	B588	磁器	皿	小皿	132×113	24	84×65		灰白	轆轤	染付	肥前	被熱。内野山窯。削り出し高台。内：見込み鹿、唐草文。外：体部花唐草文、高台矩形波文、高台内「福」字銘。古九谷様式末期、内野山窯の優品。口銹。
17	2	B588	磁器	盤		242	53	118		灰白	轆轤	五彩	中国	被熱。漳洲窯。内：見込み獅子、建築物、鳥ほか。白色の釉上に上絵付を施す。外：高台及び高台内砂付着。
17	3	B588	磁器	盤		193	38	70		灰白	轆轤	青花	中国	被熱。内：牛？、岩、草、山水。外：高台内一重圏線、「大明成化年製」銘。高台畳付無釉、砂付着。
17	4	B588	磁器	盤		204	40	72		灰白	轆轤	青花	中国	被熱。漳洲窯。内：馬？、岩、草、山水。外：高台内一重圏線、「大明成化年製」銘。高台畳付無釉、砂付着。
18	1	B588	磁器	盤		202	37	112		灰白	轆轤	青花	中国	被熱。漳洲窯。内：馬、岩（牧の風景）。外面：高台内二重圏線、高台畳付無釉、砂付着。
18	2	B588	磁器	盤		207	39	134		灰白	轆轤	青花	中国	被熱。漳洲窯。内：馬、岩（牧の風景）。外：高台内二重圏線、高台畳付無釉、砂付着。

第 5 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（4）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
18	3	B588	磁器	盤		208	38	122		灰白	轆轤	青花	中国	被熱。漳洲窯。内：馬、岩（牧の風景）、如意雲。外：高台内二重圏線、高台畳付無釉、砂付着。
18	4	B588	磁器	盤		198	44	70		灰白	轆轤	青花	中国	被熱。漳洲窯。内：馬、岩（牧の風景）、如意雲。外：高台内二重圏線、高台畳付無釉、砂付着。
19	1	B588	磁器	盤		206	43	131		灰白	轆轤	青花	中国	被熱。漳洲窯。内：馬、岩（牧の風景）、如意雲。外：高台内二重圏線、高台畳付無釉、砂付着。
19	2	B588	磁器	盤		260	50	154		灰白	轆轤	青花	中国	被熱。漳洲窯。内：見込み松、鶴。外：樹木に鳥。高台二重圏線、高台畳付無釉、高台砂付着。
19	3	B588	磁器	鉢	中鉢	195	63	96		灰白	轆轤	青磁	中国	被熱。
19	4	B588	磁器	蓋		136	26		152	灰白	轆轤	青花	中国	景徳鎮窯。外：花、昆虫、笠端部二重圏線。景徳鎮窯の上級品。紐部分に焼成前の穿孔あり。
19	5	B588	磁器	鉢	蓋物	97	50	65		灰白	轆轤	染付	肥前	被熱。外面：口縁部二重圏線、体部蛸唐草文体部下位二重圏線、高台二重圏線、高台畳付は施釉し、畳打内は無釉。
19	6	B588	磁器	鉢	香炉	61	58	32		灰白	轆轤、貼付	青磁	肥前	底部薄く鉄釉を施す。底部を除く内外面に青磁釉。内面釉薄い。
19	7	B588	磁器	鉢	香炉	93	44	67		灰白	轆轤	青磁	肥前	被熱。底部錆釉？底部を除く内外面に施釉。
20	1	B588	磁器	鉢	小鉢	132	43	58		灰白	轆轤	青花	中国	漳洲窯または景徳鎮窯。内：草花鉢植え。口縁部一重圏線。外：口縁部二重圏線、高台内二重圏線、高台畳付無釉、砂付着。
20	2	B588	磁器	鉢	大鉢	385	99	196		灰白	轆轤	五彩	中国	被熱。漳洲窯。内：見込み文様不明、連弁文、口縁部七宝繋ぎ文、毘沙門亀甲文。外：高台内砂付着。
20	3	B588	磁器	鉢	蓋物	113	86	70		灰白	轆轤	染付	肥前	被熱。外：口縁部二重圏線、幔幕、草花文。体部下位二重圏線、高台二重圏線、高台畳付無釉、砂付着。
20	4-1	B588	磁器	壺	中壺	152	(80)			灰白	轆轤	青花	中国	景徳鎮窯。口縁、頸部唐～肩部にかけて。外面：鳥、花。口縁部無釉。第 19 図 4 とセットか。肩部に焼成前穿孔あり。景徳鎮の上級品。
20	4-2	B588	磁器	壺	中壺		(35)	140		灰白	轆轤	青花	中国	景徳鎮窯。底部のみ。第 20 図 4-1 と同一個体。
20	5	B588	磁器	瓶	小瓶	19	(104)			灰白	轆轤	呉須、鉄	肥前	頸部は呉須で二重圏線、胴部は鉄釉を施した後。飛び鉋で文様を施す。
20	6	B588	磁器	瓶		47 × 27	(112)		56	灰白	型押し	白磁	中国	徳化窯。胴部に花文様。
20	7	B588	磁器	蓋		93	26		118	灰白	轆轤	染付、呉須、鉄	中国？	被熱。笠部上面には陰刻で波及び草花文を描く。鉄絵で梅花を象った印花に枝を模した貼付けを施し摘みとする。
20	8	B588	陶器	碗	中碗	98	66	47		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	被熱。B588 号出土遺物の中では新しい。
20	9	B588	陶器	碗	中碗	92	59	44		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	肥前？	高台を除く内外面に施釉。体部に鉄絵で楼閣山水文を描く。刻印「清水寺」。
20	10	B588	陶器	皿	小皿	（135 × 105）	32	54		灰白	型打ち	灰釉、呉須または鉄釉	京・信楽	高台とその周辺を除く内外面に施釉。内面に魚と水草を描く。削り出し高台。
21	1	B588	陶器	碗	大碗	140 ～ 127	79	49 ～ 43		灰	轆轤	藁灰釉、鉄	京・信楽	被熱。色絵が施されていたと考えられる。内：文様無し。外面：鉄絵で楓文を描く。口縁部端にはクランク状となる部分が 1 箇所ある。外面体部下位は亀甲ベラで削る。高台は十字の割高台で、刻印（被熱のため判読不能）あり。
21	2	B588	陶器	盤		166	35	80		灰	轆轤	緑釉	中国	被熱。見込みに陰刻で水鳥を描く。
21	3	B588	陶器	盤		297	54	178		灰白	轆轤	緑釉ほか	中国	被熱。見込みに双魚文、水草文。高台畳付釉剥ぎ。
21	4	B588	陶器	皿	小皿	132	40	45		灰白	轆轤	灰釉、緑釉	肥前？	削り出し高台。高台外側を面取りする。高台とその周辺を除く内外面に施釉。内面は見込みを蛇ノ目釉剥ぎする。内面に緑釉を数点落とす。見込みは擦痕等微細なキズ多数あり。
21	5	B588	陶器	皿	中皿	198	35	59		灰白	轆轤	灰釉	肥前	被熱。高台畳付無釉。見込みに目跡 6。
21	6	B588	陶器	鉢	水鉢	(330)	204	323	(384)	灰白	輪積？	長石釉	瀬戸・美濃	底部無釉。把手貼付。体部は陽刻で流水文を表現する。
21	7	B588	陶器	鉢	水指	127	186	(146)	178	灰白	轆轤・貼付	透明釉、長石釉、緑釉、錆釉	京・信楽	伊賀写し。
22	1	B588	陶器	鉢	中鉢	160	79	115		灰白	轆轤	長石釉、鉄	京・信楽？	被熱。削り出し高台。桶を象る。体部に 3 条の突帯を設け、斜めの切込を入れて縄を表現する。鉄絵で二重の格子文様を描く。高台無釉。
22	2	B588	陶器	鉢	香炉	100	60	78		灰白	轆轤	灰釉	京・信楽？	内面及び底面は無釉。蛇ノ目高台。
22	3	B588	陶器	鉢	香炉	110	81	48		にぶい赤褐	轆轤	灰釉、白泥	肥前	削り出し高台。外：体部は白泥により刷毛目施した後、灰釉を施す。
22	4	B588	陶器	鉢	片口	208	113	92		黄灰	轆轤	灰釉	肥前	被熱。内面が特に被熱痕跡著しい。内：刷毛で透明釉。外：白泥により櫛目状の刷毛目文様を施した後、高台を除き透明釉を掛ける。
22	5	B588	陶器	鉢	水指	147	167	150		灰白	轆轤・貼付	灰釉	京・信楽	底部無釉。
22	6	B588	陶器	壺	中壺	114	163	123		灰白	轆轤	鉄釉、錆釉	瀬戸・美濃	底部施釉または釉拭き取り。底部に輪トチン状の窯道具の痕跡あり。内面は口縁部まで鉄釉、口縁部以下は錆釉。口縁部端は釉剥ぎ。
22	7	B588	陶器	壺	中壺	98	230	100	193	灰白	轆轤	鉄釉、長石釉	京・信楽	四耳壺。外面の胴部下半に長石釉を施した後、口縁部内側まで鉄釉をかける。
22	8	B588	陶器	壺	茶入	33	83	39		黄灰	轆轤、貼付	鉄釉	不明	被熱。底部糸切未調整。底部とその周辺を除き施釉。内面及び外面体部に鉄釉を掛け、更に口縁部から外面体部にかけて、より濃い鉄釉（黒釉）を掛ける。把手は貼付。
22	9	B588	陶器	壺	中壺	90	216	88	228	にぶい赤褐	回転台？	鉄釉	不明	被熱。内面頸部付近はケズリ。外面頸部直下に一重沈線。胴部下位は無釉。船載品か。
23	1	B588	陶器	瓶	花生	64	234	(78)	(130)	灰白	轆轤・貼付	鉄釉、長石釉	京・信楽	伊賀写し。外面体部は轆轤目が顕著である。口縁部から長石釉を流し掛けする。
23	2	B588	陶器	瓶	小瓶	43	184	64	92	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	被熱。徳利。外面は全面施釉、底部は釉拭き取り。
23	3	B588	陶器	瓶	中瓶			112		褐	轆轤	鉄釉	志戸呂	徳利。
23	4	B588	土器	鉢	火鉢	190	75	142		にぶい褐	輪積、貼付	無釉	江戸在地	
23	5	B588	土器	鐘	瓦灯傘	190	218			橙	輪積	無釉	江戸在地	墨書「四月二日、六十五」他あり、判読難。外面はミガキを施す。煤が付着する部分があるが、焼成時と考えられる。
23	6	B588	土器	鐘	瓦灯皿	150	55	186		橙	輪積	無釉	江戸在地	第 23 図 5 とセット。フードはあるが極めて低い。
24	1	B588	陶器	甕	中甕	194			271	灰	轆轤	鉄泥（赤土部）	丹波	胴部下位に上位をかぶせるようにして付け足す。口縁端部に 3 条の沈線あり。
24	2	B588	土器	器台	灯明受皿	117	28	52	81	浅黄橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
24	3	B588	土器	鍋	焙烙	282				にぶい黄	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
24	4	B588	土器	箱	炬燵	348	204	240		浅黄橙	板作り	無釉	江戸在地	
24	5	B588	土器	皿	小皿	82	28	40		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。煤付着。
24	6	B588	土器	皿	小皿	85	18	42		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。口縁部煤付着。
24	7	B588	土器	皿	小皿	94	20	43		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。煤付着不明瞭。
24	8	B588	土器	皿	小皿	119	23	64		にぶい黄	轆轤	無釉	江戸在地	外面ミガキ。底面煤付着。口縁部煤付着。精製品。
24	9	B588	土器	皿	小皿	59	11	33		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。口縁部煤付着。底部穿孔。

第 6 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（5）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
26	1	B589	磁器	碗	中碗	96	50	37		灰白	轆轤	染付	中国？	内：文様無し。外：松、竹、梅。高台内圏線、「大明成化年製」銘。
26	2	B589	磁器	鉢	香炉	104	70	55		灰白	轆轤	白磁	不明	付け高台？内面無釉。
26	3	B591	磁器	碗	小碗	55	30	20		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。
26	4	B591	磁器	碗	仏飯器	76	57	42		灰白	轆轤	染付	肥前	外：唐草文？。一重圏線、高台一重圏線、高台内一重圏線。高台内砂付着。
26	5	B591	磁器	鉢	大鉢	215	73	120		灰白	轆轤	染付	肥前	内：楼閣山水文？波、二重圏線、花唐草文。外：唐草文口銹、一重圏線、高台一重圏線、高台内一重圏線。高台内砂付着。
26	6	B591	陶器	碗	小碗	88	55	32		灰白	轆轤	灰釉、上絵付	京・信楽	削り出し高台。高台畳付は外側付近を面取り。体部に笹葉文を上絵付。
26	7	B591	陶器	鉢	擂鉢	(290)	(52)			灰黄	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	口縁部端は内側に折り返され、玉縁状となる。
26	8	B591	土器	鍋	焙烙	(294)	(47)			橙	回転台	無釉	江戸在地	深め、器壁高 4cm 前後。口縁部玉縁状。
26	9	B591	土器	皿	小皿	74	16	36		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切後、ナデ。口縁部煤付着。
26	10	B606	土器	鉢	焼塩壺身	61	99	61	79	橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
26	11	B607	陶器	鉢	香炉	112	74	104		灰白	轆轤	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	三足。
26	12	B608	磁器	碗	中碗	102	55	42		白	轆轤	染付	肥前	内：五弁花、二重圏線。外：若菜、桜花文。高台内一重圏線、「大明成化年製」銘。
26	13	B608	陶器	蓋	壺蓋	80	18			にぶい褐	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	底面糸切り痕。
26	14	B635	磁器	碗	中碗	(102)	51	41		灰白	轆轤	染付	肥前	外：若松文。
26	15	B635	磁器	碗	中碗	102	47	36		灰白	轆轤	染付	肥前	外：蛸唐草文。
26	16	B635	磁器	碗	小碗	(80)	69	42		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み五弁花、二重圏線、口縁部四方襷文。外：体部秋草文、底部宝文、高台二重圏線。
26	17	B635	陶器	碗	小碗	68	36	24		灰白	轆轤	灰釉、上絵付	不明	上絵付で花文様を描く。
26	18	B635	土器	鍋	焙烙	340	86			橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 2cm 前後。
27	1	B664	土器	鉢	焼塩壺身	100	35	64		橙	輪積	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
27	2	B677	磁器	碗	中碗	109	60	43		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込みに線状のキズ多数あり。外：丸に雪輪と羽根。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明年製」銘。
27	3	B677	磁器	碗	小碗	67	31	30		灰白	轆轤	染付	肥前	内：文様無し。外：コンニャク印判折枝菊？一重圏線、高台一重圏線。
27	4	B677	磁器	碗	仏飯器	83	68	44		灰白	轆轤	染付	肥前	外：文様不明。一重圏線、高台二重圏線。
27	5	B677	磁器	皿	小皿	98	23	54		灰白	轆轤	染付	肥前	内：コンニャク印判花文？。外：折れ松葉文。
27	6	B677	磁器	皿	小皿	119	35	43		灰白	轆轤	染付	肥前	波佐見系。内：折れ松葉文？見込み蛇ノ目釉剝ぎ。外：高台とその周辺を除き施釉。高台に僅かに砂付着。
27	7	B677	陶器	碗	中碗	114	75	53		浅黄橙	轆轤	無灘	肥前	
27	8	B677	陶器	碗	中碗	114	75	52		浅黄橙	轆轤	無灘	肥前	
27	9	B677	陶器	碗	中碗	129	53	54		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	肥前	内：見込みに鉄絵で楼閣山水文。高台内刻印「清水」
27	10	B677	陶器	鉢	中鉢	222	87	65		浅黄橙	轆轤	白泥、錆釉、透明釉	肥前	内：見込み蛇ノ目釉剝ぎ、釉剝ぎ部分に錆釉を施す。体部は縞状に白泥を塗り、櫛描きで波状文を施した後、透明釉を掛ける。外：高台畳付を除き透明釉を掛ける。削り出し高台。
27	11	B677	陶器	瓶	仏花瓶	85	110	50		灰白	轆轤、貼付	灰釉	瀬戸・美濃	高台を除く内外面全体に施釉する。削り出し高台。
27	12	B677	土器	鉢	火鉢	270	107	215		明褐	輪積	無釉	江戸在地	三足。
27	13	B677	土器	鍋	焙烙	264	76			にぶい褐	回転台	無釉	江戸在地	有耳、深め、底丸。耳が内壁。刻印：丸に「一」。
27	14	B677	土器	皿	小皿	66	14	36		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。口縁部煤付着。
27	15	B677	土器	皿	小皿	85	18	42		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。口縁部煤付着。
28	1	B683	陶器	壺	小壺	36	75	34	66	黄灰	轆轤	鉄釉	中国？	茶壺。内：口縁部のみ施釉。外：は底部とその周辺を除き施釉。底部糸切未調整。轆轤左回転。
28	2	B684	土器	鍋	焙烙	306				橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、底平坦。口縁部外反。
28	3	B684	土器	皿	小皿	112	21	59		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。口縁部煤付着。
28	4	B733	土器	鍋	焙烙	225				浅黄橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、底平坦、器壁高 4cm 前後。
29	1	B745	磁器	碗	中碗	110	62	50		灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	外面：上絵付で竹、梅、柵を描く。上絵付は、竹は輪郭を黒色で塗りは緑色。梅は花が輪郭赤色、塗が赤色、葉は輪郭黒色で塗りは淡い緑色である。口銹。
29	2	B745	磁器	碗	中碗	100	55	41		灰白	轆轤	染付、上絵付	肥前	外：呉須で紅葉文、上絵付でさらに紅葉文を描く。上絵付は輪郭赤色で塗り赤色、輪郭黒色で塗りは淡い赤色、枝の輪郭は黒色。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線と「大明年製」銘。
29	3	B745	磁器	碗	中碗	97	56	44		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：樹木、鶉、雲。高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明年製」銘
29	4	B745	磁器	碗	中碗	108	62	42		灰白	轆轤	染付	肥前	外：雪持笹、柑橘、草花文、遠山。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。
29	5	B745	磁器	鉢	蓋物	103	75	64		灰白	轆轤	染付	肥前	外：藤。
29	6	B745	磁器	鉢	香炉	96	81	46		灰白	型押？貼付	青磁、錆釉	肥前	型押し、轆轤併用か。底面錆釉。内：口縁部を除き無釉。
29	7	B745	陶器	鉢	片口	110	75	45		橙	轆轤	鉄釉	肥前？	内面見込みには使用に伴うとみられるキズ多数あり。
29	8	B745	炻器	器台	灯明受皿	120	25	32		黄灰	轆轤、貼付	錆釉	志戸呂	油溝は 3 箇所。外面は体部から低部にかけて回転ヘラケズリ。外面体部下位に受部径に近い環状痕あり。
29	9	B745	土器	鍋	焙烙	280				にぶい褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。焼成前後不明の穿孔 2 箇所あり、補修痕跡か。
29	10	B745	土器	鉢	火鉢	302	113	278		にぶい褐	板作、貼付	無釉	江戸在地	角火鉢。底部一部欠損。内面煤付着。
29	11	B745	土器	鉢	火鉢	190	74	146		明褐	輪積貼付	無釉	江戸在地	
29	12	B745	土器	蓋	焼塩壺蓋	80	22			橙	型押し	無釉	近畿	
29	13	B745	土器	鉢	焼塩壺身	60	92	50	80	橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
29	14	B745	土器	皿	小皿	90	18	55		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。見込み煤付着。
29	15	B745	土器	皿	小皿	115	21	70		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。口縁部煤付着。
30	1	B800	磁器	碗	中碗	93	50	44		灰白	轆轤	青花	中国	内：見込み花文、二重圏線、口縁部二重圏線。外：口縁部二重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明成化年製」銘。
30	2	B800	磁器	碗	大碗	120	56	46		灰白	轆轤	染付	肥前	内：文様無し。外：コンニャク印判雪輪文、手描き格子文。高台脇一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明年製」銘。
30	3	B800	磁器	碗	中碗	100	53	42		灰白	轆轤	染付	肥前	外：牡丹文。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明年製」銘。
30	4	B800	磁器	碗	中碗	98	53	44		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：型紙摺り輪宝文繋ぎ文（輪宝文 5 個を 1 単位）。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。口銹。
30	5	B800	磁器	碗	小碗	66	34	27		灰白	轆轤	染付	肥前	外：蔓草、蝶。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。
30	6	B800	磁器	碗	小碗	58	26	26		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：型紙摺り草花文。横帯、高台二重圏線、高台畳付無釉。
30	7	B800	磁器	碗	小坏	79	58	44		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み草花文、二重圏線。外：口縁部二重圏線、横帯、高台二重圏線、高台内「宣明年製」銘。
30	8	B800	磁器	碗	小坏	66	52	34		灰白	轆轤	白磁	不明	口縁部端をヘラ切りして輪花につくる。
30	9	B800	磁器	碗	小坏	68	40	28		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草文。高台畳付砂付着。

第 7 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（6）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
30	10	B800	磁器	碗	小坏	57	33	24		灰白	轆轤	白磁	肥前	
30	11	B800	磁器	碗	うがい碗	147	60	48		灰白	轆轤	白磁	肥前	内面見込みにキズ多数あり。
30	12	B800	磁器	皿	五寸皿	138	27	89		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み五弁花、墨弾き雲ほか。外：唐草文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。高台内目跡 1 。
30	13	B800	陶器	皿	小皿	128	31	79		灰白	型打ち、ヘラ	灰釉・銅緑釉	瀬戸・美濃	菊花形の型を用いて型打ちする。内：型打ち字の布目痕残る。口縁部はヘラで花弁状に切り整える。見込みに目跡 3 。部分的に口縁部から緑釉をかける。削り出し高台。
30	14	B800	陶器	鉢	中鉢	96	66	59		灰白	轆轤	灰釉、透明釉、呉須	京・信楽	削り出し高台。外面体部に呉須で文様を描く。
30	15	B800	陶器	鉢	香炉	72	40	46		灰黄	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	口縁部端は平坦に作りやや内傾する。外：轆轤目が目立つ。轆轤右回転。高台は削り出しで、器を上下さかさまにしてヘラケズリ。
30	16	B800	陶器	壺	小壺	71	69	46		灰黄	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	高台を除く内外面に施釉。
30	17	B800	土器	鉢	風炉			(276)		にぶい褐	輪積	無釉	江戸在地	三足。体部の稜線より上位は櫛描きで波状文を施し、下位はミガキを施す。
30	18	B800	土器	皿	小皿	68	12	40		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転、口縁部煤付着。
30	19	B800	土器	皿	小皿	88	15	48		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転、口縁部煤付着。
30	20	B800	土器	皿	小皿	85	17	43		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転、口縁部煤付着。
30	21	B800	土器	皿	小皿	118	23	65		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転、口縁部煤付着。
30	22	B800	土器	皿	小皿	122	25	68		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。外面煤付着。
31	1	B808 硬化面直上	陶器	碗	中碗	94	73	40		灰白	轆轤	白泥、呉須、透明釉	不明	外：松。高台畳付無釉。
31	2	B808 古段階	磁器	皿	小皿	132	31	82		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込みコンニャク印判栗文、二重圏線。外：一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。目跡 1 。
31	3	B808 古段階	磁器	皿	中皿	142	47	80		灰白	轆轤	染付	肥前	波佐見系。内：見込みコンニャク印判五弁花、二重圏線、竹文。外：唐草文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「福」字銘。
31	4	B808 古段階	磁器	鉢	小鉢	72	57	34		灰白	轆轤	白磁	肥前	
31	5	B808 古段階	陶器	碗	小碗	68	46	30		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
31	6	B808 古段階	土器	鍋	焙烙	306	72			橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 2cm 前後。底面煤付着。
31	7	B808 古段階	土器	鉢	焼塩壷身	63	76	51	77	橙	無釉	轆轤	近畿	詳細は第 54 表参照。
31	8	B808 古段階	土器	鉢	焼塩壷身	54	78	56	72	橙	無釉	板作り	近畿	詳細は第 54 表参照。
31	9	B808 中段階	磁器	碗	中碗	97	56	35		灰白	轆轤	染付	肥前	外：鉄線文。高台脇一重圏線、高台二重圏線。
31	10	B808 中段階	磁器	碗	小碗	72	42	30		灰白	轆轤	染付	肥前	波佐見系。外：草花文、高台脇一重圏線、高台二重圏線。
31	11	B808 中段階	磁器	碗	中碗	(85)	65	42		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み五弁花、二重圏線、口縁部横帯。外：草花文、七宝文、高台二重圏線。
31	12	B808 中段階	磁器	碗	仏飯器	57	50	32		灰白	轆轤	染付	肥前	波佐見系。外：草花文、遠山。底部無釉。
31	13	B808 中段階	土器	蓋	焼塩壷蓋	65	12	74		灰黄	型押し	無釉	近畿	
31	14	B808 新段階	磁器	碗	中碗	90	64	54		灰白	轆轤	染付	肥前	外：羽子板、羽根、ウラジロ。
31	15	B808 新段階	磁器	碗	大碗	143	78	56		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込みコンニャク印判五弁花、二重圏線。外：梅樹文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「福」字銘。
31	16	B808 新段階	磁器	碗	中碗	86				灰白	轆轤	青磁	中国	上半のみ残存。
31	17	B808 新段階	磁器	碗	紅猪口	40	15	15		灰白	型押し	白磁	肥前	
31	18	B808 新段階	磁器	皿	小皿	135	42	76		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み五弁花、二重圏線、菊花文、桜花文。外：唐草文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「福」字銘。高台砂付着。
31	19	B808 新段階	陶器	碗	中碗	100	69	37		灰白	轆轤	呉須、白泥、錆釉	不明	高台畳付釉剥ぎ。内：白泥。外：口縁部は白泥に呉須で斜線等を描く。体部は口縁部以外錆釉で、中位に櫛描き状の沈線を施す。体部下位は白泥イッチンにより文様を施す。
31	20	B808 新段階	陶器	碗	中碗	94	44	33		浅黄橙	轆轤	灰釉	京・信楽？	外：体部に鉄絵。
31	21	B808 新段階	陶器	瓶	小瓶			34		灰白	轆轤	瑠璃釉	不明	高台無釉。
31	22	B808 新段階	土器	蓋	秉燭蓋	20	17		24	橙	手びねり	透明釉	江戸在地	
31	23	B808 新段階	陶器	水注	小水注	26	74	47	99	灰白	轆轤、貼付	呉須、白泥、錆釉	瀬戸・美濃	注口部及び把手を貼付。
31	24	B808 新段階	陶器	瓶	中瓶	38	154	68		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	徳利。外：全体に施釉し、高台内面は釉拭き取り。
32	1	B810	磁器	皿	小皿	108	29	52		灰白	轆轤	染付	肥前	内：型紙摺り菊花文、型紙摺り七宝繋ぎ文、二重圏線、一重圏線、高台二重圏線。
32	2	B817	磁器	碗	中碗	108	60	44		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：墨弾き雲、紅葉、墨弾き波文。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。
32	3	B817	磁器	碗	中碗	108	62	44		灰白	轆轤	染付	肥前	外：梅樹文、竹、岩。高台砂付着。
32	4	B817	磁器	碗	小碗	88	48	40		灰白	轆轤	染付	肥前	外：柴束。一重圏線、高台二重圏線。
32	5	B817	陶器	鉢	中鉢	292	83	110		にぶい赤褐	轆轤	白泥、透明釉、錆釉	肥前	内：見込みに砂目痕 2 箇所残る。印花文に白泥を象嵌し、透明釉を掛ける。外面：内面から外面口縁部まで透明釉、体部中位から高台周辺まで錆釉。
32	6	B820	磁器	碗	中碗	98	53	38		白	轆轤	染付	肥前	外面コンニャク印判菊花文。一重圏線、高台一重圏線。
32	7	B820	磁器	碗	小碗	66	30	25		白	轆轤	染付	肥前	外：雨降り文。一重圏線、高台内一重圏線及び「大明年製」銘。
32	8	B820	陶器	鉢	擂鉢					暗灰黄	轆轤	無釉	堺	口縁部のみ。口縁部は 3 段の縁帯で外側に張り出す。内面は口縁部直下でクシ目をナデ消す。
32	9	B838	土器	鍋	焙烙	240				にぶい黄褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、底平坦、器壁高 4cm 前後。口縁部外反。
32	10	B849	磁器	蓋	丸形	96	30			灰白	轆轤	染付	肥前	外：雨降り文、雷文、摘み脇一重圏線、摘み二重圏線、摘み内一重圏線及び「大明年製」銘。
32	11	B849	土器	皿	小皿	60	14	35		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
32	12	B1102	陶器	瓶	小瓶			38	68	灰白	轆轤、貼付	灰釉	京・信楽？	碁笥底。頸部は上から下に向かって螺旋文を施したのち、扁平な双耳を貼付けする。胴部中位に稜線を付け、これより下位は低部まで回転ヘラケズリを施す。
32	13	B1102	土器	鍋	焙烙	250				橙	回転台	無釉	江戸在地	深め、器壁高 4cm 前後。全体的に摩滅。

第 8 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（7）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
33	1	B868	磁器	碗	大碗	141	75	52		灰白	轆轤	染付	肥前	内：コンニャク印判五弁花、二重圏線。外：雁金、遠山。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線及び「大明年製」銘。高台畳付砂付着。
33	2	B868	磁器	碗	中碗	95	54	40		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線及び「大明年製」銘。高台畳付砂付着。
33	3	B868	磁器	碗	小碗	64	33	29		灰白	轆轤	白磁	肥前	高台畳付砂付着。
33	4	B868	磁器	碗	仏飯器	57	62	37		灰白	轆轤	染付	肥前	外：体部山水文。
33	5	B868	磁器	皿	小皿	127	35	44		灰白	轆轤	染付	肥前	内：草文。見込み蛇ノ目釉剝ぎ、溶着痕あり。
33	6	B868	磁器	瓶	髪油壺	24	86	43	86	灰白	轆轤	染付	肥前	外：体部上位に雪持ち笹、草花文、中位に一重圏線、高台一重圏線。
33	7	B868	陶器	碗	中碗	109	56	39		灰白	轆轤	白泥、透明釉	肥前	現川産？　内：ランダムに刷毛目を施す。外：連続的な打ち刷毛目。
33	8	B868	陶器	碗	中碗	94	61	44		灰白	轆轤	灰釉、呉須	瀬戸・美濃	高台畳付及び高台内無釉。
33	9	B868	陶器	碗	中碗	91	59	33		灰黄	轆轤	灰釉、上絵付	京・信楽	高台無釉、高台は外側を面取り。外面に草花文を上絵付。
33	10	B868	陶器	鉢	蓋物		81			黒褐	型押し	鉄釉	不明	人形を呈する容器の足の部分か。
33	11	B868	土器	鍋	焙烙		—			橙	回転台	無釉	江戸在地	深め、器壁高 4cm 前後。口縁部玉縁状。
33	12	B868	土器	皿	中皿	162	33	89		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
33	13	B875	陶器	碗？				40		灰白	轆轤	白泥、緑釉	不明	削り出し高台。体部は線刻状の描線に白泥を充填し、象嵌状につくる。
34	1	B889 上部	磁器	碗	中碗	109	62	48		灰白	轆轤	染付	肥前	外：丸に墨弾き蝶、花などを描く丸文散らし。高台砂付着。
34	2	B889 上部	磁器	碗	中碗	98	59	44		灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	外：草花文の上絵付を施した痕跡あり。
34	3	B889 上部	磁器	碗	中碗	96	58	42		灰白	轆轤	染付	肥前	外：楼閣山水文。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線及び「大明年製」銘。高台砂付着。
34	4	B889 上部	磁器	碗	中碗	99	54	44		灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	内：文様無し。外：草花文、柵。赤い輪郭線で花、黒い線で葉、茎、柵を描く。高台畳付無釉。
34	5	B889 上部	磁器	碗	小碗	84	41	32		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判菊花文散らし。高台砂付着。
34	6	B889 上部	磁器	碗	小碗	49	32	20		灰白	轆轤	染付	肥前	外：網目文。
34	7	B889 上部	陶器	碗	中碗	117	49	46		灰白	轆轤	灰釉、鉄	肥前	刻印「小松吉」。
34	8	B889 上部	陶器	碗	中碗	90	55	36		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	削り出し高台。
34	9	B889 上部	陶器	瓶	花瓶			86	91	にぶい赤褐	轆轤、貼付	鉄釉、透明釉、うのふ釉	不明	真竹の稈、節を表現したものとみられ、環は二重である。底面を除く内外面に施釉。内面は透明釉、外面は鉄釉を施した後、部分的にうのふ釉を掛ける。枝打ち後の枝の根元を貼付で表現する。
34	10	B889 上部	土器	器台	灯明受皿	86	84	70	59	橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部ヘラケズリ
34	11	B889 上部	土器	鍋	焙烙	300				にぶい褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 2cm 前後。
34	12	B889 上部	土器	皿	小皿	73	15	34		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
34	13	B889 上部	土器	皿	小皿	101	20	48		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
34	14	B889 下部	磁器	碗	小碗	84	63	44		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み環状松竹梅文、二重圏線、口縁部四方襷文、外：松竹梅文？残存部分には松、梅のみ。高台二重圏線。
34	15	B889 下部	磁器	鉢	猪口	74	54	38		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：草花文。高台内丸に点文様あり。高台畳付砂付着。
34	16	B889 下部	磁器	碗	小碗	53	30	25		灰白	轆轤	染付	肥前	内：文様無し。
34	17	B889 下部	磁器	皿	小皿	94 72	22	48 35		灰白	糸切細工	染付	肥前	内：型紙摺り花文様。外：折れ松葉文。付け高台。
34	18	B889 下部	磁器	皿	小皿	127	30	75		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み五弁花。外：唐草文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。高台内目跡 1。
34	19	B889 下部	磁器	鉢	蓋物	69	45	39		灰白	轆轤	染付	肥前	外：網目文、高台一重圏線。
34	20	B889 下部	磁器	鉢	香炉	102	81	78		灰白	轆轤	青磁	肥前	蛇ノ目高台。高台無釉。内面口縁部以外無釉。
34	21	B889 下部	陶器	碗	中碗	97	63	52		浅黄	轆轤	灰釉、呉須	瀬戸・美濃	外：体部に呉須で文様を描く。
34	22	B889 下部	陶器	碗	中碗	90	57	29		浅黄	轆轤	灰釉、上絵付	京・信楽	外：赤、白の上絵付で半菊文等の花文様を描く。
34	23	B889 下部	陶器	碗	中碗	94	56	38		浅黄	轆轤	灰釉、鉄、緑釉	瀬戸・美濃	せんじ碗。外：体部に鉄と緑釉で文様。
34	24	B889 下部	陶器	皿	小皿	123	28	67		灰白	轆轤	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	内：見込みに型紙摺りで鉄絵の草花文。外：体部に環状の溶着痕あり。
34	25	B889 下部	陶器	皿	小皿	102	18	38		にぶい黄褐	型打ち	透明釉	不明	六角形。
34	26	B889 下部	陶器	鉢	香炉	114	74	68		灰白	轆轤	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	高台は 3 箇所を指押さえする。外：体部に型紙摺りで鉄絵の草花文。口縁部端外側に敲打痕あり。
35	1	B889 下部	磁器	鉢	小鉢	224	47	76		白	轆轤	染付	肥前	内：鶴。
35	2	B889 下部	陶器	鉢	灰吹		(83)	56		浅黄橙	轆轤	鉄釉	不明	刳り底輪高台。口縁部敲打痕あり。
35	3	B889 下部	磁器	壺	中壺	100	189	88		灰白	轆轤	白磁	肥前	
35	4	B889 下部	陶器	器台	灯明受皿	105	27	47	71	黄灰	轆轤、貼付	錆釉	志戸呂	
35	5	B889 下部	土器	鍋	焙烙	323				にぶい褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 2cm 前後。
35	6	B889 下部	土器	器台	灯明受皿	89	23	43	58	にぶい褐	轆轤、貼付	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
35	7	B889 下部	土器	鉢	焼塩壺身	66	95	48	80	橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
35	8	B889 下部	土器	皿	小皿	57	13	29		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
35	9	B889 下部	土器	皿	小皿	79	15	40		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
35	10	B889 下部	土器	皿	中皿	194	34	121		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。

第 9 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）(8)

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
36	1	B890	磁器	碗	中碗	108	58	46		灰白	轆轤	白磁	肥前	高台畳付無釉、砂付着。
36	2	B890	磁器	碗	中碗	97	54	35		灰白	轆轤	染付	肥前	波佐見系。外:草花文、一重圏線、高台二重圏線、高台内銘。
36	3	B890	磁器	碗	紅猪口	54	22	24		灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	外：上絵付で羽根、羽子板を描く、輪郭、塗りともに赤色。羽根の実の部分は黒色で塗る。
36	4	B890	磁器	碗	小碗	84	61	43		灰白	轆轤	染付、上絵付	肥前	内面：環状松竹梅文、二重圏線、口縁部四方襷文。外面：呉須で描いた窓に上絵付で松、連弁文、毘沙門亀甲文、唐草文を描く。上絵付は赤の輪郭及塗りと、黒の輪郭線。底面は呉須で唐草文、上絵付で七宝文。高台畳付無釉。
36	5	B890	磁器	皿	小皿	(100 × 78)	25	51 × (52)		灰白	糸切細工	染付	肥前	外形は鳥を象る。付け高台。ダミ、墨弾きを用い鷲、鷹など猛禽類とみられる。
36	6	B890	陶器	碗	中碗	99	63	41		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	外面中位以下及び高台内外面は鉄釉で高台畳付は釉剥ぎする。
36	7	B890	陶器	皿	五寸皿	149	46	64		灰黄	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内：見込み蛇ノ目釉剥ぎ。外：底部とその周辺を除き施釉。削り出し高台。口縁端部やや肥厚。
36	8	B890	陶器	鉢	中鉢	155	62	54		赤褐	轆轤	白泥、透明釉	肥前	口縁端部は外側に折り返して玉縁状につくる。内面及び外面上位に白泥で巻刷毛目を施す。内面は見込みを蛇ノ目釉剥ぎする。
36	9	B890	陶器	瓶	洩瓶	55	149	134		灰白	轆轤、貼付	鉄釉（飴釉）	瀬戸・美濃	削り出し高台、橋状把手、注口部貼付け。
36	10	B890	土器	鉢	火鉢	215	85	164		橙	輪積、貼付	無釉	江戸在地	三足を貼付。口縁部煤付着。内:指押さえ痕僅かに残る。外:胴部下位にケズリを施す。
36	11	B890	土器	鉢	火鉢	117	130	118		にぶい黄褐	輪積、貼付	無釉	江戸在地	三足を貼付。外面はミガキを施す。中央に穿孔。刻印あり。
36	12	B890	土器	鉢	火消壺	125	140	194		明褐	輪積、貼付	無釉	江戸在地	
36	13	B890	土器	鉢	焼塩壷身	56	75	49	74	にぶい橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
36	14	B890	土器	鉢	焼塩壷身	61	74	50	77	橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
36	15	B890	土器	皿	中皿	189	38	114		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。内面煤付着。
37	1	B948	磁器	鉢	大鉢	238	95	96		灰白	轆轤	青磁	肥前	蛇ノ目高台。高台無釉。見込みヘラ描き文様。B962・B966・B1153・B1566 号出土破片と接合。
37	2	B1148	磁器	碗	中碗	103	44	35		灰白	轆轤	染付	肥前	内：文様無し。外：文字「月　出人間」、一重圏線、高台二重圏線。
37	3	B1148	磁器	碗	中碗	98	43	36		灰白	轆轤	染付、上絵付	肥前	外：松、梅。高台に金彩を施すが、焼成後、消費地における絵付けか。
37	4	B1148	磁器	碗	中碗	105	46	40		灰白	轆轤	染付、上絵付	肥前	外：染付で体部下位に一重圏線と連弁文？上絵付で舟、草、雲、鳥。舟は赤い線で、草は黒い線で描く。
37	5	B1148	磁器	鉢	猪口	74	58	33		灰白	型打ち	染付	肥前	外:草花文、一重圏線、高台二重圏線、高台内「福」字銘款。高台畳付無釉。
37	6	B1148	磁器	碗	小碗	84	67	44		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込みコンニャク印判五弁花、一重圏線、口縁部四方襷文。外：体部藤文、高台脇宝文。高台二重圏線。高台畳付無釉。
37	7	B1148	磁器	皿	五寸皿	140	39	82		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み環状松竹梅文、家屋文、松皮菱。外面：唐草文、高台脇一重圏線、高台二重圏線、高台内「福」銘款。蛇ノ目凹型高台（低）。
37	8	B1148	陶器	碗	大碗	126	60	49		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
37	9	B1148	陶器	碗	仏飯器	69	56	44		灰白	轆轤	灰釉、呉須	瀬戸・美濃	脚及び底部無釉。
37	10	B1148	陶器	水注	土瓶	86	76	91		灰白	轆轤、貼付	灰釉、透明釉、鉄	不明	三足。注口部は S 字。体部に鉄絵で笹葉文を描く。底面は煤付着。
37	11	B1148	土器	鐘	火もらい	134	185	120				無釉	江戸在地	
37	12	B1148	土器	蓋	焼塩壷蓋	57	11		77	淡黄	型押し	無釉	近畿	
37	13	B1148	土器	鉢	焼塩壷身	69	30	65	81	橙	型押し	無釉	近畿	
37	14	B1148	土器	鉢	焼塩壷身	65	72	54	73	淡黄	轆轤	無釉	江戸在地	
38	1	B964	磁器	碗	中碗	100	56	42		灰白	轆轤	染付	肥前	外：紅葉。
38	2	B964	磁器	碗	小碗	(88)	49	36		灰白	轆轤	染付	肥前	外：雨降り文、高台付近一重、高台二重圏線、高台内一重圏線及び「□明□製」銘。口銹。
38	3	B964	磁器	碗	中碗	95	47	40		灰白	轆轤	白磁	肥前	内外：丸に草花文、氷裂文。
38	4	B964	陶器	碗	小碗	88	53	30		灰白	轆轤	透明釉、上絵付	京・信楽	体部は白、赤で上絵付文様を施す
38	5	B964	陶器	碗	中碗	(100)	67	49		灰白	轆轤	灰釉、錆釉	瀬戸・美濃	内面及び外面の体部上半に灰釉、高台畳付を除く底部及び体部下半に錆釉を施す。
38	6	B964	陶器	皿	小皿	126	28	70		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内面見込み蛇ノ目釉剥ぎ。付け高台。
38	7	B964	陶器	鉢	小鉢	(106)	70	60		にぶい赤褐	轆轤	白泥、透明釉	肥前	内面に透明釉、体部外面は白泥により巻刷毛目状の文様を施し、透明釉を掛ける。高台畳付は釉剥ぎする。
38	8	B964	陶器	鉢	灰吹	50	55	54		灰白	輪積	鉄釉、灰釉	瀬戸・美濃	
38	9	B964	陶器	壺	小壺	69	106	78		にぶい赤褐	轆轤、貼付	鉄釉	瀬戸・美濃	双耳どちらも破損。口縁部敲打痕あり。高台とその周辺を除き施釉する。
38	10	B964	土器	器台	灯明受皿	91	26	42	69	灰黄	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。油溝及び受部内外面に煤付着。
38	11	B964	土器	鉢	火消壺	212	259	206	274	浅黄橙	輪積	無釉	江戸在地	
38	12	B964	土器	鍋	焙烙	(290)				にぶい褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。口縁部玉縁状。
38	13	B964	土器	鉢	焼塩壷身	60	99	52	73	明黄褐	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
38	14	B964	土器	皿	小皿	55	10	31		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。底部中央に焼成後穿孔。轆轤左回転。
38	15	B964	土器	皿	小皿	68	13	35		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
38	16	B964	土器	皿	小皿	78	13	39		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、口縁部に僅かに煤付着。轆轤左回転。
38	17	B964	土器	皿	小皿	92	17	50		にぶい橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。口縁部に僅かに煤付着。轆轤左回転。
39	1	B1132	磁器	碗	中碗	98	54	40		灰白	轆轤	染付	肥前	外:葵ほか。一重圏線、高台二重圏線、高台内「大明年製」銘。
39	2	B1132	磁器	碗	中碗	99	54	40		灰白	轆轤	染付	肥前	外:草花文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明年製」？銘。
39	3	B1132	磁器	碗	中碗	98	52	40		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判五葉若葉、岩、草花文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明年製」銘。
39	4	B1132	磁器	碗	中碗	106	58	41		灰白	轆轤	染付	肥前	波佐見系。内：蛇ノ目釉剥ぎ。外：草花文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。
39	5	B1132	磁器	碗	小碗	81	45	35		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判楓文散らし。高台畳付砂付着。
39	6	B1132	磁器	碗	小碗	81	43	30		灰白	轆轤	染付	肥前	外：雨降り文、一重圏線、高台二重圏線。
39	7	B1132	磁器	碗	小碗	62	32	28		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文。高台畳付砂付着。
39	8	B1132	磁器	碗	小碗	54	20	23		灰白	轆轤	白磁	肥前	
39	9	B1132	磁器	碗	仏飯器	73	59	38		灰白	轆轤	白磁	肥前	
39	10	B1132	磁器	鉢	猪口	72	51	35		灰白	轆轤	染付	肥前	外:コンニャク印判草花文、手描き草花文、雁金、一重圏線、高台二重圏線、高台内「大明年製」銘。
39	11	B1132	磁器	瓶	仏花瓶	39	103	35		灰白	型押し	青磁	肥前	
39	12	B1132	磁器	蓋	合子蓋	48	18		54	灰白	轆轤	染付	肥前	外：菊花、でんでん太鼓、丸文。摘みは一部欠損するが木の葉形。

第 10 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（9）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
39	13	B1132	陶器	碗	中碗	102	70	50		灰白	轆轤	灰釉、錆釉	瀬戸・美濃	腰錆碗。内面及び外面の中位まで灰釉を施す。外面下半及び高台内外面は錆釉で高台畳付は釉剥ぎ。体部の２箇所を指押さえ。
39	14	B1132	陶器	碗	中碗	97	63	50		橙	轆轤	灰釉、錆釉	瀬戸・美濃	腰錆碗。外：下半及び高台内外面は錆釉で高台畳付は釉剥ぎ。体部の２箇所を指押さえ。
39	15	B1132	陶器	碗	中碗	101	69	49		灰白	轆轤	呉須、灰釉	瀬戸・美濃	外：体部下位を回転ヘラケズリする。体部に楼閣山水文を描く。
39	16	B1132	陶器	碗	大碗	122	88	51		灰白	轆轤	灰釉	肥前	高台は畳付無釉でやや撥形に開く。焼成は良好で胎土は緻密。貫入が目立つ。
39	17	B1132	陶器	碗	中碗	102	58	40		黄灰	轆轤	白泥、透明釉	肥前	高台畳付無釉。内外面に白泥で巻刷毛目を施し、透明釉を施す。
39	18	B1132	陶器	碗	小碗	62	35	30		灰黄	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	高台内面及び畳付無釉。
39	19	B1132	陶器	鉢	香炉	67	54	64		灰白	轆轤、貼付	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	三足を貼付。口縁は内側に折り返し平坦面をつくる。底部はヘラ切り後ナデ。外：体部に型紙摺りによる鉄絵で六弁の花文様を描く。
39	20	B1132	陶器	鉢	中鉢	137	38	68		灰白	轆轤	灰釉、呉須、鉄	不明	高台畳付を除く内外面に施釉。口縁部平坦面に呉須及び鉄で文様を描く。
39	21	B1132	陶器	蓋	蓋物蓋	56	(10)		66	灰白	轆轤	黄釉	京	笠部上面は刺突により柚子表皮状の文様を施す。香合蓋。
39	22	B1132	陶器	鉢	蓋物身	67	55	45		灰白	轆轤	黄釉	京	香合。内外面に施釉し、口縁端部は釉剥ぎ。外面は刺突により柚子表皮状の文様を施す。
39	23	B1132	陶器	壺	小壺	67	119	72	120	灰黄	轆轤	鉄釉（飴釉）	瀬戸・美濃	口縁端部釉剥ぎ。肩部に螺旋文を施す。
39	24	B1132	陶器	瓶	小瓶			30		暗赤褐	轆轤	鉄泥	備前	胴部に２条の凹線を巡らせる。
39	25	B1132	土器	鉢	口縁内肥厚形	288	118	221		にぶい黄褐	輪積、貼付	無釉	江戸在地	三足１箇所欠損。口縁部煤付着。外面ミガキ状となるがナデ調整か。
39	26	B1132	土器	鍋	焙烙	290				橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。口縁部玉縁状。
39	27	B1132	土器	鉢	焼塩壺身	61	94	58	79	橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
39	28	B1132	土器	皿	小皿	92	18	47		橙	轆轤	無釉	江戸在地	口縁部に煤付着。底部糸切未調整。轆轤左回転。
40	1	B1159	磁器	碗	中碗	92	55	35		灰白	轆轤	染付	肥前	外：矢羽根文、高台付近水裂文、一重圏線。
40	2	B1159	磁器	碗	中碗	(105)	51	41		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文、格子文。
40	3	B1159	磁器	碗	小碗	60	37	26		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：口縁部一重圏線、高台二重圏線、体部遠山。
40	4	B1159	磁器	碗	小碗	59	25	27		灰白	轆轤	白磁	肥前	
40	5	B1159	磁器	鉢	蓋物	82	47	49		灰白	轆轤	染付	肥前	口縁部内外面無釉、高台畳付無釉。外：体部に宝珠、雲または唐草文、二重圏線。高台外面二重圏線。高台内「大明年製」銘。
40	6	B1159	磁器	鉢	香炉	194	88	93		灰白	轆轤、貼付	青磁	肥前	B1523 号出土破片と接合。
40	7	B1159	磁器	蓋	蓋物蓋	50	20		60	灰白	轆轤	染付		外：冊子、筆文。花文、二重圏線、一重圏線。
40	8	B1159	磁器	蓋	蓋物蓋	86	27		100	灰白	轆轤	染付		外：芹文、一重圏線。
40	9	B1159	陶器	碗	中碗	92	63	44		灰白	轆轤	灰釉、鉄	京・信楽？	暦茶碗。享保２年、寛延３年と一致するが、寛延３年の可能性が高い。
40	10	B1159	陶器	碗	中碗	117	74	50		にぶい赤褐	轆轤	鉄釉（黒釉）、長石釉	瀬戸・美濃	拳骨茶碗。外：長石釉を散らす。連続して指押さえ。刻印「二川」。
40	11	B1159	陶器	碗	中碗	94	56	30		灰白	轆轤	鉄、透明釉	京・信楽	体部に鉄絵で文様を描く。
40	12	B1159	陶器	碗	仏飯器	66	49	36		灰白	轆轤	呉須、白泥、透明釉	瀬戸・美濃	外：遠山。
40	13	B1159	陶器	鉢	餌猪口	45	32	30		灰黄	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	墨書「宝暦９年」。
40	14	B1159	陶器	瓶	仏花瓶	55	113	56		灰白	轆轤、貼付	鉄、透明釉	瀬戸・美濃	耳を貼付け。外面は上半を灰釉、下半を鉄釉で施釉する。内面は口縁部のみ灰釉を施す。底部糸切未調整。
40	15	B1159	陶器	甕	中甕	188	188	120		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	口縁は内側に折り返す。底部内面に目痕３箇所あり。
40	16	B1159	土器	鍋	焙烙					橙		無釉	江戸在地	深め、器壁高 2cm 前後。口縁部玉縁状。
40	17	B1159	土器	鍋	焙烙	300			316	橙		無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 2cm 前後。
40	18	B1159	土器	鍋	焙烙	310	87		326	にぶい褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 2cm 前後。刻印：丸に「一」。
40	19	B1159	土器	鉢	焼塩壺身	64	69	47	75	にぶい橙	轆轤	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
40	20	B1159	土器	皿	小皿	56	10	34		橙		無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
40	21	B1159	土器	皿	小皿	76	13	36		橙		無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
40	22	B1159	土器	皿	小皿	91	15	50		橙		無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
41	1	B1190	磁器	壺	中壺	74	166	62	140	灰白	轆轤	白磁	肥前	高台無釉。
41	2	B1190	陶器	碗	中碗	95	61	31		灰白	轆轤	灰釉、鉄、呉須	京・信楽	刻印「清水」。
41	3	B1190	陶器	皿	中皿	194	59	107		灰白	轆轤	灰釉	不明	
41	4	B1190	陶器	鉢	蓋物	85	41	50		灰黄	轆轤	灰釉	不明	
41	5	B1190	陶器	鉢	片口	215	116	93		にぶい赤褐	轆轤	白泥、透明釉	肥前	内：白泥により巻刷毛目を施す。外：体部上位は櫛目で波状文様、下位は錆釉を施す。
41	6	B1190	陶器	瓶	髪油壺			55	82	灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	外：胴部に篆書体の文字「鶴」を型紙摺り。
41	7	B1190	土器	鍋	焙烙	256				にぶい褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。底部糸切未調整、轆轤左回転。
41	8	B1190	土器	鍋	焙烙	278				にぶい黄褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。口縁部玉縁状。刻印：丸に「一」。
41	9	B1190	土器	鍋	焙烙	249				にぶい褐	回転台	無釉	江戸在地	深め、器壁高 4cm 前後。
41	10	B1190	土器	鍋	焙烙	271				にぶい褐	回転台	無釉	江戸在地	深め、器壁高 4cm 前後。
41	11	B1190	土器	皿	小皿					明褐	轆轤	無釉	江戸在地	皿の底部を用い、縁辺を研磨して転用。
41	12	B1190	土器	皿	小皿	54	12	31		橙	轆轤	無漏	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
41	13	B1190	土器	皿	小皿	60	15	35		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
41	14	B1190	土器	皿	小皿	64	15	40		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
41	15	B1190	土器	皿	小皿	75	17	39		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
41	16	B1190	土器	皿	小皿	82	17	42		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
41	17	B1190	土器	皿	小皿	79	18	38		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
41	18	B1190	土器	皿	小皿	98	19	48		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
41	19	B1190	土器	皿	小皿	104	21	53		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
42	1	B1445 上部	磁器	碗	大碗	153	85	58		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込みコンニャク印判五弁花二重圏線。外：梅樹文、鳥。一重圏線、高台二重圏線及び一重圏線、高台内一重圏線及び「大明年製」銘。
42	2	B1445 上部	磁器	碗	中碗	108	62	42		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線と「大明年製」銘。
42	3	B1445 上部	磁器	碗	中碗	100	58	37		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：コンニャク印判桜花文、口縁部一重圏線、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線と「大明年製」？銘。
42	4	B1445 上部	磁器	碗	中碗	104	61	44		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：草花文、山水文。
42	5	B1445 上部	磁器	碗	中碗	102	57	39		灰白	轆轤	染付	肥前	外：横帯、圏線。

第 11 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（10）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
42	6	B1445 上部	磁器	碗	中碗	99	52	41		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：コンニャク印判魚、花文。
42	7	B1445 上部	磁器	碗	小碗	64	43	32		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判楓文、流水文。横帯と一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線及び「大明年製」銘。
42	8	B1445 上部	磁器	碗	小碗	82	49	37		灰白	轆轤	白磁	肥前	
42	9	B1445 上部	磁器	碗	小碗	85	47	36		灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	外：上絵付で竹。
42	10	B1445 上部	磁器	碗	小碗	71	49	33		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判楓文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。
42	11	B1445 上部	磁器	碗	中碗	100	54	41		灰白	轆轤	白磁	肥前	口銹。内面見込みにキズ（使用痕跡）
42	12	B1445 上部	磁器	碗	小碗	61	34	26		灰白	轆轤	白磁	肥前	高台は蛇ノ目高台に近い。
42	13	B1445 上部	磁器	碗	小碗	58	36	21		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。
42	14	B1445 上部	磁器	碗	小碗	66	39	26		灰白	轆轤	染付	肥前	外：梅樹文。
42	15	B1445 上部	磁器	碗	小碗	66	33	27		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判楓文？。一重圏線、高台二重圏線。
42	16	B1445 上部	磁器	鉢	蓋物	55	32	32		灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	外：上絵付で折枝花。
42	17	B1445 上部	磁器	碗	小碗	54	28	22		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文。
42	18	B1445 上部	磁器	鉢	猪口	56	41	20		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文、高台二重圏線。
42	19	B1445 上部	磁器	碗	小碗	67	24	31		灰白	轆轤	染付	肥前	外：雨降り文。一重圏線、高台二重圏線。高台畳付砂付着。
42	20	B1445 上部	磁器	碗	仏飯器	80	57	42		灰白	轆轤	染付	肥前	外：口縁部一重圏線、遠山、一重圏線、高台一重圏線、高台無釉。
42	21	B1445 上部	磁器	皿	小皿	132	32	80		灰白	轆轤	染付	肥前	内：波と楓。波は線描とダミ。外：唐草文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線と「大明年製」銘
42	22	B1445 上部	磁器	皿	小皿	130	27	81		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み水仙文、体部は二重圏線、波形の墨弾き、口縁部一重圏線。外：唐草文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。高台内目跡 1。
42	23	B1445 上部	磁器	皿	中皿	103	48	62		灰白	轆轤	染付	肥前	鍋島。内:唐草文。外:体部花唐草文、二重圏線、高台櫛高台、一重圏線。B1445 号、B-2 区撹乱出土破片と接合。
42	24	B1445 上部	磁器	鉢	蓋物	63	40	38		灰白	轆轤	染付	肥前	外:牡丹唐草文、口縁部一重圏線、一重圏線、高台二重圏線。
42	25	B1445 上部	磁器	鉢	香炉	97	76	47		灰白	轆轤、貼付	青磁	肥前	内面無釉。輪高台畳付錆釉。三足貼付。体部上位及び下位に帯状の厚みあり。長石粒貼付け。
42	26	B1445 上部	磁器	瓶	小瓶			44	80	灰白	轆轤	染付	肥前	外：若松文、格子文。高台二重圏線。
42	27	B1445 上部	磁器	蓋	蓋物蓋	80	32		98	灰白	轆轤	青磁	肥前	第 42 図 28 とセット？
42	28	B1445 最下部	磁器	鉢	段重	91	45	58		灰白	轆轤	青磁釉	肥前	第 42 図 27 とセット？口縁部無釉。
42	29	B1445 上部	磁器	蓋	蓋	58	15		71	灰白	轆轤、貼付	染付	肥前	外：花唐草文。笠端部内面及びかえり外側無釉。笠部内面施釉。橋状摘み。
43	1	B1445 上部	磁器	水注	水滴	112	70	64		灰白	型押し	白磁	肥前	水鳥(鴨)を象る。頭部､尾を個別のパーツとして作り接合し、さらに底部を接合する。底部は内側に布目痕あり。
43	2	B1445 上部	陶器	碗	中碗	119	101	59		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	高台畳付を除く内外面に施釉。
43	3	B1445 上部	陶器	碗	大碗	121	83	51		明黄褐	轆轤	白泥、灰釉	京・信楽	高台無釉。内面文様無し。外面は沈線及びスタンプ文様に白泥を施し、象嵌状に仕上げる。
43	4	B1445 上部	陶器	碗	中碗	105	76	41		灰白	轆轤	鉄、呉須、灰釉	不明	高台無釉。外：体部に呉須と鉄でそれぞれ菊花文を描く。体部 1 箇所に指頭圧痕（指オサエ）あり。
43	5	B1445 上部	陶器	碗	中碗	102	68	53		灰白	轆轤	灰釉、呉須	瀬戸・美濃	御室茶碗。高台を除く内外面全体に施釉。外：体部に楼閣山水文。
43	6	B1445 上部	陶器	碗	中碗	102	69	54		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	腰錆碗。体部中位に 2 条の沈線を巡らせ、沈線上の 2 箇所を指押さえし凹ませる。外面中位から下位に鉄釉を掛けた後、灰釉を内面及び外面上位に掛ける。高台畳付は釉剥ぎする。
43	7	B1445 上部	陶器	碗	大碗	136	66	52		にぶい赤褐	轆轤	白泥、透明釉	肥前	刷毛目碗。内：打ち刷毛目、外：巻刷毛目、白泥で文様を描いた後、高台畳付を除く内外面に透明釉を施す。高台畳付目砂付着。
43	8	B1445 上部	陶器	碗	大碗	120	67	49		にぶい赤褐	轆轤	灰釉、呉須、鉄	京・信楽？	高台を除く内外面全体に施釉。体部に鉄と呉須で文様を描く。
43	9	B1445 上部	陶器	碗	中碗	108	56	40		黄灰	轆轤	白泥、透明釉	肥前	現川系。内外面に白泥で打ち刷毛目を施す。高台内は巻刷毛目。高台畳付は無釉で目砂付着。
43	10	B1445 上部	陶器	皿	小皿	120	40	46		灰	轆轤	灰釉	不明	
43	11	B1445 上部	陶器	皿	中皿	170	50	52		灰黄	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	高台とその周辺を除く内外面全体に施釉。見込みは蛇ノ目釉剥ぎする。蛇ノ目釉剥ぎ部分に胎土目残る。
43	12	B1445 上部	陶器	鉢	香炉	84	46	83		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	口縁部端は内面に突出する。底部回転ヘラ切り。指でつまみ先端をつくる三角形の三足を付ける。
43	13	B1445 上部	陶器	蓋	壺蓋？		36		110	灰白	轆轤	鉄釉（飴釉）	瀬戸・美濃	底部糸切未調整。
43	14	B1445 上部	陶器	鉢	鬢水入れ	129	43	134		橙	板作り	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	外：体部に型紙摺りによる鉄絵を施す。
43	15	B1445 上部	土器	鍋	焙烙	279				にぶい黄褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
43	16	B1445 上部	土器	鍋	焙烙	254				橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。口縁部玉縁状。
44	1	B1445 上部	土器	不明			218			橙		無釉	江戸在地	ヘラによる沈線、刺突文を施す。箱庭道具？上部欠損
44	2	B1445 上部	土器	盤			170			橙	回転台、貼付	無釉	江戸在地	獣面、獣脚。
44	3	B1445 上部	土器	鉢	焼塩壺身	61	95	53	76	にぶい黄橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
44	4	B1445 上部	土器	鉢	焼塩壺身	56	96	53	69	橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。

第 12 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（11）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
44	5	B1445 上部	土器	鉢	焼塩壷身	61	95	56	76	橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
44	6	B1445 上部	土器	秉燭	タンコロ	34	16	27		橙		無釉	江戸在地	
44	7	B1445 上部	土器	皿	小皿	58	11	35		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
44	8	B1445 上部	土器	皿	小皿	78	18	50		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
44	9	B1445 上部	土器	皿	小皿	109	22	54		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。口縁部に煤付着。
44	10	B1445 上部	土器	皿	小皿	108	22	64		橙	轆轤	無釉	江戸在地	外：ミガキを施す。内外面の底部に煤付着（三つ曇り）
45	1	B1445 下部	磁器	碗	中碗	65	41	35		白	轆轤	染付	肥前	外：草花文、若松文。
45	2	B1445 下部	磁器	碗	小碗	81	45	33		灰白	轆轤	染付	肥前	内：文様無し。外：丸文ほか。
45	3	B1445 下部	磁器	碗	小碗	61	39	22		灰白	型作り（内・外型）、轆轤	白磁	不明	釉はやや青みがかり青磁に近い。高台内面無釉。外：は花弁状の鎬をつくり、高台は削り出す。
45	4	B1445 下部	磁器	鉢	猪口	65	41	35		灰白	轆轤	染付	肥前	口銹。底部は碁笥底につくる。
45	5	B1445 下部	磁器	鉢	中鉢	235	108	93		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み五弁花、葵の葉形を窓に、葵葉を描く。外：唐草文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線と「富貴長春」銘。高台畳付無釉。
45	6	B1445 下部	陶器	碗	大碗	121	76	53		灰白	轆轤	鉄釉（飴釉）、うのふ釉	瀬戸・美濃	大振りの茶碗。高台は削り出し。内外面口縁部は鉄釉を施した後、うのふ釉を掛ける。
45	7	B1445 下部	陶器	鉢	中鉢	200	70	60		灰白	轆轤	灰釉、錆釉（鉄漿）	肥前	高台を除く内外面に灰釉を施す。内面見込みは蛇ノ目釉剥ぎし、錆釉を施す。
45	8	B1445 下部	陶器	皿	小皿	123	32	66		灰白	型打ち	灰釉、緑釉	瀬戸・美濃	内面は型打ちにより菊花状の凹凸を付け、見込みは二重圏線状の沈線を施し、体部は花弁状となる。口縁端部はヘラ切りで、花弁状につくる。削り出し高台。
45	9	B1445 下部	陶器	皿	小皿	71 ×（50）	22 ～ 20	53 × 35		灰黄	型押し、貼付	灰釉	瀬戸・美濃？	型押しにより、平面四角形の形状をつくり底部に円錐状の三足をつける。底面を除く内外面に施釉する。
45	10	B1445 下部	陶器	鉢	香炉	108	72	82		灰黄	轆轤、貼付	鉄釉（飴釉）	瀬戸・美濃	体部下端に稜を付ける。体部外面は轆轤目が僅かに認められ、櫛描きによる平行沈線を巡らせる。底部を除く内外面に鉄釉（飴釉）を施す。内面は見込みに目痕３箇所あり。底部はヘラ切り調整を施す。円錐状の三足を貼り付ける。
45	11	B1445 下部	陶器	鉢	香炉	103	50	69		灰白	轆轤	灰釉	不明	口縁部は外側に折り返し鍔縁につくる。口縁部内外面及び体部に施釉。底部に円錐形の三足を貼付ける。内面亥煤付着。
45	12	B1445 下部	陶器	瓶	花生？	46	115	50	79	灰白	轆轤	呉須、透明釉	肥前	高台畳付は砂付着。外：胴部に呉須で花卉文・雲、楼閣山水文？を描く。
45	13	B1445 下部	陶器	器台	灯明受皿	136	57	62		灰黄	轆轤、貼付	鉄釉（黒釉）	瀬戸・美濃	受部と芯立を個別につくり接合する。受部は口縁端部を内湾気味につくり、底部は削り込み高台で釉を拭き取る。芯立は端部を幅広くつくり、釉を拭き取る。芯立端部及び底部に環状窯道具痕あり。
45	14	B1445 下部	土器	鉢	焼塩壷身	62	103	48	77	橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
46	1	B1445 最下部	磁器	碗	中碗	100	60	43			轆轤	染付	肥前	外：梅樹、竹、雁金。高台脇一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明年製」銘。
46	2	B1445 最下部	磁器	蓋	蓋物蓋	67	35	15	85	灰白	轆轤	染付	肥前	外面：山水文、摘み座一重圏線、笠上位二重圏線、笠端部二重圏線。
46	3	B1445 最下部	陶器	碗	中碗	118	82	60		灰白	轆轤	灰釉、錆釉、長石釉	瀬戸・美濃	腰錆碗。付け高台。体部中位に５条の沈線を巡らせ、沈線上の５～６箇所を指押さえし凹ませる。灰釉は内面及び外面上位に灰釉を、外面中位から下位、底部に錆釉を掛け分ける。体部中位には長石釉を散らす。高台畳付は釉を拭き取る。
46	4	B1445 最下部	陶器	鉢	香炉	110	71	56		灰白	轆轤	鉄、灰釉	瀬戸・美濃	御室碗。高台は削り出し。体部に鉄絵で簡略化された楼閣山水文とみられる文様を描く。
46	5	B1445 最下部	陶器	鉢	中鉢	278	93	116		にぶい黄褐	轆轤	白泥、透明釉、錆釉	肥前	肥前武雄系。内：印花、沈線内を白泥で埋め象嵌とする。見込みに砂目跡７。体部下半に透明釉を施す。体部中位と高台は無釉。高台の外側を面取りする。
46	6	B1445 最下部	陶器	鉢	中鉢	213	73	74		灰黄	轆轤	鉄、透明釉	肥前	京焼風陶器。口縁端部は外反する。体部は複数個所を指押さえで凹ませる。高台は高くつくり、シャープに削り出して外側を面取りする。高台とその周辺を除く内外面に施釉する。見込みに鉄絵で楼閣山水文を描く。高台内に刻印「福■」。
46	7	B1445 最下部	陶器	鉢	擂鉢	355	156	155		にぶい赤褐	紐づくり	鉄泥	丹波	見込み櫛目は環状に＊。体部下半は指オサエ痕あり。底部無釉。縁帯はやや幅広く、上端は外反する。
46	8	B1445 最下部	土器	鉢	焼塩壷身	60	92	59	76	橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
46	9	B1445 最下部	土器	鍋	焙烙	288	55	220		にぶい褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、底平坦。刻印「一」。胎土に金雲母含む。
47	1	B1475 上部	磁器	皿	中皿	195	29	131		灰白	轆轤	染付	肥前	内：楓文、折れ松葉文、二重圏線。外面：唐草文、高台脇一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、銘款、目跡３。
47	2	B1475 上部	陶器	瓶	線香筒	46	86	42		灰	轆轤	白泥、呉須、透明釉	肥前系	白泥を施した後、呉須で文様を描き、透明釉を掛ける。外：唐草文、口縁部二重圏線。高台畳付は砂付着。口縁部被熱。
47	3	B1475 下部	磁器	碗	中碗	107	60	44		灰白	轆轤	染付	肥前系	外：梅花、草花文。高台脇一重圏線、高台内文字銘（大明年製か）。高台畳付砂付着。
47	4	B1475 下部	磁器	碗	中碗	97	54	37		灰白	轆轤	染付	肥前	内：文様無し。外面コンニャク印判菊花文、葉は手描き、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明年製」銘。高台畳付無釉。
47	5	B1475 下部	磁器	碗	小碗	51	36	24		灰白	轆轤	染付	肥前	外：宝文、柴束文、草花文。高台内「福」字銘款。
47	6	B1475 下部	磁器	碗	小碗	54	36	25		灰白	轆轤	染付	肥前	外：梅樹文、岩、帆掛け船。
47	7	B1475 下部	陶器	碗	中碗	110	72	45		灰黄	轆轤	灰釉	不明	高台畳付を除く内外面に施釉。高台畳付に胎土目付着。
47	8	B1475 下部	陶器	碗	小碗	80	35	40		灰白	轆轤	鉄釉（黒釉）	瀬戸・美濃	外面は体部下位を高台まで回転ヘラケズリする。高台脇に胎土目３。
47	9	B1475 下部	土器	鉢	焼塩壷身	53	79	55	73	橙	板作り	無湯	近畿	
47	10	B1489	磁器	碗	中碗	104	61	42		灰白	轆轤	染付	肥前	外：松原。口縁部二重圏線、一重圏線、高台二重圏線。高台内一重圏線、高台畳付無釉。
47	11	B1489	磁器	碗	中碗	98	53	44		灰白	轆轤	上絵付	肥前	内：ハゼ部分に梅花。外：草花文に柵、鳥。

第 13 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（12）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
47	12	B1489	磁器	碗	小碗	76	47	35		灰白	轆轤	染付	肥前	外：型紙摺りによる草花文。
47	13	B1489	陶器	碗	中碗	111	76	51		灰白	轆轤	灰釉	肥前	口縁は胴部から僅かに開いて立ち上がる。高台外側を面取りする。
47	14	B1489	陶器	碗	中碗	110	63	42		浅黄	轆轤	白泥、透明釉	肥前	内外面ともに白泥で巻刷毛目を施し、透明釉を掛ける。胎土は緻密で焼成良好。
47	15	B1489	土器	焙烙	鍋	257	65		266	にぶい黄褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、底平坦、器壁高 4cm 前後。
48	1	B1505	磁器	碗	中碗	102	52	38		灰白	轆轤	染付	肥前	外：蕉葉文。
48	2	B1505	磁器	碗	小杯	56	35	19		灰白	轆轤	染付	肥前	内：文様無し。外：草花文。畳付無釉。
48	3	B1505	磁器	碗	仏飯器	58	51	32		灰白	轆轤	染付	肥前	外：笹葉文。
48	4	B1505	磁器	皿	小皿	136	34	72		灰白	轆轤	染付	肥前	内：コンニャク印判五弁花、二重圏線、草花文、格子文？外面：唐草文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「福」字銘款。
48	5	B1505	磁器	皿	五寸皿	140	39	80		灰白	型打ち	白磁	肥前	内：花唐草文を陽刻する。口銹
48	6	B1505	磁器	鉢	小鉢	78	57	38		灰白	轆轤、手びねり	染付	肥前	轆轤成形後、手びねりにより輪花に作る。内：文様無し。外：草花文、高台脇一重圏線、高台二重圏線、高台内角「福」字銘款。
48	7	B1505	磁器	碗	中碗	96	54	42		灰白	轆轤、貼付	青磁	肥前	
48	8	B1505	磁器	瓶	小瓶	25	125	40	73	灰白	轆轤	染付	肥前	呉須で「御神酒」字。
48	9	B1505	陶器	碗	中碗	94	58	42		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	腰錆碗。外：下半及び高台内外面は鉄釉で高台畳付は釉剥ぎ。体部中位に３条の沈線を巡らせる。体部は底部から丸みをもって立ち上がり、ほぼ垂直に口縁に達する。口縁端部は丸く作る。
48	10	B1505	陶器	碗	中碗	100	51	40		灰白	轆轤	灰釉、呉須	瀬戸・美濃	せんじ碗。外：体部に呉須で文様を描く。
48	11	B1505	陶器	碗	小碗	68	42	34		浅黄	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内外：部分的に呉須がかかる。高台を除き施釉する。内面に鉄分とみられる付着物あり。
48	12	B1505	陶器	皿	小皿	116	35	52		灰白	轆轤	貼付	灰釉、呉須	瀬戸・美濃	付け高台。内面見込みには型紙摺りにより呉須で文様を描く。高台畳付を除く内外面全体に施釉。
48	13	B1505	陶器	皿	小皿	123	31	62		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	見込みに環状痕有り。高台畳付に溶着痕あり。外面は体部を底部まで回転ヘラケズリし、高台を削り出す。
48	14	B1505	陶器	鉢	擂鉢	183	55	92		灰白	轆轤	錆釉	瀬戸・美濃	内：櫛目は体部 12 条 / 単位。見込み同心円状。外面は口縁部下から底部を含め回転ヘラケズり。内外面全体に施釉する。
48	15	B1505	陶器	瓶	中瓶		5	67	108	灰黄	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	胴部は中位の相対する２箇所を凹ませ、ぺこかん形とする。底部は釉拭き取り。肩部に螺旋文を施す。
48	16	B1505	陶器	瓶	小瓶	12	58	24	48	褐	轆轤	鉄泥	備前？	底部糸切未調整。自然釉が掛かる。
48	17	B1505	陶器	器台	灯明受皿	88	24	44	58	にぶい黄褐	轆轤	錆釉	志戸呂	体部下位から底部にかけて回転ヘラケズり調整。底部ヘラ切。内面にのみ錆釉を掛ける。
48	18	B1505	土器	器台	灯明受皿	116	28	65	87	橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。油溝一部欠損。底面煤付着。
48	19	B1505	土器	秉燭	たんころ	34	15	25		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。芯立先端煤付着。
48	20	B1505	土器	鍋	焙烙	300			318	橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 2cm 前後。
48	21	B1505	土器	蓋	焼塩壺蓋	70	8		81	橙	型押し	無釉	不明	
48	22	B1505	土器	鉢	焼塩壺身	59	73	50	66	橙	轆轤	無釉	江戸在地	詳細は第 54 表参照。
48	23	B1505	土器	皿	小皿	74	13	39		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
49	1	B1523	磁器	碗	大碗	157	84	62		灰白	轆轤	染付	肥前	波佐見系。内：見込みコンニャク印判五弁花、二重圏線。外：草花文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明年製」銘。高台畳付砂付着。
49	2	B1523	磁器	碗	中碗	108	59	42		灰白	轆轤	染付	肥前	内外：折枝梅文散らし。
49	3	B1523	磁器	碗	中碗	94	51	40		灰白	轆轤	染付	肥前	外：水仙？山水文？帆掛け船？一重圏線、高台二重圏線、高台内「福」字銘款。内：見込みに線状のキズ多数あり。
49	4	B1523	磁器	碗	中碗	98	50	36		灰白	轆轤	染付	肥前	内：蛇ノ目釉剥ぎ、釉剥ぎ部分に溶着痕あり。外：梅樹文。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。
49	5	B1523	磁器	碗	小碗	79	42	32		灰白	轆轤	染付	肥前	内：文様無し。外：雨降り文。高台脇一重圏線、高台一重圏線。
49	6	B1523	磁器	碗	仏飯器	72	52	40		灰白	轆轤	染付	肥前	内：文様無し。外：雨降り文。高台脇一重圏線、高台二重圏線。
49	7	B1523	磁器	鉢	蓋物	133	103	87		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：牡丹文？、口縁部二重圏線、二重圏線、高台二重圏線。
49	8	B1523	磁器	鉢	蓋物	107	55	54		灰白	轆轤	染付	肥前	外：酸漿文、口縁部一重圏線、一重圏線、高台二重圏線、内面口縁部端無釉。
49	9	B1523	磁器	鉢	猪口	73	53	40		灰白	轆轤	染付	肥前	内：文様無し。外：コンニャク印判楓文。高台内一重圏線、「内大明年製」銘。
49	10	B1523	磁器	瓶	神酒徳利			48		灰白	型押し	染付	肥前	型押しにより胴部を成形、頸部及び底部を接合。底部と内面は無釉。外：コンニャク印判折枝菊、草花文。
49	11	B1523	磁器	蓋	壺蓋	78	45	17	105	灰白	轆轤、貼付	白磁	肥前	笠部端内面、かえり外側無釉。摘み貼付。
49	12	B1523	陶器	碗	中碗	98	70	49	102	灰白	轆轤	鉄絵、灰釉	肥前	外：体部に鉄絵で楼閣山水文を描く。
49	13	B1523	陶器	碗	中碗	98	68	39		灰黄	轆轤	錆釉	瀬戸・美濃	高台畳付を除く内外面全体を施釉。
49	14	B1523	陶器	碗	中碗	90	56	29		灰白	轆轤	灰釉、上絵付	京・信楽	高台中央に円形凹みあり。内：上絵付で花文。外：体部に上絵付で窓枠内に柴束、花等。
49	15	B1523	陶器	碗	小碗	86	49	34		灰黄	轆轤	灰釉、白泥、鉄	京・信楽	せんじ碗。高台とその周辺を除く内外面に施釉。体部に鉄絵で草、白泥で花を描く。見込みに目跡３箇所あり（三錐ピン）。
49	16	B1523	陶器	碗	中碗	108	77	53		灰	轆轤	染付	肥前	外：口縁部二重圏線、体部楼閣山水文、一重圏線、高台一重圏線。高台畳付無釉。
49	17	B1523	陶器	碗	中碗	100	69	50		灰黄	轆轤	呉須	肥前	外：山水文。
49	18	B1523	陶器	碗	中腕	119	44	48		浅黄	轆轤	透明釉、鉄	肥前	京焼風陶器。高台とその周辺を除き施釉。見込みに鉄絵で楼閣山水文を描く。外面体部上位は沈線状の螺旋文様がみられる。高台は外側を面取りし、高台内面中央に円形の凹みが見られる。
49	19	B1523	陶器	碗	中碗	104	66	44	108	褐	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	
49	20	B1523	陶器	皿	中皿	207	54	79		灰白	轆轤	灰釉（御深井釉）	瀬戸・美濃	付け高台。高台とその周辺を除き施釉。内面見込み蛇ノ目釉剝ぎ、重ね焼きによる高台畳付痕あり。高台畳付重ね焼き痕あり、重ね焼き。
49	21	B1523	陶器	皿	小皿	120	32	52		灰白	型打ち、ヘラ	御深井釉	瀬戸・美濃	付け高台？菊花形の型を用いて型打ちにより成形し、内面菊花状の文様を付ける。口縁部はヘラで花弁状に切る。高台畳付及び内面を除き内外面に施釉する。
49	22	B1523	陶器	皿	小皿	118	28	53		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	削り出し高台。外：体部上位から高台まで回転ヘラケズり。見込みに環状の重ね焼き痕あり。高台畳付も同様に、焼成時とみられる釉の溶着あり。
49	23	B1523	陶器	壺	中壺	51	121	66	104	灰白	轆轤	不明	不明	被熱。削り出し高台。
50	1	B1523	陶器	鉢	片口	138	81	58	162	灰白	轆轤、貼付	灰釉	瀬戸・美濃	注口貼付。高台とその周辺を除き施釉。削り出し高台。目痕３箇所あり。
50	2	B1523	陶器	壺	小壺	24	82	28	62	灰白	轆轤	鉄釉？	不明	被熱。茶入。底部糸切未調整。底部とその周辺を除き施釉。

第 14 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（13）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
50	3	B1523	陶器	水注	銚子	87	(92)		(155)	灰白	轆轤、貼付	呉須、鉄、白泥、透明釉	不明	七宝繋ぎ文。上部は平坦で、轆轤により成形された胴部に貼付ける。胴部内面は透明釉を施すが、貼付けられた胴部上面部分は内面が無釉である。また、火にかかる底部が僅かに残存し、その周囲には煤が薄く付着している。
50	4	B1523	陶器	器台	灯明受皿	88	22	38	54	明赤褐	轆轤	錆釉（鉄泥）	志戸呂	底部を除き施釉。油溝はアーチ状で２箇所。
50	5	B1523	土器	鉢	焜炉	385	223	320		にぶい黄	輪積、貼付	無釉	江戸在地	舟カマド。足２箇所残る。４足？
50	6	B1523	土器	鉢	植木鉢	92	54	46		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。穿孔不明。鉢形容器？
50	7	B1523	土器	鍋	焙烙	334	(88)			橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
50	8	B1523	土器	鉢	焼塩壷身	61	97	52	74	明赤褐	板作り	無釉	近畿	
50	9	B1523	土器	皿	小皿	61	13	32		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
50	10	B1523	土器	皿	小皿	87	16	46		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
50	11	B1522	土器	鉢	焼塩壷身	(57)	91	52	73	にぶい黄橙	板作り	無釉	近畿	
50	12	B1622	土器	鉢	焼塩壷身	58	103	50	78	にぶい橙	板作り	無釉	近畿	
51	1	B1846	土器	皿	中皿	199	39	124		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	胎衣皿。上皿。底部糸切未調整、轆轤左回転。
51	2	B1846	土器	皿	中皿	195	40	127		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	胎衣皿。下皿。底部糸切未調整、轆轤左回転。
51	3	B1849	土器	皿	中皿	197	36	118		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	胎衣皿。上皿。底部糸切未調整、轆轤左回転。
51	4	B1849	土器	皿	中皿	(199)	37	110		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	胎衣皿。下皿。底部糸切未調整、轆轤左回転。
51	5	B1850	土器	鉢	焼塩壷身	(30)		—	74	淡橙	輪積	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
51	6	B1979	土器	鉢	火鉢	347	144	276		橙	回転台	無釉	江戸在地	
51	7	B2073	陶器	蓋	土瓶蓋	89	26		116	明灰黄	轆轤	鉄釉	不明	
51	8	B2073	土器	鍋	焙烙	(314)	—			明褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
52	1	B1963	陶器	鉢	植木鉢	143	129	83		にぶい黄橙	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	底部中央に焼成前穿孔あり。高台の３箇所に弧状の切り込みあり。口縁は水平に外折する。
52	2	B1963	陶器	鉢	植木鉢	152	148	93		にぶい黄橙	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	底部中央に焼成前穿孔あり。底部とその周辺を除き施釉。高台の３箇所に弧状の切り込みあり。口縁は水平に外折する。
52	3	B1963	陶器	甕	小甕	144	155	87		浅黄	轆轤または紐づくり	鉄釉	瀬戸・美濃	高台とその周辺を除き施釉する。口縁部端は平坦につくり、内外に僅かに張り出す。外面は口縁部直下に２条の沈線が巡る。底部中央付近に焼成後穿孔２箇所あり、植木鉢に転用。
52	4	B1963	陶器	甕	中甕	164	178	103		灰黄	轆轤または紐づくり	鉄釉	瀬戸・美濃	口縁部端は平坦につくり、内外に僅かに張り出す。外面は口縁部直下に２条の沈線が巡る。
52	5	B1963	陶器	甕	小甕	(138)	(150)	114		明褐	轆轤	無釉	志戸呂	底面中央付近に焼成後穿孔あり。口縁部に敲打痕あり。
52	6	B1963	陶器	甕	小甕	134	146	101		にぶい黄橙	轆轤または紐づくり	錆釉	瀬戸・美濃	口縁部端は平坦につくり、僅かに内傾する。外面は口縁部直下に３条の沈線が巡る。底部中央に焼成後穿孔あり。
52	7	B1963	陶器	皿	灯明皿	(103)	22	(50)		灰黄	轆轤	柿釉	不明	内：見込みに窯道具痕あり。外：口縁部のみ施釉。体部及び底部は釉を拭き取り。口縁部直下から底部にかけて回転ヘラケズリ。底部付近に窯道具痕あり。
52	8	B1963	土器	鉢	鉢形容器	144	155	87		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整
52	9	B1963	土器	鍋	焙烙	(218)				にぶい褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
52	10	B1965	土器	鉢	焼塩壷身	66	82	51	77		板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
52	11	B2076	陶器	皿	小皿	124	35	47		灰白	轆轤	青緑釉、透明釉	肥前	内：青緑釉をかけ、見込みを蛇ノ目釉剥ぎする。外：高台とその透明釉を掛ける。
52	12	B2134	磁器	碗	小碗	(53)	38	(26)		灰白	轆轤	白磁	肥前	高台畳付無釉、砂付着。
52	13	B2181	磁器	碗	中碗	101	51	39		灰白	轆轤	染付	肥前	内:見込み花文様、二重圏線。外:花文、一重圏線、二重圏線。
52	14	B2181	磁器	碗	中碗	(96)	47	34		灰白	轆轤	染付	肥前	内:見込み花文、二重圏線。外面:梅樹文、松？、二重圏線。高台内一重圏線、「大明成化年製」銘。
52	15	B2181	陶器	碗	中碗	(125)	70	480		灰	轆轤	灰釉	不明	高台畳付に砂目跡３。炻器質。
53	1	B2086	磁器	碗	中碗	105	59	42		灰白	轆轤	染付	肥前	内：文様無し。外面：草花文、岩、遠山。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。高台畳付砂付着。
53	2	B2086	磁器	碗	中碗	(102)	61	38		灰白	轆轤	染付	肥前	外：雲、岩、渦、流水文。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線に「大明年製」銘。
53	3	B2086	磁器	碗	中碗	102	58	44		灰白	轆轤	染付	肥前	内面：文様無し。外面：花唐草、椿、蝶。高台脇一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。
53	4	B2086	磁器	碗	中碗	(102)	61	44		灰白	轆轤	白磁	肥前	高台畳付に砂付着。
53	5	B2086	磁器	碗	小碗	(68)	50	31		灰白	轆轤	染付	肥前	外：山水文？
53	6	B2086	磁器	碗	小碗	(78)	47	(32)		灰白	轆轤	染付	肥前	外:コンニャク印判花唐草文、草文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。
53	7	B2086	磁器	碗	小碗	(68)	34	30		灰白	轆轤	染付	肥前	外：花。
53	8	B2086	磁器	鉢	香炉	157	95	67		灰白	轆轤	青磁	肥前	外：B2103 号出土破片と接合。
53	9	B2086	陶器	碗	中碗	108	73	45		浅黄橙	轆轤	白泥、鉄、透明釉	肥前	現川系？内面：巻刷毛目、外面：巻刷毛目、鉄絵山水文？高台畳付を除く内外面に透明釉を施す。高台畳付に砂付着。炻器質。
53	10	B2086	陶器	碗	中碗	(103)	69	43		灰白	轆轤	天目釉（鉄釉）	瀬戸・美濃	天目碗。付け高台。口縁部はＳ字形をなし端部外反する。直立に近い立ち上がりで、僅かに外反する。
53	11	B2086	陶器	碗	中碗	102	57	39		浅黄橙	轆轤	白泥、鉄、透明釉	肥前	現川系？内面：巻刷毛目、外面：巻刷毛目。炻器質。
53	12	B2086	陶器	碗	中碗	92	53	33		灰白	轆轤	天目釉（鉄釉）	瀬戸・美濃	天目碗。削り出し高台。口縁部は直立に近い立ち上がりで、僅かに外反する。
53	13	B2086	陶器	皿	小皿	105	59	42		灰	型打ち、ヘラ	御深井釉、緑釉	瀬戸・美濃	菊花形の型を用いて型打ちする。口縁部はヘラで花弁状に切る。高台畳付及び内面を除く内外面全体に施釉する。内面に緑釉を部分的に掛ける。削り出し高台。
53	14	B2086	陶器	皿	小皿	126	33	46		灰白	轆轤	青緑釉、透明釉	肥前	内：青緑釉を施し、見込みを蛇ノ目釉剥ぎする。外：高台を除き透明釉を施す。削り出し高台。
53	15	B2086	陶器	皿	小皿	122	24	62		灰	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	体部下半から底部にかけてヘラケズリを施す。削り出し高台。高台とその周辺を除く内外面に施釉する。見込みに窯道具痕あり。口縁端部はやや丸くつくる。
53	16	B2086	陶器	鉢	灰吹		(50)	41	48	にぶい赤褐	轆轤	鉄、灰釉	瀬戸・美濃	底部はヘラ切り。底部を除く外面に施釉する。外面に笹葉文とみられる鉄絵を施す。口縁部は敲打痕あり、口縁部残存せず本来の器高不明。
53	17	B2086	陶器	鉢	小鉢	46	31	26		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	底部糸切未調整。底部を除く内外面全体に施釉する。
53	18	B2086	陶器	鉢	捏鉢	247	136	116		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	削り出し高台。高台を除く内外面に施釉。見込みは重ね焼きのため３箇所を円形に釉剥ぎする。B2103 号に接合する破片あり。
53	19	B2086	陶器	鉢	大鉢		(100)	260		にぶい褐	輪積	錆釉、鉄釉（黒釉）	丹波	底部を除く外面に鉄釉、内面に錆釉を施す。底部に砂目跡９。
53	20	B2086	陶器	蓋			19		76	褐	轆轤、貼付け、型押し	錆釉（水泥、鉄泥）	不明	摘みは蓮花（蕾）状で上部は型押し、座は花形。笠部下面はヘラケズリにより螺旋文様がみられるが、中央に６弁の花形が陰刻される。

第 15 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（14）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
53	21	B2086	土器	皿	小皿	66	16	33		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、口縁部煤付着。轆轤左回転。
53	22	B2086	土器	皿	小皿	73	15	38		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
53	23	B2086	土器	皿	小皿	(102)	20	55		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
53	24	B2086	土器	皿	中皿	(185)	35	120		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
54	1	B2135	磁器	碗	中碗	98	51	38		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：草花文、一重圏線。高台内一重圏線。
54	2	B2135	磁器	碗	中碗	110	67	40		灰白	轆轤	染付	肥前	波佐見系。外面：網目文
54	3	B2135	磁器	碗	小碗	88	69	56		灰白	轆轤	染付	肥前	外：山水文。日輪、雁、松、網干。高台内一重圏線、「太明」銘。平面形がやや楕円形となる。
54	4	B2135	磁器	碗	小碗	60	42	24		灰白	轆轤	染付	肥前	高台内「太明成化年製」銘。
54	5	B2135	磁器	碗	小坏	58	32	22		灰白	轆轤	白磁	肥前	高台とその周辺を除き施釉。
54	6	B2135	磁器	碗	小坏	56	35	28		灰白	轆轤	染付	肥前	山水文。網干。
54	7	B2135	磁器	碗	小碗	58	27	24		灰白	轆轤	染付	肥前	草花文。
54	8	B2135	磁器	碗	小杯	45	22	20		灰白	轆轤	染付	肥前	草花文。
54	9	B2135	磁器	皿	中皿	136	35	44		灰白	轆轤	白磁	肥前	蛇ノ目釉剥ぎ。高台とその周辺を除き施釉。
54	10	B2135	陶器	碗	小碗	74	40	25		浅黄	轆轤	透明釉、鉄	京・信楽	高台を除き施釉。
54	11	B2135	陶器	碗	中碗？			42		灰黄	轆轤	灰釉	不明	高台とその周辺を除き施釉。
54	12	B2135	陶器	鉢	片口	144	73	80	167	灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	高台を除き施釉。見込みに目跡３。内面は薄い鉄釉。
54	13	B2135	陶器	鉢	擂鉢	336	141	132		赤褐	轆轤	無釉	丹波	内：櫛目５条 / 単位。体部下半に指頭痕あり。口縁部は端部が外傾し、内面の体部との境に浅い沈線が巡る。
54	14	B2135	土器	乗燭	壷形	31	39	26	57	浅黄橙	轆轤	透明釉	江戸在地	底部糸切未調整。
54	15	B2135	土器	鍋	焙烙	310				浅黄橙	轆轤	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 2cm 前後。
54	16	B2135	土器	皿	小皿	124	20	68		浅黄橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
54	17	B2135	土器	皿	小皿	86	24	57		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
54	18	B2135	土器	皿	小皿	88	18	45		浅黄橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
54	19	B2135	土器	皿	小皿	74	15	42		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
54	20	B1998	陶器	碗	大碗	(127)	81	62		灰白	轆轤	灰釉	肥前	
55	1	B2187	磁器	碗	小杯	60	31	23		灰白	轆轤	青花	中国	高台は削り出し、無釉。外面文様不明。
55	2	B2187	磁器	鉢	小鉢	(77)	44	27		灰白	型打ち、ヘラ	白磁	肥前	口縁部はヘラ切りで花弁状に成形。高台畳付に砂粒付着。
55	3	B2187	陶器	碗	中碗	118	70	(55)		灰白	轆轤	錆釉、鉄釉	瀬戸・美濃	平碗。高台とその周辺は錆釉を施し、それ以外は鉄釉（黒釉）を施す。高台畳付は釉剥ぎする。
55	4	B2210	陶器	碗	中碗	(116)	45	42		浅黄橙	轆轤	透明釉、上絵付	京・信楽	高台は無釉。内面見込みに金彩を含む梅樹、松樹文の上絵付。外面は金彩を含む梅花文の上絵付。
55	5	B2210	土器	鍋	焙烙	(292)			(301)	橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。口縁部玉縁状。
55	6	B2225	磁器	碗	中碗			40		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み花文、二重圏線。外：体部一重圏線、高台二重圏線高台内「宣徳年製」銘。
55	7	B2226	磁器	碗	中碗	100	55	40		灰白	轆轤	染付	肥前	外：竹ほか。高台内一重圏線、角「福」銘。
55	8	B2226	磁器	碗	小碗	62	40	30		灰白	轆轤	青磁	肥前	
55	9	B2226	土器	皿	小皿	57	11	35		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。底部中央を穿孔し、釘状の金具を通す。底部付近の金具頭部には木質部分が残存し、木製品に金具（釘）で固定されていたと考えられる。
55	10	B2226	土器	鍋	焙烙					橙	回転台	無釉	江戸在地	深め、器壁高 4cm 前後。
55	11	B2226	土器	蓋	焼塩壷蓋	69	18		75	橙	型押し	無釉	近畿	
55	12	B2234	磁器	鉢	蓋物	57	30	28		灰白	轆轤	染付	肥前	外：撫子文、草花文、口縁部一重圏線、高台二重圏線。
55	13	B2234	磁器	鉢	蓋物	75	42	41		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：松、一重圏線、高台二重圏線。口縁部無釉。
55	14	B2234	陶器	鉢	鬢水入れ	158	37	157		灰白	板作り	灰釉、金、赤、白ほか上絵付	京・信楽	体部外面に花文様の上絵付（金彩を含む）。底面無釉。
55	15	B2236	磁器	碗	小碗	52	27	22		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文、蝶文。
55	16	B2236	陶器	碗	中碗	112	48	40		灰白	轆轤	呉須、鉄、灰釉	瀬戸・美濃	内：見込みに呉須で枝、鉄絵で花を表現した梅樹文を描く。
55	17	B2236	陶器	碗	中碗	96	51	38		灰白	轆轤	呉須、灰釉	瀬戸・美濃	外：体部に呉須を掛ける。
55	18	B2236	陶器	鉢	蓋物	110	87	70		褐	轆轤	鉄釉	不明	内：無釉。外：口縁部と高台及びその周辺を除き施釉。体部に轆轤目が目立つ。
55	19	B2236	陶器	蓋？		150	16		160	浅黄	不明	白泥、透明釉	不明	型押しで木目を陰刻する。部分的に白泥を用いて象嵌する。
55	20	B2236	土器	七輪	さな		8		92	橙	型押し	無釉	江戸在地	面の一方を面取り。孔は両側から面取りする。煤付着。穿孔は７箇所と推定。
55	21	B2236	土器	鍋	焙烙	320	(50)			橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 2cm 前後。ケズリ不明瞭。
56	1	B2223	磁器	碗	中碗	98	56	40		灰白	轆轤	染付	肥前	
56	2	B2223	磁器	碗	中碗	98	47	36		灰白	轆轤	染付	肥前	
56	3	B2223	磁器	碗	小碗	78	44	32		灰白	轆轤	染付	肥前	
56	4	B2223	磁器	碗	小碗	78	39	32		灰白	轆轤	染付	肥前	
56	5	B2223	磁器	碗	仏飯器	68	63	38		灰白	轆轤	染付	肥前	
56	6	B2223	磁器	皿	五寸皿	138	29	88		灰白	轆轤	染付	肥前	
56	7	B2223	陶器	碗	大碗	128	48	46		灰白	轆轤	灰釉・鉄	京・信楽	内：見込みに山水楼閣文。
56	8	B2223	陶器	碗	中碗	108	67	42		灰白	轆轤	灰釉	肥前	
56	9	B2223	陶器	碗	中碗	108	53	44		暗灰褐	轆轤	白泥、透明釉	肥前	現川産？外：連続的な打ち刷毛目文。
56	10	B2223	陶器	碗	小碗	86	54	40		橙	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	
56	11	B2223	陶器	蓋	小壷蓋		15		38	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
56	12	B2223	陶器	壺	小壺	(40)	(65)		(76)	暗灰褐	轆轤	鉄釉？	不明	茶入。
56	13	B2223	陶器	瓶	小瓶	16	59	28	60	褐	轆轤	鉄泥	不明	
56	14	B2223	陶器	皿	小皿	78	15	39		明褐	轆轤	錆釉	志戸呂	
56	15	B2223	土器	鍋	焙烙	274				橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
56	16	B2223	土器	鉢	鉢形容器	76	25	44		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
56	17	B2223	土器	皿	小皿	118	(19)	(64)		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
56	18	B2223	土器	皿	小皿	96	20	48		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
56	19	B2223	土器	皿	小皿	82	15	38		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
56	20	B2223	土器	皿	小皿	74	16	36		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
56	21	B2151	碗	碗	小碗	71	41	28		灰白	轆轤	青花	中国	文様無し。外：草花文（墨弾き）。高台畳付無釉。蛇ノ目高台。
57	1	B2285	土器	鍋	焙烙	—	—	—		橙	回転台	無釉	江戸在地	深め、器壁高 4cm 前後。口縁部玉縁状。
57	2	B2288 中層	陶器	瓶	小瓶？	20			(81)	にぶい赤褐	轆轤	錆釉	不明	
57	3	B2288 中層	土器	器台	灯明受皿	113	26	62	86	にぶい黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
57	4	B2292	磁器	碗	中碗	91	45	35		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：見込み、二重圏線、口縁部一重圏線、横帯。外：花卉文、口縁部一重圏線、高台脇一重、二重圏線。

第 16 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（15）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
57	5	B2292	磁器	蓋	碗蓋	95	30			灰白	轆轤	染付	肥前	内外：笠部に蓧文、二重圏線。摘み端は釉剥ぎ。
57	6	B2292	陶器	碗	大碗	120	70	5.8		灰白	轆轤	呉須、鉄、透明釉	瀬戸・美濃	内：見込み呉須で五弁花、一重圏線、口縁部は呉須で一重圏線。外：呉須（葉）と鉄（枝）で松。一重圏線、高台一重圏線。
57	7	B2292	陶器	碗	中碗	103	77	48		灰白	轆轤	鉄釉（黒釉）	瀬戸・美濃	高台を除く内外面全体に施釉する。外：体部に長石釉を散らす。体部は連続して指押さえ。
57	8	B2292	陶器	皿	小皿	115	24	53		にぶい赤褐	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	外：体部下半から底部にかけて回転ヘラケズリ。外面体部下半から底部は釉を拭き取り。内：見込みに環状痕あり。
57	9	B2292	陶器	皿	小皿	103	77	48		灰	轆轤	呉須、透明釉	肥前系	内：見込み帆掛け船、一重圏線、網干？外：唐草文？蛇ノ目凹型高台（低）。口縁端部を玉縁状につくる。
57	10	B2292	陶器	瓶	中瓶	36	192	64		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	外：胴部中位から底部にかけて回転ヘラケズリ。釉を漬け掛けする。底部は無釉。
57	11	B2292	土器	鉢	植木鉢	104	77	68		灰黄	轆轤	無釉	江戸在地	底部中央に焼成前穿孔。硬質で焼成良好。体部上半は煤付着。口縁端部は内側に僅かに突出する。底部糸切未調整。轆轤左回転。
57	12	B2292	土器	鉢	焜炉	206	204	145	240	橙	輪積	無釉	江戸在地	七輪。三足。外：口縁部ミガキ。体部は沈線・スタンプ文。内：底部から体部下半煤付着。
57	13	B2312	土器	鍋	焙烙	31.0				橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 2cm 前後。
58	1	B2290	磁器	碗	大碗	122	64	47		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込みに文様。外：網目文。
58	2	B2290	磁器	碗	中碗	108	56	41		灰白	轆轤	染付	肥前	高台内「福」字銘。外：竹。
58	3	B2290	磁器	碗	中碗	(92)	50	39		灰白	轆轤	染付	肥前	外：花卉文。
58	4	B2290	磁器	碗	大碗	125	75	43		灰白	型打ち	青花	中国	内：見込み鳥、草、岩、体部花卉文、列点文、外：花卉文、竹、昆虫、鳥、一重圏線、高台二重圏線、高台畳付無釉。
58	5	B2290	磁器	碗	小坏	73	45	(29)		灰白	轆轤	染付	肥前	外：寿字文。
58	6	B2290	磁器	碗	小碗	77	40	27		灰白	轆轤	染付	肥前	外：高台内銘款。
58	7	B2290	磁器	碗	小碗	74	36	27		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込みに文様。
58	8	B2290	磁器	碗	小碗	85	33	35		灰白	轆轤	染付	肥前	高台内銘款。
58	9	B2290	磁器	碗	紅猪口	40	20	17		灰白	轆轤	染付	肥前	
58	10	B2290	磁器	碗	仏飯器	(83)	75	40		灰白	轆轤	染付	肥前	
58	11	B2290	磁器	碗	大碗	153	69	65		灰白	轆轤	青花	中国	被熱。内：見込み文様、二重圏線、魚？口縁部圏線に丸、涙滴状文様の連続。外：雲竜、鳳凰、口縁部二重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。
58	12	B2290	磁器	碗	大碗	139	45	60		灰白	轆轤	上絵付	肥前	
58	13	B2290	磁器	皿	中皿	230	64	80		灰白	轆轤	染付	肥前	
58	14	B2290	磁器	皿	五寸皿	149	25	84		灰白	轆轤	染付	肥前	
58	15	B2290	磁器	鉢	蓋物	157				灰白	轆轤	上絵付	不明	
58	16	B2290	磁器	鉢	蓋物	105	(70)			灰白	轆轤	上絵付	肥前	
59	1	B2290	磁器	皿	中皿	203	51	96		灰白	轆轤	染付	肥前	内：月、草木。
59	2	B2290	磁器	皿	中皿	199	32	94		灰白	轆轤	染付	肥前	内：月、人物、家屋。
59	3	B2290	磁器	皿	小皿	126	36	46		灰白	轆轤	青磁	肥前	内：見込み蛇ノ目釉剥ぎ、溶着痕有り。
59	4	B2290	磁器	皿	小皿	135	36	48		灰白	轆轤	青磁	肥前	内：見込み蛇ノ目釉剥ぎ、溶着痕有り。
59	5	B2290	磁器	皿	中皿	233	50	95		灰白	轆轤	染付	肥前	内：花、口縁は端部を変形。
59	6	B2290	磁器	壷	小壺	68	58	49	103	灰白	轆轤	染付	肥前	
59	7	B2290	磁器	壺	小壺	70	144	65	136	灰白	轆轤	染付	不明	
59	8	B2290	土器	鉢	火鉢					橙	輪積	無釉	江戸在地	
60	1	B2290	磁器	蓋	蓋物蓋	53	26		75	灰白	轆轤	染付	肥前	
60	2	B2290	磁器	蓋	蓋物蓋	70	32		91	灰白	轆轤	染付	不明	
60	3	B2290	磁器	蓋	蓋物蓋	94	43		108	灰白	轆轤	染付	不明	
60	4	B2290	磁器	蓋	蓋	141	(36)		160	灰白	轆轤	染付	不明	
60	5	B2290	陶器	碗	大碗	132		48		灰白	轆轤	鉄釉	不明	
60	6	B2290	陶器	鉢	大鉢	442	168	170		褐	轆轤	鉄釉	肥前	
60	7	B2290	陶器	瓶	花生		259			灰	轆轤貼付	鉄釉	不明	
60	8	B2290	陶器	瓶	中瓶	29	190	88		灰	轆轤、指オサエ	鉄釉	瀬戸・美濃？	底部付近に刻印「イセ」。
60	9	B2290	土器	皿	小皿	128	23	76			轆轤	無釉	江戸在地	
60	10	B2290	土器	皿	小皿	109	23	68			轆轤	無釉	江戸在地	
60	11	B2290	土器	皿	小皿	82	19	54			轆轤	無釉	江戸在地	
61	1	B2290	陶器	瓶	中瓶	30	219	100	169		轆轤	灰釉	不明	
61	2	B2290	陶器	瓶	小瓶	19		48			轆轤	灰釉	不明	
61	3	B2290	陶器	甕	大甕	332	256	213		灰白	轆轤？	鉄釉	瀬戸・美濃？	鉄釉を総掛けし、底面は釉拭き取り。双耳となる把手はいずれも欠損。底部内面に目跡 4。
61	4	B2305	磁器	碗	中碗	103	63	(50)		灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	外:草花文（花は赤で輪郭、赤で塗り、茎、葉は黒で輪郭、？色で塗り）。
61	5	B2305	磁器	碗	中碗	98	56	44		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判楓文、丸に露草、高台脇一重圏線、高台二重圏線、高台内「福」字銘。
61	6	B2305	磁器	碗	中碗	96	57	40		灰白	轆轤	染付	肥前	波佐見系。外：梅樹文、草花文、高台脇一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。
61	7	B2305	磁器	碗	中碗	98	49	36		灰白	轆轤	染付	肥前	外：丸に松皮菱。化粧用。
61	8	B2305	磁器	碗	小碗	82	48	32		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判藤文。
61	9	B2305	磁器	碗	小碗	82	42	38		灰白	轆轤	白磁	肥前	
61	10	B2305	磁器	碗	小碗	65	33	24		灰白	轆轤	染付	肥前	外：蝶ほか。化粧用。
61	11	B2305	磁器	碗	小碗	65	25	30		灰白	轆轤	白磁	肥前	
61	12	B2305	磁器	皿	小皿	136	33	78		灰白	轆轤	染付	肥前	内:見込み折枝菊、二重圏線、口縁部墨弾き波。外:唐草文、高台脇一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。目痕 1。
61	13	B2305	磁器	皿	小皿	106	26	62		灰白	轆轤	染付	肥前	内：割り絵。蕪、墨弾きで工字文を描く。外：唐草文、高台脇一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明年製」銘、口銹。
61	14	B2305	磁器	鉢	猪口	68	49	38		灰白	轆轤	白磁、鉄釉	肥前	口銹。
61	15	B2305	磁器	瓶	小瓶			36	64	灰白	轆轤	染付	肥前	外：胴部に「太神宮」文字。高台畳付に砂付着。
61	16	B2305	陶器	碗	中碗	100	66	50		灰白	轆轤	灰釉、錆釉	瀬戸・美濃	腰錆碗。内面及び外面上半に灰釉、外面下半に錆釉を施す。高台畳付のみ釉剥ぎ。体部に沈潜が３条巡るが,浅く不明瞭。
61	17	B2305	陶器	碗	中碗	107	65	52		灰白	轆轤	灰釉、錆釉	瀬戸・美濃	腰錆碗。内面及び外面上半に灰釉、外面下半に錆釉を施す。高台畳付のみ釉剥ぎ。体部に沈潜が３～５条巡る。
61	18	B2305	陶器	碗	中碗	93	61	45		灰白	轆轤	鉄釉、灰釉	瀬戸・美濃	削り出し高台。高台とその周辺を除く内外面に施釉する。口縁部から灰釉を部分的に流し掛けする。
61	19	B2305	陶器	碗	中碗	(94)	53	(46)		灰白	轆轤	白泥、透明釉	不明	内：白泥で巻き刷毛目を施す。外：口縁部のみ白泥を口錆状に施す。高台畳付を除く外面全体に施釉。

第 17 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（16）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
61	20	B2305	陶器	碗	中碗	101	65	65		灰白	轆轤	鉄釉（天目釉）	瀬戸・美濃	天目碗。削り出し高台。
61	21	B2305	陶器	碗	中碗	(93)	57	(36)		灰白	轆轤	鉄、呉須、透明釉	京・信楽	外：桐文。高台とその周辺を除く内外面に透明釉を施釉。
61	22	B2305	陶器	碗	中碗	95	55	34		灰白	轆轤	灰釉、上絵付	京・信楽	高台を除く内外面に施釉する。梅花文及び笹葉文の上絵付（金彩を含む）を施す。
61	23	B2305	陶器	碗	小碗	66	37	32		灰白	轆轤	長石釉	瀬戸・美濃	高台は削り出し、外側を面取りする。
62	1	B2305	陶器	皿	小皿	125	2.	74		灰白	轆轤	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	付け高台。内：見込みに鉄絵を型紙摺り（松竹梅文？）で施す。口縁部端にタール状の付着物あり。
62	2	B2305	陶器	鉢	中鉢	141	37	63		橙	型起こし	鉄、呉須、灰釉	瀬戸・美濃	アワセ型による型起こし。外面の素地に布目痕跡あり。底部はクリ底で無釉。内面に呉須と鉄で栗またはエノコログサを描く。
62	3	B2305	陶器	鉢	中鉢	157	64	55		にぶい赤褐	轆轤	白泥、透明釉	肥前	内：蛇ノ目釉剥ぎ、外：高台を除き施釉。白泥で巻刷毛目文様を描き、透明釉を掛ける。
62	4	B2305	陶器	瓶	仏花瓶	115	144	64		灰白	轆轤、貼付	鉄釉（黒釉）	瀬戸・美濃	耳貼付け。底部無釉。
62	5	B2305	陶器	瓶	髪油壺	31	66	44		灰白	轆轤	呉須、灰釉	瀬戸・美濃	外：胴部下半から底部を回転ヘラケズリ。高台は削り出し。底部を除く外面全体を施釉。内：口縁部まで施釉。呉須で竹？を描く。
62	6	B2305	陶器	水注	中水注	49	107	78		灰白	轆轤、貼付	鉄釉（飴釉）、うのふ釉	瀬戸・美濃	高台削り出し。高台を除き施釉。口縁端部を釉剥ぎする。口縁部から肩部にかけてうのふ釉を流し掛けする。把手及び中後部を貼付。肩部にやや不明瞭な螺旋文あり。口縁部端に敲打痕あり。
62	7	B2305	土器	鍋	焙烙	(290)				橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
62	8	B2305	土器	箱	炬燵	352	202	236		橙	板作り	無釉	江戸在地	鍔縁正方形。
62	9	B2305	土器	鉢	焼塩壺身	(63)	94	51	80	にぶい橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
62	10	B2305	土器	皿	小皿	(56)	11	(30)		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
62	11	B2305	土器	皿	小皿	98	20	50		灰褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
62	12	B2305	土器	皿	小皿	118	19	61		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	外：全体をミガキ。内：見込みに煤付着。
63	1	B2311	陶器	碗	中碗	(96)	65	52		灰白	轆轤	鉄釉、灰釉	瀬戸・美濃	腰錆碗。高台畳付は釉拭き取り、内面と外面の上半に灰釉、下半に鉄釉を施す。体部中位に沈線３条。
63	2	B2311	陶器	碗	中碗	(105)	68	39		にぶい赤褐	轆轤	錆釉、鉄釉	不明	全面に錆釉を総掛けし、高台畳付を釉剥ぎする。口縁部及び体部中位に鉄釉を掛ける。
63	3	B2311	陶器	皿	小皿	(116)	29	(65)		灰白	轆轤	御深井釉、鉄	瀬戸・美濃	
63	4	B2311	陶器	鉢	擂鉢	350	150	140		浅黄橙	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	内：櫛目 14 条 / 単位。見込みは環状に摺目を入れる。見込みに砂目跡４。底部糸切未調整。底部中央は無釉。底面砂目跡 4。
63	5	B2311	陶器	水注	中水注	42	109	69	138	にぶい黄橙	轆轤、貼付	鉄釉（飴油）	瀬戸・美濃	高台内窯道具痕あり。口縁端部を釉剥ぎする。把手及び中後部を貼付。肩部に螺旋文あり。
63	6	B2311	土器	鍋	焙烙	244				灰黄		無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。口縁部玉縁状。
63	7	B2311	土器	鍋	焙烙	308	(48)			灰黄		無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。口縁部玉縁状。
63	8	B2311	土器	皿	小皿	97	2.1	48		灰黄	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、口縁部に煤付着。轆轤左回転。
63	9	B2311	土器	皿	小皿	84	1.6	43		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、口縁部に煤付着。轆轤左回転。
63	10	B2314	土器	鍋	焙烙					橙	回転台	無釉	江戸在地	深め、器壁高 4cm 前後。
63	11	B2314	土器	鍋	焙烙					橙	回転台	無釉	江戸在地	底平坦、器壁高 4cm 前後。
63	12	B2334	土器	鍋	焙烙		(37)			橙	回転台	無釉	江戸在地	深め、器壁高 2cm 前後。
63	13	B2346	磁器	碗	小碗	88	66	45		灰白	轆轤	染付	肥前	外：笹、霊芝。
63	14	B2347	磁器	皿	中皿？	220	59	74		灰白	轆轤	染付	肥前	内：葉。
64	1	B2331	磁器	碗	中碗	104	56	62		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み水鳥？、一重圏線、口縁部二重圏線。外：素描草花文、素描鳥。高台畳付無釉。
64	2	B2331	磁器	碗	中碗	91	45	52		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃？	外：口縁部雷文、体部「福壽福」、「壽福壽」の文字、高台二重圏線。
64	3	B2331	磁器	皿	小皿	(106)	26	69		灰白	型打ち	白磁	肥前	内：見込み環状松竹梅文、二重圏線、蛸唐草。外：唐草文、高台脇一重圏線、高台二重圏線。釘書き（内容不明）あり。
64	4	B2331	磁器	皿	小皿	129	31	76		灰白	型打ち	染付	肥前	内：蔓草、蝶。口銹。高台畳付施釉。凹型蛇ノ目高台。
64	5	B2331	磁器	蓋	碗蓋	92	25		35	灰白	轆轤	染付	肥前	外：松文、内：中央に松文。
64	6	B2331	陶器	碗	大碗	124	53	44		灰白	轆轤	灰釉、呉須	瀬戸・美濃	柳茶碗。器形は平形に近い。体部に呉須で簡略化された柳文様を描く。高台は外側を面取りする。
64	7	B2331	陶器	碗	大碗	(120)	54	40		灰白	轆轤	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	柳茶碗。体部に鉄絵で柳文様を描くが、大部分は残存していない。高台は外側を面取りする。高台内に墨書「イ」。
64	8	B2331	陶器	碗	大碗	(132)	52	(52)		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	削り出し高台。体部に沈線が巡る。
64	9	B2331	陶器	皿	小皿	97	32	32		灰黄	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	高台とその周辺を除き施釉。外面は体部の中位から底部にかけて回転ヘラケズリを施す。
64	10	B2331	陶器	皿	灯明皿	104	19	46		灰白	轆轤	鉄釉	不明	外：体部を回転ヘラケズリする。
64	11	B2331	陶器	水注	土瓶	(84)	114	80	179	灰白	轆轤、貼付	灰釉	瀬戸・美濃	内面は口縁部とその周辺を除き施釉。外面は底部を除き施釉、口縁部付近から呉須と緑釉を流し掛けする。底部煤付着。
64	12	B2331	陶器	鍋	行平					明黄褐	型押し、貼付	透明釉	不明	把手部分のみ。器の内面を施釉。
64	13	B2331	土器	鍋	焙烙					橙	回転台	無釉	江戸在地	深め、器壁高 2cm 前後。
64	14	B2331	土器	蓋	焼塩壺蓋	70	15		78	赤褐	型押し	無釉	近畿	
64	15	B2331	土器	皿	小皿	75	19	38		明褐	轆轤	透明釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
64	16	B2351	陶器	碗	大碗	147	69	50		橙	轆轤	白泥、透明釉	不明	内外面とも巻刷毛目に近い文様を白泥で描く。見込みは蛇ノ目釉剥ぎ。
64	17	B2351	磁器	皿	小皿	100	2.3	57		灰白	轆轤	青磁	肥前	
64	18	B2351	陶器	碗	中碗	91	60	39		灰白	轆轤	錆釉	不明	体部に３条の沈線が巡る。
64	19	B2351	陶器	碗	中碗	96	55	42		灰黄	轆轤	灰釉、錆釉	瀬戸・美濃	腰錆碗。内面及び外面の体部上半に灰釉、高台畳付を除く底部及び体部下半に錆釉を施す。
64	20	B2351	陶器	鉢	香炉	91	46	60		灰白	轆轤	無釉	京・信楽？	刻印「𠮷」？。外面体部、口縁端部ミガキ。
64	21	B2351	土器	鉢	焼塩壺身	58	91	53	76	橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
64	22	B2351	土器	鍋	焙烙	316			330	橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 2cm 前後。外面煤付着。
64	23	B2351	陶器	皿	小皿	99	23	45		明褐	轆轤	錆釉	志戸呂	外面体部は底部までヘラケズリ。
65	1	B2356	陶器	碗	中碗	109	67	40		灰白	轆轤	長石釉、上絵付	京・信楽	上絵付で竹文を描く。
65	2	B2368	磁器	皿	小皿	(126)	27	(54)		灰白	型打ち	染付、鉄	肥前	高台畳付無釉、砂付着。口銹。内：見込み文様不明、一重圏線。型打ちで内面に陰刻文様を施す。
65	3	B2377	磁器	碗	仏飯器		(37)	44		灰白	轆轤	白磁？	肥前	底部無釉。上部欠損。
65	4	B2382	磁器	碗	中碗	107	59	45		灰白	轆轤	染付	肥前	外：松、雪持ち笹、遠山、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。

第 18 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（17）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
65	5	B2382	磁器	碗	中碗	97	55	42		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判花文、葉。
65	6	B2382	磁器	碗	小碗	(83)	47	37		灰白	轆轤	白磁	肥前	
65	7	B2382	磁器	碗	小碗	(65)	44	(30)		灰白	轆轤	白磁	肥前	高台畳付に砂付着。
65	8	B2382	磁器	碗	小碗	(70)	40	23		灰白	轆轤	白磁	肥前	内：口縁部付近に蝶文。外：鉄釉。高台畳付に砂付着。
65	9	B2382	陶器	碗	中碗	108	69	42		灰白	轆轤	透明釉、青緑釉	肥前	内：透明釉。外：青緑釉を施す。削り出し高台。
65	10	B2382	陶器	鉢	香炉		(90)	44		浅黄	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内:口縁部のみ施釉。轆轤痕著しい。外:底部を除き施釉する。体部上半に不明瞭な沈線が２条巡る。。口縁部は内側に肥厚する。
65	11	B2382	磁器	瓶	髪油壺		(90)	44	95	灰白	轆轤	青磁	肥前	高台畳付は内・外側を面取り、砂付着。
65	12	B2382	陶器	皿		(121)×(96)	31	50		灰白	型打ち	透明釉、呉須、鉄	京・信楽	口銹。内：鉄絵と呉須で流水文、紅葉文を描く。
65	13	B2382	土器	蓋	火消壺蓋	277				灰黄	回転台	無釉	江戸在地	摘み欠損。
65	14	B2382	磁器	碗	中碗	110	62	40		灰白	轆轤	染付	肥前	
65	15	B2382	磁器	碗	中碗	110	62	43		灰白	轆轤	染付	肥前	
65	16	B2382	磁器	碗	中碗	97	55	40		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判の花文様に唐草を手描きした花唐草文。一重圏線、高台二重圏線、高台内は渦「福」銘。
65	17	B2382	磁器	碗	小碗	51	38	20		灰白	轆轤	染付	肥前	内面：文様無し。外面：草花文、八つ橋。
65	18	B2382	磁器	蓋	蓋物蓋	46	21		58	灰白	轆轤	白磁	肥前	
65	19	B2382	陶器	碗	中碗	108	62	38		灰黄	轆轤	鉄、呉須、透明釉	京・信楽	外：体部に呉須と鉄絵で梅花を描く。高台とその周辺を除き施釉。
65	20	B2382	陶器	皿	小皿	129	36	64		灰白	轆轤、手びねり	灰釉	瀬戸・美濃	高台は削り出しで、高台外面ナデ、内面ケズリ。高台内は兜巾状。口縁部は内側に折り返し、５箇所を指オサエして五稜につくる。高台周辺を除き施釉。
65	21	B2382	陶器	蓋	蓋物蓋	48	30		82	灰褐	轆轤	鉄釉	不明	笠部糸切痕未調整。笠部上面から端部下面、及び摘みに施釉。
65	22	B2382	土器	皿	小皿	109	21	64		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
65	23	B2382	土器	皿	小皿	106	24	54		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
66	1	B2381	磁器	碗	中碗	114	64	44		灰白	轆轤	染付	肥前	外：山水文、岩、雁金、草花文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線に「大明年製」銘。
66	2	B2381	磁器	碗	小碗	90	51	38		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：松、竹、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。
66	3	B2381	磁器	碗	小碗	72	52	31		灰白	轆轤	白磁	肥前	高台畳付のみ無釉、高台は外側を面取りする。
66	4	B2381	磁器	碗	小碗	71	54	36		灰白	轆轤	白磁	肥前	高台畳付のみ無釉、高台は外側を面取りする。
66	5	B2381	磁器	碗	薄手酒杯	66	31	28		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文、若松文。
66	6	B2381	磁器	碗	小碗	84	48	34		灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	外：蓮（花は赤で輪郭、赤で塗り、茎、葉は黒で輪郭、淡い緑色で塗り）。
66	7	B2381	磁器	碗	仏飯器	81	60	46		灰白	轆轤	染付	肥前	外面:雨降り文、高台脇一重圏線、高台二重圏線、高台内施釉。
66	8	B2381	磁器	皿	小皿	124	36	42		灰白	轆轤	染付	肥前	内:見込みを蛇ノ目釉剥ぎする。流水文様を鉄絵で描く。外:高台とその周辺は無釉。削り出し高台。
66	9	B2381	磁器	皿	大皿	267	48	152		灰白	轆轤	染付	肥前	内:見込み釣り人、山水文、花唐草文。外:唐草文。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。
66	10	B2381	磁器	蓋		66	28			灰白	轆轤	鉄釉	肥前	外：錆釉、摘みは鉄釉（黒釉）を施す。
66	11	B2381	磁器	鉢		45	19	18		灰白	型押し	染付	肥前	ミニチュア。内面に文字。
66	12	B2381	陶器	碗	中碗	104	70	54		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	腰錆碗。内面及び外面の体部上半に灰釉、高台畳付を除く底部及び体部下半に錆釉を施す。
66	13	B2381	陶器	皿	変形皿	(103)	(24)	53		灰白	型打ち？	不明	京・信楽	被熱。刻印（内容不明）。
66	14	B2381	陶器	鉢	鬢水入れ	117	45	122		灰白	板作り	錆釉、透明釉	京・信楽	外：摺絵により鉄絵の草花文を施す。
66	15	B2381	陶器	蓋	小壺蓋		12	36	39	灰白	手びねり	鉄釉（飴釉）	瀬戸・美濃	笠部上面及び摘みに施釉する。
66	16	B2381	土器	鍋	焙烙	(280)				橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。口縁部玉縁状。
66	17	B2381	土器	蓋	焼塩壷蓋	73	21		71	橙	型押し	無釉	近畿	
67	1	B2384	磁器	碗	小碗	82	53	38		灰白	轆轤	染付	肥前	外：花文、一重圏線、高台畳付砂付着。
67	2	B2384	磁器	壺	小壺	32	(52)		58	灰白	型押し	白磁、上絵付	肥前	外：頸部に上絵付（赤）で二重圏線、胴部に上絵付（赤）で格子、葉、波。型押しで胴部に牡丹文陽刻。
67	3	B2384	陶器	皿	小皿	114	25	65		灰白	轆轤	長石釉	瀬戸・美濃	内外面に釉を総掛けする。平底で、外面底部に胎土目跡３。外：体部下半から底部までヘラケズリを施す。
67	4	B2384	土器	皿	小皿	112	25	74		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。糸切後の痕跡残る。
67	5	B2384	土器	皿	小皿	66	11	40		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
67	6	B2387	陶器	鉢	中鉢	265	81	104		にぶい赤褐	轆轤	鉄釉	肥前	唐津釜ノ頭。内：印花により花文様を施す。高台畳付に目跡３。
67	7	B2387	陶器	甕	中甕	(218)	(65)			灰褐	不明	鉄釉	不明	口縁上面は釉剥ぎ。回転台使用か。
67	8	B2387	土器	皿	小皿	100	19	58		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部中央付近に焼成後穿孔あり。
67	9	B2387	土器	皿	小皿	75	15	50		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、外面に煤付着、ノミ状工具による放射状線刻あり。轆轤左回転。
67	10	B2389	陶器	碗	中碗	109	75	50		灰白	轆轤	灰釉、呉須	不明	高台内施釉。外：体部上半に呉須で文様を描く。
67	11	B2389	土器	鍋	焙烙	280				明黄褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。口縁部玉縁状。
67	12	B2392	磁器	碗	中碗	104	53	44		灰白	轆轤	染付	肥前	外：菊花文、露草文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明年製」銘。
67	13	B2392	磁器	碗	小碗	80	40	35		灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	色絵。外：鳥、草花文（赤、金彩）高台小。化粧道具。
67	14	B2392	陶器	碗	中碗	108	50	36		灰白	轆轤	呉須、鉄、透明釉	京・信楽	高台及びその周辺を除き施釉。内：文様無し。外：体部に呉須と鉄で桜花文を描く。高台内に刻印あり。
67	15	B2392	土器	鍋	焙烙	(270)				明黄褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
68	1	B2394	磁器	碗	中碗	97	56	39		灰白	轆轤	染付	肥前	内：コンニャク印判文様。外：コンニャク印判不明文様散らし。
68	2	B2397	陶器	碗	中碗	104	74	49		にぶい黄橙	轆轤	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	外：鉄絵折れ松葉文。
68	3	B2397	陶器	皿	五寸皿	138	41	69		灰白	型打ち、ヘラ	御深井釉	瀬戸・美濃	菊花形の型を用いて型打ちする。口縁部はヘラで花弁状に切る。外：ヘラにより底部から口縁部へ花弁状の削ぎを放射状に施す。付け高台。
68	4	B2399	磁器	碗	中碗	(110)	62	42		灰白	轆轤	染付	肥前	外:梅樹文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明年製」銘。
68	5	B2399	磁器	皿	五寸皿	(140)	36	(82)		灰白	轆轤	染付	肥前	内：草、樹木。外：唐草文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「成化年製」銘。
68	6	B2399	磁器	鉢	小鉢	77	51	3.0		灰白	型打ち	染付	肥前	口縁端部ヘラ切り。外：酸漿文。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。高台畳付砂付着。
68	7	B2399	土器	鍋	焙烙	(258)				明黄褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
68	8	B2399	土器	鍋	焙烙	(294)				明黄褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。口縁部玉縁状。
68	9	B2480	磁器	碗	中碗	100	56	40		灰白	轆轤	染付	肥前	外:梅樹文。高台脇一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、銘。

第 19 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（18）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
68	10	B2480	磁器	碗	中碗	98	53	42		灰白	轆轤	染付	肥前	外：網目文。一重圏線、高台二重圏線、高台畳付砂付着。
68	11	B2480	土器	鍋	焙烙	(294)				明黄褐	回転台	無釉	江戸在地	器壁高 2cm 前後。
68	12	B2480	土器	鍋	焙烙	(370)				明黄褐	回転台	無釉	江戸在地	器壁高 2cm 前後。
68	13	B2480	土器	蓋	焼塩壷蓋	70	20		77	褐	型押し	無釉	不明	
68	14	B2480	土器	皿	小皿	93	18	50		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、口縁部煤付着。轆轤左回転。
68	15	B2414	土器	鍋	焙烙					橙	回転台	無釉	江戸在地	有耳、深め、底平坦。耳が内壁。
68	16	B2427	土器	鉢	焼塩壷身	(63)	86	53	76	橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
68	17	B2488	陶器	瓶？				30		灰白	轆轤、貼付	不明	不明	被熱。底部糸切未調整。花、枝の造形を貼付け。
69	1	B2419	磁器	碗	中碗	95	53	38		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：見込み岩波文。外：樹木、岩、雁、山水文。
69	2	B2419	磁器	碗	中碗	106	47	45		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み楼閣山水文、口縁部墨弾き工字文横帯。 外：楼閣山水文。
69	3	B2419	磁器	碗	中碗	97	45	46		灰白	轆轤	染付	肥前	外：葵文。
69	4	B2419	磁器	碗	仏飯器	63	53	32		灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	外：上絵付で「飛泉　碧」等の文字、銘款あり。
69	5	B2419	磁器	蓋	碗蓋	103	28		53	灰白	轆轤	染付	肥前	内：中央に五弁花、一重圏線、瓔珞文。外：笠部瓔珞文、摘み座一重圏線、摘み二重圏線。
69	6	B2419	陶器	碗	小碗	90	49	30		灰白	轆轤	灰釉	京・信楽？	貫入多い。
69	7	B2419	陶器	鉢	植木鉢	82	52	48	96	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	底部中央に焼成前穿孔あり。削り出し高台。
69	8	B2419	陶器	皿	灯明皿	100	23	44		灰白	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	体部下半から底部にかけて回転ヘラケズリ。内面及び外面口縁部を施釉。見込みに環状痕。
69	9	B2419	陶器	鉢	小鉢	100	30	60		灰白	型打ち、手びねり	長石釉、鉄、緑釉	瀬戸・美濃	三足。織部。口縁部２箇所に織部釉をかける。見込みに格子文を描く。口錆状に鉄釉を塗布する。外：口縁部に唐草文。
69	10	B2419	陶器	瓶	中瓶	42	197	65	88	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	徳利。胴部中位から底部にかけて回転ヘラケズリ。底部は無釉で、環状痕あり。釉を漬け掛けする。釘書きあり。肩部下に溶着痕１。
69	11	B2419	陶器	水注	土瓶	78			225	浅黄	轆轤、貼付	鉄釉、うのふ釉	瀬戸・美濃	底部欠損。胴部中位に轆轤目著しい。内面口縁部以下と外面の底部を除き施釉する。肩部から胴部にかけて２箇所にうのふ釉をかける。口縁部端は釉剥ぎ。後方の釣り手孔が破損したためか、胴部に穿孔して代替としている。
69	12	B2419	陶器	蓋	中水注蓋	38	17		72	橙	轆轤、貼付	鉄釉（黒釉）	不明	
69	13	B2419	陶器	器台	灯明受皿	104	.23	46	74	浅黄橙	轆轤、貼付	鉄釉（飴釉）	瀬戸・美濃	油溝切立状。外：体部から底部にかけて回転ヘラケズリ。
69	14	B2419	土器	蓋	蚊遣り蓋	87	50		124	橙	回転台	無釉	江戸在地	外：笠部ミガキ、焼成前穿孔 5。内面煤付着。
69	15	B2419	土器	鉢	鉢形容器	(104)	44	(66)		橙	轆轤	無釉	江戸在地	外：ミガキ。
69	16	B2419	土器	器台	灯明受皿	76	70	74		橙	轆轤	透明釉	江戸在地	台付油溝半月状。底部を除く全体に施釉。
69	17	B2419	土器	鍋	焙烙	(324)				明黄褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、器壁高 2cm 前後。
69	18	B2493	土器	鍋	焙烙	(358)				浅黄橙	回転台	無釉	江戸在地	深め、器壁高 2cm 前後。
69	19	B2514	陶器	瓶	仏花瓶			75		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	貼付高台。底部糸切痕。内面底部に自然釉が掛かり、口縁径大。
69	20	B2501	磁器	碗	中碗	(98)	55	38		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文、一重圏線、高台内一重圏線。
69	21	B2501	磁器	碗	中碗	102	56	41		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：輪郭線と濃みで描いた花文を散らす、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線に「大明年製」。
69	22	B2501	磁器	鉢	蓋物蓋	90	46	61		灰白	轆轤	青磁	肥前	内：口縁部無釉。外：高台内錆釉。
69	23	B2501	磁器	鉢	香炉	80	41	64		灰白	轆轤、貼付	青磁	肥前	高台内錆釉。体部２箇所に金具状装飾あり。
69	24	B2501	陶器	瓶	仏花瓶	108	110	57		にぶい黄橙	轆轤、貼付	鉄釉	瀬戸・美濃	耳を貼付け。削り出し高台。
70	1	B2479	磁器	碗	大碗	193	92	64		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み差楼閣山水文、二重圏線、口縁部雷文。外：草花文、岩、口縁部二重圏線、一重圏線。高台内一重圏線に「宣徳年製」銘。
70	2	B2479	磁器	碗	仏飯器	67	62	34		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：桐文散らし。一重圏線、高台一重圏線。
70	3	B2479	磁器	皿	小皿	98	41	78		灰白	型打ち	白磁	肥前	内：体部に唐草文を陽刻、見込みに微細なキズ多数あり。口銹。
70	4	B2479	磁器	皿	中皿	212	32	140		灰白	轆轤	白磁	肥前	高台内面に目跡２。口銹。
70	5	B2479	陶器	碗	中碗	108	61	40		浅黄橙	轆轤	白泥、鉄、透明釉	肥前	現川系。内：巻刷毛目、外：巻刷毛目。高台畳付を除く内外面に透明釉を施す。高台畳付に砂付着。炻器質。
70	6	B2479	磁器	皿	小皿	120	37	40		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込みを蛇ノ目釉剥ぎする。内面に流水文または折り松葉文を鉄絵で描く。削り出し高台。
70	7	B2479	陶器	蓋？		160	17			浅黄	不明	白泥、透明釉	不明	型押しで木目を陰刻する。部分的に白泥を用いて象嵌する。B2236 号から同様の遺物が出土。
70	8	B2540	陶器	鉢	擂鉢					灰白	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	
70	9	B2540	陶器	鉢	擂鉢	(338)				灰白	輪積、轆轤	鉄泥	丹波	内：摺目 8 条 / 単位。
70	10	B2540	土器	鍋	焙烙					橙	回転台	無釉	江戸在地	深め、器壁高 4cm 前後。
70	11	B2554	磁器	碗	中碗	98	51	41		灰白	轆轤	染付	肥前	外：梅樹文、高台内銘。高台畳付砂付着。
70	12	B2554	磁器	碗	中碗	(99)	51	40		灰白	轆轤	染付	肥前	外：二重網目文、高台脇一重圏線。
70	13	B2562	磁器	碗	中碗	(102)	57	41		灰白	轆轤	染付	肥前	外：蕉葉文、唐草文。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明成化年製」銘。
70	14	B2562	土器	皿	小皿	82	18	47		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
71	1	B2572	磁器	碗	中碗	100	58	42		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：コンニャク印判菊花文。一重圏線、高台二重圏線。高台内一重圏線。
71	2	B2572	土器	皿	小皿	88	14	48		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
71	3	B2578	陶器	鉢	擂鉢					灰白	紐づくり、轆轤	無釉	丹波	内：摺目 6 条 / 単位。口縁端部断面三角形。
71	4	B2614	陶器	瓶？				30		灰白	轆轤	鉄釉	不明	底部糸切未調整。轆轤左回転。
71	5	B2661	土器	鍋	焙烙	(278)				橙		無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
71	6	B2668	磁器	碗	中碗	101	53	36		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み「壽」字文、一重圏線、口縁二重圏線。外：「壽」字文、一重圏線、二重圏線。
71	7	B2668	磁器	碗	中碗	(105)	56	56		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み菊花文。外：菊、蝶。
71	8	B2668	土器	蓋	焼塩壷蓋	61	11		60	にぶい橙	型押し	無釉	不明	
71	9	B2668	土器	鉢	焼塩壷身	52	54	44	64	にぶい橙	轆轤	無釉	江戸在地	詳細は第 54 表参照。
71	10	B2678	磁器	碗	中碗	97	55	39		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：見込み源氏香？一重圏線、口縁部横帯に墨弾き葵文様、一重圏線。外：口縁部横帯に墨弾き葵文、一重圏線、波、高台一重圏線。
71	11	B2696	陶器	蓋	土瓶蓋	52	20		65	にぶい黄褐	轆轤、貼付	鉄釉	不明	外：笠部に施釉。内：無釉。

第 20 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（19）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
71	12	B2696	土器	鉢	火鉢					にぶい黄褐	輪積	無釉	江戸在地	外:口縁部ミガキ調整、沈線、スタンプ文様を連続的に施す。チヂミ状の文様を施す。硬質。
71	13	B2729	陶器	甕	大甕					にぶい褐	輪積？	無釉（自然釉）	備前？	胎土はφ 2 ～ 5㎜の砂粒の多い土で、口縁端部は玉縁状につくる。
71	14	B2749	磁器	碗	中碗	110	60	44		灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	上絵付を施す。
71	15	B2749	土器	鍋	焙烙		(57)			橙	回転台	無釉	江戸在地	深め、器壁高 4cm 前後。
72	1	B2731	磁器	碗	中碗	114	63	62		白	轆轤	染付	肥前	外：童子
72	2	B2731	磁器	碗	中碗	(94)	57	34		白	轆轤	染付	肥前	外：胡桃？
72	3	B2731	磁器	皿	小皿	124	27	68		白	轆轤	染付	肥前	内：梅樹、竹、鳥
72	4	B2731	磁器	蓋	碗蓋	103	25			白	轆轤	染付	肥前	内：草花、鳥
72	5	B2731	磁器	瓶	線香筒	(30)	145	57		白	轆轤	染付	肥前	
72	6	B2731	土器	鍋	焙烙	(336)				灰黄		無釉	江戸在地	無耳、器壁高 2cm 前後。
72	7	B2731	土器	鉢	焼塩壺身	60	51	44		橙	轆轤	無釉	江戸在地	詳細は第 54 表参照。
72	8	B2731	土器	鉢	焼塩壺身	58	58	47	—	橙	轆轤	無釉	江戸在地	詳細は第 54 表参照。
72	9	B2731	土器	蓋	焼塩壺蓋	50	12		56	橙	型押し	無釉	不明	
72	10	B2731	土器	蓋	焼塩壺蓋	50	12		58	橙	型押し	無釉	不明	
72	11	B2731	土器	皿	小皿	133	27	73		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、内外面に僅かに煤付着。轆轤左回転。
72	12	B2752	磁器	碗	中碗	101	57	36		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：楼閣、山、楓。一重圏線、高台二重圏線、高台内二重圏線及び銘。
72	13	B2752	磁器	碗	中碗	95	54	37		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み花文、二重圏線、口縁部一重圏線。外：菊花文、桜花文。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線及び「宣明年製」銘。
72	14	B2752	磁器	碗	小碗	64	35	29		灰白	轆轤	白磁	肥前	
72	15	B2752	陶器	皿	小皿	106	20	62		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
72	16	B2752	土器	鍋	焙烙	248				橙	回転台	無釉	江戸在地	内耳 1 箇所残存。深め、器壁高 4cm 前後。
72	17	B2752	土器	鉢	焼塩壺身	61	90	42	68	明赤褐	輪積	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
72	18	B2756	磁器	碗	小碗	63	33	25		灰白	轆轤	青磁	肥前	
73	1	B2748	磁器	碗	中碗	108	63	44		白	轆轤	染付	肥前	外：花、高台内「福」
73	2	B2748	磁器	碗	中碗	102	59	36		白	轆轤	染付	肥前	外：花
73	3	B2748	磁器	碗	中碗	98	51	30		白	轆轤	染付	肥前	外：花
73	4	B2748	磁器	碗	小碗	80	52	38		白	轆轤	白磁	肥前	
73	5	B2748	磁器	碗	小碗	72	36	28		灰白	轆轤	白磁	肥前	高台畳付砂付着。
73	6	B2748	磁器	碗	小碗	54	32	20		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：体部に草花文。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。
73	7	B2748	磁器	碗	薄手酒杯	50	22	22		灰白	轆轤	染付	肥前	外：体部に草花文、蝶。
73	8	B2748	磁器	碗	仏飯器	72	53	38		灰白	轆轤	白磁	肥前	
73	9	B2748	磁器	皿	小皿	64	15	27		灰白	型打ち	染付	肥前	内：見込みコンニャク印判三つ巴と唐草文、五角形の付け高台。
73	10	B2748	磁器	皿	小皿	74	15	40		灰白	型打ち	染付	肥前	内：見込みコンニャク印判楓文、五角形の付け高台。扇形の付け高台。高台及びその周辺に砂付着。
73	11	B2748	磁器	皿	小皿	122	25	60		灰白	轆轤	染付	肥前	色絵。被熱。内：花卉文ほか。外：二重圏線。
73	12	B2748	磁器	鉢	中鉢	214	84	100		灰白	轆轤	青磁釉	肥前	被熱。口銹。
73	13	B2748	磁器	鉢	猪口	76	52	42		灰白	轆轤	染付	肥前	内:見込み五弁花。外:花唐草文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、角渦「福」字銘。
73	14	B2748	陶器	碗	中碗	92	68	50		灰白	轆轤	灰釉、錆釉	瀬戸・美濃	腰錆碗。内面及び外面上半に灰釉、外面下半に錆釉を施す。高台畳付のみ釉剥ぎ。体部に沈潜が 4 条巡るが、不明瞭。
73	15	B2748	陶器	碗	中碗	99	66	47		灰白	轆轤	呉須、透明釉	瀬戸・美濃	外：体部に呉須で楼閣山水文を描く。
73	16	B2748	陶器	碗	中碗	105	62	40		灰	轆轤	鉄、透明釉	京・信楽	外：体部に鉄絵折枝菊。
73	17	B2748	陶器	碗	小碗	62	22	28		橙	轆轤	灰釉（御深井釉）	瀬戸・美濃	外面の体部下半から底部にかけて回転ヘラケズリ。内面及び外面の口縁部に施釉。
73	18	B2748	陶器	鉢	中鉢	292	85	120		灰褐	轆轤	白泥、透明釉、錆釉	肥前	内：印花により陰刻し白泥を施し、象嵌文様とする。外：体部下半と高台外側に錆釉を施し、高台内面及び畳付は無釉。体部上半と内面は透明釉を掛ける。見込みに目跡 6 。
74	1	B2748	陶器	皿	小皿	122	33	68		灰白	轆轤	灰釉（御深井釉）	瀬戸・美濃	外：体部下半から底部にかけて回転ヘラケズリ。削り出し高台で、高台は無釉。内：見込みは摺絵により鉄絵で草花文を描く。
74	2	B2748	陶器	皿	小皿	122	33	53		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内：見込み蛇ノ目釉剥ぎ、口縁部付近に緑釉を部分的に掛ける。削り出し高台。
74	3	B2748	陶器	皿	小皿	108	19	54		赤褐	轆轤	錆釉	志戸呂	外：体部下半から底部にかけて回転ヘラケズリ。
74	4	B2748	陶器	皿	小皿	78	15	40		赤褐	轆轤	錆釉	志戸呂	底部糸切未調整。
74	5	B2748	土器	鍋	焙烙	280	81		290	灰黄	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。口縁部玉縁状。
74	6	B2748	土器	鉢	焼塩壺身	57	79	56	71	橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
74	7	B2748	土器	皿	小皿	80	17	36		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切後ナデ調整。轆轤左回転。
74	8	B2748	土器	皿	小皿	106	21	56		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切後未調整。轆轤左回転。
74	9	B2761	磁器	碗	中碗	104	55	46		灰白	轆轤	染付	肥前	外：沢潟、草花文。
74	10	B2761	磁器	碗	小碗	60	36	26		灰白	轆轤	染付	肥前	外：山水文、口縁部一重圏線、一重圏線、高台二重圏線。
74	11	B2761	磁器	碗	小坏	70	49	30		灰白	轆轤	白磁	肥前	
74	12	B2761	土器	鍋	焙烙	(250)				橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、浅め、器壁高 4cm 前後。外面煤付着。
74	13	B2761	土器	皿	小皿	120	22	68		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、雲母片含む。轆轤左回転。
74	14	B2761	土器	皿	中皿	178	32	104		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
74	15	B2761	土器	皿	中皿	193	33	112		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、口縁部煤付着。轆轤左回転。
75	1	B2769	磁器	碗	中碗	102	62	42		灰白	轆轤	染付	肥前	外面:花、遠山。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明年製」銘。
75	2	B2769	磁器	碗	中碗	99	61	40		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文、鳥、若葉。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明年製」銘。
75	3	B2769	磁器	碗	中碗	107	59	45		灰白	轆轤	染付	肥前	外：桜、鳥、流水文。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明成化年製」銘。
75	4	B2769	磁器	碗	中碗	101	57	44		灰白	轆轤	染付	肥前	外面:松、遠山。一重圏線、高台一重圏線、高台内「大明年製」銘。
75	5	B2769	磁器	碗	中碗	99	50	38		灰白	轆轤	染付	肥前	外：花（桔梗ほか）。
75	6	B2769	磁器	碗	小碗	68	33	27		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判桐文散らし、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。
75	7	B2769	磁器	碗	仏飯器	75	55	38		灰白	轆轤	染付	肥前	一重圏線、高台二重圏線、高台畳付無釉、高台内施釉。
75	8	B2769	磁器	皿	小皿	93	23	56		灰白	轆轤	染付	肥前	内:コンニャク印判折枝菊文。外:体部、高台内に折松葉文。
75	9	B2769	磁器	皿	小皿	128	39	46		灰白	轆轤	染付	肥前	波佐見系。内：見込み蛇ノ目釉剥ぎ、体部唐草文。外：高台無釉、高台畳付砂付着。
75	10	B2769	磁器	皿	小皿	130	34	78		灰白	轆轤	染付	肥前	波佐見系。内：見込みコンニャク印判五弁花。外：口縁部一重圏線、一重圏線、高台一重圏線、高台内一重圏線。

第 21 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（20）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
75	11	B2769	磁器	鉢	蓋物	87	73	52		灰白	轆轤	染付	肥前	外：口縁部端と高台畳付を除き施釉。若松文、蕨文。体部下端二重圏線、高台二重圏線。
75	12	B2769	磁器	蓋	蓋物蓋	130	36		145	灰白	轆轤	染付	肥前	外：梅、竹、二重圏線。笠端部、かえり外側のみ無釉で砂付着。笠部内面施釉。
75	13	B2769	陶器	碗	中碗	116	72	40		灰黄	轆轤	白泥、透明釉	不明	内外面に白泥で巻刷毛目を施す。高台端部外側を面取りする。
75	14	B2769	陶器	碗	中碗	104	59	38		橙	轆轤	白泥、透明釉	肥前	内外面に白泥で巻刷毛目を施す。高台端部外側を面取りする。
75	15	B2769	陶器	碗	中碗	98	58	40		にぶい赤褐	轆轤	白泥、透明釉	肥前	内外面に白泥で巻刷毛目を施す。高台端部外側を面取りする。
75	16	B2769	陶器	碗	中碗	106	63	44		灰白	轆轤	鉄釉（天目釉）	瀬戸・美濃	天目碗。削り出し高台。
75	17	B2769	陶器	碗	中碗	90	54	46		橙	轆轤	鉄釉（黒釉）	不明	内面に漆付着。
75	18	B2769	陶器	鉢	鬢水入れ	121	41	125		灰白	板作り	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	外：摺絵により鉄絵の草花文を描く。
75	19	B2769	陶器	鉢	片口	154	98	77	(178)	灰黄	轆轤、貼付	柿釉	瀬戸・美濃	
75	20	B2769	陶器	皿	灯明皿	102	25	4.9		赤褐	轆轤、貼付	鉄泥	志戸呂	半月状の摘みを付ける。外面は体部下半から底部にかけて回転ヘラケズリ。
75	21	B2769	陶器	器台	灯明受皿	91	24	47	56	暗灰黄	轆轤	鉄泥	志戸呂	油溝アーチ形。油溝は３箇所。受部はやや内傾する。外：体部下半から底部にかけて回転ヘラケズリ。
76	1	B2769	陶器	鉢	香炉	120	71	70		灰白	轆轤、貼付け	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	三足。外：摺絵により、鉄絵の桐文を施す。
76	2	B2769	陶器	壺	小壺	70	123	74	125	灰白	轆轤、貼付	鉄釉（飴釉）	瀬戸・美濃	
76	3	B2769	陶器	水注	中水注	51	102	75	147	灰白	轆轤、貼付	鉄釉（飴釉）	瀬戸・美濃	削り出し高台。口縁端部を釉剥ぎする。口縁部から肩部にかけてうのふ釉を流し掛けする。把手及び中後部を貼付。把手を欠損。高台内及び口縁部端に重ね焼き痕あり。
76	4	B2769	陶器	鉢	擂鉢	315	134	126		灰白	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	底部糸切未調整。外：体部下半はケズリ調整。摺目 15 条 / 単位。
76	5	B2769	陶器	鉢	大鉢	355	108	129		黄灰	轆轤	白泥、透明釉、錆釉	肥前	内：印花により陰刻し白泥を施し、象嵌文様とする。陰刻は明瞭で、象嵌は丁寧に施される。外：体部下半と高台外側に錆釉を施し、高台内面及び畳付は無釉、高台外側を面取りする。体部上半と内面は透明釉を掛ける。見込みに目跡 7。
76	6	B2769	土器	鍋	焙烙	(280)			(281)	にぶい褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。口縁部玉縁状。
76	7	B2769	土器	皿	小皿	65	13	38		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。底部中央に焼成後穿孔。
76	8	B2769	土器	皿	小皿	58	14	36		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。口縁部煤付着。
76	9	B2769	土器	皿	小皿	84	16	42		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
76	10	B2769	土器	皿	小皿	103	22	60		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。口縁部煤付着。
76	11	B2769	土器	皿	小皿	159	30	99		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。内外面底部に煤付着。
77	1	B2776	磁器	碗	中碗	94	53	37		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判三蓋松、柴垣。一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線及び「大明年製」銘。
77	2	B2776	磁器	碗	仏飯器	68	63	36		灰白	轆轤	青磁	肥前	
77	3	B2776	磁器	鉢	猪口	74	48	41		灰白	轆轤	染付	肥前	外：楼閣山水文。一重圏線、高台二重圏線、高台内二重圏線。
77	4	B2776	磁器	皿	小皿	135	29	80		灰白	轆轤	染付	肥前	波佐見系。内：見込みコンニャク印判五弁花、二重圏線、松竹梅文？外：唐草文。高台二重圏線、高台内一重圏線。
77	5	B2776	陶器	碗	小碗	76	38	38		灰黄	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	外面は体部下半を回転ヘラケズリ。
77	6	B2776	磁器	鉢	中鉢	193	75	58		灰白	轆轤	青緑釉、透明釉	肥前	内：透明釉、蛇ノ目釉剝ぎ。外：青緑釉。高台外側を面取り。
77	7	B2776	土器	皿	小皿	86	18	45		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。口縁部煤付着。
77	8	B2789	磁器	碗	中碗	97	48	34		灰白	轆轤	染付	肥前	外：素描き楼閣山水文、鳥。
77	9	B2789	磁器	蓋	合子蓋		17	68	72	灰白	轆轤	染付	肥前	笠部内面施釉。かえり内側無釉。外：花弁文。
77	10	B2789	陶器	碗	大碗	122	44	39		灰白	轆轤	透明釉、上絵付	京・信楽	内：上絵付で花文様を描く。高台外側を面取り。
77	11	B2789	陶器	皿	灯明皿	117	24	57		灰白	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	内：見込みに環状痕。外面底部を除く内外面に施釉。底部は釉拭き取り。外面体部の中位以下を回転ヘラケズリ。
77	12	B2789	陶器	器台	灯明受皿	79	18	39	54	灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	外面底部を除く内外面に施釉。底部は釉拭き取り。外面体部の中位以下を回転ヘラケズリ。
77	13	B2789	土器	鍋	焙烙	342				橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、器壁高 2cm 前後。
77	14	B2789	土器	器台	灯明受皿	98	25	39	62	明褐	轆轤	透明釉	江戸在地	油溝アーチ形。底部糸切未調整。轆轤左回転。
77	15	B2789	土器	蓋	焼塩壺蓋	66	11		62	褐	型押し	無釉	近畿	
77	16	B2789	土器	蓋	焼塩壺蓋	62	10		60	褐	型押し	無釉	近畿	
77	17	B2789	土器	鉢	焼塩壺身	61	76	48	72	橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
77	18	B2789	土器	鉢	焼塩壺身	50	50	39	60	にぶい橙	轆轤	無釉	江戸在地	詳細は第 54 表参照。
77	19	B2772	磁器	碗	小碗	89	41	33		灰白	轆轤	染付、上絵付	肥前	色絵。内：蛇ノ目釉剝ぎ。上絵付で草花文を描く。花は赤い輪郭線と赤い塗り、葉は黒い輪郭線。B2847 号出土遺物と接合。
78	1	B2777	磁器	碗	中碗	97	55	42		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：若松、蕨、草、雲？。一重圏線、高台二重圏線。高台内一重圏線、高台畳付無釉。
78	2	B2777	磁器	碗	中碗	102	55	41		灰白	轆轤	染付	肥前	波佐見系。外面：草花文。一重圏線、高台二重圏線。高台内一重圏線、高台内崩した「大明」銘。
78	3	B2777	磁器	碗	小碗	78	48	38		灰白	轆轤	白磁	肥前	高台はやや撥形に開き、外側を面取りする。畳付のみ無釉。
78	4	B2777	磁器	碗	小碗	81	46	31		灰白	轆轤	染付	肥前	波佐見系。外：口縁部一重圏線、遠山？高台脇一重圏線、高台二重圏線。
78	5	B2777	磁器	碗	小碗	79	40	29		灰白	轆轤	白磁	肥前	高台畳付に砂付着。
78	6	B2777	磁器	碗	小碗	64	29	26		灰白	轆轤	染付	肥前	外：型紙摺りにより草花文を描く。
78	7	B2777	磁器	碗	紅猪口	57	25	25		灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	外：上絵付で羽子板、羽根を描く。
78	8	B2777	磁器	碗	紅猪口	40	14	18		灰白	型押し	白磁	肥前	
78	9	B2777	磁器	皿	小皿	127	39	42		灰白	轆轤	染付	肥前	波佐見系。内：草文。二重圏線。見込み蛇ノ目釉剝ぎ。
78	10	B2777	磁器	鉢	猪口	70	56	42		灰白	轆轤	染付	肥前	外：丸文散らし。高台脇二重圏線、高台内一重圏線、「■■年製」銘。碁笥底。高台畳付無釉。
78	11	B2777	磁器	鉢	蓋物	64	37	33		灰白	轆轤	白磁	肥前	高台畳付に砂付着。内面口縁部無釉。
78	12	B2777	陶器	碗	中碗	112	60	48		浅黄	轆轤	灰釉、白泥、鉄釉、上絵付	京・信楽？	体部は轆轤目が目立つ。高台は外側を面取りする。外：体部に鉄絵と白泥で格子文を施すほか、上絵付で菊花状の文様を描く。見込みに目跡２残る。
78	13	B2777	陶器	碗	中碗	93	61	31		灰白	轆轤	透明釉、上絵付	瀬戸・美濃	外：金彩を含む上絵付で草花文を描く。
78	14	B2777	陶器	碗	中碗	106	51	40		灰白	轆轤	鉄、透明釉	京・信楽	外：鉄絵で文様を描く。
78	15	B2777	陶器	碗	中碗	92	57	33		にぶい赤褐	轆轤	透明釉、上絵付	京・信楽？	金彩を含む上絵付で花を描く。
78	16	B2777	陶器	碗	大碗	132	110	55		明黄褐	轆轤	灰釉	不明	体部下半に指の痕跡が３～６箇所観察される。体部は沈線状の轆轤目あり。削り出し高台。

第 22 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（21）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
78	17	B2777	陶器	碗	中碗	96	52	39		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	灰釉と鉄釉を掛け分け。
78	18	B2777	陶器	碗	中碗	106	58	38		黄灰	轆轤	白泥、透明釉	肥前	現川系。内：刷毛目。外：上位は連続した打ち刷毛目。下位は巻刷毛目。
78	19	B2777	陶器	皿	小皿	121	30	53		灰白	型押し	御深井釉	瀬戸・美濃	底部を回転ヘラケズリ後、付け高台。内面に菊花形の陰刻文様を施す。口縁端部はヘラ切りにより菊花の花弁状につくる。
78	20	B2777	陶器	鉢	擂鉢	203	81	91		灰黄	轆轤	錆釉	瀬戸・美濃	外：体部は口縁部直下から底部まで回転ヘラケズリ。底部は糸切未調整。内外面全体に施釉。内：摺目は体部 17 条 / 単位。見込みは螺旋状に摺目を入れる。
78	21	B2777	土器	鐘	瓦灯皿	149	(55)	169		橙	回転台	無釉	江戸在地	底部未調整。フード低い。
78	22	B2777	土器	鍋	焙烙	295				橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
78	23	B2777	土器	鍋	焙烙	293				橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。口縁部玉縁状。
78	24	B2777	土器	皿	小皿	104	20	58		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
78	25	B2777	土器	皿	小皿	94	20	47		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
78	26	B2777	土器	皿	小皿	77	14	35		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
78	27	B2777	土器	皿	小皿	58	12	34		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
79	1	B2796	磁器	碗	中碗	98	55	36		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判水仙、草花文、波？。やや厚手。
79	2	B2796	磁器	碗	中碗	96	51	30		灰白	轆轤	染付	肥前	外：竹文陽刻。桜花文上絵付。口銹。
79	3	B2796	磁器	碗	小碗	88	48	36		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判桐文、高台二重圏線。高台内一重圏線に「太明年製」銘あり。
79	4	B2796	磁器	碗	小碗	70	33	30		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判雪輪、折れ松葉。
79	5	B2796	磁器	碗	小碗	66	40	22		灰白	轆轤	染付	肥前	外：梅樹、岩、松？、帆掛け船。
79	6	B2796	磁器	碗	紅猪口	62	25	24		灰白	轆轤	染付	肥前系	外：草花文、一重圏線。
79	7	B2796	磁器	碗	仏飯器	84	56	40		灰白	轆轤	染付	肥前系	外：草花文、一重圏線。
79	8	B2796	磁器	皿	小皿	118	38	60		灰白	型打ち、ヘラ	白磁	肥前	外：ヘラ彫りで陰刻し花弁を表現。高台畳付は無釉。口縁部ヘラ切りで輪花とする。
79	9	B2796	磁器	瓶	髪油壺			52	90	灰白	轆轤	鉄	肥前系	胴部に圏線。
79	10	B2796	磁器	蓋	蓋物蓋	58	19	64		灰白	轆轤	青花	中国	外：一重圏線、二重圏線、素描き唐花文。摘み内は二重圏線及び「康熙年製」銘。摘み端は無釉。
79	11	B2796	陶器	碗	中碗	112	63	42		にぶい褐	轆轤	白泥、透明釉	肥前	内外：巻刷毛目を施す。
79	12	B2796	陶器	碗	中碗	96	64	48		灰黄	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	削り出し高台。
79	13	B2796	陶器	碗	中碗	98	68	54		浅黄橙	轆轤	鉄、灰釉	瀬戸・美濃	体部に簡略化された山水文を描く。高台は削り出し。
79	14	B2796	陶器	鉢	香炉	(110)	66	86		灰白	轆轤、貼付	鉄釉（飴釉）	瀬戸・美濃	丸ノミ状工具で半菊文を施す。
79	15	B2796	陶器	鉢	中鉢	278	94	100		にぶい赤褐	轆轤	白泥、透明釉、鉄釉	肥前	
79	16	B2796	陶器	皿	中皿	195	58	60		灰白	轆轤	灰釉	肥前	内：見込み蛇ノ目釉剥ぎ、外：高台及びその内面は無釉。
79	17	B2796	陶器	鉢	鬢水入れ	108 × 41	39	11 × 43		灰白	板作り	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	
79	18	B2796	陶器	水注	中水注	48	103	72	136	橙	轆轤、貼付	鉄釉（飴釉）、うのふ釉	瀬戸・美濃	底面に窯道具痕あり。
79	19	B2796	陶器	壺？	小壺？			43	(64)	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
80	1	B2796	土器	鍋	焙烙	(274)				明黄褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
80	2	B2796	土器	鐘	手焙り	48 × 35	97	72 × 70		明黄褐	輪積	無釉	江戸在地	底部を除く全体にミガキを施す。
80	3	B2796	土器	皿	小皿	81	20	41		黄灰	轆轤	無釉	江戸在地	被熱。全体に黒色の物質が薄く溶着、発泡痕あり。火災による？底部糸切未調整。
80	4	B2806	陶器	鉢	中鉢	273	90	100		黄灰	轆轤	白泥、透明釉、錆釉	肥前	内：印花により陰刻し白泥を施し、象嵌文様とする。外：体部下半と高台外側に錆釉を施し、見込みに目跡 7。
80	5	B2806	土器	鉢	火鉢	414	109	434	472	橙	板作り	無釉	江戸在地	角火鉢。脚部は欠損。
80	6	B2806	土器	皿	小皿	58	15	28		橙	手づくね	無釉	江戸在地	
81	1	B2798	磁器	瓶	髪油壺	20	75	65	(92)	灰白	轆轤	染付	肥前	外：蛸唐草文。
81	2	B2798	陶器	皿	小皿	92	21	49		浅黄橙	轆轤	白泥、呉須、透明釉	瀬戸・美濃	白泥を掛けた白い素地に呉須で文様を描く。内：見込み五弁花、二重圏線、格子文。外：折れ松葉文。太白焼。
81	3	B2798	陶器	皿	灯明皿	74	14	39		灰白	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	釉は主に内面に施し、外面は口縁部から流れる程度に掛ける。外：体部から底部にかけて回転ヘラケズリする。見込みに環状痕あり。また、底面にも環状の融着痕あり。
81	4	B2798	陶器	蓋	土瓶蓋	57	37		86	にぶい黄褐色	轆轤	鉄釉	不明	丸摘み。笠部外面に施釉。内面無釉。
81	5	B2798	陶器	瓶	中瓶	35				にぶい黄橙	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	徳利。
81	6	B2798	土器	鍋	焙烙					明黄褐	回転台	無釉	江戸在地	器壁高 2cm 前後。
81	7	B2799	磁器	碗	中碗	102	63	41		灰白	轆轤	染付	肥前	内：文様無し。外：遠山。一重圏線、高台二重圏線、高台内「大明年製」銘。
81	8	B2799	磁器	碗	中碗	104	59	41		灰白	轆轤	染付	肥前	外：花弁状の区画に松竹梅文。高台畳付無釉。一重圏線、高台二重圏線、高台内「大明成化年製」銘。
81	9	B2799	磁器	碗	中碗	102	56	41		灰白	轆轤	白磁	肥前	
81	10	B2799	磁器	皿	小皿	135	35	80		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み五弁花、墨弾き波、梅花文。外：唐草文。一重圏線、高台二重圏線、高台内「成化年製」銘。
81	11	B2799	磁器	鉢	猪口	77	51	49		灰白	轆轤	染付	肥前	外：花、枝、岩。底部付近一重圏線と二重圏線。高台内一重圏線、「大明年製」。
81	12	B2799	磁器	鉢	蓋物	106	82	61		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：三段に分けて横縞文。高台二重圏線、高台内一重圏線。第 81 図 15 とセット。
81	13	B2799	磁器	鉢	香炉	134	100	83		灰白	轆轤、型押し	染付	肥前	口縁端部は内側に折り返し、墨弾き、ダミ。内：無釉。外：口縁部雷文。体部楼閣山水文。二重圏線、高台二重圏線。高台外側を面取り。
81	14	B2799	磁器	瓶	筆立て	31	88			灰白	板作り	染付	肥前	外：コンニャク印判の龍文、唐草文。口縁部唐草文。
81	15	B2799	磁器	蓋	蓋物蓋	99	30			灰白	轆轤	染付	肥前	第 81 図 12 とセット。かえり外側から笠端部まで無釉。外面横縞文様。摘み内に砂粒付着。
81	16	B2799	土器	皿	小皿	118	24	66		橙	轆轤	染付	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
81	17	B2799	土器	皿	小皿	58	14	31		橙	轆轤	染付	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
81	18	B2805	磁器	碗	中碗	99	48	41		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：矢羽根文、氷裂文、高台脇一重圏線。
81	19	B2805	磁器	碗	中碗	99	53	39		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明年製」銘。
82	1	B2843	磁器	碗	中碗	109	62	44		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み文様、二重圏線、口縁部一重圏線。外面：笹葉ほか、高台二重圏線。「大明」銘。高台畳付無釉。
82	2	B2843	磁器	碗	中碗	112	62	46		灰白	轆轤	上絵付	肥前	上絵付を施す。
82	3	B2843	磁器	碗	中碗	96	57	37		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：コンニャク印判流水桜花文、手書き流水文、鳥。コンニャク印判に流水を手書きで書き加え。一重圏線、高台二重圏線。高台内一重圏線、高台内崩した「大明年製」銘。

第 23 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（22）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
82	4	B2843	磁器	碗	小碗	88	47	37		灰白	轆轤	染付	肥前	外面:貝、水草。一重圏線、高台二重圏線、高台内「大明年製」銘。
82	5	B2843	磁器	碗	小坏	74	48	36		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文、蛇篭、雲、鳥。口縁部二重圏線、一重圏線、高台二重圏線、高台内「宣徳年製」銘。
82	6	B2843	磁器	碗	小碗	62	40	27		灰白	轆轤	染付	肥前	外：笹葉ほか、高台二重圏線。「大明」銘。高台畳付無釉。
82	7	B2843	磁器	碗	紅猪口	65	31	24		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判雪輪文。手描き折れ松葉。
82	8	B2843	磁器	鉢	猪口	102	67	49		灰白	轆轤	染付	肥前	外：花卉文。口縁部二重圏線、一重圏線、高台二重圏線、高台内「宣徳年製」銘。
82	9	B2843	磁器	壺	中壺		(88)	54		灰白	轆轤、ヘラ切り	染付	肥前	外：丸文。轆轤で成形し、胴部外面はヘラ切りにより平面を作る。高台の外側を面取り。
82	10	B2843	磁器	碗	仏飯器	76	66	37		灰白	轆轤	染付	肥前	外：蔓草？。一重圏線、高台二重圏線。底部無釉。
82	11	B2843	陶器	碗	中碗	96	57	31		灰白	轆轤	上絵付	京・信楽	上絵付で花文様を描く。
82	12	B2843	陶器	碗	中碗	110	79	49		灰白	轆轤	呉須	肥前	外:唐草文。呉須で唐草文を描き、透明釉を掛ける。畳付無釉。陶胎染付。
82	13	B2843	磁器	皿	小皿	133	32	47		灰白	轆轤	青緑釉、透明釉	肥前	内：青緑釉、蛇ノ目釉剥ぎ。外：透明釉。高台外側面取り。
82	14	B2843	陶器	皿	小皿	123	24	67		灰黄	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	付け高台。高台内無釉。見込みに目跡３。
82	15	B2843	陶器	鉢	擂鉢	181	56	80		灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	
82	16	B2843	陶器	皿	小皿	112	43	40		灰黄	轆轤	灰釉	京・信楽	削り出し高台。内：見込みに鉄絵で松葉文を描く。
82	17	B2843	陶器	鉢	擂鉢	344	158	132		灰白	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	底部糸切未調整。体部上から底部にかけて回転ヘラケズリを施す。摺目 16 条 / 単位。底面釉拭き取り、目跡１。見込み摺目は放射状。
82	18	B2843	陶器	瓶				72	83	にぶい赤褐	轆轤		不明	刻印判読不能。
82	19	B2843	陶器	皿	灯明皿	104	22	48		褐	轆轤	錆釉	瀬戸・美濃	外：体部上位から底部にかけて回転ヘラケズリ。内：見込み環状痕、内外面に煤付着。
82	20	B2843	土器	鍋	焙烙	254				明褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
82	21	B2843	土器	鉢	焼塩壺身	63	95	46	68	明赤褐	輪積	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
82	22	B2843	土器	鉢	焼塩壺身	62	103	46	72	明赤褐	輪積	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
82	23	B2843	土器	皿	中皿	179	32	102		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。口縁部に煤付着。
82	24	B2843	土器	皿	小皿	120	23	68		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。口縁部に煤付着。
82	25	B2843	土器	皿	小皿	73	16	40		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。口縁部に煤付着。
82	26	B2843	土器	皿	小皿	57	13	33		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。口縁部に煤付着。
83	1	B2847	磁器	碗	大碗	156	79	60		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み亥五弁花（コンニャク印判）、二重圏線。外：草花文。高台内一重圏線、「大明年製」銘。
83	2	B2847	磁器	碗	中碗	108	62	44		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文。高台内一重圏線、「大明年製」銘。
83	3	B2847	磁器	碗	中碗	102	56	38		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判（馬）、草文。高台内一重圏線及び「大明年製」銘。
83	4	B2847	磁器	碗	中碗	99	56	36		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判（五葉若葉文）に草花文と雁金を筆で描く。高台内一重圏線、「大明年製」銘。
83	5	B2847	磁器	碗	小碗	85	49	32		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判折枝紅葉文。
83	6	B2847	磁器	碗	小碗	81	48	34		灰白	轆轤	染付	肥前	外：海老文様。高台内一重圏線、「大明年製」銘。
83	7	B2847	磁器	碗	小碗	81	48	29		灰白	轆轤	染付	肥前	外：雨降り文、井桁。
83	8	B2847	磁器	碗	小碗	86	47	34		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文、雁金。高台内一重圏線、「大明年製」銘。
83	9	B2847	磁器	碗	小碗	84	48	34		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文、雪輪。遠山。
83	10	B2847	磁器	碗	小碗	(66)	23	30		灰白	轆轤	染付	肥前	外：折松葉文。
83	11	B2847	磁器	碗	小碗	(66)	27	25		灰白	轆轤	染付	肥前	外：雨降り文、井桁。
83	12	B2847	磁器	碗	仏飯器	49	60	33		灰白	轆轤	染付	肥前	外：桐文散らし。
83	13	B2847	磁器	碗	仏飯器	(62)	61	34		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文。
83	14	B2847	磁器	皿	小皿	49	14		—	灰白	型押し	白磁、上絵付	肥前	鮑の貝殻を象る。貝殻の外側を外面とする。内面：上絵付で赤と黒を使い波ほかを描く。外面:貝殻側面を赤色で塗る。
83	15	B2847	磁器	蓋	合子蓋	48	10			灰白	型押し	染付	肥前	外:陽刻文(卍崩し文)。呉須３箇所。内面は口縁部付近無釉。
83	16	B2847	磁器	蓋	蓋物蓋	84	22			灰白	轆轤	青磁	肥前	
83	17	B2847	磁器	瓶	仏花瓶	93	146	53		灰白	轆轤	青磁	肥前	高台畳付無釉、砂付着。
83	18	B2847	陶器	碗	中碗	(118)	82	50		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	不明	高台畳付けを除き、灰釉を全面に施す。
83	19	B2847	陶器	碗	中碗	100	66	48		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	内：灰釉。外：灰釉、下位は高台内まで鉄釉を施し、畳付は無釉。体部に３条の沈線と押圧あり。
83	20	B2847	陶器	碗	中碗	(101)	65	52		灰白	轆轤	鉄、透明釉	京・信楽	外：楼閣山水文を精緻に描く。鉄は濃度を変えて、帆掛け船などを描く。高台及びその周辺を除き透明釉を施釉。高台内中央に円形の浅い陰刻あり。
83	21	B2847	陶器	碗	中碗	106	61	39		灰黄	轆轤	白泥、透明釉	肥前	内外：白泥で巻刷毛目を描き、透明釉を施す。
83	22	B2847	陶器	碗	小碗	78	36	40		浅黄	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	
83	23	B2847	陶器	鉢	香炉	(143)	44	(100)		灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	被熱。内面見込みと底部外面を除き鉄釉を施す。
83	24	B2847	陶器	鉢	練鉢	163	98	80		灰白	轆轤	灰釉、	瀬戸・美濃	片口の可能性あり。高台とその周辺を除き内外面に灰釉を施し、織部釉（緑釉）を流し掛けする。見込みに目跡３。
83	25	B2847	陶器	鉢	鬢水入れ	120 × 44	41	125 × 46		灰	板作り	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	鉄絵は長側面に２箇所、型紙摺りにより、草花文を描く。底面のみ無釉。
83	26	B2847	陶器	鐘	火もらい			96	(124)	浅黄	轆轤	鉄釉、うのふ釉	瀬戸・美濃	
83	27	B2847	陶器	蓋		76	17			灰白	轆轤	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	底面をヘラ切り。内：文様は鉄絵で型紙摺り。外：体部は回転ヘラケズリを施す。
84	1	B2847	陶器	鉢	擂鉢	(224)	93	83		にぶい赤褐	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	底部糸切未調整。内：摺目 15 条／単位。体部は回転ヘラケズリを施す。
84	2	B2847	陶器	鉢	擂鉢	(360)	151	138		灰白	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	底部糸切未調整。内：摺目 16 条／単位。見込み、底面に目跡各 4。
84	3	B2847	土器	鍋	焙烙	(249)				明黄褐		無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
84	4	B2847	土器	鍋	焙烙	(270)				浅黄橙		無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。口縁部玉縁状。
84	5	B2847	土器	鍋	焙烙	(270)				にぶい黄橙		無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
84	6	B2847	土器	鉢	焼塩壺身	61	97	58	82	にぶい黄橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
84	7	B2847	土器	鉢	焼塩壺身	63	98	53	75	橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
84	8	B2847	土器	皿	小皿	79	18	42		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、口縁部煤付着。
84	9	B2847	土器	皿	小皿	80	19	40		明黄褐	不明	無釉	江戸在地	底部ナデ。
84	10	B2847	土器	皿	小皿	82	17	44		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、口縁部煤付着。
84	11	B2847	土器	皿	小皿	104	22	53		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。口縁部煤付着。
84	12	B2847	土器	皿	小皿	107	20	62		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
84	13	B2847	土器	皿	小皿	108	28	67		明黄褐	不明	無釉	江戸在地	底部同心円文痕跡、口縁部煤付着。
84	14	B2847	土器	皿	五寸皿	137	25	82		浅黄橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、口縁部煤付着。

第 24 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（23）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
85	1	B2849	磁器	碗	大碗	148	71	60		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み環状松竹梅文。二重圏線、口縁部四方襷文。外：牡丹、岩。高台外面二重圏線。
85	2	B2849	磁器	碗	小碗	88	44	36		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込みコンニャク印判五弁花、二重圏線。外：二重網目文。
85	3	B2849	磁器	碗	小碗	76	36	26		灰白	轆轤	染付	肥前	外：菊文散らし、氷裂文。
85	4	B2849	磁器	碗	小碗	60	24	26		灰白	轆轤	染付	肥前	外：笹葉文。
85	5	B2849	磁器	碗	仏飯器	76	60	36		灰白	轆轤	白磁	肥前	
85	6	B2849	磁器	皿	五寸皿	139	32	74		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込みコンニャク印判五弁花、二重圏線、花唐草文、蛇ノ目釉剥ぎ。外面文様無し。高台畳付は無釉で目砂付着。
85	7	B2849	陶器	碗	小碗	79	58	38		灰黄	轆轤	透明釉、呉須	京・信楽？	高台及びその周辺を除き施釉する。外面体部に松、茄子？文字等を描く。
85	8	B2849	陶器	碗	大碗	138	63	52		橙	轆轤	透明釉、白泥	肥前	高台及びその周辺は回転ヘラケズリを施し、無釉。内外面は白泥により打ち刷毛目を施す。
85	9	B2849	陶器	碗	中碗	101	69	46		にぶい赤褐	轆轤	透明釉	肥前	
85	10	B2849	陶器	碗	中碗	107	57	40		黄灰	轆轤	白泥、透明釉	肥前	内外面ともに白泥により巻刷毛目を施す。目砂付着。
85	11	B2849	陶器	碗	中碗	90	55	40		にぶい黄橙	轆轤	透明釉、呉須	瀬戸・美濃	内：呉須で楼閣山水文を描く。
85	12	B2849	陶器	皿	小皿	130	28	82		浅黄	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	付け高台。内：見込みに型紙摺りによる鉄絵で草花文。目跡３。内面底部と体部の境界に沈線あり。外面は体部下位から底部にかけてヘラケズリする。
85	13	B2849	陶器	壺	小壺	72	110	66		灰白	轆轤、貼付	灰釉	瀬戸・美濃	耳貼付。高台及びその周辺を除き鉄釉する。口縁部は釉剥ぎする。内面全体に鉄分が付着する。
85	14	B2849	陶器	水注	小水注	48	108	72	154	灰黄	轆轤、貼付	鉄釉（飴釉）	瀬戸・美濃	注口部と把手は貼付けによる。口縁は頂部を釉剥ぎする。削り出し高台。
85	15	B2849	陶器	水滴			17	33	64	灰白	型押し、貼付	灰釉	瀬戸・美濃	梅花文の陽刻あり。
85	16	B2849	陶器	器台	灯明受皿	79	57	67	145		轆轤	鉄釉（飴釉）、うのふ釉	瀬戸・美濃	芯立部は口縁部が僅かに外反し内側に折り返して肥厚させる。口縁部端は釉を拭き取り、窯道具痕とみられる重ね焼きの痕跡が残る。高台は内側を削り込み底部周辺を含め釉を拭き取る。受皿部は口縁部端を内側に折り返す。芯立部、受皿部の内面に部分的にうのふ釉を掛ける。
85	17	B2849	土器	鉢	焼塩壺身	65	96	52	76	淡黄	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
85	18	B2849	土器	乗燭	タンコロ	40	16	28		橙		無釉	江戸在地	芯立頂部は煤付着。底面糸切未調整。
85	19	B2849	土器	皿	五寸皿	156	33	90		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底面糸切未調整。
85	20	B2875	陶器	鉢	小鉢	121	69	44		浅黄	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	高台の畳付及び内面は釉を拭き取る。口縁部の内外面２箇所に、縦縞状に呉須で文様を描く。削り出し高台。
85	21	B2875	陶器	碗	中碗	99	62	50		灰白	轆轤	灰釉、錆釉	瀬戸・美濃	腰錆碗。内面と外面の上半に灰釉、外面の下半に錆釉を掛け、体部下位に２条の沈線が巡る。
86	1	B2889	磁器	鉢	蓋物	78	39	40		灰白	轆轤	染付	肥前	内：文様無し、外：松、竹、梅文、一重圏線。
86	2	B2889	磁器	鉢	猪口	84	55	42		灰白	轆轤	染付	肥前	内：文様無し、外面：菊、二重圏線、高台内一重圏線、「大明年製」銘。
86	3	B2889	陶器	碗	中碗	96	55	32		灰白	轆轤	透明釉、上絵付（赤、青、白か）	京・信楽	高台とその周辺を除き施釉。体部に草花文の上絵付あり。
86	4	B2889	陶器	鉢	蓋物	96	72	54		橙	轆轤	透明釉、白泥	不明	口縁部端とその内面側は釉を拭き取り。外面は白泥で巻刷毛目を施す。
86	5	B2889	陶器	鉢	片口	120	87	86	14	浅黄橙	轆轤、貼付	鉄釉（飴釉）、うのふ釉	瀬戸・美濃	高台とその周辺を除き施釉。うのふ釉は口縁部から部分的に体部に掛け流す。草花文の上絵付あり。見込みに目痕３箇所あり。高台畳付に目跡３。
86	6	B2889	陶器	鉢	擂鉢	204	57	82		灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	内：櫛目９条 / 単位。見込みは環状に摺目を入れる。外：底部糸切未調整。底部中央は無釉。
86	7	B2889	陶器	壺						灰白		無釉	丹波？	
86	8	B2889	土器	皿	小皿	78	13	44		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
86	9	B3023 上層	陶器	鉢	小鉢		58	58		灰白	型打ち？	透明釉	京・信楽？	高台とその周辺を除き施釉。内：見込みには３箇所の目跡あり、また圏線状に巡る沈線あり。口縁はヘラ切りにより花弁状につくる。全体的に被熱しているが、表面が部分的に溶融していることから、火災によると考えられる。
86	10	B3023 上層	陶器	鉢	小鉢	(108)	53	63		灰	轆轤	呉須、長石釉	不明	カクラン出土遺物と接合。高台が碁笥底につくり、無釉。高台を除く内外面に施釉。外面口縁部に呉須で雷文を描く。器面全体に貫入がみられる。
86	11	B3023 上層	陶器	鉢	小鉢	119	31	56		灰	轆轤	灰釉	不明	刻印「清水」。
86	12	B3023 上層	土器	鉢	焼塩壺身	59	93	59	76	にぶい赤褐	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
86	13	B3023 下層	陶器	碗	中碗	(126)	(67)	(72)		灰白	轆轤、貼付	灰釉、長石釉？鉄	京・信楽？	全体的に被熱しており、火災によるものとみられる。高台とその周辺を除き施釉。内面は灰釉？を施し、内面口縁部と外面は長石釉？を施す。高台は幅広に作る。外面体部上位に鉄絵で蕉葉状の葉を描き、ボタン状の突出部を貼付する。茶器。
86	14	B3024	陶器	瓶？			(25)	(44)		灰白	轆轤	長石釉、鉄	瀬戸・美濃	徳利。江戸後期織部。
86	15	B3024	陶器	瓶	中瓶	43	(77)			灰	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	口縁～肩部まで。口縁は外側に折り返し、垂下する。
87	1	B2952	磁器	碗	大碗	159	75	60		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み草花文、二重圏線、口縁部一重圏線。外：梅花文、雲、一重圏線、高台二重圏線。
87	2	B2952	磁器	碗	中碗	103	54	45		灰白	轆轤	染付	肥前	外：雨降り文、高台二重圏線、高台内一重圏線、銘あり。口銹。
87	3	B2952	磁器	碗	中碗	103	50	37		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文、岩。薄手。
87	4	B2952	磁器	碗	中碗	98	53	40		灰白	轆轤	染付	肥前	外：松、竹、梅文。
87	5	B2952	磁器	碗	中碗	103	55	41		灰白	轆轤	染付	肥前	外：山水文、帆掛け船、一重圏線、高台二重圏線、高台内銘あり。
87	6	B2952	磁器	碗	中碗	104	55	45		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判鉄絵文（枝と蔓を手描き）、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、銘款あり。
87	7	B2952	磁器	碗	小碗	53	35	23		灰白	轆轤	染付	肥前	外：若松、蔵。
87	8	B2952	磁器	鉢	蓋物	61	31	32		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：氷列裂文。
87	9	B2952	磁器	碗	小碗	64	26	30		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判桜花文？
87	10	B2952	磁器	碗	仏飯器	81	61	43		灰白	轆轤	染付	肥前	外：楼閣山水文。
87	11	B2952	磁器	碗	仏飯器	74	57	39		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判桐文。
87	12	B2952	磁器	碗	仏飯器	58	54	34		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：草花文？。
87	13	B2952	磁器	鉢	猪口	71	50	40		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文。高台内「福」字銘
87	14	B2952	磁器	瓶	髪油壺			64		灰白	轆轤	染付	肥前	外：薄文、波、一重圏線、高台二重圏線。高台畳付は外側を面取りする。
87	15	B2952	磁器	瓶	小瓶			35		灰白	轆轤	青磁	肥前	高台は碁笥底状。畳付外側を僅かに面取りする。口縁部欠損。
87	16	B2952	磁器	水注	水滴	92	27	51		灰白	型押し	染付	肥前	外：型押しにより波、草花文、枠を陽刻。呉須で草花文、ダミを施す。背面は布目あり。下面は無釉。

第 25 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（24）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
87	17	B2952	陶器	碗	中碗	100	69	41		灰黄	轆轤	透明釉	肥前	高台畳付は外側を面取り、釉剥ぎする。
87	18	B2952	陶器	碗	中碗	100	76	55		灰白	轆轤	錆釉、灰釉	瀬戸・美濃	内面及び外面の体部上半に灰釉、高台畳付を除く底部及び体部下半に錆釉を施す。
87	19	B2952	磁器	碗	中碗	93	56	47		灰白	轆轤	鉄、透明釉	肥前	外：体部に鉄絵で楼閣山水文を描く。高台内は中央に螺旋形の線刻あり。
87	20	B2952	陶器	碗	小碗	61	36	23		灰黄	轆轤	灰釉、上絵付	京・信楽	高台は外側を面取りする。高台内は中央に螺旋状の削り痕あり。笹葉文の上絵付。
87	21	B2952	陶器	鉢	香炉	118	73	85		浅黄橙	轆轤、貼付け	鉄釉（飴釉）	瀬戸・美濃	
87	22	B2952	陶器	鉢	香炉	80	43	80		浅黄橙	轆轤、貼付け	鉄釉（飴釉）	瀬戸・美濃	外：半菊文を丸ノミ状工具で施す。
87	23	B2952	陶器	鉢	鬢水入れ	132	29	132		灰白	板作り	錆釉、透明釉	京・信楽	内：底部に透明釉。外：側面に錆釉。側面は施釉後に工具で格子状に器面を掻き取って陰刻する。
87	24	B2952	陶器	瓶	小瓶			34	60	にぶい赤褐	轆轤	柿釉（水泥）	不明	胴部は指押さえで 4 箇所を凹ませ、さらにノミ状工具により縦方向に 4 箇所沈線を施す。頸部は段を設ける。底部糸切未調整。
88	1	B2952	陶器	碗	中碗	91	61	47		灰白	轆轤		肥前	刻印。外：鉄絵で楼閣山水文。
88	1	B2952	陶器	皿	五寸皿	150	34	82		灰白	轆轤	御深井釉	瀬戸・美濃	削り出し高台。高台内面及び畳付を除く内外面に施釉。内：見込みに摺絵状の鉄絵（雁）。
88	3	B2952	陶器	鉢	大鉢	292	97	108	298	にぶい赤褐	轆轤	白泥、鉄釉、透明釉	肥前	唐津・武雄系。内面に印花で文様を施し、白泥により象嵌とする。内面及び外面の体部上半に透明釉を掛ける。体部下半は口縁部付近まで鉄釉を施す。高台及びその周辺と、体部中位は露胎である。内面見込みに胎土目痕が 6 箇所あり、目砂が付着。
88	4	B2952	土器	鍋	焙烙	252				橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。外面は全面的に煤付着。
88	5	B2952	土器	鍋	焙烙	281								無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
88	6	B2952	土器	器台	灯明受皿		31	60	90	黒褐	轆轤	無釉	江戸在地	油溝半月状。底部糸切未調整。
88	7	B2952	土器	蓋	焼塩壺蓋	77	20		76	黄橙	型押し	無釉	近畿	
88	8	B2952	土器	鉢	焼塩壺身	73	42	61	98	淡黄	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
88	9	B2952	土器	鉢	焼塩壺身	(60)	(97)	56	(75)	明赤褐	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
88	10	B2952	土器	皿	小皿	56	10	3.2		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
88	11	B2952	土器	皿	小皿	60	13	35		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
88	12	B2952	土器	皿	小皿	76	17	40		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
88	13	B2952	土器	皿	小皿	76	15	38		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
88	14	B2952	土器	皿	小皿	100	21	40		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
88	15	B2952	土器	皿	小皿	132	26	70		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
89	1	B3025	磁器	碗	中碗	108	59	40		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：見込み草花文？一重圏線、口縁部不明文様。外：口縁部一重圏線、花唐草文、一重圏線、高台二重圏線。
89	2	B3025	磁器	碗	小碗	86	58	30		灰白	轆轤	染付	肥前	内:見込み蝶文？二重圏線、口縁部四方襷文。外:撫子、渦。高台二重圏線。
89	3	B3025	磁器	碗	小碗	76	59	38		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み五弁花、二重圏線、口縁部四方襷文。外：菊花文散らし、格子文。高台脇一重圏線、、高台二重圏線。
89	4	B3025	磁器	碗	小碗	88	47	32		灰白	轆轤	染付	肥前	外：口縁部一重圏線、放射文、一重圏線、高台二重圏線。
89	5	B3025	磁器	碗	小碗	80	42	30		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文。
89	6	B3025	磁器	蓋	碗蓋	92	23		34	灰白	轆轤	染付	肥前	内:見込み吉祥雲、一重圏線、口縁部二重圏線。外:「壽」字文、吉祥雲文。摘み脇一重圏線、摘み二重圏線。摘み端部釉剥ぎ。
89	7	B3025	陶器	碗	中碗	121	52	36		灰黄	轆轤	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	柳茶碗。外：鉄絵柳文様。
89	8	B3025	陶器	碗	中碗	(119)	6.9	54		橙	轆轤	白泥、鉄、透明釉	瀬戸・美濃	内：白泥を施釉。外：白泥で花、鉄絵で枝を描き、全体に透明釉を掛ける。高台畳付は無釉。
89	9	B3025	陶器	碗	中碗	116	43	3.5		灰白	轆轤	透明釉	京・信楽	高台畳付は外側を面取りする。
89	10	B3025	陶器	皿	小皿	(129)	38	58		灰白	轆轤	呉須、透明釉	瀬戸・美濃	内：見込み五弁花、一重圏線、花唐草文。高台畳付を除き透明釉を総掛けする。
89	11	B3025	陶器	皿	小皿	78	18	39		灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	内面及び外面口縁部に施釉。外面は体部下半から底部にかけて回転ヘラケズリ。
89	12	B3025	陶器	甕	小甕	119	83-85	66		橙	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	内面及び外面上半に施釉。口縁端部は釉剥ぎ。底部中央を焼成後穿孔し、植木鉢として転用する。底部糸切未調整。
89	13	B3025	陶器	蓋			24		87	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	摘み及び笠部上面を施釉する。笠部下面は回転ヘラ切り。
89	14	B3025	陶器	蓋	小壺蓋		16		44	浅黄	手びねり	鉄釉	瀬戸・美濃	摘み及び笠部上面のみ施釉。
89	15	B3025	土器	器台	灯明受皿	77	76	75	47	明褐	轆轤	透明釉	江戸在地	油溝半月状。脚部底面無釉。
89	16	B3025	土器	鍋	焙烙					灰黄	回転台	無釉	江戸在地	深め、器壁高 2cm 前後。
89	17	B3025	土器	乗燭	たんころ	78	35	35		橙	不明	透明釉	江戸在地	丸形、底部軸孔あり。透明釉を総掛けする。
89	18	B3025	土器	皿	小皿	133	26	7 0		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、口縁部に煤付着、轆轤左回転。
89	19	B3025	土器	皿	小皿	107	21	55		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、口縁部に煤付着、轆轤左回転。
89	20	B3028	土器	鍋	焙烙					橙	回転台	無釉	江戸在地	深め、器壁高 2cm 前後。
89	21	B3039	磁器	碗	中碗	(98)	55	36		灰白	轆轤	染付	肥前	外：五葉若葉文。高台内銘有。高台畳付無釉。
89	22	B3039	磁器	碗	小杯	(52)	42	25		灰白	轆轤	染付	肥前	外:楼閣山水文、帆掛け船。口縁部一重圏線、高台一重圏線。高台畳付無釉。
89	23	B3039	磁器	蓋	碗蓋	77	23		26	灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：楓文及び折れ松葉文散らし。内：楓文、折れ松葉文。
89	24	B3039	陶器	小皿	丸形	(130)	35	51		灰白	轆轤	呉須、透明釉	瀬戸・美濃	内：呉須で五弁花、唐草文を描く。高台に窯道具溶着あり。
89	25	B3039	土器	器台	灯明受皿	75	70	(70)	48	橙	轆轤	透明釉	江戸在地	油溝半月状。底部はヘラケズリ。底部を除く全体に透明釉を掛ける。
90	1	B3070	陶器	碗	大碗	123	60	42		灰白	轆轤	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	柳茶碗。体部に鉄絵で柳を描く。
90	2	B3084	陶器	碗	中碗	119	49	49		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	削り出し高台。腰部の屈折は不明瞭で、体部は口縁部にかけて僅かに外反する。体部下位に沈線が巡る。
90	3	B3084	土器	鉢	火鉢	(196)	90	132		明褐	輪積	無釉	江戸在地	口縁端部は肥厚する。内面に煤付着。
90	4	B3215	磁器	碗	中碗	100	52	36		灰白	轆轤	染付	肥前	外：竹、氷裂、高台内角渦「福」字銘。
90	5	B3215	磁器	碗	中碗	93	54	35		灰白	轆轤	染付	肥前	外：楼閣山水文、滝。
90	6	B3215	磁器	碗	小碗	62	31	23		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文。
90	7	B3215	磁器	皿	小皿	(131)	30	(86)		灰白	轆轤	染付	肥前	内コンニャク印判（葉、果実か）、二重圏線。外：一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。
90	8	B3215	陶器	碗	中碗	108	56	39		灰白	轆轤	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	体部に鉄絵で笹葉文を描く。
90	9	B3215	陶器	碗	中碗	95	62	48		灰白	轆轤	錆釉	不明	
90	10	B3215	陶器	碗	中碗	92	59	30		浅黄	轆轤	透明釉、上絵付	瀬戸・美濃	内：文様無し、外：笹葉、唐草文の上絵付。
90	11	B3215	陶器	碗	小碗	90	64	(56)		灰白	轆轤	透明釉、呉須、鉄	京・信楽	体部に呉須鉄絵で水仙を描く。鉄で文字「水中仙子来」。口銹。
90	12	B3215	陶器	鉢	擂鉢	200	70	79		浅黄	轆轤	錆釉	瀬戸・美濃	外：体部下半は回転ヘラケズリ。内：摺目 13 条 / 単位。見込み摺目同心円状。底部糸切未調整。
90	13	B3215	陶器	瓶	仏花瓶	68	132	63		灰白	轆轤、貼付	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	上半に灰釉、下半に鉄釉を掛け分け。底部糸切未調整。轆轤左回転。

第 26 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（25）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
90	14	B3215	陶器	秉燭	台付たんころ形	55	61	53		灰白	轆轤	鉄釉（黒釉）	瀬戸・美濃	台付たんころ形、底部軸孔。芯立欠損。底部を除く全面に施釉。底部糸切未調整。轆轤左回転。
90	15	B3215	陶器	壺	中壺	94	140	98	14.2	灰白	轆轤、貼付	鉄釉（飴釉）	瀬戸・美濃	底部はヘラケズリ調整。
90	16	B3215	土器	鍋	焙烙	260				橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。口縁部玉縁状。
90	17	B3215	土器	鍋	焙烙					橙	回転台	無釉	江戸在地	深め、器壁高 4cm 前後。口縁部玉縁状。
90	18	B3215	土器	鍋	焙烙					橙	回転台	無釉	江戸在地	深め、器壁高 2cm 前後。口縁部玉縁状。
90	19	B3215	土器	鉢	焼塩壷身	61	94	54	74	橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
90	20	B3215	土器	皿	小皿	58	10	28		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
90	21	B3215	土器	皿	小皿	78	17	38		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。内外面に付着物あり。
91	1	B3223	磁器	碗	中碗	100	53	40		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：コンニャク印判＋手描きで海老文様、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明年製」銘。
91	2	B3223	磁器	碗	小碗	88	49	34		灰白	轆轤	染付	肥前	：丸文散らし。丸に楼閣山水文、横縞文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明年製」銘。
91	3	B3223	磁器	碗	小碗	86	49	36		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判菊花文、一重圏線、高台二重圏線。
91	4	B3223	磁器	碗	大碗	159	68	70		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み草花文、二重圏線、口縁部一重圏線。外：体部青磁釉、高台内「大明成化年製」銘。口銹。B2847 号出土片と接合。
91	5	B3223	磁器	碗	仏飯器	82	54	46		灰白	轆轤	染付	肥前	外：花唐草文、一重圏線、高台一重圏線。
91	6	B3223	陶器	碗	中碗	108	71	38		にぶい赤褐	轆轤	白泥、透明釉	肥前	現川系。内：刷毛目、外：刷毛目。高高台畳付に砂付着。
91	7	B3223	陶器	碗	大碗	159	68	70		灰白	轆轤	御深井釉	瀬戸・美濃	体部下半は指オサエにより複数個所を凹ませる。
91	8	B3223	陶器	碗	中碗	114	53	42		にぶい赤褐	轆轤	白泥、鉄、透明釉	肥前	現川系。内：巻刷毛目、外：巻刷毛目、鉄絵草花文？高台畳付に砂付着。
91	9	B3223	陶器	碗	中碗	92	54	42		灰黄	轆轤	天目釉（鉄釉）	瀬戸・美濃	天目碗。削り出し高台。
91	10	B3223	磁器	碗	小碗	54	33	22		灰白	轆轤	染付	肥前	外：文様不明。
91	11	B3223	陶器	鉢	灰吹	52	76	54		灰黄	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	内：口縁部のみ施釉、外：底部を除き施釉。平底で、底面周囲を面取りする。
91	12	B3223	陶器	水注	中水注	45	103	68		灰白	轆轤、貼付	鉄釉（飴釉）	瀬戸・美濃	把手は一部欠損。把手及び中後部は貼付。削り出し高台。高台及びその周辺を除く内外面に施釉。肩部に螺旋文様あり。底部に窯道具痕あり。
91	13	B3223	陶器	皿	灯明皿	106	22	52		灰白	轆轤	鉄釉	志戸呂	外部は体部上半から底部にかけてケズリ。
91	14	B3223	陶器	器台	灯明受皿	118	27	52	74	灰白	轆轤	鉄釉	志戸呂	油溝アーチ状。
91	15	B3223	土器	鉢	火鉢	300	172	210	306	橙	輪積	無釉	江戸在地	内面の煤の付着は上半が顕著。外面：体部に沈線及び刺突による文様。
91	16	B3223	土器	器台	灯明受皿	102	48	54	72	橙	轆轤、貼付	透明釉	不明	油溝逆台形。
91	17	B3223	土器	鍋	焙烙	280				灰黄	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。底部煤付着。
91	18	B3223	土器	鍋	焙烙	297	(74)			灰黄	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 2cm 前後。口縁部玉縁状。
91	19	B3223	土器	鉢	焼塩壷身	(64)	(98)	53	78	にぶい黄橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
91	20	B3223	土器	皿	小皿	82	174			明褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、口縁部煤付着。轆轤左回転。
91	21	B3223	土器	皿	小皿	84	19	42		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、口縁部煤付着。轆轤左回転。
91	22	B3223	土器	皿	小皿	63	12	38		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
92	1	B3263	磁器	皿	小皿	(106)	27	(66)		灰白	轆轤	染付		
92	2	B3263	陶器	碗	小碗	(86)	62	46		灰白	轆轤	鉄、灰釉	京・信楽？	外：鉄絵で樹木、「随風飛」の文字を描く。口縁部は口銹。
92	3	B3263	陶器	鐘	瓦灯		86	207	87	浅黄橙	輪積ほか	無釉	江戸在地	底面に木目状痕跡あり。体部内外面及び受部は回転ナデ。
92	4	B5025	陶器	鉢	擂鉢					灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	口縁部のみ。
92	5	B5025	陶器	瓶	中瓶？	38				灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	徳利。口縁、肩部のみ。肩部に螺旋文あり。
92	6	B5042	陶器	皿	灯明皿	105	26	51		浅黄	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	内面及び外面体部に施釉。外面底部は釉拭き取り。見込み環状痕。体部中位から下位にかけて回転ヘラケズリ。底部ヘラケズリ。
92	7	B5042	土器	鍋	焙烙					明黄褐	回転台	無釉	江戸在地	器壁高 2cm 前後。
92	8	B5048	磁器	碗	中碗	98	56	62		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み不明文様、一重圏線、口縁部二重圏線。外：楼閣山水文、一重圏線。高台畳付無釉。
92	9	B5048	土器	鍋	焙烙					にぶい褐	回転台	無釉	江戸在地	深め、器壁高 4cm 前後。。
92	10	B5074	陶器	鉢	香炉	125	129	108		暗灰黄	ヘラ		不明	牡丹の花を象ったと考えられる。蓋が付く。
92	11	B5074	土器	鉢	焼塩壷身	58	98	50	75	明赤褐	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
93	1	B5082	磁器	碗	大碗	144	69	54		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み花文、二重圏線、口縁部四方襷文。外：松林、鶴。一重圏線、高台二重圏線。
93	2	B5082	磁器	碗	中碗	98	51	35		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み宝珠文、一重圏線、口縁部二重圏線。外：花卉文、高台二重圏線。
93	3	B5082	磁器	碗	中碗	107	54	36		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み陰陽文、一重圏線、口縁部二重圏線。外：八卦文、一重圏線、高台二重圏線。
93	4	B5082	磁器	碗	中碗	103	54	56		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み花卉文、一重圏線、口縁二重圏線。外：草花文。
93	5	B5082	磁器	中碗	中碗	106	59	44		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み五弁花（簡略手描き）、二重圏線、口縁部四方襷文。外面：松、竹（欠損部に梅あり？）高台脇一重圏線、高台一重圏線。
93	6	B5082	磁器	碗	小碗	74	62	37		灰白	轆轤	染付	肥前	内：コンニャク印判五弁花、一重圏線、口縁部四方襷文。外面：草文、松葉文？口縁部一重圏線、高台脇一重圏線、高台二重圏線。
93	7	B5082	磁器	碗	小碗	88	56	33		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み宝珠文。外面：草花文、蝶、柴束、高台脇一重圏線、高台二重圏線。
93	8	B5082	磁器	碗	小碗	73	40	35		灰白	轆轤	染付	肥前	外：楼閣山水文？遠山。
93	9	B5082	磁器	碗	小碗	67	23	27		灰白	轆轤	白磁	肥前	
93	10	B5082	磁器	碗	小碗	54	24	15		灰白	轆轤	染付	肥前	内：文様無し。外：蛸唐草文、一重圏線、高台二重線。
93	11	B5082	磁器	皿	小皿	127	31	75		灰白	轆轤	染付	肥前	内：銀杏、酸漿、松葉。外：体部文様無し、高台上絵付桜花文。蛇ノ目凹型高台（高）。
93	12	B5082	磁器	皿	小皿	128	35	74		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み環状松竹梅文。外：唐草文。高台脇一重圏線、高台二重圏線。高台内「富貴長春」銘。蛇ノ目凹型高台（高）。
93	13	B5082	磁器	皿	小皿	130	32	84		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み月、蝶、二重圏線捻花文。、陽刻花弁及び草花文、口銹。外：唐草文、蛇ノ目凹型高台（低）。
93	14	B5082	磁器	皿	小皿	124	27	84		灰白	轆轤	染付	肥前	内：三葉文？、花弁文。外：唐草文、高台脇一重圏線、高台二重圏線。。蛇ノ目凹型高台（低）。
93	15	B5082	磁器	皿	小皿	118	21	78		灰白	轆轤	染付	肥前	内：朝顔文。面：唐草文、高台脇一重圏線、高台二重圏線。蛇ノ目凹型高台（低）。
93	16	B5082	磁器	皿	小皿	105	28	62		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み環状松竹梅文、蛸唐草文。外：唐草文。一重圏線、高台二重圏線。高台内一重圏線。
93	17	B5082	磁器	皿	小皿	106	26	58		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み墨弾き鳥文、陽刻花及び草花文、口銹。外面文様無し。

第 27 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（26）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
94	1	B5082	磁器	皿	小皿	100	22	60		灰白	轆轤	染付	肥前	内：楼閣山水文、掛け船、月。口縁部一重圏線。外：唐草文、高台脇一重圏線、高台二重圏線。高台畳付無釉。
94	2	B5082	磁器	皿	小皿	104	23	58		灰白	轆轤	染付	肥前	内面：蔓草文。外面：源氏香、高台脇一重圏線、高台一重圏線。高台畳付無釉。
94	3	B5082	磁器	鉢	小鉢	97	64	49		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み環状松竹梅文、二重圏線、口縁部文様あり。外：蛸唐草文、櫛文、高台〇×文、高台内一重圏線、「奇玉宝鼎之沈」銘。
94	4	B5082	磁器	鉢	猪口	74	58	50		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み宝珠、一重圏線、口縁部二重圏線。外：山水文、柳、一重圏線、高台二重圏線。高台畳付無釉。
94	5	B5082	磁器	瓶	髪油壺	21	74	34		灰白	轆轤	白磁	肥前	
94	6	B5082	磁器	瓶	小瓶	17	96	33	53	灰白	轆轤	染付	肥前	面：唐草文、圏線。高台畳付無釉。
94	7	B5082	磁器	瓶	小瓶	28	156	42	84	灰白	轆轤	染付	肥前	面：唐草文。高台畳付無釉、砂付着。
94	8	B5082	磁器	蓋	碗蓋	110	30		60	灰白	轆轤	染付	肥前	内：中央陰陽文、一重圏線、口縁部暦文。外：暦文、高台内一重圏線、高台内銘款。
94	9	B5082	磁器	蓋	蓋物蓋	87	27		97	灰白	轆轤	染付	肥前	外：六稜文。笠部端を除く内外面に施釉。橋状摘み。座は平坦につくる。
94	10	B5082	磁器	蓋	蓋物蓋	71	24		79	灰白	轆轤	染付	肥前	外：蛸唐草文、座二重圏線、笠端部一重圏線。笠部端を除く内外面に施釉。橋状摘み。
94	11	B5082	磁器	蓋	合子蓋	51	10		52	灰白	轆轤	染付	肥前	外：山水文、帆掛け船。
94	12	B5082	磁器	蓋	合子蓋	52	8			灰白	轆轤	染付	肥前	外：童子、蝶。笠部端無釉。
94	13	B5082	磁器	蓋	蓋物蓋	50	19		56	灰白	轆轤	染付	肥前	外：若杉文。笠部端を除く内外面に施釉。
94	14	B5082	磁器	蓋	碗蓋	91	25		50	灰白	轆轤	染付	肥前	外：楼閣山水文。内面中央鷺文、一重圏線、二重圏線。摘み端部無釉。
94	15	B5082	陶器	碗	大碗	127	57	44		浅黄橙	轆轤	白泥、灰釉	瀬戸・美濃	刷毛目碗。外：巻刷毛目。
94	16	B5082	陶器	碗	中碗	118	57	44		灰白	轆轤	緑釉（呂宋釉）	瀬戸・美濃	内面と外面口縁部は緑釉を二度掛けする。体部は飛鉋で装飾する。
94	17	B5082	陶器	碗	中碗	95	59	36		灰白	轆轤	灰釉	京・信楽	貫入が顕著にみられる。
94	18	B5082	陶器	碗	中碗	88	54	37		灰白	轆轤	灰釉、鉄	京・信楽	小杉碗。鉄絵で杉文様を描く。
94	19	B5082	陶器	碗	中碗	112	65	43		灰白	轆轤	呉須、灰釉	瀬戸・美濃	柳茶碗。高台を除き施釉する。高台外側を面取りする。呉須で簡略化された柳文様を描く。
94	20	B5082	陶器	碗	中碗	107	66	43	115	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
94	21	B5082	陶器	碗	中碗	87	64	34	93	灰白	轆轤	白泥、鉄釉、透明釉	京・信楽	内面に白泥、外面に鉄釉を施した後、体部に鉄絵（幹）と白泥（葉）の竹を描く。
94	22	B5082	陶器	碗	大碗	123	50	43		灰白	轆轤	呉須、灰釉	瀬戸・美濃	柳茶碗。高台を除き施釉する。高台外側を面取りする。呉須で簡略化された柳文様を描く。
94	23	B5082	陶器	皿	小皿	76	15	40		浅黄橙	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	内：環状痕あり。外：体部下半から底部にかけて回転ヘラケズリ、口縁部のみ施釉。
94	24	B5082	陶器	皿	小皿	106	22	46		浅黄橙	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	内：環状痕あり。外：体部下半から底部にかけて回転ヘラケズリ、体部のみ施釉。
94	25	B5082	陶器	皿	小皿	128	23	62		浅黄橙	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	内：環状痕あり。外：環状痕あり。体部下半から底部にかけて回転ヘラケズリ、体部のみ施釉。
94	26	B5082	陶器	鉢	小鉢	101	64	55		灰白	型打ち	灰釉	瀬戸・美濃	粘土を型に押し付け、内面の陰刻文様を付ける。外面は口縁部を指オサエし、輪花に作る。底部は外面を削り、碁笥底につくる。
94	27	B5082	陶器	鉢	片口	168	84	70		にぶい褐	轆轤	鉄釉	不明	把手欠損。内外面全面施釉。
95	1	B5082	陶器	皿	中皿	188	46	74		灰	轆轤	鉄、呉須、灰釉	瀬戸・美濃	内：見込みに摺絵により鉄絵で竹と鳥を描き、更に呉須で竹の葉を手描きする。内面の体部と見込み（底部）の境に稜線がめぐる。削り出し高台。
95	2	B5082	陶器	皿	小皿	96	21	44		灰白	轆轤	呉須、透明釉	瀬戸・美濃	内：呉須で見込みに五弁花、格子文を描く。外面：折れ松葉文？太白焼。
95	3	B5082	陶器	鉢	蓋物	88	65	52		灰白	型作り（内・外型）、轆轤	長石釉、鉄	瀬戸・美濃	織部風。外：。鉄絵で桜花文等を描く。２箇所に把手を付ける。
95	4	B5082	陶器	水注	急須	85	63	29		灰白	轆轤・貼付・型作り	緑釉	尾張	豊楽焼。把手部分接合部不明。蓋残存せず。把手に刻印「豊八」。中後部先端破損。
95	5	B5082	陶器	壺	小壺	71	82	60	97	灰白	轆轤、貼付	灰釉	瀬戸・美濃	
95	6	B5082	陶器	水注	土瓶	120	77	77	155	暗赤褐	轆轤、貼付	鉄釉	不明	三足、注口部Ｓ字。底部を除く外面に施釉。口縁部端は溶着防止剤を塗布。把手、注口、三足を貼付け。
95	7	B5082	陶器	水注	水滴	85	63	29		灰白	型押し、貼付	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	「虎」の文字と竹文の陽刻とは上下逆となる。竹文に一部鉄釉を落とす。
95	8	B5082	陶器	蓋	落し蓋		14		54	灰白	轆轤、貼付	灰釉	瀬戸・美濃	橋状把手。笠部下面糸切未調整。
95	9	B5082	陶器	蓋	落し蓋		22		78	橙	轆轤、貼付	灰釉	瀬戸・美濃	摘みは四方から折り返して花弁状につくる。笠部回転ヘラ切り。笠部は面取り部分に溶着防止剤を塗布。
95	10	B5082	陶器	蓋	落し蓋		24		104	灰白	轆轤、貼付	長石釉	瀬戸・美濃	摘みは２箇所から折り返す。回転ヘラ切り。
95	11	B5082	陶器	蓋	落し蓋		13		78	灰白	轆轤、貼付	鉄釉	瀬戸・美濃	丸形摘み。笠部回転ヘラ切り。
95	12	B5082	陶器	蓋	土瓶蓋	60	33		90	赤褐	轆轤、貼付？	鉄釉	不明	外：笠部上面のみ施釉。丸形摘み。
95	13	B5082	陶器	蓋	土瓶蓋	62	40		84	灰白	轆轤、貼付？	呂宋釉	瀬戸・美濃	笠部上面及びかえり内部に施釉。丸形摘み。笠部上面に如意等形の陰刻。
95	14	B5082	陶器	器台	灯明受皿	74	15	34	49	浅黄	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	油溝切立状。外：体部下半から底部にかけて回転ヘラケズリ。底面に重ね焼き痕あり。
95	15	B5082	陶器	器台	灯明受皿	108	20	50	82	灰褐	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	油溝切立状。外：体部下半から底部にかけて回転ヘラケズリ。底面に重ね焼き痕あり。
95	16	B5082	陶器	鉢	擂鉢	470	190	230		褐	轆轤	無釉	堺	自然釉付着。底面は高台風につくる。焼台痕あり。見込み摺目三角形。
95	17	B5082	土器	鉢	鉢形容器	90	55	48		明褐	轆轤	透明釉	江戸在地	底部無穿孔。底部糸切未調整。轆轤左回転。
95	18	B5082	土器	鉢	火鉢	211	99	140		橙	輪積又は轆轤	無釉	江戸在地	三足。底部内面に回転ナデ痕跡あり。轆轤を使用か。
95	19	B5082	土器	器台	灯明受皿	82	83	80	54	橙	轆轤	透明釉	江戸在地	脚付。油溝半月状。
95	20	B5082	土器	乗燭	たんころ	54	32	2.0		橙	不明	透明釉	江戸在地	底部軸孔。透明釉を総掛け。芯立先端に煤付着。
96	1	B5082	土器	壺	蚊遣り？		(176)	150	224	にぶい褐	輪積		江戸在地	体部下半に穿孔。外面ミガキ。上部欠損。
96	2	B5082	土器	鍋	焙烙	336				橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、器壁高 2cm 前後。
96	3	B5082	土器	蓋	焼塩壷蓋	62	11		59	黄橙	型押し	無釉	近畿	
96	4	B5082	土器	蓋	焼塩壷蓋	58	9		57	黄橙	型押し	無釉	近畿	
96	5	B5082	土器	鉢	焼塩壷身	57	56	48	69	にぶい橙	轆轤	無釉	江戸在地	詳細は第 54 表参照。

第 28 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（27）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
96	6	B5082	土器	鉢	焼塩壷身	57	47	42	59	明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	詳細は第 54 表参照。
96	7	B5082	土器	皿	小皿	82	16	40		橙	轆轤	透明釉	江戸在地	内外面全体に施釉。底部糸切未調整。
96	8	B5082	土器	皿	小皿	90	18	48		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。口縁部煤付着。轆轤左回転。
96	9	B5082	土器	皿	小皿	117	26	46		明褐	轆轤	透明釉	江戸在地	底部糸切未調整。口縁部煤付着。轆轤左回転。
96	10	B5082	土器	皿	小皿	122	23	65		にぶい黄褐色	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。口縁部煤付着。轆轤左回転。
96	11	B5086	磁器	碗	中碗	114	66	44		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み草花文、二重圏線、口縁部一重圏線。外：楼閣山水文、滝、帆掛け船。口縁部一重圏線、高台脇一重圏線、高台二重圏線。やや厚手。
96	12	B5086	磁器	碗	中碗	114	61	44		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み草花文。外：丸に松、竹、梅をそれぞれ描く丸文散らし、高台二重圏線、高台内「宣明年製」銘。
96	13	B5086	磁器	碗	中碗	114	63	63		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：草花文（桐？）、高台脇一重圏線、高台二重及び一重圏線、高台内「宣明年製」銘。
96	14	B5086	磁器	碗	中碗	104	57	42		灰白	轆轤	染付	肥前	外面：丸文、工字文、口縁部二重圏線、高台脇二重圏線、高台二重圏線、高台内二重圏線、「宣明年製」銘。
96	15	B5086	磁器	碗	中碗	98	61	36		灰白	轆轤	染付	中国	景徳鎮窯。内：見込み文様、二重圏線、口縁部一重圏線。外：不明文様、口縁部一重圏線。高台内無釉、放射状鉋痕跡。
96	16	B5086	磁器	碗	中碗？			56		灰白	轆轤	白磁	不明	
96	17	B5086	磁器	碗	小碗	78	55	36		灰白	轆轤	染付	肥前？	内：見込み不明文様。外面：太湖石、草花文？口縁部二重圏線、一重圏線、高台二重圏線、高台内「宣命年製」銘。
96	18	B5086	磁器	碗	小碗	82	51	40		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み山水文、蛇篭、二重圏線、口縁部二重圏線。外：竜、花唐草文、口縁部二重圏線、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「太明成化年製」銘。薄手。
96	19	B5086	磁器	碗	小碗	70	47	30		灰白	轆轤	白磁	肥前？	
96	20	B5086	磁器	碗	小碗	90	46	38		灰白	轆轤	青花	中国	内：文様不明、体部上位及び下位に二重圏線、外：口縁部二重圏線、体部文様不明、高台脇一重圏線、高台二重圏線。高台は幅広。
96	21	B5086	磁器	碗	小坏	82	54	34		灰白	轆轤	白磁	肥前？	高台畳付砂付着。
96	22	B5086	磁器	碗	小坏	69	48	32		灰白	轆轤	白磁	肥前？	高台畳付砂付着。
96	23	B5086	磁器	碗	小坏	59	40	27		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み二重圏線、口縁部二重圏線。外：松、竹、口縁部二重圏線、一重圏線、高台二重圏線、高台内「宣徳年製」銘。
96	24	B5086	磁器	碗	小碗	55	33	24		白	轆轤	青花	中国？	胎土は白色で精良。外：釉拭き取り後、鮫肌状に長石成分の多い釉を掛ける。楼閣山水文？、口縁部一重圏線、一重圏線、高台二重圏線。
97	1	B5086	磁器	碗	中碗	101	54	43		灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	色絵。外：花文散らし。赤い塗り及び黒い輪郭線で描く。
97	2	B5086	磁器	鉢	猪口	67	32	22		灰白	轆轤	白磁	肥前？	腰張形。端反。
97	3	B5086	磁器	碗	小碗	56	24	28		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み草花文。外：草花文、口縁部一重圏線、高台二重圏線、高台内は丸に「福」字銘款。
97	4	B5086	磁器	碗	中碗	90	55	42		灰白	轆轤	青花	中国	内：見込み水鳥、草。外：竹ほか、一重圏線、高台二重圏線、高台内「宣明年製」銘。
97	5	B5086	磁器	碗	仏飯器	68	68	39		灰白	轆轤	白磁	肥前	
97	6	B5086	磁器	碗	仏飯器	86	69	43		灰白	轆轤	染付	肥前	内：文様無し。外：笹文？、口縁部一重圏線、一重圏線、高台二重圏線。底部無釉。
97	7	B5086	磁器	皿	小皿	75	19	38		灰白	型打ち	染付	肥前	内：見込み文様不明。歪み有。
97	8	B5086	磁器	皿	中皿	(246)	38	154		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み牡丹文？口縁部一重圏線、花唐草文、二重圏線。外：唐草文、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、目痕３箇所あり。
97	9	B5086	磁器	皿	中皿	(220)	57	(98)		灰白	轆轤	染付	肥前	内：楼閣山水文、外：一重圏線、高台二重＋一重圏線。高台内一重圏線。
97	10	B5086	磁器	皿	中皿	222	53	86		灰白	轆轤	青磁	肥前	蛇ノ目高台、高台蛇ノ目部分錆釉、溶着痕あり。ヘラ描き文様。
97	11	B5086	磁器	鉢	香炉			48		灰白	轆轤	青磁	三田？	
97	12	B5086	磁器	鉢	蓋物	69	45	59		灰白	轆轤	白磁	肥前	蓋受付。蓋受部及び高台畳付無釉。
97	13	B5086	磁器	鉢	蓋物	56	53	39		灰白	轆轤	白磁	肥前	蓋受付。桜花の上絵付あり。蓋受部及び底部無釉。
98	1	B5086	磁器	皿	五寸皿	153	21	94		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み水鳥。口縁部付近唐草文（墨弾き）、外：一重圏線、高台一重圏線、高台内一重圏線、角「福」銘。高台断面Ｕ字。
98	2	B5086	磁器	皿	五寸皿	140	32	64		灰白	型打ち	染付	肥前	内：見込み菊花文、型打ちにより花弁状の陰刻を施す。高台は畳付を内・外側とも面取り。
98	3	B5086	磁器	皿	五寸皿	(140)	30	(64)		灰白	型打ち	染付	肥前	内：見込み山水文？、二重圏線。型打ちにより唐草文状の陽刻を施す。高台は畳付を内・外側とも面取りし、無釉で断面は三角形に近い。
98	4	B5086	磁器	皿	五寸皿	140	28	89		灰白	型打ち	染付	肥前	内：見込み鳥籠、鳥籠台、鳥（鳥籠から鳥が逃げ出す様子）、口縁部一重圏線。外：文字散らし、一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線。
98	5	B5086	磁器	皿	小皿	106	31	54		灰白	轆轤	染付	肥前	波佐見系。内：山水文。外：唐草文、一重圏線、高台一重圏線、高台内一重圏線、不明文字銘。
98	6	B5086	磁器	皿	五寸皿	136	29	42		灰白	轆轤	青磁	肥前	内：見込み蛇ノ目釉剥ぎ、釉剥ぎ部分と游の境界に錆釉を施す。外：高台とその周辺を除き施釉。
98	7	B5086	磁器	鉢	中鉢	232	88	94		灰白	轆轤	青磁	肥前	内：見込みヘラ描き陰刻文。
98	8	B5086	磁器	瓶	中瓶			55	92	灰白	轆轤	染付	肥前	頸部一重圏線、肩部二重圏線、花唐草文、昆虫。高台砂目痕。
98	9	B5086	磁器	蓋	蓋物蓋	72	32		88	灰白	轆轤	染付	肥前	笠部端下面、かえりは無釉。
98	10	B5086	磁器	蓋	蓋物蓋	103	37		120	灰白	轆轤	染付	肥前	笠部端下面、かえりは無釉。
98	11	B5086	磁器	蓋	蓋物蓋	74	(23)		103	灰白	型打ち	染付	肥前	型打ちにより、笠部上面に花弁状文様を陽刻する。かえりを含む笠部下面は無釉。
99	1	B5086	磁器	鉢	大鉢	310	77	142		灰白	轆轤	上絵付	肥前	内：楼閣山水文。
99	2	B5086	陶器	碗	中碗	108	62	43		灰白	轆轤	青緑釉	肥前	高台無釉。高台畳付に目跡３。
99	3	B5086	陶器	碗	中碗	(112)	72	47		灰白	轆轤	青緑釉、透明釉	肥前	高台は無釉。体部内面に透明釉、体部外面に青緑釉を施す。
99	4	B5086	陶器	碗	大碗	124	78	60		灰白	轆轤	鉄釉、うのふ釉、錆釉	瀬戸・美濃	高台の内外面に錆釉を掛け、体部は内外面とも鉄釉（黒釉）を施す。口縁部にうのふ釉を濃け掛けする。
99	5	B5086	陶器	碗	大碗	(128)	87	50		灰白	轆轤	透明釉	不明	高台とその周辺を除き施釉。
99	6	B5086	陶器	碗	大碗	128	86	50		灰白	轆轤	灰釉	不明	
99	7	B5086	陶器	碗	中碗	103	64	43		灰白	轆轤	透明釉、上絵付（呉須、金彩）	京・信楽	外：上絵付として呉須と金彩で三つ葉葵文、七宝文を描く。
99	8	B5086	陶器	碗	小碗	62	42	28		灰白	轆轤	長石釉	不明	高台畳付のみ無釉。
99	9	B5086	陶器	皿	灯明皿	100	20	58		にぶい赤褐	轆轤	鉄釉（飴釉）	瀬戸・美濃	底部ヘラ切り。橋状の把手あり。鉄釉を総掛けした後、底部釉拭き取り
99	10	B5086	陶器	皿	小皿	108	20	64		灰白	轆轤	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	底部は僅かに高台を削り出す。調整は体部下半から底部にかけて回転ヘラケズリ。見込みに円錐ピン痕３箇所あり。口縁端部に煤付着。見込みに鉄絵で蘭竹文を描く。口縁部端の釉の剥落が著しい。

第 29 表　近世の陶磁器・土器観察表（B 区）（28）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
99	11	B5086	陶器	皿	小皿	113	20	71		灰白	轆轤	長石釉	瀬戸・美濃	底部は僅かに高台を削り出す。調整は体部下半から底部にかけて回転ヘラケズリ。見込みに円錐ピン痕３箇所あり。口縁端部に煤付着。
99	12	B5086	陶器	皿	小皿	130	30	65		灰黄	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	削り出し高台。見込みに窯道具痕あり。
100	1	B5086	陶器	皿	中皿	220	41	126		暗灰黄	轆轤	白泥、鉄、透明釉	瀬戸・美濃	内：鉄絵で三つ葉葵文、または鉄絵と白泥で三つ葉葵文を描く。高台畳付及び高台内面を除く内外面に透明釉を施釉。
100	2	B5086	陶器	皿	中皿	206	57	82		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	「万屋十次郎」墨書。内：見込み蛇ノ目釉剝ぎ、呉須で雁？を描く。
100	3	B5086	陶器	鉢	中鉢	197	54	115		にぶい赤褐	轆轤	白泥、透明釉、褐釉	肥前	削り出し高台。高台畳付を一部釉剝ぎ、高台内蛇ノ目釉剝ぎ。内面全体及び外面体部は、白泥により刷毛目（螺旋文、波状文）文様を施し全体に透明釉を掛ける。また、部分的に褐釉を掛ける。
100	4	B5086	陶器	鉢	香炉	118	71	50		灰白	轆轤	呉須、長石釉	不明	内面は口縁部を施釉、外面は高台畳付を除き施釉する。体部に呉須で花唐草文を描く。
100	5	B5086	陶器	鉢	香炉	129	72	95		灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	口縁端部は僅かに外反する。底部は回転ヘラケズリ。底部を除く内外面に施釉。外面は口縁部直下に櫛描状の螺旋文を施す。内面見込みに目跡３。
100	6	B5086	陶器	鉢	香炉	152	72	89		灰白	轆轤	透明釉、灰釉	瀬戸・美濃	高台は削り出し後、ナデ。体部の複数個所に指オサエあり。内面に透明釉を施釉後、蛇ノ目釉剝ぎする。口縁部端は釉が剥落している。
100	7	B5086	陶器	鉢	灰吹？	60	73	46	76	灰白	轆轤	灰釉	不明	
100	8	B5086	陶器	蓋	蓋物蓋	63	36		90	灰白	轆轤	呉須、透明釉	不明	外：笠部上面に雪輪、笹葉文を描き、透明釉を施す。内：笠部下面はかえりを含み無釉。
100	9	B5086	陶器	蓋	落し蓋		18		59	灰白	轆轤	鉄釉	不明	外：笠部上面に鉄釉を施す。橋状摘み。内笠部下面は無釉。
100	10	B5086	陶器	蓋	落し蓋		15		78	灰白	轆轤	鉄釉	不明	外：笠部上面に鉄釉を施す。内：笠部下面は無釉。
100	11	B5086	陶器	蓋	土瓶蓋	43	22		65	灰白	轆轤	鉄釉	不明	外：笠部上面に鉄釉を施すが、砂の付着あり。宝珠状摘み。笠部内：下面は無釉。
100	12	B5086	陶器	甕	中甕	198	172	144		浅黄	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	美濃焼。底面刻書あり。詳細は第 59 表参照。
101	1	B5086	磁器	碗	小碗	88	70	47		灰白	轆轤	白磁、上絵付	不明	色絵。外面：赤及び黒の輪郭線。赤い線で格子文様。高台二重圏線。
101	2	B5086	土器	蓋		138	19	133		灰黄	回転台	無釉	江戸在地	外：上面は縮緬状。下面は煤付着。摘みが取り付けられていた可能性あり。
101	3	B5086	土器	皿	小皿	50	10	30		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
101	4	B5086	土器	皿	小皿	60	13	29		浅黄橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、底部は高台状に肥厚する。
101	5	B5086	土器	皿	小皿	67	15	42		浅黄橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
101	6	B5086	土器	皿	小皿	89	24	44		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	口縁部煤付着
101	7	B5086	土器	皿	小皿	94	17	53		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
101	8	B5086	土器	皿	小皿	120	22	73		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
101	9	B5086	土器	皿	小皿	124	21	72		浅黄橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
101	10	B5086	土器	皿	小皿	140	24	83		浅黄橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。静止糸切。
101	11	B5086	土器	皿	五寸皿	138	24	81		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
101	12	B5086	土器	皿	中皿	(180)	33	(98)		橙	轆轤	無釉	江戸在地	硬質。底部糸切未調整。
101	13	B5086	土器	皿	耳皿	76	32	24		橙	轆轤、手づくね	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
101	14	B5086	土器	鉢	焼塩壷身	59	101	46	69	橙	輪積	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
101	15	B5086	土器	鉢	焼塩壷身	64			72	橙	輪積	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
101	16	B5086	土器	鉢	焼塩壷身	62	101	47	70	橙	輪積	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
101	17	B5086	土器	鉢	焼塩壷身	59	108	41	69	赤褐	輪積	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
101	18	B5086	土器	鉢	焼塩壷身	57	98	43	71	橙	輪積	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
101	19	B5086	土器	鉢	焼塩壷身	100	40	67	100	赤褐色	輪積	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
101	20	B5088	陶器	瓶	仏花瓶	62	162	74	107	灰黄	轆轤、貼付	鉄釉	瀬戸・美濃	削り出し高台。高台とその周辺は釉拭き取り。体部上面はヘラケズリ。
101	21	B5088	土器	鍋	焙烙	264				にぶい褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
102	1	B5185	土器	鍋	焙烙	254				にぶい褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
102	2	B5185	土器	皿	小皿	65	14	38		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
102	3	B5185	土器	皿	小皿	96	20	47		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。口縁部煤付着。
102	4	B2 ～ 3 面	陶器	皿	中皿	221	49	120		暗灰黄	轆轤	鉄、灰釉	瀬戸・美濃	内：鉄絵で三つ葉葵文を描く。
102	5	B3 ～ 4 面	陶器	水注	ちろり	66	163	74	(137)	灰白	轆轤、貼付	透明釉、鉄、呉須	不明	口縁端部及び底部無釉。

第 30 表　近世の陶磁器・土器観察表（C 区）（1）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
103	1	C105	陶器	碗	中碗	(93)	56	36		灰白	轆轤	呉須、灰釉	瀬戸・美濃	
103	2	C105	土器	皿	小皿	98	25	63		浅黄橙	轆轤	無釉	江戸在地	
103	3	C106	陶器	鉢	中鉢	170	75	86	180	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
103	4	C106	陶器	鉢	擂鉢	196	60	90		灰白	轆轤	錆釉	瀬戸・美濃	摺目 13 条。底面糸切未調整。
103	5	C118	陶器	鍋	土鍋	160	63	72	178		轆轤	鉄釉	不明	
103	6	C125	陶器	碗	小坏	57	44	27		灰褐	轆轤	長石釉	不明	
103	7	C125	陶器	瓶	瀆瓶	60	154	129	174	灰白	轆轤	鉄釉、うのふ釉	瀬戸・美濃	底面とその周辺を除く外面に鉄釉を施した後、上部にうのふ釉を掛ける。
103	8	C132	磁器	碗	中碗	(97)	59	34		灰白	轆轤	染付	肥前	見込み：五弁花、口縁部内外面：瓔珞文。
103	9	C132	陶器	碗	中碗	103	63	43		灰白	轆轤	灰釉、呉須	瀬戸・美濃	
103	10	C132	陶器	碗	中碗	(94)	54	32		灰白	轆轤	灰釉、上絵付	京・信楽	上絵付菖蒲？
103	11	C132	陶器	碗	中碗	(94)	59	38		灰白	轆轤	鉄釉、灰釉	瀬戸・美濃	腰錆碗。
103	12	C132	陶器	碗	中碗	(110)	85	51		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	底部に焼成後の穿孔有り。
103	13	C132	陶器	皿	小皿	119	20	63		灰白	型打ち	灰釉、鉄	不明	見込みに陽刻文有り。
103	14	C132	陶器	鉢	中鉢	(142)	81	67		灰白	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	碁笥底・内削ぎ高台。体部外面に 3 条の沈線（条痕・螺旋文）。
103	15	C132	陶器	蓋	壺蓋		21	45	79	灰白		無釉	瀬戸・美濃	糸切未調整。
103	16	C132	陶器	瓶	中瓶	36	217	69	97	にぶい橙	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	徳利。
103	17	C132	陶器	器台	灯明受皿	89	16	45	62	にぶい橙	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	底部を除く全面に施釉。
103	18	C132	土器	秉燭	タンコロ	41	20	27		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	
103	19	C132	土器	蓋	焼塩壺蓋	73	19		73		型作り	無釉		
104	1	C111	磁器	碗	中碗	(93)	64	35		灰白	轆轤	染付	肥前	外：矢羽根文、氷裂文。
104	2	C111	磁器	碗	中碗	(96)	53	40		灰白	轆轤	染付	肥前	外：高台内銘あり。くらわんか手。
104	3	C111	磁器	碗	中碗	(96)	48	34		灰白	轆轤	染付	肥前	
104	4	C111	磁器	碗	紅猪口	(59)	33	20		灰白	轆轤	染付	肥前	外：梅樹文。
104	5	C111	磁器	碗	仏飯器	(54)	49	35		灰白	轆轤	染付	肥前	外：笹葉文。
104	6	C111	磁器	皿	小皿	135	38	74		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み五弁花、笹葉文。
104	7	C111	磁器	皿	小皿	122	35	44		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み蛇ノ目釉剥ぎ。
104	8	C111	陶器	碗	中碗	108	77	42		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	灰釉丸碗。
104	9	C111	陶器	碗	中碗	105	64	43		にぶい黄褐	轆轤	透明釉	京・信楽	刻印「暁山」
104	10	C111	陶器	碗	中碗	113	56	46		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	灰釉平碗。
104	11	C111	陶器	碗	中碗	100	59	47		灰黄	轆轤	柿釉	不明	柿釉を施し、灰釉を斑状にかける
104	12	C111	陶器	碗	中碗	94	56	43		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	腰錆碗。
104	13	C111	陶器	碗	中碗	96	58	40		灰白	轆轤	灰釉、鉄絵	京・信楽	外：鉄絵で柳文様を描く。
104	14	C111	陶器	碗	中碗	108	78	47		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	全面に灰釉を施し、部分的に鉄釉を落とす。
104	15	C111	陶器	碗	中碗	96	52	35		にぶい橙	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	せんじ碗。外：呉須で文様を施す。
104	16	C111	陶器	碗	中碗	97	64	38		浅黄橙	轆轤	灰釉、呉須	瀬戸・美濃	
104	17	C111	陶器	碗	中碗	107	62	48		灰白	轆轤	灰釉、鉄絵	京・信楽	小杉碗。外：鉄絵で若松文を描く。
104	18	C111	陶器	碗	中碗	108	56	46		灰白	轆轤	灰釉、鉄絵	京・信楽	平碗。外：鉄絵で櫛松文を描く。
104	19	C111	陶器	皿	中皿	205	61	78		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	輪禿皿。内：見込みを蛇ノ目釉剥ぎし、呉須で文様を描く。付高台。
104	20	C111	陶器	蓋	土瓶蓋	60	34		94	浅黄橙	轆轤	鉄釉	不明	
104	21	C111	陶器	蓋	蓋物蓋	90	19		110	浅黄橙	轆轤	鉄釉	不明	
105	1	C111	陶器	瓶	中瓶	36	209	72	97	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	底面とその周辺は釉拭取り。胴部に釘書「三■」。徳利。
105	2	C111	陶器	鉢	小鉢	55	43	33		灰白	轆轤		不明	
105	3	C111	陶器	瓶	洩瓶	42	167	118	186		轆轤、貼付	鉄釉	瀬戸・美濃	把手、注口部貼付。
105	4	C111	陶器	鉢	中鉢	140	(54)	45		灰白	轆轤、貼付	長石釉	不明	三足を貼付。
105	5	C111	陶器	皿	小皿	128	35	48		灰白	轆轤、貼付	灰釉	瀬戸・美濃	摺絵皿。内：型紙摺りにより呉須で梅文を描く。付高台
105	6	C111	陶器	水注	中水注	95	108	56	(135)	灰白	轆轤、貼付	灰釉	瀬戸・美濃	把手、注口部貼付。
105	7	C111	陶器	皿	灯明皿	(112)	49	21			轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	内面に環状痕あり。
105	8	C111	陶器	器台	灯明受皿	110	22	55	80		轆轤、貼付	柿釉	瀬戸・美濃	底部外面及びその付近を除き柿釉を施す。底部及び胴部下半は回転ヘラケズリ
105	9	C111	陶器	秉燭	台付たんころ形	52	49	42		灰白	轆轤、貼付	鉄釉	瀬戸・美濃	底部糸切未調整。
105	10	C111	土器	焜炉部品	風口	231	131/90	54	φ 85		貼付	無釉	江戸在地	
105	11	C111	土器	鉢	火入	122	97	123			輪積	無釉	江戸在地	外：ミガキ、線刻文様を施す。
105	12	C111	土器	蓋	火消壺蓋	146	22				輪積	無釉	江戸在地	
105	13	C111	土器	鍋	焙烙	(350)					回転台	無釉	江戸在地	無耳、浅め、器壁高 2cm 前後。
105	14	C111	土器	秉燭	タンコロ	58	13	36			轆轤	無釉	江戸在地	
105	15	C111	土器	杓子	十能		(61)				手びねり	無釉	江戸在地	
106	1	C133	磁器	碗	小坏	72	50	35		灰白	轆轤	染付	肥前	
106	2	C133	陶器	碗	中碗	115	84	50		灰白	轆轤	灰釉	肥前	
106	3	C133	陶器	皿	五寸皿	(138)	38	51		灰	轆轤	透明釉、青緑釉	肥前	
106	4	C133	陶器	蓋	小壺蓋	70	18	39	74	灰	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	
106	5	C134	磁器	鉢	小鉢	77	57	36		灰白	轆轤	染付	肥前	
106	6	C134	磁器	碗	大碗	167	75	64		灰白	轆轤	呉須、透明釉	中国	漳州窯。内：霊芝文？、外：草花文
106	7	C134	磁器	碗	小碗	(87)	40	33		灰白	轆轤	染付	中国	
106	8	C134	磁器	碗	大碗	(153)	85	58		灰白	轆轤	染付	中国	外：獅子？、内：蝶
106	9	C134	磁器	皿	中皿	(234)	43	(116)		灰白	轆轤	呉須、透明釉	肥前	
106	10	C134	陶器	碗	中碗	114	74	43		灰黄	轆轤	透明釉	肥前？	
106	11	C134	陶器	碗	中碗	112	78	54		灰白	轆轤	灰釉	肥前	
106	12	C134	陶器	皿	変形皿	(146)	37	(64)		灰白	型打ち	御深井釉	瀬戸・美濃	
106	13	C134	土器	甕	中甕？					灰黄	轆轤？	無釉	不明	
106	14	C135	陶器	碗	中碗	110	68	48		灰白	轆轤	不明	瀬戸・美濃	被熱
107	1	C140	磁器	碗	中碗	98	52	40		灰白	轆轤	染付	肥前	口銹。
107	2	C140	磁器	碗	中碗	98	49	42		灰白	轆轤	染付	肥前	外：椿、草花文。
107	3	C140	磁器	碗	小坏	84	60	38		灰白	轆轤	染付	肥前	内：山水楼閣文。
107	4	C140	磁器	皿	五寸皿	(153)	35	58		灰白	轆轤	染付	肥前	蛇ノ目釉剥ぎ。内：コンニャク印判五弁花、扇文。

第 31 表　近世の陶磁器・土器観察表（C 区）（2）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量 (㎜)				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
107	5	C140	磁器	皿	小皿	134	34	78		灰白	轆轤	染付	肥前	内：コンニャク印判五弁花。墨弾きで雷及び雲文様。高台内圏線及び「大明年製」銘、ハリ目痕１点。
107	6	C140	磁器	皿	小皿	134	28	76		灰白	轆轤	染付	肥前	内：コンニャク印判五弁花。雪輪文？底面ハリ目痕１。
107	7	C140	磁器	皿	小皿	135	28	74		灰白	轆轤	染付	肥前	内：墨弾き文様、五弁花。底面にハリ１点残る。
107	8	C140	磁器	蓋	蓋物蓋	88	29		97	灰白	轆轤	染付	肥前	摘みに陰刻あり。
107	9	C140	磁器	蓋	蓋物蓋	147	45		158	灰白	轆轤	染付	肥前	外：唐花文。合わせ目に砂付着。
107	10	C140	陶器	碗	中碗	(126)	84	50		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
107	11	C140	陶器	碗	中碗	118	76	52		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
107	12	C140	陶器	碗	中碗	102	68	42		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
107	13	C140	陶器	碗	大碗	122	87	39		浅黄	轆轤貼付	灰釉	瀬戸・美濃	高台とその周辺を除き灰釉を施す。付高台。
107	14	C140	陶器	碗	大碗	124	46	76		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	不明	
107	15	C140	陶器	碗	中碗	105	70	45	109	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	全面に灰釉を施し、部分的に鉄釉を落とす。体部に２条の沈線。
108	1	C140	陶器	碗	中碗	100	54	37		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	せんじ碗。外：呉須と鉄で竹文を描く。
108	2	C140	陶器	碗	中碗	120	57	45		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
108	3	C140	陶器	碗	中碗	108	49	40		浅黄橙	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
108	4	C140	陶器	碗	中碗	103	44	45		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	せんじ碗。内外：灰釉、鉄釉掛分け。
108	5	C140	陶器	碗	中碗	(94)	54	32		浅黄橙	轆轤	灰釉	京・信楽	
108	6	C140	陶器	碗	小碗	(65)	41	26		浅黄橙	轆轤	灰釉	京・信楽	内外：上絵付
108	7	C140	陶器	皿	中皿	203	64	85		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内：見込み釉剥ぎ部分に重ね焼き痕あり。鉄釉点状に付着。削出高台。
108	8	C140	陶器	皿	小皿	128	33	75		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内：型紙摺りにより鉄絵で花文様を描く。削出高台。見込みに三足ハマ痕有り。
108	9	C140	陶器	皿	小皿	119	29	62		灰白	轆轤	御深井釉	瀬戸・美濃	内：型紙摺りにより鉄絵で花文様を描く。付高台。見込みに三足ハマ痕有り。
108	10	C140	陶器	鉢	大鉢	366	123	120		赤褐	轆轤	透明釉、鉄泥	肥前	唐津・武雄系。
108	11	C140	陶器	鉢	香炉	143	77	102	153	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	口縁部に敲打痕有り。
108	12	C140	陶器	鉢	灰吹	(40)	(68)	47	68	灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	横方向に櫛描沈線文、縦方向に丸ノミ彫り。口縁部に敲打痕あ有り。
108	13	C140	陶器	鉢	灰落とし			52		灰白	轆轤	灰釉、上絵付	不明	口縁部に敲打痕有り。
108	14	C140	陶器	その他	敷瓦		(26)			灰白	型押し	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	
108	15	C140	陶器	皿	灯明皿	112	25	54		浅黄橙	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	
108	16	C140	陶器	皿	灯明皿	103	20	56		浅黄橙	轆轤	錆釉	志戸呂	内：見込みに重ね焼き痕有り。
108	17	C140	陶器	器台	灯明受皿	110	22	45	70	浅黄橙	轆轤、貼付	錆釉	志戸呂	油溝アーチ状２箇所。
108	18	C140	陶器	蓋	小壷蓋	35	17			橙	轆轤	鉄釉？	瀬戸・美濃	
108	19	C140	陶器	鉢	餌猪口	41	21	41		灰白	轆轤、貼付	灰釉	瀬戸・美濃	
108	20	C140	土器	器台	灯明受皿	122	33	65	82	橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
108	21	C140	土器	器台	灯明受皿	100	24	46	67	橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
108	22	C140	土器	鍋	焙烙					橙	回転台	無釉	江戸在地	深め、器壁高 2cm 前後。
108	23	C140	土器	蓋	焼塩壷蓋					橙	型作り	無釉		
109	1	C140	土器	皿	中皿	(200)	39	124		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
109	2	C140	土器	皿	小皿	(113)	23	60		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
109	3	C140	土器	皿	小皿	(96)	18	(46)		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
109	4	C140	土器	皿	小皿	78	13	42		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
109	5	C140	土器	皿	小皿	76	15	42		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
109	6	C150	陶器	蓋	土瓶蓋	(104)	35	(76)		灰白	轆轤	灰釉	京・信楽	
109	7	C150	陶器	不明		(95)	65		(139)			灰釉	瀬戸・美濃	造形物の一部か。
109	8	C182	磁器	水注		52	223	60	127	灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文。
109	9	C182	陶器	水注	小水注	40	117	70	(155)	灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	被熱。
109	10	C182	陶器	皿	小皿	120	22	70		灰	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	被熱。内：見込みに三雛ピン痕、外：高台内に胎土目。
110	1	C183	磁器	皿	小皿	110	33	48		灰白	轆轤	染付	肥前	内：雲龍文、外：高台内一重圏線、「太明成化年製」銘。
110	2	C183	磁器	鉢	小鉢	102	62	44		白	型打ち	染付	不明	
110	3	C183	陶器	碗	大碗	126	69	53		灰白	轆轤	鉄釉、うのふ釉	瀬戸・美濃	高台畳付を除き鉄釉を施した後、口縁部からうのふ釉を掛ける。
110	4	C183	陶器	皿	小皿	101	21	44		にぶい褐	轆轤	錆釉	志戸呂	体部下半は回転ヘラケズリを施し、内面及び体部上半に錆釉を掛ける。
110	5	C183	陶器	瓶		26	142	66		にぶい黄褐	轆轤	自然釉	備前？	刻印「○に一」。
110	6	C183	土器	鍋	焙烙	266	(68)			浅黄	轆轤	無釉	江戸在地	無耳、器壁高 4cm 前後。
110	7	C212	磁器	鉢	小鉢	(69)	96	62		灰白	轆轤	染付	肥前？	外：草花文。
110	8	C212	磁器	皿	小皿	128	36	65		灰白	轆轤	呉須、鉄、灰釉	瀬戸・美濃	内：鉄絵で稲穂を表現する。
110	9	C212	土器	鉢	火消壺	200				橙	輪積	無釉	江戸在地	
111	1	C270	磁器	皿	小皿	87	25	45		灰白	轆轤	染付	肥前	
111	2	C270	磁器	皿	小皿	126	24	82		灰白	轆轤	染付	肥前	輪花。
111	3	C270	陶器	碗	中碗	92	57	26		灰白	轆轤	灰釉、鉄、呉須	京・信楽	
111	4	C270	陶器	碗	中碗	90	55	30		浅黄	轆轤	灰釉	京・信楽	半球碗。
111	5	C270	陶器	碗	中碗	104	72	52		浅黄	轆轤	灰釉	京・信楽	小杉碗。
111	6	C270	陶器	碗	中碗	92	65	47		灰白	轆轤	灰釉、鉄、呉須	京・信楽	筒型碗。底面（「御～」？内容不明）。
111	7	C270	陶器	鍋	土鍋	147				灰黄	轆轤貼付	柿釉	不明	把手貼付。
111	8	C270	土器	鍋	焙烙					にぶい褐	回転台	無釉	江戸在地	深め、器壁高 4cm 前後。
111	9	C270	土器	鍋	焙烙	312				にぶい褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
111	10	C231	磁器	碗	中碗	102	55	37		灰白	轆轤	染付	肥前	外：雪輪梅樹文。
111	11	C231	磁器	皿	小皿	133	27	82		灰白	轆轤	染付	肥前	内：墨弾き、コンニャク印判龍文。口銹。ハリ目跡 1。
111	12	C231	陶器	鉢	火入	96	63	60		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	
111	13	C259	磁器	皿	五寸皿	137	31	76		白	轆轤	染付	肥前	
112	1	C244	磁器	碗	大碗	156	78	56		灰白	轆轤	染付	肥前	
112	2	C244	磁器	碗	大碗	129	70	49		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判五弁花、二重圏線、外：梅樹文、高台内銘款。
112	3	C244	磁器	碗	中碗	95	54	36		灰白	轆轤	染付	肥前	内：鳥、口縁部四方襷文、外：止まり木、鶯籠、鳥。鳥籠の籠を外して鳥が外へ飛び立つ様子を描く。
112	4	C244	磁器	碗	中碗	118	62	46		灰白	轆轤	染付	肥前	

第 32 表　近世の陶磁器・土器観察表（C 区）（3）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
112	5	C244	磁器	碗	中碗	103	59	45		白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：不明、外面：葵唐草、高台内銘款。
112	6	C244	磁器	碗	中碗	94	52	38		白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：縦縞、高台内銘款。
112	7	C244	磁器	碗	中碗	99	49	40		白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：不明文様、外：草花文。
112	8	C244	磁器	碗	中碗	94	53	41		白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：不明文様、外：梅樹文？
112	9	C244	磁器	碗	中碗	90	53	40		白	轆轤	染付	肥前	
112	10	C244	磁器	碗	中碗	95	52	38		白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：不明文様、圏線、口縁部圏線、外：「池塘生春草」字。
112	11	C244	磁器	碗	小碗	89	52	36		灰白	轆轤	染付	肥前	内:帆掛け船？口縁部横縞。外:楼閣山水、網干、帆掛け船、遠山。
112	12	C244	磁器	碗	小碗	88	52	38		灰白	轆轤	染付	肥前	内：不明文様、外：花。
112	13	C244	磁器	碗	中碗	92	54	34		白	轆轤	白磁	瀬戸・美濃	内：不明文様、外：唐草文。
112	14	C244	磁器	碗	中碗	92	49	36		灰白	轆轤	染付	肥前	内：桜、外：桜、鯉。
112	15	C244	磁器	碗	中碗	94	47	72		白	轆轤	染付	肥前	
113	1	C244	磁器	碗	小碗	90	50	38		白	轆轤	染付	肥前	
113	2	C244	磁器	碗	小碗	82	46	32		灰白	轆轤	染付	肥前	内：「寿」字、口縁部七宝繋文、外：亀甲繋ぎ花文。
113	3	C244	磁器	碗	小碗	80	42	39		白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：山水文、鳥。
113	4	C244	磁器	碗	小碗	79	44	31		白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：岩波？外：楼閣山水文。
113	5	C244	磁器	碗	小碗	72	36	30		白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	蛍手。
113	6	C244	磁器	碗	中碗	(114)	62	50		灰白	轆轤	染付	肥前	内：文字あり、外：松、竹、穂。
113	7	C244	磁器	碗	中碗	(109)	64	(44)		灰白	轆轤	染付	肥前	外：不明、二重圏線、口縁部四方襷文、外面：南瓜。
113	8	C244	磁器	碗	中碗	98	48	40		灰白	轆轤	染付	不明	内：文様無し、外：三つ葉葵文。
113	9	C244	磁器	碗	中碗	98	44	33		灰白	轆轤	染付	肥前	外：牡丹文。
113	10	C244	磁器	碗	小碗	75	59	39		白	轆轤	染付	肥前	
113	11	C244	磁器	碗	小碗	80	57	42		白	轆轤	染付	肥前	
113	12	C244	磁器	碗	小碗	(86)	73	50		白	轆轤	染付	肥前	
113	13	C244	磁器	碗	小碗	(82)	74	45		白	轆轤	染付	肥前	
113	14	C244	磁器	碗	中碗	95	52	38		灰白	轆轤	染付	肥前	外：半菊文。
113	15	C244	磁器	碗	中碗	118	64	62		白	轆轤	染付	肥前	
113	16	C244	磁器	碗	中碗	98	53	50		白	轆轤	染付	肥前	内：圏線、口縁部内面：圏線、外：楼閣山水文、柳。
113	17	C244	磁器	碗	小坏	98	44	33		灰白	轆轤	染付	肥前	外：楼閣山水文
113	18	C244	磁器	碗	紅猪口	51	29	19		白	轆轤	染付	肥前	
113	19	C244	磁器	碗	紅猪口	78	32	24		白	轆轤	染付	肥前	染付で「小町紅」文字。化粧用具。
113	20	C244	磁器	碗	仏飯器	58	49	32		白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：花唐草文。
114	1	C244	磁器	皿	小皿	127	31	70		白	轆轤	染付	肥前	
114	2	C244	磁器	皿	小皿	137	32	86		白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	蛇ノ目凹型高台。墨書「～の間」。
114	3	C244	磁器	皿	小皿	126	21	72		白	轆轤	染付	肥前	蛇の目凹型高台
114	4	C244	磁器	鉢	蓋物	77	40	34		灰白	轆轤	染付	肥前系	外：草花文、「福」、「寿」字文。
114	5	C244	磁器	皿	小皿	(97)	20	35		白	轆轤	白磁	瀬戸・美濃	蛇ノ目凹型高台。
114	6	C244	磁器	皿	小皿	94	21	48		白	轆轤	白磁	瀬戸・美濃	蛇ノ目凹型高台。
114	7	C244	磁器	鉢	蓋物	54	69	44		白	轆轤	染付	肥前	
114	8	C244	磁器	鉢	合子	36	14	39	46	白	轆轤	染付	肥前	
114	9	C244	磁器	鉢	合子	56	17	21	63	白	轆轤	染付	肥前	
114	10	C244	磁器	鉢	蓋物	74	42	46		灰白	轆轤	染付	肥前	外：楼閣山水文、遠山。
114	11	C244	磁器	鉢	中鉢	166	81	88		白	轆轤	染付	肥前	焼継あり。
114	12	C244	磁器	蓋	碗蓋	83	24			灰白	轆轤	染付	肥前	内：波、舟？、外：樹木、鳥。
114	13	C244	磁器	蓋	碗蓋	78	24		28	白	轆轤	染付	肥前	
114	14	C244	磁器	蓋	碗蓋	108	44		40	白	轆轤	染付	肥前	
114	15	C244	磁器	蓋	碗蓋	96	30		40	白	轆轤	染付	肥前	
114	16	C244	磁器	蓋	蓋物蓋	88	30		100	白	轆轤	染付	肥前	
114	17	C244	磁器	蓋	蓋物蓋	40	17		54	白	轆轤	染付	肥前	
114	18	C244	磁器	蓋	合子蓋	50	11		50	白	轆轤	染付	肥前	
114	19	C244	磁器	瓶	髪油壺	20	74	51		灰白	轆轤	染付	肥前	髪油壺。外：童子、玩具文。
114	20	C244	磁器	瓶	髪油壺	21	68	48		灰白	轆轤	染付	肥前	髪油壺。外：窓絵草花文、南瓜。
115	1	C244	磁器	瓶	小瓶			41		白	轆轤	染付	肥前	神酒徳利。
115	2	C244	磁器	瓶	小瓶	(19)	100	35		白	轆轤	染付	肥前	神酒徳利。
115	3	C244	磁器	瓶	線香筒	(33)	131	57	63	白	轆轤	染付	肥前	竹を象る。
115	4	C244	磁器	瓶	線香筒	57	155	53		灰	轆轤	染付	瀬戸・美濃	墨書。外：山水文、三足に唐草文。底面無釉。
115	5	C244	磁器	特殊	戸車		11		52	白	轆轤	白磁	肥前	
115	6	C244	陶器	碗	中碗	115	71	44		白	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	景次碗。
115	7	C244	陶器	碗	大碗	130	63	45		白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	刷毛目碗。
115	8	C244	陶器	碗	中碗	109	56	39		灰白	轆轤	染付、鉄釉	瀬戸・美濃	内：不明文様、二重圏線、口縁部渦文、外：鉄釉。高台畳付面取有り。
115	9	C244	陶器	碗	中碗	90	56	30		白	轆轤	染付	京・信楽	
115	10	C244	陶器	碗	大碗	128	50	52		白	轆轤	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	柳茶碗。
115	11	C244	陶器	碗	大碗	90	51	35		白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	端反碗。内:灰釉。外:全面に灰釉を施した後､呉須を掛ける、高台内灰釉。
115	12	C244	陶器	皿	中皿	208	42	142		灰黄	轆轤、型打ち	緑釉	不明	輪花。内：陽刻で花弁を象る。内外：緑釉を施す。底面蛇ノ目釉剥ぎ。
115	13	C244	陶器	皿	大皿	281	67	142		灰黄	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	石皿。
115	14	C244	陶器	皿	小皿	92 × 82	17	31		白	型打ち	長石釉、緑釉、鉄	瀬戸・美濃	復興織部。
115	15	C244	陶器	鉢	香炉	76	64	33		白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	三足。
115	16	C244	陶器	鉢	水鉢	396	293	235		白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内：目跡 7。
115	17	C244	陶器	鉢	焜炉	220	155	182		灰黄	轆轤	灰釉、緑釉、呉須、錆釉	瀬戸・美濃	風炉。被熱。内：錆釉。外：灰釉に呉須を掛け、口縁部は緑釉を施す。
116	1	C244	陶器	蓋	蓋物蓋	69	27		92	灰白	轆轤	灰釉	京・信楽	橋状摘み。外：笠部上面に施釉。
116	2	C244	陶器	蓋	碗蓋	96	27			灰白	轆轤	染付	京・信楽	内：三錐ピン跡。全面に鉄釉を施し、灰釉で丸文を描いた中に鉄絵で菊花文印。
116	3	C244	陶器	蓋	鍋蓋	97	24			灰褐	轆轤	染付	不明	
116	4	C244	陶器	蓋	土瓶蓋	77	29	50		白	轆轤	染付	肥前	
116	5	C244	陶器	蓋	土瓶蓋	61	45		80	白	轆轤	染付	肥前	
116	6	C244	陶器	蓋	土瓶蓋	40	23		54	白	轆轤	染付	肥前	
116	7	C244	陶器	蓋	土瓶蓋	64	32		89	灰白	轆轤	青緑釉	不明	内：墨書「きく呉服の間」
116	8	C244	陶器	蓋	土瓶蓋	65	33		93	灰白	轆轤	青緑釉	不明	内：墨書「きくの間」

第 33 表　近世の陶磁器・土器観察表（C 区）（4）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量 (㎜)				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
116	9	C244	陶器	瓶	中瓶？					灰白	轆轤	鉄釉、うのふ釉	瀬戸・美濃	肩部～首部分のみ残存。茄子を象る。徳利の頸部に粘土を貼り付けて茄子の蒂を表現。
116	10	C244	陶器	鉢	中鉢	187				灰黄	轆轤	鉄釉、錆釉	瀬戸・美濃	植木鉢。
116	11	C244	陶器	鉢	擂鉢	(313)	130	(140)		灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	内:摺目７条/単位、外:口縁部下から体部を回転ヘラケズリ。鉄釉を施す。
116	12	C244	陶器	鉢	擂鉢	290	99	136		灰褐	轆轤	鉄釉	堺・明石	内：見込み摺目三角形。
116	13	C244	陶器	鉢	擂鉢	400	158	186		灰褐	轆轤	鉄釉	堺・明石	内：見込み摺目放射状。
116	14	C244	陶器	瓶	大瓶	32	250	107	142	灰褐	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	高田徳利。釘書き「万利」。
116	15	C244	陶器	瓶	中瓶	35	190	53		灰黄	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	底部とその周辺を除く外面に灰釉を漬掛け。
116	16	C244	陶器	甕	中甕	276	286	210		灰黄	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	半胴甕。内：見込み目跡 5。
117	1	C244	陶器	水注	土瓶	68	(133)	(76)		灰白	轆轤	染付	不明	
117	2	C244	陶器	水注	急須	(70)				灰	轆轤	灰釉	不明	
117	3	C244	陶器	水注	中水注	71	72	44	(125)	白	轆轤	染付	不明	
117	4	C244	陶器	器台	灯明受皿	92	49	36		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	外：底部を除く部分に施釉。
117	5	C244	陶器	鍋	行平	159	106	84		灰白	轆轤、貼付	鉄釉	飯能？	
117	6	C244	陶器	その他	灯芯押さえ			36		灰白	手びねり	鉄釉	不明	
117	7	C244	土器	蓋	蚊遣り蓋	48	36		96	黄褐	回転台貼付	無釉	江戸在地	摘み及び吊部を貼付。
117	8	C244	土器	鉢	火鉢	224	100	144		黄褐	輪積	無釉	江戸在地	三足。内：口縁部煤付着。
117	9	C244	土器	器台	燭台	46	11	38		黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
117	10	C244	土器	器台	灯明受皿	72	71	60	44	黄褐	回転台	無釉	江戸在地	脚付。外：透明釉。
117	11	C244	土器	皿	小皿	124	37	74		黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
117	12	C244	土器	鉢	鉢形容器	96	48	63		黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	
117	13	C244	土器	鍋	焙烙	(309)				黄褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、器壁高 2cm 前後。
117	14	C244	土器	蓋	焼塩壷蓋	60	9		63		型押し	無釉	近畿	
117	15	C244	土器	蓋	焼塩壷蓋	63	9		65		型押し	無釉	近畿	
117	16	C244	土器	鉢	焼塩壷身	69	77	54	99	橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 54 表参照。
117	17	C244	土器	鉢	焼塩壷身	61	53	37	61	にぶい黄	轆轤	無釉	江戸在地	詳細は第 54 表参照。
117	18	C244	土器	皿	小皿	104	20	58		黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
117	19	C244	土器	皿	小皿	70	15	38		黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
117	20	C244	土器	皿	小皿	51	15	28		黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
117	21	C261	土器	鉢	焼塩壷身	54	80	50		橙	板作り	無釉	近畿	
118	1	C251	磁器	碗	大碗	149	69	51		灰白	轆轤	染付	肥前	内:環状松竹梅文、二重圏線、口縁部四方襷文。外:草花文。
118	2	C251	磁器	碗	大碗	127	66	53		白	轆轤	染付	肥前	内：五弁花、二重圏線、外：草花文、高台内銘款、高台畳付目砂付着。
118	3	C251	磁器	碗	中碗	110	63	46		灰白	轆轤	染付	肥前	内：口縁部横帯、墨弾き七宝繋ぎ文、外：茄子文。
118	4	C251	磁器	碗	中碗	114	61	46		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み蝶文？、一重圏線、口縁部二重圏線、外面：四方襷文、七宝繋ぎ。腰が張り、高台が「ハ」の字に開く器形。
118	5	C251	磁器	碗	中碗	104	58	48		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：見込み不明、圏線、横帯に墨弾き、外：花弁文？
118	6	C251	磁器	碗	中碗	106	60	46		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内:岩波文、口縁部横帯墨弾き、外:楼閣山水文、帆掛け船、口縁部横帯。
118	7	C251	磁器	碗	中碗	96	52	34		灰白	轆轤	染付	肥前	内：唐花唐草文？口縁部工字文、外：雲龍文、波文。
118	8	C251	磁器	碗	中碗	98	51	38		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：花、二重圏線、口縁部墨弾き横帯、外：竹文。
118	9	C251	磁器	碗	中碗	95	54	39		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：「二」、口縁部二重圏線、外：スッポン、若松文。
118	10	C251	磁器	碗	中碗	92	49	38		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：見込み不明、圏線、口縁部横帯、外：花唐草文。
118	11	C251	磁器	碗	中碗	94	50	36		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：花、二重圏線、口縁部横帯、外：草花文。
118	12	C251	磁器	碗	中碗	91	46	34		灰白	轆轤	白磁	瀬戸・美濃	梅文様等の蚤手。
118	13	C251	磁器	碗	小坏	90	49	32		灰白	轆轤	鉄、上絵付	中国	景徳鎮窯。十錦手小坏。外：赤地に窓絵で山水文？、唐草文を描く。
118	14	C251	陶器	碗	小碗	64	51	36		灰	轆轤	呉須、白泥、透明釉	不明	陶質の胎土に白泥（白毛焼土）を施し、呉須で文様を描いた後透明釉を掛ける。高台畳付は無釉で赤く変色する。内面文様無し。外面：人物。
118	15	C251	磁器	碗	小碗	78	43	33		灰白	轆轤	白磁、粉彩	中国	徳化窯。上絵草花文碗。白磁に上絵付を施す。赤絵で描く文字は江戸での絵付けか。
118	16	C251	磁器	碗	小坏	65	37	22		灰白	轆轤	鉄、上絵付	中国	景徳鎮窯。十錦手小坏。外：赤地に金彩で圏線及び草葉を描く。高台内に呉須で銘款あり。高台畳付無釉。
119	1	C251	磁器	碗	中碗	94	50	40		灰白	轆轤	染付	肥前	内：一重圏線、鷺、口縁部墨弾き鳥文様。外：鷺、沢潟。
119	2	C251	磁器	碗	小碗	82	44	33		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：花、二重圏線、口縁部墨弾き、外：花、氷裂文。高台内銘款。
119	3	C251	磁器	碗	中碗	94	64	48		灰白	轆轤	染付	肥前	内：花文、口縁部瓔珞文、外：松竹梅文。
119	4	C251	磁器	碗	中碗	110	48	43		灰白	轆轤	染付	肥前	内：口縁部横帯、外：梅花、羽根うちわ、草紙
119	5	C251	磁器	碗	中碗	106	48	44		白	轆轤	染付	肥前	内：桔梗？口縁部秋草、外：秋草、高台外面二重圏線。
119	6	C251	磁器	碗	中碗	104	49	39		灰白	轆轤	染付	肥前	内:環状松竹梅文、口縁部墨弾き七宝繋ぎ文、外:扇、松竹梅、鶴。
119	7	C251	磁器	碗	中碗	94	42	37		灰白	轆轤	染付	肥前	内：口縁部雷文状、外：格子、梅花。高台畳付無釉
119	8	C251	磁器	碗	中碗	95	48	37		灰白	轆轤	染付	肥前	内：岩波文、外：雲龍文
119	9	C251	磁器	碗	中碗	100	46	41		灰白	轆轤	染付	肥前	外：横方向ダミ。高台内銘款「？」
119	10	C251	磁器	碗	中碗	100	47	34		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：草花文。
119	11	C251	磁器	碗	中碗	(100)	41	38		白	轆轤	染付	肥前	外：草花文。
119	12	C251	磁器	碗	小碗	85	53	(35)		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み不明、、外面：梅樹文。
119	13	C251	磁器	碗	中碗	94	44	32		灰白	轆轤	染付	肥前	外：波、兎。
119	14	C251	磁器	碗	大碗	130	76	72		白	轆轤	染付	肥前系	内:鳥二羽。一重圏線。口縁部松、笹？圏線。外:よろけ縞、丸に梅・松
119	15	C251	磁器	碗	中碗	116	63	62		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：帆掛け船、一重圏線。外：連弁文（剣先文）。
119	16	C251	磁器	碗	中碗	110	62	58		灰白	轆轤	染付	肥前	波佐見系。内：火炎宝珠、一重圏線、口縁部二重圏線。外：連弁文。
119	17	C251	磁器	碗	小碗	76	51	35		灰白	轆轤	染付	肥前	内：昆虫文、外：矢羽根文、一重圏線。
120	1	C251	磁器	碗	中碗	117	64	60		灰白	轆轤	染付	肥前	波佐見系。内:不明、一重圏線、口縁部二重圏線。外:波文。
120	2	C251	磁器	碗	小碗	74	51	35		灰白	轆轤	染付	肥前	内：不明、一重圏線、二重圏線。外：半菊文、格子文、四方襷文。
120	3	C251	磁器	碗	小碗	88	77	47		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：口縁部連弁文、一重圏線。外：網目文。
120	4	C251	磁器	碗	小碗	75	58	38		灰白	轆轤	染付、上絵付	瀬戸・美濃	外：口縁部雷文、上絵付で梅に鶯。
120	5	C251	磁器	碗	小碗	73	61	34		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：鳥。

第 34 表　近世の陶磁器・土器観察表（C 区）（5）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量 (mm)				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
120	6	C251	磁器	碗	小碗	(75)	60	38		灰白	轆轤	瑠璃釉	瀬戸・美濃	外：高台畳付を除き瑠璃釉を施す。
120	7	C251	磁器	碗	小碗	74	57	36		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：花唐草文、動物、高台二重圏線。
120	8	C251	磁器	碗	小碗	60	50	26		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：岩波文？外：山水文、高台櫛歯文。
120	9	C251	磁器	碗	小碗	84	48	36		灰白	轆轤	白磁	瀬戸・美濃	蛍手。
120	10	C251	磁器	碗	小碗	82	45	34		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：草花文。蛍手。
120	11	C251	磁器	碗	小碗	79	51	38		白	轆轤	染付	肥前	外：唐草文。
120	12	C251	磁器	碗	中碗	92	39	36		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：牡丹文。
120	13	C251	磁器	碗	小碗	68	34	26		灰白	轆轤	染付	肥前	外：楼閣山水文、雁、遠山。
120	14	C251	磁器	碗	小碗	(63)	32	26		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：鶴。
120	15	C251	磁器	碗	小碗	52	25	26		灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	色絵。卵殻手。内：牡丹。
120	16	C251	磁器	碗	中碗	(111)	67	44		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：岩波文、口縁部横帯、外：横帯、文字「赤壁譜」。高台内銘款。蛇ノ目高台。
120	17	C251	磁器	碗	小碗	88	44	36		灰白	轆轤	染付、上絵付	瀬戸・美濃	内：岩波文、二重圏線、口縁部一重圏線、外：横帯文、高台二重圏線。上絵付で鳥、海獣文？、格子文。
120	18	C251	磁器	碗	小碗	62	31	28		灰白	轆轤	染付	肥前	内：扇、梅花。
120	19	C251	磁器	碗	薄手酒杯	75	26	28		白	轆轤	染付	肥前	卵殻手。内：亀。
120	20	C251	陶器	碗	小碗		(39)	34		灰白	轆轤	染付、上絵付	不明	内:上絵付で「魁」文字、一重圏線ほか、外:上絵付で草花文。
120	21	C251	磁器	碗	仏飯器	66	61	39		灰白	轆轤	染付	肥前	外：半菊文、圏線。
120	22	C251	磁器	碗	仏飯器	59	51	34		灰白	轆轤	染付	肥前	内：蛸唐草文、外：圏線。
120	23	C251	磁器	不明				43		灰白	轆轤？	染付、瑠璃釉	瀬戸・美濃	外：瑠璃釉。ヘラ切り調整？、焼継有り。
120	24	C251	磁器	碗	紅猪口	57	28	17		灰白	轆轤	染付	肥前	外：羽子板、羽根つき羽根、花、幔幕。
120	25	C251	磁器	碗	紅猪口	53	24	18		灰白	轆轤	染付	肥前	外：雁、花卉文。
120	26	C251	磁器	碗	紅猪口	54	18	26		灰白	轆轤	白磁	肥前	
121	1	C251	磁器	皿	五寸皿	148	46	80		灰白	轆轤	染付	肥前	鍋島。内：草花文、外：宝文、二重圏線、高台櫛高台、一重圏線。
121	2	C251	磁器	皿	大皿	264	60	138		灰白	轆轤	染付	肥前	内：楼閣山水文、高台内目跡５、焼継有り。
121	3	C251	磁器	皿	小皿	92	50	36		灰白	型打ち	染付	肥前	内：楼閣山水文、蛇ノ目凹型高台（高）、見込み目跡４。
121	4	C251	磁器	皿	小皿	(105)	(26)	62		灰白	型打ち	染付	肥前	内：楼閣山水文、波濤文陽刻。口銹。
121	5	C251	磁器	皿	五寸皿	146	31	76		白	轆轤	染付	肥前	内:鹿、紅葉、二重圏線、外:花唐草文、一重圏線、二重圏線、高台内一重圏線、銘款。
121	6	C251	磁器	皿	五寸皿	142	41	62		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：雲龍文、蛸唐草文、口縁部花文様、外：花唐草文？。二重圏線、高台内銘款。
121	7	C251	磁器	皿	小皿	106	22	49		灰白	型打ち	青磁	三田？	輪花。内：白土描文で花、葉を描く。
121	8	C251	磁器	皿	小皿	127	34	73		灰白	型打ち	染付	肥前	内：花、外：蝶。
122	1	C251	磁器	皿	小皿	(96)	24	44		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：楼閣山水文、外：一重圏線、二重圏線。
122	2	C251	磁器	皿	小皿	131	37	78		白	轆轤	染付	肥前？	内：五弁花、花唐草文、二重圏線。、外：唐草文、一重圏線、二重圏線、高台内一重圏線。焼継あり。高台畳付目砂付着。
122	3	C251	磁器	皿	大皿	311	58	172		灰白	轆轤	染付	肥前	内：楼閣山水文、外：文様無し、目跡６。
122	4	C251	磁器	皿	変形皿	143 139	34	99 82		灰白	型押し	染付	瀬戸・美濃	口銹。内面陽刻文（烏？）。
122	5	C251	磁器	皿	小皿	103	24	64		灰白	型打ち	染付	肥前	内：楼閣山水文、口銹。
122	6	C251	磁器	皿	小皿	102	25	56		灰白	型打ち	染付	肥前	内：楼閣山水文。口銹。釘書き「葵？」。
122	7	C251	磁器	皿	小皿	100	20	36		灰白	轆轤	白磁	瀬戸・美濃	口縁部内外面に煤付着。底部ヘラ切り。
123	1	C251	磁器	皿	大皿	284	46	162		灰白	轆轤	染付	肥前	内：楼閣山水文、外：唐草文。ハリ目痕６。焼継あり。
123	2	C251	磁器	皿	小皿	126	37	77		灰白	型打ち	染付	肥前	内：環状松竹梅文、蛸唐草文、外：花唐草文。高台内「太明年製」銘、釘書き「せ代」。蛇ノ目凹型高台（高）。
123	3	C251	磁器	皿	小皿	126	32	78		白	型打ち	染付	肥前	内:楼閣山水文,外:文様無。口銹。高台内釘書き葵の葉の形？蛇ノ目凹型高台（底）。
123	4	C251	磁器	皿	小皿	134	28	78		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内:牡丹文、唐草文、二重圏線ほか、外:唐草文、一重圏線、二重圏線。蛇ノ目凹型高台（低）。
123	5	C251	磁器	皿	小皿	130	35	70		灰白	型打ち	染付	肥前	内：橋、欄干、芭蕉。口銹。蛇ノ目凹型高台（高）。釘書き（六角形）。
123	6	C251	磁器	皿	小皿	126	33	72		灰白	型打ち	染付	肥前	内面:楼閣山水文。口銹。蛇ノ目凹型高台（高）。釘書き「ヒロ賄」。
123	7	C251	磁器	皿	小皿	128	29	78		白	型打ち	染付	肥前	内：楼閣山水文。口銹。高台内釘書き「竹末」。蛇ノ目凹型高台（高）。
123	8	C251	磁器	鉢	中鉢	94	64	48		灰白	轆轤	染付	肥前	波佐見系。内：コンニャク印判五弁花、蝶文、外：唐草文、一重圏線及び二重圏線。高台内銘款（不明「福」字？）。
123	9	C251	磁器	鉢	小鉢	101	32	58		灰白	型打ち	染付	瀬戸・美濃	内：花、外：口縁部呉須。
124	1	C251	磁器	鉢	注鉢	224	105	100		灰白	轆轤	染付	肥前	内外：墨弾き雲。焼継あり。
124	2	C251	磁器	鉢	中鉢	136	68	65		白	轆轤	染付	肥前	内：松文、蛇篭、竹文。蛇ノ目凹型高台（高）。
124	3	C251	磁器	鉢	小鉢	94	37	44		灰白	型打ち	染付	瀬戸・美濃	内：兎ほか、口縁部雷文、外：扇、雪輪、一重圏線。
124	4	C251	磁器	鉢	小鉢	95	33	42		灰白	型打ち	染付	肥前	内：花唐草文？。外：唐草文？一重圏線。口銹。
124	5	C251	磁器	鉢	中鉢	160	80	70		白	轆轤	染付	肥前	内：山水文、口縁部不明文様。外：不明。
124	6	C251	磁器	鉢	中鉢	180	78	80		白	型打ち	染付	肥前	内：蝶文、羊歯、梅花文様、外：窓？枠？（抽象文様）。焼継あり。
124	7	C251	磁器	鉢	中鉢	140	30	80		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃？	内：銀杏文、花唐草文？、外：唐草文？、二重圏線。蛇ノ目凹型高台（低）。
124	8	C251	磁器	鉢	中鉢	143	44	86		灰白	轆轤	染付	肥前	内:環状松竹梅文、牡丹文、外:唐草文、一重圏線、二重圏線。高台内「太明年製」銘。蛇ノ目凹型高台（低）。
125	1	C251	磁器	鉢	蓋物	128	67	66		灰白	轆轤	染付	肥前	外：花。
125	2	C251	磁器	鉢	蓋物	120	67	58		灰白	轆轤	染付	肥前	外：瓢文。
125	3	C251	磁器	鉢	蓋物	118	65	66		灰白	轆轤	染付、上絵付	肥前	色絵。外：花唐草文、上絵付で、金彩による染付文様の縁取り等。二重圏線。
125	4	C251	磁器	鉢	中鉢	152	52	82		白	型打ち	染付	肥前	内：環状松竹梅文、蛸唐草文、外：唐草文、一重圏線、二重圏線。高台内「富貴長春」銘。蛇ノ目凹型高台（高）。焼継あり。
125	5	C251	磁器	鉢	蓋物	(110)	69	74		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文、太湖石。
125	6	C251	磁器	鉢	蓋物	94	51	47		灰白	轆轤	染付	肥前	外：亀甲繋ぎ文、若松文。
125	7	C251	磁器	鉢	段重	76	35	47		灰白	轆轤	染付	肥前	外：源氏香？
125	8	C251	磁器	鉢	香炉	72	56	40		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：山水文、帆掛け船。
125	9	C251	磁器	鉢	蓋物	74	41	32		灰白	轆轤	染付	肥前	外：網目文。
125	10	C251	磁器	鉢	段重	150	56	96		灰白	轆轤	染付	肥前	外：鶴丸文、丸に笹葉文。口縁部端、括れ部無釉。
125	11	C251	磁器	鉢	段重	140	47	86		灰白	轆轤	染付	肥前	外：蛸唐草文。口縁部端、括れ部無釉。
125	12	C251	磁器	鉢	香炉？	101	76	70		灰白	轆轤	染付	肥前	
125	13	C251	磁器	鉢	蓋物	106	87	76		灰白	轆轤	染付	肥前	外：牡丹、一重圏線、二重圏線。
125	14	C251	磁器	甕	小甕	114	101	78	120	灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：口縁部鋸歯・渦巻文、外：馬。
125	15	C251	磁器	鉢	蓋物	123	67	65	125	灰白	轆轤	染付	肥前	外：鳥、波濤文。

第 35 表　近世の陶磁器・土器観察表（C 区）（6）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
125	16	C251	磁器	鉢	蓋物	122	65	65		灰白	轆轤	染付	肥前	外：梅、格子。焼継あり。
125	17	C251	磁器	鉢	植木鉢	122	98	79		灰白	轆轤	染付	肥前	内：口縁部鋸歯文、外：楼閣山水文、口縁部連弁文。
125	18	C251	磁器	水注	水滴	123	39	66		灰白	轆轤	染付	肥前	上：「福」字、七宝繋ぎ文。
125	19	C251	磁器	瓶	小瓶	20	127	44	68	白	轆轤	染付	肥前	神酒徳利。外：蛸唐草文、松竹梅文、草文。剣先崩し。
125	20	C251	磁器	瓶	小瓶	17	71	29		灰白	轆轤	染付	肥前	
125	21	C251	磁器	瓶	髪油壺	20	74	46		灰白	轆轤	染付	肥前	外：蛸唐草文、縦縞文。
126	1	C251	磁器	瓶	大瓶	36	252	91		白	轆轤	青磁	肥前	釘書き「三四舎」。
126	2	C251	磁器	壺	小壺	100				灰白	轆轤	染付	肥前	
126	3	C251	磁器	蓋	碗蓋	100	30		56	灰白	轆轤	染付	肥前	内：花？、外：花卉文。
126	4	C251	磁器	蓋		45	33		64	灰白	轆轤	瑠璃釉	瀬戸・美濃	外：瑠璃釉、丸摘み。
126	5	C251	磁器	蓋	碗蓋	88	27		33	灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：蝙蝠、圏線。外：唐草文、摘み圏線、摘み内銘款、
126	6	C251	磁器	蓋	碗蓋	86	25		35	灰白	轆轤	染付	肥前	内：楼閣山水、騎馬。雷文、外：桃、唐詩「清明宴司勳劉郎中別業」文字。摘み内銘「章武年製」
126	7	C251	磁器	蓋	碗蓋	82	23		32	白	轆轤	染付	肥前	内：岩波文、波文？、外：鶴、亀。摘み内水滴状文様。
126	8	C251	磁器	蓋	碗蓋	86	20		30	灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：鷺、外：花、鳥。
126	9	C251	磁器	蓋	碗蓋	78	23		29	灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：瓜、蔓草。
126	10	C251	磁器	蓋	合子蓋	96	20			灰白	轆轤	染付	肥前	外：扇形窓に山水文
126	11	C272	磁器	蓋	蓋物蓋	88	30		99	灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	色絵。外：草花文、唐草文。
127	1	C251	磁器	蓋	蓋物蓋	116	37		126	灰白	轆轤	染付	肥前	外：花唐草文。受部砂付着。橋摘み。
127	2	C251	磁器	蓋	蓋物蓋	116	37		126	白	轆轤	染付	肥前	外：松文、二重圏線。受部砂付着。橋摘み。
127	3	C251	磁器	蓋	蓋物蓋	59	24			灰白	轆轤	染付	不明	外：山水文ほか。橋摘み。
127	4	C251	磁器	蓋	碗蓋	76	36		40	灰白	轆轤	染付	肥前	外：梅花文。
127	5	C251	磁器	蓋	蓋物蓋	62	25		71	灰白	轆轤	染付	肥前	外：「福」、「寿」字、窓絵。
127	6	C251	磁器	蓋	水注蓋	55	23			灰白	轆轤	染付	不明	外：文様不明。花形摘み。
127	7	C251	磁器	蓋	蓋物蓋	118	37		134	灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：雲龍文
127	8	C251	磁器	蓋	蓋物蓋			60		灰白	轆轤	染付	肥前	外：花、アゲハ蝶。丸平摘み。受部砂付着。焼継あり。
127	9	C251	磁器	蓋	蓋物蓋	53	10		61	灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：花？文様不明。
127	10	C251	磁器	水注	水滴	15	42	62		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：楼閣山水文、花卉文、帆掛け船、格子文。
127	11	C251	磁器	水注	水滴	96	49	25		灰白	型押し	染付	瀬戸・美濃	上：花、波文。
127	12	C251	磁器	杓子類	散蓮華		48	(25)		白	型押し	染付	肥前	内：花唐草素描文。
127	13	C251	磁器	杓子類	散蓮華	97	(57)	34		白	型押し	染付	肥前	内：波、鳥。
127	14	C251	磁器	杓子類	散蓮華	(115)	(46)	48		灰白	型押し	染付	瀬戸・美濃	内：波、兎。
127	15	C251	陶器	碗	大碗	121	67	62		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内：目跡 3。
127	16	C251	陶器	碗	小碗	90	49	38		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	
128	1	C251	陶器	碗	中碗	100	123	78		灰白	轆轤	透明釉、白泥	瀬戸・美濃	外：巻刷毛目、内：打刷毛目。高台とその周辺を除き施釉。
128	2	C251	陶器	碗	中碗	117	63	58		灰白	轆轤	白泥、鉄、透明釉	瀬戸・美濃	内面全体に白泥を掛け、外面は白泥で梅花、鉄で花芯と枝を描いて内外面に透明釉を施釉する。
128	3	C251	陶器	碗	中碗	116	64	62		灰白	轆轤	呉須、透明釉	瀬戸・美濃	太白焼。陶胎染付。内：文様不明、見込み及び口縁部に一重圏線、外：捻花文、一重圏線。
128	4	C251	陶器	碗	小碗	66	59	32		灰白	轆轤	呉須、透明釉	瀬戸・美濃	太白焼。陶胎染付。内：見込み梅花文？圏線。口縁部一重圏線。外：菊花散らし、一重圏線。
128	5	C251	陶器	碗	大碗	128	53	54		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	体部上位及び高台付近に沈線が巡る。
128	6	C251	陶器	碗	中碗	116	50	48		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	体部上位及び高台付近に沈線が巡る。
128	7	C251	陶器	碗	中碗	100	51	36		灰白	轆轤	鉄釉、灰釉	瀬戸・美濃	
128	8	C251	陶器	碗	小碗	88	52	34		灰白	轆轤	鉄釉、灰釉	瀬戸・美濃	
128	9	C251	陶器	碗	中碗	110	54	43		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	柳茶碗。内面及び高台とその周辺を除く外面に灰釉を施し、鉄絵で柳文様を描く。
128	10	C251	陶器	碗	中碗	108	52	51		灰	轆轤	灰釉、鉄釉？	瀬戸・美濃	柳茶碗。内面及び高台とその周辺を除く外面に灰釉を施し、鉄絵で柳文様を描くが不明瞭。高台畳付外面をヘラ削りにより面取りする。
128	11	C251	陶器	碗	中碗	116	58	37		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内面及び高台とその周辺を除く外面に灰釉を施す。柳文様無し。高台畳付外面をヘラ削りにより面取り。
128	12	C251	陶器	碗	中碗	114	52	44		灰	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	柳茶碗。内面及び高台とその周辺を除く外面に灰釉を施し、鉄絵で柳文様を描く。
128	13	C251	陶器	碗	中碗	100	49	34		灰白	轆轤	白泥、鉄、透明釉	瀬戸・美濃	内面全体に白泥を掛け、外面は白泥で梅花、鉄で花芯と枝を描いて内外面に透明釉を施釉する。
128	14	C251	陶器	碗	中碗	92	46	28		灰白	轆轤	白泥、緑釉（アガノ釉）	瀬戸・美濃	高台とその周辺を除く全面に透明釉を施した後、口縁部内外面に緑釉を掛け流しする。
128	15	C251	陶器	碗	小碗	90	50	30		灰白	轆轤	灰釉	京・信楽	高台畳付及び高台内部を除く内外面に施釉する。貫入目立つ。
128	16	C251	陶器	碗	小碗	80	50	34		灰白	轆轤	灰釉、鉄	不明	内：見込みに鉄絵で桜花を描く、外：「清」、「田」他の文字を鉄で描く。
128	17	C251	陶器	碗	小碗	87	51	29		灰白	轆轤	灰釉、鉄	京・信楽	小杉碗。
128	18	C251	陶器	碗	小碗	84	52	32		灰	轆轤	鉄、透明釉、白泥	萩	内：鉄で蝶文を描く、外：鉄で草文状の文様を描き、白泥で格子状のイッチンを施す。透明釉を施す。
128	19	C251	陶器	碗	小碗	87	49	35		灰白	轆轤	藁灰釉	萩	高台とその周辺を除き施釉。
128	20	C251	陶器	碗	小碗	60	37	30		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	外：下半を回転ヘラケズリし、削出高台。高台とその周辺を除く内外面に施釉。
128	21	C251	陶器	皿	大皿	270	63	120		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	石皿。外:体部に轆轤目残る。口縁部はやや外反し、玉縁状。幅広の貼付高台。高台内面と畳付は釉を拭き取り、見込みに目痕 4。
129	22	C251	陶器	皿	小皿	84	29	44		灰白	轆轤、指押さえ	鉄、呉須、透明釉	瀬戸・美濃	復興織部。四方を内面から指押さえ成形。高台畳付を除く内外面に透明釉を施釉。
129	23	C251	陶器	皿	小皿	70	23	4.0		灰白	轆轤、指押さえ	鉄、呉須、透明釉	瀬戸・美濃	復興織部。四方を内面から指で押さえ成形。鉄と呉須で文様を描く。高台畳付を除く内外面に透明釉を施釉。
129	24	C251	陶器	皿	変形皿	144 × 133	40~50	100 × 90		灰白	タタラ貼付	青緑釉、鉄釉	不明	貝殻を象る。
129	1	C251	陶器	皿	小皿	75	26	28		褐	型打ち	不明	不明	内：花弁文様を陽刻。
129	2	C251	陶器	皿	小皿	88	17	34		灰白	型打ち	鉄、緑釉、御深井釉	瀬戸・美濃	内：花形の陽刻文あり、鉄絵で折れ松葉を描く。口縁部 4 箇所の内外面に緑釉を掛ける。高台は碁笥底状につくる。素地内面に布目痕あり。
129	3	C251	陶器	皿	小皿	118	31	60		灰	轆轤	鉄、灰釉	瀬戸・美濃	高台畳付を除き施釉する。内面見込みは摺絵で花文様を描く。付高台。
129	4	C251	陶器	皿	小皿	116	24	44		灰白	轆轤	灰釉	京・信楽	内：菊花印花。見込みに櫛目と目痕 3（三叉トチン）内面及び口縁部外面に施釉、外：体部から底部にかけてヘラケズリ。

第 36 表　近世の陶磁器・土器観察表（C 区）（7）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量 (㎜)				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
129	5	C251	陶器	皿	灯明皿	69	17	27		灰	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	内：重積み痕あり、外：体部は上位から底面にかけて回転ヘラケズリを施す。釉は底面とその周辺の釉を拭き取る。
129	6	C251	陶器	皿	小皿	134	39	65		灰白	轆轤	白泥、呉須、透明釉	瀬戸・美濃	太白手。内：五弁花、草花文、一重圏線、外：折れ松葉文？蛇ノ目凹型高台。
129	7	C251	陶器	皿	灯明皿	88	20	34		灰白	轆轤	灰釉	京・信楽	内面及び外面の口縁部に施釉する。内：櫛目、三足ハマ（三錐ピン）痕あり。
129	8	C251	陶器	皿	小皿	105	29	52		浅黄	轆轤	灰釉、呉須	瀬戸・美濃	高台畳付を除き施釉する。内面見込みは摺絵で花文様を描く。削り出し高台。
129	9	C251	陶器	皿	灯明皿	123	30	52		灰	轆轤	錆釉	瀬戸・美濃	内：重積み痕あり、外：体部は上位から底面にかけて回転ヘラケズリを施す。釉は底面とその周辺の釉を拭き取る。
129	10	C251	陶器	皿	盤	173	30	112		灰	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内：鉄絵で竹を描く。
129	11	C251	陶器	皿	盤	202	55	84		灰黄	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	削り込み高台。高台周辺を除く内外面全体に灰釉を施す。口縁部は２箇所を指オサエにて変形。見込みに目跡５。
129	12	C251	陶器	鉢	餌猪口	38	27	34	52	灰白	轆轤貼付	灰釉	瀬戸・美濃	底部とその周辺を除く内外面に施釉する。外：底部周辺はナデにより面取り。環状の摘みを貼付け。底面糸切未調整。
129	13	C251	陶器	鉢	蓋物	57	22	36		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内面及び外面の底部及び口縁部は無釉となる。口縁部に蓋受け。
129	14	C251	陶器	鉢	蓋物	90	55	64		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	外面体部のみ施釉。
129	15	C251	陶器	鉢	小鉢	48	41	29		灰	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内面及び外面底部を除き施釉する。底部は焼成後に穿孔され、転用の可能性あり。
129	16	C251	陶器	蓋	蓋物蓋	104	22			灰白	タタラ、型押し	透明釉、鉄、緑釉	瀬戸・美濃	外：摘みは粘土を２箇所に貼付。笠部隅２箇所に緑釉を漬け掛けし、端部は緑釉を口錆状に掛ける。鉄絵で文様を描く。内：布目痕あり。
129	17	C251	陶器	鉢	蓋物	83	69	57		灰白	型起こし	灰釉、緑釉、鉄釉	瀬戸・美濃	高台畳付を除く内外面全体を施釉する。把手は貼付。鉄絵で梅花を描き、隅１箇所に緑湯を漬け掛けする。第 129 図 16 とセット。
129	18	C251	陶器	鉢	片口	147	85	66	168	灰白	轆轤貼付	灰釉	瀬戸・美濃	内面見込みに目跡３。外：体部中位から底部にかけて無釉。
129	19	C251	陶器	鉢	中鉢	(183)	88	75		灰白	轆轤	鉄釉、うのふ、呉須、上野釉	瀬戸・美濃	体部下方は丸みを帯び、上方は緩やかに内湾する。口縁端部を僅かに外反させ、複数個所を指で押さえて輪花とする。内外面に灰釉を施した後、口縁部から鉄釉を体部上半まで掛け、内面は口縁部から上野釉とうのふ釉を交互に掛ける。高台内面は錆釉を施す。
129	20	C251	陶器	鉢	蓋物	60	36	44	70	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	被熱。体部外面に灰釉を施釉する。高台は碁笥底状。内：無釉。内外面に煤付着。
129	21	C251	陶器	鉢	蓋物	79	41	59		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内面及び外面の底部及び口縁部は無釉となる。口縁部に蓋受け。
130	1	C251	陶器	盤	水盤	220	129	200	299	灰白	轆轤貼付	鉄釉、錆油	瀬戸・美濃	内：口縁部を除き錆釉、外：底部を除き鉄釉を口縁部内面まで施す。三足貼付。口縁部直下に長石片はめ込み。体部の複数個所を内面から指２本で押さえ、その指の間を外面から上下方向になぞる。
130	2	C251	陶器	鉢	蓋物	98	57	67		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内面及び外面の底部及び口縁部無釉。口縁部に蓋受け。
130	3	C251	陶器	鉢	香炉	149	59	88		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内面と口縁部上端、底面は無釉。削り出し高台。
130	4	C251	陶器	鉢	植木鉢	126	156	90		灰白	轆轤	鉄釉、錆釉	瀬戸・美濃	外：高台畳付及び高台内面を除き施釉、内：口縁部付近に鉄釉、底部を除く部分に錆釉を施す。口縁部は上面に平坦部を作り、端部が外側に張り出す。底面中央に焼成前穿孔、高台２箇所に切込みあり。
130	5	C251	陶器	鉢	植木鉢	100	110	75		浅黄橙	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内面口縁部と、外面の底部及びその周辺を除き施釉。底部中央に焼成前穿孔。
130	6	C251	陶器	鉢	植木鉢	128	93	89	147	灰	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	口縁部は上面に平坦部を作り、外側に張り出す。底面中央に焼成前穿孔あり。高台の３箇所にアーチ状の切り込みを入れる。
130	7	C251	陶器	鉢	植木鉢	271	224	194		灰白	轆轤	錆釉、呂宋釉	瀬戸・美濃	内：底部に砂目跡 6、錆釉を施すが、口縁部は外面同様に緑釉（呂宋釉）を施す、外：体部は貼花（貼付文）により雲龍文を描く。高台は 4 箇所に切込み。底面中央に焼成前穿孔。
130	8	C251	陶器	甕	小甕	98	80	60	114	灰白	轆轤	鉄釉、灰釉	瀬戸・美濃	外：肩部の３箇所に灰釉を流し掛けする。
130	9	C251	陶器	鉢	練鉢	184	121	103	196	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内面は底部に３箇所の目痕あり。外面は高台とその周辺を除き施釉する。口縁部は玉縁状に作り、口縁部直下の外面に２条の沈線を巡らせる。
130	10	C251	陶器	鉢？				66		にぶい黄橙	轆轤	不明、鉄？	不明	被熱。
130	11	C251	陶器	鉢	片口	181	123	97	222	灰黄	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	内：底部内面に目痕 4。重ね積み痕あり、外：口縁直下に沈線１条巡る。高台及びその周辺を除き鉄釉（飴釉）が施される。高台内面はヘラケズリ、重ね積み痕あり。
130	12	C251	陶器	鉢	蚊遣り		(114)	(177)		浅黄橙	轆轤	鉄釉	不明	肩部に敲打痕あり、転用か。
131	1	C251	陶器	甕	中甕	190	134	137		橙	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	外：口縁部下に３条の沈線が巡る。高台脇に稜線あり。口縁部は上面が平坦で端部が内外に僅かに張り出し、砂目跡４。底部に焼成後穿孔。植木鉢に転用。
131	2	C251	陶器	甕	中甕	160	108	104		橙	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	外：口縁部下に３条の沈線が巡る。口縁は上面が平坦で端部は内外に僅かに張り出し、砂目跡２。底部に焼成後穿孔あり。植木鉢として使用。
131	3	C251	陶器	鉢	水鉢	308	143	(178)	316	灰白	轆轤	灰釉、緑釉	瀬戸・美濃	外：高台とその周辺を除き施釉。口縁部付近から胴部にかけて緑釉を流し掛けする。流水文を彫り、さらに列点文を施す。内：底部に目跡６。
131	4	C251	陶器	鉢	水鉢	325	222	170		灰黄	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	外：高台とその周辺を除き施釉、口縁部付近から胴部にかけて鉄釉と緑釉を交互に流し掛けする。流水文を彫り、さらに列点文を施す。内：底部に目跡 5。
131	5	C251	陶器	鉢	大鉢	330	235	207		灰白	轆轤	錆釉、灰釉、呉須、うのふ釉	瀬戸・美濃	手水鉢。外：口縁部は５箇所を指押さえ。高台内面と周辺に錆釉、内外面全体に灰釉、うのふ釉、呉須。
131	6	C251	陶器	甕	大甕	304	282	220	332	橙	轆轤	鉄釉、錆釉	瀬戸・美濃	底部内面と高台内側にそれぞれ砂目跡６あり。外：体部の上位及び下位にそれぞれ２条の沈線が巡る。
131	7	C251	陶器	鉢	焜炉	185	170	172	245	灰白	轆轤貼付	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	三足を貼付。外：底部を除き施釉、鉄絵で文様を描く。窓は大半が欠損。
131	8	C251	陶器	鉢	擂鉢	313	168	154	324	灰白	轆轤	鉄釉	不明	
131	9	C251	陶器	壺	小壺	100	123	78		灰白	轆轤貼付	灰釉	瀬戸・美濃	双耳壺。高台は断面方形で削り出しにより成形する。把手を貼付。
131	10	C251	陶器	壺	小壺	74	87	54	94	灰白	轆轤貼付	灰釉	瀬戸・美濃	双耳壺。高台は断面方形で削り出しにより成形する。把手を貼付。
131	11	C251	陶器	壺	小壺	54	63	42	70	灰白	轆轤貼付	灰釉	瀬戸・美濃	双耳壺。高台は断面方形で削り出しにより成形する。把手を貼付。
131	12	C251	陶器	鉢		116	98	76		灰白	轆轤貼付	灰釉	瀬戸・美濃	
131	13	C251	陶器	瓶	仏花瓶	46	111	63	95	灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	
131	14	C251	陶器	瓶	髪油壺	16	40	42	84	明褐	轆轤	鉄釉	不明	
131	15	C251	陶器	瓶	中瓶？	22				灰白	轆轤貼付	鉄釉	不明	印花。

第 37 表　近世の陶磁器・土器観察表（C 区）（8）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
132	1	C251	陶器	瓶	大瓶	32	246	111	141	灰黄	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	底部に糸切痕あり。釘書き「小∧」。
132	2	C251	陶器	瓶	中瓶	35	230	80	109	灰黄	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	外：胴部下半は回転ヘラケズリ。底部は削り出し、釉拭き取り。胴部に胎土の融着２箇所あり。肩部に螺旋文あり。釘書きあり（「山」形に「吉」か）。
132	3	C251	陶器	瓶	中瓶	32	206	80	107	灰黄	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	外：胴部下半は回転ヘラケズリ。底部とその周辺は釉を拭き取り。底部削り出し。胴部に胎土の融着３箇所あり。肩部に螺旋文あり。釘書きあり。
132	4	C251	陶器	瓶	中瓶	34	215	68	84	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	外：胴部下半は回転ヘラケズリ。釉を漬け掛け。釘書きあり「万利」。底部削り出し。
132	5	C251	陶器	瓶	中瓶	40	203	66	84	灰	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	外:胴部下半は回転ヘラケズリ。釉を漬け掛け。釘書きあり。
132	6	C251	陶器	瓶	中瓶	40	188	68	84	灰	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	外：胴部下半は回転ヘラケズリ。高台削り出し。底部とその周辺は釉を拭き取り。釘書きあり。
132	7	C251	陶器	瓶	中瓶	20	192	68	96	灰	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	外：胴部下半は回転ヘラケズリ。胴部中位から底部にかけて３箇所をへこませて三角形状につくる。底部とその周辺は釉を拭き取り。
132	8	C251	陶器	瓶	中瓶	27	176	64	102	灰黄	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	外：胴部上位から底部にかけて回転ヘラケズリ。底部は釉拭き取り。
132	9	C251	陶器	瓶	大瓶			128	197	灰白	轆轤	鉄釉	不明	外：体部中位に 15 条の沈線が巡る。底部削り出し、釉を拭き取り。
132	10	C251	陶器	水注	中水注	67	79	52	128	灰白	轆轤、貼付	鉄釉、錆釉	瀬戸・美濃	内面に錆釉､外面に鉄釉を施す。口縁部は釉剥ぎする。把手、注口部は貼付。
132	11	C251	陶器	水注	中水注	58	67	44	120	灰白	轆轤、貼付	鉄釉、錆釉	瀬戸・美濃	内面に錆釉、外面に鉄釉を施す。把手、注口部は貼付。
132	12	C251	陶器	瓶	花生	62			74	灰白	轆轤	鉄釉、錆釉	瀬戸・美濃	内：講演部付近に鉄釉、そのほかは錆釉を施す、外：鉄釉を施す。
132	13	C251	陶器	瓶	花生			67		灰白	轆轤	鉄釉、錆釉	瀬戸・美濃	内：錆釉を施す。外面は底部とその周辺を除き鉄釉を施す。底部糸切未調整。
133	1	C251	陶器	水注	土瓶	66	109	60	190	灰白	轆轤	青緑釉	不明	
133	2	C251	陶器	水注	土瓶	(68)	(124)	74	204	橙	轆轤貼付	透明釉、白泥、鉄釉、		外：胴部に白泥、鉄絵等で家屋等を描く。底部を除く全体に施釉。底部に煤付着。三足。内：無釉。
133	3	C251	陶器	水注	土瓶	51				赤褐	轆轤貼付	透明釉、鉄釉、うのふ釉	不明	外：鉄釉を掛けたのち、肩部付近からうのふ釉を掛け流す。内：透明釉を上半に施す。底部欠損。
133	4	C251	陶器	水注	土瓶	44			105	灰褐	轆轤、貼付	灰釉	不明	外：底部を除き施釉。
133	5	C251	陶器	鍋	土鍋	136			156	灰白	轆轤、貼付	鉄釉	不明	底部を除く内外面に施釉。橋状の取っ手を貼付。底部に煤付着。
133	6	C251	陶器	鍋	蒸器	(160)	87	73	182	灰白	轆轤	鉄釉	不明	外：底部を除き施釉。底部に煤付着。底面に７箇所の焼成前穿孔あり。
133	7	C251	陶器	鍋	土鍋	176	95	74	200	灰白	轆轤、貼付	鉄釉	不明	外：底部を除き施釉。底面に煤付着、内：見込みに目跡 5。
133	8	C251	陶器	鍋	土鍋	184	110	84	220	灰白	轆轤、貼付	鉄釉	不明	底部を除く内外面に施釉。外：橋状の取っ手を貼付。底部に煤付着。内：底部に目跡 5。
134	1	C251	陶器	秉燭	カンテラ	46	43	34		灰白	轆轤、貼付	灰釉	不明	高台とその周辺を除く全面に施釉。
134	2	C251	陶器	蓋	土瓶蓋	79	36		104	灰白	轆轤	灰釉、鉄釉、白泥	京・信楽	外：笠部はヘラにより同心円状及び放射状の沈線を施し、白泥で花、鉄で枝を描いて灰釉を施す。笠部内面は無釉。
134	3	C251	陶器	蓋	土瓶蓋	60	35		90	灰黄	轆轤	青緑釉	不明	外：全体に施釉。
134	4	C251	陶器	蓋	土瓶蓋	48	29		70	灰白	轆轤	青緑釉	不明	外：青緑釉を全体に施す、内：口縁部端を含め無釉。
134	5	C251	陶器	蓋	土瓶蓋	48	29		72	灰白	轆轤	鉄釉	不明	外：全面に施釉、内：無釉。
134	6	C251	陶器	蓋	土瓶蓋	58	37		79	灰黄	轆轤	鉄釉	不明	外：全面に施釉、内：無釉。
134	7	C251	陶器	蓋	合子蓋	112	19			灰白	轆轤	鉄釉	不明	
134	8	C251	陶器	蓋	合子蓋	95	13			灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	外：全面に施釉、内：無釉。
134	9	C251	陶器	蓋	蓋物蓋	78	17		100	灰白	轆轤	黄瀬戸釉	瀬戸・美濃	外：全面に施釉、内：無釉。
134	10	C251	陶器	蓋	壺蓋	87	25			灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	外：施釉、内：無釉。糸切未調整。
134	11	C251	陶器	蓋	壺蓋	53	20			灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	外：施釉、内：無釉。糸切未調整。
134	12	C251	陶器	蓋	土瓶蓋	63	36		83	灰白	轆轤	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	外：笠部上面に灰釉を施した後、鉄絵で帆掛け船と山水文を描く、内：無釉。
134	13	C251	陶器	蓋	土瓶蓋	35	31		52	灰黄	轆轤	鉄絵、呉須、透明釉	不明	外：鉄絵と呉須で文様を描く、内：無釉。
134	14	C251	陶器	蓋	土瓶蓋	36	27		54	灰褐	轆轤	長石釉	不明	外：全面に長石釉を施す、内：無釉。丸形摘み。
134	15	C251	陶器	蓋	土瓶蓋	42	29		59	暗灰黄	轆轤	鉄釉、うのふ釉	不明	外：全面に鉄釉、摘みから座、口縁部付近にかけてうのふ釉を掛ける。
134	16	C251	陶器	蓋	土瓶蓋	35	26		54	灰黄	轆轤	灰釉、鉄釉	不明	外：上面に白泥、鉄、緑釉、黄釉で文様を描き、透明釉を施す。摘みは先端から鉄で放射状に文様を描く、内：無釉。焼成前穿孔１箇所あり。
134	17	C251	陶器	蓋	土瓶蓋	37	28		48	灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	不明	外：灰釉を施し、鉄絵で縦縞及びぴよろけ縞文様を描く。摘みは先端から鉄絵で放射状に文様を描く、内：無釉。焼成前穿孔１箇所あり。
134	18	C251	陶器	蓋		44	28		54	灰白	轆轤	灰釉	不明	
134	19	C251	陶器	蓋		50	14		51	浅黄	轆轤	透明釉、白泥（イッチン）	不明	外：笠部上面にイッチンで文様を描く、内：無釉。
134	20	C251	陶器	蓋		73	9		87	灰白	轆轤	鉄、白泥、透明釉	京・信楽	外：笠部上面に鉄絵で梅花の輪郭と枝を描き、梅花は白泥で塗りつぶす、内：かえり内面のみ透明釉を施す。
134	21	C251	陶器	蓋		92	32		116	灰白	轆轤	灰釉、呉須	不明	外：笠部上面に灰釉を施した後、呉須で鉤形の曲線文様を描く。内：無釉。
134	22	C251	陶器	蓋		105	21		18	灰白	轆轤		不明	
134	23	C251	陶器	蓋	水注蓋		24	46	112	灰褐	轆轤貼付	灰釉	不明	
134	24	C251	陶器	蓋	水注蓋		18	42	95	灰白	轆轤貼付	灰釉	瀬戸・美濃	橋状摘み。
134	25	C251	陶器	蓋	水注蓋		24	43	86	灰白	轆轤	鉄釉	不明	外：全面に施釉、内：無釉。
134	26	C251	陶器	蓋	水注蓋		16	34	66	灰白	轆轤	鉄釉	不明	外：全面に施釉、内：回転ヘラケズリにより調整し、無釉である。
134	27	C251	陶器	蓋	土鍋蓋	94	24		28	灰	轆轤	灰釉	不明	内外面に施釉し、笠端部を釉剥ぎする。外：櫛描き状の螺旋文を施す。
134	28	C251	陶器	蓋	土鍋蓋	171	38		49	灰黄	轆轤	鉄、白泥、呉須、透明釉	瀬戸・美濃	外：鉄で枝、呉須と白泥で梅花を表現し梅樹を描く。笠端部を除き内外面全体に透明釉を施す。
134	29	C251	陶器	蓋	蓋物蓋	125			150	灰白	タタラ、型押し	透明釉、鉄、緑釉	瀬戸・美濃	外：笠部は一部に緑釉を漬け掛けし、全面に透明釉を施して端部を釉剥ぎする。鉄絵で文様を描く。
135	1	C251	陶器	蓋	蓋物蓋	168	37			橙	轆轤	鉄釉、白泥、錆釉	飯能	イッチン。外：飛び鉋により施文、内：口縁部を除き鉄釉を施す。
135	2	C251	陶器	蓋	蓋物蓋	108	13	108		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	外：全面に施釉。

第 38 表　近世の陶磁器・土器観察表（C 区）（9）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量 (㎜)				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
135	3	C251	陶器	蓋	蓋物蓋	61	10		70	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	復興織部。
135	4	C251	陶器	蓋	碗蓋	96	23		38	灰白	轆轤	灰釉、呉須、鉄	瀬戸・美濃	外：麦藁手、内：灰釉。
135	5	C251	土器	蓋？		74	44	9		灰黄		不明	不明	被熱。
135	6	C251	陶器	秉燭	灯明具	40	138	51	77	灰白	轆轤	灰釉、緑釉、鉄	瀬戸・美濃	
135	7	C251	陶器	器台	坏台	48	114	56	48	灰白	轆轤	鉄、灰釉	瀬戸・美濃	外：鉄絵で網目文を描く。
135	8	C251	陶器	器台	灯明受皿	82	52	45		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	底部及び受部端を除く全面に施釉。
135	9	C251	陶器	器台	灯明受皿	64	40	50	30	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
135	10	C251	陶器	不明				56		灰黄	轆轤	灰釉？	不明	
135	11	C251	陶器	皿	灯明皿	123	32	47		浅黄	轆轤	錆釉	瀬戸・美濃	体部外面上位及び内面全体に錆釉を施す、内：重ね焼き痕あり。外：体部中位以下回転ヘラケズリ。
135	12	C251	陶器	皿	灯明皿	122				にぶい赤褐	轆轤	錆釉	瀬戸・美濃	体部外面上位及び内面全体に錆釉を施す、内：重ね焼き痕あり。外：体部中位以下回転ヘラケズリ。
135	13	C251	陶器	皿	灯明皿	180	78	80		にぶい赤褐	轆轤	錆釉	瀬戸・美濃	体部外面上位及び内面全体に錆釉を施す、内：重ね焼き痕あり。外：体部中位以下回転ヘラケズリ。
135	14	C251	陶器	器台	灯明受皿	124	30	56	88	灰黄	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	受部端は釉剥ぎ。外：口縁部直下から底部まで回転ヘラケズリ。油溝切立状。
135	15	C251	陶器	器台	灯明受皿	102	2.3	46	70	灰黄	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	受部端は釉剥ぎ。外：口縁部直下から底部まで回転ヘラケズリ。油溝切立状。
135	16	C251	陶器	器台	灯明受皿	90	23	36	56	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内：口縁部端まで灰釉を施す。受部端は釉剥ぎする。外面は口縁部直下から底部まで回転ヘラケズリする。油溝は半月状に切る。
135	17	C251	陶器	器台	灯明受皿	70	16	34	42	灰黄	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	受部端は釉剥ぎ。外：口縁部直下から底部まで回転ヘラケズリ。油溝切立状。
135	18	C251	陶器	鉢	擂鉢	427	182	186		暗赤褐	轆轤	無釉	堺	摺目：見込み 6 ～ 8 条・体部 9 条 / 単位。見込み摺目三角形。体部は口縁部付近から底部付近にかけて回転ヘラケズリ。
135	19	C251	陶器	鉢	擂鉢	348	149	160		暗赤褐	轆轤	無釉	明石	摺目：見込み 7 ～ 9 条・体部 10 条 / 単位。見込み摺目放射状。体部回転ヘラケズリ。
135	20	C251	陶器	鉢	水鉢	288	156	153		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉、緑釉	瀬戸・美濃	文政 8 年（1825）銘。外：底部無釉。見込みに目跡 6。
135	21	C251	陶器	茶漉し		59				灰白	轆轤	灰釉、透明釉	不明	
136	1	C251	土器	蓋	火消壺蓋	251	28			浅黄橙	回転台	無釉	江戸在地	
136	2	C251	土器	鉢	火消壺	(195)	188	194		橙	輪積	無釉	江戸在地	
136	3	C251	土器	鉢	火消壺	(272)	(273)	257		橙	輪積	無釉	江戸在地	
136	4	C251	土器	鉢	火鉢	170	81	121		にぶい褐	輪積	無釉	江戸在地	三足。外：口縁端部ミガキ、スタンプによる文様。
136	5	C251	土器	鉢	火鉢	(152)	71	110		灰白	轆轤	無釉	不明	外：口縁部櫛描き文様。C244 号出土破片と接合
136	6	C251	土器	鉢	焜炉	(200)	149	185		にぶい褐	輪積	無釉	江戸在地	三足。突起 3 箇所のうち、1 箇所欠損。外：簾状の文様あり。内：体部下位に煤付着。
136	7	C251	土器	鉢	鉢形容器	95	47	55		浅黄橙	轆轤	無釉	江戸在地	
136	8	C251	土器	鉢	鉢形容器	98	50	58		浅黄橙	轆轤	無釉	江戸在地	外：底部ミガキ
136	9	C251	土器	鉢	鉢形容器	98	48	65		明赤褐	轆轤	無釉	江戸在地	外：ミガキ
136	10	C251	土器	鉢	植木鉢	101	72	65		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。焼成前穿孔。
136	11	C251	土器	鉢	焜炉	175	193	168		灰白	貼付	無釉	不明	涼炉。煎茶用焜炉。
136	12	C251	土器	鉢	鉢形容器	110				橙	轆轤	無釉	江戸在地	
136	13	C251	土器	鉢				60		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
136	14	C251	土器	秉燭	カンテラ	58	61	67	158	明赤褐	轆轤貼付	透明釉	江戸在地	轆轤で体部を成形し、口及び耳部分を貼付。全面に透明釉を掛ける。2 箇所ある吊り下げ用の穿孔部分に針金が残存。底面に固定用の軸孔あり。
136	15	C251	土器	器台	灯明受皿	70	71	54	74	明褐	轆轤	透明釉	江戸在地	脚付。底部を除く全面に施釉。
136	16	C251	土器	器台	灯明受皿	106	26	50	74	橙	轆轤	透明釉	江戸在地	底部糸切未調整。全面に施釉。
136	17	C251	土器	器台	灯明受皿	98	23	36	65	橙	轆轤	透明釉	江戸在地	底部糸切未調整。全面に施釉。
136	18	C251	土器	器台	灯明受皿	86	18	34	58	浅黄橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
136	19	C251	土器	器台	灯明受皿	75	20	34	48	橙	轆轤	透明釉	江戸在地	底部糸切未調整。全面に施釉。
136	20	C251	土器	器台	灯明受皿	73	18	33	47	橙	轆轤	透明釉	江戸在地	底部糸切未調整。全面に施釉。
136	21	C251	土器	秉燭	タンコロ	76	28	40		明褐	轆轤	透明釉	江戸在地	底部糸切未調整。全面に施釉。横穴芯立。
136	22	C251	土器	秉燭	タンコロ	64	22	29		明褐	轆轤	透明釉	江戸在地	底部糸切未調整。全面に施釉。
136	23	C251	土器	秉燭	タンコロ	48	20	29		明褐	轆轤	透明釉	江戸在地	底部糸切未調整。全面に施釉。
136	24	C251	土器	秉燭	タンコロ	35	15	25		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
136	25	C251	土器	器台	燭台	50	8	43		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。底部焼成前穿孔。
136	26	C251	土器	器台	燭台	34	8	22		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。底部焼成前穿孔。
136	27	C251	土器	皿	耳皿		(21)	30		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部ナデ。
136	28	C251	土器	皿	小皿	53	13	23		浅黄	手づくね	無釉	不明	
137	1	C251	土器	鉢	風炉	(218)	174	215		浅黄	輪積	無釉	江戸在地	
137	2	C251	土器	鉢	七輪		(172)	184		浅黄	輪積	無釉	江戸在地	
137	3	C251	土器	器台	五徳	146	42	100		にぶい黄橙	回転台？	無釉	江戸在地	底部を除く全面をナデ調整。
137	4	C251	土器	焜炉部品	風口			206		にぶい黄橙	板作り	無釉	江戸在地	七輪。
137	5	C251	土器	鉢	風炉		(148)	210		にぶい黄橙	輪積	無釉	江戸在地	
138	1	C251	土器	鍋	焙烙	330	(39)			にぶい黄橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、器壁なし。
138	2	C251	土器	鍋	焙烙	330	(51)			浅黄橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、器壁高 2cm 前後。
138	3	C251	土器	蓋	焼塩壷蓋	64	10		62	橙	型押し	無釉	不明	
138	4	C251	土器	蓋	焼塩壷蓋	61	12		68	黄橙	型押し	無釉	不明	
138	5	C251	土器	蓋	焼塩壷蓋	68	11		57	にぶい橙	型押し	無釉	不明	
138	6	C251	土器	蓋	焼塩壷蓋	78	9		69	橙	型押し	無釉	不明	
138	7	C251	土器	蓋	焼塩壷蓋	72	14		78	淡黄	板作り	無釉	江戸在地	
138	8	C251	土器	鉢	焼塩壷身	56	78	44	67	にぶい赤褐	轆轤	無釉	江戸在地	詳細は第 54 表参照。
138	9	C251	土器	鉢	焼塩壷身	56	70	44	70	にぶい橙	轆轤	無釉	江戸在地	詳細は第 54 表参照。
138	10	C251	土器	鉢	焼塩壷身	52	71	45	68	にぶい橙	轆轤	無釉	江戸在地	詳細は第 54 表参照。
138	11	C251	土器	鉢	焼塩壷身	48	51	37	62	橙	轆轤	無釉	江戸在地	詳細は第 54 表参照。
138	12	C251	土器	鉢	焼塩壷身	50	50	38	60	橙	轆轤	無釉	江戸在地	詳細は第 54 表参照。
138	13	C251	土器	皿	五寸皿	(163)	32	92		橙	轆轤	無釉	江戸在地	外：口縁部直下から底部ミガキ、内：底部に煤付着。
138	14	C251	土器	皿	五寸皿	(146)	32	82		橙	轆轤	無釉	江戸在地	外：口縁部直下から底部ミガキ、内：底部に煤付着。
138	15	C251	土器	皿	小皿	125	32	72		橙	轆轤	無釉	江戸在地	外：口縁部直下から底部にかけてミガキ。内面底部に漆喰付着。
138	16	C251	土器	皿	小皿	113	28	52		にぶい赤褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。全面に施釉。

第 39 表　近世の陶磁器・土器観察表（C 区）（10）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
138	17	C251	土器	皿	小皿	108	23	51		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
138	18	C251	土器	皿	小皿	(106)	19	(56)		橙	轆轤	無釉	江戸在地	外：口縁部直下から底部にかけてミガキ。
138	19	C251	土器	皿	小皿	92	20	40		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。全面に施釉。
138	20	C251	土器	皿	小皿	104	21	48		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
138	21	C251	土器	皿	小皿	106	20	57		橙	轆轤	無釉	江戸在地	外：口縁部直下から底部にかけてミガキ。
138	22	C251	土器	皿	小皿	100	22	48		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
138	23	C251	土器	皿	小皿	78	17	40		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
138	24	C251	土器	皿	小皿	72	16	30		橙	轆轤	透明釉	江戸在地	底部糸切未調整。全面に施釉。
138	25	C251	土器	皿	小皿	68	13	33		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
138	26	C251	土器	皿	小皿	50	11	26		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。
139	1	C278	磁器	碗	大碗	(140)	70	52		灰白	轆轤	染付	肥前	
139	2	C278	陶器	碗	大碗	141	84	58		灰褐	轆轤	灰釉、鉄	不明	
139	3	C278	磁器	碗	小碗	(86)	62	32		灰白	轆轤	染付	肥前	
139	9	C278	磁器	鉢	猪口	(90)	65	(64)		灰白	轆轤	白磁	肥前	
139	4	C278	磁器	碗	大碗	(122)	51	49		灰白	轆轤	白磁	肥前	
139	5	C278	磁器	碗	中碗	102	51	35		灰白	轆轤	染付	肥前	
139	6	C278	磁器	碗	小碗	90	49	32		灰白	轆轤	染付	肥前	
139	7	C278	磁器	碗	小碗	62	25	30		灰白	轆轤	染付	肥前	
139	8	C278	磁器	鉢	小鉢	53	32	22		灰白	轆轤	染付	肥前	
139	10	C278	陶器	鉢	擂鉢	(184)	53	83		浅黄橙	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	
139	11	C278	陶器	器台	灯明受皿	82	16	43	58	明褐灰	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	
139	12	C278	土器	蓋	焼塩壺蓋	70	19		72	橙	型押し	無釉	近畿	
140	1	C304	磁器	碗	中碗	100	55	34		灰白	轆轤	染付	肥前	外：木の葉文をコンニャク印判で配し、筆で花を描く。高台内「大明年製」銘。
140	2	C304	磁器	碗	中碗	98	50	34		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み五弁花、口縁部四方襷文。
140	3	C304	磁器	碗	小碗	66	33	27		灰白	轆轤	染付	肥前	
140	4	C304	磁器	碗	小碗	54	24	22		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文
140	5	C304	磁器	鉢	蓋物	70	40	46		灰白	轆轤	染付	肥前	
140	6	C304	陶器	碗	小碗	(89)	51	37		灰白	轆轤	鉄、灰釉	京・信楽	
140	7	C304	陶器	碗	中碗	(100)	58	44		灰白	轆轤	呉須、灰釉	瀬戸・美濃	
140	8	C304	陶器	碗	中碗	(110)	71	(52)		灰	轆轤	呉須、灰釉	肥前	
140	9	C304	陶器	瓶	中瓶？	(68)				灰白	轆轤	白泥、透明釉、鉄釉	肥前？	
140	10	C304	陶器	瓶	洩瓶	60	148	118	195	灰白	轆轤	鉄釉（飴釉）	瀬戸・美濃	
140	11	C304	土器	鉢	火鉢	192	(118)	180	240	明黄褐	輪積	無釉	江戸在地	三足欠失し痕跡のみ。内：指オサエ痕不明瞭る。
140	12	C304	土器	蓋	焼塩壺蓋	66	12			明褐	型作り	無釉	近畿	内：布目痕。雲母片を僅かに含む。
140	13	C304	土器	鉢	焼塩壺身	55	87	52	72	橙	轆轤	無釉	近畿	詳細は第 55 表参照。
140	14	C305 上層	磁器	碗	中碗	99	60	40		灰白	型打ち	白磁	肥前	
140	15	C305 上層	磁器	碗	中碗	95	52	38		灰白	轆轤	染付	肥前	外：雪輪梅樹文。
140	16	C305 上層	磁器	皿	小皿	105	33	52		灰白	轆轤	白磁	肥前	口銹。
140	17	C305 上層	磁器	皿	中皿	204	33	72		灰白	轆轤	染付	肥前	外：太公望。
140	18	C305 上層	陶器	碗	大碗	122	62	37		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
140	19	C305 上層	陶器	碗	小碗	72	33	39		灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	外：高台周辺を除き施釉。
141	1	C305 上層	陶器	鉢	中鉢	266	127	130		赤橙	轆轤	無釉	備前？	火襷。
141	2	C305 上層	陶器	鉢	香炉	156	81	146		灰褐	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	口縁部敲打痕。
141	3	C305 上層	陶器	瓶	中瓶	38				灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	徳利。ヘラ描きあり。頸部下方に櫛目文あり。
141	4	C305 上層	土器	鍋	焙烙	314			(328)	明黄褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、器壁高 2cm 前後。
141	5	C305 上層	土器	鉢	焼塩壺身			54		明黄褐	轆轤	無釉	近畿	詳細は第 55 表参照。
141	6	C305 上層	土器	皿	小皿	91	18	46		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	口縁部に煤付着。糸切痕有り、轆轤左回転。
141	7	C305 中層	磁器	碗	中碗	94	55	34		灰白	轆轤	染付、上絵付	肥前	外：上絵付で草花文。高台一重圏線。
141	8	C305 中層	磁器	碗	小碗	88	54	32		灰白	轆轤	染付	肥前	内：口縁部四方襷文、見込み五弁花、外：松竹梅文。
141	9	C305 中層	磁器	碗	中碗	103	48	35		灰白	轆轤	染付	肥前	内：鉄分付着
141	10	C305 中層	磁器	碗	中碗	(96)	51	35		灰白	轆轤	染付	肥前	外：牡丹文、亀甲文。
141	11	C305 中層	磁器	碗	小碗	(88)	60	35		灰白	轆轤	染付	肥前	
141	12	C305 中層	磁器	碗	中碗	101	49	35		灰白	轆轤	染付	肥前	外：五葉若葉重文
141	13	C305 中層	磁器	碗	中碗	98	52	37		灰白	轆轤	染付	肥前	外：七宝繋文
141	14	C305 中層	磁器	碗	小碗	81	38	35		灰白	轆轤	染付	肥前	外：若松文
141	15	C305 中層	磁器	碗	小碗			18		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文
141	16	C305 中層	磁器	碗	小碗	(57)	34	22		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判文様、内：鉄分付着。
141	17	C305 中層	磁器	碗	小碗	(67)	28	29		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判文様、内：鉄分付着。
141	18	C305 中層	磁器	碗	小碗	(80)	64	40		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み五弁花、外：矢羽根文。
141	19	C305 中層	磁器	碗	小碗	(70)	60	38		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み五弁花。口縁部内面四方襷文、体部外面唐花文。
141	20	C305 中層	磁器	碗	小碗	79	61	43		灰白	轆轤	染付	肥前	

第 40 表　近世の陶磁器・土器観察表（C 区）（11）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量 (㎜)				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
141	21	C305 中層	磁器	碗	仏飯器	67	61	40		灰白	轆轤	青磁	肥前	底部無釉。
141	22	C305 中層	磁器	碗	仏飯器	70	48	40		灰白	轆轤	染付	肥前	波佐見系。
141	23	C305 中層	磁器	碗	仏飯器	55	57	32		灰白	轆轤	染付	肥前	波佐見系。
142	1	C305 中層	磁器	皿	五寸皿	(150)	50	90		灰白	轆轤	染付	肥前	口銹。内：草花文。
142	2	C305 中層	磁器	皿	五寸皿	(140)	45	82		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込みコンニャク印判五弁花、竹文、外：唐草文。高台内「福」字銘。
142	3	C305 中層	磁器	皿	五寸皿	(140)	37	79		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み五弁花、栗、外：唐草文。
142	4	C305 中層	磁器	皿	小皿	126	23	82		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み環状松竹梅文、唐花文、外：唐花文。
142	5	C305 中層	磁器	鉢	香炉	90	70	71		灰白	轆轤	青磁	肥前	蛇ノ目凹型高台。内：無釉、外：底面砂付着。
142	6	C305 中層	磁器	鉢	猪口	96	65	60		灰白	轆轤	染付	肥前	外：帆掛け船。
142	7	C305 中層	磁器	鉢	蓋物	92	51	44		灰白	轆轤	染付	肥前	外：蛸唐草文。
142	8	C305 中層	磁器	鉢	蓋物	72	41	42		灰白	轆轤	白磁	肥前	
142	9	C305 上層	磁器	碗	小碗	76	41	34		灰白	轆轤	青磁	肥前	
142	10	C305 中層	磁器	蓋	碗蓋	94	21		51	灰白	轆轤	染付	肥前	外：遠山。
142	11	C305 中層	磁器	蓋	碗蓋	91	25		38	灰白	轆轤	染付	肥前	外：楼閣山水、月。
142	12	C305 中層	磁器	蓋	碗蓋	91	23		30	灰白	轆轤	染付	肥前	外：龍。
143	1	C305 中層	磁器	蓋	蓋物蓋	146	48		164	灰白	轆轤	染付	肥前	外：芭蕉文。
143	2	C305 中層	磁器	蓋	蓋物蓋	82	27		91	灰白	轆轤	染付	肥前	外：梅枝。
143	3	C305 中層	陶器	碗	中碗	(115)	73	52		灰白	轆轤	灰釉	肥前	
143	4	C305 中層	陶器	碗	中碗	115	73	44	121	灰白	轆轤	灰釉、鉄、呉須	瀬戸・美濃	
143	5	C305 中層	陶器	碗	大碗	130	60	45	134	灰黄	轆轤	灰釉、白泥	瀬戸・美濃	
143	6	C305 中層	陶器	碗	大碗	(126)	60	42		灰白	轆轤	白泥、透明釉	京・信楽？	
143	7	C305 中層	陶器	碗	中碗	95	56	38		灰白	轆轤	鉄釉、灰釉	瀬戸・美濃	腰錆碗。
143	8	C305 中層	陶器	碗	小碗	76	57	47	80	灰黄	轆轤	長石釉	瀬戸・美濃	
143	9	C305 中層	陶器	碗	中碗	96	68	40		灰白	轆轤	鉄釉	京都	刻印「帯山」。
143	10	C305 中層	陶器	碗	中碗	107	55	40		褐灰	轆轤	白泥、透明釉	肥前	内外：打刷毛目。
143	11	C305 中層	陶器	碗	中碗	(107)	55	48		暗灰褐	轆轤	白泥、透明釉	肥前	内外：打刷毛目。
143	12	C305 中層	陶器	碗	小碗	90	54	32		灰白	轆轤	灰釉、鉄、呉須	京・信楽	外：鉄と呉須で若杉文を描く。
143	13	C305 中層	陶器	碗	大碗	(130)	47	40		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
143	14	C305 中層	陶器	碗	小碗	66	41	30		灰	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
143	15	C305 中層	陶器	碗	小碗	63	32	26		灰黄	轆轤	灰釉、上絵付	京・信楽	外：笹文等を描く。
144	1	C305 中層	陶器	皿	小皿	115	32	66		灰黄	轆轤	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	内：型紙摺で内面に鉄絵を描く。付け高台。
144	2	C305 中層	陶器	皿	小皿	117	29	60		灰黄	轆轤	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	内：型紙摺で内面に鉄絵を描く。付け高台。
144	3	C305 中層	陶器	皿	小皿	124	28	64		灰黄	轆轤	御深井釉、鉄	瀬戸・美濃	内：型紙摺で内面に鉄絵を描く。付け高台。
144	4	C305 中層	陶器	鉢	灰吹	56	(75)	56		淡黄		灰釉、鉄	瀬戸・美濃	外：鉄絵（草木？）
144	5	C305 中層	陶器	鉢	小鉢	52	39	49	(63)	灰白	轆轤	灰釉、鉄、呉須	京・信楽？	外：上絵付。
144	6	C305 中層	陶器	瓶？				40		にぶい赤褐	轆轤	施釉（不明）	不明	底部糸切未調整。
144	7	C305 中層	陶器	蓋	水注蓋		17	39	78	灰褐	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	外：落し蓋
144	8	C305 中層	陶器	蓋			14	38	68	灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	
144	9	C305 中層	陶器	蓋	合子蓋	90	15		92	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
144	10	C305 中層	陶器	蓋		52	90		62	灰白	轆轤	灰釉、鉄、呉須	瀬戸・美濃	炻器質。外：呉須と白泥で花を描き、鉄で枝を描く。
144	11	C305 中層	陶器	蓋	合子蓋	56	8			灰白	轆轤	灰釉、鉄、呉須	京・信楽？	外：鉄で枝、呉須で花を描く。
144	12	C305 中層	陶器	水注	小水注	47	67	38		灰白	轆轤、貼付	鉄釉	瀬戸・美濃	
144	13	C305 中層	陶器	水注	水滴	82	57	26		灰白	型押し	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	外：「虎」字と竹を型押し。
144	14	C305 中層	陶器	瓶	洗瓶	73	164	126	188	灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	底部糸切後、回転ヘラケズリ。底部周辺を除き施釉。
144	15	C305 中層	陶器	器台	灯明受皿	102	17	75	44	灰白	轆轤、貼付	錆釉	瀬戸・美濃	
144	16	C305 中層	土器	鉢	火鉢	(206)	121	—	(236)	橙	回転台	無釉	江戸在地	

第 41 表　近世の陶磁器・土器観察表（C 区）（12）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量 (㎜)				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
145	1	C305 中層	陶器	皿	小皿	80	19	40		明褐	轆轤	鉄泥	不明	轆轤右回転。口縁部煤付着。
145	2	C305 中層	土器	鉢	鉢形容器	96	49	58		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	
145	3	C305 中層	土器	蓋	蚊遣り蓋	78	19		94	灰白	不明	無釉	江戸在地	外面ミガキ。
145	4	C305 中層	土器	皿	小皿	74	15	34		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	口縁部煤付着。
145	5	C305 中層	土器	蓋	焼塩壺蓋	59	12		75		型押し	無釉	近畿	
145	6	C305 中層	土器	蓋	焼塩壺蓋	66	14		72		型押し	無釉	近畿	
145	7	C305 中層	土器	蓋	焼塩壺蓋	69	17		74		型押し	無釉	近畿	
145	8	C305 中層	土器	鉢	焼塩壺身			57			轆轤	無釉	江戸在地	詳細は第 55 表参照。
145	9	C305 中層	土器	鉢	焼塩壺身	60	70	51	74		轆轤	無釉	江戸在地	詳細は第 55 表参照。
145	10	C305 下層	磁器	碗	中碗	95	53	34		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み環状松竹梅。口縁部四方襷文、外：蔓草、鳥。
145	11	C305 下層	磁器	碗	小碗	87	44	28		灰白	轆轤	白磁	肥前	口銹。
145	12	C305 中層	磁器	碗	小碗	80	35	28		灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	内:ハゼ箇所に上絵付で花文様、外:扇面、草花文、流水文。
145	13	C305 下層	磁器	碗	小碗	52	37	24		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文。
145	14	C305 下層	磁器	碗	小碗	60	22	30		灰白	轆轤	白磁	肥前	
145	15	C305 下層	磁器	皿	中皿	211	44	120		灰白	轆轤	染付	肥前	外：唐草文、内：唐草文。
145	16	C305 下層	磁器	蓋	碗蓋	90	26		34	灰白	轆轤	染付	肥前	外：竹、内：見込み五弁花、二重圏線、四方襷文。
145	17	C305 下層	陶器	碗	中碗	110	66	48		灰白	轆轤	灰釉、鉄	京・信楽	小杉碗。
145	18	C305 下層	陶器	碗	大碗	(127)	54	47		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	高台周辺を除き灰釉を施す。
145	19	C305 下層	陶器	碗	小碗	88	53	31		灰白	轆轤	灰釉、呉須	瀬戸・美濃	高台周辺を除き施釉。
145	20	C305 下層	陶器	碗	小碗	75	42	32		灰白	轆轤	灰釉、呉須	瀬戸・美濃	高台周辺を除き施釉、呉須による文様を描く。
145	21	C305 下層	陶器	皿	中皿	238	58	137	270	灰白	轆轤	長石釉、鉄、呉須	瀬戸・美濃	外：花、流水文。目痕２残る。
145	22	C305 下層	陶器	蓋	水注蓋	27	18		63	灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	
145	23	C305 下層	土器	鍋	焙烙	(326)			(338)	明黄褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、器壁高 2cm 前後。
145	24	C305 下層	土器	蓋	焼塩壺蓋	72	17		67	橙	型押し	無釉	近畿	
145	25	C305 下層	土器	蓋	焼塩壺蓋	73	13		72	赤褐	型押し	無釉	近畿	
145	26	C305 下層	土器	鉢	焼塩壺身	56	85	52	73	橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 55 表参照。
146	1	C305 下層	陶器	甕	小甕	(220)			(332)	灰褐	轆轤	鉄釉	丹波	
146	2	C320	陶器	壺？	小壺？			50	80	灰黄	轆轤	透明釉		外:胴部中位から底面にかけて回転ヘラケズリ、底面ヘラ切り。
146	3	C326	磁器	碗	中碗	102	58	42		灰白	轆轤	染付	肥前系	外：草花文、高台内「大明年製」銘、一重圏線。
146	4	C326	磁器	碗	中碗	94	52	40		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判三蓋松、笹葉、高台内「大明年製」銘、一重圏線。
146	5	C326	磁器	碗	小坏	65	51	29		灰白	轆轤	染付	肥前系	外：コンニャク印判手。
146	6	C326	陶器	鉢	香炉	107	71	79		灰白	轆轤	鉄釉（飴釉）	瀬戸・美濃	三足。外：底部を除き施釉、内：見込みに目跡３。
146	7	C326	陶器	鉢	香炉	104	70	76		浅黄橙	轆轤	鉄釉、うのふ釉、錆釉	瀬戸・美濃	内：錆釉、外：底部を除き鉄釉（飴釉）、後うのふ釉。
146	8	C326	陶器	鉢	蓋物	109	91	72		灰	轆轤	染付	肥前系	陶胎染付。外：山水文。
146	9	C326	陶器	水注	水滴		27	49		灰白	板作り	灰釉	瀬戸・美濃	外：菊花文レリーフ。
146	10	C326	土器	鍋	焙烙	(271)				浅黄	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
146	11	C326	土器	皿	小皿	104	20	50		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。ロクロ左回転。口縁部ほぼ全周に煤付着
146	12	C331	磁器	碗	中碗	101	57	42		灰白	轆轤	染付	肥前	
146	13	C331	土器	鍋	焙烙	(254)			(261)	浅黄	回転台	無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
147	1	C375	磁器	碗	大碗	154	72	56		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み松竹梅文、口縁部四方襷文、外：草花文、蝶文。
147	2	C375	磁器	碗	中碗	(110)	59	(42)		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：不明、外：花卉文。
147	3	C375	磁器	碗	小碗	88	43	32		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：不明、外：窓絵に文字。
147	4	C375	磁器	碗	小碗	82	45	32		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：不明、外：草花文。
147	5	C375	磁器	碗	中碗	122	64	60		灰白	轆轤	染付	肥前	外：楼閣山水文。
147	6	C375	磁器	碗	中碗	112	63	60		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：見込み不明、外：連弁文。
147	7	C375	磁器	碗	小碗	83	76	52		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：口縁部瓔珞文？、外：文様不明。
147	8	C375	磁器	碗	薄手酒坏	84	36	32		灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	色絵。卵殻手。内：「寿」字文、松、梅樹文、雷文繋ぎ。
147	9	C375	磁器	碗	小碗	60	30	26		灰白	轆轤	染付	肥前	内外面：網目文
147	10	C375	磁器	皿	小皿	100	25	56		灰白	轆轤	染付	肥前	内：楼閣山水文。口銹。
147	11	C375	磁器	皿	大皿	290	63	144		灰白	轆轤	染付	肥前	内：楼閣山水文。外：宝珠。釘書きあり。
147	12	C375	磁器	皿	中皿	238	60	123		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み：蝶文、列点文。型打ち：蝶文。
148	1	C375	磁器	瓶	燗徳利	28	218	55	72	灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：楼閣山水文。
148	2	C375	磁器	鉢	中鉢	146	76	58		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：連弁文等、外：上半草花文、下半鉄釉。
148	3	C375	磁器	鉢	猪口	73	59	50		灰白	轆轤	染付	肥前	蛇ノ目凹型高台。内：二重圏線、外：格子文。
148	4	C375	磁器	蓋	合子蓋	47	13		49	灰白	轆轤	染付	肥前	外：遠山、網干文。
148	5	C375	陶器	碗	大碗	125	65	56		灰白	轆轤	白泥、鉄釉、透明釉	瀬戸・美濃	
148	6	C375	陶器	碗	中碗	112	59	40		灰白	轆轤	白泥、鉄釉、透明釉	瀬戸・美濃	
148	7	C375	陶器	碗	中碗	95	53	43		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	
148	8	C375	陶器	碗	小碗	85	57	33		暗灰褐	轆轤	白泥、透明釉、鉄釉	萩	内：見込み蝶文？外：草文。

第 42 表　近世の陶磁器・土器観察表（C 区）（13）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
148	9	C375	陶器	碗	小碗	(86)	46	33		灰	轆轤	藁灰釉、鉄釉	萩	自然釉の付着あり。
148	10	C375	陶器	碗	小碗	58	32	28		灰白	轆轤	透明釉	瀬戸・美濃	
148	11	C375	陶器	碗	小杯			20		灰白	轆轤	染付	不明	太白焼。胎土に白化粧土を掛け、呉須で絵付けした後に透明釉を施す。上絵付あり。高台内銘款あり。
148	12	C375	陶器	鉢	中鉢	182	109	135	186	浅黄	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	
148	13	C375	陶器	鉢	餌猪口	50	25	40	62	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
148	14	C375	陶器	鉢	中鉢	(214)	136	180	(238)	灰白	轆轤	錆釉、鉄釉	瀬戸・美濃	内：錆釉、内面に目跡５、外：鉄釉。
148	15	C375	陶器	水注	土瓶	72	67	94	140	灰白	轆轤	灰釉、鉄釉、うのふ釉	瀬戸・美濃	
148	16	C375	陶器	蓋	急須蓋	58	29			黄灰	てびねり・貼付	鉄釉	不明	刻印。
148	17	C375	陶器	急須	急須身	58				黄灰	てびねり・貼付	鉄釉	不明	刻印「清」。
148	18	C375	陶器	鍋	行平					橙	てびねり	鉄釉	不明	刻印。高台内部に刻印「赤坂」。
149	1	C375	陶器	瓶	中瓶	30	202	73	104	灰黄	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	外：灰釉を総掛けにし、底面及びその周辺は釉を拭き取り。胴部下半は回転ヘラケズリ。
149	2	C375	陶器	甕	中甕	217	243	172	248	灰黄	轆轤	錆釉、鉄釉	瀬戸・美濃	内：底部に目跡５。
149	3	C375	陶器	水注	水滴	74	48	24		灰白	型押し		瀬戸・美濃	外：上面に朝顔文陽刻。
149	4	C375	陶器	器台	灯明受皿	101	20	42	66	灰	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	外：体部下半から底面まで回転ヘラケズリ。柿釉を総掛け、底面とその付近は釉拭き取り。
149	5	C375	陶器	器台	灯明受皿	(86)	54	55	45	灰白	轆轤	灰釉	京・信楽	油溝アーチ状。外：底面及び内面を除き施釉。
149	6	C375	陶器	蓋	土瓶蓋	69	39		90	灰白	轆轤	灰釉、鉄	不明	外：灰釉を施釉後、鉄絵で雁文、山水文を描く。
149	7	C375	陶器	蓋		93	19			灰	轆轤	灰釉	京・信楽？	外：施釉、内：ヘラ切り未調整。
149	8	C375	陶器	蓋		66				黒褐	轆轤	白泥、鉄	不明	摘み欠失。焼成前穿孔箇所有るが、絵付けにより大半は塞がれる。
149	9	C375	陶器	蓋	中壺蓋		19	60	62	灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	
149	10	C375	土器	鉢	風炉	—	(111)	136	156	灰白	輪積	無釉	江戸在地	底面に墨書「祖父江氏、天保９年」。
149	11	C375	土器	鉢	火鉢	167	90	125		橙	輪積	無釉	江戸在地	三足。土師質。
149	12	C375	土器	鉢	火鉢	(200)	105	157	230	灰	輪積？	無釉	江戸在地	
149	13	C375	土器	鍋	焙烙	(316)				明黄褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、器壁なし。
149	14	C375	土器	鍋	焙烙	(300)				明黄褐	回転台	無釉	江戸在地	瓦質。無耳、器壁高 2cm 前後。外：ミガキ、スタンプ文様。
149	15	C375・C381	磁器	碗	薄手酒坏	62	30	24		灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	色絵。内：見込み桜花文。
150	1	C381	磁器	碗	中碗	114	63	42		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	
150	2	C381	磁器	碗	中碗	(105)	57	(40)		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：花唐草文。
150	3	C381	磁器	碗	中碗	(95)	50	38		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：蝶文。
150	4	C381	磁器	碗	小碗	66	62	40		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：草木文。
150	5	C381	磁器	碗	小碗	70	60	35		灰白	轆轤	染付	肥前	外：松文。
150	6	C381	磁器	碗	小碗	(68)	51	33		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込みコンニャク印判五弁花、口縁部四方襷文、外：半菊文、格子。
150	7	C381	磁器	碗	小杯	(50)	36	19		灰白	轆轤	染付	肥前	内：口縁部二重圏線、外：墨弾き唐草文。
150	8	C381	磁器	鉢	蓋物	88	46	46		灰白	轆轤	染付	肥前	外：市松文、格子文。
150	9	C381	土器	秉燭	タンコロ	67	26	36		橙	轆轤	透明釉	江戸在地	底部糸切痕。
150	10	C381	土器	秉燭	タンコロ	28	16	20		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切痕。
150	11	C381	土器	秉燭	燭台	33	55	22		橙	轆轤	無釉	江戸在地	
150	12	C381	土器	皿	小皿	76	18	32		橙	轆轤	透明釉	江戸在地	底面糸切痕未調整。
150	13	C392	磁器	蓋	碗蓋	103	29		57	灰白	轆轤	染付	肥前	内：一重、二重圏線、見込み銀杏文、外：竹文、摘み内不明（「福」か）文字銘款あり。
150	14	C450	陶器	碗	中碗	102	56	39		灰白	轆轤	鉄釉（天目釉）	瀬戸・美濃	
150	15	C450	陶器	皿	小皿	122	26	68		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内：見込みに重ね焼き痕あり。高台を除き灰釉を総掛けする。削り出し高台。
150	16	C450	陶器	瓶	瀧瓶	66	152	146	204	灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	
150	17	C451	陶器	碗	中碗	140	78	41		灰黄	轆轤	白泥、透明釉	肥前	内外：巻刷毛目。白泥で刷毛目を施し、畳付を除く全面に透明釉を掛ける。
150	18	C463	陶器	鉢	擂鉢	326	157	115		灰白	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	摺目 11 ～ 12 条／単位。底部内面は使用による摩耗著しい。底部糸切未調整。
150	19	C464	土器	壺	中壺		(55)			褐	轆轤	無釉	不明	
151	1	C476	磁器	皿	小皿	(132)	33	(46)		灰白	轆轤	染付	肥前	外：高台内を含め施釉。
151	2	C476	磁器	壺	中壺	(92)			136	灰白	轆轤	染付	肥前	被熱。
151	3	C476	磁器	鉢	蓋物	(46)	18	(31)	(54)	灰白	轆轤	白磁	肥前	
151	4	C476	磁器	蓋	蓋物蓋	(90)			116	灰白	轆轤	染付	肥前	被熱。
151	5	C476	磁器	蓋	蓋物蓋	68			80	灰白	轆轤	染付	肥前	被熱。桐文型紙摺り。
151	6	C476	磁器	蓋	蓋物蓋	66	42		97	灰白	轆轤	染付	肥前	
151	7	C476	陶器	皿	五寸皿	(140)	27	(76)		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
151	8	C476	陶器	鉢	大鉢			(104)		にぶい赤褐	轆轤	白泥、鉄釉、透明釉	肥前	
151	9	C476	陶器	鉢	蓋物	121	79	68		灰白	轆轤	灰釉		被熱。内：口縁部釉剥ぎ、外：体部に鉄絵で三つ葉葵文を描く。高台内無釉。
151	10	C476	陶器	鉢	蓋物	(116)	77	(80)	134	灰褐	轆轤	白泥、灰釉	瀬戸・美濃	被熱。
151	11	C476	陶器	鉢	蓋物	95	77	60	109	灰褐	轆轤	白泥、灰釉	瀬戸・美濃	被熱。
151	12	C476	陶器	鉢	擂鉢	—	—	—		灰褐	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	被熱。
151	13	C476	陶器	瓶	中瓶	32	193	82	112	灰褐	轆轤	鉄釉、うのふ釉	瀬戸・美濃	
151	14	C476	陶器	蓋	蓋物蓋	155	39		182	灰褐	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	被熱。
151	15	C476	陶器	蓋	合子蓋	130	20			灰褐	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	被熱。
151	16	C476	土器	鍋	焙烙	—	—	—		明黄褐色		無釉	江戸在地	深め、器壁高 2cm 前後。
152	1	C475	土器	鍋	焙烙	(251)				明黄褐		無釉	江戸在地	有耳、底丸。
152	2	C475	土器	鍋	焙烙	(259)				明黄褐		無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 4cm 前後。
152	3	C486	磁器	蓋	蓋物蓋	70	20		84	灰白	轆轤	染付	肥前	外：宝文？
152	4	C486	陶器	瓶	花瓶	28	84	54	74	にぶい赤褐	轆轤	白泥、透明釉	肥前	内：白泥による象嵌、三島手。
152	5	C505	磁器	碗	中碗	108	59	46		灰白	轆轤	染付	肥前	外：コンニャク印判（菊枝、草紙）。草花文。
152	6	C505	磁器	皿	中皿	190	30	84		灰白	轆轤	染付	肥前	内：花唐草、雁。
152	7	C505	陶器	碗	中碗	118	77	58		灰黄	轆轤	鉄釉、うのふ釉	瀬戸・美濃	高台周辺に薄い飴釉、高台周辺を除く内外面に飴釉を掛け、口縁部内外面にうのふ釉を掛ける。高台は削り出し。
152	8	C505	陶器	鉢	香炉	120	73	60		灰白	轆轤	鉄、透明釉	肥前	外：山水文、内：無釉。刻印「山伊原」。
152	9	C505	陶器	器台	灯明受皿	116	33	56	78	褐	轆轤	無釉	志戸呂	油溝アーチ状３箇所。

第 43 表　近世の陶磁器・土器観察表（C 区）（14）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
152	10	C454	土器	鉢	焼塩壺身	59	95	55	77	浅黄橙	板作り	無釉	近畿	
152	11	C478	土器	鉢	焼塩壺身	56	96	46	72	浅黄橙	輪積	無釉	近畿	
153	1	C511	磁器	碗	大碗	128	69	49		灰白	轆轤	染付	肥前	
153	2	C511	磁器	碗	中碗	(98)	47	40		灰白	轆轤	染付	肥前	
153	3	C511	磁器	碗	仏飯器	75	55	41		灰白	轆轤	染付	肥前	底部を除く全面に施釉。外面：雨降り文。
153	4	C511	磁器	皿	五寸皿	(147)	43	(85)		灰白	轆轤	染付	肥前	内：山水文、外：雲。高台内渦「福」字銘、一重圏線。
153	5	C511	磁器	皿	小皿	(132)	36	47		灰白	轆轤	染付	肥前	見込み蛇ノ目釉剥ぎ。内：格子文。
153	6	C511	磁器	皿	小皿	99	30	50	101	灰白	轆轤	染付	肥前	高台内銘あり、一重圏線。外：唐草文。
153	7	C511	磁器	鉢	小碗	80	56	40		灰白	轆轤	染付	肥前	内:見込み五弁花、外:高台内「大明成化年製」銘、一重圏線。唐草文。
153	8	C511	磁器	鉢	猪口	80	62	37		灰白	轆轤	染付	肥前	外：山水文？
153	9	C511	磁器	鉢	猪口	81	58	45		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文。
153	10	C511	陶器	碗	中碗	107	63	35		灰白	轆轤	鉄呉須、透明釉	京・信楽	外：鉄、呉須で木葉文を描く。
153	11	C511	陶器	碗	小碗	78	50	44		灰黄	轆轤	鉄釉	不明	削出し高台
153	12	C511	陶器	鉢	小鉢	76	68	50		灰白		御深井釉、呉須？	瀬戸・美濃	型おこし
153	13	C511	陶器	皿	中皿	145 × 95	35	60		灰白	型打ち	灰釉	瀬戸・美濃	木瓜形。付け高台。素地に布目痕あり。
153	14	C511	陶器	皿	小皿	120	(30)	65		灰白	轆轤	鉄、灰釉	瀬戸・美濃	内：見込みに摺絵で鉄絵を描く。高台周辺は無釉、削り出し高台。
153	15	C511	陶器	皿	小皿	124	37	48		灰白	轆轤	呉須、灰釉	瀬戸・美濃	型紙摺。梅花文。
153	16	C511	陶器	皿	小皿	125	(27)	58		灰黄	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
153	17	C511	陶器	瓶	仏花瓶	52	137	86		灰白	轆轤	鉄釉、錆釉	瀬戸・美濃	外：底部及びその周辺に錆釉、そのほかは鉄釉。
153	18	C511	陶器	鉢	段重	113	49	100		灰白	轆轤	鉄、白泥、灰釉	不明	外：鉄、白泥で蔦唐草を描く。高台を含む底面及び内面口縁部は無釉。
153	19	C511	陶器	鉢	灰吹	(50)	70	50		灰白	轆轤		肥前？	轆轤左回転。鉄絵に灰釉を施釉後、上絵付。笹葉文。口縁部端に敲打痕あり。
153	20	C511	陶器	皿	灯明皿	100	20	57	104	灰黄	轆轤	錆釉	瀬戸・美濃	
153	21	C511	陶器	器台	灯明受皿	104	21	61	71	灰黄	轆轤	錆釉	瀬戸・美濃	
153	22	C511	陶器	器台	灯明受皿	110	24	53	71	明黄褐	轆轤	錆釉	志戸呂	
153	23	C511	土器	皿	小皿	79	18	36		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。ロクロ左回転。口縁部に煤付着。
153	24	C511	土器	皿	小皿	111	23	58		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。ロクロ右回転。口縁部に煤付着。
154	1	C511	土器	鉢	中鉢	(222)	124	170		明黄褐	輪積	無釉	江戸在地	三足。外：櫛目あり。
154	2	C511	土器	鉢	焼塩壺身	55	84	56	70	橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 55 表参照。
154	3	C511	土器	鉢	焼塩壺身	60	78	53	71	橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 55 表参照。
154	4	C514	磁器	碗	中碗	98	48	38		灰白	轆轤	染付	不明	外：素描きによる鳥、吉祥雲、寿字文。
154	5	C514	磁器	碗	小碗	80	43	30		灰白	轆轤	染付	肥前	内外：雲龍文。
154	6	C514	磁器	鉢	猪口	86	66	70		灰白	轆轤	染付	肥前	内：素描きにより連弁、笹文等を描く。
154	7	C514	磁器	皿	小皿	132	41	72		灰白	轆轤	染付	肥前	波佐見系。内：見込みコンニャク印判五弁花。
154	8	C514	陶器	碗	中碗	132	62	42		灰白	轆轤	灰釉、白泥	瀬戸・美濃	外：横線文。内：打ち刷毛目。
154	9	C514	陶器	碗	中碗	119	52	47		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	外：体部に沈線５～６条。底面墨書「小～」内容不明。
154	10	C514	陶器	碗	大碗	126	57	38		灰白	轆轤	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	柳茶碗。鉄絵。
154	11	C514	陶器	碗	中碗	109	42	38		浅黄橙	轆轤	呉須、鉄、灰釉	瀬戸・美濃	見込みには鉄により梅花、呉須により枝を描く。高台及びその周辺を除き灰釉を施す。
154	12	C514	陶器	碗	大碗	126	58	36		灰白	轆轤	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	柳茶碗。鉄絵。
154	13	C514	陶器	鉢	香炉	145	61	90		浅黄橙	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	
154	14	C514	陶器	瓶	小瓶	38	193	63	84	浅黄橙	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
154	15	C514	陶器	蓋		74	27		93	灰白	轆轤	呉須、鉄	京・信楽	
154	16	C526	土器	鍋	焙烙	(330)				橙		無釉	江戸在地	無耳、浅め、器壁高 2cm 前後。
154	17	C526	土器	鍋	焙烙	(324)				橙		無釉	江戸在地	無耳、深め、器壁高 2cm 前後。
155	1	C521	磁器	碗	中碗	(106)	61	38		白	轆轤	染付	不明	内：霊芝文。外：高台二重圏線。
155	2	C521	磁器	碗	中碗	(91)	51	36		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：見込み蝶文、外：唐人文様？。高台二重圏線。
155	3	C521	磁器	碗	小碗	78	45	33		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内:草花文、蝶文。草花文周囲に上絵付（江戸で絵付けか）。
155	4	C521	磁器	鉢	蓋物	95	56	53		灰白	轆轤	染付	肥前	焼継痕あり。
155	5	C521	磁器	皿	中皿	204	33	103		灰白	轆轤	染付	肥前	楼閣山水。焼継痕あり。高台内面にハリ目跡３。
155	6	C521	磁器	皿	小皿	(98)	23	(52)		白	轆轤	染付	肥前	草紙、扇。
155	7	C521	磁器	瓶	小瓶			28	40	灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：笹文、花文。
155	8	C521	磁器	瓶	小瓶	30			60	灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：鳥、波濤文。
155	9	C521	陶器	碗	中碗	(113)	54	34		灰	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	柳茶碗。高台は幅広の面取りを施す。鉄絵で太い柳枝を描く。
155	10	C521	陶器	皿	小皿	103	21	48		灰		鉄錆釉（柿釉）	瀬戸・美濃	外：底部及びその付近を除き鉄錆釉を施す、内：見込みに重ね焼き痕あり。底部及び胴部下半は回転ヘラケズリ
155	11	C521	陶器	皿	五寸皿	158	38	68		浅黄橙	轆轤	御深井釉	瀬戸・美濃	内：型紙摺りで鉄絵の菊水文を描く。削り出し高台。
155	12	C521	陶器	鉢	中鉢	160	67	97		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	外：体部はロクロ目が顕著である。体部と、口縁部の内外面に灰釉を施す。削り出し輪高台。
155	13	C521	陶器	鉢	小鉢	84	56	55		灰白	轆轤	御深井釉	瀬戸・美濃	焼成前穿孔。内底面は無釉。
155	14	C521	陶器	瓶	中瓶	34	208	67	83	浅黄橙	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	外：外面全体に灰釉を漬け掛けする。底面及び底部付近の胴部は無釉。胴部下半は回転ヘラケズリ。
155	15	C521	陶器	瓶	小瓶			55	67	浅黄橙	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	外:口縁部から胴部下半まで緑釉を施した後、鉄釉を落とす。底部付近に鉄釉。
155	16	C521	土器	鍋	焙烙	－	－	－		明赤褐		無釉	江戸在地	器壁なし。外：外面煤付着。底部縮れ
156	1	C536	磁器	碗	大碗	153	81	64		灰白	轆轤	染付、上絵付	肥前	内：見込み五弁花、二重圏線。口縁部上絵付で七宝繋ぎ文、外：染付で梅樹文、鳥、雪輪、草花文、上絵付で梅花、鳥、草、鈴虫。高台脇二重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、「大明成化年製」銘。
156	2	C536	磁器	碗	大碗	148	66	57		灰白	轆轤	染付、上絵付	肥前	内：見込み環状松竹梅文、二重圏線。口縁部四方襷文、外：染付で体部下位に櫛歯文、雪輪内に上絵付で草花文を描く。高台二重圏線。
156	3	C536	磁器	碗	中碗	116	63	48		灰白	轆轤	染付、上絵付	肥前	内：見込み騎馬人物、建物、遠山、二重圏線、外：丸に騎馬人物、建物、遠山、丸に鳥、丸に捻子花文、上絵付で卍崩し文、唐草文、花文。高台脇二重圏線、高台一重圏線。
156	4	C536	磁器	碗	中碗	104	55	49		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内:見込み岩波文、二重圏線、口縁部墨弾きで円または葵？、外：楼閣山水文、高台二重圏線、高台内銘款。
156	5	C536	磁器	碗	中碗	101	52	43		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内:見込み岩波文、二重圏線、口縁部墨弾きで円または葵？、外：楼閣山水文、帆掛け船、高台二重圏線、高台内銘款。
156	6	C536	磁器	碗	中碗	96	57	43		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内:見込み花卉文、二重圏線、口縁部墨弾きで雲または葵？、外：口縁部二重圏線、連弁文。
156	7	C536	磁器	碗	中碗	98	51	41		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：見込み花文様。格子文様、外：格子文様、高台内「福」字銘。高台畳付無釉。第 164 図 11 とセット。

第 44 表　近世の陶磁器・土器観察表（C 区）（15）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
156	8	C536	磁器	碗	中碗	100	48	41		灰白色精良	轆轤	染付、上絵付	瀬戸・美濃	被熱。外：上絵付で注連縄？
156	9	C536	磁器	碗	中碗	99	54	38		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：見込み岩波文、二重圏線、口縁部墨弾きで円または葵？、外：楼閣山水文、摘み内銘款。
156	10	C536	磁器	碗	中碗	92	47	43		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：見込み草花文、二重圏線、口縁部花唐草文？、外：「壽」、「福」文、墨弾きで折れ松葉文、高台二重圏線、高台内銘款。
156	11	C536	磁器	碗	小碗	81	44	36		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	広東碗。内：見込み岩波文、二重圏線、口縁部墨弾き雲または葵文、外：楼閣山水文、口縁部及び高台脇墨弾きによる雲または葵文。高台内銘款。
156	12	C536	磁器	碗	中碗	117	65	65		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：見込み帆掛け船、一重圏線、口縁部二重圏線、外：連弁文、高台一重圏線。高台内釘書き（内容不明）。
157	1	C536	磁器	碗	中碗	94	53	36		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	
157	2	C536	磁器	碗	中碗	91	53	38		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：見込み鷺、一重圏線、口縁部雷文、外：葵、渦文。口縁部一重圏線、高台脇一重圏線、高台二重圏線。
157	3	C536	磁器	碗	小碗	76	62	46		灰白	轆轤	染付、上絵付	肥前	色絵。内：見込み五弁花、口縁部四方襷文、外：染付の一重圏線内に上絵付。高台内「富貴長春」銘。
157	4	C536	磁器	碗	紅猪口	90	45	35		灰白	轆轤	染付、上絵付	肥前	色絵。内：見込み「誉」字、一重圏線、口縁部一重圏線、外：楼閣山水文、網干。上絵付により「小〜（町紅？）」の文字。
157	5	C536	磁器	碗	小碗	70	36	22		灰白	轆轤	染付	肥前	内：菊花文。外：二重網目文。上絵付で文字。墨書は内：「花■」、外：「たんごや大しん」。
157	6	C536	磁器	碗	中碗	95	43	36		灰白	轆轤	染付	不明	外：葵、草文。口縁部一重圏線、高台脇一重圏線。
157	7	C536	磁器	碗	紅猪口	82	33	28		灰白	轆轤	染付、上絵付	肥前	色絵。外：草花文、上絵付により「小町紅　京紅」の文字。
157	8	C536	磁器	碗	小碗	76	31	26		灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	色絵。外：上絵付で羽状の文様を描く。
157	9	C536	磁器	碗	小碗	78	35	27		灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	色絵。被熱。外：上絵付で花唐草文等を描く。
157	10	C536	磁器	碗	小坏	60	36	20		灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	色絵。内：文様無し、外：上絵付で幔幕、桜。
157	11	C536	磁器	碗	小碗	60	29	20		灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	色絵。外：注連縄？、羽根、羽子板。
157	12	C536	磁器	碗	紅猪口	68	36	28		灰白	轆轤	染付、上絵付	肥前	色絵。外：鳥。上絵付により「小町紅〜」の文字。
157	13	C536	磁器	碗	小碗	66	25	28		灰白	轆轤	白磁	肥前	内：見込みキズ多数。
157	14	C536	磁器	碗	小坏	50	27	26		灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	色絵。内：桜花。
157	15	C536	磁器	碗	小坏	71	33	25		灰白	轆轤	染付、上絵付	肥前	内：松葉丈の文様を放射状に散らす。上絵付で「東山〜」。外：二重網目。
157	16	C536	磁器	碗	仏飯器	72	69	32		灰白	轆轤	染付	肥前	外：梅樹文。
157	17	C536	磁器	碗	仏飯器	64	64	39		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：半菊文。
157	18	C536	磁器	碗	仏飯器	(63)	50	33		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：格子文。
157	19	C536	磁器	皿	小皿	94	23	43		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：波兎、渦、外：四方襷文ほか。
157	20	C536	磁器	皿	小皿	98	24	44		灰白	轆轤	染付	肥前	内：花卉文、外：源氏香。
157	21	C536	磁器	皿	小皿	104	20	61		灰白	轆轤	白磁	瀬戸・美濃	
157	22	C536	磁器	鉢	小鉢	116	32	64		灰白	轆轤	青磁	肥前	輪花。内面見込みキズ多数あり。
158	1	C536	磁器	皿	大皿	(300)	43	(167)		灰白	轆轤	染付	肥前	内：楼閣山水文、外：文様無し、目痕 5。焼継あり。
158	2	C536	磁器	皿	大皿	298	61	174		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み環状松竹梅文、二重圏線、蛸唐草文、外：唐草文、高台脇一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、渦「福」字銘款。焼継記号。
158	3	C536	磁器	皿	小皿	88	17	46		灰白	轆轤	染付	肥前	内：鶴、若松、「千年丹頂鶴」文字。
158	4	C536	磁器	皿	小皿	97	17	58		灰白	轆轤	白磁	瀬戸・美濃	蛇ノ目凹型高台状に、中央が浅く窪む。
158	5	C536	磁器	皿	中皿	(180)	29	113		灰白	轆轤	染付	肥前	内：花唐草文、二重圏線、外：唐草文、高台脇一重圏線、高台二重圏線、高台内一重圏線、銘款。焼継あり。
158	6	C536	磁器	皿	中皿	(220)	33	128		灰白	轆轤	染付	肥前	内：楼閣山水文、外：文様無し、目痕 2 残る。
159	1	C536	磁器	皿	中皿	188	27	107		灰白	轆轤	染付	肥前	内：竹、渦、外：高台内一重圏線、「大明年製」銘。焼継あり。
159	2	C536	磁器	皿	中皿	174	30	106		灰白	型打ち	染付	肥前	内：扇文等を陽刻する、口縁部は花、渦文様を繋ぐ、外：高台内二重圏線、口銹。
159	3	C536	磁器	皿	中皿	226	32	126		灰白	轆轤	染付	肥前	内：楼閣山水文、、帆掛け船、外：文様無し。高台畳付無釉。高台内釘書き「竹末」。
159	4	C536	磁器	皿	中皿	228	37	128		灰白	轆轤	染付	肥前	内：楼閣山水文、外：高台内釘書き「葵文様」。
159	5	C536	磁器	皿	小皿	65	16	36		灰白	型打ち	染付	肥前	内：帆掛け船。
159	6	C536	磁器	皿	小皿	87	20	51		灰白	型押し	染付	瀬戸・美濃	内：楼閣山水文、外：四方襷文。
159	7	C536	磁器	皿	小皿	92	23	47		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：草花文、木目文、外：岩波ほか。高台内銘款。高台畳付無釉。口縁端部をヘラで輪花に成形する。
159	8	C536	磁器	皿	小皿	99	25	42		灰白	型打ち	染付	瀬戸・美濃	内：見込み梅花文、氷裂文、蛸唐草文、ダミ、外：雲？高台畳付無釉。
159	9	C536	磁器	皿	小皿	94 91	28	41		灰白	型打ち	染付	瀬戸・美濃	内：楼閣山水文、外：遠山、帆掛け船。高台内銘款。高台畳付無釉。
159	10	C536	磁器	皿	小皿	121	29	71		灰白	轆轤	染付、上絵付	肥前	色絵。内：見込み牡丹文、体部窓絵草花文、連弁文内に四方襷文及び草花文、外：花唐草文、高台内「富貴長春」銘。蛇ノ目凹型高台（高）高台脇一重圏線、高台二重圏線。
160	1	C536	磁器	皿	小皿	89	20	46		灰白	型押し	染付	瀬戸・美濃	内：花文、葉、外：文様無し。口銹。
160	2	C536	磁器	皿	小皿	89	20	49		灰白	型打ち	染付	瀬戸・美濃	内：草花文、文字、外：文様無し。
160	3	C536	磁器	皿	小皿	102	26	57		灰白	型打ち	染付	肥前	内：楼閣山水文、富士。口銹。高台内に葵形の釘書き。
160	4	C536	磁器	皿	小皿	100	25	54		灰白	型打ち	染付	肥前	内：墨弾きにより竜、雲を描く。外面：文様無し。
160	5	C536	磁器	皿	小皿	101 97	27	66		灰白	型打ち	染付	肥前	内：楼閣山水文、卍崩し文、外：墨弾きによる卍崩し文。高台畳付無釉。
160	6	C536	磁器	皿	小皿	127	33	74		灰白	型打ち	染付	肥前	内：楼閣山水文、外：文様無し、口銹。蛇ノ目凹型高台（高）。高台内釘書き「竹末」。
160	7	C536	磁器	皿	小皿	56	16	27		灰白	轆轤	白磁	肥前	
160	8	C536	磁器	鉢	猪口	80	67	60		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み岩波文？、外：稲束。底部付近二重圏線、口銹、蛇ノ目凹型高台、高台内葵文様の釘書きあり。
160	9	C536	磁器	鉢	猪口	83	63	66		白	轆轤	染付	肥前	内：見込み松竹梅文、二重圏線、口縁部四方襷文。外：唐草文、櫛歯文。稲束。底部付近二重圏線、口銹、蛇ノ目凹型高台、高台内葵文様の釘書きあり。
160	10	C536	磁器	鉢	蓋物	91	68	51		灰白	轆轤	染付	肥前	外：楼閣山水文、橋、人物、帆掛け船。
160	11	C536	磁器	鉢	蓋物	103	58	55		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	口縁端部無釉。外：花文様。
160	12	C536	磁器	鉢	蓋物	93	48	43		灰白	轆轤	染付	肥前	外：蛸唐草文、口縁部一重圏線、高台二重圏線。
160	13	C536	磁器	鉢	蓋物	89	49	47		灰白	轆轤	染付	肥前	外：楼閣山水文、遠山、松原？、帆掛け船、網干。
160	14	C536	磁器	鉢	蓋物	60	47	39		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	口縁端部無釉。外：麌、柄杓。
160	15	C536	磁器	鉢	蓋物	44	48	33		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	口縁端部無釉。外：草花文、蝶。
160	16	C536	磁器	鉢	蓋物	(57)	42	33		灰白	轆轤	染付	肥前	外：市松文様、格子文。高台二重圏線。
160	17	C536	磁器	鉢	蓋物	66	34	33		灰白	轆轤	染付	肥前	外：楼閣山水文、遠山、雁。
160	18	C536	磁器	鉢	蓋物	48	27	27		灰白	轆轤	染付	肥前	外：同心円状縞文様。口縁部、高台畳付無釉。
160	19	C536	磁器	鉢	蓋物	123	49	76		灰白	轆轤	染付	肥前	外：花、「壽」字、口縁部一重圏線、高台脇一重圏線、高台二重圏線。焼継あり。
160	20	C536	磁器	鉢	段重	143	65	91		灰白	轆轤	染付	肥前	外：楼閣山水文、人物、帆掛け船。高台脇一重圏線、高台二重圏線。

第 45 表　近世の陶磁器・土器観察表（C 区）（16）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
160	21	C536	磁器	鉢	段重	101	51	64		灰白	轆轤	染付	肥前	外：窓絵に楼閣山水文等。高台脇二重圏線。
160	22	C536	磁器	鉢	段重	123	49	75		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：波、梅花文、口縁部一重圏線。
160	23	C536	磁器	鉢	段重	89	36	68		灰白	轆轤	染付	肥前	外：幾何学文？
160	24	C536	磁器	鉢	段重	76	32	58		灰白	轆轤	染付、上絵付	肥前	色絵。内：文様無し、外：染付の一重圏線内に上絵付、窓絵に金彩。高台畳付無釉。
160	25	C536	磁器	鉢	小鉢	95	38	46		灰白	型打ち	染付	瀬戸・美濃	内：波兎、雷文、外：扇、雪輪。
160	26	C536	磁器	鉢	蓋物	77	37	37		灰白	轆轤	染付	肥前	笠端部無釉。外：市松文様、梅花文。
160	27	C536	磁器	鉢	香炉	64	(52)	—		灰白	轆轤、貼付	青磁	不明	三足、内面無釉。
161	1	C536	磁器	鉢	中鉢	176	81	75		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み幔幕、碁の対局、岩。体部花、幔幕、碁の対局、外：窓絵、花。高台畳付無釉。焼継あり。
161	2	C536	磁器	鉢	中鉢	168	93	91	51	灰白	型打ち	染付	肥前	内：見込み鳳凰、口縁部竹、柴垣、花唐草文、外：鳳凰、花唐草文、竹、柴垣、鳥。焼継あり。
161	3	C536	磁器	鉢	中鉢	146	73	68		灰白	轆轤	染付	肥前	内:見込み草花文。体部墨弾き宝珠、花？、列点文、外:縦縞、蔵文。蛇ノ目凹型高台（高）。
161	4	C536	磁器	鉢	中鉢	153	77	83		灰白	型打ち	染付	肥前	内：見込み素描による龍、口縁部木目文、外：体部木目文。高台貼付？
161	5	536	磁器	鉢	小鉢	49	34	28		灰白	轆轤	上絵付	中国	景徳鎮窯。粉彩。赤で上絵付。口縁部端は無釉、伏せ焼き。
161	6	C536	磁器	鉢	小鉢	88	68	42		灰白	型打ち	染付	瀬戸・美濃	内：口縁部瓔珞文、外：花唐草文、竹文、四方襷文。
161	7	C536	磁器	鉢	蓋物	72	37	39		灰白	轆轤	染付	不明	外：墨弾きの葵葉文様。高台脇一重圏線、高台二重圏線。
161	8	C536	磁器	蓋	合子蓋	61	12			灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文。第 161 図 11 とセット。
161	9	C536	磁器	蓋	合子蓋	47	12			灰白	轆轤	染付	肥前	外：楼閣山水文、遠山。第 161 図 12 とセット。
161	10	C536	磁器	蓋	合子蓋	47	11			灰白	轆轤	染付	肥前	外：流水文、葦？雁。第 161 図 13 とセット。
161	11	C536	磁器	鉢	合子	51	16	54		灰白	轆轤	染付	肥前	蓋受け無釉。底面無釉。第 161 図 8 とセット。内面付着物あり。
161	12	C536	磁器	鉢	合子	39	14	40		灰白	轆轤	染付	肥前	蓋受け無釉。底面無釉。第 161 図 9 とセット。
161	13	C536	磁器	鉢	合子	38	16	41		灰白	轆轤	染付	肥前	蓋受け無釉。底面無釉。第 161 図 10 とセット。底面に墨書あり。
161	14	C536	磁器	鉢	合子	61	27	58	66	灰白	轆轤	染付	肥前	蓋受け無釉。底面無釉。
161	15	C536	磁器	鉢	蓋物	78			79	灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：文様無し？、外：楼閣山水文、竹。橋状把手。
161	16	C536	磁器	鉢	香炉	52	40	21		白	轆轤	青磁	肥前	
162	1	C536	磁器	瓶	小瓶	16	100	42		灰白	轆轤	染付	肥前	神酒徳利。外：蛸唐草文、櫛歯文。高台畳付無釉、砂付着。
162	2	C536	磁器	瓶	小瓶	19	95	34	53	灰白	轆轤	染付	肥前	神酒徳利。外：竹、草花文。高台畳付無釉、砂付着。
162	3	C536	磁器	瓶	線香立	57	122	56		灰白	轆轤、貼付	染付	瀬戸・美濃	三足。外：楼閣山水文。底部無釉。
162	4	C536	磁器	瓶	中瓶			63	54	灰白	轆轤	染付	肥前	神酒徳利。外：松竹梅文、櫛歯文。
162	5	C536	磁器	瓶	小瓶	11	143	38	38	灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	神酒徳利。外：竹、鋸歯文。
162	6	C536	磁器	瓶	小瓶	21	101	35	48	灰白	轆轤	染付	肥前	神酒徳利。外：蛸唐草文。高台畳付無釉、砂付着。
162	7	C536	磁器	瓶	小瓶	15	72	28	78	灰白	轆轤	染付	肥前	神酒徳利。外：花、笹葉。
162	8	C536	磁器	瓶	小瓶	52	108	46	43	灰白	轆轤	染付	肥前	外：遠山、帆掛け船。
162	9	C536	磁器	水注	水盂	11	43	19	68	灰白	型押し、貼付	青磁	肥前	外：底部無釉。
162	10	C536	磁器	瓶	髪油壺	23	65	53	96	灰白	轆轤	染付	肥前	外：唐花文、松皮菱に草花文。
162	11	C536	磁器	水注		31				灰白	轆轤、貼付	染付	瀬戸・美濃	外：梅花文、連弁文。急須（上手形）の可能性あり。
162	12	C536	磁器	水注	銚子	113	204	92		灰白	轆轤、貼付	染付	肥前	外：唐草、花文様、把手、花文様、印花で花形文様貼付。
162	13	C536	磁器	瓶	仏花瓶	83	153	54		灰白	轆轤	青磁	肥前	高台畳付無釉。
163	1	C536	磁器	蓋	蓋物蓋	135	50			灰白	轆轤、貼付	染付	肥前	外：雪輪に梅、竹、草花文。笠端部無釉。
163	2	C536	磁器	蓋	蓋物蓋	111	31			灰白	轆轤	染付	肥前	外：丸文、雲。笠端部無釉。
163	3	C536	磁器	蓋	蓋物蓋	118	33	100		灰白	轆轤	染付	肥前	外：宝文、宝珠。笠端部無釉。
163	4	C536	磁器	蓋	蓋物蓋	87	31			灰白	轆轤、貼付	染付	肥前	内:笠端部を除き施釉。外:蛸唐草文、一重圏線、二重圏線。。橋状把手。
163	5	C536	磁器	蓋	蓋物蓋	73	24		96	灰白	轆轤、貼付	染付	肥前	笠端部無釉。外：市松文様、梅花文。
163	6	C536	磁器	蓋	蓋物蓋	(72)	24			灰白	轆轤、貼付	染付	肥前	外：市松文様、梅花文。焼継あり。
163	7	C536	磁器	蓋	蓋物蓋	68	26			灰白	轆轤、貼付	染付	瀬戸・美濃	笠端部無釉。外：薄、宝珠。
163	8	C536	磁器	蓋	蓋物蓋	68	19		80	灰白	轆轤、貼付	染付	肥前	外：樹木、鳥。
163	9	C536	磁器	蓋	蓋物蓋	63	24			灰白	轆轤	染付	肥前	外：鶴。笠端部無釉。
163	10	C536	磁器	蓋	蓋物蓋	82	33			灰白	轆轤、貼付	染付	肥前	外：楼閣山水文、遠山、雁。笠端部無釉。紐座は木葉形。
163	11	C536	磁器	蓋	蓋物蓋	61	25			灰白	轆轤	染付	肥前	外：楼閣山水文。笠端部無釉。紐座梅花形
163	12	C536	磁器	蓋	蓋物蓋	53	22			灰白	轆轤、貼付	染付	肥前	外：市松文様、格子文。笠端部無釉。
163	13	C536	磁器	蓋	蓋物蓋	45	19			灰白	轆轤、貼付	染付	肥前	外：同心円状縞文様。橋状摘み貼付。笠端部無釉。
163	14	C536	磁器	蓋	蓋物蓋	45	20			灰白	型押し、貼付	染付	肥前	外：陽刻文あり。笠端部ヘラ切り成形。焼成前穿孔 1
163	15	C536	磁器	蓋	碗蓋	76	20			灰白	轆轤	白磁、上絵付	肥前	色絵。外:笠部上面花唐草文、幔幕、桜花文。摘み端部無釉。
163	16	C536	磁器	蓋	合子蓋	53	11			灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文、遠山、唐子。第 163 図 17 とセット。
163	17	C536	磁器	鉢	合子	46	14	16		灰白	轆轤	染付	肥前	蓋受け無釉。第 163 図 16 とセット。底面無釉。
163	18	C536	磁器	蓋		9	15		20	灰白		染付、上絵付	肥前	色絵。笠部上面及び摘みに上絵付及び金彩を施す。
164	1	C536	磁器	蓋	碗蓋	109	31			灰白	轆轤	染付	肥前	内:見込み鷺文、一重圏線、二重圏線、外:素描草花文、岩。摘み端部無釉。
164	2	C536	磁器	蓋	碗蓋	107	28			灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み草花文、一重圏線、二重圏線、外：幔幕？。摘み端部無釉。
164	3	C536	磁器	蓋	碗蓋	103	30			灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み草花文、一重圏線、二重圏線、外：若葉文ほか。摘み端部無釉。
164	4	C536	磁器	蓋	碗蓋	95	29			灰白	轆轤	染付	肥前	内:見込み環状松竹梅文、二重圏線、四方襷文、外:菊、竹垣、草花文。摘み端部無釉。
164	5	C536	磁器	蓋	碗蓋	90	22			灰白	轆轤	染付	肥前	内:三つ葉文、一重圏線、二重圏線、外:連弁文。摘み内銘款。
164	6	C536	磁器	蓋	碗蓋	65	18			灰白	轆轤	染付	肥前	内：文様無し、外：草花文、蝶。摘み内草花文。
164	7	C536	磁器	蓋	碗蓋	98	26			灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み軍配？、一重圏線、口縁部×印繋ぎ、外：人物。

第 46 表　近世の陶磁器・土器観察表（C 区）（17）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量 (㎜)				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
164	8	C536	磁器	蓋	碗蓋	78	27			灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：見込み岩波文、二重圏線、口縁部墨弾きによる如意頭雲文。外：花唐草文、摘み二重圏線、摘み内銘款。
164	9	C536	磁器	蓋	碗蓋	79	26			灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：岩波文。外：楼閣山水文。摘み内銘款。
164	10	C536	磁器	蓋	碗蓋	83	27			灰白	轆轤	染付	肥前	内:見込み「壽」字、口縁部四方襷文。外:波文。摘み内「成化年製」字銘。
164	11	C536	磁器	蓋	碗蓋	81	25			灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：見込み花文様。格子文様。外：格子文様、摘み内「福」字銘。摘み端部無釉。61 端反碗とセット
164	12	C536	磁器	蓋	碗蓋	79	25			灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：見込み岩波文、二重圏線、口縁部横帯文。外：連弁文、一重圏線。摘み内銘款。54 とセット
165	1	C536	磁器	蓋	碗蓋	81	27			灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：見込み雪輪文、二重圏線、。外：雪輪文ほか。
165	2	C536	磁器	蓋	碗蓋	80	22			灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：軍配、宝珠、一重圏線。外：草花文、一重圏線。摘み端部無釉。
165	3	C536	磁器	蓋	碗蓋	92	25			灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み環状松竹梅文、口縁部七宝繋ぎ文。外：扇に松竹梅文。摘み端部無釉。
165	4	C536	磁器	蓋	碗蓋	91	22			灰白	轆轤	染付	肥前	内：文様無し。外：素描き牡丹文。摘み端部無釉。
165	5	C536	磁器	蓋	碗蓋	90	25			灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み、口縁部ともニョロニョロ文。外：花、連弁文、ニョロニョロ文。
165	6	C536	磁器	蓋	碗蓋	81	22			灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み波文、口縁部花文様。外：雲龍文。
165	7	C536	磁器	蓋	碗蓋	86	24			灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み岩波文。外：楼閣山水文、橋、人物。摘み端部無釉
165	8	C536	磁器	蓋	合子蓋	68	15			灰白	轆轤	染付	肥前	内：文様無し。外：墨弾き雲文様。1202 鉢とセット
165	9	C536	磁器	蓋	合子蓋	53	10			灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文、蝶。笠端部無釉。
165	10	C536	磁器	蓋	合子蓋	56	07			灰白	轆轤	染付	肥前	外：楼閣山水文。笠端部無釉。
165	11	C536	磁器	水注	水滴	70	19	49		灰白	型押し	染付（鉄､呉須）	肥前	底面は布目痕あり、無釉。側面のうち小口側 1 面は無釉。上面は陽刻で折枝菊を描く。
165	12	C536	磁器	水注	水滴	57	26	40		灰白	型押し	染付	肥前	底面は布目痕あり施釉。側面のうち小口側 1 面は無釉。上面は陽刻で折枝菊を描く。
165	13	C536	磁器	水注	水滴	54	15	39	28	灰白	型押し	染付（鉄､呉須）	肥前	底面は布目痕あり、無釉。側面のうち小口側 1 面は釉拭き取り。上面は陽刻で竹及び筍掘り人物を描く。
165	14	C536	磁器	水注	水滴	54	20	52		灰白	型押し	染付	肥前	底面無釉。
165	15	C536	磁器	杓子類	散蓮華	47		32	86	灰白	型押し	染付	瀬戸・美濃	内：唐草文、文字。外：花文様？。底部縁辺部無釉。
165	16	C536	磁器	杓子類	散蓮華	53	110	29		灰白	型押し	染付	中国？	内：唐草文？ 外：唐草文。底部縁辺部無釉。
165	17	C536	磁器	その他	根付	28	39	32		灰白	手びねり	鉄釉	不明	猿を象る。後背に焼成前穿孔 2 。部分的に砂付着
166	1	C536	陶器	碗	中碗	117	55	40		灰白	轆轤	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	高台を除く内外面に施釉する。外：鉄絵で簡略な柳文様を描く。
166	2	C536	陶器	碗	中碗	118	55	44		灰白	轆轤	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	柳茶碗。外：高台及びその周辺を除き施釉、鉄絵で簡略化された柳文様を描く。
166	3	C536	陶器	碗	中碗	117	53	46		灰白	轆轤	灰釉、呉須	瀬戸・美濃	柳茶碗。外：高台及びその周辺を除き施釉、呉須で簡略化された柳文様を描く。
166	4	C536	陶器	碗	中碗	112	52	40		灰白	轆轤	灰釉、呉須	瀬戸・美濃	柳茶碗。外：高台及びその周辺を除き施釉、呉須で簡略化された柳文様を描く。
166	5	C536	陶器	碗	中碗	111	46	37		灰白	轆轤	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	柳茶碗。外：高台及びその周辺を除き施釉、鉄絵で簡略化された柳文様を描く。
166	6	C536	陶器	碗	中碗	118	65	38		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	高台畳付無釉。内外面全体に御深井釉を施す。
166	7	C536	陶器	碗	中碗	130	61	50		灰白	轆轤	灰釉、白泥	瀬戸・美濃	内面：白泥により打ち刷毛目。外面：高台及びその周辺を除き施釉、白泥を螺旋状に施す。
166	8	C536	陶器	碗	中碗	122	50	47		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	外：体部に螺旋状の沈線。
166	9	C536	陶器	碗	中碗	99	59	39		灰白	轆轤	灰釉	京・信楽	高台とその周辺を除き施釉。
166	10	C536	陶器	碗	中碗	110	63	42		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	内外面に灰釉を施した後、内面の底面全体に施釉。
166	11	C536	陶器	碗	中碗	88	54	37		橙	轆轤	白泥、呉須、透明釉	瀬戸・美濃	内外面全体に白泥を施し、口縁部のみ呉須を掛け、さらに高台畳付を除き透明釉を掛ける。
166	12	C536	陶器	碗	中碗	95	52	33		灰白	轆轤	透明釉、鉄	不明	外：体部に印花で菊花文を施し、圏線等を描く。
166	13	C536	陶器	碗	中碗	91	51	45		灰白	轆轤	鉄釉、灰釉	瀬戸・美濃	内：全面に灰釉を施す。外：体部中位に螺旋状に浅い沈線を施す。下位は鉄釉を施す。
166	14	C536	陶器	碗	中碗	(120)	63	45		灰白	轆轤	長石釉、鉄、呉須	瀬戸・美濃	内：鉄釉で花卉文等を描く。外：口縁部から呉須を部分的に掛ける。
166	15	C536	陶器	碗	中碗	110	60	40		黄灰	轆轤	鉄釉、白泥、透明釉	瀬戸・美濃	素地に白泥を薄く開け、鉄釉で文様を描き、透明釉を掛ける。施文には跳び鉋を用いる。
166	16	C536	陶器	碗	中碗	108	57	42		灰白	轆轤	長石釉、鉄釉	瀬戸・美濃	内：見込み鉄絵で渦巻状の文様を施す。口縁部付近に一重圏線。口銹。外：鉄絵で文様を施す。
166	17	C536	陶器	碗	中碗	113	56	(45)		灰白	轆轤	透明釉、鉄	京・信楽	内：見込み文様、圏線。外：山水文、帆掛け船。
166	18	C536	陶器	碗	小碗	88	52	28		灰白	轆轤	灰釉	京・信楽	高台とその周辺を除く内外面に施釉。
166	19	C536	陶器	碗	小碗	88	54	36		灰白	轆轤	瑠璃釉、透明釉	瀬戸・美濃	内：透明釉。外：高台畳付を除き瑠璃釉。
166	20	C536	陶器	碗	中碗	117	64	57		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	太白焼。内：見込み文様、外：に呉須で文様を描く。
166	21	C536	陶器	碗	平形	114	43	50		灰黄	轆轤	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	墨書。御小納戸茶碗高台とその周辺を除く内外面に施釉。
166	22	C536	陶器	碗	中碗	120	64	56	(91)	浅黄	轆轤	透明釉、白泥、鉄	瀬戸・美濃	内：白泥に透明釉、外：白泥で梅花、鉄で枝を描き、透明釉を掛ける。
166	23	C536	陶器	碗	中碗	111	63	60		灰白	轆轤	染付	不明	太白焼。炻器質。内：見込み梅花文、一重圏線、口縁部一重圏線。外：山水文？帆掛け船。
167	1	C536	陶器	碗	中碗	113	64	57		灰白	轆轤	白泥、鉄、透明釉	瀬戸・美濃	内：白泥に透明釉、外面：白泥で梅花、鉄で枝を描き、透明釉を掛ける。
167	2	C536	陶器	碗	中碗	74	57	34		灰白	轆轤	呉須、透明釉	瀬戸・美濃	太白焼。内：梅花文、一重圏線。外：菊花文、格子文を呉須で描く。高台脇に一重圏線。
167	3	C536	陶器	碗	小碗	88	48	40		にぶい赤褐	轆轤	藁灰釉	萩	萩開口碗。高台は削り出しで底部周辺からケズリ。
167	4	C536	陶器	碗	小碗	82	49	33		灰	轆轤	染付	瀬戸・美濃	太白焼。内:見込み梅花文、二重圏線、口縁部一重圏線。外:竹？
167	5	C536	陶器	碗	中碗	92	44	35		灰白	轆轤	灰釉	不明	高台とその周辺を除き施釉。削り出し高台。
167	6	C536	陶器	碗	小坏	61	48	37		灰黄	轆轤	鉄、透明釉	不明	鉄絵で樹木等の文様を描く。高台畳付と内面を除き透明釉を施す。
167	7	C536	陶器	碗	小碗	63	36	28		灰白	轆轤	灰釉、白泥	瀬戸・美濃	内外：高台及びその周辺を除き施釉。
167	8	C536	陶器	碗	小碗	91	51	45		灰白	轆轤	灰釉、上絵付	京・信楽	高台畳付及び内面を除き施釉。上絵付で文字「■」。
167	9	C536	陶器	碗	小碗	56	33	30		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内外：高台を除き施釉。削り出し高台。
167	10	C536	陶器	皿	大皿	381	69	181		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	石皿。高台とその周辺を除く内外面に施釉。目跡 5。
167	11	C536	陶器	皿	中皿	185	44	80		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	見込みに型紙摺りの鉄絵で竹と鳥を描く。高台無釉。
167	12	C536	陶器	皿	中皿	186	33	116		灰白	轆轤	呉須、透明釉	不明	陶胎染付。呉須で草花文等の文様を描き、透明釉を掛ける。外：高台脇に一重圏線、高台に二重圏線、高台内に一重圏線と、「誉」字とみられる銘款あり。
167	13	C536	陶器	鉢	蓋物	94	58	64		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内：無釉、底面無釉。墨書「御ふくの間」

第 47 表　近世の陶磁器・土器観察表（C 区）（18）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量 (㎜)				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
167	14	C536	陶器	皿	五寸皿	140	31	62		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内：見込み蛇ノ目釉剥ぎ。外：高台とその周辺を除き施釉。削り出し高台。
167	15	C536	陶器	皿	小皿	87	24	54		灰白	型打ち	灰釉、鉄釉、緑釉	瀬戸・美濃	復興織部。内：見込みに鉄絵で格子文等を描く。
167	16	C536	陶器	皿	小皿	91	28	58		灰白	型押し、貼付	灰釉、鉄釉、緑釉	瀬戸・美濃	復興織部。内：見込み鉄絵で梅花文、工字文を描く。四足先端を除く全面に施釉。
167	17	C536	陶器	皿	小皿	(84) 70	24	50 40		灰白	型打ち	灰釉、鉄釉、緑釉	瀬戸・美濃	復興織部。内：見込みに鉄絵で宝珠（？）を描く。外：鉄絵で宝珠文を描く。
168	1	C536	陶器	皿	中皿	206	58	91		灰白	轆轤	緑釉（呂宋釉）	瀬戸・美濃	内面は印花で瓔珞文、菊花文等を描く。外面は高台以外を施釉。
168	2	C536	陶器	皿	中皿	202	47	114		灰白	轆轤	鉄、長石釉	瀬戸・美濃	見込みに目痕５箇所あり。
168	3	C536	陶器	皿	小皿	99	24	54		灰白	轆轤	染付	不明	内：楼閣山水文、遠山、帆掛け船。外：唐草文、高台脇一重圏線、高台二重圏線。高台畳付無釉。素地に白泥を薄く化粧掛けし、呉須で絵付けをする。
168	4	C536	陶器	皿	小皿	97	15	56		褐	型打ち	無釉	不明	型により内面に花文様を表す。
168	5	C536	陶器	皿	小皿	89	23	40		灰白	轆轤	灰釉、呉須	不明	内：呉須で草文様を描く。外：蛇ノ目高台及びその周辺を除き施釉。
168	6	C536	陶器	皿	小皿	105	28	48		灰白	轆轤	灰釉、呉須	瀬戸・美濃	内：型紙摺りにより、呉須で花文様を描く。外：高台とその周辺を除き施釉。
168	7	C536	陶器	皿	小皿	130	33	67		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	太白焼。内：見込み五弁花、草花文。外：草文。高台内中央が僅かに円形に窪む蛇ノ目凹型高台状。
168	8	C536	陶器	皿	灯明皿	65	14	24		灰白	轆轤	灰釉	京・信楽	内：見込み口縁部寄りに２条で×印状の櫛目。外：口縁部付近のみ無釉。
168	9	C536	陶器	皿	灯明皿	72	15	36		灰黄	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	外：底部ケズリ、無釉。
168	10	C536	陶器	皿	灯明皿	95	22	42		にぶい褐	轆轤	錆釉（鉄泥）	志戸呂	外：底面釉拭き取り。内：溶着痕あり。
168	11	C536	陶器	皿	灯明皿	117	23	46		にぶい褐	轆轤	錆釉（鉄泥）	志戸呂	外：底面釉拭き取り。内：溶着痕あり。
168	12	C536	陶器	鉢	鬢水入れ	160	32	159	85	灰白	板作り	呉須、鉄、透明釉	京・信楽	底部を除く内外面に施釉。外：鉄と呉須で山、花文を描く。
168	13	C536	陶器	鉢	片口	148	77	73		灰白	轆轤、貼付	鉄釉	瀬戸・美濃	内:全面に施釉。外:高台とその周辺を除き施釉。注口部貼付。
168	14	C536	陶器	鉢	香炉	79	44	36		灰白	轆轤、貼付	白泥、呉須	不明	外：底部無釉。呉須で楼閣山水文を描く。
168	15	C536	陶器	鉢	烏鉢	77	52	42		灰白	轆轤、貼付	鉄、灰釉	京・信楽	内：全面に施釉、鉄絵で体部に圏線を描く。外：底部無釉。
168	16	C536	陶器	鉢	餌猪口	52	28	38		灰白	轆轤、貼付	灰釉	瀬戸・美濃	底部糸切未調整、轆轤左回転。底部無釉。摘み貼付。
168	17	C536	陶器	鉢	餌猪口	69	41	64		灰白	轆轤、貼付	灰釉	瀬戸・美濃	外：底部無釉でヘラケズリを施す。摘み貼付。
168	18	C536	陶器	鉢	蓋物	89	72	51		灰白	型打ち、貼付	鉄、緑釉、長石釉	瀬戸・美濃	鉄絵で網目状の文様を描く。把手貼付
169	1	C536	陶器	鉢	植木鉢	130	128	95		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	底部中央に焼成前穿孔１。内：口縁部付近のみ施釉。外：高台とその周辺を除き施釉。
169	2	C536	陶器	甕	小甕	105	96	69		浅黄	轆轤	鉄釉、錆化粧	瀬戸・美濃	底部糸切未調整。轆轤左回転。底部中央に焼成後穿孔。
169	3	C536	陶器	鉢	植木鉢	93	49	44		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内：口縁部付近のみ施釉。外：底部を除き施釉。底面中央に焼成前穿孔。
169	4	C536	陶器	鉢	水鉢	326	221	203		灰白	轆轤	灰釉、緑釉、鉄釉	瀬戸・美濃	内：全面に施釉。外：は高台とその周辺を除き施釉。ヘラで流水文を描く。刺突文あり。見込みに目跡５。
169	5	C536	陶器	鉢	練鉢	163	101	82	223	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内：全面施油。外：は高台とその周辺を除き施釉。削り出し高台。
169	6	C536	陶器	鉢	捏鉢	308	176	162		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	口縁は玉縁形。高台を幅広く作る。内：全面に施釉。外：高台とその周辺を除き施釉。見込みに目痕跡５。
169	7	C536	陶器	壷	小壷	64	82	49		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内：無釉。外：口縁部端及び高台とその周辺は無釉。
169	8	C536	陶器	壷	小壷	86	103	74	96	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内：無釉。外：口縁部端及び高台とその周辺は無釉。
169	9	C536	陶器	甕	中甕	254	345	164		にぶい褐	紐づくり	鉄釉、黒釉、透明釉（灰釉？）	丹波	内:透明釉、底面砂目痕２箇所残る。外:鉄釉に黒釉の墨流し。底面砂目。
169	10	C536	陶器	甕	小甕	147	140	93	336	灰白	紐作？	鉄釉、黒釉	不明	内：全面施釉、見込みに目跡４。外：高台とその周辺を除き施釉。肩部に沈線７条以上。
169	11	C536	陶器	鉢	蒸器	159	89	71	184	灰白	轆轤、貼付	鉄釉	不明	内面は全面施釉。外面は鍔部分以下は無釉。底面に７孔の焼成前穿孔。
170	1	C536	陶器	鉢	茶釜	112	140	96	116	灰白	轆轤、貼付	鉄釉	不明	耳は貼付。底面及び口縁部端無釉。
170	2	C536	陶器	鍋	焙烙	185				明褐	轆轤	透明釉	不明	口縁部端は蓋受け状に段を有する。口縁部直下に沈線で文様を施す。
170	3	C536	陶器	鉢	擂鉢	369	156	162	454	灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	内：摺目：15 条 / 単位。見込み同心円状摺目。外：底部釉拭き取り。
170	4	C536	陶器	鉢	擂鉢	440	181	181		明赤褐	回転台	鉄泥	堺	内：摺目９条 / 単位。見込み三角状摺目。
170	5	C536	陶器	瓶	大瓶	34	242	103	133	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	徳利。釘書き「三イ」。
170	6	C536	陶器	瓶	中瓶	34	225	76	111	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	徳利。釘書き「三イ」。
170	7	C536	陶器	瓶	小瓶	34	203	67	81	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	徳利。釘書き「三ト？」。
170	8	C536	陶器	瓶	小瓶	36	177	66	83	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	徳利。釘書き「三イ」。
171	1	C536	陶器	瓶	中瓶	28	234	93		灰白	轆轤、貼付	呉須、透明釉	瀬戸・美濃？	内：口縁部端付近を除き施釉。胴部に溶着痕あり。肩部は、印花の五弁花文に呉須を充填。
171	2	C536	陶器	瓶	中瓶	26	170	64		にぶい褐	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	底部錆釉、ヘラケズリ。釘書き「井桁菱に七」。
171	3	C536	陶器	瓶	中瓶	21	148	62		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	底部無釉、ヘラケズリ。胴部３箇所を凹ませる。
171	4	C536	陶器	瓶	小瓶	25	96	64 50		にぶい褐	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	底面無釉。胴部は２側面を平坦に作る
171	5	C536	陶器	瓶	仏花瓶	49	104	68		灰黄	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	底部錆釉。
171	6	C536	陶器	瓶	花生			62		黄灰	轆轤	鉄釉	肥前？	底部糸切未調整。轆轤右回転。外面は轆轤目を螺旋状に残す。
171	7	C536	陶器	水注	中水注	68	79	53		にぶい黄橙	轆轤、貼付	鉄釉	瀬戸・美濃	口縁部端無釉。底部無釉。把手貼付。
171	8	C536	陶器	水注	土瓶	63	91	62		灰白	轆轤	青緑釉	不明	
171	9	C536	陶器	皿	灯明皿	124	22	52		灰白	轆轤、貼付	灰釉	京・信楽	内：印花（菊花）、櫛目文。墨書「文政８年」。底部煤付着。
171	10	C536	陶器	瓶	洩瓶	54	170	125		灰白	轆轤、貼付	灰釉	瀬戸・美濃	肩部に不明瞭な沈線。外：高台とその周辺を除き施釉。肩上部の紐座周辺に目跡３。
171	11	C536	陶器	鉢	貝形		(95)			灰白	手びねり、貼付	緑釉	不明	鮑のような貝を象る。突起部分を貼付け。内外面に緑釉を施す。
171	12	C536	陶器	その他	茶漉し	69	40	45		灰白	轆轤	鉄泥？	不明	底面と体部下位に穿孔。

第 48 表　近世の陶磁器・土器観察表（C 区）（19）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量 (㎜)				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
172	1	C536	陶器	蓋	水注蓋？		20		72	にぶい褐	轆轤、貼付	鉄釉、うのふ釉	不明	外面のみ施釉。摘み貼付。
172	2	C536	陶器	蓋	水注蓋		22		73	明褐	轆轤、貼付	青緑釉	不明	
172	3	C536	陶器	蓋	壷蓋		21		75	にぶい褐	轆轤、貼付	鉄釉	不明	外面のみ施釉。摘み貼付。
172	4	C536	陶器	蓋	壷蓋		26		109	にぶい黄橙	轆轤、貼付	灰釉	瀬戸・美濃	外面のみ施釉。摘み貼付。
172	5	C536	陶器	蓋	蓋物蓋		12			にぶい黄褐	轆轤、貼付	透明釉	不明	外：施釉。摘み貼付。
172	6	C536	陶器	蓋	中水注蓋		15		86	灰白	轆轤、貼付	鉄釉	不明	
172	7	C536	陶器	蓋	中壷蓋		13		91	浅黄	轆轤、貼付	灰釉	瀬戸・美濃	外面のみ施釉。摘み貼付。
172	8	C536	陶器	蓋	中壷蓋		16			灰白	轆轤、貼付	灰釉（御深井釉）	瀬戸・美濃	外面のみ施釉。摘み貼付。
172	9	C536	陶器	蓋	中壷蓋		28			灰白	轆轤	錆釉	瀬戸・美濃	全面に施釉。糸切未調整。轆轤左回転。
172	10	C536	陶器	蓋	蓋物蓋	54	17			灰白	轆轤	上絵付	不明	軟質陶器。外面は葉の文様を陽刻する。
172	11	C536	陶器	蓋	蓋物蓋	85	14		53	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	内：無釉。
172	12	C536	陶器	蓋	蓋物蓋	44	10			にぶい赤褐	轆轤	灰釉、鉄又は呉須	瀬戸・美濃	口縁部端無釉。外：鉄または呉須で梅花文を描く。
172	13	C536	陶器	蓋	蓋物蓋	67	12		84	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	下面無釉。
172	14	C536	陶器	蓋	蓋物蓋	84	12		114	灰白	轆轤	灰釉（御深井釉）	瀬戸・美濃	下面無釉。
172	15	C536	陶器	蓋	蓋物蓋	113	16		114	灰白	轆轤	灰釉	不明	
172	16	C536	陶器	蓋	土瓶蓋	37	31		54	暗灰黄	轆轤、貼付	鉄釉、うのふ釉	不明	外面のみ施釉。摘み貼付。鉄釉にうのふ釉を紐座部分から掛ける。セットとなる土瓶あり。
172	17	C536	陶器	蓋	土瓶蓋	42	29		30	にぶい赤褐	轆轤、貼付	長石釉、鉄	不明	外：施釉、鉄絵で文様を描く。
172	18	C536	陶器	蓋	土瓶蓋	38	26		69	明黄褐	轆轤、貼付	鉄、白泥、透明釉	不明	外面のみ施釉。イッチンで文様を描くが内容不明。鉄で笠部端に圏線を描く
172	19	C536	陶器	蓋	土瓶蓋	50	28		84	にぶい褐	轆轤、貼付	鉄、白泥、透明釉	京・信楽？	外面のみ施釉。イッチンで花文様等を描く。
172	20	C536	陶器	蓋	土瓶蓋	55	32		83	灰黄	轆轤	青緑釉	不明	青土瓶蓋、外面のみ施釉。
172	21	C536	陶器	蓋	土瓶蓋	60	34	23	55	にぶい赤褐	轆轤、貼付	鉄釉	不明	外面のみ施釉。摘み貼付。
172	22	C536	陶器	蓋	土瓶蓋	66	32		86	灰白	轆轤、貼付	灰釉、白泥、鉄	京・信楽	外面のみ施釉。同心円、放射状の線を陰刻する。鉄と白泥で梅花、枝を描く。
172	23	C536	陶器	蓋	土瓶蓋	60	37		87	灰白	轆轤、貼付	灰釉、呉須、白泥	不明	外：灰釉に白泥と呉須を掛ける。内：かえり内施釉。
172	24	C536	陶器	蓋	土瓶蓋	63	33		92	灰白	轆轤、貼付	長石釉、鉄	京・信楽	外面のみ施釉。長石釉を施し、鉄絵で山、海、帆掛け船を描く。
172	25	C536	陶器	蓋	壷蓋		24			にぶい黄橙	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	外面のみ施釉。糸切未調整。轆轤左回転。
172	26	C536	陶器	蓋	壷蓋		27			にぶい黄橙	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	外面のみ施釉。糸切未調整。轆轤左回転。
172	27	C536	陶器	蓋	碗蓋	92	25		44	灰白	轆轤、貼付	長石釉、鉄	不明	摘み端部を除く全面に施釉。鉄絵で内外面に圏線等の文様を描く。
172	28	C536	陶器	蓋	土瓶蓋	48	28		72	灰白	轆轤	青緑釉	不明	青土瓶蓋。墨書「さくら御ふくの間」
172	29	C536	陶器	漏斗		122	80	12		灰褐	轆轤、貼付	鉄釉	瀬戸・美濃	全面に施釉する。注口部分は貼付。
172	30	C536	陶器	器台	灯明受皿	74	18	34	66	にぶい褐	轆轤、貼付	錆釉（鉄泥）	志戸呂	底部ヘラケズリ。受部端無釉。底部無釉。
172	31	C536	陶器	器台	灯明受皿	83	17	26		灰白	轆轤、貼付	灰釉	瀬戸・美濃	底部ヘラケズリ。受部端無釉。底部無釉。
172	32	C536	陶器	器台	灯明受皿	94	22	41	77/9	にぶい褐	轆轤、貼付	錆釉（鉄泥）	志戸呂	底部ヘラケズリ。受部端無釉。底部無釉。
172	33	C536	陶器	器台	灯明受皿	98	20	45	52	灰白	轆轤、貼付	灰釉	瀬戸・美濃	底部ヘラケズリ。受部端無釉。底部無釉。
172	34	C536	陶器	器台	灯明受皿	113	29	42		にぶい褐	轆轤、貼付	錆釉（鉄泥）	志戸呂	底部ヘラケズリ。受部端無釉。底部無釉。
172	35	C536	陶器	器台	灯明受皿	79	56	49		灰白	轆轤、貼付	灰釉	京・信楽	底面ヘラケズリ。底部及び受部端無釉。
172	36	C536	土器	器台	灯明受皿	71	15	34		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。口縁部煤付着
172	37	C536	土器	器台	灯明受皿	76	19	33		にぶい褐	轆轤	透明釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。内外面全体に施釉。
172	38	C536	土器	器台	灯明受皿	76	17	35		にぶい褐	轆轤	透明釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。内外面全体に施釉。
172	39	C536	土器	器台	灯明受皿	72	19	30	45	にぶい褐	轆轤	透明釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。内外面全体に施釉。
172	40	C536	土器	器台	灯明受皿	120	31	51		明褐	轆轤	透明釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。内外面全面に施釉。
172	41	C536	土器	器台	灯明受皿	62	145	21		にぶい褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。口縁部煤付着。
172	42	C536	土器	器台	灯明受皿	76	70	76	48	橙	轆轤	透明釉	江戸在地	脚付。底部を除く内外面に施釉。
172	43	C536	土器	器台	燭台	35	7	23		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、中心焼成前穿孔。
172	44	C536	土器	器台	燭台	46	12	35		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、中心焼成前穿孔。
173	1	C536	土器	鉢	鉢形容器	85	46	57		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	内面ナデ。外面ミガキ、底部糸切後ミガキ。
173	2	C536	土器	鉢	鉢形容器	95	50	65		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	内面ナデ。外面ミガキ、底部糸切後ミガキ。
173	3	C536	土器	鉢	鉢形容器	97	50	62		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	内面ナデ。外面ミガキ、底部糸切後ミガキ。底部煤付着。
173	4	C536	土器	皿	仕切盤	132	57	78		にぶい赤褐	轆轤、仕切貼付	無釉	江戸在地	仕切り残存せず。硬質瓦質。
173	5	C536	土器	蓋	火消壺蓋	34	35	286		にぶい黄褐	輪積？	無釉	江戸在地	内：煤付着。
173	6	C536	土器	鍋	焙烙					橙	轆轤、型押し	無釉	江戸在地	無耳、底丸、器壁高 2cm 前後。外底面縮緬状。
173	7	C536	土器	鉢	火鉢	173	88	107		にぶい褐	輪積？轆轤？	無釉	江戸在地	
173	8	C536	土器	鉢	火鉢	174	79	123		にぶい褐	輪積	無釉	江戸在地	内面に漆喰付着、内面漆喰下に煤付着。
173	9	C536	土器	秉燭	タンコロ	54	23	24		明赤褐	轆轤	透明釉	江戸在地	内外面全て施釉。底部糸切未調整。轆轤左回転。
173	10	C536	土器	秉燭	タンコロ	60	23	31		橙	轆轤	透明釉	江戸在地	内外面全て施釉。底部糸切未調整。轆轤左回転。
173	11	C536	土器	秉燭	タンコロ	76	34	36		橙	轆轤	透明釉	江戸在地	内外面全て施釉。底部糸切未調整。轆轤左回転。
173	12	C536	土器	皿	耳皿	20	30	31		明褐	轆轤、手びねり	無釉	江戸在地	底面ナデ。
173	13	C536	土器	蓋	焼塩壷蓋	67	10		62	にぶい橙	型押し	無釉	近畿	

第 49 表　近世の陶磁器・土器観察表（C 区）（20）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
173	14	C536	土器	蓋	焼塩壷蓋	70	14		73	橙	型押し	無釉	近畿	
173	15	C536	土器	蓋	焼塩壷蓋	66	17		79	橙	型押し	無釉	近畿	
173	16	C536	土器	蓋	焼塩壷蓋	60	9		79	黄橙	型押し	無釉	近畿	
173	17	C536	土器	蓋	焼塩壷蓋	68	14		60	橙	型押し	無釉	近畿	
173	18	C536	土器	蓋	焼塩壷蓋	70	16		71	灰褐	型押し	無釉	近畿	
173	19	C536	土器	蓋	焼塩壷蓋	68	19		80	橙	型押し	無釉	近畿	
173	20	C536	土器	蓋	焼塩壷蓋	70	12		66	橙	型押し	無釉	近畿	
173	21	C536	土器	鉢	焼塩壷身	70	78	53	72	橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 55 表参照。
173	22	C536	土器	鉢	焼塩壷身	56	74	48	68	にぶい橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 55 表参照。
173	23	C536	土器	鉢	焼塩壷身	56	71	49	69	橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 55 表参照。
173	24	C536	土器	鉢	焼塩壷身	54	73	46	69	橙	轆轤	無釉	江戸在地	詳細は第 55 表参照。
173	25	C536	土器	鉢	焼塩壷身	56	75	49	66	橙	轆轤	無釉	江戸在地	詳細は第 55 表参照。
173	26	C536	土器	鉢	焼塩壷身	61	51	41	61	橙	轆轤	無釉	江戸在地	詳細は第 55 表参照。
173	27	C536	土器	皿	小皿	78	18	23	80	明褐	轆轤	透明釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。内外面全面に施釉。
173	28	C536	土器	皿	小皿	77	18	32		明褐	轆轤	透明釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。内外面全面に施釉。
173	29	C536	土器	皿	小皿	74	18	24		明褐	轆轤	透明釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。内外面全面に施釉。
173	30	C536	土器	皿	小皿	72	16	34		明褐	轆轤	透明釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。内外面全面に施釉。
173	31	C536	土器	皿	小皿	44	11	26		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
173	32	C536	土器	皿	小皿	70	14	36		明褐	轆轤	透明釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。内外面全面に施釉。口縁部に煤付着。
173	33	C536	土器	皿	小皿	88	18	43		明褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。轆轤左回転。
174	1	C536	土器	鉢	焜炉			156	223	黒褐	輪積	無釉	江戸在地	風炉。底面に刻印「橋本三治郎」。
174	2	C536	土器	鉢	焜炉	228	200	212	302	灰白	輪積	無釉	江戸在地	風炉。底面に刻印「永嶋安五郎」。
174	3	C536	土器	鉢	火消壺	174	164	184		橙	輪積	無釉	江戸在地	煤付着なし。
174	4	C536	土器	鉢	火鉢	223	190	230		にぶい黄褐	輪積	無釉	江戸在地	ミガキ、沈線、文様有り。硬質。
175	1	C539	磁器	碗	中碗	108	64	46		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み源氏香、口縁部内面四方襷文、外：雪輪文。蓋付きで腰が張り、高台が「八」字状に広がる。
175	2	C539	磁器	碗	中碗	96	50	38		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内:草花文?、外:草花文。端反碗としては口縁部が外反し、比較的薄手につくる。
175	3	C539	磁器	碗	中碗	105	57	58		灰白	轆轤	染付	肥前	広東碗。内：見込み不明、外：楼閣山水文。
175	4	C539	磁器	碗	小碗	76	58	34		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み五弁花、外：松文。
175	5	C539	磁器	碗	小碗	88	75	44		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：口縁部連弁文、外：網目文。厚手につくる。
175	6	C539	磁器	碗	小碗	64	5.4	35		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：沈線、雲文様を陰刻した後、高台畳付け付近を除き呉須を外面全体に施す。
175	7	C539	磁器	皿	小皿	96	27	48		灰白	型起し	染付	瀬戸・美濃	合わせ型成形。
175	8	C539	磁器	皿	五寸皿	(147)	41	100		灰白	轆轤	染付	肥前	蛇の目凹型高台（低）、内：雲龍文、外：唐草文。
175	9	C539	磁器	鉢	合子	39	13	38	47	灰白	轆轤	染付	肥前	
175	10	C539	磁器	蓋	碗蓋	104	27		55	灰白	轆轤	染付	肥前	内：花文、口縁部に圏線、外：楼閣山水文。
175	11	C539	磁器	蓋	碗蓋	97	28		40	灰白	轆轤	染付	肥前	内：宝文、口縁部に帯状文様。外：草花文。
175	12	C539	磁器	瓶	小瓶			33		灰白	轆轤	染付	肥前	外：若松文、草花文。
175	13	C539	磁器	杓子	散蓮華	(83)	(35)	(30)	(43)	灰白		染付	中国	内：花卉文、霊芝文。外：不明。
175	14	C539	陶器	碗	中碗	110	62	36		灰白	轆轤	透明釉	瀬戸・美濃	やや腰が張り、口縁部は緩やかに外反する。高台畳付けを除く全面に施釉した後、口縁部に呉須を浅く濃け掛けする。
175	15	C539	陶器	碗	中碗	106	62	42		灰白	轆轤	鉄釉、長石釉	瀬戸・美濃	外：高台周辺を除く全面に鉄釉を施す。体部は長石釉を掛ける。高台内に墨書「一」？。畳付け幅広い。
175	16	C539	陶器	碗	中碗	105	64	36		灰	轆轤	灰釉、鉄、呉須	瀬戸・美濃	灰釉を総掛けし、口縁部には呉須と鉄釉を掛ける。
175	17	C539	陶器	碗	中碗	103	57	32		灰白	轆轤	灰釉	京・信楽	
175	18	C539	陶器	碗	大碗	134	62	44		灰黄	轆轤	白泥、灰釉	瀬戸・美濃	外：巻刷毛目。
175	19	C539	陶器	碗	大碗	126	54	38		灰	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	柳茶碗。墨書の可能性がある痕跡が不明瞭であるが高台内にある。
175	20	C539	陶器	碗	小碗	90	56	38		灰白	轆轤	鉄、呉須、灰釉	瀬戸・美濃	
175	21	C539	陶器	碗	中碗	98	54	3 8		灰白	轆轤	藁灰釉	萩	外：高台周辺を除き藁灰釉を施し、口縁部から体部にかけての数か所に鉄釉を落とす。高台内面は螺状。
176	1	C539	陶器	碗	中碗	106	43	36		灰白	轆轤	鉄、呉須、御深井釉	瀬戸・美濃	
176	2	C539	陶器	碗	小碗	70	37	26		灰白	轆轤	灰釉？	不明	
176	3	C539	陶器	鉢	中鉢	120	61	62	138	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	底面焼成前穿孔。焼成後に高台の 4 箇所を打ち欠き。
176	4	C539	陶器	鉢	餌猪口	38	24	38		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	底面を除く全体に施釉。底面ヘラケズリ。
176	5	C539	陶器	瓶	大瓶	35	239	102	125	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
176	6	C539	陶器	水注	中水注	112	124	76	180	浅黄	轆轤	鉄、灰釉	瀬戸・美濃	内：型紙摺りによる竹文の摺絵。内面は無釉外面は底面を除き施釉。
176	7	C539	陶器	水注	水滴	82	28	59		灰白	型押し貼付	灰釉	瀬戸・美濃	底面に墨書。詳細は第 57 表参照。
176	8	C539	陶器	鉢	擂鉢	316	123	140	160	灰白	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	
176	9	C539	陶器	蓋	合子蓋	72	21			灰白	轆轤	鉄釉、緑釉	瀬戸・美濃	内外：口縁部を除き施釉。
176	10	C539	陶器	蓋	小壺蓋	35	11		39	灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	底面糸切未調整
176	11	C539	陶器	蓋	碗蓋	93	27		37	灰白	轆轤	灰釉、緑釉	瀬戸・美濃	
176	12	C539	土器	秉燭	タンコロ	50	21	28		橙	轆轤	透明釉	江戸在地	
176	13	C539	陶器	甑			58			浅黄	轆轤	無釉	不明	甑、蒸器か。
176	14	C539	土器	鍋	焙烙	(222)	(40)			明黄褐		無釉	江戸在地	無耳、底平坦、器壁高 4cm 前後。
176	15	C540	磁器	碗	小杯	42	22	11		灰白	轆轤	染付	肥前	外：「寿」字。C543 号出土個体と接合。
176	16	C540	陶器	鉢	擂鉢	(176)	47	140		灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	外：摺目 12 条／単位、体部上位より回転ヘラケズリ。
176	17	C540	土器	鉢	焼塩壷身	(90)	44	64	96	淡黄	板作り	無釉	近畿	詳細は第 55 表参照。
176	18	C540	陶器	瓶	中瓶	41	198	66		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	外：胴部下位から回転ヘラケズリ、釉を漬け掛け後、底部付近の釉を拭き取り。
177	1	C541	磁器	碗	小碗	85	46	34		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：見込み花文、二重圏線。外：花卉文。
177	2	C541	磁器	皿	小皿	99	24	57		灰白	型打ち	染付	肥前	内：雁ほか、口錆。
177	3	C541	陶器	皿	小皿	(106)	37	39		灰白	轆轤	白泥、呉須、透明釉	不明	内：花。胎土に薄く白泥（白化粧土）を掛け、呉須で絵付けし透明釉を施す。
177	4	C541	陶器	鉢	小鉢	(99)	23	64		灰	轆轤	白泥、呉須、透明釉	不明	内：花卉文、外面は底面とその周辺を除き白泥（白化粧土）を掛け、呉須で絵付けし透明釉を施す。
177	5	C541	陶器	皿	灯明皿	(104)	45	23		灰褐	轆轤	錆釉	瀬戸・美濃	外：体部下位から底面にかけて回転ヘラケズリ。
177	6	C543	磁器	碗	中碗	93	46	42		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：草花文、岩、蝶。
177	7	C543	磁器	碗	中碗	94	49	38		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：一重圏線、花。外：花卉文、霊芝文、圏線。
177	8	C543	陶器	瓶	小瓶	40	102	62	92	灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	神酒徳利。内外面ともに施釉。畳付釉剥ぎ
177	9	C543	磁器	瓶	小瓶	22	84	36	46	灰白	轆轤	染付	肥前	神酒徳利。外：笹、草花文？

第 50 表　近世の陶磁器・土器観察表（C 区）（21）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
177	10	C543	陶器	蓋	中壺蓋	64	19			灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	外：鉄釉、糸切り痕あり。
177	11	C550	磁器	碗	中碗	114	62	(68)		灰白	轆轤	染付	肥前	広東碗。内：口縁二重圏線、見込み一重圏線。外：竹文、一重圏線
177	12	C550	陶器	碗	中碗	120	50	47		灰	轆轤	鉄、灰釉	瀬戸・美濃	柳茶碗。
177	13	C550	陶器	碗	中碗	(108)	37	38		灰白	轆轤	鉄、呉須、灰釉	瀬戸・美濃	内：見込みに鉄で梅花、呉須で枝を描く。
177	14	C550	土器	鉢	火鉢	(190)	153	(190)	(206)	にぶい褐	輪積	無釉	江戸在地	外：ミガキ、スタンプ文。三足欠損。内面煤付着。
177	15	C552	磁器	碗	中碗	95	47	42		白	轆轤	染付	不明	内：見込み花文、外：山水文。高台内「青徳年製」銘あり。
177	16	C552	土器	鍋	焙烙	(260)	—			浅黄橙	回転台	無釉	江戸在地	無耳、器壁高 4cm 前後。胎土に微細な雲母片含む。
177	17	C552	土器	鍋	焙烙	(230)	—	—		浅黄橙	回転台	無釉	伊勢系	
178	1	C547	磁器	碗	中碗	99	48	(35)		灰白	轆轤	染付	肥前	外：唐草文、梅、松。
178	2	C547	磁器	碗	中碗	(95)	(56)	(40)		灰白	轆轤	染付	不明	内：口縁部四方襷文、見込み二重圏線。外：花。
178	3	C547	磁器	蓋	蓋物蓋	75	25		85	灰白	轆轤	染付	肥前	外：菊花、氷列文。
178	4	C547	陶器	皿	灯明皿	76	16	34		灰褐	轆轤	緑釉	瀬戸・美濃	底面とその周辺を除く内外面を施釉する。
178	5	C547	陶器	蓋	中壺蓋	112	22	50		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	灰釉は 2 箇所に施す。被熱痕跡あり。糸切痕。
178	6	C547	陶器	盤		(225)	42	(180)		橙	轆轤	鉄、灰釉	瀬戸・美濃	
178	7	C547	土器	杓子	十能	171	74	158		橙	手づくね	無釉	江戸在地	
178	8	C580	磁器	碗	中碗	97	49	34		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	
178	9	C580	磁器	碗	小碗	86	43	34		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	
178	10	C580	磁器	碗	小碗	(65)	53	33		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	
178	11	C580	磁器	皿	五寸皿	149	43	83		白	轆轤	染付	肥前	内：楼閣山水文。
178	12	C580	磁器	皿	小皿	102	23	54		白	轆轤	染付	肥前	蛇の目凹型高台。釘書き「扇形」。
178	13	C580	磁器	蓋	碗蓋	82	26		34	白	轆轤	染付	肥前	内外：草花文。摘み内「福」字銘款。
178	14	C580	磁器	蓋	碗蓋	92	22		34	白	轆轤	染付	肥前	内：草花文。外：掛け軸、鉢植え。
178	15	C580	磁器	水注	水滴	60	20	39		灰白	型押し	染付	肥前	
178	16	C580	陶器	碗	中碗	97	73	58		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
178	17	C580	陶器	碗	中碗	107	52	32		灰黄	轆轤	灰釉、呉須	瀬戸・美濃	
178	18	C580	陶器	蓋	水注蓋？		20		77	橙	轆轤	鉄泥	不明	落とし蓋。
178	19	C580	陶器	蓋	水注蓋？		23		81	赤褐	轆轤	鉄泥	不明	落とし蓋。
178	20	C580	陶器	蓋	蓋物蓋	62			72	淡橙	轆轤	鉄泥	不明	笠内面に刻印（内容不明）。
178	21	C580	陶器	鉢	植木鉢					褐	板作り	鉄釉	不明	底面に焼成前穿孔あり。陰刻文様（龍？、唐草？）。
178	22	C580	陶器	その他	蟹形		32			灰白	手づくね		不明	底：刻印「文化年製贈蓬莱紙屋」。
179	1	C564	磁器	碗	中碗	114	61	66		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み岩波文、面：筍、竹、農夫。
179	2	C564	陶器	碗	小碗	78	64	38		灰白	轆轤	染付	肥前	箱形湯呑。若松文。
179	3	C564	陶器	碗	中碗	110	69	46		灰白	轆轤	長石釉、呉須、鉄	瀬戸・美濃	鉄、呉須で交互に縦線を描く麦藁手、口縁部は内外面に呉須を掛け、口縁部単は鉄釉を口さび状に施す。
179	4	C564	陶器	碗	中碗	104	61	41		灰白	轆轤	灰釉	京・信楽	
179	5	C564	陶器	碗	中碗	114	50	46		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
179	6	C564	陶器	碗	中碗	91	50	38		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	腰錆碗。
179	7	C564	陶器	碗	大碗	122	40	36		灰白	轆轤	灰釉	京・信楽	高台周辺を除き灰釉を施す。
179	8	C564	陶器	碗	中碗	(113)	65	(47)		灰褐	轆轤	透明釉、鉄、呉須	瀬戸・美濃	
179	9	C564	陶器	碗	中碗	117	72	45		赤褐	轆轤		肥前	
179	10	C564	陶器	碗	大碗	126	(63)	44		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸	刻印「春丹」。
179	11	C564	陶器	皿	小皿	94	25	37		灰白	轆轤	灰釉、呉須	瀬戸・美濃	太白焼。内：見込み五弁花。
179	12	C564	陶器	皿	中皿	188	3.0	77		灰黄	轆轤	瀬戸・美濃	瀬戸・美濃	
179	13	C564	陶器	鉢	大鉢	206	64	83		灰黄	轆轤	瀬戸・美濃	瀬戸・美濃	
179	14	C564	陶器	鉢	摺鉢	(348)	144	(136)		浅黄	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	内：摺目は 14 条／単位。
179	15	C564	陶器	蓋		70	20		97	橙	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	
179	16	C564	陶器	瓶	中瓶	33	221	78	110	灰	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	外：肩部に櫛目文あり。全面施釉後、底部及びその周辺は釉を拭き取り。
179	17	C564	陶器	瓶	小瓶	32	197	66	84	浅黄	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	外：全面施釉後、底部とその周辺は釉を拭き取り。
179	18	C564	陶器	瓶	小瓶	24	141	60		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	外：灰釉を総掛けした後、底部縁辺を拭き取り。
179	19	C564	土器	器台	灯明受皿	78	73	72	49	橙	轆轤	透明釉	江戸在地	脚付。外：底部無釉。
180	1	C586	磁器	碗	中碗	109	63	44		灰白	轆轤	染付	肥前	内:見込み雲龍文、二重圏線。口縁部四方襷文、外:吉祥雲、鳥。
180	2	C586	磁器	碗	中碗	(99)	48	(34)		灰白	轆轤	染付	肥前	外：松竹梅文。
180	3	C586	磁器	碗	中碗	(98)	48	34		灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文。
180	4	C586	磁器	碗	小碗	88	56	34		灰白	轆轤	染付	肥前	内:見込み五弁花、二重圏線。口縁部四方襷文、外:草花文。
180	5	C586	磁器	碗	小碗	81	38	30		灰白	轆轤	染付	肥前	外:見込み五弁花、一重圏線、口縁部二重圏線、外:若松文。
180	6	C586	磁器	鉢	猪口	(75)	52	38		灰白	轆轤	染付	肥前	外：梅樹文？
180	7	C586	磁器	蓋	碗蓋	100	28		40	灰白	轆轤	染付	肥前	内：草花文、口縁部四方襷文。外：蔓文？
180	8	C586	陶器	碗	大碗	136	59	48		灰白	轆轤	灰釉、白泥	瀬戸・美濃	内外：打ち刷毛目。高台周辺を除き施釉。
180	9	C586	陶器	碗	大碗	128	52	42		灰白	轆轤	透明釉、鉄	肥前	内：見込み山水文。
180	10	C586	陶器	碗	中碗	108	41	38		灰白	轆轤	灰釉、鉄、呉須	瀬戸・美濃	
180	11	C586	陶器	蓋	蓋物蓋	88	26		109	灰白	轆轤	灰釉、鉄、呉須	瀬戸・美濃	内外：灰釉を施す。
180	12	C586	土器	鍋	焙烙	340			354	明黄褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、底丸、器壁高 2cm 前後。
180	13	C586	土器	蓋	火消壺蓋	280	43			明黄褐		無釉	江戸在地	
180	14	C586	土器	壺	火消壺	236	30	208	246	明黄褐		無釉	江戸在地	内外：全面的にナデ、内面の一部に指押さえ痕あり。内：煤付着。
180	15	C586	土器	蓋	蚊遣り蓋		57		150	明黄褐		無釉	江戸在地	外：ミガキ。
180	16	C586	土器	鉢	焼塩壺身	70	54	73	71	橙	轆轤	無釉	江戸在地	詳細は第 55 表参照。
181	1	C590	陶器	鍋	土鍋	126	57	54	(138)	灰	轆轤、貼付	鉄釉	不明	環状把手貼付。
181	2	C590	土器	鍋	焙烙	(336)	—	—		黄褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、底丸、器壁高 2cm 前後。
181	3	C590	土器	皿	小皿	108	28	40		黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整、轆轤左回転。
181	4	C591	磁器	碗	中碗	96	49	43		白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	端反碗。外：草花文、岩、蝶。
181	5	C591	磁器	瓶	小瓶	19	115	42	63	白	轆轤	染付	肥前	外：蛸唐草文、松竹梅文。
181	6	C591	磁器	瓶	小瓶	18	77	30	42	白	轆轤	染付	肥前	外：竹又は笹、梅？
181	7	C591	陶器	瓶	中瓶	22				灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	三角徳利。
181	8	C591	土器	器台	灯明受皿	78			45	明黄褐	轆轤、貼付	無釉	江戸在地	脚付。油溝アーチ状。
181	9	C591	土器	皿	小皿	46	8	30		明黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	底部焼成後穿孔。
181	10	C597	陶器	碗	大碗	(122)	53	41		灰黄	轆轤	鉄、透明釉	肥前	京焼風陶器。平碗。

第 51 表　近世の陶磁器・土器観察表（C 区）（22）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
181	11	C603	磁器	碗	中碗	101	52	36		灰白	轆轤	染付	肥前	
181	12	C603	磁器	碗	中碗	83	56	31		灰白	轆轤	染付	肥前	
181	13	C603	磁器	碗	中碗	(100)	50	36		灰白	轆轤	染付	肥前	
181	14	C603	磁器	碗	小碗	60	24	25		灰白	轆轤	染付	肥前	
181	15	C603	磁器	碗	仏飯器	50	56	37		灰白	轆轤	染付	肥前	
181	16	C603	磁器	皿	小皿	105	19	67		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み羊歯文。外：唐草文。
181	17	C603	磁器	皿	小皿	108	25	62		灰白	轆轤	染付	肥前	内：草花文。外：唐草文。高台内：虫文。
181	18	C603	磁器	鉢	蓋物	(126)	69	61		灰白	轆轤	染付	肥前	
181	19	C603	磁器	鉢	蓋物	98	54	52		白	轆轤	染付	肥前	
181	20	C603	磁器	鉢	蓋物	107	78	70		灰白	轆轤	染付	肥前	
181	21	C603	磁器	蓋	碗蓋	83	21		33	灰白	轆轤	染付	肥前	内：四方襷文、環状松竹梅文。外：蛸唐草文。
182	1	C603	陶器	碗	中碗	108	65	48		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	
182	2	C603	陶器	碗	中碗	(116)	56	46		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	内：灰釉。外：灰釉、飛鉋。口縁部内外：鉄釉。
182	3	C603	陶器	碗	中碗	(118)	46	40		にぶい褐	轆轤	灰釉	肥前	
182	4	C603	陶器	碗	中碗	118	51	45		にぶい褐	轆轤	灰釉	肥前	内：山水文。
182	5	C603	陶器	碗	大碗	127	57	45		浅黄橙	轆轤	白泥、灰釉	瀬戸・美濃	内外：内刷毛目。
182	6	C603	陶器	碗	中碗	107	65	43		灰白	轆轤	灰釉、鉄、呉須	京・信楽	外：松の枝文様。鉄で枝、呉須で葉を描く。
182	7	C603	陶器	鉢	大鉢	(325)	158	(244)		浅黄	轆轤	透明釉、灰釉、緑釉、鉄釉	瀬戸・美濃	口縁部に指押さえあり。内面に透明釉、口縁部付近の内面と体部外面に灰釉を施す。鉄釉と緑釉を交互に口縁部から流し掛けする。体部に長石を貼り付ける。
182	8	C603	陶器	水注	土瓶	59	67	62	109	灰白	轆轤、貼付	透明釉、鉄釉、上野釉	瀬戸・美濃	
182	9	C603	土器	鍋	焙烙	(320)			332	明黄褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、底丸、器壁高 2cm 前後。
182	10	C603	土器	蓋	焼塩壺蓋	73	18	75		橙	型押し	無釉	不明	
182	11	C603	土器	蓋	焼塩壺蓋	79	17	79		黄橙	型押し	無釉	不明	
182	12	C603	土器	鉢	焼塩壺身	53	72	50	68	にぶい橙	板作り	無釉	江戸在地	詳細は第 55 表参照。
182	13	C603	土器	鉢	焼塩壺身	64	65	56	64		轆轤	無釉	江戸在地	詳細は第 55 表参照。
182	14	C566	陶器	鍋	土鍋	180	99	65		灰白	轆轤、貼付	鉄釉	不明	
182	15	C566	土器	鉢	焼塩壺身	70	48	72	70	橙	輪積	無釉	近畿	
183	1	C605	磁器	鉢	蓋物	98	54	52		灰白	轆轤	染付	肥前	外：松。
183	2	C605	磁器	蓋	碗蓋	90	26	34		灰白	轆轤	染付	肥前系	内：四方襷文、環状松竹梅文。外：蛸唐草文。
183	3	C605	陶器	碗	中碗	94	55	40		灰白	轆轤	鉄釉、灰釉	瀬戸・美濃	腰錆碗。
183	4	C605	陶器	碗	中碗	118	52	42		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	平碗。体部に２条の沈線。
183	5	C605	陶器	碗	大碗	124	49	44		灰黄	轆轤	鉄、透明油	肥前	京焼風陶器。内：見込み鉄絵で楼閣山水文を描く。
183	6	C605	陶器	碗	小碗	58	37	18		灰白	轆轤	鉄、灰釉	不明	体部に鉄絵で松を描く。
183	7	C605	陶器	秉燭	秉燭	58	41	38		灰白	轆轤、貼付	鉄釉	瀬戸・美濃	底部糸切未調整。底部軸孔あり。
183	8	C605	土器	蓋	火消壺蓋	270				明黄褐	回転台	無釉	江戸在地	
183	9	C605	土器	鍋	焙烙					明黄褐	回転台	無釉	江戸在地	深め、器壁高 2cm 前後。
183	10	C605	土器	鍋	焙烙					明黄褐	回転台	無釉	江戸在地	深め、器壁高 2cm 前後。
183	11	C606	磁器	鉢	蓋物	95	57	44		灰白	轆轤	染付	肥前	外：市松、格子、石垣文。
183	12	C606	陶器	碗	大碗	123	50	50		灰白	轆轤	鉄、灰釉	肥前	京焼風陶器。
183	13	C606	炻器	瓶	大瓶	38	270	92	136	褐	轆轤	鉄釉	志戸呂	由右衛門徳利形。外：頸部鉄釉。
183	14	C606	土器	鍋	焙烙	(323)				橙		無釉	江戸在地	無耳、底丸、器壁高 2cm 前後。
183	15	C606	土器	鉢	火鉢	(140)				にぶい赤褐	輪積？	無釉	江戸在地	内：回転ナデ。外：横方向のミガキ。
184	1	C598	磁器	碗	大碗	150	80	58		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込みコンニャク印判五弁花。外：雪輪草花文、雁。高台内銘款。
184	2	C598	磁器	碗	中碗	10.0	5.1	3.9		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み花文。外：高台畳付幅広い。素描きで、樹木、岩等を描く。
184	3	C598	磁器	碗	中碗	101	47	31		灰白	轆轤	染付	肥前	外：樹木文。
184	4	C598	磁器	碗	中碗	108	56	52		灰白	轆轤	染付	肥前	広東碗。外：高台内銘款。波濤文に旗。
184	5	C598	磁器	碗	小碗	89	50	32		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込みに環状松竹梅文、口縁部四方襷文。外：牡丹文。
184	6	C598	磁器	碗	仏飯器	68	63	45		灰白	轆轤	染付	肥前系	
184	7	C598	磁器	皿	小皿	101	20	69		灰白	轆轤	染付	肥前	
184	8	C598	磁器	皿	小皿	84	21	40		灰白	糸切り細工	染付	肥前	
184	9	C598	磁器	皿	五寸皿	145	48	87		灰白	轆轤	染付	肥前	
184	10	C598	磁器	鉢	蓋物	75	41	36		灰白	轆轤	染付	肥前	外：唐花文。
184	11	C598	磁器	鉢	蓋物	74	48	35		灰白	轆轤	染付	肥前	外：蛸唐草文。
184	12	C598	磁器	鉢	猪口	84	65	64		灰白	轆轤	染付	肥前	内：口縁部四方襷文。外：雲竜文。。蛇の目凹型高台。
184	13	C598	磁器	鉢	猪口	80	58	44		灰白	轆轤	染付	肥前	外：竹、岩文。
184	14	C598	磁器	鉢	香炉	58	48	26		灰白	轆轤、貼付	青磁	肥前	底部を除く内外面全体に施釉。内面釉薄い。
184	15	C598	磁器	鉢	蓋物	114	76	44		灰白	轆轤	染付、上絵付	肥前	色絵。外：櫛歯文、唐草文。上絵付で唐草文、草花文。
184	16	C598	磁器	瓶	小瓶	19	98	38	60	灰白	轆轤	染付	肥前	外：蛸唐草文。
184	17	C598	磁器	蓋	碗蓋	90	27		32	灰白	轆轤	染付	肥前	外：草花文。
184	18	C598	磁器	蓋	碗蓋	85	25		31	灰白	轆轤	染付	肥前	外：蛸唐草文。
184	19	C598	磁器	蓋	碗蓋	105	22		56	灰白	轆轤	染付	肥前	
184	20	C598	磁器	蓋	蓋物蓋	72	24		82	灰白	轆轤	染付	肥前	外：蘭文、蝶文。素描き。
184	21	C598	陶器	碗	中碗	114	76	44		灰	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
184	22	C598	陶器	碗	中碗	110	72	50		浅黄橙	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
184	23	C598	陶器	碗	大碗	126	63	42			轆轤	長石釉	瀬戸・美濃	
185	1	C598	陶器	碗	大碗	125	65	44		浅黄	轆轤	黄瀬戸釉？、緑釉（呂宋釉）	瀬戸・美濃	内：呂宋釉。外：体部跳び鉋。口縁部呂宋釉。
185	2	C598	陶器	碗	中碗	116	69	56		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	内：下位に鉄釉。外：高台及びその周辺を除き灰釉を施し。
185	3	C598	陶器	碗	中碗	116	52	46		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	内：灰釉に鉄釉を落とす。高台内墨書（内容不明）。
185	4	C598	陶器	碗	中碗	112	40	38		浅黄橙	轆轤	灰釉、呉須、鉄	瀬戸・美濃	平碗。
185	5	C598	陶器	碗	小碗？			36		灰白	轆轤	灰釉	京・信楽	刻印「萬古」古萬古焼。
185	6	C598	陶器	碗	小碗	(80)	59	42		灰白	轆轤	黄瀬戸釉、鉄釉	瀬戸・美濃	鎧茶碗。
185	7	C598	陶器	碗	小碗	(84)	64	36		灰白	轆轤	鉄釉、透明釉	瀬戸・美濃	外:鉄釉を施釉後、櫛目で掻き落とし、透明釉を全体に施す。
185	8	C598	陶器	皿	大皿	258	64	134		灰白	轆轤	長石釉	瀬戸・美濃	馬目皿。
185	9	C598	陶器	皿	小皿	127	28	42		灰白	轆轤	透明釉	京・信楽	灯明皿。内：格子目状の線刻を焼成前に施す

第 52 表　近世の陶磁器・土器観察表（C 区）（23）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量 (㎜)				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
185	10	C598	陶器	皿	小皿	104	22	45		灰白	轆轤	鉄泥	瀬戸・美濃	灯明皿。内：見込みに窯道具痕あり。
185	11	C598	陶器	皿	中皿	210	41	112		灰白	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	内：見込みに菊花の印花。
185	12	C598	陶器	鉢	火入	100	96	105		浅黄	轆轤	白泥、透明釉、緑釉	瀬戸・美濃	外：白泥を施した後、底部を除き透明釉。口縁部内外面に緑釉を掛ける。
185	13	C598	陶器	蓋	土瓶蓋	59	35		78	浅黄橙	轆轤	染付、白泥、透明釉	瀬戸・美濃	太白焼。胎土は炻器質に近く、外：白泥を施した上に呉須で菊花文を描き透明釉を施す。
185	14	C598	陶器	蓋	土瓶蓋	65	41		96	褐灰	轆轤	鉄泥、鉄釉	不明	外：鉄釉、内：鉄泥を施す。
185	15	C598	陶器	秉燭	秉燭	80	70	64	91	灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	外：高台内墨書「膳」。
186	1	C598	陶器	瓶	大瓶	30	318	132	161	浅黄	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	外：下半を回転ヘラケズリ。肩部に波状の条線。全体と口縁部内面に鉄釉を施し、底部は釉を拭き取り。
186	2	C598	陶器	瓶	小瓶	35			56	灰黄	轆轤	透明釉、白泥、呉須	瀬戸・美濃	太白焼。
186	3	C598	陶器	瓶	中瓶	35	201	65	85	浅黄	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	外：下半を回転ヘラケズリ。釘書き（内容不明）。底部を除く外面と口縁部内面に灰釉漬け掛け。
186	4	C598	陶器	鉢	摺鉢	364	156	160		灰白	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	
186	5	C598	陶器	皿	灯明皿	82	15	35		褐灰	轆轤	鉄泥	志戸呂	内：体部下半に重ね焼き痕有り。
186	6	C598	陶器	器台	灯明受皿	104	21	44	64	褐灰	轆轤	鉄泥	志戸呂	内：体部下半に重ね焼き痕有り。
186	7	C598	土器	器台	灯明受皿	84	22	34	54	橙	轆轤	透明釉	江戸在地	底部糸切未調整。ロクロ左回転。
186	8	C598	陶器	水注	土瓶		—	88	—	灰白	轆轤	鉄釉	薩摩	苗代川系。
186	9	C598	土器	鉢	火鉢			228	242	暗灰黄	轆轤	無釉	江戸在地	
186	10	C598	土器	鉢	火鉢	184	113	168	(220)	黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	
186	11	C598	土器	蓋？	火消壺蓋？	150	16			黄褐	轆轤	無釉	江戸在地	
186	12	C598	土器	蓋	火消壺蓋	268	51			浅黄	轆轤	無釉	江戸在地	
186	13	C598	土器	皿	小皿	134	31	76		橙	轆轤	無釉	江戸在地	内外：丁寧なナデ。内：底部に煤付着。
186	14	C598	土器	皿	小皿	125	27	64		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底部糸切未調整。ロクロ左回転。
186	15	C598	土器	皿	小皿	78	17	39		橙	轆轤	透明釉	江戸在地	底部糸切未調整。ロクロ左回転。口縁部数か所に煤付着。
187	1	C598	土器	蓋	焼塩壺蓋	76	19		80	淡黄	型押し	無釉	近畿	
187	2	C598	土器	蓋	焼塩壺蓋	66	14		65	橙	型押し	無釉	近畿	
187	3	C598	土器	鉢	焼塩壺身	63	52	65	64	にぶい黄	轆轤	無釉	江戸在地	詳細は第 55 表参照。
187	4	C598	土器	鉢	焼塩壺身	50	48	71	69	橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 55 表参照。
187	5	C610	磁器	蓋	碗蓋	84	27		34	灰白	轆轤	染付	肥前	内：五弁花、四方襷文。
187	6	C610	陶器	碗	大碗	121	48	44		灰白	轆轤	鉄、透明釉	肥前	内：山水文。
187	7	C610	陶器	碗	大碗	121	43	38		灰白	轆轤	鉄、透明釉	京・信楽	内：見込み格子、花文。
187	8	C610	陶器	碗	大碗	120	48	41		灰白	轆轤	鉄、灰釉	京・信楽	鉄または呉須により絵付けした後、透明釉を掛ける。鉄絵は波に網干か。
187	9	C610	陶器	皿	大碗	125	31	76		灰白	轆轤	鉄、灰釉	瀬戸・美濃	内：型紙摺り草花文。
187	10	C610	陶器	瓶	小瓶	42				灰	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	徳利。
187	11	C610	土器	鍋	焙烙	333				浅黄橙	轆轤	無釉	江戸在地	無耳、底丸、器壁高 2cm 前後。
187	12	C652	陶器	鉢	擂鉢	227	90	103		褐	轆轤	無釉	堺・明石	内：櫛目９条／単位、見込み摺目。
187	13	C652	土器	鉢	鉢形容器	63	47	37		橙	轆轤	無釉	江戸在地	
187	14	C652	土器	秉燭	タンコロ	44	16	23		橙	轆轤	無釉	江戸在地	
187	15	C652	土器	秉燭	タンコロ	51	21	29		橙	轆轤	無釉	江戸在地	
187	16	C652	土器	器台	灯明受皿	(73)	72	71		橙	轆轤	無釉	江戸在地	脚付。
187	17	C652	土器	鍋	焙烙	216				橙	轆轤	無釉	江戸在地	無耳、底平坦。
187	18	C652	土器	皿	小皿	93	23	39		橙	轆轤	無釉	江戸在地	
188	1	C612	磁器	碗	中碗	106	59	54		灰白	轆轤	染付	肥前	
188	2	C612	磁器	碗	中碗	98	50	42		灰白	轆轤	染付	肥前	
188	3	C612	磁器	碗	中碗	72	(47)	28		灰白	轆轤	染付	不明	外：帆掛け船、山。高台内墨書：「享和年製」？
188	4	C612	陶器	碗	中碗	104	73	46		灰白	轆轤	灰釉	不明	
188	5	C612	陶器	碗	中碗	88	54	33		灰白	轆轤	透明釉、鉄絵	京・信楽	小型。若杉文は非常に簡略化されている。
188	6	C612	陶器	碗	中碗	110	64	40		灰白	轆轤	呉須、鉄釉、透明釉	瀬戸・美濃	麦藁手。鉄と呉須で交互に縦線を描き、全体に透明釉を施す。畳付無釉。
188	7	C612	陶器	碗	小碗	62	39	32		灰白	轆轤	灰釉	不明	内：に鉄分付着。
188	8	C612	陶器	皿	中皿	256	(37)		260	褐灰	轆轤	鉄釉、灰釉	肥前？	口縁部を鍔縁状につくる。全面に鉄釉を施した後、口縁部内面及び見込みに灰釉を刷毛目状に施す。焼成後穿孔箇所あり。
188	9	C612	磁器	鉢	植木鉢	98	71	69	111	灰白	轆轤	染付	不明	
188	10	C612	陶器	鉢	植木鉢	64	47	38	82	灰白	轆轤	鉄釉	不明	底部に焼成前穿孔。
188	11	C612	磁器	蓋		114	53			白	轆轤	染付、長石釉	不明	
188	12	C612	陶器	甕	中甕	165	133	118		灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	
188	13	C612	土器	器台	灯明受皿	97	21	38		明赤褐	轆轤	透明釉	江戸在地	
188	14	C612	土器	器台	灯明受皿	77	77	76		明赤褐	轆轤	透明釉	江戸在地	脚付。
188	15	C612	土器	鍋	焙烙	330			348	橙	轆轤	無釉	江戸在地	無耳、底丸、器壁高 2cm 前後。外底面僅かに煤付着。
189	1	C622	磁器	碗	大碗	144	75	(50)		灰白	轆轤	染付	肥前	内：口縁部四方襷文、外：竹文。口縁部側に雲、高台側に岩を配し、竹林状の風景を描く。
189	2	C622	磁器	碗	中碗	(94)	52	33		灰白	轆轤	染付	肥前	内：口縁部四方襷文、外：水鳥、草。
189	3	C622	磁器	碗	中碗	97	49	34		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	
189	4	C622	磁器	碗	中碗	100	45	32		灰白	轆轤	染付	肥前	薄手の半球碗。外：若松文。
189	5	C622	磁器	碗	中碗	100	53	59		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	広東碗。
189	6	C622	磁器	鉢	蓋物	155	78	86		灰白	轆轤	染付	肥前	
189	7	C622	磁器	皿	五寸皿	141	41	86		灰白	轆轤	染付	肥前	内：撫子、外：体部に唐草文、高台内に渦「福」銘。蛇ノ目凹型高台（低）
189	8	C622	磁器	皿	五寸皿	148	45	90		灰白	轆轤	染付	肥前	内：唐草文、外：唐草文。蛇ノ目凹型高台（高）。
189	9	C622	磁器	蓋	碗蓋	90	25		35	灰白	轆轤	染付	肥前	内：口縁部四方襷文、中央不明。外：五葉若葉文。
189	10	C622	磁器	蓋	碗蓋	70	(13)			灰白	轆轤	染付	肥前	外：菊、氷裂。
189	11	C622	磁器	蓋	蓋物蓋	50	14			灰白	轆轤	染付	肥前	外：花卉文。把手欠失。
189	12	C622	磁器	蓋	合子蓋	46	9			灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	外：草花文。
189	13	C622	陶器	碗	中碗	(97)	58	40		灰白	轆轤	灰釉、鉄釉	瀬戸・美濃	腰錆碗。
189	14	C622	陶器	碗	中碗	116	53	42		灰白	轆轤	灰釉、白泥	瀬戸・美濃	内外：打ち刷毛目
189	15	C622	陶器	碗	小碗	81	58	40		灰	轆轤	鉄釉、透明釉	不明	外：高台周辺を除き鉄釉を施す。内：透明釉を掛ける。
189	16	C622	陶器	碗	中碗	114	37	38		浅黄	轆轤	鉄、呉須、灰釉	瀬戸・美濃	内：見込み梅枝文。花を鉄で、枝を呉須で描く。
189	17	C622	陶器	皿	小皿	123	28	76		浅黄	轆轤貼付	鉄、御深井釉	瀬戸・美濃	外：体部は下半を回転ヘラケズリ。付け高台。底面墨書「十二」？

第 53 表　近世の陶磁器・土器観察表（C 区）（24）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	法量（㎜）				胎土色調	成形	釉薬等	推定生産地	備考（印・銘・文様・技法等）
挿図	番号					a	b	c	d					
189	18	C622	陶器	皿	水盤	267	108	176		灰白	轆轤	灰釉、緑釉	瀬戸・美濃	底面及び内面を除き灰釉を施す。口縁は折り返し僅かに外側に垂れる。7 箇所を指押さえし、緑釉を口縁部から体部上半にかけて部分的に緑釉を流し掛けする。体部中位のそれぞれ対面となる 4 箇所には長石塊 2 個を一組として貼り付ける。体部外面に列点文、ヘラ書き文あり。
190	1	C622	陶器	皿	大皿	262	62	135		灰白	轆轤	灰釉、鉄	瀬戸・美濃	墨書「大日ぼさつ」。馬の目皿。内：見込みに目跡 5。
190	2	C622	陶器	鍋	土鍋	154	75	64	164	灰白	轆轤	鉄釉	不明	
190	3	C622	陶器	器台	灯明受皿	108	24	56		灰褐	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	外：体部下位を回転ヘラケズリ、底部はヘラケズリ。受部上端、体部下位に重ね焼き痕あり。
190	4	C622	陶器	壺	中壺	100	162	100	146	灰白	轆轤	鉄釉	瀬戸・美濃	外：口縁部は釉拭き取り。平底、底部ヘラケズリ。
190	5	C622	陶器	鉢	擂鉢	350	133	168		にぶい赤褐	轆轤	無釉	堺	内：摺目：7 条／単位。見込み摺目：三角形。底面僅かに高台状につくる。
190	6	C622	土器	皿	小皿	77	12	41		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底面糸切未調整。轆轤左回転。
190	7	C622	土器	皿	小皿	106	19	54		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底面糸切未調整。轆轤左回転。
190	8	C622	土器	皿	五寸皿	136	24	76		橙	轆轤	無釉	江戸在地	底面ミガキ。
191	1	C622	土器	蓋	火消壺蓋	274	43		(46)	浅黄橙	回転台	無釉	江戸在地	
191	2	C622	土器	鍋	焙烙	370				明黄褐	回転台	無釉	江戸在地	無耳、底丸、器壁高 2cm 前後。
191	3	C622	土器	鉢	中鉢	210	185	216		にぶい褐	輪積	無釉	江戸在地	外：沈線スタンプ文を施したのちミガキ。瓦質。
191	4	C622	土器	蓋	焼塩壺蓋	68	13		71	明赤褐	型押し	無釉	近畿	
191	5	C622	土器	鉢	焼塩壺身	52	70	43	66	橙	板作り	無釉	近畿	詳細は第 55 表参照。
191	6	C622	土器	鉢	焼塩壺身	64	67	52	65	橙	轆轤	無釉	近畿	詳細は第 55 表参照。
192	1	C615	磁器	蓋	蓋物蓋	86	34		98	灰白	轆轤	染付	肥前	外：丸文散らし。
192	2	C615	陶器	碗	中碗	115	80	66		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	削り出し高台。
192	3	C615	陶器	碗	中碗	94	52	33		灰白	轆轤	白泥、透明釉	瀬戸・美濃	
192	4	C615	陶器	瓶	小瓶	34	198	68	86	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
192	5	C651	磁器	碗	大碗	145	67	51		灰白	轆轤	染付	肥前	内：見込み環状松竹梅文、一重圏線。口縁部四方襷文、外：鶴、一重圏線。
192	6	C651	磁器	碗	中碗	96	53	37		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：見込み花文、一重圏線。外：連弁文、口縁部帯文。
192	7	C651	磁器	碗	中碗	103	56	38		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：見込み花文、二重圏線、口縁部帯文様。外：花文、唐詩・龍希夷『代悲白頭翁』「年年歳歳花相似たり」の句あり。
192	8	C651	磁器	碗	小碗	68	58	36		灰白	轆轤	染付	肥前	内：五弁花、口縁部四方襷文、外：半菊文、格子文。
192	9	C651	磁器	蓋	碗蓋	81	23			灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：花と枝。外面：鳥、花と枝。把手端部釉剥ぎ。
192	10	C651	磁器	碗	中碗	115	63	60		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	広東碗。内面：見込み付近に圏線、口縁部に二重圏線。外面：柳山水文、雁。
192	11	C651	磁器	碗	大碗	130	75	74		灰白	轆轤	染付	肥前	広東碗。内：捻花文、一重圏線。外：連弁内に楼閣山水文。高台内銘款。
192	12	C651	磁器	皿	五寸皿	137	41	82		灰白	轆轤	染付	肥前	内：楼閣山水文。口銹。蛇の目凹型高台（高）。
192	13	C651	磁器	皿	小皿	94	24	40		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：梅花文。外：源氏香、高台内銘款。
192	14	C651	陶器	碗	大碗	124	54	58		灰黄	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	外：沈線文。
192	15	C651	陶器	鉢	合子	72	43	56		灰黄	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
192	16	C651	陶器	蓋		52	28			灰白	轆轤	緑釉	瀬戸・美濃	摘みは宝珠状、焼成前穿孔あり。
192	17	C651	陶器	器台	灯明受皿	102	22	51	70	浅黄橙	轆轤	柿釉	瀬戸・美濃	
192	18	C651	土器	鉢	焼塩壺身	49	53	40	62	にぶい黄	轆轤	無釉	江戸在地	詳細は第 55 表参照。
193	1	C659	磁器	碗	中碗	100	47	36		灰白	轆轤	染付	肥前	外：雲龍。C610 号出土破片と接合。
193	2	C659	磁器	碗	中碗	(95)	50	33		灰白	轆轤	染付	肥前	外：竹
193	3	C659	磁器	鉢	蓋物	110	76	70		灰白	轆轤	染付	肥前	外：花唐草文。
193	4	C659	陶器	碗	中碗	100	59	48		灰白	轆轤	鉄釉、灰釉	瀬戸・美濃	腰錆碗。外：鉄釉と灰釉を上下に掛け分け。
193	5	C659	陶器	碗	大碗	125	49	40		浅黄	轆轤	鉄、透明釉	肥前	京焼風陶器。内：見込み楼閣山水文。
193	6	C659	陶器	碗	中碗	116	49	42		灰白	轆轤	鉄、透明釉	肥前	京焼風陶器。内：見込み楼閣山水文。
193	7	C659	陶器	皿	小皿	(135)	39	72		灰白	轆轤	灰釉、銅緑釉	瀬戸・美濃	型打ち。口縁及び外面をヘラで花弁状に成形する。
193	8	C659	陶器	瓶	中瓶	35	109			灰	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
193	9	2～3面	磁器	碗	小坏	67	40	26		灰白	轆轤	鉄、上絵付	中国	景徳鎮窯。十錦手小坏。内：文様無し。外：赤地に金彩で圏線及び草葉を描く。高台内に呉須で銘款あり。高台畳付無釉。
194	1	673	磁器	碗	中碗	96	49	38		灰白	轆轤	染付	不明	内外：花卉文、霊芝文。高台内銘あり。
194	2	673	磁器	碗	中碗	110	61			灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	内：見込み岩波文、外：楼閣山水文、雁。
194	3	673	磁器	碗	中碗	114	65	58		灰白	轆轤	染付	肥前	広東碗。外：花卉文。
194	4	673	磁器	碗	小碗	68	54	32		灰白	轆轤	染付	肥前	内：口縁四方襷文、外：半菊文、格子文。
194	5	673	磁器	碗	中碗	115	70	62		灰白	轆轤	染付	瀬戸・美濃	広東碗。内：見込み岩波文、外：楼閣山水文、雁。
194	6	673	磁器	皿	五寸皿	151	46	88		灰白	轆轤	染付	肥前	内：楼閣山水文、口縁部口錆。蛇の目凹型高台（高）。
194	7	673	磁器	蓋	蓋物蓋	100	42		114	灰白	轆轤	染付	肥前	被熱。
194	8	673	陶器	碗	中碗	98	56	34		浅黄	轆轤	白泥、鉄、透明釉	瀬戸・美濃	付け高台か。
194	9	673	陶器	碗	大碗	130	58	38		浅黄	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
194	10	673	陶器	鉢	合子	48	19	40	58	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
194	11	673	陶器	鉢	餌猪口	50	28	40		灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	摘み欠失。底面糸切未調整。
194	12	673	陶器	鉢	蓋物	78	52	62	94	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	
194	13	673	陶器	蓋	銚子蓋		14	41	57	灰褐	轆轤	鉄釉	不明	
194	14	673	陶器	蓋		17	24		3.6	灰褐	轆轤	灰釉	不明	外：底面ヘラ切り。
194	15	673	陶器	器台	灯明受皿	64	19	44	93	灰白	轆轤	錆釉	瀬戸・美濃	錆釉は外面体部下半から底部を薄く施釉する。
194	16	673	陶器	瓶	大瓶	34	234	117	144	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	釘書き「三イ」。灰釉総掛け後、底部周辺釉拭き取り。口縁端部無釉。底部周辺無釉。底面はヘラケズリを施すが部分的に糸切痕残る。
194	17	673	陶器	瓶	中瓶	38	202	64	84	灰白	轆轤	灰釉	瀬戸・美濃	釘書き「三イ」。灰釉を漬け掛け、口縁部無釉。底部周辺無釉。
194	18	基礎52・53下層	陶器	蓋		59	23			にぶい黄橙	轆轤	鉄釉	不明	刻印「■傳」。

第 54 表　焼塩壺観察表（1）

挿図	番号	遺構番号	器形	胎土色調	雲母	胎土	成形技法	粘土紐	底粘土	ピース	刻印枠	刻印	備考
4	8	B58	コップ形	にぶい橙	無	やや粗	板作り（Ⅱ類）	太	内	3	長方形 1 重枠？	御塩壺師？	内面粗布目、無段、刻印摩滅
4	9	B58	コップ形	橙	無	やや粗	板作り（Ⅱ類）	無	外	2	内側 2 段角枠	泉州磨生	内面布目、無段
4	10	B58	コップ形	にぶい橙	無	緻密	板作り（Ⅱ類）	無	外	2	内側 2 段角枠	泉州磨生	内面粗布目、無段
26	10	B606	コップ形	橙	有	緻密	板作り（Ⅱ類）	太	外	3	隅切長方形 1 重枠	泉州麻玉	内面布目、有段
27	1	B664	コップ形	橙	無	やや粗	輪積（Ⅰ -3）	—	—	1	長方形 1 重枠	天下一堺ミなと / 藤左衛門	
29	13	B745	コップ形	橙	無	緻密	板作り（Ⅱ類）	細	外	3	長方形 1 重枠	御壺塩師 / 堺湊伊織	底部布目痕
31	7	B808 古段階	コップ形	橙	有	緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	1	長方形 1 重角枠	播磨大極上	内面轆轤目、底部糸切未調整
31	8	B808 古段階	コップ形	橙	少	やや粗	板作り（Ⅱ類）	無	内	2			内面布目、無段
35	7	B889	コップ形	橙	無	やや粗	板作り（Ⅱ類）	細	内	3	内側 2 段角枠	泉州磨生	内面布目
36	13	B890	コップ形	にぶい橙	極少	やや粗	板作り（Ⅱ類）	太	外	3	—	無	内面条痕、有段
36	14	B890	コップ形	橙	極少	緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	1	長方形 1 重角枠	播磨大極上？	内面轆轤目、底面ナデ？糸切不明瞭
38	13	B964	コップ形	明黄褐	無	やや粗	板作り（Ⅱ類）	太	内	3	外側長方形・内側 2 段角枠	泉州麻生	内面布目痕、無段
39	27	B1132	コップ形	橙	極少	やや粗	板作り（Ⅱ類）	無	外	2	隅切長方形 1 重枠	泉州麻玉	内面布目、無段
40	19	B1159	コップ形	にぶい橙	極少	緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	—	長方形 1 重角枠	播磨大極上	内面轆轤目、底部糸切未調整
44	3	B1445 上部	コップ形	にぶい黄橙	無	やや粗	板作り（Ⅱ類）	無	内	2	外側長方形・内側 2 段角枠	泉州麻生	内面粗布目、無段
44	4	B1445 上部	コップ形	橙	極少	緻密	板作り（Ⅱ類）	無	内	2	長方形 2 重枠	泉州麻王	内面布目、有段
44	5	B1445 上部	コップ形	橙	無	やや粗	板作り（Ⅱ類）	細	内	3	外側長方形・内側 2 段角枠	泉州麻生	内面粗布目、無段
45	14	B1445 下部	コップ形	橙	極少	緻密	板作り（Ⅱ類）	太	内	3	長方形 1 重枠	御壺塩師 / 堺湊伊織	内面布目、底面指オサエ
46	8	B1445 最下部	コップ形	橙	極少	緻密	板作り（Ⅱ類）	太	内	3	長方形 1 重枠	御壺塩師 / 堺湊伊織	内面布目、底面布目
47	9	B1475 下部	コップ形	橙	有	やや粗	板作り（Ⅱ類）	太	内	3	—	泉州麻生	内面布目、無段
48	22	B1505	コップ形	橙	無	緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	—	—	無	内面轆轤目、底部糸切未調整
51	5	B1850	コップ形	淡橙	無	やや粗	輪積（Ⅰ -3）	—	—	1	—		
52	10	B1965	コップ形	明黄褐	無	緻密	板作り（Ⅱ類）	太	内	3	長方形 1 重枠	泉州磨生	内面粗布目、有段
62	9	B2305	コップ形	にぶい橙	無	やや粗	板作り（Ⅱ類）	細	内	3	外側長方形・内側 2 段角枠	泉州麻生	内面粗布目、無段
64	21	B2351	コップ形	橙	有	緻密	板作り（Ⅱ類）	無	外	2	隅切長方形 1 重枠	泉湊伊織	内面粗布目、有段
68	16	B2427	コップ形	橙	無	緻密	板作り（Ⅱ類）	無	外	2	—	サカイ / 泉州磨生 / 御塩所	内面布目痕、無段
71	9	B2668	コップ形	にぶい橙	無	緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	—	—	無	内面轆轤目、底部糸切未調整
72	7	B2731	コップ形	橙	無	緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	—	—	無	内面轆轤目、底部糸切未調整
72	8	B2731	コップ形	橙	無	緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	—	—	無	内面轆轤目、未調整
72	17	B2752	コップ形	明赤褐	無	やや粗	輪積（Ⅰ -3）	—	—	1	長方形 1 重枠	天下一堺ミなと / 藤左衛門	体部縦方向成形平坦面あり
74	6	B2748	コップ形	橙	有	緻密	板作り（Ⅱ類）	無	外	2	隅切長方形 1 重枠	泉湊伊織	内面粗布目、有段
77	17	B2789	コップ形	橙	有	緻密	板作り（Ⅱ類）	無	外	2	—	無	内面粗布目、有段
77	18	B2789	コップ形	にぶい橙	極少	緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	—	—	無	内面轆轤目、底部糸切未調整
82	21	B2843	コップ形	明赤褐	無	やや粗	輪積（Ⅰ -3）	—	—	1	長方形 1 重枠	天下一堺ミなと / 藤左衛門	口縁部外面指オサエ痕
82	22	B2843	コップ形	にぶい赤褐	極少	やや粗	輪積（Ⅰ -3）	—	—	1	長方形 1 重枠	天下一堺ミなと / 藤左衛門	体部括れあり、口縁部下を強く指オサエ、体部縦方向成形平坦面あり
84	6	B2847	コップ形	橙	極少	やや粗	板作り（Ⅱ類）	太	内	3	長方形 1 重枠	御壺塩師 / 堺湊伊織	内面布目
84	7	B2847	コップ形	にぶい黄橙	無	やや粗	板作り（Ⅱ類）	細	内	3	外側長方形・内側 2 段角枠	泉州麻生	内面粗布目、無段。外面口縁部付近条線。
85	17	B2849	コップ形	淡黄	無	粗	板作り（Ⅱ類）	細	内	3	外側長方形・内側 2 段角枠	泉州麻生	内面布目、無段
86	12	B3023 上層	コップ形	にぶい赤褐	極少	緻密	板作り（Ⅱ類）	無	外	2	隅切長方形 1 重枠	泉州麻玉	
88	8	B2952	鉢形	淡黄	無	緻密	板作り（Ⅱ類）				—		Ⅳ - Ⅱ類、算盤玉形
88	9	B2952	コップ形	明赤褐	有	緻密	板作り（Ⅱ類）	無	外	2	外側長方形・内側 2 段角枠	泉州麻王	内面布目、有段
90	19	B3215	コップ形	橙	無	やや粗	板作り（Ⅱ類）	無	外	2		泉州麻生	内面粗布目、無段
91	19	B3223	コップ形	にぶい黄橙	無	やや粗	板作り（Ⅱ類）	細	内	3	外側長方形・内側 2 段角枠	泉州麻生	内面粗布目、無段
92	11	B5074	コップ形	明赤褐	有	緻密	板作り（Ⅱ類）	太	外	3	隅切長方形 1 重枠	泉州麻玉	内面布目、有段
96	5	B5082	コップ形	にぶい橙	極少	緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	—	—	無	内面轆轤目、底部糸切未調整
96	6	B5082	コップ形	明黄褐	無	緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	—	—	無	内面轆轤目、底部糸切未調整
101	14	B5086	コップ形	橙	無	緻密	輪積（Ⅰ -3）	—	—	1	長方形 2 重枠	天下一堺ミなと / 藤左衛門	体部外面指オサエ痕あり
101	15	B5086	コップ形	橙	極少	緻密	輪積（Ⅰ -3）	—	—	1	長方形 2 重枠	天下一堺ミなと / 藤左衛門	上半部分のみ残存
101	16	B5086	コップ形	橙	無	やや粗	輪積（Ⅰ -3）	—	—	1	—	天下一堺ミなと / 藤左衛門	
101	17	B5086	コップ形	赤褐	無	粗	輪積（Ⅰ -3）	—	—	1	—	天下一堺ミなと / 藤左衛門	口縁部外面指オサエ痕
101	18	B5086	コップ形	橙	無	やや粗	輪積（Ⅰ -3）	—	—	1	—	天下一堺ミなと / 藤左衛門	
101	19	B5086	コップ形	赤褐	無	粗	輪積（Ⅰ -3）	—	—	1	—	天下一堺ミなと / 藤左衛門	
117	16	C244	コップ形	橙	極少	やや粗	板作り（Ⅱ類）	無	外	2	—	無	内面平滑、有段
117	17	C244	コップ形	にぶい黄	無	緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	—	—	無	内面轆轤目やや不明瞭、底部糸切未調整
138	8	C251	コップ形	にぶい赤褐	有	緻密	板作り（Ⅱ類）	細	外	3	—	無	内面条痕、有段
138	9	C251	コップ形	にぶい橙	無	緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	—	—	無	内面轆轤目、横方向ナデ、底部糸切未調整
138	10	C251	コップ形	にぶい橙	極少	緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	—	—	無	内面轆轤目、底部糸切未調整
138	11	C251	コップ形	橙	極少	緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	—	—	無	内面轆轤目不明瞭、横方向ナデ、底部糸切未調整
138	12	C251	コップ形	橙	無	緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	—	—	無	内面轆轤目不明瞭、横方向ナデ、底部糸切未調整

第 55 表　焼塩壺観察表（2）

挿図	番号	遺構番号	器形	胎土色調	雲母	胎土	成形技法	粘土紐	底粘土	ピース	刻印枠	刻印	備考
140	13	C304	コップ形	橙	極少	緻密	板作り（Ⅱ類）	無	外	2	隅切長方形 1 重枠	泉湊伊織	内面布目、有段
141	5	C305 上層	コップ形	明黄褐	極少	緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	1	長方形 1 重枠	播磨大極上	内面轆轤目、底部糸切未調整
145	8	C305	コップ形	橙	極少	緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	1	—	無？	内面轆轤目、底部糸切未調整
145	9	C305	コップ形	橙	極少	緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	—	長方形 1 重枠	播磨大極上？	内面轆轤目、底部糸切未調整
145	26	C305 下層	コップ形	橙	有	やや粗	板作り（Ⅱ類）				—		
154	2	C511	コップ形	橙	有	緻密	板作り（Ⅱ類）	無	外	2	隅切長方形 1 重枠	泉湊伊織	内面布目、有段
154	3	C511	コップ形	橙	無	やや粗	板作り（Ⅱ類）	無	外	2	隅切長方形 1 重枠	泉湊伊織	内面布目、有段
173	21	C536	コップ形	橙	無	やや粗	板作り（Ⅱ類）	無		2	—	無	内面木痕？、無段
173	22	C536	コップ形	にぶい橙	有	緻密	板作り（Ⅱ類）	細	外	3	—	無	内面布目？、有段
173	23	C536	コップ形	橙	極少	緻密	板作り（Ⅱ類）	無	外	2	—	無	内面条痕、有段
173	24	C536	コップ形	橙	極少	緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	1	—	無	内面轆轤目、底部糸切未調整
173	25	C536	コップ形	橙	極少	緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	1	—	無	内面轆轤目、底部糸切未調整
173	26	C536	コップ形	橙	極少	緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	1	—	無	内面轆轤目、底部糸切未調整
176	17	C540	鉢形	淡黄	無	やや粗	板作り（Ⅱ類）				—		Ⅳ - Ⅱ類、算盤玉形
180	16	C586	コップ形	橙	無	緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	1	—	御壺塩？	内面轆轤目、底部糸切未調整
182	12	C603	コップ形	にぶい橙	少	やや粗	板作り（Ⅱ類）	無	外	2			
182	13	C603	コップ形	にぶい橙	少	やや粗	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	1	—	無	内面轆轤目、底部糸切未調整
187	3	C598	コップ形	にぶい黄		緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	1	—	無	内面轆轤目、底部糸切未調整
187	4	C598	コップ形	橙	有	やや粗	板作り（Ⅱ類）	無	外	2	—	無	内面条痕、有段
191	5	C622	コップ形	橙	有	やや粗	板作り（Ⅱ類）	無	外	2	—	無	内面平滑、有段
191	6	C622	コップ形	橙	無	緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	1	—	無	内面轆轤目、底部糸切未調整
192	18	C651	コップ形	にぶい黄	無	緻密	轆轤（Ⅲ -2 類）	—	—	1	—	無	内面轆轤目、底部糸切未調整

B　文字資料（第 195 ～ 204 図、第 56 ～ 59 表）

文字資料は 4,628 点が確認された。これらの文字資料には、墨書、釘書き（たがね書き）、線刻のほか、鉄釉などを用い施釉して記すもの、焼成前に箆書きするもの、箆書き内に施釉するもののほか、焼成前に押印して記す刻印がある。

本調査において、B・C 区は単に調査を進める上で分割設定した調査区に過ぎないが、両者は往還跡と見られる C305 号を境界に東西に位置しており、B 区の調査区東側は西御殿の敷地東側の境界にほぼ沿った形となっている。その結果、B 区では西御殿に関わる遺構に加え、尾張藩による西側添地の拝領以前に存在した大縄地や旗本屋敷に関わる遺構が多く検出された。C 区では往還跡とみられる遺構を含むものの西側添地拝領以前の遺構は少なく、西御殿に関わる遺構及び本御殿の敷地の一部にあたる範囲の遺構が多く検出されており、両調査区では検出された遺構や出土遺物の時期、内容においてそれぞれの傾向が把握されたことから、墨書資料など文字資料の出土数量についても若干の違いが認められる。

刻印は、陶磁器・土器の実測図に拓影を示し、判読内容は同観察表に記した。B808 号古段階の堆積層から出土した碗に、「朝日」の刻印を持つものがある。高台のみが残存するが、高台とその周辺を除き灰釉を掛け、高台内には「朝日」の刻印がある。朝日焼の印であると考えられる。また、B585 号から、浅く削られた蛇ノ目状の高台内に、方形の枠で囲まれた篆書の「都」印を持つものが確認されており、京・信楽産と推定される。高台とその周辺が露胎となっており、内外面に灰釉を施す。また、京焼風陶器の刻印には「粟田」、「清水」、「小松吉」、「木下弥」、「山伊原」、「柴」などがある。

墨書は、①御殿内の役所や部屋の名称を記したもの、②個人名を記したもの、③紀年銘、の 3 つに大きく分けられる。

①御殿内の役所や部屋の名称を記したものとしては、第 198 図 8 は、「松御ふく之間」、第 198 図 10 は「さくら御ふくの間」と判読される。この「御ふく之（の）間」に冠した「松」、「さくら」はそれぞれ、市谷邸奥向にあたる当主室居住域の呼称「松御殿」と「桜御殿」を略したものであると考えられ、このほかにも「松」、「桜」を冠して記載された資料が数点確認されている。これらはそれぞれ、第 14 代藩主徳川慶勝室矩姫が居住した松御殿と、第 15 代藩主徳川茂徳室政姫が居住した桜御殿の名称を略して冠したものとみられる。部屋の名称を記した例としては、「三之間」（第 197 図 5）、「廣膳」（第 198 図 7）、「六ノ内用坊」（第 196 図 15）、「御使所」（第 197 図 12）、「御小納戸」（第 197 図 16）「御膳所」（第 196 図 3）、「右使」（第 198 図 13）、「御本殿」（第 197 図 2）などがあり、西御殿の絵図に描かれた部屋の名称に一致するものがみられる。また、「五ノ二」など部屋ごとに供えられた数量を示すものもある。

②個人名を記したものには、名字や男性名の一部と考えられる文字を記したもののほか「高つ部や」等女性銘のものも散見され、女中の長局で使用されていた器物とみられる。個人名は主に柳茶碗や灰釉平碗、刷毛目碗等の高台に記される場合が多く、当該器物の所有者を示すとみられる。このほか、所謂相合い傘を描き男女の名前を記したものがみられる。また、個人名を記したものには、ほかに次のようなものがある。第 199 図 12 は陶器の鉢で、高台内に米本常三、遠山永幻の名が記されている。二人のうち、米本常三の名は米本吉蔵の子として史料にみえ、米本吉蔵（？～ 1863）の経歴は以下の通りであることがわかる。

一　天保三辰三月三十日　御持筒頭都築九郎右衛門組同心米六石弐人分取より表坊主見習被仰付令剃髪可相勤候
一　同四巳十月十日　御時計懸り可相勤候
一　同六未十二月七日　表坊主被仰付
一　同十亥十一月六日　御時計懸り相解候
一　同十二丑正月十一日　御切米八石ニ被成下
一　弘化三午二月廿日　御時計懸り可相勤候
一　文久元酉十月十六日　及老年勤向難渋之趣相聞候付勤向差免候勤向無之候付御普請役可相勤候
一　御宛行之内壱石引揚候
一　同二戌十一月廿日　格別之思召を以御普請代席被仰付
一　同年十二月廿九日　世禄御切米五石与可心得旨
一　同三亥六月十日　病死

天保３年（1832）、尾張藩士である米本吉蔵は都築九郎右衛門組の同心で、天保４年（1833）に尾張藩上屋敷の表坊主見習いとなり、剃髪した。弘化３年（1846）に御時計懸りとなったが、文久元年（1861）には老齢により勤務に難渋するようになったため職務を免ぜられ、御普請役となった。文久３年（1863）病死とある。遠山永幻については史料にその名がみえないが、遠山永賀の名があり、その息として永保の名がある。

一　文化三寅正月六日　表坊主見習召抱御切符金三両御扶持弐人分被令下
一　同四卯七月二日　表坊主申付御切米八石被成下
一　同十酉二月九日　御用部屋懸り申付
一　文政二卯五月十八日　御用部屋懸り差免
一　同四巳三月十日　御時計懸り可相勤旨

この二人の父親には、表坊主、御時計懸りという立場が共通しており、職務は世襲が多いことを考慮すれば、米本常三、遠山永幻の二人は市谷邸内において職務上の関わりがあったものと考えられる。なお、当該墨書の筆跡はどちらも同じである。
③の紀年銘では、文政期が多く記されている。内容は、墨書された遺物を購入したとみられる日付を記すものがある。

内容が判読できる墨書 589 点で、内訳は役所・部屋名が 46%、個人名が 35%、屋号等が 11％、紀年銘が 6% である。これらに加え、僅かではあるが価格とみられる数値、「市谷大隅町」などの地名、「火消しつぼ」などの用途がある。なお、木の葉、人物などイラストが描かれたものは除いた。

釘書き、または「たがね書き」と呼ばれる、陶磁器に線刻で文字や記号を施したものは、総数 2775 点が確認された（第 200 ～ 204 図）。多くは陶器の徳利で、いわゆる高田徳利形と呼ばれる徳利の胴部に施されており、他に磁器の小皿の底面に施される例がみられた。また、同一個体上に釘書

きと墨書の両方が書かれたものも少数見られた。この事例は、釘書き「三イ」に対して墨書「三イ」、四角形に「大」に対して四角形に「大」など、概ね同じ内容が書かれている。

第 204 図 1 ～ 25 のように磁器に施された釘書きもあり、磁器小皿の高台内等に人名や記号などが記される。こうした事例は、C 251 号やC 536 号など、19 世紀第 1 ～第 2 四半期の遺構から多数が出土した。

釘書きの内容としては、「万」など 1 文字のもの、丸や四角形、山等の記号と文字を組み合わせたもの、「万利」、「三イ」など複数の文字が記されたものなどがある。これらの釘書きは多様であるがが、わずかに部分的に残る例もあり、本来どういった内容の一部であるのか不明なものも多い。また、「キ」、「い」、「一」などと判読できる特定の文字の組み合わせが頻出するものなど、個別に書かれた複数の文字を 1 つの釘書きとして捉えたものもある。また、例えば「三イ」等といった同一文字の組み合わせが一個体の 2 箇所または 3 箇所に繰り返し書かれる場合は、「三イ」1 種類を 3 箇所に記すものとして取り扱った。

釘書きの内容は、120 種類が確認された。種類の把握にあたっては、小さな破片のみの確認で、釘書き全体が把握できないものは可能な限り除いた。しかしながら、釘書き全体を確認できるものの、判読が不可能で、内容について他との区別が困難なものある。刻字方法については、第 57 ～ 59 表に記した。ただ、線刻及び点刻については、これらの中間的ともいえる、分類が難しいものが存在する。

焼成前に刻書により文字が記される例もあり、第 204 図 26 の陶器甕の高台内には、「寛文拾弐年子三月三日　久尻窯■　平左衛門」とする紀年・窯名・人名が残されている。

上絵付による文字資料には暦茶碗があり、B1159 号出土の第 40 図 9 は、白化粧土に鉄釉を施すことで暦の文字を記している。記された暦は、朔日の干支から享保 2 年（1717）または寛延 3 年（1750）にあたる可能性が高いが、出土遺物などの時期から、寛延 3 年のものであると考えられる。

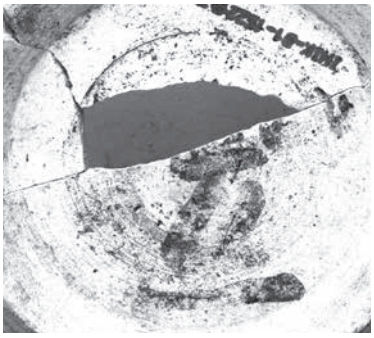
その他、施釉によるものでは、屋号と考えられる「井戸屋」のほか、本報告では図示していないが、新宿区百人町三丁目遺跡で出土例がある「東大久保」の文字が書かれたものも出土している。

1

2

3

4


5

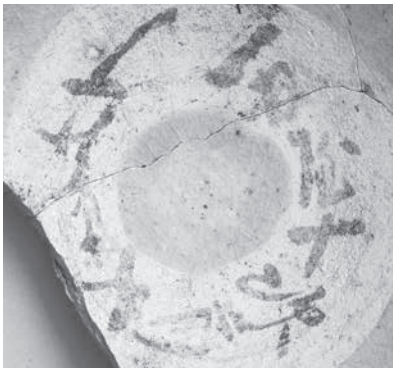
6

7

8

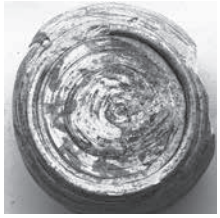
9

10


11

12

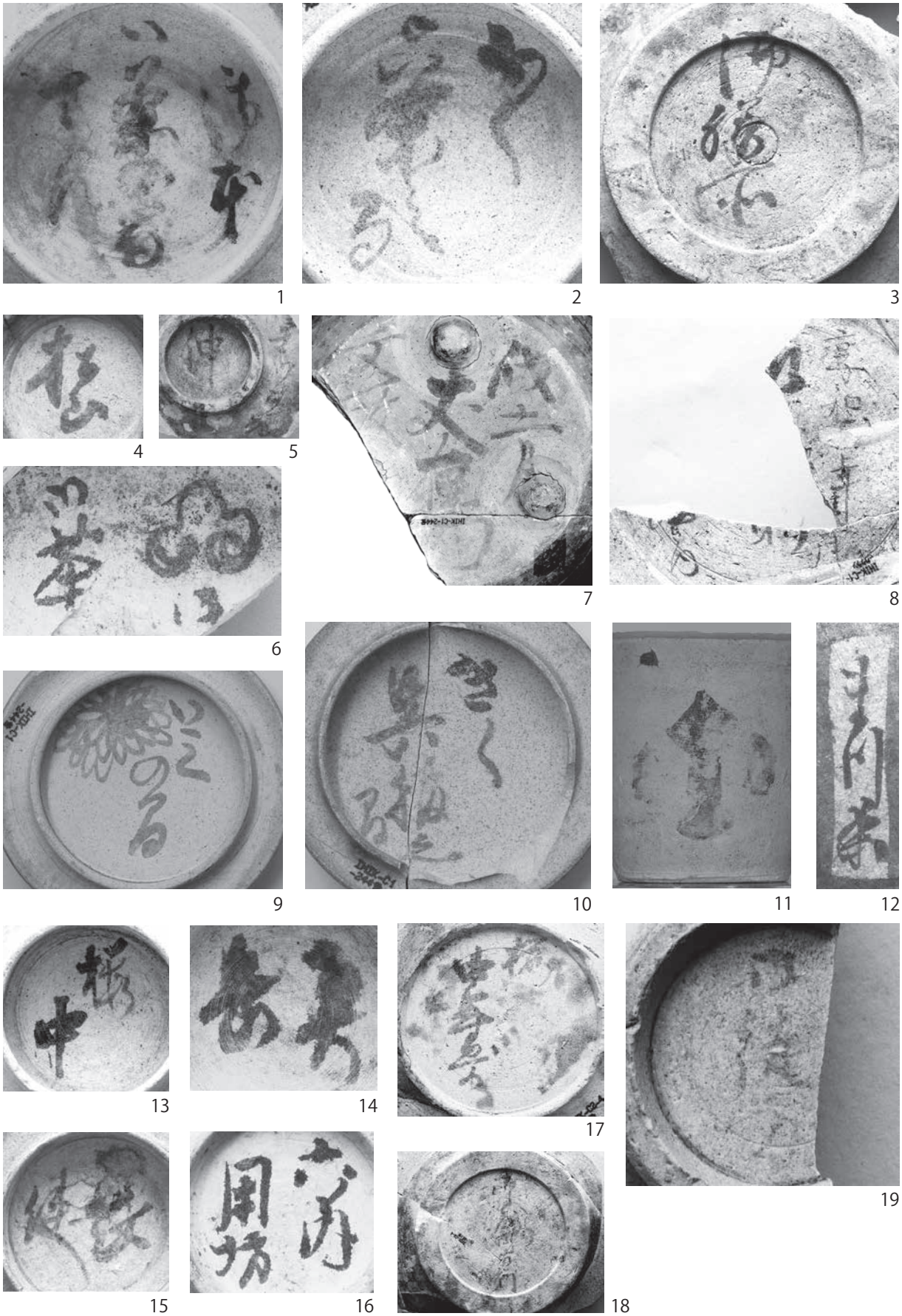
13


14

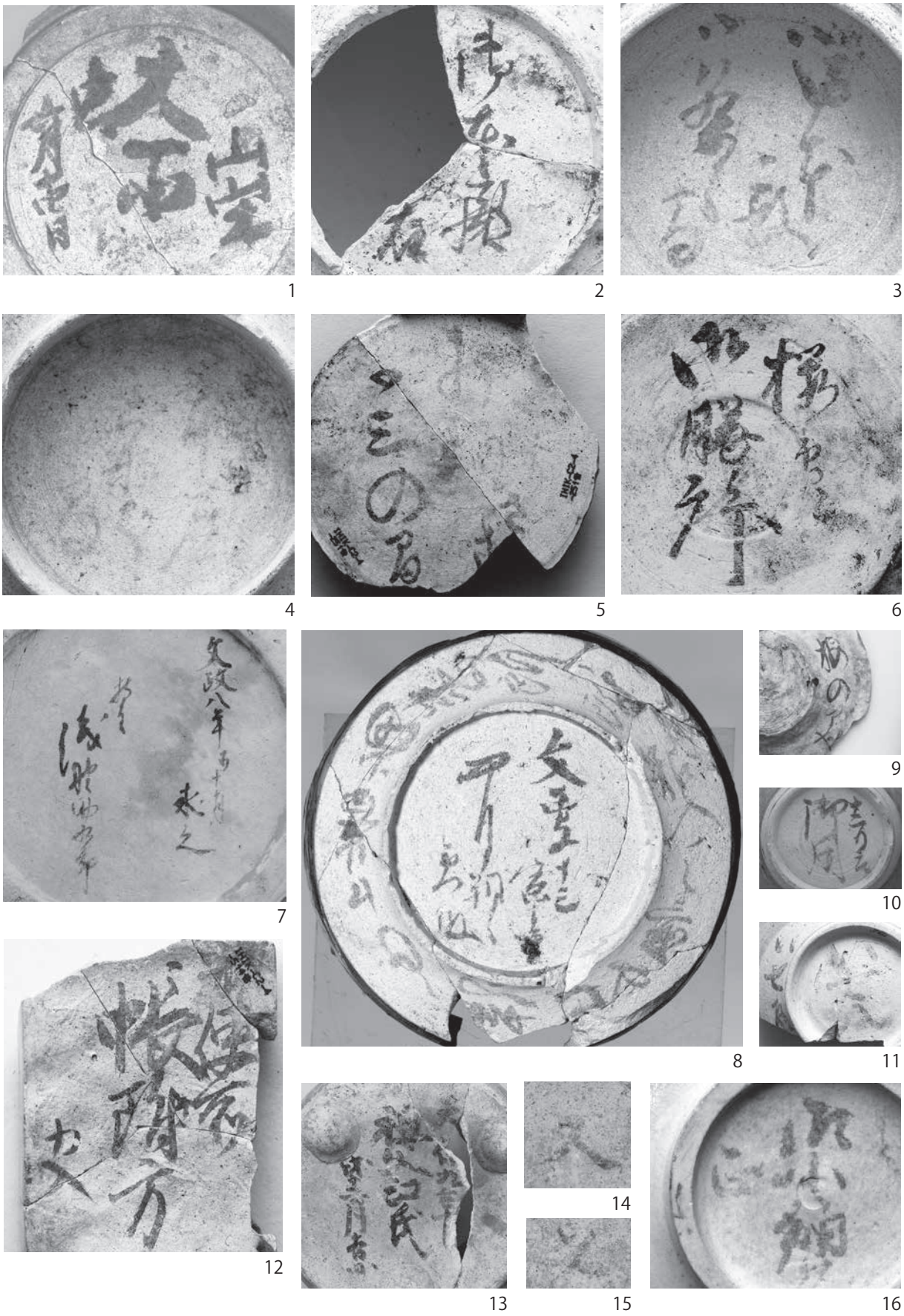
15

16

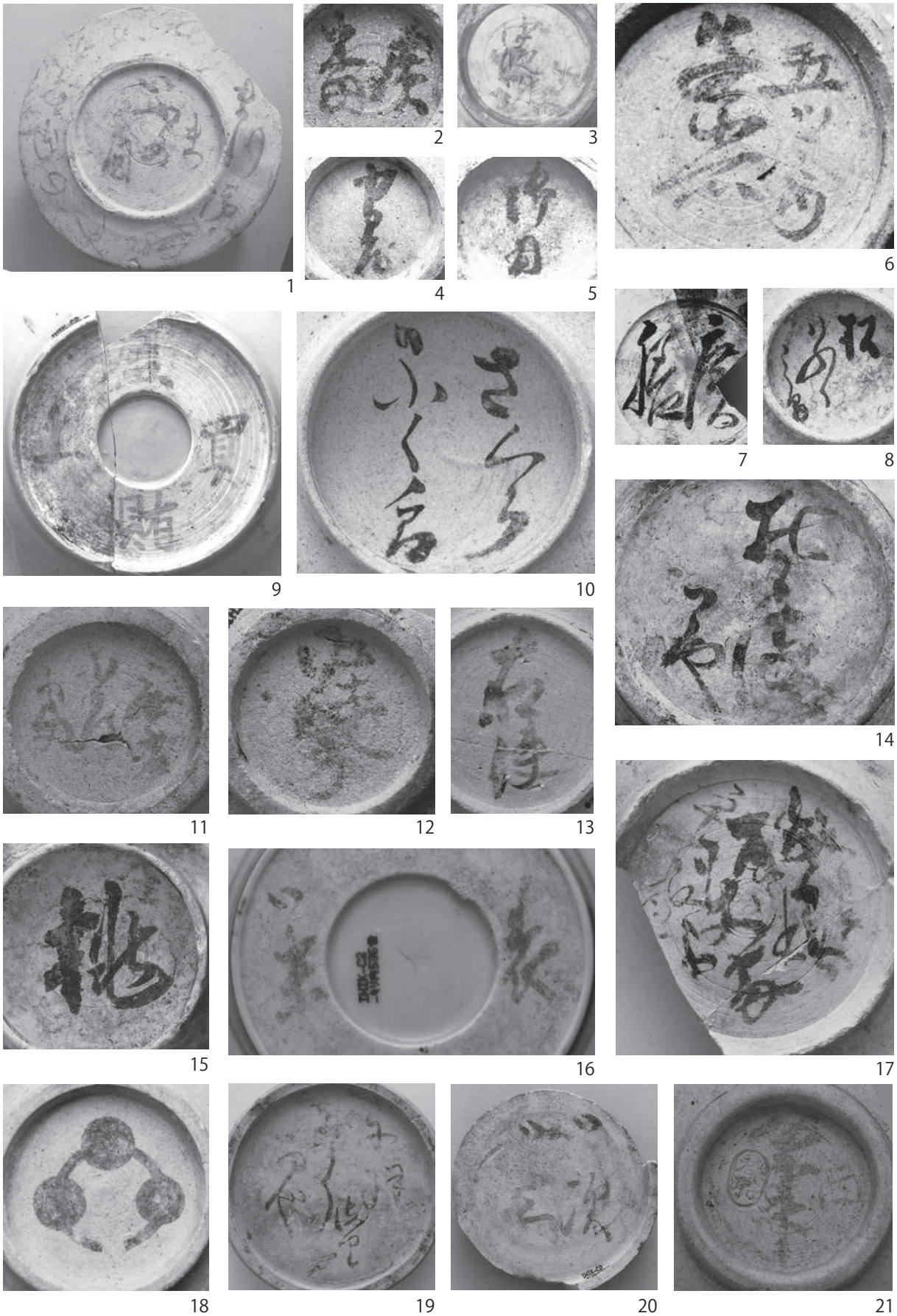
第 195 図　近世の陶磁器・土器　文字資料（１）（縮尺任意）



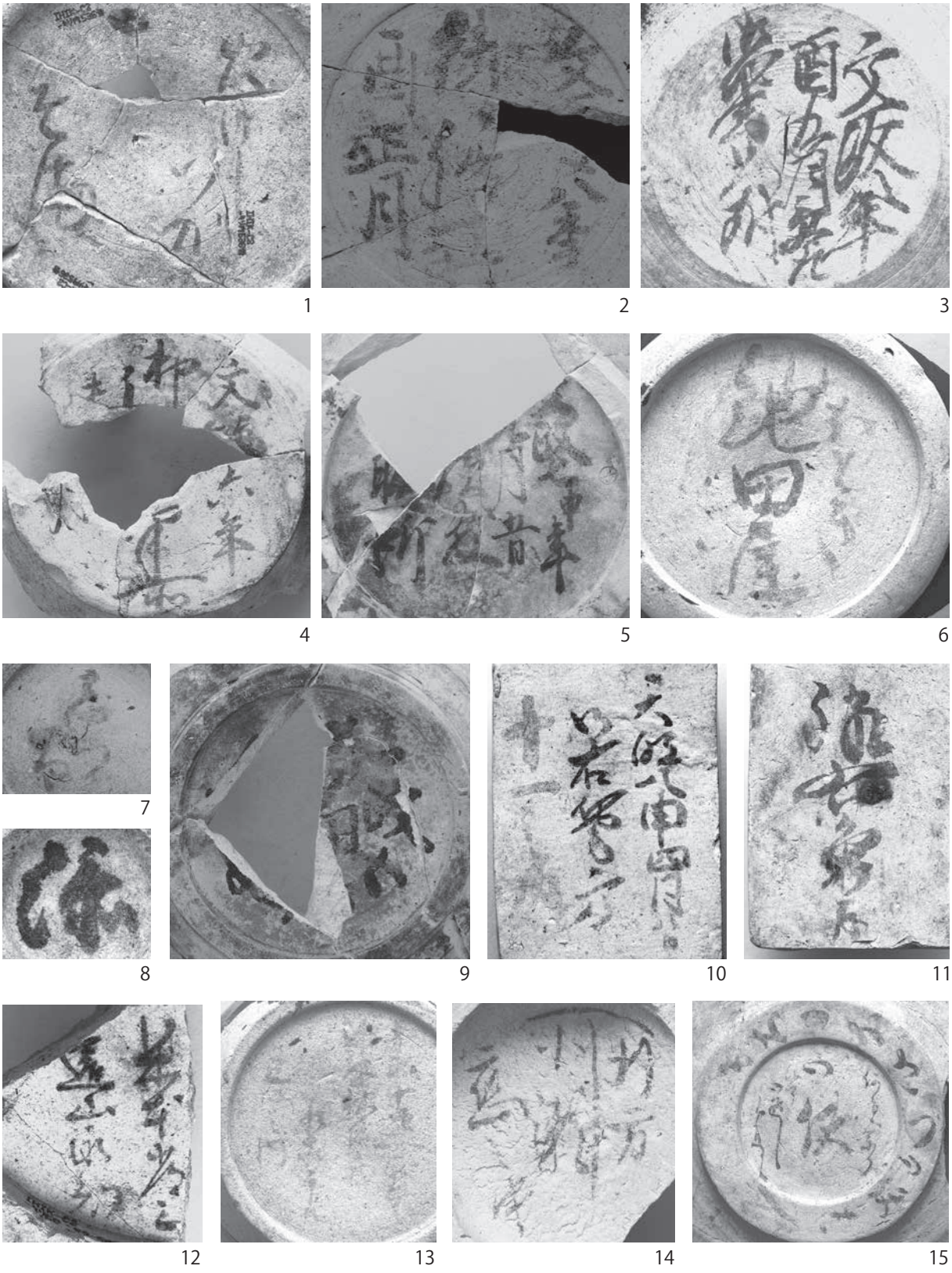
第 196 図　近世の陶磁器・土器　文字資料（２）（縮尺任意）



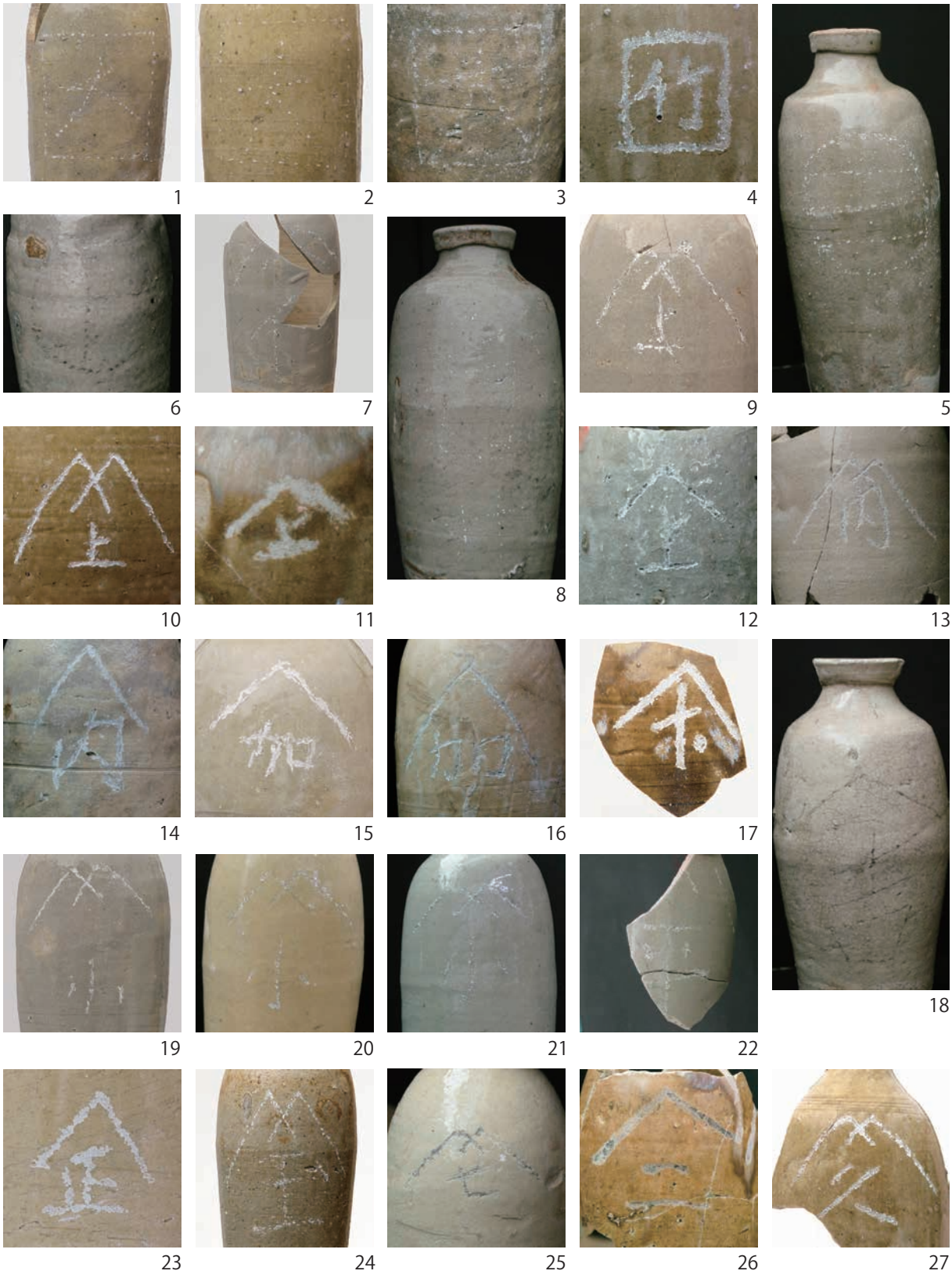
第 197 図　近世の陶磁器・土器　文字資料（３）（縮尺任意）



第 198 図　近世の陶磁器・土器　文字資料（４）（縮尺任意）



第 199 図　近世の陶磁器・土器　文字資料（５）（縮尺任意）

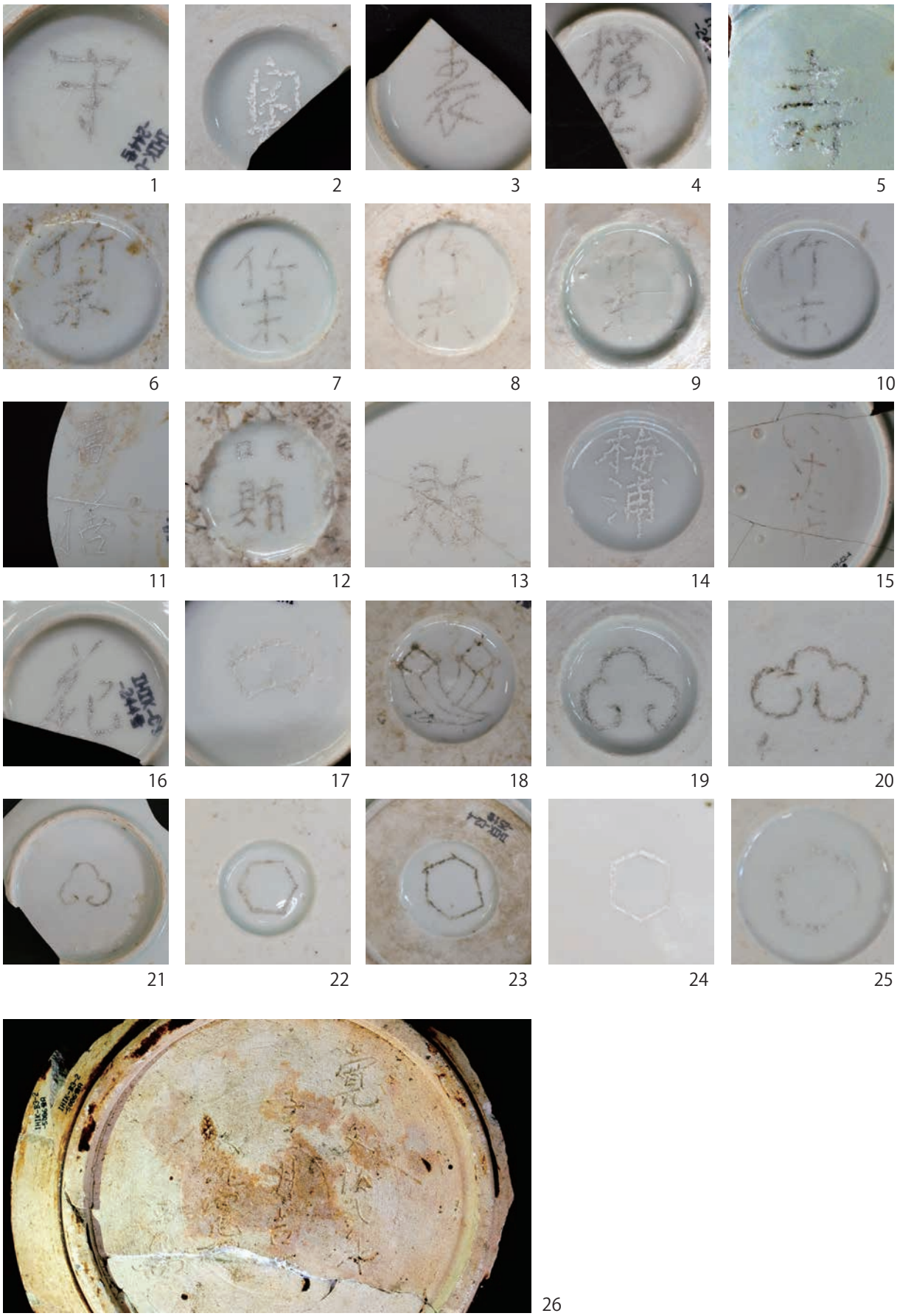


第 200 図　近世の陶磁器・土器　文字資料（６）（縮尺任意）

第 201 図　近世の陶磁器・土器　文字資料（７）（縮尺任意）

第 202 図　近世の陶磁器・土器　文字資料（８）（縮尺任意）

第 203 図　近世の陶磁器・土器　文字資料（９）（縮尺任意）



第 204 図　近世の陶磁器・土器　文字資料（10）（縮尺任意）

第 56 表　近世の陶磁器・土器　文字資料一覧表（1）

挿図番号		出土地点	文字種別	材質	種類	器種	内容	位置	備考
挿図	番号								
195	1	B476 号	墨書	陶器	鉢	火鉢	「■月五日　出来　廣御膳所」	底面	役所または部屋名？
195	2	B1523 号	墨書	陶器	瓶	徳利	「伊（カ）■屋市良■」	胴部	人名
195	3	B1523 号	墨書	陶器	瓶	徳利	「市谷大隅町」	底面	人名
195	4	B1522 号	墨書	陶器	皿	大皿	「大隅町万屋■次郎　」	見込み	人名
195	5	B1522 号	墨書	陶器	皿	大皿	「万■」	高台内	
195	6	B1159 号	墨書	陶器	碗	餌猪口	「宝暦九」	底面	紀年銘
195	7	B2731 号	墨書	陶器	碗	中碗	「未　十一月■　西膳　拾内」	高台内	紀年銘
195	8	B5082 号	墨書	陶器	鉢		「弁当部や」	高台内	役所・部屋名
195	9	B5082 号	墨書	陶器	皿		「△西膳所　未九月」	高台内	役所・部屋名
195	10	B5082 号	墨書	陶器	鉢	香炉	「寛政二年　御■目■　四月十一日」	底面	紀年銘
195	11	B5086 号	墨書	陶器	皿	輪禿皿	「万屋十次郎　大すみ町」	見込み釉剥ぎ部	人名。混入？
195	12	B5086 号	墨書	陶器	皿	輪禿皿	「万屋十次郎　大すみ町」	高台内・底部	人名。混入？
195	13	C132 号	墨書	陶器	碗		「干琴」	高台内	人名
195	14	C140 号	墨書	陶器	瓶	徳利	「いせや九■」	底面	屋号
195	15	C132 号	墨書	陶器	鉢	植木鉢	「廿六文」（内面底部）	内面底部	購入記録？
195	16	C132 号	墨書	陶器	鉢	植木鉢	「辰雨月初頃求之」（高台内）	高台内	購入記録？
196	1	C244 号	墨書	陶器	蓋	土瓶蓋	「御本」「御茶之間」「てん」（御本殿御茶之間）	蓋裏面	役所・部屋名
196	2	C244 号	墨書	陶器	蓋	土瓶蓋	「おく御茶之間」	蓋裏面	役所・部屋名
196	3	C244 号	墨書	陶器	皿	大皿	「御膳所」	底面	役所・部屋名
196	4	C244 号	墨書	陶器	碗	柳茶碗	「松山」	高台内	人名
196	5	C244 号	墨書	陶器	碗		「■壬申弐月廿（カ）～」「仲」	高台内、周囲	紀年銘
196	6	C244 号	墨書	陶器	蓋	土瓶蓋	（葵の絵？）「御茶～」	蓋裏面	役所・部屋名
196	7	C244 号	墨書	土器	鉢		「戌十一月　丈右衛門　文政」	底面	紀年銘
196	8	C244 号	墨書	陶器			「享和三（？）年　亥月　之内」	底面	紀年銘（1803）
196	9	C244 号	墨書	陶器	蓋	土瓶蓋	「の間」（花の絵）	蓋内面	役所・部屋名
196	10	C244 号	墨書	陶器	蓋	土瓶蓋	「きく」「間」	蓋内面	役所・部屋名
196	11	C244 号	墨書	土器	鉢	焼塩壺身	不明	体部	
196	12	C244 号	墨書	陶器	水注	土瓶	「まッ茶」	底部周辺	
196	13	C251 号	墨書	陶器	蓋		「桜中」	蓋内面	役所・部屋名
196	14	C251 号	墨書	陶器	蓋		「奥呉」	蓋内面	役所・部屋名
196	15	C251 号	墨書	陶器	蓋		「表使」	蓋内面	役所・部屋名
196	16	C251 号	墨書	陶器	碗	平碗	「六ノ内用坊」	高台内	役所・部屋名
196	17	C251 号	墨書	陶器	鉢	香炉	「桜」「中年寄」	高台内	役所・部屋名
196	18	C251 号	墨書	陶器	皿	馬の目	「御台所方内附」	高台内	役所・部屋名
196	19	C251 号	墨書	陶器	碗		「御徒方」	高台内	役所・部屋名
197	1	C251 号	墨書	陶器	鉢	片口	「山宋　大所　申　六月十四日」	底面	役所・部屋名？
197	2	C251 号	墨書	陶器			「御本殿　■右」	高台内	役所・部屋名
197	3	C251 号	墨書	陶器	蓋		「御本殿　茶之間」（御・茶の上に「ハ」形）	蓋内面	役所・部屋名
197	4	C251 号	墨書	陶器			「本殿　茶之間」	高台内	役所・部屋名
197	5	C251 号	墨書	陶器		灰釉	「三之間」	内面底部	役所・部屋名
197	6	C251 号	墨書	陶器	鉢		（底面）「桜印　御膳所」 （高台）「文政二年九月廿五日」（高台）	底面、高台	紀年銘（1818）
197	7	C251 号	墨書	陶器	鉢	水鉢	「文政八年」	高台内	紀年銘
197	8	C251 号	墨書	陶器	鉢		（高台内）「文政十三年寅年四月朔日受取」 （高台周辺）御勝手口番当番所附粘入之壺也」	高台内、高台周辺	紀年銘等
197	9	C251 号	墨書	陶器	蓋		「梅の部や」	蓋内面	役所・部屋名
197	10	C251 号	墨書	陶器	鉢	片口	「御用」	高台内	
197	11	C305 号	墨書	陶器			「いせ八」「いせ屋」	高台脇・高台内	屋号
197	12	C514 号	墨書	陶器	水注	水滴	「御使所帳附形力入」	底面	役所・部屋名
197	13	C375 号	墨書	土器	鉢	火鉢	「天保九年　祖父江氏　戌十二月吉日」	底面	紀年銘、人名
197	14	C375 号	墨書	土器	鉢	火鉢	「久」	体部	
197	15	C375 号	墨書	土器	鉢	火鉢	不明	体部	
197	16	C511 号	墨書	陶器	碗	平碗	「御小納戸　正」	高台内	役所・部屋名
198	1	C536 号	墨書	陶器	碗	灰釉	「まつ御殿ふくの間」「ま」「御ふくの間」	高台内、周辺	役所・部屋名
198	2	C536 号	墨書	陶器	碗	柳茶碗	「廣番」	高台内	役所・部屋名
198	3	C536 号	墨書	陶器	碗	刷毛目碗	「中段附」	高台内	役所・部屋名
198	4	C536 号	墨書	陶器	碗	灰釉碗	「中部屋」	高台内	役所・部屋名
198	5	C536 号	墨書	陶器	碗	灰釉碗	「御用」	高台内	役所・部屋名
198	6	C521 号	墨書	陶器	碗	柳茶碗	「五ツ之内　茶所」	高台内	役所・部屋名
198	7	C536 号	墨書	陶器	皿	馬目皿	「廣膳」	高台内	役所・部屋名
198	8	C536 号	墨書	陶器	蓋		「松御ふくの間」	蓋内面	役所・部屋名
198	9	C536 号	墨書	磁器	皿		「廣賄買上」	底面	役所・部屋名 /1046 と同一個体
198	10	C536 号	墨書	陶器	蓋		「さくら御ふくの間」	蓋内面	役所・部屋名
198	11	C536 号	墨書	陶器	碗	柳茶碗	「無宿小屋番」	高台内	
198	12	C536 号	墨書	陶器	碗	柳茶碗	「御徒方」	高台内	役所・部屋名

第 57 表　近世の陶磁器・土器　文字資料一覧表（2）

挿図番号		出土地点	文字種別	材質	種類	器種	内容	位置	備考
挿図	番号								
198	13	C536 号	墨書	陶器	鉢	鉢	「右使」	高台内	役所・部屋名
198	14	C536 号	墨書	陶器	鉢	片口	「北しま部や」	高台内	役所・部屋名
198	15	C536 号	墨書	陶器	蓋		「桃」	蓋内面	部屋名
198	16	C536 号	墨書	磁器	皿		「表」「御東」	底面	
198	17	C536 号	墨書	陶器		灰釉	「御使平田」	底面	女中の名前
198	18	C539 号	墨書	陶器	碗	平碗	記号？	高台内	
198	19	C536 号	墨書	陶器	鉢		「丹羽　崎里　みうら　部や」	高台内	部屋名
198	20	C536 号	墨書	陶器	鉢		「御三」「御次」	高台内	役所・部屋名
198	21	撹乱	墨書	陶器	碗		「西」「筆」	高台内	刻印は「春聴」？
199	1	C536 号	墨書	陶器	甕		「火けしつほ　そま」	高台内	人名？
199	2	C536 号	墨書	陶器			「文■八年　御膳所　酉正月」	底面	紀年銘（文政八年（1825）酉年か）
199	3	C536 号	墨書	陶器	皿		「文政八年酉九月受取　御■附」	底面	紀年銘
199	4	C536 号	墨書	陶器	鉢		「文政六年■　御■■所　未■月」	底面	紀年銘
199	5	C536 号	墨書	陶器	鉢	水鉢	「文政七年■月五月五日」	底面	紀年銘（1824）
199	6	C536 号	墨書	陶器	甕		「ほとき　池田屋」	底面	屋号
199	7	C536 号	墨書	陶器	鉢	捏鉢	「高つ部や」	底面	人名
199	8	C536 号	墨書	陶器	碗	柳茶碗	「添」	底面	人名？
199	9	C536 号	墨書	陶器	鉢	片口	「文政七■」	高台内	紀年銘
199	10	C539 号	墨書	陶器	水注	水滴	「天明八申四月八日御右筆方十一之内」	高台内	紀年銘（1788）
199	11	C564 号	墨書	磁器	水注	水滴	「御右筆方」	底面	役所・部屋名
199	12	C587 号	墨書	陶器			「米本常三　遠山永幻」	高台内	人名
199	13	C598 号	墨書	陶器			「文化十酉■　■谷林■　求■　三■之内」	高台内	紀年銘（1813）
199	14	C605 号	墨書	陶器		京焼風	「利方　小瀧　恋之中」	高台内	人名
199	15	C622 号	墨書	陶器	皿	馬目皿	「五大日ほさつ御使はん　何方へ参り　御使候ハゝ　御返し」	高台内	その他
200	1	B2292 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（四角）大	胴部	点刻
200	2	B2292 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（四角）大	胴部	点刻
200	3	C251 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（四角）大	胴部	点刻
200	4	C598 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（四角）竹	胴部	ベタ書き
200	5	C251 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（丸）三	胴部	点刻
200	6	C536 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（丸）ト？	胴部	点刻
200	7	B3070 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）イ	胴部	点刻
200	8	C536 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（丸）万　サ？	胴部	点刻
200	9	B1522 号下部	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）上	胴部	線刻
200	10	B890 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）上	胴部	線刻
200	11	C140 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）上	胴部	ベタ書き
200	12	C140 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）上	胴部	線刻 / 第 3 図 11 と同一個体
200	13	C305 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）内	胴部	線刻
200	14	C575 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）内	胴部	線刻
200	15	B1148 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）加	胴部	線刻
200	16	C514 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）加	胴部	線刻
200	17	B1523 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）木？	胴部	ベタ書き
200	18	C251 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）吉	胴部	点刻
200	19	B1764 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）小	胴部	線刻
200	20	C598 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）小	胴部	線刻
200	21	C598 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）小	胴部	線刻
200	22	C278 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）平	胴部	線刻
200	23	B565 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）正	胴部	ベタ書き
200	24	B2898 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）玉	胴部	線刻
200	25	C132 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）七	胴部	線刻
200	26	C511 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）二	胴部	ベタ書き
200	27	B2849 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）久	胴部	線刻
201	1	C597 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）久	胴部	線刻
201	2	B1522 号下部	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）久	胴部	線刻
201	3	B1522 号下部	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）久	胴部	線刻
201	4	B890 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）本	胴部	ベタ書き
201	5	C536 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）本	胴部	点刻
201	6	C511 号	釘書	陶器	瓶	徳利	△・丸「イ」	胴部	線刻
201	7	C511 号	釘書	陶器	瓶	徳利	九	胴部	線刻
201	8	B3025 号	釘書	陶器	瓶	徳利	井	胴部	点刻
201	9	B1522 号下部	釘書	陶器	瓶	徳利	秋	胴部	線刻 / 第 3 図 19 と同一個体
201	10	B3070 号	釘書	陶器	瓶	徳利	キ	胴部	線刻 /11・12 と同一個体

第 58 表　近世の陶磁器・土器　文字資料一覧表（3）

挿図番号		出土地点	文字種別	材質	種類	器種	内容	位置	備考
挿図	番号								
201	11	B3070 号	釘書	陶器	瓶	徳利	ミ	胴部	線刻 /10・12 と同一個体
201	12	B3070 号	釘書	陶器	瓶	徳利	|	胴部	線刻 /10・11 と同一個体
201	13	C539 号	釘書	陶器	瓶	徳利	キ	胴部	点刻 /14・15 と同一個体
201	14	C539 号	釘書	陶器	瓶	徳利	”	胴部	点刻 /13・15 と同一個体
201	15	C539 号	釘書	陶器	瓶	徳利	|	胴部	点刻 /13・14 と同一個体
201	16	C111 号	釘書	陶器	瓶	徳利	三イ	胴部	ベタ書き
201	17	B5082 号	釘書	陶器	瓶	徳利	大、（ヤマ）万、■	胴部	ベタ書き /18 と同一個体
201	18	B5082 号	釘書	陶器	瓶	徳利	大、（ヤマ）万、■	胴部	ベタ書き /17 と同一個体
201	19	B2419 号	釘書	陶器	瓶	徳利	いけ	胴部	点刻
201	20	C536 号	釘書	陶器	瓶	徳利	イけ	胴部	点刻
201	21	C536 号	釘書	陶器	瓶	徳利	三	胴部	点刻
201	22	C251 号	釘書	陶器	瓶	徳利	三イ	胴部	点刻
201	23	C536 号	釘書	陶器	瓶	徳利	三合？	胴部	点刻
201	24	C251 号	釘書	陶器	瓶	徳利	三治	胴部	点刻
201	25	C622 号	釘書	陶器	瓶	徳利	万吉	胴部	点刻
202	1	B657 号	釘書	陶器	瓶	徳利	三十？	胴部	点刻
202	2	B2796 号	釘書	陶器	瓶	徳利	三又	胴部	ベタ書き
202	3	C598 号	釘書	陶器	瓶	徳利	十	胴部	線刻
202	4	B808 号新段階	釘書	陶器	瓶	徳利	セや	胴部	ベタ書き
202	5	B1522 号下部	釘書	陶器	瓶	徳利	そのいけ	胴部	ベタ書き
202	6	B889 号下部	釘書	陶器	瓶	徳利	中	胴部	線刻
202	7	C536 号	釘書	陶器	瓶	徳利	中	胴部	点刻
202	8	B1522 号下部	釘書	陶器	瓶	徳利	乃田	胴部	線刻
202	9	B159 号	釘書	陶器	瓶	徳利	八	胴部	ベタ書き
202	10	B2849 号	釘書	陶器	瓶	徳利	久二	胴部	ベタ書き
202	11	C140 号	釘書	陶器	瓶	徳利	菱形	胴部	線刻 / 第 1 図 12 と同一個体
202	12	C244 号	釘書	陶器	瓶	徳利	松	胴部	線刻
202	13	B1522 号下部	釘書	陶器	瓶	徳利	万	胴部	ベタ書き
202	14	B2731 号	釘書	陶器	瓶	徳利	万～？	胴部	点刻
202	15	B3025 号	釘書	陶器	瓶	徳利	万イ	胴部	点刻
202	16	B5082 号	釘書	陶器	瓶	徳利	万イ	胴部	線刻
202	17	C251 号	釘書	陶器	瓶	徳利	み	胴部	線刻
202	18	C598 号	釘書	陶器	瓶	徳利	キ	胴部	線刻
202	19	B1522 号下部	釘書	陶器	瓶	徳利	又	胴部	ベタ書き / 第 2 図 9 と同一個体
202	20	B889 号下部	釘書	陶器	瓶	徳利	又	胴部	ベタ書き
202	21	B1527 号	釘書	陶器	瓶	徳利	キ	胴部	ベタ書き
202	22	C536 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（井桁菱）七　五十七	胴部	点刻
202	23	B2348 号	釘書	陶器	瓶	徳利	万利	胴部	点刻
202	24	C536 号	釘書	陶器	瓶	徳利	万利	胴部	点刻
202	25	C251 号	釘書	陶器	瓶	徳利	万利	胴部	点刻
202	26	C251 号	釘書	陶器	瓶	徳利	万利	胴部	点刻
202	27	C536 号	釘書	陶器	瓶	徳利	万セン	胴部	点刻
202	28	C536 号	釘書	陶器	瓶	徳利	万太	胴部	点刻
203	1	B3070 号	釘書	陶器	瓶	徳利	山（ヤマ）	胴部	点刻
203	2	B3070 号	釘書	陶器	瓶	徳利	山（ヤマ）	胴部	点刻
203	3	B2331 号	釘書	陶器	瓶	徳利	山（ヤマ）？	胴部	点刻
203	4	B3025 号	釘書	陶器	瓶	徳利	半	胴部	点刻
203	5	C251 号	釘書	陶器	瓶	徳利	い四	胴部	点刻
203	6	C140 号	釘書	陶器	瓶	徳利	さ	胴部	ベタ書き
203	7	B2789 号	釘書	陶器	瓶	徳利	右エ門	胴部	ベタ書き
203	8	B5082 号	釘書	陶器	瓶	徳利	合	胴部	点刻
203	9	B3025 号	釘書	陶器	瓶	徳利	四合	胴部	点刻
203	10	C251 号	釘書	陶器	瓶	徳利	山川	胴部	点刻
203	11	B890 号	釘書	陶器	瓶	徳利	不明	胴部	ベタ書き
203	12	C536 号	釘書	陶器	瓶	徳利	王	胴部	点刻
203	13	B3001 号	釘書	陶器	瓶	徳利	松治	胴部	点刻
203	14	B5082 号	釘書	陶器	瓶	徳利	イ吉	胴部	点刻
203	15	C244 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（井桁菱）い？	胴部	点刻
203	16	C536 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（四角）大	胴部	点刻 /17 と同一個体
203	17	C536 号	釘書	陶器	瓶	徳利	合羽坂	胴部	線刻 /16 と同一個体

第 59 表　近世の陶磁器・土器　文字資料一覧表（4）

挿図番号		出土地点	文字種別	材質	種類	器種	内容	位置	備考
挿図	番号								
203	18	C244 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（ヤマ）サ？	胴部	点刻
203	19	C536 号	釘書	陶器	瓶	徳利	（カギ）吉？	胴部	点刻
203	20	C622 号	釘書	陶器	瓶	徳利	□に＼	胴部	ベタ書き
203	21	C251 号	釘書	陶器	瓶	徳利	「川セや」	胴部	点刻
203	22	C251 号	箆書	陶器	瓶	徳利	本四？	胴部	
203	23	C521 号	箆書	陶器	瓶	徳利	四角「大」	胴部	
203	24	C305 号	箆書	陶器	瓶	徳利	（丸）万	胴部	
203	25	C476 号	釘書	陶器	瓶	徳利	■万？	胴部	
203	26	C564 号	箆書	陶器	瓶	徳利	「山」山 (1)	胴部	
203	27	撹乱	箆書	陶器	瓶	徳利	四角「大」	胴部	
203	28	B111 号	箆書・施釉	陶器	瓶	徳利	舎	胴部	
203	29	C536 号	施釉	陶器	瓶	徳利	井戸屋	胴部	
204	1	C244 号	釘書	磁器	皿	小皿	「守」	底面	
204	2	基礎 52・53 号	釘書	磁器	皿	小皿	「奥」	底面	
204	3	C244 号	釘書	磁器		浅丸	「表」	底面	
204	4	C244 号	釘書	磁器		浅丸	「桜」	底面	
204	5	基礎 52 号	釘書	磁器	皿	小皿	「壽」？	底面	
204	6	C536 号	釘書	磁器	皿	小皿	「竹末」	底部	
204	7	C244 号	釘書	磁器	皿	小皿	「竹末」	底部	
204	8	C244 号	釘書	磁器	皿	小皿	「竹末」	底部	
204	9	C244 号	釘書	磁器	皿	小皿	「竹末」	底部	
204	10	C536 号	釘書	磁器	皿	小皿	「竹末」	底部	
204	11	C536 号	釘書	磁器	皿	小皿	「廣膳」	底部	
204	12	C244 号	釘書	磁器	皿	小皿	「ヒロ賄」	底面	
204	13	B514 号	釘書	磁器	皿	小皿	「賄」	底面	
204	14	C536 号	釘書	磁器	皿	小皿	「梅浦」	底部	
204	15	C251 号	釘書	磁器	皿	小皿	いけたや	底面	
204	16	C244 号	釘書	磁器	皿	小皿	花	底面	
204	17	C536 号	釘書	磁器	皿	小皿	扇形	底部	
204	18	C244 号	釘書	磁器	皿	小皿	丁字文様	底面	
204	19	C536 号	釘書	磁器	皿	小皿	葵記号	底部	
204	20	C536 号	釘書	磁器	皿	小皿	葵記号	底部	
204	21	C251 号	釘書	磁器	皿	小皿	葵記号	底部	
204	22	C244 号	釘書	磁器	皿	小皿	六角形	底面	
204	23	C251 号	釘書	磁器	皿	小皿	六角形	底面	
204	24	C244 号	釘書	磁器	皿	小皿	六角形	底面	
204	25	C244 号	釘書	磁器	皿	小皿	六角形	底面	
204	26	B5086 号	刻書	陶器	甕		寛文拾弐年　子三月三日　久尻窯■　平左衛門	底面	

第 60 表　主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（1）

＜ B588 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	797	5,235
	皿類	380	17,839
	鉢類	325	8,066
	壷類	47	1,330
	瓶類	207	5,509
	水注類	9	50
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	73	1,608
	特殊類		
	不明	146	104
	小計	1,984	39,741
陶器	碗類	594	7,006
	皿類	131	2,776
	鉢類	198	8,274
	（擂鉢）		
	甕類	75	4,795
	壷類	428	14,614
	瓶類	471	8,806
	水注類	49	1,125
	鍋類		
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	1	31
	蓋類	14	379
	他		
	不明	145	448
	小計	2,106	48,254
炻器	皿類		
	鉢類	1	65
	（擂鉢）		
	甕類		
	壷類	1	154
	瓶類	238	5,996
	器台類		
	蓋類		
	不明		
	小計	240	6,215
土器	碗類		
	皿類	215	1,544
	鉢類	269	15,143
	（鉢形容器）	(14)	(231)
	（焼塩壷）	(12)	(342)
	（火鉢）	(199)	(12,791)
	（焜炉）	(44)	(1,779)
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類	131	1,989
	（焙烙）	(131)	(1,989)
	釜類		
	鐘類	99	3,897
	箱類	33	4,124
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	6	408
	蓋類	4	349
	特殊類		
	不明	78	458.2
	小計	835	27,912.2
総計		5,165	122,122.2

＜ B808 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	1,922	13,327
	皿類	399	4,522.5
	鉢類	160	2,226
	壷類	9	146
	瓶類	206	1,668
	水注類	20	179
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	55	576
	特殊類		
	不明	360	476
	小計	3,131	23,120.5
陶器	碗類	1,547	10,828
	皿類	275	4,241
	鉢類	1,289	27,372
	（擂鉢）	(252)	(7,464)
	甕類	197	5,778
	壷類	84	2,487
	瓶類	1,311	20,644
	水注類	82	1,063
	鍋類	43	418
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	4	25
	蓋類	37	767
	他		
	不明	605	1,052
	小計	5,474	74,675
炻器	皿類	11	48
	鉢類	283	13,302
	（擂鉢）	(281)	(13,212)
	甕類	25	1,643
	壷類		
	瓶類	483	10,876
	器台類	4	92
	蓋類		
	不明	13	97
	小計	819	26,058
土器	碗類		
	皿類	1,669	7,151
	鉢類	671	20,842.4
	（鉢形容器）	(36)	(277)
	（焼塩壷）	(28)	(643.4)
	（火鉢）	(561)	(17391)
	（焜炉）	(46)	(2,531)
	壷類		
	瓶類		
	水注類	15	475
	鍋類	1,081	11,164
	（焙烙）	(1,081)	(11,164)
	釜類		
	鐘類	15	502
	箱類		
	杓子類		
	秉燭類	2	17
	器台類	57	879
	蓋類	140	1,722
	特殊類		
	不明	724	3,186
	小計	4,374	45,938.4
総計		13,798	169,791.9

＜ B889 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	583	5,330
	皿類	120	1,585
	鉢類	44	715
	壷類	2	30
	瓶類	43	675
	水注類	6	50
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	7	60
	特殊類		
	不明	19	37.7
	小計	824	8,482.7
陶器	碗類	513	5,795
	皿類	99	1,450
	鉢類	284	9,419.8
	（擂鉢）	(42)	(2,324.8)
	甕類	14	600
	壷類	22	1,390
	瓶類	407	13,755
	水注類	14	295
	鍋類	10	275
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	1	90
	蓋類	5	250
	他		
	不明	31	95.1
	小計	1,400	33,414.9
炻器	皿類		
	鉢類	77	6,085
	（擂鉢）	(77)	(6,085)
	甕類	8	650
	壷類		
	瓶類	79	1,650
	器台類		
	蓋類		
	不明	2	115
	小計	166	8,500
土器	碗類		
	皿類	476	2,710
	鉢類	283	10,746.5
	（鉢形容器）	(6)	(315)
	（焼塩壷）	(24)	(751.5)
	（火鉢）	(237)	(8,220)
	（焜炉）	(16)	(1,460)
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類	250	4,289.3
	（焙烙）	(250)	(4,289.3)
	釜類		
	鐘類		
	箱類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	18	715
	蓋類	28	895
	特殊類		
	不明	12	55.2
	小計	1,067	19,411
総計		3,457	69,808.6

第 61 表　主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（2）

＜B1445 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	1,765	12,821.2
	皿類	257	4,917.6
	鉢類	54	1,091.2
	壷類	4	285
	瓶類	78	1,072.4
	水注類	16	130.8
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	14	1,643
	特殊類		
	不明	184	367.4
	小計	2,372	22,328.6
陶器	碗類	802	11,291.4
	皿類	218	5,070
	鉢類	283	11,800
	（擂鉢）	80	4,150
	甕類	7	462.6
	壷類	33	1,255.7
	瓶類	118	2,100
	水注類	12	1,311.5
	鍋類	5	138.4
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	4	479.5
	蓋類	5	351.3
	他		
	不明	36	41
	小計	1,603	38,451.4
炻器	皿類	18	224.4
	鉢類	77	6,812.7
	（擂鉢）	(69)	(6,632.7)
	甕類	18	1,335
	壷類		
	瓶類	75	4,200
	器台類		
	蓋類		
	不明	2	35.6
	小計	190	12,607.7
土器	碗類		
	皿類	1,916	8,159.8
	鉢類	323	11,129.6
	（鉢形容器）	(17)	(175.3)
	（焼塩壷）	(30)	(2,866.9)
	（火鉢）	(259)	(7,260)
	（焜炉）	(17)	(827.4)
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類	687	10,545
	（焙烙）	(687)	(10,545)
	釜類		
	鐘類	4	495
	箱類		
	杓子類		
	秉燭類	1	10
	器台類	22	422.2
	蓋類	5	119.7
	特殊類		
	不明	182	548.5
	小計	3,140	31,429.8
総計		7,305	104,817.5

＜B1522 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	534	7,822.5
	皿類	99	1,540.6
	鉢類	46	1,175
	壷類	2	140
	瓶類	52	545
	水注類	1	5
	杓子類		
	器台類	7	170
	蓋類	26	457.2
	特殊類		
	不明	101	120
	小計	868	11,975.3
陶器	碗類	511	5810
	皿類	81	1,906.7
	鉢類	408	18,834.1
	（擂鉢）	(34)	(630)
	甕類	89	7,664.7
	壷類	6	285
	瓶類	937	46,710
	水注類	20	177
	鍋類	54	1,090
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	2	40.1
	蓋類	13	210
	他		
	不明	177	350
	小計	2,298	83,077.6
炻器	皿類		
	鉢類	64	4,265
	（擂鉢）	(50)	(3,580)
	甕類	4	760
	壷類	1	40
	瓶類	131	5,435
	器台類		
	蓋類		
	不明		
	小計	200	10,500
土器	碗類		
	皿類	835	4,855
	鉢類	424	15,662.1
	（鉢形容器）	(18)	(297.5)
	（焼塩壷）	(48)	(1,514.6)
	（火鉢）	(317)	(11,165)
	（焜炉）	(41)	(2,685)
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類	540	9,055
	（焙烙）	(540)	(9,055)
	釜類		
	鐘類	3	3,120
	箱類	5	2,265
	杓子類		
	秉燭類	1	20
	器台類	36	1,180
	蓋類	52	2,780
	特殊類		
	不明	61	445.3
	小計	1,957	39,382.4
総計		5,323	144,935.3

＜B1523 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	203	3,658
	皿類	31	675
	鉢類	21	1,155
	壷類		
	瓶類	20	315
	水注類	3	37.4
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	6	235
	特殊類		
	不明	3	1
	小計	287	6,076.4
陶器	碗類	162	3,735
	皿類	76	1,400
	鉢類	109	7,865
	（擂鉢）	(19)	(3,165)
	甕類	6	90
	壷類	8	241.2
	瓶類	81	2,900
	水注類	4	65
	鍋類	2	30
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	1	40
	蓋類		
	他		
	不明	4	2.2
	小計	453	16,368.4
炻器	皿類		
	鉢類	13	725
	（擂鉢）	(13)	(725)
	甕類	2	131.7
	壷類	2	560
	瓶類	23	1,705
	器台類	1	50
	蓋類		
	不明		
	小計	41	3,171.7
土器	碗類		
	皿類	253	975
	鉢類	124	9,110.4
	（鉢形容器）	(6)	(95)
	（焼塩壷）	(11)	(935.4)
	（火鉢）	(87)	(2,840)
	（焜炉）	(20)	(5,240)
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類		
	（焙烙）	334	5,885
	釜類		
	鐘類	14	1,125
	箱類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	5	135
	蓋類	9	555
	特殊類		
	不明	128	35.3
	小計	867	17,820.7
総計		1,648	43,437.2

第 62 表　主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（3）

＜ B2086 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	279	3,140
	皿類	17	510.9
	鉢類	25	670
	壷類		
	瓶類	21	390
	水注類	1	2.5
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	4	52.7
	特殊類		
	不明	5	18.6
	小計	352	4,784.7
陶器	碗類	59	1,300
	皿類	46	1,665
	鉢類	52	4,241.4
	（擂鉢）	14	725
	甕類	12	475
	壷類	5	132.6
	瓶類	34	835
	水注類		
	鍋類		
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類		
	蓋類	6	131.2
	他		
	不明	3	14.3
	小計	231	9,519.5
炻器	皿類		
	鉢類	30	1,935
	（擂鉢）	(30)	(1,935)
	甕類	4	480
	壷類		
	瓶類	3	125
	器台類		
	蓋類		
	不明	1	75
	小計	38	2,615
土器	碗類		
	皿類	147	1,010
	鉢類	73	4,810
	（鉢形容器）	(4)	(40)
	（焼塩壷）	(1)	(415)
	（火鉢）	(64)	(4,215)
	（焜炉）	(4)	(140)
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類	39	340
	（焙烙）	(39)	(340)
	釜類		
	鐘類		
	箱類	1	60
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類		
	蓋類	4	215
	特殊類		
	不明	14	68.9
	小計	278	6,503.9
総計		899	23,423.1

＜ B2223 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	136	1,390
	皿類	44	594
	鉢類	7	83.8
	壷類		
	瓶類	2	13.4
	水注類		
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	1	4
	特殊類		
	不明	1	0.3
	小計	191	2,085.5
陶器	碗類	74	926
	皿類	5	42.6
	鉢類	64	2,166
	（擂鉢）	(17)	(895)
	甕類		
	壷類	4	125
	瓶類	30	575
	水注類	8	230
	鍋類		
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	2	43
	蓋類	1	12
	他		
	不明		
	小計	188	4,119.6
炻器	皿類	8	61
	鉢類	3	206.6
	（擂鉢）	(3)	(206.6)
	甕類	17	632.3
	壷類		
	瓶類	5	104.6
	器台類	1	4.6
	蓋類		
	不明		
	小計	34	1,009.1
土器	碗類		
	皿類	264	1,040
	鉢類	78	2,195.5
	（鉢形容器）	(11)	(103.1)
	（焼塩壷）	(8)	(98.5)
	（火鉢）	(50)	(1,660)
	（焜炉）	(9)	(333.9)
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類	197	2,963.9
	（焙烙）	(197)	(2,963.9)
	釜類		
	鐘類		
	箱類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	1	125
	蓋類	13	545
	特殊類		
	不明	151	137.7
	小計	704	7,007.1
総計		1,117	14,221.3

＜ B2290 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	258	2,160
	皿類	522	8,229
	鉢類	90	927
	壷類	57	695
	瓶類	69	300
	水注類		
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	55	420
	特殊類		
	不明	52	24
	小計	1,103	12,755
陶器	碗類	21	219
	皿類	5	117
	鉢類	65	2,833
	（擂鉢）	(2)	(34)
	甕類	45	4,645
	壷類	9	80
	瓶類	111	3,385
	水注類		
	鍋類		
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類		
	蓋類		
	他		
	不明	14	13
	小計	270	11,292
炻器	皿類		
	鉢類	32	4,235
	（擂鉢）		
	甕類	8	855
	壷類		
	瓶類	4	180
	器台類		
	蓋類		
	不明		
	小計	44	5,270
土器	碗類		
	皿類	76	1,300
	鉢類	49	3,595
	（鉢形容器）		
	（焼塩壷）		
	（火鉢）	(47)	(3,140)
	（焜炉）	(2)	(455)
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類		
	（焙烙）		
	釜類		
	鐘類		
	箱類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類		
	蓋類		
	特殊類		
	不明	1	6
	小計	126	4,901
総計		1,543	34,218

第 63 表　主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（4）

＜ B2305 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量 (g)
磁器	碗類	261	2,102
	皿類	30	378
	鉢類	12	101
	壷類	2	81
	瓶類	17	234
	水注類	1	3
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	2	36
	特殊類		
	不明	8	5
	小計	333	2,940
陶器	碗類	204	3,301
	皿類	45	742
	鉢類	61	2,758
	（擂鉢）	(9)	(259)
	甕類	6	106
	壷類	1	64
	瓶類	38	551
	水注類	18	819
	鍋類	6	18
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	1	7
	蓋類	3	63
	他		
	不明	18	18
	小計	401	8,447
炻器	皿類	2	5
	鉢類	26	701
	（擂鉢）	(13)	(463)
	甕類	3	281
	壷類		
	瓶類	56	1,175
	器台類	5	298
	蓋類		
	不明		
	小計	92	2,460
土器	碗類		
	皿類	693	2,833
	鉢類	133	3,614
	（鉢形容器）	(5)	(29)
	（焼塩壷）	(6)	(429)
	（火鉢）	(99)	(2,601)
	（焜炉）	(23)	(555)
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類	338	4,684
	（焙烙）	(338)	(4,684)
	釜類		
	鐘類		
	箱類	27	5,795
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	1	6
	蓋類	2	70
	特殊類		
	不明	57	105
	小計	1,251	17,107
総計		2,077	30,954

＜ B2748 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量 (g)
磁器	碗類	205	2,448
	皿類	52	509
	鉢類	6	118
	壷類	3	72
	瓶類	6	72
	水注類	4	12
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	3	78
	特殊類		
	不明	7	15
	小計	286	3,324
陶器	碗類	123	1,220
	皿類	27	1,450
	鉢類	56	3,517
	（擂鉢）	(18)	(2,459)
	甕類	7	279
	壷類	4	97
	瓶類	26	593
	水注類	2	165
	鍋類		
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類		
	蓋類	1	19
	他		
	不明	2	7
	小計	248	7,347
炻器	皿類	6	141
	鉢類	10	378
	（擂鉢）	(8)	(355)
	甕類		
	壷類		
	瓶類	12	315
	器台類		
	蓋類		
	不明		
	小計	28	834
土器	碗類		
	皿類	285	1,626
	鉢類	96	3,681
	（鉢形容器）	(8)	(208)
	（焼塩壷）	(2)	(260)
	（火鉢）	(67)	(2,656)
	（焜炉）	(19)	(557)
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類		
	（焙烙）	48	1,057
	釜類		
	鐘類		
	箱類	1	584
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	5	601
	蓋類	2	72
	特殊類		
	不明	54	217
	小計	491	7,838
総計		1,053	19,343

＜ B2769 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量 (g)
磁器	碗類	253	3,097
	皿類	41	614
	鉢類	7	196
	壷類		
	瓶類	28	363
	水注類	4	33
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	14	272
	特殊類		
	不明	15	7
	小計	362	4,582
陶器	碗類	88	1,545
	皿類	25	793
	鉢類	90	6,720
	（擂鉢）	(31)	(2,901)
	甕類	5	220
	壷類	12	485
	瓶類	13	360
	水注類	2	468
	鍋類		
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類	1	71
	器台類	1	6
	蓋類	1	34
	他		
	不明	7	29
	小計	245	10,731
炻器	皿類	1	70
	鉢類	8	404
	（擂鉢）	(8)	(404)
	甕類	1	69
	壷類		
	瓶類		
	器台類	1	75
	蓋類		
	不明		
	小計	11	618
土器	碗類		
	皿類	91	1,121
	鉢類	12	1,430
	（鉢形容器）		
	（焼塩壷）		
	（火鉢）	(9)	(985)
	（焜炉）	(3)	(445)
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類		
	（焙烙）	26	825
	釜類		
	鐘類	1	25
	箱類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類		
	蓋類		
	特殊類		
	不明		
	小計	130	3,401
総計		748	19,332

第 64 表　主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（5）

＜ B2777 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	257	1,783
	皿類	40	512
	鉢類	10	102
	壷類		
	瓶類	21	286
	水注類	1	3
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	6	79
	特殊類		
	不明	2	1
	小計	337	2,766
陶器	碗類	251	2,372
	皿類	25	504
	鉢類	79	3,106
	（擂鉢）	(15)	(1,268)
	甕類	38	1,313
	壷類	8	107
	瓶類	55	1,130
	水注類	3	337
	鍋類		
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類		
	蓋類	1	41
	他		
	不明	13	57
	小計	473	8,967
炻器	皿類		
	鉢類	14	835
	（擂鉢）	(14)	(835)
	甕類	20	1,737
	壷類	3	38
	瓶類	43	996
	器台類		
	蓋類		
	不明	1	14
	小計	81	3,620
土器	碗類		
	皿類	1,437	3,708
	鉢類	105	4,635
	（鉢形容器）	(6)	(67)
	（焼塩壷）	(14)	(110)
	（火鉢）	(80)	(3,892)
	（焜炉）	(5)	(566)
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類	271	2,920
	（焙烙）	(271)	(2,920)
	釜類		
	鐘類	12	1,389
	箱類	22	3,470
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	9	169
	蓋類	32	1,740
	特殊類		
	不明	1,129	770
	小計	3,017	18,801
総計		3,908	34,154

＜ B2796 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	162	1,675
	皿類	55	760
	鉢類	5	57
	壷類	1	23
	瓶類	5	107
	水注類	1	9
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	4	45
	特殊類		
	不明	3	7
	小計	236	2,683
陶器	碗類	119	2,172
	皿類	33	479
	鉢類	87	4,050
	（擂鉢）	(20)	(1,130)
	甕類	3	146
	壷類	5	315
	瓶類	130	3,749
	水注類	10	544
	鍋類		
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	1	21
	蓋類	1	15
	他		
	不明	4	24
	小計	393	11,515
炻器	皿類		
	鉢類		
	（擂鉢）	3	149
	甕類	7	790
	壷類		
	瓶類	51	1,606
	器台類		
	蓋類		
	不明		
	小計	61	2,545
土器	碗類		
	皿類	258	863
	鉢類	129	4,135
	（鉢形容器）	(5)	(46)
	（焼塩壷）		
	（火鉢）	(123)	(4,024)
	（焜炉）	(1)	(65)
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類	132	1,859
	（焙烙）	(132)	(1,859)
	釜類		
	鐘類	5	310
	箱類		
	杓子類		
	秉燭類	5	115
	器台類	21	577
	蓋類	4	123
	特殊類		
	不明	156	453
	小計	710	8,435
総計		1,400	25,178

＜ B2843 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	270	3,561
	皿類	70	1,464
	鉢類	16	189
	壷類	2	62
	瓶類	22	407
	水注類	2	61
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	4	76
	特殊類		
	不明	7	3
	小計	393	5,823
陶器	碗類	177	2,120
	皿類	28	506
	鉢類	119	6,201
	（擂鉢）	(39)	(3,889)
	甕類	16	378
	壷類	17	419
	瓶類	42	843
	水注類	6	76
	鍋類		
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類		
	蓋類	3	135
	他		
	不明	15	157
	小計	423	10,835
炻器	皿類	4	116
	鉢類	35	4,105
	（擂鉢）	(31)	(4,032)
	甕類	4	507
	壷類		
	瓶類	18	624
	器台類	2	29
	蓋類		
	不明		
	小計	63	5,381
土器	碗類		
	皿類	1,715	8,982
	鉢類	129	6,671
	（鉢形容器）	(1)	(15)
	（焼塩壷）	(4)	(1,174)
	（火鉢）	(120)	(5,200)
	（焜炉）	(4)	(282)
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類	287	3,728
	（焙烙）	(287)	(3,728)
	釜類	4	510
	鐘類	2	100
	箱類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	5	82
	蓋類	8	232
	特殊類		
	不明	442	411
	小計	2,592	20,716
総計		3,471	42,755

第 65 表　主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（6）

＜ B2847 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	269	3,450
	皿類	25	561
	鉢類	12	220
	壷類		
	瓶類	9	190
	水注類	1	5
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	2	11
	特殊類		
	不明		
	小計	318	4,437
陶器	碗類	112	2,083
	皿類	31	1,410
	鉢類	64	3,004
	（擂鉢）	(36)	(2,037)
	甕類	4	86
	壷類	1	10
	瓶類	27	945
	水注類	1	8
	鍋類		
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類		
	蓋類	1	45
	他		
	不明	5	24
	小計	246	7,615
炻器	皿類	1	50
	鉢類	17	1,195
	（擂鉢）	(17)	(1,195)
	甕類	4	430
	壷類		
	瓶類	9	244
	器台類	2	70
	蓋類		
	不明		
	小計	33	1,989
土器	碗類		
	皿類	71	830
	鉢類	286	2,840
	（鉢形容器）	(268)	(1,325)
	（焼塩壷）	(13)	(1,030)
	（火鉢）	(3)	(280)
	（焜炉）	(2)	(205)
	壷類	33	1,510
	瓶類		
	水注類		
	鍋類		
	（焙烙）	31	1,475
	釜類	79	1,225
	鐘類	7	1,029
	箱類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類		
	蓋類	4	110
	特殊類		
	不明	84	215
	小計	595	9,234
総計		1,192	23,275

＜ B2849 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	109	1,425
	皿類	32	919
	鉢類	4	66
	壷類		
	瓶類	13	621
	水注類		
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	3	48
	特殊類		
	不明	6	2
	小計	167	3,081
陶器	碗類	108	2,443
	皿類	28	698
	鉢類	80	3,070
	（擂鉢）	(12)	(465)
	甕類	14	250
	壷類	9	604
	瓶類	99	5,315
	水注類	13	539
	鍋類	12	559
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	1	330
	蓋類	1	17
	他		
	不明	17	7
	小計	382	13,832
炻器	皿類		
	鉢類	34	3,275
	（擂鉢）	(34)	(3,275)
	甕類	5	670
	壷類		
	瓶類	3	24
	器台類		
	蓋類		
	不明		
	小計	42	3,969
土器	碗類	1	2
	皿類	215	990
	鉢類	54	4,907
	（鉢形容器）		
	（焼塩壷）	(1)	(375)
	（火鉢）	(52)	(4,505)
	（焜炉）	(1)	(27)
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類		
	（焙烙）	70	900
	釜類		
	鐘類	1	56
	箱類	3	380
	杓子類		
	秉燭類	2	24
	器台類	4	535
	蓋類	5	67
	特殊類		
	不明	63	210
	小計	418	8,071
総計		1,009	28,953

＜ B2952 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	179	2,823
	皿類	22	336
	鉢類	11	105
	壷類	4	105
	瓶類	18	612
	水注類	2	59
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	4	54
	特殊類		
	不明	4	3
	小計	244	4,097
陶器	碗類	99	1,809
	皿類	30	938
	鉢類	76	4,323
	（擂鉢）	(15)	(1,267)
	甕類	4	261
	壷類	6	112
	瓶類	46	1,825
	水注類		
	鍋類		
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類		
	蓋類	4	216
	他		
	不明	1	1
	小計	266	9,485
炻器	皿類		
	鉢類	23	1,431
	（擂鉢）	(23)	(1,431)
	甕類	11	537
	壷類		
	瓶類	11	742
	器台類		
	蓋類		
	不明		
	小計	45	2,710
土器	碗類		
	皿類	435	1,898
	鉢類	97	3,620
	（鉢形容器）	(6)	(69)
	（焼塩壷）	(1)	(290)
	（火鉢）	(90)	(3,261)
	（焜炉）		
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類		
	（焙烙）	233	2,706
	釜類		
	鐘類		
	箱類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	7	254
	蓋類	5	49
	特殊類		
	不明	489	575
	小計	1,266	9,102
総計		1,821	25,394

第 66 表　主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（7）

＜ B3025 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	55	1,030.7
	皿類	12	400
	鉢類	2	85
	壷類		
	瓶類	8	250
	水注類		
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	12	311.2
	特殊類		
	不明		
	小計	89	2,076.9
陶器	碗類	61	2,430
	皿類	25	1,885
	鉢類	18	1,870
	（擂鉢）	(5)	(240)
	甕類	1	390
	壷類		
	瓶類	159	10,375
	水注類	23	370
	鍋類	10	230
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	5	115
	蓋類	22	520
	他		
	不明	1	1
	小計	325	18,186
炻器	皿類		
	鉢類	13	1,290
	（擂鉢）	(9)	(1,025)
	甕類		
	壷類		
	瓶類		
	器台類	2	50
	蓋類		
	不明		
	小計	15	1,340
土器	碗類		
	皿類	73	873
	鉢類	47	3,085
	（鉢形容器）	(10)	(240)
	（焼塩壷）		
	（火鉢）	(33)	(2,665)
	（焜炉）	(4)	(180)
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類	9	230
	（焙烙）	(9)	(230)
	釜類		
	鐘類	1	190
	箱類		
	杓子類		
	秉燭類	1	5
	器台類	15	225
	蓋類	3	225
	特殊類		
	不明	14	5
	小計	163	4,838
総計		592	26,440.9

＜ B3223 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	338	3,118
	皿類	53	1,090
	鉢類	9	84
	壷類		
	瓶類	28	595
	水注類	1	3
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	6	66
	特殊類		
	不明	6	5
	小計	441	4,961
陶器	碗類		696
	皿類		747
	鉢類		5,193
	（擂鉢）		(3,033)
	甕類		999
	壷類		568
	瓶類		2,127
	水注類		604
	鍋類		
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類		124
	蓋類		181
	他		
	不明		31.4
	小計		11,270.4
炻器	皿類	2	80
	鉢類	20	1,951
	（擂鉢）	(20)	(1,951)
	甕類	11	420
	壷類		
	瓶類	21	839
	器台類	3	124
	蓋類		
	不明		
	小計	57	3,414
土器	碗類		
	皿類	486	2,070
	鉢類	36	4,341
	（鉢形容器）	(11)	(116)
	（焼塩壷）	(1)	(380)
	（火鉢）	(24)	(3,845)
	（焜炉）		
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類	77	2,807
	（焙烙）	(77)	(2,807)
	釜類		
	鐘類	1	135
	箱類	1	182
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	2	173
	蓋類		
	特殊類		
	不明	2	5
	小計	605	9713
総計		1103	29358.4

＜ B5082 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	264	3,725
	皿類	110	2,920
	鉢類	9	79
	壷類		
	瓶類	24	655
	水注類	2	12
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	16	228
	特殊類		
	不明	10	4
	小計	435	7,623
陶器	碗類	399	5,784
	皿類	82	3,750
	鉢類	201	8,298
	（擂鉢）	(19)	(975)
	甕類	70	11,657.5
	壷類	37	1,700
	瓶類	666	43,364
	水注類	237	3,975
	鍋類	131	3,470
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	6	519
	蓋類	1	2
	他		
	不明	42	34
	小計	1,872	82,553.5
炻器	皿類	5	49
	鉢類	77	17,895
	（擂鉢）	(71)	(17,625)
	甕類		
	壷類		
	瓶類	28	1,090
	器台類		
	蓋類	1	10
	不明		
	小計	111	19,044
土器	碗類		
	皿類	867	4,553
	鉢類	560	22,545.7
	（鉢形容器）	(39)	(846)
	（焼塩壷）	(130)	(2,445.7)
	（火鉢）	(346)	(16,695)
	（焜炉）	(45)	(2,559)
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類	239	3,282
	（焙烙）	(239)	(3,282)
	釜類		
	鐘類		
	箱類		
	杓子類		
	秉燭類	2	32
	器台類	126	1,885
	蓋類	69	2,129
	特殊類		
	不明	90	182
	小計	1,953	34,608.7
総計		4,371	143,829.2

第 67 表　主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（8）

＜ B5086 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	2,690	29,575
	皿類	751	17,834.6
	鉢類	252	6,018.5
	壷類	9	563
	瓶類	234	3,705.4
	水注類	8	169
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	81	1,717
	特殊類	1	96.4
	不明	700	923
	小計	4,726	60,601.9
陶器	碗類	2,375	32,993.2
	皿類	802	19,004.2
	鉢類	1,168	50,379.1
	（擂鉢）	(493)	(27,029)
	甕類	88	6,220
	壷類	260	6,161
	瓶類	670	21,363.6
	水注類	28	605.4
	鍋類	6	32
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類	1	100
	器台類	8	234.3
	蓋類	51	1,760.3
	他		
	不明	545	879.5
	小計	6,002	139,732.6
炻器	皿類	1	11
	鉢類	1,249	37,911.5
	（擂鉢）	(1,241)	(37,785)
	甕類	18	2,986.3
	壷類	6	157
	瓶類	57	1,999
	器台類		
	蓋類		
	不明	2	9
	小計	1,333	43,073.8
土器	碗類		
	皿類	35,533	150,472.3
	鉢類	1,827	64,783.8
	（鉢形容器）	(19)	(668)
	（焼塩壷）	(115)	(10,295.7)
	（火鉢）	(1,674)	(51,937)
	（焜炉）	(19)	(1,883.1)
	壷類	137	3,525
	瓶類		
	水注類		
	鍋類		
	（焙烙）	3,028	39,532.3
	釜類		
	鐘類	22	3,091.9
	箱類	13	1,155
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	130	4,390.3
	蓋類	115	4,558.1
	特殊類		
	不明	9,891	11,142.7
	小計	50,696	282,651.4
総計		62,757	526,059.7

＜ C111 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	74	1,325
	皿類	49	1,407
	鉢類	12	166
	壷類		
	瓶類	4	73
	水注類	2	20
	杓子類		
	器台類		
	蓋類		
	特殊類		
	不明	1	10
	小計	142	3,001
陶器	碗類	389	8,259
	皿類	67	1,686
	鉢類	351	12,751.3
	（擂鉢）	(53)	(3,396)
	甕類	37	1,480
	壷類	4	144
	瓶類	1,137	47,171
	水注類	136	3,077
	鍋類	8	360
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類	2	102
	器台類	7	192
	蓋類	46	1,093
	他		
	不明		
	小計	2,184	76,315.3
炻器	皿類		
	鉢類	2	49
	（擂鉢）	(2)	(49)
	甕類		
	壷類		
	瓶類	62	2,137
	器台類		
	蓋類		
	不明		
	小計	64	2,186
土器	碗類		
	皿類	280	1,562
	鉢類	295	16,830
	（鉢形容器）	(21)	(1,889)
	（焼塩壷）	(1)	(6)
	（火鉢）	(254)	(13,140)
	（焜炉）	(19)	(1,795)
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類	329	4,988
	（焙烙）	(329)	(4,988)
	釜類		
	鐘類		
	箱類		
	杓子類	6	388
	秉燭類	1	13
	器台類	17	323
	蓋類	61	3,135
	特殊類		
	不明		
	小計	989	27,239
総計		3,379	108,741.3

＜ C140 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	154	1,746
	皿類	33	2,136
	鉢類	9	153
	壷類		
	瓶類	29	659
	水注類		
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	7	601
	特殊類		
	不明	1	6
	小計	233	5,301
陶器	碗類	727	17,116
	皿類	334	9,556
	鉢類	382	17,675
	（擂鉢）	(151)	(6,838)
	甕類	89	3,624
	壷類	23	1,744
	瓶類	853	32,841
	水注類	46	3,311
	鍋類	3	34
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類	2	66
	器台類	19	1,015
	蓋類	14	475
	他	2	305
	不明	4	329
	小計	2,498	88,091
炻器	皿類		
	鉢類	46	6,495
	（擂鉢）	(46)	(6,495)
	甕類	1	31
	壷類		
	瓶類	40	3,613
	器台類		
	蓋類		
	不明		
	小計	87	10,139
土器	碗類		
	皿類	788	4,193
	鉢類	644	15,949.4
	（鉢形容器）	(33)	(1,470)
	（焼塩壷）	(244)	(410.4)
	（火鉢）	(363)	(13,667)
	（焜炉）	(4)	(402)
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類	198	3,249
	（焙烙）	(198)	(3,249)
	釜類		
	鐘類		
	箱類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	28	905
	蓋類	59	2,534
	特殊類		
	不明	1	6
	小計	1,718	26,836.4
総計		4,536	130,367.4

第 68 表　主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（9）

＜C244 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	685	13,959
	皿類	130	5,143.6
	鉢類	125	7,625
	壷類		
	瓶類	63	1,530
	水注類	2	15
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	111	2,570
	特殊類	1	40
	不明	57	328.3
	小計	1,174	31,210.9
陶器	碗類	351	10,669.1
	皿類	98	6,540
	鉢類	170	10,900
	（擂鉢）		
	甕類	233	23,560
	壷類	21	790
	瓶類	1,693	116,900.4
	水注類	573	13,461.68
	鍋類	128	2,700
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	14	735
	蓋類	73	3,390.7
	他		
	不明	76	100.5
	小計	3,430	189,747.38
炻器	皿類		
	鉢類	89	20,000
	（擂鉢）	(89)	(20,000)
	甕類	5	505
	壷類		
	瓶類	6	120
	器台類		
	蓋類		
	不明		
	小計	100	20,625
土器	碗類		
	皿類	653	5,717
	鉢類	1,021	39,084.7
	（鉢形容器）	(603)	(1,4772)
	（焼塩壷）	(131)	(3,877.7)
	（火鉢）	(287)	(20,435)
	（焜炉）		
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類	759	10,739
	（焙烙）	(759)	(10,739)
	釜類		
	鐘類		
	箱類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	120	4,005
	蓋類	137	7,099
	特殊類		
	不明	187	230.3
	小計	2,877	66,875
総計		7,581	308,458.28

＜C251 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	4,992	114,072.3
	皿類	941	13,695
	鉢類	586	9,574.8
	壷類	38	781
	瓶類	175	2,677
	水注類	10	171
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	441	6,311.2
	特殊類	10	126
	不明	591	399.2
	小計	7,784	147,807.5
陶器	碗類	3,133	53,194
	皿類	402	22,403.65
	鉢類	1,906	99,976
	（擂鉢）	(605)	(28,840)
	甕類	952	78,466
	壷類	81	3,856
	瓶類	14,559	612,609
	水注類	6,506	103,733.86
	鍋類	851	20,959
	釜類		
	杓子類	13	314
	秉燭類	1	44
	器台類	112	6,010
	蓋類	441	20,515
	他		
	不明	1,379	6,053.2
	小計	30,336	1,028,133.71
炻器	皿類		
	鉢類	360	84,295
	（擂鉢）	(360)	(84,295)
	甕類		
	壷類		
	瓶類	4	75
	器台類		
	蓋類		
	不明		
	小計	364	84,370
土器	碗類	3	80
	皿類	2,422	18,649
	鉢類	4,369	164,637.5
	（鉢形容器）	(2,724)	(78,103.9)
	（焼塩壷）	(322)	(7,488.6)
	（火鉢）	(1,323)	(79,045)
	（焜炉）		
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類	5,610	73,440
	（焙烙）	(5,610)	(73,440)
	釜類		
	鐘類	335	6,290
	箱類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	98	2,830
	蓋類	469	6,505
	特殊類	2	475
	不明	195	184.1
	小計	13,503	273,090.6
総計		51,987	1,533,401.81

＜C304 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	24	684
	皿類	2	63
	鉢類	6	112
	壷類		
	瓶類	3	85
	水注類		
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	1	82
	特殊類		
	不明		
	小計	36	1,026
陶器	碗類	36	1,187
	皿類	13	261
	鉢類	34	2,231
	（擂鉢）	(8)	(270)
	甕類	1	66
	壷類	1	62
	瓶類	39	3,610
	水注類		
	鍋類		
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類		
	蓋類		
	他		
	不明		
	小計	124	7,417
炻器	皿類		
	鉢類	9	1340
	（擂鉢）	(9)	(1,340)
	甕類		
	壷類		
	瓶類		
	器台類		
	蓋類		
	不明		
	小計	9	1,340
土器	碗類		
	皿類		
	鉢類	26	622.5
	（鉢形容器）	(2)	(14)
	（焼塩壷）	(11)	(258.5)
	（火鉢）	(13)	(350)
	（焜炉）		
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類	11	345
	（焙烙）	(11)	(345)
	釜類		
	鐘類	1	90
	箱類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	1	195
	蓋類	1	100
	特殊類		
	不明	1	5
	小計	41	1,357.5
総計		210	11,140.5

第 69 表　主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（10）

＜ C305 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	837	13,090
	皿類	249	6,352
	鉢類	117	3,555
	壷類		
	瓶類	46	1,518
	水注類	2	12
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	129	3,244
	特殊類		
	不明	224	890
	小計	1,604	28,661
陶器	碗類	1,007	15,608.5
	皿類	270	9,245.5
	鉢類	422	16,477
	（擂鉢）	(52)	(2,240)
	甕類	172	11,310
	壷類	8	1,061
	瓶類	1,874	68,976.5
	水注類	138	2,588
	鍋類	112	1,955
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	7	330
	蓋類	64	1,364
	他		
	不明	339	799
	小計	4,413	129,714.5
炻器	皿類	2	35
	鉢類	118	13,220
	（擂鉢）	(115)	(12,725)
	甕類	59	11,888
	壷類		
	瓶類	32	2,180
	器台類		
	蓋類		
	不明		
	小計	211	27,323
土器	碗類		
	皿類	636	3,716
	鉢類	423	19,738.3
	（鉢形容器）	(58)	(1,442)
	（焼塩壷）	(27)	(1,260.3)
	（火鉢）	(327)	(16,228)
	（焜炉）	(11)	(808)
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類	490	9,900.5
	（焙烙）	(490)	(9,900.5)
	釜類		
	鐘類		
	箱類		
	杓子類	1	150
	秉燭類	2	27
	器台類	33	1,033
	蓋類	65	4,075
	特殊類		
	不明	7	233
	小計	1,657	38,872.8
総計		7,885	224,571.3

＜ C375 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	244	5,720.7
	皿類	112	2,498.2
	鉢類	84	2,839
	壷類	11	156
	瓶類	59	624
	水注類	6	32
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	33	352
	特殊類		
	不明	29	29
	小計	578	12,250.9
陶器	碗類	123	1,713
	皿類	53	2,500
	鉢類	183	16,153
	（擂鉢）	(21)	(2,428)
	甕類	65	5,074
	壷類	9	294
	瓶類	144	12,402
	水注類	216	4,554
	鍋類	37	1,084
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	12	287
	蓋類	34	941
	他		
	不明	60	67
	小計	936	45,069
炻器	皿類		
	鉢類	26	3,422
	（擂鉢）	(26)	(3,422)
	甕類	4	1,846
	壷類		
	瓶類	6	173
	器台類		
	蓋類		
	不明		
	小計	36	5,441
土器	碗類		
	皿類	49	955
	鉢類	208	11,580
	（鉢形容器）	(31)	(346)
	（焼塩壷）	(7)	(89)
	（火鉢）	(156)	(10,025)
	（焜炉）	(14)	(1,120)
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類	82	1,240
	（焙烙）	(82)	(1,240)
	釜類		
	鐘類		
	箱類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	16	382
	蓋類	28	971
	特殊類		
	不明	36	35
	小計	419	15,163
総計		1,969	77,923.9

＜ C511 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	48	1,438
	皿類	28	1,331
	鉢類	29	732
	壷類		
	瓶類	14	272
	水注類	12	176.4
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	4	19
	特殊類		
	不明		
	小計	135	3,968.4
陶器	碗類	250	5,762
	皿類	92	3,666
	鉢類	166	18,783
	（擂鉢）	(60)	(8,564)
	甕類	23	1,334
	壷類	4	913
	瓶類	211	16,135
	水注類	94	2,356
	鍋類	17	382
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	8	577
	蓋類	27	1,071
	他		
	不明		
	小計	892	50,979
炻器	皿類		
	鉢類	10	954
	（擂鉢）	(8)	(894)
	甕類	4	336
	壷類		
	瓶類	28	746
	器台類		
	蓋類		
	不明		
	小計	42	2,036
土器	碗類		
	皿類	286	2,872
	鉢類	88	10,475
	（鉢形容器）	(14)	(280)
	（焼塩壷）	(3)	(572)
	（火鉢）	(68)	(9,520)
	（焜炉）	(3)	(103)
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類	449	8,673
	（焙烙）	(449)	(8,673)
	釜類		
	鐘類		
	箱類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類		
	蓋類	13	1,302
	特殊類		
	不明		
	小計	836	23,322
総計		1,905	80,305.4

第 70 表　主要遺構出土の陶磁器・土器集計表（11）

＜ C536 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	7,379	18,741.8
	皿類	1,293	44,549.5
	鉢類	1,183	33,273.1
	壷類	5	196.07
	瓶類	367	41,128.4
	水注類	96	2,195.8
	杓子類		
	器台類	1	125
	蓋類	870	18,116.2
	特殊類		
	不明	783	1,047.4
	小計	11,977	159,373.3
陶器	碗類	3,101	73,545.8
	皿類	1,131	61,566.8
	鉢類	2,664	151,637.3
	（擂鉢）	(52)	(2,625)
	甕類	735	67,127.4
	壷類	684	26,530
	瓶類	14,072	636,926.6
	水注類	1,018	17,440.3
	鍋類	462	9,535
	釜類	6	825
	杓子類	112	3,125.1
	秉燭類		
	器台類	127	5,150.9
	蓋類	477	15,249.4
	他		
	不明	1,113	1,700.1
	小計	25,702	1,070,359.6
炻器	皿類	7	67.2
	鉢類	616	126,605
	（擂鉢）	(613)	(126,560)
	甕類	50	6,400
	壷類		
	瓶類	36	1,308.9
	器台類		
	蓋類	1	105
	不明	38	25.1
	小計	748	134,511.2
土器	碗類		
	皿類	1,311	9,873
	鉢類	3,636	140670.1
	（鉢形容器）	(1,442)	(24,904.8)
	（焼塩壷）	(315)	(7,493)
	（火鉢）	(1,879)	(108,272.3)
	（焜炉）		
	壷類		
	瓶類		
	水注類	23	257
	鍋類		
	（焙烙）	1,918	36,617.5
	釜類		
	鐘類		
	箱類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	344	11,191
	蓋類	799	36,284.2
	特殊類		
	不明	889	1,330
	小計	8,920	236,222.9
総計		47,347	1,600,466.9

＜ C539 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	319	5,018.8
	皿類	55	1,083
	鉢類	44	749
	壷類	1	88
	瓶類	43	596
	水注類		
	杓子類	6	36
	器台類		
	蓋類	37	745
	特殊類		
	不明		
	小計	505	8,315.8
陶器	碗類	554	11,511
	皿類	105	2,320
	鉢類	222	9,595
	（擂鉢）	(55)	(4,181)
	甕類	88	4,435
	壷類	11	324
	瓶類	1,200	48,074
	水注類	107	2,816
	鍋類	29	763
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類		
	蓋類	46	944
	他		
	不明		
	小計	2,362	80,782
炻器	皿類		
	鉢類	38	3,318
	（擂鉢）	(38)	(3,318)
	甕類	18	1,406
	壷類		
	瓶類	9	201
	器台類		
	蓋類		
	不明		
	小計	65	4,925
土器	碗類		
	皿類	90	606
	鉢類	183	7,981
	（鉢形容器）	(35)	(475)
	（焼塩壷）	(12)	(235)
	（火鉢）	(116)	(6,318)
	（焜炉）	(20)	(953)
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類	110	1,900
	（焙烙）	(110)	(1,900)
	釜類	3	54
	鐘類	1	79
	箱類		
	杓子類		
	秉燭類	2	34
	器台類	8	100
	蓋類	18	673
	特殊類		
	不明		
	小計	415	11,427
総計		3,347	105,449.8

＜ C622 号＞

材質	種類（器種）	数量（点）	重量（g）
磁器	碗類	234	4,906
	皿類	39	1,130
	鉢類	31	1,873
	壷類	3	242
	瓶類	13	880
	水注類		
	杓子類		
	器台類		
	蓋類	25	586
	特殊類		
	不明		
	小計	345	9,617
陶器	碗類	138	3,995
	皿類	36	4,349
	鉢類	88	8,774
	（擂鉢）	(8)	(467)
	甕類	70	6,900
	壷類	32	1,798
	瓶類	200	12,439
	水注類	90	2,288
	鍋類	56	1,194
	釜類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	7	168
	蓋類	8	122
	他		
	不明		
	小計	725	42,027
炻器	皿類	4	31
	鉢類	33	8,409
	（擂鉢）	(33)	(8,409)
	甕類	5	260
	壷類		
	瓶類	10	488
	器台類	2	121
	蓋類		
	不明		
	小計	54	9,309
土器	碗類		
	皿類	135	1,684
	鉢類	120	8,665
	（鉢形容器）	(3)	(159)
	（焼塩壷）	(13)	(771)
	（火鉢）	(100)	(7,425)
	（焜炉）	(4)	(310)
	壷類		
	瓶類		
	水注類		
	鍋類	121	2,888
	（焙烙）	(121)	(2,888)
	釜類		
	鐘類		
	箱類		
	杓子類		
	秉燭類		
	器台類	8	261
	蓋類	30	3,141
	特殊類		
	不明		
	小計	414	16,639
総計		1,538	77,592

（２）瓦（第 205 ～ 225 図、第 71 ～ 74 表）

市谷邸の調査において出土した瓦については、既往の調査において時期ごとの特徴がまとめられており（「尾張藩上屋敷跡Ⅰ～Ⅷ」）、使用される瓦の種類や規格についても詳細な検討がなされている。本調査においては極めて多量の瓦が出土しており、本報告では、丸瓦、平瓦、軒丸瓦、軒平瓦、鬼瓦、道具瓦などの別に加え、瓦当文様の違いや大きさなどについて、可能な限り多くの例を図示した。よって出土した瓦は遺構ごとにまとめ実測図を掲載したが、個々の遺構の出土傾向を捉えきれていない面もある。なお、瓦当文様の分類に当たっては金子智氏による基準（金子 1994、1996）及び内野正氏による分類（内野 2002）に基づいた。

出土した瓦の瓦当文様は A 種及び B 種が大半を占めるが、B 種や D 種も少量ながら含まれる。なお、A 種の中には、中心飾りの脇が Y 字状を呈するなど B 種の影響をうかがわせるものもあり、こういった例は C 種においても僅かながらみられ、19 世紀初め頃以降を帰属時期とする遺構から出土している例が多い。これらは A 種と B 種の折衷式とされる（金子 1996）ものであるとみられ、文様構成としては B 種に通じる部分が多い。

C 区においては、C106 号、C476 号など他の遺物に比べ多量の瓦を覆土に含む遺構がいくつか検出された。このうち C476 号では覆土のほとんどが焼土で占められていたことから、火災後の片付けに伴うものと判断されたが、B948 号における棟込瓦の出土や、C140 号における面戸瓦の出土など、それほど多数の遺構で出土していないような特定の種類の瓦がまとまって出土する例も見受けられる。廃棄に伴うものと考えられるが、瓦は什器や食物残滓などと異なり日常的にゴミとして廃棄されるようなものでは無いため、建物の解体や修繕などに伴う一括廃棄が推定される。また、本瓦葺きに使用された丸瓦、平瓦は被熱しているものが割合的に多くを占める。以下、遺構ごとに出土した瓦の主要な特徴を記す。

B275 号（第 205 図 1 ～ 6）

A 種（江戸式）、C 種（東海式）の瓦当文様をもつ瓦が大半を占めるが、B 種（大阪式）の軒桟瓦も出土している。文様はボールド体とも言える肉太な表現で、中心飾りは脇に Y 字形をなす文様を配し、唐草文様を含め A 種の表現に近似する。A 種は中心飾り、唐草、子葉とも肉太に表現されるものがほとんどである。C 種は ⅲ 類、ⅳ 類に分類される文様を持つものが出土している。

B476 号（第 205 図 7）

文様を確認できるものは出土していないが、桟瓦で 9 寸の規格のものが出土している。

B479 号（第 206 図 1）

瓦の出土数量は少ない。1 は A 種の瓦当文様を持つ軒桟瓦である。中心飾り、子葉とも肉太に表現される。

B500 号（第 206 図 2）

図示したものは瓦当文様が A 種で規格が 9 寸の軒桟瓦である。中心飾りはやや小さいが単線で表現される。

B502 号（第 206 図 3）

藤の文様を持つ軒丸瓦が出土している。接合部分が瓦当部分の上辺に当たることから、文様は上り藤を表現したものと推定される。

B588 号（第 206 図 4）

瓦の出土は少ないが、鬼瓦の一部と見られるものが出土している。

B597 号（第 206 図 5 ～ 7）

A 種の瓦当文様を持つ瓦の出土が多い。小片が多いが、本瓦葺きの瓦が若干含まれるようである。図示したものはいずれも中心飾りと子葉が二重線が用いられるが、やや肉太に表現され、中心飾りは大型となっている。

B677 号（第 207 図 1）

本瓦葺きに使用されたと見られる丸瓦が出土している。胴部長は 8 寸を測り、玉縁部分の長さは 36㎜と長く作られる。また、内面にはコビキ痕及び布目痕が確認できる。本調査では多量の瓦が出土しており、丸瓦も相当数含まれるが、全体の形状等が把握できるものは極めて少ない。

B691 号（第 207 図 2）

小片であるが B 種の瓦当文様を持つ軒瓦が出土している。

B808 号（第 207 図 3 ～ 6）

菊丸瓦、A 種の瓦当文様を持つ軒瓦が出土が出土している。二重線で表現されるものがあり、単線のものには中心飾りが比較的小さいものが見られる。4 は菊丸文様を持血、菊丸瓦或いは軒桟瓦の一部と推定されるものの詳細は不明である。

B889 号（第 207 図 7）

出土した瓦には、完形に近い状態を残すものがあり、図示した平瓦は 9 寸の規格に相当すると考えられる。

B948 号（第 208 図 1 ～ 5）

1 ～ 5 は菊丸瓦と同様の棟込瓦とみられ、巴文及び珠文を持つ。本遺構で出土したものは瓦当径に僅かな違いが見られるものの、概ね 2.5 ～ 3 寸程度である。棟込瓦は本調査において複数の遺構で出土しているが、本遺構例の様にまとまって出土する例が見られ、これには解体等に伴う廃棄が想定される。

B1148 号（第 209 図 1・2）

1 は軒丸瓦である。全長が不明であるが、幅は 3 寸近く本調査で出土した丸瓦の中では比較的大きく、9 寸～ 1 尺程度の規格に相当する可能性がある。被熱の痕跡が顕著で、内面には多量のタールが付着している。2 は A 種の瓦当文様を持つ軒瓦である。

B1401 号（第 209 図 3）

3 は軒丸瓦で、全長は約 8 寸を測る。瓦当部分が胴部に対し僅かに鈍角に付けられる。

B1435 号（第 209 図 4 ～ 8）

C 種の瓦当文様を持つ軒桟瓦が多く出土している。文様は C- ⅲ、ⅳ類があり、幅は 9 寸を図るものがある。「江戸作」「丸に一」の刻印を有するものがみられる。

B1963 号（第 210 図 1）

1 は A 種の瓦当文様を持つ軒桟瓦である。文様はやや肉太に表現され、幅は 9 寸を測る。

B2290 号（第 210 図 2）

瓦の出土量は多くないが、右巴 16 珠の文様を施す軒丸瓦が出土している。全長は不明であるが、

瓦当径は比較的大きく、被熱の痕跡が観察される。

B2843 号（第 210 図 3）

3 は軒丸瓦で、左巴 15 珠の文様を施す。被熱の痕跡が顕著である。外面はヘラ調整を施し、全長は不明であるが、瓦当径は大きく 9 寸～ 1 尺程度の規格に相当する可能性がある。

B3025 号（第 210 図 3 ～ 9、第 211 図 1 ～ 5）

本遺構は溝上の石組遺構で、底面に敷かれた石材上に堆積した覆土には多量の瓦が含まれていた。瓦当文様には A、B 種があり、A 種は中心飾りを大きく作り、子葉を肉太に表現するもの（第 211 図 1）や、二重線で表現するもの（第 210 図 8）などがある。第 210 図 6 は A 種の範疇に含まれるものであるが、中心飾りの脇が Y 字状に近い形に表現されるなど、B 種にみられる要素を含む。また、第 210 図 10 は C 種としたが、唐草には A 種に近い表現がみられ、中心飾りの中央も橘状を思わせる形状となっている。第 211 図 5 は鬼瓦である。B588 号で同様のもの（第 206 図 4）が一部分であるが出土している。

B3223 号（第 211 図 6）

瓦の出土数量は多くないが、D 種の軒平瓦が出土している。

B5082 号（第 212 図 1 ～ 3）

桟瓦が多量に出土しており、軒桟瓦の文様は A 種が大半を占める。B 種も含まれる（3）が、僅かである。

B5086 号（第 212 図 4 ～ 12）

4 は鬼瓦の瓦当部分とみられ、五葉葵文の一部である。6・7 は小片で本来の方向が不明であるが、唐草状の文様や縁辺部分の形状から、11、12 と関連する可能性も考慮して推定した。8 ～ 1 2 は沢瀉文を施す瓦である。

C105 号（第 213 図 1）

1 は瓦質であることから瓦に含めて図示した。一部分のみの出土で、形状から平面的には方形をなす四隅の一つである可能性がある。瓦としては種類、用途が不明であるが、方形屋根の露盤などに形状的には近いと考えられる。

C106 号（第 213 図 2 ～ 7）

滴水瓦（5）が出土しており、既往の調査では第 3 次御殿期にあたる遺構からの出土例に近い文様のものがある。7 は一部分であり瓦の種類は不明であるが、瓦当文様に六葉の葵文が表される。

C111 号（第 213 図 8・9）

本遺構で出土した瓦は小片が多く作図に耐え得るものは少ない。8 は D 種で二重線で中心飾りと唐草を表現する。

C150 号（第 214 図 2）

2 は本瓦葺きに使用された丸瓦で、A 種の瓦当文様を持つ軒平瓦である。瓦当部分は接合の詳細が不明であるが断面形状が台形で肉厚に作られ、平瓦の一辺の下面に瓦当部分を付けるものと考えられる。瓦当面上辺を面取りする。

C124 号（第 214 図 4・5）

4 は軒桟瓦で、全長、幅とも 1 尺近い。瓦当文様は C 種であるが、唐草はいずれも下向きに表現

され C- ⅰ類に相当するものである。瓦当面に「丸に上」の刻印を有する。5 は棟込瓦で、瓦当文様が菊文を表す菊丸瓦と呼ばれるものである。

C140 号（第 215 図）

多量の瓦が出土しており、種類は平瓦、丸瓦、軒平瓦、軒丸瓦のほか滴水瓦や面戸瓦がある。1・2・9 は D 種の瓦当文様を持つもので、本調査における出土は僅かである。3 は棟込瓦で六葉の葵文を表す。葵文を表すものは他に 11 があるが、小片であり詳細は不明である。5 は軒平瓦、軒桟瓦の別が不明であるが、瓦当文様は D- ⅱ類である。13 ～ 15 は面戸瓦である。

C251 号（第 216 図 2 ～ 5）

2 は A 種の瓦当文様を持つもので、軒桟瓦の一部であると考えられる。4 は軒桟瓦で、瓦当文様は C- ⅲ類に分類される。

C304 号（第 216 図 5 ～ 7）

6 は丸瓦で、全長は不明であるが幅は比較的広く作られ、9 寸あるいは 1 尺程度の規格である可能性がある。7 は軒丸瓦で、右巴 14 珠の文様を施すが、瓦当径は大きく 6 と同様のサイズであると推定される。

C305 号（第 217 図）

1 は丸瓦で、内面はコビキ痕及び棒状工具の痕跡が目立つ。2 は瓦当文様が D- ⅱ類の軒平瓦である。3 は瓦当文様が C- ⅱ類であるが、小片のため詳細は不明である。4 は小片で詳細が不明であるが、瓦当文様は D- ⅰ類に相当する。5 は瓦質であることから、瓦に含めて図示した。断面形状が蒲鉾状の凸面を呈する表面に鱗状の文様を施し、僅かな部分のみの出土ではあるが蛇がとぐろを巻いたような形状に作る。本来の形は不明であるが、宇賀神を象ったものなどが挙げられる。7 は A 種の瓦で、中心飾り及び唐草、子葉は二重線で表現される。8 は面戸瓦である。

C473 号（第 218 図 1・2）

1 は丸瓦である。全長は約 8 寸を測る。2 は D- ⅰ類の瓦当文様を持つ軒桟瓦で、隅瓦として使用されたと考えられる。

C476 号（第 218 図 3 ～ 5、第 219 図 1・2）

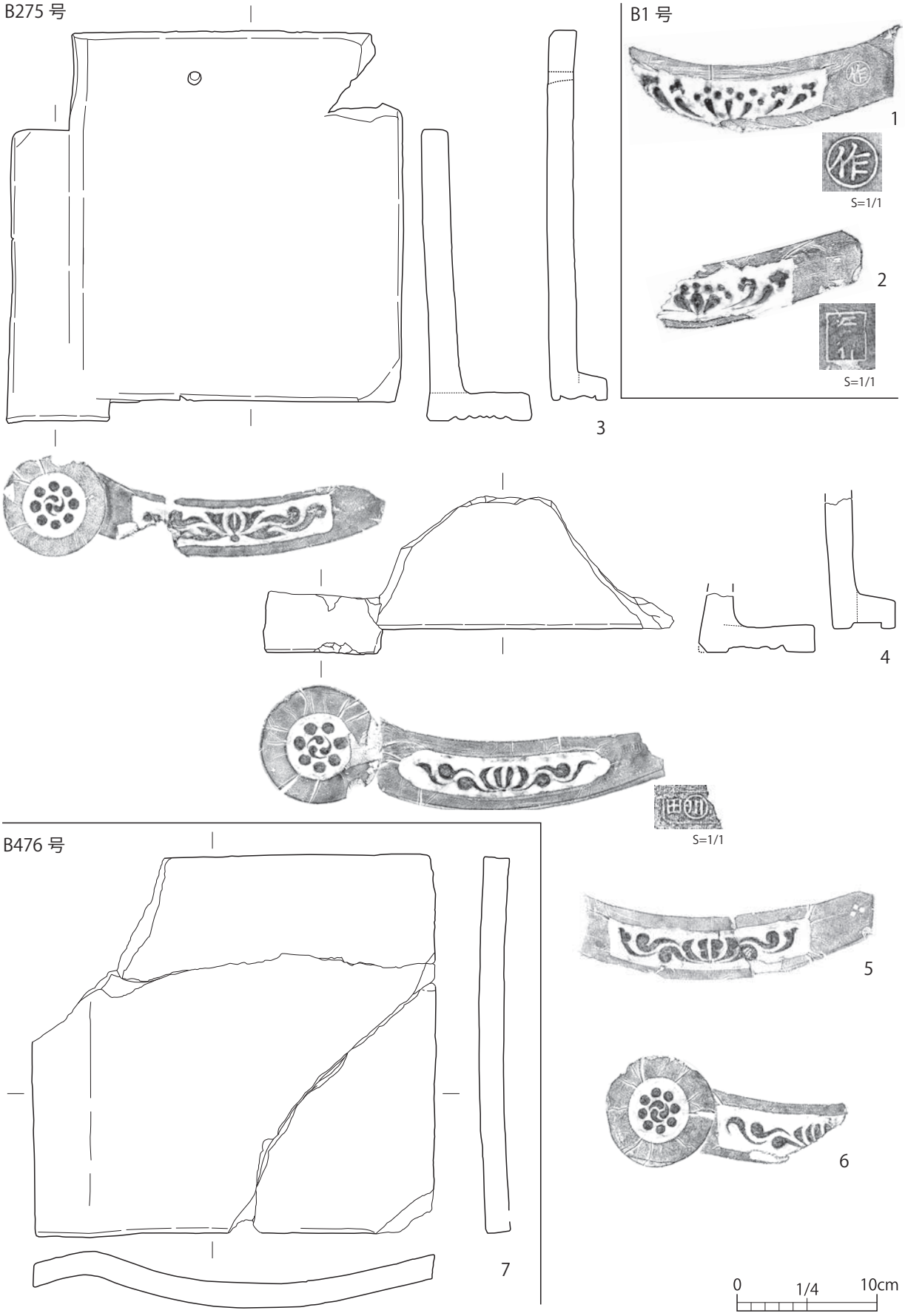
第 218 図 3 ～ 5 はいずれも軒丸瓦である。このうち 3 は被熱が顕著に認められる。第 219 図 1 は一部分のみの出土であるが、C 種の瓦当文様を持つ袖瓦であると考えられる。

C536 号（第 220 図、第 221 図 1 ～ 7）

第 220 図 1 は丸瓦である。玉縁部分は比較的長く作られるが、8 寸の規格に相当するものと考えられる。2 は軒平瓦、軒桟瓦の別は不明であるが、D 種の瓦当文様を施す。3 の瓦当文様は B 種であるが、小片のため詳細は不明である。4 は中心飾りを比較的小さく表現する B 種の瓦当文様を施す。6 は三葉葵文を表したもので、鬼瓦などの一部分であるとみられるが、詳細は不明である。7 は軒平瓦で、隅瓦として使用されたものと考えられる。第 221 図 1 ～ 7 はいずれも軒桟瓦であるが、4・5 は A 種、それ以外は C 種である。本遺構では陶磁器、土器、木製品、金属製品に加えて瓦も多量に出土しており、多くが C 種の瓦当文様を有する。

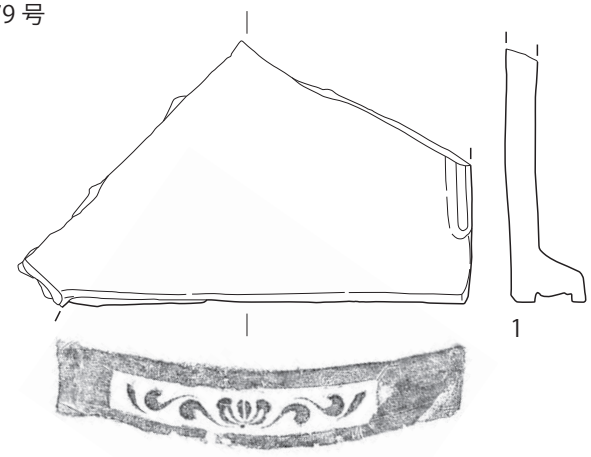
C598 号（第 221 図 8 ～ 13）

8 ～ 13 は軒桟瓦である。いずれも比較的中心飾りが小さく表現され、唐草や子葉が単線であって

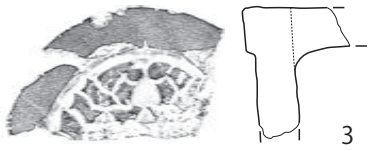


第 205 図　瓦（1）（1/4）

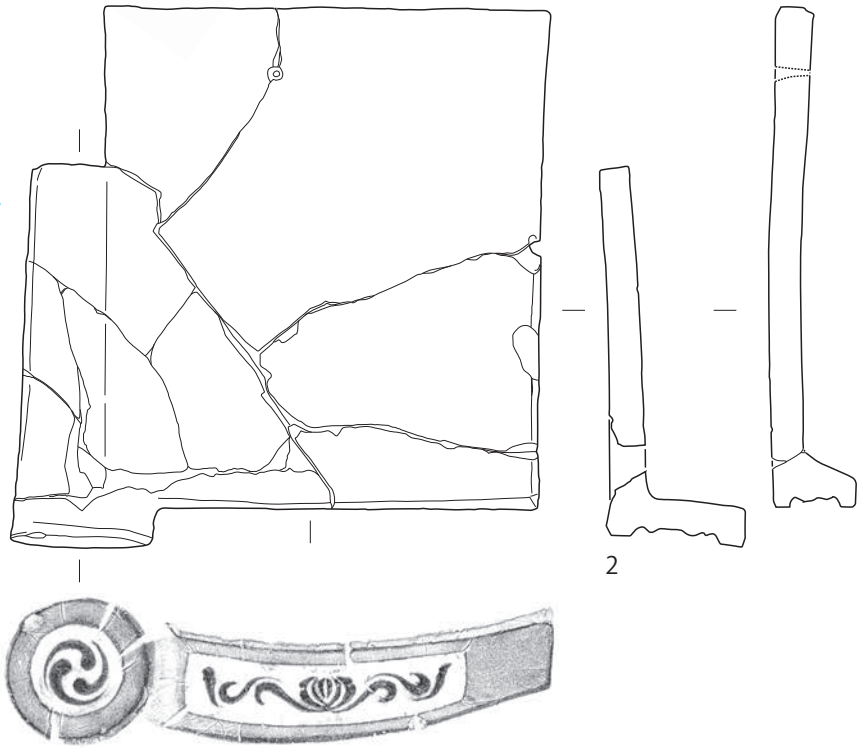
B479 号



B502 号

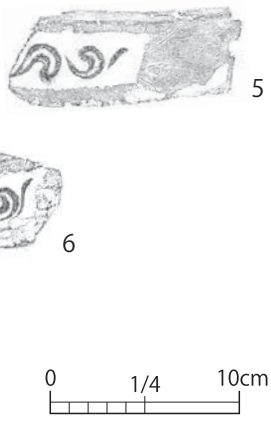


B500 号



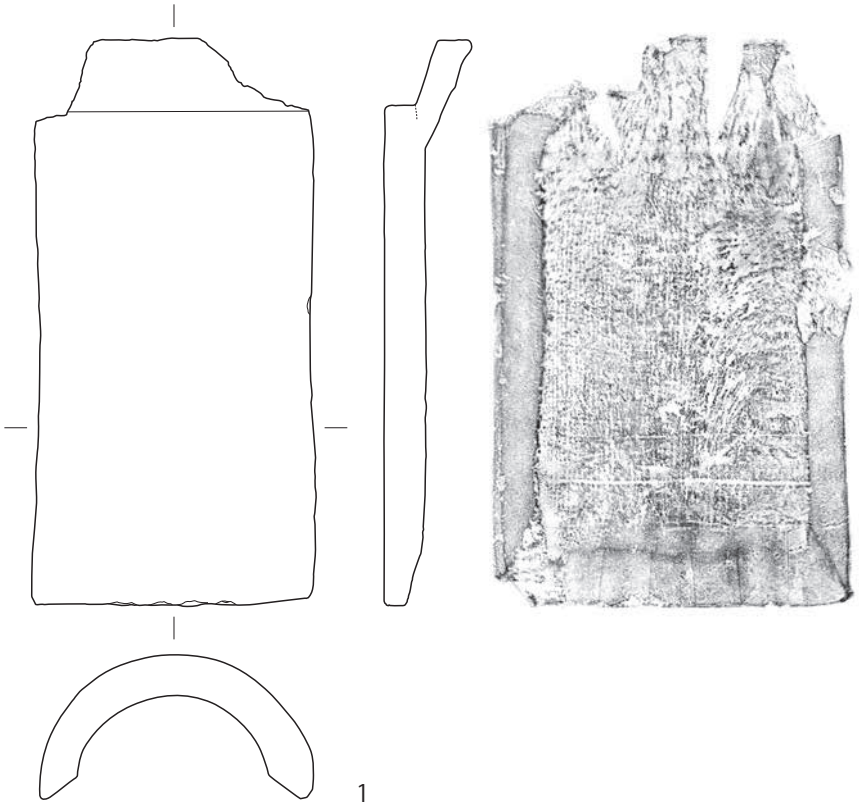
B588 号

B597 号



第 206 図　瓦（2）（1/4）

B677 号

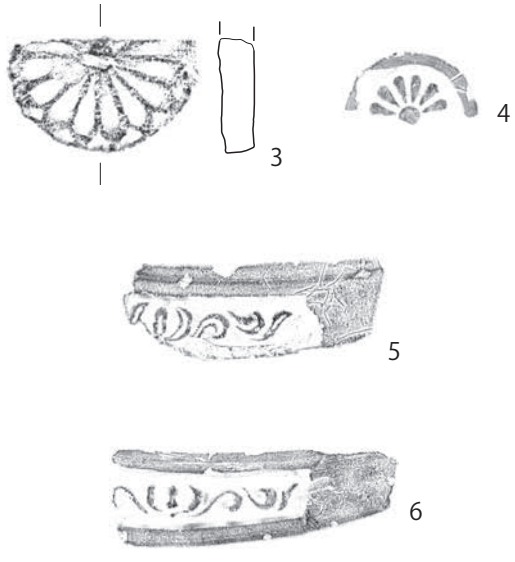


1

B691 号

2

B808 号新段階



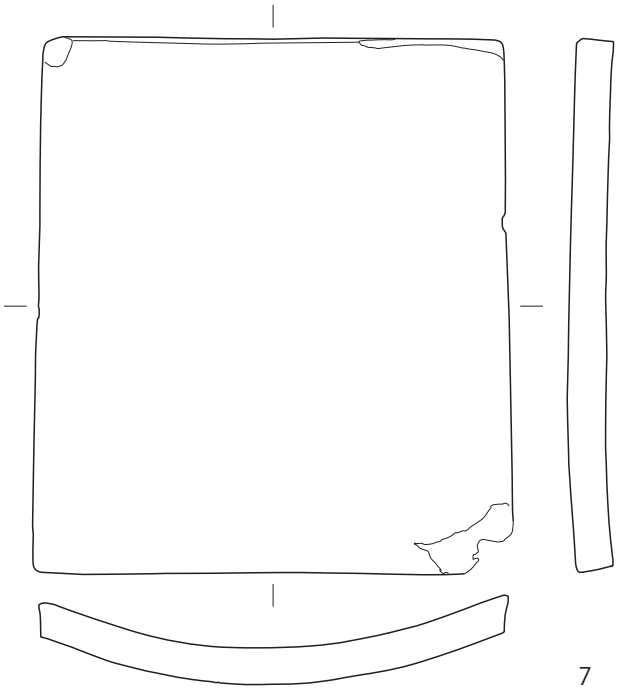
3

4

5

6

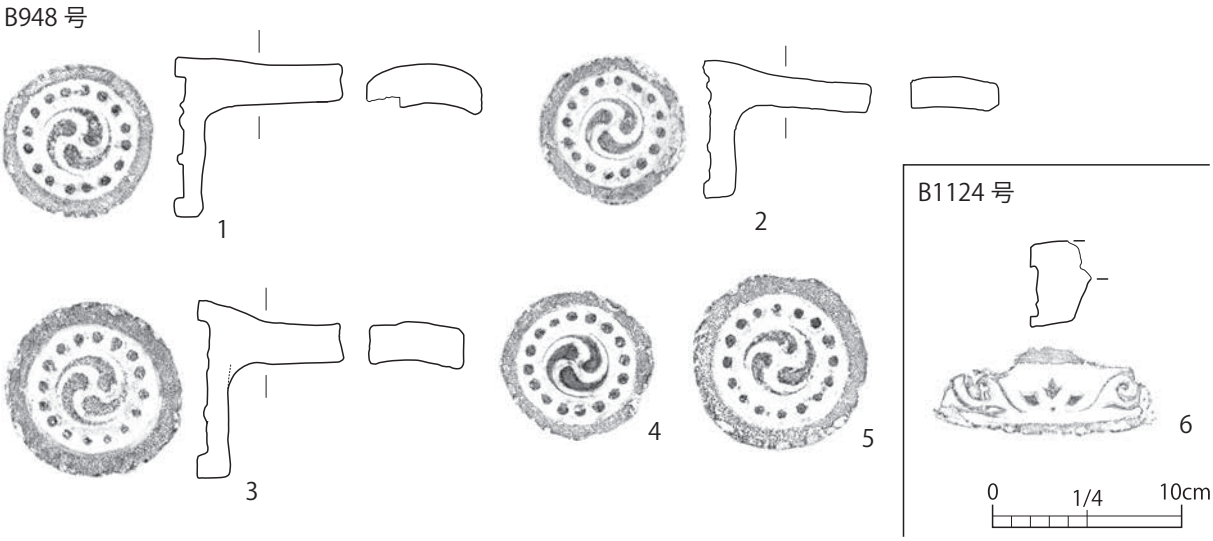
B889 号



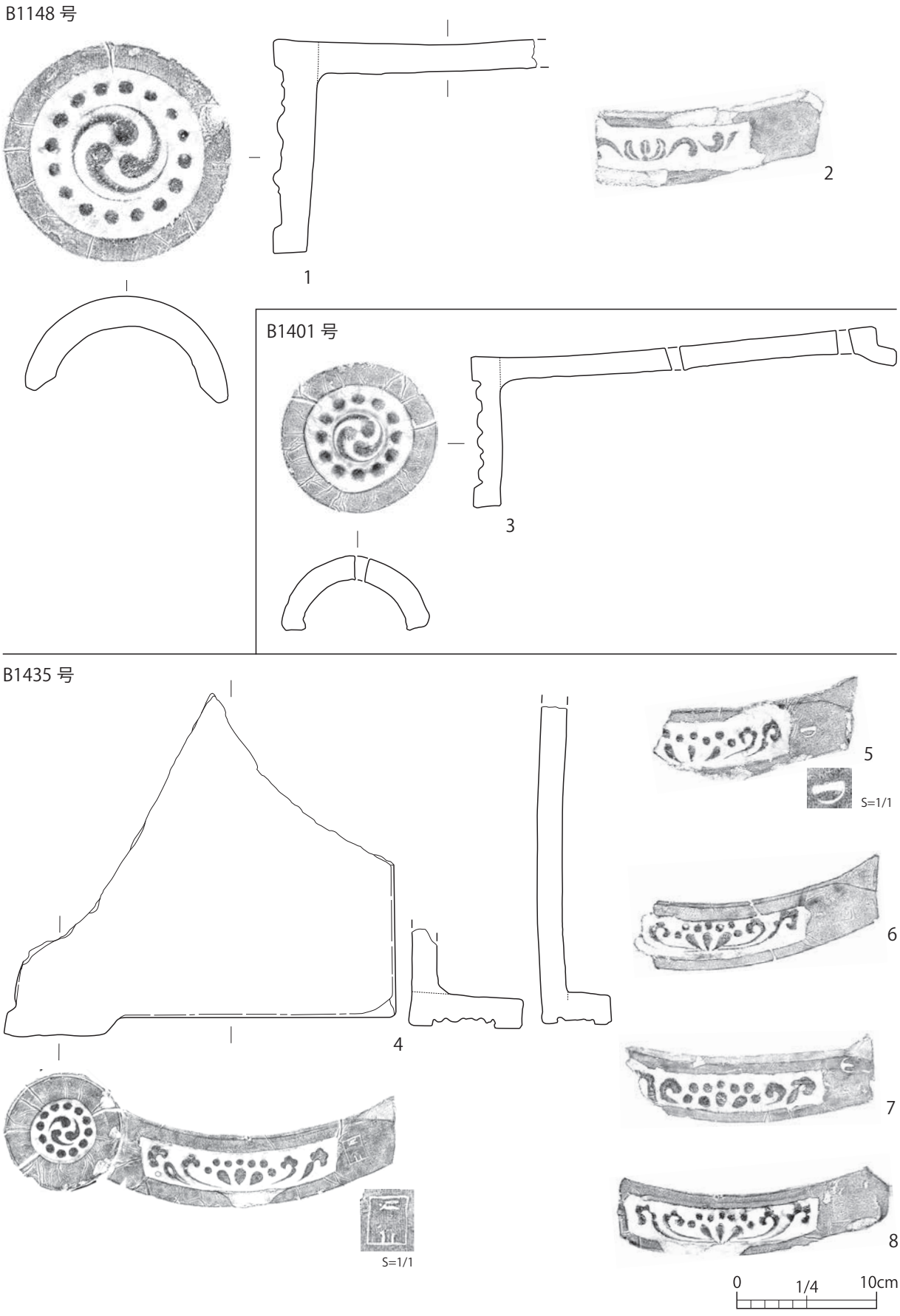
7

0 1/4 10cm

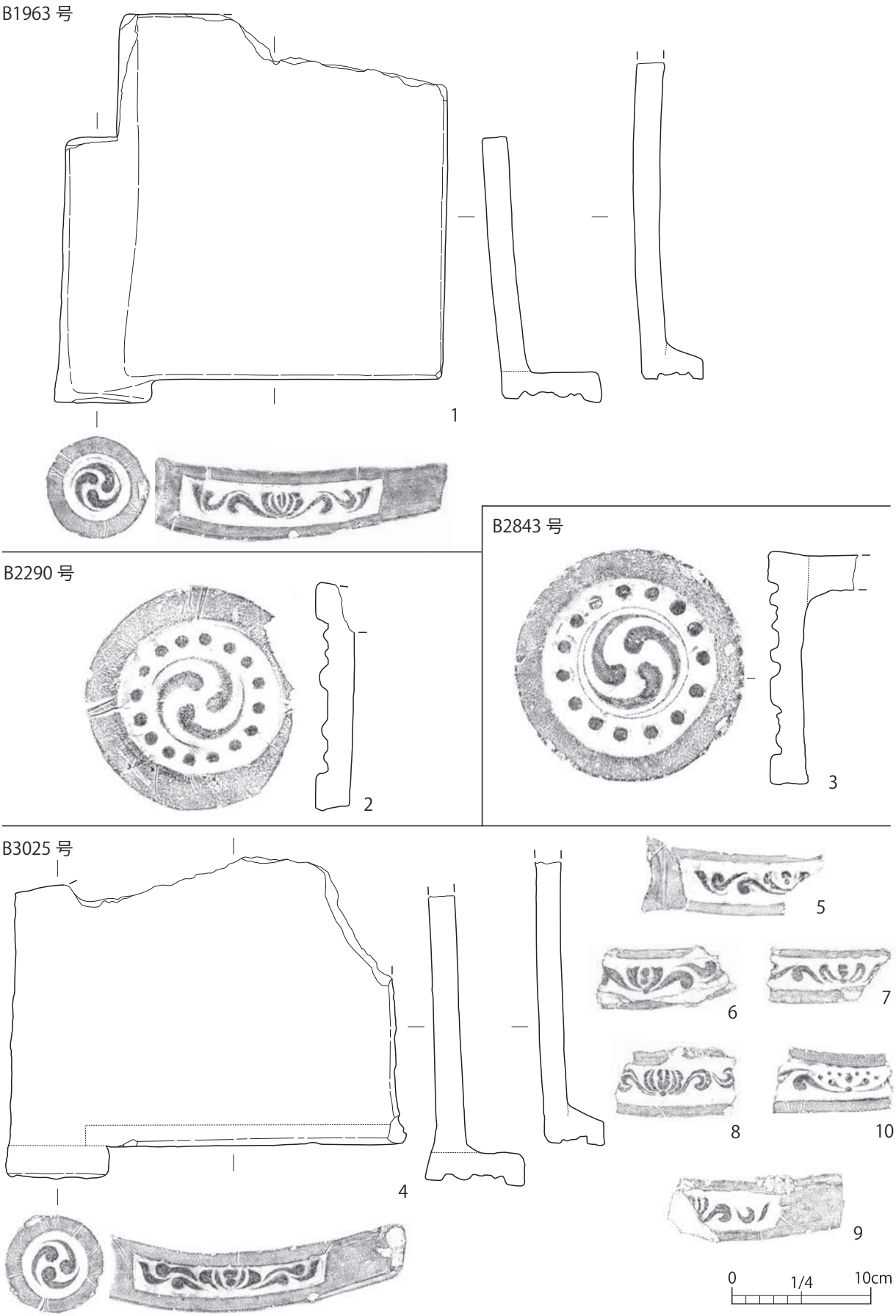
第 207 図　瓦（3）（1/4）



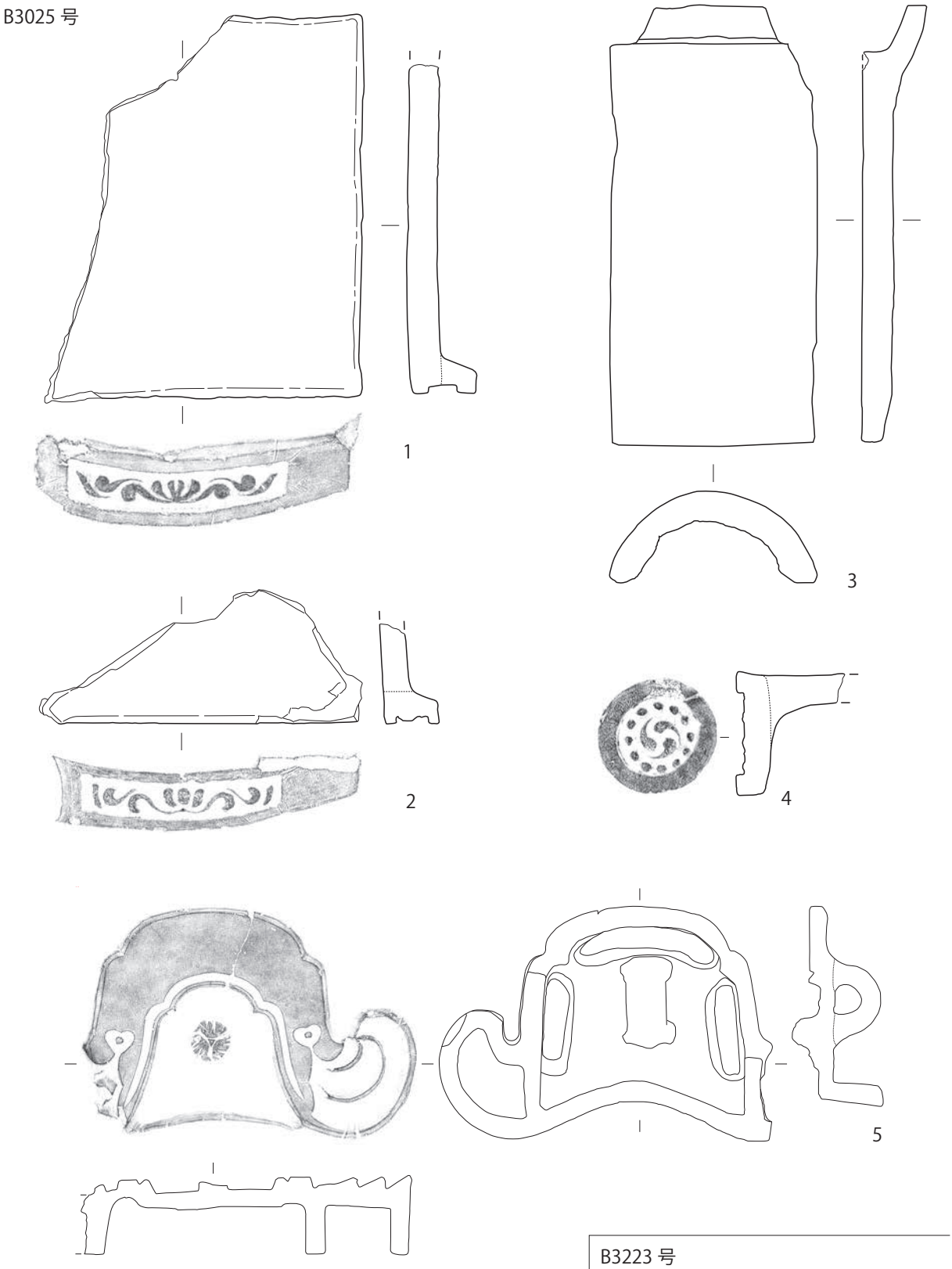
第 208 図　瓦（4）（1/4）



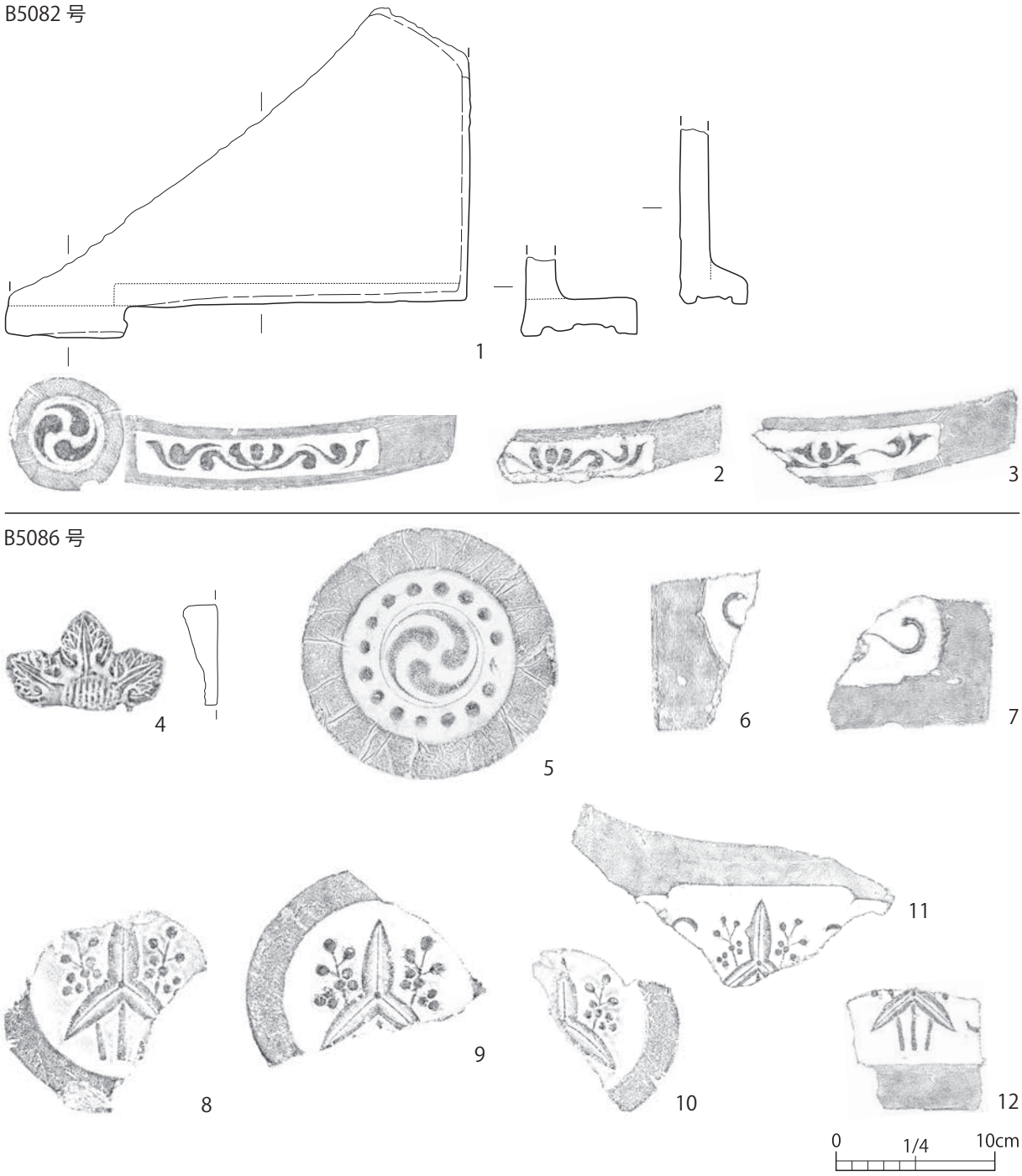
第 209 図　瓦（5）（1/4）



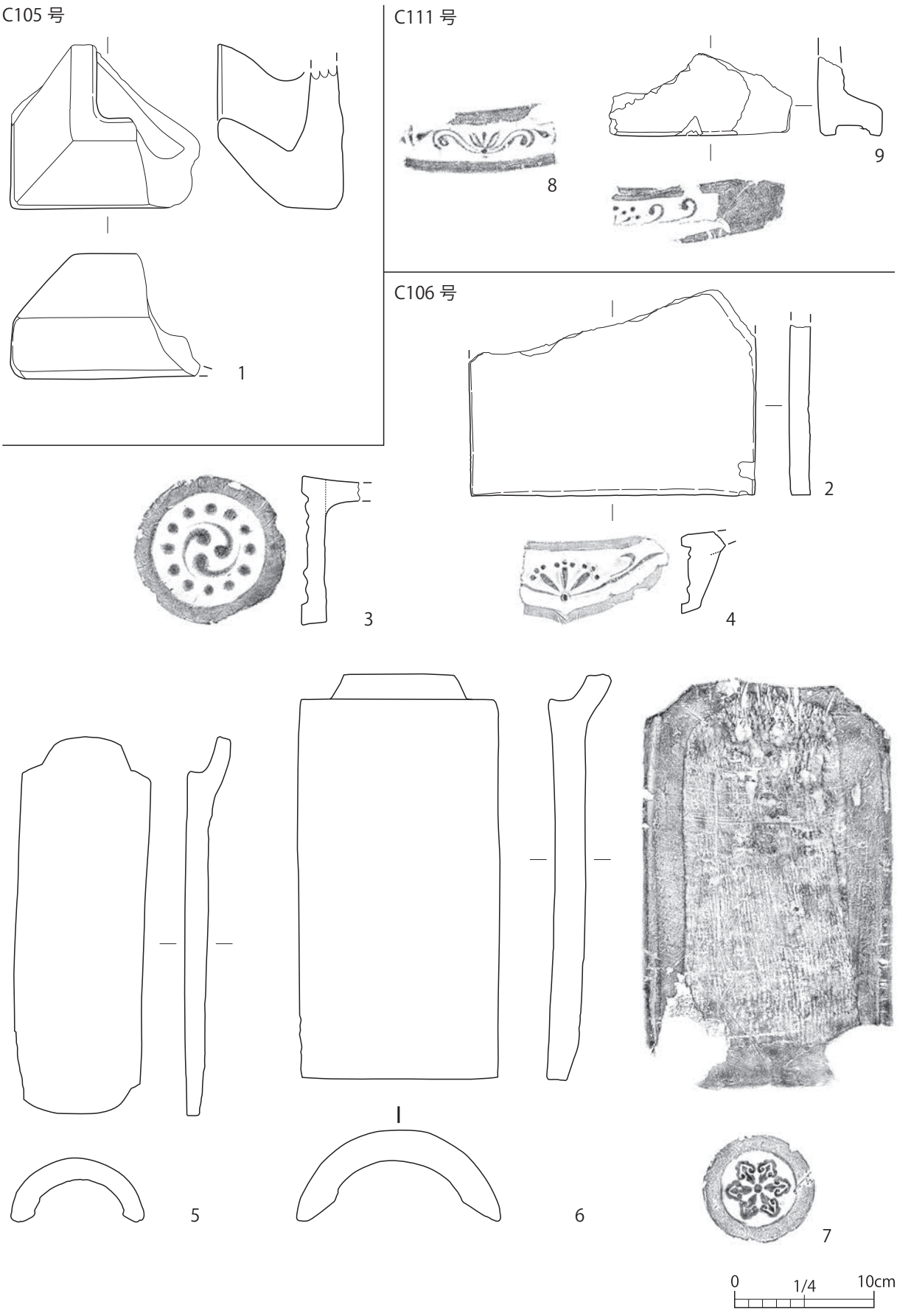
第 210 図　瓦（6）（1/4）



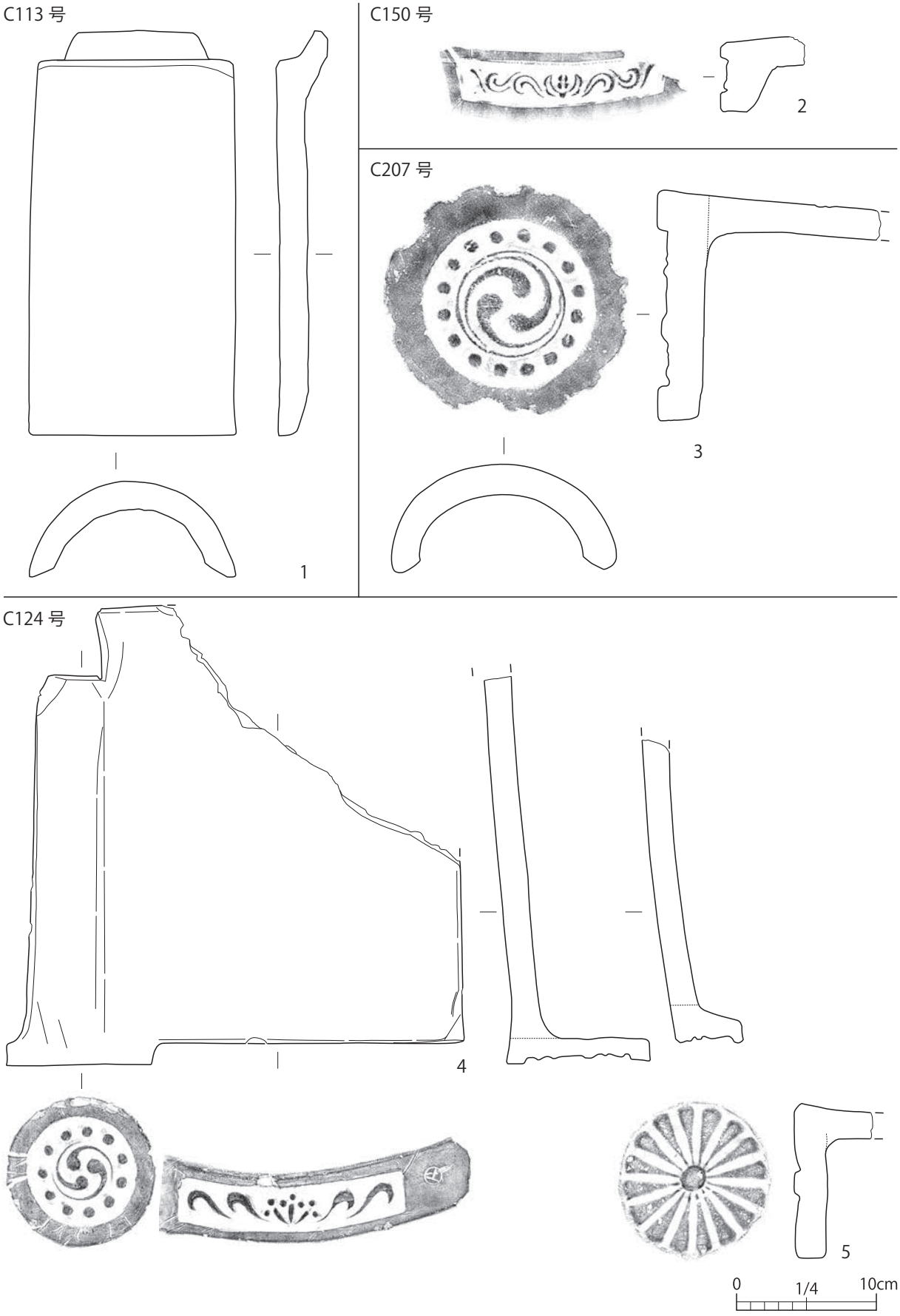
第 211 図　瓦（7）（1/4）



第 212 図　瓦（8）（1/4）

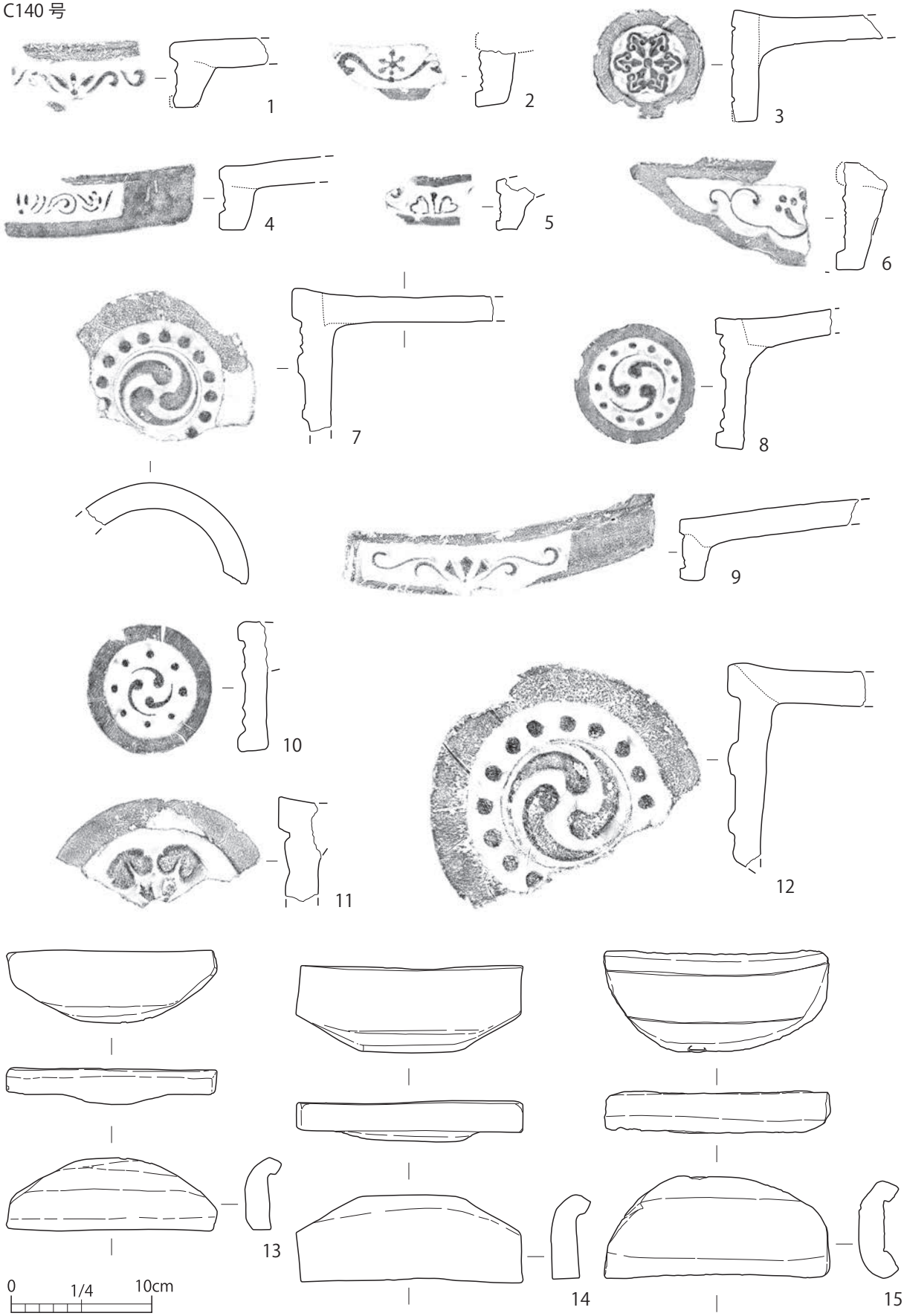


第 213 図　瓦（9）（1/4）



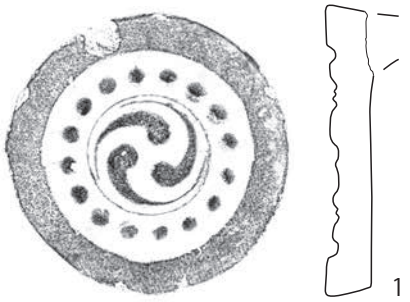
第 214 図　瓦（10）（1/4）

C140 号

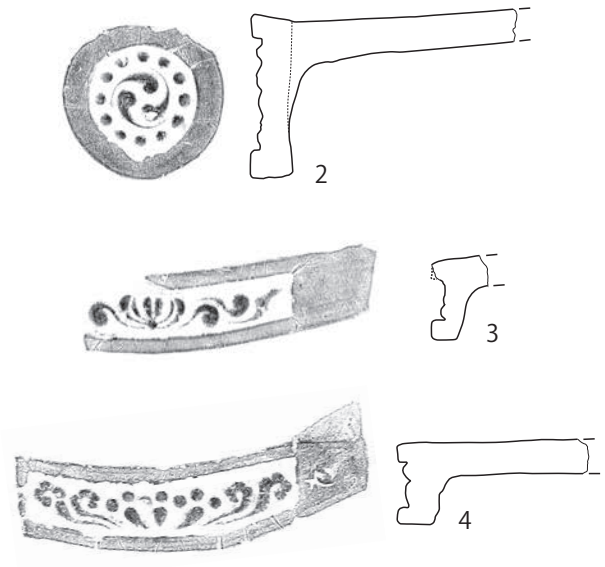


第 215 図　瓦（11）（1/4）

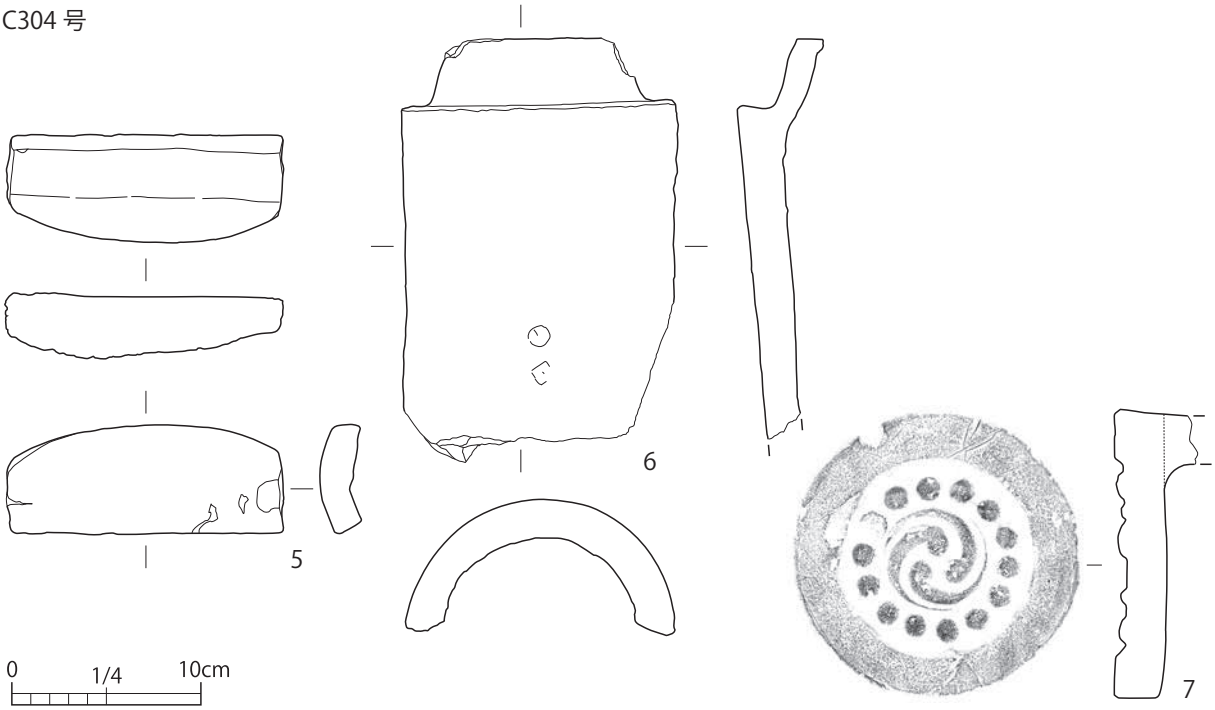
C244 号



C251 号

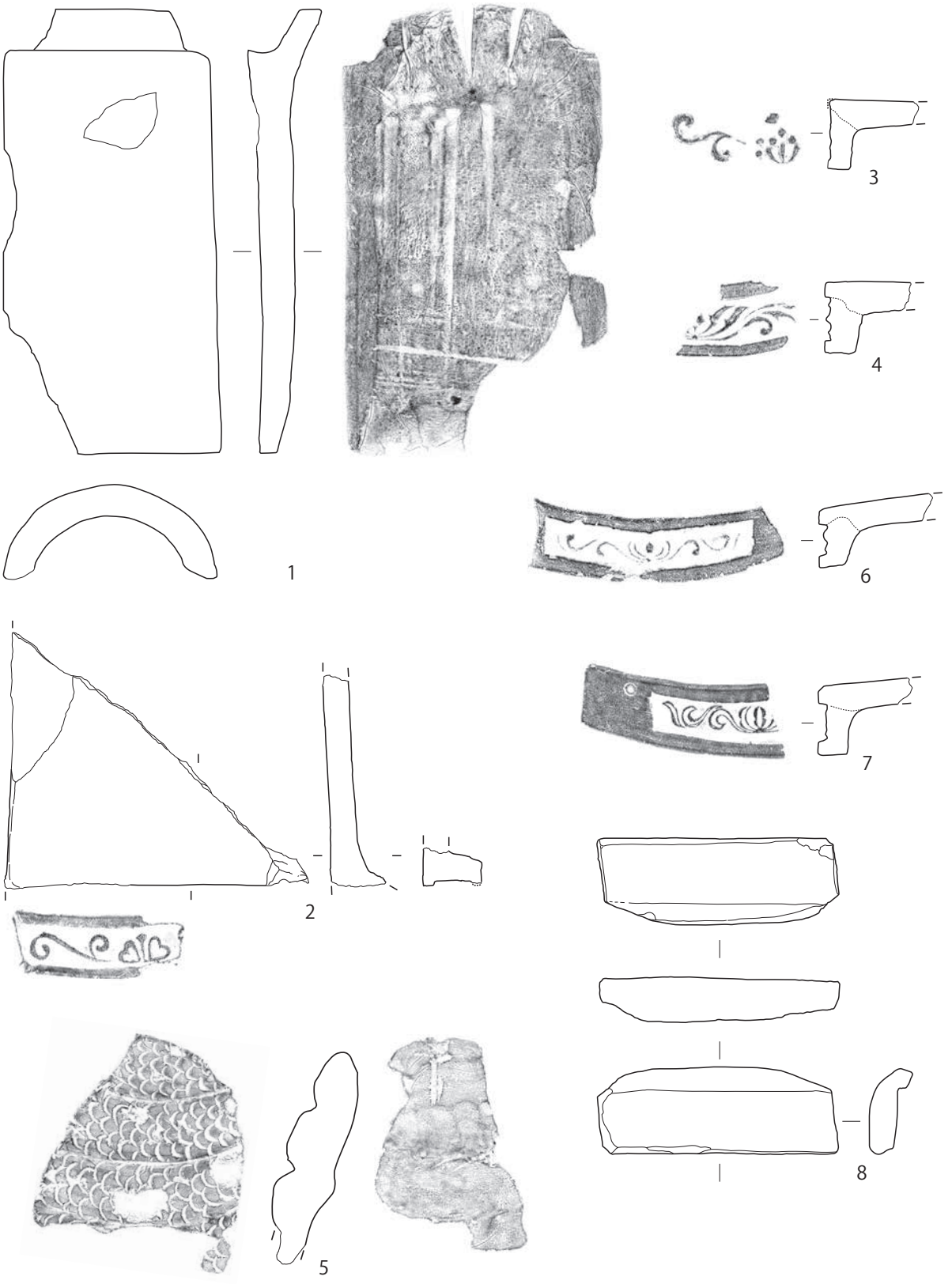


C304 号



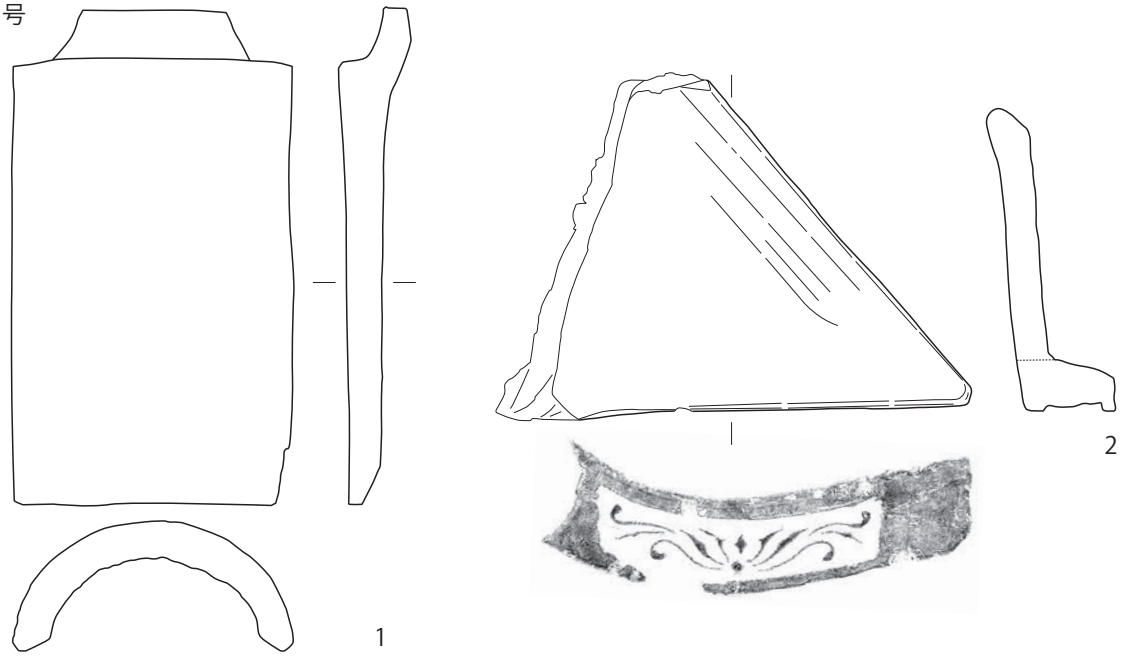
第 216 図　瓦（12）（1/4）

C305 号

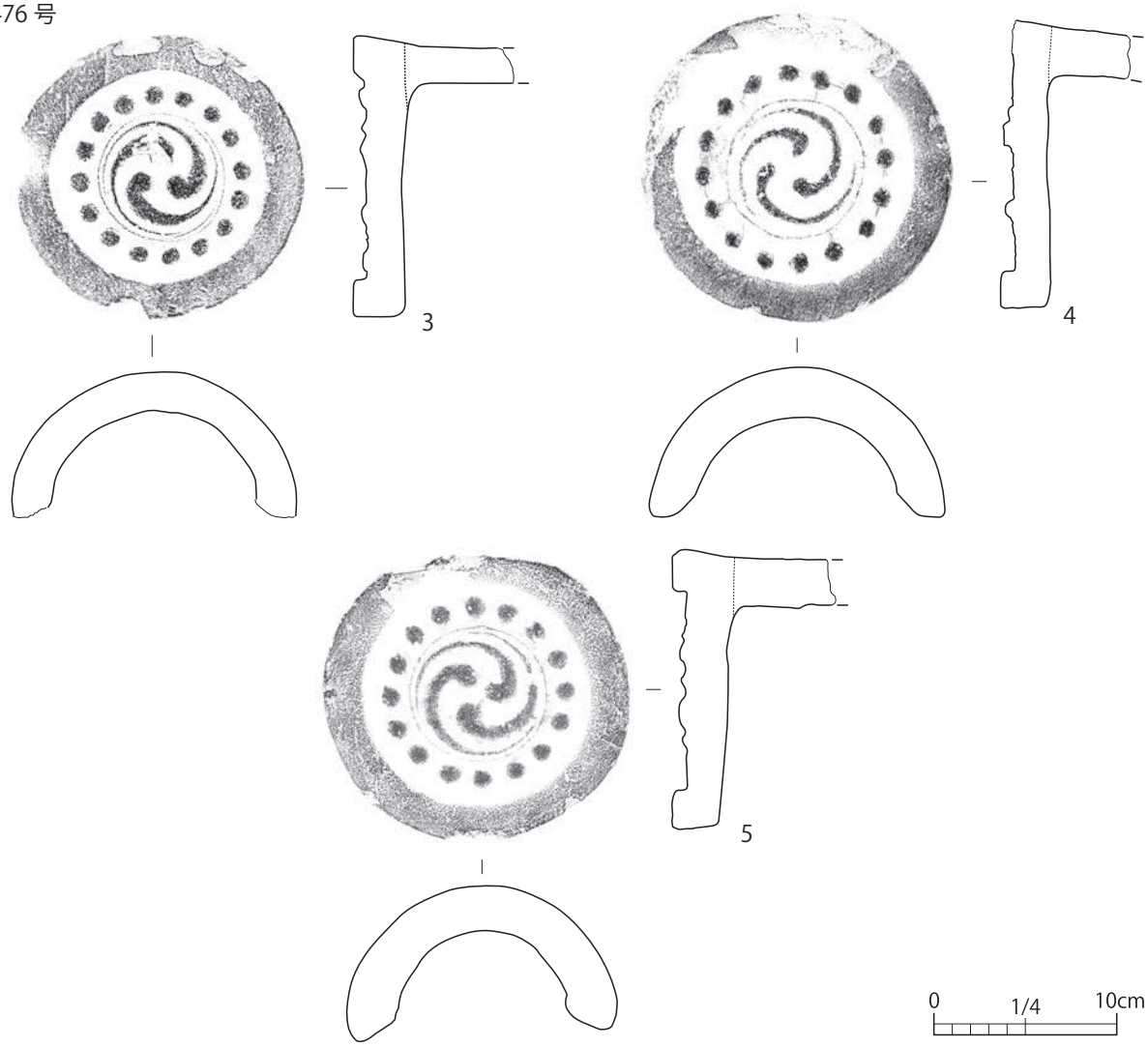


第 217 図　瓦（13）（1/4）

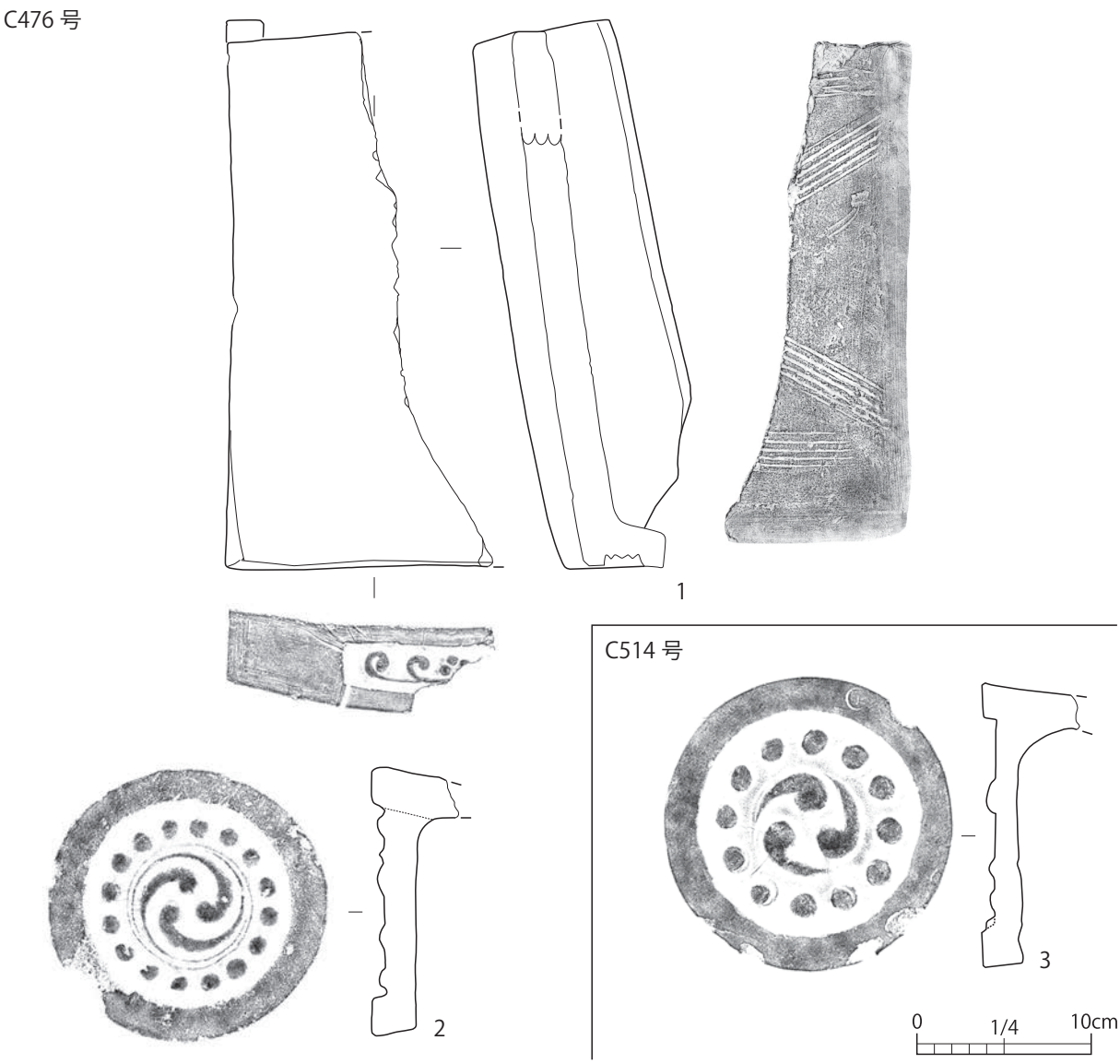
C473 号



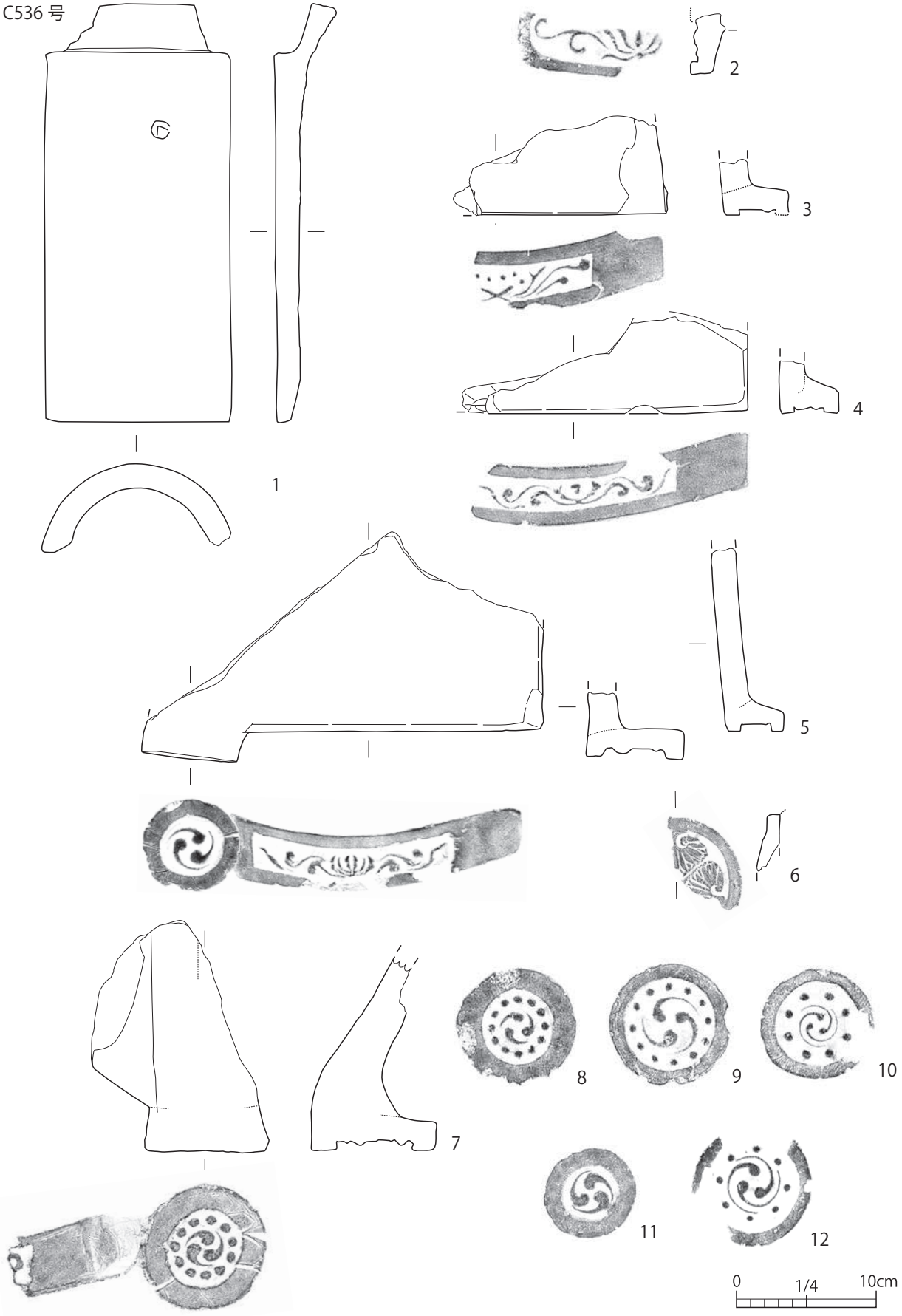
C476 号



第 218 図　瓦（14）（1/4）

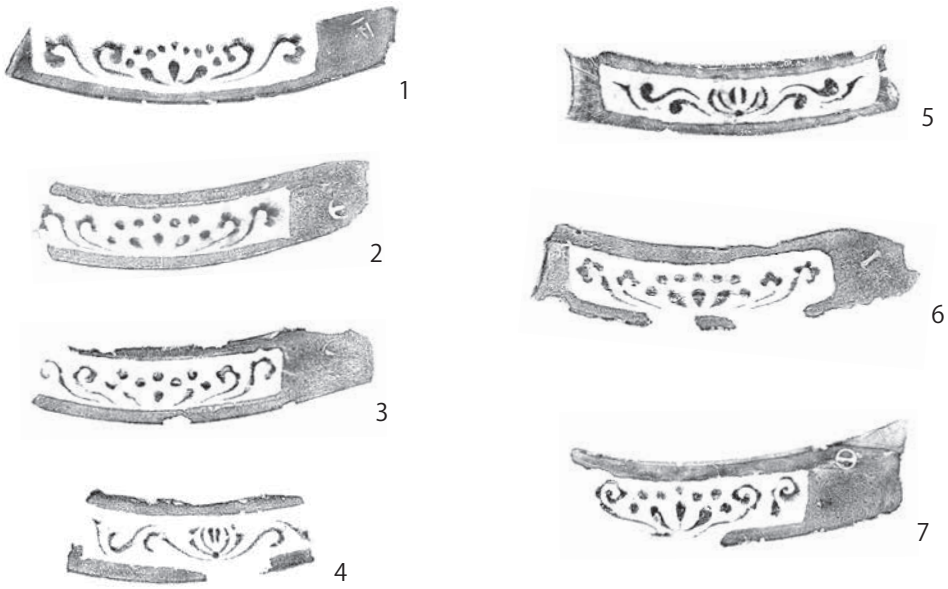


第 219 図　瓦（15）（1/4）

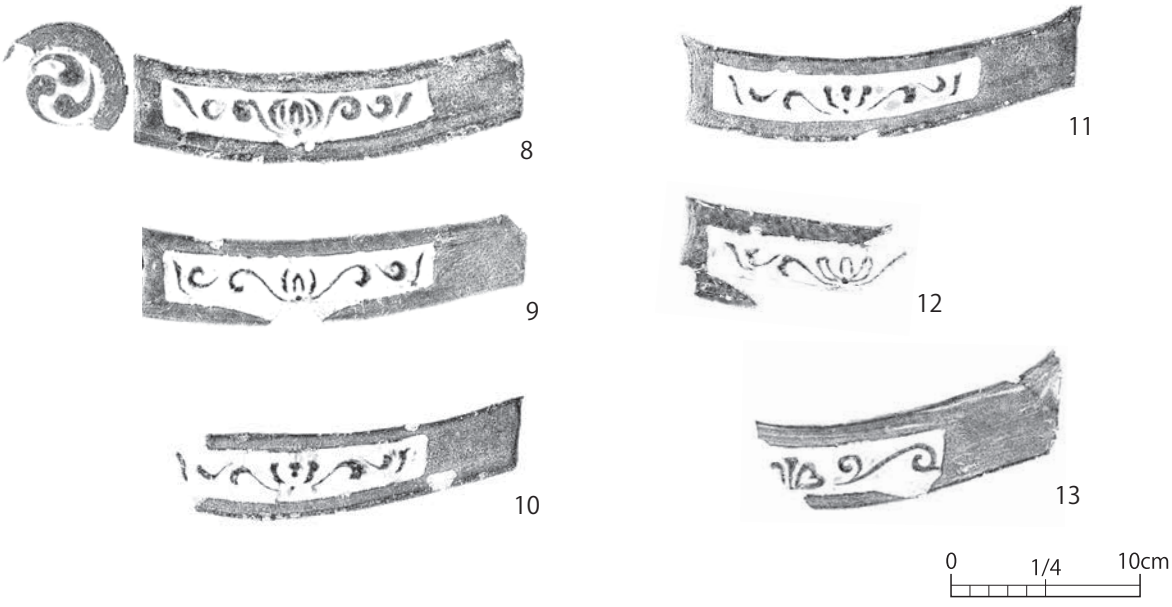


第 220 図　瓦（16）（1/4）

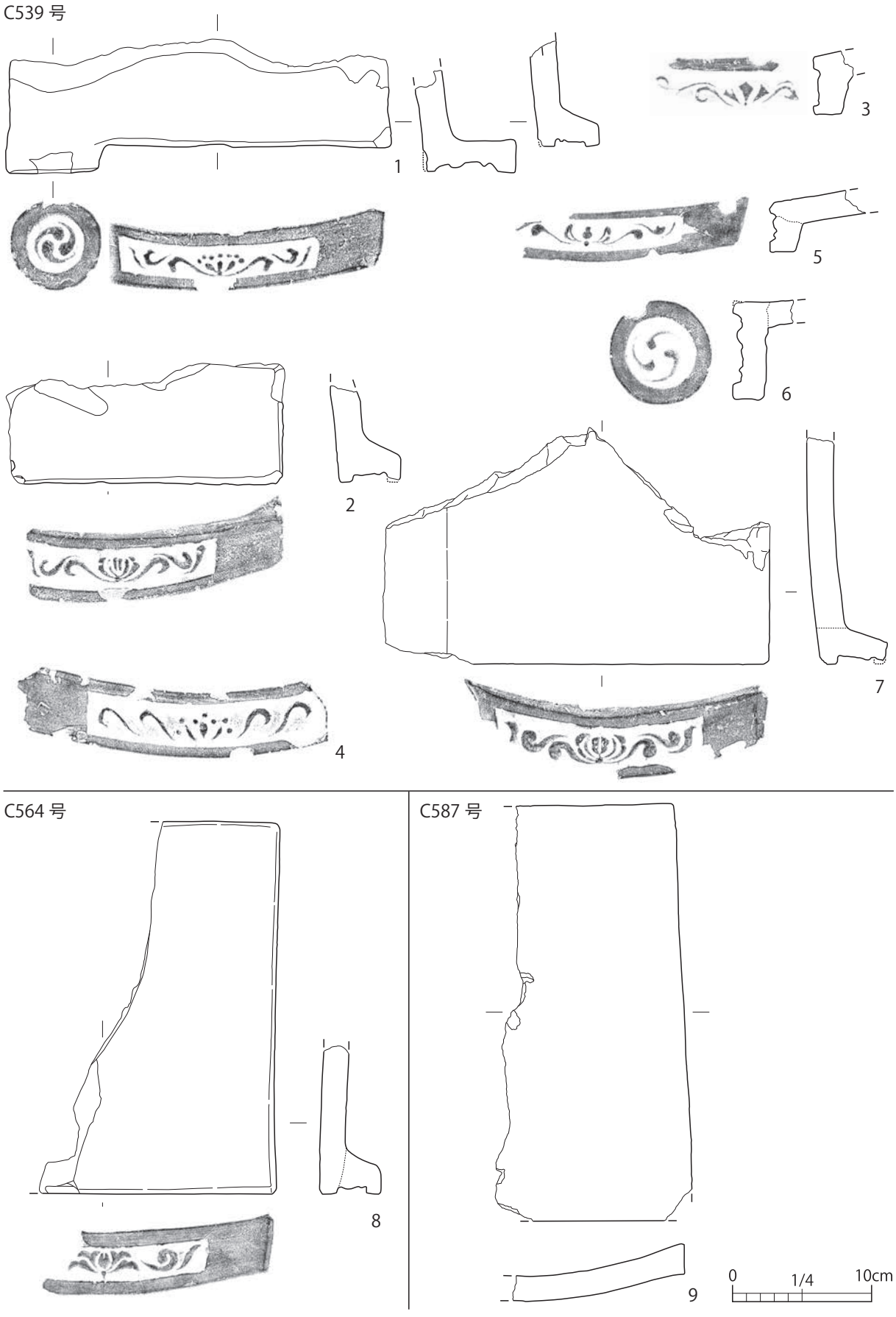
C536 号



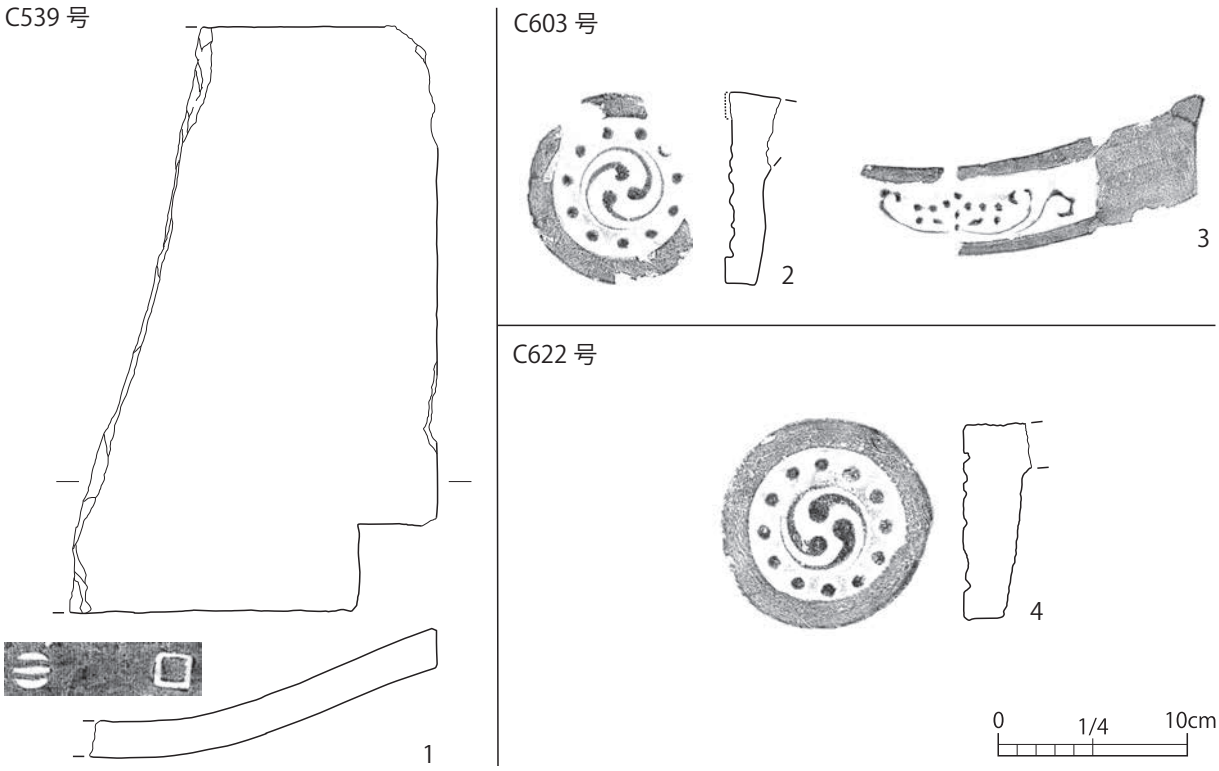
C598 号



第 221 図　瓦（17）（1/4）



第 222 図　瓦（18）（1/4）



第 223 図　瓦（19）（1/4）

も細い線で表される。13 は D- ii 類の瓦当文様を持つ。

C539 号（第 222 図 1 ～ 7）

1 ～ 5・7 はいずれも軒桟瓦である。1 は瓦当文様を持つが両端に子葉が表現され、文様構成は A 種に近い。中心飾りは 4 にみられる C- i 類に似る。2・4・7 の瓦当文様は A 種であるが、中心飾りや唐草、子葉の表現は様々である。

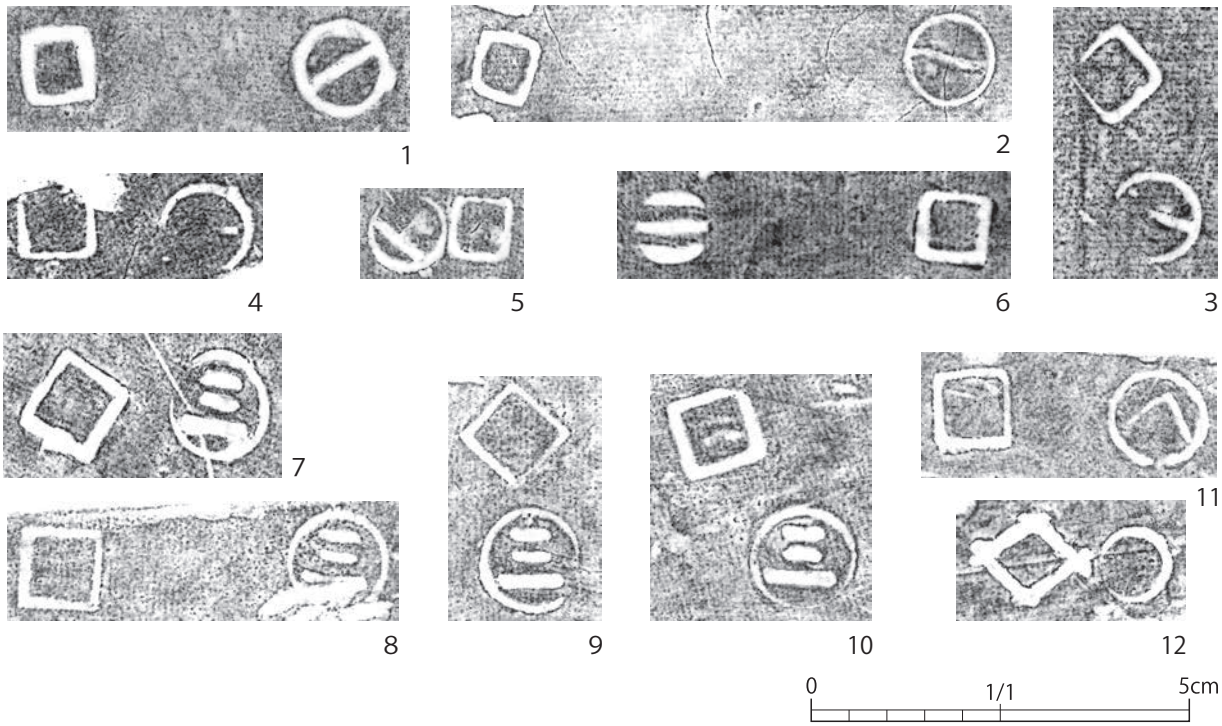
C564 号（第 222 図 8）

A 種と考えられる瓦当文様を有する。唐草、子葉は他に見られる A 種のものと同様であるものの、中心飾りの脇がくびれを有するというよりは Y 字状をなす個別の文様に表されるものである。全長から、8 寸の規格に相当すると言える。

刻印をもつ瓦は B 区で 284 例、C 区で 52 例、合計 336 例確認された。いずれも完形および破片を合わせての数量で、接合可能なものは接合したうえで計数しているが、接合不可能なものの同一個体である可能性があるものを含む。挿図では、2 個所に押印したものは別に示した。刻印の詳細は第 74 表を参照いただきたい。

（寺西朗平）

第 224 図　B・C 区出土瓦刻印（１）（1/1）



第 225 図　B・C 区出土瓦刻印（２）（1/1）

第 71 表　瓦観察表（1）

掲載番号		出土地点	種類	文様	刻印	法量 (mm)				胎土	表面色調	備考	整理番号
挿図	番号					瓦当径	長さ	幅	高さ				
205	1	B1 号	軒桟瓦？							灰色砂質	暗灰色		22111
205	2	B1 号	軒桟瓦？							灰色砂質	暗灰色		22110
205	3	B275 号	軒桟瓦	右巴文 8 珠 江戸式　Ⅱ Kj		75	283	283	280	灰色砂質	暗灰色	平瓦部軒側隅を面取り。穿孔あり。	22010
205	4	B275 号	軒桟瓦	右巴文 7 珠 江戸式　Ⅱ 2Li		82	—	—		灰色砂質	暗灰色		22135
205	5	B275 号	軒桟瓦				—	—		灰色砂質	暗灰色		22027
205	6	B275 号	軒桟瓦			48	—	—		灰色砂質	暗灰色		22028
205	7	B476 号	平瓦				(259)	271		灰色砂質	暗灰色		22169
206	1	B479 号	軒桟瓦	— 江戸式　Ⅰ 1La			—	—		灰色砂質	暗灰色	瓦当面折り曲げ	22024
206	2	B500 号	軒桟瓦	右巴珠文無し 江戸式　Ⅰ 1Fa		71	286	278		灰色砂質	暗灰色		22166
206	3	B502 号	軒丸瓦？	上がり藤文		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22093
206	4	B588 号	鬼瓦				—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22107
206	5	B597 号	軒桟瓦？	江戸式		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22045
206	6	B597 号	軒桟瓦？	江戸式		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22052
206	7	B597 号	軒桟瓦？	江戸式		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22116
207	1	B677 号	丸瓦				299	150	66	灰色砂質	暗灰色	表面ヘラ調整。内面布袋痕。玉縁部接合。	22101
207	2	B691 号	軒桟瓦？	その他		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22006
207	3	B808 号 新段階	棟込瓦	棟込瓦（菊丸）		(97)	—	—		灰色砂質	暗灰色	菊紋？	22137
207	4	B808 号 新段階	棟込瓦？			—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22138
207	5	B808 号 新段階	軒桟瓦？			—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22124
207	6	B808 号 新段階	軒桟瓦？			—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22125
207	7	B889 号	平瓦				285	254		灰色砂質	暗灰色		22155
208	1	B948 号	棟込瓦（巴）	連珠三巴文右巻 16 珠		84	89	84		灰色砂質	暗灰色		22074
208	2	B948 号	棟込瓦（巴）	連珠三巴文右巻 16 珠		8	97	80		灰色砂質	暗灰色		22075
208	3	B948 号	棟込瓦（巴）	連珠三巴文右巻 16 珠		94	77	94		灰色砂質	暗灰色		22076
208	4	B948 号	棟込瓦（巴）？	連珠三巴文右巻 16 珠		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22077
208	5	B948 号	棟込瓦（巴）？	連珠三巴文右巻 16 珠		152	—	—	84	灰色砂質	暗灰色		22078
208	6	B1124 号	軒桟瓦	D その他			—	—		灰色砂質	暗灰色		22007
209	1	B1148 号	軒丸瓦	連珠三巴文右巻 16 珠		151	—	144		赤褐色砂質	暗灰色	被熱。内面布袋痕、タール多量に付着。	22091
209	2	B1148 号	軒桟瓦？	江戸式　Ⅰ 41Kj		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22046
209	3	B1401 号	軒丸瓦	連珠三巴文右巻 12 珠		109	304			灰色砂質	暗灰色	内面布袋痕、コビキ痕。釣孔	22092
209	4	B1435 号	軒桟瓦	連珠三巴文右巻 12 珠 東海式 3 Ⅰ 2	江戸作	80	—	281		灰色砂質	暗灰色		22019
209	5	B1435 号	軒桟瓦？	東海式	丸一	—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22119
209	6	B1435 号	軒桟瓦？	東海式	丸一	—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22120
209	7	B1435 号	軒桟瓦	東海式		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22020
209	8	B1435 号	軒桟瓦	東海式		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		2211
210	1	B1963 号	軒桟瓦	江戸式		70	285	287		灰色砂質	暗灰色		22009
210	2	B2290 号	軒丸瓦	連珠三巴文右巻 16 珠		162	—	—		赤褐色砂質	赤褐色	被熱。	22082
210	3	B2843 号	軒丸瓦	連珠三巴文右巻 15 珠		168	—			赤褐色砂質	暗灰色	被熱。外面ヘラ調整。	22081
210	4	B3025 号	軒桟瓦	江戸式		72	—	287		灰色砂質	暗灰色		22012
210	5	B3025 号	軒桟瓦	江戸式						灰色砂質	暗灰色		22128
210	6	B3025 号	軒桟瓦？	江戸式						灰色砂質	暗灰色		22042
210	7	B3025 号	軒桟瓦？	江戸式						灰色砂質	暗灰色		22043
210	8	B3025 号	軒桟瓦？	江戸式			309	—		灰色砂質	暗灰色		22031
210	9	B3025 号	軒桟瓦？	江戸式						灰色砂質	暗灰色		22030
210	10	B3025 号	軒桟瓦？	東海式						灰色砂質	暗灰色		22130
211	1	B3025 号	軒桟瓦	江戸式		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22014
211	2	B3025 号	軒桟瓦	江戸式		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22023
211	3	B3025 号	丸瓦				295	14	62	灰色砂質	暗灰色	内面布袋痕、ヘラ調整。	22105
211	4	B3025 号	軒桟瓦？	連珠三巴文右巻 12 珠		83	—	—		灰色砂質	暗灰色		22362
211	5	B3025 号	鬼瓦				—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22170

第 72 表　瓦観察表（2）

掲載番号		出土地点	種類	文様	刻印	法量 (mm)				胎土	表面色調	備考	整理番号
挿図	番号					瓦当径	長さ	幅	高さ				
211	6	B3223 号	軒桟瓦？			—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22005
212	1	B5082 号	軒桟瓦	江戸式		73	—	292		灰色砂質	暗灰色		22013
212	2	B5082 号	軒桟？	江戸式		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22044
212	3	B5082 号	軒桟？	江戸式		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22054
212	4	B5086 号	不明	五葉葵文			—	—	—	灰色砂質	暗灰色	攪乱？	22139
212	5	B5086 号	丸瓦	連珠三巴文右巻 16 珠		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22087
212	6	B5086 号	不明				—	—		灰色砂質	暗灰色		22064
212	7	B5086 号	不明				—	—		灰色砂質	暗灰色		22063
212	8	B5086 号	丸瓦	沢潟文						灰色砂質	暗灰色		22070
212	9	B5086 号	丸瓦	沢潟文		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22072
212	10	B5086 号	丸瓦	沢潟文		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22071
212	11	B5086 号		沢潟文		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22068
212	12	B5086 号	不明	沢潟文			—	—		灰色砂質	暗灰色		22067
213	1	C105 号	不明				—	—	90	灰色砂質	暗灰色		22523
213	2	C106 号	平瓦		四角・丸十		—	204		灰色砂質	暗灰色		22004
213	3	C106 号	軒丸瓦			107	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22117
213	4	C106 号	軒平瓦	東海式			—	—		灰色砂質	暗灰色	滴水瓦	22094
213	5	C106 号	丸瓦				272	95	45	灰色砂質	暗灰色		22026
213	6	C106 号	丸瓦				292	145	65	灰色砂質	暗灰色		22086
213	7	C106 号	軒桟瓦？	六葉葵文						灰色砂質	暗灰色		22265
213	8	C111 号	軒桟瓦？	江戸式			—	—		灰色砂質	暗灰色		22120
213	9	C111 号	軒桟瓦？	東海式		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22119
214	1	C113 号	丸瓦				290	143	68	灰色砂質	暗灰色		22087
214	2	C150 号	軒桟瓦				—	—		灰色砂質	暗灰色		22416
214	3	C207 号	軒丸瓦			165	—	—		灰色砂質	暗灰色		22073
214	4	C124 号	軒桟瓦	左巴文 11 珠		—	328	327		灰色砂質	暗灰色		22023
214	5	C124 号	棟込瓦（菊丸）			110	—	—		灰色砂質	暗灰色		22098
215	1	C140 号	軒桟瓦？	その他			—	—		灰色砂質	暗灰色		22128
215	2	C140 号	軒桟瓦？	その他			—	—		灰色砂質	暗灰色		22130
215	3	C140 号	軒桟瓦？	六葉葵文		90	—	—		灰色砂質	暗灰色		22266
215	4	C140 号	軒桟瓦？	江戸式			—	—		灰色砂質	暗灰色		22412
215	5	C140 号	軒桟瓦？	その他			—	—		灰色砂質	暗灰色		22384
215	6	C140 号	軒平瓦	東海式			—	—		灰色砂質	暗灰色	滴水瓦	22099
215	7	C140 号	軒丸瓦			(150)	—	—		灰色砂質	暗灰色		22055
215	8	C140 号	軒桟瓦			85	—	—		灰色砂質	暗灰色	家紋？	22342
215	9	C140 号	軒桟瓦	その他		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22385
215	10	C140 号	軒桟瓦？			79	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22326
215	11	C140 号上層	軒丸瓦？	六葉葵文		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22060
215	12	C140 号	軒丸瓦			(170)	—	—		灰色砂質	暗灰色		22059
215	13	C140 号	面戸瓦				52	150		灰色砂質	暗灰色		22507
215	14	C140 号	面戸瓦				63	161		灰色砂質	暗灰色		22510
215	15	C140 号	面戸				69	16		灰色砂質	暗灰色		22006
216	1	C244 号	軒丸瓦			154	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22066
216	2	C251 号	軒桟瓦			85	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22329
216	3	C251 号	軒桟瓦？	江戸式			—	—		灰色砂質	暗灰色		22158
216	4	C251 号	軒桟瓦	東海式	刻印		—	—		灰色砂質	暗灰色		22159
216	5	C304 号	面戸瓦				57	147		灰色砂質	暗灰色		22511
216	6	C304 号	丸瓦？		丸・四角		—	147	71	灰色砂質	暗灰色		22027
216	7	C304 号	軒丸瓦			153	—	—	—	灰色砂質	暗灰色		22067
217	1	C305 号	丸瓦				297	142	62	灰色砂質	暗灰色		22089
217	2	C305 号	軒桟瓦？	その他			—	—		灰色砂質	暗灰色		22162
217	3	C305 号	軒桟瓦？				—	—		灰色砂質	暗灰色		22163
217	4	C305 号	軒桟瓦？				—	—		灰色砂質	暗灰色		22392
217	5	C305 号	不明	鱗状			—	—	—	灰色砂質	暗灰色	表面に鱗状の文様を表現し、蛇が蟠局をまく姿の一部にみえる。龍または宇賀神像の一部か。	22103

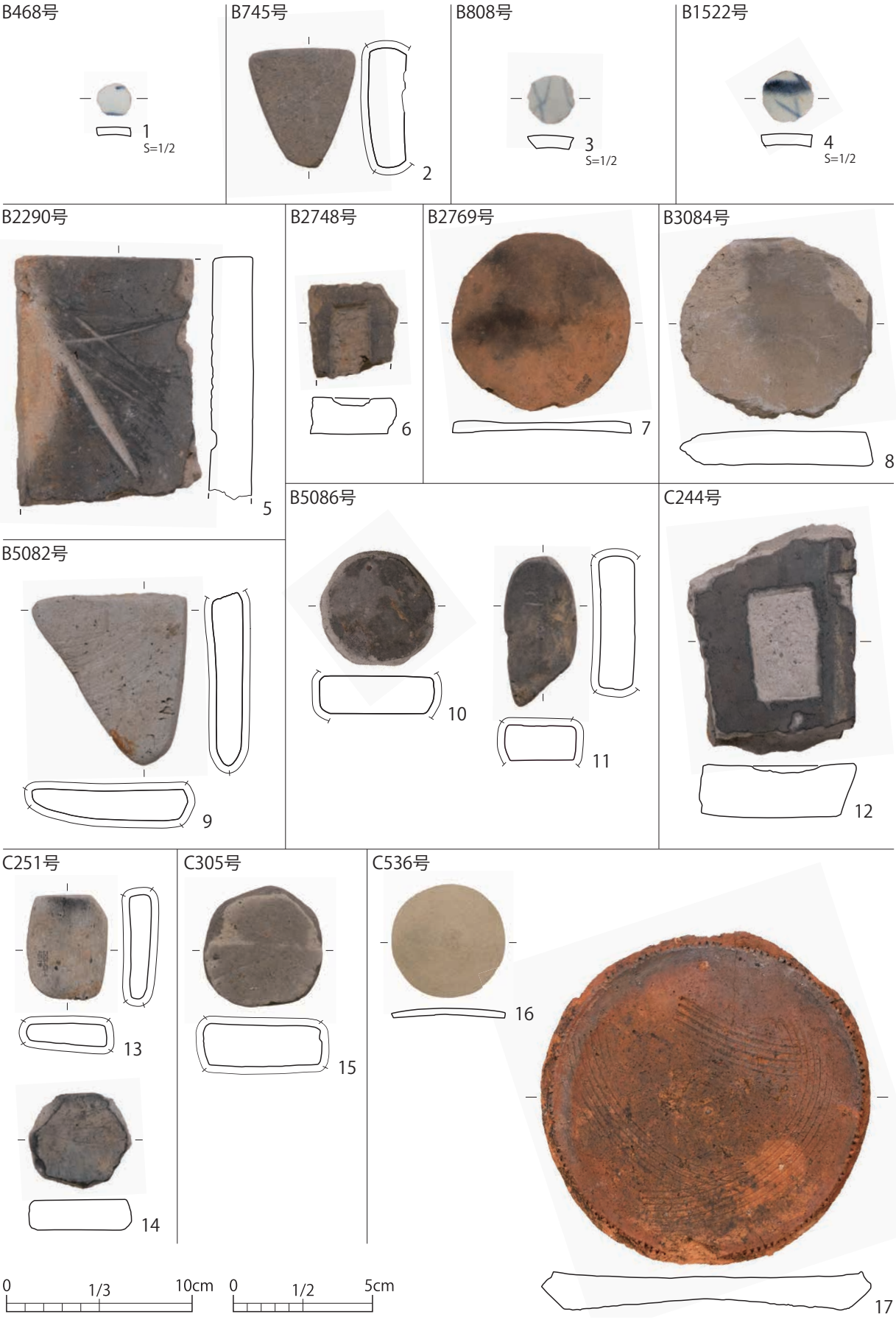
第 73 表　瓦観察表（3）

掲載番号		出土地点	種類	文様	刻印	法量 (mm)				胎土	表面色調	備考	整理番号
挿図	番号					瓦当径	長さ	幅	高さ				
217	6	C305 号	軒桟瓦？	江戸式			—	—		灰色砂質	暗灰色		22419
217	7	C305 号上層	軒桟瓦？	江戸式	丸		—	—		灰色砂質	暗灰色		22420
217	8	C305 号	面戸瓦				59	162		灰色砂質	暗灰色		22513
218	1	C473 号	丸瓦				263	148	69	灰色砂質	暗灰色		22090
218	2	C473 号	軒平瓦				—	—		灰色砂質	暗灰色	隅瓦	22394
218	3	C476 号	軒桟瓦？			153	—	—		灰色砂質	灰色	被熱。	22074
218	4	C476 号	軒桟瓦？			—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22077
218	5	C476 号	軒桟瓦？			—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22078
219	1	C476 号	袖瓦				316	—		灰色砂質	暗灰色		22541
219	2	C476 号	軒桟瓦？			154	—	—		灰色砂質	暗灰色		22080
219	3	C514 号	軒丸瓦			—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22082
220	1	C536 号	丸瓦				300	135	63	灰色砂質	暗灰色		22044
220	2	C536 号	軒桟瓦？				—	—		灰色砂質	暗灰色	胎土に雲母？	22191
220	3	C536 号	軒桟瓦？	東海式			—	—		灰色砂質	暗灰色		22198
220	4	C536 号	軒桟瓦？	江戸式			—	—		灰色砂質	暗灰色		22200
220	5	C536 号	軒桟瓦	江戸式		67	—	284		灰色砂質	暗灰色		22190
220	6	C536 号	不明	三葉葵文		(96)	—	—	—	灰色砂質	暗灰色	鬼瓦等への貼付部分が剥落したものか	22433
220	7	C536 号	軒丸瓦			88	—	—		灰色砂質	暗灰色	隅瓦	22545
220	8	C536 号	軒桟瓦？			87	—	—		灰色砂質	暗灰色	紋？	22336
220	9	C536 号	軒桟瓦？	左巴文 12 珠		87	—	—		灰色砂質	暗灰色	葵	22349
220	10	C536 号	軒桟瓦？	右巴文 8 珠		71	—	—		灰色砂質	暗灰色		22334
220	11	C536 号	軒桟瓦	左巴文		68	—	—		灰色砂質	暗灰色		22295
220	12	C536 号	軒桟瓦？	右巴文 8 珠						灰色砂質	暗灰色		22335
221	1	C536 号	軒桟瓦	東海式		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22187
221	2	C536 号	軒桟瓦？	東海式		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22195
221	3	C536 号	軒桟瓦？	東海式		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22199
221	4	C536 号	軒桟瓦？	江戸式		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22201
221	5	C536 号	軒桟瓦	江戸式		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22426
221	6	C536 号	軒桟瓦	東海式		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22196
221	7	C536 号	軒桟瓦？	東海式		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22202
221	8	C598 号	軒桟瓦	江戸式		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22227
221	9	C598 号	軒桟瓦	江戸式		69	—	277		灰色砂質	暗灰色		22228
221	10	C598 号	軒桟瓦	江戸式		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22230
221	11	C598 号	軒桟瓦	江戸式		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22232
221	12	C598 号	軒桟瓦	江戸式		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22235
221	13	C598 号	軒桟瓦？	その他		—	—	—		灰色砂質	暗灰色		22406
222	1	C539 号	軒桟瓦	東海式			—	278		灰色砂質	暗灰色		22210
222	2	C539 号	軒桟瓦	江戸式			—	—		灰色砂質	暗灰色		22213
222	3	C539 号	軒桟瓦？	その他			—	—		灰色砂質	暗灰色		22398
222	4	C539 号	軒桟瓦	東海式									22212
222	5	C539 号	軒桟瓦？	江戸式			—	—		灰色砂質	暗灰色		22214
222	6	C539 号	軒桟瓦？			(70)	—	—		灰色砂質	暗灰色		22297
222	7	C539 号	軒桟瓦	江戸式		278	—	—		灰色砂質	暗灰色		22428
222	8	C564 号	軒桟瓦？	その他			234	—		灰色砂質	暗灰色		22225
222	9	C587 号	平瓦		刻印		300	—		灰色砂質	暗灰色	被熱？	22449
223	1	C539 号	平瓦				308	—		灰色砂質	暗灰色		22031
223	2	C603 号	軒丸	11 珠		101	—	—		灰色砂質	暗灰色		22236
223	3	C603 号	軒桟瓦？	東海式									22037
223	4	C622 号	軒桟瓦			104	—	—		灰色砂質	暗灰色		22375

第 74 表　瓦刻印一覧表

掲載番号		出土地点	資料	判読内容	備考
挿図	番号				
224	1	B1 号	第 205 図 2	江戸作	
224	2	B1435 号		江戸作	
224	3	B1435 号		江戸作	
224	4	B279 号		江戸作	
224	5	B1401 号		江戸作	
224	6	B3-3 区		江戸作	
224	7	B1435 号		山に二	
224	8	B1435 号			
224	9	B161 号		ヤマ本	
224	10	B161 号		ヤマ本	
224	11	B251 号		ヤマ本	
224	12	B2419 号		ヤマ本	
224	13	B1-4 区		本	
224	14	B479 号		丸上	
224	15	B1435 号		丸上	
224	16	B3025 号		丸上	
224	17	B788 号		丸寿	
224	18	B2796 号		丸寿	
224	19	B372 号		丸い	
224	20	B765 号		丸キ？	
224	21	B1522 号		丸キ？	
224	22	B2722 号			
224	23	B2722 号			
224	24	B3070 号			
224	25	B2-3 区		丸弥	
224	26	B2772 号			
224	27	B2772 号			
224	28	B1453 号		本尾國	枠あり
224	29	B890 号		号	枠あり
224	30	B2-1 区		丸小	
224	31	B2288 号			枠あり
224	32	B275 号	第 205 図 4	丸川田	枠あり
224	33	B2-3 区		本所	
224	34	B808 号		不明	
224	35	B1 号	第 205 図 1	丸作	
224	36	B1522 号			
224	37	B2571 号		丸カギ	
224	38	B2741 号		ヤマ	
224	39	B477 号			
224	40	B499 号		ヤマ庄製	
224	41	B275 号			
224	42	B372 号		武田菱	
224	43	B808 号			
224	44	B2722 号		三鱗	
224	45	B5082 号		三鱗	
224	46	B211 号		三角	
224	47	B3025 号		三角	
224	48	B479 号		ヤマ	
224	49	B2135 号		ヤマ	
224	50	B479 号		丸	
224	51	B338 号		丸	
224	52	B479 号		丸	
224	53	B3083 号		四角	
224	54	B251 号		四角	
224	55	B808 号			
224	56	B372 号		丸十	

掲載番号		出土地点	資料	判読内容	備考
挿図	番号				
224	57	B1509 号		井桁菱	
224	58	B2275 号			
224	59	B800 号			
224	60	B1132 号			
224	61	B1435 号		丸一	
224	62	B2-1 区		丸一	
224	63	B808 号		丸一	
224	64	B1435 号		丸一	
224	65	B1435 号		丸一	
224	66	B1435 号		丸二	
224	67	B1505 号		丸二	
224	68	B808 号		丸三	
224	69	B342 号		丸三	
224	70	B808 号		丸三	
224	71	B808 号			
224	72	B808 号			
224	73	B808 号		丸十	
225	1	B1522 号		四角・丸一	
225	2	B1522 号		四角・丸一	
225	3	C304 号		四角・丸一	
225	4	B372 号		四角・丸一	
225	5	B933 号		四角・丸上	
225	6	C539 号	第 223 図 1	四角・丸二	
225	7	B1522 号		四角・丸三	
225	8	B2495 号		四角・丸三	
225	9	B1-3 区		四角・丸三	
225	10	B1998 号		四角・丸三	
225	11	B2103 号		四角・丸カギ	
225	12	B1522 号		井桁菱・丸	



第 226 図　陶磁器・瓦転用品（1/2・1/3）

第 75 表　陶磁器・瓦転用品観察表

掲載番号		出土地点	種別	器種	平面形状	詳細	残存率 (%)	法量 (mm)			重量 (g)	整理番号
挿図	番号							長さ	幅	厚み		
226	1	B468 号	磁器	碗	円形	側面を円形に打ち欠き / おはじきか	100	12.3	12.5	3	0.7	1
226	2	B745 号	平瓦		三角形	側面・正面に研磨痕 / 砥石	100	65	58	21	76.6	7
226	3	B808 号中段階	磁器	碗	円形	側面を円形に打ち欠き / おはじきか	100	18	17.5	4.6	1.8	14
226	4	B1522 号下部	磁器	碗	円形	側面を円形に打ち欠き / おはじきか	100	18	18.7	4.5	2.3	11
226	5	B2290 号	平瓦		方形	正面に線状の研磨痕 / 砥石	100 か	136	101	24	35.5	52
226	6	B2748 号	平瓦		方形	正面中央に長方形の抉り / 硯未成品か	60	52	42	20	58.3	15
226	7	B2769 号	土器	皿	円形	側面を円形に打ち欠き / 用途不明	100	95.5	96	6.5	107	16
226	8	B3084 号	平瓦		円形	側面を円形に打ち欠き / 用途不明	100	99	104	18	193.6	65
226	9	B5082 号	平瓦		三角形	全面に研磨痕 / 砥石	100	93	83	16.5	107	23
226	10	B5086 号	平瓦		円形	側面に研磨痕 / 砥石	100	61	60	21	86.4	27
226	11	B5086 号	平瓦		楕円形	側面・正面に研磨痕 / 砥石	100	80	38	20	68.9	69
226	12	C244 号	平瓦		方形	正面中央に長方形の削り / 用途不明	100	124	90.5	29	327.5	40
226	13	C251 号	平瓦		方形	全面に研磨痕 / 砥石	100	57	43	13	39.8	44
226	14	C251 号	平瓦		円形	側面を円形に打ち欠き / 用途不明	100	53.5	55.5	16.5	59.3	32
226	15	C305 号上層	平瓦		円形	側面に研磨痕 / 砥石	100	65.5	63.5	23.6	108	33
226	16	C536 号	陶器	蓋	円形	側面を円形に打ち欠き / 用途不明	100	62	62	5	20.9	35
226	17	C536 号	炻器	擂鉢	円形	側面を円形に打ち欠き / 用途不明	100	179	178	21	690	37

（3）陶磁器・土器・瓦転用品（第 226 図、第 75 表）

陶磁器・土器・瓦の破片を打ち欠いて再利用したものを転用品とした。円形に打ち欠いたものは、周囲を研磨し平滑に仕上げたものと未加工のものがある。また不定形で研磨の痕跡を残すものもあり、これらは砥石として転用されたものと考えられる。

第 226 図 1 は B468 号出土で、染付磁器を円形に打ち欠いていたおはじきと考えられる。2 は B745 号出土で、瓦の破片を用いた転用砥石で、周縁と平坦面に研磨の痕跡が認められる。B808 号出土の 3、B1522 号の 4 はいずれも染付磁器を円形に打ち欠いたおはじきと考えられる。5 は B2290 号出土で、瓦の平坦面に数条の溝が認められ、鋭利な刃物等に用いられた砥石と考えられる。B2748 号の 6 は、瓦の破片の平坦面に方形の抉りが入ったもので、硯の未成品であろうか。7 は B2769 号出土で、土器皿の底部を円形に打ち欠いている。周縁は未加工で、鍋敷きと考えられる。B3084 号出土の 8 は瓦の円形に打ち欠いているが、用途は不明である。9 は B3084 号出土で、瓦の破片を研磨した砥石で、1 側面以外全面が使用される。B5086 号出土の 10・11 は、いずれも瓦の破片を研磨した砥石である。C244 号出土の 12 は、瓦の破片の平坦面に方形の抉りが入ったもので、硯の未成品であろうか。C251 号出土の 13 は瓦の破片を研磨した砥石で、全面が使用される。同遺構出土の 14 は、瓦の円形に打ち欠いたもので、8 と同様にその他の加工痕や使用痕が見られない。C305 号出土の 15 は、瓦の破片を研磨した砥石で、全面が使用される。C536 号出土の 16 は陶器、17 は擂鉢を円形に打ち欠いている。16 は用途が不明であるが、17 は鍋敷きと考えられる。

（4）土製品・ミニチュア（第 227 ～ 250 図、第 76 ～ 81 表）

土製品・ミニチュアは、磁器・陶器・土器を材質とし、破片も含めて多種多様な資料が出土している。以下では、東京大学構内遺跡出土資料の分類（安芸・小林・堀内 2012）を基本とし、人形・器物・建造物・遊具の各種の特徴を記す。

人形のうち、ひと形となるものでは、天神は陶器で彩色される第 243 図 10 等があり、恵比寿と大黒は B808 号において土師質のものが共伴する（第 228 図 3・4）。西行は立像と坐像の 2 種があり、立像には土師質でほぼ完形の第 230 図 1、坐像には陶器で彩色が施される第 239 図 1 がある。袴人形には第 229 図 9、唐人は陶器の第 241 図 5、朝鮮通信使は土師質の第 248 図 11・12、虚無僧は陶器の第 240 図 2 や磁器で上絵付とされる第 236 図 8、姉様は土師質の第 231 図 7 が代表的な例である。ぶら人形は第 246 図 4 にあるが全体としては少数で、その他の意匠としては、第 246 図 3 の亀乗り童子、第 234 図 1 のお茶を注ぐ人物坐像等がある

動物形には、第 242 図 6 の陶器で緑釉が施される獅子、猿は第 238 図 13 のいわゆる言わ猿や、笠を被った第 244 図 1 がある。犬は第 232 図 7・8 に小形のものがあり、馬は第 240 図 4 の荷を積んだものや、第 241 図 6 の脚を欠くものがある。哺乳動物として他に、第 249 図 1 の土師質の狐、第 229 図 6 の染付の兎等がみられる。鳥類としては、第 231 図 8 の土師質の鳩、第 249 図 4 の同じく土師質の鶏、第 230 図 8 は鴛鴦で、第 231 図 3 は陶器の水鳥と考えられる。亀は第 232 図 9 のように陶器で鉄釉としたものが多い。第 238 図 7 は蝉の羽根、第 231 図 2 は狸であろうか。

その他の人形として、首人形は第 227 図 19 で人物、第 249 図 6 で狐をモチーフとする。

器物は、第 227 図 3 等の磁器碗にバリエーションが多く、陶器碗には第 244 図 9 がある。皿も多種があり、第 233 図 6 の染付のものや、輪花状の第 246 図 6、第 234 図 11 は扇状を呈する。鉢は土師質の第 227 図 9、蓋物は染付の第 228 図 12、銚子は土師質で施釉された第 227 図 2、瓶はぺこかん形の第 246 図 14 や瓢箪形の同図 12 などがある。片口鉢には緑釉の第 246 図 16、土瓶は第 242 図 26 の同じく緑釉のもの、第 233 図 14 の鍋は陶器で鉄釉が施される。釜は B808 号で茶釜と羽釜が共伴する（第 228 図 17・18）。擂鉢は土師質の第 227 図 7、陶器で飴釉が施された第 244 図 15 がある。蓋もまた多様で、第 231 図 12 の土瓶蓋、土師質で平たい第 238 図 2、釜蓋の第 243 図 2 等がある。その他、第 239 図 15 は染付の香炉、第 231 図 11 は水注、第 249 図 10 は器台、第 245 図 7 は七厘、第 241 図 2 は竈、第 250 図 3 は硯、第 244 図 16 は瓶掛であろう。模造貨としては、第 244 図 21 の南鐐二朱銀の模造貨には、表面に「銀座常賣」、裏面に「此南鐐八十テモ不成小判一両」とある。また同図 22 の文政一分金の模造貨では、表面に「ニセ」、裏面に「光次（花押）」の文字を読み取ることができる。

建造物では、第 230 図 8 の祠、第 241 図 4 の三重塔、第 249 図 16 の城郭、第 247 図 3 の橋、第 249 図 17 の塀があり、第 234 図 7 は民家の屋根であろう。

遊具では、第 227 図 14 の土鈴、第 247 図 5 の鳩笛、第 242 図 15 の碁石状土製品は表面が黒彩される。面模は第 235 図 11 が鬼、第 242 図 13 が狐をモチーフとするものである。第 227 図 17 の泥面子は両面に意匠があり、芥子面は第 243 図 8 等があるが、いずれも数量は限定的である。

その他、土製の温石である第 242 図 16 には、丸枠に「熊」の押印がなされる。

第 227 図　土製品・ミニチュア（1）（1/2）

第 228 図　土製品・ミニチュア（2）（1/2）

第 229 図　土製品・ミニチュア（3）（1/2）

第 230 図　土製品・ミニチュア（4）（1/2）

第 231 図　土製品・ミニチュア（5）（1/2）

第 232 図　土製品・ミニチュア（6）（1/2）

第 233 図　土製品・ミニチュア（7）（1/2・1/3）

第 234 図　土製品・ミニチュア（8）（1/2）

第 235 図　土製品・ミニチュア（9）（1/2）

第 236 図　土製品・ミニチュア（10）（1/2）

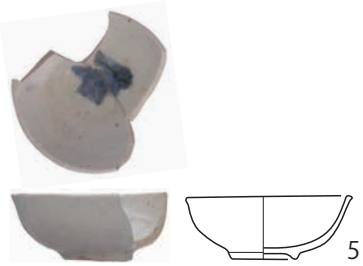
第 237 図　土製品・ミニチュア（11）（1/2）

第 238 図　土製品・ミニチュア（12）（1/2）

第 239 図　土製品・ミニチュア（13）（1/2）

B5086号

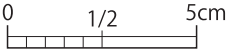
B2847号



B2883号

B2889号

B2895号



第 240 図　土製品・ミニチュア（14）（1/2）

第 241 図　土製品・ミニチュア（15）（1/2・1/4）

第 242 図　土製品・ミニチュア（16）（1/2）

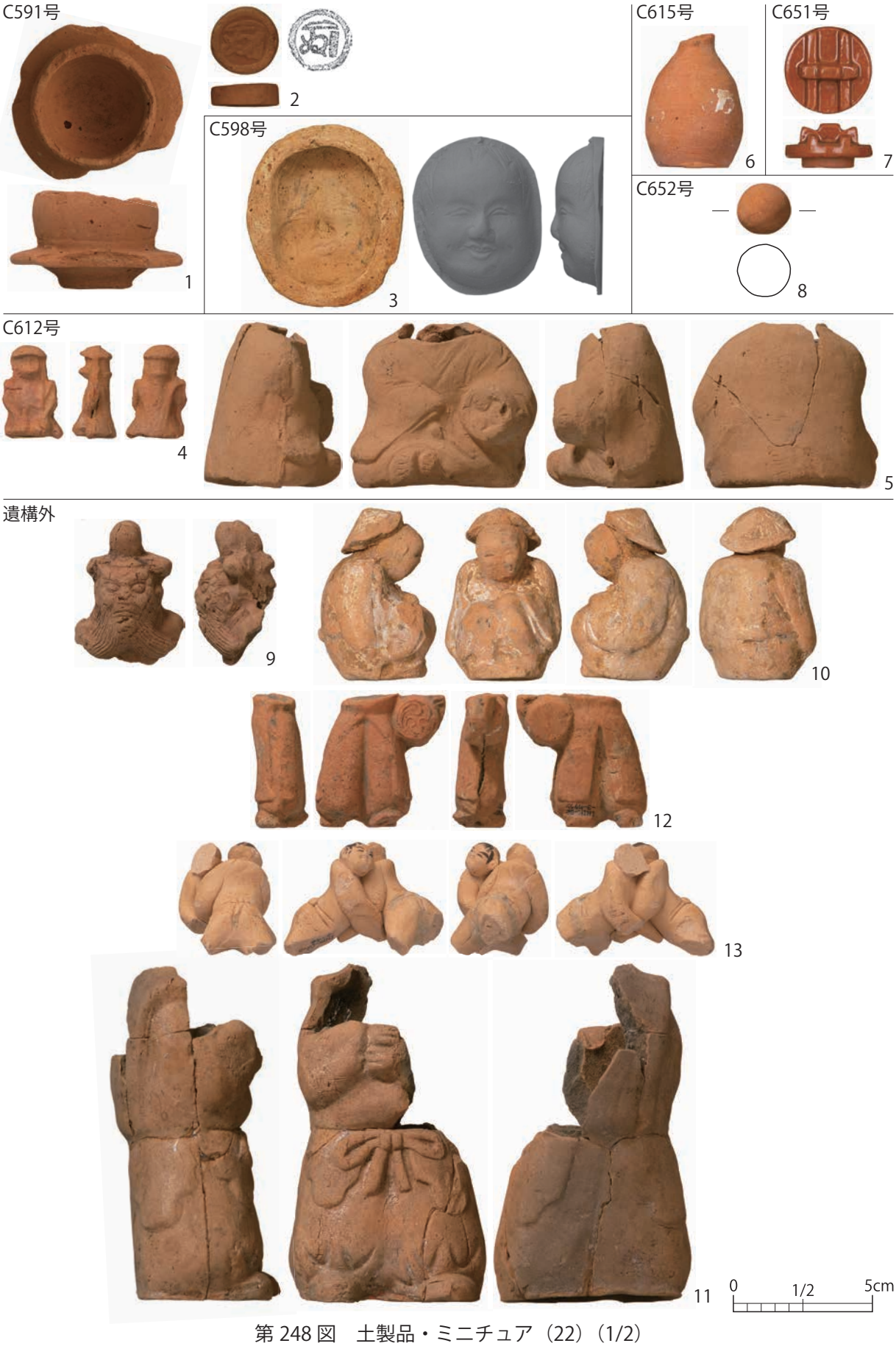
第 243 図　土製品・ミニチュア（17）（1/2）

第 244 図　土製品・ミニチュア（18）（1/2）

第 245 図　土製品・ミニチュア（19）（1/2）

第 246 図　土製品・ミニチュア（20）（1/2）

第 247 図　土製品・ミニチュア（21）（1/2）



第 248 図　土製品・ミニチュア（22）（1/2）

第 249 図　土製品・ミニチュア（23）（1/2）

遺構外

第 250 図　土製品・ミニチュア（24）（1/2・1/4）

第 76 表　土製品・ミニチュア観察表（1）

掲載番号		出土地点	材質	種別	器種 モチーフ	胎土色	残存率 (%)	法量 (mm)			重量 (g)	施釉・彩色	備考	整理 番号
挿図	番号							長さ	幅	厚み				
227	1	B44 号	土師質	人形	大仏	橙	70	〔44.8〕	〔42.2〕	〔30.4〕	24.6	鉄釉	背面に刻印「大」	211512
227	2	B44 号	陶器	器物	銚子	橙	100	52.5	32.4	30.0	21.2	透明釉・緑釉		211508
227	3	B165 号	磁器	器物	碗	白	50	25.0	15.0	10.0	2.6	染付		211520
227	4	B165 号	陶器	器物	鍋	灰白	40	60.0	29.7	24.0	15.1	鉄釉		211518
227	5	B171 号	磁器	器物	碗	白	70	34.0	18.0	14.0	5.3	透明釉		211526
227	6	B171 号	磁器	器物	碗	白	60	31.0	13.0	12.0	3.1	透明釉		211527
227	7	B171 号	土師質	器物	擂鉢	橙	40	(96.0)	36.0	50.0	32.4		底部外面に糸切り痕	211516
227	8	B171 号	土師質	建造物	塔	にぶい黄橙	20	50.3	〔20.0〕	〔51.8〕	34.1			211531
227	9	B294 号	土師質	器物	鉢	橙	90	36.0	25.0	19.0	12.2		底部外面に墨書「小」	212427
227	10	B367 号	磁器	器物	碗	白	100	28.0	16.0	16.0	8.1	透明釉		211550
227	11	B367 号	土師質	建造物	塔	にぶい橙	30	50.8	〔33.7〕	49.2	43.3			211545
227	12	B370 号	土師質	人形	男性座像	橙	100	41.5	45.0	27.6	20.9			211558
227	13	B371 号	土師質	器物	釜	橙	100	60.5	33.1	39.7	62.9			211556
227	14	B371 号	土師質	遊具	土鈴	浅黄橙	100	29.9	34.6	28.4	11.7		鳴子残存	211554
227	15	B411 号	土師質	動物形	猿	橙	70	〔25.8〕	32.6	〔23.8〕	9.8			211565
227	16	B449 号	陶器	器物	碗	灰白	50	(49.0)	30.0	25.0	18.8			210175
227	17	B514 号	土師質	遊具	泥面子	橙	100	27.8	27.7	9.5	7.6		蟹・桜花	210378
227	18	B527 号	土師質	動物形	猿	橙	50	〔35.5〕	〔38.7〕	〔25.5〕	12.0	キラ付着		210373
227	19	B588 号	土師質	人形	首人形	黒褐	90	〔28.6〕	41.6	〔27.9〕	21.3	キラ付着		211437
227	20	B588 号	土師質	器物	茶釜	にぶい橙	90	36.2	35.8	38.5	63.8		底部外面に糸切り痕	210179
227	21	B588 号	陶器	建造物	民家	灰白	10	〔42.5〕	〔41.8〕	—	9.6	透明釉		211580
228	1	B680 号	土師質	動物形	亀	灰白	100	53.4	20.7	75.2	21.0	水色釉・茶彩		210189
228	2	B755 号	土師質	人形	朝鮮通信使か	にぶい黄橙	20	〔30.2〕	〔33.9〕	〔22.5〕	10.8			210386
228	3	B868 号	土師質	器物	蓋	橙	80	〔52.3〕	60.4	8.2	18.7	キラ付着		210264
228	3	B808 号	土師質	人形	恵比寿	橙	100	44.0	58.9	32.9	39.6			210731
228	4	B808 号	土師質	人形	大黒天	にぶい黄橙	90	32.0	55.6	24.8	29.7	キラ付着		210785
228	5	B808 号	土師質	人形	唐子	橙	40	〔36.6〕	〔41.3〕	〔27.5〕	19.0			211401
228	6	B808 号	土師質	人形	天神	にぶい黄橙	80	36.4	〔28.7〕	20.8	16.3	透明釉		210219
228	7	B808 号	陶器	人形	坊主人形	灰白	70	〔43.6〕	(51.8)	〔52.7〕	74.0			210192
228	8	B808 号	土師質	人形	不明	橙	80	46.9	〔45.5〕	31.1	41.3	キラ付着		211402
228	9	B808 号	土師質	動物形	猿	橙	30	〔33.5〕	〔43.8〕	〔50.8〕	39.8			210788
228	10	B808 号	土師質	動物形	犬	橙	40	〔48.1〕	〔60.8〕	50.4	45.5			211403
228	11	B808 号	土師質	動物形	犬	浅黄橙	100	9.9	13.0	16.3	0.6	鉄釉		210382
228	12	B808 号	磁器	器物	蓋物	灰白	50	(46.0)	14.0	〔24.0〕	8.4	染付		211430
228	13	B808 号	土師質	器物	皿	浅黄橙	100	35.7	12.8	22.5	8.3	透明釉・緑釉		210205
228	14	B808 号	陶器	器物	皿	浅黄橙	100	27.9	8.4	17.0	4.0	透明釉・緑釉		210739
228	15	B808 号	陶器	器物	皿	灰白	20	—	〔12.1〕	23.0	10.3	赤色	花弁文	210771
228	16	B808 号	土師質	器物	蓋	橙	100	40.8	41.9	8.1	8.2	キラ付着		210786
228	17	B808 号	土師質	器物	茶釜	橙	90	36.0	37.7	36.5	63.1		底部外面に糸切り痕	210767
228	18	B808 号	土師質	器物	釜	橙	90	47.0	34.0	38.0	55.4		底部外面に糸切り痕	210774
228	19	B808 号	土師質	建造物	塔	橙	30	〔34.5〕	〔51.2〕	〔32.3〕	33.2			210193
229	1	B868 号	土師質	人形	面持ち童子	橙	80	49.9	〔57.0〕	32.4	41.7	キラ付着		210265
229	2	B868 号	土師質	人形	犬抱き童子	にぶい褐	80	41.1	〔36.3〕	29.7	21.1	キラ付着		210266
229	4	B884 号	土師質	建造物	塔	橙	70	〔56.6〕	〔91.6〕	〔57.1〕	163.1			210268
229	5	B889 号	土師質	人形	西行	橙	70	〔54.9〕	〔94.7〕	〔57.3〕	155.8			210260
229	6	B889 号	磁器	動物形	兎	白	100	15.6	30.0	36.9	11.6	染付	底面に円孔 2 ヶ所	210262
229	7	B889 号	土師質	動物形	鳩	橙	80	〔33.0〕	〔28.1〕	〔68.3〕	27.8			210237
229	8	B889 号	陶器	建造物	民家	浅黄橙	屋根	41.3	60.5	11.2	7.3	透明釉・緑釉		210261
229	9	B890 号	土師質	人形	袴人形	橙	70	97.9	108.7	65.0	121.8			210036
229	10	B890 号	土師質	人形	翁	橙	10	〔29.2〕	〔37.5〕	〔22.7〕	12.2			210044
229	11	B890 号	土師質	人形	女性	橙	20	〔24.8〕	〔24.8〕	〔21.5〕	5.5			210033
229	12	B890 号	土師質	人形	唐子	橙	30	〔49.7〕	〔52.1〕	〔55.4〕	28.2			210024
229	13	B890 号	土師質	人形	騎馬武者	浅黄橙	80	〔13.6〕	〔28.6〕	〔33.1〕	6.6			210122
230	1	B890 号	土師質	人形	姉様	にぶい橙	80	70.5	〔55.9〕	41.7	55.0			210023
230	2	B890 号	土師質	人形	籠持ち座像	橙	90	26.2	〔24.5〕	21.3	8.9		籠を抱える	210127
230	3	B890 号	土師質	動物形	犬	橙	90	20.9	28.6	26.4	7.3	キラ付着		210126
230	4	B890 号	土師質	動物形	亀	浅黄橙	80	28.0	13.1	〔37.6〕	7.5	キラ付着		210123
230	5	B890 号	土師質	動物形	鯉	浅黄橙	80	〔20.1〕	〔26.8〕	〔91.9〕	9.5			210116
230	6	B890 号	土師質	器物	蓋	橙	90	55.4	54.6	9.4	21.0	キラ付着		210137
230	7	B890 号	土師質	建造物	祠	にぶい橙	30	〔54.5〕	〔63.8〕	〔62.4〕	58.9			210037
230	8	B895 号	土師質	動物形	鴛鴦	灰白	80	35.2	35.9	53.8	8.8		遺構間接合	210250
230	9	B899 号	土師質	器物	火鉢	浅黄橙	50	22.0	21.0	30.0	15.6			210407
230	10	B924 号	土師質	人形	天神	橙	80	25.1	〔25.0〕	〔10.3〕	3.7	透明釉		210384
230	11	B964 号	土師質	人形	西行	にぶい橙	90	63.4	141.9	58.8	198.5	キラ付着		210190
230	12	B1027 号	土師質	遊具	鈴	浅黄橙	90	28.4	29.1	33.9	11.5		鳴子欠損	210287
230	13	B1041 号	土師質	建造物	祠	にぶい橙	90	72.9	91.4	70.9	161.4		遺構間接合	210267
231	1	B1100 号	土師質	器物	碗	橙	100	36.0	25.0	16.0	13.0			210372
231	2	B1132 号	土師質	動物形	狸か	にぶい橙	80	27.5	60.3	〔38.9〕	30.5			210147
231	3	B1132 号	陶器	動物形	水鳥	褐	100	11.9	18.2	19.7	1.7	灰釉・鉄釉		211458
231	4	B1132 号	土師質	器物	蓋	橙	70	59.9	46.9	7.4	15.4	キラ付着		210145
231	5	B1132 号	土師質	器物	蓋	橙	80	40.2	36.9	7.4	5.9			210144
231	6	1133 号	土師質	器物	蓋か	にぶい褐	100	23.4	22.8	8.1	4.4	透明釉		210391
231	7	B1148 号	土師質	人形	姉様	橙	80	96.6	91.9	〔42.7〕	62.7			210163

第 77 表　土製品・ミニチュア観察表（2）

掲載番号		出土地点	材質	種別	器種 モチーフ	胎土色	残存率 (%)	法量 (mm)			重量 (g)	施釉・彩色	備考	整理 番号
挿図	番号							長さ	幅	厚み				
231	8	B1159 号	土師質	動物形	鳩	橙	100	〔32.0〕	〔44.3〕	82.3	43.8			210292
231	9	B1159 号	磁器	器物	碗	白	50	35.0	22.0	13.0	7.1	染付		211435
231	10	B1159 号	磁器	器物	碗	白	50	(35.0)	20.0	(13.0)	5.3	染付		211434
231	11	B1159 号	陶器	器物	水注	灰白	80	26.0	53.8	25.0	24.8	灰釉・赤色		211436
231	12	B1190 号	磁器	器物	蓋	白	100	16.8	13.0	10.5	1.9	染付		210388
231	13	B1424 号	土師質	人形	不明	にぶい橙	80	〔24.7〕	〔26.4〕	15.2	5.8	キラ付着		210544
231	14	B1424 号	陶器	建造物	橋	橙	80	〔46.0〕	〔71.4〕	〔14.5〕	31.2	鉄釉		210543
231	15	B1425 号	陶器	器物	鉢	浅黄橙	40	(36.0)	12.6	(21.0)	4.3	透明釉・緑釉		210545
231	16	B1445 号	磁器	人形	不明	にぶい黄橙	80	〔28.2〕	〔38.5〕	〔22.5〕	16.1	灰釉・鉄釉・染付		210508
231	17	B1445 号	土師質	人形	大黒	にぶい橙	70	〔82.4〕	〔86.6〕	〔51.4〕	124.1	キラ付着		210419
232	1	B1445 号	土師質	人形	不明	にぶい橙	60	〔60.8〕	〔108.4〕	〔48.3〕	106.2			210417
232	2	B1445 号	土師質	人形	女性立像	にぶい黄橙	90	〔43.2〕	〔82.0〕	〔25.7〕	49.5	キラ付着	底面に円孔 1 ヵ所	210434
232	3	B1445 号	土師質	動物形	猿か	にぶい橙	80	〔60.9〕	〔99.3〕	〔51.1〕	155.5			210413
232	4	B1445 号	陶器	動物形	猿	にぶい橙	100	23.1	40.5	20.4	14.1	透明色	底面に円孔 1 ヵ所	210487
232	5	B1445 号	陶器	動物形	猿	にぶい橙	80	31.1	〔26.8〕	31.6	13.7	鉄釉		210501
232	6	B1445 号	土師質	動物形	狐	にぶい橙	50	〔51.3〕	87.9	〔64.8〕	101.9			210421
232	7	B1445 号	陶器	動物形	犬	浅黄橙	90	〔14.2〕	25.8	28.2	4.4	灰釉・鉄釉		210503
232	8	B1445 号	陶器	動物形	犬	にぶい褐	100	15.9	17.9	28.6	7.0	灰釉・鉄釉		210432
232	9	B1445 号	陶器	動物形	亀	灰白	100	36.1	17.8	50.2	85.0	灰釉		210428
232	10	B1445 号	陶器	動物形	亀	灰白	90	38.2	〔16.6〕	〔48.7〕	8.6	鉄釉		210502
233	1	B1445 号	土師質	動物形	鳥	にぶい橙	60	104.6	〔99.7〕	〔171.5〕	591.5		底面に円孔 1 ヵ所	210618
233	2	B1445 号	磁器	器物	碗	白	90	39.0	24.0	14.0	11.8	染付		211472
233	3	B1445 号	磁器	器物	碗	白	100	34.0	21.0	12.0	10.3	染付		211478
233	4	B1445 号	磁器	器物	碗	白	100	32.0	14.0	13.0	6.4	透明釉		211471
233	5	B1445 号	磁器	器物	碗	白	100	29.0	15.0	12.0	4.5	透明釉		211473
233	6	B1445 号	磁器	器物	皿	白	90	47.0	15.2	21.0	11.2	染付		211475
233	7	B1445 号	磁器	器物	皿	白	80	44.5	18.0	19.5	9.2	染付		211477
233	8	B1445 号	磁器	器物	皿	白	70	46.5	15.5	20.0	8.1	染付		211476
233	9	B1445 号	磁器	器物	皿	白	90	42.0	14.4	20.5	9.3	染付		211474
233	10	B1445 号	陶器	器物	鉢	灰白	70	(51.0)	24.4	27.5	16.4	透明釉・緑釉		210485
233	11	B1445 号	陶器	器物	皿	浅黄橙	90	56.0	18.1	23.0	27.8	透明釉・緑釉		210483
233	12	B1445 号	陶器	器物	皿	浅黄橙	80	60.0	14.9	31.0	24.4	透明釉・緑釉		210482
233	14	B1445 号	陶器	器物	鍋	灰白	90	89.5	52.3	40.0	77.5	鉄釉		211470
233	15	B1445 号	土師質	器物	竈	橙	30	〔51.3〕	〔91.1〕	〔98.4〕	161.5		花弁文	210409
233	16	B1445 号	土師質	器物	蓋	にぶい橙	90	54.9	56.0	11.3	20.9			210635
233	17	B1445 号	陶器	建造物	舟	灰白	70	35.2	〔17.7〕	〔68.8〕	8.5	灰釉		210427
234	1	B1475 号	陶器	人形	お茶を注ぐ女性	にぶい黄橙	90	〔79.6〕	117.6	64.9	94.1	灰釉・鉄釉・金彩	背面に円孔 1 ヵ所	210548
234	2	B1475 号	陶器	人形	布袋	にぶい黄橙	90	64.4	59.1	56.5	660	灰釉・鉄釉・呉須絵		210549
234	3	B1475 号	土師質	人形	西行	にぶい橙	50	68.9	〔50.2〕	45.0	44.7	黒彩		210550
234	4	B1505 号	土師質	人形	西行	橙	70	〔33.3〕	〔70.2〕	〔33.3〕	40.9			210553
234	5	B1505 号	陶器	人形	猿を抱く人	灰白	70	〔82.4〕	〔42.7〕	〔47.6〕	68.9	赤彩		210554
234	6	B1505 号	陶器	動物形	犬	浅黄橙	80	〔16.3〕	〔20.3〕	〔23.3〕	3.7	鉄釉		210568
234	7	B1520 号	土師質	建造物	瓦屋根	にぶい橙	90	〔105.0〕	〔35.9〕	〔81.9〕	191.8			210570
234	8	B1522 号	土師質	人形	籠持ち座像	にぶい黄橙	70	30.8	〔27.0〕	18.7	8.8		底面に円孔 1 ヵ所	210595
234	9	B1522 号	土師質	動物形	犬	浅黄橙	100	16.4	40.8	23.3	9.1	キラ付着		210587
234	10	B1522 号	土師質	器物	太鼓	にぶい黄橙	30	(54.0)	34.0	(54.0)	10.2			210598
234	11	B1523 号	陶器	器物	皿	浅黄橙	90	〔65.5〕	18.6	11.5	21.7	透明釉・緑釉		210637
234	12	B1523 号	陶器	器物	瓶	灰白	80	—	〔42.7〕	25.0	21.0	透明釉・緑釉		210636
235	1	B1533 号	土師質	動物形	亀	橙	100	31.2	16.3	54.2	11.4			210644
235	2	B1536 号	陶器	器物	瓶	にぶい黄橙	80	—	〔66.9〕	37.8	69.6			210647
235	3	B1926 号	磁器	動物形	鶏	白	20	〔28.6〕	〔65.1〕	〔53.9〕	28.1	透明釉・呉須絵		210667
235	4	B1956 号	土師質	器物	掛花生	橙	100	15.0	27.0	16.0	8.1			210668
235	5	B1963 号	土師質	人形	裃人形	橙	60	99.3	87.5	42.9	62.9			210678
235	6	B1963 号	土師質	人形	男性立像	にぶい橙	80	26.0	〔44.3〕	18.8	15.5	キラ付着		210682
235	7	B1963 号	土師質	器物	茶釜	にぶい橙	90	34.5	34.5	42.4	73.2			210676
235	8	B1979 号	磁器	器物	碗	白	60	35.0	17.0	14.0	4.1	透明釉		211579
235	9	B2086 号	土師質	動物形	鶏	橙	80	46.7	〔72.1〕	75.5	67.7			210691
235	10	B2086 号	土師質	器物	釜	にぶい橙	80	(50.0)	33.3	37.0	60.2			210694
235	11	B2086 号	土師質	遊具	面摸（鬼）	橙	100	64.6	55.2	24.0	47.9			210690
235	12	B2151 号	磁器	器物	蓋	白	100	25.4	8.1	19.0	3.1	透明釉・赤彩		210704
235	13	B2223 号	土師質	器物	鍋	にぶい橙	40	(79.0)	32.0	50.0	33.2			210719
235	14	B2223 号	土師質	器物	蓋	橙	90	59.4	57.0	10.7	18.8			210715
235	15	B2223 号	土師質	器物	蓋	橙	70	〔56.8〕	〔53.8〕	8.8	13.8	キラ付着		210720
236	1	B2234 号	土師質	器物	蓋	灰白	90	24.7	25.2	14.5	5.1	緑釉		210723
236	2	B2236 号	土師質	器物	瓶	灰白	70	—	47.1	24.5	18.1	緑釉		210724
236	3	B2292 号	土師質	遊具	碁石形土製品	にぶい橙	100	24.0	22.3	6.7	3.2	黒彩		210813
236	4	B2292 号	土師質	遊具	碁石形土製品	橙	100	20.3	20.7	6.6	2.3			212292
236	5	B2305 号	土師質	人形	唐子	橙	80	〔18.9〕	33.3	13.4	4.8	キラ付着	底面に円孔 1 ヵ所	210818
236	6	B2305 号	土師質	器物	ちろり	にぶい黄橙	70	〔28.0〕	〔51.2〕	29.5	34.2			210820
236	7	B2351 号	陶器	人形	虚無僧	浅黄橙	60	〔30.9〕	54.9	19.3	19.5	透明釉・緑釉		210829

第 78 表　土製品・ミニチュア観察表（3）

掲載番号		出土地点	材質	種別	器種 モチーフ	胎土色	残存率 (%)	法量 (mm)			重量 (g)	施釉・彩色	備考	整理 番号
挿図	番号							長さ	幅	厚み				
236	8	B2381 号	磁器	人形	虚無僧	白	70	〔71.6〕	206.8	50.5	142.7	透明釉・上絵付		210840
236	9	B2381 号	土師質	人形	天神	橙	70	〔39.0〕	〔35.4〕	15.4	15.9			210843
236	10	B2381 号	土師質	動物形	猿	橙	80	〔35.0〕	69.0	29.0	36.0		底面に円孔 1 ヵ所	210841
236	11	B2383 号	土師質	器物	擂鉢	橙	40	(134.0)	52.0	70.0	103.3			210855
236	12	B2383 号	土師質	器物	蓋	橙	60	43.8	〔31.6〕	8.8	6.9	キラ付着		210858
237	1	B2389 号	土師質	人形	西行	橙	30	〔64.5〕	〔98.3〕	〔53.0〕	95.7	キラ付着		210865
237	2	B2394 号	土師質	人形	恵比寿	橙	60	〔68.7〕	140.5	〔71.5〕	230.9	キラ付着	遺構間接合（B2394・B2399・B2501）	210884
237	3	B2394 号	陶器	器物	皿	にぶい橙	40	—	〔14.6〕	28.0	12.2	透明釉・緑釉	口縁部打ち欠き	210887
237	4	B2394 号	土師質	器物	蓋	橙	90	44.1	44.9	8.0	10.0			210889
237	5	B2400 号	土師質	器物	蓋	橙	60	〔58.8〕	〔51.2〕	10.2	17.9	キラ付着		210904
237	6	B2399 号	土師質	器物	茶釜	にぶい橙	30	—	〔48.7〕	(54.0)	32.2			210892
237	7	B2399 号	陶器	建造物	塔	橙	50	〔33.0〕	〔47.8〕	〔33.4〕	46.0	鉄釉		210894
237	8	B2462 号	土師質	動物形	鳥か	橙	70	(17.7)	〔33.7〕	〔62.4〕	21.8			210931
237	9	B2462 号	陶器	器物	銚子	浅黄橙	40	(50.0)	33.3	(34.0)	15.1	透明釉・緑釉		210925
237	10	B2462 号	土師質	器物	蓋	にぶい橙	50	40.4	〔24.3〕	7.0	5.8			210928
237	11	B2501 号	陶器	人形	尼か	灰白	100	23.5	57.9	19.9	17.2	灰釉		210940
237	12	B2540 号	土師質	人形	西行	にぶい橙	70	42.4	〔38.7〕	〔37.1〕	41.6		底面に円孔 1 ヵ所	210944
237	13	B2554 号	土師質	人形	大黒天	橙	100	20.9	26.2	20.7	8.0		底面に円孔 1 ヵ所	210945
238	1	B2562 号	陶器	器物	鉢	灰白	90	32.0	10.8	18.0	5.7	透明釉・緑釉	底部穿孔	210947
238	2	B2562 号	土師質	器物	蓋	にぶい橙	100	44.0	42.7	9.6	11.0	キラ付着		210946
238	3	B2583 号	土師質	器物	竈	橙	20	〔60.8〕	〔93.0〕	〔69.4〕	110		刻印（花弁文）	210949
238	4	B2687 号	土師質	器物	茶釜	橙	90	16.0	19.8	27.0	14.2			210994
238	5	B2736 号	土師質	動物形	鯉に乗る猿か	橙	50	〔31.7〕	〔39.5〕	〔102.3〕	66.0			211160
238	6	B2748 号	土師質	動物形	猿	にぶい橙	80	〔30.2〕	57.2	29.9	34.7		底面に円孔 1 ヵ所	211004
238	7	B2748 号	土師質	動物形	蝉	橙	20	〔28.8〕	〔28.1〕	〔9.7〕	4.5			211008
238	8	B2748 号	土師質	動物形	鯉	橙	100	12.3	19.4	42.2	5.1			211005
238	9	B2748 号	磁器	器物	碗	白	100	37.0	19.0	15.0	8.3	染付		211591
238	10	B2748 号	磁器	器物	碗	白	100	36.0	19.0	15.0	8.7	染付		211592
238	11	B2748 号	磁器	器物	碗	白	70	35.0	19.0	14.0	7.1	染付		211593
238	12	B2748 号	磁器	器物	碗	白	100	34.0	17.0	12.0	5.7	透明釉		211595
238	13	B2761 号	陶器	動物形	猿	浅黄橙	100	22.6	36.9	18.2	13.6	飴釉		211021
238	14	B2769 号	陶器	動物形	亀	にぶい橙	70	48.0	35.3	64.4	26.4	緑釉	中空	211024
238	15	B2776 号	土師質	動物形	猿	橙	80	〔38.1〕	〔54.0〕	〔35.2〕	34.7		底面に円孔 1 ヵ所	211041
238	16	B2776 号	土師質	器物	鉢	浅黄橙	90	30.0	13.0	18.0	8.1	透明釉		211043
238	17	B2777 号	土師質	動物形	猿	浅黄橙	80	〔38.8〕	61.7	44.3	51.1		底面に円孔 1 ヵ所	211053
238	18	B2777 号	土師質	動物形	亀	浅黄橙	90	40.4	18.7	〔46.9〕	13.8			211050
238	19	B2777 号	土師質	器物	壺	橙	30	(30.9)	(30.4)	—	10.4	透明釉		211055
238	20	B2777 号	土師質	建造物	祠	橙	20	〔45.0〕	〔39.7〕	〔44.5〕	34.3			211052
239	1	B2789 号	陶器	人形	西行	灰白	90	〔44.4〕	55.1	〔42.9〕	50.5	透明釉・緑釉		211073
239	2	B2796 号	陶器	人形	大黒天	橙	100	21.1	30.5	11.4	4.2	透明釉	底面に円孔 1 ヵ所	211083
239	3	B2803 号	磁器	器物	皿	白	80	43.6	15.0	26.0	12.3	染付		211600
239	4	B2806 号	磁器	器物	碗	白	50	(24.0)	18.0	15.0	4.2	染付		211100
239	5	B2843 号	陶器	人形	男性立像	灰白	70	〔29.8〕	〔59.3〕	〔24.8〕	26.5	灰釉・緑釉		211110
239	6	B2843 号	陶器	動物形	傘を持つ猿	灰白	70	〔31.7〕	〔34.7〕	〔29.7〕	19.1	透明釉・緑釉		211111
239	7	B2843 号	磁器	器物	皿	白	100	60.5	15.9	34.5	13.7	透明釉		211107
239	8	B2843 号	土師質	器物	蓋	橙	100	29.1	29.8	10.7	4.6			211112
239	9	B5086 号	土師質	人形	西行	にぶい橙	80	〔55.4〕	〔120.8〕	〔47.8〕	191.2	キラ付着	正面・底面に円孔	211353
239	10	B5086 号	土師質	人形	不明	淡橙	60	〔26.4〕	〔40.1〕	〔15.3〕	10.7	キラ付着		211363
239	11	B5086 号	土師質	人形	西行	浅黄橙	80	〔34.6〕	〔66.5〕	〔29.5〕	49.9	キラ付着		211354
239	12	B5086 号	土師質	人形	西行	にぶい橙	80	〔52.5〕	〔54.2〕	〔37.0〕	54.4			211356
239	13	B5086 号	土師質	動物形	狛犬か	にぶい橙	30	〔47.2〕	〔50.5〕	〔54.5〕	102.9			211352
239	14	B5086 号	磁器	器物	碗	白	100	25.0	16.0	9.0	5.5	染付		211428
239	15	B5086 号	磁器	器物	香炉	白	30	(36.0)	31.0	(16.0)	10.5	染付		211341
239	16	B5086 号	土師質	器物	壺	浅黄橙	100	19.0	29.0	19.0	25.6			211371
239	17	B5086 号	土師質	器物	銚子	にぶい黄橙	100	49.7	〔15.4〕	29.0	15.4		内面に煤付着	211370
239	18	B5086 号	土師質	器物	茶釜	橙	90	—	〔19.0〕	30.0	13.0			211376
240	1	B5086 号	土師質	建造物	祠	橙	30	〔70.3〕	〔41.9〕	〔75.6〕	101.0			211366
240	2	B2847 号	陶器	人形	虚無僧	にぶい橙	90	20.1	〔52.1〕	〔19.8〕	16.9	灰釉・鉄釉		211123
240	3	B2847 号	土師質	人形	大黒天	にぶい黄橙	60	〔52.8〕	〔60.7〕	〔41.8〕	71.8			211122
240	4	B2847 号	陶器	動物形	馬	橙	80	〔34.4〕	〔54.4〕	〔70.9〕	48.4	透明釉	荷馬	211124
240	5	B2847 号	磁器	器物	碗	白	60	42.0	17.0	16.5	6.5	染付		211582
240	6	B2883 号	土師質	人形	面持ち童子	にぶい橙	100	47.6	59.5	41.8	70.9		底面に円孔 1 ヵ所	211138
240	7	B2883 号	土師質	動物形	猿	橙	90	27.3	〔44.9〕	17.3	10.5	キラ付着		211139
240	8	B2883 号	土師質	器物	茶釜	橙	90	40.0	40.8	40.0	78.1			211136
240	9	B2889 号	土師質	人形	天神	橙	80	38.4	〔28.8〕	26.7	21.8			211146
240	10	B2895 号	土師質	人形	姉様	橙	90	66.5	〔74.8〕	41.5	42.4			211154
240	11	B2895 号	土師質	人形	首人形	にぶい橙	90	19.9	36.6	17.5	7.0		底面に円孔 1 ヵ所	211155
241	1	B2952 号	土師質	動物形	鳥	浅黄橙	90	36.1	71.1	〔75.8〕	41.5	白泥	鳴子残存	211163
241	2	B2952 号	土師質	器物	竈	橙	80	195.1	98.7	162.2	1034.5			211169
241	3	B2952 号	土師質	器物	蓋	にぶい橙	80	59.8	59.6	10.4	21.3	キラ付着		211161
241	4	B3023 号	土師質	建造物	塔	にぶい橙	90	35.2	99.7	34.9	83.5	キラ付着	底面に円孔 1 ヵ所	211185
241	5	B3025 号	陶器	人形	唐子	白	90	72.6	79.9	〔53.4〕	81.0	透明釉・鉄釉	両肩に円孔	211231

第 79 表　土製品・ミニチュア観察表（4）

掲載番号		出土地点	材質	種別	器種 モチーフ	胎土色	残存率 (%)	法量 (mm)			重量 (g)	施釉・彩色	備考	整理 番号
挿図	番号							長さ	幅	厚み				
241	6	B3025 号	土師質	動物形	馬	橙	90	27.7	43.0	76.8	33.6		底面に円孔 3 ヵ所	211228
241	7	B3025 号	土師質	動物形	鶏	橙	80	28.4	57.5	〔53.1〕	30.7		底面・側面に円孔	211233
241	8	B3025 号	陶器	器物	土瓶	灰白	80	26.5	39.7	30.5	25.5	緑釉		211225
242	1	B3025 号	陶器	器物	釜	浅黄橙	90	21.0	18.4	10.5	5.4	透明釉		211235
242	2	B3025 号	土師質	器物	臼か	灰白	60	21.0	26.0	21.0	17.4			211243
242	3	B3025 号	陶器	器物	蓋	橙	100	25.3	9.8	15.5	3.8	赤彩		211239
242	4	B3025 号	土師質	遊具	泥面子	橙	100	26.1	25.3	6.9	4.6		鼠	211250
242	5	B3025 号	土師質	遊具	碁石形土製品	橙	100	21.5	21.0	5.4	2.1			212293
242	6	B3223 号	陶器	動物形	獅子	灰白	40	〔40.0〕	〔72.8〕	44.6	35.6	鉄釉	背面に円孔 1 ヵ所	211193
242	7	B3223 号	磁器	器物	鉢	白	50	43.0	19.0	16.0	7.2	透明釉		211583
242	8	B3223 号	磁器	器物	皿	白	90	59.5	15.6	37.0	12.6	透明釉		211584
242	9	B5022 号	磁器	器物	碗	灰白	50	(27.0)	15.0	18.0	3.9	白釉		211318
242	10	B5074 号	磁器	器物	碗	白	30	47.5	19.7	20.0	6.9	染付		211500
242	11	B5074 号	磁器	器物	碗	白	100	43.0	17.0	16.0	11.8	透明釉		211499
242	12	B5082 号	陶器	器物	蓋	橙	100	47.4	46.9	12.3	12.5	透明釉		211335
242	13	B5082 号	土師質	遊具	面摸（狐）	橙	100	48.6	55.8	24.0	29			211333
242	14	B5082 号	土師質	遊具	碁石形土製品	橙	100	21.0	20.5	5.4	2.1			212318
242	15	B5082 号	土師質	遊具	碁石形土製品	にぶい橙	100	21.0	20.5	5.6	2.2	黒彩		212319
242	16	B5112 号	土師質	温石		にぶい黄橙	100	85.0	60.0	15.0	120.7		刻印：○に熊	212439
242	17	B5131 号	磁器	器物	碗	白	100	34.0	18.0	14.0	7.3	透明釉		211404
242	18	C16 号	土師質	遊具	土玉	にぶい黄褐	100	12.0	12.0	11.8	1.3			211681
242	19	C16 号	土師質	遊具	土玉	にぶい黄褐	100	10.5	10.2	11.0	0.6			212282
242	20	C16 号	土師質	遊具	土玉	にぶい黄褐	100	8.0	8.0	7.5	0.3			212287
242	21	C16 号	土師質	遊具	土玉	にぶい黄褐	100	7.5	7.0	7.0	0.2			212289
242	22	C244 号	土師質	動物形	笠をかぶる猿	にぶい橙	90	35.8	(60.1)	41.1	34.7			211626
242	23	C244 号	瓦質	動物形	鯉	灰白	90	24.1	23.9	〔50.6〕	11.5			211679
242	24	C244 号	陶器	器物	皿	白	30	—	〔33.8〕	(31.8)	4.0	緑釉・黄釉	底部外面に刻印「京」「万」	211619
242	25	C244 号	土師質	器物	鉢	灰白	90	47.5	20.8	20.2	14.6	緑釉		211614
242	26	C244 号	土師質	器物	土瓶	灰白	100	23.6	40.9	29.1	44.1	緑釉		211612
243	1	C244 号	土師質	器物	焜炉	にぶい橙	30	60.3	86.6	〔10.9〕	55.2			211652
243	2	C244 号	土師質	器物	蓋	橙	100	53.1	52.7	10.0	23.3			211649
243	3	C244 号	土師質	器物	蓋か	橙	100	21.3	19.3	21.3	4.1			211650
243	4	C244 号	土師質	建造物	塔	橙	80	36.3	70.1	38.0	40.6			211658
243	5	C244 号	土師質	建造物	祠	橙	70	31.2	〔30.2〕	18.9	10.9			211659
243	6	C244 号	土師質	遊具	碁石形石製品	橙	100	21.2	20.0	5.1	1.9			211677
243	7	C244 号	土師質	遊具	碁石形土製品	にぶい橙	100	18.5	18.5	6.0	1.8	黒彩		212418
243	8	C244 号	土師質	遊具	芥子面	橙	100	18.5	15.0	6.0	1.4			212266
243	9	C244 号	土師質	遊具	芥子面	橙	100	17.5	16.5	7.0	1.4	キラ付着	意匠不明	211678
243	10	C250 号	陶器	人形	天神	灰白	100	47.8	59.2	29.2	35.5	鉄釉	底面に円孔 1 ヵ所	211653
243	11	C251 号	土師質	人形	天神	橙	80	27.5	21.0	6.5	2.6			211868
243	12	C251 号	土師質	人形	恵比寿	にぶい橙	90	27.1	41.6	22.5	14.9			211866
243	13	C251 号	土師質	人形	大黒天	にぶい橙	100	26.2	38.7	27.2	17.4			211871
243	14	C251 号	陶器	人形	西行	浅黄橙	80	42.9	58.0	43.2	52.5	緑釉・鉄釉		211821
243	15	C250 号	陶器	人形	西行か	灰白	80	51.2	〔48.2〕	41.4	54.2	緑釉・鉄釉		211654
243	16	C251 号	土師質	人形	組相撲	橙	80	93.9	112.0	60.1	143.3			211857
244	1	C251 号	土師質	動物形	猿	橙	80	37.9	〔54.2〕	38.7	25.2			211773
244	2	C251 号	土師質	動物形	馬	橙	100	29.8	39.0	78.8	30.0		底面に円孔 4 か所	211764
244	3	C251 号	土師質	動物形	馬	にぶい橙	80	31.8	〔72.2〕	59.9	59.7	白泥・赤彩		211763
244	4	C251 号	土師質	動物形	蛸	にぶい橙	100	31.9	31.3	12.0	6.6	キラ付着		211825
244	5	C250 号	土師質	動物形	魚	にぶい黄橙	90	22.0	21.8	53.1	10.3			211759
244	6	C250・253 号	磁器	器物	碗	白	100	20.0	10.0	8.0	3.0	透明釉		212269
244	7	C251 号	陶器	器物	鉢	灰白	70	44.0	23.0	18.0	13.7	緑釉		211844
244	8	C251 号	陶器	器物	碗	灰白	50	32.0	16.0	13.0	5.0	緑釉		211848
244	9	C251 号	陶器	器物	碗	灰白	100	40.0	32.0	20.0	24.6	灰釉		211843
244	10	C251 号	陶器	器物	鉢	灰白	50	(58.0)	17.7	22.8	7.7	透明釉・緑釉・鉄釉・赤彩		211835
244	11	C251 号	陶器	器物	皿	浅黄橙	60	(80.0)	15.8	36.8	16.5	鉄釉・赤彩	底部外面に刻印「樂」	211839
244	12	C250 号	陶器	器物	皿	灰白	80	53.9	〔17.7〕	31.8	28.2	緑釉		211696
244	13	C251 号	陶器	器物	瓶	浅黄橙	100	8.0	54.7	26.0	24.5	緑釉		211852
244	14	C251 号	陶器	器物	鉄瓶	灰白	90	22.0	23.6	15.5	19.9	透明釉・鉄釉		211830
244	15	C251 号	陶器	器物	擂鉢	灰白	50	68.0	29.0	34.0	26.8	鉄釉		211815
244	16	C251 号	陶器	器物	瓶掛	灰白	60	(56.0)	49.5	44.8	34.8	灰釉・緑釉		211806
244	17	C250 号	土師質	器物	釜	橙	100	22.0	18.4	8.5	10.1			211699
244	18	C251 号	陶器	器物	蓋	灰白	100	24.1	7.9	24.6	2.0	緑釉		211828
244	19	C250 号	土師質	器物	蓋	灰白	100	27.7	11.2	28.4	3.3			211697
244	20	C251 号	土師質	器物	蓋	橙	100	33.6	33.2	6.0	5.4	白泥		211827
244	21	C250 号	土師質	器物	銭貨	にぶい黄橙	100	16.3	24.3	2.4	1.4	キラ付着	表面「銀座常賣」、裏面「此南鐐八十テモ不成小判一両」	211708
244	22	C251 号	土師質	器物	銭貨	橙	100	13.0	24.8	2.5	1.1	キラ付着	表面「ニセ」、裏面「光次（花押）」/ 文政一分金模造貨	212225

第 80 表　土製品・ミニチュア観察表（5）

掲載番号		出土地点	材質	種別	器種 モチーフ	胎土色	残存率 (%)	法量 (mm)			重量 (g)	施釉・彩色	備考	整理 番号
挿図	番号							長さ	幅	厚み				
244	23	C251 号	土師質	建造物	鳥居	にぶい橙	30	〔67.4〕	〔34.4〕	〔14.0〕	24.7	白泥		211784
244	24	C251 号	土師質	建造物	家屋	橙	20	〔89.6〕	〔31.1〕	〔62.4〕	69.9			211780
245	1	C250 号	土師質	遊具	碁石形土製品	橙	100	21.0	20.5	6.0	2.4	黒彩		212327
245	2	C251 号	土師質	遊具	碁石形土製品	橙	100	19.5	19.2	7.0	2.2	白泥		212340
245	3	C251 号	土師質	遊具	泥面子	橙	100	22.5	22.9	7.2	4.0		意匠不明	211767
245	5	C251 号	土師質	器物	鉢	橙	90	64.0	45.0	34.0	49.3	白泥		211768
245	6	C252 号	土師質	器物	碁石形土製品	にぶい黄褐	100	20.5	19.8	6.0	2.1	白泥		212323
245	7	C272 号	陶器	器物	七厘	灰白	100	49.3	46.7	35.4	56.6	鉄釉	底部外面に刻印「京」「万」、墨書「三拾弐文」	212077
245	8	C272 号	土師質	器物	硯	にぶい橙	90	〔42.0〕	21.0	8.0	7.5	キラ付着		211800
245	9	C272 号	土師質	不明		橙	80	〔38.7〕	〔43.1〕	27.8	59.0		底面に円孔 1 ヵ所	211915
245	10	C270 号	土師質	器物	鉢	橙	90	45.0	23.0	32.0	36.7			212267
245	11	C305 号	土師質	人形	大黒天	にぶい橙	100	20.8	26.0	21.4	8.0	キラ付着		212210
245	12	C305 号	土師質	動物形	獅子舞	橙	20	〔41.1〕	〔52.5〕	〔38.5〕	19.1			211637
245	13	C305 号	土師質	動物形	猿	にぶい橙	80	35.0	〔60.5〕	31.2	38.0	緑釉		211638
245	14	C305 号	磁器	器物	鉢	白	70	(56.0)	15.8	28.5	10.6	透明釉		212226
245	15	C305 号	土師質	器物	茶釜	橙	80	31.0	37.7	35.0	61.9			212236
245	16	C305 号	土師質	器物	茶釜	にぶい橙	80	(40.0)	30.5	38.0	57.2			211635
245	16	C521 号	陶器	器物	瓶	浅黄橙	90	6.0	44.6	22.0	21.8	緑釉		211983
245	17	C375 号	磁器	器物	碗	白	100	21.0	12.0	8.0	2.7	透明釉		212274
245	18	C408 号	陶器	人形	仏像	にぶい黄橙	頭部	〔99.1〕	〔95.4〕	〔29.3〕	205.3	瑠璃釉		212271
245	20	C521 号	陶器	建造物	橋	橙	50	26.4	〔8.4〕	〔36.2〕	6.1	透明釉・白釉・緑釉		211984
246	1	C536 号	土師質	人形	立像	橙	80	48.8	〔74.8〕	35.0	54.6	白泥		212088
246	2	C536 号	土師質	人形	座像	橙	80	38.7	〔27.2〕	30.5	16.5	白泥		212092
246	3	C536 号	土師質	人形	亀乗り童子	浅黄橙	40	〔66.6〕	〔45.8〕	4.0	15.0			212091
246	4	C536 号	土師質	人形	ぶら人形	橙	90	46.8	97.9	29.9	46.0			212089
246	5	C536 号	土師質	人形	馬	にぶい黄橙	100	25.6	42.9	78.2	33.6		底面に円孔 4 か所	212079
246	6	C536 号	磁器	器物	皿	白	100	56.9	15.6	30.1	22.5	白釉		212198
246	7	C536 号	磁器	器物	皿	白	60	〔43.3〕	17.8	〔23.3〕	9.9	透明釉		212199
246	8	C536 号	土師質	器物	皿		40	(36.0)	9.0	(18.0)	2.8			212166
246	9	C536 号	陶器	器物	鉢	浅黄橙	80	50.0	23.4	22.7	19.1	緑釉		212144
246	10	C536 号	陶器	器物	片口	灰白	70	50.4	24.4	18.0	16.2	緑釉		212139
246	11	C536 号	土師質	器物	片口か	白	20	—	〔15.7〕	〔39.7〕	12.8		底部外面に刻印「亀」	212185
246	12	C536 号	陶器	器物	瓶	浅黄橙	100	5.0	44.7	21.5	30.4	緑釉		212148
246	13	C536 号	陶器	器物	瓶	灰白	30	—	〔49.3〕	25.8	18.3	緑釉	布袋徳利形	212142
246	14	C536 号	陶器	器物	瓶	橙	90	〔17.0〕	80.5	35.0	67.4	鉄釉		212197
246	15	C536 号	陶器	器物	土瓶	灰白	40	22.6	〔24.6〕	—	20.6	緑釉		212138
246	16	C536 号	陶器	器物	銚子	灰白	80	22.5	23.3	16.0	21.6	緑釉		212140
246	17	C536 号	陶器	器物	瓶掛	灰白	50	—	〔37.3〕	48.6	47.2	灰釉		212136
246	18	C536 号	陶器	器物	鍋	浅黄橙	100	41.2	25.6	20.0	22.8	鉄釉		212182
246	19	C536 号	土師質	器物	釜	にぶい橙	80	40.3	37.2	26.4	50.4			211974
246	20	C536 号	陶器	器物	蓋	灰白	90	〔25.3〕	7.1	〔24.3〕	2.5	透明釉・緑釉		212157
246	21	C536 号	陶器	器物	蓋	浅黄橙	100	30.9	14.0	19.5	8.0	鉄釉		212168
246	22	C536 号	陶器	器物	七厘	灰白	30	48.9	16.1	49.0	19.6	透明釉		212158
247	1	C536 号	土師器	建造物	灯籠	橙	20	106.9	〔90.8〕	20.6	118.1			212075
247	2	C536 号	土師器	器物	銭貨	にぶい橙	100	16.6	23.6	2.5	1.7	キラ付着	表面「銀座常賣」、裏面「此南鐐八十テモ不成小判一両」	212074
247	3	C536 号	陶器	建造物	橋	灰黄褐	100	19.0	19.0	44.6	7.8			212159
247	4	C536 号	陶器	遊具	鳩笛	灰白	100	23.7	38.4	56.7	20.3	緑釉・鉄釉		212188
247	5	C536 号	陶器	遊具	鳩笛	灰白	100	22.6	38.0	60.5	17.2	鉄釉		212189
247	6	C536 号	土師質	遊具	碁石形土製品	橙	100	20.5	20.5	7.0	2.3	白泥		212354
247	7	C536 号	土師質	遊具	碁石形土製品	橙	100	20.8	20.3	6.0	2.2	黒彩		212366
247	8	C536 号	土師質	遊具	泥面子	橙	100	46.2	45.5	12.6	32.2		三つ巴	212176
247	9	C536 号	土師質	遊具	泥面子	にぶい橙	100	22.9	22.7	8.0	4.9		猿	212178
247	10	C536 号	土師質	遊具	泥面子	橙	100	21.8	21.9	5.5	2.8		意匠不明	212177
247	11	C536 号	土師質	遊具	泥面子	橙	100	16.8	16.7	4.0	1.1		「松」	212180
247	12	C539 号	土師質	人形	立像	橙	90	23.7	49.8	18.7	14.2			211945
247	13	C539 号	陶器	器物	瓶	灰白	100	9.0	44.0	19.0	17.8	緑釉		211935
247	14	C539 号	陶器	器物	土瓶	灰白	80	〔16.5〕	〔26.4〕	19.0	20.1	透明釉・緑釉		211936
247	15	C539 号	土師質	器物	釜	橙	80	45.2	38.2	27.0	54.6			211934
247	16	C539 号	土師質	遊具	泥面子	橙	100	23.3	23.3	8.1	5.1		魚か	212024
247	17	C539 号	土師質	遊具	泥面子	橙	100	23.9	〔22.6〕	9.1	5.5		南瓜か	212025
247	18	C540 号	磁器	器物	碗	白	60	21.0	11.0	7.0	2.1	透明釉		212275
247	19	C543 号	土師質	器物	釜	橙	70	(44.0)	39.2	28.0	46.7			211967
247	20	C543 号	土師質	器物	蓋	にぶい橙	100	50.0	50.5	11.3	23.8			211968
247	21	C543 号	土師質	遊具	泥面子	橙	100	34.2	54.8	9.0	32.1	キラ付着	鬼	211964
247	22	C543 号	土師質	遊具	泥面子	橙	100	26.5	26.0	7.2	6.2		三つ巴	211963
247	23	C547 号	土師質	遊具	泥面子	橙	100	27.9	27.0	8.6	6.6		上面：海老、下面：花弁	212008
247	24	C566 号	磁器	器物	碗	白	100	20.0	11.0	8.0	3.4	透明釉		212276

第 81 表　土製品・ミニチュア観察表（6）

掲載番号		出土地点	材質	種別	器種 モチーフ	胎土色	残存率 (%)	法量 (mm)			重量 (g)	施釉・彩色	備考	整理 番号
挿図	番号							長さ	幅	厚み				
247	25	C566 号	土師質	遊具	泥面子	橙	100	23.4	23.5	8.5	5.6		意匠不明	212059
247	26	C567 号	土師質	器物	硯	浅黄橙	80	〔45.0〕	22.0	5.0	7.2			212017
247	27	C580 号	陶器	器物	瓶	橙	80	—	〔65.8〕	27.8	27.1	鉄釉・緑釉・白釉		211978
247	28	C586 号	土師質	人形	立像	にぶい橙	80	23.0	39.1	20.3	16.3	白泥	底面に円孔 1 ヵ所	212013
247	29	C587 号	陶器	器物	碗	灰白	90	30.0	15.0	12.0	5.0			212006
248	1	C591 号	土師質	器物	釜	橙	80	(38.0)	35.4	24.4	45.8			211975
248	2	C591 号	土師質	遊具	泥面子	橙	100	23.5	24.0	7.0	5.3		「ぬ」	212010
248	3	C598 号	土師質	遊具	面摸	橙	100	56.7	65.5	24.4	45.4		童子か	212253
248	4	C612 号	土師質	人形	座像	橙	100	33.4	21.8	33.9	5.9	キラ付着		211932
248	5	C612 号	土師質	人形	朝鮮通信使か	にぶい橙	70	66.7	〔59.5〕	59.6	64.8		底面に円孔 1 ヵ所	211928
248	6	C615 号	土師質	器物	瓶	橙	80	—	〔48.6〕	25.0	33.3	白泥		212254
248	7	C651 号	陶器	器物	蓋	赤褐	100	31.4	31.2	15.9	10.2	透明釉		212259
248	8	C652 号	土師質	遊具	土玉	橙	100	19.0	18.0	19.0	5.8			212260
248	9	B1-3 区 2~3 面	土師質	人形	鍾軌か	にぶい橙	30	〔39.2〕	〔52.0〕	〔29.2〕	23.5			210326
248	10	C1 区撹乱	土師質	人形	座像	にぶい橙	90	42.1	(62.1)	42.7	51.4	白泥		211620
248	11	B1-2 区 3~5 面	土師質	人形	朝鮮通信使	橙	60	〔121.9〕	〔70.9〕	〔63.5〕	224.1	キラ付着		211573
248	12	B2-3 区撹乱	土師質	人形	朝鮮通信使	橙	60	〔46.6〕	〔48.4〕	〔20.1〕	30.8		底面に円孔 1 ヵ所	210959
248	13	C2-3 区 2~3 面	土師質	人形	相撲	にぶい橙	70	〔57.1〕	〔40.7〕	〔35.0〕	35.5	白色・黒色		211925
249	1	C2-3 区 2~3 面	土師質	人形	稲荷狐	橙	100	45.0	93.5	39.4	52.6			211917
249	2	B1-3 区 2~3 面	土師質	動物形	狐	にぶい橙	20	〔30.6〕	〔39.0〕	〔42.8〕	22.1	キラ付着		210321
249	3	B1-3 区 2~3 面	陶器	動物形	馬	灰白	80	33.0	47.7	〔61.0〕	26.8	緑釉		210322
249	4	C2-3 区 2~3 面	土師質	人形	鶏	橙	100	39.3	47.8	62.2	45.8		側面・底面に円孔	211918
249	5	C2-6 区 2~3 面	土師質	人形	首人形	にぶい橙	90	19.0	31.7	18.7	7.6		底面に円孔 1 ヵ所	211927
249	6	B1-3 区 2~3 面	土師質	動物形	首人形（狐）	にぶい橙	100	21.1	34.2	26.4	9.7		底面に円孔 1 ヵ所	210323
249	7	B1-3 区 1 面	陶器	器物	碗	灰白	100	26.0	14.0	11.0	3.9	灰釉・鉄絵		210352
249	8	B2-1 区 3~4 面	陶器	器物	皿	浅黄橙	80	32.0	11.7	19.5	5.0	透明釉・緑釉		210729
249	9	C2-3 区撹乱	陶器	器物	鉢	浅黄橙	70	(54.8)	30.0	25.0	20.7	透明釉・緑釉		211987
249	10	B1-2 区 2~3 面	陶器	器物	器台	浅黄橙	100	41.4	27.7	21.7	17.4	透明釉・緑釉		211571
249	11	B1-4 区 3~5 面	陶器	器物	擂鉢	褐	60	(110.0)	34.0	36.0	36.0	鉄釉		210658
249	12	C2-6 区 4 面	土師質	器物	釜	にぶい橙	80	〔46.0〕	35.4	32.3	48.9			211954
249	13	C1 区 1~4 面	陶器	器物	蓋	褐灰	100	31.2	12.9	21.6	7.1	鉄釉		211755
249	14	B1-3 区 3~5 面	土師質	器物	蓋	橙	90	39.2	39.3	8.2	9.0	キラ付着	三巴	210393
249	15	B1-3 区 3~5 面	土師質	器物	蓋	橙	100	36.3	35.9	6.4	6.3	キラ付着		210392
249	16	C2-6 区 2~3 面	炻器	建造物	城郭	橙	70	〔44.8〕	43.1	16.2	17.6	鉄釉	底面に円孔 1 ヵ所	211986
249	17	C2-4 区撹乱	陶器	建造物	塀	褐灰	90	91.4	16.0	11.0	14.9	灰釉・瑠璃釉		211947
249	18	C2-3 区 2~3 面	土師質	建造物	家屋	にぶい黄橙	20	87.9	〔27.3〕	48.3	65.8			211921
249	19	B1-3 区 2~3 面	陶器	建造物	塔（相輪）	灰白	10	17.8	〔25.6〕	18.0	8.4	緑釉		210229
250	1	B1-3 区 2~3 面	土師質	建造物	祠	橙	40	〔52.8〕	〔60.1〕	〔60.3〕	92.1			210320
250	2	B2-4 区 1~3 面	土師質	建造物	橋	橙	60	31.2	〔52.1〕	〔18.7〕	15.9	白泥		212280
250	3	B2-1 区 2~3 面	土師質	器物	硯	橙	90	27.0	13.0	7.0	3.0			210728
250	4	C2-2 区 基礎 60 号	土師質	遊具	面摸	橙	70	〔53.4〕	〔53.4〕	13.0	19.5		馬	212012
250	5	C1 区 1~4 面	土師質	遊具	泥面子	橙	100	28.0	27.9	0.9	6.8		蝉	211707
250	6	C2-3 区 2~3 面	土師質	遊具	泥面子	橙	100	26.6	26.6	8.0	6.5		菊花文	212003
250	7	C2-3 区 2~3 面	土師質	遊具	泥面子	橙	100	26.4	24.1	7.9	5.2		意匠不明	212004
250	8	C2-5 区 基礎 52・53 号	土師質	遊具	泥面子	橙	100	23.8	23.8	9.0	6.4		意匠不明	212069
250	9	B1-3 区 1~2 面	土師質	不明		淡橙	20	(158)	(95)	66.0	506.3			212442

（5）木製品（第 251 ～ 275 図、第 82 ～ 88 表）

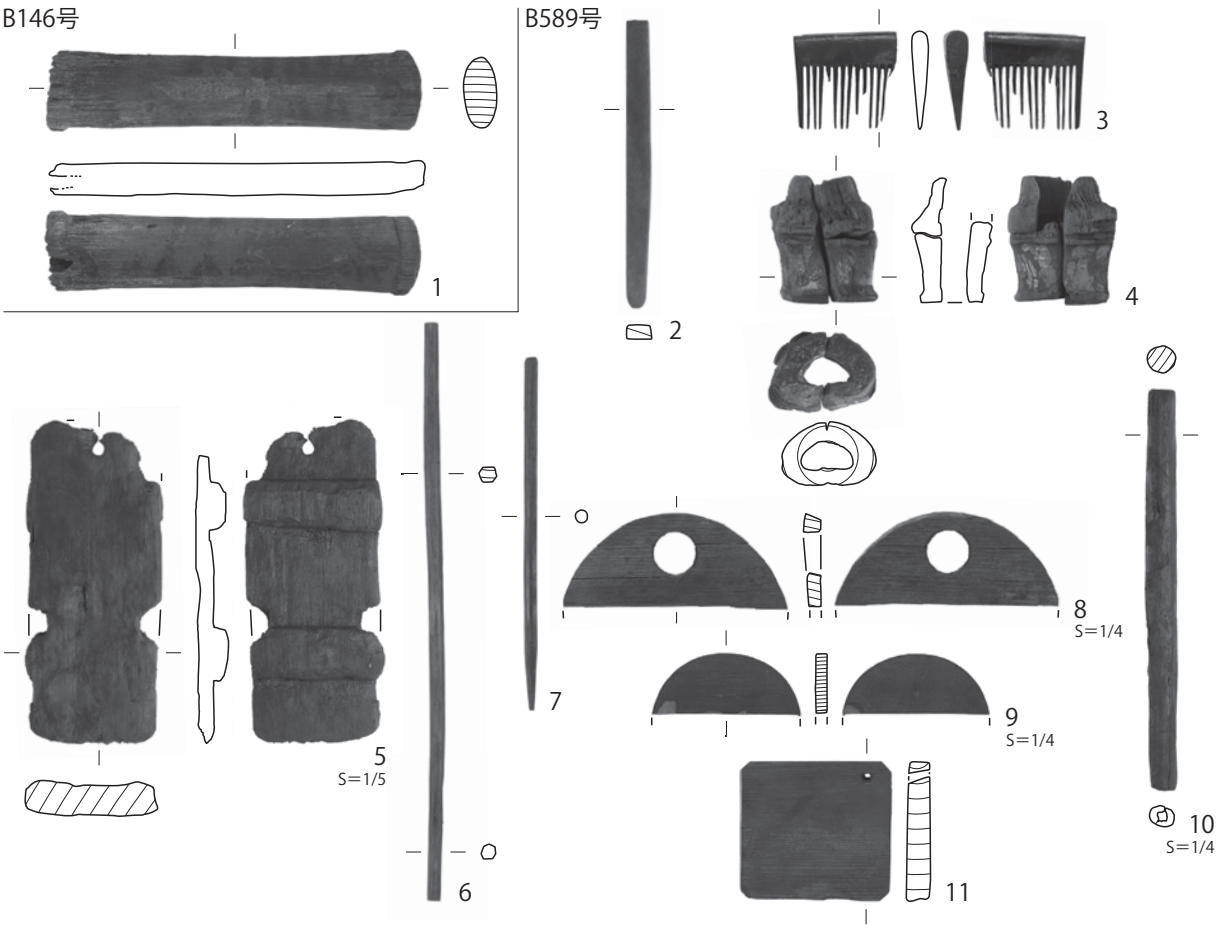
木製品は、その大半が C536 号の出土で、他に B146 号、B589・2843・5086 号等で若干の出土がみられる。以下では、新宿区行元寺跡における分類（越村 2003）を基本とし、出土木製品の特徴を記す。なお各資料の年輪幅は、粗密によって細かい方から A ～ C の 3 つに分類し第 82 ～ 88 表に記載するとともに、第 251 ～ 275 図の断面図に模式的に記入している。

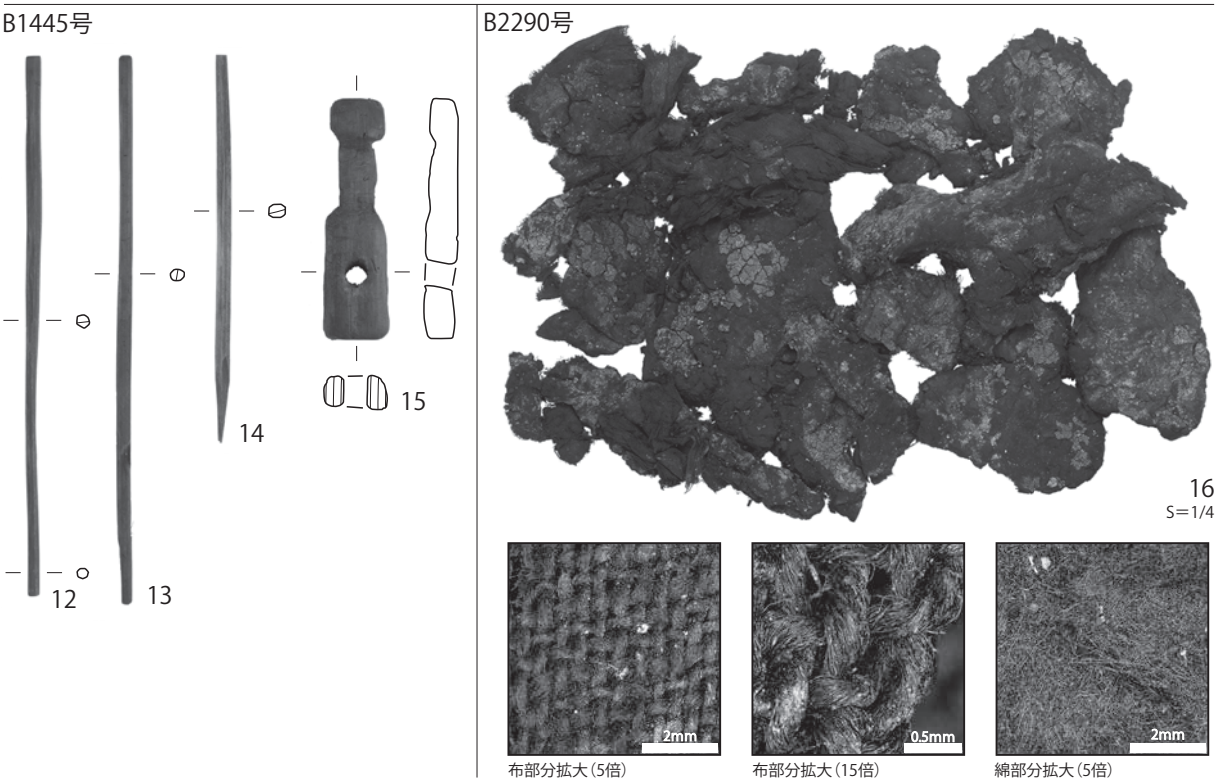
第 251・252 図には C536 号以外の出土木製品を示した。B146 号では、第 251 図 1 の模造刀柄が出土している。黒色漆塗によるものか、網目状の巻き付け痕が観察される。B589 号出土の 2 は、断面長方形で笄と考えられる。3 は横櫛で、いわゆる利休形を呈する。4 は傘下轆轤で、中棒も残存する。5 の連歯下駄は歯が著しく摩耗している。6・7 は箸で、長く太い 6 は菜箸の可能性もあろう。8・9 は円形の容器蓋で、9 は表面が平滑で黒色の漆塗りがなされる。10 は錐柄で、先端部には断面方形の孔が観察される。11 は一角に孔が穿たれた札で、墨書があるが内容は不詳である。B1445 号では、12 ～ 14 の箸、15 の柄杓留が出土している。B2290 号出土の 16 は炭化した状態での出土で、繊維束が絡む中綿部分と平織の布部分からなり、布の端部には緯糸の折り返しが観察される。衣や布団等の繊維製品と考えられる。B3084 号では、第 252 図 1 の箸が出土している。C106 号では、漆工に用いた漆濾し紙（2）と漆濾し布（3）、また 4 の漆の残滓も出土している。

次に C536 号の出土木製品について、種別ごとに特徴を記す。装身具として、第 253 図 1・2 は横櫛で、差し歯タイプの梳櫛である。いずれも利休形を呈し、表面は平滑に磨かれている。1 は歯が一部残存し、2 は鞘のみである。3・4 は縦櫛で、いわゆる毛筋立てであろう。柾目取りの薄い板材を素材とし、先端は早材部分を削って櫛歯を作出している。5 は和傘の下轆轤で、表面は黒色の漆塗りがなされ、中棒が一部残存する。6 は団扇柄で、扇面を差し込む要部分も残存する。下駄は多量に出土しており、7 ～ 12・第 254 図・第 255 図 1 ～ 7 は連歯下駄である。すべて横緒が後歯前方となるもので、樹種はスギが卓越する。なかでも第 255 図 4 は、平面が小判状を呈し、半割材を丁寧に加工したもので、表面に小円が 8 つ並んだ焼印がみられる。他の連歯下駄とは一線を画するもので、同図 5 は遺存状況は良好でないがセットになるものであろう。刳下駄は少なく、わずかに第 255 図 8 が見られる。第 255 図 9・10・第 256 ～ 257 図 1 ～ 10 は差歯下駄のうち陰卯下駄で、歯の遺存状況は良好でない。平面形や幅、サイズによりいくつかのカテゴリーに分類されるが、下駄台の材質はケンポナシが多い。特筆すべき点として、第 256 図 2 では下駄台の前歯溝において歯を留める楔が確認されている。楔はタケ亜科で、前歯溝には楔を打ち込むためのわずかな抉りも観察される。楔こそ欠くものの、こうした抉りは同 6 など複数の個体で確認されている。第 257 図 11・第 258 図 1 ～ 8 は無眼下駄で、周縁に釘痕が残る例もあるが、履物の構造は判然としない。

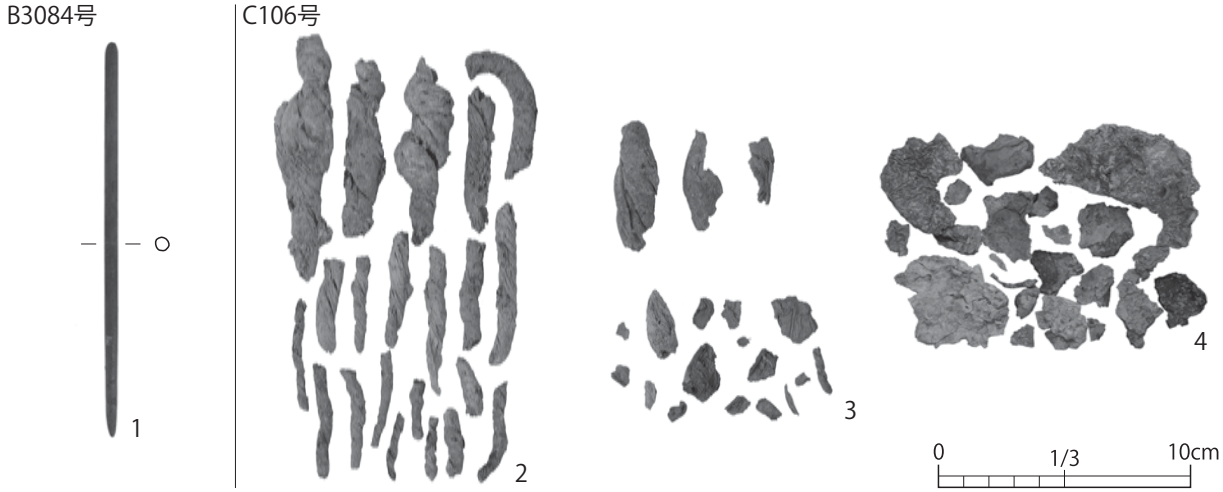
食膳具として、第 258 図 9 ～ 14・第 259 図には折敷等の膳の部材を一括した。側板や底板、脚板など部材単体の出土で、黒色・赤色の漆塗りが施されたものが多い。器としては第 260 図・第 261 図 1 ～ 3 の椀・椀蓋があり、一文字椀や平椀、丸椀に分かれるが、数量としては多くない。第 261 図 4 ～ 11 は箸、12 ～ 15 は刃物柄で、12 は包丁とみられる刃部が遺存する。

第 262 図・第 263 図 1 ～ 11 の箱物も一定数確認されるが、やはり部品単体での出土のため全体の構造がわからないものが多い。このうち、蓋と考えられる第 262 図 5 は、黒色漆塗の上から金彩で文様が描かれる。他の調度品として、第 263 図 12 ～ 17 は把手やそれに類するもので、第 264





第 251 図　木製品（1）（1/3・1/4・1/5）



第 252 図　木製品（2）（1/3）

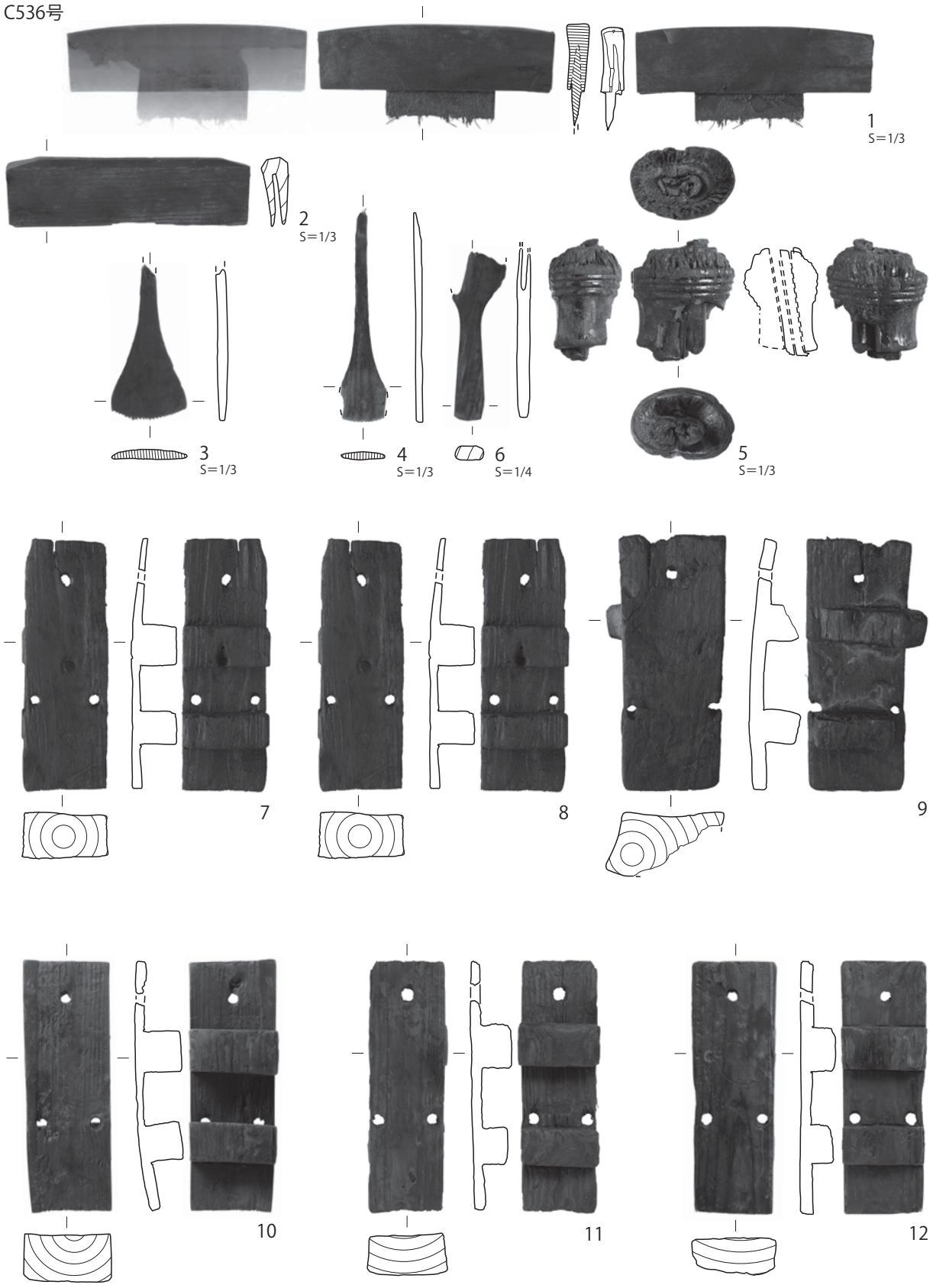
図 1 ～ 4 も同様であろう。第 263 図 18・19 は箱枕、20 は鏡箱の蓋である。

その他の道具として、第 264 図 5 は灯台脚部、6 ～ 8 は火打金の柄、9 は柄杓留、10 はちりとり柄と考えられる。11･12 は刷毛柄で､13 ～ 15 は箒･束子の繊維質が遺存する。16 は漆塗りの物差し、17 は先端部が残る錐である。

第 265 図 7 ～ 14・第 266 ～ 271 図は、桶や樽、またその他の容器の蓋ないしは底板である。大型のものは、第 265 図 7 のように複数の部材を釘で連結しており、上部には栓孔が穿たれる。中型のものでは漆塗り製品も散見され、第 268 図 7 は葵の文様が確認される。また第 269 図 12 は黒色の漆塗りの上に「大」の文字が見える。小型の円形板材は、第 271 図 8 のように中央に小孔が観察される例が多く､製材の痕跡と考えられる。栓も一定数確認され､第 272 図 1 ～ 16 がそれに該当する。同図 17･18 はウツギ属を用いた注口である。容器の側板には同図 19 ～ 31 があり､数量は多くないが､結束痕が確認されるものもある。

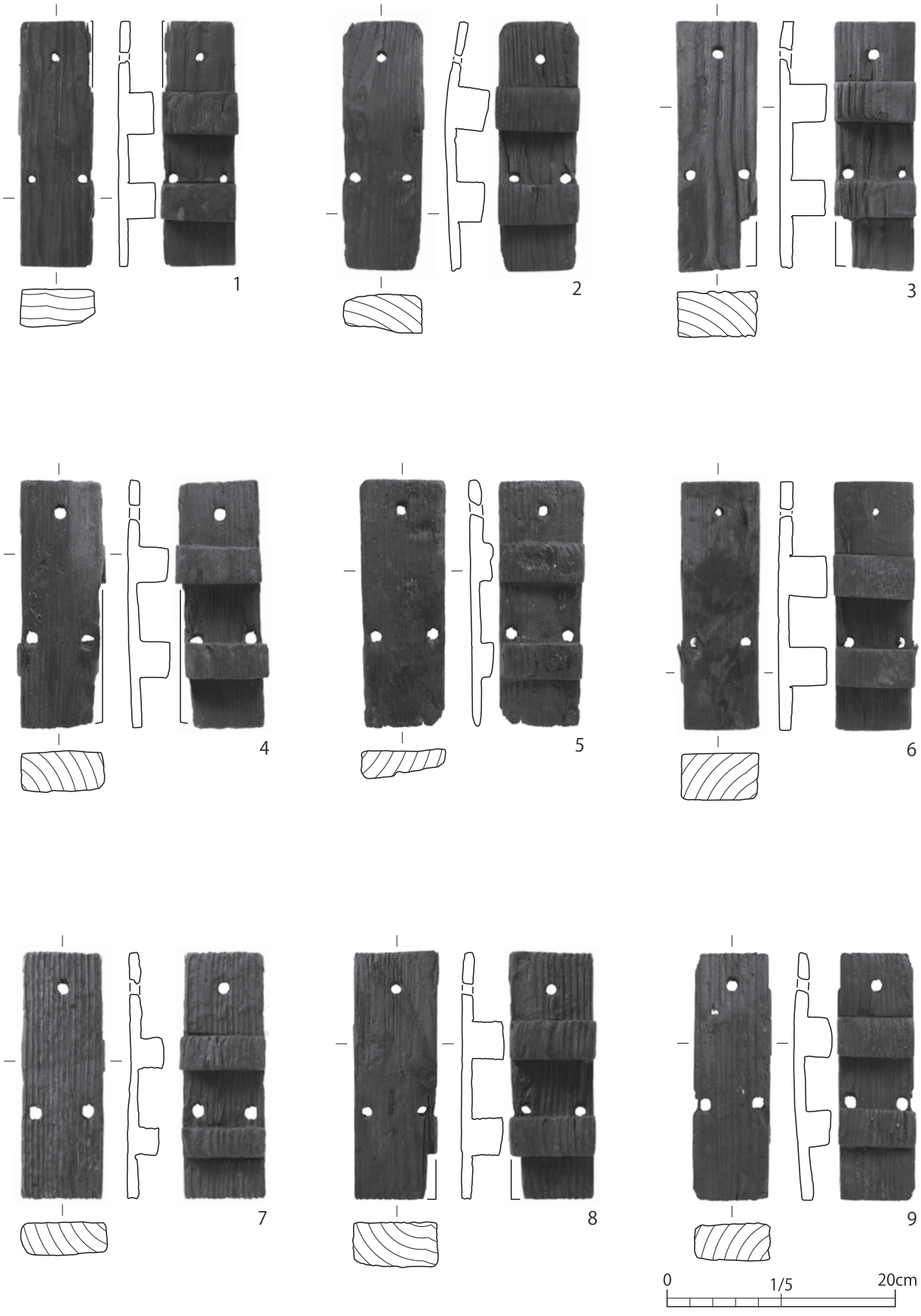
遊具等の道具としては、第 273 図 1 の木刀、2 の羽子板、3 の漆塗りの浮子、4 のカリンによる琴柱がある。

第 273 図 5 ～ 10・第 274 図・第 275 図 1 ～ 12 は建築部材や残材まとめた。第 273 図 5 は継手部分の大型部材で、8・9 は鴨居である。第 274 図 8 は、角棒状で端部に溝、釘痕、円形の切り込みが確認される。第 275 図 1 ～ 5 は釘等の金属が残る部材である。13 ～ 16 は撥の可能性もある丸棒状の部材で、漆塗りの 17 は軸の部品であろう。



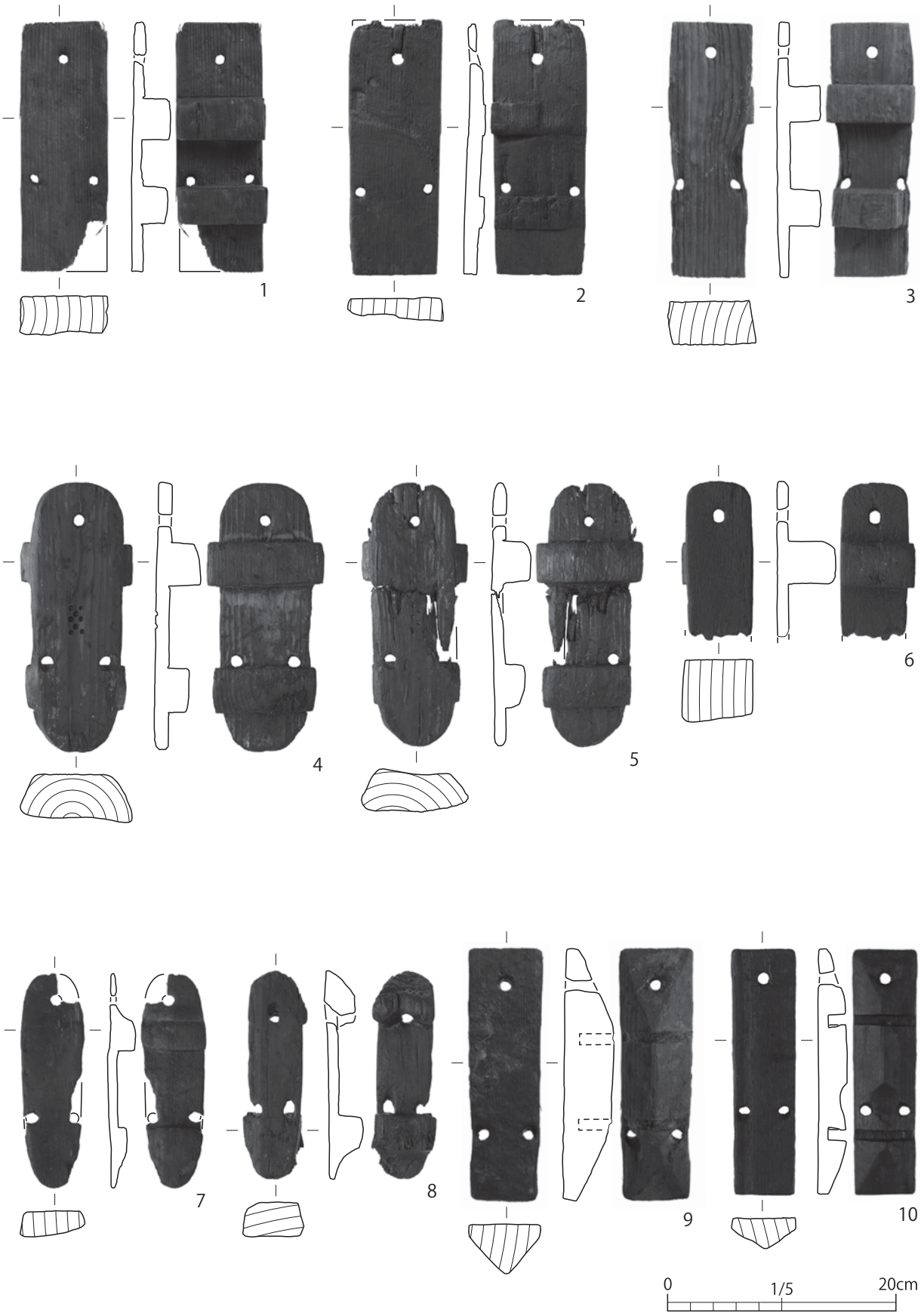
第 253 図　木製品（3）（1/3・1/4・1/5）

C536号



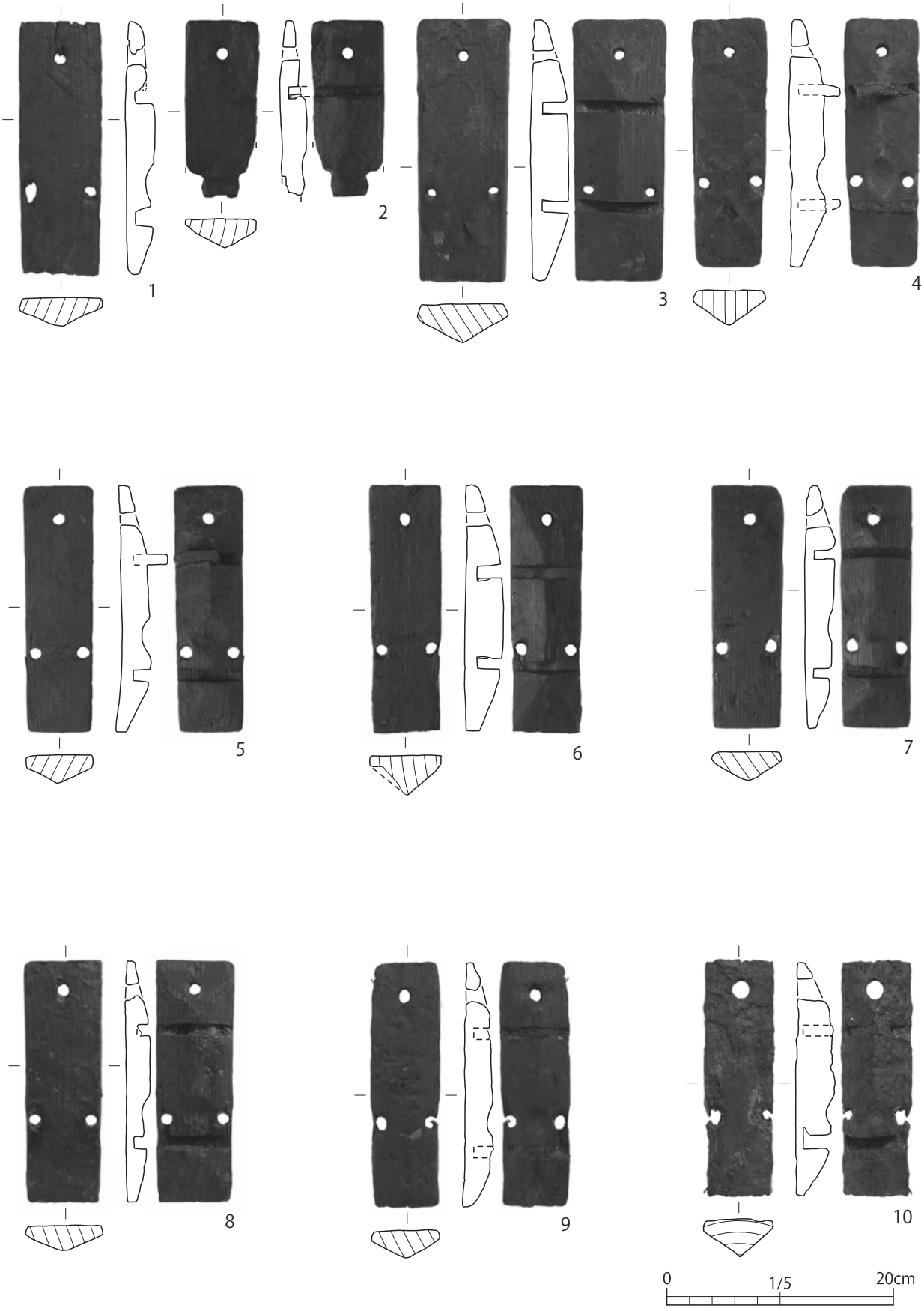
第 254 図　木製品（4）（1/5）

C536号



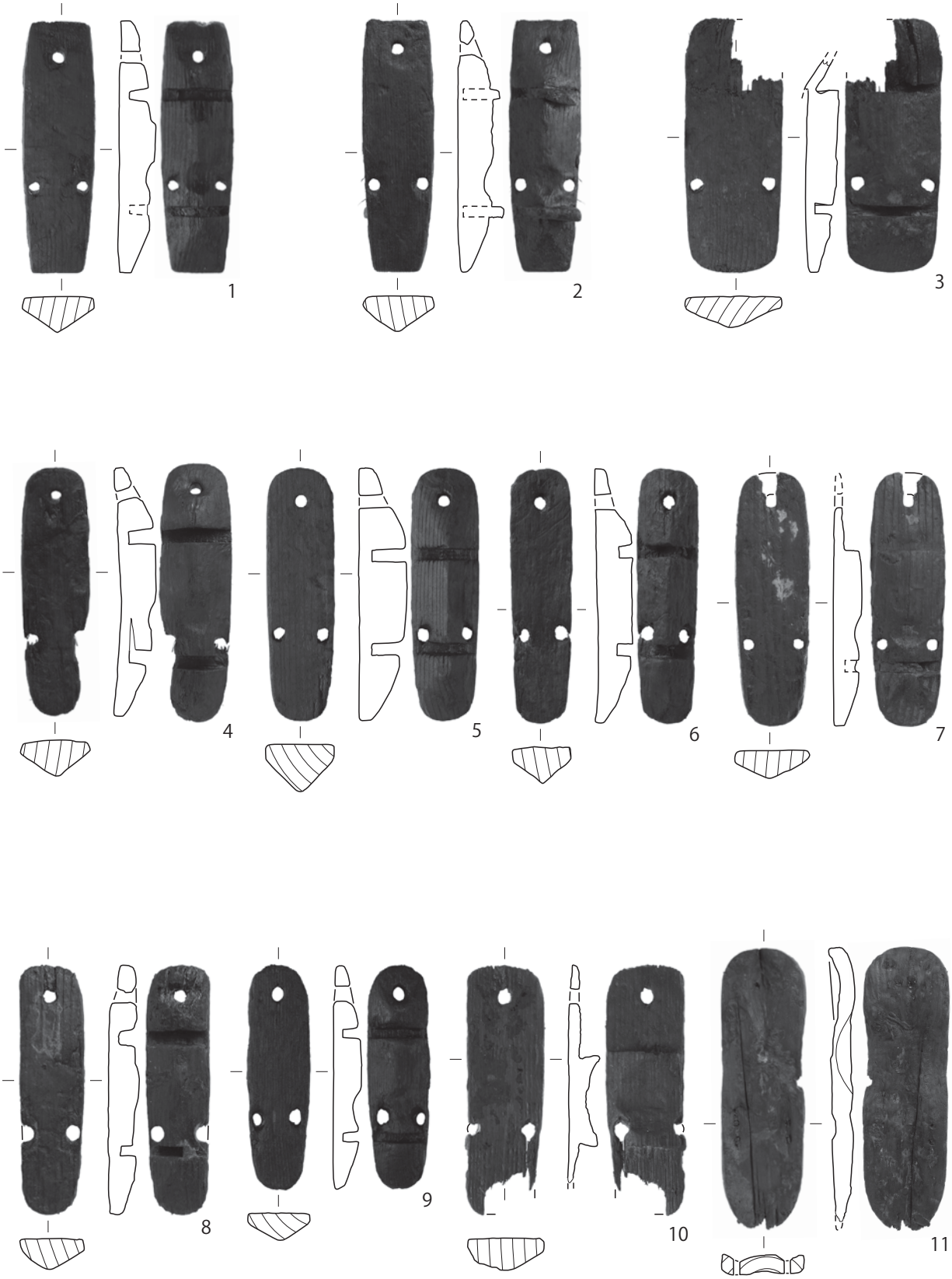
第 255 図　木製品（5）（1/5）

C536号

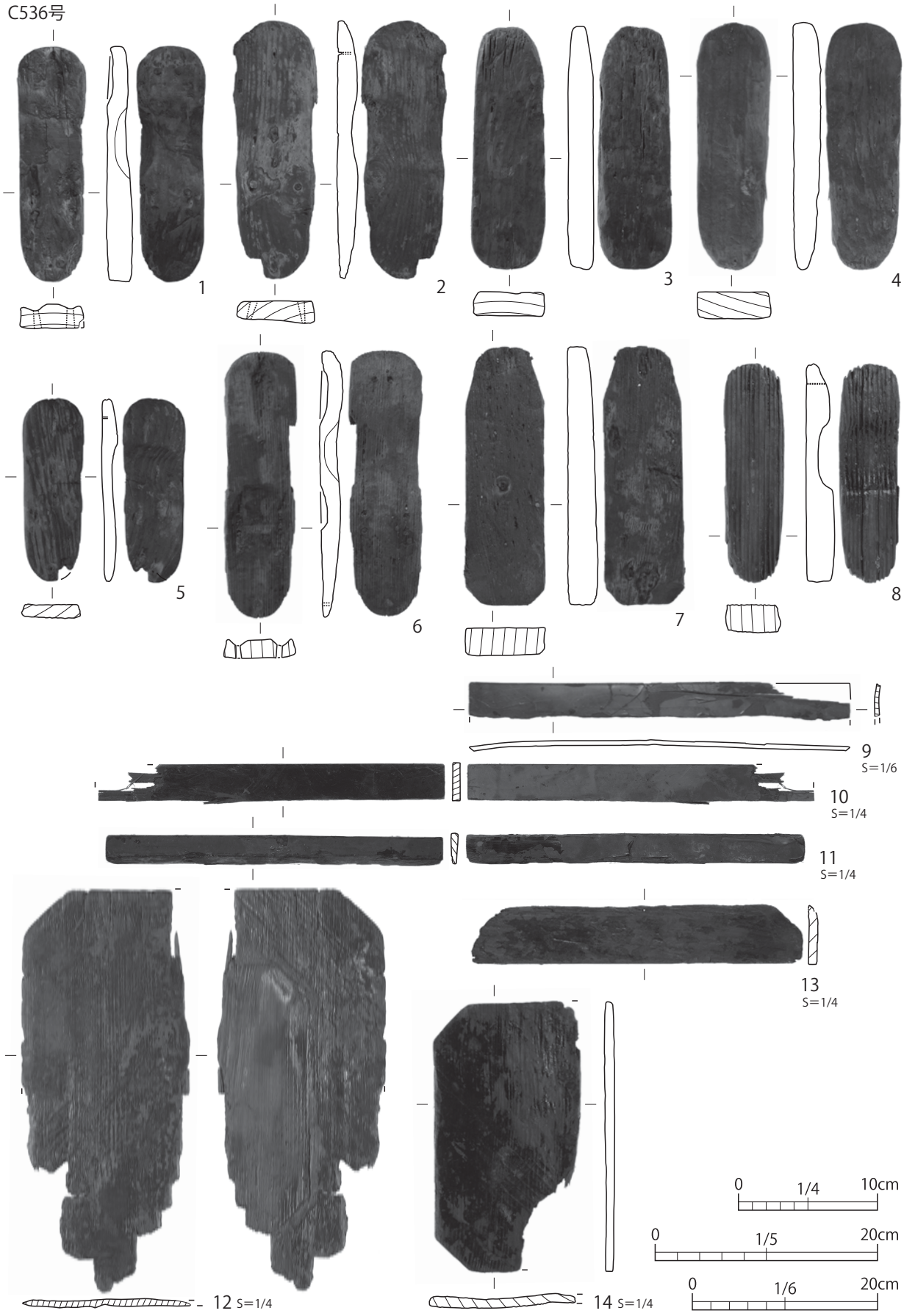


第 256 図　木製品（6）（1/5）

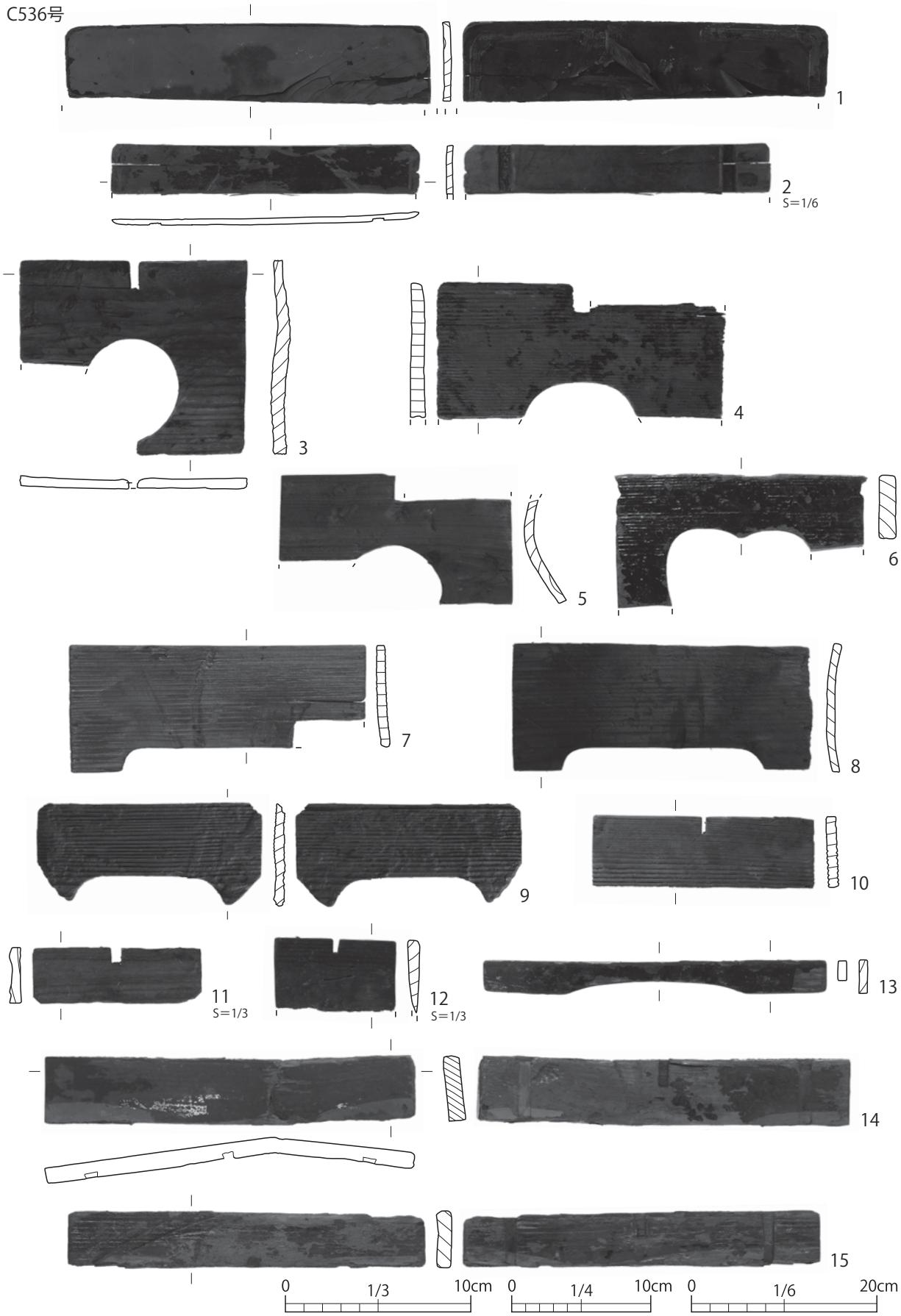
C536号



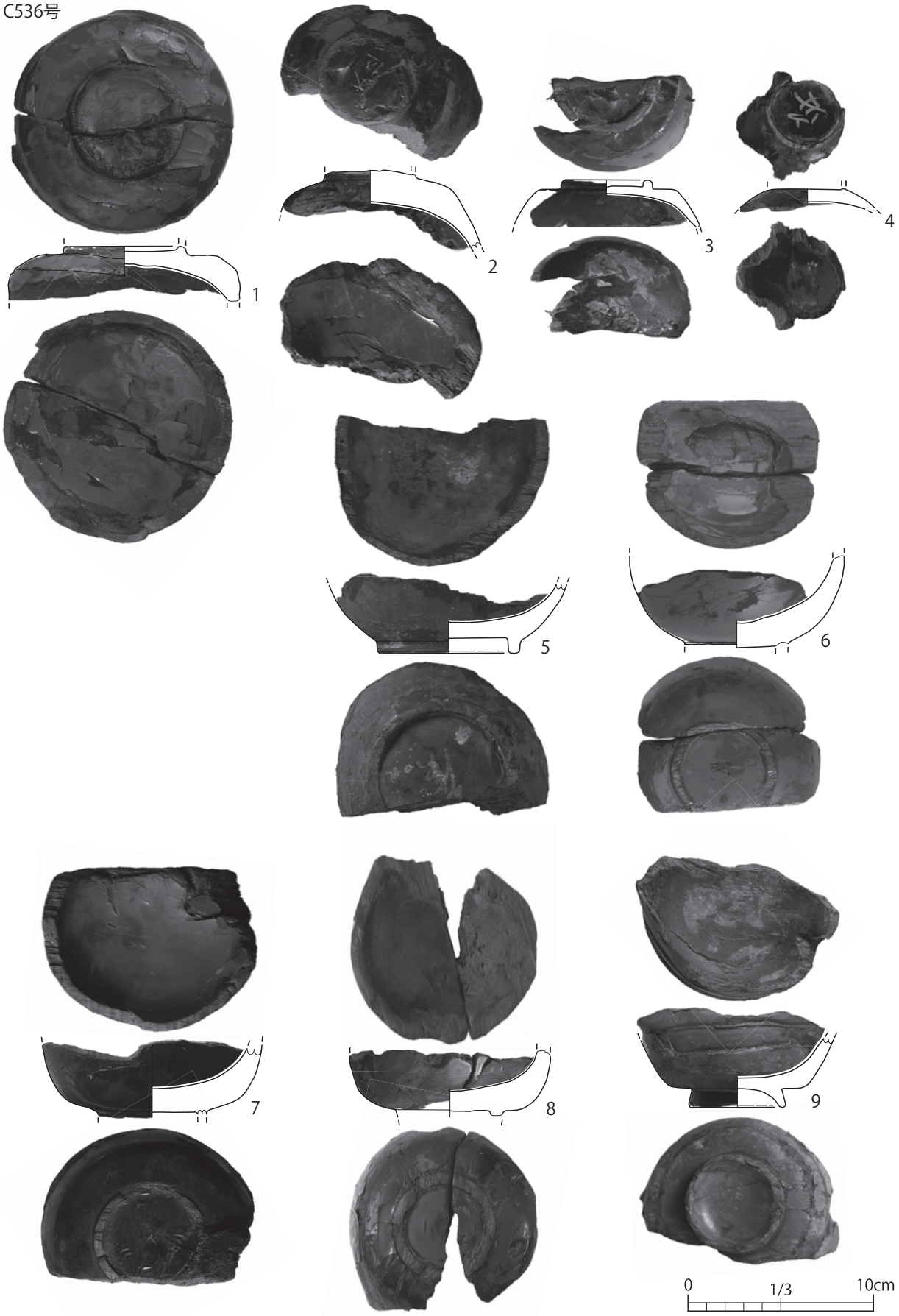
第 257 図　木製品（7）（1/5）



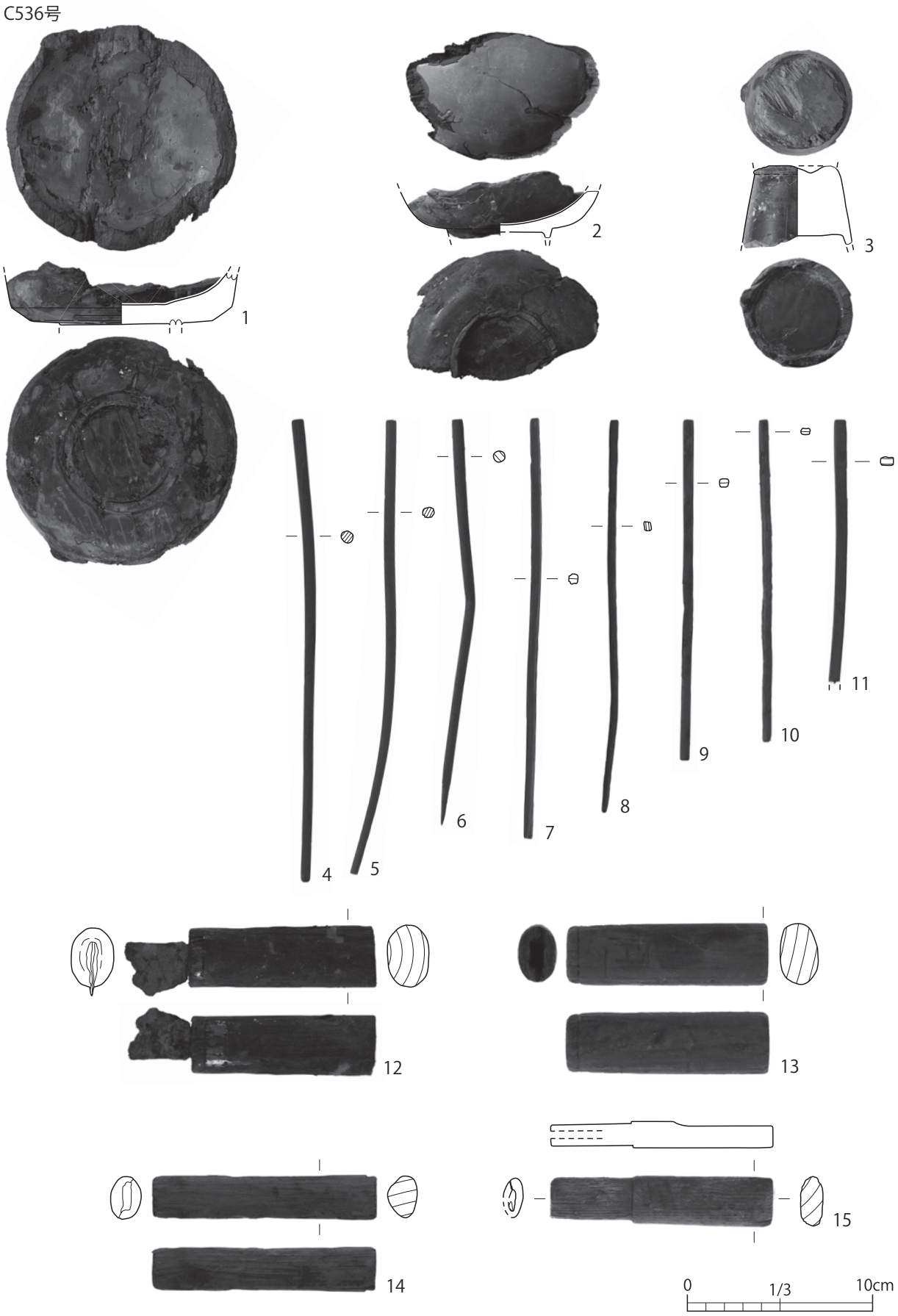
第 258 図　木製品（8）（1/4・1/5・1/6）



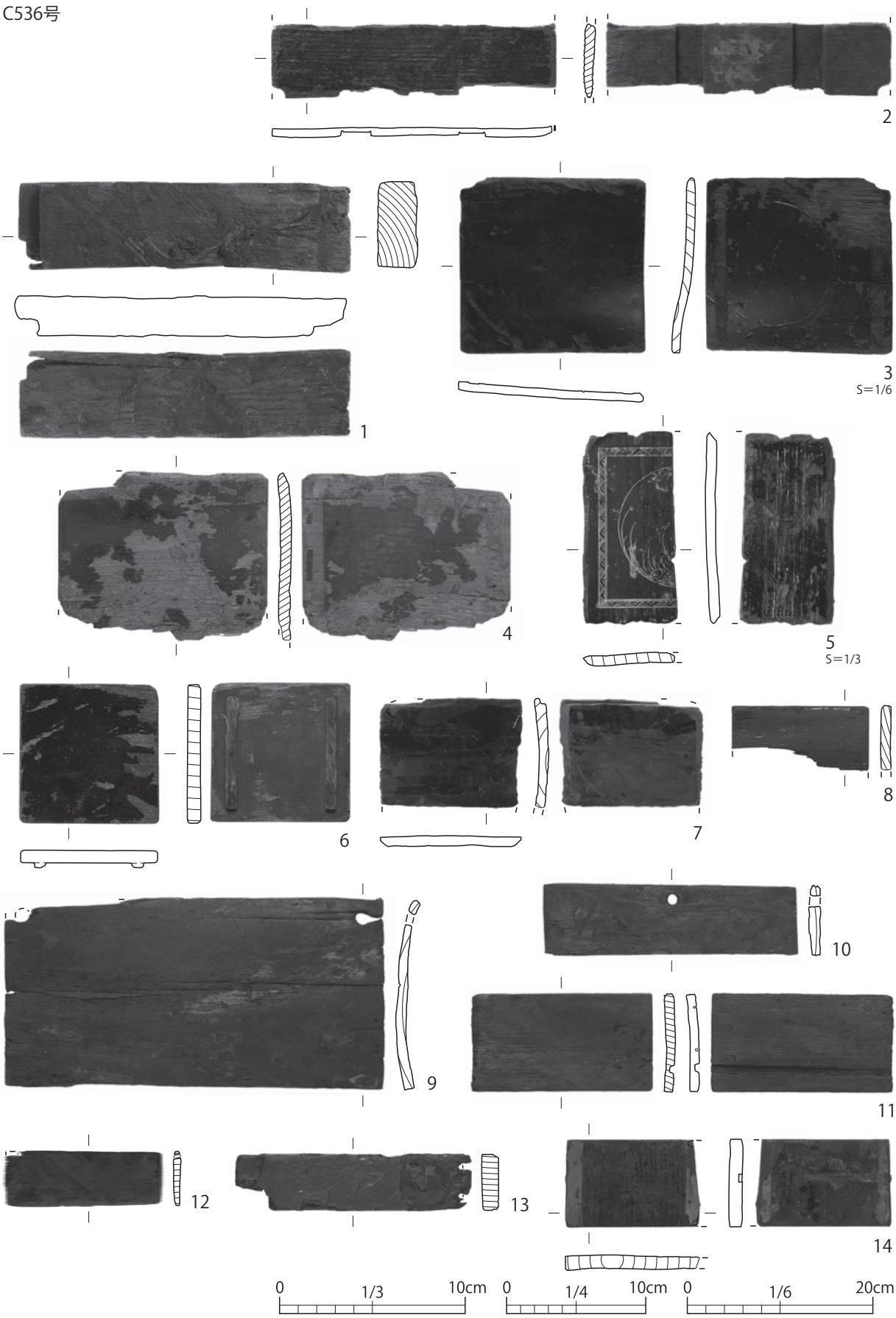
第 259 図　木製品（9）（1/3・1/4・1/6）



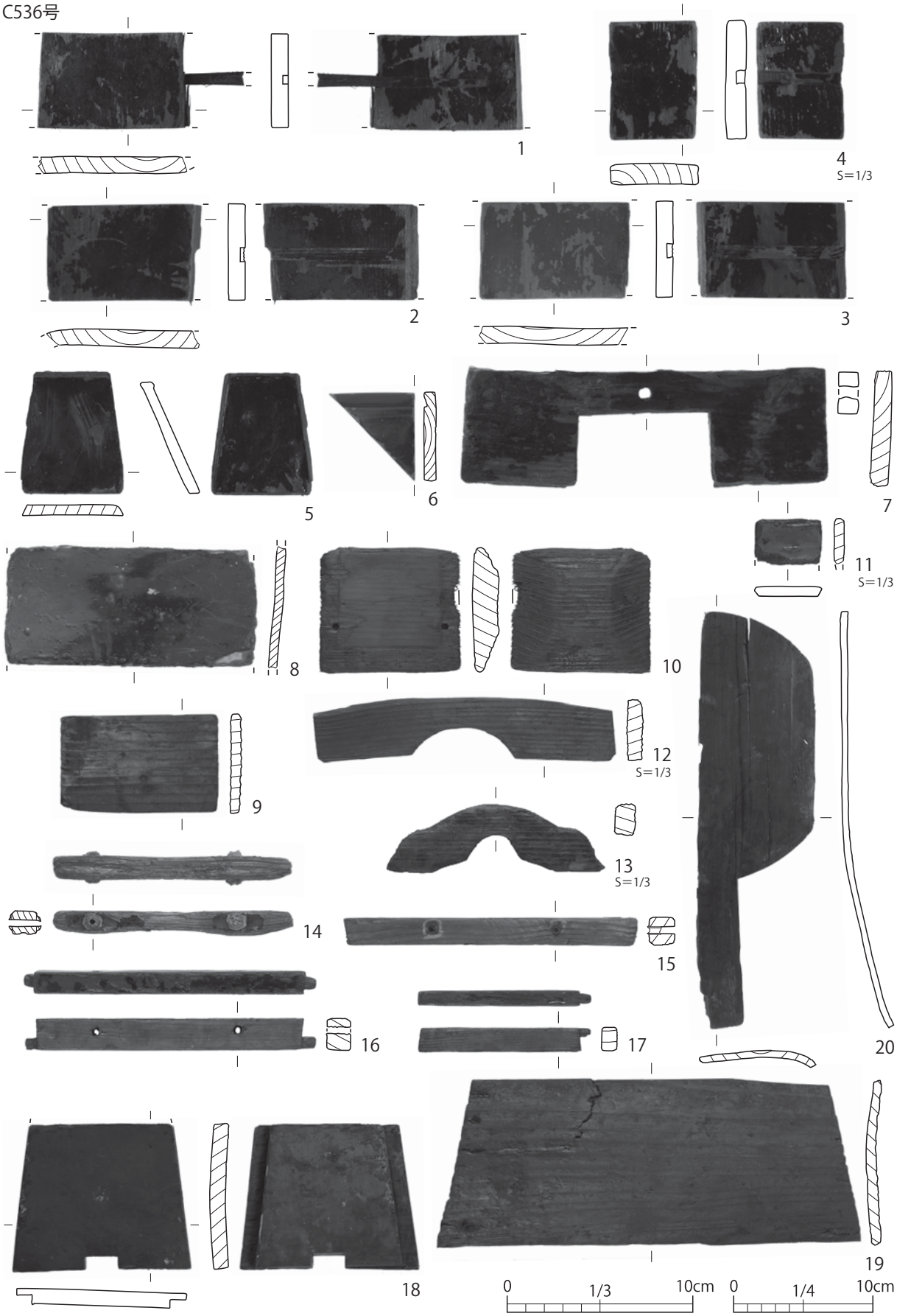
第 260 図　木製品（10）（1/3）



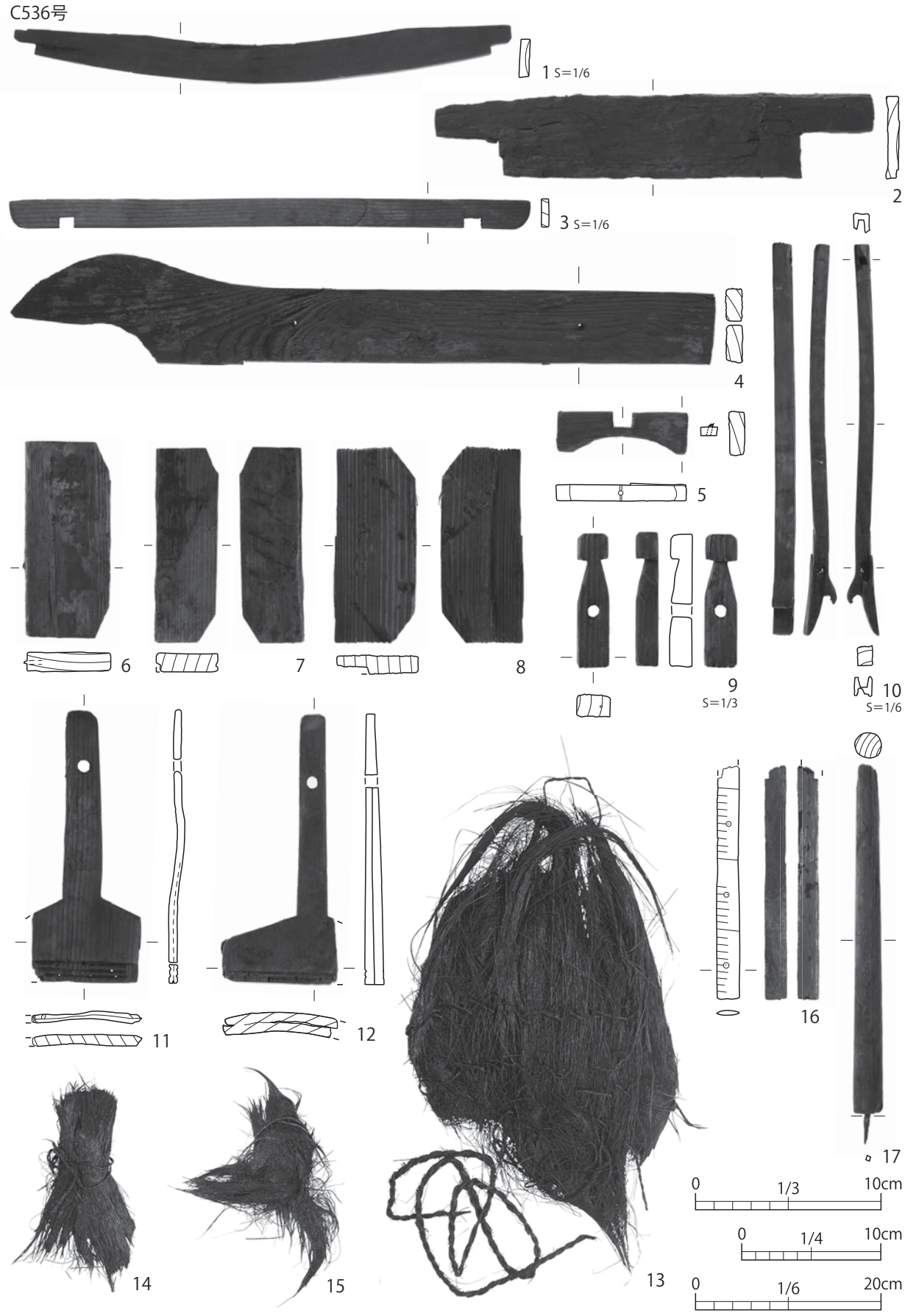
第 261 図　木製品（11）（1/3）



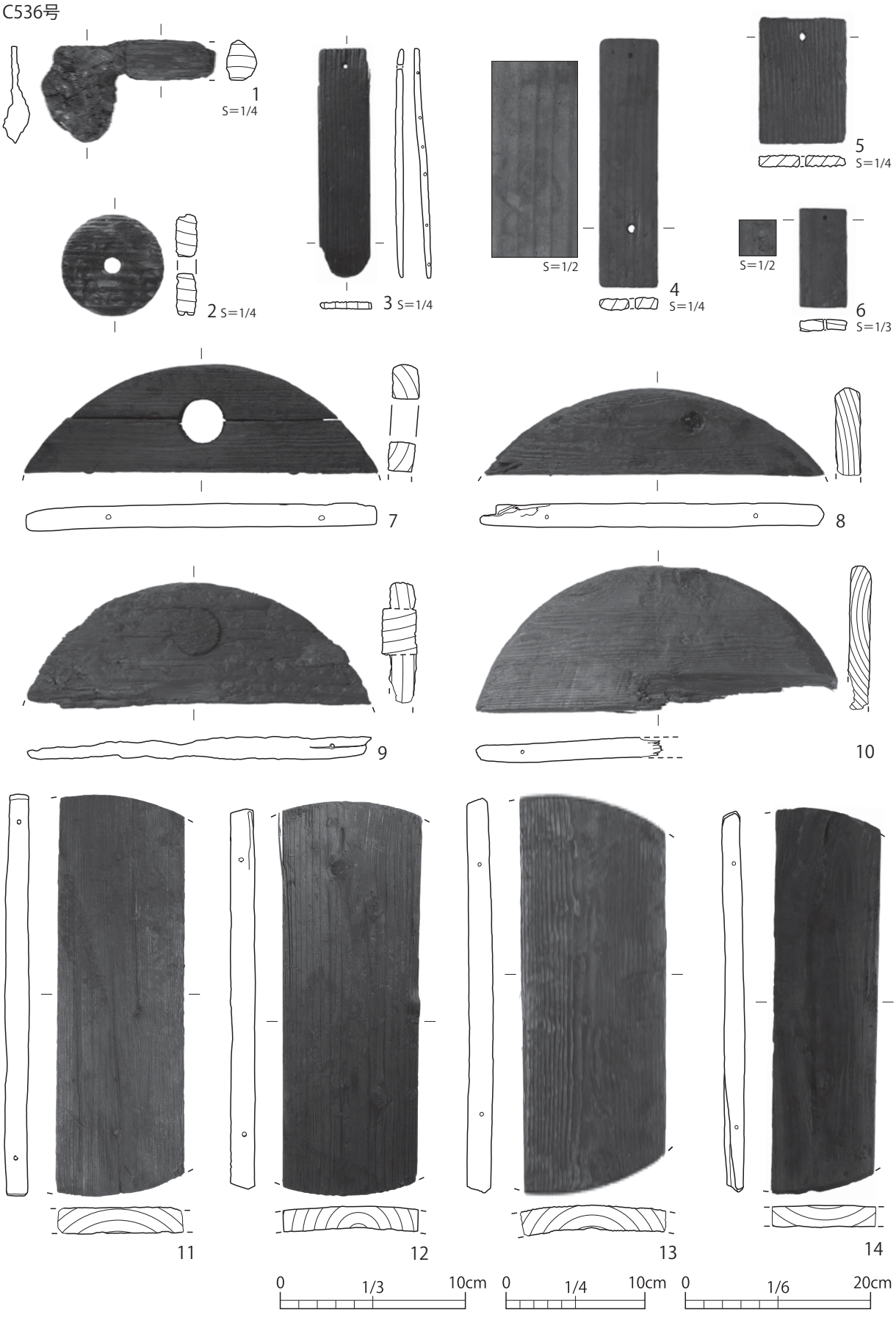
第 262 図　木製品（12）（1/3・1/4・1/6）



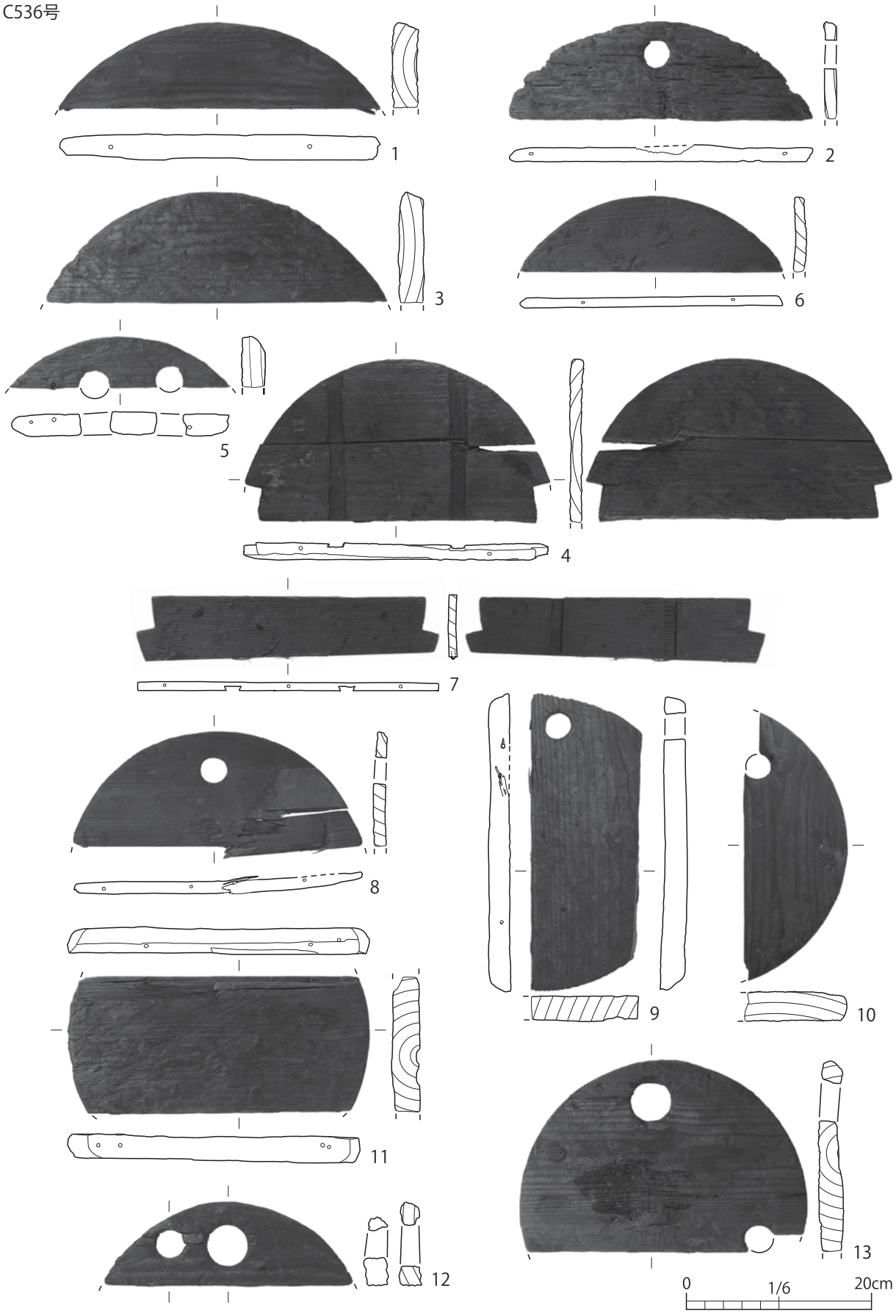
第 263 図　木製品（13）（1/3・1/4）



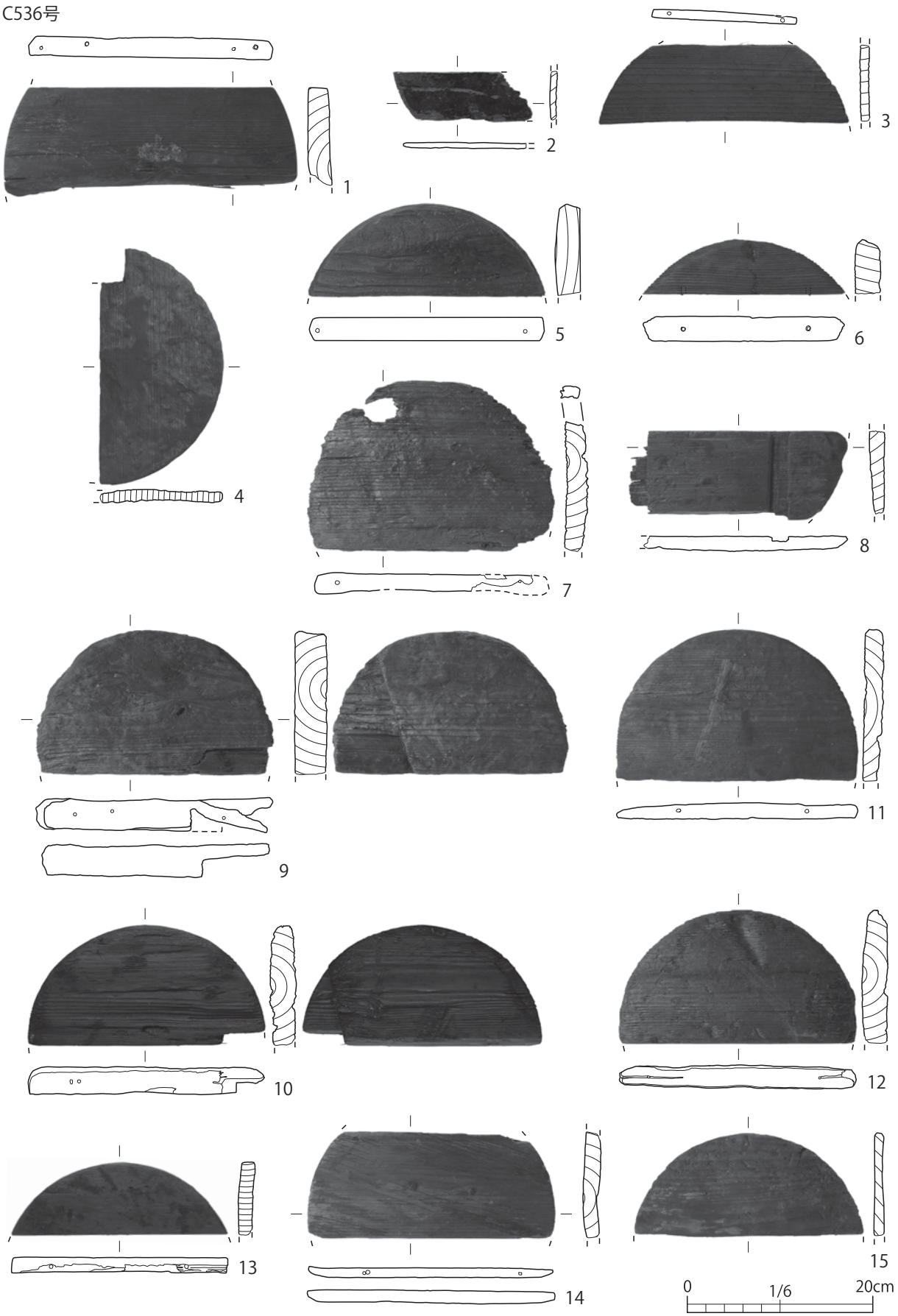
第 264 図　木製品（14）（1/3・1/4・1/6）



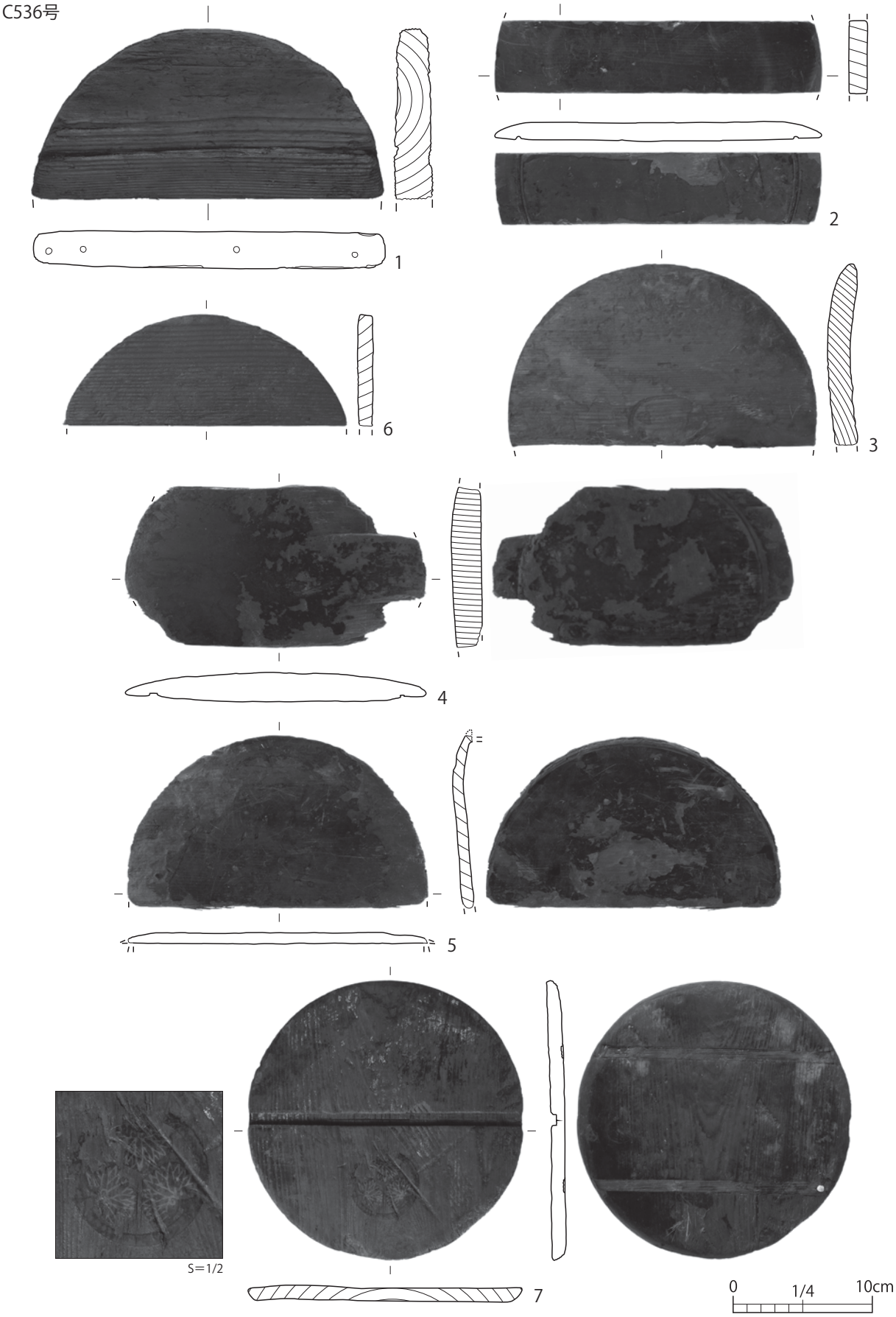
第 265 図　木製品（15）（1/3・1/4・1/6）



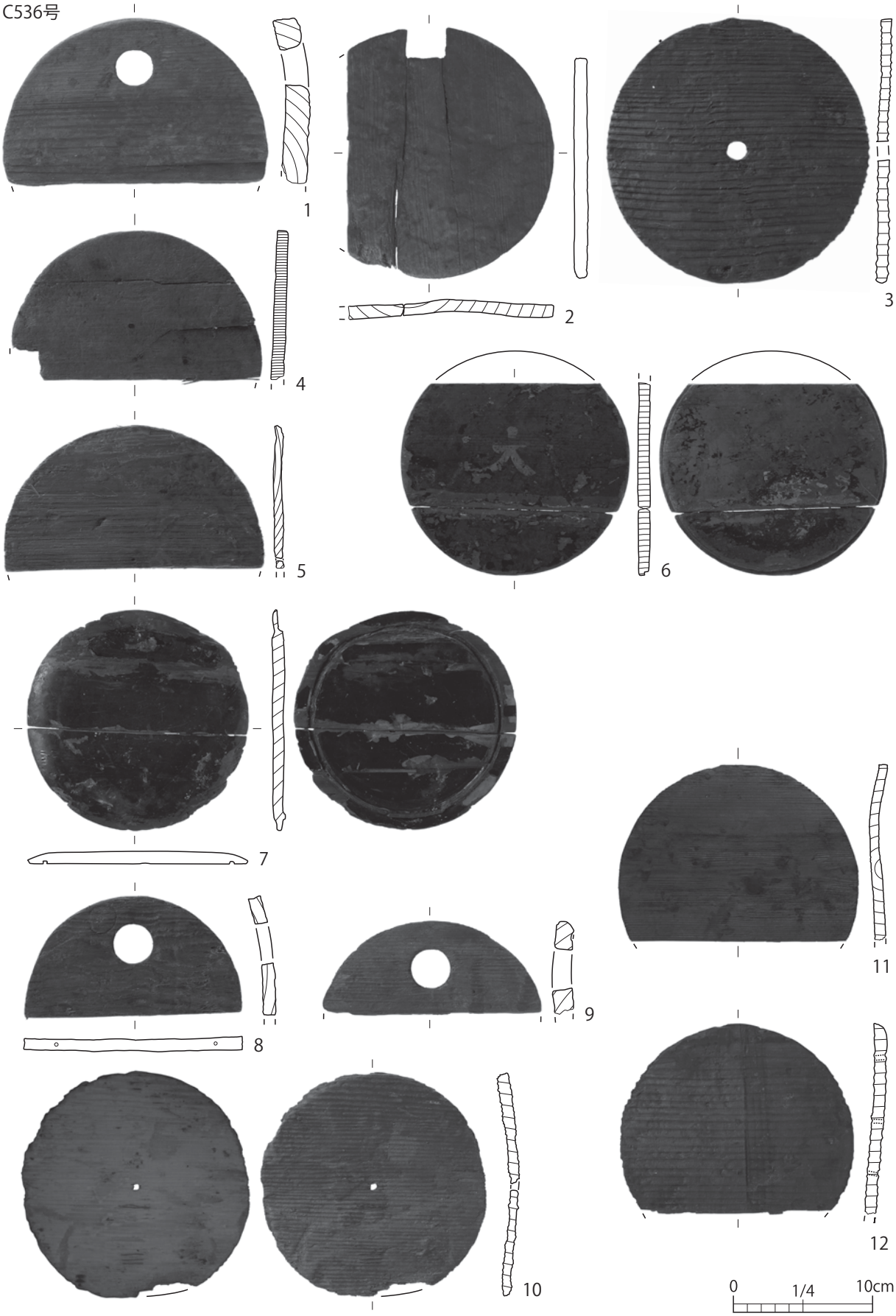
第 266 図　木製品（16）（1/6）



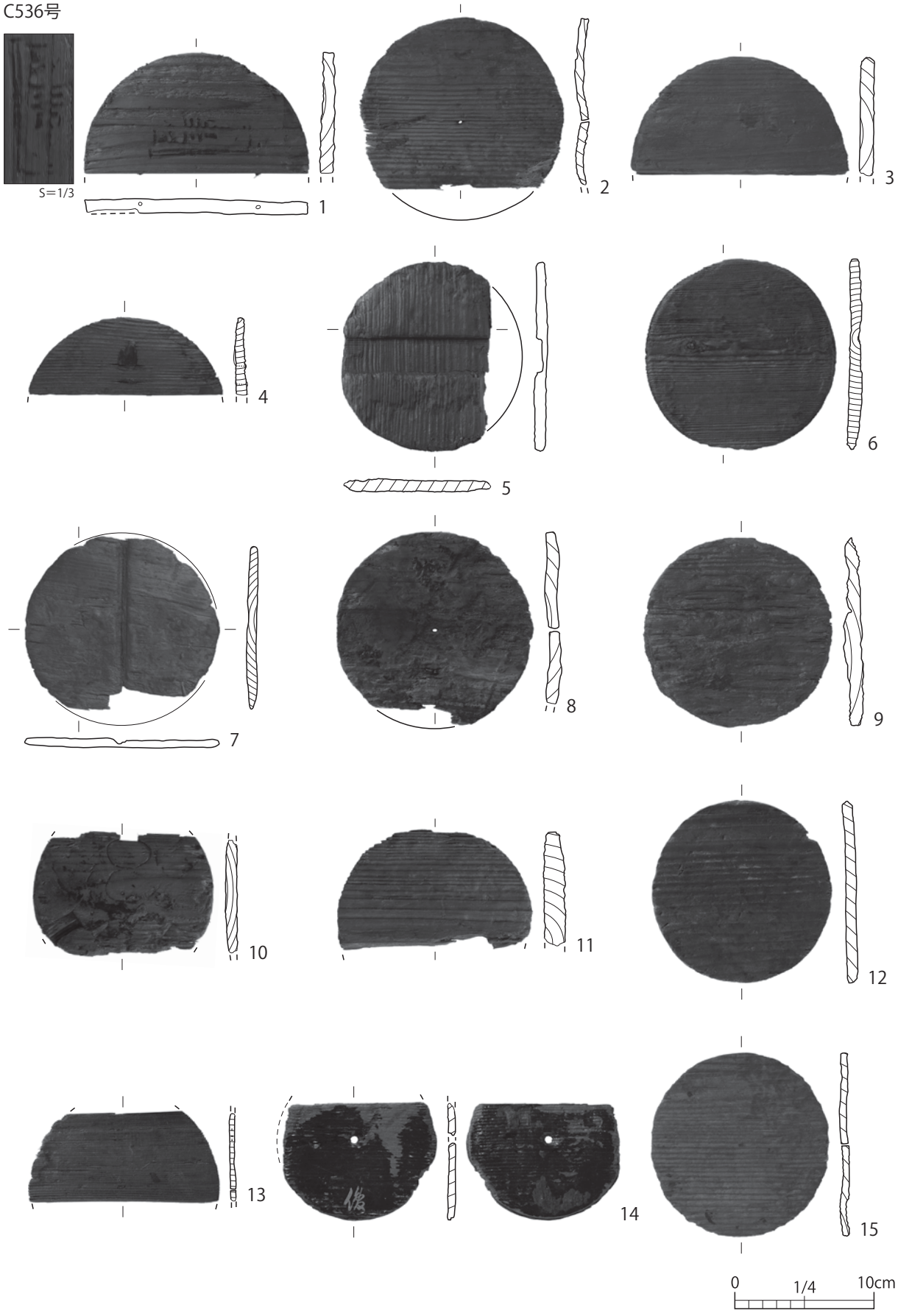
第 267 図　木製品（17）（1/6）



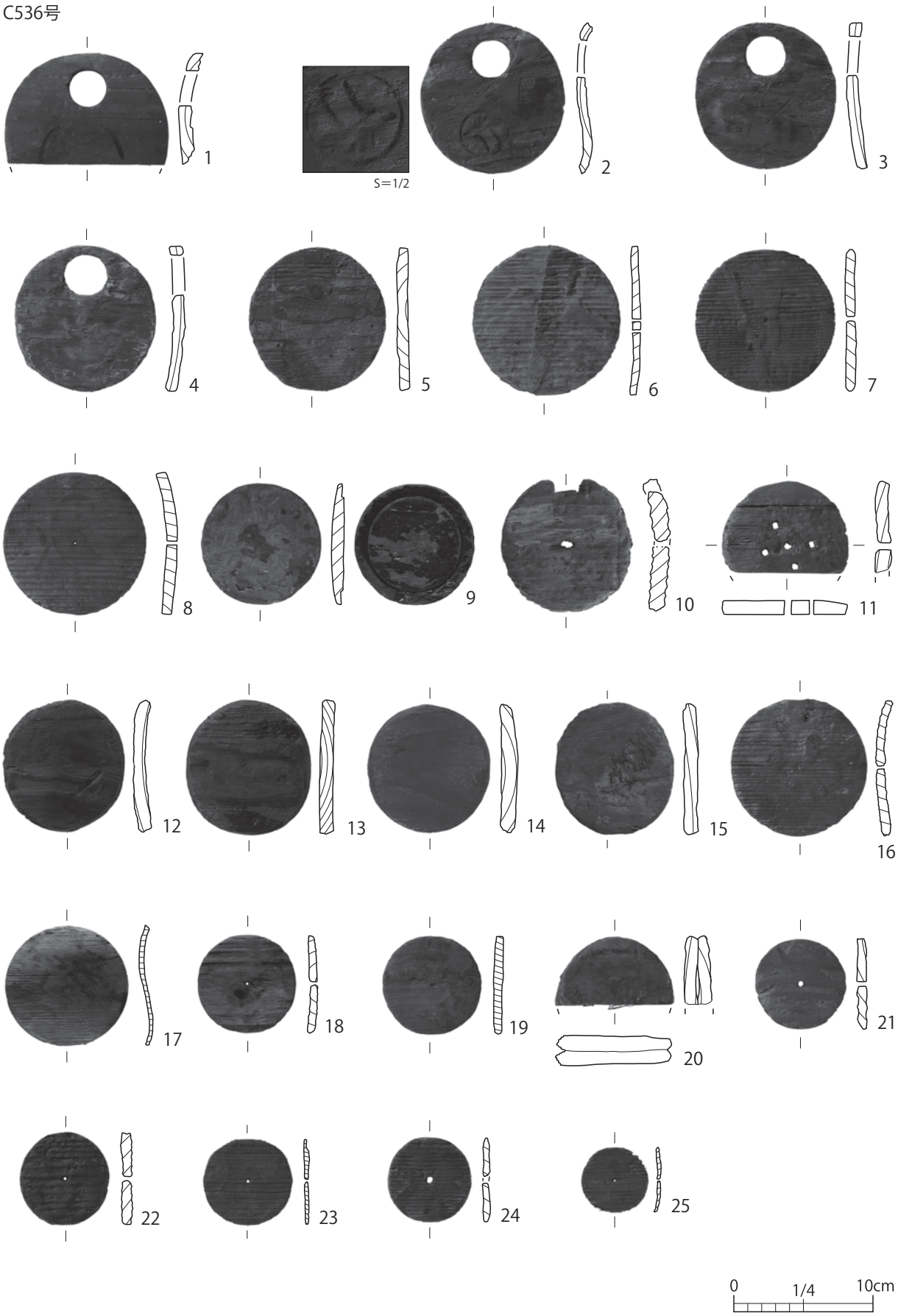
第 268 図　木製品（18）（1/4）



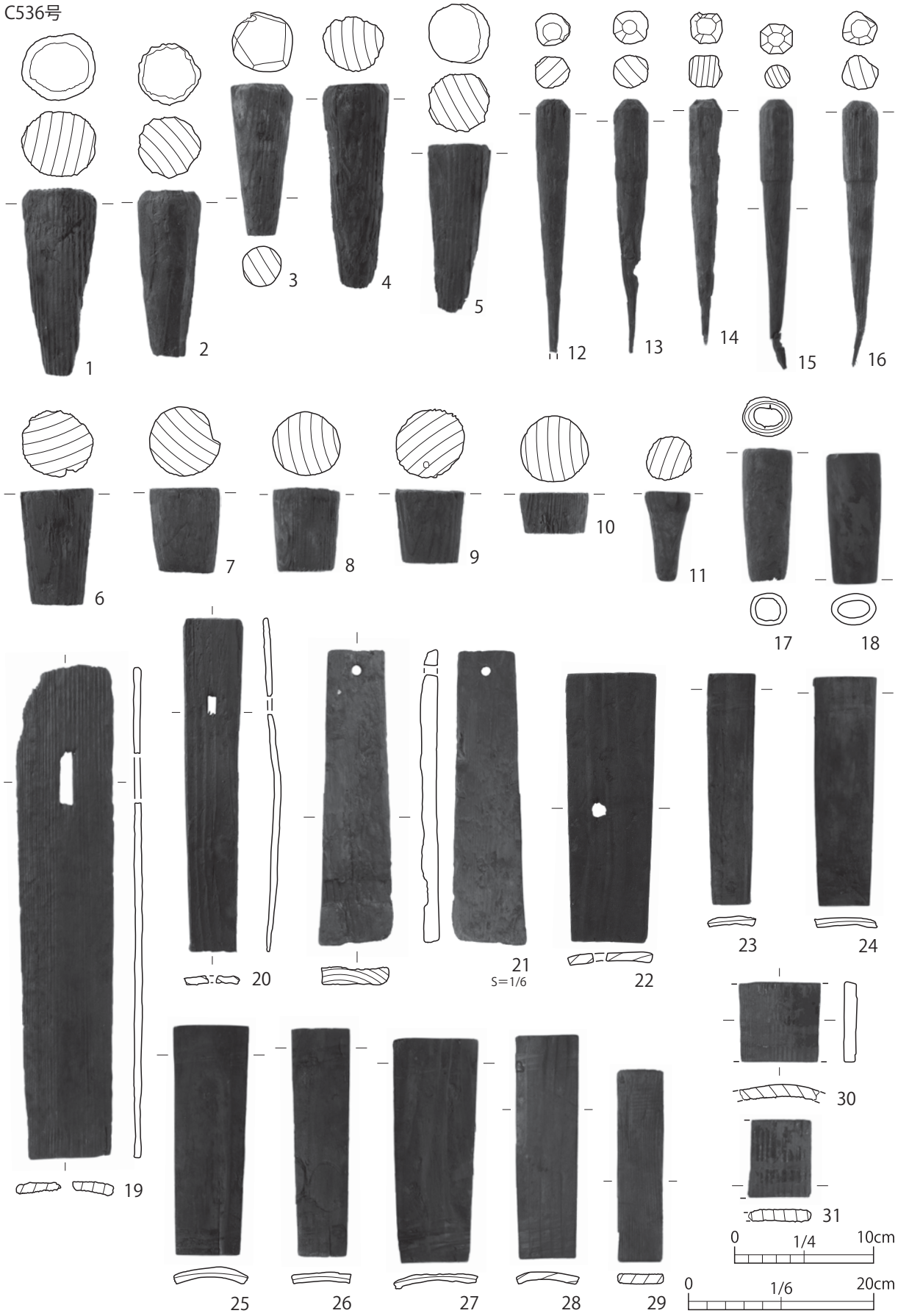
第 269 図　木製品（19）（1/4）



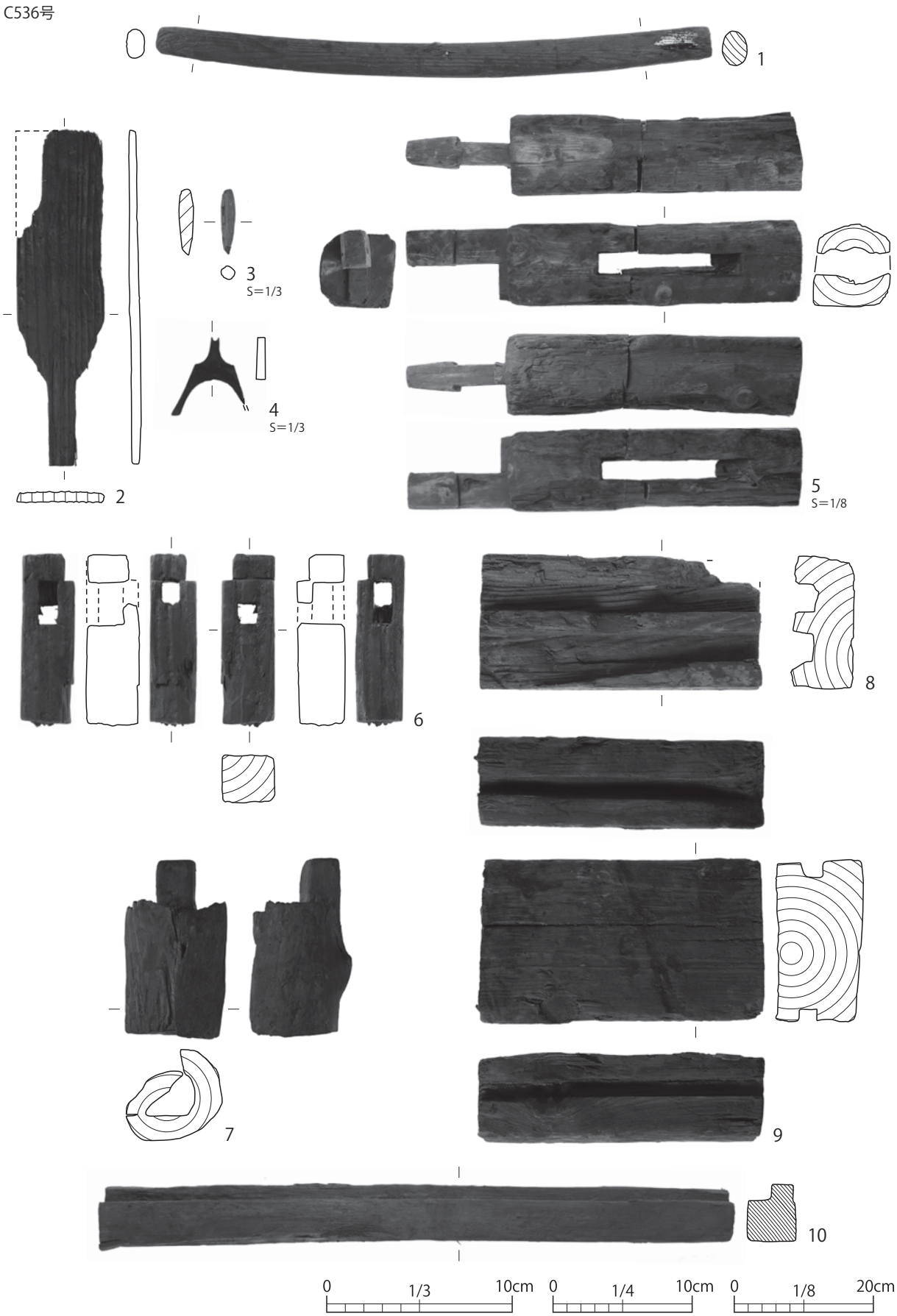
第 270 図　木製品（20）（1/4）



第 271 図　木製品（21）（1/4）

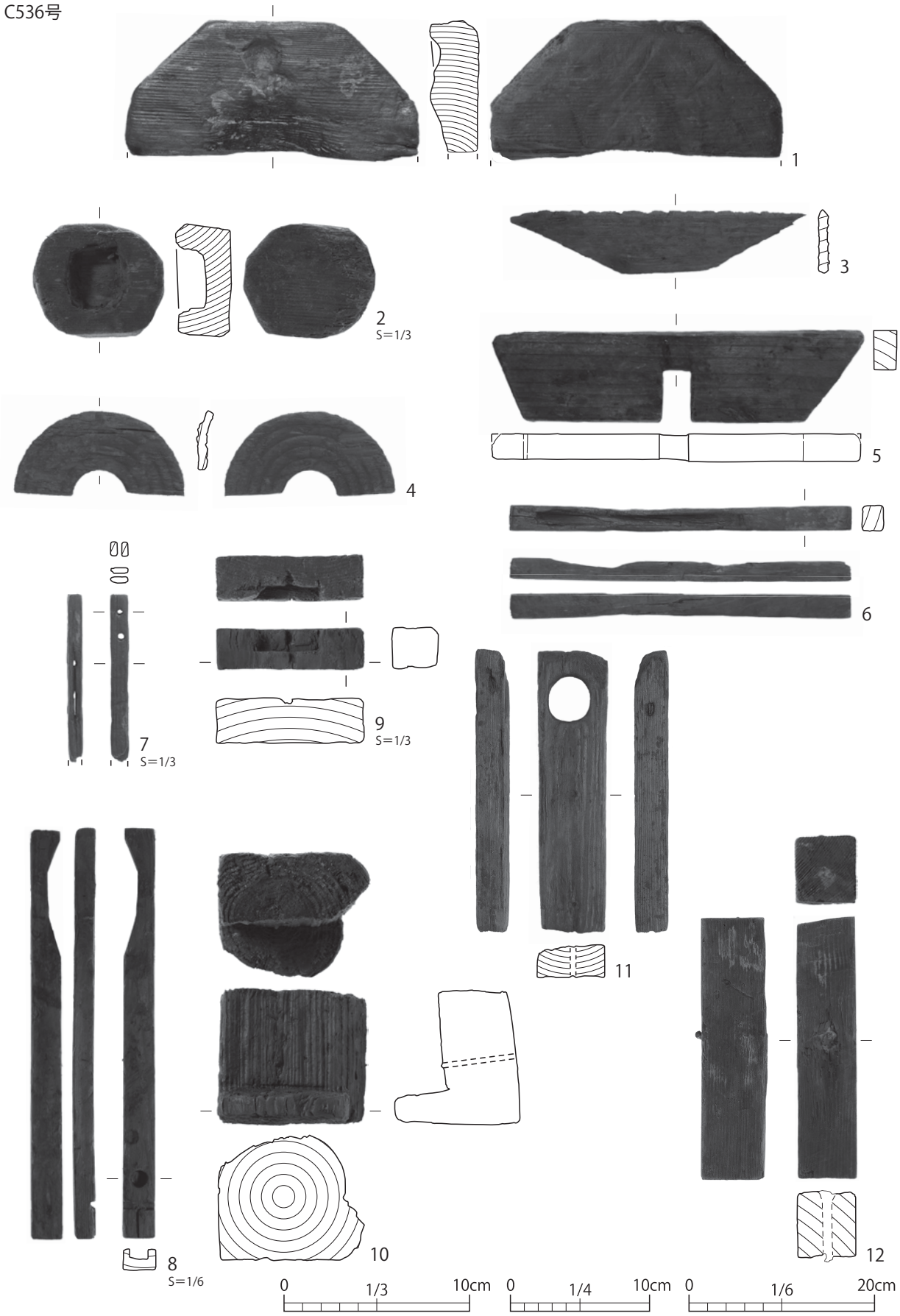


第 272 図　木製品（22）（1/4・1/6）



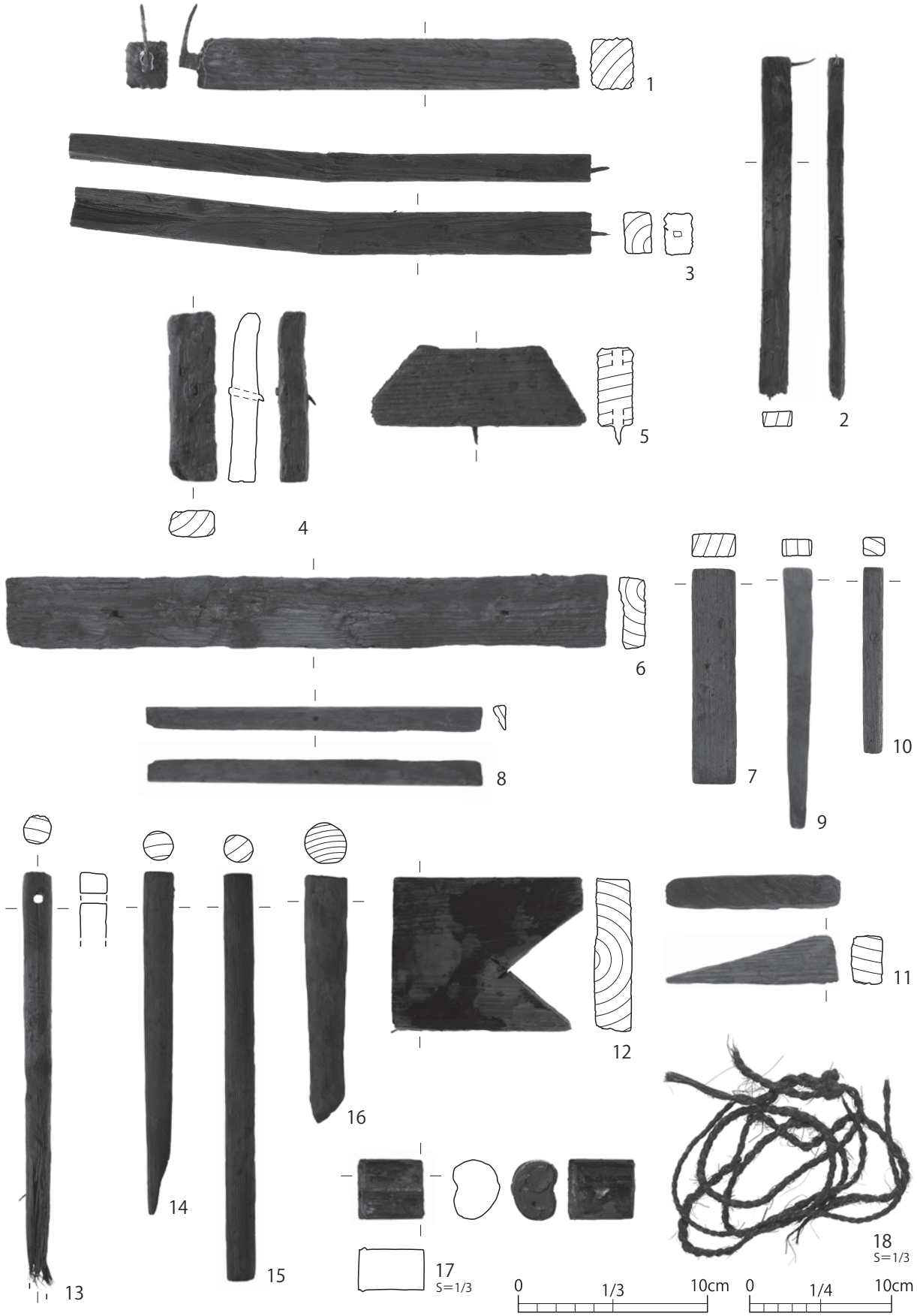
第 273 図　木製品（23）（1/3・1/4・1/8）

C536号



第 274 図　木製品（24）（1/3・1/4・1/6）

C536号



第 275 図　木製品（25）（1/3・1/4）

第 82 表　木製品観察表（1）

掲載番号		出土地点	種別 器種	特徴	残存率 (%)	法量 (mm)			含水 重量 (g)	木取り 年輪	樹種	サンプル 番号	整理 番号
挿図	番号					長さ 口径	幅 器高	厚み 底径					
251	1	B146 号	模造刀柄	黒色漆塗か / 網目状の巻き付け痕 / 目貫も密着して出土したが別個体	95	148	32	13	47	柾目 B	サワラ	S61-1116	28001
251	2	B589 号	笄か	断面長方形	100	115	10	6	7	板目 C	アスナロ	S61-1117	28010
251	3	B5086 号	横櫛	解櫛 / 利休形 / 黒色漆塗	30	〔39〕	〔42〕	6	7	板目 B	イスノキ	S61-1102	28029
251	4	B5086 号	札	板状 / 一角に穿孔 / 墨書（不詳）	100	61	56	9	33	柾目 B	アスナロ	S61-1107	28538
251	5	B5086 号	連歯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方 / 前後歯摩耗顕著	80	213	90	22	216	追い柾目 C	ヒノキ科	S61-1093	28028
251	6	B5086 号	箸	断面七角形	100	23	6	—	7	削出 B	アスナロ	S61-1096	28042
251	7	B5086 号	箸	断面円形	100	141	5	5	4	なし	タケ亜科	S61-1097	28043
251	8	B5086 号	小型容器蓋板	中央上部に径 22mm 穿孔	40	〔49〕	〔118〕	9	30	柾目 B	ヒノキ	S61-1089	28030
251	9	B5086 号	小型容器蓋・底板	黒色漆塗	50	〔32〕	〔74〕	6	11	柾目 A	サワラ	S61-1091	28036
251	10	B5086 号	錐柄	丸棒状 / 先端に断面方形の孔	100	21	18	15	41	削出 B	アスナロ	S61-1114	29543
251	11	B5086 号	傘下轆轤	黒色漆塗り / 中棒残存	80	51	44	32	28	芯抜き削出 C	エゴノキ属	S61-1095	28058
251	12	B1445 号	箸	断面方形	100	215	6	—	5	削出 C	アスナロ	S61-1119	28013
251	13	B1445 号	箸	断面円形	100	219	6	5	4	削出 C	ヒノキ	S61-1121	29658
251	14	B1445 号	箸	断面八角形 / 先端尖り	100	154	6	5	4	削出 C	—	—	29666
251	15	B1445 号	柄杓留	上部に返し状の切り込み / 下部に円孔	100	95	26	13	24	柾目 B	ヒノキ科	S61-1118	28012
251	16	B2290 号	繊維製品	衣か / 中綿残存 / 炭化	破片	〔262〕	〔376.4〕	—	〈87〉	—	—	—	29411
252	1	B3084 号	箸	断面円形	100	157.5	5.3	5.3	5	削出	タケ亜科	S61-1120	28204
252	2	C106 号	漆濾し紙	赤色漆付着	不明	—	—	—	〈22〉	—	—	—	28192-1
252	3	C106 号	漆濾し布	赤色漆付着	不明	—	—	—	〈22〉	—	—	—	28192-2
252	4	C106 号	漆残滓	赤色漆 / 縮みシワあり	不明	—	—	—	7	—	—	—	29682
253	1	C536 号	横櫛	梳櫛 / 利休形 / 櫛歯 50% 残存 / 墨書不鮮明	80	123.5	〔53〕	12	46	歯：柾目 実：柾目 A	歯：カバノキ属 実：カヤ	歯：S61-970 実：S61-971	28188
253	2	C536 号	横櫛	梳櫛鞘 / 利休形 / 墨書不鮮明	100	125	36	14	45	板目 C	ヒノキ科	S61-972	28189
253	3	C536 号	縦櫛	毛筋立	70	〔81〕	39	5	7	板目 A	ツゲ	S61-782	28367
253	4	C536 号	縦櫛	毛筋立	80	109	〔23〕	45	4	板目 A	ツゲ	S61-753	28190
253	5	C536 号	傘下轆轤	黒色漆塗り / 中棒残存	80	63	54	37	50	芯抜き削出 B	エゴノキ属	S61-767	28407
253	6	C536 号	団扇柄	要部分に切り込み	90	〔121〕	〔36〕	9	18	追い柾目 C	ヒノキ	S61-981	28341
253	7	C536 号	連歯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方	100	218	74	37	295	芯持板目芯下 C	ヒノキ	S61-549	28253
253	8	C536 号	連歯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方	95	219	75	39	290	芯持板目芯下 C	スギ	S61-638	29012
253	9	C536 号	連歯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方	90	222	102	55	412	板目芯下 C	クリ	S61-637	29011
253	10	C536 号	連歯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方	95	220	76	41	322	板目芯上 C	スギ	S61-568	28260
253	11	C536 号	連歯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方	100	218	70	36	251	板目芯上 C	スギ	S61-564	28212
253	12	C536 号	連歯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方	95	219.5	173	31.5	246	板目芯上 C	スギ	S61-561	28208
254	1	C536 号	連歯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方	95	215	67	33	239	板目芯上 C	スギ	S61-569	28261
254	2	C536 号	連歯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方	100	218	72	37	265	板目芯下 C	スギ	S61-556	28218
254	3	C536 号	連歯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方	90	219	70	41	293	板目芯下 C	スギ	S61-576	28258
254	4	C536 号	連歯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方	100	213	79	37	261	追い柾目芯下 C	スギ	S61-550	28254
254	5	C536 号	連歯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方 / 前後歯摩耗顕著	90	218	75.5	20	189	追い柾目芯上 C	スギ	S61-548	28252
254	6	C536 号	連歯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方	100	218.5	70.5	42	333	板目芯下 C	スギ	S61-566	28215
254	7	C536 号	連歯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方	95	217	75	28	204	追い柾目芯上 C	スギ	S61-577	28259
254	8	C536 号	連歯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方	90	217	75	39	291	板目芯上 C	スギ	S61-570	28262
254	9	C536 号	連歯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方	95	219	68	33	245	追い柾目芯下 C	ヒノキ	S61-559	28222
255	1	C536 号	連歯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方	90	220	79	35	274	柾目 C	スギ	S61-557	28219
255	2	C536 号	連歯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方 / 前後歯摩耗顕著	70	224.5	84	20	239	柾目 C	クリ	S61-574	28271
255	3	C536 号	連歯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方	95	224	77	39	293	柾目 C	スギ	S61-555	28217
255	4	C536 号	連歯下駄	平面楕円形 / 横緒孔後歯前方 / 表面端部面取り / 中央に焼印による文様 / 第 255 図 4 とセットか	100	236	101	38	405	板目芯下 C	スギ	S61-643	29017
255	5	C536 号	連歯下駄	平面楕円形 / 横緒孔後歯前方 / 表面端部面取り / 中央に焼印による文様 / 第 255 図 3 とセットか	50	231	93	35	176	板目芯下 C	スギ	S61-604	28978
255	6	C536 号	連歯下駄	平面隅丸長方形 / 横緒孔後歯前方	50	〔139〕	62	51	184	柾目 C	ケンポナシ属	S61-598	28972
255	7	C536 号	連歯下駄	平面楕円形 / 横緒孔後歯前方 / 後歯摩耗顕著	80	189	56.5	22	97	柾目 C	カツラ	S61-586	28483
255	8	C536 号	刳下駄	平面楕円形 / 横緒孔後歯前方	90	183	54	31	131	板目芯下 C	クリ	S61-584	28487
255	9	C536 号	陰卯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方 / 前後歯残存	100	222	65	43	308	台：柾目 C 前歯：板目 C 後歯：板目 C	台：ケンポナシ属 前歯：ケヤキ 後歯：ケヤキ	台：S61-679 前歯：S61-680 後歯：S61-681	28242
255	10	C536 号	陰卯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方 / 前後差歯溝内側中央にほぞ穴	100	205	58	26	203	追い柾目芯上 C	ケンポナシ属	S61-735	29049
256	1	C536 号	陰卯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方	95	225	74	26	255	追い柾目芯下 C	ケンポナシ属	S61-654	28210
256	2	C536 号	陰卯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方 / 前差歯溝内側中央にほぞ穴・楔あり	60	〔154〕	65	24	126	台：柾目 A 前歯：柾目 C 楔：なし	台：ケヤキ 前歯：ケヤキ 楔：タケ亜科	台：S61-718 前歯：S61-719 楔：S61-720	29036
256	3	C536 号	陰卯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方 / 前後差歯溝内側にほぞ穴	100	23.2	81.5	33	397	追い柾目 C	ケンポナシ属	S61-675	28240

第 83 表　木製品観察表（2）

掲載番号		出土地点	種別 器種	特徴	残存率 (%)	法量 (mm)			含水 重量 (g)	木取り 年輪	樹種	サンプル 番号	整理 番号
挿図	番号					長さ 口径	幅 器高	厚み 底径					
256	4	C536 号	陰卯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方 / 前後歯残存	95	218	66.5	45	281	台：柾目 C 前歯：柾目 B 後歯：柾目 C	台：エノキ属 前歯：ケヤキ 後歯：ケヤキ	台：S61-658 前歯：S61-659 後歯：S61-660	28229
256	5	C536 号	陰卯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方 / 前歯残存	90	216	61	43	252	台：追い柾目芯上 C 前歯：板目 C	台：クリ 前歯：エノキ属	台：S61-707 前歯：S61-708	28484
256	6	C536 号	陰卯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方 / 前後差歯溝内側中央にほぞ穴	90	213	64	34	282	追い柾目芯上 C	ケンポナシ属	S61-734	29048
256	7	C536 号	陰卯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方	100	214	64	26.5	219	追い柾目芯下 C	クリ	S61-704	28450
256	8	C536 号	陰卯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方 / 前歯残存	100	213	68	20	217	台：柾目 C 前歯：不明 C	台：ケンポナシ属 前歯：ケヤキ	台：S61-683 前歯：S61-684	28244
256	9	C536 号	陰卯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方 / 台表黒色漆塗 / 前後歯残存	95	217	64	26	226	台：柾目 C 前歯：板目 C 後歯：板目 C	台：クリ 前歯：ケヤキ 後歯：ケヤキ	台：S61-663 前歯：S61-664 後歯：S61-665	28234
256	10	C536 号	陰卯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方 / 前歯残存 / 表面炭化	95	208.5	63	35	242	台：板目芯下 C 前歯：板目 C	台：スダジイ 前歯：ケヤキ	台：S61-670 前歯：S61-671	28238
257	1	C536 号	陰卯下駄	平面銅張長方形 / 横緒孔後歯前方 / 後歯残存	100	213	62	31	244	台：柾目 C 後歯：板目 C	台：クリ 後歯：ケヤキ	台：S61-705 後歯：S61-706	28452
257	2	C536 号	陰卯下駄	平面長方形 / 横緒孔後歯前方 / 前後歯残存 80％残存	90	214	61	40.5	255	台：柾目 C 前歯：板目 C 後歯：板目 C	台：クリ 前歯：ケヤキ 後歯：ケヤキ	台：S61-685 前歯：S61-686 後歯：S61-687	28245
257	3	C536 号	陰卯下駄	平面隅丸長方形 / 横緒孔後歯前方 / 前後差歯溝内側にほぞ穴	90	217	82.5	26.5	261	板目芯下 C	ケンポナシ属	S61-657	28228
257	4	C536 号	陰卯下駄	平面楕円形 / 横緒孔後歯前方	95	212	58.5	32	214	柾目 C	クリ	S61-668	28236
257	5	C536 号	陰卯下駄	平面楕円形 / 横緒孔後歯前方	100	215	58	41	280	追い柾目芯上 C	センダン	S61-732	29046
257	6	C536 号	陰卯下駄	平面楕円形 / 横緒孔後歯前方	95	216.5	53	30	200	台：柾目 C 前歯：板目 C 後歯：不明	台：ケンポナシ属 前歯：ケヤキ	台：S61-690 前歯：S61-691	28265
257	7	C536 号	陰卯下駄	平面楕円形 / 横緒孔後歯前方 / 全面黒色漆塗 / 後歯残存	95	213.5	64	24.5	180	台：柾目 C 後歯：板目 C	台：クリ 後歯：ケヤキ	台：S61-661 後歯：S61-662	28232
257	8	C536 号	陰卯下駄	平面楕円形 / 横緒孔後歯前方 / 後歯残存	95	212	55	26.5	190	台：追い柾目 C 後歯：板目 C	台：クリ 後歯：ケヤキ	台：S61-666 後歯：S61-667	28235
257	9	C536 号	陰卯下駄	平面楕円形 / 横緒孔後歯前方	100	190	52	24	138	追い柾目芯上 C	クリ	S61-733	29047
257	10	C536 号	陰卯下駄	平面隅丸長方形 / 横緒孔後歯前方 / 台表黒色漆塗 / 台裏の前後剥落か	90	212	68	26	147	柾目 C	クリ	S61-580	28449
257	11	C536 号	無眼下駄	平面楕円形 / 釘痕 8 か所 / 台裏中央両端に抉り	95	238	73	20	247	板目芯下 C	アカマツ	S61-698	28230
258	1	C536 号	無眼下駄	平面楕円形 / 釘痕数か所 / 台裏中央両端に抉り	95	212.5	60.5	23	226	板目芯下 C	アカマツ	S61-699	28231
258	2	C536 号	無眼下駄	平面楕円形 / 釘痕数か所 / 台裏中央に抉り	95	232	76.5	19	231	板目芯下 C	アカマツ	S61-696	28225
258	3	C536 号	無眼下駄	平面楕円形 / 釘痕数か所	100	220	67	23	304	板目芯上 C	ヒノキ	S61-701	28270
258	4	C536 号	無眼下駄	平面楕円形	100	223	67	25	321	板目芯上 C	ヒノキ	S61-694	28223
258	5	C536 号	無眼下駄	平面楕円形 / 釘痕数か所 / 台裏中央に抉り	90	165	51	14	102	板目芯上 C	アカマツ	S61-746	29060
258	6	C536 号	無眼下駄	平面楕円形 / 釘痕 8 か所 / 台裏中央両端に抉り	95	25	65	20	234	柾目 C	アカマツ	S61-700	28233
258	7	C536 号	無眼下駄	平面船底形 / 釘痕数か所	100	233	72.5	28	412	柾目 C	カラマツ属	S61-697	28226
258	8	C536 号	無眼下駄	平面楕円形 / 釘痕数か所 / 台裏中央に抉り	100	198	54	25.5	181	柾目 C	アカマツ	S61-695	28224
258	9	C536 号	膳側板	内外面黒色漆塗	90	〔411〕	41	5	72	柾目 B	ヒノキ	S61-913	29097
258	10	C536 号	膳側板	外面黒色漆塗 / 内面赤色漆塗	60	247.5	29	57	35	板目 B	マツ属単維管束亜属	S61-874	28438
258	11	C536 号	膳側板	内外面赤色漆塗	95	243	22	5.1	29	板目 B	ヒノキ	S61-871	28433
258	12	C536 号	膳底板	上下面黒色漆塗 / 上面周縁に釘穴 / 上下面に部材接着痕あり	30	〔122〕	288	7	148	板目 B	アスナロ	S61-895	29065
258	13	C536 号	膳底板	上面黒色漆塗	10	239	44	7	62	板目 C	アスナロ	S61-907	29085
258	14	C536 号	膳底板	上面黒色漆塗	40	194	〔106〕	75	121	板目 C	アスナロ	S61-880	28453
259	1	C536 号	膳底板	四隅面取り / 上面赤色漆塗 / 下面黒色漆塗	20	262	57	6	95	追い柾目 C	ヒノキ	S61-875	28439
259	2	C536 号	膳底板	下面両端部に溝 2 条 / 溝内に膠着材 / 上下面黒色漆塗 / 下面部分的に赤色漆塗	15	332	55	6	121	板目 C	ヒノキ	S61-882	28460
259	3	C536 号	膳脚板	上部中央に切り込み / 下部中央に円形の透かし	80	164	140	8	130	板目 C	モミ属	S61-865	28355
259	4	C536 号	膳脚板	内外面黒色漆塗 / 上部中央に切り込み / 下部中央に半円形の透かし	40	204	〔98〕	11	163	柾目 C	モミ属	S61-890	28490
259	5	C536 号	膳脚板	上部中央に切り込み / 下部中央に半円形の透かし	70	168	〔92〕	8	93	板目 C	モミ属	S61-863	28353
259	6	C536 号	膳脚板	内外面黒色漆塗 / 下部に曲線状の透かし	80	180	〔101〕	12	125	板目 C	ヒノキ	S61-878	28445
259	7	C536 号	膳脚板	下部に長楕円形の透かし	90	214	92	10	108	柾目 C	スギ	S61-961	29175
259	8	C536 号	膳脚板	下部中央に透かし	100	214	93	6	115	板目 C	スギ	S61-859	28317
259	9	C536 号	膳脚板	上部内面に段作出 / 下部に透かし	100	162	74	7.5	59	追い柾目 C	スギ	S61-860	28274
259	10	C536 号	膳脚板	中央上部に切り込み	100	160	52	10	64	柾目 C	モミ属	S61-857	28129
259	11	C536 号	膳脚板か	上部中央に切り込み	100	90	30	6	16	板目 C	ヒノキ	S61-884	28467
259	12	C536 号	膳脚板	上部中央に切り込み	80	66	〔40〕	7	15	板目 C	ツガ属	S61-862	28340
259	13	C536 号	膳脚板	内外面黒色漆塗 / 中央下部に楕円形の透かし	100	244	24	6	39	板目 C	ヒノキ	S61-873	28437

第 84 表　木製品観察表（3）

掲載番号		出土地点	種別 器種	特徴	残存率 (%)	法量 (mm)			含水 重量 (g)	木取り 年輪	樹種	サンプル 番号	整理 番号
挿図	番号					長さ 口径	幅 器高	厚み 底径					
259	14	C536 号	膳脚板	内外面黒色漆塗→赤色漆塗 / 上部中央に溝 / 両端部に溝・別部材 / 上面に膠着材	95	268	52	25	167	板目 B	アスナロ	S61-967	29186
259	15	C536 号	膳脚板	内外面黒色漆塗→赤色漆塗 / 上部中央に溝 / 両端部に溝・別部材 / 上面に膠着材	95	256	42	11	103	板目 C	スギ	S61-964	29182
260	1	C536 号	椀蓋 (平碗)	肩部に稜 / 内外面赤色漆塗	40	〔124〕	〔38〕	〔29〕	67	横木取り柾目 A	ブナ属	S61-1079	28419
260	2	C536 号	椀蓋 (一文字椀)	外面黒色漆塗 / 内面赤色漆塗 / 外面摘み内赤色漆書「本極」	50	〔107〕	〔44〕	49	85	横木取り柾目 C	ブナ属	S61-1074	28412
260	3	C536 号	椀蓋 (一文字椀)	肩部に稜 / 内外面黒色漆塗	20	〔100〕	25	—	23	横木取り板目 A	トチノキ	S61-1069	28402
260	4	C536 号	椀蓋 (腰丸蓋)	内外面黒色漆塗 / 外面摘み内金色漆書「安」	30	—	〔11〕	(42)	14	横木取り板目 A	トチノキ	S61-1072	28410
260	5	C536 号	鉢	外面黒色漆塗 / 内面赤色漆塗 / 高台内赤色漆書「■」/ 外面金彩か	60	〔128〕	74	〔37〕	95	横木取り柾目 C	ブナ属	S61-1082	28423
260	6	C536 号	椀 (腰丸椀)	内外面赤色漆塗 / 高台内黒色漆書「極」	60	〔116〕	〔50〕	〔56〕	100	横木取り柾目 C	ハンノキ属 ハンノキ節	S61-1073	28411
260	7	C536 号	椀 (腰丸椀)	腰部に稜 / 外面黒色漆塗 / 内面赤色漆塗 / 高台内赤色漆書「上」	60	〔118〕	〔38〕	〔38〕	131	横木取り柾目 C	ブナ属	S61-1081	28422
260	8	C536 号	椀 (腰丸椀)	腰部に稜 / 内外面黒色漆塗 / 外面赤色漆で文様か	50	〔108〕	〔36〕	〔56〕	114	横木取り板目 B	トチノキ	S61-1076	28415
260	9	C536 号	椀 (壺椀)	腰部に稜 / 内外面赤色漆塗	60	〔104〕	〔35〕	100	103	横木取り板目 A	トチノキ	S61-1078	28418
261	1	C536 号	椀 (平碗)	腰部に稜 / 外面黒色漆塗 / 内面赤色漆塗	10	〔125.5〕	〔28〕	〔65.5〕	180	横木取り柾目 C	ブナ属	S61-1080	28421
261	2	C536 号	椀 (腰丸椀)	腰部に稜 / 外面黒色漆塗 / 内面赤色漆塗	40	(107)	〔25〕	〔58.1〕	46	横木取り板目 C	トチノキ	S61-1075	28414
261	3	C536 号	椀	高台部 / 外面黒色漆塗 / 内面赤色漆塗	10	—	〔43〕	—	69	横木取り板目 C	トチノキ	S61-1071	28408
261	4	C536 号	箸	断面円形	100	249	6.5	6.5	7	削出 A	イヌガヤ	S61-794	29417
261	5	C536 号	箸	断面円形	100	246	6	5.5	6	削出 A	イヌガヤ	S61-795	29419
261	6	C536 号	串か	断面円形 / 先端鋭利に加工	100	220	5.5	5.5	6	削出 B	イヌガヤ	S61-793	29416
261	7	C536 号	箸	断面方形	95	228	5.5	5.5	5	削出 C	スギ	S61-792	29415
261	8	C536 号	箸	断面方形	100	212	5	4	4	削出 A	イスノキ	S61-784	29292
261	9	C536 号	箸	断面楕円形	100	184	5	4.5	5	削出 C	スギ	S61-791	29306
261	10	C536 号	箸	断面楕円形	95	169	6	3.5	3	削出 B	スギ	S61-796	29420
261	11	C536 号	箸	断面方形	70	〔142〕	7	4	5	割材 B	スギ	S61-797	29424
261	12	C536 号	包丁	端部に溝 / 黒色漆塗 / 鉄製刃部残存	100	〔137〕	32	23	84	削出 C	スギ	S61-786	29295
261	13	C536 号	刃物類柄	端部に溝	100	109	34	20	64	削出 C	スギ	S61-777	28362
261	14	C536 号	刃物類柄		100	121	24	16	39	削出 C	ヒノキ	S61-785	29293
261	15	C536 号	刃物類柄	段を作出 / 側面墨書か（不詳）	95	26	12	14	36	板目 C	ヒノキ	S61-768	28432
262	1	C536 号	箱類蓋板か	両端に段作出	不明	238	63	29.5	395	板目 B	ヒノキ	S61-1004	28100
262	2	C536 号	箱類蓋板	上面黒色漆塗 / 下面に溝２条	20	204	〔52〕	61	57	板目 B	ヒノキ	S61-872	28434
262	3	C536 号	箱類蓋板	上下面黒色漆塗 / 下面に２条の漆塗膜剥落	95	200	187	9	381	板目 C	スギ	S61-881	28458
262	4	C536 号	箱類蓋板	上下面黒色漆塗 / 下面に２条の漆塗膜剥落	70	〔120〕	150	9	140	板目 B	ヒノキ	S61-896	29066
262	5	C536 号	箱類蓋板	上下面黒色漆塗 / 上面金色漆で文様	50	105	〔50.5〕	5	26	追い柾目 C	ヒノキ	S61-866	28405
262	6	C536 号	箱類蓋板	上面黒色漆塗 / 下面赤色漆塗 / 下面両端に別部材	95	99	99	12	102	柾目 C	ヒノキ	S61-867	28426
262	7	C536 号	箱類蓋板	内外面黒色漆塗 / 長軸方向端部に段を作出	90	102	79	77	56	板目 C	ヒノキ	S61-877	28444
262	8	C536 号	箱類蓋板か	上下面黒色漆塗	40	98	〔46〕	7	27	板目 B	アスナロ	S61-904	29076
262	9	C536 号	箱類側材	上部両端に孔あり / 左右両側に釘穴	不明	271	139	7	287	板目 C	モミ属	S61-959	29170
262	10	C536 号	箱類側板	中央上部に円孔	不明	182	50	8	70	板目 C	—	—	29172
262	11	C536 号	箱類側板	内面下位に溝１条 / 側面に釘穴２ヶ所	100	131	71	6	61	追い柾目 B	スギ	S61-947	29154
262	12	C536 号	箱類側板か	板状 / 上端に釘穴３ヵ所	95	113	4	6	21	柾目 B	スギ	S61-994	28475
262	13	C536 号	箱類側材	赤色漆塗 / 端部に釘穴２ヶ所 / 漆塗り重ね跡顕著	90	169	41	12	77	追い柾目 B	アスナロ	S61-954	29162
262	14	C536 号	箱類側板か	内外面黒色漆塗→赤色漆で文様 // 内面中央の溝内に別部材残存	不明	〔98〕	63	10	63	板目 C	—	—	29171
263	1	C536 号	箱類側板か	内外面黒色漆塗 / 内面中央の溝内に別部材残存	50	〔146.5〕	69	13	95	板目 C	ヒノキ	S61-869	28428
263	2	C536 号	箱類側板か	内外面黒色漆塗 / 内面中央の溝内に別部材残存	40	〔110〕	70	12	96	板目 C	スギ	S61-888	28476
263	3	C536 号	箱類側板か	内外面黒色漆塗 / 内面中央の溝内に別部材残存	40	〔107〕	69.5	12	97	板目 C	—	—	28477
263	4	C536 号	箱類側板か	内外面黒色漆塗 / 内面中央の溝内に別部材残存	95	64	48	11	37	板目 C	アスナロ	S61-889	28478
263	5	C536 号	箱類側板か	内外面黒色漆塗	不明	—	—	—	47	板目 C	アスナロ	S61-891	28492
263	6	C536 号	箱類側材	黒色漆塗 / 上部に溝	100	64	62	9	18	板目 B	スギ	S61-956	29164
263	7	C536 号	調度品部材	板状 / 黒色漆塗 / 上部中央に穿孔 / 下部中央に方形の透かし	100	85	26.4	14	236	板目 C	モミ属	S61-879	28451
263	8	C536 号	箱類部材	板状 / 内外面黒色漆塗 / 各側面に剥離痕	90	〔180〕	88	6	102	板目 B	ヒノキ	S61-897	29067
263	9	C536 号	箱類部材	赤色漆塗か	100	114	71	70	53	柾目 C	スギ	S61-950	29158
263	10	C536 号	箱類底板か	上面中央部平滑 / 上面周縁釘痕２ヶ所 / 断面逆台形	100	102	89	19	106	追い柾目 C	サワラ	S61-1028	29242

第 85 表　木製品観察表（4）

掲載番号		出土地点	種別 器種	特徴	残存率 (%)	法量 (mm)			含水 重量 (g)	木取り 年輪	樹種	サンプル 番号	整理 番号
挿図	番号					長さ 口径	幅 器高	厚み 底径					
263	11	C536 号	箱類部材か	板状 / 赤色漆塗	100	36	〔25〕	5	5	追い柾目 C	アスナロ	S61-909	29092
263	12	C536 号	把手	中央下部に半円形の透かし	100	161	33	8	32	追い柾目 C	モミ属	S61-1029	29243
263	13	C536 号	把手	曲線状の平面形態	20	117	37	12	26	柾目 C	ヒノキ	S61-385	28711
263	14	C536 号	調度品部材	断面方形 / 黒色漆塗 / ハトメ状の銅製金具２ヶ所残存	不明	172	17	24	65	削出 B	スギ	S61-835	29268
263	15	C536 号	調度品部材	断面方形 / ハトメ状の銅製金具２ヶ所残存	95	211	20	19	75	角材 C	スギ	S61-829	29262
263	16	C536 号	調度品部材	角棒状 / 黒色漆塗 / 釘穴２ヶ所 / 先端にほぞあり	100	208	23	17	72	追い柾目 C	ヒノキ	S61-841	29274
263	17	C536 号	調度品部材	角棒状 / 黒色漆塗 / ほぞあり	100	124	17	11	25	柾目 C	ヒノキ	S61-960	29174
263	18	C536 号	箱枕側板	外面黒色漆塗 / 内面赤色漆塗 / 下部中央に切り込み / 内面両側縁に溝	100	129	〔105〕	11	128	板目 B	アスナロ	S61-986	28429
263	19	C536 号	箱枕側板	赤色漆塗	90	304	118	7	243	板目 C	スギ	S61-1046	29215
263	20	C536 号	鏡箱蓋	板状	40	〔298〕	84	5	99	板目 C	ヒノキ	S61-988	28458
264	1	C536 号	調度品部材	板状 / 両端に切り込み	95	536	60	12	226	板目 C	ヒノキ	S61-999	28495
264	2	C536 号	調度品部材	板状 / 両端に切り込み	95	317	63	10	156	板目 C	モミ属	S61-998	28494
264	3	C536 号	調度品部材	両端下部に方形の切り込み	80	558	30	8	82	追い柾目 C	モミ属	S61-982	28348
264	4	C536 号	調度品部材か	板状 / 釘穴２ヶ所	100	8	501	11	327	板目 C	アカマツ	S61-973	28311
264	5	C536 号	灯台脚部	中央上部に切り込み・釘穴１ヵ所 / 中央下部に半円形の透かし	95	95	32	11.5	25	板目 C	アスナロ	S61-885	28468
264	6	C536 号	火打金	長軸方向に切り込み / 金属片残存 / 焼印（不詳）	100	141	61	12	125	板目 C	アスナロ	S61-1012	28431
264	7	C536 号	火打金	長軸方向に切り込み / 墨書・焼印（不詳）	90	14	45	14	86	追い柾目 C	ヒノキ	S61-984	28358
264	8	C536 号	火打金	長軸方向に切り込み	80	140	69	14	96	柾目 C	スギ	S61-983	28356
264	9	C536 号	柄杓留	上部に返し状の切り込み / 中央に円孔	100	72	18	12	12	柾目 C	スギ	S61-818	28373
264	10	C536 号	ちりとり柄か	上下部にホゾ穴 / 上端部に返し状の削り込み	95	423	31	22	178	角材 C	ヒノキ	S61-820	28461
264	11	C536 号	刷毛柄 （寸胴刷毛）	持ち手部に径 7mm 穿孔 / 先端部に溝３条・釘穴 / 先端部側面に切り込み	95	148	〔60〕	5	23	板目 C	ヒノキ	S61-978	28336
264	12	C536 号	刷毛柄 （平刷毛）	持ち手に径 7mm 穿孔 / 先端部外面に溝２条 / 先端部側面に切り込み	60	146	〔63〕	14	31	板目 B	ヒノキ	S61-980	28338
264	13	C536 号	箒	繊維束 / 結束縄２段残存	不明	〔162〕	〔265〕	—	97	—	—	—	28374
264	14	C536 号	束子か	繊維束 / 結束縄（1 段 R）残存		〔118〕	〔67〕	—	31	—	—	—	28375
264	15	C536 号	束子か	繊維束 / 銅線による結束	不明	〔129〕	〔95〕	—	20	—	—	—	29348
264	16	C536 号	物指	裏面赤色漆塗 / 約 3mm 間隔で目盛りあり	70 か	〔126〕	12	3	3	なし	タケ亜科	S61-1047	29216
264	17	C536 号	錐	鉄製の先端部残存	100	271	19	20	79	削出 B	アスナロ	S61-763	28370
265	1	C536 号	鎌か	鉄製刃部残存	30	〔95〕	〔22〕	〔16〕	60	削出 C	スギ	S61-781	28366
265	2	C536 号	車輪	中央に径 12mm 穿孔 / 周縁摩耗か	100	74	74	14	60	柾目 C	モミ属	S61-346	28305
265	3	C536 号	札	板状 / 上端部中央に径 3mm 穿孔 / 下端部丸く成形 / 側面に釘穴複数 / 指物側板を転用か	100	165	38	5	30	追い柾目 C	スギ	S61-975	28320
265	4	C536 号	札	板状 / 上下端に円孔 / 墨書（不詳）	100	178	42	8	63	板目 C	モミ属	S61-1043	29212
265	5	C536 号	札	板状 / 上部中央に円孔	100	90	62	8	45	板目 C	モミ属	S61-1045	29214
265	6	C536 号	札	板状 / 中央上部に円孔 / 墨書「本」	100	53	26	6	9	板目 C	スギ	S61-1041	29210
265	7	C536 号	桶・樽類蓋板	上部に径 50mm 穿孔 / 断面に釘痕	10	378	〔117〕	29	498	板目 C	スギ	S61-58	28086
265	8	C536 号	桶・樽類蓋板	周縁面取り	20	(375)	(905)	27	612	板目 B	スギ	S61-59	28101
265	9	C536 号	桶・樽類蓋板	断面に釘痕 / 栓あり	40	(133)	(374)	36	930	板：板目 C 栓：削出 C	板：スギ 栓：スギ	板：S61-66 栓：S61-67	28073
265	10	C536 号	桶・樽類蓋板	周縁面取り / 断面に釘痕	40	(156)	(395)	21	971	板目 B	スギ	S61-63	28078
265	11	C536 号	桶・樽類蓋・底板	両断面に釘痕	30	(140)	436	27	1600	板目 C	スギ	S61-62	28072
265	12	C536 号	桶・樽類蓋板	周縁面取り / 両断面に釘痕	40	(152)	430	26	1645	板目 C	スギ	S61-68	28076
265	13	C536 号	桶・樽類蓋板	周縁面取り / 両断面に釘痕	40	(158)	433	26.5	1705	板目 C	ヒノキ	S61-64	28071
265	14	C536 号	桶・樽類底	周縁面取り / 両断面に釘痕	30	(114)	415	21	1019	板目 C	スギ	S61-69	28077
266	1	C536 号	桶・樽類蓋板	周縁面取り / 断面に釘痕	20	(92)	(346)	27.5	602	板目 C	スギ	S61-70	28110
266	2	C536 号	桶・樽類蓋板	上部に径 30mm 穿孔 / 周縁面取りか / 断面に釘痕	30	106	332	20	369	板目 C	スギ	S61-71	28081
266	3	C536 号	桶・樽類蓋板	周縁面取り / 表面中央・断面に釘痕	20	(120)	368	28	850	板目 C	スギ	S61-72	28096
266	4	C536 号	桶・樽類蓋板	上面に溝２条 / 中央左右端に切り込み / 断面に釘痕	50	〔329〕	〔176〕	14	573	板目 C	ヒノキ	S61-127	28841
266	5	C536 号	桶・樽類蓋板	上部に径 34mm・径 30mm 穿孔 / 周縁面取り / 断面に釘痕	20	(55)	(236)	25	171	板目 C	スギ	S61-73	28115
266	6	C536 号	桶・樽類蓋・底板	断面に釘痕	20	(81.5)	(285)	12	203	板目 C	スギ	S61-74	28111
266	7	C536 号	桶・樽類蓋板	上面に溝２条 / 左右端に切り込み / 両側面に釘痕２ヶ所ずつ残存	100	325.5	56	9	192	追い柾目 C	ヒノキ	S61-858	28312
266	8	C536 号	桶・樽類蓋板	上部に径 30mm 穿孔 / 周縁面取り / 断面に釘痕	40	(226)	(315)	14	386	板目 C	モミ属	S61-76	28074
266	9	C536 号	桶・樽類蓋板	端部に径 30mm 穿孔 / 周縁面取り / 断面に釘痕	40	323	(120)	29.5	918	追い柾目 C	スギ	S61-79	28082
266	10	C536 号	桶・樽類蓋板	上部に径 35mm 穿孔 / 周縁面取り / 内縁周縁工具痕顕著 / 表面・断面に釘痕	30	〔290〕	〔111〕	31	658	板目 C	スギ	S61-78	28080

第 86 表　木製品観察表（5）

掲載番号		出土地点	種別 器種	特徴	残存率 (%)	法量 (mm)			含水 重量 (g)	木取り 年輪	樹種	サンプル 番号	整理 番号
挿図	番号					長さ 口径	幅 器高	厚み 底径					
266	11	C536 号	桶・樽類蓋板	周縁面取り / 両断面に釘痕	40	(150)	322.5	31	1317	芯持板目 C	スギ	S61-75	28097
266	12	C536 号	桶・樽類蓋板	上部に径 43mm・径 30mm 穿孔 / 周縁面取り / 断面に釘痕	30	(91)	(272)	24	327	板目 C	スギ	S61-225	28106
266	13	C536 号	桶・樽類蓋板	端部に径 50mm 穿孔・径 33mm 穿孔 / 周縁面取り / 断面に釘痕	60	(208)	313	23	1189	板目 C	スギ	S61-229	28094
267	1	C536 号	桶・樽類蓋板	中央に小穿孔 / 周縁面取り / 断面に釘痕	40	116	319	21	738	板目 C	スギ	S61-228	28093
267	2	C536 号	桶・樽類蓋板	周縁面取り / 上面に黒色漆塗	10	〔132〕	〔51〕	7	45	板目 C	ヒノキ	S61-227	28479
267	3	C536 号	桶・樽類蓋・底板	断面に釘痕	30	268	〔82〕	10	173	柾目 C	スギ	S61-146	28607
267	4	C536 号	桶・樽類蓋板	中央上端に方形の切り込み	50	258	(136)	13	272	柾目 B	スギ	S61-232	28103
267	5	C536 号	桶・樽類蓋板	周縁面取り / 断面に釘痕	30	99	258	27	522	板目 C	スギ	S61-231	28099
267	6	C536 号	桶・樽類蓋板	周縁面取り / 断面に釘痕	20	(59)	(213)	27	215	柾目 C	スギ	S61-234	28119
267	7	C536 号	桶・樽類蓋板か	端部に径 30mm 穿孔か / 断面に釘痕	80	(185)	267	25	861	板目 C	スギ	S61-240	28084
267	8	C536 号	桶・樽類蓋板	上面に溝 2 条 / 周縁面取り	30	(95)	(225)	16	222	板目 C	ヒノキ	S61-235	28107
267	9	C536 号	桶・樽類蓋板	下面上部に段を作出 / 断面に釘痕	60	(157)	255	34	1031	板目 C	スギ	S61-241	28085
267	10	C536 号	桶・樽類底	周縁面取り / 下面上部に段を作出 / 断面に釘痕	50				650	板目 C	スギ	S61-170	28627
267	11	C536 号	桶・樽類蓋板か	周縁やや面取り / 断面に釘痕	60	(165)	264	21	687	板目 C	スギ	S61-239	28092
267	12	C536 号	桶・樽類蓋板	周縁面取り / 表面・断面に釘痕	50	(145)	258	26	761	板目 C	モミ属	S61-242	28087
267	13	C536 号	桶・樽類蓋・底板	断面に釘痕	30	233	〔79〕	16	219	柾目 B	ヒノキ	S61-172	28630
267	14	C536 号	桶・樽類蓋板	周縁面取り / 断面に釘痕	40	(111)	269	15	393	板目 C	ヒノキ	S61-237	28090
267	15	C536 号	桶・樽類蓋・底板	断面に釘痕	50	113	249	11	226	板目 C	モミ属	S61-238	28091
268	1	C536 号	中型容器蓋板	周縁面取り / 断面に釘痕	50	252	〔122〕	26	645	板目 C	スギ	S61-175	28634
268	2	C536 号	中型容器蓋板板	下面周縁に溝 / 溝内に膠着材残存 / 周縁面取り / 上下面黒色漆塗 / 上面に黒色漆書（不詳）	100	〔235〕	〔52〕	13	164	追い柾目 C	スギ	S61-987	28436
268	3	C536 号	中型容器蓋板	周縁面取り / 上面中央焼印か	60	(132)	214	18.5	406	板目 B	ヒノキ	S61-244	28104
268	4	C536 号	中型容器蓋板	下面端部に溝 / 周縁面取り / 上下面黒色漆塗	50	219	〔119〕	21	337	柾目 B	ヒノキ科	S61-246	28454
268	5	C536 号	中型容器蓋板か	下面周縁湾曲 / 盆の可能性あり / 中央に小孔 / 上下面黒色漆塗	50	(125.5)	216	8	137	追い柾目 C	ヒノキ	S61-247	28457
268	6	C536 号	中型容器蓋・底板	断面に釘痕	30	(80)	200	11	142	柾目 C	スギ	S61-245	28118
268	7	C536 号	中型容器蓋板	上面中央に溝 / 下面に溝 2 条・溝内に部材残存 / 周縁面取り / 上下面黒色漆塗 / 黒色・赤色漆による「葵」文様	95	202	199	10	335	蓋板板：板目 C 桟：柾目 C	板：ヒノキ 桟：ヒノキ科	板：S61-249 桟：S61-250	28186
269	1	C536 号	中型容器蓋板	上部に径 28mm 穿孔 / 周縁面取り	60	(118)	188	19	315	板目 C	スギ	S61-251	28122
269	2	C536 号	中型容器蓋板	上部に方形の切り込み	80	180	(150)	10	223	板目 C	モミ属	S61-248	28116
269	3	C536 号	中型容器蓋板	中央に径 15mm 穿孔	100	191.5	191	8.5	218	柾目 C	スギ	S61-253	28288
269	4	C536 号	中型容器蓋・底板	中央に小孔 2 か所	50	180.5	〔108〕	8.5	137	柾目 A	ヒノキ	S61-255	28298
269	5	C536 号	中型容器蓋・底板	中央に小孔	50	(104)	188	5	95	板目 B	ヒノキ	S61-254	28297
269	6	C536 号	中型容器蓋板	下面周縁に段を作出 / 上面は黒色漆塗の上に赤色漆書「大」/ 下面は黒色漆の上に赤色漆塗	90	(130)	165	8	175	柾目 B	ヒノキ	S61-258	28455
269	7	C536 号	中型容器蓋板	下面周縁に溝 / 周縁面取り / 上下面黒色漆塗	100	161.5	162	9	169	板目 C	スギ	S61-259	28456
269	8	C536 号	中型容器蓋板	上部に径 28mm 穿孔 / 断面に釘痕	50	(87)	158	9	88	板目 C	スギ	S61-268	28165
269	9	C536 号	中型容器蓋板	上部に径 27mm 穿孔 / 周縁面取り	40	156	〔67〕	14.5	90	追い柾目 C	スギ	S61-262	28126
269	10	C536 号	中型容器蓋・底板	中央に小孔 / 墨書か（不詳）	95	159	160	9	155	柾目 C	モミ属	S61-260	28123
269	11	C536 号	中型容器蓋・底板		70	〔127〕	172	8	148	柾目 B	スギ	S61-213	28853
269	12	C536 号	中型容器蓋板	周縁面取り / 外面に釘痕	70	(136)	167	8	150	追い柾目 C	スギ	S61-261	28124
270	1	C536 号	中型容器蓋板	断面に釘痕 / 上面に焼印（不詳）	50	(89)	160	11	111	板目 C	スギ	S61-263	28158
270	2	C536 号	中型容器蓋・底板	中央に小孔	80	(122)	147	7	80	板目 C	ヒノキ	S61-265	28125
270	3	C536 号	中型容器蓋板	周縁面取り	50	(85)	156	10	108	板目 C	スギ	S61-267	28114
270	4	C536 号	小型容器蓋板	中央上部に切り込み・桜皮摘み	40	〔56〕	〔14〕	8	41	追い柾目 B	ヒノキ	S61-358	28675
270	5	C536 号	小型容器蓋板	上面中央に溝 1 条	70	〔105〕	136	9	94	追い柾目 C	ヒノキ	S61-284	28166
270	6	C536 号	小型容器蓋板	周縁面取り	100	137	137	10	135	板目 B	スギ	S61-275	28347
270	7	C536 号	小型容器蓋板	上面に溝 1 条	90	139.5	〔124〕	70	73	板目 B	ヒノキ	S61-276	28117
270	8	C536 号	小型容器蓋・底板	中央に小孔	90	142	〔136〕	9	94	板目 C	ヒノキ	S61-273	28290
270	9	C536 号	小型容器蓋・底板		100	134	136	13	139	板目 C	スギ	S61-277	28112
270	10	C536 号	小型容器蓋・底板	中央に小孔 / 上部に切り込み 2 か所 / 上下面黒色漆塗 / 外面中央に円形の押圧痕	60	130	〔92〕	9	81	板目 B	スギ	S61-279	28280
270	11	C536 号	小型容器蓋・底板		40	(87)	140	15	157	板目 C	スギ	S61-286	28162
270	12	C536 号	小型容器蓋板	中央に小孔 / 周縁面取り	100	131	137	8	101	板目 C	モミ属	S61-281	28289

第 87 表　木製品観察表（6）

掲載番号		出土地点	種別 器種	特徴	残存率 (%)	法量 (mm)			含水 重量 (g)	木取り 年輪	樹種	サンプル 番号	整理 番号
挿図	番号					長さ 口径	幅 器高	厚み 底径					
270	13	C536 号	小型容器蓋板	中央に小孔 / 上部に桜皮摘み	40	137	〔66〕	5	36	柾目 B	スギ	S61-272	28281
270	14	C536 号	小型容器蓋板	中央に径 7mm 穿孔 / 下面周縁に段作出 / 上下面黒色漆塗 / 上面下端に赤色漆で漆書「■」	70	〔85〕	〔109〕	5	51	追い柾目 C	—	S61-286	28425
270	15	C536 号	小型容器蓋板	中央に小孔	100	127	132	5.5	67	板目 C	モミ属	S61-285	28121
271	1	C536 号	小型容器蓋板	上部に径 25mm 穿孔 / 外面焼印「○」	60	116	〔80〕	9	68	板目 C	スギ	S61-294	28134
271	2	C536 号	小型容器蓋板	上部に径 27mm 穿孔 / 焼印「○」に文字（不詳）	100	104	109	6	60	板目 C	スギ	S61-300	28301
271	3	C536 号	小型容器蓋板	上部に径 29mm 穿孔	100	102	106	9	80	板目 C	スギ	S61-297	28286
271	4	C536 号	小型容器蓋板	上部に径 30mm 穿孔	100	103	105	8	60	板目 C	スギ	S61-291	28145
271	5	C536 号	小型容器蓋・底板	上面に線状痕	100	98	102	6	51	板目 C	スギ	S61-296	28272
271	6	C536 号	小型容器蓋・底板	中央に小孔 2 か所	100	106	108	7	59	追い柾目 C	スギ	S61-304	28153
271	7	C536 号	小型容器蓋・底板	中央に小孔	100	100	103	6	58	追い柾目 C	ヒノキ	S61-307	28273
271	8	C536 号	小型容器蓋・底板	中央に小孔	100	102.5	102	8	68	追い柾目 C	スギ	S61-303	28152
271	9	C536 号	小型容器蓋板	下面周縁に段作出 / 上面赤色漆塗 / 下面黒色漆塗の上に赤色漆で漆書（不詳）	95	88	88	9	37	板目 C	ヒノキ	S61-326	28424
271	10	C536 号	小型容器蓋板	中央に径 5mm 穿孔 / 上部に切り込み	100	94.5	95	12	85	板目 C	モミ属	S61-322	28170
271	11	C536 号	小型容器蓋板	中央に一辺 4mm の方形穿孔 5 か所	60	91	〔66〕	10	44	板目 C	スギ	S61-329	28149
271	12	C536 号	小型容器蓋・底板		100	87	95	11	69	板目 C	スギ	S61-325	28309
271	13	C536 号	小型容器蓋・底板		100	89	96	10	74	板目 B	スギ	S61-338	28276
271	14	C536 号	小型容器蓋板	周縁面取りか	100	88	92	12	78	板目 C	スギ	S61-327	28120
271	15	C536 号	小型容器蓋・底板	平面やや楕円形	100	85	95.5	11	57	板目 C	スギ	S61-328	28127
271	16	C536 号	小型容器蓋・底板	中央に小孔	100	97	97	8	52	追い柾目 C	スギ	S61-319	28150
271	17	C536 号	小型容器蓋・底板	中央に小孔	100	88	86	4	24	柾目 B	ヒノキ	S61-323	28284
271	18	C536 号	小型容器蓋・底板	中央に小孔	100	70	70	7	23	板目 C	ヒノキ	S61-343	28160
271	19	C536 号	小型容器蓋・底板	中央に小孔	100	71	71	6.5	23	柾目 B	ヒノキ	S61-342	28157
271	20	C536 号	小型容器蓋・底板	蓋板が折れ曲がり密着	60	85	〔51〕	21	64	板目 C	スギ	S61-292	28176
271	21	C536 号	小型容器蓋板か	中央に径 3mm 穿孔	100	65	65	7	21.5	板目 C	モミ属	S61-348	28156
271	22	C536 号	小型容器蓋・底板	中央に小孔	100	67	66	8	27	追い柾目 C	モミ属	S61-355	28308
271	23	C536 号	小型容器蓋・底板	中央に小孔	100	64	61	4	13	柾目 B	スギ	S61-350	28283
271	24	C536 号	小型容器蓋・底板	中央に径 4mm 穿孔	100	60.4	60.4	5	18	追い柾目 C	モミ属	S61-352	28304
271	25	C536 号	小型容器蓋・底板	中央に小孔	100	48	47	2.5	6	追い柾目 B	ヒノキ	S61-349	28275
272	1	C536 号	栓	上面面取り	100	133	58	48	162	削出 C	スギ	S61-774	28359
272	2	C536 号	栓	上面面取り	100	119	45	44	122	削出 C	スギ	S61-756	28323
272	3	C536 号	栓	上面面取り	100	109	42	41	101	削出 C	スギ	S61-760	28328
272	4	C536 号	栓	上面面取りか	95	147	48	44	159	削出 C	スギ	S61-755	28322
272	5	C536 号	栓	上面面取りか	100	123	44	43	121	削出 C	ヒノキ科	S61-775	28360
272	6	C536 号	栓		100	82	51	47	131	削出 C	スギ	S61-776	28361
272	7	C536 号	栓		95	63	51	50	112	削出 C	アスナロ	S61-779	28364
272	8	C536 号	栓		100	59	48	46	100	削出 C	スギ	S61-772	28335
272	9	C536 号	栓		100	54	47.5	50	94	削出 C	スギ	S61-780	28365
272	10	C536 号	栓		100	28	47	48	50	削出 C	スギ	S61-762	28331
272	11	C536 号	栓		100	65	32	32	29	削出 C	スギ	S61-773	28342
272	12	C536 号	栓	上面面取り / 中央上部に段を作出 / 先端部欠損	95	〔182〕	25	22	46	削出 C	サワラ	S61-764	28371
272	13	C536 号	栓	上面面取り / 中央上部に段を作出	95	182	25	23	47	削出 C	ヒノキ	S61-765	28372
272	14	C536 号	栓	上面面取り / 中央上部に段を作出	100	176	25	23	44	削出 B	ヒノキ	S61-757	28324
272	15	C536 号	栓	上面面取り / 中央上部に段を作出 / 先端部折損	95	196	22	21	48	削出 B	ヒノキ	S61-758	28325
272	16	C536 号	栓	上面面取り / 中央上部に段を作出 / 先端部折損	95	192	26	24.5	49	削出 C	アスナロ	S61-759	28326
272	17	C536 号	注口		95	92	36	28	61	芯抜き削出 C	ウツギ属	S61-761	28330
272	18	C536 号	注口	表面平滑に調整	100	95	40	30	68	芯抜き削出 C	ウツギ属	S61-778	28363
272	19	C536 号	桶・樽類側板	上部に長方形の穿孔	95	357	70	5	136	追い柾目 C	スギ	S61-974	28313
272	20	C536 号	桶・樽類側板	上部に長方形の穿孔	100	240	44	5	47	板目 C	スギ	S61-976	28321
272	21	C536 号	桶・樽類側板か	上端に径 9mm 穿孔 / 下部に溝 1 条	100 か	419	80	20	357	板目 B	アスナロ	S61-1005	28102
272	22	C536 号	結物側板	中央に穿孔	100	193	65	70	73	板目 C	スギ	S61-864	28354
272	23	C536 号	桶・樽類側板	上下端外面に結束痕	100	166	35	8	33	板目 C	スギ	S61-990	28469

第 88 表　木製品観察表（7）

掲載番号		出土地点	種別 器種	特徴	残存率 (%)	法量 (mm)			含水 重量 (g)	木取り 年輪	樹種	サンプル 番号	整理 番号
挿図	番号					長さ 口径	幅 器高	厚み 底径					
272	24	C536 号	桶・樽類側板	上下端外面に結束痕	100	167	46	7	45	板目 C	スギ	S61-991	28470
272	25	C536 号	桶・樽類側板	上下端外面に結束痕	100	166	55	13	62	板目 C	スギ	S61-993	28474
272	26	C536 号	桶・樽類側板	上下端外面に結束痕	100	166	43	8	46	板目 C	ヒノキ	S61-995	28481
272	27	C536 号	桶・樽類側板	下端外面に結束痕	100	163	61	11	61	板目 C	スギ	S61-992	28473
272	28	C536 号	桶・樽類側板	上下端に結束痕	100	162	46	6	38	板目 C	スギ	S61-1064	29207
272	29	C536 号	桶・樽類側板か		100	139	34	7	31	板目 C	アスナロ	S61-1061	29204
272	30	C536 号	容器側板	外面黒色・赤色漆塗 / 内面黒色漆塗 / 外面に結束痕２条	100	58	〔58〕	9	27	追い柾目 C	スギ	S61-894	28529
272	31	C536 号	容器側板	外面黒色・赤色漆塗 / 外面に結束痕２条	90	57	〔45〕	9	22	柾目 C	—	—	29177
273	1	C536 号	木刀	黒色漆塗	100	399	26	17.5	137	削出 B	ヒノキ	S61-783	28369
273	2	C536 号	羽子板		80	240	63	6.5	67	柾目 C	スギ	S61-997	28489
273	3	C536 号	浮子	中央に穿孔 / 赤色漆塗	90	36	8	7	1	削出 C	スギ	S61-1039	29427
273	4	C536 号	琴柱	黒色漆塗	80	43	(40)	5	4	板目	カリン	S61-1000	28497
273	5	C536 号	部材	継手部分か / 先端突出部に返し状の加工 / 中央部に長方形の刳り抜き	100	1144	242	240	4906	芯持丸木 C	アスナロ	S61-1040	28070
273	6	C536 号	部材	角棒状 / 上部にほぞ・ほぞ穴	不明	124	38	33	120	角材 C	モミ属	S61-816	28329
273	7	C536 号	不明	丸棒状 / 中央刳り抜き / 突出部の基部に擦れ痕	95	128	74	74	306	芯抜削出 C	クリ	S61-790	29305
273	8	C536 号	部材	鴨居端材か / 平坦面に溝２条	90	200	98	45	606	板目 C	アカマツ	S61-1015	28491
273	9	C536 号	部材	上下面に溝	100	205	120	63	1519	芯持板目 C	ヒノキ	S61-1007	28349
273	10	C536 号	部材	角棒状 / 上部に段作出	95	454	48	35	592	角材 A	ヒノキ	S61-855	29288
274	1	C536 号	部材	平面八角形の板材 / 中央に凹み・焦げ / 上部に円形の凹み	40	210	98	35	565	追い柾目 B	アスナロ	S61-1003	28079
274	2	C536 号	部材か	中央に径 35mm の円形の切り込み	100	61	72	30	100	追い柾目 B	アスナロ	S61-1006	28334
274	3	C536 号	部材	板状 / 平面台形 / 長軸側面に連続した刻み	95	208	46	7	41	板目 C	—	—	29239
274	4	C536 号	不明	板状 / 表面同心円状に線刻	50	124	92	7	37	横木取り板目 B	スギ	S61-1001	28498
274	5	C536 号	部材	板状 / 下部中央に切り込み	不明	265	65.5	20	296	板目 C	サワラ	S61-1009	28318
274	6	C536 号	部材	中央に溝 / 一部赤色顔料残存	100	246	19	15	53	削出 C	ヒノキ	S61-852	29285
274	7	C536 号	部材	角棒状 / 先端・中央に２個一対の穿孔	不明	〔90〕	10	8	6	割材 C	ヒノキ	S61-826	29259
274	8	C536 号	部材	角棒状 / 端部に溝・釘痕・径 17mm の円形の切り込み	100	442	35	23	311	板目 C	ヒノキ	S61-813	28314
274	9	C536 号	部材	角棒状 / 中央に切り込み・溝	95	80	24	23	39	板目 C	スギ	S61-821	28463
274	10	C536 号	部材	角柱状 / 切り込み / 中央に釘残存 / 残材か	不明	108	97	90	552	芯持丸木 C	スギ	S61-1008	28351
274	11	C536 号	部材	角棒状 / 上部に円孔 / 中央に釘残存	90	203	52	24	204	板目 B	スギ	S61-1036	29253
274	12	C536 号	部材	角棒状 / 中央・上端に釘残存	100	189	44	49	421	角材 C	ヒノキ	S61-822	28488
275	1	C536 号	部材	角棒状 / 先端に鉄製金具残存	80	279	60	30	298	角材 C	スギ	S61-854	29287
275	2	C536 号	部材	角棒状 / 端部に釘残存	不明	〔362〕	57.5	18	187	追い柾目 C	スギ	S61-815	28316
275	3	C536 号	部材	角棒状 / 端部に釘残存	100	381	31	19.5	228	板目 C	スギ	S61-814	28315
275	4	C536 号	部材	角棒状 / 中央に釘残存	95？	119	34	27	78	角材 C	スギ	S61-817	28332
275	5	C536 号	部材	板状 / 平面逆台形 / 中央に釘残存	95	149	67	25	189	柾目 C	モミ属	S61-1014	28486
275	6	C536 号	部材	板状 / 両端部に釘穴２ヶ所	100	423	51	18	346	板目 C	スギ	S61-1030	29244
275	7	C536 号	部材	角棒状	100	151	31	18	85	追い柾目 C	ヒノキ	S61-840	29273
275	8	C536 号	部材	断面三角形	95	236	19	9	26	板目 C	スギ	S61-839	29272
275	9	C536 号	部材	角棒状	100	183	21	12	33	柾目 C	ヒノキ	S61-828	29261
275	10	C536 号	部材	角棒状	100	130	15	13	24	角材 C	ヒノキ	S61-845	29278
275	11	C536 号	部材	板状 / 残材か	100	123	35	23	57	追い柾目 C	スギ	S61-848	29281
275	12	C536 号	部材	板状 / 黒色漆塗 / 残材か	100	133	108	26	345	板目 C	アスナロ	S61-1011	28352
275	13	C536 号	部材	丸棒状 / 上端部に径 8mm 穿孔 / 先端部欠損	90	〔294〕	22	20	76	削出 B	スギ	S61-754	28319
275	14	C536 号	部材	丸棒状 / 先端焦げ	100	246	21	20	77	削出 C	ヒノキ	S61-788	29299
275	15	C536 号	部材	丸棒状	100	289	21	19.5	99	削出 C	スギ	S61-789	29303
275	16	C536 号	部材	丸棒状 / 先端鋭利に加工	100	175	29	29	103	削出 B	アスナロ	S61-787	29296
275	17	C536 号	部材	丸棒状 / 黒色漆塗 / 木表側に溝状の凹み / 軸部品か	不明	35	32.5	23.5	23	削出 C	ヒノキ	S61-769	28496
275	18	C536 号	縄	1 段 R/ 結束部あり	不明	—	3.8	—	13	—	—	—	28381

（6）石製品（第 276 ～ 295 図、第 89 ～ 95 表）

石製品は、砥石や硯を中心として、温石や臼、火打石、碁石等が出土している。

最も出土が多い砥石は、石材や形態によって荒砥、中砥、仕上げ砥の別があり、同一の石材でも色調のバリエーションが多様である。第 276 図 10 は砂岩製の粗砥で、中砥は流紋岩製の 1・4、ホルンフェルス製の 7 等がある。仕上げ砥は粘板岩製の 2・12 等がある。第 277 ～ 279 図では B5086 号でまとまった出土があり、第 278 図 16 の中砥は使用面が磨り減り湾曲している。第 280 図 4 はホルンフェルス製の中砥で、表面は手斧痕が顕著に認められる。また同図 9 の仕上げ砥にも同様の加工痕があり、11 では櫛歯状の鑿痕が残る。第 281 図 13 はほぼ完形の仕上げ砥で、やや緑色身を帯びた粘板岩による。第 282 図 5・10 等は同じ粘板岩製の仕上げ砥であるが、色調は黄橙色を基調としている。第 283 図 9 は頁岩製の仕上げ砥と考えられ、側面に鉈痕と研磨痕が共伴する。第 285 図 9 は流紋岩製の中砥で、木目状の文様が明瞭に残る。C140 号出土の第 288 図 6 は、ほぼ完形の仕上げ砥で、表面のみを使用し、4 側面は鋸痕、裏面は手斧痕が観察される。第 290 図 8 は棒状の砥石で、近代の金型砥石の可能性がある。第 291 図 8 の C536 号出土の中砥は、上側面と裏面に残痕、左右の側面に鉈痕があり、表面のみの使用である。遺構外出土の第 294 図 1 は、粘板岩製の仕上げ砥で、山状の幾何学模様が線刻される。

硯は砥石に次いで出土数量が多く、石材としては粘板岩が主体を占める。その他の石材としては、第 283 図 8 の流紋岩製のもの、第 288 図 16 等の凝灰岩製のもの、第 292 図 2 のいわゆる赤間硯とされる頁岩製のものがある。硯の形態は平面長方形を基本とし、第 279 図 2・3・15 のように四隅が面取りされるものや、第 285 図 16 のように硯面が大小 2 つ作出される特異なものもある。また第 285 図 3 のように硯背面に覆手と呼称する窪みを有する一群も一定数確認される。刻書も複数確認され、図示が難しいものの、第 281 図 7 は背面に「正保■六月■八日■」「中村■」、第 287 図 2 は「■（元カ）禄十六年」「石」、第 290 図 7 は「今井清 (カ) 吉持之」、第 292 図 2 は「赤間関」、第 293 図 2 は「近藤氏」「明和四年」「亥八月廿八日」「江州高嶌虎斑石」、第 295 図 1 は硯側に「九百八十九文ニ而かッたる高嶋石也」と判読される。

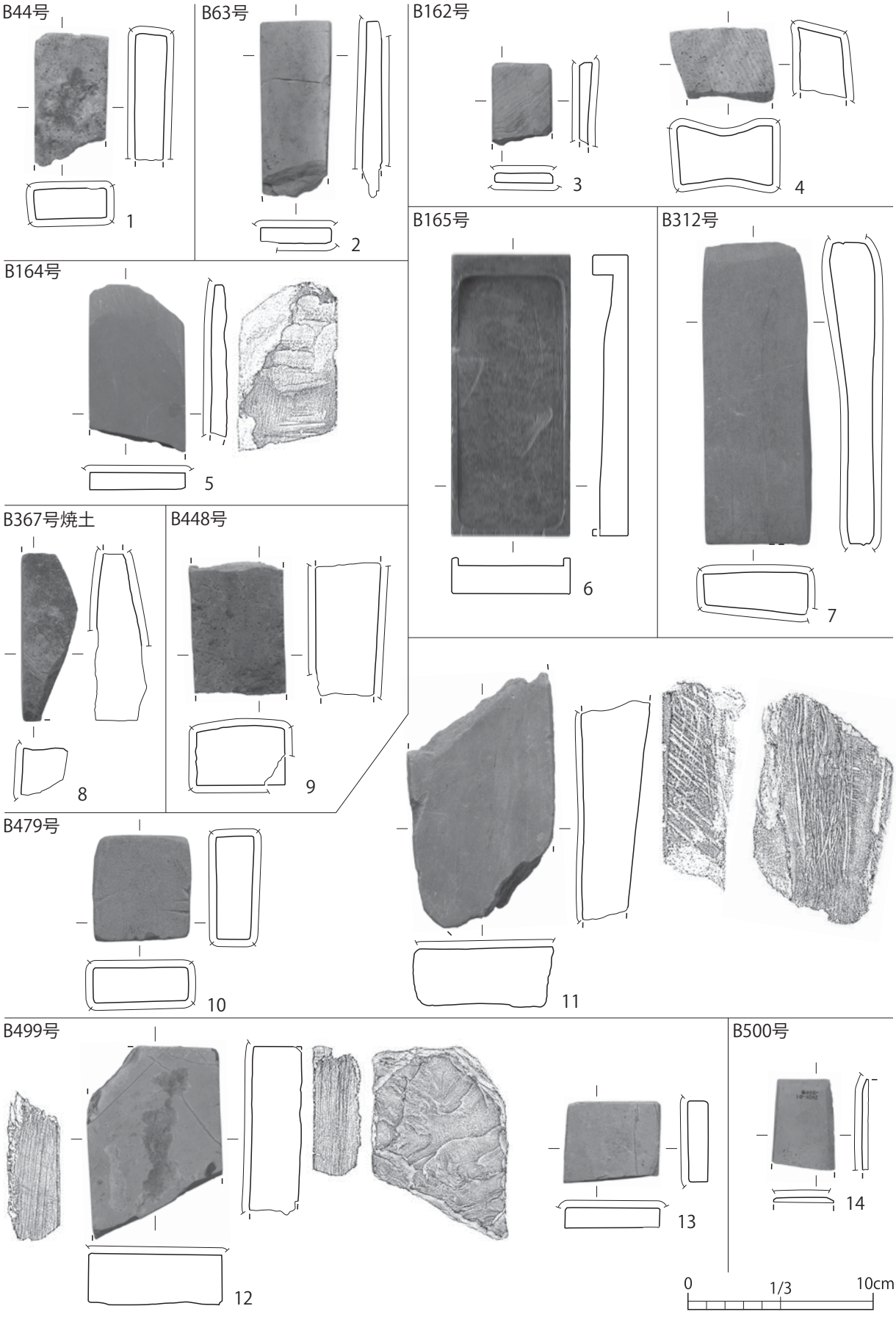
温石は、平面長方形で上部中央に孔を有するものが一定数出土し、材質は第 277 図 5 の黒雲母片岩製、第 284 図 7 の凝灰岩製の 2 種がみられる。

石臼は、第 277 図 12 で茶臼の下臼が完形で出土している。粉碾臼には、第 281 図 9 や第 295 図 8 の下臼、第 288 図 15 の上臼があるが、数量としては限定的である。

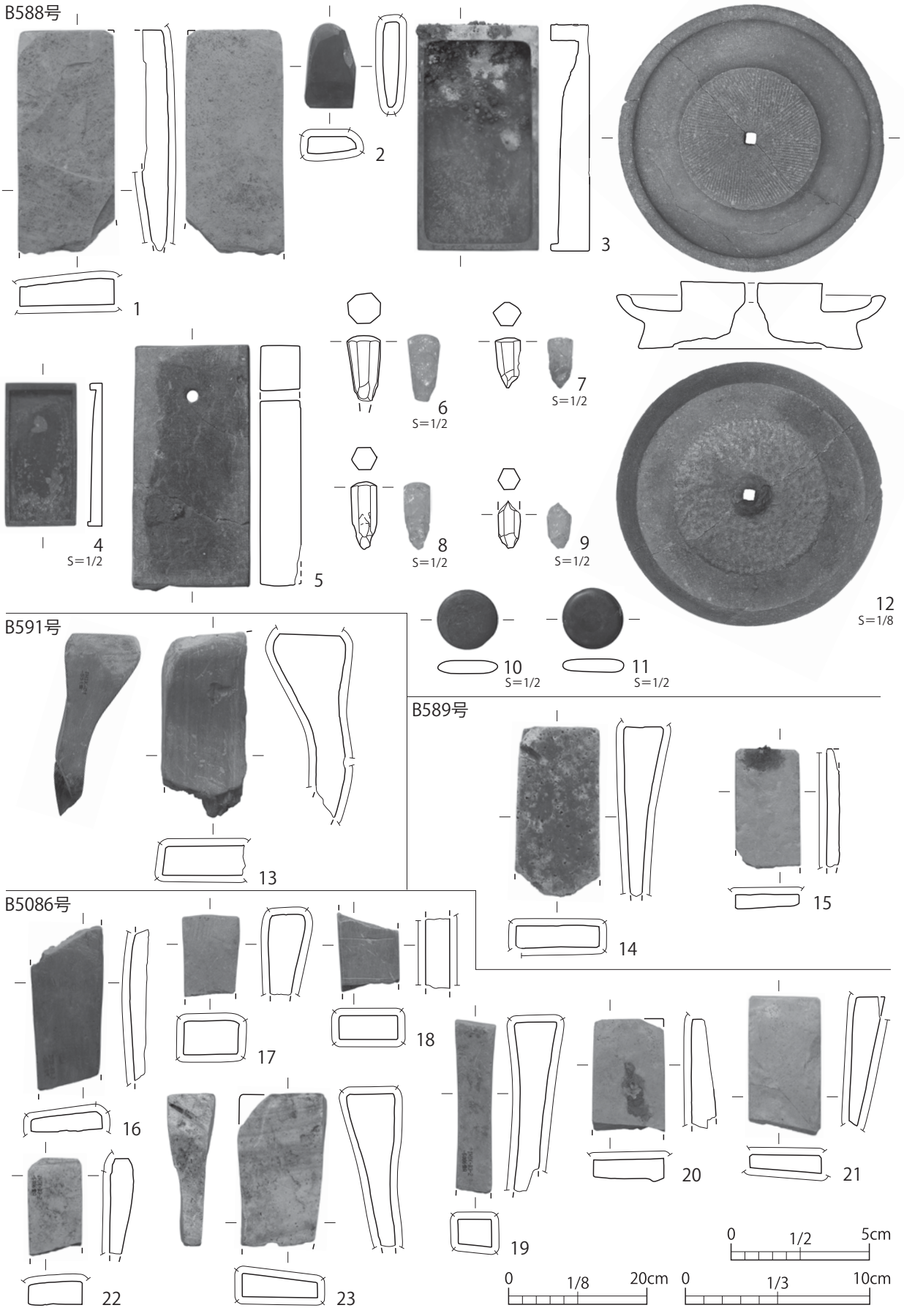
火打石は、玉髄製を主体として、第 281 図 3、第 286 図 12 のように縁辺に細かな剥離痕がよく観察される。第 281 図 8 は黒曜石製の火打石で、やはり微細な敲打痕がみられる。

碁石は、黒色と白色の 2 種があり、数量としては黒色の粘板岩製が多数を占める。白色のものは、第 288 図 11・12 等にみられ、石材は粘板岩と考えられる。

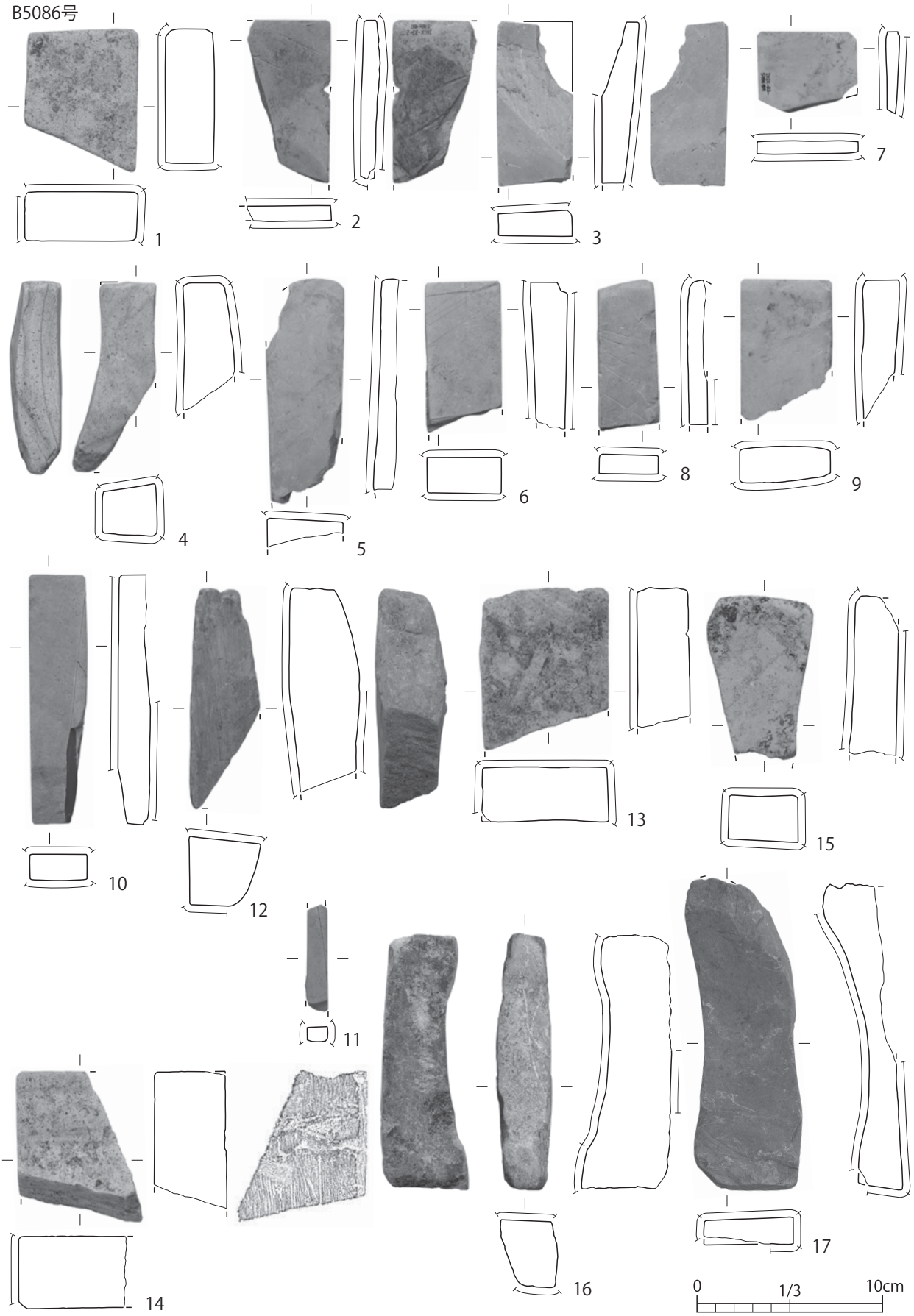
その他の石製品としては、第 277 図 6 ～ 9 で成形された水晶が出土している。自然状態の結晶ではなく、頭部を丸く研磨している。また第 284 図 5 では硯を転用した印章があり、同図 15 の蠟石による獅子の彫刻は印章頭であろう。文具では他に、第 295 図 7 の石筆がある。調理具・暖房具として、第 290 図 3・4 では七厘が出土している。



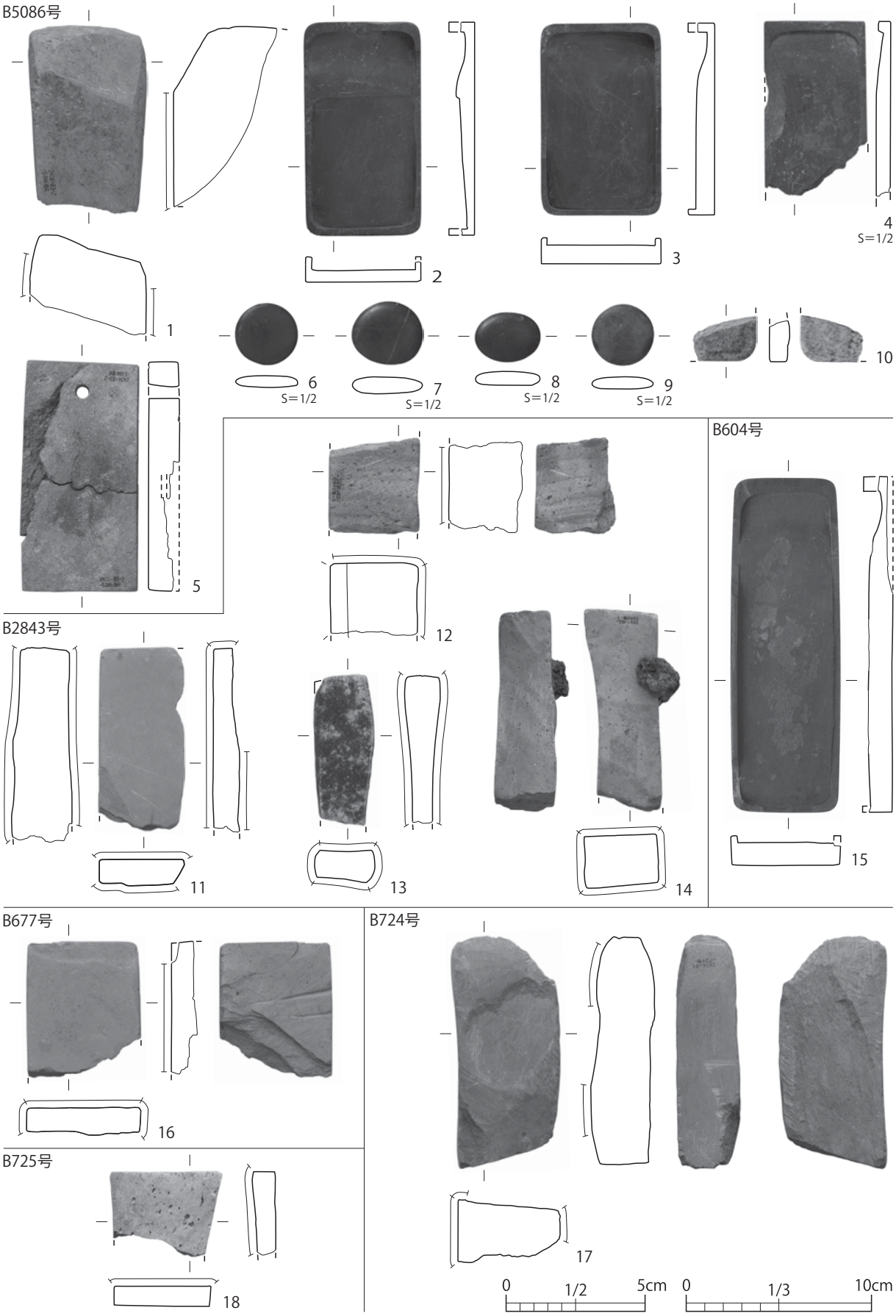
第 276 図　石製品（1）（1/3）



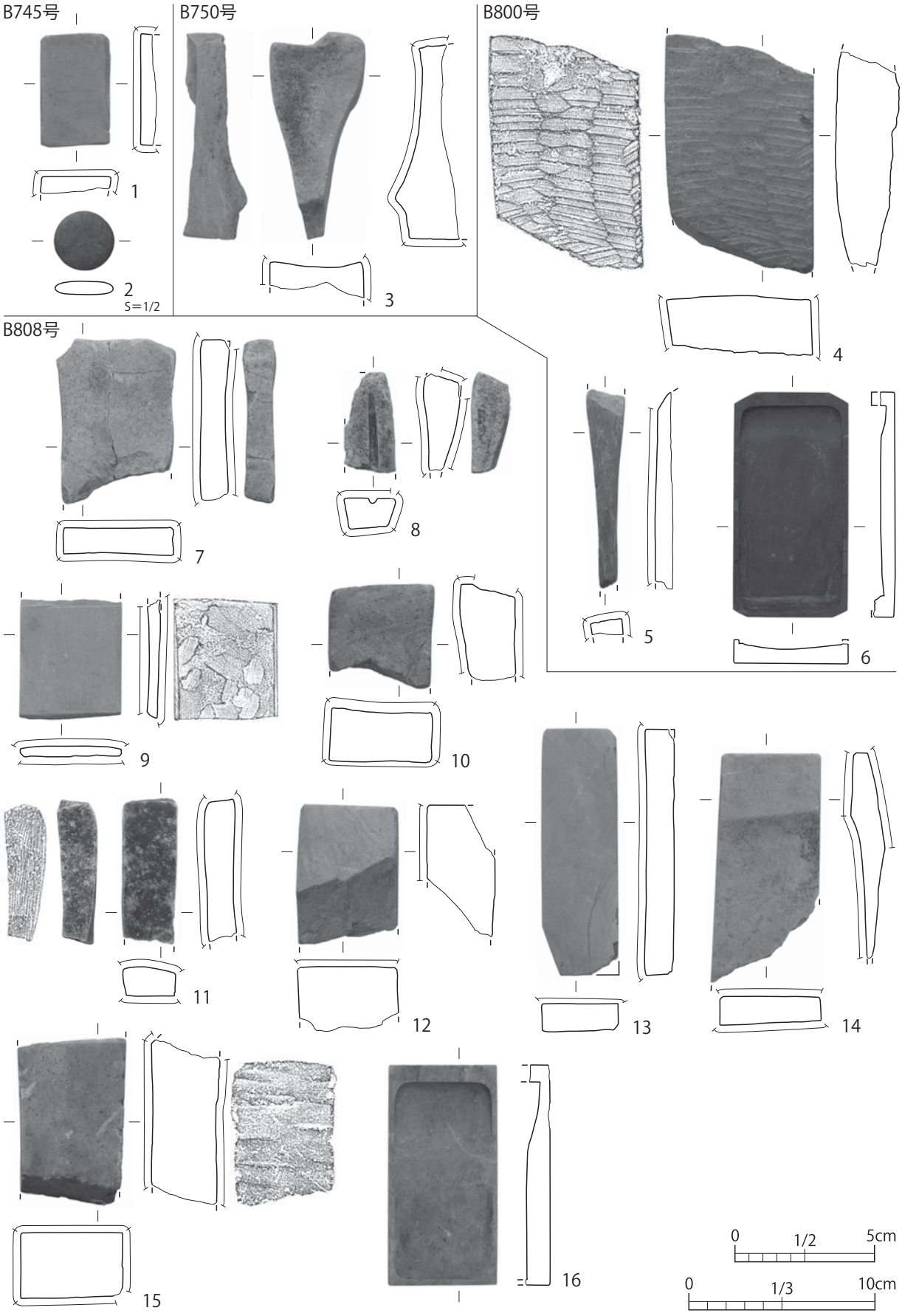
第 277 図　石製品（2）（1/2・1/3・1/8）



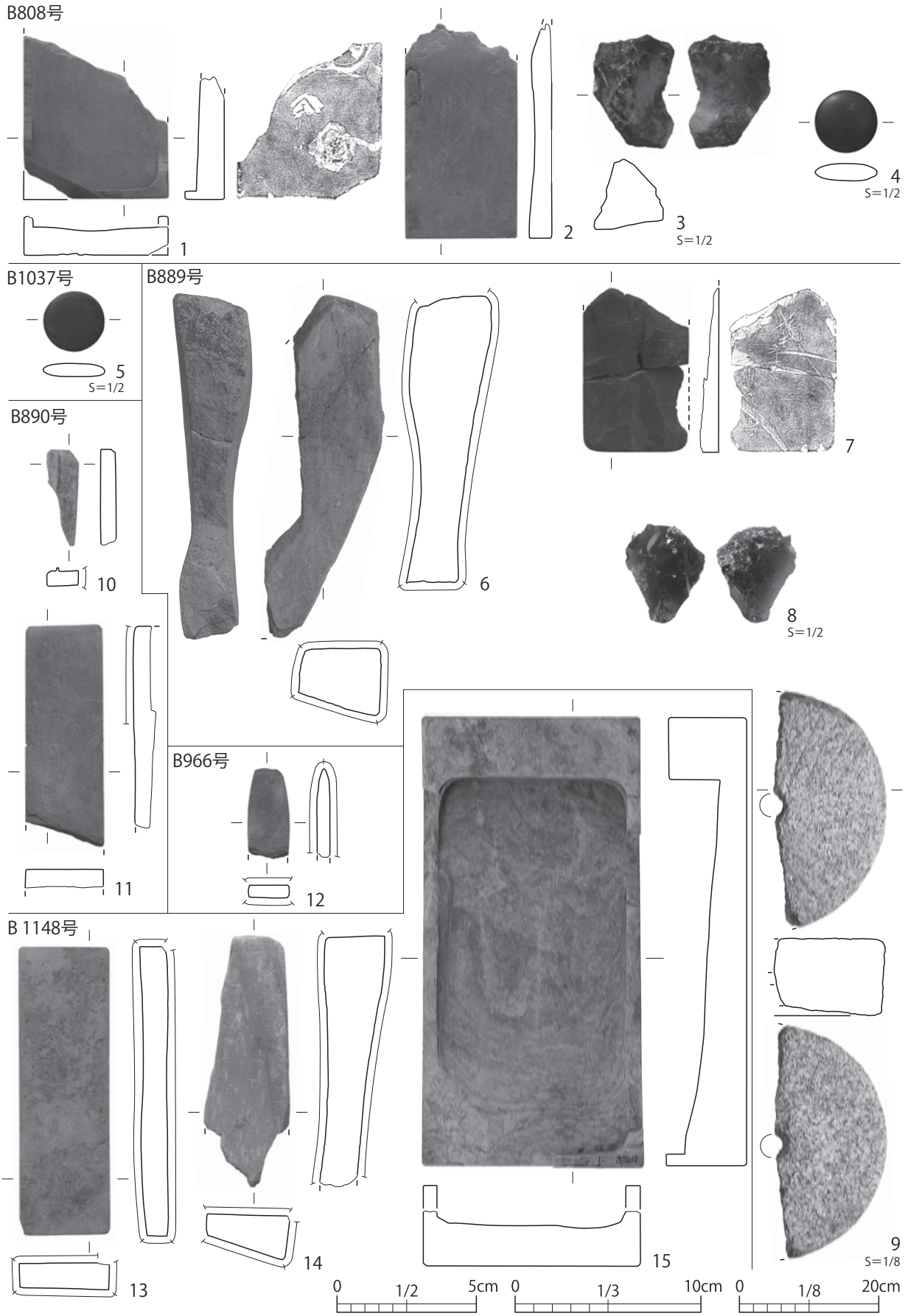
第 278 図　石製品（3）（1/3）



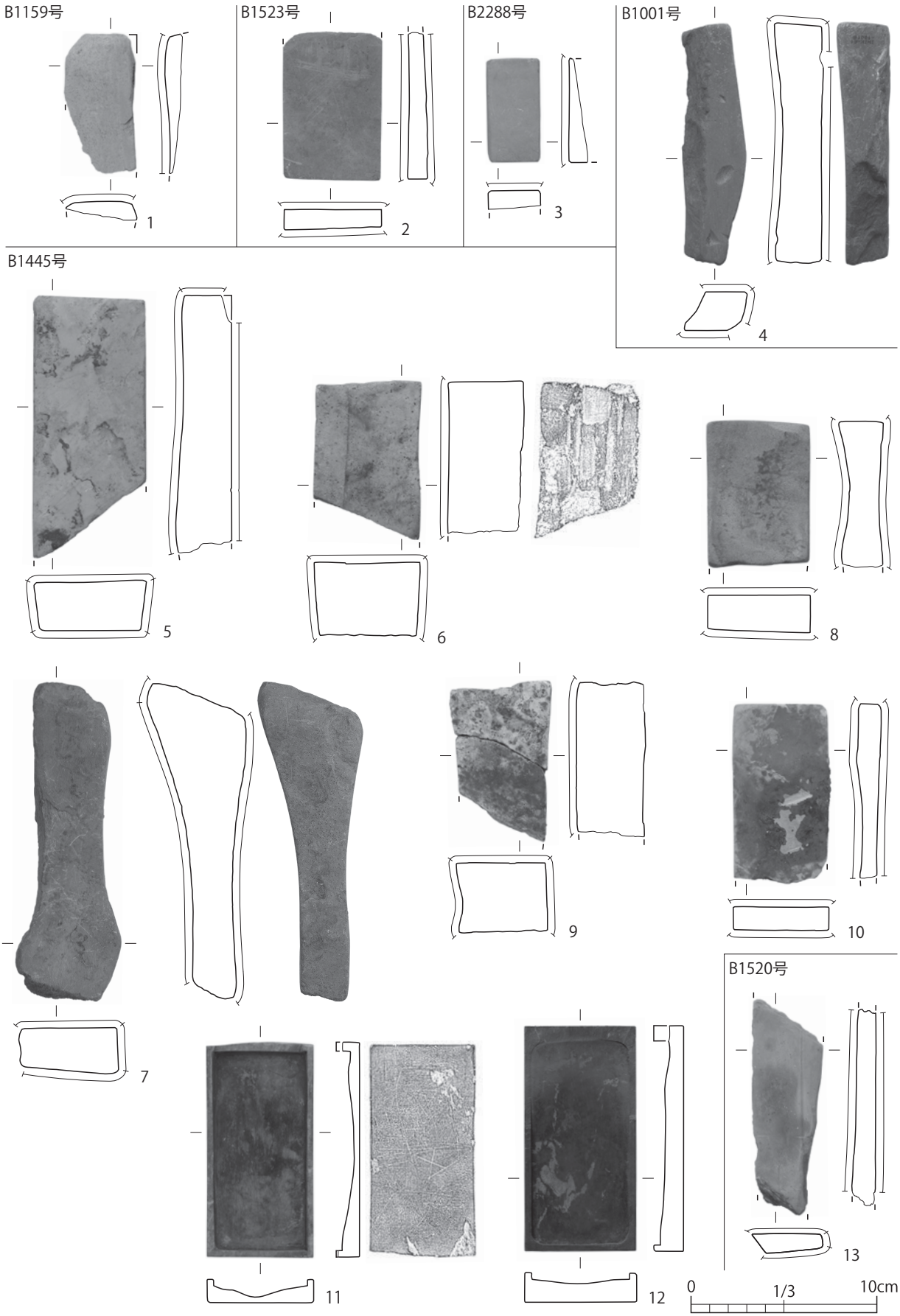
第 279 図　石製品（4）（1/2・1/3）



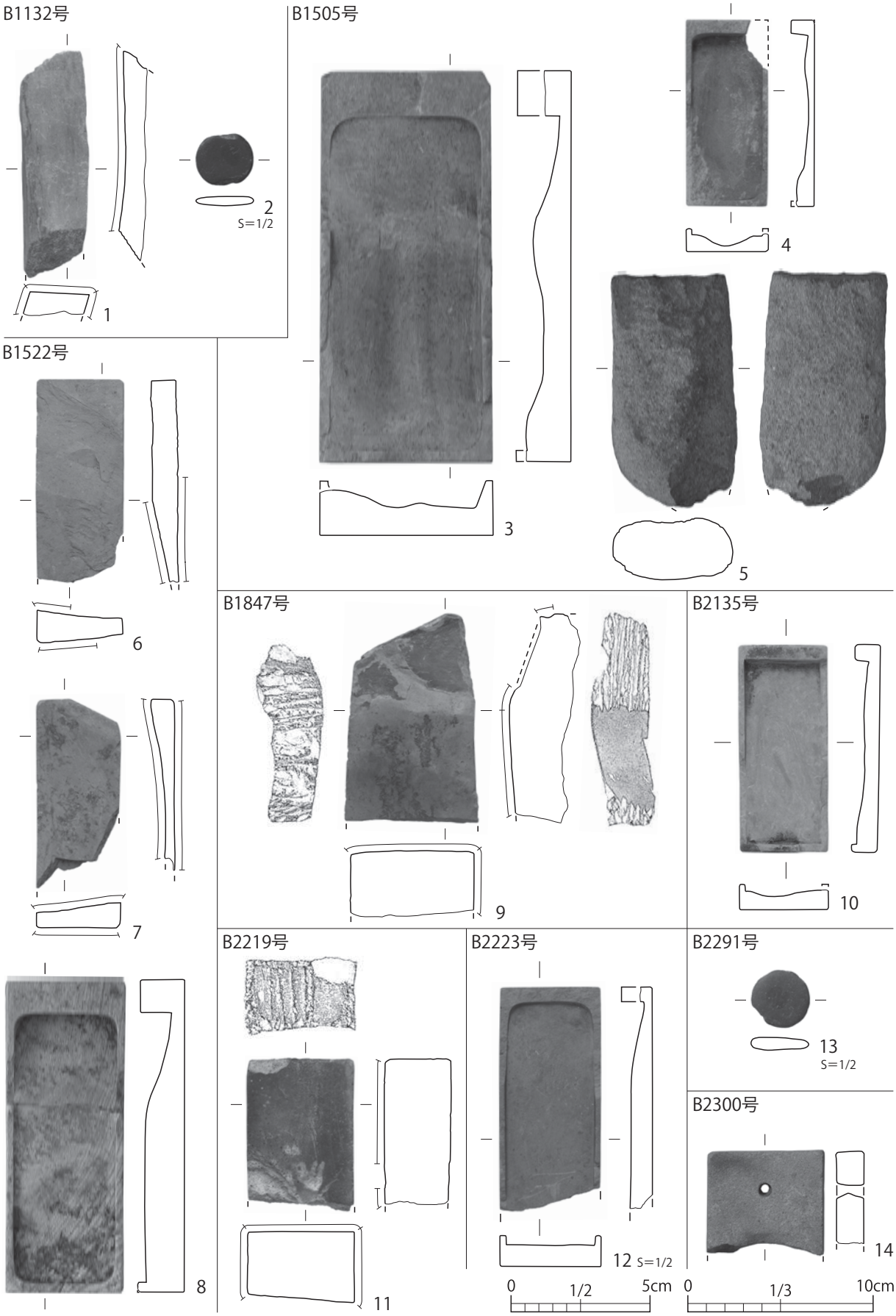
第 280 図　石製品（5）（1/2・1/3）



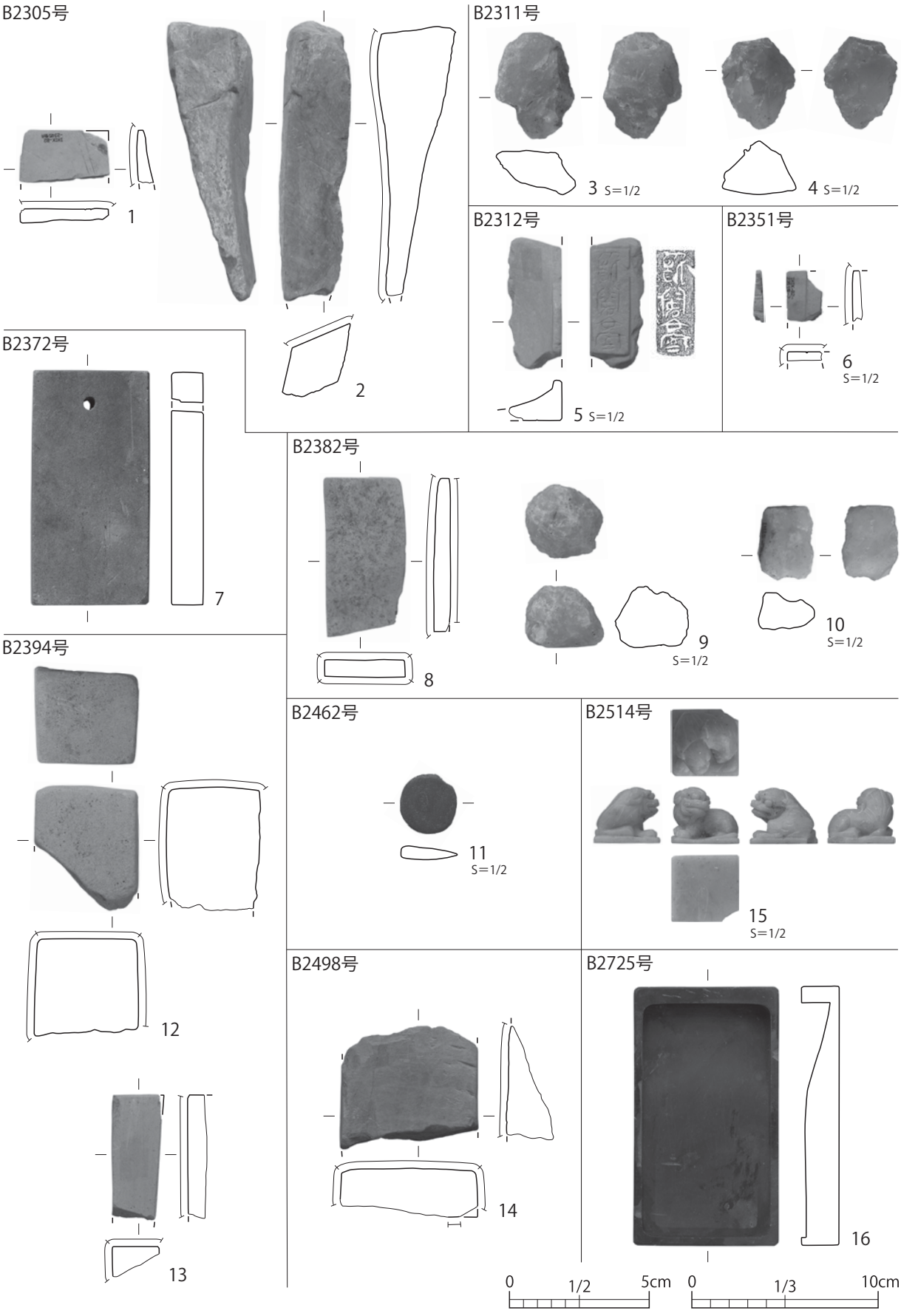
第 281 図　石製品（6）（1/2・1/3・1/8）



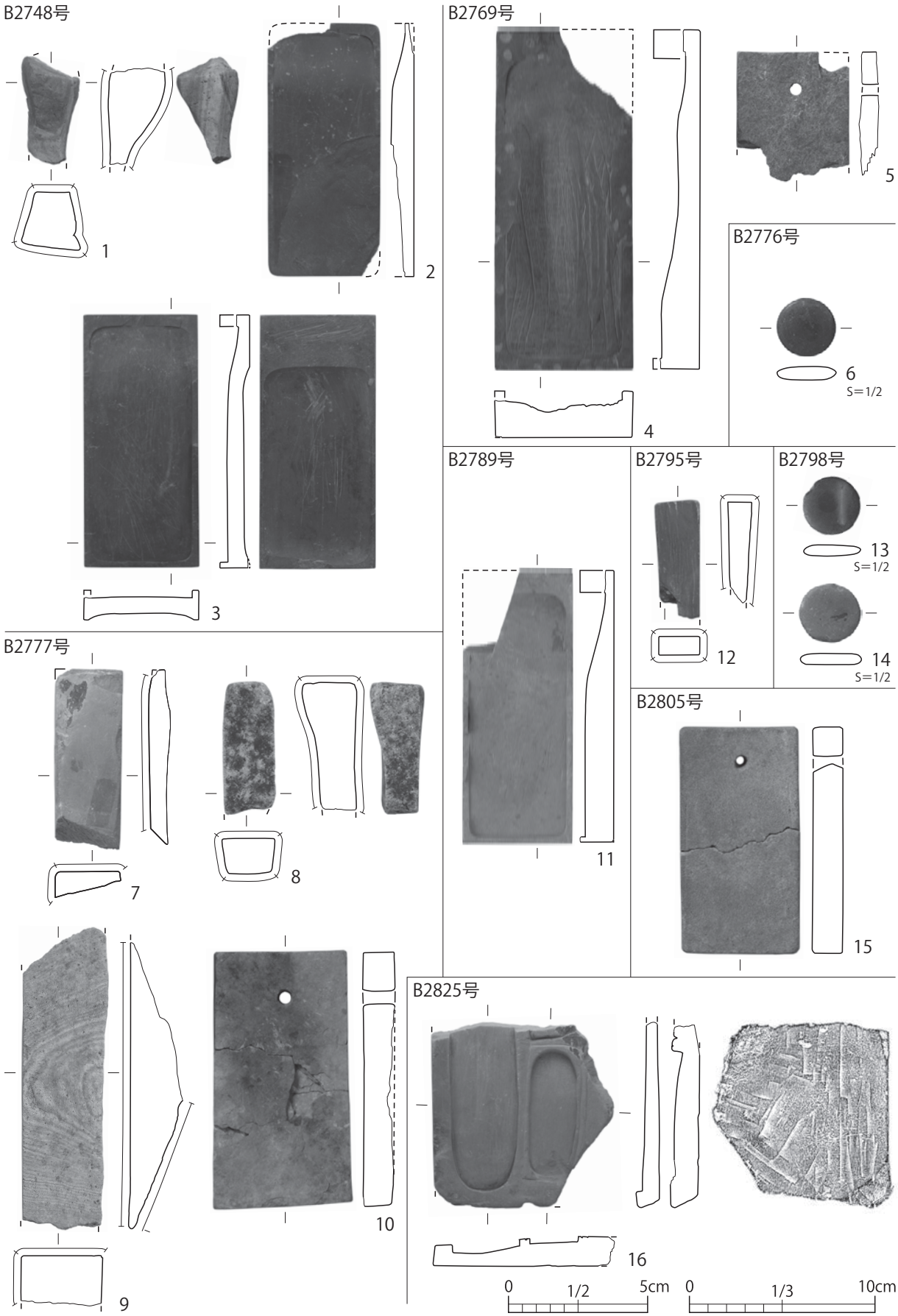
第 282 図　石製品（7）（1/3）



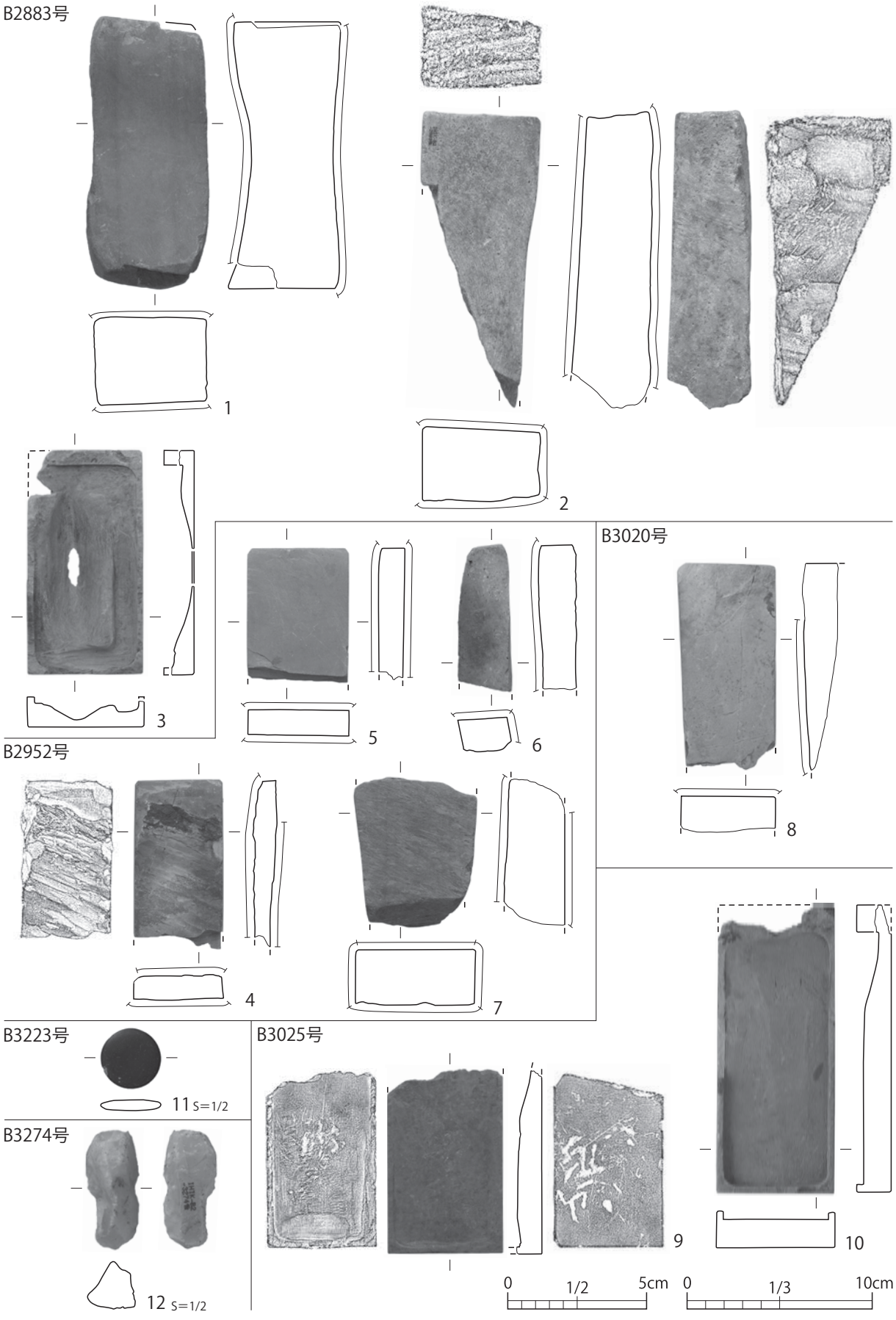
第 283 図　石製品（8）（1/2・1/3）



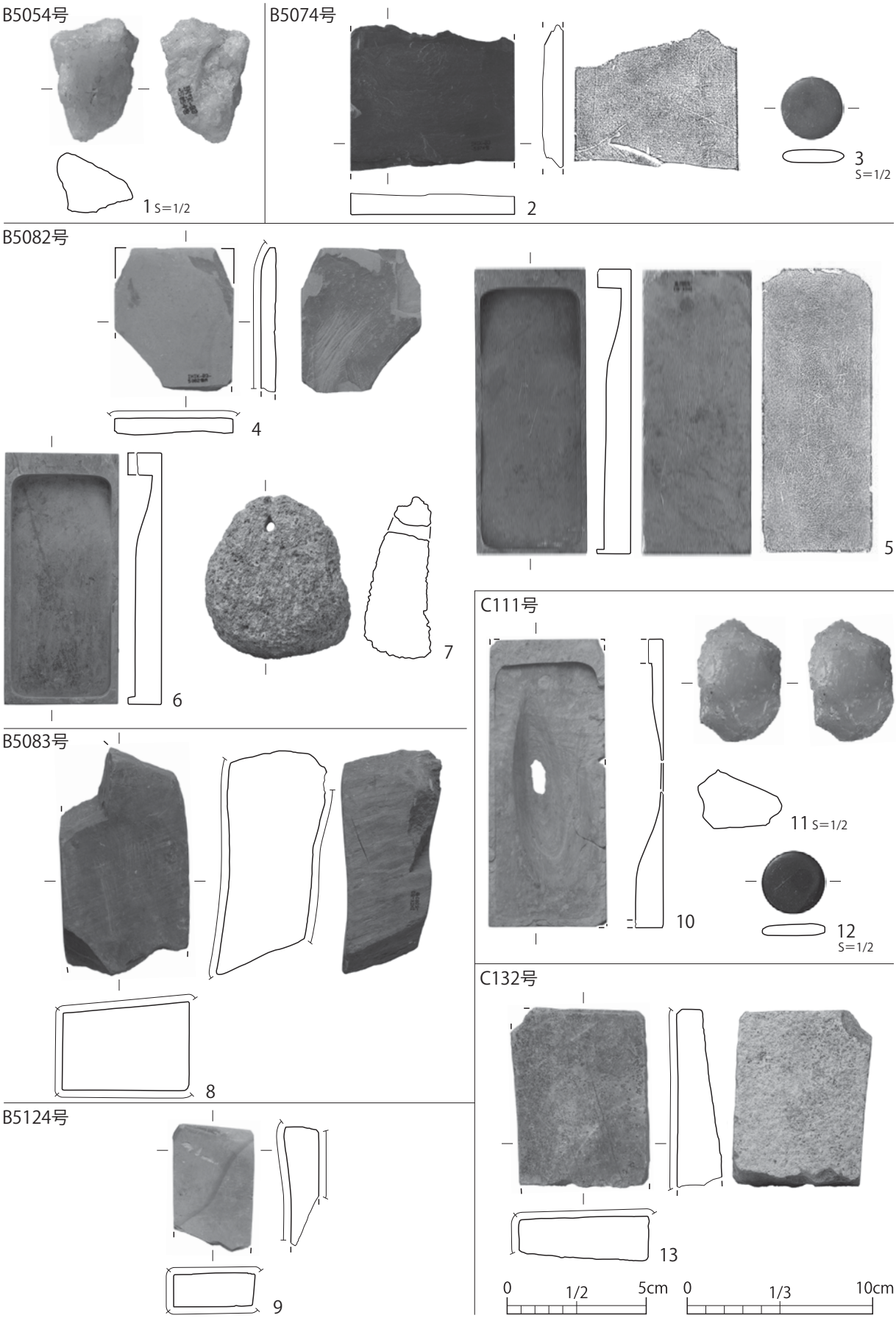
第 284 図　石製品（9）（1/2・1/3）



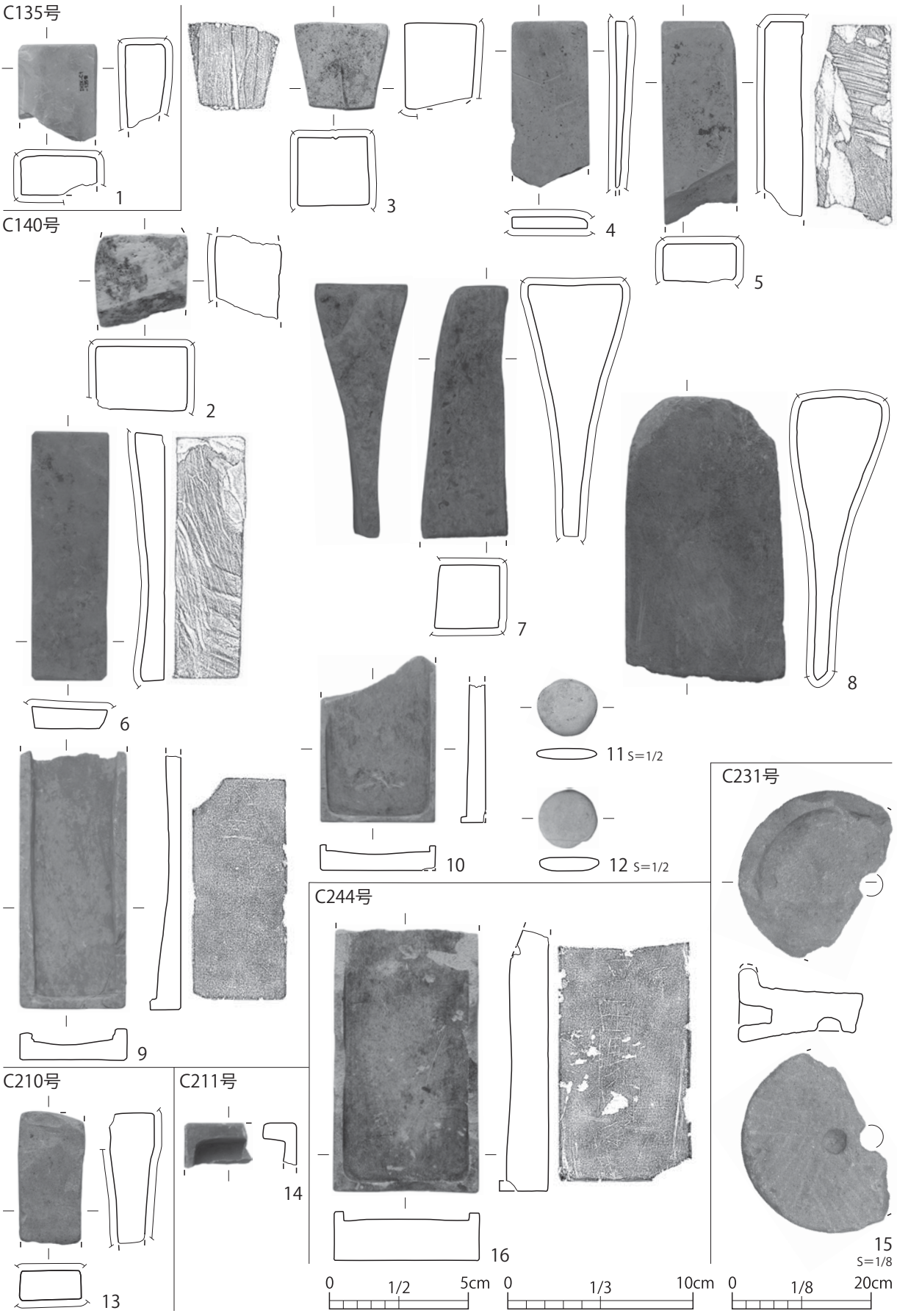
第 285 図　石製品（10）（1/2・1/3）



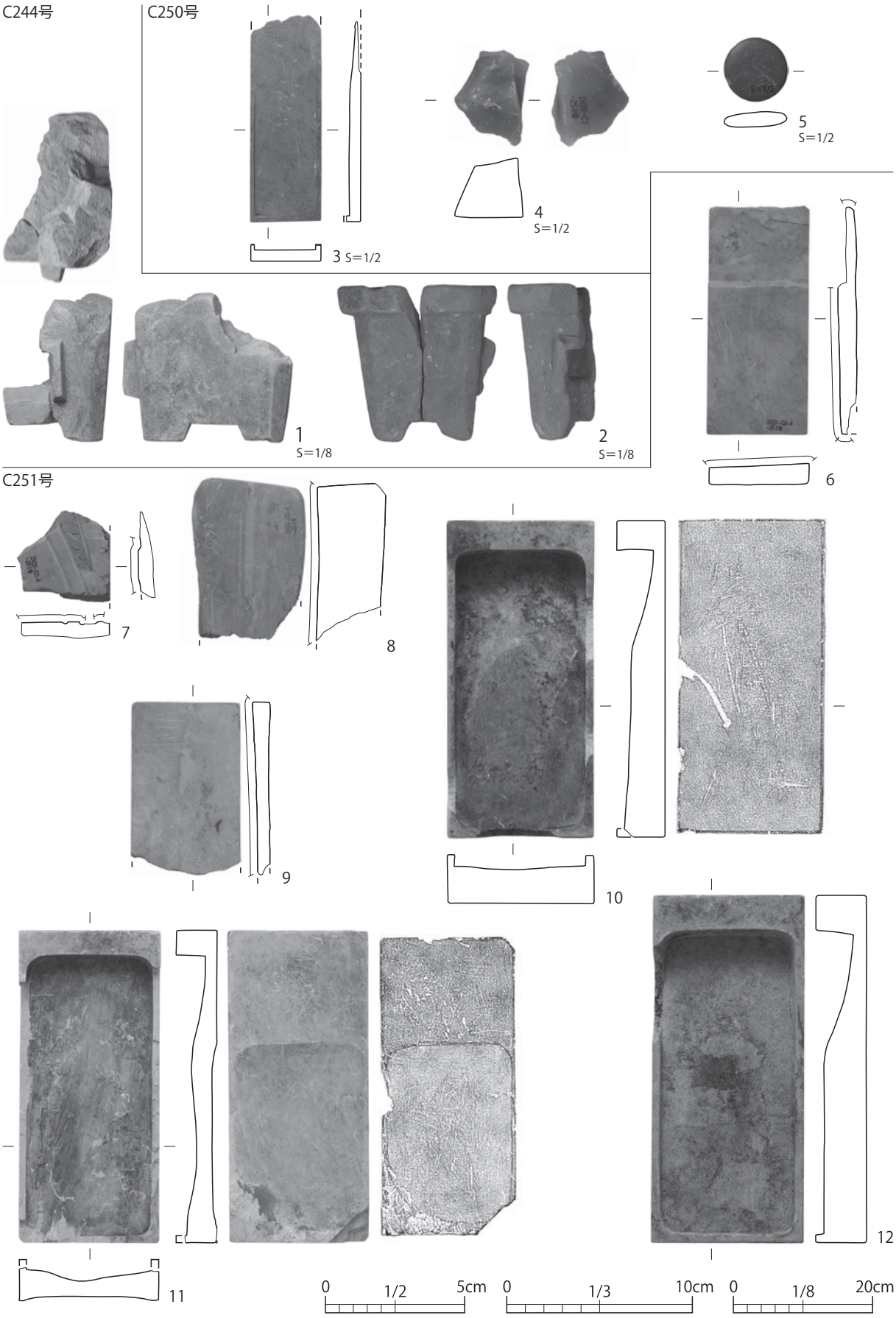
第 286 図　石製品（11）（1/2・1/3）



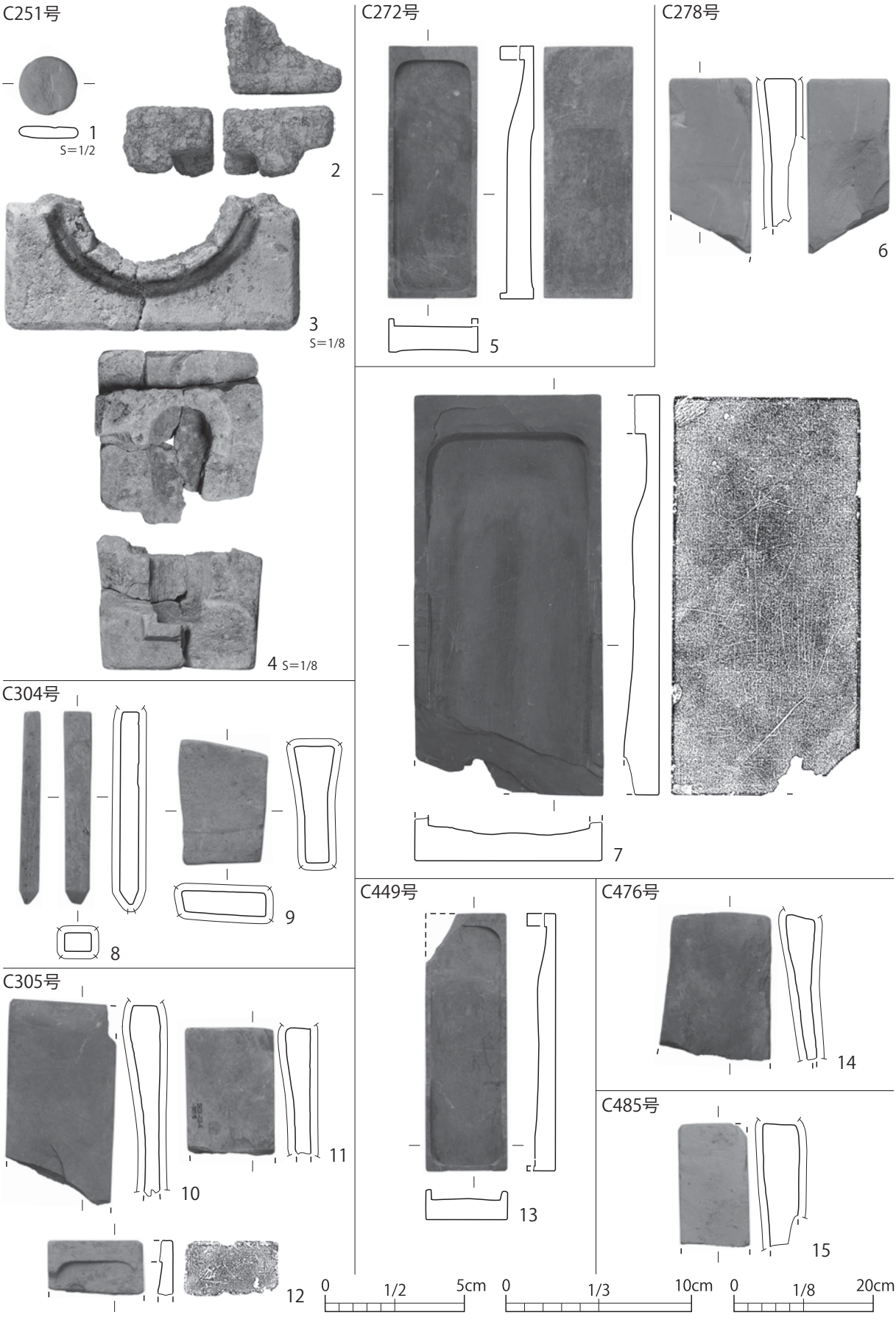
第 287 図　石製品（12）（1/2・1/3）



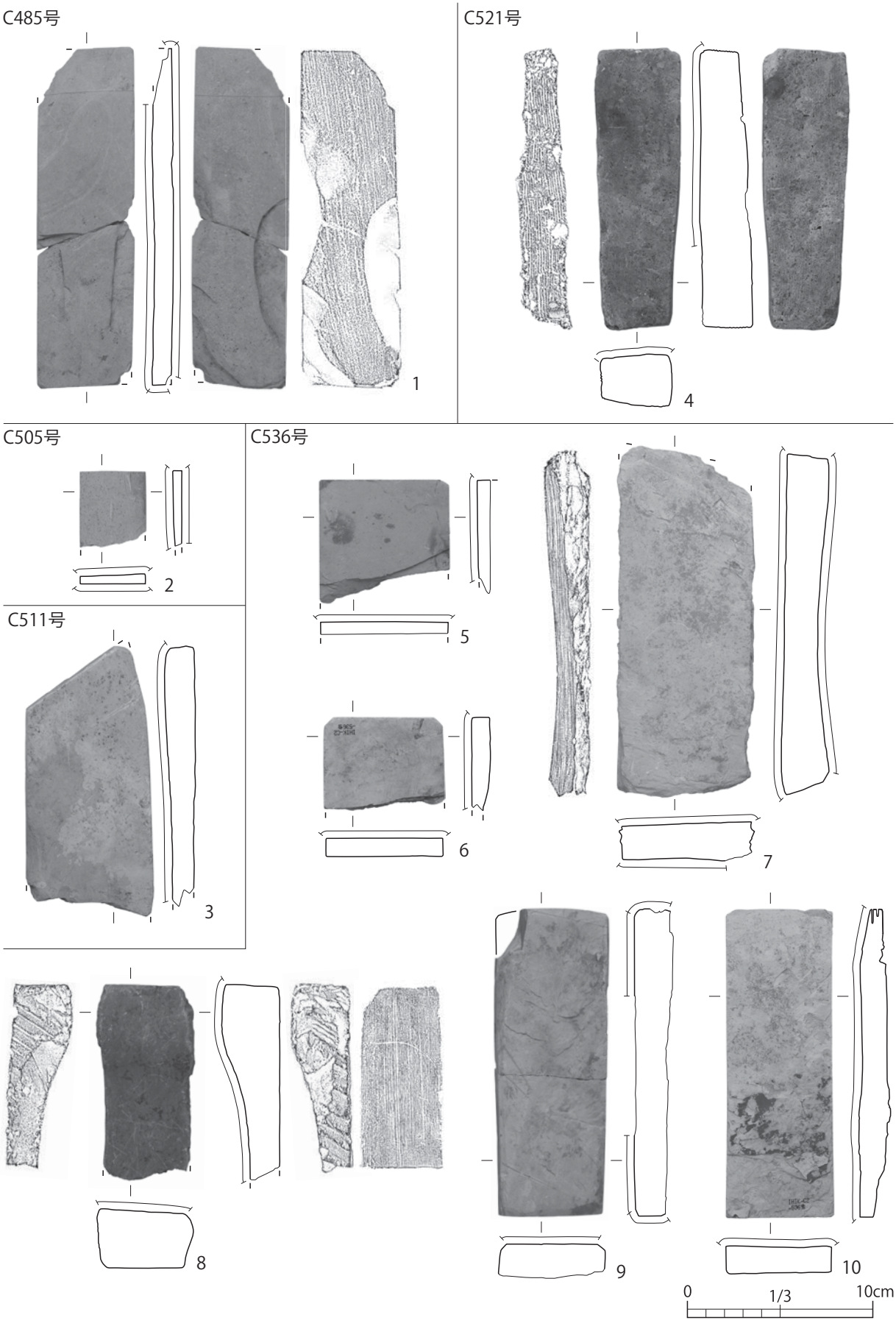
第 288 図　石製品（13）（1/2・1/3・1/8）



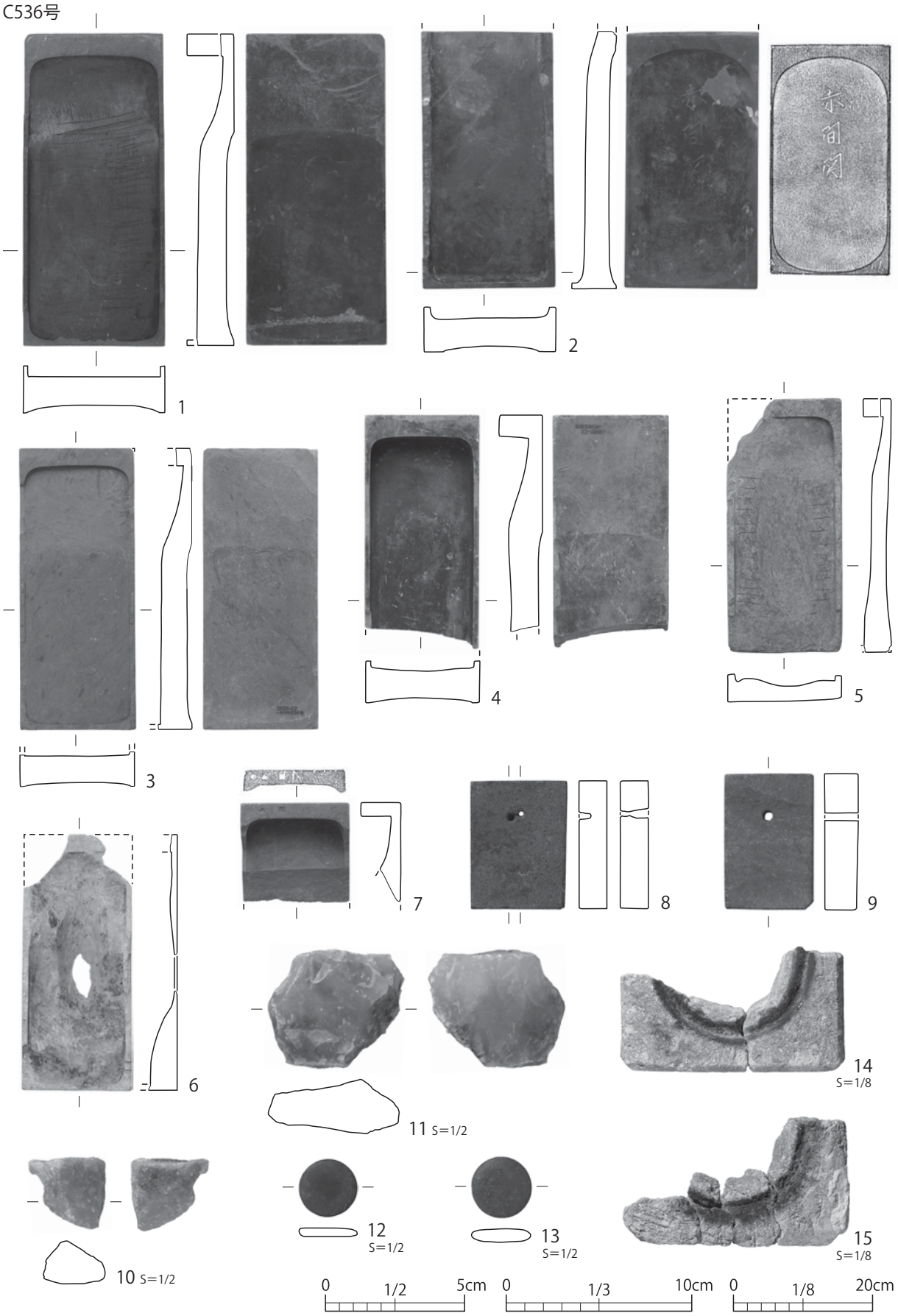
第 289 図　石製品（14）（1/2・1/3・1/8）



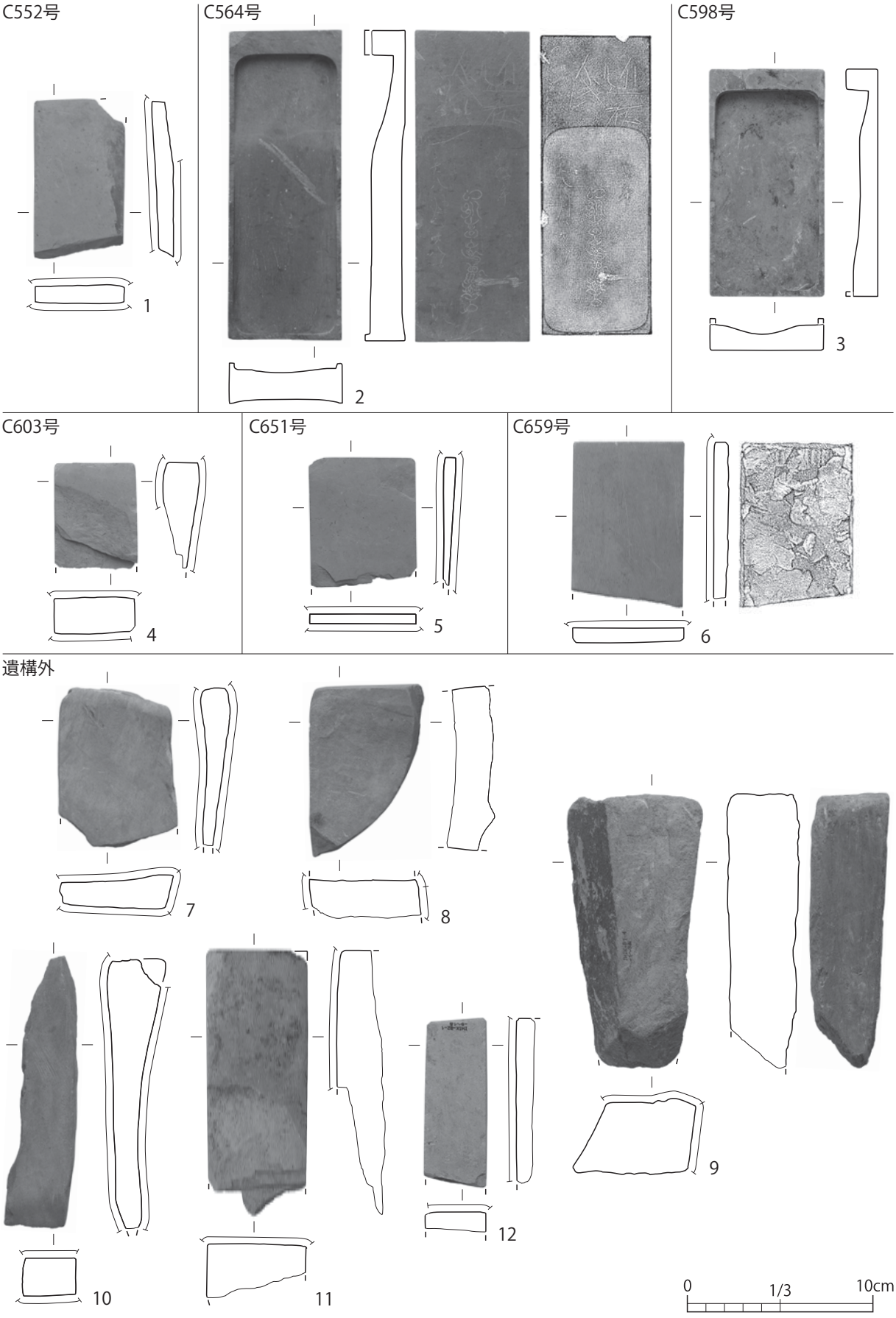
第 290 図　石製品（15）（1/2・1/3・1/8）



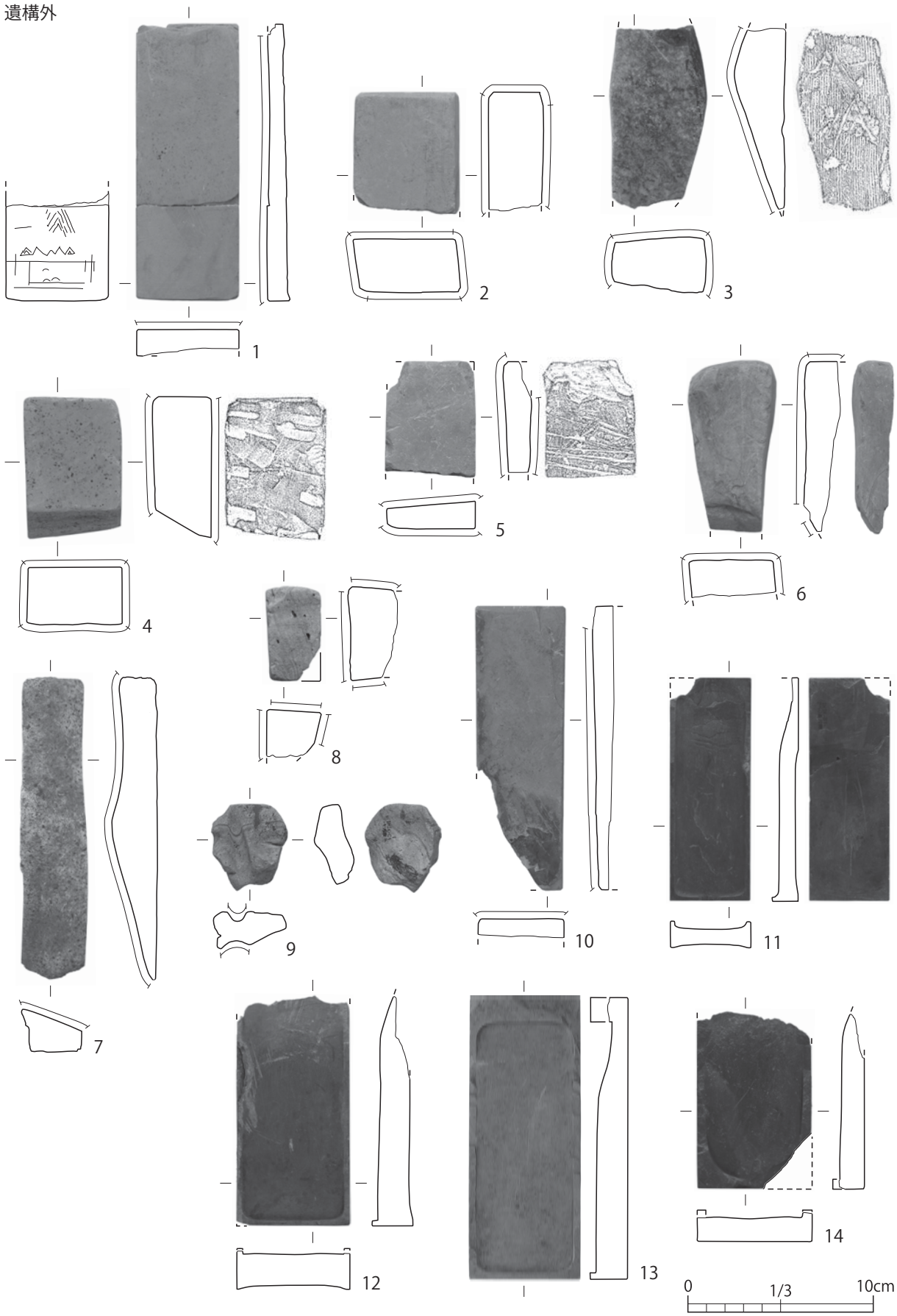
第 291 図　石製品（16）（1/3）



第 292 図　石製品（17）（1/2・1/3・1/8）

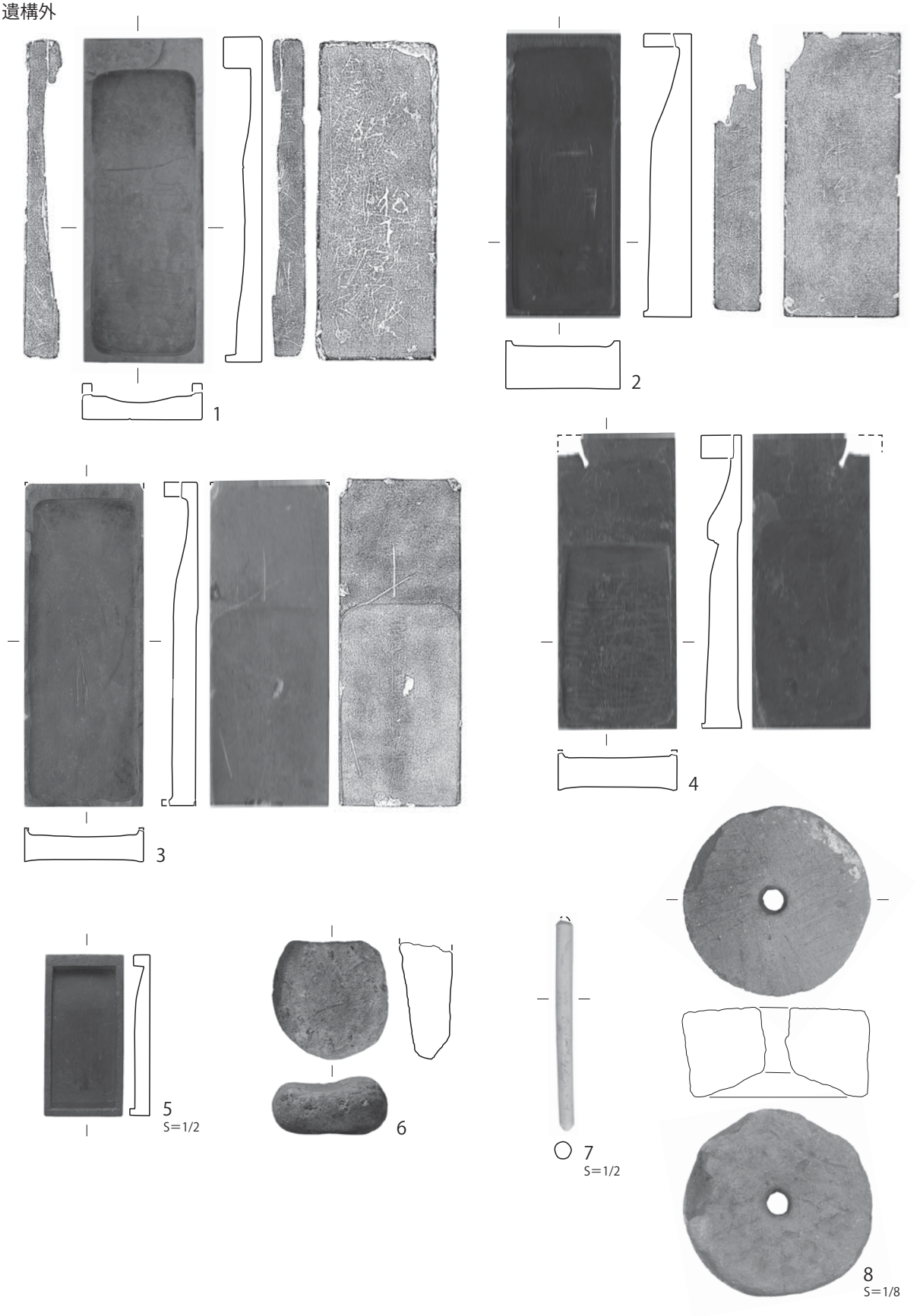


第 293 図　石製品（18）（1/3）



第 294 図　石製品（19）（1/3）

遺構外



第 295 図　石製品（20）（1/2・1/3・1/8）

第 89 表　石製品観察表（1）

掲載番号		出土地点	種別器種	特徴	残存率(%)	法量 (mm)			重量(g)	色調	石材	整理番号
挿図	番号					長さ	幅	厚み				
276	1	B44 号	砥石	中砥 /5 面使用 / 上側面中央に溝状の使用痕 / 下部欠損 / 下部欠損面に溝状の使用痕	50	(71)	40	18	86.7	浅黄橙	流紋岩	230880
276	2	B63 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 /3 側面に鋸痕 / 下部欠損	60	96	38	9	64.8	浅黄橙	粘板岩	230887
276	3	B162 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 / 裏面は破損後再整形し使用 /3 側面に鋸痕・一部使用か / 下部欠損	30	44	33	59	15.9	にぶい橙	粘板岩	230889
276	4	B162 号	砥石	中砥 /5 面使用 / 表・裏面縦方向に凹み / 下部欠損	30	(38)	52	32	101.5	灰白	流紋岩	230891
276	5	B164 号	砥石	仕上砥 /1 面使用 /3 側面に鋸痕 / 裏面に手斧痕・鋸痕 / 上・下部欠損	40	83	52.5	99	72.9	にぶい褐	粘板岩	230893
276	6	B165 号	硯	硯丘中央に窪み / 左側面に補修痕	90	152	64	19	338.4	灰オリーブ	粘板岩	230897
276	7	B312 号	砥石	中砥 /4 面使用 / 下側面に鋸痕・打ち割り痕	100	(163)	58	25	384.6	灰	砂岩	230912
276	8	B367 号焼土	砥石	中砥 /3 面使用 / 下側面に鋸痕 / 上部・右半から裏面欠損	40	90	30	27	79.4		ホルンフェルス	230916
276	9	B448 号	砥石	中砥 /4 面使用 / 左側面は手斧痕 / 上・下部欠損	40	(72)	49	32	227.7	灰褐	流紋岩	230029
276	10	B479 号	砥石	荒砥 /6 面使用 / 表裏面側縁にかけて V 字状の溝状使用痕	100	56	53	21	118.8	にぶい黄橙	砂岩	230101
276	11	B479 号	砥石	中砥 /1 面使用 / 裏面に鋸痕 / 左右側面に鉈痕 / 上下部欠損 / 上・下部欠損	60	(111)	80	39	543.7	灰	ホルンフェルス	230145
276	12	B499 号	砥石	仕上砥 /1 面使用 /3 側面に鋸痕 / 裏面に手斧痕 / 下部欠損	50	88	72	27	346.8	明褐灰	粘板岩	230873
276	13	B499 号	砥石	仕上砥 /1 面使用 / 上・左・右側面に鋸痕 / 裏面・下部は破損後に再整形	30	43	51	11	51.9	浅黄橙	粘板岩	230874
276	14	B500 号	砥石	仕上砥 /1 面使用 /3 側面に鋸痕・面取り / 裏面・下部欠損	10	(49)	(34)	(4)	10.4	にぶい橙	粘板岩	230050
277	1	B588 号東	砥石	仕上砥 /2 面使用 / 表面下部は破損後に再整形し使用 /3 側面に鋸痕 / 下部・表面上部欠損	60	120	52	14	163.4	にぶい橙	粘板岩	230864
277	2	B588 号	砥石	仕上砥 / 多面使用 / 裏面の一部欠損	90	46	27	9	20.4	黒	頁岩	230100
277	3	B588 号ベルト	硯	被熱により赤化、溶解金属が付着	90	123	65	21	287.7	灰オリーブ	粘板岩	230853
277	4	B588 号ベルト	硯	硯面一部剥落	100	53	26	50	14.2	黒	粘板岩	230858
277	5	B588 号	温石	両方向からの穿孔 1 ヵ所 / 下端側面に加工痕	100	133	63	22	454.1	にぶい黄橙	黒雲母片岩	230157
277	6	B588 号	水晶	頭部は曲線状、断面は八角形に整形	80	24	12	(11)	7.9	無透明	水晶	230185
277	7	B588 号東	水晶	頭部は曲線状、断面六八角形に整形	70	18	9	(8)	1.6	無透明	水晶	230213
277	8	B588 号ベルト	水晶	頭部は曲線状、断面は六角形に整形	90	24	9	8	2.7	無透明	水晶	231272
277	9	B588 号ベルト	水晶	断面は六角形に整形	30	(17)	(8)	(7)	1.1	無透明	水晶	231273
277	10	B588 号	碁石		100	22	22	5	3.6	黒褐	粘板岩	230871
277	11	B588 号ベルト	碁石		100	22	22	5	3.8	黒褐	粘板岩	230850
277	12	B588 号ベルト	石臼	茶臼 / 下臼 / 目 8 分画 / 全体に被熱痕	100	388	—	98	16000	暗緑灰	安山岩	230849
277	13	B591 号	砥石	中砥 / 3 面使用 / 上側面に鋸痕 / 下部欠損	50	(100)	46	39	179.9	灰	ホルンフェルス	230001
277	14	B589 号	砥石	中砥 /4 面使用 / 上側面は手斧痕 / 表裏面は研ぎ減りのため湾曲下部 / 下部欠損	60	(92)	46	22	105.9	浅黄橙	流紋岩	230071
277	15	B589 号	砥石	仕上砥 /1 面使用か / 表面は剥落多い / 上・左右側面に鋸痕 / 中央上部に金属製付着物 / 下部欠損	60	(65)	35	9	31.5	浅黄橙	粘板岩	230122
277	16	B5086 号	砥石	中砥 /3 面使用 / 裏面欠損 / 上・下部は節理面	10	(82)	39	9	49.6	暗灰	ホルンフェルス	230762
277	17	B5086 号	砥石	中砥 /5 面使用 / 表面に櫛歯鑿痕 / 下部欠損	30	(43)	31	20	44.0	灰	砂岩	230793
277	18	B5086 号	砥石	仕上砥 /4 面使用 / 表面に線刻状の溝 / 上・下部欠損	30	(38)	32	13	34.1	灰	ホルンフェルス	230794
277	19	B5086 号	砥石	中砥 /5 面使用 / 下部欠損	80	(92)	22	23	58.3	灰	砂岩	230799
277	20	B5086 号	砥石	仕上砥 /1 面使用 /3 側面に鋸痕 / 裏面・下部欠損	30	60	38	12	54.6	明褐灰	粘板岩	230700
277	21	B5086 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 / 上・左・右側面に鋸痕 / 下部は破損後に再整形	50	71	39	13	63.3	にぶい橙	粘板岩	230687
277	22	B5086 号	砥石	仕上砥 /1 面使用 / 裏面・3 側面に鋸痕 / 下部欠損	40	51	29	12	34.1	浅黄橙	粘板岩	230766
277	23	B5086 号	砥石	中砥 /5 面使用 / 上下側面に U 字状の溝状使用痕 / 表裏面は研ぎ溝りによる湾曲 / 下部欠損	50	(83)	46	26	132.4	灰白	流紋岩	230689
278	1	B5086 号	砥石	中砥 /5 面使用 / 表裏面に鋸痕	100	71	60	27	215.1	灰白	流紋岩	230691
278	2	B5086 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 / 上・右側面に鋸痕 / 下部は欠損後に再整形 / 左部欠損	50	85	45	11	63.8	にぶい黄橙	粘板岩	230768
278	3	B5086 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 / 表面上部は欠損後に再整形し使用か /3 側面に鋸痕 / 下部欠損	50	88	40	16	74.4	にぶい黄橙	粘板岩	230688
278	4	B5086 号	砥石	中砥 /5 面使用 / 下部欠損	70	(103)	31	28	125.3	灰白	流紋岩	230699
278	5	B5086 号	砥石	中砥 /1 面使用 /3 側面に鋸痕 / 裏面・下部欠損	40	114	41	15	91.3	浅黄橙	粘板岩	230782

第 90 表　石製品観察表（2）

掲載番号		出土地点	種別器種	特徴	残存率(%)	法量 (mm)			重量(g)	色調	石材	整理番号
挿図	番号					長さ	幅	厚み				
278	6	B5086 号	砥石	仕上砥 /2 面使用側面に鋸痕 / 裏面上部は欠損後に再整形 / 下部欠損	50	79	41	19	119.5	浅黄橙	粘板岩	230805
278	7	B5086 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 /3 側面は鋸切断後に平滑に整形 / 下部は欠損後に整形か	20	(44)	54	7	25.8	浅黄橙	粘板岩	230697
278	8	B5086 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 /3 側面に鋸痕 / 下部・裏面上部欠損	60	78	32	11	52.7	浅黄橙	粘板岩	230812
278	9	B5086 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 /3 側面に鋸痕 / 下部は節理面で欠損	30	76	49	19	109.0	浅黄橙	粘板岩	230798
278	10	B5086 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 / 表裏面下部は破損後に再整形 / 裏面は再整形後に使用 /4 側面に鋸痕 / 下部右半は節理面で欠損	80	135	31	17	123.2	橙	粘板岩	230796
278	11	B5086 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 / 左右側面に鋸痕 / 棒状に再加工か	70	(57)	12	8	8.8	にぶい橙	粘板岩	230833
278	12	B5086 号	砥石	中砥 /2 面使用 / 下部欠損	60	(113)	38	36	180.4	灰	ホルンフェルス	230816
278	13	B5086 号	砥石	中砥 /3 面使用 / 裏面に鋸痕 / 下部欠損	40	(87)	70	30	307.1	浅黄橙	流紋岩	230810
278	14	B5086 号	砥石	中砥 /1 面使用 / 表裏面・上側面に鋸痕 / 右半・下部欠損	20	(74)	(64)	39	299.2	浅黄橙	流紋岩	230809
278	15	B5086 号	砥石	中砥 /4 面使用 / 下部欠損	60	(86)	56	26	173.9	灰白	流紋岩	230813
278	16	B5086 号	砥石	中砥 /2 面使用 / 左側面も使用の可能性 / 表面は研ぎにより湾曲	90	136	29	46	282.9	褐灰	凝灰岩	230814
278	17	B5086 号	砥石	中砥 /4 面使用 / 表面上部に鏨痕 / 表面・左右側面は研ぎ減りによる湾曲 / 裏面上半欠損	90	(165)	58	23	317.9	灰	ホルンフェルス	230815
279	1	B5086 号	砥石	仕上砥 /3 面使用 / 上・左・右側面に手斧痕 / 裏面・下部欠損	30	97	63	45	450.1	灰	ホルンフェルス	230819
279	2	B5086 号	硯	硯丘改刻し硯尻側に硯池を作出	80	115	62	13	121.2	暗灰	粘板岩	230684
279	3	B5086 号	硯		90	103	64	14	153.3	オリーブ黒	粘板岩	230685
279	4	B5086 号	硯	硯尻欠損	60	63	37	6	23.9	暗灰	粘板岩	230683
279	5	B5086 号	温石	両方向からの穿孔 1 ヵ所	80	125	63	17	230.7	にぶい黄橙	黒雲母片岩	230830
279	6	B5086 号	碁石		100	22	22	4	3.4	黒	粘板岩	230834
279	7	B5086 号	碁石	平面いびつな楕円形	100	22	25	6	5.5	黒	粘板岩	230836
279	8	B5086 号	碁石	平面楕円形	100	18	23	5	3.4	黒	粘板岩	230835
279	9	B5086 号	碁石		100	22	22	5	3.4	黒	粘板岩	230837
279	10	B5086 号	不明	下面に脚状の整形	20	(23)	(34)	11	14.2	灰白	花崗岩	230832
279	11	B2843 号	砥石	仕上砥 /3 面使用 / 左側面に鋸痕 / 右側面は節理面 / 裏面は欠損後に一部使用か / 下部欠損	40	(149)	(46)	14	107.3	淡赤橙	粘板岩	230417
279	12	B2843 号	砥石	中砥 /3 面使用 / 表面に鉈痕か / 上下・裏面欠損	20	(50)	48	(45)	162.5	淡橙	流紋岩	230419
279	13	B2843 号	砥石	中砥 /4 面使用 / 表面は研ぎ減りによる湾曲 / 下部欠損下部を欠損	50	(81)	33	20	73.4	灰白	流紋岩	230421
279	14	B2843 号	砥石	中砥 /4 面使用 / 上側面に鋸痕 / 表面は研ぎ減りによる凹凸 / 下部欠損 / 鉄錆付着 / 被熱	80	(106)	40	33	221.0	にぶい黄橙	凝灰岩	230416
279	15	B725 号	砥石	中砥 /1 面使用 / 上・左・右・裏面は平滑で使用の可能性あり / 右・下部欠損	30	(45)	53	11	54.5	浅黄橙	流紋岩	230003
279	16	B677 号	砥石	仕上砥 /3 面使用 / 上・左・右側面に鋸痕 / 表面に一部手斧痕 / 裏面は欠損後に 2 条の溝状使用痕あり / 下部欠損	30	(73)	62	15	100.7	浅黄橙	粘板岩	230121
279	17	B724 号	砥石	中砥 /3 面使用 / 左側面に鋸痕 / 上端部・右側面に手斧痕 / 下端節理面	90	123	57	35	432.2	灰	ホルンフェルス	230044
279	18	B604 号	硯	硯丘から落潮にかけて表面剥落	80	121	59	16	273.6	オリーブ黒	粘板岩	230033
280	1	B745 号	砥石	仕上砥 /5 面使用 / 各側面に鋸痕 / 表面に浅い溝状の使用痕 / 裏面欠損	50	60	37	9	35.2	にぶい橙	粘板岩	230115
280	2	B745 号	碁石		100	21	21	5	3.3	黒褐	粘板岩	230088
280	3	B750 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 / 左右側面は研ぎ減りにより湾曲 / 右半部欠損	60	(105)	51	32	122.0	灰	ホルンフェルス	230012
280	4	B800 号	砥石	中砥 /2 面使用 / 表面は手斧痕顕著で未使用か / 右側面に鋸痕 / 上・下端は節理面による破損	40	(115)	79	33	517.6	灰	ホルンフェルス	230170
280	5	B800 号	砥石	中砥 /3 面使用 / 上側面は節理面 / 裏面・下部欠損	30	(105)	18	9	23.7	灰	ホルンフェルス	230175
280	6	B800 号	硯	四隅を斜位に面取り / 硯丘中央に窪み / 硯丘改刻し硯尻側に硯池を作出	90	121	62	13	155.3	黒	粘板岩	230149
280	7	B808 号新段階	砥石	粗砥 /4 面使用 / 各側面に溝状の使用痕 / 下部欠損	80	(87)	64	18	143.9	浅黄	砂岩	230274
280	8	B808 号新段階	砥石	中砥 /5 面使用 / 表面に溝状使用痕 / 上下部欠損	40	(54)	27	21	36.1	浅黄橙	流紋岩	230195
280	9	B808 号新段階	砥石	仕上砥 /2 面使用 / 裏面に手斧痕 / 左右側面に鋸痕 / 上下部欠損し下部は再整形	30	(64)	54	7	42.0	灰オリーブ	粘板岩	230187
280	10	B808 号	砥石	荒砥 /5 面使用	30	(52)	55	30	149.3	にぶい赤褐	流紋岩	230249
280	11	B808 号新段階	砥石	中砥 /2 面使用 / 上・左右側面に櫛場鑿痕 / 下部欠損	60	(78)	30	19	72.2	灰白	流紋岩	230189

第 91 表　石製品観察表（3）

掲載番号		出土地点	種別器種	特徴	残存率(%)	法量 (mm)			重量(g)	色調	石材	整理番号
挿図	番号					長さ	幅	厚み				
280	12	B808 号中段階	砥石	仕上砥 /1 面使用 /3 側面は鋸切断ののち平滑に整形か / 裏面・下部欠損	30	(75)	54	37	213.8	にぶい橙	粘板岩	230270
280	13	B808 号新段階	砥石	仕上砥 /1 面使用 /4 側面に鋸痕	90	132	41	16	171.8	にぶい橙	粘板岩	230245
280	14	B808 号中段階	砥石	仕上砥 /2 面使用 /3 側面に鋸痕 / 裏面は欠損後に再整形し使用 / 下部欠損	40	(119)	56	16	136.3	にぶい黄	粘板岩	230074
280	15	B808 号中段階	砥石	仕上砥 /5 面使用 / 裏面・左側面に手斧痕 / 下部欠損 / 被熱による変色	40	(89)	58	37	324.8	橙	流紋岩	230073
280	16	B808 号新段階	硯	側縁全周欠損	60	113	59	(13)	191.2	灰オリーブ	粘板岩	230186
281	1	B808 号新段階	硯	硯丘中央に窪み / 硯背に刻書・抉りによる意匠不明の文様	30	(78)	73	21	152.2	灰オリーブ	粘板岩	230295
281	2	B808 号	硯	硯首欠損 / 側縁は欠損後に再整形 / 硯面右下に格子状の線刻 / 硯丘中央に窪み	70	(115)	60	12	167.9	灰オリーブ	粘板岩	230640
281	3	B808 号新段階	火打石	複数側縁に使用痕 / 全体に黒色付着物あり	100	41	28	24	34.7	灰白	玉髄	230302
281	4	B808 号中段階	碁石		100	22	22	6	4.6	黒	粘板岩	230224
281	5	B1037 号	碁石		100	22	22	5	3.6	黒	粘板岩	230038
281	6	B889 号	砥石	中砥 /2 面使用 // 表・裏面研ぎ減りで湾曲 / 左半欠損	80	155	46	42	474.0	灰	ホルンフェルス	230144
281	7	B889 号下部	硯	硯面は剝離により欠損 / 硯背に刻書「正保■六月■八日■」「中村■」	20	(89)	57	(10)	105.6	黒	粘板岩	230086
281	8	B889 号 No.1	火打石	複数側縁に使用痕	100	〔35.6〕	〔28.6〕	〔15〕	12.3	黒	黒曜石	230741
281	9	B889 号	石臼	粉碾臼 / 下臼 / 目 6 分画	50	(346)	—	111	11000.0	浅黄橙	花崗岩	230441
281	10	B890 号外側	砥石	仕上砥 /1 面使用 / 各面に鋸痕 / 下部欠損	10	51	17	11	10.6	灰黄褐	粘板岩	230169
281	11	B890 号	砥石	仕上砥 /1 面使用 /3 側面に鋸痕 / 裏面・下部欠損	70	(119)	42	12	97.8	灰オリーブ	粘板岩	230112
281	12	B966 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 / 左・右側面は鋸切断ののち整形 / 下部は敲打による欠損	80	(47)	22	7	17.2	暗オリーブ灰	緑色凝灰岩	230062
281	13	B1148 号	砥石	仕上砥 /6 面使用 /4 側面に鋸痕	100	156	49	15	262.4	灰オリーブ	粘板岩	230078
281	14	B1148 号	砥石	中砥 /3 面使用 / 左側面は欠損後に整形か / 下部欠損	60	(136)	46	34	232.6	オリーブ灰	ホルンフェルス	230079
281	15	B1148 号	硯	側縁欠損、硯丘中央・右側に窪み / 側面に褐色顔料塗布	90	241	119	44	1520.9	灰オリーブ	粘板岩	230127
282	1	B1159 号	砥石	仕上砥 /1 面使用 / 上側面に鋸痕 / 裏面欠損	10	(75)	(38)	(10)	27.2	にぶい黄橙	粘板岩	230097
282	2	B1523 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 /3 側面に鋸痕 / 裏面は節理面 / 上部欠損	50	(79)	53	(12)	58.9	灰オリーブ	粘板岩	230552
282	3	B2288 号	砥石	仕上砥 /1 面使用 /4 側面に残痕・面取り / 裏面欠損	40	56	28	10	24.0	浅黄	粘板岩	230258
282	4	B1001 号	砥石	中砥 /4 面使用 / 上側面に鑿痕 / 左側面・右側面下部は欠損後に整形か	100	(129)	33	27	135.9	暗青灰	ホルンフェルス	230076
282	5	B1445 号	砥石	仕上砥 /5 面使用 /3 側面に鋸痕 / 左側面は面取り / 下部は節理面による破損か	80	(141)	61	30	435.0	浅黄橙	粘板岩	230469
282	6	B1445 号下部	砥石	中砥 /3 面使用 / 表面に段差あり / 上側面・裏面に鏽痕 / 下部欠損	50	(85)	58	42	350.0	にぶい黄橙	流紋岩	230486
282	7	B1445 号下部	砥石	中砥 /3 面使用 / 左側面は破損後の整形か	100	(170)	54	50	458.9	灰	ホルンフェルス	230487
282	8	B1445 号最下部	砥石	荒砥 /2 面使用 / 表裏面は研ぎ減りのため湾曲	70	(79)	56	25	187.4	浅黄	砂岩	230484
282	9	B1445 号最下部	砥石	中砥 /3 面使用 / 裏面に鑿痕 / 上側面に鉈痕 / 下部欠損	50	(86)	54	39	283.8	にぶい橙	流紋岩	230482
282	10	B1445 号最下部	砥石	仕上砥 /2 面使用 /3 側面は鋸切断ののち平滑に整形か / 下部欠損 / 被熱付着物顕著	60	(97)	52	15	116.9	にぶい黄橙	粘板岩	230485
282	11	B1445 号最下部	硯	硯首を改刻か / 硯丘から落潮に窪み・キズ状の縦位線刻 / 硯背に刻書（判読不能）	90	116	58	13	128.2	灰オリーブ	粘板岩	230478
282	12	B1445 号下部	硯	硯丘中央に窪み	90	121	60	16	200.5	黒	粘板岩	230488
282	13	B1520 号	砥石	仕上砥 /3 面使用 / 左側面は節理面 / 上・下部欠損	50	(108)	(38)	14	69.8	にぶい橙	粘板岩	230522
283	1	B1132 号	砥石	中砥 /3 面使用 / 上・下側面は節理面 / 裏面欠損	20	(114)	36	14	93.1	明オリーブ灰	ホルンフェルス	230129
283	2	B1132 号	碁石		90	(18)	21	4	2.2	黒	粘板岩	230089
283	3	B1505 号	硯	硯丘に 2 条の窪み / 側面に顔料塗布か	80	211	93.5	29	759.1	灰オリーブ	粘板岩	230501
283	4	B1505 号	硯	硯首右端部欠損 / 硯丘中央から硯池に大きな窪み	80	100	44	13	71.1	灰	粘板岩	230532
283	5	B1505 号	不明	上部曲線状に加工 / 下部直線状に加工	100	(125)	68	34	549.4	暗緑灰	緑色凝灰岩	230513
283	6	B1522 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 /3 側面に鋸痕 / 表面は破損後に使用か / 下部欠損	30	(109)	47	18	119.6	にぶい黄橙	粘板岩	230516

第 92 表　石製品観察表（4）

掲載番号		出土地点	種別器種	特徴	残存率(%)	法量 (mm)			重量(g)	色調	石材	整理番号
挿図	番号					長さ	幅	厚み				
283	7	B1522 号下部	砥石	仕上砥 /2 面使用 /3 側面に鋸痕 / 裏面側縁面取り / 下部欠損	50	(98)	46	14	65.6	灰黄褐	粘板岩	230518
283	8	B1522 号下部	硯		90	169	54	25	452.8	にぶい橙	流紋岩	230511
283	9	B1847 号	砥石	仕上砥 /3 面使用 / 上・左・右側面に鉈痕 / 裏面・下部欠損	50	(112)	67	35	443.7	褐灰	頁岩	230327
283	10	B2135 号	硯	硯丘中央に斜位の窪み	90	75	32	10	34.0	オリーブ黄	粘板岩	230329
283	11	B2219 号	砥石	中砥 /3 面使用 / 上側面に鉈痕 / 下部欠損 / 被熱による変色	50	(82)	53	38	337.3	淡赤橙	流紋岩	230324
283	12	B2223 号	硯	硯尻欠損	80	80	36	11	49.0	灰オリーブ	粘板岩	230306
283	13	B2291 号	碁石		90	(20)	21	5	2.0	暗灰	粘板岩	230325
283	14	B2300 号	温石	両方向からの穿孔 1 ヵ所	40	(56)	63	15	77.7	にぶい黄橙	砂岩	230345
284	1	B2305 号	砥石	仕上砥 /1 面使用 /3 側面に鋸痕 / 表面に溝状の使用痕 / 下部欠損	10	(28)	48	8	15.5	明オリーブ灰	粘板岩	230240
284	2	B2305 号	砥石	中砥 /1 面使用 / 左・右側面と裏面は節理面	80	(145)	36	45	228.5	青灰	ホルンフェルス	230241
284	3	B2311 号	火打石	複数側縁に使用痕	100	38	28	15	18.0	灰白	玉髄	230340
284	4	B2311 号	火打石	複数側縁に使用痕		33	26	19	15.3	にぶい黄橙	玉髄	230341
284	5	B2312 号	印章	硯転用 / 刻書「■閣亭」	100	(17)	(20)	14	13.3	灰オリーブ	粘板岩	230261
284	6	B2351 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 / 上側面に鋸痕 / 表面・左側面に溝状の使用痕	10	(27)	(19)	(5)	3.8	にぶい橙	粘板岩	230301
284	7	B2372 号	温石	両方向からの穿孔	100	126	63	18	242.5	にぶい黄褐	凝灰岩	230234
284	8	B2382 号東側	砥石	仕上砥 /4 面使用 / 左側面に鋸痕 / 表裏面に線状の使用痕 / 下部は欠損後に再整形か	70	86	43	10	65.6	灰	ホルンフェルス	230363
284	9	B2382 号	火打石	複数側縁に使用痕	100	27	20	15	11.1	灰白	玉髄	230305
284	10	B2382 号	火打石	複数側縁に使用痕	100	22	28	26	20.6	灰白	玉髄	230304
284	11	B2394 号	砥石	荒砥 /4 面使用 / 下部欠損	30	(66)	56	52	313.9	灰白	砂岩	230362
284	12	B2394 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 / 上側面に鋸痕 / 裏面・下部欠損	20	(62)	26	16	35.9	にぶい橙	粘板岩	230361
284	13	B2462 号	碁石		100	21	21	4	3.1	暗灰	粘板岩	230350
284	14	B2498 号	砥石	仕上砥 /4 面使用 / 表面右縁辺に断面Ｖ字状の溝あり / 裏面ほぼ欠損 / 上・下部欠損	20	(61)	74	24	137.4	オリーブ灰	ホルンフェルス	230349
284	15	B2514 号	印章	印章頭のみ残存か / 獅子の彫刻	80	20.1	23.9	23.8	13.4	灰白	蠟石	230317
284	16	B2725 号	硯	前面に黒色顔料塗布	90	139	78	20	431.0	黒	粘板岩	230370
285	1	B2748 号	砥石	中砥 /4 面使用 / 上端・下部欠損 / 下部へ研ぎ減り	30	(52)	31	31	52.0	淡赤橙	流紋岩	230436
285	2	B2748 号	硯	硯首と硯丘の一部を欠損	60	136	60	(13)	195.9	黒	粘板岩	230435
285	3	B2748 号	硯	覆手あり / 側縁の大半を欠損 / 硯丘および硯背面の覆手に無数のキズ	90	137	62	16	198.3	黒	粘板岩	230434
285	4	B2769 号	硯	硯首右側欠損 / 硯丘左側に窪み / 硯丘全面にキズ状の縦横の線刻	80	184	75	25	461.6	暗灰	粘板岩	230637
285	5	B2769 号	温石	両方向からの穿孔 1 ヵ所 / 上端部隅に加工痕	30	(69)	60	(10)	74.5	オリーブ灰	緑色片岩	230639
285	6	B2776 号	碁石	被熱	100	21	21	5	3.2	暗灰	粘板岩	230617
285	7	B2777 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 / 上・左右側面に鋸痕 / 裏面・下部欠損し下部は鋸で再整形	30	96	36	14	66.8	灰オリーブ	粘板岩	230593
285	8	B2777 号	砥石	仕上砥 /5 面使用 / 下部欠損	50	(70)	28	29	87.8	にぶい黄橙	流紋岩	230599
285	9	B2777 号	砥石	中砥 /3 面使用 / 裏面は破損後に下部のみ使用 / 右側面に手斧痕	30	(154)	44	29	255.2	浅黄橙	流紋岩	230600
285	10	B2777 号	温石	両方向からの穿孔 1 ヵ所 /	90	139	75	17	400.9	にぶい黄橙	黒雲母片岩	230602
285	11	B2789 号	硯	硯首左側欠損 / 硯丘中央に窪み / 硯背右側に補修痕	80	153	62	19	297.7	灰オリーブ	粘板岩	230611
285	12	B2795 号	砥石	中砥 /5 面使用 / 下部欠損	50	(54)	22	13	31.9	暗灰	ホルンフェルス	230381
285	13	B2798 号	碁石	被熱	100	21	21	4	2.7	暗灰	粘板岩	230584
285	14	B2798 号	碁石	被熱	100	21	22	4	2.7	にぶい黄褐	粘板岩	230585
285	15	B2805 号	温石	両方向からの穿孔 1 ヵ所 / 四隅面取り	100	122	65	17	212.9	灰黄褐	凝灰岩	230375
285	16	B2825 号	硯	硯首・硯尻右側欠損 / 硯首右側・硯尻に節理面残存 / 硯背に鑿痕 / 硯面は楕円形で大小２面あり / 硯面（大）の硯丘中央にＶ字状の窪み / 硯面（小）の周辺に長方形の線刻 / 硯背は被熱により赤化	80	110	98	16	177.6	灰	粘板岩か	230641
286	1	B2883 号	砥石	中砥 /2 面使用上下端は節理面	90	144	65	58	959.6	褐灰	ホルンフェルス	230408
286	2	B2883 号	砥石	中砥 /3 面使用 / 上側面・裏面に手斧痕 / 下部欠損	60	(157)	64	44	581.8	にぶい橙	流紋岩	230407
286	3	B2883 号	硯	硯丘左側に硯背まで貫通する窪み / 硯丘右側から硯尻に逆Ｌ字状の溝を改刻 / 側面に黒色顔料塗布か	90	121	63	16	140.4	オリーブ黄	粘板岩	230389
286	4	B2952 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 / 表面に鉈痕 /3 側面に鋸痕 / 裏面は破損後に使用か / 下部欠損	30	(91)	48	13	92.8	にぶい橙	粘板岩	230629
286	5	B2952 号	砥石	中砥 /2 面使用 / 右側面は下方を使用 / 下部欠損	60	(77)	29	19	71.9	にぶい橙	凝灰岩	230632

第 93 表　石製品観察表（5）

掲載番号		出土地点	種別器種	特徴	残存率(%)	法量 (mm)			重量(g)	色調	石材	整理番号
挿図	番号					長さ	幅	厚み				
286	6	B2952 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 / 上・左右側面に鋸痕 / 下部欠損	40	(73)	55	15	123.0	灰オリーブ	粘板岩	230630
286	7	B2952 号	砥石	中砥 / 4 面使用 / 上・下部欠損	30	(78)	65	30	306.1	緑灰	ホルンフェルス	230634
286	8	B3020 号	砥石	仕上砥 /1 面使用 /3 側面に鋸痕 / 裏面・下部欠損	50	111	51	19	187.4	浅黄橙	粘板岩	230740
286	9	B3025 号	硯	硯首欠損 / 硯尻に硯池を改刻 / 硯背に刻書「山形（カ）」	60	(100)	63	(14)	176.6	灰オリーブ	粘板岩	230728
286	10	B3025 号	硯	硯首欠損	80	155	64	20	283.4	オリーブ黄	粘板岩	230729
286	11	B3223 号	碁石		100	22	22	4	3.0	黒	粘板岩	230401
286	12	B3274 号	火打石	複数側縁に使用痕	100	43	19	19	16.6	灰白	玉髄	230390
287	1	B5054 号	火打石	複数側縁に使用痕	100	42	32	23	36.5	灰白	玉髄	230667
287	2	B5074 号	硯	硯面は剥離により欠損 / 硯背に刻書「■（元カ）禄十六年」「石」	20	(78)	89	(11)	160.6	黒	粘板岩	230676
287	3	B5074 号	碁石		100	22	22	5	3.5	灰黄褐	粘板岩	230675
287	4	B5082 号	砥石	仕上砥 /1 面使用 /3 側面に鋸痕 / 裏面に溝状の使用痕あり / 下部欠損	30	(77)	64	10	72.0	にぶい橙	粘板岩	230666
287	5	B5082 号	硯	硯丘中央にわずかな / 背面に刻書（不詳）	90	153	60	18	293.7	灰オリーブ	粘板岩	230678
287	6	B5082 号	硯	硯面側縁および硯背右下に補修痕 / 硯背に刻書（不詳）	90	135	61	18	270.0	オリーブ灰	粘板岩	230677
287	7	B5082 号	垢擦り	上部に穿孔 / 片面中央に窪み	90	88	77	36	55.5	灰	軽石	230656
287	8	B5083 号	砥石	中砥 /3 面使用 / 左側面に鋸痕 / 右側面に鉈痕 / 上下端は節理面 /	60	(121)	69	53	685.0	灰	ホルンフェルス	230664
287	9	B5124 号	砥石	仕上砥 /3 面使用 / 上・右側面に鋸痕 / 表面は研ぎ減りのため湾曲 / 下部欠損	30	(66)	44	19	76.9	にぶい橙	粘板岩	230720
287	10	C111 号	硯	側縁全面欠損 / 硯丘中央に硯背まで貫通する窪み / 側面に黒色顔料塗布か / 硯背中央に補修痕	80	156	63.5	16	203.2	灰オリーブ	粘板岩	231204
287	11	C111 号	火打石	複数縁辺に使用痕	100	44	30	21	33.5	にぶい黄橙	玉髄	231154
287	12	C111 号	碁石		100	22	22	4	3.7	黒	粘板岩	231203
287	13	C132 号	砥石	中砥 /2 面使用 / 上側面に鋸痕 / 右側面に手斧痕 / 裏面は節理面 / 下部欠損	40	(97)	75	24	253.9	にぶい橙	流紋岩	231138
288	1	C135 号	砥石	仕上砥 /5 面使用 /3 側面に鋸痕 / 裏面一部と下部欠損	30	(52)	42.5	22	70.2	灰白	粘板岩	231147
288	2	C140 号	砥石	中砥 /3 面使用 / 下部欠損	20	(41)	50	36	140.8	淡黄	流紋岩	231176
288	3	C140 号	砥石	中砥 /5 面使用 / 裏面に鋸痕・幅 2㎜の溝状研磨	30	46	50	40	162.7	灰白	流紋岩	231175
288	4	C140 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 /3 側面に鋸痕 / 下部欠損 / 裏面欠損後に再利用か	60	(90)	41	7	37.2	にぶい黄橙	粘板岩	231173
288	5	C140 号	砥石	仕上砥 /4 面使用 /3 側面鋸痕・面取り / 裏面鉈痕 / 下部欠損	60	(109)	40	21	164.6	にぶい黄褐	粘板岩	231171
288	6	C140 号	砥石	仕上砥 /1 面使用 /4 側面鋸痕 / 裏面に手斧痕	90	133	41	15	133.9	灰黄褐	粘板岩	231172
288	7	C140 号	砥石	仕上砥 /4 面使用 / 研ぎ減りのため断面は下部方向に尖り下半部欠損	50	136	47	51	278.2	青灰	ホルンフェルス	231170
288	8	C140 号	砥石	中砥 /2 面使用 / 下部は破損後に再加工	50	(151.5)	85.5	45.6	609.6	灰	ホルンフェルス	231169
288	9	C140 号上層	硯	硯首欠損 / 硯丘中央に窪み / 背面刻書「三」	80	140	58	17	192.9	オリーブ灰	粘板岩	231190
288	10	C140 号	硯	上半部欠損 / 硯丘中央にわずかな窪み / 硯背覆手あり	40	75	62	13	106.0	灰オリーブ	粘板岩	231167
288	11	C140 号	碁石		100	21	22	4	2.9	浅黄橙	粘板岩	231259
288	12	C140 号	碁石		100	21	21	5	3.2	明黄褐	粘板岩	231262
288	13	C210 号	砥石	中砥 /4 面使用 / 上端面に鑿痕	50	(70)	36	26	95.0	浅黄	砂岩	231184
288	14	C211 号	硯	硯首左端部のみ残存	10	25	37	18	16.2	灰	瓦質	231142
288	15	C231 号	石臼	粉碾臼 / 上臼 / 目 6 分画 / 横打込穴あり	50	(262)	—	〔113〕	6000.0	浅黄	花崗岩か	231216
288	16	C244 号	硯	硯首欠損 / 硯丘中央に窪み・キズ状の横位線刻 / 硯背に刻書「■石」「■田長■守 (カ)」	80	(142)	78	26	467.7	明緑灰	凝灰岩	231187
289	1	C244 号	七輪	切り出し七厘 / 口縁部に被熱痕	30	(211)	(155)	242	4700.0	灰	凝灰岩	231217
289	2	C244 号	七輪	切り出し七厘 / 表面風化顕著	30	225	(125)	240	4000.0	暗灰	凝灰岩	231218
289	3	C250 号	硯	硯首欠損	80	75	25	6	17.2	灰オリーブ	粘板岩	231191
289	4	C250 号	火打石	複数縁辺に使用痕	100	33	25	22	19.2	褐	玉髄	231199
289	5	C250 号	碁石	黒石、扁平	100	23	22	5	4.2	暗灰	粘板岩	231200
289	6	C251 号	砥石	仕上砥 /1 面使用 / 左右下側面に鋸痕 / 上側面は打ち割り / 裏面部分的に鋸痕 / 表面に線刻状の擦痕	60	(122.5)	54.5	11.4	120.2	黄灰	粘板岩	230929
289	7	C251 号	砥石	仕上砥 /1 面使用 / 幅 3㎜の U 字状研磨痕跡３条	20	(46)	(50)	(9)	26.4	にぶい橙	粘板岩	230935
289	8	C251 号	砥石	粗砥 /1 面使用 / 下部欠損	30	(86)	61	33	334.6	灰	頁岩	230930
289	9	C251 号	砥石	仕上砥 /1 面使用 / 左側面上部は一部使用か /3 側面に鋸痕 / 下部欠損 / 表面に浅い溝状の使用痕	40	(93)	58.5	10.4	99.2	灰黄	粘板岩	230933
289	10	C251 号	硯	硯丘中央にわずかな窪み / 硯面に墨付着顕著 / 硯背に補修痕	90	171	79	27	462.2	明オリーブ灰	凝灰岩	230950

第 94 表　石製品観察表（6）

掲載番号		出土地点	種別器種	特徴	残存率(%)	法量 (mm)			重量(g)	色調	石材	整理番号
挿図	番号					長さ	幅	厚み				
289	11	C251 号	硯	硯丘に窪み / 硯面全体に縦方向の線状痕 / 硯背に刻書（不詳）/ 覆手あり	80	169	76	22	381.0	灰オリーブ	粘板岩	230956
289	12	C251 号	硯	硯丘にやや墨付着	90	187	82	27	612.4	明オリーブ灰	凝灰岩	230951
290	1	C251 号	碁石	被熱	90	21	21	4	3.0	にぶい橙	粘板岩	231260
290	2	C251 号	不明	上面に方形の抉り込み / 下面に脚 2 ヶ所作出	20	〔38.9〕	〔59.8〕	〔48.1〕	53.1	灰白	デイサイトか	230976
290	3	C251 号	七輪	切り出し七厘 / 口縁部溝内は被熱による黒変	20	—	421	(194)	5900.0	灰白	凝灰岩	231267
290	4	C251 号	七輪	切り出し七厘 / 内部は被熱による黒変	40	(192)	237	248	6800.0	灰白	凝灰岩	231266
290	5	C272 号	硯	硯背覆手あり / 硯背上部・硯尻右端部に補修痕	80	137	48	18	198.6	灰オリーブ	粘板岩	231060
290	6	C278 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 / 3 側面鋸痕・端部面取り / 下部欠損	50	(94)	44	17	99.6	にぶい橙	粘板岩	231143
290	7	C278 号	硯	硯丘に二筋の窪み・キズ状の横位線刻 / 硯背に刻書「今井清 (カ) 吉持之」	80	215	101	19	772.5	黒	粘板岩	231124
290	8	C304 号	砥石	仕上砥 / 全面使用 / 棒状に加工 / 先端部角錐状 / 近代の金型砥石か	100	104	15	10	27.6	にぶい黄	粘板岩	231153
290	9	C304 号	砥石	粗砥 /6 面使用	100	67.5	48.3	23	95.2	にぶい黄橙	砂岩	231151
290	10	C305 号上層	砥石	仕上砥 /2 面使用 /3 側面に鋸痕 / 下部欠損	60	108.5	57.5	17.5	145.7	灰オリーブ	粘板岩	231162
290	11	C305 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 /3 側面に鋸痕 / 下部欠損	30	(68.5)	47.5	14	77.7	浅黄	粘板岩	231072
290	12	C305 号	硯	硯首のみ残存	20	(29)	52	8	19.0	灰オリーブ	粘板岩	231091
290	13	C449 号	硯	硯首左端部欠損 / 硯丘中央に窪み / 背覆手あり	80	139	44	15	131.5	灰オリーブ	粘板岩	231054
290	14	C476 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 / 表面浅い溝状の擦痕 / 上側面に鋸痕か	40	(78)	59.5	16.8	91.6	褐灰	粘板岩	231104
290	15	C485 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 /3 側面に鋸痕 / 下部欠損	30	(67.5)	37.5	20	82.6	淡橙	粘板岩	231047
291	1	C485 号	砥石	仕上砥 /1 面使用 /4 側面・裏面に鋸痕 /231049 と接合	80	183	52	11	176.8	にぶい橙	粘板岩	231048
291	2	C505 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 /3 側面に鋸痕 / 下部欠損	30	(40.5)	34.5	4.5	14.1	浅黄橙	粘板岩	231077
291	3	C511 号	砥石	仕上砥 /1 面使用 / 上側面は節理面に鋸痕 / 左右側面に鋸痕 / 下部欠損	60	(140.5)	68.5	16	223.5	浅黄橙	粘板岩	231110
291	4	C521 号	砥石	中砥 /2 面使用 / 6 面鑿痕 / 砥沢砥	90	151	46	29	345.3	暗灰黄	凝灰岩	231240
291	5	C536 号	砥石	仕上砥 /1 面使用 /3 側面に鋸痕 / 裏面・下部欠損	20	(66)	69	7	54.7	灰黄	粘板岩	231009
291	6	C536 号	砥石	仕上砥 /1 面使用 /3 側面に鋸痕 / 上側面端部取り / 下部欠損	30	50	64.5	10.7	66.1	灰白	粘板岩	231008
291	7	C536 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 / 右・下側面は節理面 / 右側面中央は打ち割り / 左側面は鋸痕・打ち割り / 裏面下部に鋸痕	90	185.5	73.5	25.5	605.3	明褐灰	粘板岩	230999
291	8	C536 号	砥石	中砥 /1 面使用 / 上側面・裏面に鋸痕 / 左右側面に鉈痕	60	105	53.5	32.4	269.5	暗灰	頁岩	230994
291	9	C536 号	砥石	仕上砥 /20996・20997 接合 /1 面使用 /4 側面鋸痕・面取り / 裏面欠損	80	166	61	(22)	365.3	浅黄橙	粘板岩	230996
291	10	C536 号	砥石	仕上砥 /1 面使用 /4 側面に鋸痕 / 裏面節理面	90	166	58	17	276.6	灰白	粘板岩	230998
292	1	C536 号	硯	硯丘にキズ状の横位線刻 / 硯背覆手あり / 覆手内に横位の補修痕	80	168	76	25	480.0	黒	粘板岩	231025
292	2	C536 号	硯	硯首切断 / 硯縁一部打ち割り / 硯背覆手内に補修痕、刻書「赤間関」	80	139	71	24	395.0	暗赤褐	頁岩	231028
292	3	C536 号	硯	側縁全面を欠損 / 硯背覆手あり / 硯背上半部剥落	80	151	62	19	316.0	灰	粘板岩	231026
292	4	C536 号	硯	硯丘中央にわずかな窪み / 硯背覆手あり / 全面黒色顔料塗布	60	(126)	62	23	300.3	灰	粘板岩	231018
292	5	C536 号	硯	硯丘にキズ状の横位線刻・中央に窪み / 硯背やや摩滅し湾曲	80	137	61	17	180.5	灰	粘板岩	231027
292	6	C536 号	硯	硯首左右端部欠損 / 硯丘中央に硯背まで貫通する窪み / 側面に黒色顔料塗布	70	138	59	18	139.4	灰オリーブ	粘板岩	231029
292	7	C536 号	硯	硯首に刻みによる記号「○△□」	20	(54)	59	22	82.7	黒	粘板岩	231020
292	8	C536 号	温石	両方向からの穿孔 1 ヵ所 / 一方向からの非貫通穿孔 1 ヵ所	100	69	52	15	97.1	褐灰	凝灰岩	231034
292	9	C536 号	温石	両方向からの穿孔 1 ヵ所	95	74	48	18	120.7	褐灰	凝灰岩	231033
292	10	C536 号	火打石	複数側縁に使用痕	100	21	27	16	12.7	灰白	玉髄	231065
292	11	C536 号	火打石	複数側縁に使用痕	100	42	47	22	53.4	灰白	玉髄	231066
292	12	C536 号	碁石		100	21	21	3	2.4	暗灰	粘板岩	231031
292	13	C454 号	碁石		100	22	21	5	3.9	暗灰	粘板岩	231053
292	14	C536 号	七輪	切り出し七厘 / 口縁部溝内は被熱による黒変	20	—	319	(178)	6663.4	灰白	凝灰岩	231222-1
292	15	C536 号	七輪	切り出し七厘 / 口縁部溝内は被熱による黒変	10	—	322	(182)	—	灰白	凝灰岩	231222-2
293	1	C552 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 /3 側面に鋸痕 / 下部欠損後に整形	40	85	49	10.8	80.1	浅黄	粘板岩	231079
293	2	C564 号	硯	硯丘中央に窪み / 硯背に刻書「近藤氏」「明和四年」「亥八月廿八日」「江州高嶌虎斑石」/ 覆手あり	90	167	61	22	377.3	オリーブ黒	粘板岩	231056
293	3	C598 号	硯	硯丘中央に窪み / 側面に黒色顔料塗布か	90	122	61	12	200.5	灰	粘板岩	231243

第 95 表　石製品観察表（7）

掲載番号		出土地点	種別器種	特徴	残存率(%)	法量 (mm)			重量(g)	色調	石材	整理番号
挿図	番号					長さ	幅	厚み				
293	4	C603 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 /3 側面に鋸痕 / 下部欠損 /231043 と接合	30	(57)	44.5	20.1	76.2	にぶい黄	粘板岩	231042
293	5	C651 号	砥石	仕上砥 /2 面使用 /3 側面に鋸痕 / 下部欠損	40	(69)	57	7	44.2	浅黄	粘板岩	231212
293	6	C659 号	砥石	仕上砥 /1 面使用 /3 側面鋸痕・面取り / 裏面鏑痕 / 下部欠損	60	(89)	60	8	85.2	にぶい黄橙	粘板岩	231254
293	7	B1-3 区 3~5 面	砥石	中砥 /3 面使用 / 裏面に浅い線刻状の溝あり / 下部欠損	40	(85)	61	18	127.2	褐灰	ホルンフェルス	230011
293	8	B1-4 区 1~2 面	砥石	仕上砥 /2 面使用 / 上側面に鋸痕 / 右側面は欠損後に再整形し使用 / 表裏面欠損	30	90	60	24	188.3	灰	砂岩	230559
293	9	B1-4 区 1~3 面	砥石	中砥 /2 面使用 / 右側面が主要使用面 / 上側面に手斧痕 / 左側面は節理面	90	(148)	70	38	537.9	灰	ホルンフェルス	230558
293	10	B2-1 区 攪乱	砥石	仕上砥 /2 面使用 / 下部・左半を欠損し、左半は再整か	40	(146)	(34)	30	138.6	灰	砂岩	230567
293	11	B3-2 区	砥石	仕上砥 /1 面使用 /3 側面に鋸痕 / 裏面・下部欠損	40	144	54.5	30	292.2	浅黄	粘板岩	230924
293	12	B2-1 区 0~1 面	砥石	仕上砥 /1 面使用 /3 側面は鋸切断ののち平滑に整形か / 裏面・下部欠損	30	(11)	33	(10)	51.2	にぶい橙	粘板岩	230569
294	1	B2-1 区 1~2 面	砥石	仕上砥 /1 面使用 /4 側面に鋸痕 / 表面下部に線刻文 / 裏面欠損	70	149	55	14	185.7	明黄褐	粘板岩	230571
294	2	B2-3 区	砥石	仕上砥 /5 面使用 /3 側面に鋸痕 / 上・右側面は面取り / 下部欠損	50	(66)	75	30	200.2	にぶい橙	粘板岩	230430
294	3	B3-2 区	砥石	中砥 /3 面使用 / 裏面に櫛歯鏨痕 / 上・下部欠損	40	96	52	28	176.8	浅黄橙	凝灰岩	230925
294	4	B3-2 区 2~3 面	砥石	仕上砥 /4 面使用 / 上側面に鋸痕 / 裏面に手斧痕 / 下部は破損後に整形か	40	(75)	52	31	243.3	にぶい黄橙	流紋岩	230708
294	5	B3-2 区 2~3 面	砥石	仕上砥 /2 面使用 / 裏面に細い溝状の使用痕 /3 側面に鋸痕 / 下部欠損	40	60	48	15	72.6	灰黄褐	粘板岩	230710
294	6	B2-3 区 3~4 面	砥石	中砥 / 4 面使用 / 下部は欠損後整形・使用か / 裏面欠損	60	(92)	47	19	133.9	灰	ホルンフェルス	230425
294	7	B1-1 区 4~5 面	砥石	中砥 /1 面使用 / 裏面・上・左右側面に鋸痕 / 上・左側面は鋸切断ののち打ち割り / 表面は研ぎ減りによる湾曲顕著	40	(164)	36	25	186.9	浅黄橙	流紋岩	230907
294	8	B2-1 区 B2~3 面	砥石	中砥 / 5 面使用 / 破損後の整形による砥石か	10	(51)	29	25	53.4	浅黄橙	流紋岩	230336
294	9	C1 区 基礎 5 号	砥石	中砥 / 幅 1.5 ～ 10㎜の溝複数あり / 棒状の対象物に使用か	100 か	46	41	23	41.1	淡赤橙	流紋岩	231196
294	10	C1 区 2~3 面	砥石	仕上砥 /1 面使用 /3 側面鋸痕・面取り / 下部・裏面欠損	70	151	48	12	117.5	灰黄	粘板岩	231188
294	11	B1-1 区 2~3 面	硯	硯丘から落潮に節理による段差 / 硯背覆手内にキズ状の縦位線刻	90	121	44	14	115.5	暗灰	粘板岩	230908
294	12	B1-3 区 0~1 面	硯	硯首欠損 / 硯丘中央にわずかな窪み / 硯背に覆手あり	70	(124)	61	23	277.3	オリーブ黒	粘板岩	230565
294	13	B1-3 区 2~3 面	硯	硯尻部の側縁は欠損後に再調整	90	152	60	21	317.1	にぶい黄	粘板岩	230008
294	14	B1-4 区 3~5 面	硯	硯首欠損 / 硯尻右側は欠損後に再整形か / 硯丘中央に窪み	40	(95)	62	(18)	156.7	暗灰	粘板岩	230452
295	1	B2-3 区 1~2 面	硯	硯丘中央に窪み・キズ状の横位線刻 / 硯背に刻書「松下」「金」ほか不詳 / 右硯側に刻書「九百八十九文ニ而かったる高嶋石也」/ 左硯側に刻書「■硯石」	90	170	63	20	316.0	オリーブ黄	粘板岩	230576
295	2	B2-1 区 0~1 面	硯	硯背に刻書「中沢」/ 右硯側に刻書「古市」	90	148	60	15	442.6	黒	粘板岩	230568
295	3	B2-3 区	硯	硯丘中央にわずかな窪み・キズ状の縦位線刻 / 硯背覆手内に刻書「■高嶋虎班石」	90	169	62	18	304.2	灰オリーブ	粘板岩	230575
295	4	C2-6 区 2~3 面	硯	硯丘改刻し硯池を作出 / 硯丘にキズ状の横位線刻 / 硯背覆手あり	80	153	62	22	345.4	黒	粘板岩	231264
295	5	B2-1 区 攪乱	硯	小形	100	56	28	7	22.6	黒	粘板岩	230572
295	6	B2-1 区 1~2 面	垢擦り	上部欠損 / 片面中央に窪みあり	90	(61)	60	30	27.7	浅黄橙	軽石	230574
295	7	B1-1 区 攪乱	石筆	棒状に加工 / 下端に使用痕	100	(73)	6	6	4.8	灰白	滑石	230928
295	8	B1-3 区 攪乱	石臼	粉碾臼 / 下臼 / 目 6 分画	90	260	—	126	13200.0	浅黄橙	安山岩	230444

（7）金属製品

金属製品は、銭貨を除く真鍮、銅、鉄、鉛を素材とする製品を一括した。煙管と煙管以外の金属製品に分け、それぞれの特徴を記す。なお、大半が近世の所産と考えられるが、一部は近代以降に比定されるものも含む。

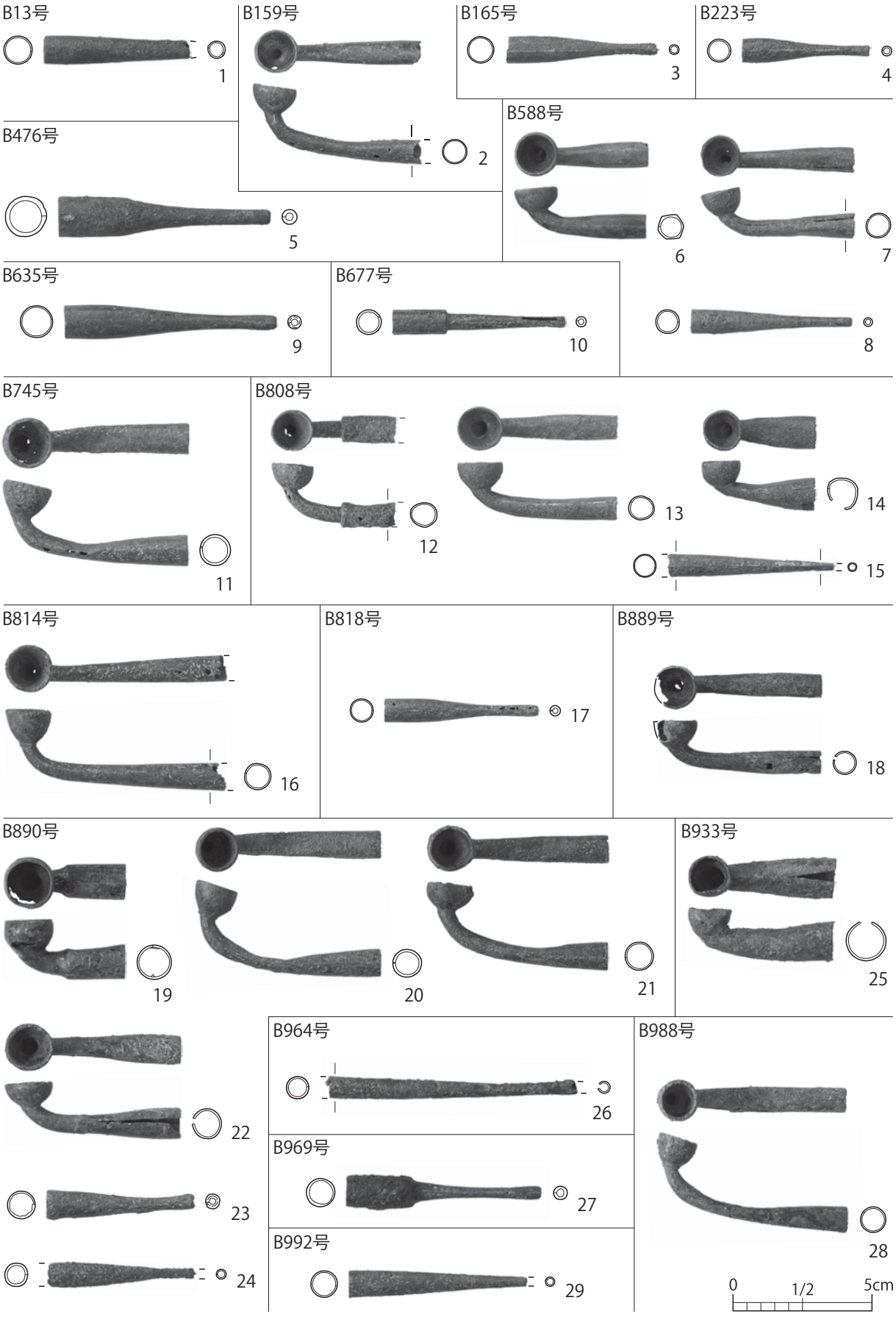
A　煙管（第 296 ～ 299 図、第 96・97 表）

金属製品の中でも一定の割合を占める煙管は、B・C 区の各遺構から満遍なく出土している。素材はすべて真鍮製で、とりわけ雁首の形態に複数のバリエーションが認められる。以下では第 296 図～ 299 図に図示した煙管のうち、雁首を中心に特徴的なものについて概要を記す。

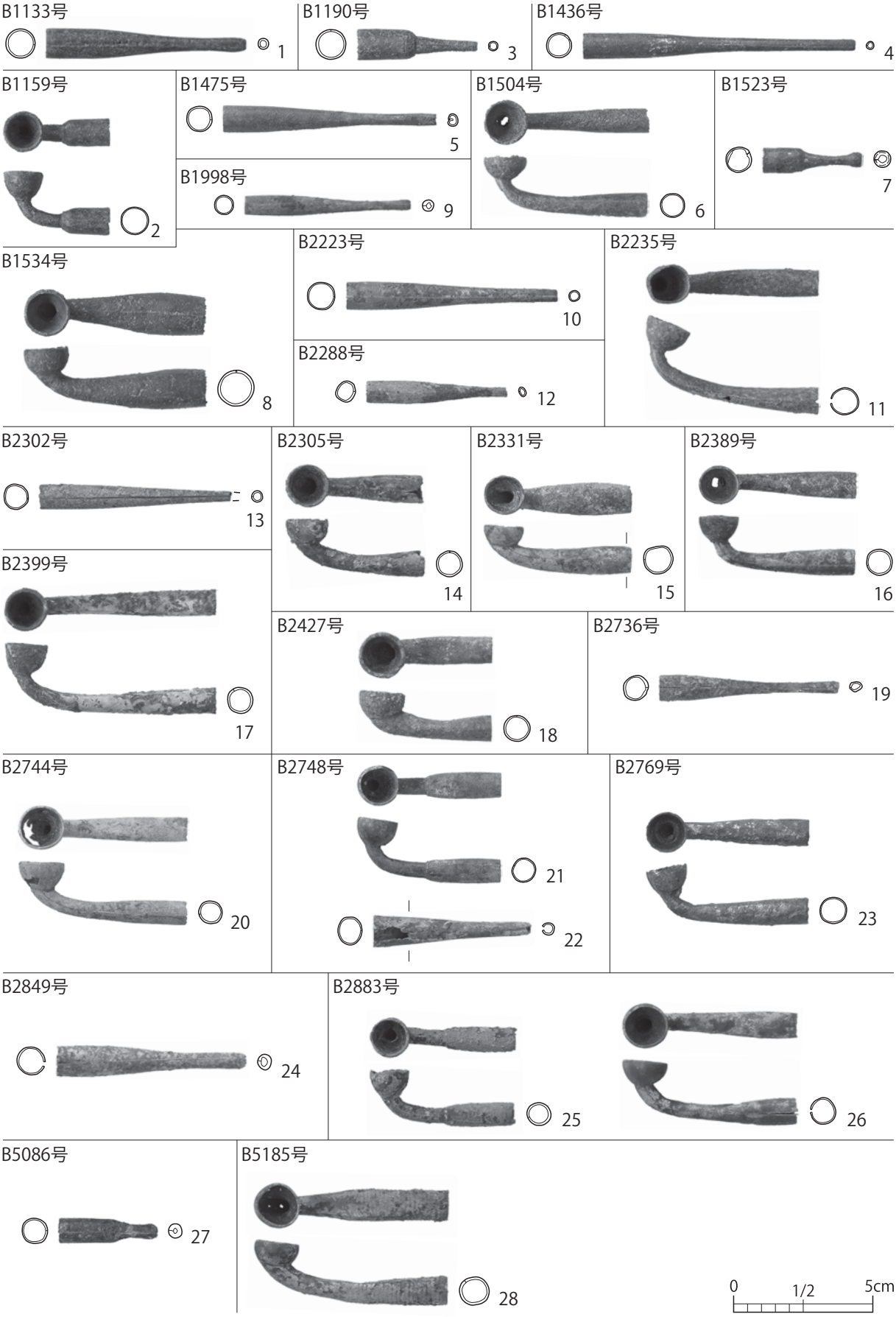
第 296 図 2 は B159 号出土の雁首で、首は河骨形を呈する。5 は B635 号出土の吸口で、肩部がやや角を有する。6・7 は B588 号出土の雁首で、6 は断面が六角形、7 は首がやや河骨形を呈する。10 は B677 号出土の吸口で、肩部に段が作出される。11 は B745 号出土の雁首で、首は河骨形を呈し、首の根元が扁平に凹んでいる。B808 号出土の雁首のうち、12 は肩を有し、首は河骨形である。一方で 14 は、直線的は首が火皿に取り付く形態となる。16 は B814 号出土の雁首で、首は河骨形、火皿との境には補強帯がみられる。19 ～ 22 は B890 号出土の雁首で、19 は寸胴で肩を有し、首は直線的である。これに対し 20・21 は、長細く河骨形の首が小形の火皿に取り付く。20 には補強帯も残存する。27 は B969 号出土の吸口で、先端は細く、中位に肩を有する。28 は B988 号出土の雁首で、首は河骨形、火皿との境には比較的厚みのある補強帯が観察される。

第 297 図 2 は B1159 号出土の雁首で、肩部を有し、首は河骨形、火皿との境に補強帯がみられる。3 は B1190 号出土の吸口で、やや丸みを帯びた肩を有する。B1504 号出土の雁首である 6 は、首がやや河骨形に屈曲しており、B2235 号出土の 11 も同様である。7 は B1523 号出土の吸口で、肩部に縞状の線刻が施される。15 は B2331 号出土の雁首で、直線的で太い首に火皿が取り付く。17 は B2399 号出土の雁首で、河骨形の首に、補強帯も付属する。21 の雁首は B2748 号出土で、肩部は丸みを帯び、首は河骨形を呈する。B2883 号出土の 25 も類似した形態である。28 は B5185 号出土の雁首で、首には横縞状の線刻があり、小型の火皿に直線的に取り付く。

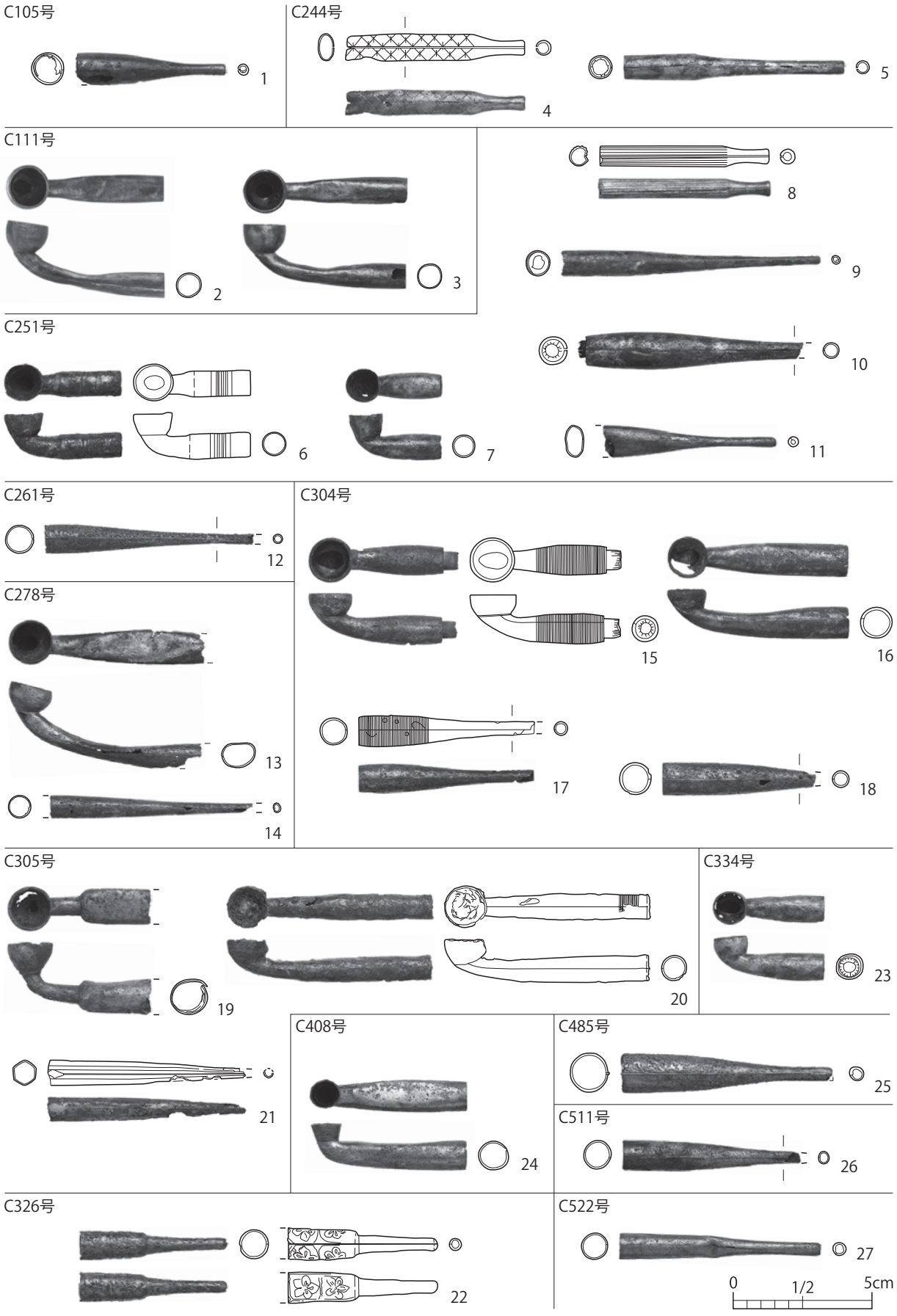
第 298 図 4 は C244 号出土の吸口で、先端部付近に緩やかな肩を有し、格子目状の線刻文様が施される。C251 号出土の 8 も類似した形態で、縦縞状の線刻を有する。同遺構出土の 6 は雁首で、若干肩を有し、横縞状の線刻が施される。15 は C304 号出土の雁首で、細かな横縞状の線刻を有し、同様の文様をもつ同遺構 17 の吸口とはセットの可能性があろう。21 は C305 号出土の吸口で、断面は六角形を呈する。22 は C326 号出土の吸口で、丸みを帯びた肩を有し、花弁状の装飾が施される。第 299 図 1 は C536 号出土の雁首で、火皿は欠損するものの、首に草花状の文様が観察される。同遺構出土の吸口である 2 は根元が折り曲げられているが、出土した煙管の中ではこのタイプの変形例は稀であった。遺構外出土の雁首である 11 は、河骨形の首で、火皿との境には補強帯が明瞭に残る。他方 14・15 などは、直線的で太い首に比較的小ぶりの火皿が取り付いている。



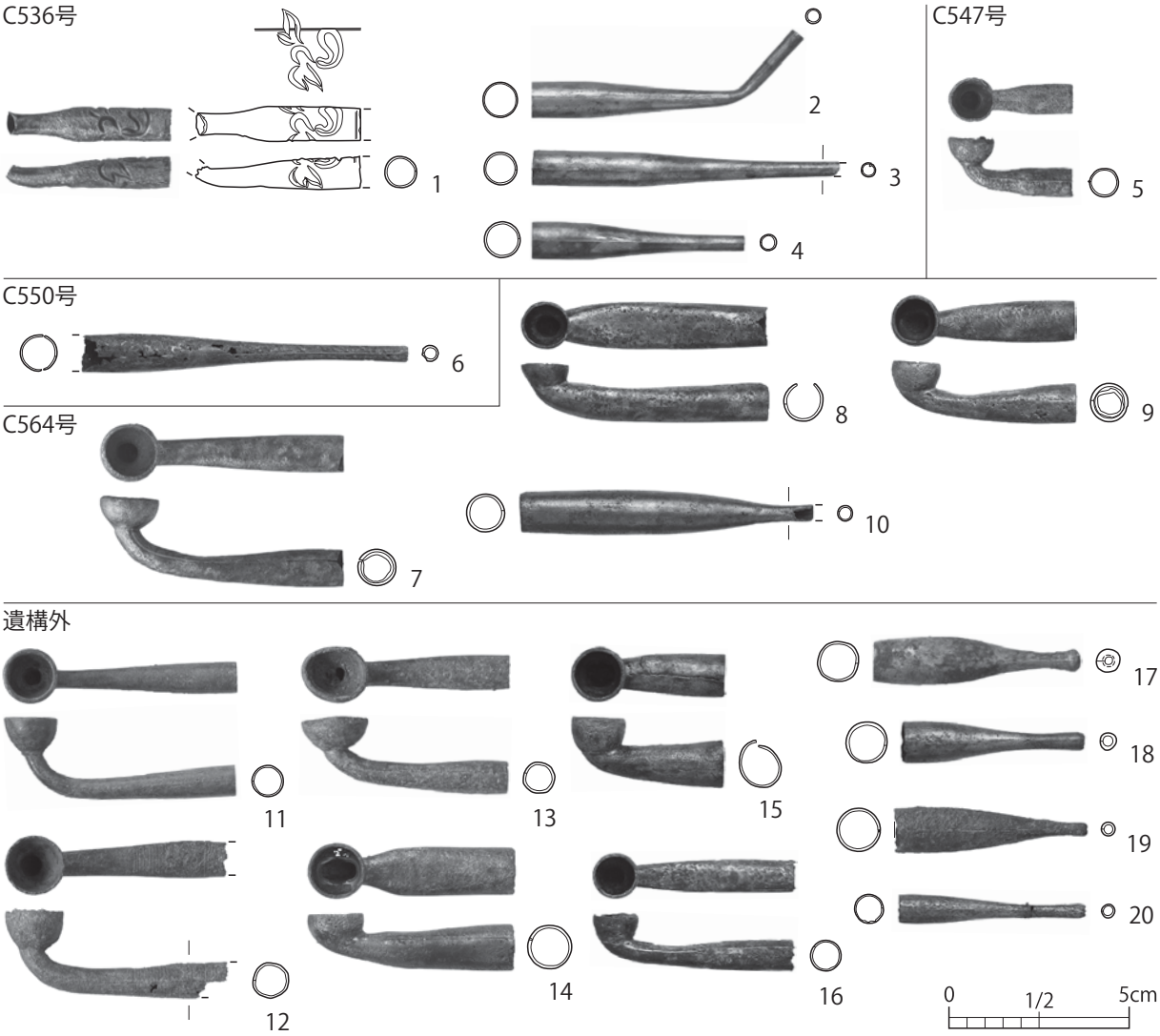
第 296 図　金属製品（煙管）（1）（1/2）



第 297 図　金属製品（煙管）（2）（1/2）



第 298 図　金属製品（煙管）（3）（1/2）



第 299 図　金属製品（煙管）（4）（1/2）

第 96 表　金属製品（煙管）観察表（1）

掲載番号		出土地点	部位	材質	残存率 (%)	法量 (mm)				重量 (g)	特徴	整理番号
挿図	番号					長さ	幅	厚み	火皿径			
296	1	B13 号	吸口	真鍮	100	〔53〕	10	6	—	5.9	羅宇あり	B25491
296	2	B159 号	雁首	真鍮	95	〔59〕	9.5	9.5	15.5	5.3	河骨形	B25494
296	3	B165 号	吸口	真鍮	100	55	9.5	3	—	3.8		B25496
296	4	B223 号	雁首	真鍮	100	46	8	3	—	2.7	羅宇あり	B25497
296	5	B476 号	吸口	真鍮	100	76.5	15	5.5	—	13	断面六角形 / やや肩あり / 羅宇あり	B25504
296	6	B588 号	雁首	真鍮	100	46.9	9.5	9.8	16	6.8	断面六角形 / やや河骨形	B25506
296	7	B588 号	雁首	真鍮	100	55	9	9	14.5	5.5	やや河骨形	B25505
296	8	B588 号	吸口	真鍮	100	58	8.5	3	—	2.6		B25508
296	9	B635 号	吸口	真鍮	100	76	11.5	5	—	7.3	羅宇あり	B25510
296	10	B677 号	吸口	真鍮	100	62	9	3.5	—	6.6	肩あり	B25511
296	11	B745 号	雁首	真鍮	100	67.1	11.2	11.2	17.5	8.4	河骨形	B25512
296	12	B808 号	雁首	真鍮	100	〔45〕	9	10	15	5.5	河骨形 / 肩あり	B25558
296	13	B808 号	雁首	真鍮	100	57.5	8.5	9.5	16	5.8	やや河骨形	B25559
296	14	B808 号	雁首	真鍮	95	40	11.6	11.4	14	5.2		B25560
296	15	B808 号	吸口	真鍮	95	〔60〕	8	3	—	3.5		B25557
296	16	B814 号	雁首	真鍮	95	〔78.5〕	10	10	17	8.1	やや河骨形 / 補強帯あり	B25517
296	17	B818 号	吸口	真鍮	100	56	8	3	—	2.8		B25518
296	18	B889 号	雁首	真鍮	100	〔59.3〕	8.4	8	16	3.7	やや河骨形	B25519
296	19	B890 号	雁首	真鍮	100	44	12.5	12.5	17	8	やや河骨形 / 肩あり / 羅宇一部あり	B25520
296	20	B890 号	雁首	真鍮	100	66	10.2	10	15.3	8.9	河骨形 / 補強帯・羅宇あり	B25524
296	21	B890 号	雁首	真鍮	100	65.4	10	10	15.5	8.9	河骨形	B25521
296	22	B890 号	雁首	真鍮	95	63	11	10.8	17	8.5	やや河骨形	B25526
296	23	B890 号	吸口	真鍮	100	53	10	5.5	—	4.8		B25522
296	24	B890 号	吸口	真鍮	100	〔54〕	8	4	—	4.3	羅宇あり	B25523
296	25	B933 号	雁首	真鍮	100	53	14.2	14.4	15.5	8.8	羅宇あり	B25529
296	26	B964 号	吸口	真鍮	100	〔90〕	0.8	0.45	—	8.7		B25530
296	27	B969 号	吸口	真鍮	100	70.4	10.2	4.5	—	8.7	肩あり	B25658
296	28	B988 号	雁首	真鍮	100	68	9.5	9	14	7.8	河骨形 / 補強帯あり	B25532
296	29	B992 号	吸口	真鍮	100	〔63〕	9.5	0.3	—	4.5		B25533
297	1	B1133 号	吸口	真鍮	100	72	10.5	4	—	6.7	羅宇あり	B25535
297	2	B1159 号	雁首	真鍮	100	38.4	10	10	14	5.9	河骨形 / 肩・補強帯あり / 羅宇一部あり	B25537
297	3	B1190 号	吸口	真鍮	100	43.5	10.8	3.5	—	4.5	肩あり	B25539
297	4	B1436 号	吸口	真鍮	100	97	9	3	—	10.1		B25547
297	5	B1475 号	吸口	真鍮	100	76	9	4	—	5.7		B25549
297	6	B1504 号	雁首	真鍮	95	59	9	9	16	6.2	河骨形	B25550
297	7	B1523 号	吸口	真鍮	100	36	9	6	—	2.1	肩あり / 羅宇一部あり / 横縞文様	B25551
297	8	B1534 号	雁首	真鍮	100	65	13	13.5	16	13.1	羅宇あり	B25553
297	9	B1998 号	吸口	真鍮	100	59.5	11	6.5	—	4.6		B25581
297	10	B2223 号	吸口	真鍮	100	76	10	4	—	7.1		B25555
297	11	B2235 号	雁首	真鍮	100	58.8	10	9.5	16	6.4	河骨形	B25556
297	12	B2288 号	吸口	真鍮	100	50	8	4	—	3.2		B25571
297	13	B2302 号	吸口	真鍮	100	〔69〕	9	4	—	6.9		B25563
297	14	B2305 号	雁首	真鍮	95	49	9.5	10	15	6.9		B25564
297	15	B2331 号	雁首	真鍮	100	53	10	9.5	14	7.5	羅宇あり	B25565
297	16	B2389 号	雁首	真鍮	100	56	9.5	9.5	14	8.5	やや河骨形	B25566
297	17	B2399 号	雁首	真鍮	100	76	9.5	9.5	15	9.7	河骨形 / 補強帯あり	B25567
297	18	B2427 号	雁首	真鍮	100	48.3	9.5	9.5	16	9.2		B25568
297	19	B2736 号	雁首	真鍮	95	64	9	4	—	4.8	やや河骨形	B25570
297	20	B2744 号	吸口	真鍮	100	60	8.3	8.6	16	7.1		B25572
297	21	B2748 号	雁首	真鍮	100	51	8.5	9	14	7.8	河骨形 / 肩あり	B25573
297	22	B2748 号	吸口	真鍮	100	57	10	4	—	3.9		B25574
297	23	B2769 号	雁首	真鍮	95	58	10	9.5	14.4	8.1	やや河骨形	B25575
297	24	B2849 号	吸口	真鍮	100	68.5	10	6	—	5.3	羅宇あり	B25576
297	25	B2883 号	雁首	真鍮	100	53	8.3	9	14	7.4	河骨形 / 肩あり	B25578
297	26	B2883 号	雁首	真鍮	100	62	10	9	16.5	7.8	河骨形	B25579
297	27	B5086 号	吸口	真鍮	100	35.5	9	5	—	2	肩・羅宇あり / 湾曲	B25583
297	28	B5185 号	雁首	真鍮	100	69	10.5	11	15.5	9.9	河骨形 / 羅宇一部あり	B25586
298	1	C105 号	吸口	真鍮	100	54.5	11.5	4	—	5.6	羅宇あり	C25094
298	2	C111 号	雁首	真鍮	100	57	9	9	15	7.4	やや河骨形 / 凹み	C25095
298	3	C111 号	雁首	真鍮	100	58.9	9	9	15	7.2	やや河骨形 / 凹み	C25096
298	4	C244 号	吸口	真鍮	100	64.5	10	5.2	—	5	やや肩あり / 格子目文様 / 潰れ	C25099
298	5	C244 号	吸口	真鍮	100	79.5	8.5	4.7	—	9	肩・羅宇あり	C25100

第 97 表　金属製品（煙管）観察表（2）

掲載番号		出土地点	部位	材質	残存率 (%)	法量 (mm)				重量 (g)	特徴	整理番号
挿図	番号					長さ	幅	厚み	火皿径			
298	6	C251 号	雁首	真鍮	100	42.5	9	9	14	6.6	肩あり / 横縞文様	C25124
298	7	C251 号	雁首	真鍮	95	34	8.2	8	12.5	4.7		C25127
298	8	C250 号	吸口	真鍮	100	61	7	5.5	—	7	肩・羅宇あり / 縦縞文様	C25102
298	9	C251 号	吸口	真鍮	95	93.6	9.3	3.2	—	6.9		C25128
298	10	C251 号	吸口	真鍮	95	〔78〕	10	5.5	—	13.2	羅宇あり	C25125
298	11	C251 号	吸口	真鍮	90	〔62.5〕	11.5	3.7	—	3.9	潰れ	C25126
298	12	C261 号	吸口	真鍮	95	〔75〕	10	3.5	—	6.9	横縞文様	C25103
298	13	C278 号	雁首	真鍮	100	〔70.8〕	9	12	15	8.3	河骨形 / 羅宇一部あり / 凹み	C25104
298	14	C278 号	吸口	真鍮	90	〔73〕	8.1	3.5	—	4.5		C25129
298	15	C304 号	雁首	真鍮	100	48.8	9.5	9.5	16	7.9	羅宇あり / 横縞文様	C25107
298	16	C304 号	雁首	真鍮	95	65	11.5	11.5	11.5	13	羅宇あり / 凹み	C25109
298	17	C304 号	吸口	真鍮	100	〔63〕	10	5	—	5.7	羅宇あり / 横縞文様	C25108
298	18	C304 号	吸口	真鍮	90	〔55〕	11.5	6.3	—	9.3	羅宇あり	C25110
298	19	C305 号	雁首	真鍮	90	〔53.2〕	13	13	16	7.9	河骨形 / 肩・補強帯・羅宇あり / 凹み	C25133
298	20	C305 号	雁首	真鍮	95	75.2	9	9	15.3	6.9	羅宇あり / 横縞文様	C25132
298	21	C305 号	吸口	真鍮	90	〔71〕	9	3.5	—	5.3	断面六角形	C25131
298	22	C326 号	吸口	真鍮	95	〔54〕	10.5	4.5	—	4.5	肩あり / 桜花文様	C25112
298	23	C334 号	雁首	真鍮	95	40	9.2	9.6	12	4.7	羅宇あり	C25135
298	24	C408 号	雁首	真鍮	100	56.7	10.5	10.5	11	9.9	凹み	C25136
298	25	C485 号	吸口	真鍮	95	76.5	14	5	—	9.9	羅宇あり	C25138
298	26	C511 号	吸口	真鍮	95	〔64〕	10	4.5	—	7.8	羅宇あり	C25140
298	27	C522 号	吸口	真鍮	100	72	9.5	4.7	—	5.2	曲げ	C25141
299	1	C536 号	雁首	真鍮	80	〔45.5〕	8.8	9	—	5.5	やや肩あり / 羅宇あり / 草花文様 / 火皿欠損	C25146
299	2	C536 号	吸口	真鍮	100	75.6	9.8	4.2	—	5.2	曲げ	C25144
299	3	C536 号	吸口	真鍮	95	〔81〕	9	3.7	—	6.5	羅宇あり	C25145
299	4	C536 号	吸口	真鍮	100	58	10	4.5	—	6.1	羅宇一部あり	C25142
299	5	C547 号	雁首	真鍮	95	34.2	8	8.1	—	3.8	やや肩あり / 羅宇あり	C25150
299	6	C550 号	吸口	真鍮	95	〔90〕	10	4.5	—	6.1		C25151
299	7	C564 号	雁首	真鍮	95	66.6	10	10.5	16.5	12.7	河骨形	C25154
299	8	C564 号	雁首	真鍮	95	69	10.5	11	13.5	13.7	羅宇あり / 凹み / 鍍金か	C25152
299	9	C564 号	雁首	真鍮	100	51	10.5	11	13	8.3	羅宇あり / 凹み	C25156
299	10	C564 号	吸口	真鍮	95	〔81〕	10.6	4.5	—	12.3	羅宇あり / 鍍金か	C25153
299	11	B1-1 区 トレンチ 2	吸口	真鍮	100	63.9	9	9	14.5	7.3	河骨形 / 補強帯・羅宇あり / 火皿縦縞文様	B25498
299	12	B1-3 区 3 面	雁首	真鍮	90	〔61.8〕	10.1	9.7	16.2	7.2	河骨形 / 補強帯あり / 羅宇一部あり / 横縞文様	B25543
299	13	B1-3 区 3 面	雁首	真鍮	100	57.8	9	9.1	18.8	5.4	やや河骨形 / 羅宇あり	B25544
299	14	B3-3 区 2 ～ 3 面	雁首	真鍮	100	57	13	12.5	16	10.8	羅宇あり	B25585
299	15	C1 区 2 ～ 3 面	雁首	真鍮	100	42.9	13.5	12	14.5	8.9	毛彫りによる意匠不明の文様	C25117
299	16	C1 区 1 ～ 4 面	雁首	真鍮	95	56.8	8.5	8.5	12.5	6.7		C25116
299	17	B2-3 区 0 ～ 1 面	吸口	真鍮	100	58	11	6.5	—	7.9		B25580
299	18	C1 区 基礎 21 号	吸口	真鍮	95	51	11.5	4.5	—	3.9		C25113
299	19	B1-3 区 2 ～ 3 面	吸口	真鍮	100	53	12	4	—	7.6	羅宇あり / 湾曲	B25541
299	20	C1 区 2 ～ 3 面	吸口	真鍮	100	51.5	8	3.5	—	2.6		C25120

B　その他の金属製品（第 300 ～ 310 図、第 98 ～ 103 表）

煙管以外の金属製品として、銅製品では、刀装具や調理具、文具に加え、引手金具や飾り金具といった建具が多く出土している。また鉄製品では、紙幅の都合から図示は大幅に割愛したが、和釘がとりわけ多量に出土している。以下では各遺構の出土金属製品について、特徴的なものを抽出して概要を記す。

第 300 図 1・2 は B146 号出土の目貫で、いずれも菱形を横に 3 つ連ねた意匠で、第 251 図 1 の刃物柄に密着して出土している。3 は B163・195 号出土の水滴で、平面は楕円形を呈する。豆腐形を呈する B367 号出土の水滴の 7 と構造は同一である。4 は B181 号出土の小柄で、巴文が 2 つ並ぶ。B449 号出土の 9 は中央に別部品をはめ込んだもので、小方儀の一部であろうか。10 は B531 号出土の薬匙で、断面板状で端部は曲線的に成形される。11 は B588 号出土の金製のしとどめで、周縁部は花弁状に装飾される。同遺構出土の 13 は箱物等の摘みと考えられ、中央には被熱により変形したガラス玉が残る。16 ～ 20 の B589・5086・2843 号出土遺物のうち、16 は切羽、18 は柄頭と考えられる。17・20 は掛け具等の吊り金具である。B657 号出土の 21、B686 号出土の 22 はいずれも鉄製の鎹で、断面は前者が方形、後者が円形を呈する。25 は B800 号出土の留め金具で、中央に菱形の装飾を有する。煙草入れの留金であろう。

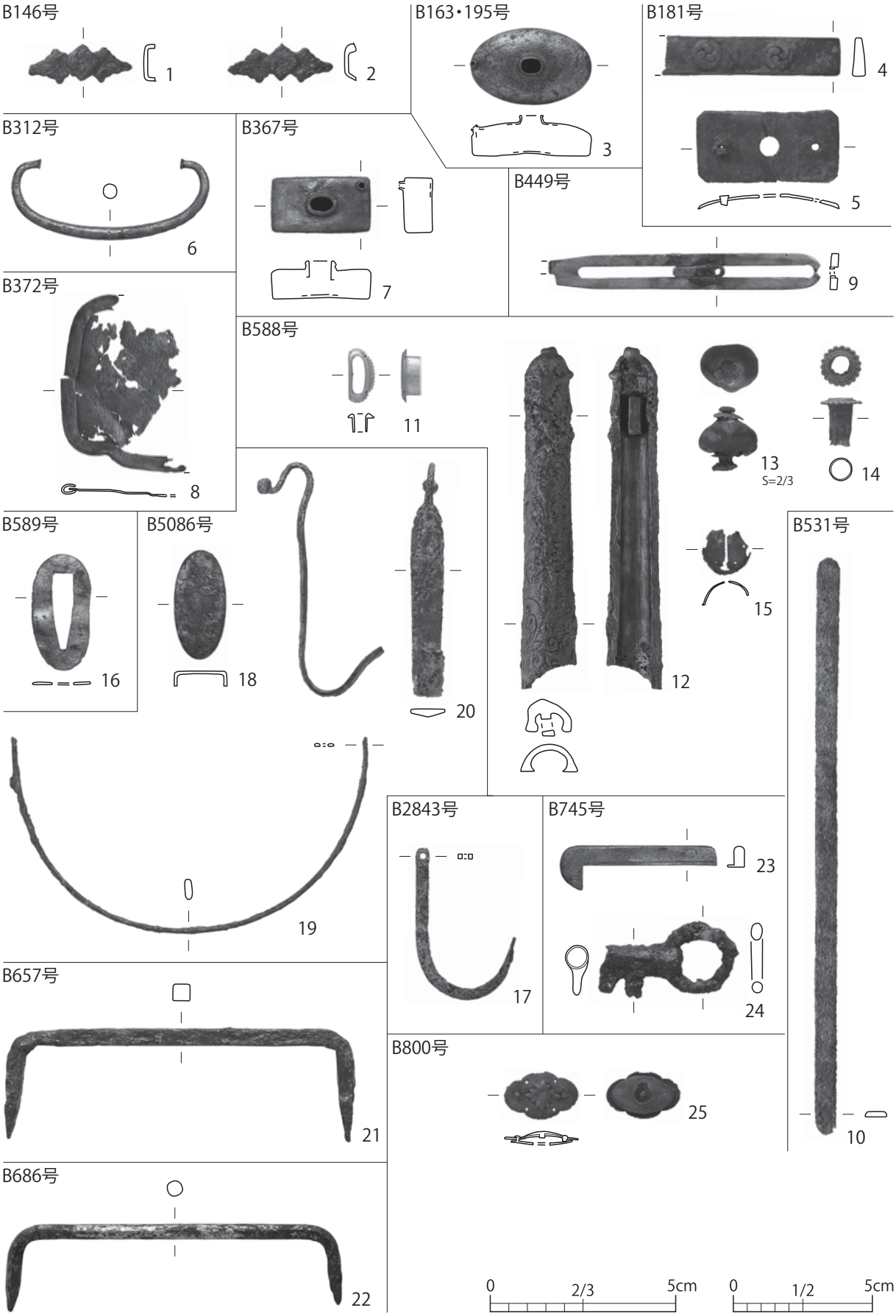
第 301 図 1 ～ 6 は B808 号出土で、1 の目貫は短刀と菱形の文様で、金装飾がなされる。2 は棒状の道具にはめ込んだ飾り金具と考えられ、毛彫りによる草花文・魚々子文がみられる。4 の灯芯押えは、先端が外側へ屈曲している。9 は B890 号出土の棒状を呈する不明銅製品で、先端に銅線により棒状の鉄製品が巻き付けられている。15 は B1445 号出土の錠前で、X 線透過画像により内部に残る鍵がはっきりと確認できる。20 は B1522 号出土の鏡で、鏡面は欠損している。21 は B1956 号出土音目貫で、花弁状の文様と金鍍金がみられる。B2204 号出土の 22 は鏃であろう。

第 302 図 1 は B2219 号出土の杓子先端部で、柄部は中実で、仏具の可能性がある。B2236 号出土の 4 は、平面が瓢箪形を呈し、上下端の側面に釘穴があり、襖に用いられる引手金具と考えられる。5 は B2288 号出土で、杓子の柄部である。B2305 号出土の 6 は卸金、B2380 号出土の 8 は化粧筆の持ち手部分であろう。12 は B2419 号出土の飾り金具で、毛彫りにより草花文が施される。B2748 号出土の 14 は細かな毛彫り文様がみられる蝶番である。19 は B2761 号出土の匙で、真鍮を素材とする。

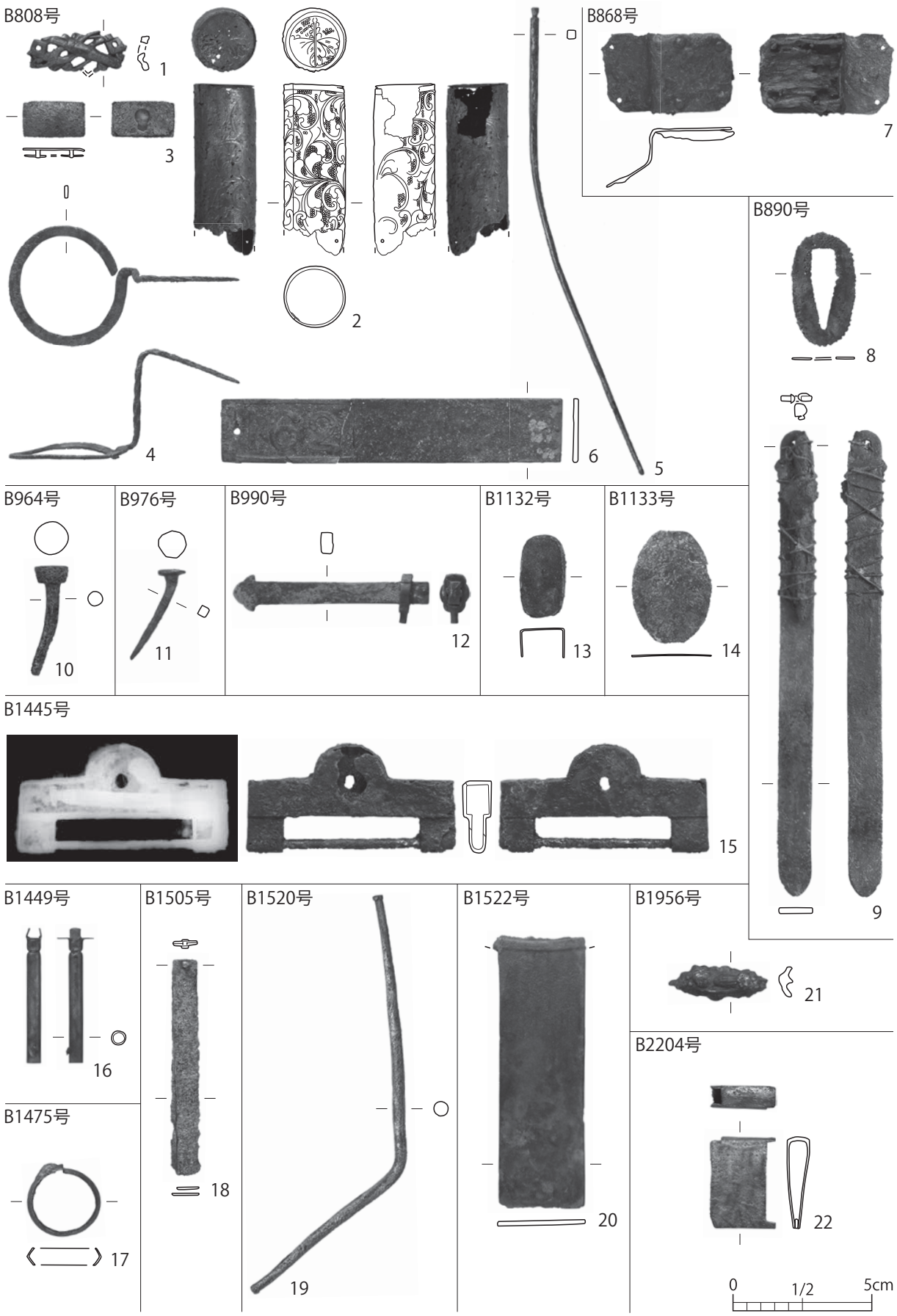
第 303 図 3 は B2777 号出土の化粧筆で、先端部には繊維が遺存している。7 は B2847 号出土の灰押えで、円形の先端部の外側には溝状の凹みが数条みられる。9 は B2849 号出土の小柄で、獅子と牡丹の文様が施される。B2883 号出土の 10 は灯明具とみられ、円筒状の部材に円板をはめ込んでいる。

第 304 図 1 ～ 5 は B2952 号出土の飾り金具で、いくつかの部位に分かれる。10 は B3025 号出土の耳盥で、中央に爪がある。同遺構出土の 12 は火箸、13 は先端を耳掻き譲渡する真鍮製の簪である。17 は B5082 号出土の薬缶注口部で、周縁部に釘穴が穿たれる。

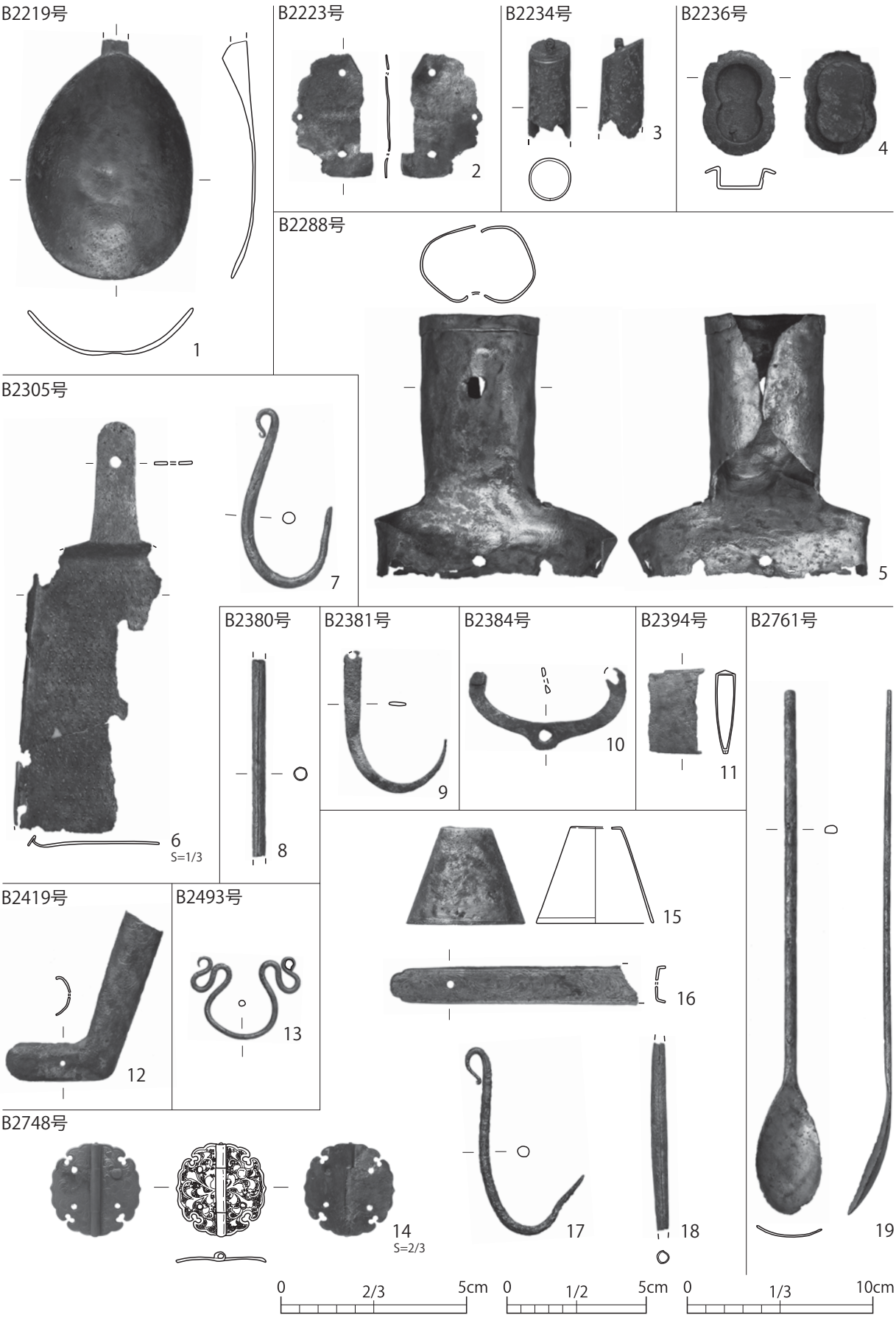
第 305 図 1 は C17 号出土の把手で、2 部材が連結している。C165 号出土の 4 は鉄製の手違鎹である。C244 号出土の 8 は杓子の柄と考えられ、端部が折り返され、縦軸中央に円形の押圧列が並ぶ。14 は C251 号出土の飾り金具で、中央に円孔があり、蔓草状に成形および毛彫りがなされる。同遺構出



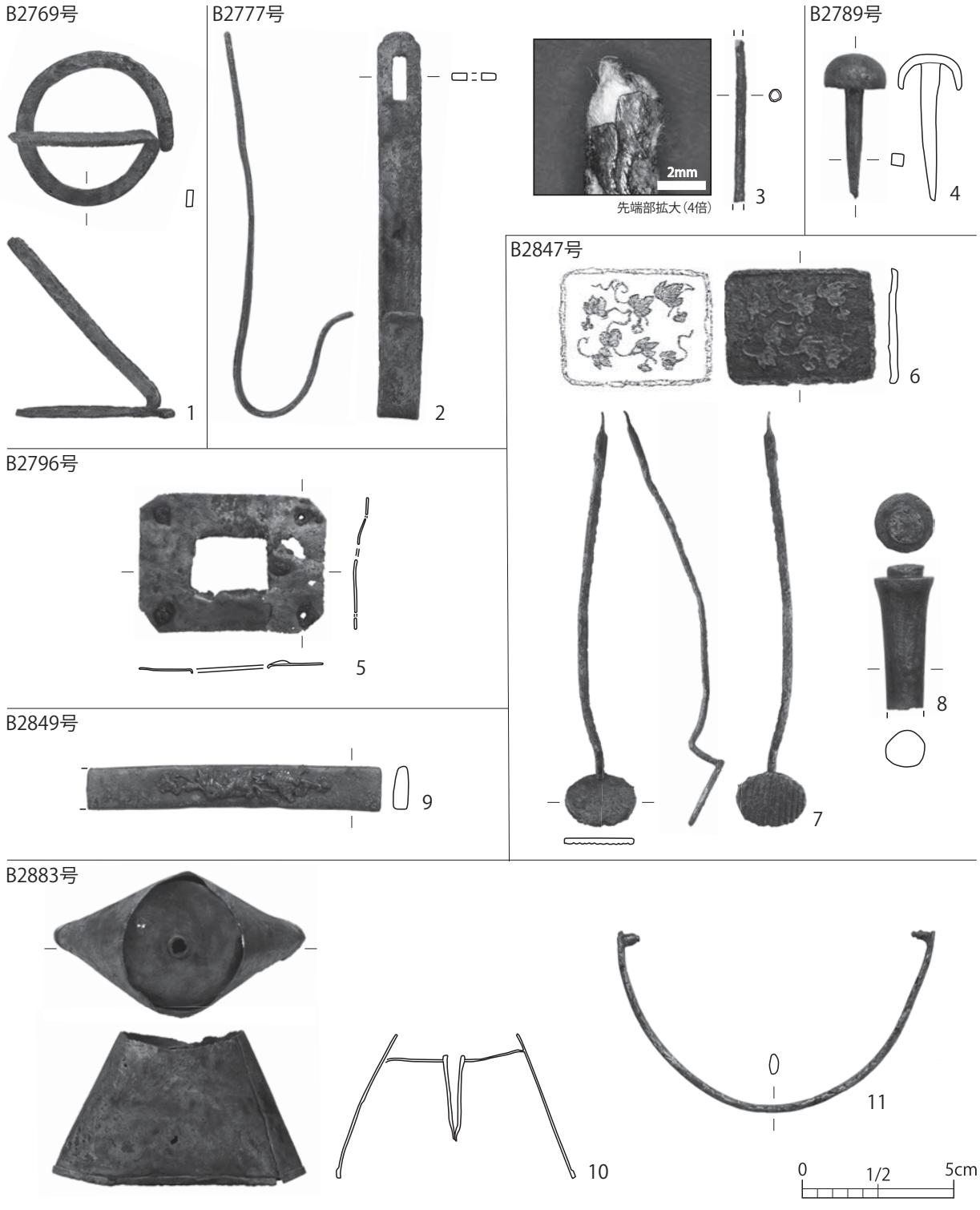
第 300 図　金属製品（その他）（1）（2/3・1/2）



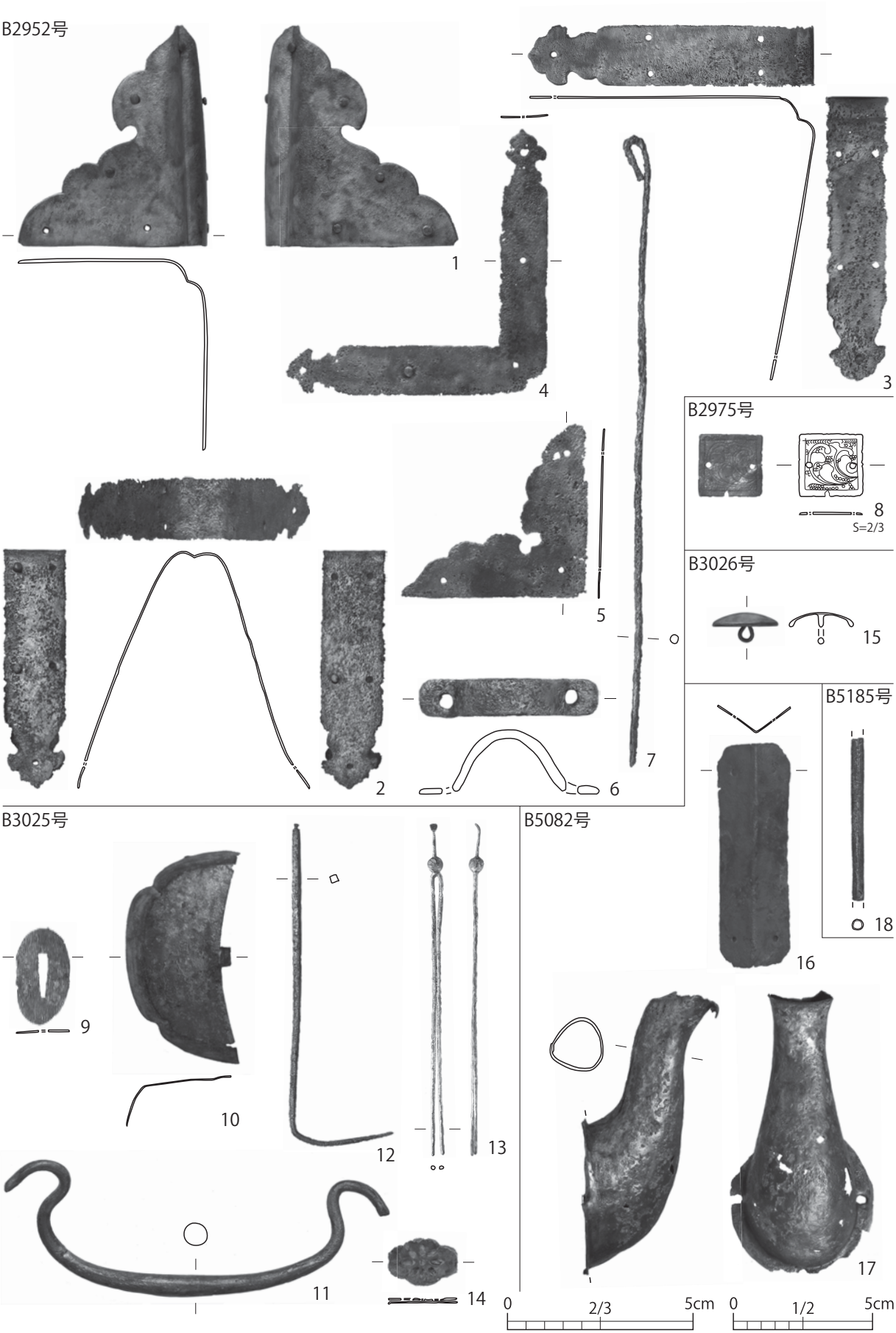
第 301 図　金属製品（その他）（2）（1/2）



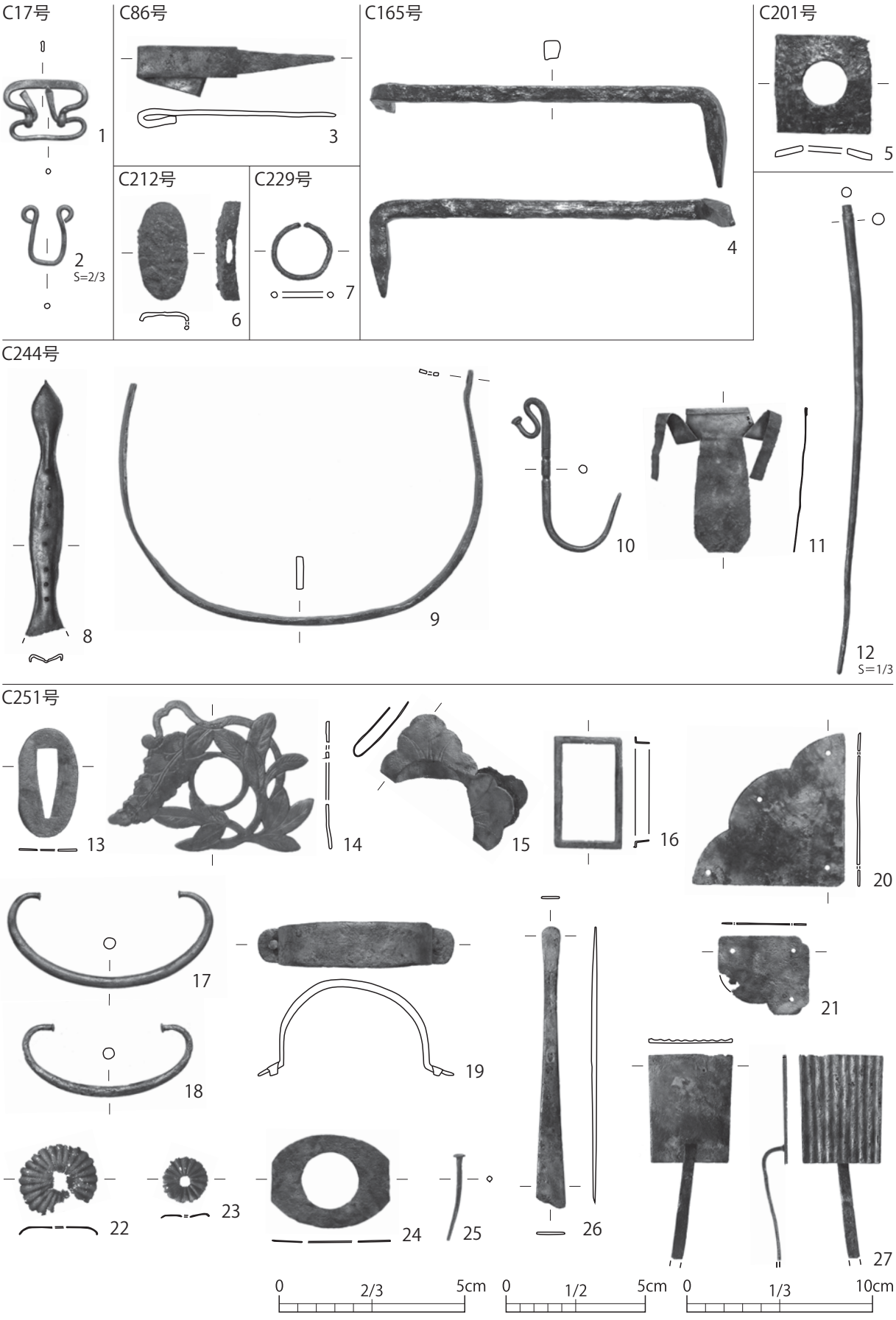
第 302 図　金属製品（その他）（3）（2/3・1/2・1/3）



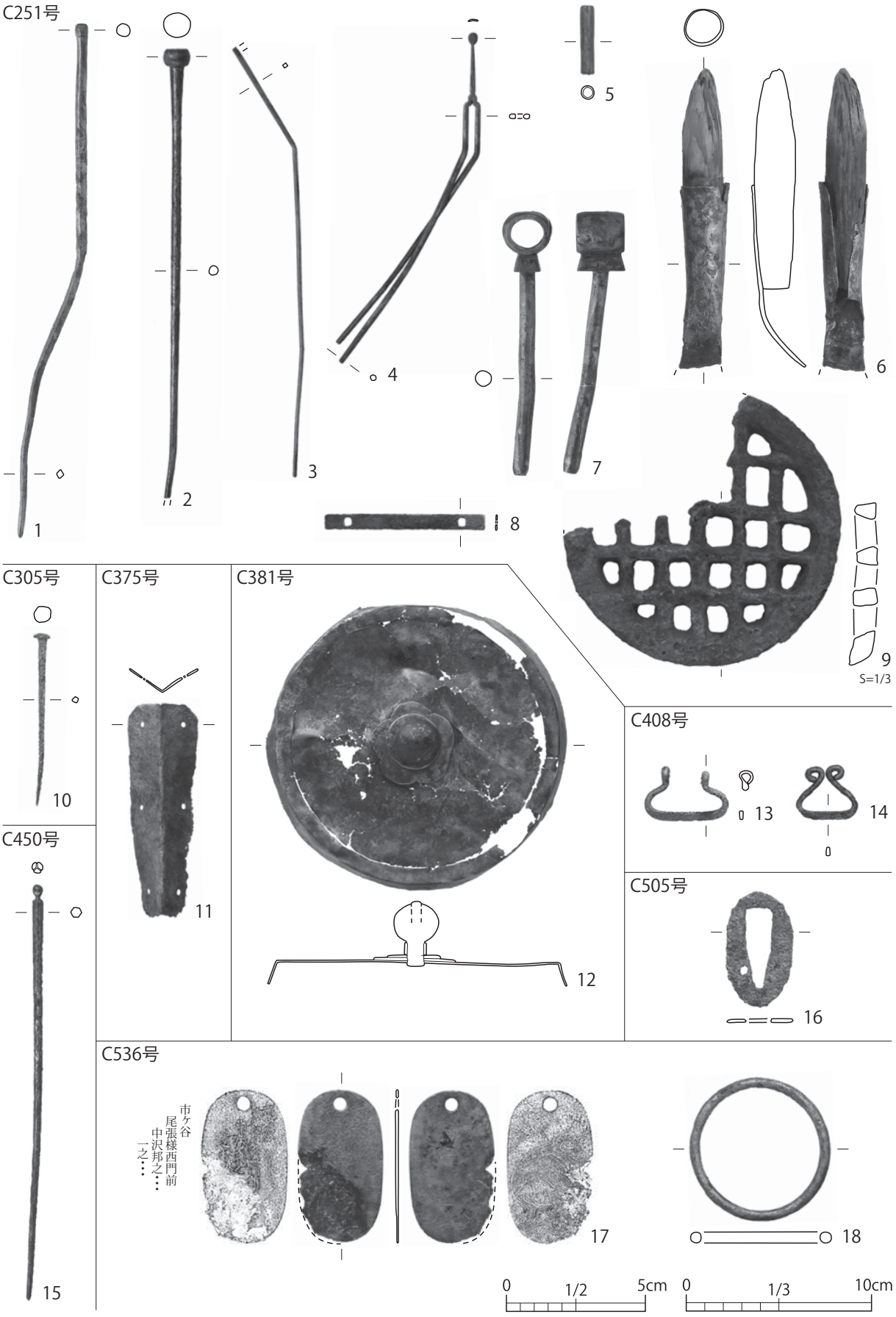
第 303 図　金属製品（その他）（4）（1/2）



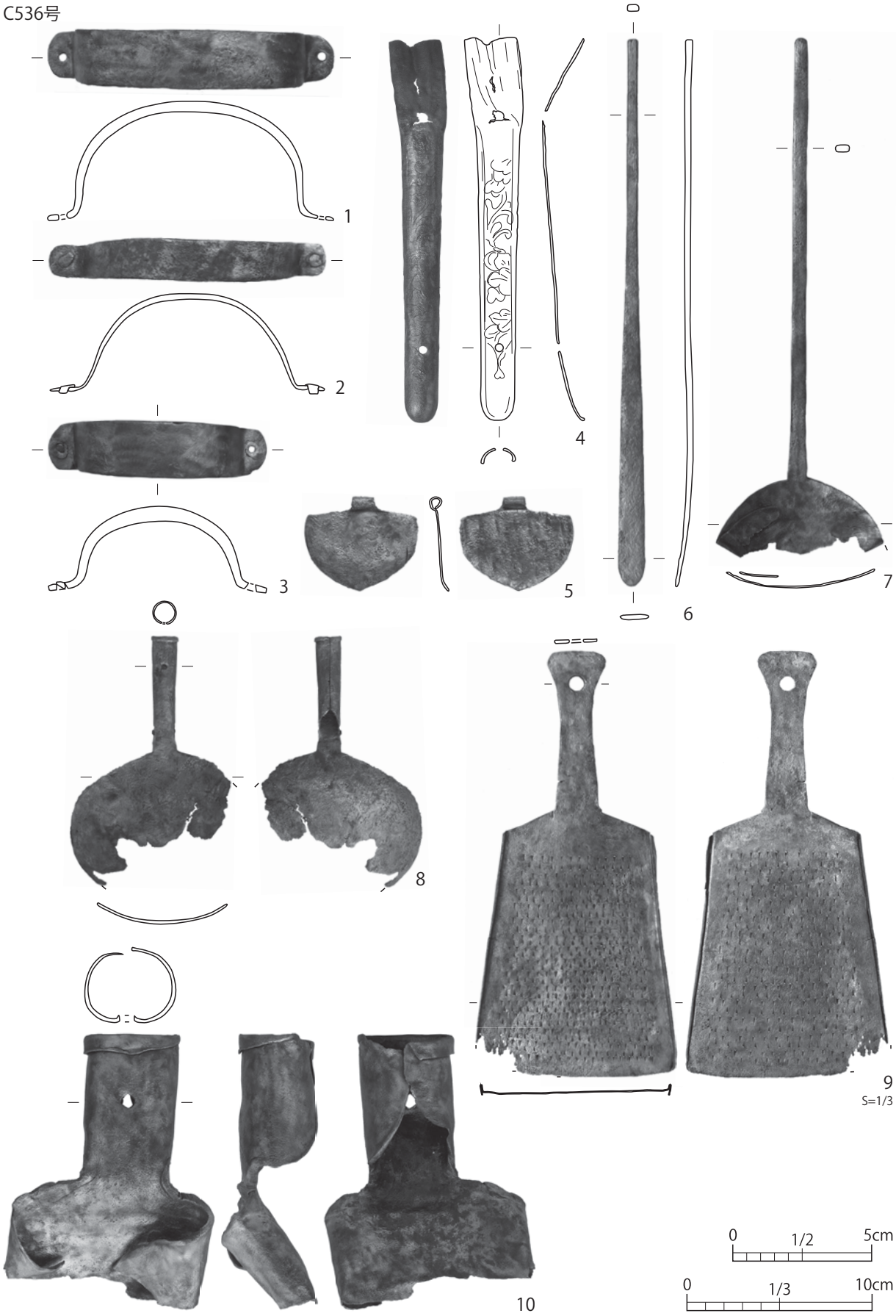
第 304 図　金属製品（その他）（5）（2/3・1/2）



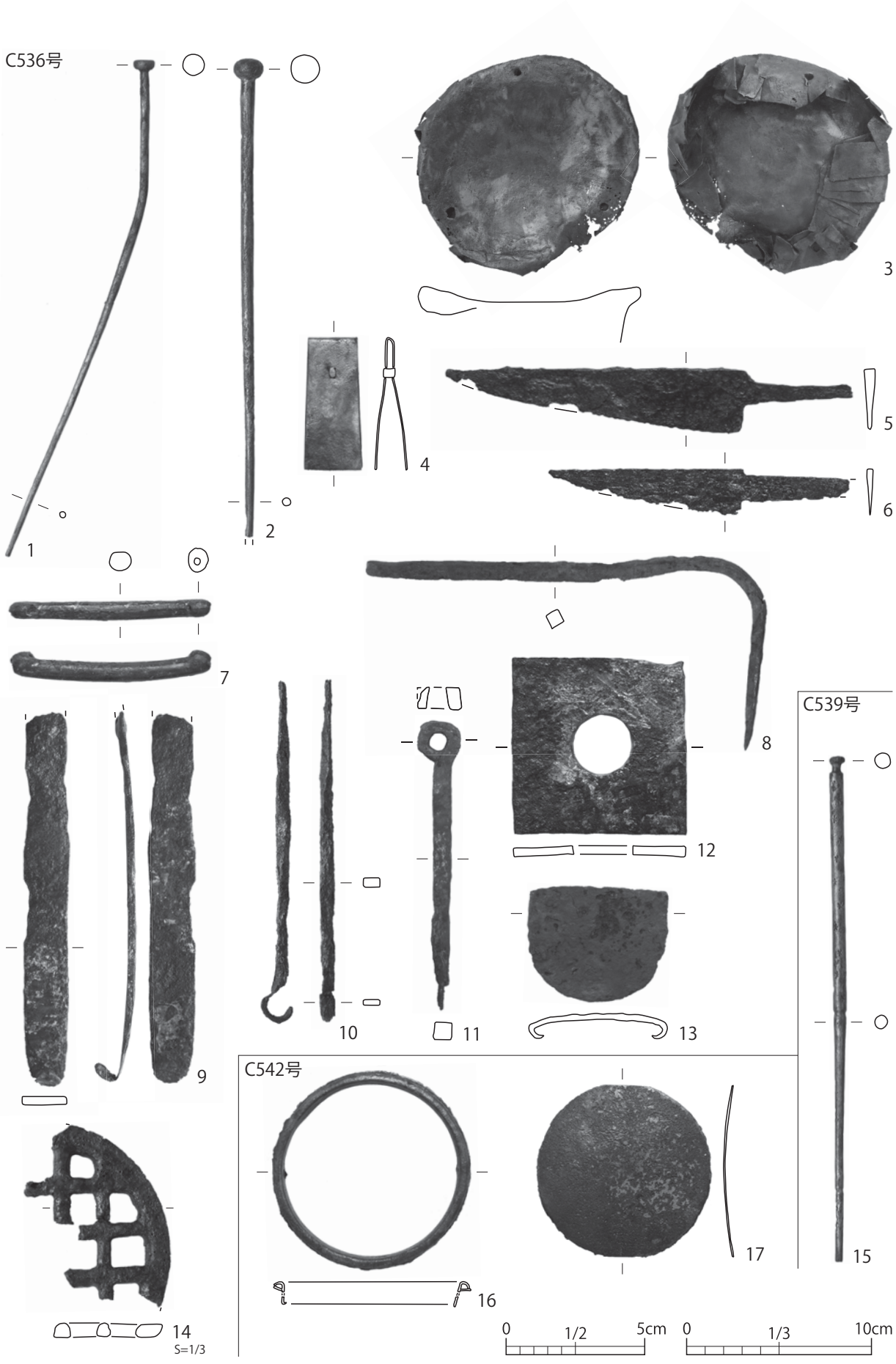
第 305 図　金属製品（その他）（6）（2/3・1/2・1/3）



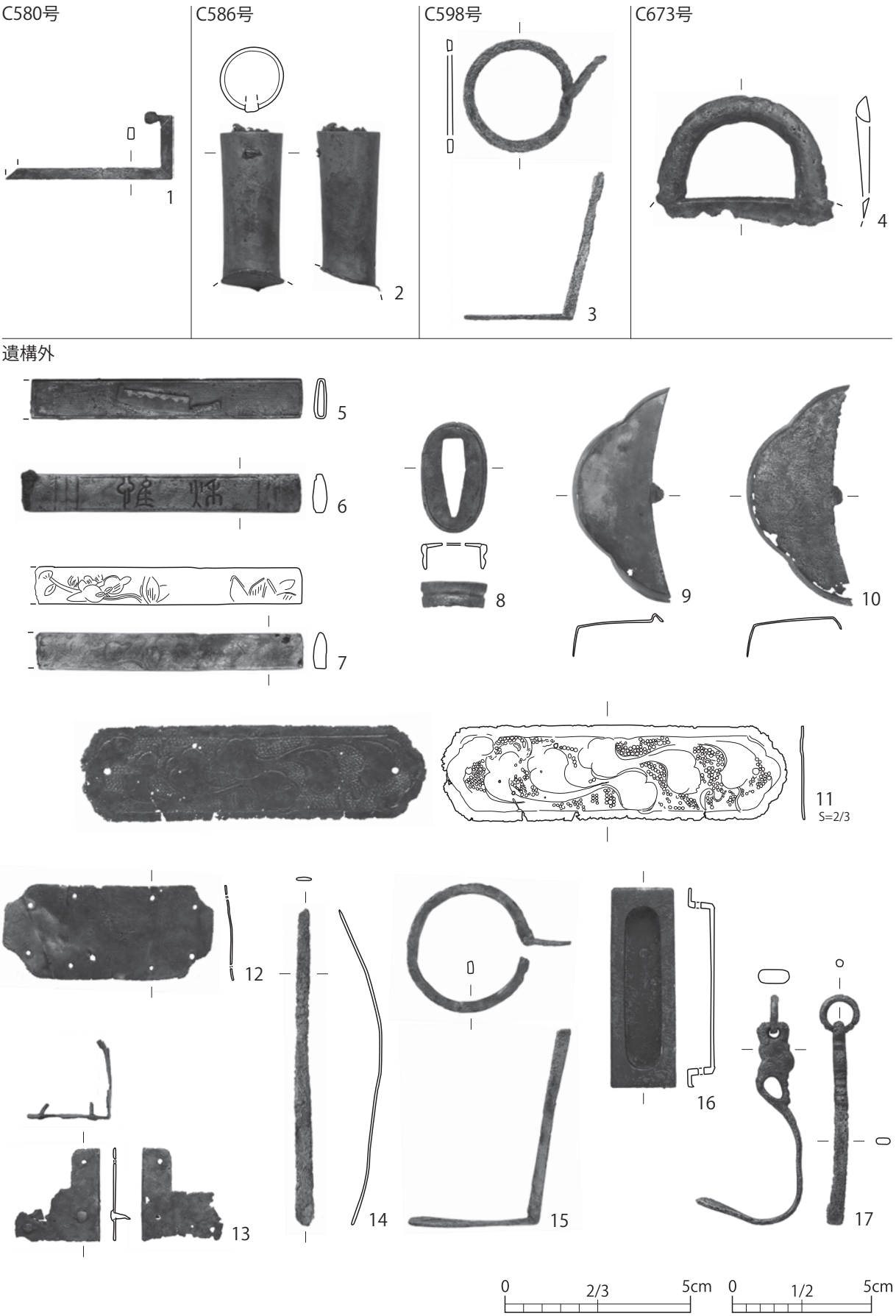
第 306 図　金属製品（その他）（7）（1/2・1/3）



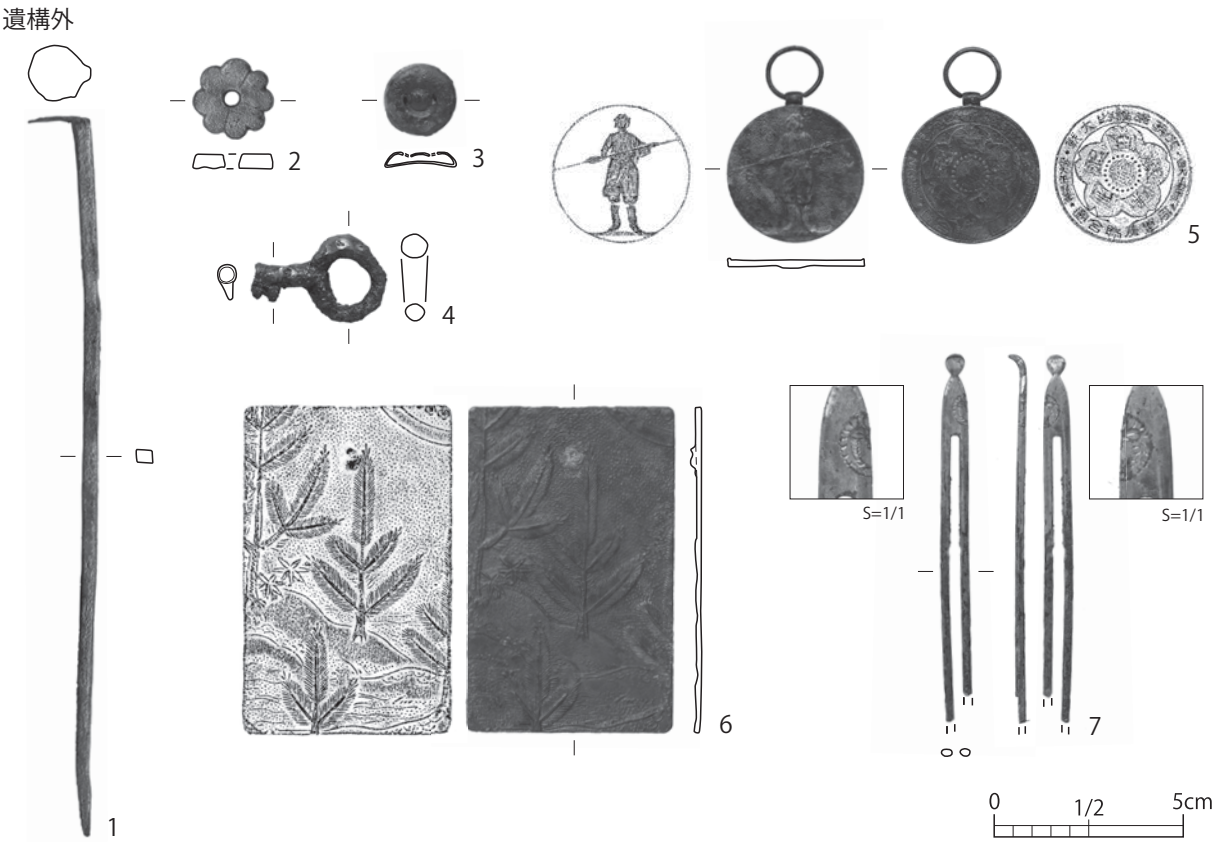
第 307 図　金属製品（その他）（8）（1/2・1/3）



第 308 図　金属製品（その他）（9）（1/2・1/3）



第 309 図　金属製品（その他）（10）（2/3・1/2）



第 310 図　金属製品（その他）（11）（1/2）

土の第 306 図 1・2 はいずれも火箸で、先端部の形状が異なる。4 は先端を耳掻き状とする簪である。9 は鉄製のサナで、4 分の一が欠損する。C381 号出土の 12 は蓋で、球状の摘みと板状の複数の部品を鋲留している。C536 号出土の 17 は迷子札で、表面には「市ヶ谷」「尾張様西門前」「中沢邦之■」「一之■」、裏面には毛彫りによる犬が観察される。第 307・308 図も C536 号出土で、第 307 図 1 ～ 3 の把手は両端の孔にリベットが残るものがある。6 は薬匙で、扁平な先端部がやや湾曲している。9 の卸金は遺存状況が良好で、表裏とも目立てが存在する。第 308 図 3 は側面を短冊状に切り込んだ銅板を素材とするもので、円形の部材に被せる金具と考えられる。5・6 は鉄製の刀子で、本調査地点では出土が稀である。7 は鉛製の錘で、両端部に孔があり、鋳型成形による合わせ痕が残る。

遺構外出土の金属製品のうち、第 309 図 5 ～ 7 は小柄で、5 は毛彫りによる魚々子文の上に鉈をモチーフとした据紋があり、鉈刃部には金鍍金がなされる。6 は毛彫りによる魚々子文の上に人名と考えられる「秋惟」の文字がある。8 は 2 つの部材を組み合わせた柄縁で、9・10 の耳盥は 9 を外側として密着して出土している。第 310 図 1 は瓦釘で、頭部は平たく折り曲げられる。5 は吊り下げ鐶を有するメダルで、外周に「文明擁護之大戦日 同盟及連合国 自大正三年至大正九年」、内周に「日」「米」「英」「佛」「伊」とある。第一次世界大戦の戦捷記章である。6 は平面方形の懐中鏡で、背面には松浪文、鏡面には錫鍍金がなされる。7 は金鍍金がなされた簪で、頭部は耳掻き状を呈し、上部に毛彫りによる下がり藤の文様が施される。

第 98 表　金属製品（その他）観察表（1）

掲載番号		出土地点	種別 器種	材質	特徴	残存率 (%)	法量 (mm)			重量 (g)	整理 番号
挿図	番号						長さ	幅	厚み		
300	1	B146 号	目貫	銅	横位に菱形を連ねた形	90	37.5	14	4.1	3.3	B25592-1
300	2	B146 号	目貫	銅	横位に菱形を連ねた形	90	37	14	4	3.6	B25592-2
300	3	B163・195 号	水滴	銅	平面楕円形 / 孔は筒状の別部材を溶接	95	27.5	42.5	14.5	15.8	B25596
300	4	B181 号	小柄	銅	刀部欠損 / 三つ巴文 / 金装飾	60	14	(64.5)	7.5	14.5	B25600
300	5	B181 号	留め金具	銅	中央に円孔 / 両端に釘穴 / 釘残存	100	26	51	1	8.9	B25597
300	6	B312 号	引手金具	銅	両端部に扁平な返し	100	72	29.5	5	11.6	B25606
300	7	B367 号	水滴	銅	豆腐形 / 孔は筒状の別部材を溶接	95	20.5	36	14	16.9	B25609
300	8	B372 号	飾り金具か	真鍮	薄い板材の周縁に折り曲げた板材をはめ込み / 意匠不明の毛彫り文様あり	30 か	(43)	(64)	3.7	11.4	B25610
300	9	B449 号	小方儀か	真鍮	中央に長楕円形の溝 / 溝中央に別部品はめ込み	90 か	13.5	(98)	3.5	18.1	B25616
300	10	B531 号	薬匙	真鍮	やや湾曲	100	208	8.5	2	20.9	B25620
300	11	B588 号	しとどめ	金	周縁は花弁状	100	19.5	9.3	6.5	1.7	B25946
300	12	B588 号	飾り金具	銅	上部内面に円孔を有する部材溶接 / 被熱により溶解 / 銀装飾か	60 か	122.5	21	12.7	47	B25674
300	13	B588 号	把手	銅か	箱物の摘みか / 被熱発砲したガラス玉の上下を鋲留め	100 か	17	15.8	13	4.1	B25675
300	14	B588 号	被せ金具か	銅	棒状の部材の装飾・固定具か / 筒状の部材の上面に花弁形の装飾 / 金装飾	90 か	17	15	15	2.2	B25628
300	15	B588 号	鈴	真鍮	下面に溝上の切込み	40	(16.5)	(17)	(8.5)	0.6	B25939
300	16	B589 号	切羽	銅	中央に孔 / 周縁に連続した刻み	100	41	21	0.8	3.4	B25633
300	17	B2843 号	吊り金具	真鍮	基部に円孔	100	55.5	37	1.7	4.9	B25827
300	18	B5086 号	柄頭か	銅		100	39	18.7	5.2	8.1	B25872
300	19	B5086 号	把手	銅	両端に円孔	100	71	128	7.5	21	B25870
300	20	B5086 号	吊り金具	真鍮	掛け部先端に球状の作り出し	100	84	13	45.5	18	B25874
300	21	B657 号	鏃	鉄		100	45	125.5	6.8	42.6	B25928
300	22	B686 号	鏃	鉄		100	31	120.6	5.2	24	B25930
300	23	B745 号	不明	真鍮	平面 L 字状 / 断面板状	100	55	16	5.7	11.4	B25641
300	24	B745 号	鍵	鉄	環状把手	100 か	25	50	10.7	8.4	B25901
300	25	B800 号	留め金具	真鍮	煙草入れの留金 / ３枚の部品を組み合わせ / 中央に菱形の文様	100	26	17	5	2.3	B25937
301	1	B808 号	目貫	銅	短刀と菱形の文様 / 金装飾	100	35.5	(15)	5	4.3	B25647
301	2	B808 号	飾り金具	銅	毛彫りによる草花文・魚々子文 / 金装飾	60 か	(62)	22	22	11.8	B25757
301	3	B808 号	留め金具	銅	煙草入れ部品 / 裏板中央に瓢箪形の孔・左右両端に釘 / 金鍍金	100	13	22.3	3.5	2.5	B25748
301	4	B808 号	灯芯押え	銅	先端部はねじり	100	39	82.5	44	7.4	B25753
301	5	B808 号	火箸	銅か	頭部に段を作出	100	169	3.2	3.2	7.7	B25650
301	6	B808 号	プレート	真鍮	B25751 と接合 / 端部に円孔 / 文字「162」	100	23	122.5	18	27.8	B25752
301	7	B868 号	飾り金具	銅	クランクした形態 / 釘・木質残存	100	48	30	22	8.6	B25685
301	8	B890 号	切羽	真鍮	中央に孔 / 周縁に連続した刻目	100	41	23	8	2.6	B25689
301	9	B890 号	不明	銅	板棒状 / 板状の持ち手に銅線で棒状の鉄製品巻きつけ	不明	168	15	2	38.1	B25690
301	10	B964 号	鋲	銅	頭部は逆台形で中実	100	40	10.3	10.3	9.1	B25657
301	11	B976 号	鋲	銅	頭部は円板状	100	32.5	10	3.7	3.5	B25897
301	12	B990 号	不明	真鍮	断面板状の棒材に筒状の部材をはめ込み	不明	17.3	76	10.5	21.4	B25944
301	13	B1132 号	柄頭	銅	頂部側面に円孔か	90	30	16	11	3.2	B25693
301	14	B1133 号	引手金具か	銅	底板部分 / 毛彫りによる文様か / 金鍍金	30	40.3	28.5	0.2	3.2	B25659
301	15	B1445 号	錠前	真鍮	鍵残存	90	76	40	14.4	41	B25696
301	16	B1449 号	不明	銅	円筒状の部品 / 上端部が短冊状に切り込まれ、対角線上の２枚を折り曲げ	不明	49	8	6	3.1	B25697
301	17	B1475 号	留め金具か	銅	断面「く」字状の製品	100	26.8	26.5	6.2	3.1	B25699
301	18	B1505 号	不明	真鍮	2 枚の板材を上端でリベット打ち	不明	78.5	11	3.6	7.6	B25703
301	19	B1520 号	火箸	銅	両端に潰し / 引手金具素材の可能性あり	100	14.4	5	5	18.9	B25700
301	20	B1522 号	鏡	銅	鏡部一部残存	20	(99)	(34)	(15)	38.1	B25709
301	21	B1956 号	目貫	銅	花弁状の文様あり / 中央に釘残存 / 金鍍金	100	35.5	12.6	5	4.7	B25727
301	22	B2204 号	鑵	銅		100	33.1	24.2	8.8	9.2	B25730
302	1	B2219 号	杓子	銅	柄部は中実 / 仏具の可能性あり	40	(86)	60	12	63.2	B25731
302	2	B2223 号	飾り金具	銅	周縁に釘穴	50	44.5	28.5	0.5	3.2	B25732
302	3	B2234 号	不明	真鍮	円筒状 / 持ち手か / 頂部に鑞溶接	30 か	(36)	15.5	15.5	8.8	B25733
302	4	B2236 号	引手金具	銅	平面は瓢箪形 / 上下端側面に釘穴 / 金装飾	100	66.5	38	8	6.5	B25734
302	5	B2288 号	杓子	銅	皿部穿孔３か所 / 持ち手部穿孔１か所	90	(95)	(87.5)	(64)	74.5	B25806
302	6	B2305 号	卸金	銅	両面飛び鉋	70	(222)	(805)	(8.5)	76.5	B25791
302	7	B2305 号	吊り金具	銅か	基部は環状に湾曲	100	6	33	4.4	10.7	B25793
302	8	B2380 号	化粧筆	銅	板材を円筒状に湾曲 / 内部に固化した土壌と繊維質充填	60 か	(71)	4.8	4.8	5.6	B25773
302	9	B2381 号	吊り金具	真鍮	上端部に円孔	95	(51)	37.5	1.3	3.8	B25775
302	10	B2384 号	把手	銅	中央に舌状の張り出し・円孔 / 両端に円孔を有し一方にリベット打ち	90	30.5	56.7	14	5.4	B25777
302	11	B2394 号	鑵	銅	両側面摩耗し欠損	90	3	20	7.2	4.8	B25779
302	12	B2419 号	飾り金具	銅	毛彫りによる草花文 / 端部に釘穴	50	61.5	56.5	4.6	8.6	B25781

第 99 表　金属製品（その他）観察表（2）

掲載番号		出土地点	種別 器種	材質	特徴	残存率 (%)	法量 (mm)			重量 (g)	整理 番号
挿図	番号						長さ	幅	厚み		
302	13	B2493 号	把手	銅か	両端は曲線状に湾曲	100	29.5	39	2	3.9	B25784
302	14	B2748 号	蝶番	銅	花弁状の縁取り / 毛彫りによる草花文・魚々子文 / 四隅に釘穴 / 釘 1 ヶ所残存 / 金装飾	100	25	24	3.5	2.5	B25796
302	15	B2748 号	被せ金具か	銅	三角錐状の中空製品 / 頂部中央に円孔	100 か	35	42	0.7	22.1	B25807
302	16	B2748 号	飾り金具	銅	端部に釘穴 / 毛彫りで草花文・魚々子文 / 金鍍金	70	(89)	14	33	9.5	B25809
302	17	B2748 号	吊り金具	銅	基部は環状に湾曲	100	68.5	42.5	4	7.5	B25811
302	18	B2748 号	化粧筆	銅	板材を紡錘形に湾曲	100	(67.5)	6	6	6	B25808
302	19	B2761 号	匙	真鍮		100	188	24	15.5	15.4	B25812
303	1	B2769 号	灯芯押え	銅		100	59.5	55	5.1	22.2	B25814
303	2	B2777 号	吊り金具	銅	上端に長方形の孔	100	128	15	39.5	36.8	B25822
303	3	B2777 号	化粧筆か	銅	外面に繊維質付着 / 内部に木質残存か	70 か	(53.5)	3.4	4	1.6	B25817
303	4	B2789 号	鋲	銅	頭部は平面円形で断面ドーム状	100	48.5	20.4	6	19.2	B25831
303	5	B2796 号	飾り金具か	銅	中央に長方形の穴 / 四隅に釘穴	90	61	46	0.4	8.1	B25825
303	6	B2847 号	飾り金具か	銅	長方形区画内に草花文	100 か	50	39	2.6	25.5	B25830
303	7	B2847 号	灰押え	銅	先端は下面が波状の円板で上面に毛彫りによる扇状の文様 / 持ち手部は L 字状に湾曲	100	135	22.5	3	12.5	B25829
303	8	B2847 号	不明	銅	錘か / 上部に段 / 下部欠損	80 か	(48.5)	20	19	59.5	B25828
303	9	B2849 号	小柄	銅	獅子・牡丹文様 / 刀部欠損 / 金鍍金	50	(97)	15.2	7	31.4	B25832
303	10	B2883 号	灯明具	銅	中央に円筒状の部材を有する円板を円筒状の部材にはめ込み	90	83.5	48.5	51.5	42.2	B25800
303	11	B2883 号	把手	真鍮	両端部内側に突起溶接	100	104	60.5	6.7	20.2	B25835
304	1	B2952 号	飾り金具	真鍮	曲線状の縁取り / 釘穴 9 か所 / 釘 7 ヶ所残存	100	79	69	1.5	45	B25801
304	2	B2952 号	飾り金具	真鍮	釘 8 か所残存 / 両端に釘穴	90	85.5	23	0.8	22.8	B25802
304	3	B2952 号	飾り金具	真鍮	曲線状の縁取り / 釘穴 10 か所	100	102.2	102.2	0.5	22.2	B26018
304	4	B2952 号	飾り金具	真鍮	曲線状の縁取り / 釘穴 5 か所 / 釘 1 ヶ所残存	90	96.2	94.5	0.5	12.9	B26022
304	5	B2952 号	飾り金具	真鍮	曲線状の縁取り / 釘穴 3 か所	100	62.7	67	0.5	10.3	B26020
304	6	B2952 号	把手	銅	両端部に円孔	100	64	14.5	23	5.4	B25804
304	7	B2952 号	火箸か	銅	頭部を環状に湾曲	100	227	12	3.3	10.1	B25805
304	8	B2975 号	飾り金具	銅	毛彫りによる文様・魚々子文 / 釘穴 2 ヶ所 / 金装飾	90	16.8	17.2	0.5	0.9	B25834
304	9	B3025 号	切羽	銅	中央に孔 / 周縁に連続した刻み / 金装飾	100	(34.7)	(19.8)	0.5	2.1	B25852
304	10	B3025 号	耳盥	銅	中央に爪あり	100	77	41	18.5	8.3	B25853
304	11	B3025 号	把手	銅	両端部は逆 U 字状に湾曲	100	139.5	48.5	8	45.5	B25840
304	12	B3025 号	火箸か	銅	頭部に球状の作り出し	100	116.5	37.5	3	6.4	B25839
304	13	B3025 号	簪	真鍮	頭部に耳掻・球状の作り出し	100	119.2	5.5	5.2	3.5	B25850
304	14	B3084 号	飾り金具	銅	2 枚重ね / 表側に花弁状の透かし / 銀鍍金	100	18	25	2	2.3	C25315
304	15	B3026 号	ボタン	銅	平面円形 / 断面ドーム状 / 糸通し部材溶接	100	11	23.5	23.5	2.9	B25854
304	16	B5082 号	飾り金具	銅	上下端四隅に釘穴	100	81	27	0.2	2.7	B25859
304	17	B5082 号	薬缶	銅	注口部 / 左右に釘穴	95	101.5	52	49.5	35.6	B25861
304	18	B5185 号	化粧筆	銅	板材を筒状に湾曲 / 内面に有機質付着	90 か	(58)	4.5	4.1	3	B25880
305	1	C17 号	把手	真鍮	2 部材連結	100	22	30.5	1.6	3.7	C25516
305	2	C17 号	把手	真鍮	端部を円形に湾曲	100	16.5	14	1.3	0.6	C25517
305	3	C86 号	不明	真鍮	平棒状 / 湾曲顕著 / 工具の刃先か / 先端部鋭利に成形	100 か	18.5	72	7	14.1	C25160
305	4	C165 号	鏃	鉄	手違鏃	100	37	128	70	47.6	C25350
305	5	C201 号	座金	鉄	中央に孔	100	35.5	35	2.1	13.7	C25352
305	6	C212 号	柄頭	銅	両側面に楕円形の孔 / 銀装飾	90	35.5	18.5	8	7.8	C25167
305	7	C229 号	鑷	銅		100	21	22	2	1.4	C25168
305	8	C244 号	杓子か	真鍮	持ち手部分 / 端部折り返し / 縦軸中央に円形の押圧列 / 鍍金か	40	(93)	(14)	3	3.8	C25171
305	9	C244 号	把手	銅	両端部に円孔	100	92.5	131	12	48.2	C25177
305	10	C244 号	吊り金具	真鍮	頭部は曲線状に湾曲 / 軸中位に切り込み状の文様	100	56	39	3.2	5.2	C25176
305	11	C244 号	不明	銅	板状 / 両端を紐状に切り込み湾曲	100 か	52	45	0.2	2.9	C25180
305	12	C244 号	火箸	真鍮	頭部に溝 2 条	100	255	6	6	34.6	C25178
305	13	C251 号	切羽	銅		100	39	28	0.5	2.8	C25202
305	14	C252 号	飾り金具	銅か	中央に円孔 / 成形・毛彫りによる蔓草状の文様	100	54.5	74	0.9	13.2	C25170
305	15	C251 号	飾り金具	銅	変形顕著 / 引手金具に付属か / 表面に毛彫りによる文様	100	52	28	0.2	6.4	C25211
305	16	C251 号	引手金具	銅	基部の短軸中央にやや突出あり	100	40	24	5	2.9	C25203
305	17	C251 号	把手	真鍮	両端部潰しにより突起作出	100	35	74	4.2	12.1	C25225
305	18	C251 号	把手	真鍮	両端部は潰しにより突起作出	100	61.5	27	3.8	6.6	C25238
305	19	C251 号	把手	銅	両端に円孔・リベット残存	100	35.5	72	3	31.8	C25224
305	20	C251 号	飾り金具	銅	隅金具 / 曲線状の成形 / 釘穴 4 か所	100	55.5	55	0.7	11	C25227
305	21	C251 号	飾り金具	真鍮	各隅に円孔 / 花弁状の成形か	80	27	30	0.3	2.6	C25212
305	22	C251 号	座金	銅	中央に方形の孔	90	(25)	28	0.2	0.8	C25206
305	23	C250 号	座金	銅	中央に方形の孔	90	16.3	16.7	0.2	0.3	C25185
305	24	C251 号	座金か	銅	断面板状 / 中央に円孔	100	43	33.5	0.3	2.9	C25205
305	25	C250 号	釘	銅		100	31	4	4	0.7	C25186

第 100 表　金属製品（その他）観察表（3）

掲載番号		出土地点	種別 器種	材質	特徴	残存率 (%)	法量 (mm)			重量 (g)	整理 番号
挿図	番号						長さ	幅	厚み		
305	26	C251 号	薬匙	真鍮	先端鋭利に成形	90	101.3	10.1	1.8	8.1	C25209
305	27	C251 号	灰押え	真鍮	下面は波状に加工	50	(73.5)	(30.2)	(10.4)	12.5	C25222
306	1	C251 号	火箸	銅	頭部と軸部の境に溝	100	185	4.3	4.3	15.6	C25217
306	2	C251 号	火箸	真鍮	円盤状の頭部を溶接	90	(163)	9	9.6	13.2	C25172
306	3	C251 号	簪か	銀	頭部装飾欠損か	95	155.5	(1.6)	1.5	2.7	C25519
306	4	C251 号	簪	真鍮	頭部耳掻き付属	100	119	7	2.1	7.4	C25518
306	5	C250 号	化粧筆	真鍮	板材を筒状に湾曲	100	24.8	4.8	4.8	1.8	C25187
306	6	C251 号	杓子	銅	持ち手部分 / 木質の柄残存	20	108	17.5	20	19	C25218
306	7	C251 号	鍵か	銅	3 部材を溶接	100	92	18	5.5	31.7	C25215
306	8	C251 号	不明	銅	平棒状 / 断面板状 / 両端に四角形の孔	100	6	56.5	0.4	0.9	C25221
306	9	C251 号	サナ	鉄		70	(146)	(146)	15.5	448.9	C25380
306	10	C305 号	釘	銅	断面方形	100	61	6	6	1.9	C25192
306	11	C375 号	飾り金具	銅	角部分の金具 / 長軸方向両端に 3 ヵ所ずつ釘穴あり	100	77	25	1	10.1	C25480
306	12	C381 号	蓋	銅	複数部品を組み合わせ / 球状の摘みは鋲留め	95	102	108	31	45.9	C25244
306	13	C408 号	把手	真鍮	取り付け部は環状に成形	100	20	30	4.8	1.9	C25246
306	14	C408 号	把手	真鍮	両端部は環状に成形	100	19.6	22.4	2	1.9	C25247
306	15	C450 号	火箸	銅	断面六角形 / 頭部に球状の作り出し	95	150.1	3.7	3.4	7.6	C25250
306	16	C505 号	切羽	銅か		95	41	24	1	3.4	C25251
306	17	C536 号	迷子札	真鍮	表：「市ヶ谷」「尾張様西門前」「中沢邦之■」「一之■」/ 裏：毛彫りによる犬	100	5.5	31	1	9.9	C25520
306	18	C536 号	鐶	銅か	合わせ目部分溶接	100	51.5	51	4	14.6	C25267
307	1	C536 号	把手	銅	両端に円孔	100	21	104	43	73.9	C25293
307	2	C536 号	把手	銅	両端に円孔・リベット残存	100	14.5	99	36	27.1	C25290
307	3	C536 号	把手	銅か	両端に円孔 / 一方にリベット残存	100	20	79	30.5	55.3	C25439
307	4	C536 号	飾り金具	真鍮	断面ドーム状 / 毛彫りによる草花文 / 釘穴 2 か所	50	139	20.5	18	18.4	C25279
307	5	C536 号	飾り金具か	銅	上部湾曲させ貫通孔作出	100	34	40.5	7	6.4	C25280
307	6	C536 号	薬匙	真鍮	先端部に向けやや湾曲	100	197.5	10.5	6	73.9	C25291
307	7	C536 号	杓子	真鍮		70	(188)	(62)	7.5	23.6	C25257
307	8	C536 号	杓子	銅	基部中空・釘穴 1 ヵ所	80	(89.5)	(58)	(35)	13.5	C25261
307	9	C536 号	卸金	銅	持ち手部分円孔 / 表裏面目立て	95	230	(109)	5.9	141.5	C25286
307	10	C536 号	杓子か	銅	持ち手上面に円孔	70	(98)	(76)	(34.5)	96.2	C25255
308	1	C536 号	火箸	真鍮	円盤状の頭部を溶接	100	179.3	7.8	7.8	11.3	C25263
308	2	C536 号	火箸	真鍮	球状の頭部を溶接 / ニッケル鍍金	100	(172.3)	10.3	10.3	22.3	C25282
308	3	C536 号	被せ金具か	真鍮	円形の部材に被せる金具 / 上面は円形の稜・釘穴 3 か所 / 側面は短冊状に切り込み釘穴 3 か所以上	90	80	80	31.5	24.3	C25295
308	4	C536 号	不明	銅	板状 /1 枚の板を曲げて基部をリベット留め / 弾力があり挟み込むものか	100	47.5	21	11.5	10.5	C25278
308	5	C536 号	刀子	鉄		90	146.5	23.5	4	24.9	C25455
308	6	C536 号	刀子	鉄		90	(108)	16.5	2	8.5	C25456
308	7	C536 号	錘	鉛	両端部に孔あり / 鋳型成形	100	8	73.5	11.5	26.6	C25274
308	8	C536 号	鏡	鉄		100	146	71	6.3	32.7	C25448
308	9	C536 号	留め金具か	鉄	端部を折り曲げ	90	16.5	(133.5)	3	34	C25423
308	10	C536 号	吊り金具か	鉄	先端部を円形に屈曲	100	123	10.5	5	9.6	C25438
308	11	C536 号	留め金具	鉄	頭部に円孔	90	106	16	8	23.1	C25446
308	12	C536 号	座金	鉄	中央に孔	100	64	62	4.3	106.8	C25415
308	13	C536 号	不明	鉄	板状 / 端部折り返し	100 か	42.5	51	9	24.3	C25435
308	14	C536 号	サナ	鉄	格子目状	30	(99)	(79)	8	109.1	C25413
308	15	C539 号	火箸	真鍮	頭部に溝 / 軸上半部に花弁文様	100	182.8	6	6	21.4	C25483
308	16	C542 号	引手金具か	銅	L 字状の円環に円形の板材組み合わせ / 側面に釘穴 2 か所	100	72	72	9	13.3	C25298
308	17	C542 号	不明	銅	板状 / 中央に向かって湾曲 / 上下端が直線状 / 引手金具底板か	不明	62	63.5	3.5	12.1	C25297
309	1	C580 号	把手	真鍮	長方形の把手 / 四隅を溶接 / 端部に吊り金具残存	60	(59.6)	(24.1)	3.5	6.1	C25300
309	2	C586 号	杓子か	銅	中空の柄内部に木製の持ち手部分残存 / 先端は厚さ 1mm 程度の容器が付属か	30	(57.4)	(22.3)	(22.6)	67	C25303
309	3	C598 号	灯芯押え	銅	縦軸曲がり	100	53	50.7	39	6.2	C25308
309	4	C673 号	把手	銅	平面半円状で全体的に湾曲 / 背面平坦 / 仏具か	不明	(47.5)	(64.8)	(7.2)	25	C25319
309	5	B2-1 区 1~2 面	小柄	銅	毛彫りによる魚々子文・鉈の据紋 / 刀部欠損 / 鉈刃部に金鍍金	60	(96.5)	14.5	5.8	31.5	B25735
309	6	B1-3 区 4 面	小柄	銅	文字「秋惟」/ 線刻・毛彫りによる魚々子文 / 金鍍金	60	100.8	15	5.8	28.9	B25672
309	7	B1-3 区 4~5 面	小柄	真鍮	毛彫りによる草花文 / 刃部欠損	60	(96)	13	5.4	17.2	B25671
309	8	B1-3 区	柄縁	銅	2 部材組み合わせ / 中央に孔 / 側面に溝	100	39	23	8.7	2.6	B25665
309	9	B2-1 区 2~3 面	耳盥	銅	中央に爪あり / 第 309 図 10 の内側に密着	100	77	35	15.5	9	B25736-1
309	10	B2-1 区 2~3 面	耳盥	銅	中央に爪あり / 第 309 図 9 の外側に密着	100	79	38	14.3	10.4	B25736-2
309	11	B2-3 区 3~4 面	飾り金具	真鍮	両端に釘穴 / 毛彫りによる雲形文・魚々子文	95	25.5	93.5	0.4	5.1	B25847
309	12	B2-3 区 1~2 面	飾り金具	銅	平面は隅切長方形 / 周縁に釘穴 9 か所	100	75	35	0.3	7.2	B25845
309	13	B2-3 区撹乱	飾り金具	銅	角部分の金具 / 各面に釘穴 3 ヵ所 / 一部釘残存	80	34	30	0.7	5.4	B25848

第 101 表　金属製品（その他）観察表（4）

掲載番号		出土地点	種別 器種	材質	特徴	残存率 (%)	法量 (mm)			重量 (g)	整理 番号
挿図	番号						長さ	幅	厚み		
309	14	B2-3 区 1~2 面	薬匙	真鍮		90	113.5	7.5	1.1	4.4	B25843
309	15	B2-3 区撹乱	灯芯押え	銅		100	70	60	46.5	10.1	B25849
309	16	B1-2 区撹乱	引手金具	真鍮	上下端側面に円孔 / 底板は別部材	100	71.5	24	9.8	30.6	B25612
309	17	B1-3 区 2~3 面	吊り金具	真鍮	毛彫りによる文様 / 鐶あり	100	82.5	38	9	17.2	B25667
310	1	B1-4 区 0~1 面	瓦釘	銅	頭部扁平	100	191	16	4.7	25.8	B25717
310	2	B1-1 区 3~4 面	飾り金具か	銅	中央に円孔	100	21	21	3.9	9.5	B25604
310	3	B1-3 区 2 面	ボタン	真鍮	円盤状 / 上面に円孔 2 ヶ所	100	19.5	19.5	4	1.8	B25666
310	4	B1-3 区 2~3 面	鍵	鉄	環状把手 / 爪欠損	70	23	34	6	4.1	B25900
310	5	B3-2 区 0~1 面	メダル	真鍮	吊り下げ鐶あり / 外周に「文明擁護之大戦日 同盟及連合国 自大正三年至大正九年」/ 内周に「日」「米」「英」「佛」「伊」	100	52.5	36	2.6	18.9	B25875
310	6	C2 区基礎 52・53 号	鏡	真鍮	懐中鏡 / 背面に松浪文 / 鏡面錫鍍金	100	86.5	55	3	44.6	C25316
310	7	C2 区基礎 52・53 号	簪	銅	頭部に耳掻あり / 毛彫りによる下り藤文様 / 金鍍金	80	(97.5)	8	5	6.1	C25503

第 102 表　金属製品（その他）合金成分表（1）

掲載番号		合金名	合金表記	合金成分比						
挿図	番号			[Cu]	[Sn]	[Pb]	[As]	[Sb]	[Zn]	[Ag]
300	1	青銅	錫鉛ヒ素銅	83.5	12.6	3.6	0.3			
300	2	純銅	(鉛) 銅	99.8		0.2				
300	3	純銅	(鉛) 銅	99.8		0.2				
300	4	(純銅)	(ヒ素鉛アンチモン) 銅	98.4		0.5	0.9	0.2		
300	5	純銅	銅	100.0		0.0				
300	6	純銅	(鉛) 銅	99.7		0.3				
300	7	(純銅)	鉛銅	98.9		1.1				
300	8	真鍮	亜鉛 (鉛) 銅	98.6		0.2			1.2	
300	9	青銅	亜鉛鉛錫銅	86.6	1.4	1.8			10.3	
300	10	真鍮	亜鉛 (鉛) 銅	93.4		0.3			6.3	
300	11	金	銀 (銅) 金	0.1						23.1
300	12	(純銅)	鉛銅	98.9		1.1			＋	
300	13	銅か	－							
300	14	純銅	銅	100.0						
300	15	真鍮	－	94.1		0.3			5.5	
300	16	純銅	(鉛) 銅	99.2		0.8				
300	17	真鍮	亜鉛 (鉛) 銅	90.9		0.4			8.7	
300	18	純銅	(鉛) 銅	99.7		0.3				
300	19	純銅	(鉛) 銅	99.8		0.2				
300	20	真鍮	亜鉛鉛 (錫) 銅	95.4	0.2	1.3			3.1	
300	21	鉄	－							
300	22	鉄	－							
300	23	真鍮	亜鉛鉛錫銅	88.5	1.1	1.4			9.0	
300	24	鉄	－							
300	25	真鍮	－	98.0	0.2	0.5			1.4	
301	1	純銅	(ヒ素鉛) 銅	99.2		0.2	0.6			
301	2	純銅	(鉛) 銅	99.5		0.5				
301	3	純銅	(鉛錫) 銅	99.3	0.2	0.5				
301	4	純銅	(鉛) 銅	99.5		0.5				
301	5	銅か	－							
301	6	真鍮	亜鉛鉛銅	49.2		2.3			48.3	
301	7	純銅	(鉛) 銅	99.2		0.8				
301	8	真鍮	－	95.8	0.2	0.2			3.7	
301	9	(純銅)	鉛銅	98.8		1.2				
301	10	純銅	銅	100.0						
301	11	純銅	(鉛) 銅	99.4		0.6				
301	12	真鍮	亜鉛鉛錫銅	84.0	1.8	3.4			10.8	
301	13	青銅	錫亜鉛鉛 (ヒ素) 銅	93.4	2.3	2.0	0.3		2.1	
301	14	純銅	(鉛) 銅	99.3			0.7			
301	15	真鍮	鉛亜鉛 (錫) 銅	93.8	0.7	3.3			2.3	
301	16	純銅	(鉛) 銅	99.9		0.1				
301	17	銀銅合金	銀 (鉛) 銅	73.1		0.1				24.8

掲載番号		合金名	合金表記	合金成分比						
挿図	番号			[Cu]	[Sn]	[Pb]	[As]	[Sb]	[Zn]	[Ag]
301	18	真鍮	亜鉛 (鉛) 銅	94.9		0.2			4.9	
301	19	純銅	(鉛) 銅	99.6		0.4				
301	20	四元合金	鉛ヒ素アンチモン (錫) 銅	86.4	0.3	9.3	2.4	1.4		
301	21	(純銅)	(錫ヒ素鉛) 銅	98.6	0.6	0.2	0.6			
301	22	純銅	(鉛銀) 銅	99.8		0.1				0.1
302	1	鉛青銅	鉛錫ヒ素銅	72.0	2.1	24.7	1.2			
302	2	純銅	(鉛錫) 銅	99.7	0.0	0.3				
302	3	真鍮	亜鉛鉛 (錫) 銅	93.9	1.6	1.4			3.1	
302	4	(純銅)	ヒ素 (鉛) 銅	98.5		0.4	1.1			
302	5	純銅	(鉛) 銅	99.4		0.6				
302	6	純銅	(鉛) 銅	99.7		0.3				
302	7	銅か	－							
302	8	純銅	(鉛) 銅	99.4		0.6				
302	9	真鍮	亜鉛 (鉛) 銅	94.2		0.6			5.3	
302	10	純銅	(鉛) 銅	99.7		0.3				
302	11	純銅	(銀) 銅	99.9						0.1
302	12	純銅	(鉛) 銅	99.8		0.2				
302	13	銅か	－							
302	14	純銅	銅	100						
302	15	純銅	(鉛) 銅	99.5		0.5				
302	16	純銅	(鉛) 銅	99.3		0.7				
302	17	純銅	(鉛) 銅	99.5		0.5				
302	18	純銅	(鉛) 銅	99.2		0.8				
302	19	真鍮	亜鉛鉛 (錫) 銅	92.5	0.2	1.1			6.3	
303	1	純銅	(鉛) 銅	99.6		0.4				
303	2	純銅	(鉛) 銅	99.2		0.8				
303	3	純銅	(鉛) 銅	99.8		0.2				
303	4	純銅	(鉛) 銅	99.7		0.3				
303	5	純銅	(鉛) 銅	99.5		0.5				
303	6	純銅	(鉛) 銅	99.6		0.4				
303	7	純銅	(鉛) 銅	99.5		0.5				
303	8	鉛青銅	鉛 (ヒ素錫アンチモン) 銅	77.4	0.5	21.0	0.8	0.2		
303	9	純銅	(鉛) 銅	99.8		0.2				
303	10	純銅	(鉛) 銅	99.6		0.4				
303	11	真鍮	亜鉛 (鉛) 銅	93.1		0.4			6.5	
304	1	真鍮	亜鉛 (鉛) 銅	89.1		0.4			10.5	
304	2	真鍮		95.3	0.1	0.3			4.2	
304	3	真鍮	亜鉛鉛 (錫) 銅	95.9	0.4	1.1			2.9	
304	4	真鍮	亜鉛 (鉛) 銅	95.7		0.5			3.7	
304	5	真鍮	亜鉛 (鉛) 銅	96.9		0.3			2.8	
304	6	純銅	(鉛) 銅	99.7		0.3				
304	7	純銅	(鉛) 銅	99.7		0.3				

第 103 表　金属製品（その他）合金成分表（2）

掲載番号		合金名	合金表記	合金成分比						
挿図	番号			[Cu]	[Sn]	[Pb]	[As]	[Sb]	[Zn]	[Ag]
304	8	純銅	銅	100.0						
304	9	純銅	(鉛) 銅	99.4		0.6				
304	10	純銅	(鉛) 銅	99.7		0.3				
304	11	純銅	(鉛) 銅	99.8		0.2				
304	12	純銅	(鉛) 銅	99.8		0.2				
304	13	真鍮	亜鉛 (鉛錫) 銅	85.5	0.3	0.5			13.7	
304	14	純銅	(鉛) 銅	99.3		0.7				
304	15	純銅	(鉛) 銅	99.9		0.1				
304	16	純銅	(鉛ヒ素) 銅	99.3		0.3	0.3			
304	17	純銅	(鉛) 銅	99.6		0.4				
304	18	純銅	(鉛) 銅	99.6		0.4				
305	1	真鍮	亜鉛 (鉛) 銅	80.5		0.9			18.6	
305	2	真鍮	亜鉛 (鉛錫) 銅	95.0	0.2	0.4			4.4	
305	3	真鍮	—	94.1		0.3			5.6	
305	4	鉄	—							
305	5	鉄	—　—							
305	6	純銅	(鉛) 銅	99.1		0.9				
305	7	純銅	(鉛) 銅	99.5		0.5				
305	8	真鍮	—	90.2	0.6	0.6	0.1		8.4	
305	9	純銅	(鉛) 銅	99.7		0.3				
305	10	真鍮	—	84.3		0.6			15.1	
305	11	純銅	(鉛) 銅	99.7		0.3				
305	12	真鍮	亜鉛鉛錫銅	81.4	1.0	7.7			9.8	
305	13	純銅	(鉛) 銅	99.1		0.9				
305	14	銅か	—	99.5		0.5			0.1	
305	15	純銅	(鉛ヒ素) 銅	99.1		0.8	0.1			
305	16	純銅	(鉛ヒ素) 銅	99.2		0.6	0.2			
305	17	真鍮	亜鉛鉛 (錫) 銅	93.2	0.4	1.0			5.4	
305	18	真鍮	亜鉛鉛 (錫) 銅	82.6	0.4	1.3			15.8	
305	19	純銅	(鉛) 銅	99.5		0.5				
305	20	純銅	(鉛) 銅	99.8		0.2				
305	21	真鍮	亜鉛鉛 (錫) 銅	84.9	0.3	1.1			13.7	
305	22	純銅	(鉛) 銅	99.5		0.5				
305	23	純銅	(鉛) 銅	99.7		0.3				
305	24	純銅	(鉛) 銅	99.9		0.1				
305	25	純銅	(鉛) 銅	99.7		0.3				
305	26	真鍮	亜鉛鉛 (錫) 銅	81.5	0.9	1.6			16.0	
305	27	真鍮	亜鉛鉛 (錫) 銅	92.5	0.9	1.2			5.4	
306	1	純銅	(鉛) 銅	99.7		0.3				
306	2	真鍮	—	83.0	0.6	0.5			15.9	
306	3	銀 (四分一)	銅銀	90.3		3.1			6.6	72.6
306	4	真鍮	亜鉛鉛 (錫) 銅	85.8	0.5	1.1			12.7	
306	5	真鍮	亜鉛 (鉛錫) 銅	88.0	0.3	0.3			11.4	
306	6	純銅	(鉛) 銅	99.6		0.4				
306	7	純銅	(鉛ヒ素) 銅	99.4		0.5	0.1			
306	8	純銅	(鉛) 銅	99.6		0.2				
306	9	鉄	—							
306	10	純銅	(鉛) 銅	99.8		0.5				
306	11	純銅	(鉛) 銅	99.4		0.6				
306	12	純銅	(鉛) 銅	99.7		0.3				
306	13	真鍮	亜鉛 (鉛) 銅	75.0		0.5			24.6	
306	14	真鍮	亜鉛 (鉛錫) 銅	82.8	0.2	0.5			16.5	
306	15	純銅	(鉛) 銅	99.6		0.4				
306	16	銅か	—							
306	17	真鍮	亜鉛 (鉛) 銅	85.4		0.5			14.1	
306	18	銅か	—							
307	1	純銅	(鉛) 銅	99.5		0.5				
307	2	純銅	(鉛) 銅	99.7		0.3				
307	3	銅か	—							
307	4	真鍮	亜鉛錫 (鉛銀) 銅	93.4	1.7	0.9			3.8	0.2
307	5	純銅	(鉛) 銅	99.3		0.7				

掲載番号		合金名	合金表記	合金成分比						
挿図	番号			[Cu]	[Sn]	[Pb]	[As]	[Sb]	[Zn]	[Ag]
307	6	真鍮	亜鉛 (鉛錫) 銅	83.2	0.3	0.6			15.9	
307	7	真鍮	亜鉛 (鉛錫) 銅	87.4	0.8	0.8			11.1	
307	8	純銅	(鉛錫) 銅	99.5	0.2	0.3				
307	9	純銅	(鉛) 銅	99.4		0.6				
307	10	純銅	(鉛) 銅	99.6		0.4				
308	1	真鍮	亜鉛 (鉛錫) 銅	81.6	0.6	0.5			17.3	
308	2	真鍮	亜鉛 (鉛錫) 銅	90.6	0.4	0.4			8.5	
308	3	純銅	(鉛) 銅	99.7		0.3				
308	4	真鍮	亜鉛錫 (錫鉛) 銅	90.1	0.6	0.3			9.0	
308	5	鉄	—							
308	6	鉄	—							
308	7	鉛	錫 (銅) 鉛	0.3	4.0	95.7				
308	8	鉄	—							
308	9	鉄	—							
308	10	鉄	—							
308	11	鉄	—							
308	12	鉄	—							
308	13	鉄	—							
308	14	鉄	—							
308	15	真鍮	亜鉛 (錫鉛) 銅	87.6	0.8	0.8			10.7	
308	16	純銅	(鉛) 銅	99.8		0.2				
308	17	純銅	(鉛) 銅	99.2		0.8				
309	1	真鍮	亜鉛 (錫鉛) 銅	93.4	0.6	0.5			5.5	
309	2	鉛青銅	鉛錫 (アンチモン) 銅	75.3	1.5	22.5	0.7			
309	3	純銅	(鉛) 銅	99.7		0.3				
309	4	鉛青銅	鉛錫 (ヒ素アンチモン) 銅	70.1	4.0	24.9	0.6	0.4		
309	5	純銅	(鉛) 銅	99.4		0.6				
309	6	純銅	(鉛錫) 銅	99.6		0.2	0.3			
309	7	真鍮	亜鉛 (鉛) 銅	93.2		0.4			6.3	
309	8	純銅	(錫鉛) 銅	98.9	0.7	0.3				
309	9	純銅	(鉛) 銅	99.5		0.5				
309	10	純銅	(錫鉛) 銅	99.5	0.3	0.2				
309	11	真鍮	亜鉛鉛銅	73.4		1.1			25.5	
309	12	純銅	(鉛) 銅	99.8		0.2				
309	13	純銅	(鉛) 銅	99.5		0.5				
309	14	真鍮	亜鉛 (鉛錫) 銅	94.4	0.2	0.4			5.0	
309	15	純銅	(鉛) 銅	99.7		0.3				
309	16	真鍮	亜鉛鉛錫銅	78.9	2.4	2.6			16.1	
309	17	(真鍮)	錫鉛 (亜鉛) 銅	96.2	2.1	1.2			0.6	
310	1	純銅	(鉛) 銅	99.5		0.5				
310	2	純銅	(鉛) 銅	99.8		0.2				
310	3	真鍮	亜鉛 (鉛) 銅	95.2		0.6			4.2	
310	4	鉄	—							
310	5	真鍮	亜鉛鈴銅	93.1	2.6				4.3	
310	6	五元合金	鉛アンチモンヒ素 (錫) 銅	82.6	0.4	7.2	4.4	5.4		
310	7	真鍮	亜鉛 (鉛) 銅	97.8		0.4			1.8	

（8）銭貨（第 311 ～ 315 図、第 104 ～ 107 表）

銭貨は寛永通寶を主体とし、天保通寶や絵銭、雁首銭といった近世の所産や、中世以前の渡来銭、近代以降の硬貨が出土している。第 311 ～ 315 図では、遺構単位で遺存状況の良好な銭貨を抽出し、一つの遺構から複数の銭種が出土した場合は可能な限りそれらを図示した。なお、緡銭や接着によって銭文が不明瞭なものについてはＸ線画像を用いた。

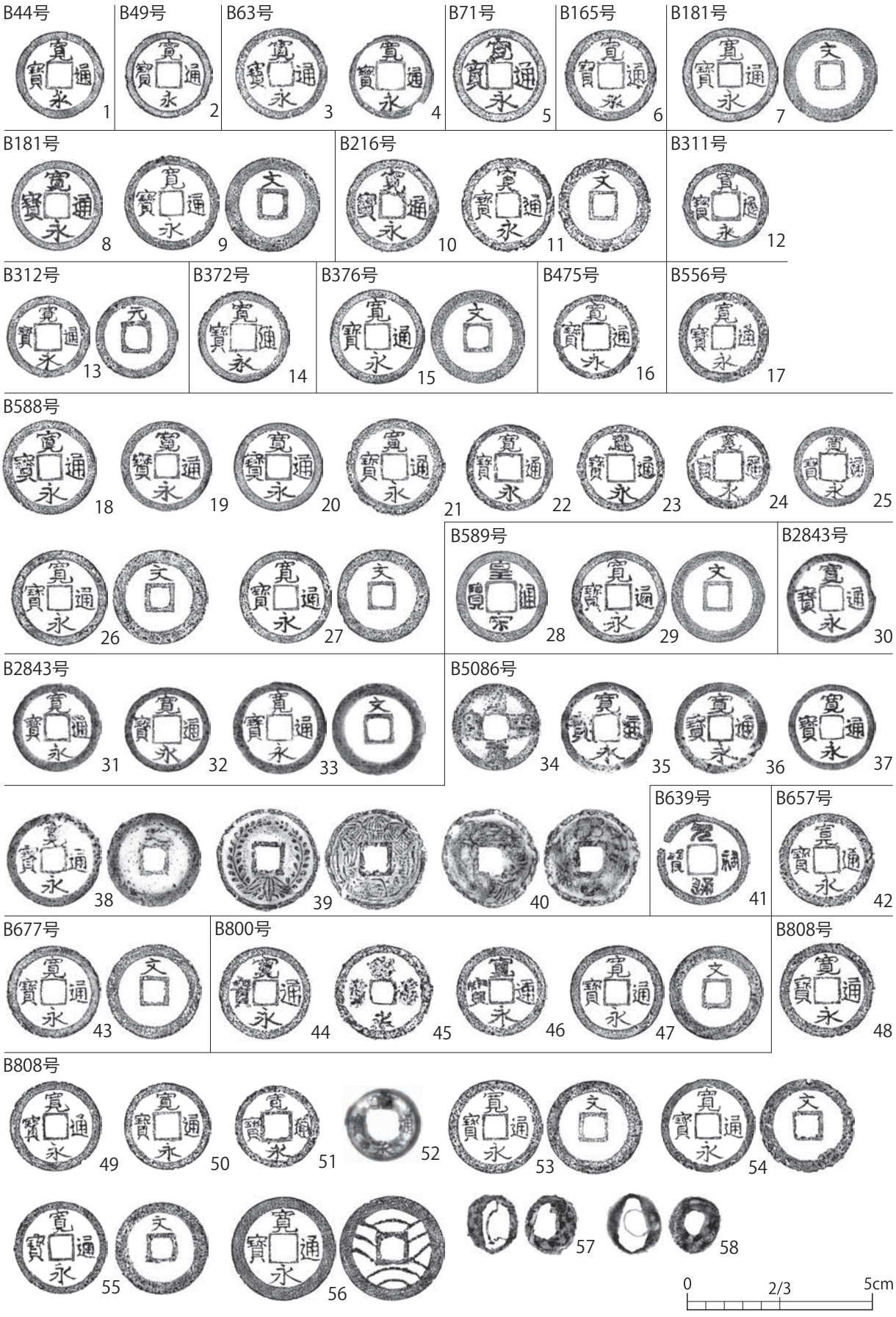
第 311 図 3 は古寛永、4 は新寛永で、いずれも B63 号出土である。B181 号では、8 の古寛永と 7・9 の背文を「文」とする新寛永が共伴する。B216 号の 10・11 も同様である。13 は B312 号出土で、背文「元」の新寛永である。B588 号では、19・20 の古寛永、20 ～ 25 の新寛永、26・27 の背文「文」の新寛永が共伴している。28 は B589 号出土の北宋銭・皇宋通寶で、背文「文」の新寛永が伴う。B5086 号では、34 の北宋銭・治平元寶、35 の古寛永、36 ～ 38 の新寛永に加え、鉛製と考えられる絵銭 39・40 が出土している。41 は B639 号出土の北宋銭・元豊通寶である。B800 号では 45 の永樂通寶と 44・46 の古寛永、47 の背文「文」の新寛永が共伴する。B808 号では、古寛永、新寛永、背文「文」の新寛永に加え、背文を十一波とする新寛永の四文銭、雁首銭が出土している。

B890 号では、第 312 図 2 ～ 5 の古寛永と背文「文」の新寛永が接着して出土している。35 は B2288 号出土で、北宋銭・元豊通寶である。B2290 号では、36・37 の古寛永に 38 の絵銭がともなう。38 は背文を「南無妙法蓮華経」とする題目銭で、材質は銅製である。B2462 号出土の 42 は、遺存状況は良好でないが、北宋銭・咸平元寶であろう。

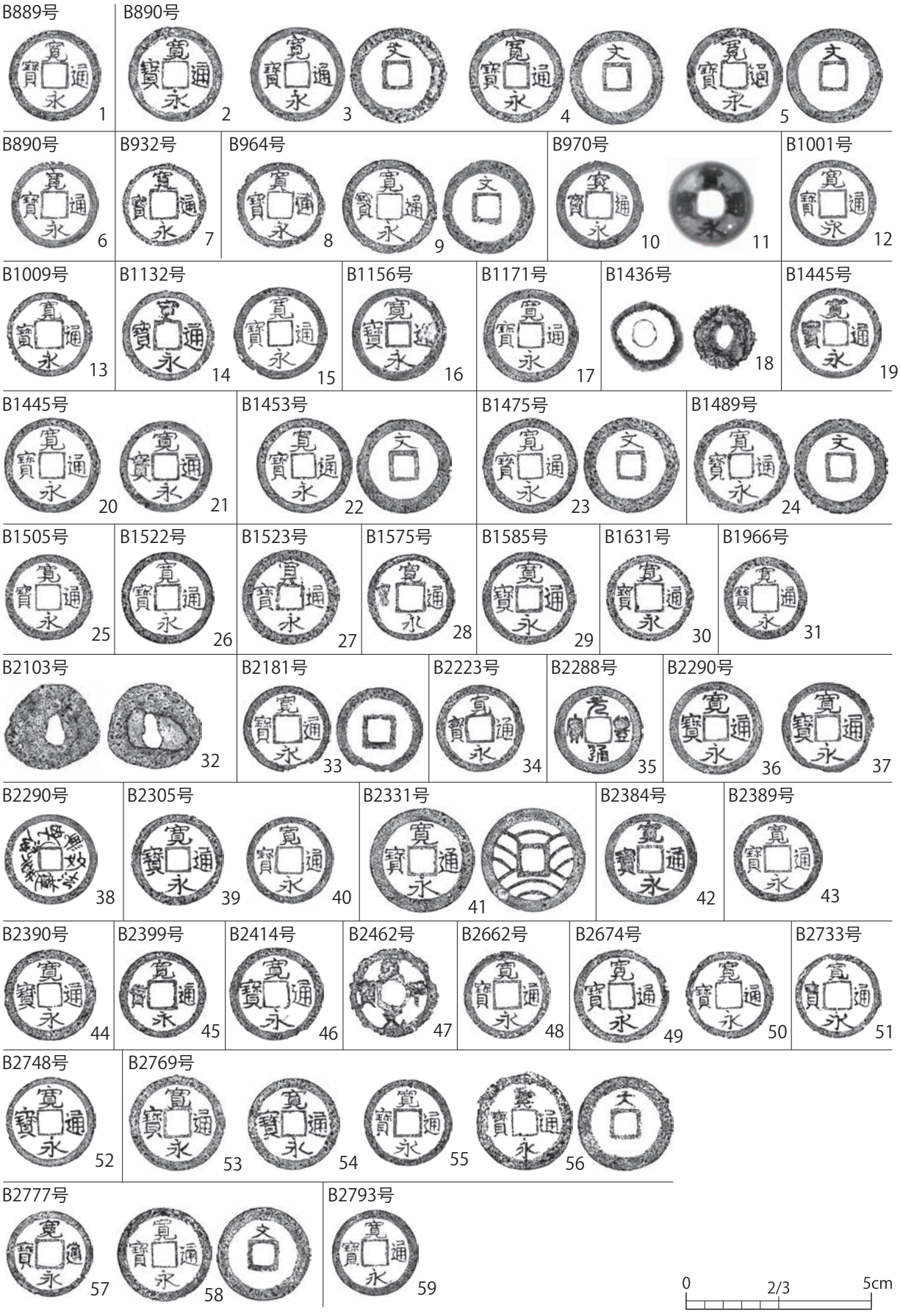
第 313 図 1・2 は B2798 号出土で、背文「文」の新寛永と無文の新寛永が共伴する。B2847 号では 4 の古寛永、5 の新寛永、6 の背文「文」の新寛永が揃って出土する。15 ～ 17 は B5082 号出土で、15 の新寛永に、背文を二十一波とする四文銭の 16 と、十一波とする四文銭の 17 が伴う。C111 号出土の 19 は、北宋銭・景徳元寶である。C251 号では、28 の古寛永、29 ～ 32 の新寛永、33 の背文二十一波の四文銭、34・35 の背文十一波の四文銭が出土する。C536 号では、背文を「左」とする新寛永の 47 が、44 ～ 46 の新寛永と 48・49 の背文十一波の四文銭に伴う。

第 314 図の遺構外出土銭貨では、2 ～ 9 の寛永通寶に加え、1 の唐銭・開元通寶、10 ～ 12 の天保通寶、13 の一銭硬貨を図示した。

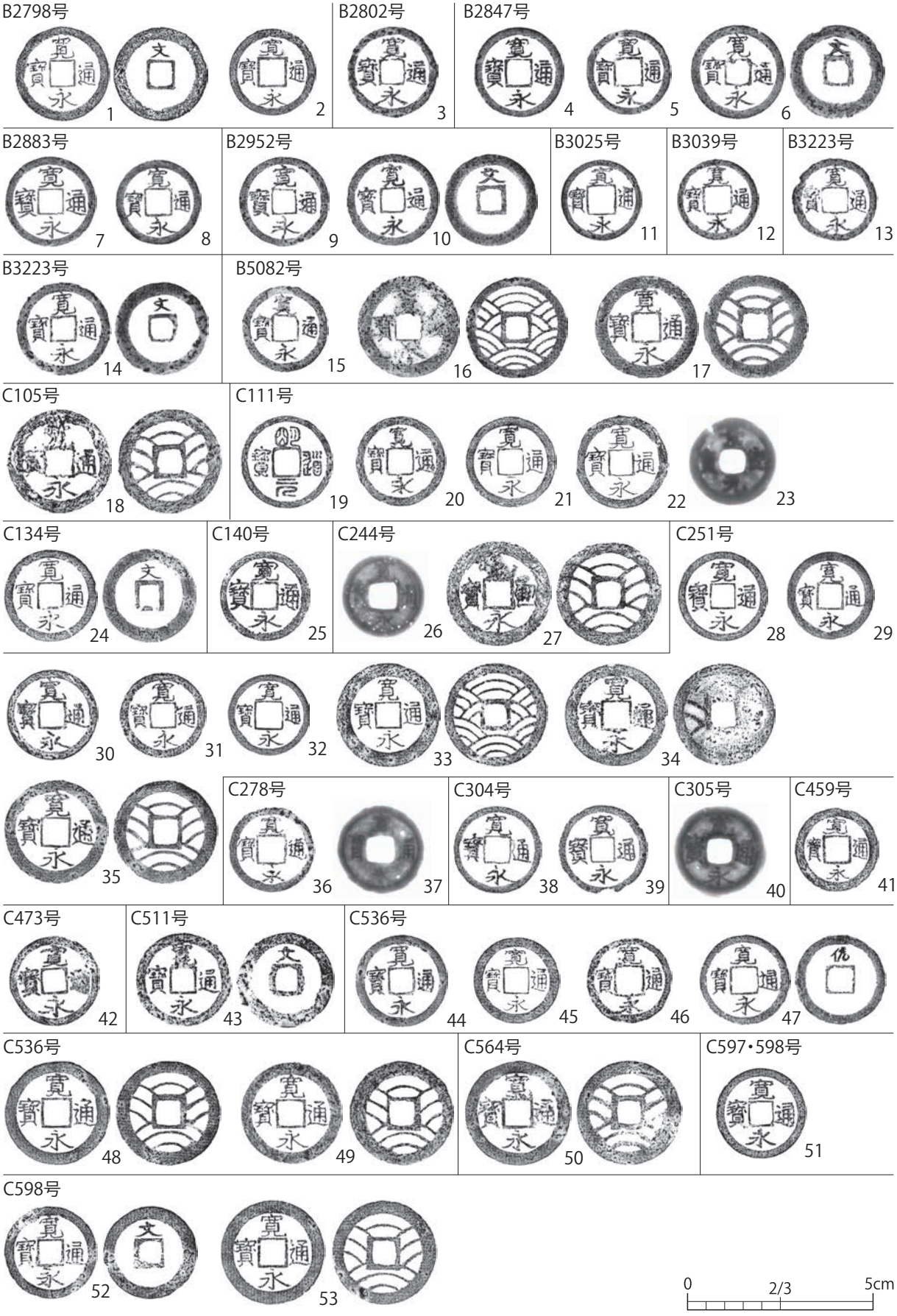
第 315 図は、複数枚が接着した硬貨の各々の銭文をＸ線 CT により透過・表示したものである。1 は B165 号出土で、寛永通寶の鉄銭と銅銭が 13 枚接着している。2 は C536 号出土で、背文十一波の新寛永四文銭が 9 枚接着する。3 は C304 号出土の四文銭が 23 枚接着した事例で、このうち 3-12 と 3-17 の 2 枚のみが背文を二十一波とする。4 は同じく C304 号出土の四文銭が 28 枚接着した事例で、このうち 4-7 のみが背文を二十一波としている。


B44号
1
B49号
2
B63号
3
4
B71号
5
B165号
6
B181号
7
B181号
8
9
B216号
10
11
B311号
12
B312号
13
B372号
14
B376号
15
B475号
16
B556号
17
B588号
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
B589号
28
29
B2843号
30
B2843号
31
32
33
B5086号
34
35
36
37
38
39
40
B639号
41
B657号
42
B677号
43
B800号
44
45
46
47
B808号
48
B808号
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
0
2/3
5cm

第 311 図　銭貨（1）（2/3）

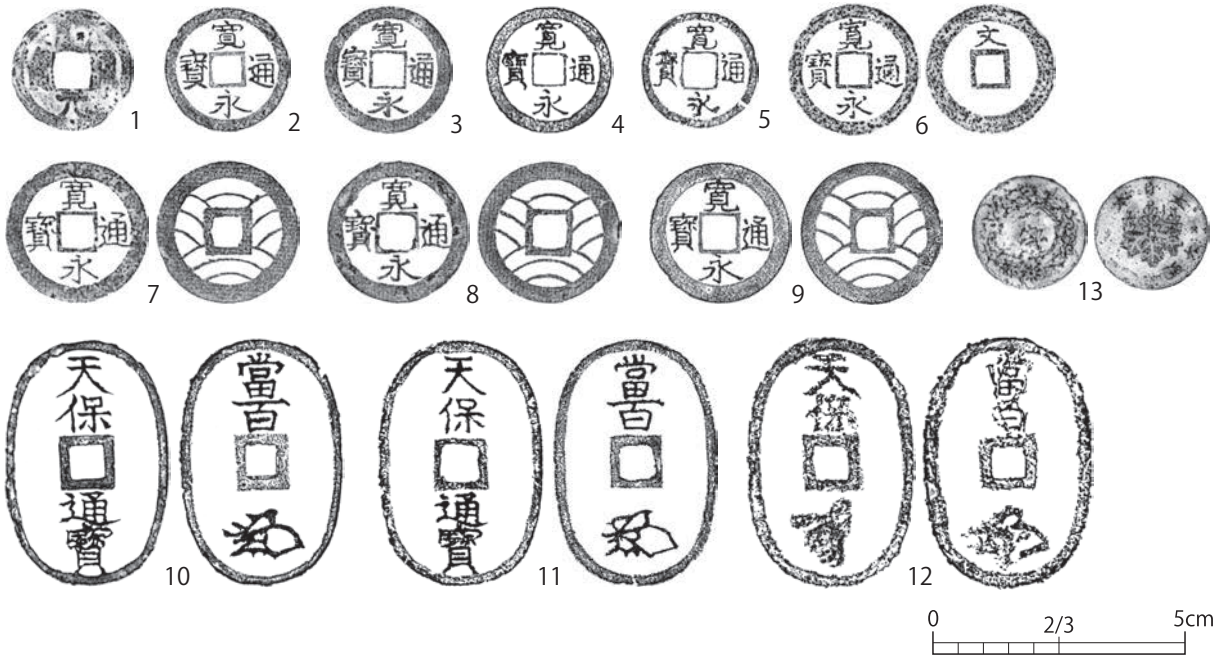

B889号
B890号
B890号
B932号
B964号
B970号
B1001号
B1009号
B1132号
B1156号
B1171号
B1436号
B1445号
B1445号
B1453号
B1475号
B1489号
B1505号
B1522号
B1523号
B1575号
B1585号
B1631号
B1966号
B2103号
B2181号
B2223号
B2288号
B2290号
B2290号
B2305号
B2331号
B2384号
B2389号
B2390号
B2399号
B2414号
B2462号
B2662号
B2674号
B2733号
B2748号
B2769号
B2777号
B2793号
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
0
2/3
5cm

第 312 図　銭貨（2）（2/3）

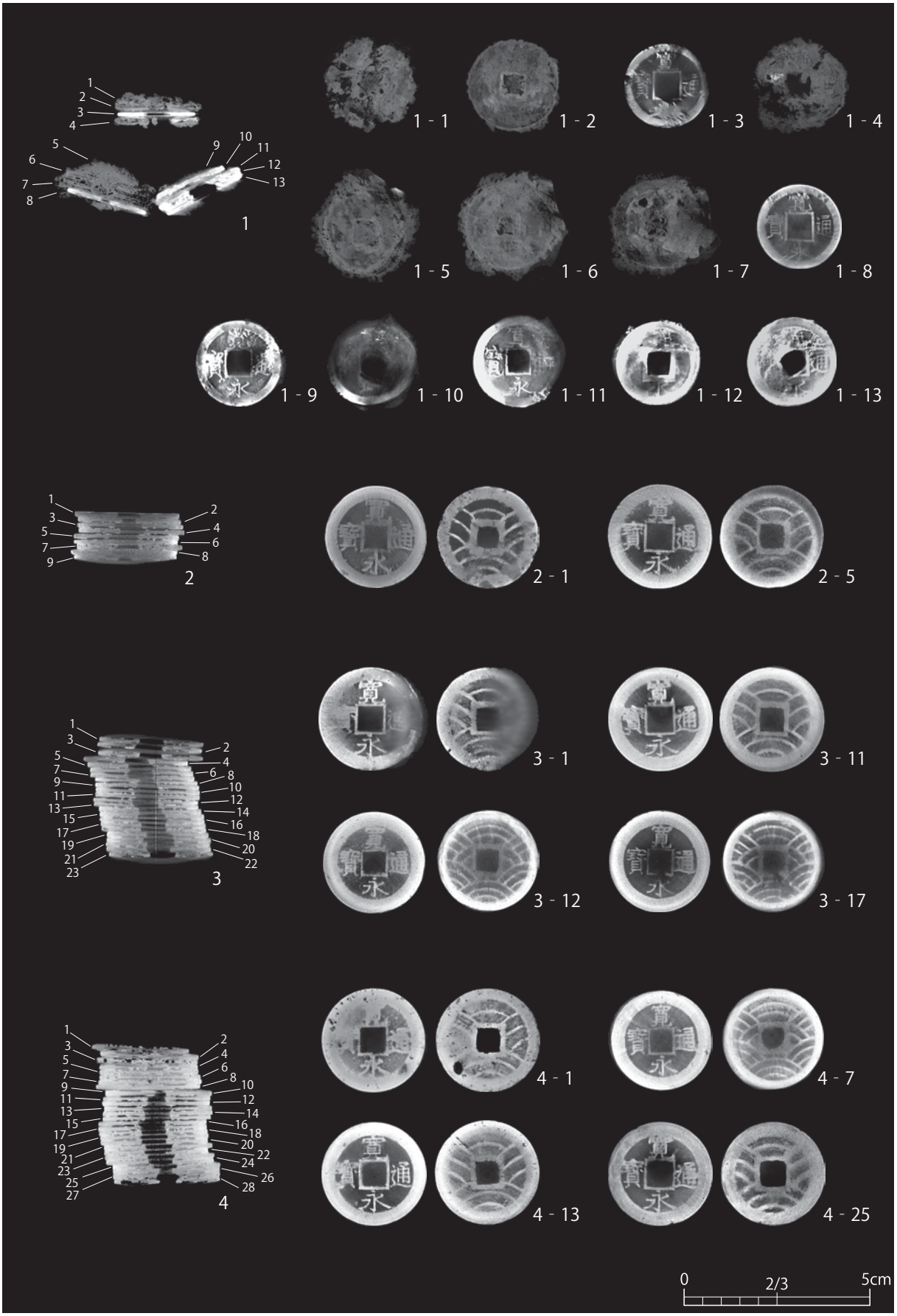

B2798号
B2802号
B2847号
B2883号
B2952号
B3025号
B3039号
B3223号
B3223号
B5082号
C105号
C111号
C134号
C140号
C244号
C251号
C278号
C304号
C305号
C459号
C473号
C511号
C536号
C536号
C564号
C597・598号
C598号
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
0
2/3
5cm

第 313 図　銭貨（3）（2/3）

遺構外



第 314 図　銭貨（4）（2/3）


1
1 - 1
1 - 2
1 - 3
1 - 4
1 - 5
1 - 6
1 - 7
1 - 8
1 - 9
1 - 10
1 - 11
1 - 12
1 - 13
2
2 - 1
2 - 5
3
3 - 1
3 - 11
3 - 12
3 - 17
4
4 - 1
4 - 7
4 - 13
4 - 25
0
2/3
5cm

第 315 図　銭貨（5）（2/3）

第 104 表　銭貨観察表（1）

掲載番号		出土地点	種別 名称	材質	詳細	法量 (mm)		重量 (g)	初鋳年 (西暦)	整理 番号
挿図	番号					銭径	孔径			
311	1	B44 号	寛永通寶 (新)	銅		23.6	5.9	2.1	1668	B25001
311	2	B49 号	寛永通寶 (新)	銅		23.3	5.4	2.5	1668	B25003
311	3	B63 号	寛永通寶 (古)	銅	2 枚接着	24.6	5.5	2.7	1636	B25004-1
311	4	B63 号	寛永通寶 (新)	銅	2 枚接着	22.4	7.2	1.6	1668	B25004-2
311	5	B71 号	寛永通寶 (古)	銅		24.7	5.6	2.9	1636	B25005
311	6	B165 号	寛永通寶 (新)	銅		24.4	6.0	2.3	1668	B25008
311	7	B181 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	25.4	5.4	2.7	1668	B25010
311	8	B181 号	寛永通寶 (古)	銅		24.2	5.5	2.9	1636	B25027
311	9	B181 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」/ 2 枚接着	24.8	5.5	3.5	1668	B25039-1
311	10	B216 号	寛永通寶 (古)	銅		25.0	4.8	4.0	1636	B25015
311	11	B216 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	25.1	5.0	3.0	1668	B25014
311	12	B311 号	寛永通寶 (新)	銅	2 枚接着	22.7	6.5	2.5	1668	B25028-1
311	13	B312 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「元」	22.3	5.7	2.2	1741	B25029
311	14	B372 号	寛永通寶 (新)	銅		24.7	6.3	2.7	1636	B25033
311	15	B376 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	25.3	5.7	2.8	1668	B25034
311	16	B475 号	寛永通寶 (新)	銅		22.9	6.2	2.1	1668	B25042
311	17	B556 号	寛永通寶 (新)	銅		24.5	5.4	2.6	1636	B25098
311	19	B588 号	寛永通寶 (古)	銅		24.0	5.0	2.8	1636	B25057
311	20	B588 号	寛永通寶 (古)	銅		23.7	5.4	3.1	1636	B25065
311	21	B588 号	寛永通寶 (新)	銅		25.4	6.0	2.3	1668	B25067
311	22	B588 号	寛永通寶 (新)	銅		23.4	5.6	1.6	1668	B25056
311	23	B588 号	寛永通寶 (新)	銅		22.9	6.5	2.2	1668	B25044
311	24	B588 号	寛永通寶 (新)	銅		23.1	6.0	1.5	1668	B25075
311	25	B588 号	寛永通寶 (新)	銅		21.3	6.2	1.9	1668	B25090
311	26	B588 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	25.4	5.7	3.6	1668	B25084
311	27	B588 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	24.8	5.5	3.2	1668	B25064
311	28	B589 号	皇宋通寶	銅	北宋銭 / 真書体	24.5	6.7	3.0	1039	B25100
311	29	B589 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	25.0	5.1	3.2	1668	B25099
311	30	B2843 号	寛永通寶 (古)	銅	3 枚接着	24.2	5.7	3.9	1636	B25359-1
311	31	B2843 号	寛永通寶 (新)	銅	3 枚接着	23.8	5.5	2.6	1636	B25359-2
311	32	B2843 号	寛永通寶 (新)	銅		22.7	5.5	2.6	1668	B25354
311	33	B2843 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」/ 3 枚接着	25.0	5.5	3.5	1668	B25359-3
311	34	B5086 号	治平元寶	銅	北宋銭 / 篆書体	24.0	6.2	2.5	1064	B25468
311	35	B5086 号	寛永通寶 (古)	銅		24.7	5.5	3.4	1636	B25452
311	36	B5086 号	寛永通寶 (新)	銅		24.9	5.3	2.7	1636	B25443
311	37	B5086 号	寛永通寶 (新)	銅		23.1	5.1	2.7	1636	B25440
311	38	B5086 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	25.8	5.2	3.3	1668	B25462
311	39	B5086 号	絵銭	鉛か	意匠不明	27.9	5.8	10.3		B25474
311	40	B5086 号	絵銭か	鉛か	意匠不明	26.2	5.3	10.8		B25429
311	41	B639 号	元豊通寶	鉄	北宋銭 / 篆書体	24.5	6.7	3.1	1078	B25102
311	42	B657 号	寛永通寶 (新)	銅		24.4	5.6	2.6	1668	B25103
311	43	B677 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	25.1	5.5	2.9	1668	B25105
311	45	B800 号	永樂通寶	銅		25.3	5.3	2.3	1587	B25114
311	46	B800 号	寛永通寶 (古)	銅		24.0	5.0	2.7	1636	B25117
311	47	B800 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	25.2	5.3	3.5	1668	B25111
311	48	B808 号	寛永通寶 (古)	銅		25.1	6.1	3.0	1636	B25266
311	49	B808 号	寛永通寶 (新)	銅		24.3	5.0	2.7	1668	B25119
311	50	B808 号	寛永通寶 (新)	銅		23.1	5.8	2.5	1668	B25118
311	51	B808 号	寛永通寶 (新)	銅		22.2	5.7	1.9	1668	B25120
311	52	B808 号	寛永通寶 (新)	銅		21.5	5.8	1.6	1668	B25389
311	53	B808 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	25.3	5.6	2.9	1668	B25123
311	54	B808 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	25.1	5.7	3.5	1668	B25254
311	55	B808 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	25.0	5.2	3.0	1668	B25268
311	56	B808 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.0	6.2	6.0	1768	B25260
311	57	B808 号	雁首銭	真鍮		15.9	－	0.7		B25515
311	58	B808 号	雁首銭	真鍮		16.3	－	1.5		B25516
312	1	B889 号	寛永通寶 (新)	銅		24.4	5.6	2.2	1668	B25132
312	2	B890 号	寛永通寶 (古)	銅	6 枚接着	25.0	5.8	3.1	1636	B25136-1
312	3	B890 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」/6 枚接着	25.3	5.5	3.5	1668	B25136-5
312	4	B890 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」/6 枚接着	25.0	5.5	3.5	1668	B25136-6
312	5	B890 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	25.4	5.6	2.4	1668	B25138
312	6	B890 号	寛永通寶 (新)	銅		23.1	5.5	1.9	1668	B25139
312	7	B932 号	寛永通寶 (新)	銅		22.0	5.7	1.5	1668	B25146

第 105 表　銭貨観察表（2）

掲載番号		出土地点	種別 名称	材質	詳細	法量 (mm)		重量 (g)	初鋳年 (西暦)	整理 番号
挿図	番号					銭径	孔径			
312	8	B964 号	寛永通寶 (新)	銅		22.8	6.2	1.3	1668	B25150
312	9	B964 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	25.1	5.8	2.8	1668	B25151
312	10	B970 号	寛永通寶 (新)	銅		23.4	6.2	2.4	1668	B25154
312	11	B970 号	寛永通寶 (古)	銅		24.2	5.4	2.8	1636	B25153
312	12	B1001 号	寛永通寶 (新)	銅		23.2	6.0	2.1	1668	B25156
312	13	B1109 号	寛永通寶 (新)	銅		22.5	5.8	1.8	1668	B25163
312	14	B1132 号	寛永通寶 (古)	銅		24.6	5.5	2.9	1636	B25159
312	15	B1132 号	寛永通寶 (新)	銅	字体細く特徴的	24.7	5.5	2.8	1668	B25160
312	16	B1156 号	寛永通寶 (古)	銅		25.0	5.3	2.7	1636	B25161
312	17	B1171 号	寛永通寶 (新)	銅		25.3	5.5	3.1	1668	B25162
312	18	B1436 号	雁首銭	真鍮		18.7	－	2.5		B25548
312	19	B1445 号	寛永通寶 (古)	銅		24.3	5.1	2.8	1636	B25196
312	20	B1445 号	寛永通寶 (新)	銅		25.1	5.6	2.9	1668	B25197
312	21	B1445 号	寛永通寶 (古)	銅		24.3	5.7	2.2	1636	B25202
312	22	B1453 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	25.3	5.5	2.8	1668	B25206
312	23	B1475 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	25.1	5.4	3.2	1668	B25208
312	24	B1489 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	25.2	5.6	2.7	1668	B25209
312	25	B1505 号	寛永通寶 (新)	銅		23.1	5.8	1.7	1668	B25210
312	26	B1522 号	寛永通寶 (新)	銅		25.0	5.1	2.9	1668	B25214
312	27	B1523 号	寛永通寶 (新)	銅		25.4	4.8	2.8	1668	B25220
312	28	B1575 号	寛永通寶 (新)	銅		23.0	5.7	2.1	1668	B25222
312	29	B1585 号	寛永通寶 (古)	銅		24.9	4.9	2.6	1636	B25223
312	30	B1631 号	寛永通寶 (新)	銅		22.9	5.7	2.3	1668	B25224
312	31	B1966 号	寛永通寶 (新)	銅		22.2	6.0	2.6	1636	B25238
312	32	B2103 号	雁首銭	銅		25.1	8.3	1.4		B25243
312	33	B2181 号	寛永通寶 (新)	銅		23.1	5.7	2.0	1668	B25244
312	34	B2223 号	寛永通寶 (新か)	銅		23.3	5.2	2.5	1636	B25247
312	35	B2288 号	元豊通寶	鉄	北宋銭 / 篆書体	23.5	5.6	2.4	1078	B25291
312	36	B2290 号	寛永通寶 (古)	銅		25.0	5.1	3.3	1636	B25273
312	37	B2290 号	寛永通寶 (古)	銅	２枚接着	24.5	5.5	2.4	1636	B25274-1
312	38	B2290 号	絵銭	銅	題目銭 / 背文「南無妙法蓮華経」	24.0	5.3	3.3		B25280
312	39	B2305 号	寛永通寶 (古)	銅		24.5	5.1	3.3	1636	B25286
312	40	B2305 号	寛永通寶 (新)	銅		23.0	5.7	1.8	1668	B25287
312	41	B2331 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	27.8	5.8	4.3	1768	B25290
312	42	B2384 号	寛永通寶 (古)	銅		24.6	5.5	2.9	1636	B25293
312	43	B2389 号	寛永通寶 (新)	銅		23.3	5.9	2.8	1668	B25296
312	44	B2390 号	寛永通寶 (古)	銅		23.8	4.3	2.8	1636	B25298
312	45	B2399 号	寛永通寶 (新)	銅		22.9	5.6	2.9	1668	B25300
312	46	B2414 号	寛永通寶 (古)	銅		24.8	5.5	3.5	1636	B25303
312	47	B2462 号	咸平元寶	銅	北宋銭	23.8	5.3	2.9	998	B25305
312	48	B2662 号	寛永通寶 (新)	銅		22.9	5.8	2.7	1668	B25312
312	49	B2674 号	寛永通寶 (新)	銅		24.9	5.5	3.0	1668	B25322
312	50	B2674 号	寛永通寶 (新)	銅		22.9	5.7	2.1	1668	B25321
312	51	B2733 号	寛永通寶 (新)	銅		22.7	5.9	2.7	1668	B25317
312	52	B2748 号	寛永通寶 (古)	銅		23.8	5.2	2.7	1636	B25318
312	53	B2769 号	寛永通寶 (古)	銅		25.3	5.3	3.0	1636	B25326
312	54	B2769 号	寛永通寶 (古)	銅		24.3	5.3	2.5	1636	B25329
312	55	B2769 号	寛永通寶 (新)	銅		23.1	5.6	2.6	1668	B25331
312	56	B2769 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	25.0	5.5	2.6	1668	B25338
312	57	B2777 号	寛永通寶 (新)	銅		22.9	5.5	2.0	1668	B25345
312	58	B2777 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	24.8	5.5	3.2	1668	B25341
312	59	B2793 号	寛永通寶 (新)	銅		22.9	5.8	2.1	1668	B25347
313	1	B2798 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	25.0	5.5	3.3	1668	B25349
313	2	B2798 号	寛永通寶 (新)	銅		22.9	5.7	2.8	1668	B25350
313	3	B2802 号	寛永通寶 (古)	銅		24.0	5.0	2.9	1636	B25352
313	4	B2847 号	寛永通寶 (古)	銅	２枚接着	24.3	5.7	3.0	1636	B25365-1
313	5	B2847 号	寛永通寶 (新か)	銅		22.6	5.4	2.1	1668	B25363
313	6	B2847 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	25.1	4.6	2.2	1668	B25364
313	7	B2883 号	寛永通寶 (古)	銅		24.5	5.1	3.3	1636	B25370
313	9	B2952 号	寛永通寶 (古)	銅		24.3	5.1	3.3	1636	B25378
313	10	B2952 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	24.6	4.9	3.1	1668	B25372
313	11	B3025 号	寛永通寶 (新)	銅		21.7	6.2	1.8	1668	B25406
313	12	B3039 号	寛永通寶 (新)	銅	新寛永	21.9	6.4	1.6	1668	B25408

第 106 表　銭貨観察表（3）

掲載番号		出土地点	種別 名称	材質	詳細	法量 (mm)		重量 (g)	初鋳年 (西暦)	整理 番号
挿図	番号					銭径	孔径			
313	13	B3223 号	寛永通寶 (新)	銅		22.6	5.4	2.8	1668	B25383
313	14	B3223 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	25.2	5.6	3.4	1668	B25385
313	15	B5082 号	寛永通寶 (新)	銅		23.7	5.8	2.5	1668	B25419
313	16	B5082 号	寛永通寶 (新)	銅	背文二十一波 / 四文銭	27.5	5.7	5.1	1768	B25420
313	17	B5082 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.0	6.2	3.9	1768	B25418
313	18	C105 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	27.8	5.6	5.0	1768	C25003
313	19	C111 号	明道元寶	銅	北宋銭 / 篆書体	24.8	5.8	4.0	1023	C25004
313	20	C111 号	寛永通寶 (新)	銅		24.7	4.9	3.2	1668	C25006
313	21	C111 号	寛永通寶 (新)	銅	2 枚接着	24.1	5.7	3.6	1668	C25007-1
313	22	C111 号	寛永通寶 (新)	銅	2 枚接着	25.1	5.2	4.4	1668	C25007-2
313	23	C111 号	景徳元寶	銅	北宋銭	24.1	5.1	3.1	1004	C25008
313	24	C134 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	25.2	5.2	2.6	1668	C25011
313	25	C140 号	寛永通寶 (古)	銅		24.2	5.3	2.5	1636	C25014
313	26	C244 号	寛永通寶 (新)	銅		23.3	5.6	2.5	1668	C25021
313	27	C244 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.0	5.8	3.6	1768	C25022
313	28	C251 号	寛永通寶 (古)	銅		24.1	5.2	2.7	1636	C25047
313	29	C250 号	寛永通寶 (新)	銅		23.6	5.6	2.7	1668	C25024
313	30	C251 号	寛永通寶 (新)	銅		24.3	5.7	3.0	1668	C25046
313	31	C251 号	寛永通寶 (新)	銅		22.8	5.0	2.7	1668	C25043
313	32	C250 号	寛永通寶 (新)	銅		21.8	5.9	1.9	1668	C25023
313	33	C251 号	寛永通寶 (新)	銅	背文二十一波 / 四文銭	27.6	5.2	4.7	1768	C25044
313	34	C251 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	27.5	6.2	4.1	1768	C25051
313	35	C252 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.0	6.1	5.1	1768	C25025
313	36	C278 号	寛永通寶 (新)	銅		23.0	6.1	2.4	1668	C25027
313	37	C278 号	寛永通寶 (新)	銅		24.5	5.9	3.0	1668	C25053
313	38	C304 号	寛永通寶 (新)	銅		23.7	5.5	2.2	1636	C25029
313	39	C304 号	寛永通寶 (古)	銅		24.1	4.9	2.8	1636	C25030
313	40	C305 号	寛永通寶 (古)	銅		25.3	5.4	3.2	1668	C25034
313	41	C459 号	寛永通寶 (新)	銅		22.2	5.1	2.1	1668	C25055
313	42	C473 号	寛永通寶 (古)	銅		24.1	5.6	2.9	1636	C25056
313	43	C511 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	25.5	5.1	3.7	1668	C25058
313	44	C536 号	寛永通寶 (新)	銅		24.9	5.6	3.8	1668	C25059
313	45	C536 号	寛永通寶 (新)	銅		23.2	5.6	1.8	1668	C25064
313	46	C536 号	寛永通寶 (新)	銅		22.9	5.8	2.5	1668	C25062
313	47	C536 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「左」	24.3	5.7	2.6	1714	C25077
313	48	C536 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.1	6.2	4.8	1768	C25063
313	49	C536 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / カバーあり	27.5	6.1	3.7	1668	C25078
313	50	C564 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.2	6.1	4.9	1768	C25080
313	51	C597・598 号	寛永通寶 (古)	銅		24.2	4.9	3.3	1636	C25081
313	52	C598 号	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	25.0	6.0	3.2	1668	C25083
313	53	C598 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.1	5.7	4.0	1768	C25082
314	1	C2 区基礎 57 号	開元通寶	銅	唐銭	23.7	5.6	1.9	621	C25084
314	2	B1-3 区 3~5 面	寛永通寶 (古)	銅		24.3	5.1	3.0	1636	B25179
314	3	B3-2 区 2~3 面	寛永通寶 (古)	銅		24.9	5.5	3.2	1636	B25480
314	4	B1-1 区 4~5 面	寛永通寶 (新)	銅		24.8	5.7	3.6	1668	B25025
314	5	B1-1 区 1~4 面	寛永通寶 (新)	銅		22.9	6.4	1.6	1668	B25021
314	6	C1 区 2~3 面	寛永通寶 (新)	銅	背文「文」	25.6	5.0	3.2	1668	C25039
314	7	C2 区 2 面	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭 /2 枚接着	28.1	5.7	4.5	1768	C25088-2
314	8	C2 区 2 面	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭 /2 枚接着	28.0	6.0	5.1	1768	C25088-1
314	9	B1-2 区 2~3 面	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	27.8	6.6	3.7	1768	B25037
314	10	B1-2 区厩礎石下部	天保通寶	銅	背文「當百」・花押	48.3	5.9	17.0	1835	B25017-1
314	11	B1-1 区厩礎石下部	天保通寶	銅	背文「當百」・花押	48.8	6.6	13.4	1835	B25017-2
314	12	B1-1 区厩礎石下部	天保通寶	銅	背文「當百」・花押	49.4 × 33.1	5.6	20.7	1835	B25018
314	13	C1 区 1~2 面	一銭硬貨	銅		22.8	—	3.7	明治 6	C25035
315	1-1	B165 号	寛永通寶か	鉄	13 枚接着	24.0	—	39.4	1739 か	B25009-1
315	1-2	B165 号	寛永通寶	鉄		24.0	5.9	—	1739	B25009-2
315	1-3	B165 号	寛永通寶 (新)	銅		22.5	6.6	—	1668	B25009-3
315	1-4	B165 号	寛永通寶	鉄		23.5	6.5	—	1739	B25009-4
315	1-5	B165 号	寛永通寶	鉄		23.5	6.3	—	1739	B25009-5
315	1-6	B165 号	寛永通寶	鉄		24.5	5.3	—	1739	B25009-6
315	1-7	B165 号	寛永通寶	鉄		—	6.1	—	1739	B25009-7
315	1-8	B165 号	寛永通寶 (新)	銅		22.4	6.2	—	1668	B25009-8
315	1-9	B165 号	寛永通寶 (新)	銅		23.0	6.7	—	1668	B25009-9

第 107 表　銭貨観察表（4）

掲載番号		出土地点	種別 名称	材質	詳細	法量 (mm)		重量 (g)	初鋳年 (西暦)	整理 番号
挿図	番号					銭径	孔径			
315	1-10	B165 号	寛永通寶 (新)	銅		—	—	—	1668	B25009-10
315	1-11	B165 号	寛永通寶 (新)	銅		24.0	5.7	—	1668	B25009-11
315	1-12	B165 号	寛永通寶 (新)	銅		22.0	6.0	—	1668	B25009-12
315	1-13	B165 号	寛永通寶 (新)	銅		24.0	6.4	—	1668	B25009-13
315	2-1	C536 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭 /9 枚接着	27.4	6.4	47.2	1768	C25070-1
315	2-2	C536 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	26.9	6.7	—	1768	C25070-2
315	2-3	C536 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	27.4	6.5	—	1768	C25070-3
315	2-4	C536 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	27.4	6.5	—	1768	C25070-4
315	2-5	C536 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	27.3	6.8	—	1768	C25070-5
315	2-6	C536 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	26.0	6.4	—	1768	C25070-6
315	2-7	C536 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	27.4	6.7	—	1768	C25070-7
315	2-8	C536 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	26.3	6.8	—	1768	C25070-8
315	2-9	C536 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	27.6	7.2	—	1768	C25070-9
315	3-1	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭 /23 枚接着	27.8	6.6	116.9	1768	C25514-1
315	3-2	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.0	6.4	—	1768	C25514-2
315	3-3	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	27.8	6.4	—	1768	C25514-3
315	3-4	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	27.9	6.7	—	1768	C25514-4
315	3-5	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.1	6.3	—	1768	C25514-5
315	3-6	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.2	6.2	—	1768	C25514-6
315	3-7	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.0	6.4	—	1768	C25514-7
315	3-8	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.2	6.1	—	1768	C25514-8
315	3-9	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.2	6.3	—	1768	C25514-9
315	3-10	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.0	6.3	—	1768	C25514-10
315	3-11	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.1	6.5	—	1768	C25514-11
315	3-12	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文二十一波 / 四文銭	27.4	5.8	—	1768	C25514-12
315	3-13	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.1	6.6	—	1768	C25514-13
315	3-14	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.3	6.1	—	1768	C25514-14
315	3-15	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	27.9	6.1	—	1768	C25514-15
315	3-16	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.0	6.4	—	1768	C25514-16
315	3-17	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文二十一波 / 四文銭	27.4	5.8	—	1768	C25514-17
315	3-18	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.0	6.5	—	1768	C25514-18
315	3-19	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.0	6.4	—	1768	C25514-19
315	3-20	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.0	6.6	—	1768	C25514-20
315	3-21	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.2	6.4	—	1768	C25514-21
315	3-22	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.0	6.1	—	1768	C25514-22
315	3-23	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	27.8	6.6	—	1768	C25514-23
315	4-1	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭 /28 枚接着	27.8	6.5	133.4	1768	C25515-1
315	4-2	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.0	6.5	—	1768	C25515-2
315	4-3	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.0	5.7	—	1768	C25515-3
315	4-4	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	27.8	5.7	—	1768	C25515-4
315	4-5	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.0	5.8	—	1768	C25515-5
315	4-6	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.1	6.2	—	1768	C25515-6
315	4-7	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文二十一波 / 四文銭	27.1	5.5	—	1768	C25515-7
315	4-8	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	27.8	6.0	—	1768	C25515-8
315	4-9	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.0	6.0	—	1768	C25515-9
315	4-10	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.0	6.3	—	1768	C25515-10
315	4-11	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.1	6.2	—	1768	C25515-11
315	4-12	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.4	6.1	—	1768	C25515-12
315	4-13	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.2	6.0	—	1768	C25515-13
315	4-14	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	27.8	6.4	—	1768	C25515-14
315	4-15	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	26.7	6.0	—	1768	C25515-15
315	4-16	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.2	6.5	—	1768	C25515-16
315	4-17	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.0	6.3	—	1768	C25515-17
315	4-18	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.3	6.2	—	1768	C25515-18
315	4-19	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.3	6.3	—	1768	C25515-19
315	4-20	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.5	5.8	—	1768	C25515-20
315	4-21	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.1	6.1	—	1768	C25515-21
315	4-22	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.1	6.3	—	1768	C25515-22
315	4-23	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.2	6.4	—	1768	C25515-23
315	4-24	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	27.9	6.1	—	1768	C25515-24
315	4-25	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.1	6.7	—	1768	C25515-25
315	4-26	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.1	5.6	—	1768	C25515-26
315	4-27	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.0	5.8	—	1768	C25515-27
315	4-28	C304 号	寛永通寶 (新)	銅	背文十一波 / 四文銭	28.3	6.1	—	1768	C25515-28

（9）骨角貝製品（第 316 ～ 319 図、第 108 表）

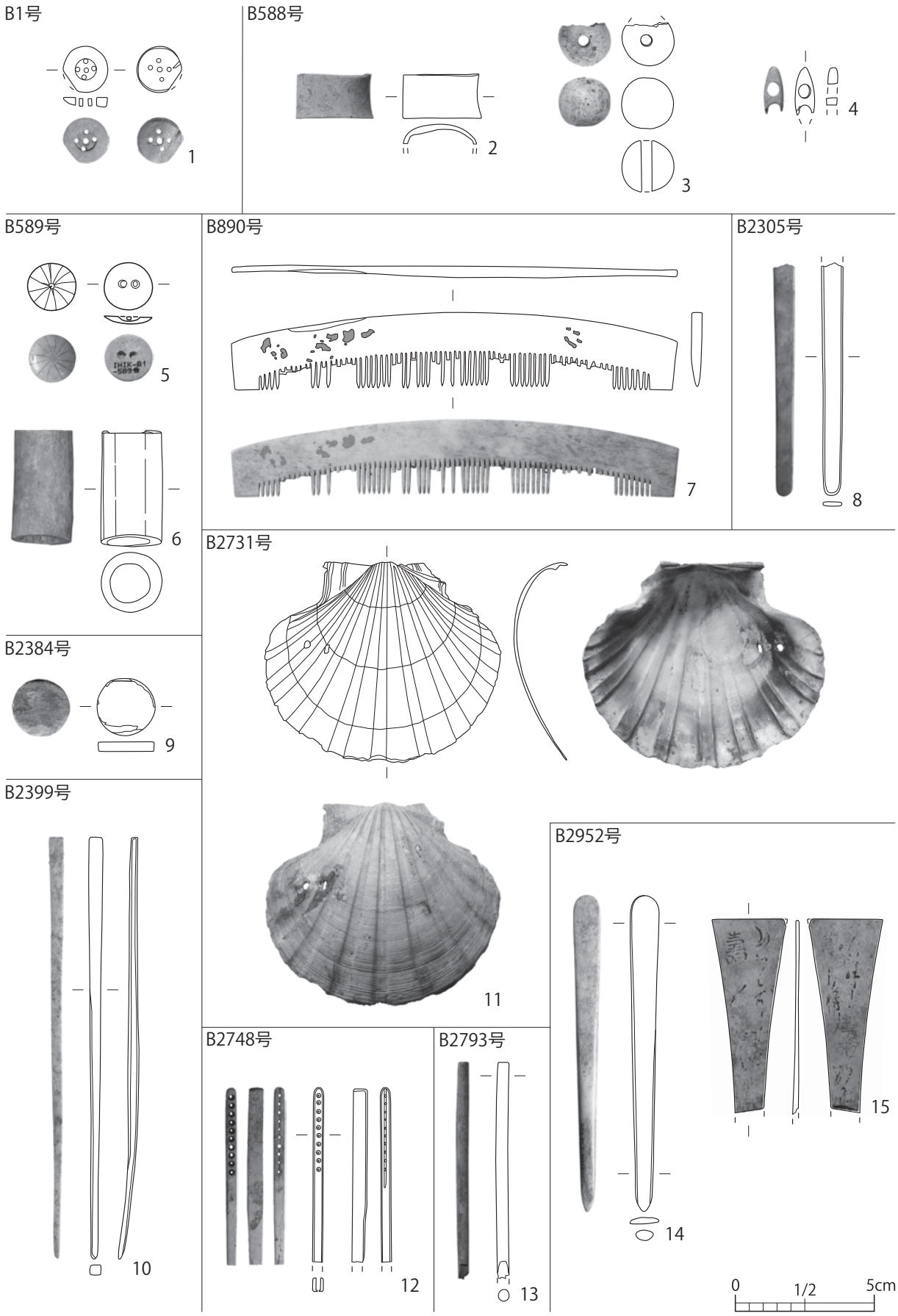
哺乳類の骨、鹿角、貝等を材質とする製品を骨角貝製品として一括して扱った。種類としては髪撫、櫛、横おし等の結髪道具が多いが、物差し等の文具のほか、鹿角の加工残滓も見つかっている。

第 316 図 1 は B1 号の三和土下部出土のボタンで、断面は長方形、径 2mm の穿孔が 5 か所あり、欠損部は再加工し平滑に調整されている。2 ～ 4 は B588 号出土で、2 は断面が円筒状で厚さ 1 ～ 1.5mm に刳り抜かれた鍼と考えられる。3 は緒締で、球形を呈し、中央に径 5mm の孔が穿たれる。4 も締具と考えられ、断面は隅丸長方形、径 5mm の穿孔が 2 か所認められる。5･6 は B589 号出土で、5 は断面が半円形のボタンで、表面に円形・放射状の線刻があり、裏面に内部で連結する径 3mm の糸孔 2 か所がある。6 は用途は不明であるが、円筒状で表面にケズリ痕が顕著に残る。7 は B890 号出土の櫛で、断面は板状、棟部に赤色漆の塗膜が若干残存する。8 は B2305 号出土の髪撫で、断面は板状、表面は平滑に磨かれている。9 は B2384 号出土の双六の駒で、円盤状で表面に一部が剥落する。10 は B2399 号出土で、断面方形の完形品で、笄と考えられる。11 は B2731 号出土の貝杓子で、イタヤ貝右殻を素材とし、腹縁が摩耗し、表面に貫通孔が 2 か所認められる。12 は B2748 号出土の櫛払で、ブラシ部の穿孔は 1 列、裏面にある 1 条の線刻は毛先を結束する造作であろう。13 は B2793 号出土の笄で、断面は円形、表面は平滑に仕上げられる。14・15 は B2952 号出土で、14 は上部の断面が板状、下部が楕円形を呈する髪撫で、表面は平滑である。15 は平面が銀杏形、断面が薄い板状を呈する横おしと考えられ、剥落は多いものの、表面には「■」「寿■」「寿　別かれ■」、裏面には「山とに■」「寿■」「寿■」の文字が見える。

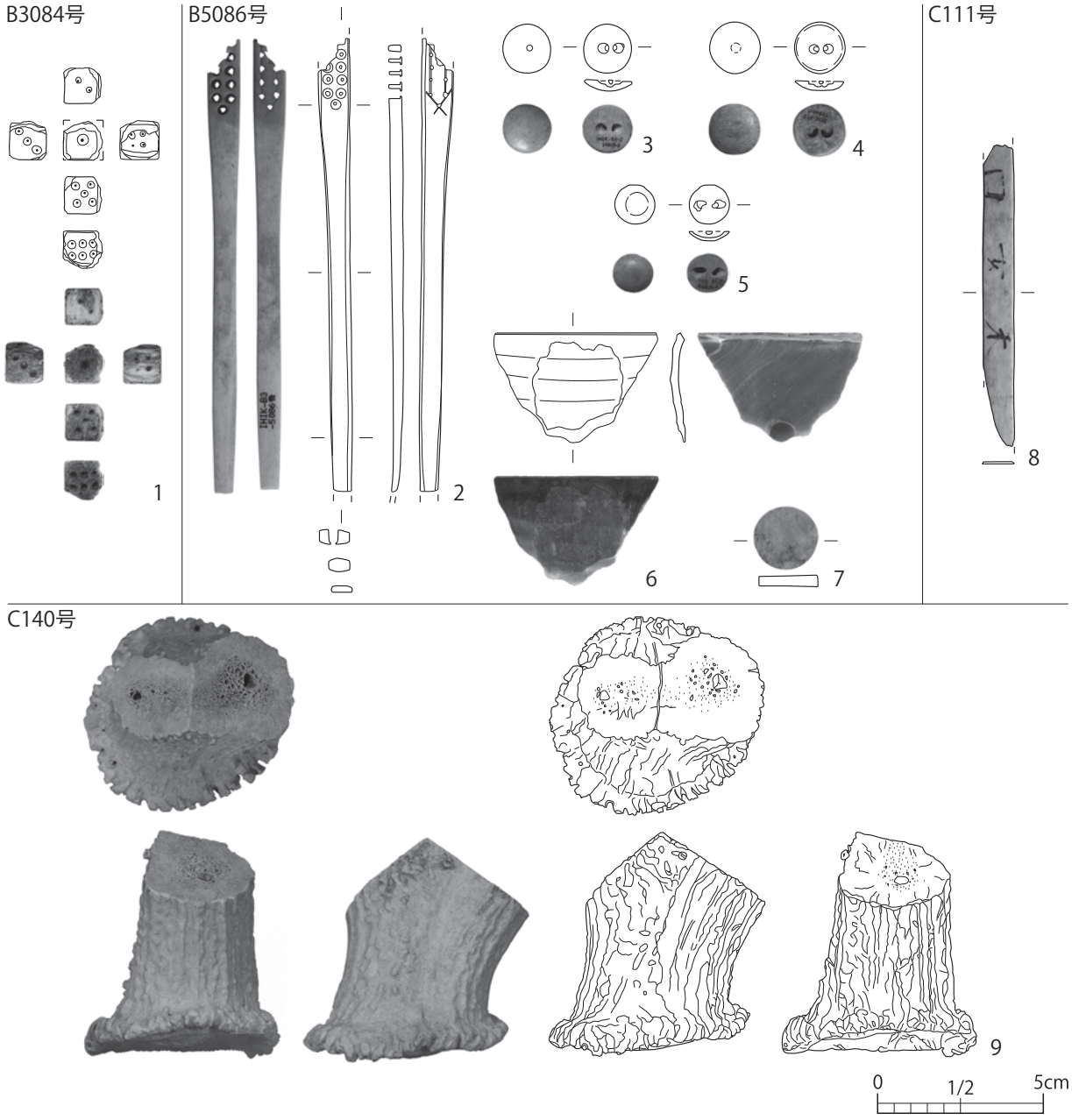
第 317 図 1 は B3084 号出土の賽子で、遺存状況は良好でないが、各面に 1 ～ 6 の賽の目が観察される。2 ～ 7 は B5086 号出土で、2 はブラシ部の穿孔を 2 列とする櫛払で、背面に線刻が認められる。3 ～ 5 はボタンで、いずれも断面は半円形、裏面に内部で連結する径 3mm の糸孔 2 か所がある。6 は貝製の撥先と考えられ、平面は銀杏形、断面は板状で先端が直線状に加工されている。7 は双六の駒で、表面は平滑に仕上げられている。8 は C111 号出土の髪撫で、剥落した表面のみの遺存である。墨書による「冂」「女」「禾」の文字が見える。9 は C140 号出土の鹿角切断品で、2 方向に先端部を切断した残滓であろう。

第 318 図 1 ～ 3 は C244 号出土で、1･2 は断面方形の箸である。1 は上位に、2 は中位に装飾があり、背面のみ切断痕を残して磨かれていない。3 は断面円形の髪撫と考えられ、先端に段が作出される。4 ～ 7 は C250 号出土で、4 は円筒形で草花状の線刻が施され、背面には円孔が穿たれる。根付であろうか。5 は断面半円形の髪撫、6 は耳掻きと考えられる。7 は撥で、銀杏形の平面を呈し、中央に段が作出される。

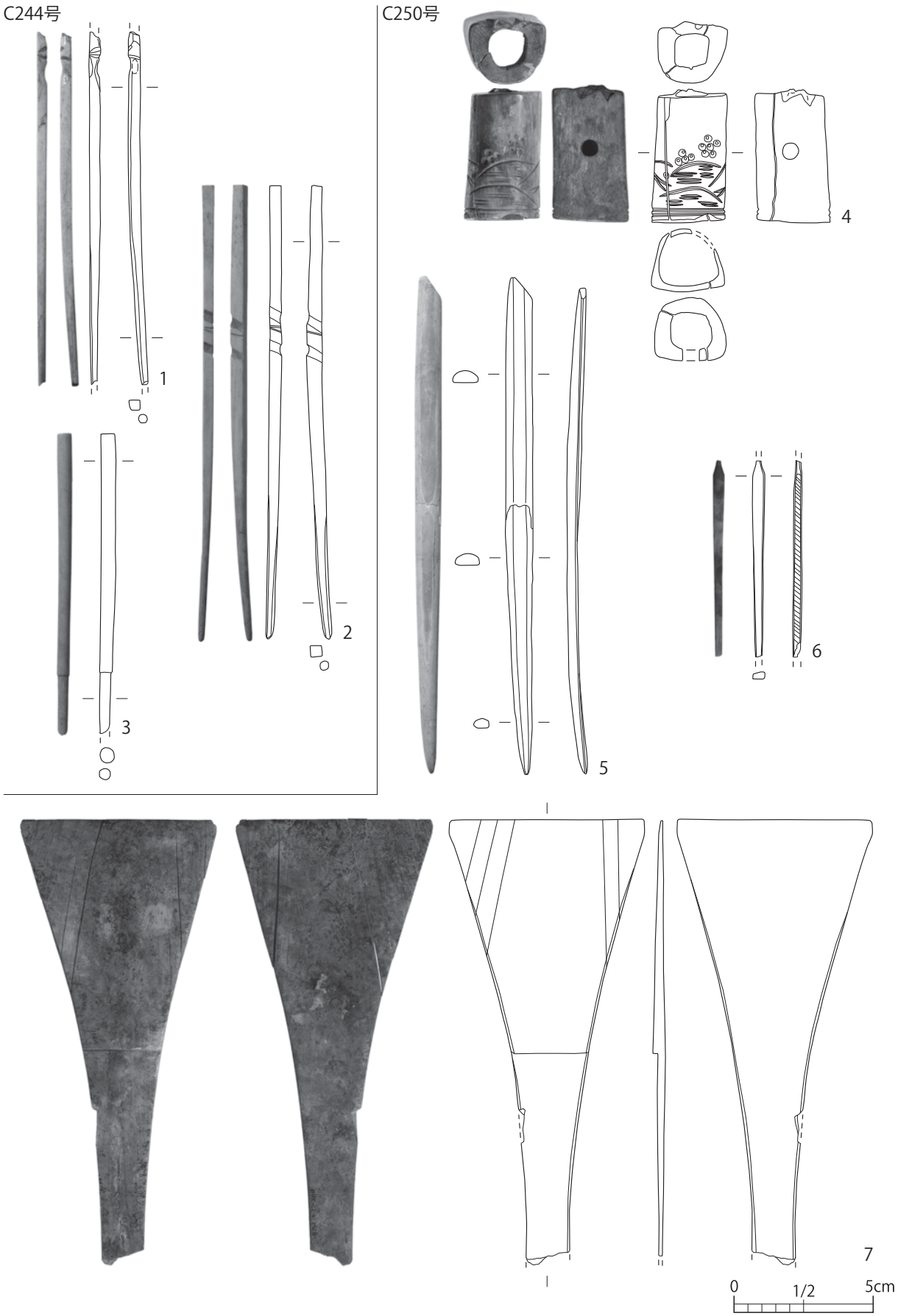
第 319 図 1 ～ 7 は C536 号出土で、1 は断面楕円形の耳掻き、2 は第 318 図 2 と類似する箸である。3 は円筒状で厚さ 1.5 ～ 2mm に刳り抜かれた鍼と考えられ、やや厚い 4 も同様であろう。5 は貝杓子で、イタヤ貝右殻を素材とし、腹縁は摩耗し、貫通孔を 1 か所のみ確認した。6 は加工痕の残る鹿角の残滓で、おおよそ 1cm 四方の格子目状に素材を採取したことが分かる。7 は物差しで、1 寸単位で短い線刻、5 寸単位で長い線刻がみられる。8 ～ 11 は遺構外出土のボタンで、いずれも中央に窪みが作出されている。



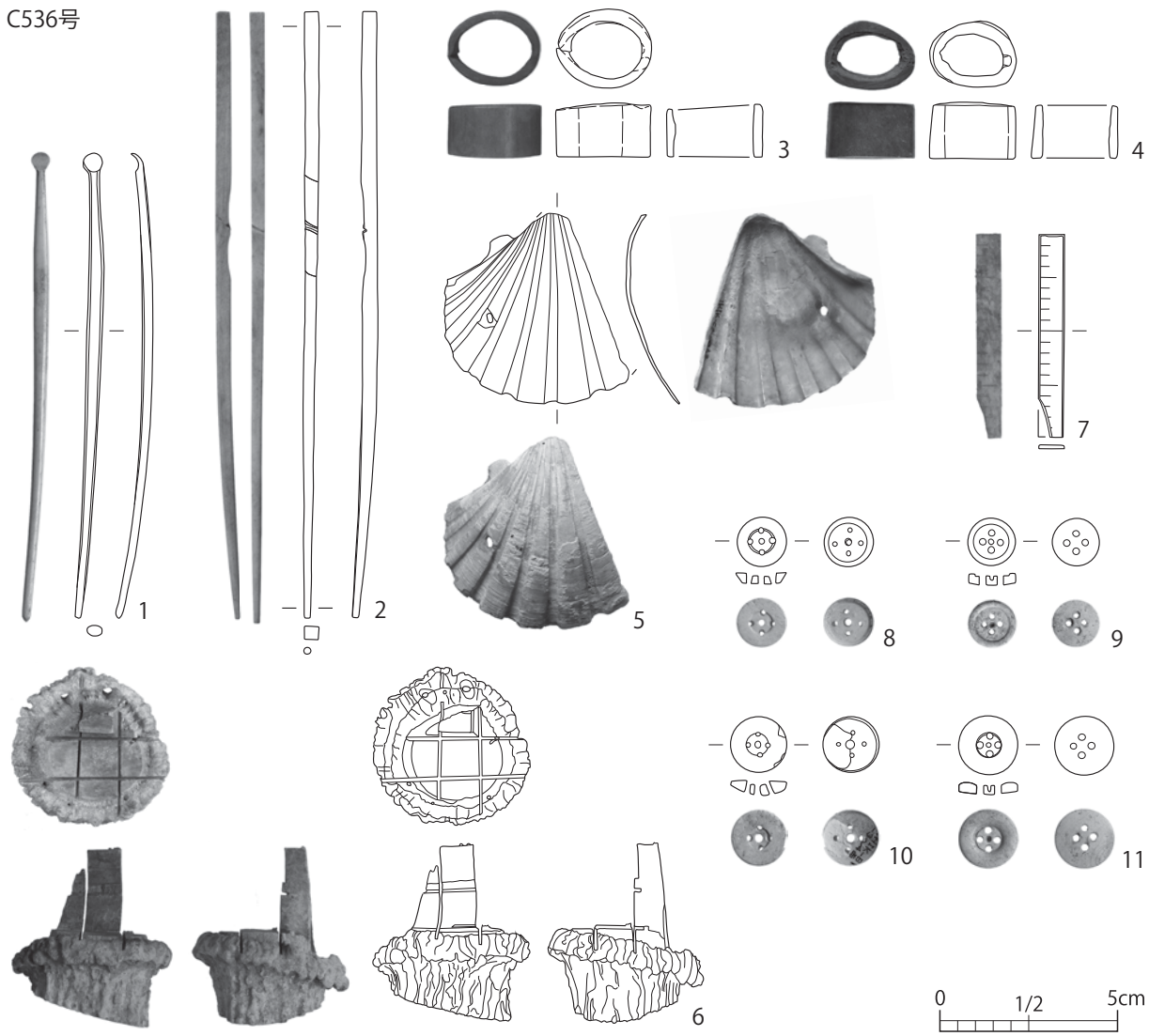
第 316 図　骨角貝製品（1）（1/2）



第 317 図　骨角貝製品（2）（1/2）



第 318 図　骨角貝製品（3）（1/2）



第 319 図　骨角貝製品（4）（1/2）

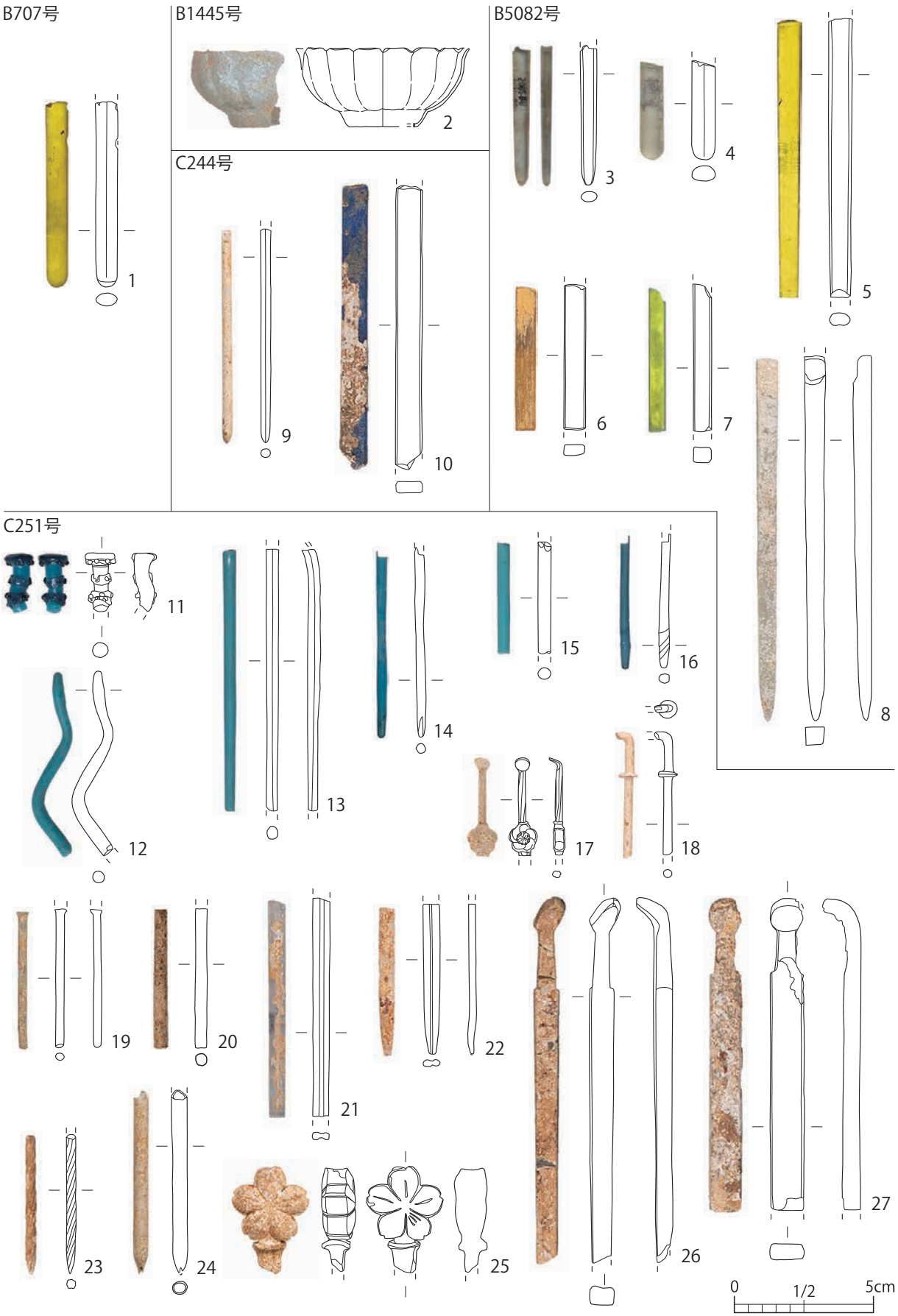
第 108 表　骨角貝製品観察表

掲載番号		出土地点	器種 種別	材質	特徴	残存率 (%)	法量 (mm)			重量 (g)	整理 番号
挿図	番号						長さ	幅	厚み		
316	1	B1 号タタキ下部	ボタン	骨製	断面長方形 / 径 2mm の穿孔 5 か所 / 欠損部再加工	100	16	16	3.5	0.9	26025
316	2	B588 号	鏃か	骨製	円筒状 / 厚さ 1 ～ 1.5mm に刳り抜き / 二次被熱	50	16	28	2	1.6	26012
316	3	B588 号	緒締	骨製	球形 / 中央に径 5mm の穿孔	70	17.1	18.8	18.5	5.4	26118
316	4	B588 号	締具	骨製	断面隅丸長方形 / 径 5mm の穿孔 2 か所	70	(17.5)	7	4	0.4	26081
316	5	B589 号	ボタン	骨製	断面半円形 / 表面に円形・放射状の線刻 / 裏面に内部で連結する径 3mm の糸孔 2 か所	100	17.5	17	2.5	0.5	26060
316	6	B589 号	不明円筒製品	骨	円筒状 / 表面にケズリ痕顕著	90	41.5	22	22	7.5	26122
316	7	B890 号	櫛	牙製	断面板状 / 棟に一部赤色漆残存	90	160.5	28	4	16.4	26006
316	8	B2305 号	髪撫	骨製	断面板状 / 表面平滑	60	(83.5)	75	1.7	1.6	26089
316	9	B2384 号	双六の駒	骨製	円盤状 / 表面平滑で一部剥落	90	20.5	20.5	3.5	1.3	26090
316	10	B2399 号	笄か	骨製	棒状 / 断面方形	100	152	5	4	2.7	26095
316	11	B2731 号	貝杓子	貝製	イタヤ貝右殻 / 腹縁摩耗 / 貫通孔 2 か所	90	71	85	1.9	15.2	26091
316	12	B2748 号	櫛払	骨製	断面長方形 / ブラシ部穿孔 1 列 / 裏面に線刻 1 条	40	(63)	4	5.5	1.3	26007
316	13	B2793 号	笄	骨製	棒状 / 断面円形 / 表面平滑	60	(78)	4	4	1.9	26008
316	14	B2952 号	髪撫	骨製	棒状 / 断面板状 / 表面平滑	100	114	11	4	3.8	26011
316	15	B2952 号	横おし	骨製	銀杏形 / 断面板状 / 表裏面に文字（表：「■」「寿■」「寿別かれ■」、裏：「山とに■」「寿■」「寿■」）	60	(70)	26	2	1.8	26009
317	1	B3084 号	賽子	角製か	立方体	90	12	11.5	11	1.3	26005
317	2	B5086 号	櫛払	骨製	断面長方形 / ブラシ部穿孔 2 列 / 背面に線刻	80	(136.2)	9.6	4.3	5.7	26085
317	3	B5086 号	ボタン	骨製	断面半円形 / 裏面に内部で連結する径 3mm の糸孔 2 か所	100	15	15	2.7	0.4	26073
317	4	B5086 号	ボタン	骨製	断面半円形 / 裏面に内部で連結する径 3mm の糸孔 2 か所	100	15.5	15.5	3.2	0.7	26075
317	5	B5086 号	ボタン	骨製	断面半円形 / 裏面に内部で連結する不整形の糸孔 2 か所	100	12	12	2.7	0.4	26074
317	6	B5086 号	撥先か	貝製	銀杏形 / 断面板状 / 先端直線状に加工 / 表皮一部残存	70	(33)	(50)	2.5	5.1	26114
317	7	B5086 号	双六の駒	骨製	円盤状 / 表面平滑	100	19	18.5	4	1.7	26076
317	8	C111 号	髪撫	骨製	断面板状 / 剥離した表面のみ残存 / 墨書「冂」「女」「禾」	破片	(91)	9	(0.5)	0.7	26003
317	9	C140 号	鹿角切断品	角製	不定形 / 切断痕 2 か所	100	66	54	3.7	80.6	26123
318	1	C244 号	箸	牙製か	断面方形 / 上端部に線刻	80	(127)	4	4	3	26015
318	2	C244 号	箸	骨製	断面方形 / 正面・左側面に斜位の線刻	100	16.3	5	4	4.8	26013
318	3	C244 号	髪撫	骨製	棒状 / 断面円形 / 先端部に段を作出	80	(108)	5	5	3	26014
318	4	C250 号	根付か	骨製	円筒状 / 線刻による草花文 / 裏面中央に径 6mm の穿孔	100	47.9	26	70	22.9	26001
318	5	C251 号	髪撫	骨製	棒状 / 断面半円形	100	179	95	4.6	7.3	26004
318	6	C251 号	耳掻きか	骨製	棒状 / 断面方形 / 右側面に擦痕	80	(71.9)	4.4	2.9	1	26088
318	7	C251 号	撥	骨製	銀杏形 / 断面板状 / 中央に段を作出 / 先端部は組織に沿ってひび割れ	90	(160)	70	5	23.4	26016
319	1	C536 号	耳掻き	骨製	棒状 / 断面楕円形	100	131	4.5	3	1.9	26017
319	2	C536 号	箸	骨製	断面方形 / 正面中央に凹み・斜位の線刻	100	171	4	5	4.0	26018
319	3	C536 号	鏃か	骨製	円筒状 / 厚さ 1.5 ～ 2mm に刳り抜き	100	27	23	16	4.1	26124
319	4	C536 号	鏃か	骨製	円筒状 / 厚さ 2 ～ 3mm に刳り抜き	100	16	24	4	4.7	26002
319	5	C536 号	貝杓子	貝製	イタヤ貝右殻 / 腹縁摩耗 / 貫通孔 1 か所	50	53.5	(47)	2.9	7.4	26019
319	6	C536 号	鹿角素材	角製	不定形 / 加工痕の残る鹿角残滓 / 縦横の切り込み / 中央は 1cm 四方の立方体素材を採取か	100	50	44	43.5	35.1	26110
319	7	C536 号	物差し	角製	板状 / 長短の線刻 / 線刻の間隔は約 3mm	90	57	7	1.2	0.8	26111
319	8	B1-1 区 2~3 面	ボタン	骨製	断面逆台形 / 径 1.5mm の穿孔 5 か所	100	14	14	3	0.7	26023
319	9	B1-1 区 2~3 面	ボタン	骨製	断面長方形 / 径 1.5mm の穿孔 4 か所 / 表面中央に円形刺突 1 か所	100	13.1	13.1	3.3	0.5	26021
319	10	B1-1 区 3~4 面	ボタン	骨製	断面長方形 / 径 2mm の穿孔 1 か所 / 径 1.5mm の穿孔 4 か所	90	16	16	3.7	0.8	26050
319	11	B1-1 区 2~3 面	ボタン	骨製	断面長方形 / 径 2mm の穿孔 4 か所 / 表面中央に円形刺突 1 か所	完形	16.7	16.7	35	0.9	26020

（10）ガラス製品（第 320 ～ 322 図、第 109 表）

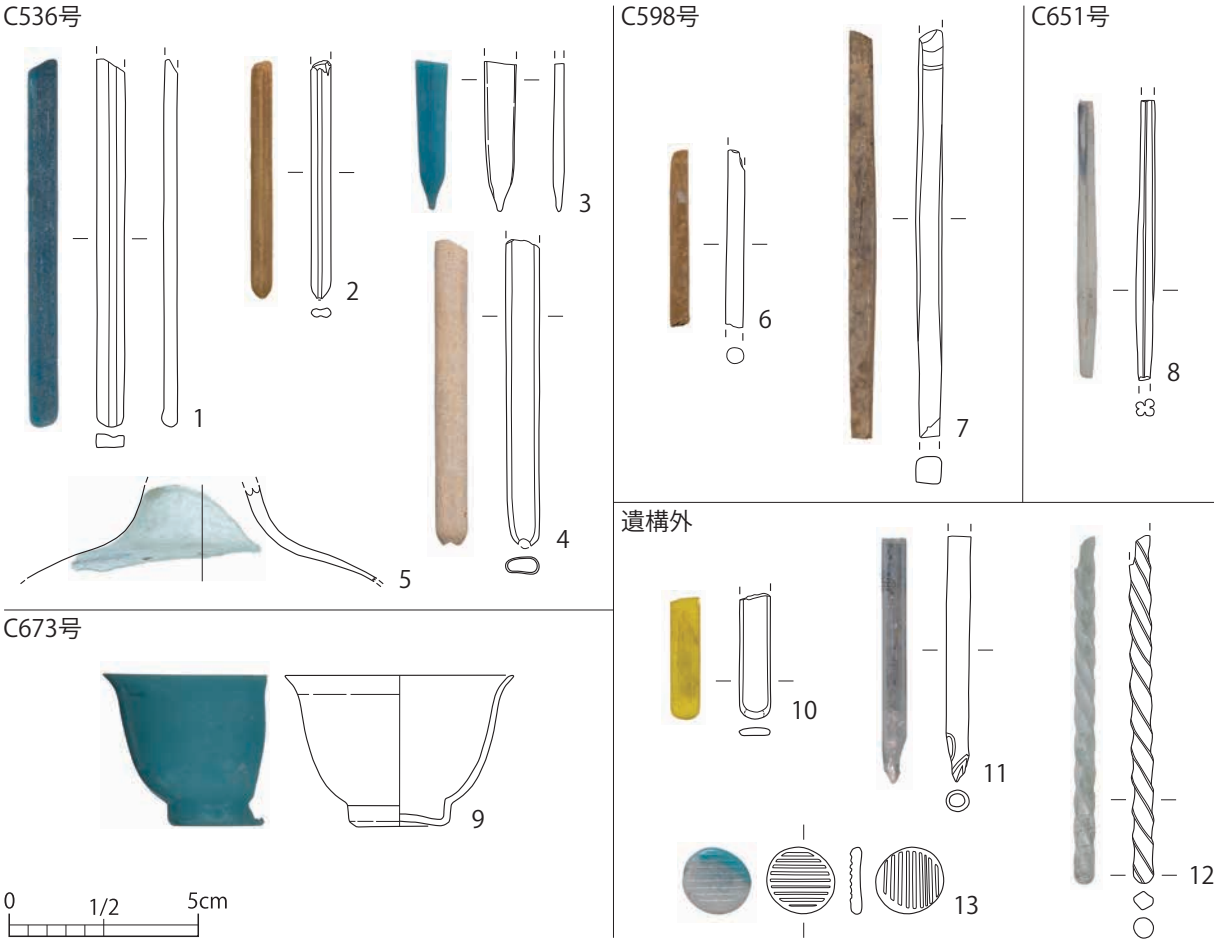
近世のガラス製品は、出土数は限定的であるが、その多くが簪や笄といった結髪道具で、わずかに器物が含まれる。材質は鉛ガラスと考えられ、色調や形態にバリエーションがみられる。19 世紀代に比定される C251 号・C536 号からの出土が目立つ。

第 320 図 1 は B707 号出土の笄で、断面は楕円形、色調は黄色半透明である。2 は 1445 号出土の輪花形の碗で、色調は無色半透明である。3 ～ 8 は B5082 号出土の笄で、3 ～ 5 は断面楕円形、6 ～ 8 は長方形ないしは方形を呈する。9・10 は C244 号出土で、9 は断面円形の簪と考えられ、色調は無色半透明と推測されるが表面の白色層が顕著で判然としない。10 は断面長方形の簪である。11 ～ 27・第 321 図 1 ～ 10 は C251 号出土である。11 は水色不透明の簪で、先端に青色半透明のガラスを溶着し装飾を施す。12 ～ 16 は水色不透明で断面円形の簪で、12 は大きく屈曲し、16 は先端がややねじれている。17 ～ 24 は無色の簪で、17 は先端部が耳掻き状となり、中位に花弁状の装飾がある。18 は先端部が L 字状に屈曲し、中位に円盤状の装飾がみられる。21・22 は断面扁平で表裏の中央に溝状の凹みがある。23 は全体にねじりが施され、24 は断面円形で中空となる。25 ～ 27・第 321 図 1 ～ 8 は笄で、第 320 図 25 は先端が桜の花弁状の装飾がみられる。26・27・第 321 図 1 は断面長方形で、先端が耳掻き状を呈するもので、第 321 図 2・3 も同様の装飾がなされていた可能性があろう。4 は断面が方形、5・6 は長方形を呈する。7・8 は全体にねじりが施される。9 は水色不透明の連弁状の碗である。10 は円盤状を呈する用途不明品で、周縁部に打ち欠いたような痕跡が観察される。第 321 図 11 は C305 号出土の黄色半透明の笄で、断面は円形を呈する。12 は C521 号出土の簪と考えられ、断面円形で、白色不透明の本体の上位に赤色透明のガラスで花弁状の装飾が施される。13 ～ 23・第 322 図 1 ～ 5 は C536 号出土である。13 ～ 16 は簪で、13 は水色不透明の本体の先端に白色半透明のガラス溶着し、さらに緑色半透明のガラス溶着し装飾を施す。14 ～ 16 は全体にねじりが施されるもので、14 は先端が U 字状に屈曲する。17 ～ 23・第 322 図 1 ～ 4 は笄で、17 は耳掻き状の先端部、18 は平面六角形で表面に凹凸が施された先端部のみが遺存する。19・20 はいずれも断面長方形のもので、表面は白色層が顕著にみられる。21 は無色半透明のもので、意匠は不明ながら表面に草花状の装飾が施される。22・23 も無色不透明で、22 は断面長方形で表面が銀化している。第 322 図 1・2 はともに中央に溝状の凹みを有するもので、1 は水色半透明、2 は黄色半透明で、いずれも表面に浅黄橙色の付着物がみられる。3 は断面扁平の笄先端部で、水色不透明で先端が尖っている。4 は白色不透明で断面は楕円形を呈する中空の笄である。5 は瓶と考えられ、無色半透明で表面は白色層がみられる。6・7 は C598 号出土で、断面円形でやや細い 6 は簪、断面方形で太い 7 は笄とした。いずれも表面に浅黄橙色の付着物が顕著にみられる。8 は C651 号出土で、断面は方形ながら各民に溝状の凹みを有し、白色不透明の本体の上部に青色透明のガラスを溶着して装飾を施す簪である。9 は C673 号出土の小坏で、水色不透明のガラスを素材とし、口縁は端反形を呈する。10 ～ 13 は遺構外出土で、10 は生糸半透明で断面円楕円形の笄、11 は無色透明で断面円形かつ中空の簪、12 は無色半透明で全体にねじりが施された笄である。13 はおはじきで、無色透明の本体に白色不透明・水色不透明のガラスが溶着され、表裏ともに複数条の溝がみられる。



第 320 図　ガラス製品（1）（1/2）

第 321 図　ガラス製品（2）（1/2）



第 322 図　ガラス製品（3）（1/2）

第 109 表　ガラス製品観察表

掲載番号		出土地点	種別 器種	特徴	色調	透明度	残存率 (%)	法量 (mm)			重量 (g)	整理 番号
挿図	番号							長さ	幅	厚み		
320	1	B707 号	笄	断面楕円形 / 表面銀化	黄色	半透明	40	(67)	8	4.5	6.4	27006
320	2	B1445 号	碗	輪花形 / 表面白色層	無色	半透明	30	(62)	28	24	5.3	27012
320	3	B5082 号	笄	断面楕円形 / 表面銀化	無色	透明	30	(50)	6	4	2.8	27023
320	4	B5082 号	笄	断面楕円形 / 表面銀化	無色	半透明	20	(34)	8.5	6	4.4	27020
320	5	B5082 号	笄	断面楕円形 / 表面銀化	黄色	半透明	70	(100)	8	4.5	10.9	27019
320	6	B5082 号	笄	断面長方形 / 表面浅黄橙色層	黄色	半透明	30	(52)	7.5	4	4.6	27021
320	7	B5082 号	笄	断面方形 / 表面銀化	黄色	半透明	30	(53)	6.5	6	6.4	27022
320	8	B5082 号	笄	断面方形 / 表面白色層	無色	半透明	80	(131)	7	6.5	18.3	27018
320	9	C244 号	簪	断面円形 / 表面白色層顕著	無色	半透明	60	(77)	3.5	3.5	1.9	27031
320	10	C244 号	笄	断面長方形 / 表面白色層	青色	半透明	70	(152)	9.5	4	14.2	27036
320	11	C251 号	簪	断面円形 / 先端に青色半透明ガラス溶着し装飾	水色	不透明	10	(21)	10.4	10.4	1.9	27106
320	12	C251 号	簪	断面円形	水色	不透明	50	(56.5)	5	5	2.5	27118
320	13	C272 号	簪	断面円形	水色	不透明	60	(94)	4	4.5	3.0	27049
320	14	C251 号	簪	断面円形	水色	不透明	60	(68)	3.5	3.5	1.3	27151
320	15	C251 号	簪	断面円形	水色	不透明	30	(40)	4.5	4.5	1.4	27128
320	16	C251 号	簪	断面円形 / 先端部ねじり / 二次被熱	水色	不透明	30	(48.4)	3.5	3.5	0.8	27145
320	17	C251 号	簪	断面円形 / 花弁状の装飾 / 先端部耳掻き状 / 表面白色層	無色	半透明	30	(35)	10	4	1.7	27154
320	18	C251 号	簪	断面円形 / 表面白色層顕著	無色	透明	30	(44)	6.5	6.5	1.3	27141
320	19	C251 号	簪	断面円形 / 表面銀化	無色	透明	80	(50)	3	4	1.2	27121
320	20	C251 号	簪	断面円形 / 表面白色層顕著	無色	透明	30	(50)	4	4	3	27155
320	21	C272 号	簪	断面扁平 / 表裏中央に溝 / 表面白色層	無色	半透明	50	(78)	6	2.5	3	27052
320	22	C250 号	簪	断面扁平 / 表裏中央に溝 / 表面白色層顕著	無色	半透明	30	(54)	6	2.5	2	27040
320	23	C251 号	簪	断面円形 / 表面白色層顕著 / ねじり	不明	不明	30	(50)	3.5	3.5	1.2	27150
320	24	C251 号	簪	断面円形 / 中空 / 表面白色層顕著	無色	透明	40	(66)	6	6	2	27159
320	25	C251 号	笄	断面長方形 / 先端部に桜の花弁装飾 / 表面白色層顕著	無色	半透明	20	(38)	27	12	18.6	27104
320	26	C251 号	笄	断面長方形 / 先端部耳掻き状 / 表面白色層顕著	無色	透明	80	(131)	8.5	7	18.4	27131
320	27	C251 号	笄	断面長方形 / 先端部耳掻き状 / 表面白色層顕著	無色	半透明	70	(112)	11.7	6.6	22.1	27114
321	1	C251 号	笄	断面長方形 / 先端部耳掻き状 / 表面白色層顕著	無色	半透明	50	(81)	12	7	17.7	27162
321	2	C251 号	笄	断面長方形 / 表面銀化	無色	透明	90	(163.5)	7	4.5	17.1	27143
321	3	C251 号	笄	断面長方形 / 表面白色～褐色層顕著	無色	透明	70	(104)	11.3	5.6	12.4	27113
321	4	C251 号	笄	断面方形 / 表面白色層顕著	無色	不明	70	(91)	7.6	6	12.1	27133
321	5	C251 号	笄	断面長方形 / 表面銀化	無色	透明	70	(91.5)	81	4.5	10.6	27117
321	6	C250 号	笄	断面長方形 / 表面白色層	無色	半透明	50	(79)	9.5	4	8.2	27037
321	7	C251 号	笄	断面円形 / ねじり / 表面白色層	青色	半透明	30	(57.5)	5.9	5.9	3.7	27149
321	8	C252 号	笄	断面円形 / ねじり / 表面白色層顕著	無色	白色層	60	(103)	8	4.5	10.8	27042
321	9	C251 号	小玉	連弁状	水色	不透明	30	(44)	(39.5)	—	4.8	27105
321	10	C251 号	不明	円盤状 / 周縁に打ち欠き痕 / 表面白色層	無色	半透明	100	17.3	17.3	1.1	0.8	27136
321	11	C305 号	笄	断面円形 / 表面浅黄橙色層	黄色	半透明	70	(84)	5.7	5.7	6.8	27171
321	12	C521 号	簪	断面円形 / 赤色透明ガラスで花弁状装飾溶着	白色	不透明	50	(69)	8	8	4.4	27165
321	13	C536 号	簪	断面円形 / 先端に白色半透明ガラス溶着→緑色半透明ガラス溶着し装飾	水色	不透明	30	(64)	5	5	3.1	27101
321	14	C536 号	簪	断面円形 / ねじり	白色	不透明	20	(36)	(18)	3.9	1.7	27079
321	15	C536 号	簪	断面円形 / ねじり / 表面白色層顕著	無色	半透明	20	(63.5)	4.9	4.9	3.3	27080
321	16	C536 号	簪	断面円形 / ねじり	白色	半透明	30	(54.5)	3.5	3.5	1.3	27088
321	17	C536 号	笄	断面長方形 / 先端部耳掻き状 / 表面白色層	無色	半透明	10	(30)	13.4	3.5	2.9	27058
321	18	C536 号	笄	断面長方形 / 先端部に細かな凹凸を有する装飾	無色	半透明か	10	(18)	8.5	6.5	3.9	27070
321	19	C536 号	笄	断面長方形 / 表面白色層顕著	無色	透明	80	(150)	9	4	16.4	27092
321	20	C536 号	笄	断面長方形 / 表面白色層顕著	無色	透明	30	(62)	7.5	3.5	5.7	27098
321	21	C536 号	笄	断面長方形 / 正面・右側面に草花状文様 / 表面銀化	無色	半透明	30	(42.8)	9.4	5	5.6	27084
321	22	C536 号	笄	断面長方形 / 表面銀化	無色	半透明	40	(78)	9	4	9.3	27097
321	23	C536 号	笄	断面方形 / 表面白色層	無色	半透明	20	(57)	75	5.5	6.4	27066
322	1	C536 号	笄	断面長方形 / 表面浅黄橙色層	水色	半透明	70	(97)	7	3.7	7.2	27069
322	2	C536 号	笄	断面楕円形 / 表面浅黄橙色層	黄色	半透明	30	(63)	5.2	2.5	2.6	27083
322	3	C536 号	笄	断面楕円形	水色	不透明	20	(39.5)	8.4	3.1	1.6	27076
322	4	C536 号	笄	断面楕円形 / 中空	白色	不透明	50	(81)	9	4.5	3.4	27093
322	5	C536 号	瓶	表面白色層	無色	半透明	20	(37)	(46)	—	13.6	27100
322	6	C598 号	簪	断面円形 / 表面浅黄橙色層	黄色	不透明か	30	(47)	4.6	4.6	2.9	27178
322	7	C603 号	笄	断面方形 / 表面浅黄橙色層	無色	半透明	70	(107.6)	7.2	7.4	3.0	27179
322	8	C651 号	簪	断面方形 /4 側面に溝 / 青色透明ガラス溶着	白色	不透明	50	(74)	5.5	5.5	2.8	27181
322	9	C673 号	小玉	端反形	水色	不透明	40	(60	40	26	13.2	27182
322	10	B1-1 区 3~4 面	笄	断面楕円形 / 表面銀化	黄色	半透明	20	(33)	8	2.5	2.3	27001
322	11	C2-3 区撹乱	簪	断面円形 / 中空 / 表面銀化	無色	透明	50	(65)	6	6	2.3	27166
322	12	C2-6 区 2~3 面	笄	断面円形 / ねじり / 表面銀化	無色	半透明	70	(92)	5.2	5.2	5.7	27170
322	13	C1 区基礎 25 号	おはじき	断面板状 / 白色不透明・水色不透明ガラス溶着	無色	透明	100	17.5	17.5	3	1.3	27027

（11）近代以降の陶磁器（第 323 ～ 327 図、第 110・111 表）

近代以降の陶磁器は、軍用食器を中心としてわずかに出土が見られた。

陸軍士官学校を示す「士」のマークを有するものは、碗（第 323 図 7 ～ 10）、丼（第 323 図 12）、皿（第 324 図 10）等の器種が認められる。また「陸」の文字がある碗（第 323 図 5）、「陸軍省」の文字がある湯呑（第 324 図 1）、陸軍を示す星形のマークを有する鉢（第 323 図 15）や灰皿（第 325 図 10）等がある。「硬陶」のマークを有する硬質陶器も半数程度含まれ、碗（第 323 図 7 ～ 9）、皿（第 324 図 10・11）、また破片資料として散見される（第 327 図）。統制番号を有する資料も多く、「岐」「名」の生産地がある。第 325 図 10 の灰皿は、「信」「240」と読める。

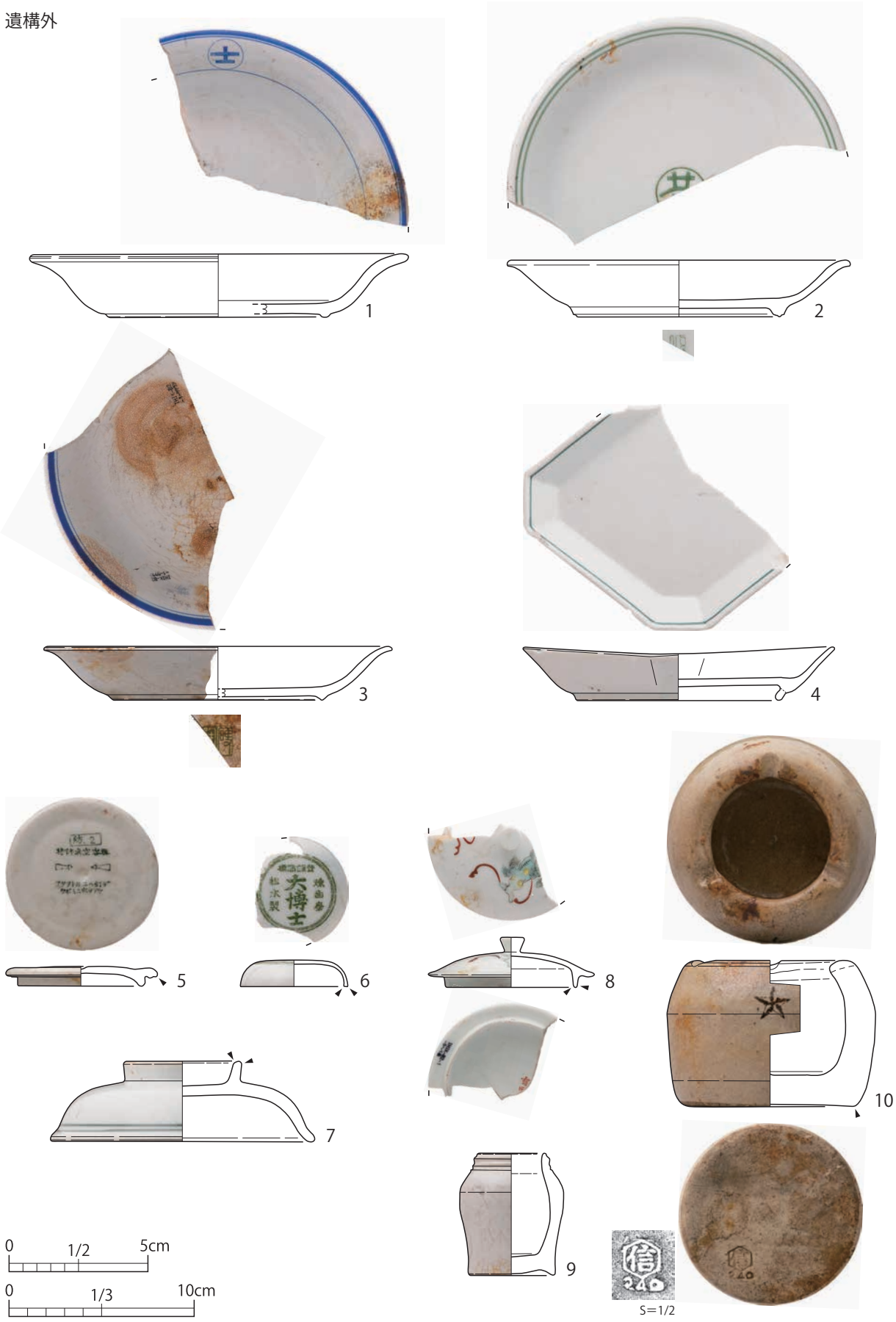
このほか、「M」の刻印がある陶製のインク瓶（第 323 図 1、第 326 図 4）、「ERVEN LUCAS BOLS」「HET LOOTSJE」「AMSTERDAM」「1LITER」との刻印があるジンボトル（第 326 図 3）、練歯磨き粉容器（第 325 図 6）、また店名と電話番号が記された通い徳利（第 326 図 1）もある。

第 323 図　近代以降の陶磁器（1）（1/2・1/3）

遺構外

第 324 図　近代以降の陶磁器（2）（1/3）

遺構外

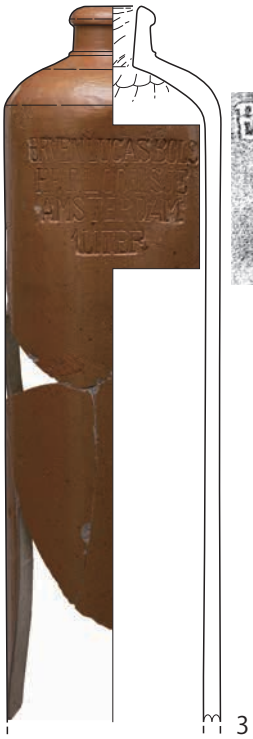


第 325 図　近代以降の陶磁器（3）（1/2・1/3）

遺構外

1

2


3

S=1/2

4

S=1/2

S=1/2

0 1/2 5cm

0 1/3 10cm

第 326 図　近代以降の陶磁器（4）（1/2・1/3）

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11-1

11-2

12-1

12-2

13

14

15

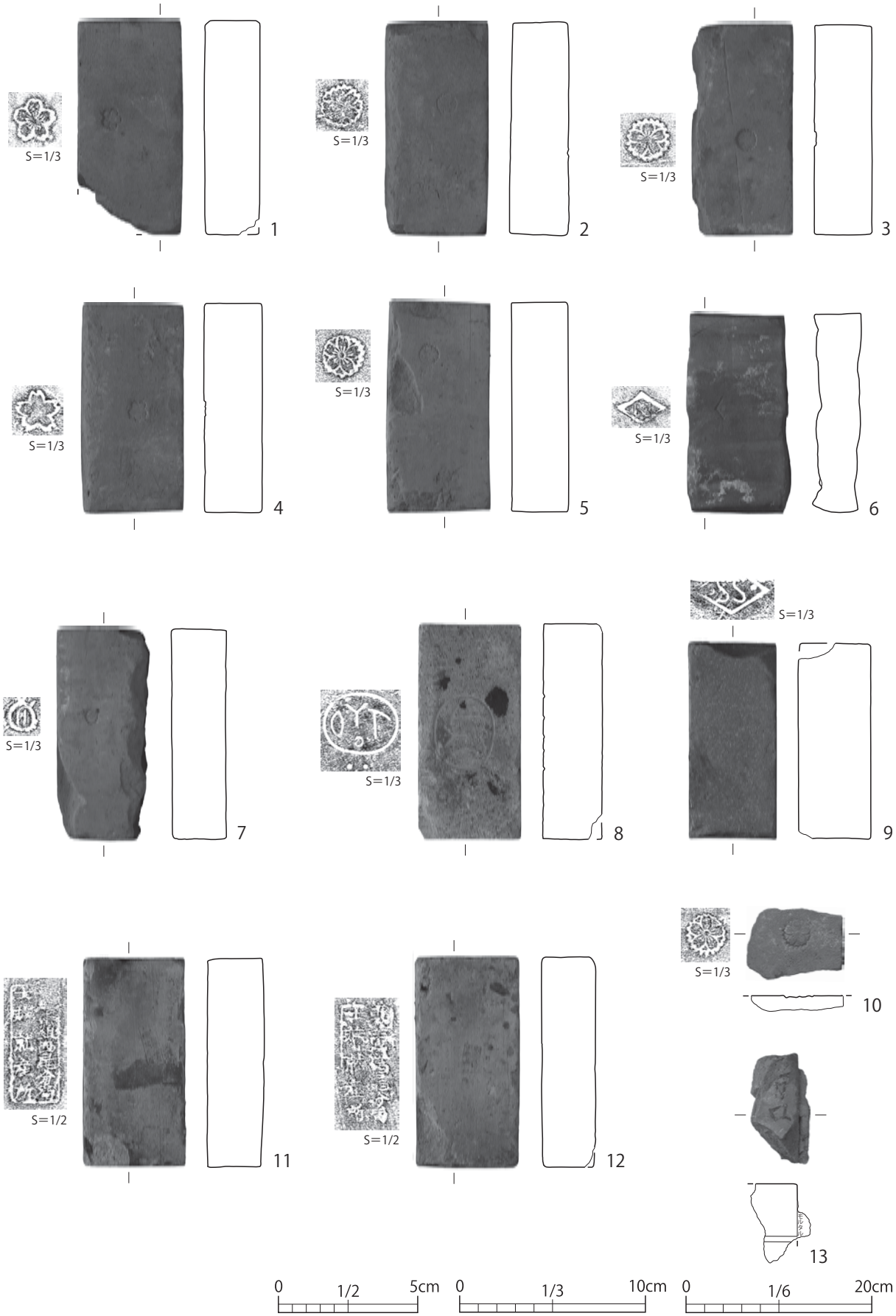
第 327 図　近代以降の陶磁器　文字資料（縮尺任意）

第 110 表　近代以降の陶磁器観察表（1）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	残存率 (%)	法量 (mm)			重量 (g)	胎土色調	釉薬等	特徴	整理番号
挿図	番号						口径	器高	底径					
323	1	B1 号	陶器	瓶	インク瓶	10	—	(109)	87	252	にぶい橙	鉄釉	外面下部に刻印：「MARUZENINK・TOKYO」/ 底面に刻印：○に「M」	30023
323	2	B1000 号	磁器	鉢	蓋物	30	86	(54)	95	79	灰白	透明釉	外面褐色スタンプ：「防衛食」「大日本防空食糧・・」	30010
323	3	B1000 号	磁器	瓶	燗徳利	10	—	(124)	60	130	白	透明釉	高台内青色染付文字：「原平」	30015
323	4	B2772 号	陶器	鉢	蓋物	10	110	(69)	—	39	灰白	染付	口縁内青色二重圏線	30021
323	5	C16 号	磁器	碗	大碗	40	153	66	56	184	白	染付	口縁緑色二重圏線 / 外面に緑色文字：「陸」	30024
323	6	C16 号	磁器	蓋		90	140	44	—	287	白	染付	外面緑色二重圏線	30031
323	7	B2-1 区 1~2 面	硬質陶器	碗	中碗	50	104	57	36	104	灰白	染付	口縁青色二重圏線 / 外面中央に青色マーク：○に「土」/ 高台内青色スタンプ：「硬陶」	30019
323	8	B2-1 区撹乱	硬質陶器	碗	中碗	40	106	57	39	87	灰白	染付	口縁青色二重圏線 / 外面中央に青色マーク：○に「土」/ 高台内緑色スタンプ：「硬陶」	30018
323	9	B2-1 区撹乱	硬質陶器	碗	中碗	80	108	57	40	127	灰白	染付	口縁青色二重圏線 / 外面中央に青色マーク：○に「土」/ 高台内緑色スタンプ：「硬陶」	30017
323	10	C2 区基礎 44 号撹乱	磁器	碗	中碗	50	104	52	36	116	白	染付	口縁緑色二重圏線 / 外面中央に緑色マーク：○に「土」	30025
323	11	B2-3 区 0~1 面	磁器	鉢	丼	50	162	79	63	309	白	染付	口縁青色二重圏線	30008
323	12	C2 区基礎 43 号撹乱	硬質陶器	碗	大碗	40	146	75	60	215	灰白	染付	口縁青色二重圏線 / 外面中央に青色マーク：○に「土」/ 高台内方形枠あり	30032
323	13	C2-2 区基礎 60 号撹乱	磁器	鉢	丼	40	147	84	60	172	白	染付	口縁緑色二重圏線 / 高台内：瓢箪枠か	30030
323	14	B2-2 区撹乱	磁器	鉢	丼	60	156	82	65	260	灰白	染付	口縁緑色二重圏線	30007
323	15	B2-1 区 0~1 面	磁器	鉢		40	165	66	94	248	灰白	透明釉	見込み緑色スタンプ / 高台内銘不詳	30009
323	16	B2-3 区 0~1 面	磁器	碗	大碗	20	130	(60)	—	97	白	染付	口縁緑色二重圏線 / 外面中央緑色スタンプ：「東一」「NH」	30001
323	17	C1 区基礎 25 号	磁器	碗	小碗	10	81	(39)	—	17	白	染付	口縁青色二重圏線 / 外面中央青色文字：「靖國神社」	30027
324	1	B2-3 区 0~1 面	磁器	碗	湯呑	40	68	70	43	73	灰白	染付	口縁緑色二重圏線 / 外面中央緑色スタンプ：「陸軍省」/ 底面型押で統制番号か	30002
324	2	C2-2 区基礎 45 号撹乱	磁器	碗	湯呑	100	66	67	43	141	白	染付	口縁緑色二重圏線 / 底面瓢箪枠内に緑色文字：「日陶製」	30026
324	3	B2-1 区撹乱	磁器	碗	湯呑	40	64	72	36	83	白	透明釉	底面型押でマークあり	30003
324	4	C2 区基礎 44 号撹乱	磁器	碗	湯呑	40	63	66	34	51	白	透明釉	外面に文字：「木村」/ 底面青色文字不詳	30028
324	5	B1-3 区 2 面	磁器	碗	湯呑	30	67	73	36	63	白	染付	吹絵による草花文 / 外面赤色文字：「留守業務部職員組・・」「結成第三周・・」	30004
324	6	B1 号下撹乱	磁器	鉢	合子	100	53 × 39	23	33 × 24	62	白	透明釉	練歯磨き粉入れ / 底面青色スタンプ：「鹿印煉り歯磨」「濯々堂製造」「賣捌元」「東京馬喰町二丁目」「花王石鹸本舗」「長瀬富郎」	30006
324	7	C2 区基礎 44 号撹乱	硬質陶器	皿	小皿	90	103	21	56	79	灰白	染付	口縁内青色マーク：○に「土」か	30039
324	8	C2 区基礎 44 号撹乱	硬質陶器	皿	小皿	50	104	21	56	44	灰白	染付	口縁内青色二重圏線・○に「土」か / 高台内青色スタンプ：「硬陶」	30038
324	9	C2 区基礎 44 号撹乱	硬質陶器	鉢		10	—	(23)	80	156	灰白	染付	底面青色スタンプ：「硬陶」	30040
324	10	C2 区基礎 44 号撹乱	硬質陶器	皿	中皿	50	193	35	113	277	灰白	染付	口縁内青色二重圏線・○に「土」/ 高台内青色スタンプ：「硬陶」	30034
324	11	C2 区基礎 44 号撹乱	硬質陶器	皿	中皿	50	198	36	115	327	灰白	染付	口縁内青色二重圏線 / 高台内青色スタンプ：「硬陶」	30033
324	12	C2 区基礎 44 号撹乱	硬質陶器	皿	中皿	10	236	26	140	69	灰白	染付	口縁内青色二重圏線	30035
324	13	C2 区基礎 44 号撹乱	硬質陶器	皿	中皿	30	194	35	115	168	灰白	染付	口縁内青色二重圏線・見込み圏線	30037
325	1	C2 区基礎 44 号撹乱	硬質陶器	皿	中皿	20	197	34	116	120	灰白	染付	口縁内青色二重圏線・○に「土」	30036
325	2	C2-2 区基礎 45 号撹乱	磁器	皿	小皿	50	186	31	109	186	白	染付	口縁内緑色二重圏線 / 見込み中央に文字：「共」か / 高台内統制番号：「岐」	30029
325	3	B2-1 区撹乱	硬質陶器	皿	中皿	30	184	29	112	108	灰白	染付	口縁内青色二重圏線 / 高台内緑色スタンプ：「硬陶」	30020
325	4	B1-3 区 2 面	磁器	皿	中皿	60	166 × 144	29	110 × 90	136	白	染付	口縁内緑色圏線	30005
325	5	B2-2 区撹乱	磁器	蓋		100	66	11	82	67	灰白	透明釉	上部に緑色文字：「防 .2」「特許眞空容器」「フタヲトルニハ釘デクボミニ穴ヲアケ」	30012
325	6	B1-2 区 0~1 面	磁器	蓋		60	58	14	58	12	白	透明釉	上部に緑色文字：「登録商標」「煉歯磨」「大博士」「松本製」	30014
325	7	B1-2 区 0~1 面	磁器	蓋	丼	50	139	44	61	161	灰白	染付	外面緑色二重圏線	30011
325	8	B2-1 区 0~1 面	磁器	蓋		40	70	27	90	23	白	透明釉	上絵付で獅子文 / 内面に赤色文字：「有田・・」	30013
325	9	B1-3 区 2 面	磁器	瓶	化粧瓶	40	34	66	44	82	灰白	透明釉		30016
325	10	B2-3 区撹乱	陶器	皿	灰皿	100	80	79	94	903	にぶい黄橙	灰釉	外面中央に褐色の星形スタンプ / 底面に刻印：「信」「240」	30022

第 111 表　近代以降の陶磁器観察表（2）

掲載番号		出土地点	材質	種類	器種	残存率 (%)	法量 (mm)			重量 (g)	胎土色調	釉薬等	特徴	整理番号
挿図	番号						口径	器高	底径					
326	1	C2 区基礎 43 号撹乱	陶器	瓶	徳利	80	27	256	125	1140	灰白	灰釉・鉄釉	外面青色文字：「■升吉」「三番町」「電番一、二六三」	30058
326	2	C2 区基礎 44 号撹乱	陶器	瓶	徳利	90	26	226	64	590	灰白	灰釉	外面鉄釉文字「忠」「中屋酒店」	30059
326	3	C1 区撹乱	陶器	瓶	ジンボトル	70	22	(284)	—	747	灰黄褐	鉄釉	外面上部に刻印「ERVEN LUCAS BOLS」「HET LOOTSJE」「AMSTERDAM」「1LITER」	30041
326	4	C1 区基礎 57 号	陶器	瓶	インク瓶	90	42	207	89	919	にぶい橙	鉄釉	外面下部に刻印不詳 / 底面に刻印○に「M」	30042
327	1	C2 区基礎 44 号撹乱	硬質陶器	鉢	丼	破片	—	—	—	64	灰白	染付	高台内青色スタンプ：「硬陶」	30057
327	2	C2 区基礎 44 号撹乱	硬質陶器	碗	中碗	破片	—	—	—	47	灰白	染付	高台内青色スタンプ：「硬陶」	30055
327	3	C1 区基礎 23 号	磁器	皿		破片	—	—	—	—	白	透明釉	底面文字「■■磁器」「SH」「FUJI SEITO」「許」「■3472」	30054
327	4	B1738 号	硬質陶器	皿	中皿	破片	—	—	—	—	灰白	染付	高台内緑色スタンプ：「硬陶」	30053
327	5	B1000 号	磁器	碗	湯呑	破片	—	—	—	—	白	透明釉	底面緑色スタンプ：井桁状の枠・統制番号「岐 3・・」	30044
327	6	B2-3 区 0~1 面	磁器	碗	湯呑	破片	—	—	—	37	白	透明釉	高台内緑色スタンプ：統制番号「岐 518」	30045
327	7	B2-2 区撹乱	磁器	碗	湯呑	破片	—	—	—	—	白	透明釉	底面緑色スタンプ：意匠不明マーク・「SEETO」「岐 49」	30049
327	8	B2-2 区撹乱	磁器	碗	中碗	破片	—	—	—	40	灰白	透明釉	高台内緑色スタンプ：統制番号「岐 1056」	30046
327	9	B2-1 区撹乱	磁器	皿		破片	—	—	—	45	白	透明釉	高台内赤色スタンプ：統制番号「名 31」	30052
327	10	B2-1 区撹乱	磁器	碗	湯呑	破片	—	—	—	—	白	上絵付	高台内赤色文字：「牛・・」「新・・」	30050
327	11	B2-1 区撹乱	磁器	碗	湯呑	破片	—	—	—	37	白	透明釉	高台内緑色スタンプ：統制番号「岐 280」、青色文字：「柴田」	30048
327	12	B2-1 区撹乱	磁器	碗	湯呑	破片	—	—	—	—	白	透明釉	高台内緑色スタンプ：統制番号「岐 290」、青色文字：「西岡」	30047
327	13	B2-1 区撹乱	磁器	碗	湯呑	破片	—	—	—	38	白	透明釉	高台内緑色スタンプ：統制番号「岐 482」	30043
327	14	B1-3 区 1~3 面	磁器	皿		破片	—	—	—	—	白	透明釉	底面中央に緑色スタンプ：「Noritake China」「日陶」「TOKI KAISHA」	30051
327	15	C540 号	硬質陶器	碗	中碗	破片	—	—	—	41	灰白	染付	高台内緑色スタンプ：「硬陶」	30056



第 328 図　レンガ（1/2・1/3・1/6）

第 112 表　レンガ観察表

掲載番号		出土地点	種別	成形	刻印等	残存率 (%)	法量 (mm)			重量 (g)	整理番号
挿図	番号						長さ	幅	厚み		
328	1	C14 号	普通	手抜	刻印：単弁桜花	90	231	110	60	2165	31007
328	2	C14 号	普通	手抜	刻印：複弁桜花	100	230	110	64	2434	31008
328	3	C14 号	普通	手抜	刻印：複弁桜花	90	226	107	62	2213	31009
328	4	C2-1 区	普通	手抜	刻印：単弁桜花	100	225	112	63	2424	31010
328	5	C2-1 区	普通	手抜	刻印：複弁桜花	100	226	110	61	2365	31011
328	6	C2-2 区 0~1 面	普通	手抜	刻印：菱形枠に「N」/ 被熱により変形	100	212	100	50	2149	31012
328	7	B 区	普通	手抜	刻印：円形枠に「ニ」	80	226	99	59	1780	31004
328	8	B2-4 区 0~1 面	耐火	機械	刻印：楕円枠に「OYD」	90	232	110	64	2799	31003
328	9	B2-3 区撹乱	耐火	機械	小口に刻印：菱形枠に「・SS・」	90	210	92	78	3210	31002
328	10	C2-3 区撹乱	普通	手抜	刻印：複弁桜花	破片	(7.0)	(5.2)	(13)	43	31013
328	11	C14 号	普通	手抜	刻印：長方形枠に「東洋組西尾分局」「士族就産所」	90	224	109	61	2453	31006
328	12	B 区	普通	手抜	刻印：長方形枠に「東洋組西尾分局」「士族就産所」	100	226	109	58	2360	31005
328	13	B1-1 区	普通	不明	墨書：「■口」/ モルタル付着	10	(119)	(55)	(87)	452	31001

(12) レンガ（第 328 図、第 112 表）

レンガは主に建物基礎の構築材として一定数確認されているが、このうち刻印を有するものを図示した。

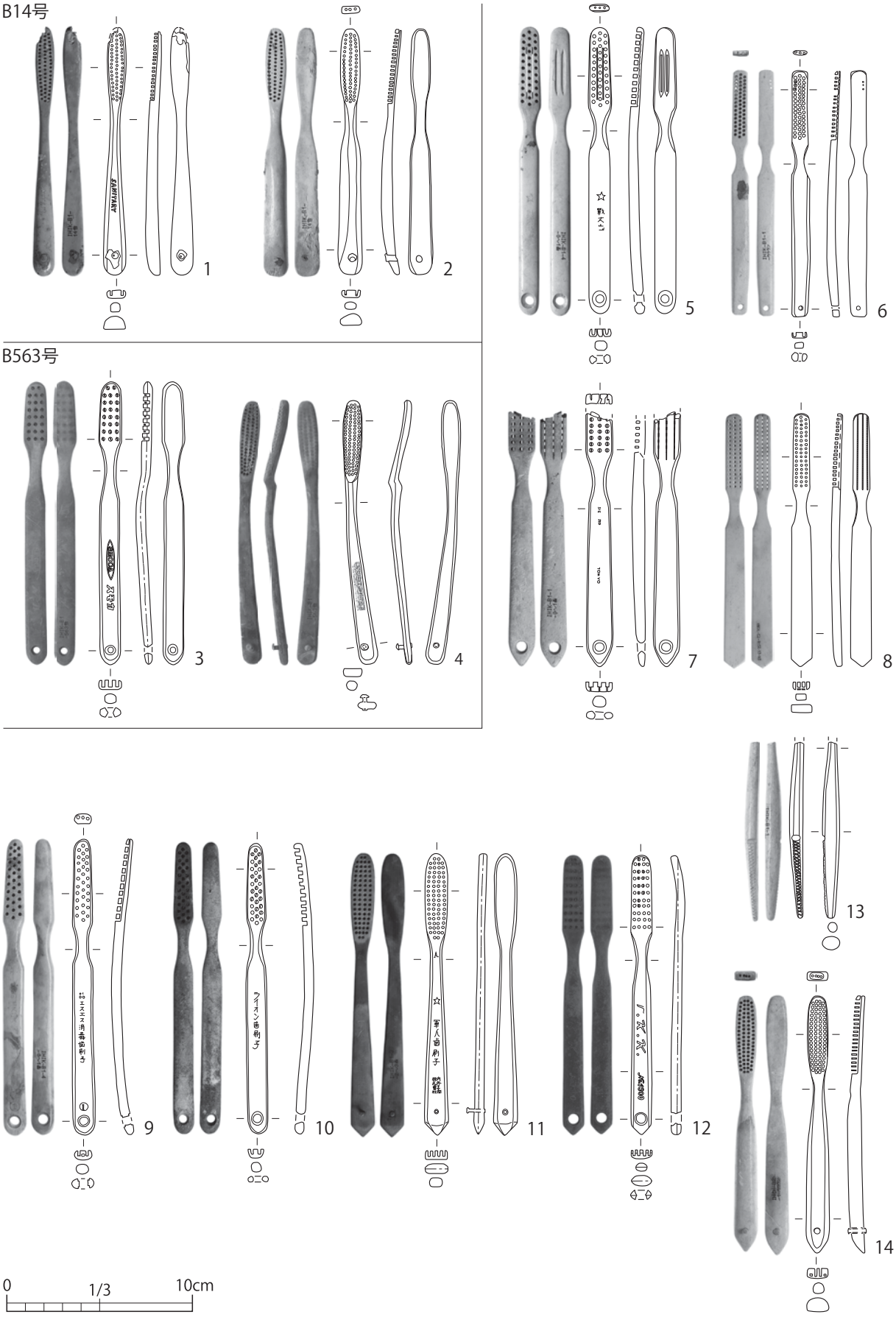
第 328 図 1 ～ 5・10 は桜花を刻印とするもので、1・4 が単弁桜花、その他は複弁桜花である。成形はすべて手抜成形で、小菅集治監製のものと考えられる。6 は被熱により全体的に変形しており、刻印は菱形枠に「N」となる。7 は長手部分の側面が剥離しており、刻印は丸枠に 2 本線である。8・9 は機械成形の耐火煉瓦と考えられ、8 の刻印は楕円枠に「OYD」、9 は菱形枠に「・SS・」となる。11・12 は手抜成形の普通レンガで、刻印はいずれも長方形枠に「東洋組西尾分局」「士族就産所」となり、胎土の色調は 1 ～ 7 に比べて白味が強い。13 はモルタルが付着した破片であるが、「口」と読める墨書が確認されている。

(13) 近代以降の骨・樹脂製品（第 329 図、第 113 表）

近代以降の骨・樹脂製品として、歯ブラシを取り上げた。第 329 図 1・2・5 ～ 10・13・14 が骨製、その他が樹脂製と考えられる。製作技法としては、一つの素材から削り出されるものと貼り合わせにより成形されるものがある。ブラシ部分は遺存していないが、植毛方法については縦方向の各列に穿孔して結束する方式と、植毛孔それぞれに金属板で括り付ける方式が認められる。

刻印としては、1 が「SANITARY」、3 がレンズ状の枠内に「SMOCA」および「スモカ」、5 が遺存状況は不良であるが「☆戦丈歯■■」、7 が「STE ■■■ ZED」「TOKYO」、9 が「エスエス消毒歯刷子」、10 が「ライオン歯刷子」、11 が「A」「☆」「軍人歯刷子」「内外工商株式會社」、12 が「T.K.K.」「No.1300」とそれぞれ判読できる。

柄尻には 8 以外すべてに掛け具孔が穿たれ、このうち 1・2 には金属製、4・11・14 にはおそらく本体と同一素材と考えられる掛け具が残存する。また 13 は柄部側面に格子状の線刻があり、舌苔を除去するものであろう。



第 329 図　近代以降の骨・樹脂製品（1/3）

第 113 表　近代以降の骨・樹脂製品観察表

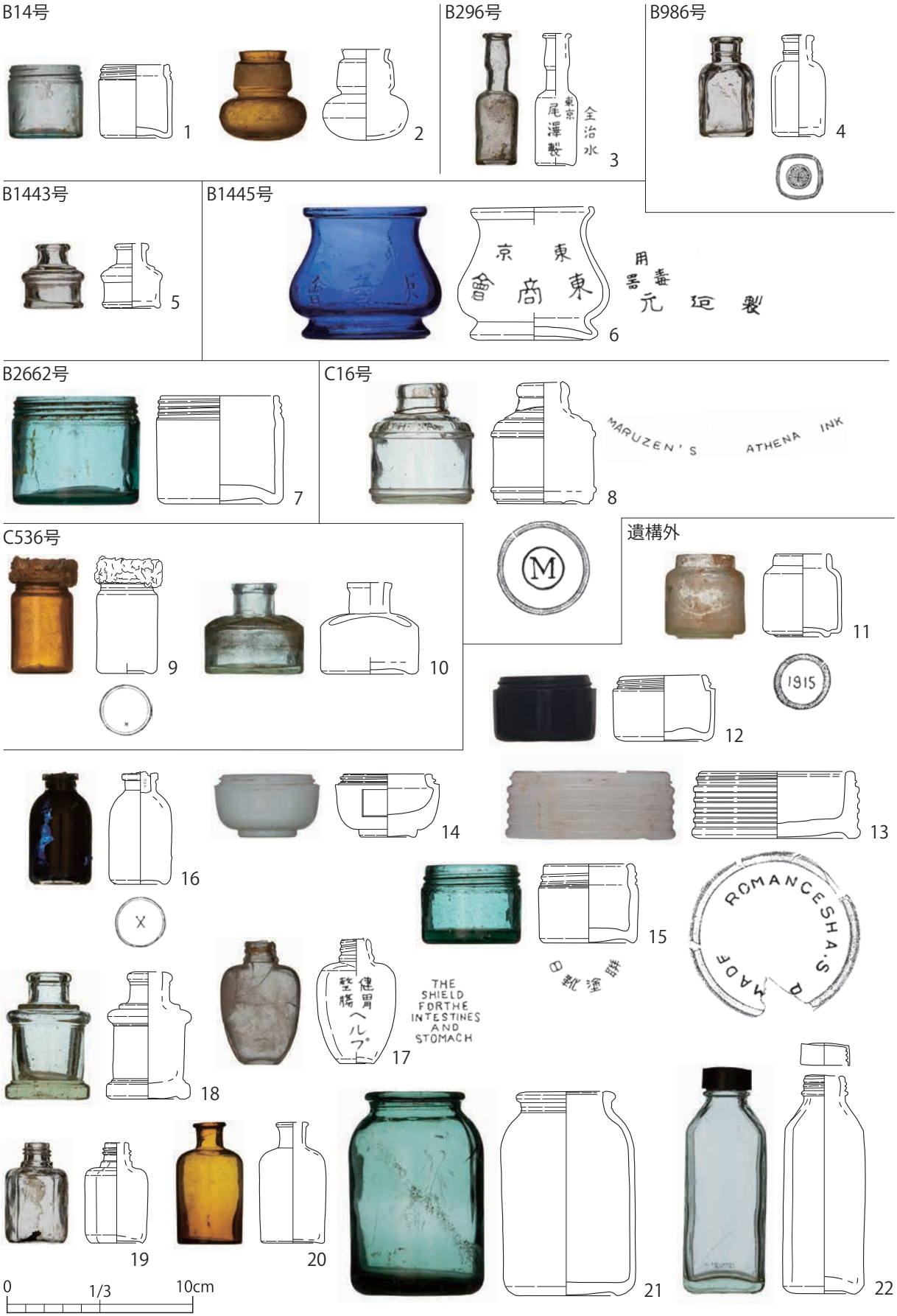
掲載番号		出土地点	種類	材質	特徴	残存率 (%)	法量 (mm)			重量 (g)	整理番号
挿図	番号						長さ	幅	厚み		
329	1	B14 号	歯ブラシ	骨製	断面半円形 / ブラシ部植毛孔 3 列 / 上端部穿孔 3 列 / 柄尻に金属製掛具残存 / 刻印：「SANITARY」	90	134	12	7	10.1	26078
329	2	B14 号	歯ブラシ	骨製	断面半円形 / ブラシ部植毛孔 3 列 / 上端部穿孔 3 列 / 柄尻に径 2mm の掛具孔 / 金属製掛具残存	90	133	13	6	11.4	26080
329	3	B563 号	歯ブラシ	樹脂製	断面楕円形 / ブラシ部植毛孔 3 列 / 植毛孔内に一部金属線残存 / 柄尻に径 7mm の掛具孔 / 刻印：レンズ状枠内に「SMOCA」・「スモカ」	100	142	10	6	5.7	26127
329	4	B563 号	歯ブラシ	樹脂製	断面楕円形 / ブラシ部植毛孔 4 列 / 柄尻に掛具残存 / 文字不詳	100	153	11	2	8.5	26128
329	5	B1-4 区 0~1 面	歯ブラシ	骨製	断面隅丸長方形 / ブラシ部植毛孔 3 列 / 上端部穿孔 3 列 / 貫通線刻 2 列 / 柄尻に径 8mm の掛具孔 / 刻印：「☆戦丈歯■■」/	100	154	12.5	55	13.2	26084
329	6	B1-1 区撹乱	歯ブラシ	骨製	断面隅丸長方形 / ブラシ部植毛孔 3 列 / 上端部穿孔 3 列 / 柄尻に径 3mm の掛具孔	100	132.5	10	7	6.7	26052
329	7	B1-1 区厩礎石下部	歯ブラシ	骨製	断面楕円形 / ブラシ部植毛孔 3 列 / 裏面に線刻 3 列 / 柄尻に径 7mm の掛具孔 / 刻印：「STE ■■■ ZED」「TOKYO」	80	135	14	7	13.9	26079
329	8	C2 区基礎 52・53 号	歯ブラシ	骨製	断面長方形 / ブラシ部植毛孔 3 列 / 裏面に線刻 3 列	100	136	11	44	9.3	26087
329	9	B1-4 区 0~1 面	歯ブラシ	骨製	断面楕円形 / ブラシ部植毛孔 3 列 / 上端部穿孔 3 列 / 柄尻に径 7mm の掛具孔 / 刻印：「エスエス消毒歯刷子」「①」	100	159	11	6	13.5	26061
329	10	B1-3 区 0~2 面	歯ブラシ	骨製か	断面楕円形 / ブラシ部植毛孔 3 列 / 植毛孔内に一部金属線残存 / 柄尻に径 6mm の掛具孔 / 刻印：「ライオン歯刷子」	100	156	11.2	5.3	8.5	26082
329	11	B1-3 区 2~3 面	歯ブラシ	樹脂製か	断面隅丸長方形 / 貼り合わせ成形 / ブラシ部植毛孔 4 列 / 植毛孔内に一部金属線残存 / 柄尻に径 2.5mm の掛具孔 / 掛具残存 / 刻印：「A」「☆」「軍人歯刷子」「内外工商株式會社」	100	153	12	55	9.4	26083
329	12	B1-3 区撹乱	歯ブラシ	樹脂製か	断面楕円形 / 貼り合わせ成形 / ブラシ部植毛孔 4 列 / 植毛孔内に一部金属線残存 / 柄尻に径 7mm の掛具孔 / 刻印：「T.K.K.」「No.1300」	100	155	11.2	5.5	7.6	26058
329	13	B1-1 区 2~3 面	歯ブラシ	骨製	断面楕円形 / ブラシ部欠損 / 柄部側面に格子状の線刻	50	(95)	90	70	6.4	26022
329	14	B2-1 区撹乱	歯ブラシ	骨製	断面半円形 / ブラシ部植毛孔 4 列 / 上端部穿孔 4 列 / 柄尻に径 3mm の掛具孔 / 掛具残存	100	138	12	8	12.4	26062

（14）近代以降のガラス製品（第 330 ～ 332 図、第 114 表）

近代以降のガラス製品として、ガラス瓶を取り上げる。出土したガラス瓶は、飲料瓶・薬瓶・化粧瓶・文具瓶と多岐にわたり、一部が近世以降の遺構に混入するものの、大半が近代以降の整地層等の出土である。現代の所産も含むが、大半が 1960 年代までに収まるもので、調査地点が警視庁敷地となる以前の資料と考えられる。

遺構出土のガラス瓶は、B14 号の第 330 図 1・2 はいずれも薬瓶と考えられ、2 は合わせ蓋となる。B296 号出土の 3 は一般用薬瓶で、コルク栓となり、陽刻は「全治水」「東京」「尾澤製」である。B986 号出土の 4 は調味料瓶と考えられ、底面には丸枠に十字の陽刻が見える。B1443 号出土の 5 は、小型のインク瓶で、陽刻はない。B1445 号出土の 6 は、合わせ蓋で特徴的な形態を呈する薬瓶で、破損により一部判読不能であるが、「東京」「東商會」「用」「毒器」「製造元」とする陽刻がある。B2662 号出土の 7 は、スクリュー栓のクリーム瓶であろうか。C16 号出土の 8 はインク瓶で、肩部には「MARUZEN'S」「ATHENA INK」、底部には丸枠に「M」とする陽刻がある。C536 号出土の 9 は金属製の蓋が残存する薬瓶と考えられ、底部には小さな「H」の陽刻がある。10 は陽刻のないインク瓶で、肩部には筆置きの窪みがある。

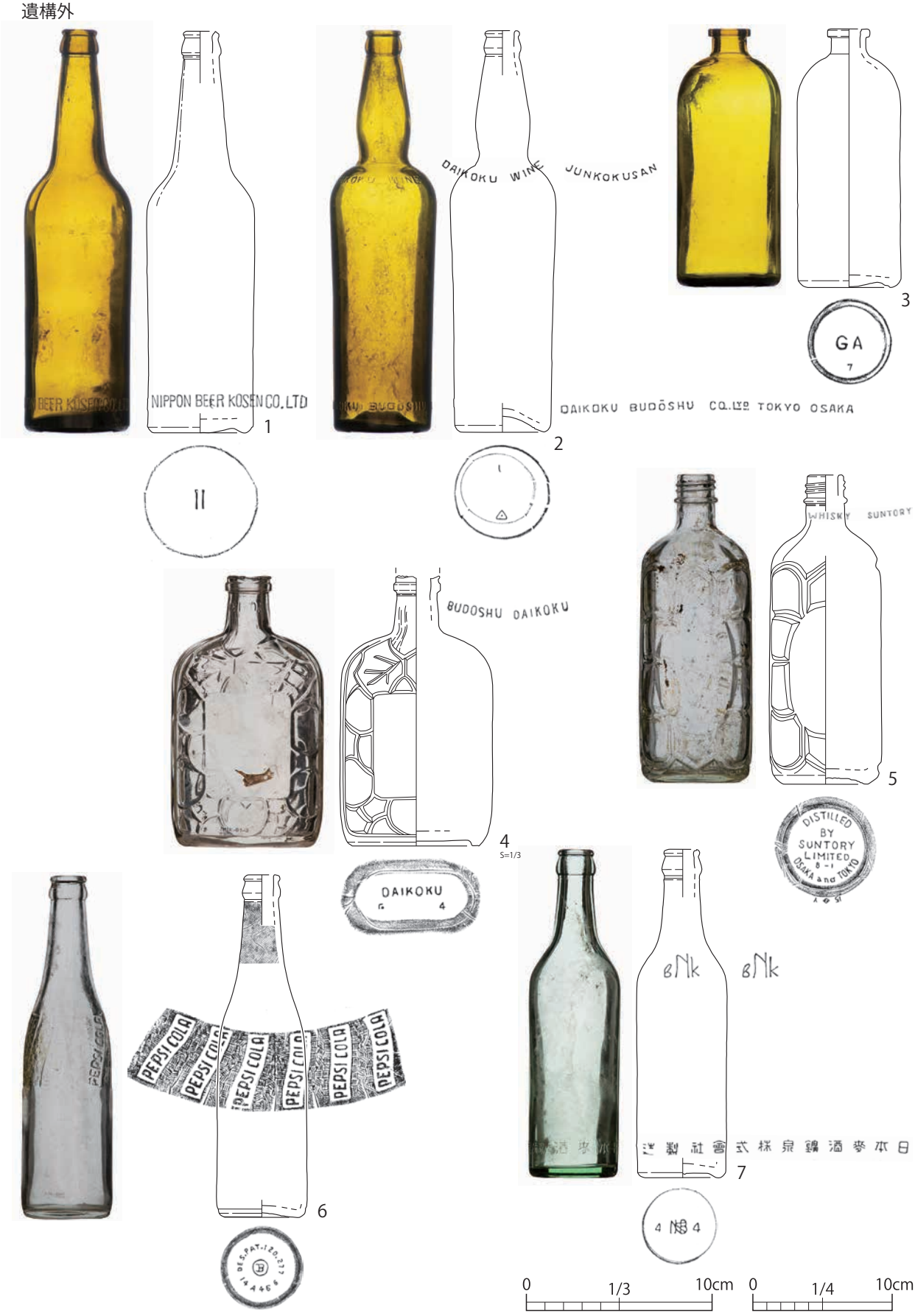
遺構外出土のガラス瓶として、第 330 図 11 は合わせ蓋となる用途不明の円筒形の瓶で、底面に「1915」の陽刻がある。12 はスクリュー栓となる比較的扁平なもので、靴墨瓶であろうか。13 はスクリュー栓のポマード瓶で、底面には「ROMANCESHA.S」「P ■ MADE」とする陽刻がある。14 は化粧品瓶と考えられ、体部には商品名が貼付されていたとみられる長方形の凹みがある。15 はスクリュー栓の靴墨瓶で、底面には「日靴塗聯」の陽刻がある。16 はコルク栓のインク瓶で、内面には群青色のインクが付着している。17 はスクリュー栓の一般用薬瓶で、器壁がとても薄く、体部に「健胃整腸ヘルプ」「THE SHIELD FORTHE INTESTINES AND STOMACH」の陽刻がある。18 は陽刻はないもののインク瓶、19 は角筒状のインク瓶であろうか。20 はコルク栓でなで肩の薬瓶、21 はややいかり肩を呈する用途不明瓶である。22 は樹脂製の蓋が残存する角筒状の瓶で、化粧品瓶と考えられる。第 331 図 1 は食用油の瓶で、スクリュー栓、体部下位に「DAIICHI OIL CO」、底部には方形枠に「大一」の陽刻がある。2 は薬瓶と考えられ、断面は長方形を呈する。3 は合わせ蓋となる用途不明の瓶で、底面に「M」の陽刻がある。4 は化粧品瓶で、体部は格子目状のエンボス加工とともに「LION S」「T S CO”」の陽刻、底面には「175 C.C.」の陽刻がそれぞれみられる。5 はサイダー瓶で、胴部下位に「登録（マーク）商標」「日本麥酒鑛泉株式會社」の陽刻があり、第 332 図 7 も同様である。第 331 図 6 は薬瓶で、底面に菱形枠に「S」等の陽刻がある。7 はビール瓶で、肩部には「TRADE」「MARK」、胴部下位に「DAINIPPON BREWERY CO. LTD」の陽刻がある。8 は養命酒瓶で、肩部には丸枠に飛龍の陽刻、胴部下位に「養命酒」とあり、1949 年製造の可能性がある。第 332 図 1 はビール瓶で、胴部下位に「NIPPON BEER KOSEN CO.LTD」とある。2 はいかり肩を呈するワイン瓶で、肩部に「DAIKOKU WINE」「JUNKOKUSAN」/ 胴部下位に「DAIKOKU BUDOSHU CO.LTD」「TOKYO OSAKA」の陽刻がある。3 は底面に「GA」の陽刻がある。4 は断面扁平のワイン瓶で、首部に「DAIKOKU BUDOSHU」とある。5 は角筒状のウイスキー瓶で、首部に「SUNTORY WHISKY」の陽刻がある。6 はコーラ瓶で、肩部がエンボス加工、胴部上位に「PEPSI COLA」とある。



第 330 図　近代以降のガラス製品（1）（1/3）

第 331 図　近代以降のガラス製品（2）（1/3・1/4）

遺構外



第 332 図　近代以降のガラス製品（3）（1/3・1/4）

第 114 表　近代以降のガラス製品観察表

掲載番号		出土地点	種種	特徴	色調	透明度	残存率 (%)	法量 (mm)			重量 (g)	整理番号
挿図	番号							口径	器高	底径		
330	1	B14 号	薬瓶	スクリュー栓	無色	透明	100	34	39.5	33	38.5	27215
330	2	B14 号	薬瓶	合わせ蓋	褐色	半透明	100	24	49	11	296	27213
330	3	B296 号	薬瓶	一般用薬瓶 / コルク栓 / いかり肩 / 胴部に陽刻：「全治水」「東京」「尾澤製」	無色	透明	100	12	71	19	16	27219
330	4	B986 号	薬瓶	コルク栓 / いかり肩 / 胴部角筒形 / 底面に陽刻：円形マーク	無色	透明	100	17.6	54.2	24	31.8	27007
330	5	B1443 号	文具瓶	インク瓶 / コルク栓	無色	透明	100	18.6	34.8	28.7	20	27009
330	6	B1445 号	薬瓶	合わせ蓋 / 胴部中央に陽刻：「東京」「東商會」「・・用」「・・毒器」「製造元」	コバルト色	半透明	90	64.5	72	59	136	27011
330	7	B2662 号	日常生活瓶	クリーム瓶か / スクリュー栓	水色	透明	100	62	58.5	61	168	27017
330	8	C16 号	文具瓶	インク瓶 / コルク栓 / 銅線残存 / 肩部に陽刻：「MARUZEN'S」「ATHENA INK」/ 底部に陽刻：○に「M」	無色	透明	100	21.5	66	49	97.1	27026
330	9	C536 号	薬瓶	スクリュー栓 / 金属製蓋残存 / 底面に陽刻：「H」	褐色	半透明	100	(17.8)	(61)	27	43.8	27216
330	10	C536 号	文具瓶	インク瓶 / コルク栓 / 肩部に凹み	無色	透明	100	17	49	47.5	74.9	27211
330	11	B1-1 区 0~1 面	日常生活瓶	合わせ蓋 / 円筒形 / 底面に陽刻：「1915」	無色	半透明	100	29	44.5	28	44.1	27214
330	12	B1-3 区 2~3 面	日常生活瓶	スクリュー栓	黒色	不透明	100	43	35.5	44	73.9	27208
330	13	B1-3 区 2 面	化粧瓶	ポマード瓶 / スクリュー栓 / 底面に陽刻：「ROMANCESHA. S」「P ■ MADE」	乳白色	不透明	100	80	46	85	224.1	27222
330	14	B1-3 区 2~3 面	化粧瓶	クリーム瓶 / スクリュー栓	乳白色	不透明	100	46	34	29	86.5	27209
330	15	B1-3 区 1 面	日常生活瓶	靴墨瓶 / スクリュー栓 / 底面に陽刻：「日靴塗聯」	水色	透明	100	45	42.5	48	82	27207
330	16	B1-3 区 1 面	日常生活瓶	インク瓶 / コルク栓 / なで肩	無色	透明	100	14	61	26	42.1	27212
330	17	B・C 区	薬瓶	一般用薬瓶 / スクリュー栓 / 胴部扁平 / いかり肩 / 胴部に陽刻：「健胃整腸ヘルプ」「THE SHIELD FORTHE INTESTINES AND STOMACH」	無色	半透明	100	13.5	(67)	17.5	26.2	27218
330	18	B1-2 区撹乱	日常生活瓶	インク瓶 / スクリュー栓 / いかり肩 / 胴部角筒形	無色	透明	100	11	54	28	28.8	27217
330	19	B1-2 区撹乱	日常生活瓶	インク瓶 / コルク栓 / 底面に陽刻「×」	無色	透明	100	15	68.5	39.5	104.2	27210
330	20	B1-4 区 0~1 面	薬瓶	コルク栓 / いかり肩	褐色	半透明	100	17.9	65.1	33.3	25.8	27008
330	21	B1-2 区撹乱	不明瓶	いかり肩	水色	透明	100	43	110	46	232	27203
330	22	B1-3 区 4~5 面	化粧瓶か	スクリュー栓 / 胴部角筒形 / 樹脂製蓋残存	無色	透明	100	19	122	34	109	27205
331	1	B1-2 区撹乱	食用瓶	食用油脂瓶 / スクリュー栓 / なで肩 / 胴部下位に陽刻：「DAIICHI OIL CO」/ 底面に陽刻：□に「大一」	薄水色	半透明	100	13.5	162.5	49	272	27202
331	2	B1-3 区 2 面	薬瓶	スクリュー栓 / 胴部断面長方形	無色	半透明	100	3	63	31	35.2	27221
331	3	C2 区基礎 66 号	日常生活瓶	合わせ蓋 / 底面に陽刻：「M」	水色	半透明	100	54	71	40	148	27206
331	4	B1-2 区撹乱	化粧瓶	コルク栓 / いかり肩 / 胴部格子目状のエンボス加工 / 胴部中央に陽刻：「LION S」「T S CO"」/ 胴部下位に陽刻：「175 C.C.」	無色	透明	100	16	157.5	32	162	27204
331	5	B1-2 区撹乱	清涼飲料瓶	サイダー瓶 / 合わせ蓋 / なで肩 / 胴部下位に陽刻：「登録（マーク）商標」「日本麥酒鑛泉株式會社」/ 底面に陽刻：不明記号	無色	透明	100	185	235.5	51	483	27198
331	6	B1-2 区 0~1 面	薬瓶	コルク栓 / いかり肩	褐色	透明	100	26	199.5	63	357	27200
331	7	B1-2 区 0~1 面	酒瓶	ビール瓶 / 合わせ蓋 / いかり肩 / 肩部に陽刻：「TRADE[（マーク）MARK（マーク）」/ 胴部下位に陽刻：「DAINIPPON BREWERY CO. LTD」/ 底面に陽刻：☆に○・「A」	褐色	半透明	100	20	288	64	633	27193
331	8	B1-3 区 2~3 面	薬瓶	養命酒瓶 / スクリュー栓 / いかり肩 / 肩部に陽刻：飛龍マーク / 胴部下方に陽刻：「養命酒」/ 底部に陽刻：「6」・菱形に「N」・「A」/1949 年製か	褐色	透明	100	21.5	288	57	605	27195
332	1	B1-2 区撹乱	酒瓶	ビール瓶 / 合わせ蓋 / いかり肩 / 胴部下位に陽刻：「NIPPON BEER KOSEN CO.LTD」/ 底部に陽刻：２本線	褐色	透明	100	20.5	288.5	66	678	27192
332	2	B1-2 区撹乱	酒瓶	ワイン瓶 / コルク栓 / いかり肩 / 肩部に陽刻：「DAIKOKU WINE」「JUNKOKUSAN」/ 胴部下位に陽刻：「DAIKOKU BUDOSHU CO.LTD」「TOKYO OSAKA」/ 底面に陽刻：「1」・△に点	褐色	透明	100	20	288.5	60	663	27194
332	3	B1-2 区撹乱	薬瓶	コルク栓 / なで肩 / 底面に陽刻：「GA」「7」	褐色	透明	100	26	186	61	323	27201
332	4	B1-2 区攪乱	酒瓶	ワイン瓶 / いかり肩 / 胴部扁平 / 首部に陽刻：「DAIKOKU BUDOSHU」/ 底面に陽刻：「DAIKOKU」・「に点・「4」	無色	透明	90	(23)	(146)	68	255.1	27223
332	5	B1-3 区	酒瓶	ウイスキー瓶 / スクリュー栓 / いかり肩 / 胴部角筒形 / 首部に陽刻：「SUNTORY WHISKY」/ 底面に陽刻：「DISTILLED」・「BY」・「SUNTORY」・「LIMITED」・「8-1」・「OSAKA and TOKYO」「15」・菱形に「N」・「Y」	無色	透明	100	23	222	60	551	27196
332	6	B1-2 区撹乱	清涼飲料瓶	コーラ瓶 / 合わせ蓋 / なで肩 / 肩部エンボス加工 / 胴部中央に陽刻：「PEPSI COLA」/ 底部に陽刻：「DES. PAT.120.277」・「14A466」・○に「B」	無色	透明	100	18	246	54	398	27199
332	7	B1-2 区撹乱	清涼飲料瓶	サイダー瓶 / 合わせ蓋 / なで肩 / 肩部に陽刻：「BNK」/ 胴部下位に陽刻：「日本麥酒鑛泉株式會社製造」/ 底部に陽刻：「4」「NKB」「4」	薄水色	透明	100	20	236	54	451	27197

Ⅵ　文献史料の調査

尾張徳川家市谷屋敷西側添地の拝領前における土地と利用

渋谷 葉子（徳川林政史研究所）

はじめに

本稿は尾張徳川家の上屋敷であった市谷屋敷のうち、江戸時代中期の明和５年（1768）、幕府より与えられた西側の添地の場所について、その拝領前の土地と利用のあり方を明らかにしようとするものである(1)。

具体的には江戸時代初めから明和５年の間の様相を描いた江戸図類に主に基づいて、そののち尾張徳川家（以下、尾張家とする）の市谷屋敷の西側添地となる場所（以下、調査地とする）の利用のあり方とその変遷を整理する。

これに当り、絵図に加えて文献史料から見出された屋敷地所持者交代の情報も網羅した第 115 ～ 117 表「尾張家添地以前 屋敷地所持者変遷」と、その所持者のうち大名・旗本の履歴を整理した第 118 ～ 121 表「尾張家添地以前 屋敷地所持者履歴」を作成したので、適宜参照しつつ稿を進める。

１．江戸時代初め～延宝期

第 122 表「延宝年中以前の土地利用」は、「御府内往還其外沿革図書」（以下「沿革図書」とする）(2)のうち「延宝年中之形」（1673 ～ 81、第 336 図上）に基づいた各範囲⓪～⑨（第 343 図「土地範囲区分」、丸番号は以下、範囲№とする）を、それ以前の様相を描いた３点の絵図、「江戸全図」（寛永 19 ～ 20 年・1642 ～ 43、第 333 図）、「江戸大絵図」（明暦３年・1657、第 334 図）、「新板江戸外絵図」（寛文 12 年・1672、第 335 図）と照らし合せて範囲ごとに記載をまとめたものである。

まず指摘されるのが、⓪と①～⑪は成り立ちが異なる点である。⓪の範囲は元来「加賀大姫君様」、つまり加賀藩主前田光高の室、大姫（清泰院）が所持した屋敷地の南西端に当るが、同人が明暦３年に没したのを機に、この屋敷地は幕府に収公されて、寛文４～５年（1664 ～ 1665）頃までには概ね幕臣屋敷に転換しており(3)、⓪も同時に旗本に割り与えられたと考えられ、結果的に７家が拝領した。与えられた旗本は家禄から概ね中級に位置づけられ、そうした者たちの居住する地域となった。そして以後一帯は元来の所持者、加賀藩に由来して「市谷加賀屋敷」と俗称された。

一方①～⑪は概ね大縄地（組屋敷）で、主に江戸城防備のため江戸北西部に多く設定されたもののうちであった。まず①～③・⑥・⑦は一貫して留守居番の大縄地で、各範囲に記名された組頭配下の与力・同心に分割支給された。なお①～⑪一帯は俗に「（市谷）大隅町」と称されたが、これは①～③・⑥・⑦が「松平大隅（守）」（松平重則）配下の与力・同心の大縄地だったことに由来する。④の細工同心町屋は細工頭配下の同心の拝領町屋敷である。拝領町屋敷は町人地が武家（主に微禄の幕臣）に与えられたもので、拝領者はそこを町人に貸与して収入を得ることが許された。したがって④には町人が混住していたと考えられる。⑤は初め大番組大縄地で、理由は不詳だが明暦３年までに留守居番

大縄地に転換したもようで、その配下に支給されたとみられる。⑧・⑨は先手鉄炮組の大縄地で、⑧は一貫してその同心への支給地だったが、⑨は出雲広瀬藩主松平家の屋敷に転換した。これは寛文7年（1667）10月28日、同家立藩に伴い同年6月に初めて拝領した北本所の屋敷地と相対替して獲得したもので(4)、具体的には北本所屋敷3,600坪のうち2,500坪を旗本筒井織部の四谷屋敷6,200坪と交換、さらにこれを先手安藤九郎左衛門組与力5人・同心30人の組屋敷、市谷本村6,189坪と交換し、加えて筒井家へ金700両、安藤組与力・同心へ金1,200両を、それぞれ引料（移転料）として支払った。こうして獲得した市谷本村屋敷は、広瀬藩松平家の上屋敷とされた。⑩・⑪は当初は書院番の大縄地で、理由は不詳だが寛文12年までには大番組の大縄地に転換したもようで、その同心らへ分割支給されたと考えられる。

2．享保期前後

「沿革図書」のうち「享保年中之形」（1716～36、第336図下）によれば、調査地の西～南側へ折回しに「火除明地」が設定された。これは享保10年（1725）2月14日、青山久保町から四谷、市谷、小石川を経て谷中まで延焼した大火を受けて、南は赤坂御門近辺から北は牛込御門にかけて、谷地形を取り込みつつ帯状に設けられたもので、その位置取りが外堀の外側、かつ尾張家の市谷屋敷を囲む形となっていることから、設定の目的は外堀の内側及び尾張家市谷屋敷への延焼防止にあったとの指摘がある(5)。享保10年の大火では尾張家市谷屋敷も全焼を免れなかったため、その元来の高台の立地と前方（東南側）の外堀に加え、背後（北西側）も火除明地で防御しようとした幕府の意図が窺える。

火除明地の設定に当り、幕府は必要な土地を収公していった。調査地のうちその対象となったのは、範囲№で言うと⓪西半と③、⑦、⑨・⑩南部と⑪で、具体的な上地月日（何れも享保10年）／所持者／替地は以下の通りである(6)。

⓪西半…6月21日／旗本稲富求馬（直■（目に往））／小石川御殿地跡
　　6月25日／旗本酒依宮内（昌陽、第339図1参照）／川田ヶ窪安藤式部上地
③・⑦…7月28日／留守居番永井三郎右衛門組同心3名・同小川左兵衛組同心7名・同石原勘左衛門組同心6名・同戸田喜右衛門組同心3名／渋谷稲葉丹後守上地
⑩南部＋⑪…7月28日／大番山口伊豆守組同心15名／青山宿青山大膳亮上地
⑨南部…8月2日／旗本天野源次郎（政寿）／青山宿青山大膳亮上地
　　月日不詳／御家人大竹文左衛門（清勝）／不詳
　　12月12日／広瀬藩主松平飛騨守（近朝）／なし

また「沿革図書」の「享保年中之形」には注目される点が2つある。まず範囲№①「御留守居番同心大縄地」が、東から豊嶋左兵衛、岡本新五右衛門、石原八郎左衛門の記載となったことである。うち岡本は元禄10年（1697）12月14日、佐藤兵九郎上地311坪を拝領したものと確認され（第115表）、またその絵図から当時も東・西は豊嶋七兵衛・石原八郎右衛門の屋敷だったと判明する（第339図2）。それらの役職について、豊嶋・岡本は子孫が旗本に昇進したため「寛政重修諸家譜」に記載があり、両者とも留守居番与力だったことが明らかとなる（第119表）。つまり①は実際には留守居番の同心ではなく与力に割り渡された屋敷地で、履歴不詳の石原も同じ留守居番与力だった可能性がある。

もうひとつは、範囲№②のうちに岡部嘉平次・羽山与右衛門・真井半蔵の屋敷が出現したことである。うち羽山は元禄８年（1695）７月２日に栗原兵右衛門上地 157 坪９合を、また絵図の記載は漏れているが同日に遠藤太兵衛が依田茂左衛門上地 143 坪７合を、さらに岡部は宝永４年（1707）３月７日に内藤吉左衛門（正明）上地 172 坪を、それぞれ拝領した（第 115・116 表、第 339 図 3・4、第 340 図 1）。興味深いのは拝領時、羽山と遠藤は逢坂御用屋敷番同心、岡部は西丸御広敷添番、真井の拝領は元禄８年７月２日以降で（第 339 図 4）、留守居番同心の履歴はない（第 120 表）。また岡部の前の所持者、内藤はその地を元禄７年（1694）６月 23 日に拝領したが（第 115 表）、旗本で当時は小十人を務めており（第 120 表）、享保 12 年（1727）３月 19 日に遠藤上地を拝領した古谷茂太夫は鷹匠明組同心であった。つまり何れも留守居番大縄地のうちが、その配下以外の者へ下賜される事象が、元禄期（1688 ～ 1704）の半ばから生じていたのである。こうした「大縄崩（おおなわくずれ）」は 18 世紀以降の武家地不足を背景に進行したといい(7)、調査地の留守居番大縄地にも及んでいた事実が指摘される。

３．宝暦～明和期

「沿革図書」のうち「宝暦十三未年之形」（1763、第 337 図上）は、松平家が宝暦 13 年４月 18 日、南側の火除明地の借地を許されたと同時に、新道が出来したことを機に作成された図だが(8)、この絵図で興味深いのは、範囲№②・⑤・⑥の「御留守居番同心大縄地」が分割されて、その一筆ごとに氏名が記入されている点である。大縄地は通常、短冊状に地割されて配下の与力・同心個々へ支給されることから、実際の敷地のあり方が描かれたものとみられるが、こうした描写の変化は、前述した「大縄崩」の進行で留守居番の組屋敷たり得なくなったことの示唆とも解される。

第 123 表「宝暦～明和期 屋敷地所持者」は調査地に所在した屋敷地 45 筆の所持者について、「沿革図書」のうち「宝暦十三未年之形」と、明和５年（1768）の上地に関わって作成された「屋敷渡預絵図証文」から、その氏名及び肩書をまとめたものである。宝暦 13 ～明和５年の５年間に代替りはあるものの、所持者の移行はない。特に範囲№⓪の旗本５家（第 123 表№１～５、以下№のみ）は 100 年以上変らない所持が確認され、中級旗本の居住地としてあり続けたことが理解される。

その他の所持者はほぼ御家人で、２名の旗本（№ 20・21）も元来は御家人であった。留守居番大縄地だった範囲№①・②・⑤・⑥の計 35 筆についてみると、留守居番与力・同心は計６名（№ 6・7・19・28・42・43）で全体の約 17％と、「大縄崩」の状況にあったことが明白となる。もと留守居番同心が役替えや無役（小普請）となっても所持し続けた事例も見出され（№ 15・17）、こうした屋敷地が少なからずあったと想像される。また範囲№④の細工同心拝領町屋敷は５名が所持していたと判明するが、うち原田孫助（俊隆、№ 21）は、同家の初代茂久が元和６年（1620）に細工所同心となって次代良久も継いでおり、その頃から所持し続けてきたものとみられる。さらに範囲№⑤の２名（№ 26・27）は先手仙石監物組与力、つまり南接の範囲№⑧はその配下の同心大縄地であり、⑤は留守居番から先手組へ所持が移行していたことが推定される。

さらに明和５年の上地からは、その当時の調査地に居住した者たちの実態が明らかとなる。上地による移転に際しては、通常は幕府から代地と引料が与えられたが、この上地では尾張家が四谷堀端と四谷大久保の屋敷を幕府に返上して代地に宛て、加えて引料の一部を肩代わりする形で手当金を支給

した。

屋敷地所持者に対する引料及び手当金については、第 123 表の備考に載せた。金額は概ね身分・格式に依ったとみられるが、旗本へは手当金の支給がなく（№ 1 ～ 5・20・21）、御家人は引料・手当金とも受給した者が多いものの、手当金のみ（№ 9・22・31・35）、あるいは両方受けていない者もある（№ 14・16・23・24）。このうち特に注目したいのが、地守へ手当金が支給された事例である（№ 31・35）。拝領屋敷は居屋敷としない場合、地守（管理人）を置く決まりとなっており、地守への手当金支給とは、所持者の居住がなかったことが理解される。

もうひとつ注目したいのは、尾張家からの手当金が、屋敷地所持者に限らない者たちに支給されている、つまり第 123 表の 45 筆のうちに借地・借屋等をして居住した者の具体像も判明するということである。その氏名・肩書と手当金額を第 124 表「上地に伴う手当金受給者（屋敷地所持者以外）」にまとめた。御家人 39 名、借地町人 11 名、店借 23 名、町医師・浪人・祈祷者各 1 名の計 76 名となっている。住まいのあり方は、まず武家地は武家への貸与は許されており、したがって御家人の多くが第 123 表の武家が所持する屋敷地のうちの、一部を借地して建家を設ける、有来りの建家や屋敷の一部、また長屋等を借用する、といった方法で居住したことが想定される。また肩書きから 39 名中 5 名が小普請（無役）、つまり何らかの役職に就く者が大半で、そのうちには御三卿（一橋・田安・清水）勤仕者が 17 名に上るが、いずれにしても江戸城郭内に勤務する者たちといえる。御家人以外の町人らは、原則的には細工同心拝領町屋敷の範囲に、地借・店借して居住していたと考えられる。

このような屋敷地所持者以外の多数の居住者の存在からすると、絵図には道敷に面して一人別の屋敷地が整然と描かれるが、その内部は各々に、さまざまな人びとの生活があったもようが推察される。

4．明和 5 年上地

上地は明和 5 年 4 月 21 ～晦日の間に実施され、豊前小倉藩主小笠原左京大夫（忠総）に預けられた(9)。それに伴い幕府により作成された「屋敷渡預絵図証文」の絵図から、各屋敷地のあり方を知ることができる（第 340 図 2 ～第 342 図 3「屋敷渡預絵図証文」トレース図）(10)。表・裏の間口と両側の奥行及び坪数が記入されており（坪数は第 115 ～ 117 表参照）、井戸の位置も丸印で示されている。

加えて屋敷地が面する道の幅も書き込まれ、そのもようが興味深い。すなわち「沿革図書」では同じに描かれていても、実は道幅はところにより異なることが判明するからである。具体的に範囲№でいうと、例えば⓪北側の道は幅 6 間（約 11.0 m）（第 340 図 3）、①と②の間は 1 間 5 尺（約 3.3 m）（第 340 図 4）、つまり 3 倍ほどの差がある。また⓪南側の道は、①との間は 3 間 5 尺（第 340 図 4・第 342 図 2）、②との間は東寄りが 2 間、西寄りが 3 間と（第 340 図 3）、1 本の道ながら大きい広狭差がある。こうしたあり方は①・②・③南側（第 340 図 4 ～第 342 図 1・3）、②・⑥・⑩西側（第 341 図 2・3）の道にも共通する。さらに幅広く描かれる「尾張殿」東側の道は、北寄りが 20 間（第 340 図 3）、それ以南は 10 間の道幅であったと判明する。

おわりに

尾張徳川家による拝領前の調査地の利用とその変遷について明らかにしてきた。これに鑑み、最後

に発掘調査で得られた遺構・遺物を理解するに際して留意すべきと指摘される事柄を述べておく。

第一に、屋敷地の成り立ちの相違である。元来、旗本屋敷か大縄地（組屋敷）かという相違は、屋敷の構造や生活のあり方に大きく反映すると考えられる。第二に、所持者以外の者も暮している屋敷地が少なくなかった事実、つまり1筆の屋敷地のうちに、そうした痕跡が見出される可能性があるということである。

註

（1）調査地についての尾張徳川家拝領前の土地と利用のあり方に言及した論稿としては、宮崎勝美「武家屋敷」（『岩波講座日本通史』第14巻 近世4、岩波書店、1995年）、拙稿「尾張藩市谷邸の歴史的変遷」（東京都埋蔵文化財センター編・発行『尾張藩上屋敷跡遺跡Ⅰ』、1996年、所収）、村田香澄「明和5年（1768）西側添地拝領の過程―街区の復原図作成を通して―」（東京都埋蔵文化財センター編・発行『尾張藩上屋敷跡遺跡Ⅵ』、2001年、所収）、がある。

（2）『地図で見る新宿区の移り変わり 牛込編』（新宿区教育委員会、1982年）による。

（3）「万治年間江戸測量図」（公益財団法人三井文庫所蔵）による。なお、この絵図は万治年間より下って寛文4～5年の様相を描いたものと判断される。

（4）「初代松平近栄系譜」（島根県立図書館所蔵）。また市谷に屋敷地を獲得した背景等については拙稿「出雲国広瀬藩江戸屋敷に関する一考察―大久保新田下屋敷を中心に―」（東京都埋蔵文化財センター編・発行『新宿区 新宿六丁目遺跡』第2分冊、2005年、所収）、420頁参照。

（5）荻野英晴「享保10年（1725）の火除地設定について～『市谷薬王寺町遺跡Ⅱ』に与えた影響を中心として～」（市谷薬王寺町遺跡調査団他編・発行『新宿区 市谷薬王寺町遺跡Ⅱ―東京都住宅供給公社「トミンハイム市谷薬王寺」建設に伴う緊急発掘調査―』、1998年、所収）。

（6）「屋敷渡預絵図証文」（国立国会図書館所蔵）、「三代松平近朝家譜」（島根県立図書館所蔵）による。

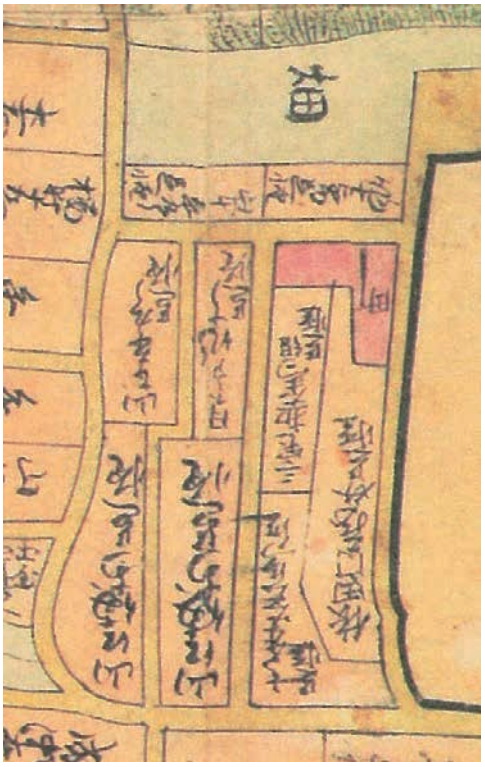
（7）宮崎勝美「江戸の土地―大名・幕臣の土地問題」（吉田伸之他編『日本の近世』第9巻、中央公論社、1992年、所収）、153～154頁。大縄崩は、例えば組内で絶家が生じた場合、本来その地面は組の管理に戻るはずが、一旦普請奉行役所が上地して組からの「差戻願」に応じて返却する、つまり出願しないと戻されずに他者へ回される、あるいは役替えになっても移転先がなく居住し続ける者があったこと等により起ったという。

（8）「六代松平近貞系譜」（島根県立図書館所蔵）。享保10年、火除明地設定時に上地された1,731坪の借地を願ったところ、293坪余を道敷分として除く1,437坪余が貸与されることになった。

（9）小倉藩小笠原家に預けられた理由は市谷に下屋敷を所持していたからとみられる。

（10）絵図は紙幅の関係上、調査地のうち発掘調査地に掛る屋敷地を含むものを掲載し、掛る屋敷地の所持者名をキャプションに示した。

第 333 図　「江戸全図」（部分）
臼杵市教育委員会所蔵



第 334 図　「明暦江戸大絵図」（部分）
公益財団法人三井文庫所蔵

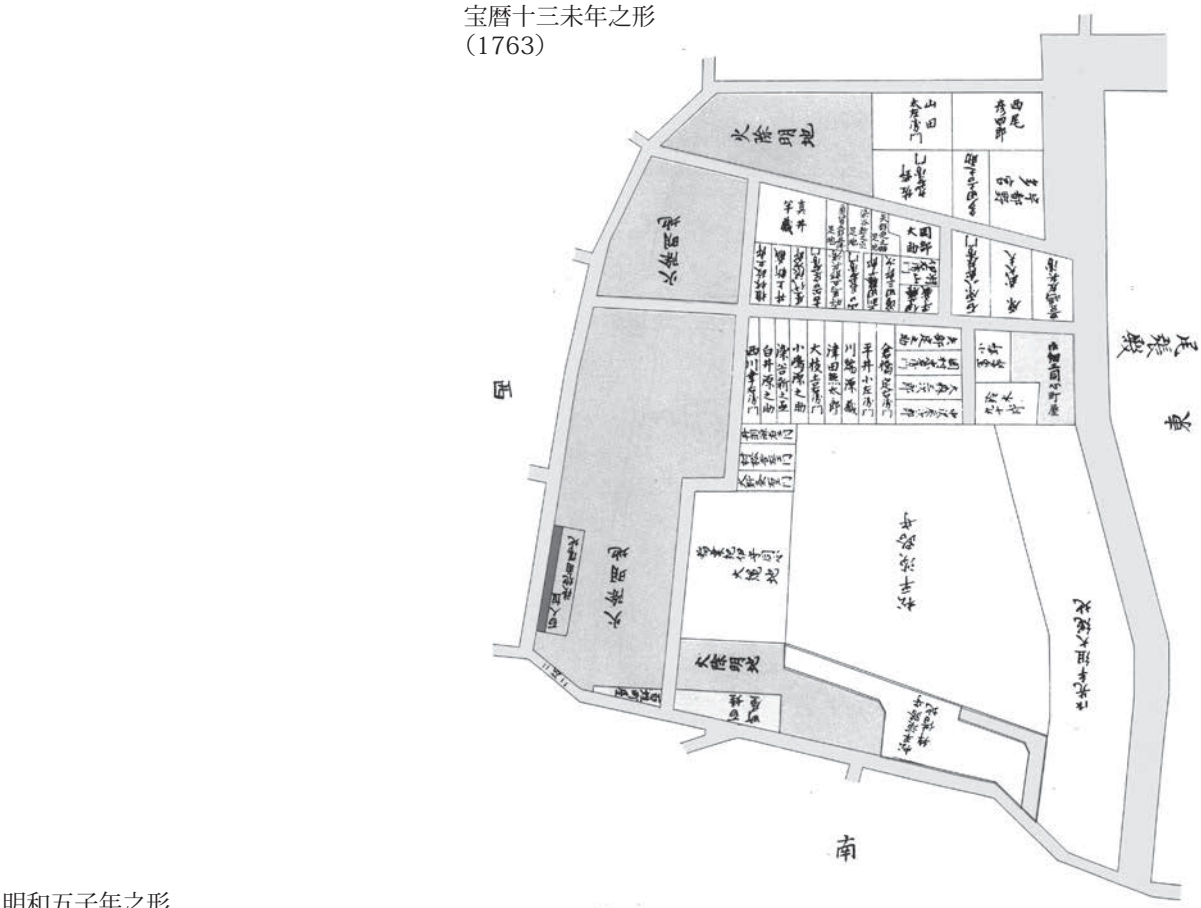
第 335 図　「新板江戸外絵図」（部分）　国立国会図書館所蔵

延宝年中之形
（1673 ～ 1681）

享保年中之形
（1716 ～ 1736）

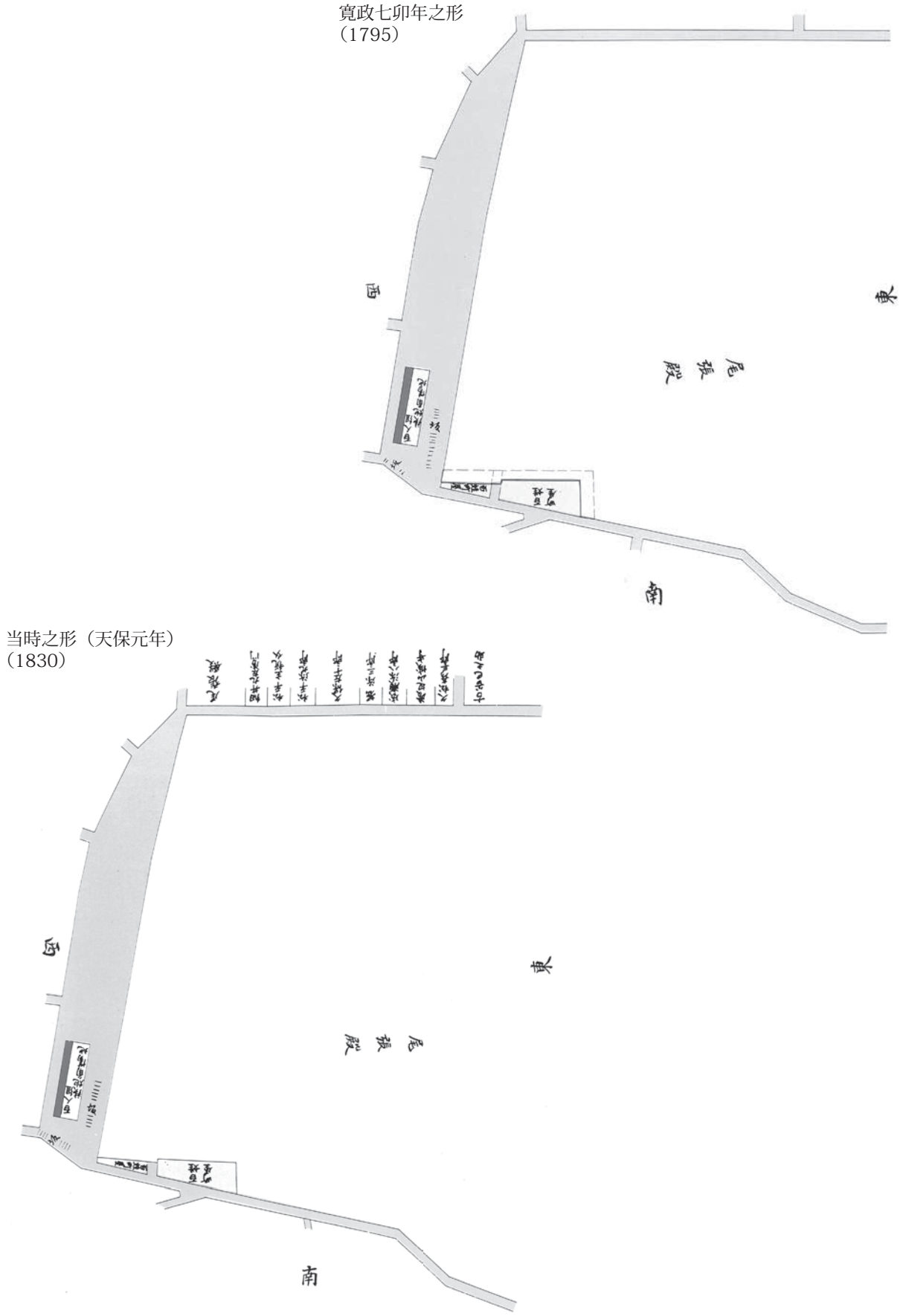
第 336 図　「御府内往還其外沿革図書」（1）　国立国会図書館所蔵・新宿区教育委員会 1983 所収

宝暦十三未年之形
（1763）



明和五子年之形
（1768）

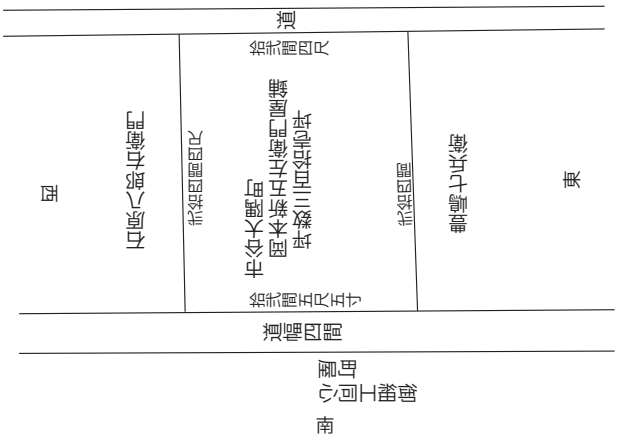
第 337 図　「御府内往還其外沿革図書」（2）　国立国会図書館所蔵・新宿区教育委員会 1983 所収



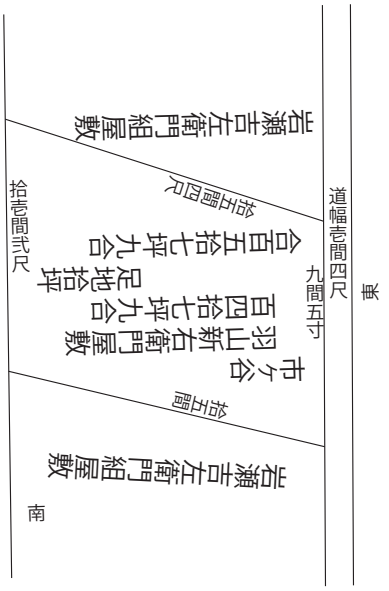
第 338 図　「御府内往還其外沿革図書」（3）　国立国会図書館所蔵・新宿区教育委員会 1983 所収

1　宝永 3 年正月 11 日付
（酒依宮内拝領）

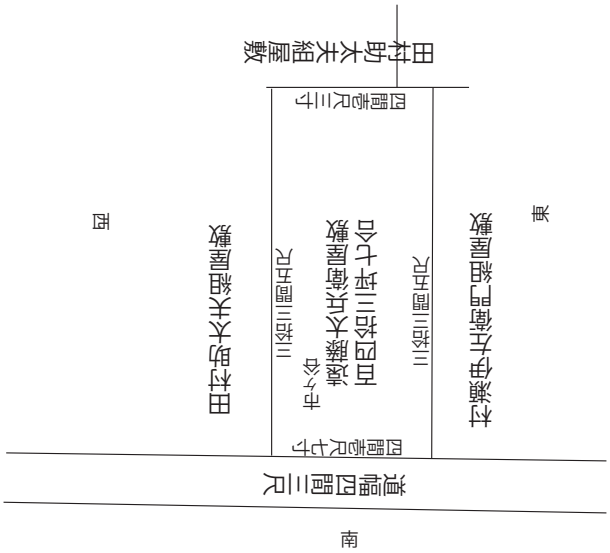
2　元禄 10 年 12 月 14 日付
（岡本新五左衛門拝領）



3　元禄 8 年 7 月 2 日付
（羽山新右衛門拝領）



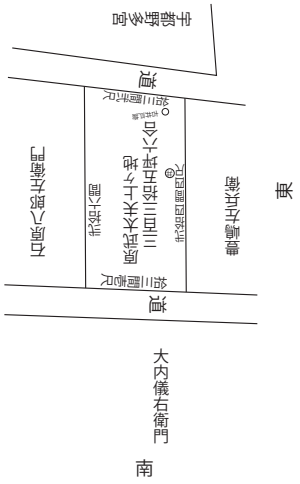
4　元禄 8 年 7 月 2 日付
（遠藤太兵衛拝領）



第 339 図　「屋敷渡預絵図証文」（国立国会図書館所蔵）トレース図（1）

1　宝永 4 年 3 月 7 日付
（岡部嘉平次拝領）

2　明和 5 年 4 月 21 日付
（原上地）

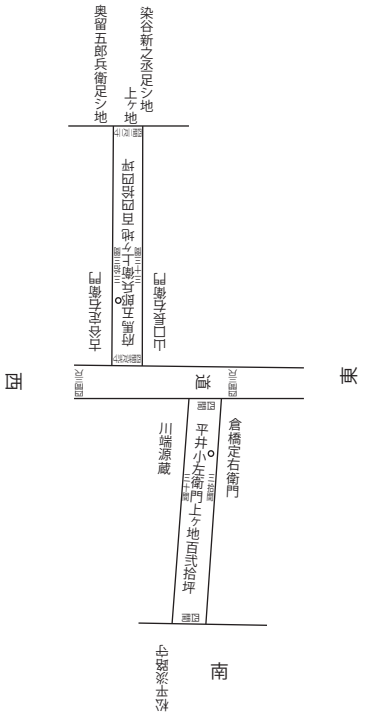


3　明和 5 年 4 月 24 日付
（佐野・多田・岡部・染谷足地上地）

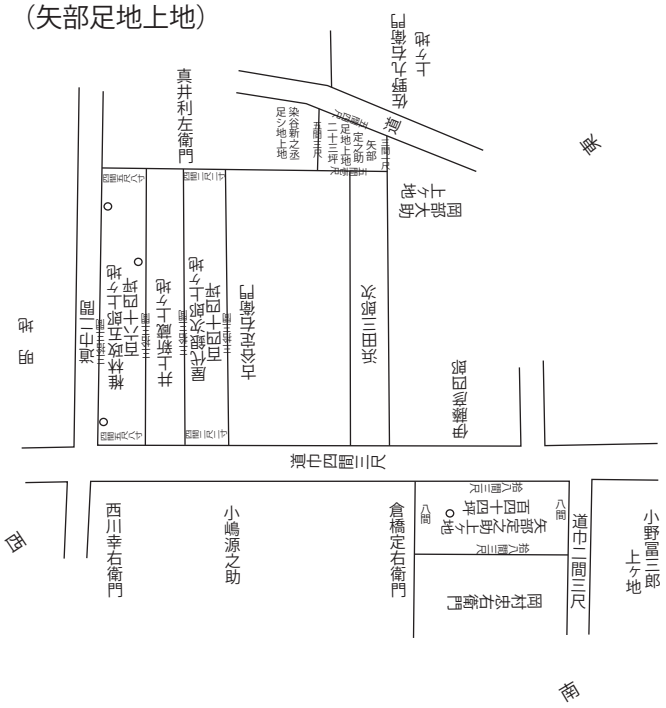
4　明和 5 年 4 月 25 日付
（石原・豊嶋上地）

第 340 図　「屋敷渡預絵図証文」（国立国会図書館所蔵）トレース図（2）

1　明和 5 年 4 月 25 日付
（府馬上地）



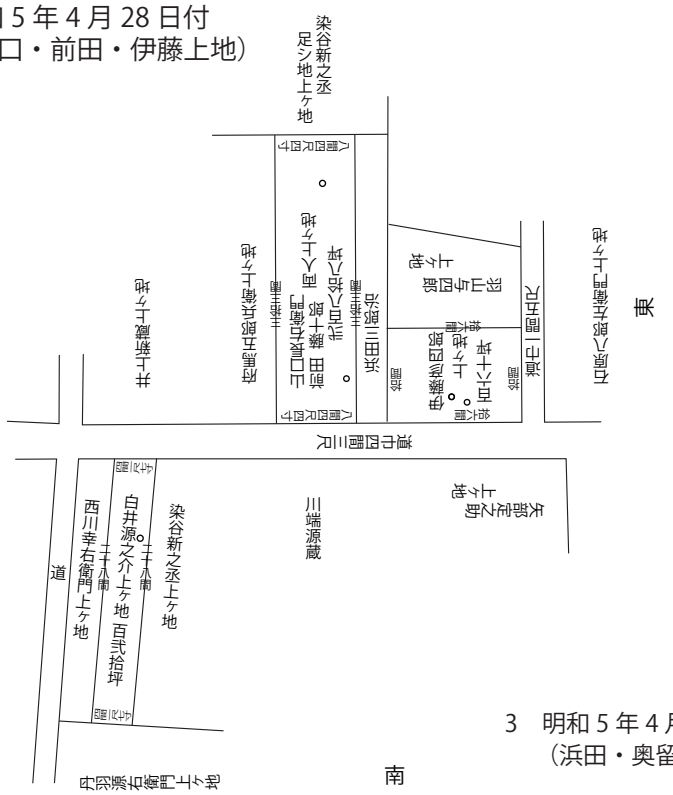
2　明和 5 年 4 月 26 日付
（矢部足地上地）



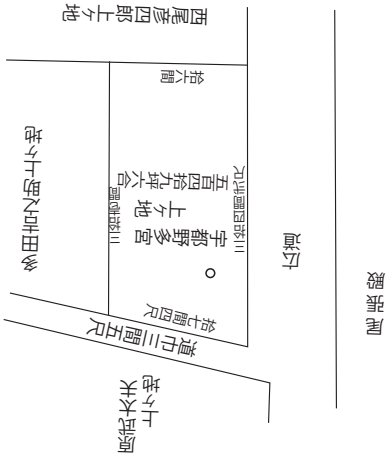
3　明和 5 年 4 月 27 日付
（羽山上地）

固屋助太郎上ケ地
百弐拾坪上ケ地
伊藤秀四郎
浜田三郎次
椎林政五郎上ケ地
道中二間
尺二間四面蔵
尺二間四面蔵
白井源之助
西川幸右衛門上ケ地百弐拾坪
倉橋定右衛門上ケ地百二十坪
矢部定助上ケ地
平井小左衛門上ケ地
道中二間
明地
東
北
松平淡路守
南
体ケ間
体ケ間
体ケ間

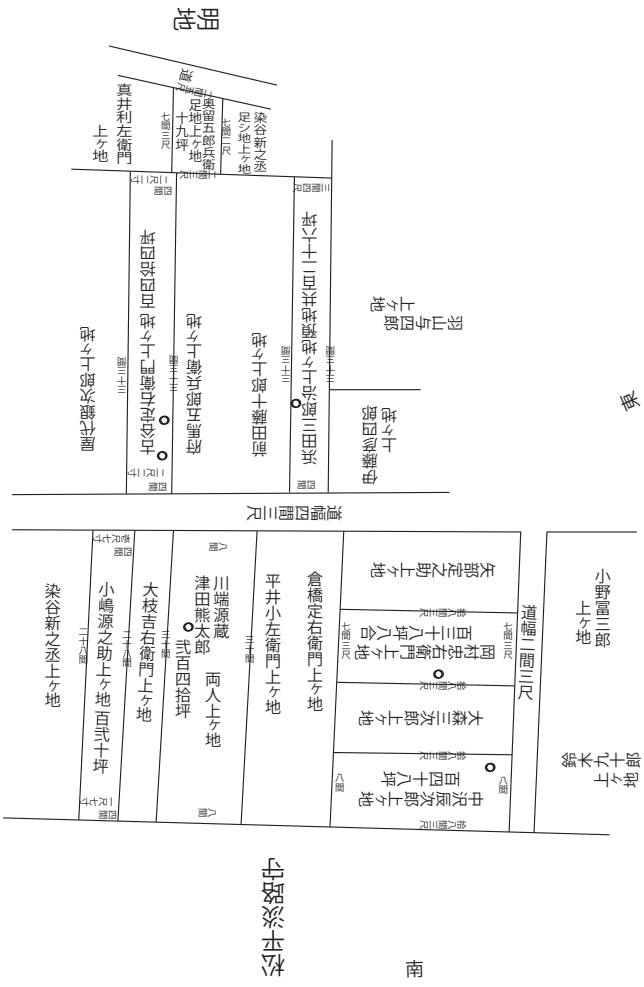
1　明和 5 年 4 月 28 日付
（山口・前田・伊藤上地）



2　明和 5 年 4 月 28 日付
（宇都野上地）



3　明和 5 年 4 月晦日付
（浜田・奥留足地上地）



第 342 図　「屋敷渡預絵図証文」（国立国会図書館所蔵）トレース図（4）

第 343 図　土地範囲区分（御府内往還其外沿革図書・延宝年中之形）

第 115 表　尾張家添地以前 屋敷地所持者変遷（1）

年月日	西暦	絵図・史料名	東 ← → 西							中央 東 ← → 西									
第 122 表範囲№			⓪							①			②						
寛永 19～20 年	1642～43	寛永江戸全図	松平大隅与力同心																
明暦 3 年	1657	江戸大絵図	(日下部) 作十 (郎)(正定・留守居番) 与力足軽／山本平九郎 (正直・留守居番) 足軽／畑																
寛文 4～5 年	1664～65	万治年間江戸測量図	西尾彦四郎 (政長)	(空白)	佐野九右衛門 (政国)	宇都作右衛門 (宇都野正信)	多田八郎左衛門 (政貞)	和泉久□郎	松井助太夫 (重宗)	榊原四郎左衛門 (忠重)・宮城三左衛門 (和治)・岩瀬市兵衛 (氏忠)・伊藤安兵衛 (正次) 組 (いずれも留守居番)			同断 (榊原四郎左衛門 (忠重)・宮城三左衛門 (和治)・岩瀬市兵衛 (氏忠)・伊藤安兵衛 (正次)) 組 (いずれも留守居番)							
寛文 7 年 10 月 28 日	1667	初代松平近栄系譜																	
寛文 12 年	1672	新板江戸外絵図	(空白)	(空白)	サノ九右 (政国)	ウツ作右 (宇都野正恒カ)	タマ八郎右 (八郎左衛門政貞)	松井助大夫 (宗重)	(空白)	イワセ市兵 (岩瀬市兵衛氏忠・留守居番) クミ			同 (イワセ市兵 (岩瀬市兵衛氏忠・留守居番) クミ)						
延宝年中	1673～81	御府内往還其外沿革図書 延宝年中之形	西尾次郎左衛門 (彦四郎政長)	山田太左衛門 (重安)	佐野九右衛門 (政国)	宇都野佐右衛門 (作右衛門カ、不詳)	多田八郎左衛門 (政貞)	金田能登守 (正明)	松井助大夫 (宗重)	御留守居番同心大縄地			御留守居番同心大縄地						
元禄 7 年 6 月 22 日以前	1694	屋敷渡預絵図証文											※拝領不詳 神野彦右衛門						
元禄 7 年 6 月 23 日	1694	屋敷渡預絵図証文								田村助太夫 (顕当・留守居番) 組屋鋪			※拝領 155 坪 9 合 内藤吉右衛門 (正明)	田村助太夫 (顕当・留守居番) 組上ヶ地		(※拝領不詳) 杉原四郎左衛門 (正勝・留守居番) 組 井手又右衛門			
元禄 8 年 7 月 1 日以前	1695	屋敷渡預絵図証文												※拝領不詳 栗原兵右衛門					
元禄 8 年 7 月 2 日	1695	屋敷渡預絵図証文											岩瀬吉左衛門組屋敷	※拝領 157 坪 9 合 羽山新右衛門	岩瀬吉左衛門組屋敷			※拝領不詳 (村瀬伊左衛門組屋敷) 同心府馬五郎兵衛	
元禄 10 年 12 月 13 日以前	1697	屋敷渡預絵図証文									※拝領不詳 佐藤兵九郎								
元禄 10 年 12 月 14 日	1697	屋敷渡預絵図証文								(※拝領不詳) 豊嶋七兵衛 (泰盈カ)	※拝領 311 坪 岡本新五左衛門 (正次)	(※拝領不詳) 石原八郎左衛門							
宝永 2 年 12 月 28 日	1705	屋敷渡預絵図証文		山田太左衛門 (重安)	佐野九右衛門 (政国)			※上地預り 754 坪 5 合 松井八大夫 (宗秀)・松平十右衛門	松井八大夫 (宗秀)										
宝永 3 年 正月 11 日	1706	屋敷渡預絵図証文						※拝領 754 坪 5 合 酒依宮内 (昌陽)											
宝永 4 年 2 月 10 日	1707	屋敷渡預絵図証文			佐野九右衛門 (正国)		多田吉右衛門 (政勝)					石原八郎左衛門	※内藤吉右衛門上地預り 172 坪 佐野九右衛門・多田吉右衛門	葉 (羽) 山与右衛門					
宝永 4 年 3 月 7 日	1707	屋敷渡預絵図証文			佐野九右衛門 (正国)		多田吉右衛門 (政勝)					石原八郎左衛門	※拝領 172 坪 岡部加 (嘉) 平次	葉 (羽) 山与右衛門					
正徳 4 年 6 月 23 日	1714	屋敷書抜							※相対替 稲冨求馬 (直■ (目に住))										
享保 10 年 6～8 月	1725	屋敷渡預絵図証文・三代松平近朝家譜						※上地	※上地										
享保年中	1716～36	御府内往還其外沿革図書 享保年中之形	西尾次郎左衛門 (甚次郎長利)	山田太左衛門 (伝五郎信盈)	佐野九右衛門 (三之助政長か政信)	宇都野佐右衛門 (作右衛門カ、不詳)	多田吉左衛門 (三太郎依利)	火除明地		豊嶋左兵衛 (左平泰盈カ)	岡本新五右衛門 (正良)	石原八郎左衛門	岡部嘉平次	羽山与右衛門	御留守居番同心大縄地				
享保 12 年 3 月 19 日	1727	屋敷渡預絵図証文																府馬五郎兵衛	
延享 4 年 8 月 13 日以前	1747	相対替御書附書抜																	
延享 4 年 8 月 14 日	1747	相対替御書附書抜																	
宝暦 6 年 6 月 23 日以前	1756	屋敷渡預絵図証文																	
宝暦 6 年 6 月 24 日	1756	屋敷渡預絵図証文													(※拝領不詳) 伊藤平蔵	井手忠七			
宝暦 9 年 正月 25 日	1759	屋敷書抜																	
宝暦 9 年 10 月 4 日	1769	屋敷書抜														※拝領 100 坪＋預 26 坪 浜田三郎次			
宝暦 13 年 4 月	1763	御府内往還其外沿革図書																	
宝暦 13 年	1763	御府内往還其外沿革図書 宝暦十三未年之形	西尾彦四郎 (長喬)	山田太左衛門 (太右衛門信義)	佐野九右衛門 (政信)	宇都野多宮 (政伴)	多田吉之助 (政久)	火除明地		豊嶋左兵衛 (武経)	(※拝領不詳) 原武大夫 (盛和)	石原八郎左衛門	岡部大助	羽山伊右衛門	伊藤平蔵	浜田三郎次	(※拝領不詳) 前田藤十郎	(※拝領不詳) 山口長右衛門	(※拝領不詳) 府馬五郎兵衛
明和 5 年 4 月 21～晦日	1768	屋敷渡預絵図証文	※西尾九右衛門・山田太右衛門・佐野九右衛門上地預り 1,474 坪 8 合 小笠原左京大夫 (忠総)			※宇都野多宮上地預り 549 坪 6 合 小笠原左京大夫 (忠総)	※多田吉之助上地預り 362 坪 3 合 小笠原左京大夫 (忠総)	明地		※豊嶋左兵衛上地預り 339 坪 小笠原左京大夫 (忠総)	※原武太夫上地預り 335 坪 6 合 小笠原左京大夫 (忠総)	※石原八郎左衛門上地預り 375 坪 7 合 小笠原左京大夫 (忠総)	※岡部大助上地預り 199 坪 小笠原左京大夫 (忠総)	※羽山与四郎上地預り 159 坪 小笠原左京大夫 (忠総)	※伊藤彦四郎上地預り 160 坪 小笠原左京大夫 (忠総)	※浜田三郎治上地預り 126 坪 小笠原左京大夫 (忠総)	※山口長右衛門・前田藤十郎上地預り 288 坪 小笠原左京大夫 (忠総)		※府馬五郎兵衛上地預り 144 坪 小笠原左京大夫 (忠総)
明和 5 年 5 月 6 日	1768	屋敷渡預絵図証文																	
明和 5 年 5 月 25 日	1768	屋敷渡預絵図証文	※添地拝領 京間 24,742 坪 尾張殿						広道	(※添地拝領 京間 24,742 坪 尾張殿)									
第 123 表№			1	2	3	4	5	—		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

第 116 表　尾張家添地以前 屋敷地所持者変遷（2）

年月日	西暦	絵図・史料名	中央 東 ← → 西									東 ← → 西					
第 122 表範囲№			②								③	④	⑤	⑥			
寛永 19 ～ 20 年	1642 ～ 43	寛永江戸全図	松平大隅与力同心									矢部助之進（定成・細工頭）同心	大番衆	松平大隅（重則・留守居）同心			
明暦 3 年	1657	江戸大絵図	（日下部）作十（郎）（正定・留守居番）与力足軽／山本平九郎（正直・留守居番）足軽／畑									町	三宅惣右衛門（康政・留守居番）組足軽	日下部作十郎（正定・留守居番）足軽			
寛文 4 ～ 5 年	1664 ～ 65	万治年間江戸測量図	同断（榊原四郎左衛門（忠重）・宮城三左衛門（和治）・岩瀬市兵衛（氏忠）・伊藤安兵衛（正次））組（いずれも留守居番）								同断（榊原四郎左衛門（忠重）・宮城三左衛門（和治）・岩瀬市兵衛（氏忠）・伊藤安兵衛（正次））組（いずれも留守居番）	（以南、破損のため不詳）					
寛文 7 年 10 月 28 日	1667	初代松平近栄系譜											御留守居方組	御留守居方組			
寛文 12 年	1672	新板江戸外絵図	同（イワセ市兵（岩瀬市兵衛氏忠・留守居番）クミ）								イトウ安兵（伊藤安兵衛正次）・榊原四郎左（四郎左衛門忠重）・クガイ惣左（久貝惣左衛門正信）・イワセ市（岩瀬市兵衛氏忠）・小ガサ原太左（小笠原太左衛門安村）、五クミ入合（いずれも留守居番）	町	同（イトウ安兵・榊原四郎左・クガイ惣左・イワセ市・小ガサ原太左、五クミ入合）（いずれも留守居番）	同（イトウ安兵・榊原四郎左・クガイ惣左・イワセ市・小ガサ原太左、五クミ入合）（いずれも留守居番）			
延宝年中	1673 ～ 81	御府内往還其外沿革図書 延宝年中之形	御留守居番同心大縄地								御留守居番同心大縄地	御細工同心町屋	御留守居番同心大縄地	御留守居番同心大縄地			
元禄 7 年 6 月 22 日以前	1694	屋敷渡預絵図証文															
元禄 7 年 6 月 23 日	1694	屋敷渡預絵図証文							（※拝領不詳）杉原四郎左衛門組	矢部五郎右衛門							
元禄 8 年 7 月 1 日以前	1695	屋敷渡預絵図証文	※拝領不詳 依田茂左衛門														
元禄 8 年 7 月 2 日	1695	屋敷渡預絵図証文	※拝領 143 坪 7 合 遠藤太兵衛	※拝領不詳（田村助太夫組屋敷） 同心屋代文右衛門						※拝領不詳（田村助太夫組屋敷）同心松岡五郎兵衛							
元禄 10 年 12 月 13 日以前	1697	屋敷渡預絵図証文															
元禄 10 年 12 月 14 日	1697	屋敷渡預絵図証文										御細工同心町屋					
宝永 2 年 12 月 28 日	1705	屋敷渡預絵図証文															
宝永 3 年 正月 11 日	1706	屋敷渡預絵図証文															
宝永 4 年 2 月 10 日	1707	屋敷渡預絵図証文							矢部勘七								
宝永 4 年 3 月 7 日	1707	屋敷渡預絵図証文							矢部勘七								
正徳 4 年 6 月 23 日	1714	屋敷書抜															
享保 10 年 6 ～ 8 月	1725	屋敷渡預絵図証文・三代松平近朝家譜									※上地 御留守居同心 19 名（⑦と一括）						
享保年中	1716 ～ 36	御府内往還其外沿革図書 享保年中之形	御留守居番同心大縄地							（※拝領不詳）真井半蔵（弱忠）	火除明地	御細工同心町屋	御留守居番同心大縄地	御留守居番同心大縄地			
享保 12 年 3 月 19 日	1727	屋敷渡預絵図証文	※拝領 142 坪 古谷茂太夫	屋代市郎右衛門						真井半蔵（弱忠）							
延享 4 年 8 月 13 日以前	1747	相対替御書附書抜												（※拝領不詳）栗原清三郎			
延享 4 年 8 月 14 日	1747	相対替御書附書抜												※相対替 130 坪余 大森久右衛門			
宝暦 6 年 6 月 23 日以前	1756	屋敷渡預絵図証文															（※拝領不詳）中野藤助
宝暦 6 年 6 月 24 日	1756	屋敷渡預絵図証文												（※拝領不詳）矢部定之助	（※拝領不詳）岡村丹治	大森久右衛門	（※拝領不詳）中沢辰次郎	※中野藤助上地 120 坪預り 矢部定之助
宝暦 9 年 正月 25 日	1759	屋敷書抜															※拝領 120 坪 倉橋定右衛門
宝暦 9 年 10 月 4 日	1769	屋敷書抜															
宝暦 13 年 4 月	1763	御府内往還其外沿革図書															
宝暦 13 年	1763	御府内往還其外沿革図書 宝暦十三未年之形	古谷定右衛門	屋代銀次郎	（※拝領不詳）井上新蔵	（※拝領不詳）椎林政五郎	奥留五郎兵衛足地	染谷新之丞足地	矢部定之助足地	真井半蔵（理左衛門弱直）	火除明地	御細工同心町屋	（※拝領不詳）小野冨三郎	（※拝領不詳）鈴木九十郎	矢部定之助	岡村忠右衛門	大森三次郎	中沢辰次郎	倉橋定右衛門
明和 5 年 4 月 21 ～晦日	1768	屋敷渡預絵図証文	※古谷定右衛門上地預り 144 坪 小笠原左京大夫（忠総）	※屋代銀次郎上地預り 144 坪 小笠原左京大夫（忠総）	※井上新蔵上地預り 144 坪 小笠原左京大夫（忠総）	※椎林政五郎上地預り 164 坪 小笠原左京大夫（忠総）	※奥留五郎兵衛足し地上地預り 19 坪 小笠原左京大夫（忠総）	※染谷新之丞足し地上地預り 75 坪 小笠原左京大夫（忠総）	※矢部定之助足し地上地預り 23 坪 小笠原左京大夫（忠総）	※真井利左衛門上地預り 161 坪 小笠原左京大夫（忠総）	明地	※原田孫助・大内儀右衛門・榊本利三郎・大久大蔵・長井千之助上地預り 663 坪余 小笠原左京大夫（忠総）	※鈴木九十郎・小野富三郎上地預り 552 坪 小笠原左京大夫（忠総）		※矢部定之助上地預り 144 坪 小笠原左京大夫（忠総）	※岡村忠右衛門上地預り 138 坪 8 合 小笠原左京大夫（忠総）	※大森三次郎上地預り 138 坪 7 合 小笠原左京大夫（忠総）	※中沢辰次郎上地預り 148 坪 小笠原左京大夫（忠総）	※倉橋定右衛門上地預り 120 坪 小笠原左京大夫（忠総）
明和 5 年 5 月 6 日	1768	屋敷渡預絵図証文											鈴木九十郎上ヶ地					中沢辰次郎上ヶ地	
明和 5 年 5 月 25 日	1768	屋敷渡預絵図証文	（※添地拝領 京間 24,742 坪 尾張殿）								広道	（※添地拝領 京間 24,742 坪 尾張殿）							
第 123 表№			16	17	18	19	—	—	—	20	—	—	21 ～ 25	26	27	28	29	30	31	32

第 117 表　尾張家添地以前 屋敷地所持者変遷（3）

年月日	西暦	絵図・史料名	東　←　→　西											東　←　→　西										
第 122 表範囲№			⑥											⑦	⑧	⑨				⑩	—	⑪		—
寛永 19 ～ 20 年	1642 ～ 43	寛永江戸全図	松平大隅（重則・留守居）同心											松平大隅（重則・留守居）同心	榊原八兵衛（正成・先手鉄炮頭）同心	神谷与七郎（清正・先手鉄炮頭）同心	神谷与七郎（清正・先手鉄炮頭）同心			酒井壱岐守（忠重・書院番頭）同心	（百姓）	酒井壱岐守（忠重・書院番頭）同心		（百姓）
明暦 3 年	1657	江戸大絵図	日下部作十郎（正定・留守居番）足軽											山本平九郎（正直・留守居番）足軽	依田内蔵介（信重・先手鉄炮頭）足軽	高木忠右衛門（為信・先手鉄炮頭）組足軽				山口備前（重恒・書院番頭）足軽		山口備前（重恒・書院番頭）足軽		
寛文 4 ～ 5 年	1664 ～ 65	万治年間江戸測量図																						
寛文 7 年 10 月 28 日	1667	初代松平近栄系譜	御留守居方組												依田内蔵助（信重・先手組頭）殿組	※相対替 6,180 坪 松平上野介（近栄）		（※拝領不詳） 伊丹理右衛門（康之）		戸田相模守（氏照・大番頭）組				
寛文 12 年	1672	新板江戸外絵図	同（イトウ安兵・榊原四郎左・クガイ惣左・イワセ市・小ガサ原太左、五クミ入合）（いずれも留守居番）											同（イトウ安兵・榊原四郎左・クガイ惣左・イワセ市・小ガサ原太左、五クミ入合）（いずれも留守居番）	ヨダクラ（依田内蔵助・先手鉄炮頭）クミ	松平上野（近栄）		（空白）		トダサガミ（戸田相模守氏照・大番頭）クミ	町	同（トダサガミ（戸田相模守氏照・大番頭）クミ）		町
延宝年中	1673 ～ 81	御府内往還其外沿革図書 延宝年中之形	御留守居番同心大縄地											御留守居番同心大縄地	御先手組大縄地	松平上野介（近栄）		伊丹理右衛門（康之）		大御番同心大縄地	百姓町屋	大御番同心大縄地		百姓町屋
元禄 7 年 6 月 22 日以前	1694	屋敷渡預絵図証文																						
元禄 7 年 6 月 23 日	1694	屋敷渡預絵図証文																						
元禄 8 年 7 月 1 日以前	1695	屋敷渡預絵図証文																						
元禄 8 年 7 月 2 日	1695	屋敷渡預絵図証文																						
元禄 10 年 12 月 13 日以前	1697	屋敷渡預絵図証文																						
元禄 10 年 12 月 14 日	1697	屋敷渡預絵図証文																						
宝永 2 年 12 月 28 日	1705	屋敷渡預絵図証文																						
宝永 3 年 正月 11 日	1706	屋敷渡預絵図証文																						
宝永 4 年 2 月 10 日	1707	屋敷渡預絵図証文																						
宝永 4 年 3 月 7 日	1707	屋敷渡預絵図証文																						
正徳 4 年 6 月 23 日	1714	屋敷書抜																						
享保 10 年 6 ～ 8 月	1725	屋敷渡預絵図証文・三代松平近朝家譜												※上地 御留守居同心 19 名（範囲№③と一括）		残地 4,409 坪 松平飛騨守（近朝）	※上地 1,731 坪 松平飛騨守（近朝）	※上地 大竹文左衛門（清勝）	※上地 天野源次郎（政寿）	※上地			" ※上地 大御番組同心 15 名（範囲№⑩南部と一括） "	
享保年中	1716 ～ 36	御府内往還其外沿革図書 享保年中之形	御留守居同心大縄地											火除明地	御先手組大縄地	松平飛騨守（近朝）	火除明地			松平伊豆守同心大縄地	百姓町屋	火除明地（含百人組鉄炮角場地）		百姓町屋
享保 12 年 3 月 19 日	1727	屋敷渡預絵図証文					小嶋源五郎																	
延享 4 年 8 月 13 日以前	1747	相対替御書附書抜																						
延享 4 年 8 月 14 日	1747	相対替御書附書抜																						
宝暦 6 年 6 月 23 日以前	1756	屋敷渡預絵図証文																						
宝暦 6 年 6 月 24 日	1756	屋敷渡預絵図証文	（※拝領不詳） 平井定八													松平式部少輔（近輝）								
宝暦 9 年 正月 25 日	1759	屋敷書抜																						
宝暦 9 年 10 月 4 日	1769	屋敷書抜																						
宝暦 13 年 4 月	1763	御府内往還其外沿革図書															※借地 1,437 坪 松平淡路守（近貞）							
宝暦 13 年	1763	御府内往還其外沿革図書 宝暦十三未年之形	平井小左衛門	（※拝領不詳） 川端源蔵	（※拝領不詳） 津田熊太郎	（※拝領不詳） 大枝吉右衛門	（※拝領不詳） 小嶋源之助	（※拝領不詳） 染谷新之丞	（※拝領不詳） 白井源之助	（※拝領不詳） 西川幸右衛門	（※拝領不詳） 丹羽源右衛門	（※拝領不詳） 村松吉左衛門	（※拝領不詳） 大野粂右衛門	火除明地	御先手組大縄地	松平淡路守（近貞）	松平淡路守拝借地	火除明地		稲葉紀伊守（正邑・書院番頭）同心大縄地	百姓町屋	火除明地（含百人組鉄炮角場地）		百姓町屋
明和 5 年 4 月 21 ～晦日	1768	屋敷渡預絵図証文	※平井小左衛門上地預り 120 坪 小笠原左京大夫（忠総）	※川端源蔵・津田熊太郎上地預り 240 坪 小笠原左京大夫（忠総）		※大枝吉右衛門上地預り 120 坪 小笠原左京大夫（忠総）	※小嶋源之助上地預り 120 坪 小笠原左京大夫（忠総）	※染谷新之丞上地預り 120 坪 小笠原左京大夫（忠総）	※白井源之助上地預り 120 坪 小笠原左京大夫（忠総）	※西川幸右衛門上地預り 120 坪 小笠原左京大夫（忠総）	※丹羽源右衛門上地預り 200 坪 小笠原左京大夫（忠総）	※村松吉左衛門・大野久米右衛門上地預り 389 坪 9 合 小笠原左京大夫（忠総）		明地	※仙石監物（政啓・先手鉄炮頭）組同心 30 人分上地預り 3,780 坪 小笠原左京大夫（忠総）			明地		※稲葉紀伊守（正邑・書院番頭）組同心 5 人分上地預り 849 坪 8 合 小笠原左京大夫（忠総）		明地		
明和 5 年 5 月 6 日	1768	屋敷渡預絵図証文										村松吉左衛門上ヶ地			仙石監物組同心上ヶ地	※松平淡路守上地預り 4,372 坪 6 合 小笠原左京大夫（忠総）	※松平淡路守拝借上地預り 1,730 坪余 小笠原左京大夫（忠総）	明地		稲葉紀伊守組同心上ヶ地	町屋			
明和 5 年 5 月 25 日	1768	屋敷渡預絵図証文	（※添地拝領 京間 24,742 坪 尾張殿）																		町屋	（尾張殿）	（広道・含百人組鉄炮角場地）	丁ヤ
第 123 表№			33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	—	44	—	—	—		45	—	—	—	—

第 118 表　尾張家添地以前 屋敷地所持者履歴（1）

姓名	よみ	通称等	生没年	当主期間	高	実父 / 実母 / 正室妻	履歴	出典
範囲 No. ⓪								
西尾 政長	にしお まさなが	喜太郎 / 彦四郎	慶長 15 ～元禄 1 (1610 ～ 1688)	慶長 19 ～元禄 1 (1614 ～ 1688)	300 石→切米 300 俵	西尾次郎左衛門長次 (長男)/ 某氏 / 多賀角左衛門常次女	父の遺跡を継ぎ、武蔵国内に知行 300 石→寛永 9(1632).12.- 大番→同 11(1634).10.13 勘気を蒙り改易→慶安 4(1651).10.17 赦免→承応 1(1652).12.18 切米 300 俵→同 2(1653).2.20 大番→寛文 4(1664).3.25 金奉行→元禄 1(1688).8.23 務めを辞し、小普請→同 .10.22 没、享年 79、法名日治、葬地は二本榎承教寺	寛政譜 6-349
西尾 吉族	にしお よしつぐ	次郎左衛門	正保 2 ～享保 2 (1645 ～ 1717)	元禄 1 ～享保 2 (1688 ～ 1717)	切米 300 俵	西尾政長 (長男)/ 多賀角左衛門常次女 / なしカ	寛文 3(1663).11.19 大番→貞享 2(1685).7. 晦日 書替役→同 3(1686). 閏 3.5 書替役を辞す→元禄 1(1688).12.10 遺跡を継ぐ→宝永 7(1710).9.21 番を辞す→享保 2(1717).7.7 没、享年 73、法名日明、葬地は二本榎承教寺	寛政譜 6-350
西尾 長久	にしお ながひさ	忠四郎	明暦 3 ～享保 4 (1657 ～ 1719)	享保 2 ～ 4 (1717 ～ 1719)	切米 300 俵	西尾政長 (二男)/ 多賀角左衛門常次女 / 逸見勘右衛門光森女	兄西尾吉族の嗣となる→元禄 3(1690).2.28 綱吉に初目見→同 6(1693).12.9 大番→享保 2(1717).10.9 遺跡を継ぐ→同 4(1719).6.20 没、享年 63、法名日実、葬地は二本榎承教寺	寛政譜 6-350
西尾 長利	にしお ながとし	小源太 / 甚四郎 / 甚次郎	天和 2 ～享保 13 (1682 ～ 1728)	享保 4 ～ 13 (1719 ～ 1728)	切米 300 俵	松平与右衛門利隆 (四男)/ 西尾政長女 / 西尾長久女	西尾長久の養子となり、その女を妻とする→享保 3(1718).2.15 吉宗に初目見→同 4(1719).9.5 遺跡を継ぐ→同 8(1723).12.18 大番→同 13(1728).5.3 大坂在番中に没、享年 42、法名日理、葬地は摂津国生玉齢延寺	寛政譜 6-350
西尾 長喬	にしお ながたか	半七郎 / 彦四郎	宝永 3 ～天明 1 (1706 ～ 1781)	享保 13 ～天明 1 (1728 ～ 1781)	切米 300 俵	児嶋源兵衛供正 (三男)/ 松平友之助利政女 / 岩室新五左衛門正方女	長利の終に臨み養子となる→享保 13(1728).8.19 遺跡を継ぐ→同 14(1729).3.27 大番→元文 4(1739).8.27 鉄炮箪笥奉行→寛延 3(1750).5.16 留守居組組頭→宝暦 3(1753).6.12 小普請組支配組頭→安永 4(1775).6.7 務めを辞す→天明 1(1781).12.4 没、享年 76、法名日信、葬地は二本榎承教寺	寛政譜 6-350
宇都野 政忠	うつの まさただ	宇右衛門 / 作之丞	? ～宝永 4 (? ～ 1707)	寛永 20 ～宝永 4 (1643 ～ 1707)	350 石→ 350 石 + 切米 200 俵→ 550 石	宇都野正氏 (長男)/ 某氏 / 恒岡新左衛門資久女	寛永 20(1643).12.7 遺跡を継ぎ、小普請→慶安 1(1648).11.- 大番→延宝 5(1677).4.22 広敷番頭→天和 2(1682).4.22 加増切米 200 俵→元禄 7(1694).5.7 務めを辞す→同 10(1697).7.26 切米を改めて常陸国内に知行 200 石、すべて 550 石→宝永 4(1707).12.20 没、享年不詳、法名了静、葬地は牛込願正寺	寛政譜 12-54
宇都野 政朝	うつの まさとも	新十郎	寛文 9 ～享保 9 (1669 ～ 1724)	宝永 5 ～享保 3 (1708 ～ 1718)	550 石	宇都野政忠 (二男)/ 某氏 / 不詳	元禄 4(1691).12.2 大番→同 7(1694).5.7 番を辞す→宝永 5(1708). 閏 1.27 遺跡を継ぐ→享保 3(1718).10.19 致仕→同 9(1724).9.26 没、享年 56、法名了休、葬地は牛込願正寺	寛政譜 12-54
宇都野 政方	うつの まさかた	数馬	元禄 14 ～宝暦 2 (1701 ～ 1752)	享保 3 ～宝暦 2 (1718 ～ 1752)	550 石	宇都野政朝 (長男)/ 某氏 / 木村四郎兵衛種羽女→松平助八郎正則養女	享保 3(1718).10.19 家を継ぐ→同 . 閏 10.4 吉宗に初目見→同 9(1724).10.9 大番→同 19(1734).4.6 番を辞す→宝暦 2(1752).1.8 没、享年 52、法名道休、葬地は牛込願正寺	寛政譜 12-54
宇都野 政伴	うつの まさとも	忠太郎 / 多宮	享保 5 ～ ? (1720 ～ ?)	宝暦 2 ～安永 5 (1752 ～ 1776)	550 石	宇都野政方 (長男)/ 木村四郎兵衛種羽女 / 不詳	宝暦 2(1752).4.3 遺跡を継ぐ→同 .12.12 家重に初目見→同 7(1757).9.26 大番→同 11(1761).9.28 番を辞す→安永 5(1776).4.4 致仕 (57 歳)【以降不明】	寛政譜 12-54
多田 政貞	ただ まささだ	亀之助 / 八郎左衛門 / 三郎兵衛	? ～宝永 6 (? ～ 1709)	? ～宝永 6 (? ～ 1709)	10 人扶持→ 10 人扶持 +100 俵→ 200 俵	多田三吉正与 (三男)/ 某氏 / 不詳	慶安 3(1650).9.3 家綱に付属、西丸小十人、家光に初目見→ 10 人扶持→本丸小十人→承応 1(1652).12.18 加増 100 俵→延宝 7(1679).11.29 納戸番→天和 3(1683).12.21 加増 100 俵、扶持は収公→元禄 14(1701).11.4 番を辞して、小普請→宝永 6(1709).3.12 没、享年不詳、法名日持、葬地は牛込恵光寺	寛政譜 5-85
多田 政勝	ただ まさかつ	亀之助 / 吉右衛門	寛文 10 ～正徳 1 (1670 ～ 1711)	宝永 6 ～正徳 1 (1709 ～ 1711)	200 俵	多田政貞 (長男)/ 某氏 / 南部大膳亮家臣服部半兵衛某女	貞享 1(1684).5.10 綱吉に初目見 (15 歳) →元禄 6(1693).12.9 大番→のち番を辞す→正徳 1(1711).10.12 没、享年 42、法名日信、葬地は牛込恵光寺	寛政譜 5-85
多田 依利	ただ よりとし	三太郎	元禄 7 ～宝暦 3 (1694 ～ 1753)	正徳 1 ～宝暦 3 (1711 ～ 1753)	200 俵	多田政勝 (長男)/ 南部大膳亮家臣服部半兵衛某女 / 不詳	宝永 3(1706).9.1 綱吉に初目見 (13 歳) →正徳 1(1711).12.19 遺跡を継ぐ→同 5(1715).11.16 納戸番→享保 10(1725).1.28 二丸勤仕→のち西丸勤仕→同 14(1729).10.12 西丸納戸番組頭→元文 3(1738).11.19 月光院方広敷番頭→宝暦 2(1752).11.4 月光院没により務めを許される→同 3(1753).10.4 没、享年 60、法名日深、葬地は牛込恵光寺	寛政譜 5-85
多田 政久	ただ まさひさ	吉之助 / 致仕号快休	元文 2 ～寛政 8 (1737 ～ 1796)	宝暦 3 ～天明 2 (1753 ～ 1782)	200 俵	多田依利 (長男)/ 某氏 / 不詳	宝暦 3(1753).12.24 遺跡を継ぐ→天明 2(1782).3.27 致仕→寛政 8(1796).7.19 没、享年 60、法名日修、葬地は牛込恵光寺	寛政譜 5-86
山田 重安	やまだ しげやす	初信隆 / 半四郎 / 甚五右衛門 / 権右衛門 / 甚五右衛門 / 太左衛門	寛永 14 ～享保 4 (1637 ～ 1719)	? ～享保 4 (? ～ 1719)	150 俵→ 200 俵→ 300 俵	山田源右衛門信貞 (長男)/ 某氏 / 横山金兵衛正吉女	神田館で綱吉に仕え、小十人→延宝 8(1680) 綱吉子徳松にしたがい幕臣となり、切米 150 俵、西丸勤仕→のち加増 50 俵→徳松逝去により、小普請→貞享 2(1685).12.21 桐之間番→同 3(1686).12.26 広敷番頭→元禄 7(1694).12.23 加増 100 俵→宝永 1(1704).3.28 西丸裏門番頭→同 .12.11 布衣→享保 4(1719).1.21 務めを辞し、寄合→同 .7.12 没、享年 83、法名浄翁、葬地は関口大泉寺	寛政譜 6-11
山田 信盈	やまだ のぶみつ	伝五郎 / 致仕号道喜	貞享 3 ～明和 1 (1686 ～ 1764)	享保 4 ～宝暦 9 (1719 ～ 1759)	300 俵	山田重安 (二男)/ 横山金兵衛正吉女 / 正木藤右衛門弘信養女	元禄 16(1703).3.28 綱吉に初目見→宝永 6(1709).4.6 書院番→宝暦 7(1757).4.3 番を辞す→同 9(1759).4.18 致仕→明和 1(1764).5.16 没、享年 79、法名道喜、葬地は関口大泉寺	寛政譜 6-12
山田 信義	やまだ のぶよし	太右衛門 / 致仕号田山	享保 9 ～寛政 4 (1724 ～ 1792)	宝暦 9 ～安永 6 (1759 ～ 1777)	300 俵	山田信盈 (長男)/ 正木藤右衛門弘信養女 / 児嶋源之丞正書女	享保 19(1734).10.15 吉宗に初目見 (11 歳) →宝暦 9(1759).4.18 家を継ぐ→同 11(1761).11.13 小性組→安永 5(1776).9. 晦日 番を辞す→同 6(1777).8.13 致仕→寛政 4(1792).2.22 没、享年 69、法名飛楽、葬地は関口大泉寺	寛政譜 6-12
佐野 政次	さの まさつぐ	七兵衛 / 九右衛門	? ～寛文 10 (? ～ 1670)	寛永 15 ～寛文 10 (1638 ～ 1670)	250 石	大須賀与大夫元成 / 某氏 / 佐野福阿弥正長女	寛永 15(1638).12.21 遺跡を継ぎ、甲斐国内に知行 250 石→のち大番→同 20(1643).10.21 家綱に付属、三丸勤仕→慶安 3(1650).9.4 大番→寛文 9(1669).9.13 宝蔵番之頭→同 10(1670).7.18 没、享年不詳、法名覚翁、葬地は四谷西応寺	寛政譜 14-31

第 119 表　尾張家添地以前 屋敷地所持者履歴（2）

姓名	よみ	通称等	生没年	当主期間	高	実父 / 実母 / 正室妻	履歴	出典
佐野 政国	さの まさくに	与市郎 / 九右衛門	万治 1 ～宝永 4 (1658 ～ 1707)	寛文 10 ～宝永 4 (1670 ～ 1707)	250 石	佐野政次 (長男)/ 佐野福阿弥正長女 / 不詳	寛文 4(1664).6.21 家綱に初目見 (7 歳) →同 10(1670).12.10 遺跡を継ぎ、小普請→天和 1(1681).2.26 大番→貞享 1(1684).8.18 新番→元禄 16(1703).5.22 番を辞す→宝永 2(1705) 知行を甲斐国内より上総国内に移される→同 4(1707).6.12 没、享年 50、法名常黯、葬地は四谷西応寺	寛政譜 14-31
佐野 政長	さの まさなが	三之助	天和 1 ～享保 17 (1681 ～ 1732)	宝永 4 ～享保 17 (1707 ～ 1732)	250 石	佐野正国 (二男)/ 某氏 / 不詳	宝永 4(1707).8.21 遺跡を継ぐ→享保 17(1732).6.9 没、享年 52、法名遊園、葬地は四谷西応寺	寛政譜 14-31
佐野 政信	さの まさのぶ	千代之助 / 九右衛門 / 致仕号帰元	享保 10 ～ ? (1725 ～ ?)	享保 17 ～天明 2 (1732 ～ 1782)	250 石	佐野政長 (長男)/ 某氏 / 玉虫次郎右衛門某養女→天英院侍女某養女	享保 17(1732).9.4 遺跡を継ぐ→元文 1(1736).2.2 大番→延享 4(1747).8.27 新番→宝暦 12(1762).12.28 新番組頭→天明 1(1781).8.18 務めを辞す→同 2(1782).3.27 致仕 (67 歳)【以降不明】	寛政譜 14-31
松井 宗重	まつい むねしげ	助大夫	慶長 8 ～元禄 13 (1603 ～ 1700)	慶長 13 ～元禄 13 (1608 ～ 1700)	? → 200 石 → 200 俵 → 400 俵	松井助大夫宗次 (長男)/ 大井石見守政成女 / 大井民部少輔政吉女	慶長 13(1608) 遺跡を継ぐ (6 歳) →元和 8(1622).9.18 徳川忠長に付属し、大番→改易により處士となる→召されて家光に勤仕→寛永 17(1640).8.23 宝蔵番→同 18(1641).11.15 旧知 200 石を賜う→同 20(1643).8.26 家綱に付属、三丸の番を務める→同 .12.18 知行を改めて切米 200 俵→慶安 3(1650).9.4 大番、西丸勤仕→寛文 1(1661).11.28 広敷番頭→同 .12.12 加増 200 俵→延宝 3(1675).8.13 務めを辞し、小普請→元禄 13(1700).7.9 没、享年 98、法名宗松、葬地は四谷長禅寺	寛政譜 10-70
松井 宗秀	まつい むねひで	八大夫	? ～宝永 7 (? ～ 1710)	? ～宝永 7 (? ～ 1710)	200 俵→ 250 俵→ 300 俵 → 500 俵 → 500 石	松井宗重 (長男)/ 大井民部少輔政吉 / 不詳	慶安 1(1648).6.28 家綱に付属、三丸の番を務める→同 3(1650).9.4 大番、西丸に勤仕→切米 200 俵→寛文 7(1667).2.18 新番→同 8(1668).12.25 加増 50 俵→元禄 2(1689).4.9 新番組頭→同 7(1694).12.23 加増切米 200 俵→同 9(1696).6.9 務めを辞す→同 10(1697).7.26 切米を改められ、下総国内に知行 500 石→宝永 7(1710).8.12 没、享年不詳、法名宗玄、葬地は四谷長禅寺	寛政譜 10-70
松井 宗要	まつい むねとし	左大夫	寛文 1 ～享保 2 (1661 ～ 1717)	宝永 7 ～享保 2 (1710 ～ 1717)	500 石	森山佐右衛門盛勝 (二男)/ 松井宗重女 / 平野善次郎勝重女→筧新五左衛門正興女	元禄 4(1691).12.2 書院番→宝永 7(1710).9. 晦日 遺跡を継ぐ→のち番を辞す→享保 2(1717).1.22 没、享年 57、法名宗栄、葬地は四谷長禅寺	寛政譜 10-70
金田 正明	かねだ まさあきら	初正春 / 正恒 / 正彦 / 銀大夫 / 能登守 / 周防守 / 従五位下	寛文 12 ～享保 17 (1672 ～ 1732)	? ～享保 17 (? ～ 1732)	300 俵→ 1,000 俵→ 3,000 俵 → 3,000 石	金田遠江守正勝 (三男)/ 某氏 / 松平兵庫頭直政女	延宝 7(1679).2.28 家綱に初目見 (8 歳) →元禄 2(1689).5.22 綱吉に勤仕、桐之間番→同 .6.4 小性→同 . 同 .6 切米 300 俵→同 .12.7 従五位下能登守→同 4(1691).1.13 加増 700 俵→同 5(1692).1.10 加増 2,000 俵→同 10(1697).7.26 切米を改めて武蔵国内に知行 3,000 石→同 15(1702).4.6 桐之間番→宝永 1(1704).2.14 小性→同 6(1709).2.21 綱吉没により務めを許され、寄合→正徳 2(1712).6.7 小性組組頭→享保 4(1719).6.25 小普請支配→同 8(1723).3.21 小性組番頭→同 13(1728).7.1 書院番頭→同 17(1732).7.2 没、享年 61、法名浄覚、葬地は下谷高岩寺	寛政譜 9-141
酒依 昌陽	さかより まさはる	宮内	貞享 3 ～享保 18 (1686 ～ 1733)	宝永 1 ～享保 18 (1704 ～ 1733)	900 石	酒依清左衛門昌隆 (長男)/ 梶川庄左衛門重昌女 / 彦坂壱岐守重敬養女	元禄 5(1692).10.28 綱吉に初目見 (7 歳) →宝永 1(1704).9.27 遺跡を継ぎ、武蔵国内に知行 900 石、寄合→享保 9(1724).10.9 書院番→同 12(1727).7.12 番を辞し、小普請→同 18(1733).6.6 没、享年 48、法名常如、葬地は市谷松雲寺	寛政譜 3-314
稲富 直■ (■：目に往)	いなとみ なおてる	久太郎 / 求馬 / 致仕号長裕	延宝 4 ～元文 5 (1676 ～ 1740)	元禄 11 ～享保 19 (1698 ～ 1734)	750 石余	稲富次郎左衛門重宣 (長男)/ 稲富宮内重吉養女 / 松平伊勢守隆欽女	貞享 2(1685).9.5 綱吉に初目見 (10 歳) →元禄 6(1693).12.9 小性組→同 8(1695).8.5 近習番→同 .9.27 小性組→同 11(1698).7.18 遺跡を継ぎ、武蔵・上総国内に知行 750 石余→宝永 7(1710).5.3 番を辞す→享保 19(1734).6.21 致仕→元文 5(1740).8.12 没、享年 65、法名長裕、葬地は小石川無量院	寛政譜 9-382
範囲№①								
豊嶋 泰盈	としま やすみつ	左平 / 七兵衛	不詳	不詳	不詳	豊嶋七兵衛泰利 / 不詳 / 不詳	父に継いで留守居番与力【以降不明】 ※御家人	寛政譜 9-179
豊嶋 泰朝	としま やすとも	五郎三郎	不詳	不詳	不詳	堀内六郎兵衛安行 (三男)/ 不詳 / 豊嶋泰盈女	豊嶋泰盈の養子となり、その女を妻とする→父に継いで留守居番与力【以降不明】 ※御家人	寛政譜 9-179
豊嶋 武経	としま たけつね	初常方 / 泰紀 / 息之助 / 平次郎 / 左兵衛	元文 3 ～ ? (1738 ～ ?)	安永 7 ～ ? (1778 ～ ?)	210 石余	久志本内藤允常周 (三男)/ 久志本式部常盛女 / 豊嶋金右衛門教康養女	豊嶋泰朝の養子となる→留守居番与力→明和 5(1768).2.24 時点 留守居番与力→上水道方改役→安永 1(1772).7.3 小普請方 (35 歳)【以降略】 ※御家人→旗本	寛政譜 22-179/ 屋敷渡預絵図証文
岡本 正次	おかもと まさつぐ	新五左衛門	? ～正徳 5 (? ～ 1715)	貞享 2 ～正徳 5 (1685 ～ 1715)	不詳	岡本五郎左衛門正方 (長男)/ 不詳 / 柏山嘉兵衛某女	貞享 2(1685).12.15 遺跡を継ぐ→のち留守居番与力→元禄 10(1697).12.14 時点 二丸留守居番与力→表火之番→支配勘定→元禄 15(1702).12.21 時点 支配勘定【以降不明】 ※御家人	寛政譜 22-172/ 屋敷渡預絵図証文
岡本 正良	おかもと まさよし	徳太郎 / 数馬 / 新五左衛門	元禄 7 ～寛延 3 (1694 ～ 1750)	正徳 5 ～寛延 3 1715 ～ 1750)	切米 150 俵	岡本正次 (長男)/ 柏山嘉兵衛某女 / 細谷郷佐右衛門某女	正徳 5(1715).12.26 遺跡を継ぐ→のち支配勘定→浄円院 (吉宗母巨勢氏) 方広敷添番→享保 9(1724).10.9 鷹匠、切米 150 俵→寛保 1(1741).7.25 鷹匠組頭→寛延 3(1750).6.4 没、享年 57、法名梅英、葬地は赤坂種徳寺 ※御家人→旗本	寛政譜 22-172

第 120 表　尾張家添地以前 屋敷地所持者履歴（3）

姓名	よみ	通称等	生没年	当主期間	高	実父 / 実母 / 正室妻	履歴	出典
範囲№②								
内藤 正明	ないとう まさあきら	吉右衛門	？～宝永 5 (? ～ 1708)	延宝 4 ～宝永 5 (1676 ～ 1708)	切米 100 俵 10 人扶持→切米 200 俵	内藤与右衛門正忠 (二男)/ 某氏 / 不詳	延宝 4(1676).12.12 内藤権右衛門勝忠の遺跡を継ぎ、切米 100 俵・10 人扶持、小普請→貞享 1(1684).5.25 小十人→元禄 16(1703).3.9 納戸番→同 .12.22 加増 200 俵、扶持は収公→宝永 5(1708).1.25 没、享年・法名・葬地不詳	寛政譜 13-248
真井 弼忠	さねい すけただ	半蔵	不詳	？～元文 1 (? ～ 1736)	不詳	不詳 / 不詳 / 不詳	旗奉行同心→広敷伊賀者→進物取次上番→西丸表火之番→元文 1(1736)7.25 致仕【以降不明】 ※御家人 ※「四代にして弼忠にいたるまで御旗奉行の同心をつとむ。」	寛政譜 22-221
真井 弼直	さねい すけなお	文治 / 理左衛門	宝永 4 ～天明 7 (1707 ～ 1787)	元文 1 ～天明 7 (1736 ～ 1787)	不詳	真井弼忠 (長男)/ 某氏 / 不詳	元文 1(1736).7.25 家を継ぐ→西丸表火之番→支配勘定→宝暦 8(1758).11.18 勘定→天明 6(1786).11.3 務めを辞し、小普請→同 7(1787).4.25 没、享年 81、法名了夢、葬地は牛込宗参寺 ※御家人→旗本	寛政譜 22-221
範囲№④								
原田 茂久	はらだ しげひさ	清大夫	？～？ (? ～ ?)	？～？ (? ～ ?)	不詳	原田大蔵 / 不詳 / 不詳	元和 6(1620) 細工所同心 ※御家人	寛政譜 22-339
原田 良久	はらだ よしひさ	清大夫 / 権左衛門	？～？ (? ～ ?)	？～？ (? ～ ?)	不詳	原田清大夫茂久 (長男)/ 不詳 / 不詳	細工所同心→中野犬小屋支配下役→二丸火番→二丸添番 ※御家人	寛政譜 22-339
原田 清嗣	はらだ きよつぐ	友弥 / 五郎左衛門 / 清大夫	元禄 5 ～享保 6 (1692 ～ 1721)	正徳 4 ～享保 6 (1714 ～ 1721)	不詳	原田俊永 (長男)/ 原田良久女 / 不詳	正徳 4(1714).6.26 祖父原田良久の遺跡を継ぐ→表火番→徒押→鷹匠→享保 3(1718).12.18 小十人格→同 6(1721).5.9 没、享年 30，法名栄山、葬地は市谷洞雲寺 ※御家人→旗本	寛政譜 22-340
原田 俊房	はらだ としふさ	庄之助	宝永 6 ～延享 1 (1709 ～ 1744)	享保 6 ～延享 1 (1721 ～ 1744)	不詳	原田俊永 (二男)/ 原田良久女 / 不詳	兄原田清嗣の嗣となる→享保 6(1721).7.27 遺跡を継ぎ、小普請 (13 歳) →同 19(1734).12.9 田安家小十人→番を辞す→延享 1(1744).9.20 没、享年 36、法名久法、葬地は市谷洞雲寺	寛政譜 22-340
原田 俊隆	はらだ としたか	半五郎 / 主殿 / 左門 / 孫助	享保 7 ～天明 6 (1722 ～ 1786)	延享 1 ～天明 6 (1744 ～ 1786)	不詳	原田俊永 (四男)/ 原田良久女 / 中岡文大夫資綱養女	延享 1(1744).10.2 兄俊房の遺跡を継ぐ→同 3(1746).6.15 家重に初目見→宝暦 9(1759).12.25 勘定→天明 6(1786).11.24 没、享年 65、法名良勇、葬地は市谷洞雲寺	寛政譜 22-340
範囲№⑨								
松平 近栄	まつだいら ちかよし	大助 / 従五位下 / 上野介	寛永 9 ～享保 2 (1632 ～ 1717)	寛文 6 ～元禄 15 (1666 ～ 1702)	30,000 石 → 15,000 石 → 30,000 石	松平出羽守直政 (二男)/ 松平甲斐守忠良女 /	寛永 9(1632).9.28 江戸に生れる→同 18(1641).12.28 家光に初目見 (10 歳) →承応 1(1652).12.28 従五位下上野介→寛文 6(1666).4.29 兄松平綱隆より出雲能義郡広瀬村 30,000 石を分知される→天和 1(1681).6.27 閉門→同 2(1682).2.9 所領の半ばを減ぜられる→貞享 3(1686).7.13 加増 5,000 石→元禄 7(1694).5.14 加増 10,000 石、都合 30,000 石となる→同 15(1702).3.23 致仕→享保 2(1717).9.19 江戸で没、享年 86、法号法雲院	徳川諸家系譜 4-165
松平 近時	まつだいら ちかとき	大助 / 従五位下 / 式部少輔	万治 2 ～元禄 15 (1659 ～ 1702)	元禄 15 (1702)	30,000 石	松平近栄 (長男)/ 松平但馬守直良女 /	万治 2(1659).4.7 江戸に生れる→延宝 1(1673).9.9 家綱に初目見→同 3(1675).12.26 従五位下式部少輔→元禄 15(1702).3.23 家を継ぐ→同 .閏 8.18 没、享年 44、法号瑞岸院	徳川諸家系譜 4-166
松平 近朝	まついだら ちかとも	初近信 / 安太郎 / 大助 / 兵庫 / 従五位下 / 隼人正 / 飛騨守	天和 1 ～享保 13 (1681 ～ 1728)	元禄 15 ～享保 13 (1702 ～ 1728)	30,000 石	松平近時 (長男)/ 松平信濃守綱隆女 /	天和 1(1681).6.22 江戸に生れる→元禄 14(1701).8.1 綱吉に初目見→同 15(1702).10.9 遺領を継ぐ→同 .12.19 従五位下隼人正→のち飛騨守→享保 13(1728).11.15 江戸で没、享年 48、法号円徳院	徳川諸家系譜 4-166
松平 近明	まつだいら ちかあきら	初近房 / 亀之助 / 玄蕃 / 大蔵 / 従五位下 / 近江守 / 致仕号猪寛	元禄 15 ～宝暦 5 (1702 ～ 1755)	享保 13 ～寛延 2 (1728 ～ 1749)	30,000 石	松平近時 (四男)/ 大竹氏 /	元禄 15(1702).8.12 江戸に生れる→兄近朝の養子となる→享保 13(1728).12.25 遺領を継ぐ→同 14(1729).1.15 吉宗に初目見→同 .12.16 従五位下肥前守→のち式部少輔→近江守→寛延 2(1749).8.9 致仕→宝暦 5(1755).4.21 江戸で没、享年 54、法号瑞雲院	徳川諸家系譜 4-166
松平 近輝	まつだいら ちかてる	多一郎 / 式部 / 従五位下 / 式部少輔	享保 15 ～宝暦 7 (1730 ～ 1757)	寛延 2 ～宝暦 7 (1749 ～ 1757)	30,000 石	松平近明 (長男)/ 柳田氏 /	享保 15(1730).7.9 江戸に生れる→延享 1(1744).5.15 吉宗に初目見→寛延 2(1749).8.9 家を継ぐ→同 .12.18 従五位下 / 式部少輔→宝暦 7(1757).5.9 江戸で没、享年 28、法号成覚院	徳川諸家系譜 4-166
松平 近貞	まつだいら ちかさだ	麟三郎 / 大蔵 / 従五位下 / 淡路守 / 致仕号大内記	享保 18 ～天明 5 (1733 ～ 1785)	宝暦 7 ～安永 2 (1757 ～ 1773)	30,000 石	松平近明 (三男)/ 柳田氏 /	享保 18(1733).9.16 江戸に生れる→兄近輝の養子となる→宝暦 7(1757).7.2 遺領を継ぐ→同 . 同 .28 家重に初目見→同 .12.18 従五位下淡路守→安永 2(1773).11.23 致仕→天明 5(1785).7.9 江戸で没、享年 53、法号本源院	徳川諸家系譜 4-167
松平 直義	まつだいら なおよし	初長善 / 近義 / 久松 / 主税 / 従五位下 / 淡路守 / 上野介 /	宝暦 4 ～享和 3 (1754 ～ 1803)	安永 2 ～享和 3 (1773 ～ 1803)	30,000 石	松平越後守長孝 (三男)/ 藤堂和泉守高豊妹 /	宝暦 4(1754).4.28 江戸に生れる→安永 2(1773).7.4 近貞の養子となる→同 .10.1 家治に初目見→同 .11.23 家を継ぐ→同 .12.16 従五位下淡路守→天明 6(1786). 閏 10.13 上野介→享和 3(1803).10.22 没、享年 55、法号本覚院	徳川諸家系譜 4-167

第 121 表　尾張家添地以前 屋敷地所持者履歴（4）

姓名	よみ	通称等	生没年	当主期間	高	実父 / 実母 / 正室妻	履歴	出典
松平 直寛	まつだいら なおひろ	麟三郎 / 掃部助 / 主税助 / 従五位下 / 大蔵少輔 / 佐渡守 / 従四位 / 宮内大輔	天明 3 ～嘉永 3 (1783 ～ 1850)	享和 3 ～嘉永 3 (1803 ～ 1850)	30,000 石	松平近貞 (二男)/ 佐野氏 /	天明 3(1783).6.27 江戸に生れる→享和 2(1802).12.8 直義の養子となる→同 3(1803).4.1 家斉に初目見→同 .12.15 遺領を継ぐ→同 . 同 .28 従五位下大蔵少輔→のち佐渡守→弘化 4(1847).12.16 従四位宮内大輔→嘉永 3(1847).10.21 江戸で没、享年 69、法号徳寿院	徳川諸家系譜 4-167
松平 直諒	まつだいら なおあき	大助 / 従五位下 / 佐渡守	文化 10 ～文久 1 (1813 ～ 1861)	嘉永 3 ～文久 1 (1850 ～ 1861)	30,000 石	松平直寛 (長男)/ 内藤能登守政韶女 /	文化 14(1817).10.5 江戸に生れる→天保 6(1835).7.1 家斉に初目見→弘化 4(1847).12.22 従五位下佐渡守→嘉永 3(1847).12.9 遺領を継ぐ→文久 1(1861).9.5 没、享年 45、法号成徳院	徳川諸家系譜 4-167
松平 直巳	まつだいら なおおき	盛吉 / 従五位下 / 佐渡守	天保 3 ～大正 6 (1832 ～ 1917)	文久 1 ～明治 9 (1861 ～ 1876)	30,000 石	松平直寛 (十一男)/ 安達氏 /	天保 3(1832).2.23 江戸に生れる→文久 1(1861)11.3 兄直諒の養子となり、家を継ぎ、従五位下佐渡守→同 . 同 .11 家茂に初目見→明治 2(1869).6.20 版籍奉還、広瀬藩知事に任ぜられる→同 4(1871).7.14 廃藩、知藩事を免じられる→明治 9(1876).4.6 致仕→大正 6(1917).3.23 没、享年 86	徳川諸家系譜 4-167
伊丹 康之	いたみ やすゆき	理右衛門	寛永 15 ～享保 11 (1638 ～ 1726)	寛文 2 ～享保 11 (1662 ～ 1726)	300 石	伊丹理右衛門之信 (二男)/ 某氏 / 不詳	寛文 2(1662).10.21 家を継ぐ→同 .11.21 大番→宝永 1(1704).3.21 番を辞す→享保 11(1726).3.2 没、享年 89、法名道知、葬地は深川宜雲寺	寛政譜 5-129
大竹 正次	おおたけ まさつぐ	孫右衛門	？～元禄 3 (? ～ 1690)	？～元禄 3 (? ～ 1690)	不詳	不詳 / 不詳 / 不詳	祖父の遺跡を継ぐ→秀忠・家光に勤仕→元禄 3(1690).6.13 没、享年不詳、法名祐先、葬地は千駄ヶ谷随円寺 ※御家人	寛政譜 9-355
大竹 清武	おおたけ きよたけ	源次郎	？～？ (? ～ ?)	元禄 3 ～享保 2 (1690 ～ 1707)	不詳	大竹正次 (長男)/ 不詳 / 不詳	元禄 3(1690).8.6 遺跡を継ぐ→のち富士見番【以降不明】 ※御家人	寛政譜 9-355
大竹 清勝	おおたけ きよかつ	文左衛門 / 孫右衛門	元禄 7 ～宝暦 13 (1694 ～ 1763)	享保 2 ～宝暦 13 (1717 ～ 1763)	不詳	植山氏 (不詳)/ 大竹正次女 / 松平左近将監家臣阿佐美重助某女→水野志摩守家臣牧野茂右衛門某女	享保 2(1717).8.16 家を継ぐ→のち表火之番→鳥見役→宝暦 4(1754).1.29 鳥見役組頭→同 13(1763).7.18 没、享年 70、法名悦道、同地は千駄ヶ谷随円寺 ※御家人→旗本	寛政譜 9-355
矢野 政久	やの まさひさ	彦右衛門 / 五郎右衛門 / 太兵衛 / 兵右衛門	明暦 1 ～享保 1 (1655 ～ 1716)	万治 3 ～享保 1 (1660 ～ 1716)	300 俵	矢野太郎兵衛政重 (長男)/ 某氏 / 松平与右衛門利隆女	万治 3(1660).12.23 遺跡を継ぎ、切米 300 俵、小普請 (6 歳) →延宝 5(1677).5.10 大番→元禄 5(1692).11.9 新番→のち番を辞す→享保 1(1716).4.1 没、享年 62、法名浄月、葬地は大久保専念寺	寛政譜 14-200
矢野 政景	やの まさかげ	嶋之助 / 市郎右衛門	延宝 4 ～享保 3 (1676 ～ 1718)	享保 1 ～ 3 (1716 ～ 1718)	300 俵	矢野政久 (長男)/ 某氏 / 不詳	貞享 4(1687).7.4 綱吉に初目見 (12 歳) →享保 1(1716).8.19 遺跡を継ぐ→同 3(1718).6.29 没、享年 43、法名乗運、葬地は大久保専念寺	寛政譜 14-200
矢野 政寿	やの まさつね	源次郎	天和 1 ～享保 18 (1683 ～ 1733)	享保 3 ～ 18 (1718 ～ 1733)	300 俵	矢野政久 (二男)/ 某氏 / 不詳	享保 3(1718).9.2 遺跡を継ぐ→同 18(1733).5.6 没、享年 51、法名法運、葬地は大久保専念寺	寛政譜 14-200
矢野 政勝	やの まさかつ	平十郎	享保 3 ～明和 6 (1718 ～ 1769)	享保 18 ～寛延 3 (1733 ～ 1750)	300 俵	矢野政景 (二男)/ 某氏 / 不詳	享保 18(1733).8.12 遺跡を継ぐ (16 歳) →元文 2(1737). 閏 11.25 大番→寛延 3(1750).7.15 番を許される→同 .12.3 致仕→明和 6(1769).2.16 没、享年 52、法名慈運	寛政譜 14-200

第 122 表　延宝年中以前の土地利用

寛永江戸全図（寛政 19 ～ 20・1642 ～ 43 年）			江戸大絵図（明暦 3・1657 年）			新板江戸外絵図（寛文 12・1672 年）			御府内往還其外沿革図書・延宝年中之形（1673 ～ 1681）	範囲 No.
絵図記載	氏名	役職	絵図記載	氏名	役職	絵図記載	氏名	役職	絵図記載	
加賀大姫君様	大姫（清泰院）	（徳川家光養女・加賀藩主前田光高室）	畑	—	—	ウツ作右・タヾ八郎左・サノ九右・松井介大夫	宇津野正信・多田政貞・佐野政国・松井重宗	（旗本）	西尾次郎左衛門・宇津野佐 (ママ) 右衛門・多田八郎左衛門・山田太左衛門・佐野九右衛門・金田能登守・松井助太夫	⓪
松平大隅与力同心	松平重則	留守居・奏者番	日下部作十郎足軽	日下部正定	留守居番	イワセ市兵クミ	岩瀬氏忠	留守居番	御留守居番同心大縄地	①
						同（イトウ安兵・榊原四郎左・クガイ惣左・イワセ市兵・小ガサ原太左、五クミ入合）	伊藤正次・榊原忠重・久貝正信・岩瀬氏忠・小笠原安村	留守居番	御留守居番同心大縄地	②
			山本平九郎足軽	山本正直	留守居番	イトウ安兵・榊原四郎左・クガイ惣左・イワセ市兵・小ガサ原太左、五クミ入合	伊藤正次・榊原忠重・久貝正信・岩瀬氏忠・小笠原安村	留守居番	御留守居番同心大縄地	③
矢部助之進同心	矢部定成	細工頭	町	—	—	町	—	—	御細工同心町屋	④
大御番衆	—	大番	三宅惣右衛門組足軽	三宅康政	留守居番	同（イワセ市兵クミ）	岩瀬氏忠	留守居番	御留守居番同心大縄地	⑤
松平大隅同心	松平重則	留守居・奏者番	日下部作十郎足軽	日下部正定	留守居番	同（イトウ安兵・榊原四郎左・クガイ惣左・イワセ市兵・小ガサ原太左、五クミ入合）	伊藤正次・榊原忠重・久貝正信・岩瀬氏忠・小笠原安村	留守居番	御留守居番同心大縄地	⑥
松平大隅同心	松平重則	留守居・奏者番	山本平九郎足軽	山本正直	留守居番	同（イトウ安兵・榊原四郎左・クガイ惣左・イワセ市兵・小ガサ原太左、五クミ入合）	伊藤正次・榊原忠重・久貝正信・岩瀬氏忠・小笠原安村	留守居番	御留守居番同心大縄地	⑦
榊原八兵衛同心	榊原正成	先手鉄炮頭	依田内蔵介足軽	依田信重 (信忠)	先手鉄炮頭	ヨダクラクミ	依田信重 (信忠)	先手鉄炮頭	御先手組大縄地	⑧
神谷与七郎同心	神谷清正	先手鉄炮頭	高木忠右衛門組足軽	高木為信	先手鉄炮頭	松平上野	松平近栄	（大名・出雲広瀬藩主）	松平上野介	⑨
神谷与七郎同心										
酒井壱岐守同心	酒井忠重	書院番頭	山口備前足軽	山口重恒	書院番頭	トダサガミクミ	戸田氏照 (氏好)	大番頭	大御番同心大縄地	⑩
酒井壱岐守同心	酒井忠重	書院番頭	山口備前足軽	山口重恒	書院番頭	トダサガミクミ	戸田氏照 (氏好)	大番頭	大御番同心大縄地	⑪

第 123 表　宝暦～明和期 屋敷地所持者

範囲 No.	NO.	「沿革図書」のうち「宝暦十三未年之形」(1763) 記載名	明和 5 年 (1768) 上地対象者		身分	備考 / 引料・手当金
			氏名	肩書		
⓪	1	西尾彦四郎 (長喬)	西尾彦四郎 (長喬)	小普請組松平藤九郎支配組頭	旗本	― / 金 30 両・無
	2	山田太左 (右) 衛門 (信義)	山田太右衛門 (信義)	御小性組高井土佐守組	旗本	― / 金 30 両・無
	3	佐野九右衛門 (政信)	佐野九右衛門 (政信)	新御番牧野伝蔵組与頭	旗本	― / 銀 20 両・無
	4	宇津野多宮 (政伴)	宇津野多宮 (政伴)	小普請組市橋大膳支配	旗本	― / 金 30 両・無
	5	多田吉之助 (政久)	多田吉之助 (政久)	小普請組神谷与次右衛門支配	旗本	― / 銀 20 両・無
①	6	豊嶋左兵衛 (武経)	豊嶋左兵衛 (武経)	御留守居駒木根大内記組与力	御家人	― / 銀 20 両・銀 50 枚
	7	原武太夫	原武太夫	御留守居番矢部能登守組与力	御家人	― / 銀 20 両・銀 50 枚
	8	石原八郎左衛門	石原八郎左衛門	小普請組設楽善左衛門組	御家人	― / 銀 20 両・銀 50 枚
②	9	岡部大助	岡部大助	小普請組神谷与次右衛門組	御家人	他役が拝領 / 無・金 25 両
	10	羽山伊右衛門	羽山与四郎	御裏門番同心	御家人	他役が拝領 / 銀 3 枚・金 5 両
	11	伊藤平蔵	伊藤彦四郎	小普請組市橋大膳組	御家人	他役が拝領 / 銀 3 枚・金 5 両
	12	浜田三郎次	浜田三郎治	山里伊賀者	御家人	他役が拝領 / 銀 5 枚・同 12 枚
	13	前田藤十郎	前田藤十郎	小普請組有馬采女組	御家人	― / 銀 3 枚・金 5 両
	14	山口長右衛門	山口長右衛門	小普請組有馬采女組	御家人	― / 無・無
	15	府馬五郎兵衛	府馬五郎兵衛	小普請組高力式部組	御家人	先祖が留守居番同心 / 銀 3 枚・金 5 両
	16	古谷定右衛門	古谷定右衛門	御鷹匠頭能勢河内守支配同心	御家人	― / 無・無
	17	屋代銀次郎	屋代銀次郎	西丸御裏門番同心	御家人	先祖が留守居番同心 / 銀 3 枚・金 5 両
	18	井上新蔵	井上新蔵	小普請組妻木平四郎組	御家人	― / 銀 3 枚・金 5 両
	19	椎林政五郎	椎林政五郎	御留守居番近藤半十郎組同心	御家人	― / 銀 3 枚・金 5 両
	20	真井半蔵 (理左衛門弼直)	真井利 (理) 左衛門 (弼直)	御勘定	旗本	宝暦 8 年 (1758) ～旗本 / 金 10 両・無
④	21	御細工同心町屋	原田孫助 (俊隆)	御勘定	旗本	享保 3 年 (1718) ～旗本 / 銀 10 枚・無
	22		大内儀右衛門	安祥院殿添番	御家人	― / 無・銀 12 枚
	23		柄本利三郎	御挑灯奉行	御家人	― / 無・無
	24		大久大蔵	小普請組市橋大膳組	御家人	― / 無・無
	25		長井千之助	小普請組神谷与次右衛門組	御家人	― / 銀 5 枚・同 12 枚
⑤	26	小野冨三郎	小野冨三郎	御先手仙石監物組与力	御家人	― / 銀 20 枚・同 50 枚
	27	鈴木九十郎	鈴木九十郎	御先手仙石監物組与力	御家人	― / 銀 20 枚・同 50 枚
⑥	28	矢部定之助	矢部定之助	御留守居番近藤半十郎組同心	御家人	― / 銀 3 枚・金 5 両
	29	岡村忠右衛門	岡村忠右衛門	進物取次上番	御家人	― / 銀 3 枚・金 5 両
	30	大森三次郎	大森三次郎	小普請組設楽善左衛門組	御家人	他役が相対替 / 銀 5 枚・同 12 枚
	31	中沢辰次郎	中沢辰次郎	御鷹匠頭能勢河内守支配同心	御家人	― / 無・地守へ銀 2 枚
	32	倉橋定右衛門	倉橋定右衛門	御普請役	御家人	他役が拝領 / 金 5 両・同 13 両
	33	平井小左衛門	平井小左衛門	小普請組高力式部組世話役	御家人	― / 銀 7 枚・金 12 両
	34	川端源蔵	川端源蔵	小普請組松平求馬介組	御家人	― / 銀 3 枚・金 5 両
	35	津田熊太郎	津田熊太郎	小普請組松平求馬介組	御家人	― / 無・地守へ銀 2 枚
	36	大枝吉右衛門	大枝吉右衛門	小普請組松平藤九郎組	御家人	― / 銀 3 枚・金 5 両
	37	小嶋源之助	小嶋源之助	小普請組松平求馬介組	御家人	― / 銀 3 枚・金 5 両
	38	染谷新之丞	染谷新之丞	小普請組神谷与次右衛門組	御家人	― / 銀 3 枚・金 5 両
	39	白井源之助	白井源之助	小普請組市橋大膳組	御家人	― / 銀 3 枚・金 5 両
	40	西川幸右衛門	西川幸右衛門	小普請組川口能登守組	御家人	― / 銀 3 枚・金 5 両
	41	丹羽源右衛門	丹羽源右衛門	小普請組堀三六郎組世話役	御家人	― / 銀 5 枚・同 12 枚
	42	村松吉左衛門	村松吉左衛門	御留守居番中嶋久右衛門組同心	御家人	― / 銀 3 枚・金 5 両
	43	大野粂右衛門	大野粂右衛門	御留守居番中嶋久右衛門組同心	御家人	― / 銀 3 枚・金 5 両
⑧	44	御先手大縄地	(30 名)	御先手仙石監物組同心	御家人	― / 銀 148 枚・同 360 枚
⑩	45	稲葉紀伊守同心大縄地	(5 名)	御書院番稲葉紀伊守組同心	御家人	― / 銀 20 枚・同 48 枚

※「範囲№」は第 122 表に対応

※「№」は第 115 ～ 117 表の記載順による

※「明和 5 年上地対象者」の「氏名」は同年 4 月 21 ～晦日の上地時作成「屋敷渡預絵図証文」の記載名、「肩書」は同年 2 月 23 ～ 26 日付の替地下賜時作成「屋敷渡預絵図証文」の記載による

※「備考」欄の「他役が…」とは留守居番以外の獲得が判明した場合に記した

※「備考」欄の「引料」は『御触書天明集成』(岩波書店、1958 年) 二九九五・二九九六号、「手当金」は「明和五年市買御添地御拝領・向御屋鋪御上ヶ地・大草御屋鋪御上ヶ地一件留」(徳川林政史研究所所蔵) による

第 124 表　上地に伴う手当金受給者（屋敷地所持者以外）

名前	肩書	金額	身分	備考
細井儀兵衛	民部卿殿 (一橋治済) 大番	金 25 両	御家人	
横山清五郎	神谷与次右衛門組小普請	金 25 両	御家人	
林小右衛門	支配勘定	金 25 両	御家人	
内山伴内	民部卿殿 (一橋治済) 大番	金 12 両	御家人	
高麗七右衛門	設楽甚十郎組世話役小普請	金 12 両	御家人	
中野孝哲	宮内卿殿 (清水重好) 医師	金 12 両	御家人	
岩浅郡蔵	御普請下役	金 12 両	御家人	
野々山金次郎	神尾若狭守組小普請	金 5 両	御家人	
久保田吉右衛門	御留守居番矢部能登守組同心	金 5 両	御家人	
井戸田権太夫	御賄方	金 5 両	御家人	
上野岡之丞	高力式部組小普請	金 5 両	御家人	
沢野弥三郎	蓮池御蔵番	金 5 両	御家人	
村松仁右衛門	二之丸同心	金 5 両	御家人	
早野丈助	西丸御賄方	金 5 両	御家人	
関本乙五郎	堀三六郎組小普請	金 5 両	御家人	
冨田養益	宮内卿殿 (清水重好) 奥坊主	金 5 両	御家人	
窪川半内	西丸表御台所改役	金 5 両	御家人	
水次忠蔵	柳田安右衛門組御小人	金 5 両	御家人	
井戸田利助	御賄御酒役	金 5 両	御家人	
岩崎孫四郎	吹上奉行支配御庭入口番人	金 5 両	御家人	
伊藤新六	右衛門督殿 (田安宗武) 小道具之者組頭	金 5 両	御家人	
鈴木藤右衛門	払方御金同心	金 5 両	御家人	
山下藤右衛門	御細工所同心組頭	金 5 両	御家人	
平井与市	右衛門督殿 (田安宗武) 小細工方	金 5 両	御家人	
三沢源太夫	御賄六尺	金 5 両	御家人	
寺田半之丞	高力式部組小普請	金 5 両	御家人	
中山沢右衛門	右衛門督殿 (田安宗武) 物頭同心	金 5 両	御家人	
佐藤弥右衛門	服部源五郎組進物取次下番	金 5 両	御家人	
田代弥三郎	御細工所同心	金 5 両	御家人	
(11 名)	町屋敷借地之分町人	金 55 両	—	金 5 両宛
神原清吉	宮内卿殿 (清水重好) 台所六尺	金 1000 疋	御家人	
栗田市郎兵衛	表火之番	銀 25 枚	御家人	
山本四郎右衛門	民部卿殿 (一橋治済) 徒	銀 12 枚	御家人	
田村伊右衛門	御細工所同心	銀 12 枚	御家人	
藤巻万右衛門	民部卿殿 (一橋治済) 伊賀之者組頭	銀 12 枚	御家人	
河合随秀	町医師	銀 12 枚	—	
山本六郎	浪人	銀 12 枚	—	
田中思次郎	右衛門督殿 (田安宗武) 小人	銀 5 枚	御家人	
小林郡蔵	右衛門督殿 (田安宗武) 簱同心	銀 5 枚	御家人	
鈴木惣兵衛	右衛門督殿 (田安宗武) 簱同心	銀 5 枚	御家人	
道脇源助	右衛門督殿 (田安宗武) 切手門番	銀 5 枚	御家人	
荒川郡蔵	右衛門督殿 (田安宗武) 簱同心	銀 5 枚	御家人	
横田新右衛門	宮内卿殿 (清水重好) 仕丁	銀 5 枚	御家人	
伊藤文治	宮内卿殿 (清水重好) 小人	銀 5 枚	御家人	
古谷伴七	右衛門督殿 (田安宗武) 広敷下男	銀 5 枚	御家人	
(23 名)	町家店借之者	銀 46 枚	—	銀 2 枚宛
本寿院	祈祷者	銀 100 枚	—	

※「明和五年市買御添地拝領向御屋鋪御上ヶ地大草御屋鋪御上ヶ地一件留」（徳川林政史研究所所蔵）より作成
※記載は屋敷地所持者を除く史料記載順である

Ⅶ　自然科学分析

1　新宿区市谷本村町遺跡のローム層分析

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

新宿区に所在する市谷本村町遺跡は、武蔵野台地東部を構成する淀橋台北部に位置し、調査区は台地内を開析する外堀の谷の支流を形成する左内町の谷、右斜面から緩斜面に広がる。淀橋台は、下末吉海進時の海成層である東京層を地形面構成層とし、12.5 万年前に離水した下末吉面（S 面）に区分されている台地である（貝塚ほか編 ,2000; 遠藤ほか ,2019）。淀橋台は、樹枝状の谷が多く刻まれている地形を特徴とし、発掘調査では、近世の遺構や遺物が多数確認されている。調査時の観察による地形は、南から北へ谷に向かう緩斜面を形成するが谷底に近づくと斜度は鋭角になる。層序は基本層序のⅡ層（黒ボク土層）が消失し、下位の立川ローム層上部にもその影響は考えられた。この要因は、江戸期の土木開発や近代の大規模な土地利用の改変などが推測され、改変の実態を明らかにする必要性が求められた。

本分析調査では、調査区の高位から低位方向へ 3 箇所が設定されたローム層の層序断面について、鉱物分析やガラス質のテフラ分析を行い、武蔵野台地の立川ローム層基本層序との対比から、改変の実態を解析する。

1　試料

試料は、高位・中位・低位の 3 箇所の土層断面より採取された。以下に各断面について述べる。

1）C1 区南西側基本層序トレンチ

最も高い地点であり僅に傾斜する。確認面より深度約 2m ほどの土層断面が作成されている。発掘調査所見により、断面最上部の土層は漸移層とされ、その下位のローム層については、上位よりⅣ上、Ⅳ下、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅸ、Ⅹの各層に分層されている。各層名は、武蔵野台地の立川ローム層の基本層序に準じた層名とされている。

試料は、断面の最上部から下底まで、厚さ 5cm で連続に上位より試料番号 1 ～ 38 までの 38 点が採取されている。各試料の採取層位は、分析結果を呈示した第 344 図に柱状図として併記する。

2）C2-3 区 3001 号西壁

やや斜面が認められる地点である。確認面より深度約 1.5m ほどの土層断面が作成されている。発掘調査所見により、断面最上部はローム層のⅣ上、Ⅳ下の各層に分層され、その下位のローム層は上位よりⅤ、Ⅵ、Ⅶ～Ⅸ、Ⅹの各層に分層されている。各層名については、上述の断面と同様である。

試料は、断面の最上部から下底まで、厚さ 5cm で連続に上位より試料番号 1 ～ 35 までの 35 点が採取されている。各試料の採取層位は、分析結果を呈示した第 345 図に柱状図として併記する。

3）C4 区調査区北壁

最も低い地点であり、採取した箇所付近から谷に向かい急斜面が始まっている。確認面より深度約1m ほどの土層断面が作成されている。発掘調査所見により、断面最上部は黒ボク土層のⅡ層とされ、その下位のローム層は上位よりⅢ、Ⅳ、Ⅴの各層に分層されている。各層名については、上述の断面と同様である。

試料は、断面の最上部から下底まで、厚さ 5cm で連続に上位より試料番号 1 ～ 21 までの 21 点が採取されている。各試料の採取層位は、分析結果を呈示した第 346 図に柱状図として併記する。

2　分析方法

ここでは、ローム層の重軽鉱物組成を行い、層序対比の指標として重鉱物組成の層位的変化と火山ガラスの産状の両者を用いる。ただし、火山ガラスのほとんど検出されない層位については、重鉱物分析のみを行う。3 箇所の断面のうち、C1 区南西側基本層序トレンチでは、10 点の重軽鉱物分析と 5 点の重鉱物分析を行い、C2-3 区 3001 号西壁では、7 点の重軽鉱物分析と 5 点の重鉱物分析を行い、C4 区調査区北壁では 9 点の重軽鉱物分析を行う。合計 36 点である。各地点ともに選択した試料の試料番号は、結果を示した第 120 表に提示する。以下に分析手順を述べる。

試料約 40g に水を加え超音波洗浄装置により分散、250 メッシュの分析篩を用いて水洗し、粒径 1/16mm 以下の粒子を除去する。乾燥の後、篩別し、得られた粒径 1/4mm-1/8mm の砂分をポリタングステン酸ナトリウム（比重約 2.96 に調整）により重液分離、重鉱物と軽鉱物を偏光顕微鏡下にてそれぞれ 250 粒に達するまで同定する。重鉱物同定の際、不透明な粒については、斜め上方からの落射光下で黒色金属光沢を呈するもののみを「不透明鉱物」とする。「不透明鉱物」以外の不透明粒および変質等で同定の不可能な粒子は「その他」とする。軽鉱物組成は、便宜上火山ガラスを含めて計数する。火山ガラスは、その形態によりバブル型・中間型・軽石型の 3 タイプに分類した。各型の形態は、バブル型は薄手平板状、中間型は表面に気泡の少ない厚手平板状あるいは破砕片状などの塊状ガラスであり、軽石型は小気泡を非常に多く持った塊状および気泡の長く伸びた繊維束状のものとする。また、重鉱物組成と同様に不透明粒および変質等で同定の不可能な粒子は「その他」とする。

3　結果

（1）C1 区南西側基本層序トレンチ

結果を第 125 表、第 344 図に示す。重鉱物組成は、試料番号 15 と 17 の 2 点を除く 13 点の試料においてカンラン石が最も多く、次いで斜方輝石が多く、少量または微量の単斜輝石と不透明鉱物を含むという組成である。試料番号 15 と 17 では斜方輝石が最も多く、次いでカンラン石が多く、少量の単斜輝石と不透明鉱物を含む。

各重鉱物の量比の層位的な変化を見ると、Ⅳ下層中部の試料番号 9 とⅤ層中部の試料番号 15 には比較的明瞭な斜方輝石の極大（上位と下位の両試料よりも量比が高い）が認められ、Ⅸ層上部の試料番号 29 にもやや不明瞭ではあるが斜方輝石の極大が認められる。また、Ⅳ下層上部の試料番号 6 とⅦ層上部の試料番号 26 にはカンラン石の極大が認められる。さらに、Ⅹ層下部試料番号 37 は、その下位の試料のカンラン石の量比は不明であるが、その高い値から、カンラン石の極大を示す可能性はある。なお試料番号 37 では、斜方輝石に対する単斜輝石の量比が他の層位に比べると高い傾向を

示している。

軽鉱物組成では、重軽鉱物分析した全試料において長石が多くを占め、微量または少量の石英が含まれるが、火山ガラスの量比は試料によって大きく異なる。その中で、Ⅳ下層下部の試料番号 12 からⅥ層上部の試料番号 20 までの層位にバブル型火山ガラスが多く含まれることが特徴的であり、漸移層の試料番号 1 に少量の中間型火山ガラスが含まれることも特徴とされる。

(2) C2-3 区 3001 号西壁

結果を第 125 表、第 345 図に示す。重鉱物組成は、試料番号 5 を除く 11 点の試料においてカンラン石が最も多く、次いで斜方輝石が多く、少量または微量の単斜輝石と不透明鉱物を含むという組成である。試料番号 5 では斜方輝石が最も多く、次いでカンラン石が多く、少量の単斜輝石と不透明鉱物を含む。

各重鉱物の量比の層位的な変化を見ると、Ⅳ下層下部の試料番号 5 には比較的明瞭な斜方輝石の極大が認められ、Ⅶ～Ⅸ層上部の試料番号 22 にもやや不明瞭ではあるが斜方輝石の極大が認められる。また、Ⅵ層下部の試料番号 18 とⅩ層上部の試料番号 31 にはカンラン石の極大が認められる。さらに、Ⅳ上層上部試料番号 1 は、その上位の試料のカンラン石の量比は不明であるが、その高い値から、カンラン石の極大を示す可能性はある。なおⅩ層下部の試料番号 34 では、斜方輝石に対する単斜輝石の量比が他の層位に比べると高い傾向を示している。

軽鉱物組成では、重軽鉱物分析した全試料において長石が多くを占め、微量または少量の石英が含まれるが、火山ガラスの量比は試料によって大きく異なる。その中で、Ⅵ層上部の試料番号 12 からⅥ層下部の試料番号 18 までの層位にバブル型火山ガラスが多く含まれることが特徴的である。

(3) C4 区調査区北壁

結果を第 125 表、第 346 図に示す。重鉱物組成は、試料番号 9、11、18、21 の各試料ではカンラン石が最も多く、次いで斜方輝石が多く、少量または微量の単斜輝石と不透明鉱物を含むという組成であり、試料番号 1、3、5、16 では斜方輝石が最も多く、次いでカンラン石が多く、少量の単斜輝石と不透明鉱物を含む。

各重鉱物の量比の層位的な変化を見ると、Ⅲ層下部の試料番号 11 には比較的明瞭なカンラン石の極大が認められ、Ⅳ層下部の試料番号 16 にはやや不明瞭ではあるが斜方輝石の極大が認められる。

軽鉱物組成では、重軽鉱物分析した全試料において長石が多くを占め、微量または少量の石英が含まれるが、火山ガラスの量比は試料によって異なる。その中で、Ⅱ層の試料番号 1 からⅢ層中部の試料番号 9 までの層位に少量の中間型火山ガラスと微量の軽石型火山ガラスが特徴的に含まれる。また、Ⅲ層下部の試料番号 11 からⅤ層下部の試料番号 21 までの層位には、バブル型火山ガラスが微量から少量含まれるが、下位ほど多く含まれる傾向が窺える。

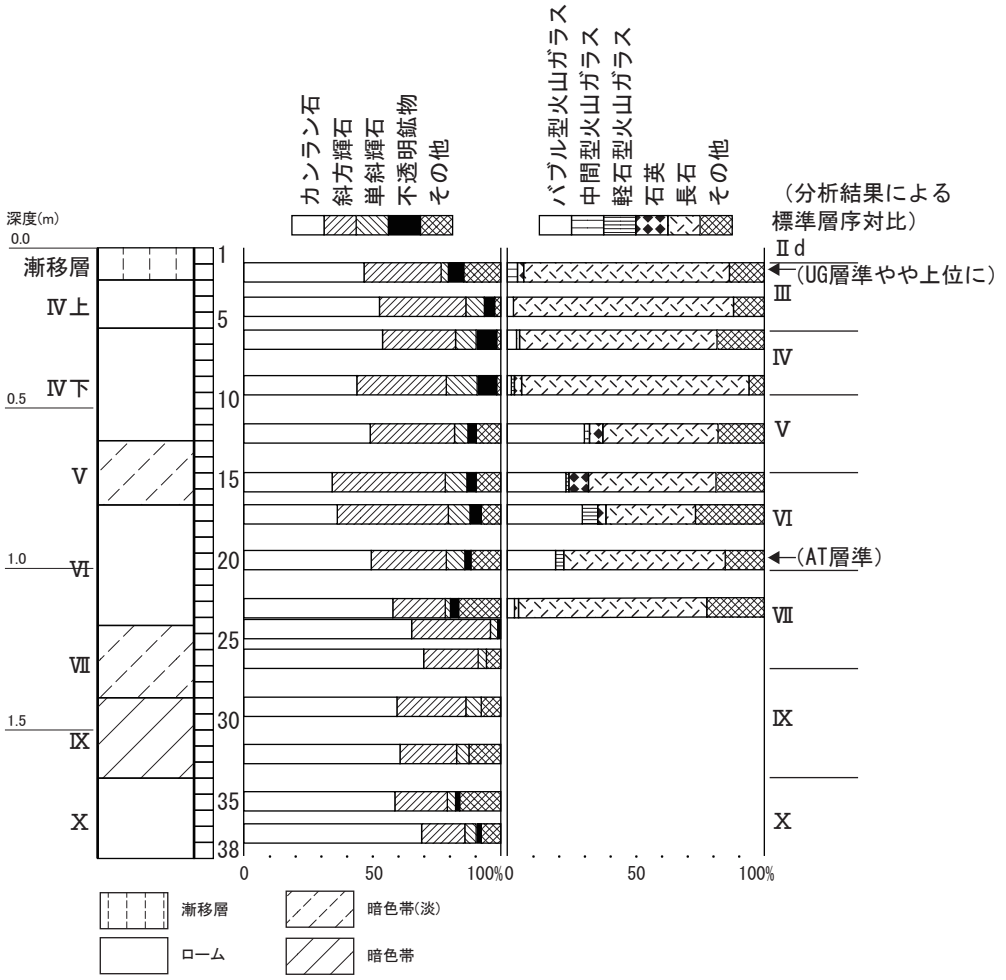
4　考察 - 基本層序との対比 -

(1) C1 区南西側基本層序トレンチ

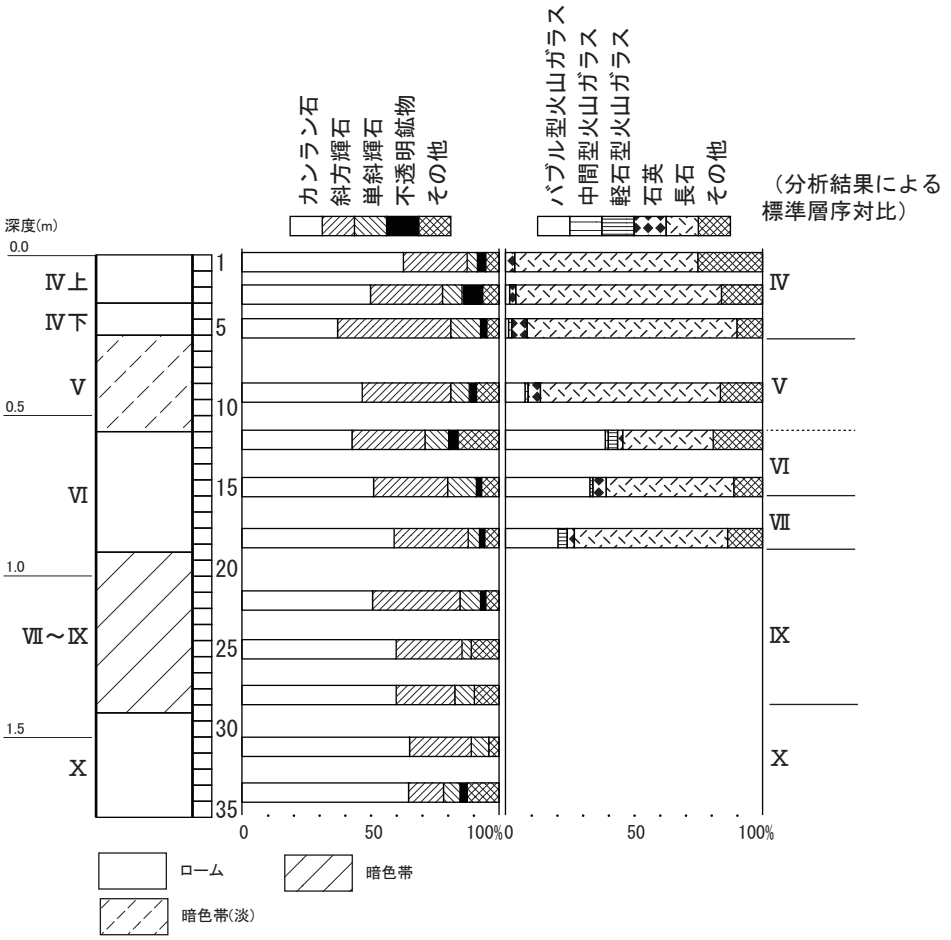
分析結果から、最も明瞭かつ有効な対比指標は、Ⅳ下層下部からⅥ層中部までの層位に認められた

第 125 表　重軽鉱物分析結果

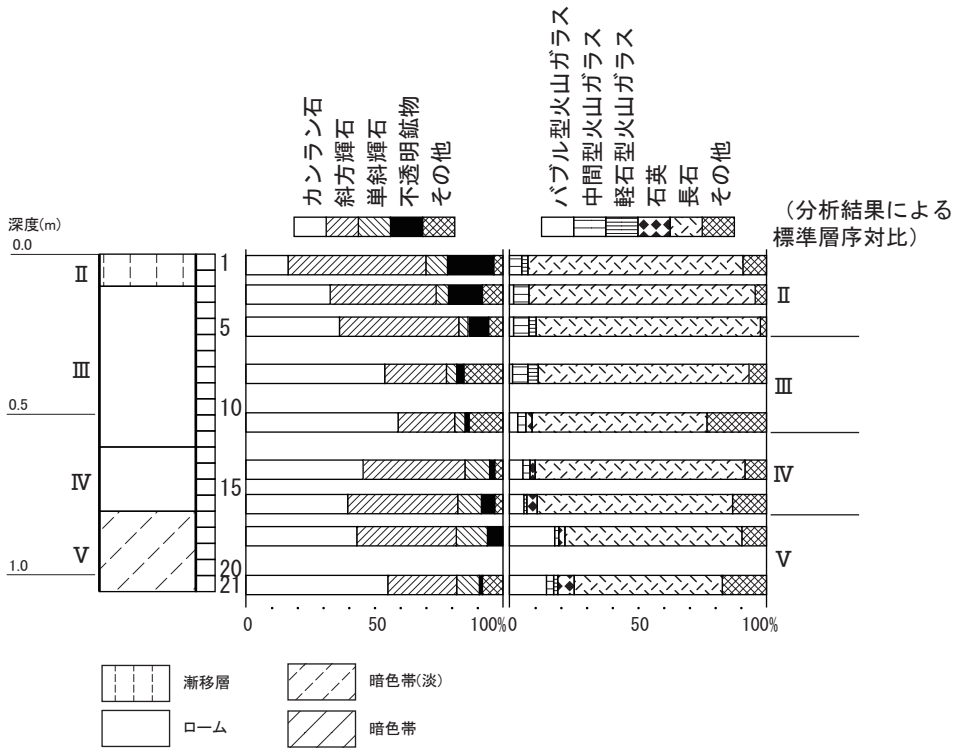
地点名	層名	試料番号	カンラン石	斜方輝石	単斜輝石	角閃石	不透明鉱物	その他	合計	バブル型火山ガラス	中間型火山ガラス	軽石型火山ガラス	石英	長石	その他	合計
C1区 南西側 基本層序 トレンチ	漸移層	2	117	75	7	1	15	35	250	0	10	1	6	200	33	250
	Ⅳ上	4	132	84	18	0	10	6	250	6	0	1	1	214	28	250
	Ⅳ下	6	135	71	20	0	20	4	250	9	1	0	3	192	45	250
		9	110	87	30	0	19	4	250	4	2	3	7	221	13	250
		12	123	82	13	0	8	24	250	75	5	1	13	112	44	250
	Ⅴ	15	86	110	21	0	9	24	250	57	1	3	19	124	46	250
	Ⅵ	17	91	108	21	0	11	19	250	73	1	15	8	87	66	250
		20	124	73	18	0	6	29	250	47	0	8	0	157	38	250
		23	145	51	5	0	8	41	250	7	1	0	4	183	55	250
	Ⅶ	24下	162	76	7	0	3	2	250	—	—	—	—	—	—	—
		26	175	53	8	0	1	13	250	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅸ	29	149	67	15	0	0	19	250	—	—	—	—	—	—	—
		32	152	55	12	0	2	29	250	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅹ	35	147	51	8	0	4	40	250	—	—	—	—	—	—	—
		37	173	42	11	0	5	19	250	—	—	—	—	—	—	—
C2-3区 3001号 西壁	Ⅳ上	1	157	62	10	0	8	13	250	1	1	1	9	178	60	250
		3	125	70	19	0	20	16	250	4	1	0	6	200	39	250
	Ⅳ下	5	93	110	29	0	6	12	250	3	3	0	15	204	25	250
	Ⅴ	9	117	86	18	0	7	22	250	19	3	1	12	175	40	250
	Ⅵ	12	107	71	23	0	9	40	250	97	3	9	5	88	48	250
		15	128	72	28	0	5	17	250	82	0	3	13	124	28	250
		18	148	72	11	0	5	14	250	51	1	9	7	149	33	250
	Ⅶ～Ⅸ	22	127	85	20	0	5	13	250	—	—	—	—	—	—	—
		25	150	64	9	0	2	25	250	—	—	—	—	—	—	—
		28	150	57	19	0	2	22	250	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅹ	31	163	60	17	0	1	9	250	—	—	—	—	—	—	—
		34	162	34	16	0	7	31	250	—	—	—	—	—	—	—
C4区 調査区 北壁	Ⅱ	1	41	134	21	0	45	9	250	1	12	6	2	209	20	250
	Ⅲ	3	82	103	12	0	33	20	250	4	15	2	1	220	8	250
		5	91	116	9	1	20	13	250	4	15	7	1	218	5	250
		8	135	60	10	0	7	38	250	3	15	10	2	205	15	250
		11	148	55	10	0	4	33	250	8	8	0	6	170	58	250
	Ⅳ	14	114	99	24	1	5	7	250	13	7	1	5	204	20	250
		16	99	107	23	0	13	8	250	14	2	3	10	190	31	250
	Ⅴ	18	107	96	30	0	15	2	250	44	4	2	6	172	22	250
		21	138	67	22	1	3	19	250	36	7	4	16	144	43	250



第 344 図　C1 区南西側基本層序トレンチの重鉱物組成および軽鉱物組成



第 345 図　C2-3 区 3001 号西壁の重鉱物組成および軽鉱物組成



第 346 図　C4 区調査区北壁の重鉱物組成および軽鉱物組成

バブル型火山ガラスの濃集層準である。この火山ガラスは、立川ローム層中部付近という産出層位とバブル型という形態により、鹿児島湾奥部の姶良カルデラを給源とする姶良 Tn テフラ（AT: 町田・新井 ,1976）に由来する。本地点における AT の産状は、AT が降灰後に撹乱と再堆積を繰り返したことを示唆しているが、このように土壌中に特定テフラが混交して産出する場合はテフラ最濃集部の下限がそのテフラの降灰層準にほぼ一致すると言われている（早津 ,1988）。本地点では、Ⅵ層中部の試料番号 20 がそれに相当する。これまでの分析事例では、AT の降灰層準は、標準層序のⅥ層とⅦ層の層界付近（Ⅵ層最下部またはⅦ層最上部）に推定されることが多い。したがって、本地点のⅥ層上半部が、標準層序のⅥ層に概ね対比され、本地点のⅥ層下半部は標準層序のⅦに対比されると考えられる。なお AT の噴出年代については、水月湖の年縞堆積物の研究により暦年で 3.0 万年前とされている（Smith et.al.,2013）。

武蔵野台地の立川ローム層については、暗色帯を基準とした分層が古くより行われており、標準層序ともいうべき共通した層名が用いられている。矢作・橋本（2012）は、武蔵野台地各地における立川ローム層の重鉱物組成の層位的な変化を調べ、特定の鉱物の量比が増加から減少に転じるあるいはその逆を示す層準を極大層準あるいは極小層準と呼び、共通した層位で認められる極大極小層準が対比指標となることを見出した。具体的には、上位より順に、Ⅲ層下部～Ⅳ層上部のカンラン石の極大層準、Ⅴ層直上および直下の輝石の極大層準、Ⅶ層下部のカンラン石の極大層準、Ⅸ層中部～下部の輝石の極大層準、Ⅹ層における斜方輝石と単斜輝石の量比の近似およびⅩ層のカンラン石の極大層準があげられる。これらのうち、Ⅴ層直上の輝石の極大層準は、小林ほか（1971）における羽鳥の分析例以来多くの分析例で指摘されている。また、Ⅹ層における斜方輝石と単斜輝石の量比の近似は、武蔵野ローム層最上部の標準層序のＸＩ層まで認められている。なお上述した各対比指標の認められる層位の記載については、厚さ 5cm で層位方向に連続採取した試料を 1 点おきに分析した結果に基づいている。すなわち層位方向の分解能は、厚さにして 10cm である。

今回の分析では、上述した AT による標準層序との対比を考慮すると、前述したカンラン石および斜方輝石の極大層準と上記した指標との対比が可能である。本地点のⅣ下層上部のカンラン石の極大は標準層序Ⅲ層下部～Ⅳ層上部のカンラン石の極大層準に、本地点のⅣ下層中部の斜方輝石の極大は標準層序のⅤ層直上の輝石の極大層準に、本地点のⅤ層下部の斜方輝石の極大は標準層序のⅤ層直下の輝石の極大層準に、Ⅶ層上部のカンラン石の極大は標準層序のⅦ層下部のカンラン石の極大層準に、本地点のⅨ層上部の斜方輝石の極大は標準層序のⅨ層上部～中部の輝石の極大層準に、それぞれ対比されると考えられる。さらに本地点のⅩ層下部のカンラン石の高い量比は標準層序のⅩ層のカンラン石の極大層準に近いことを窺わせる。またⅩ層下部の斜方輝石と単斜輝石の量比関係は、標準層序のⅩ層に認められる両輝石の量比の近似傾向を示している。

なお、本地点の漸移層（試料番号 2）には微量ながらも中間型火山ガラスが特徴的に含まれることを指摘したが、この火山ガラスは、その産出層位と形態から、立川ローム層上部ガラス質テフラ（UG: 山崎 ,1978）に由来すると考えられる。UG の噴出年代については、町田･新井（1992）などでは 1.2 万年前とされてきたが、町田・新井（2003）では、その噴出年代は明記されていない。ただし、UG の由来と考えられている浅間火山の軽石流期のテフラの年代については、放射性炭素年代では 1.3 ～ 1.4 万年前（町田・新井 ,1992）、層位学的な年代も加味した暦年では 1.5 ～ 1.6 万年前とされている

から、これがUGの噴出年代となる。

以上に述べた指標による対比結果をまとめると、本地点の漸移層とⅣ上層は標準層序のⅢ層にほぼ対比され、本地点のⅣ下層の上半部が標準層序のⅣ層に、本地点のⅣ下層下半部とⅤ層が標準層序のⅤ層にほぼ対比される。そして、本地点のⅥ層上半部は標準層序のⅥ層に、本地点のⅥ層下半部とⅦ層が標準層序のⅦ層に対比され、本地点のⅨ層とⅩ層は、標準層序のそれぞれ同名の層と対比されると考えられる（第344図参照）。

（2）C2-3区3001号西壁

本地点におけるバブル型火山ガラスの濃集層準はⅥ層に認められるが、ATの降灰層準とする濃集層準下限を判断することは難しい。後述する重鉱物組成による対比結果も考慮すると、ATの降灰層準は、Ⅵ層中部に推定される。したがって、本地点のⅥ層上半部が標準層序のⅥ層に概ね対比され、本地点のⅥ層下半部は標準層序のⅦに対比されると考えられる。

前述した本地点のカンラン石および斜方輝石の極大層準と標準層序における指標との対比は次の通りである。本地点のⅣ下層下部の斜方輝石の極大は標準層序のⅤ層直上の輝石の極大層準に、Ⅵ層下部のカンラン石の極大は標準層序のⅦ層下部のカンラン石の極大層準に、本地点のⅦ～Ⅸ層上部の斜方輝石の極大は標準層序のⅨ層上部～中部の輝石の極大層準に、本地点のⅩ層のカンラン石の極大は標準層序のⅩ層のカンラン石の極大層準にそれぞれ対比されると考えられる。なお、本地点では標準層序のⅤ層直下の輝石の極大に対比される重鉱物組成は見出せない。さらに本地点のⅣ上層上部のカンラン石の極大は標準層序Ⅲ層下部～Ⅳ層上部のカンラン石の極大層準に近いことを窺わせる。またⅩ層下部の斜方輝石と単斜輝石の量比関係は、標準層序のⅩ層に認められる両輝石の量比の近似傾向を示している。

以上に述べた指標による対比結果をまとめると、本地点のⅣ上層とⅣ下層は標準層序のⅣ層にほぼ対比され、本地点のⅤ層は標準層序のⅤ層にほぼ対比される。そして、本地点のⅥ層上半部は標準層序のⅥ層に、本地点のⅥ層下半部が標準層序のⅦ層にそれぞれ対比され、本地点のⅦ～Ⅸ層は標準層序のⅨ層に、本地点のⅩ層は標準層序のⅩ層にそれぞれ対比されると考えられる（第345図参照）。

（3）C4区調査区北壁

本地点ではⅡ層からⅢ層中部にかけて特徴的に含まれる中間型火山ガラスと軽石型火山ガラスが対比指標となる。これらの火山ガラスは、その産出層位と形態から、UGに由来する。本地点では、その火山ガラスの濃集層準下限は不明瞭であるが、後述する重鉱物組成による対比も考慮すれば、UGの降灰層準はⅢ層中部よりやや上位付近に推定される。これまでの分析事例では、UGの降灰層準は標準層序のⅢ層上部に推定されている。

前述した本地点のカンラン石および斜方輝石の極大層準と標準層序における指標との対比については、本地点のⅢ層下部のカンラン石の極大は標準層序Ⅲ層下部～Ⅳ層上部のカンラン石の極大層準に対比され、本地点のⅣ層下部の斜方輝石の極大は標準層序のⅤ層直上の輝石の極大層準にそれぞれ対比されると考えられる。

以上に述べた指標による対比結果をまとめると、本地点のⅡ層とⅢ層上部までが標準層序のⅡ層下

部に対比され、本地点のⅢ層中部から下部までが標準層序のⅢ層に対比される。そして本地点のⅣ層は標準層序のⅣ層にほぼ対比され、本地点のⅤ層は標準層序のⅤ層にほぼ対比されると考えられる（第346 図参照）。

5　考察 - 改変について -

3 箇所の層序は、地形的に高位で IId 層下部、中位で IV 層上部、低位で II 層下部付近までそれぞれ標準層位が消失していた。さらに中位での V 層・VI 層・VII 層に関しては、平均的な層厚が 5 割程度薄く、IX 層では逆にやや厚い。そして、これらの変化は C4 区調査区北壁の写真を見ると谷に向かい急激な斜面が看取され斜面の崩壊が窺える。

分析の結果と標準層序対比から、本調査区の斜面は低い場所ほど自然の崩壊などが有り、高位の緩斜面付近では II 層の黒ボク土層の全て（約 1-1.2m 程度の層序）と場所によっては、IV 層上部付近まで（約 1.3-1.5m）削平が行われていたといえる。当然これらの層中に包含される時代に伴う遺構・遺物も消失していることになる。さらに緩斜面地形であることから黒ボク土層の層厚は、平坦部より 30-50cm 程度厚かった可能性も有り、改変の程度は面積的にも深度的にも大規模で在り、理由や背景については資料を蓄積し検討する必要がある。

引用文献

遠藤邦彦・千葉達朗・杉中佑輔・須貝俊彦・鈴木毅彦・上杉　陽・石綿しげ子・中山俊雄・舟津太郎・大里重人・鈴木正章・野口真利江・佐藤明夫・近藤玲介・堀　伸三郎 ,2019, 武蔵野台地の新たな地形区分 . 第四紀研究 ,58,353-375.

早津賢治 ,1988, テフラおよびテフラ性土壌の堆積機構とテフロクロノロジー -AT にまつわる議論に関係して -. 考古学研究 ,34,18-32.

貝塚爽平・小池一之・遠藤邦彦・山崎晴雄・鈴木毅彦編 ,2000, 日本の地形 4　関東・伊豆小笠原 . 東京大学出版会 ,349p.

小林達雄・小田静夫・羽鳥謙三・鈴木正男 ,1971, 野川先土器時代遺跡の研究 . 第四紀研究 ,10,231-252.

町田　洋・新井房夫 ,1976, 広域に分布する火山灰－姶良 Tn 火山灰の発見とその意義－ . 科学 ,46,339-347.

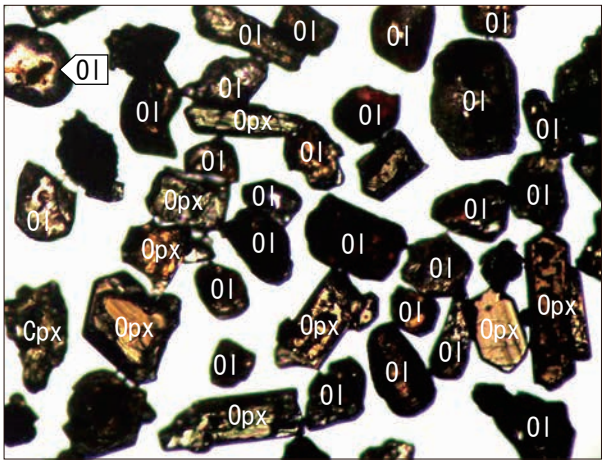
町田　洋・新井　房夫 ,1992, 火山灰アトラス . 東京大学出版会 ,276p.

町田　洋・新井房夫 ,2003, 新編　火山灰アトラス . 東京大学出版会 ,336p.

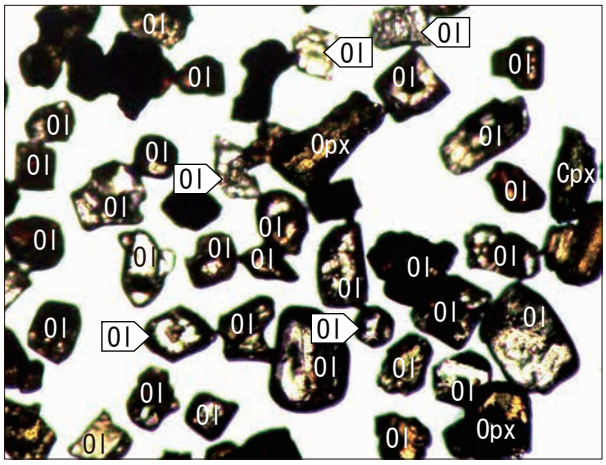
Smith, V.C., Staff, R.A., Blockley, S.P.E., Ramsey, C.B., Nakagawa, T., Mark, D.F., Takemura, K., Danhara, T., Suigetsu 2006 Project Members,2013,Identification and correlation of visible tephras in the Lake Suigetsu SG06 sedimentary archive, Japan: chronostratigraphic markers for synchronizing of east Asian/west Pacific palaeoclimatic records across the last 150 ka. Quarternary Science Reviews, 67, 121-137.

矢作健二・橋本真紀夫 ,2012, 重鉱物組成と火山ガラス比による武蔵野台地の立川ローム層層序対比 . 新西郊文化 ,2,7-18.

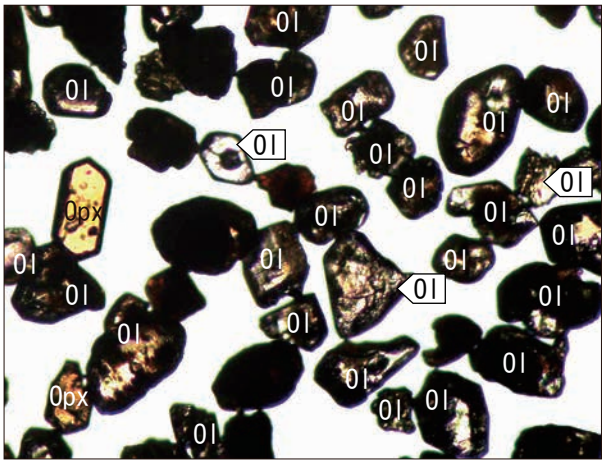
山崎晴雄 ,1978, 立川断層とその第四紀後期の運動 . 第四紀研究 ,16,231-246.



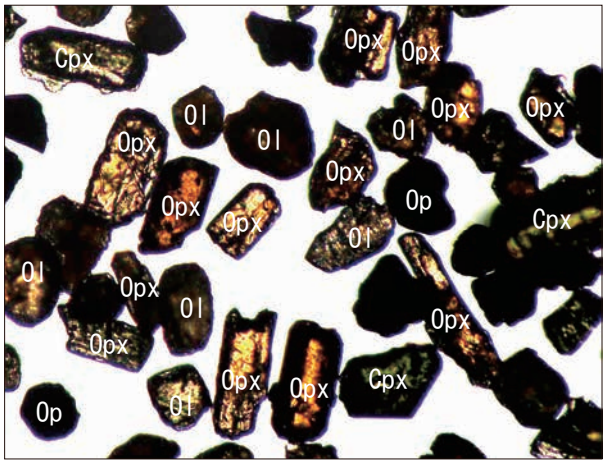
1. 重鉱物(C1区　南西側基本層序トレンチ
Ⅴ層;15)



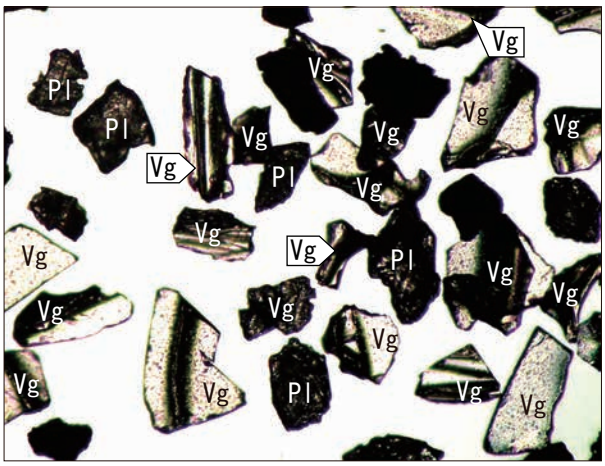
2. 重鉱物(C1区　南西側基本層序トレンチ
Ⅶ層;26)



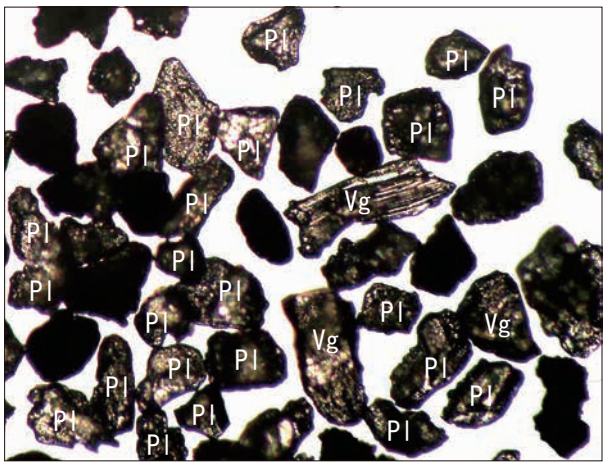
3. 重鉱物(C2-3区　3001号西壁　Ⅹ層;34)



4. 重鉱物(C4区　調査区北壁　Ⅱ層;1)



5. 軽鉱物(C1区　南西側基本層序トレンチ
Ⅵ層;17)



6. 軽鉱物(C4区　調査区北壁　Ⅲ層;8)

0.5mm

Ol:カンラン石. Opx:斜方輝石. Cpx:単斜輝石. Op:不透明鉱物. Vg:火山ガラス.
Pl:斜長石.

第 347 図　重鉱物・軽鉱物

2　B区588号遺構出土舶載陶磁器胎土の元素組成分析

長佐古　真也（東京都埋蔵文化財センター）

はじめに

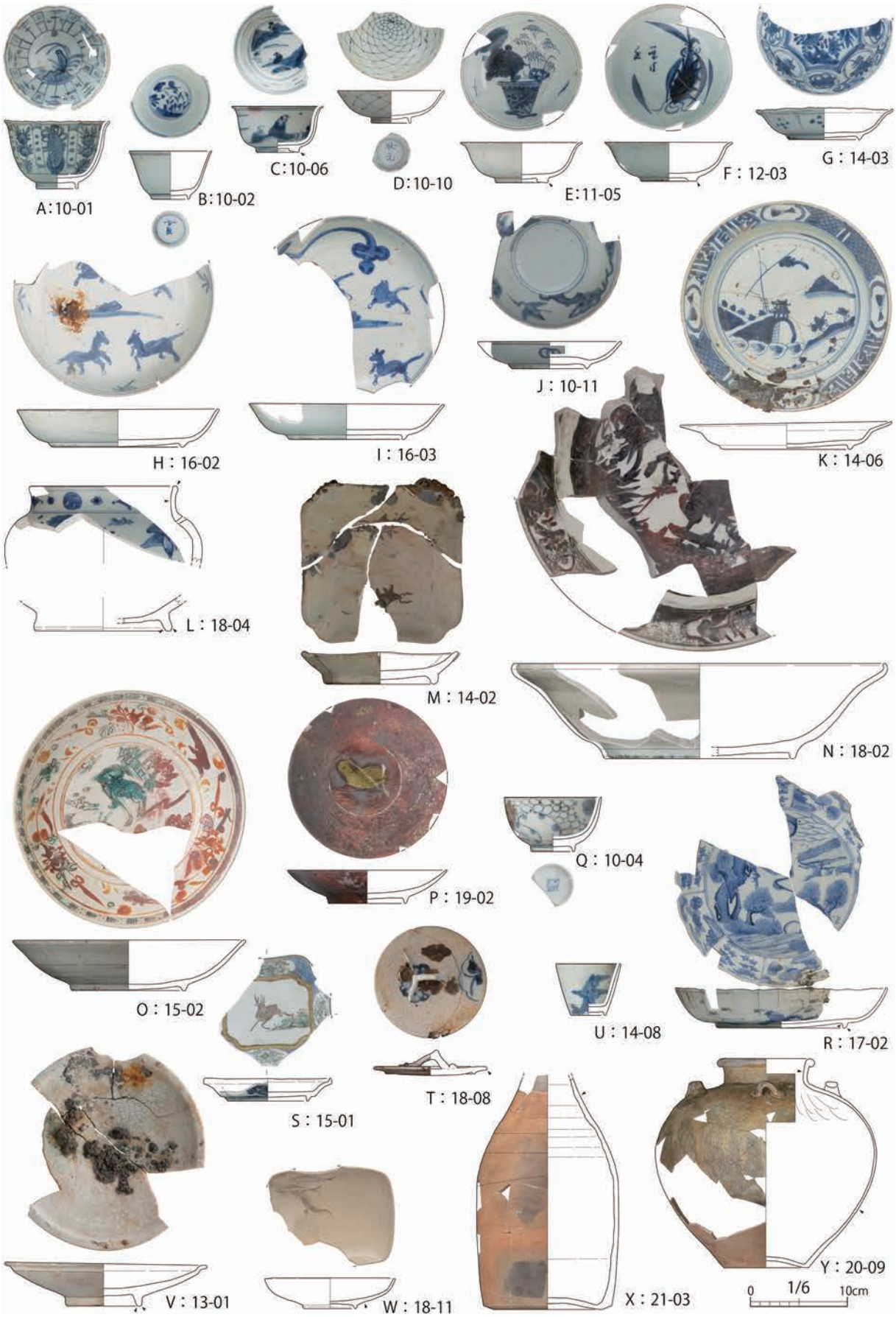
出土陶磁器の生産地は、器形・意匠・調整技法や胎土 (素地) の肉眼的特徴を主な根拠として生産遺跡出土陶磁器類との比較の上で比定されている。しかし、舶載磁器類に関しては、生産地側・消費地側いずれの情報も少なく、景徳鎮系・漳州窯系のように大まかに一括しているに過ぎない。調査段階における理解や、報告者の経験や眼力に左右される側面も否めず、極端な場合、人により意見の分かれることも皆無ではない。こうした状況を打開する足掛かりとして、B区588号遺構一括資料に含まれていた舶載陶磁器の一部の元素組成分析を行った。これによって、元素組成と肉眼的分類の整合性を窺うと共に、将来の生産地の識別同定に向けた基礎データの蓄積を目指す。

1　分析対象試料

第348図に分析対象を改めて示す。なお、各個体の詳細については本文を参照願う。A～Lは各種青花（染付磁器）である。いずれも浙江省景徳鎮窯ないしはその系統窯として認識されているものである。ただし、その質感には大きな振れ幅があり、一定の釉調・胎質をもって一括できる訳ではない。また、一部は景徳鎮系以外の窯にも類似製品が存在する。Mは青磁の小形四方皿である。中世後期以降の青磁は龍泉窯系と看做されることが多いが、景徳鎮等のものも知られている。N・Oはいわゆる呉須赤絵（五彩手）の鉢である。漳州窯系と一括されるもので、福建省平和県周辺の窯跡で類品が確認されている。全体に緑色釉が施されたPは同じく漳州窯系の“華南三彩”の可能性が想起されるが、被熱の影響もあってか胎質が陶器のように見えること、既知例に類品が見当たらないことから、他窯の模倣品の可能性を疑う意見もある。以下は比較対象として分析した試料で、Q～Vは肥前産の各種磁器、Wは京都産と推定される陶器皿、Xは瀬戸美濃産の陶器瓶（志戸呂窯模倣）、Yは舶載の可能性も考えられる叩き成形の四耳壺である。この他に同一遺構で共伴した未報告資料から肥前産磁器輪花杯・網手文くらわんか手碗、瀬戸美濃産陶器灰釉端反碗・鉄釉小形壺、生産地不詳の叩き成形瓶の5点を分析している。さらに筆者の過去の分析で用いた肥前各窯跡出土磁器片、江戸遺跡出土の瀬戸美濃産磁器片各10点、伝世の徳化窯磁器杯の分析も同時に実施し、比較検討に用いた。

2　分析方法と分析結果

分析にはEDX（SHIMADZU EDX-8100／東京都埋蔵文化財センター）を用い、素地が直接露出する破断面を非破壊で測定した。Rhターゲット、真空環境、分析対象Al—U（4.00～35.00eV）は50kV／240 μ A-Auto、C—Sc（0.00～4.40eV）は15kV／1000 μ A-Auto、S—Ca（2.10～4.10eV）15kV／1000 μ A-Autoで#2のフィルタを使用し、各範囲を60秒ずつ測定した。コリメータは、測定部位の形状および状況に合わせて、10・5・3・1mmから選択した。分析値の算出には、FP法による定性定量メニューを用いた。岩石・土壌に含まれる可能性が高い珪素 (Si)・アルミニウム (Al)・



第 348 図　市谷本村町遺跡陶磁器分析個体

鉄 (Fe)・チタン (Ti)・ナトリウム (Na)・カリウム (K)・マグネシウム (Mg)・カルシウム (Ca)・リン (P)・硫黄 (S) の主成分元素に加え、バナジウム (V)・クロム (Cr)・マンガン (Mn)・亜鉛 (Zn)・ガリウム (Ga)・ヒ素 (As)・ルビジウム (Rb)・ストロンチウム (Sr)・イットリウム (Y)・ジルコニウム (Zr) の 19 元素を固定し、定性的に検出されたものを加えて存在比を算出してある。

第 126 表に分析結果を示した。分析値は、メニューで固定した元素のみを掲載し、岩石学の習慣に倣って全て酸化物の形で示した。鉄については、すべて 3 価と仮定して算出してある。単位は、主成分元素；%、微量元素；ppm とした。

3　考察

今回は、分析例が 31 点と少なく、複雑な統計処理に馴染まないことから、第 349 図に示した主要元素の二元分布図を基に検討を加える。

A は珪素 (Si) ／アルミニウム (Al) の傾向を示したグラフである。全体として両元素は負の相関を示しているが、肥前磁器は珪素 [多]・アルミニウム [少]、その他は珪素 [少]・アルミニウム [多] の領域に分離した。同様に、B;チタン (Ti) ／鉄 (Fe) においては陶器がチタン [多]、漳州窯系が鉄 [多] の領域に、E；ルビジウム (Rb) ／ストロンチウム (Sr) においては、景徳鎮系がルビジウム [多]、漳州窯系がストロンチウム [多] の領域に分離された。また、マンガン (Mn) ／ジルコニウム (Zr) では景徳鎮系がマンガン [多]・ジルコニウム [極少]、漳州窯系がマンガン [多]・ジルコニウム [少]、肥前磁器がマンガン [少]、陶器がジルコニウム [多] と四つのカテゴリがすべて異なる領域に分布した。こうした傾向から、元素組成を根拠として景徳鎮系・漳州窯系・肥前の各磁器を分別可能であることが判る。さらに、ナトリウム・カリウムに着目すると、景徳鎮系磁器がややばらつく傾向を示していることから、今後、分析事例を増やしていけば、これらを細分することも可能かもしれない。

ここで、M；青磁皿についてみると、測定したすべての元素において景徳鎮系と近似した挙動を示している。特に、L のいわゆる “ トラディスカント壺 ” とは値が非常に近似していた。今回、龍泉窯系と考えられる試料が含まれていないことから断定は避けるが、M の青磁皿も、トラディスカント壺同様、景徳鎮系の上質な一群である可能性が極めて高い。一方、Q；総緑釉印花皿に関しては、すべての元素で漳州窯系と類似した挙動を示し、各種陶器とは排他的な傾向を示す元素も多い。こちらも充分な分析数を確保できているとは言い難いが、漳州窯系、すなわち華南三彩の範疇で捉えておきたい。

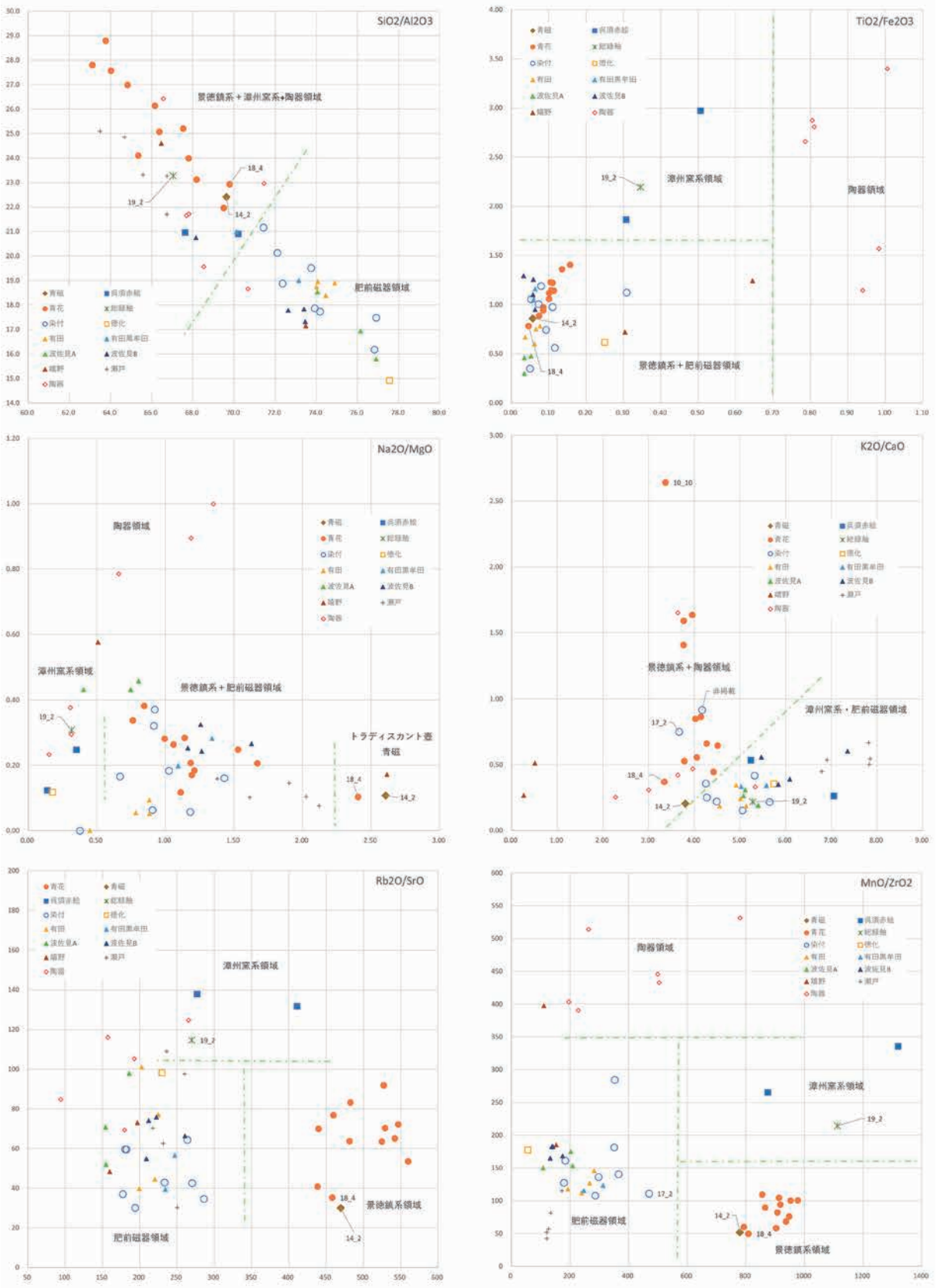
まとめ

以上、肉眼観察による推定生産地と元素組成の間には一定の相関を認めることができた。また、これを基に、青磁や華南三彩の生産地に関する情報を示すこともできた。今後、事例を重ねていけば、元素組成による生産地同定方法を確立することができよう。

第 126 表　陶磁器分析結果

#	図中記号	本文挿図番号	註	種別	器　種	推定生産地	SiO2	Al2O3	Fe2O3	TiO2	Na2O	MgO	K2O	CaO	P2O5	SO3	Rb2O	SrO	Cr2O3	MnO	ZnO	V2O5	ZrO2	Y2O3	Ga2O3
							%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm	ppm
1	A	10_1		青花	輪花杯	景徳鎮	66.4	25.1	1.15	0.11	1.06	0.26	3.77	1.41	0.23	0.09	529	70	36	908	62	168	82	42	78
2	B	10_2		青花	端反碗	景徳鎮	64.8	27.0	1.23	0.11	1.18	0.21	4.14	0.86	0.05	0.00	560	53	57	948	38	168	76	80	84
3	C	10_6		青花	端反碗	景徳鎮	67.5	25.2	1.06	0.10	1.00	0.28	3.78	0.53	0.03	0.11	547	72	46	866	43	155	90	36	77
4	D	10_10		青花	直口皿	景徳鎮	65.4	24.1	1.36	0.14	0.85	0.38	3.37	2.64	0.79	0.25	527	92	40	913	95	230	104	27	78
5	E	11_5	★	青花	端反皿	景徳鎮	67.8	24.0	0.94	0.09	1.21	0.18	3.77	1.59	0.07	0.00	481	64	0	903	71	119	58	25	72
6	F	12_3	★	青花	直口皿	景徳鎮	68.2	23.1	1.40	0.16	1.14	0.28	4.51	0.65	0.06	0.00	439	41	27	856	73	242	110	42	65
7	G	14_3	★	青花	受口皿	景徳鎮	69.5	22.0	0.89	0.07	1.11	0.12	3.95	1.64	0.06	0.48	483	83	42	793	66	113	60	33	69
8	H	16_2		青花	直口皿	景徳鎮	63.8	28.8	1.12	0.10	1.19	0.17	4.05	0.56	0.05	0.00	460	77	43	953	63	44	100	32	66
9	I	16_3		青花	直口皿	景徳鎮	63.1	27.8	1.22	0.11	1.67	0.21	4.27	0.66	0.09	0.49	440	70	33	977	245	151	101	31	83
10	J	10_11		青花	直口皿	景徳鎮	64.0	27.6	0.97	0.09	1.53	0.25	4.03	0.85	0.26	0.07	542	65	68	937	77	123	68	28	84
11	K	14_6	★	青花	折縁皿	景徳鎮	66.2	26.1	1.14	0.11	0.76	0.34	4.42	0.44	0.05	0.00	525	63	20	918	70	207	94	30	79
12	L	18_4		青花	壺	景徳鎮	69.8	22.9	0.78	0.05	2.40	0.10	3.34	0.37	0.04	0.02	458	35	36	809	63	90	50	26	65
13	M	14_2		青磁	鉢	龍泉窯？	69.6	22.4	0.86	0.06	2.61	0.11	3.80	0.20	0.02	0.06	470	30	56	780	81	111	52	33	70
14	N	18_2		五彩手	折縁鉢	漳州窯	67.6	21.0	2.97	0.51	0.14	0.12	7.05	0.26	0.03	0.00	411	132	68	1319	138	279	336	151	75
15	O	15_2		五彩手	直口鉢	漳州窯	70.2	20.9	1.86	0.31	0.35	0.25	5.24	0.53	0.00	0.13	277	138	14	875	130	138	265	180	53
16	P	19_2		総緑釉	印花皿	(漳州窯)	67.0	23.3	2.19	0.35	0.32	0.31	5.28	0.22	0.04	0.25	270	115	55	1113	89	178	214	242	131
17	Q	10_4		染付	丸碗	肥前	76.8	16.2	0.56	0.12	1.18	0.06	4.25	0.36	0.03	0.13	182	164	60	366	34	196	141	32	48
18	R	17_2		染付	輪花皿	肥前	71.4	21.2	0.98	0.11	1.43	0.16	3.66	0.75	0.01	0.00	433	60	43	470	80	147	111	35	71
19	S	15_1	★	色絵	型皿	肥前	73.7	19.5	1.00	0.07	0.67	0.17	4.27	0.25	0.06	0.09	177	31	37	286	40	162	108	33	45
20	T	18_8		染付	蓋物蓋	肥前	76.9	17.5	0.35	0.05	0.38	0.00	4.49	0.22	0.01	0.00	180	50	60	180	43	118	127	36	48
21	U	14_8		染付	猪口	肥前	72.1	20.1	0.74	0.09	1.03	0.18	5.05	0.15	0.08	0.15	286	210	35	351	50	101	181	51	47
22	V	13_1		(白磁)	折縁皿	肥前	74.2	17.7	1.06	0.05	0.91	0.06	5.65	0.22	0.00	0.00	264	117	64	298	40	90	136	39	51
23	—	非掲載		染付	輪花小鉢	肥前	73.9	17.9	1.12	0.31	0.92	0.32	4.17	0.92	0.05	0.10	270	263	43	353	52	256	284	62	62
24	—	非掲載		染付	丸碗	肥前	72.4	18.9	1.19	0.08	0.92	0.37	5.32	0.42	0.12	0.11	194	61	30	185	55	238	161	22	37
25	W	18_11		錆絵	型打皿	京都	66.6	26.4	1.57	0.98	0.31	0.38	3.00	0.31	0.09	0.15	180	69	79	263	108	413	514	93	68
26	X	21_3		錆釉	徳利	瀬戸美濃	67.7	21.7	2.81	0.81	1.35	1.00	3.64	0.42	0.27	0.19	193	105	146	229	119	347	390	36	47
27	Y	20_9		—	叩成形甕	不詳(舶載)	68.5	19.6	3.40	1.01	0.66	0.79	3.64	1.65	0.16	0.21	239	401	235	780	164	412	532	82	60
29	—	非掲載		灰釉	端反碗小	瀬戸美濃	67.8	21.7	2.66	0.79	0.32	0.30	5.33	0.33	0.04	0.18	266	125	139	499	247	501	446	82	101
30	—	非掲載		鉄釉	双耳壺	瀬戸美濃	71.5	23.0	1.14	0.94	0.15	0.23	2.28	0.25	0.16	0.10	94	85	122	505	78	1554	433	30	53
31	—	非掲載		—	叩成形瓶	不詳	70.7	18.7	2.87	0.80	1.19	0.89	3.97	0.47	0.15	0.14	157	116	136	196	86	298	404	40	38

註：★は同類別個体破片を分析



第 349 図　陶磁器二元分布図

3　硯石材の実体顕微鏡画像と元素組成分析

長佐古　真也（東京都埋蔵文化財センター）

はじめに

近年、硯の生産地比定に関する分析事例[(1)]も散見されるようになっているが、硯は著名な産地だけでも全国に数多散在し、特に江戸市中の武家地ともなれば、これらが輻輳していることも充分に予想される。前項同様、今後に向けた基礎資料の蓄積を意図して、報告資料を対象に石材の元素組成分析をおこなった。加えて実体顕微鏡画像も撮影したので、併せて報告する。

1　硯表面の実体顕微鏡画像

デジタル実体顕微鏡（OLYMPUS DSX-110 ／東京都埋蔵文化財センター）を用いた硯表面の拡大画像を第 350・351 図に示す。撮像倍率は 121 倍、画像内のスケールバーは 2㎜である。

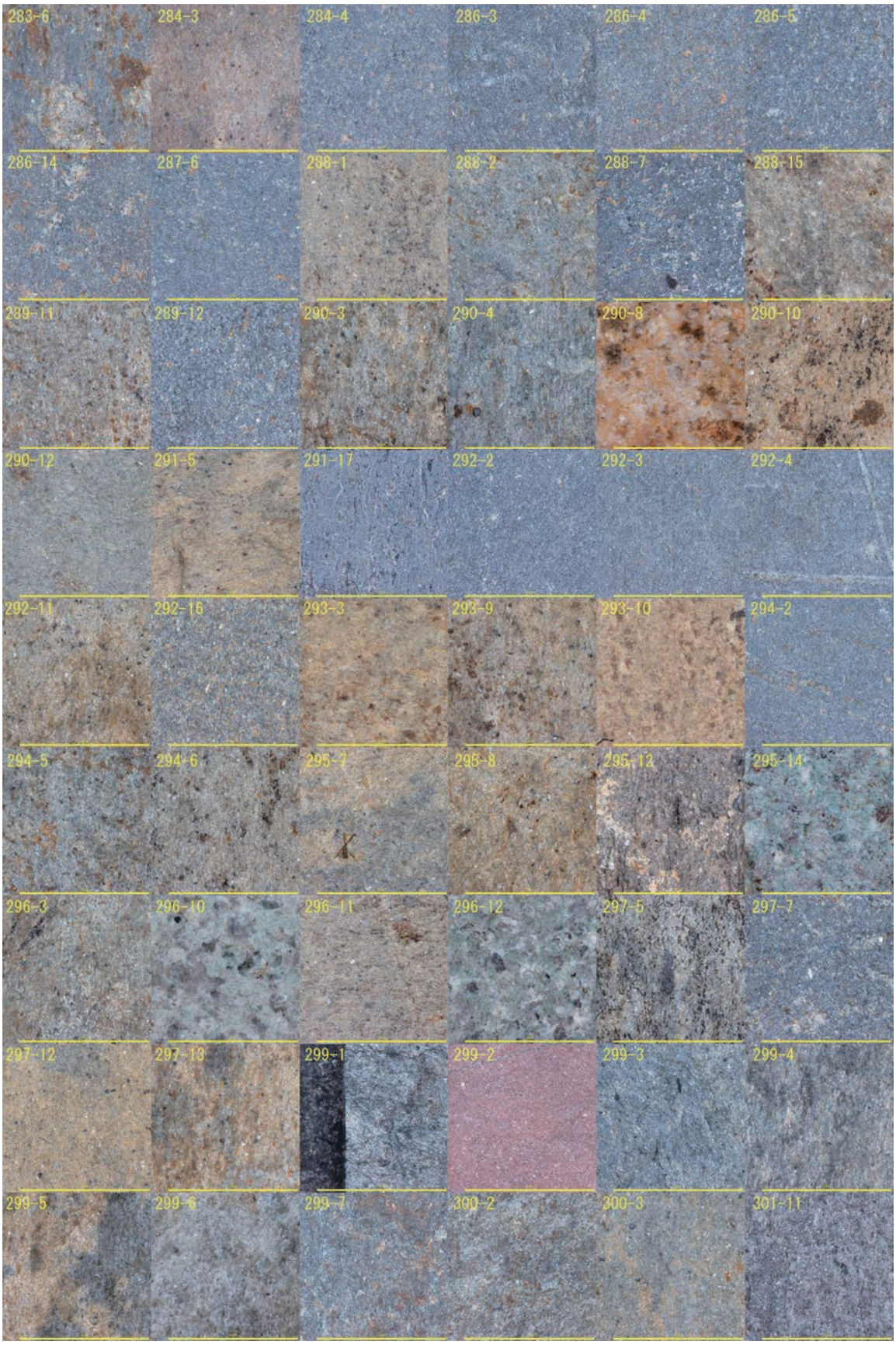
今回報告する硯の大半を占める粘板岩 (頁岩) 系石材を用いた製品は、肉眼的にも多くのバリエーションが認められるが、概ね黒色系、灰色系、黄褐系の三群に大別することも可能である。実体顕微鏡画像等を加味すると、各群はさらに細分が可能である他、各細分群の中間的存在や 3 群いずれにも属さないものも見出された。こうした差異の一部には、生産地間の石材の相違や同一生産地内における石材の質差等が反映されていることが予想されるものの、わずかな差異を以って分けた幾つかの群には同一視すべきものが含まれている可能性も否定できない。何より、各生産地石材の特徴把握と周知が進んでいない現状においては、これらに対して具体的な生産地を比定することは難しく、現時点での暫定的な分類案として示しておく。

黒色系； B 1 ／黒色系硯の主体を成し、拡大画像においては微細な白色粒子は目立つものの肌理の細かい石材（284-3、286-3・4、287-6、292-2・3・4、294-2、301-14、302-2・4）、B 2 ／ B1 よりも肌理が細かく、滑りを感じる石材 (291-17)、D G ／ B1 よりやや肌理が粗く、色調もやや明るい印象を受ける石材 (299-1・3、301-11)

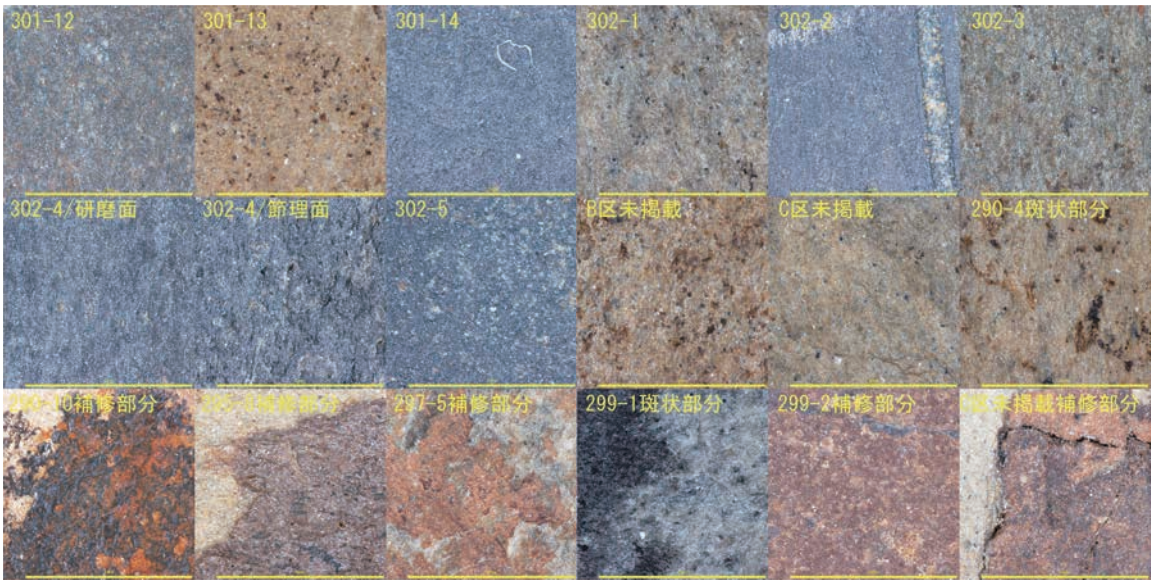
灰色系； G 1 ／暗灰色を呈し、微細な白色粒子を少し含むが肌理は比較的細かい石材 (283-6、288-2、290-4)、G 2 ／ G1 に似るが、よりも粒子感のある石材 (286-5、288-7、289-12、297-7、299-7、301-12、302-5)、G 3 ／ G 2 よりもさらに粒子感のある石材 (299-4･6、300-2)、LB ／肉眼的には褐色を呈し黄褐色群との中間的様相を有する石材 (292-16)

黄褐色群； I1 ／肉眼的には最も明るい明黄褐色を呈し、拡大画像においては黒色粒子が目立つものの肌理は細かい石材 (284-3、288-1、290-12、291-5、292-11、293-3・9・10、296-11、297-12・13、302-1、C 区未報告)、I 1 ´ ／ I1 と I2 の中間的な様相を呈する石材 (294-5、295-7・8)、I2 ／ I1 よりもやや色調の暗いものも含まれ、拡大画像においても粒子感のある石材 (288-15、289-11、290-3・10、297-5、300-2、301-13、302-3、B 区未報告)

この他、唯一赤紫色を呈する例を PR 群／ 299-2 とした。また、4 点報認められる凝灰岩は、粘板岩系と比較して岩石粒子の径が明らかに大きい。灰色系 G(t) ／ 295-14、296-10・12 と褐色系 I(t)



第 350 図　硯表面の実体顕微鏡画像集成（1）（撮像倍率 121x）



第 351 図　硯表面の実体顕微鏡画像集成 (2)（撮像倍率 121x）

／ 290-8 がある。また、295-12 は、肉眼的に瓦質と判断して RT 群とした。

このうち、G3 群 300-2 および 302-3 に「高島」銘が、PR 群 299-2 に「赤間関」銘が刻されている。また、いくつかには石材の傷を埋めて補修した痕跡の認められるものがある。このうち、290-(4)・10、295-8、297-5、299-(1)・2、C 区未掲載資料の拡大画像を示し、236-6、290-(4)、292-11、295-7、296-10・11、C 区未報告資料については補修部分の分析値も示した。

2　硯石材の元素分析

分析の方法については前項同様、卓上型ＥＤＸを用いた。分析条件等の詳細も前項を参照されたい。但し、硯は安定した広い平滑面が得られるため、測定部位は破断面にこだわらず、付着物や汚染の少ない研磨面もしくは平坦な節理面を対象とし、分析範囲を定めるコリメータも、汚染部分を避けられない場合を除いてφ 10㎜となるように心掛けた。結果を第 127・128 表に示す。

今回は、基礎データの提示が主眼であることから、二元分布図等を用いた解析結果は示さないが、以下に各群の分析値の傾向について若干の所見を示しておく。

まず、凝灰岩 2 種と粘板岩系ＲＴ群に関しては他群と比較的顕著な相違が認められるものの、他の粘板岩系各群については、一定の領域にまとまる傾向を示している。しかし、各群の分析値は、そのまとまりの範囲のさらに特定の部分に偏る傾向も認められることから、各生産地の対比試料を網羅的に整えることを条件に、元素組成による生産地比定が実現する可能性は期待し得るであろう。

註

(1) テイケイトレード株式会社 2022『東京都文京区 湯島二丁目北遺跡 ―集合住宅新築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』

第 127 表　硯分析結果 (1)

#	図No.	個No.	区	整理No.	測定部位	石質	仮分類	備考	SiO2	Al2O3	Fe2O3	TiO2	Na2O	MgO	K2O	CaO	P2O5	SO3	Rb2O	SrO	Cr2O3	MnO	ZnO	V2O5	ZrO2	Y2O3	Ga2O3
1	283	6	B	230897	底面(研磨面)	粘板岩	G1	補修有※	71.1	16.3	5.35	0.66	0.52	1.38	3.69	0.28	0.17	0.22	224	42	159	2095	148	354	172	47	35
2	284	3	B	230853	底面(研磨面)	粘板岩	I1	被災付着物	70.4	15.6	5.12	0.68	0.74	2.60	3.79	0.44	0.32	0.10	77	95	183	691	97	405	215	50	31
3	284	4	B	230858	底面(研磨面)	粘板岩	B1		60.8	22.8	6.78	0.77	0.56	1.50	5.90	0.40	0.19	0.12	182	82	154	786	131	379	186	58	46
4	286	3	B	230684	底面(研磨面)	粘板岩	B1		66.4	18.6	5.72	0.73	1.05	1.69	4.90	0.31	0.29	0.12	186	103	165	811	110	443	186	60	48
5	286	4	B	230685	底面(研磨面)	粘板岩	B1		65.7	18.7	5.85	0.81	1.52	1.66	4.55	0.46	0.46	0.10	145	79	217	581	148	430	248	52	36
6	286	5	B	230683	底面(研磨面)	粘板岩	G2		65.5	19.6	5.66	0.78	0.64	1.77	5.17	0.37	0.21	0.17	187	71	192	488	156	357	211	47	48
8	287	6	B	230149	底面(研磨面)	粘板岩	B1		65.1	19.4	6.80	0.73	1.02	1.76	4.57	0.15	0.19	0.09	96	92	175	493	171	398	170	53	42
9	288	1	B	230295	底面(研磨面)	粘板岩	I1		70.5	17.8	5.86	0.67	0.00	1.36	3.11	0.23	0.11	0.11	67	35	159	954	262	335	190	89	35
10	288	2	B	230640	底面(研磨面)	粘板岩	G1		71.4	16.4	5.57	0.61	0.59	1.41	3.19	0.20	0.24	0.21	86	60	152	526	143	281	171	42	36
11	288	7	B	23086＋87	底面(研磨面)	粘板岩	G2		63.8	20.2	6.77	0.91	0.93	1.72	4.81	0.35	0.20	0.20	155	92	206	746	140	443	251	59	45
12	288	15	B	230127	小片(節理面)	粘板岩	I2		62.5	19.9	8.68	0.93	0.29	0.98	5.26	0.51	0.20	0.26	140	71	518	1666	389	528	280	57	66
13	289	11	B	230478	底面(研磨面)	粘板岩	I2		66.6	18.6	5.99	0.77	1.43	1.79	4.13	0.19	0.17	0.11	118	83	189	762	149	407	232	50	36
14	289	12	B	230488	底面(研磨面)	粘板岩	G2	補修有	64.5	19.1	7.65	0.84	0.58	1.57	4.94	0.36	0.17	0.08	132	89	221	590	120	512	247	66	53
15	290	3	B	230501	底面(研磨面)	粘板岩	I2	補修有	62.6	22.0	7.48	0.74	0.00	1.97	4.43	0.27	0.11	0.16	86	36	187	1601	259	474	239	63	46
16	290	4	B	230532	底面(研磨面)	粘板岩	G1	補修有※	68.8	19.0	5.35	0.56	0.06	1.57	3.91	0.21	0.15	0.19	107	30	168	935	178	327	185	37	32
17	290	8	B	230511	底面(研磨面)	凝灰岩	I(t)		71.1	20.5	2.02	0.25	0.85	0.27	3.28	0.68	0.70	0.27	146	400	61	338	85	172	231	34	36
18	290	10	B	230329	底面(研磨面)	粘板岩	I2		66.4	20.5	6.03	0.86	0.00	1.35	4.31	0.20	0.06	0.13	124	36	203	424	254	439	218	59	52
19	290	12	B	230306	底面(研磨面)	粘板岩	I1		71.3	15.6	5.52	0.64	1.51	1.39	3.38	0.16	0.08	0.18	227	67	167	824	132	316	182	36	45
20	291	5	B	230261	側面(印面)	粘板岩	I1	印転用	65.7	19.4	7.27	0.79	0.06	1.73	4.17	0.24	0.09	0.12	55	42	191	1044	210	406	263	62	40
21	291	17	B	230370	底面(研磨面)	粘板岩	B2	黒色塗彩	55.9	14.7	16.4	1.17	0.39	0.92	5.06	2.53	1.29	1.05	375	229	277	1889	1647	968	628	194	94
22	292	2	B	230435	底面(研磨面)	粘板岩	B1	砥材転用	64.5	19.8	6.65	0.74	0.94	1.89	4.59	0.23	0.17	0.12	102	84	208	550	175	429	175	52	34
23	292	3	B	230434	底面(研磨面)	粘板岩	B1	砥材転用	65.2	19.0	6.97	0.72	1.04	1.76	4.44	0.21	0.10	0.14	97	83	196	599	957	397	183	58	33
24	292	4	B	230637	底面(研磨面)	粘板岩	B1	砥材転用	62.0	21.5	6.74	0.81	0.11	1.32	6.03	0.30	0.80	0.16	210	67	187	882	139	461	191	59	50
25	292	11	B	230611	底面(研磨面)	粘板岩	I1	補修有※	66.5	18.7	6.49	0.74	0.63	1.95	4.20	0.25	0.13	0.16	112	84	194	808	157	380	233	49	43
26	292	16	B	230641	硯面(研磨面)	粘板岩	LB	朱墨汚れ	61.0	21.2	8.61	0.93	0.00	1.23	5.18	0.47	0.16	0.89	80	53	262	1320	139	465	268	65	53
27	293	3	B	230389	底面(研磨面)	粘板岩	I1	砥材転用	73.5	15.0	5.37	0.55	0.08	1.18	2.71	0.46	0.07	0.94	135	36	144	965	197	306	158	44	35
28	293	9	B	230728	底面(研磨面)	粘板岩	I1		66.9	18.3	6.45	0.66	1.09	1.79	4.28	0.21	0.06	0.06	139	93	181	934	141	342	224	50	37
29	293	10	B	230729	底面(研磨面)	粘板岩	I1		69.7	17.5	6.58	0.66	0.05	1.44	3.28	0.31	0.23	0.10	71	36	168	911	247	308	174	46	29
30	294	2	B	230676	底面(研磨面)	粘板岩	B1		65.3	19.3	6.81	0.74	0.60	1.76	4.67	0.30	0.16	0.14	114	92	187	649	154	407	194	54	43
31	294	5	B	230678	底面(研磨面)	粘板岩	I1'		68.3	17.4	5.81	0.65	1.17	1.82	4.04	0.21	0.14	0.18	123	92	176	854	153	380	241	48	36
32	294	6	B	230677	底面(研磨面)	粘板岩	I2		66.7	18.5	6.02	0.67	1.13	1.74	4.19	0.31	0.09	0.42	111	86	131	923	147	417	200	50	37
33	295	7	C	231190	底面(研磨面)	粘板岩	I1'	補修有※	70.3	17.2	6.35	0.67	0.00	1.55	3.15	0.27	0.16	0.10	81	36	167	1206	222	345	182	76	30
34	295	8	C	231167	底面(研磨面)	粘板岩	I1'		66.1	19.1	6.98	0.78	0.32	1.83	4.01	0.28	0.18	0.14	218	53	218	1236	187	431	243	65	38
35	295	12	C	231142	破断面	**瓦質**	RT	江戸？	65.5	20.0	5.28	0.99	0.78	1.14	3.40	1.62	0.58	0.54	174	221	170	447	169	556	527	93	56
36	295	14	C	231187	底面(研磨面)	凝灰岩	G(t)		56.2	19.0	9.96	0.81	2.89	5.00	1.00	4.23	0.36	0.17	47	233	130	2536	194	470	79	46	30
37	296	3	C	231191	底面(節理面)	粘板岩	I2		57.3	24.3	7.15	0.97	0.83	2.37	5.70	0.42	0.62	0.14	90	98	209	1402	182	385	245	55	43
38	296	10	C	230950	底面(研磨面)	凝灰岩	G(t)	補修有※	60.1	16.2	6.92	0.67	2.20	2.21	1.68	8.98	0.26	0.27	80	682	95	2755	368	276	177	63	39
39	296	11	C	230956＋57	底面(研磨面)	粘板岩	I1	補修有※	71.3	15.9	5.36	0.67	1.07	1.65	3.45	0.23	0.09	0.13	81	61	183	1018	164	301	201	42	34
40	296	12	C	230951	底面(研磨面)	凝灰岩	G(t)		57.3	17.5	6.55	0.72	2.57	2.14	1.90	10.6	0.02	0.35	62	357	174	1984	130	241	151	49	36

第 128 表　硯分析結果 (2)

#	図No.	個No.	区	整理No.	測定部位	石質	色系	備考	SiO2	Al2O3	Fe2O3	TiO2	Na2O	MgO	K2O	CaO	P2O5	SO3	Rb2O	SrO	Cr2O3	MnO	ZnO	V2O5	ZrO2	Y2O3	Ga2O3
41	297	5	C	231060	底面(研磨面)	粘板岩	I2	補修有	66.3	18.7	6.39	0.85	0.41	1.94	4.65	0.34	0.10	0.17	121	59	206	741	255	405	266	76	28
42	297	7	C	231124	底面(研磨面)	粘板岩	G2		67.3	18.3	5.79	0.75	0.96	1.88	4.26	0.32	0.13	0.12	139	94	190	567	104	357	214	48	41
43	297	12	C	231091	底面(研磨面)	粘板岩	I1		66.6	18.9	8.19	0.71	0.00	1.70	3.33	0.20	0.08	0.00	3	35	195	1430	229	365	191	55	40
44	297	13	C	231054	底面(研磨面)	粘板岩	I1		66.1	19.2	6.67	0.69	0.67	1.84	4.15	0.23	0.14	0.07	67	76	193	1289	261	345	216	57	33
45	299	1	C	231025	底面(研磨面)	粘板岩	DG	塗彩 補修有	66.4	18.9	5.69	0.67	0.75	2.33	4.37	0.29	0.11	0.26	105	98	171	1106	135	401	226	47	39
46	299	2	C	231028	右側面(研磨面)	粘板岩	PR	塗？補 赤間銘	58.0	15.1	7.36	0.89	1.39	2.36	3.14	9.72	1.65	0.15	172	482	211	1046	144	443	305	38	30
47	299	3	C	231026	底面(研磨面)	粘板岩	DG		66.3	19.0	5.61	0.65	0.91	2.07	4.84	0.21	0.09	0.10	147	89	193	646	137	377	222	47	39
48	299	4	C	231018	底面(研磨面)	粘板岩	G3	塗彩	69.8	16.9	4.91	0.76	0.70	1.72	4.41	0.14	0.11	0.34	129	72	162	515	123	373	205	43	38
49	299	5	C	231027	底面(研磨面)	粘板岩	I2	砥材転用	65.9	19.8	6.40	0.80	0.11	1.90	4.29	0.4	0.15	0.11	102	50	226	554	187	365	248	53	45
50	299	6	C	231029	底面(研磨面)	粘板岩	G3	砥材転用	64.0	19.8	7.36	0.80	0.10	1.61	4.14	0.55	1.07	0.18	95	61	176	1957	186	448	238	71	50
51	299	7	C	231020	底面(研磨面)	粘板岩	G2		66.4	18.4	6.54	0.76	0.66	2.00	4.35	0.3	0.22	0.13	98	111	207	1009	166	397	240	55	32
52	300	2	C	231056	底面(研磨面)	粘板岩	G3	高島銘	67.3	17.9	6.03	0.73	1.06	2.00	4.16	0.24	0.14	0.14	104	77	165	1012	135	353	225	51	42
53	300	3	C	231243	底面(研磨面)	粘板岩	I2		69.7	17.1	6.15	0.64	0.00	1.97	3.77	0.16	0.07	0.11	172	30	156	1084	306	372	206	23	30
54	301	11	B	230908	底面(研磨面)	粘板岩	DG		69.0	16.3	5.75	0.68	1.86	1.83	3.61	0.34	0.31	0.10	56	106	191	1310	155	383	214	46	34
55	301	12	B	230565	底面(研磨面)	粘板岩	G2	補修有	68.2	17.6	5.70	0.73	0.73	1.99	4.10	0.35	0.23	0.16	147	94	182	1225	128	357	228	47	45
56	301	13	B	230008	底面(研磨面)	粘板岩	I2		72.2	16.2	5.22	0.63	0.61	1.24	3.19	0.30	0.11	0.11	132	63	155	716	155	288	188	45	26
57	301	14	B	230452	底面(研磨面)	粘板岩	B1		65.8	19.2	5.90	0.82	1.47	1.77	4.44	0.24	0.14	0.15	112	49	163	365	124	336	246	51	42
58	302	1	B	230576	底面(研磨面)	粘板岩	I1		68.0	18.3	5.96	0.68	0.47	1.86	4.14	0.22	0.07	0.13	62	69	191	1029	143	340	228	54	41
59	302	2	B	230568	底面(研磨面)	粘板岩	B1		62.8	22.0	5.18	0.90	1.33	1.31	5.66	0.33	0.12	0.12	241	141	191	352	108	441	259	35	50
60	302	3	B	230575	底面(研磨面)	粘板岩	I2		65.1	19.3	6.45	0.80	0.96	1.87	4.66	0.30	0.17	0.12	168	65	158	986	160	341	231	52	37
61	302	4	C	231264	底面(研磨面)	粘板岩	B1	砥材転用	69.9	16.9	4.67	0.59	1.46	1.76	4.08	0.25	0.12	0.06	131	110	159	844	125	297	212	43	35
62	302	5	B	230572	底面(研磨面)	粘板岩	G2		65.4	19.5	5.95	0.82	1.34	1.73	4.60	0.32	0.07	0.17	121	95	192	521	131	452	207	50	37
63	未	—	B	230186	底面(研磨面)	粘板岩	I2		73.2	14.9	5.06	0.64	0.91	1.46	3.16	0.23	0.11	0.15	87	55	140	699	124	217	228	47	28
64	未	—	C	231204	底面(研磨面)	粘板岩	I1		68.1	18.7	6.49	0.69	0.00	1.55	3.75	0.26	0.06	0.22	89	46	182	916	210	350	173	59	49

補修もしくはその可能性のある部分

	図No.	個No.	区	台帳番号	測定部位	石質	色調系	備考	SiO2	Al2O3	Fe2O3	TiO2	Na2O	MgO	K2O	CaO	P2O5	SO3	Rb2O	SrO	Cr2O3	MnO	ZnO	V2O5	ZrO2	Y2O3	Ga2O3
65	236	6	B	230897	左側面		R		73.4	15.1	4.62	0.64	0.09	0.78	3.52	1.18	0.19	0.18	131	41	139	1259	57	379	175	56	39
66	290	4	B	230532	底面中位左		R		68.0	19.7	5.31	0.51	0.09	1.66	4.18	0.27	0.07	0.07	126	34	124	710	170	319	197	43	47
67	292	11	B	230611	底面中位右		R		65.1	19.3	7.04	0.82	0.00	0.83	4.45	1.88	0.22	0.15	118	74	134	1121	90	478	268	63	46
68	295	7	C	231190	底面		G		53.8	14.3	7.34	0.88	0.91	2.40	2.85	14.2	2.55	0.44	158	604	216	1292	165	424	252	33	51
69	296	10	C	230950	底面中央		R		12.3	3.7	11.5	0.78	0.24	2.38	0.87	61.2	3.49	2.09	173	1909	155	8854	1216	294	449	160	57
70	296	11	C	230956＋57	底面		R		66.0	18.9	6.41	0.72	0.15	0.80	4.03	1.89	0.54	0.37	125	82	189	786	199	315	238	54	61
71	未	—	C	231204	底面		R		64.4	18.4	7.69	0.87	0.00	0.81	4.55	2.66	0.13	0.26	170	71	182	837	127	456	299	110	59

3　市谷本村町遺跡 C536 号土坑から出土した木製品の樹種

鈴木　伸哉（東京都埋蔵文化財センター）

1　はじめに

市谷本村町遺跡の今回の調査において、19 世紀中葉の尾張藩上屋敷長局のものに比定される大型のゴミ穴 C536 号遺構が検出され、そこから多数の木製品が出土した。ここではこれらの樹種を同定した結果を報告し、併せて当時の用材について若干の検討を加えた。

2　資料と方法

樹種同定は木材組織切片のプレパラート観察によりおこなった。出土した木製品から片刃カミソリによって木材の横断面・接線断面・放射断面の切片を採取し、これをガムクロラールで封入して同定用プレパラートとした。プレパラートには前回調査からの連番で S61-58 ～ 1123 の標本番号を付した。

試料採取に併せて、木取りと年輪幅についても観察した。年輪幅が平均して概ね 1mm 未満のものを A、1 ～ 2mm 程度のものを B、2mm 以上のものを C とした。

3　結果

プレパラート 1123 点のうちには針葉樹 14 分類群と広葉樹 21 分類群、単子葉類 1 分類群の、あわせて 36 分類群が認められた。個別の製品および遺構ごとの同定結果は第 129 表にまとめた。以下ではそれぞれの分類群の木材解剖学的な記載をおこない、代表的な標本の顕微鏡写真を第 352 ～ 355 図に示し、樹種同定の根拠を明らかにする。

モミ属　*Ab es*　マツ科（第 352 図 1：S61-949）

垂直・水平樹脂道のいずれをも欠く針葉樹材。早材から晩材への移行は緩やかで、晩材は量多く明瞭。仮道管の内壁にらせん肥厚は認められない。放射組織は柔細胞のみからなり、壁は厚く、垂直壁はじゅず状末端壁。分野壁孔はごく小型のスギ型で、1 分野に 1 ～ 4 個。

カラマツ属　*Larix*　マツ科（第 352 図 2：S61-417）

垂直・水平樹脂道をもつ針葉樹材。早材から晩材への移行は急で、早材部仮道管の壁は薄く、晩材は量多く明瞭。仮道管の内壁にらせん肥厚は認められない。放射組織の上下端には放射仮道管があり、有縁壁孔の壁孔縁は丸みを帯びる。柔細胞の垂直壁はじゅず状末端壁。分野壁孔はごく小型のトウヒ型で、1 分野に 2 ～ 4 個。

トウヒ属　*Picea*　マツ科（第 352 図 3：S61-546）

垂直・水平樹脂道をもつ針葉樹材。早材から晩材への移行は緩やかで、晩材は量多く明瞭。仮道管の内壁にらせん肥厚は認められない。放射組織の上下端には放射仮道管があり、有縁壁孔の壁孔縁は角張る。柔細胞の垂直壁はじゅず状末端壁。分野壁孔はごく小型のトウヒ型で、1 分野に 2 ～ 4 個。

アカマツ　*Pinus densiflora* Sieb. et Zucc.　マツ科（第 352 図 4：S61-737）

垂直・水平樹脂道をもつ針葉樹材。早材から晩材への移行はやや急で、晩材は量多く明瞭。放射仮道管の水平壁には著しい鋸歯状の突起がある。分野壁孔は大型の窓状で、1 分野にふつう 1 個。

マツ属単維管束亜属　*Pinus* subgen. Haploxylon　マツ科（第 352 図 5：S61-874）

垂直・水平樹脂道をもつ針葉樹材。早材から晩材への移行は緩やかで、晩材は少ない。エピセリウム細胞は薄壁で、ふつうは残っていない。放射仮道管の水平壁は平滑。分野壁孔は大型の窓状で、1 分野にふつう 1 個。

ツガ属　*Tsuga*　マツ科（第 352 図 6：S61-538）

垂直・水平樹脂道のいずれをも欠く針葉樹材。早材から晩材への移行はやや急で、晩材は量多く明瞭。仮道管の内壁にらせん肥厚は認められない。放射組織の上下端には放射仮道管があり、柔細胞の垂直壁はじゅず状末端壁。分野壁孔はごく小型のトウヒ型で、1 分野に 1 ～ 4 個。

コウヤマキ　*Sciadopitys verticillata* (Thunb.) Sieb. et Zucc.　コウヤマキ科（第 352 図 7：S61-344）

垂直・水平樹脂道のいずれをも欠く針葉樹材。早材から晩材への移行は緩やかで、晩材は少ない。仮道管の内壁にらせん肥厚は認められない。分野壁孔は孔口が水平に開く窓型で、1 分野に 1 ～ 2 個。

ヒノキ　*Chamaecyparis obtusa* (Sieb. et Zucc.) Endl.　ヒノキ科（第 352 図 8：S61-1122）

垂直・水平樹脂道のいずれをも欠く針葉樹材。早材から晩材への移行は緩やかで、晩材はごく少ない。樹脂細胞が早材の終わりから晩材にかけて接線方向に散在する。仮道管の内壁にらせん肥厚は認められない。分野壁孔は中型で孔口が縦に開くトウヒ型～ヒノキ型で、1 分野に 2 ～ 3 個。

サワラ　*Chamaecyparis pisifera* (Sieb. et Zucc.) Endl.　ヒノキ科（第 352 図 9：S61-1116）

ヒノキに似る針葉樹材。晩材は少ない。分野壁孔はやや大きく孔口が斜めに開くヒノキ型～スギ型で、1 分野に 2 ～ 3 個。

スギ　*Cryptomeria japonica* (L.f.) D.Don　ヒノキ科（第 352 図 10：S61-563）

垂直・水平樹脂道のいずれをも欠く針葉樹材。早材から晩材への移行は緩やかで、晩材は量多く明瞭。樹脂細胞が早材の終わりから晩材にかけて接線方向に散在する。仮道管の内壁にらせん肥厚は認められない。分野壁孔は大型で孔口が水平に開くスギ型で、1 分野に 1 ～ 2 個。

アスナロ　Thujopsis dolabrata (L.f.) Sieb. et Zucc.　ヒノキ科（第 352 図 11：S61-1107）

ヒノキに似る針葉樹材。晩材は比較的多い。放射柔細胞は樹脂を多く含む。分野壁孔は小さく孔口が斜めに開くヒノキ型 ~ スギ型で、1 分野に 3 ～ 5 個。アスナロとその変種のヒバ、ヒノキアスナロ *T. dolabrata* var. hondai は木材構造からは区別できないので、アスナロと統一して表記する。

イヌガヤ　*Cephalotaxus harringtonia* (Knight ex Forbes) K.Koch var. harringtonia　イチイ科

（第 352 図 12：S61-794）

垂直・水平のいずれの樹脂道も欠く針葉樹材。仮道管の壁は厚く、早材から晩材への移行は緩やかで晩材は少ない。樹脂細胞が年輪内に散在する。仮道管の内壁には水平に近く走るらせん肥厚がある。放射組織は放射柔細胞のみからなり、分野壁孔はごく小型のトウヒ型で 1 分野にふつう 2 ～ 3 個。

カヤ　*Torreya nucifera* (L.) Sieb. et Zucc.　イチイ科（第 352 図 13：S61-971）

垂直・水平樹脂道を欠く針葉樹材。早材から晩材への移行は緩やかで晩材は少ない。木部柔細胞はない。仮道管の内壁には 2 ～ 3 本ずつまとまって走るらせん肥厚がある。放射組織は柔細胞のみからなり、分野壁厚はやや小型のトウヒ型で 1 分野に 2 ～ 3 個。

モクレン属　*Magnolia*　モクレン科（第 353 図 14：S61-752）

やや小型で薄壁の道管が単独あるいは放射方向に 2 ～ 4 個ほど複合して、ややまばらに散在する散孔材。道管の直径は年輪の終わりでやや減少する。道管の穿孔は単一。道管相互壁孔は階段状。放射組織はほぼ同性で、1 ～ 2 細胞幅。

タケ亜科　subfam. Bambusoideae　イネ科（第 353 図 15：S61-926）

厚壁の繊維細胞が木部と篩部を取り囲んで繊維束を形成し、それが散在して不斉中心柱をなす。木部では原生木部の小道管の左右外側に 1 対の大道管があり、篩部は原生木部の外方に位置する。

ツゲ　*Buxus microphylla* Sieb. et Zucc. var. japonica (Müll.Arg. ex Miq.) Rehder et E.H.Wils.　ツゲ科（第 353 図 16：S61-969）

ごく小型でやや角張った厚壁の道管が単独で均一に散在する散孔材。道管の穿孔は 10 本ほどの横棒からなる階段状。木部柔組織は散在状 ~ 短接線状。放射組織は異性で 1 ～ 2 細胞幅で、ふつう 2 ～ 4 細胞高の単列の翼部をもつ。

イスノキ　*Distylium racemosum* Sieb. et Zucc.　マンサク科（第 353 図 17：S61-812）

やや小型でやや厚壁の丸い道管が単独で均一に散在する散孔材。年輪界は不明瞭。道管の穿孔は 10 数本の横棒からなる階段状。木部柔組織は接線状で、ときに大型の結晶をもつ。放射組織は異性で 2 細胞幅で、大きさが揃っている。

カツラ　*Cercidiphyllum japonicum* Sieb. et Zucc. ex Hoffm. et Schult.　カツラ科（第 353 図 18：S61-586）

小型でやや丸い道管がほぼ単独で密に散在する散孔材。道管の穿孔は 30 本ほどの横棒からなる階段状。放射組織は異性で 2 細胞幅くらい。

カリン　*Pterocarpus indicus* Willd.　マメ科（第 353 図 19：S61-1000）

中型の道管が単独または 2 ～ 3 個放射方向に複合してまばらに散在する散孔材。道管の直径は成長輪内で緩やかに減少する。軸方向柔組織は連合翼状～帯状。道管の穿孔は単一。放射組織は同性でほぼ単列で、層階状に配列する。

ケンポナシ属　*Hovenia*　クロウメモドキ科（第 353 図 20：S61-735）

大型の道管が年輪のはじめに並び、晩材では徐々に径を減じた厚壁の小道管が単独または放射方向に数個複合して散在する半環孔材。道管の穿孔は単一。木部柔組織は周囲状～連合翼状。放射組織は上下端の 2 ～ 4 細胞が直立する異性で 6 細胞幅くらいで、単列部がやや長く伸びる。

ケヤキ　*Zelkova serrata* (Thunb.) Makino　ニレ科（第 353 図 21：S61-656）

大型で丸い道管が年輪のはじめに 1 列に並んで孔圏をなし、晩材では小型で薄壁の道管が集合して接線方向に連なる帯状に配列する環孔材。道管の穿孔は単一。小道管の内壁にはらせん肥厚がある。放射組織は上下端の 1 ～ 2 細胞が直立細胞からなる異性で、1 ～ 10 細胞幅。しばしば上下端に大型の結晶をもつ。

エノキ属　*Celtis*　アサ科（第 353 図 22：S61-708）

大型 ~ 中型で丸い道管が単独か 2 個複合して年輪のはじめに 1 ～ 2 列並び、晩材では徐々に径を減じた小道管が塊をなして斜めに連なる傾向をみせて配列する環孔材。道管の穿孔は単一で、小道管にはらせん肥厚がある。放射組織は上下端の 1 ～ 4 細胞ほどが直立する異性で 10 細胞幅くらいとなり、不明瞭な鞘細胞をもつ。

クワ属　*Morus*　クワ科（第 354 図 23：S61-692）

やや大型で丸い道管が単独または数個複合して年輪のはじめに数列集合し、晩材では徐々に径を減じた道管が丸い塊をなして斜めに連なる傾向をみせて散在する環孔材。道管の穿孔は単一で、小道管にはらせん肥厚がある。放射組織は上下端の 1 ～ 2 細胞が直立する異性で 10 細胞幅くらい。

クリ　*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.　ブナ科（第 354 図 24：S61-819）

ごく大型で丸い道管が年輪のはじめに 1 ～ 3 列ほど並んで孔圏をなし、晩材では小型で薄壁の道管が火炎状に配列する環孔材。木部柔細胞は短接線状で、晩材で著しい。道管の穿孔は単一。放射組織は単列同性。

ブナ属　*Fag s*　ブナ科（第 354 図 25：S61-1082）

小型で丸い道管が単独あるいは 2 個複合して密に配列する散孔材。道管の直径は晩材にむけてやや減少する。木部柔組織は接線状あるいは短接線状。道管の穿孔は単一または階段状。放射組織は単列同性のものに、大型の複合放射組織が混在する。

スダジイ　*Castanopsis sieboldii* (Mak nþ Hatus. ex T.Yamaz. et Mashiba　ブナ科（第 354 図 26：S61-670）

中型で丸い道管が年輪のはじめに放射方向に伸びる塊をなして散在し、晩材では径を減じた小型で薄壁の道管が火炎状に配列する環孔材。木部柔組織はいびつな接線状。道管の穿孔は単一。放射組織は単列同性。

アカガシ亜属　*Quercus* subgen. Cy lba lanp is　ブナ科（第 354 図 27：S61-1024）

中型で丸いやや厚壁の道管が単独で 1~3 列幅の帯をなして放射方向に配列する散孔材（放射孔材）。木部柔組織はいびつな接線状から 2~3 細胞幅の帯状。道管の穿孔は単一。放射組織は同性で、単列の小型のものと複合状で大型のものとからなる。

ハンノキ属ハンノキ節　*Alnus* sect. Gyn nto hy sus　カバノキ科（第 354 図 28：S61-1073）

中型～小型の道管が単独あるいは放射方向に数個複合して散在する散孔材。道管の穿孔は 20 本ほどの横棒からなる階段状。放射組織は同性で、単列のものと集合状のものとがあり、集合放射組織の出現は多い。

カバノキ属　*Betula*　カバノキ科（第 354 図 29：S61-805）

中型で丸い道管が単独あるいは放射方向に数個複合してまばらに散在する散孔材。道管の穿孔は 10 ～ 20 本ほどの横棒からなる階段状。放射組織は同性で 1 ～ 4 細胞幅程度。

トチノキ　*Aesculus turbinata* Blume　ムクロジ科（第 354 図 30：S61-1072）

小型で丸い道管が単独あるいは放射方向に 2 ～ 3 個複合して散在する散孔材。道管の密度は晩材でやや低くなる。道管の穿孔は単一で、内壁にはらせん肥厚がある。道管相互壁孔は小型の交互状。放射組織は単列同性で層階状に配列する。

センダン　*Melia azedarach* L.　センダン科（第 354・355 図 31：S61-751）

大型の道管が年輪のはじめに単独で 2 ～ 3 列並んで孔圏をなし、晩材では小型の道管が斜線状または放射状に塊をなして散在する環孔材。軸方向柔組織は独立散在または周囲状。道管の穿孔は単一で、内壁にはらせん肥厚がある。心材道管はゴム質物質に富む。放射組織は同性または縁辺部の 1 細胞が直立する異性で 6 細胞幅くらい。軸方向柔細胞中に菱形結晶がある。

ウツギ属　*Deutzia*　アジサイ科（第 355 図 32：S61-761）

ごく小型で角張った道管が単独でまばらに散在する散孔材。道符の穿孔は数十本の横棒からなる階段状。放射組織は異性で背が高く、単列のものは直立細胞のみからなり、多列のものは 4 〜 6 細胞幅くらいで鞘細胞をもつ。

サカキ　*Cleyera japonica* Thunb.　モッコク科（第 355 図 33：S61-1115）

ごく小型で角ばった道管が単独で均一に散在する散孔材。道管の穿孔は 40 段ほどの階段状。放射組織は単列で上下端の 2~4 細胞が直立する異性。

エゴノキ属　*Styrax*　エゴノキ科（第 355 図 34：S61-767）

早材ではやや小型で丸い道管が単独あるいは 2 〜 3 個放射方向に複合してまばらに散在し、晩材では木繊維と同じくらい小径で厚壁の道管が放射方向に数個複合して散在する散孔材。木部柔組織は晩材で接線状。道管の穿孔は数〜 10 本ほどの横棒からなる階段状。放射組織は異性で 1~3 細胞幅。

トネリコ属シオジ節　*Fraxinus* sect. Fraxinaster　モクセイ科（第 355 図 35：S61-590）

大型で丸い厚壁の道管が年輪のはじめに 1 〜 2 列ほど密に並んで孔圏をなし、晩材では小型で厚壁の道管が単独あるいは放射方向に 2 〜 3 個複合してまばらに散在する環孔材。道管の穿孔は単一。放射組織は同性で 1 〜 2 細胞幅。

4　考察

同定をおこなった 1069 点の資料のうち、針葉樹が 904 点と多くを占めた。このうちスギが 524 点と最も多くを占め、ヒノキが 178 点とこれに次ぎ、これらを中心とした広義のヒノキ科の木材が多くの製品に用いられていた。この他、針葉樹ではモミ属（63 点）やアカマツ（25 点）が、広葉樹ではクリ（44 点）やケヤキ（29 点）が多く認められた。江戸においてヒノキ科を中心とした針葉樹を多用する傾向は、大名屋敷や町屋、寺社といった遺跡の性格の違いを超えて認められるもので（鈴木 , 2021）、尾張藩上屋敷の長局においても同様の傾向が確認されたことは意義深い。

器種ごとの用材傾向を見ると、桶・樽類の部材はスギが大半を占め、ヒノキがこれに次ぐ。樽の注口にはウツギ属が用いられており、これは木材の髄が中空になる性質を利用したものと見られる。容器類にはスギやヒノキ、サワラやアスナロといったヒノキ科の他、モミ属やツガ属などの針葉樹も多用されていた。漆塗りの椀やその蓋にはトチノキとブナ属が多く認められた一方、これら 2 分類群と並んでしばしば多用されるケヤキを欠く。

下駄にはスギが多用されていた他、多用な針葉樹・広葉樹が用いられていた。都内の近世遺跡では出土例の少ないケンポナシ属が陰卯下駄の台に多用されていたのは特異な例である。陰卯下駄の台と歯の接続部にはめ込まれていた楔（図版 260-2）はタケ亜科であった。

この他の製品にも、ヒノキやスギ、アスナロなどのヒノキ科を中心とした用材傾向が広く認められた一方、特定の器種・用途と結びついた用材も各所に散見された。櫛にはイスノキやツゲといった一般的な樹種の他、カバノキ属を用いたもの（図版 257-1）が認められた。木曽地方で生産された「お六櫛」と呼ばれる櫛にはカバノキ属のミネバリ（オノオレカンバ）*Betula schmidtii* Regel の材が用いられたとされ、これとの関わりも想定される。傘の轆轤にエゴノキ属を、物差にタケ亜科を用いた例は都内の近世遺跡においてしばしば認められる。出土例が少ない琴柱には、主要な南洋材のひとつであるカリン（マメ科）が用いられていた。都内の近世遺跡では南洋材のシタン（紫檀）類が用いられ

た例（鈴木 , 2014）があり、琴柱には唐木類を充てることが多かったものと見られる。

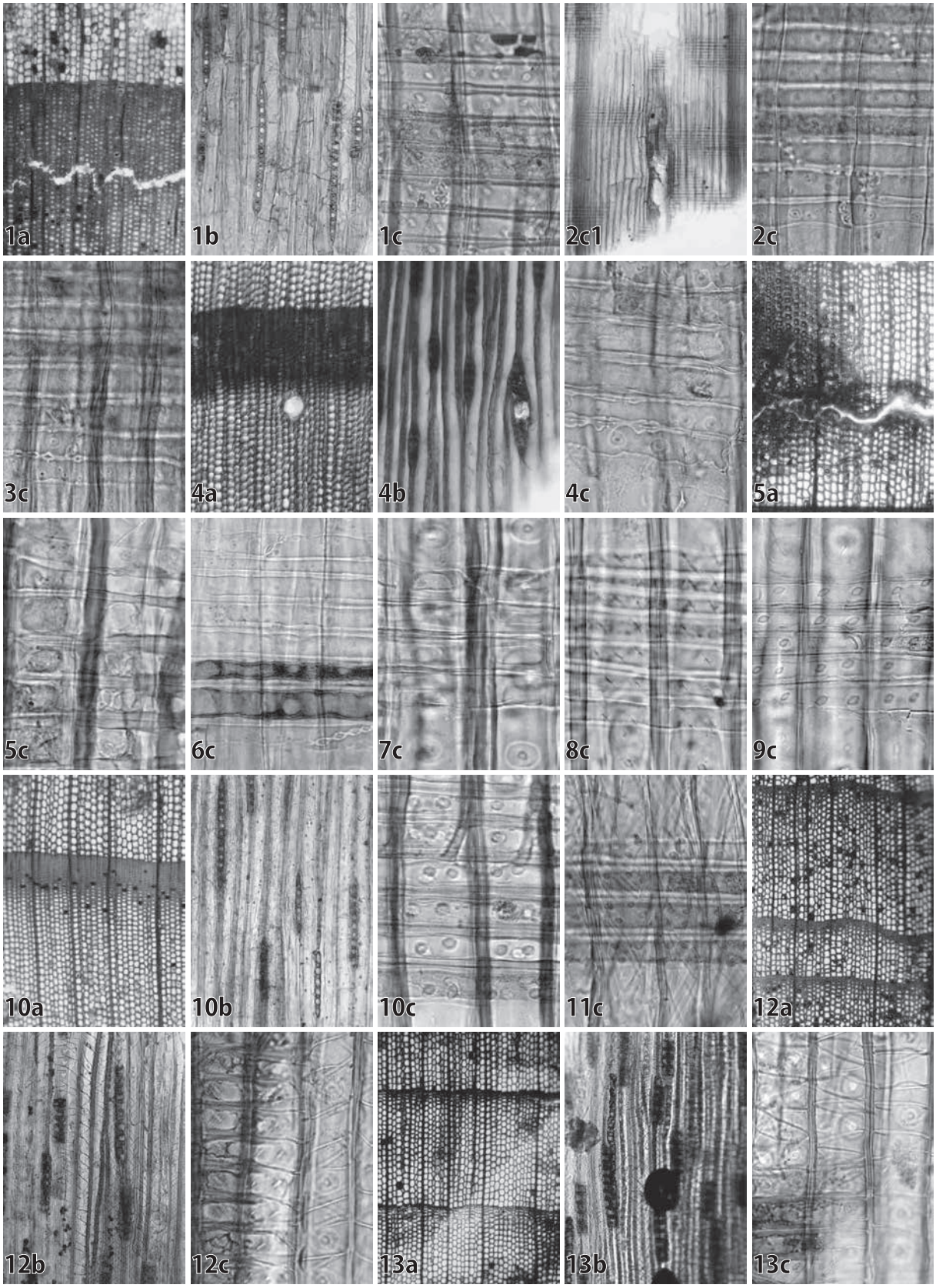
引用文献

鈴木伸哉　2014「築地五丁目遺跡から出土した木製品の樹種」『築地五丁目遺跡』東京都埋蔵文化財センター調査報告第 291 集　東京都埋蔵文化財センター　310-314 頁

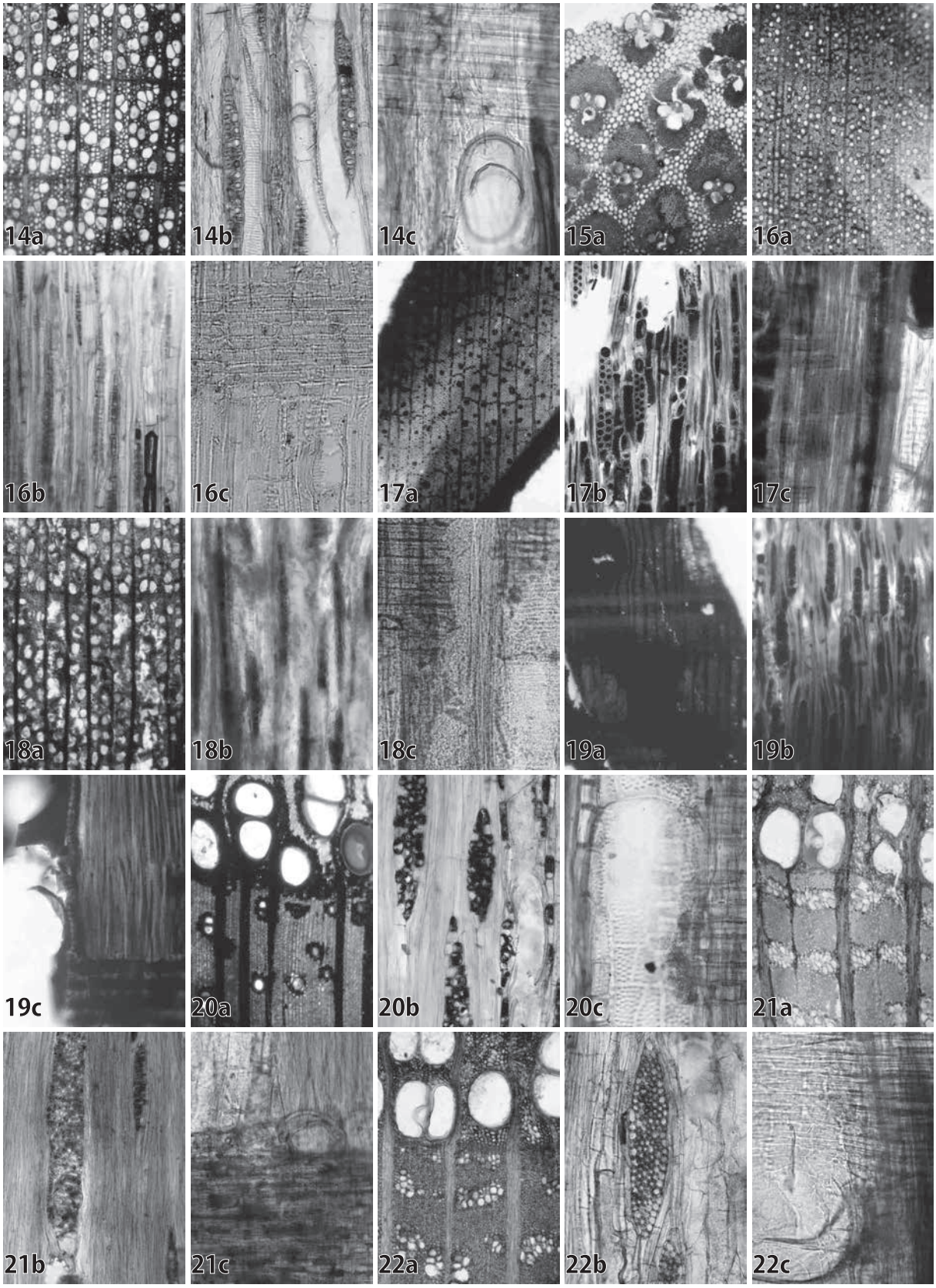
鈴木伸哉　2021「中央区日本橋一丁目遺跡出土木製品の樹種からみた 17 世紀の江戸の町屋における木材利用」『古代』147　早稲田大学考古学会　91-114 頁

第 129 表　市谷本村町遺跡市ヶ谷警察総合庁舎地点から出土した木製品の樹種組成

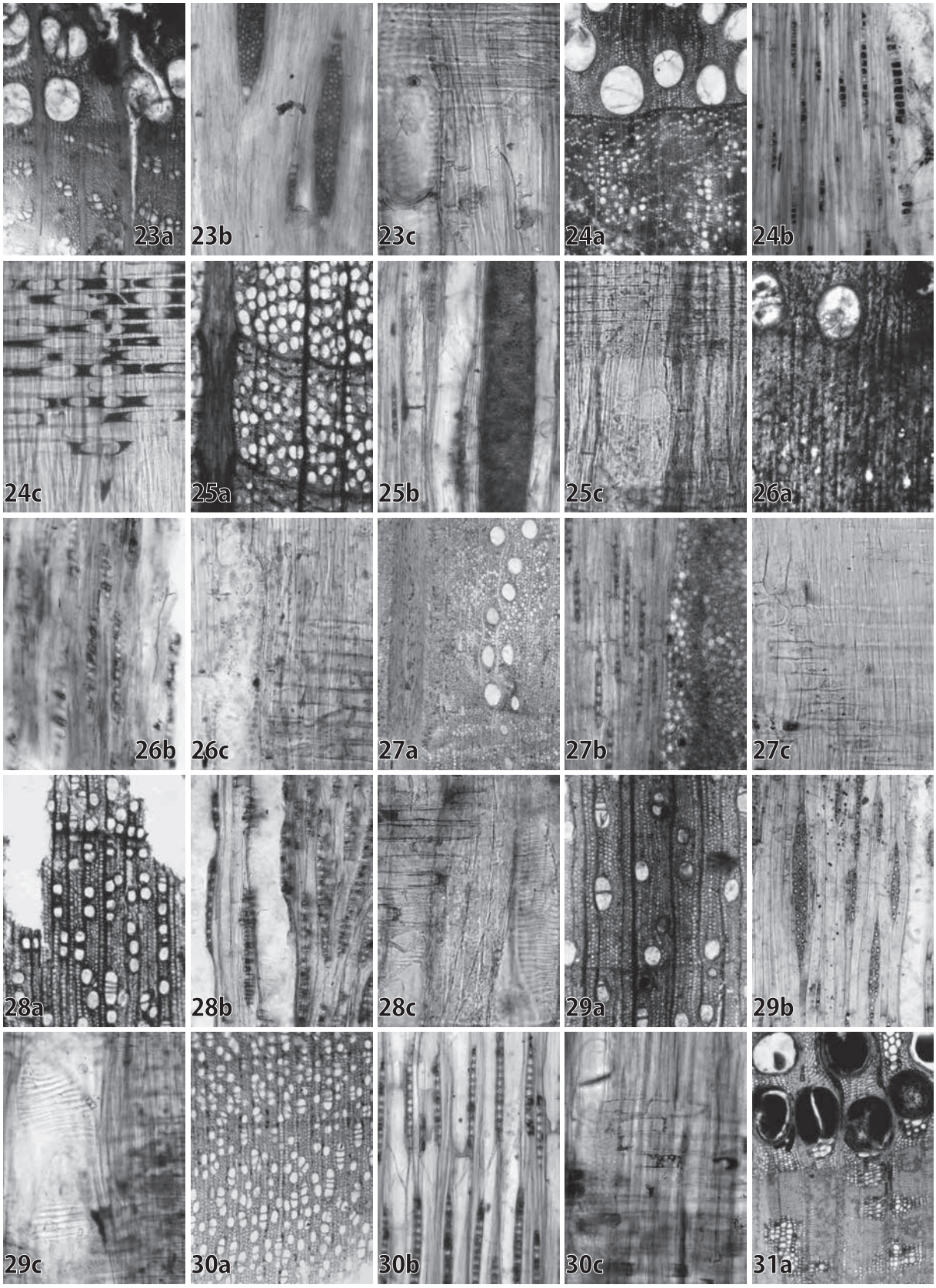
分類群／器種	桶樽				碗	椀蓋	容器	下駄				調度品	箸	膳	調理具	傘	櫛	柄	棒	部材	その他	計
	側板	底蓋	栓	注口				一木	差歯台	差歯	部品											
モミ属		8					26					10		9					1	3	6	63
カラマツ属							2	1														3
トウヒ属							1															1
アカマツ								18				2								3	2	25
マツ属複維管束亜属								1														1
マツ属単維管束亜属												1		1								2
ツガ属							7							1								8
コウヤマキ							1												1			2
ヒノキ	1	18	3				69	11				16	2	20				8	5	18	7	178
サワラ			1				9					2		1				1		1	1	16
スギ	22	111	12				231	74				13	10	13	1			4	6	15	12	524
アスナロ	2		2				3	1				18	2	17				2	1	6	5	59
ヒノキ科			1				5	4				3	1	1			1	1				17
イヌガヤ													3								1	4
カヤ																	1					1
モクレン属					1					2												3
タケ亜科											1	3	2			1					2	9
ツゲ																	3					3
イスノキ												1	2				2					5
カツラ						1		1														2
カリン																					1	1
ケンポナシ属								1	12												2	15
ケヤキ								1	7	15											6	29
エノキ属									1	1												2
クワ属									1													1
クリ								18	22												4	44
ブナ属					4	8															2	14
スダジイ									1													1
アカガシ亜属												2									3	5
ハンノキ属ハンノキ節					1																	1
カバノキ属																	1		1			2
トチノキ					8	5																13
センダン									2	1												3
ウツギ属				2																		2
サカキ																			1			1
エゴノキ属																2						2
トネリコ属シオジ節								1														1



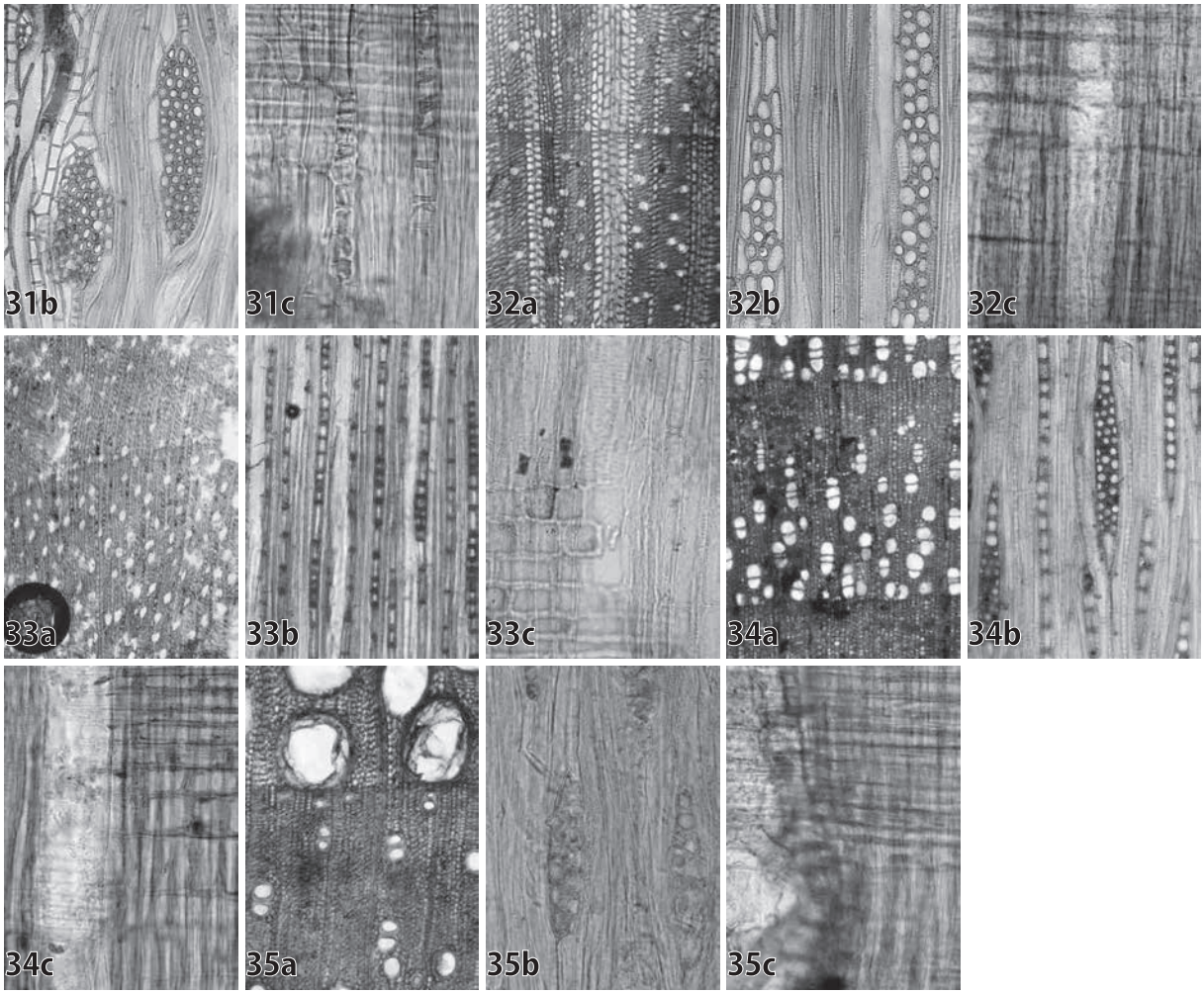
第 352 図　市谷本村町遺跡市ヶ谷警察総合庁舎地点から出土した木製品の顕微鏡写真（1）



第 353 図　市谷本村町遺跡市ヶ谷警察総合庁舎地点から出土した木製品の顕微鏡写真（2）



第 354 図　市谷本村町遺跡市ヶ谷警察総合庁舎地点から出土した木製品の顕微鏡写真（3）



第 355 図　市谷本村町遺跡市ヶ谷警察総合庁舎地点から出土した木製品の顕微鏡写真（4）

1：モミ属（S61-949），2：カラマツ属（S61-417），3：トウヒ属（S61-546），4：アカマツ（S61-737），5：マツ属単維管束亜属（S61-874），6:ツガ属（S61-538），7:コウヤマキ（S61-344），8:ヒノキ（S61-1122），9:サワラ（S61-1116），10：スギ（S61-563），11：アスナロ（S61-1107），12：イヌガヤ（S61-794），13：カヤ（S61-971），14：モクレン属（S61-752），15：タケ亜科（S61-926），16：ツゲ（S61-969），17：イスノキ（S61-812），18：カツラ（S61-586），19：カリン（S61-1000），20：ケンポナシ属（S61-735），21：ケヤキ（S61-656），22：エノキ属（S61-708），23：クワ属（S61-692），24：クリ（S61-819），25：ブナ属（S61-1082），26：スダジイ（S61-670），27：アカガシ亜属（S61-1024），28：ハンノキ属ハンノキ節（S61-1073），29:カバノキ属（S61-805），30:トチノキ（S61-1072），31:センダン（S61-751），32:ウツギ属（S61-761），33：サカキ（S61-1115），34：エゴノキ属（S61-767），35：トネリコ属シオジ節（S61-590）

scale：a（横断面）：× 32, b（接線断面）：× 80, c（放射断面）：× 160（1c ― 13c：× 320. 2c1：× 32）

Ⅷ　調査の成果と課題

1　調査地点の位置と調査概要

市谷本村町遺跡は、17 世紀中頃から幕末まで尾張藩徳川家の市谷邸が所在した場所と、その東側の寺院などを含む遺跡である。江戸城外堀の北西に接して所在する本遺跡は、南側を旧紅葉川によって開析された谷、東側を長延寺谷に挟まれた標高約 33m の舌状台地上に位置する。今回の発掘調査は、市ヶ谷警察総合庁舎の整備事業に伴い、市谷本村町遺跡の北西側、新宿区市谷本村町 7 番地他を対象に実施した。この地点は、明和 5（1768）年に添地された市谷邸「西御殿」の一部に相当し、明和 5 年以前には旗本屋敷や火除地などがあった場所とされている。

市谷邸西御殿の北半部に相当する今回の発掘調査区 B･C 区では、近世の礎石跡、井戸、道路状遺構、地下室や採土坑などの大型土坑のほか、2,000 基を超える土坑やピットが検出された。また近代の建物基礎や配管類等の遺構も調査範囲の各所で見つかっている。出土遺物は、陶磁器や土器、瓦、土製品、木製品、石製品、金属製品など多岐にわたり、コンテナ数にして約 1,100 箱に上る。

検出された遺構は、確認面や遺構の重複関係から、①市谷邸西御殿以前の江戸時代の土地利用、②市谷邸西御殿に伴う土地利用、③近代の陸軍施設に伴う土地利用、という大きく三つの時期に分けることができる。遺構数や遺物数が膨大であるため、第 1 分冊Ⅳ章および第 2 分冊Ⅴ章では個別データの提示が中心となった。そこで以下では、検出遺構と出土遺物について、上記の各段階における調査区内での位置付けを検討し、調査成果を総括する。

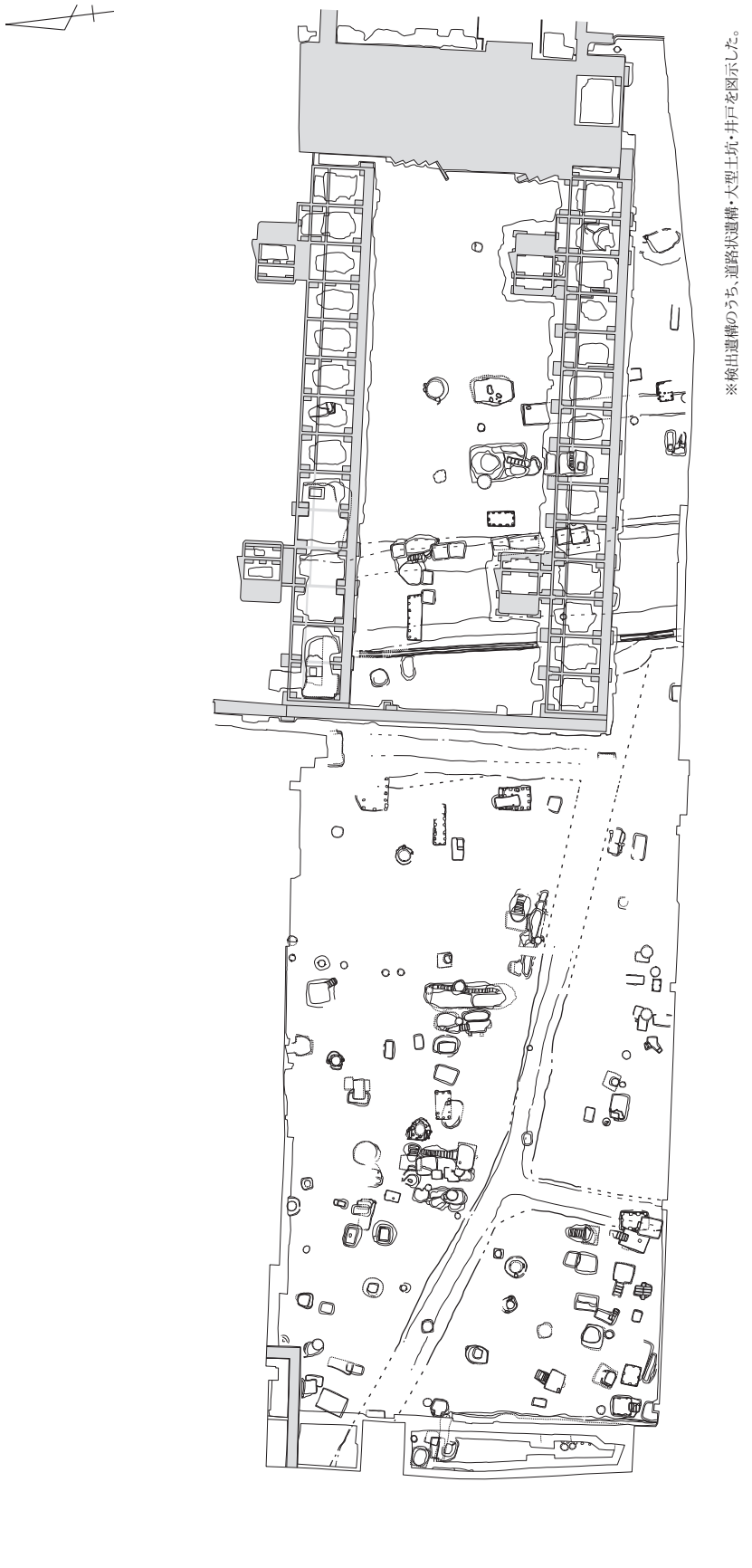
2　尾張藩拝領前の土地利用について

尾張藩拝領前の遺構には、調査区を北西から南東方向、および南北へ走る道路状遺構と、地下室などの大型土坑、井戸、土坑・ピット群などがある（第 356 図）。道路状遺構は、調査区を北西から南東に走る B808 号、B808 号から南へ分岐する B2288 号、幅広の南北往還である C305 号の大きく 3 条に分かれる。これらの道路状遺構は、「御府内往還其外沿革図書」に描かれた尾張藩の拝領以前に存在した往還と考えられる。

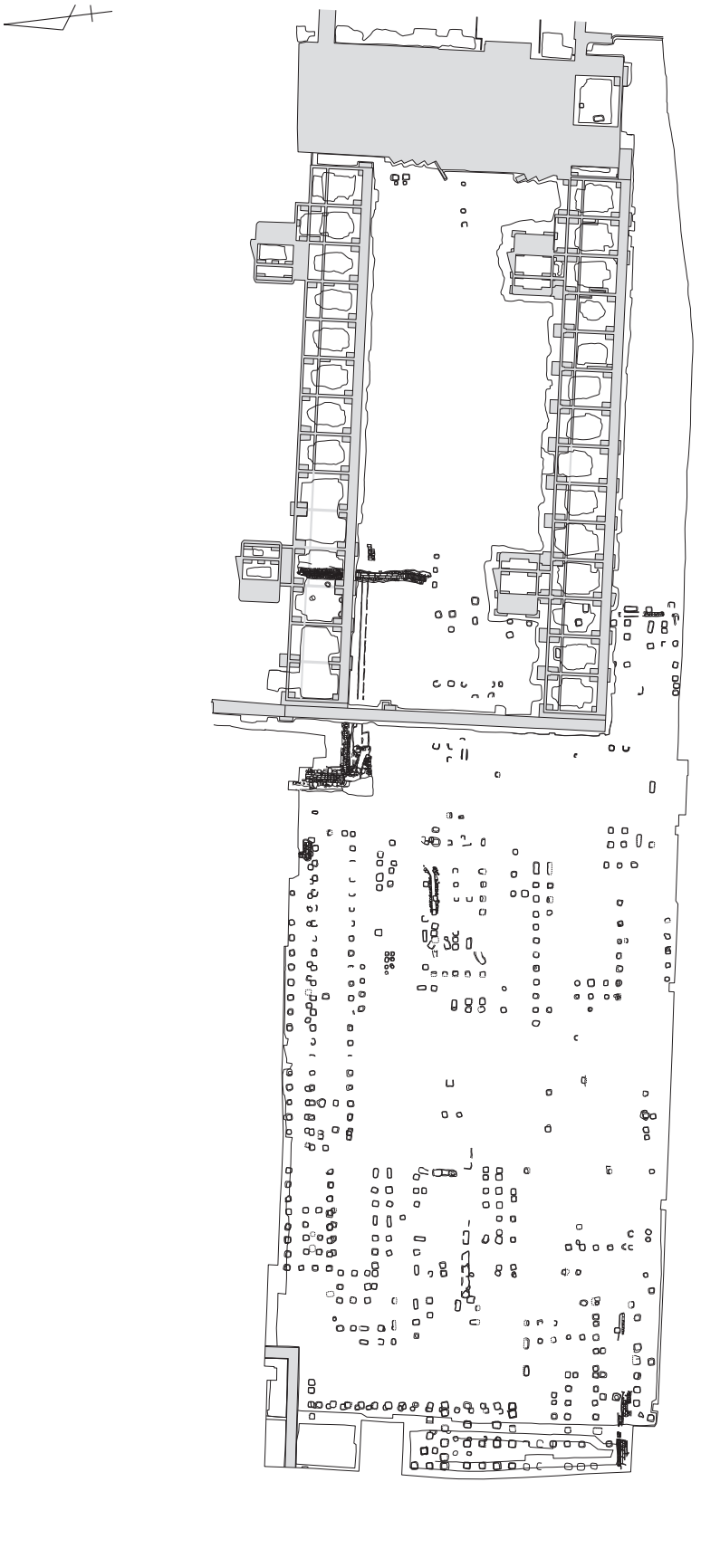
検出された道路状遺構は、浅い溝のような形態を呈し、底面には轍と思われる硬化範囲が複数条見つかっている。轍の幅は 10 ～ 15cm 程度であり、一定間隔で並走する状況から牛車等の車両の存在が想起される。また、B808 号は覆土の堆積状況、C305 号は路面の硬化範囲の広がりから、時期によって道幅に差異があった可能性がある。さらに C305 号では、底面西側から上水跡とみられる溝状遺構 C270 号が検出されている。木樋は遺存していないが、底面からは湧水があり、遺構の断面形態も近隣の調査（齋藤 2011）で上水施設とされるものとよく類似する。

道路状遺構の周囲では、道に沿うように多数の遺構が検出されている。B808 号北側ではピット、B808 号南側では土坑や溝状遺構が列をなして分布しており、生垣等による西御殿以前の土地の区画を示す可能性もあり注目される。C305 号東側に南北に並ぶ C622 号等の平面が正方形の大型土坑は、用途は不明であるが、同様に往還を意識して配置されたものであろう。

また、とりわけ B 区において、道路状遺構を切り込む地下室等の大型遺構がほぼみられない点は、



第 356 図　尾張藩拝領以前の土地利用



第 357 図　市谷邸西御殿期の土地利用

当時の土地利用を如実に反映しており興味深い。整地層を挟んで上位に構築される市谷邸の礎石の分布とは対照的に、これらの大型土坑は往還を避けるように構築されている。また平面が長方形ないしは方形を呈するものは、その多くがB808号と同一の軸となる点からも両者の関係性を窺うことができる。大型土坑の時期は17世紀中頃～18世紀中頃を廃絶時期とするものが大半で、往還周囲の土地区画のそれぞれに帰属するものであろう。第Ⅵ章では、渋谷葉子氏により市谷邸拝領以前の土地区画と使用者の変遷が詳細にまとめられている。居住者や土地区画と検出遺構との紐付けについては、既刊のA区も含めて稿を改めて検討したい。

尾張藩拝領以前の出土遺物では、B588号の出土陶磁器がとりわけ注目される。B588号は平面が長方形を呈する大型土坑で、焼土塊を主とした覆土に火災廃棄物と考えられる舶載陶磁器が多量に含まれる。明代の景徳鎮窯や漳州窯の碗や盤、皿を主とし、揃いのものも少なくない。国産のものとしては肥前の大皿や波佐見系の碗などがあり、陶器では水指や茶入といった茶器の類も良好な遺存状態で出土している。「御府内往還其外沿革図書」では、B588号が位置する土地の使用者は長らく「佐野九右衛門」となっており、こうした舶載陶磁器や茶器を所有する背景について、検討を深めていく必要があろう。

3　市谷邸西御殿の土地利用について

市谷邸西御殿に伴う遺構は、建物の基礎となる礎石跡を中心とし、近代以降のものも含めて807基が検出されている（第357図）。上部の礎石自体はほとんどが後世に取り去られているが、礎石の下部を根固めした掘り込みが良好に残っており、西御殿の建物配置を考えるうえで貴重な資料を得た。

検出された礎石跡は、平面が方形で、多くの事例でローム土と根石を交互に埋め固めている点で共通する。礎石跡の掘り方は、底面をローム層上面とするものが多く、大型遺構等の重複範囲ではこれらの遺構底面まで2m以上にわたって掘削と根固めが施されている例もある。地盤が安定したローム層を意識して建物基礎が掘削されていたのであろう。根石には中形～大形の亜円礫が多用され、間知石や割石を用いる近代以降の礎石跡とは一線を画する。その中で、B区西側でまとまって検出された蛸燭石を根石とする一群は異質である。蛸燭石による基礎は、近世では土蔵等にみることができるが、通常の礎石建物に利用される事例は多くない。本調査地点の場合、蠟燭石が用いられる範囲は大規模な採土坑B589・2843・5086号が所在した場所に相当し、広範囲にわたってローム層の検出面が自然地形に比べて低い位置まで掘削されている。こうした状況を踏まえ、より強固な基礎とするべく蛸燭石による基礎が選択されたものと考えておきたい。なお、これらの礎石群は第2次西御殿期の「御廊下」に相当する位置にあり、こうした建物配置上の理由からも、より強固な基礎を要した可能性がある。

市谷邸の礎石建物は、礎石跡の重複関係から、少なくとも2回にわたって建て替えが行われており、とりわけ第2次西御殿期における改築の様相を詳細に捉えることができる。個々の部屋との照合はここでは割愛するが、本調査で検出された礎石は、「市谷西御殿絵図」に描かれた当初の第2次西御殿と、「西御殿中惣図」に描かれた解体・改築後の建物配置にきわめて良く整合する。柱間は半間を基本的な単位としているようで、平面が長方形となる礎石跡も含め、これら半間の礎石跡は建物の角や廊下との連結箇所等に配される傾向が指摘される。また、絵図との照合に際しては井戸の配置も手

掛かりとなるが、とりわけB区中央南側のB2392号とB2371号は、第2次西御殿期における上述の2時期の変遷に沿って作り替えられたものと考えられる。

このように第2次西御殿期の様相が詳細に判明した一方で、第1次西御殿期に該当する礎石跡についてはほとんど認識できていない。本調査地点の南に隣接する『尾張藩上屋敷跡遺跡Ⅰ』の第2地点でも同様の傾向があり、検出された多数の礎石は第2次西御殿に帰属するものである。ただ、本調査地点で検出された礎石のうち、礎石列62のように平面形が円形のものや、第2次西御殿期の礎石跡に壊される形で並ぶ、深度が浅く掘り方底面がローム層まで至らない一群については一考の余地があろう。

市谷邸に関連する他の遺構として、石組遺構は、絵図に表現がなく照合が難しいが、基本的に礎石跡との重複はなく、それぞれが同時期に併存していた可能性を示唆する。また大規模な水利施設と考えられるB3025・3070・3084号は、西御殿に関する絵図では第1次・第2次とも北東隅の空閑地に位置しており、遺構の作り替えの様相からも長期にわたって機能した施設と考えられる。

大型土坑では、19世紀代に比定されるC244・251・536号が市谷邸に関連するものと考えられる。これらの土坑は、その配置も第2次西御殿の東側で建物と干渉しない地点に位置している。とりわけC536号では、多量の陶磁器・土器とともに、ガラス製や骨角製の簪・笄・櫛等の結髪道具がまとまって出土している。また木製品では漆塗りの調度品も多い。第2次西御殿では、本土坑が隣接する御殿東側に長局が配されており、「西御殿中惣図」ではその解体がなされている。ここから、C536号は長局解体に伴う廃棄土坑である可能性が指摘される。

出土遺物では、「葵」の文様が施された陶磁器・土器、木製品のほか、記銘資料も注目される。陶磁器・土器への記銘例では、年号のほか、人名や役職名、部屋名など、市谷邸にまつわる資料も多く、既往調査資料も併せて今後詳細な検討を必要とする。

4　近代以降の土地利用について

市谷邸は、明治時代になると政府から上地され、その跡地は陸軍関係の施設として利用されることとなる。今回の調査では、明治年間の東京鎮台砲兵営の建物跡と思われる布掘り基礎と石組溝、また昭和年間の陸軍幼年学校の建物跡と思われる鉄筋コンクリート建物基礎や配管類なども確認されている。これら近代の遺構群は、警視庁特科車両隊の舗装直下から検出され、現代の大きな撹乱も少なく、全体像をよく把握できる好例と言える。

明治年間の建物基礎は、東西に軸を持つ建物が2棟並び、各建物は布掘り基礎とその外周の石組溝がセットとなる。布掘り基礎は大形の礫を充填して根固めされており、市谷邸で使用されていたと思われる礎石や間知石が多く含まれる。また近世の墓石も多く、これらは廃仏毀釈によって投棄されたものと考えられる。紙幅の都合から墓石の詳細は示し得ないが、銘や家紋を有するものについては原則として拓影等の記録を実施しており、採取したデータのうち紀年銘の年代別数量を第358図に示した。元和年間から安政年間まで近世を通じて確認されており、年数が長い元禄年間・享保年間・宝暦年間は墓石の数量も多い傾向にある。

東京鎮台砲兵営の建物の平面形態を特徴付けるのは石組溝で、建物端の南北の張り出しが注目される。これらは出入口を示す箇所と考えられ、地図との照合においても重要な手掛かりとなった。また、

その他の施設として挙げられる小規模な礎石建物2棟は、放射状に配列された平面長方形の礎石跡が特徴的で、布掘り基礎建物の北側に配された高層の建造物と考えられる。

陸軍幼年学校の建物は、鉄筋コンクリート製の基礎による厩が南北に並び、これらの東側には馬に関連する施設が位置する。厩は短冊状に仕切られた多数の部屋からなる建物で、通常の建築物とは間取りが異なっており特殊である。出土遺物からの裏付けは乏しいが、陸軍幼年学校の建物配置図との比較からも妥当なものと判断される。

建物に伴う配管類も多数検出されている。土管と連結するコンクリート桝も含めて陸軍幼年学校に伴うインフラと考えられ、土管から鉄管への少なくとも2段階の変遷が想定される。B区では配管の南側に防空壕と考えられる大型土坑が並んでおり、本地点が陸軍参謀本部となったのちも計画的な土地利用がなされていた様子が窺える。

近代以降の出土遺物は多くないが、陶磁器や歯ブラシには軍用品が含まれる。ガラス瓶の中には現代のものも一定数あり、それらはおおよそ1960年代までに帰属する。地図や航空写真によれば、本調査地点は太平洋戦争による被災を免れ、現在の警視庁特科車両隊および財務研修所が建設される1960年代末まで、若干の改修等はありながらも上述の鉄筋コンクリート建物が機能していたことが明かとなっている。こうした建物の沿革は、出土したガラス瓶の年代観とも整合するもので、本調査地点の近代から現代への土地利用変遷の画期を示すものと考えられる。

第358図　紀年銘を有する墓石の年代別数量

（大網信良）

引用・参考文献

安芸毬子　2008 「江戸出土人形の時期的変遷」『関西近世考古学研究 16　土人形が見た近世社会』 関西近世考古学研究会　51-62 頁

安芸毬子・大成可乃・大貫浩子・坂野貞子・成瀬晃司・堀内秀樹　1999 「東京大学構内遺跡出土陶磁器・土器の分類（1）」『東京大学構内遺跡調査研究年報 2』別冊　東京大学埋蔵文化財調査室　1-130 頁

安芸毬子・小林照子・堀内秀樹　2012 「東京大学構内遺跡出土人形・玩具の分類」『東京大学構内遺跡調査研究年報 8　2009・2010 年度』 東京大学埋蔵文化財調査室

井汲隆夫　1991 「江戸遺跡検出のやきもの分類」『四谷三丁目遺跡』別冊　新宿区四谷三丁目遺跡調査団　1-35 頁

井汲隆夫　1992 「第 2 章　検出遺物の概要と整理方法」『東京都新宿区　内藤町遺跡－放射 5 号線整備事業に伴う緊急発掘調査報告書－　第Ⅱ分冊＜遺物編＞』 新宿区内藤町遺跡調査会　1-45 頁

市田京子　2000 「江戸時代の下駄」『江戸文化の考古学』（江戸遺跡研究会編） 吉川弘文館　26-54 頁

伊藤徳広　2018 「有史以降の黒曜石－利器以外の黒曜石利用－」『隠岐の黒曜石』 島根県立出雲歴史博物館　79-80 頁

上本進二・上杉　陽　1996 「神奈川県のテフラ層と遺跡層序－考古学のための Y-no.・S-no. 分層マニュアル－」『関東の四紀』20　関東第四紀研究会　3-24 頁

内田祐治　1990 「下縮内山遺跡出土の砥石」『清瀬市郷土博物館　年報　平成元年度』 清瀬市郷土博物館

内野　正　2004 「尾張藩市谷邸に葺かれた瓦の様相－尾張藩上屋敷跡遺跡出土資料から－」『研究論集』ⅩⅩ　東京都埋蔵文化財センター　43-62 頁

内野　正　2005 「出土陶磁器からみた尾張藩市谷邸の画期－柳茶碗・御小納戸茶碗・灰釉平碗の分析から－」『研究論集』ⅩⅩⅠ　東京都埋蔵文化財センター　1-21 頁

内野　正　2006 「尾張藩市谷邸で使用された陶磁器・土器の様相（1）－陶磁器碗類素描－」『研究論集』ⅩⅩⅡ　東京都埋蔵文化財センター　41-64 頁

内野　正　2013 「尾張藩上屋敷における陶磁器組成の在り方－尾張藩上屋敷跡遺跡出土の 17 世紀から 18 世紀初頭の資料を中心として－」『第 3 回近世陶磁研究会資料　江戸の武家地出土の肥前磁器－罹災資料と初期色絵・鍋島・柿右衛門－』 近世陶磁研究会　230-276 頁

江戸遺跡研究会編　2001 『図説　江戸考古学研究事典』 柏書房

遠藤邦彦・千葉達朗・杉中佑輔・須貝俊彦・鈴木毅彦・上杉　陽・石綿しげ子・中山俊雄・舟津太郎・大里重人・鈴木正章・野口真利江・佐藤明夫・近藤玲介・堀伸三郎　2019 「武蔵野台地の新たな地形区分」『第四紀研究』58 巻 6 号　日本第四紀学会　353-375 頁

大成可乃　2011 「東京大学構内遺跡出土陶磁器・土器の分類（2）」『東京大学構内遺跡調査研究年報 7』 東京大学埋蔵文化財調査室　223-314 頁

大橋康二　1988 「18 世紀における肥前磁器の銘款について」『青山考古』第 6 号　青山考古学会　67-74 頁

岡　重文　1985 「関東地方南西部における中・上部更新統の地質の概要」『関東平野』第 2 号　関東平野研究会　3-27 頁

小川　望　1995 「「泉湊伊織」の刻印をもつ焼塩壺について－法量分布による若干の考察－」『東京考古』13　東京考古談話会　91-118 頁

小川　望　2000 「出土遺物から見る江戸の「タバコ」」『江戸文化の考古学』（江戸遺跡研究会編） 吉川弘文館 192-217 頁
小川　望編　2019 『考古調査ハンドブック 19　江戸の土器－付・江戸遺跡発掘調査報告書一覧－』 ニューサイエンス社
及川良彦　2005 「千代田区外神田四丁目遺跡出土木器ノート－下駄　その 1 －」『研究論集』ＸＸＩ　東京都埋蔵文化財センター　23-52 頁
金沢　陽　2017 「中国・明代の陶磁器国内流通－景徳鎮窯といくつかの有力地方窯－」『中近世陶磁器の考古学　第七巻』（佐々木達夫編） 雄山閣　21-56 頁
金子　智　1993 「近世瓦の基本分類－江戸遺跡出土品を中心に－」『文学研究科紀要別冊第 20 集』早稲田大学大学院文学研究科　133-143 頁
川田壽文　2004 「砥礪考－附　日本産砥石地名一覧表－」『白門考古論叢　稲生典太郎先生追悼考古学論集』中央考古学会・中央大学考古学研究会　367-406 頁
川田壽文　2020 「砥石の歴史」『多摩地域史研究会会報』第 143 号　多摩地域史研究会　1-16 頁
国立歴史民俗博物館編　1997 『お金の玉手箱－銭貨の列島 2000 年史－』 国立歴史民俗博物館
越村　篤　2003 「第 2 節　近世木製品の分類・計測」『東京都新宿区　行元寺跡』（財）新宿区生涯学習財団新宿歴史博物館　309-324 頁
越村　篤　2013 「江戸遺跡出土木製品の概観」『江戸遺跡研究会第 26 回大会　江戸と木の文化　発表要旨』江戸遺跡研究会　69-90 頁
小林照子　2016 「西行の系譜－ CT 画像からみた土人形の成形技法－」『東京大学本郷構内の遺跡　医学部附属病院入院棟 A 地点　研究編』東京大学埋蔵文化財調査室発掘調査報告書 13　東京大学埋蔵文化財調査室 287-302 頁
佐藤興平　2005 「砥沢の砥石：地質と歴史」『群馬県立自然史博物館報告』9　群馬県立自然史博物館　1-9 頁
静岡いづみ会編　1997 『穴銭入門　寛永通宝－新寛永の部－』書信館出版（1992 初版）
新宿区内藤町遺跡調査会編　1993 『新宿内藤町遺跡に見る　江戸のやきものと暮らし』
（財）新宿区生涯学習財団新宿歴史博物館　2006 『徳川御三家　江戸屋敷発掘物語－尾張家への誘い－展示図録』
鈴木伸哉　2013 「用語解説」『江戸遺跡研究会第 26 回大会　江戸と木の文化　発表要旨』 江戸遺跡研究会 ⅱ - ⅲ頁
鈴木裕子　2005 「近世志戸呂窯由右衛門徳利－覚書－」『東京考古』23　東京考古談話会　147-151 頁
鈴木裕子　2006 「近世志戸呂窯由右衛門徳利－覚書 2（窯址採集資料から）－」『東京考古』24　東京考古談話会　121-127 頁
鈴木裕子　2013 「江戸出土の備前産の壺・甕・擂鉢・火鉢・花入等－ 17 世紀を中心に－」『東京考古』31 東京考古談話会　83-113 頁
鈴木裕子　2014 「江戸出土の備前産の小壺・広口壺・煎餅皿等－ 19 世紀を中心に－」『東京考古』32　東京考古談話会　101-126 頁
瀬戸市史編纂委員会編　1993 『瀬戸市史　陶磁史篇五』 瀬戸市
瀬戸市史編纂委員会編　1998 『瀬戸市史　陶磁史篇六』 瀬戸市

（財）瀬戸市文化振興財団埋蔵文化財センター　2006 『江戸時代の瀬戸窯』
（財）瀬戸市文化振興財団埋蔵文化財センター　2006 『江戸時代のやきもの－生産と流通－』
瀧澤武雄・西脇　康編　1999 『日本史小百科　貨幣』 東京堂出版
谷田有史　2000 「江戸時代のたばこ」『江戸文化の考古学』（江戸遺跡研究会編） 吉川弘文館　171-191 頁
坪井利弘　1986 『図鑑　瓦屋根（改訂版）』 理工学社
東京都埋蔵文化財センター　2015 『港区　旗本花房家屋敷跡遺跡』東京都埋蔵文化財センター調査報告第 306 集
東京都埋蔵文化財センター　2020 『新宿区　四谷一丁目遺跡』東京都埋蔵文化財センター調査報告第 350 集
豊島区遺跡調査会　1998 「陶磁器・土器分類・計測基準」『伝中・上富士前Ⅱ』別冊　豊島区教育委員会　1-22 頁
中井さやか　1992 「近世の漆椀について－その器種と組み合わせを考える－」『江戸の食文化』（江戸遺跡研究会編） 吉川弘文館　180-204 頁
長佐古真也　1992 「近世「徳利」の諸様相－瀬戸・美濃産灰釉系徳利をめぐる型式学的考察－」江戸遺跡研究会編『江戸の食文化』 吉川弘文館　63-92 頁
中野高久　1999 「江戸遺跡にみる貝殻の利用－牡蠣殻葺屋根、貝杓子を中心に－」『東京考古』17　東京考古談話会　87-96 頁
仲光克顕　1998 「墨田区江東橋二丁目遺跡にみる江戸の土製品生産」『東京考古』16　東京考古談話会　113-129 頁
名古屋市博物編　2008 『特別展　尾張名古屋は地下で待つ　城下町大発掘』
成瀬晃司　2013 「罹災資料にみる大名藩邸の陶磁器諸相－天和 2 年・元禄 16 年の加賀・大聖寺・富山藩邸出土資料から－」『第 3 回近世陶磁研究会資料　江戸の武家地出土の肥前磁器－罹災資料と初期色絵・鍋島・柿右衛門－』 近世陶磁研究会　120-193 頁
日本貨幣商協同組合編　2021 『日本貨幣カタログ　2022 年版』 日本貨幣商協同組合
樋上　昇　2012 『考古学調査ハンドブック④　出土木製品の保存と対応』 同成社
藤木　聡・谷畑美帆　2020 「江戸時代の遺構から出土する黒曜石製「火打石」について」『資源環境と人類』第 10 号　明治大学黒耀石研究センター　59-64 頁
増尾富房　2000 「江戸時代の銭貨・寛永通宝」『江戸文化の考古学』（江戸遺跡研究会編） 吉川弘文館　260-272 頁
水本和美　1998 「消費地出土の「鍋島」」『東京考古』16　東京考古談話会　77-111 頁
森村健一　2017 「福建省漳州窯の研究－漳州窯陶磁と「茶人の都・堺」の茶の湯－」『中近世陶磁器の考古学第七巻』（佐々木達夫編） 雄山閣　91-120 頁
森本伊知郎・鈴木裕子　2001 「天明期の墨書を記した植木鉢－江戸における植木栽培・園芸との関係から－」『東京考古』13　東京考古談話会　119-148 頁
薮田みゆき　2013 「寒梅館地点出土の歯ブラシ形骨加工品－ 2002 年度大学会館（室町殿跡）発掘調査に伴う事例報告－」『同志社大学歴史資料館　館報』16　同志社大学歴史資料館　54-62 頁

報 告 書 抄 録

ふ り が な	いちがやほんむらちょういせき
書　　名	市谷本村町遺跡
副 書 名	市ヶ谷警察総合庁舎の整備に伴う埋蔵文化財調査（A 区～ C 区）
シ リ ー ズ 名	東京都埋蔵文化財センター調査報告
シリーズ番号	第 377 集
編 著 者 名	大網信良　寺西朗平　渋谷葉子　長佐古真也　鈴木伸哉　パリノ・サーヴェイ株式会社
編 集 機 関	公益財団法人東京都教育支援機構　東京都埋蔵文化財センター
所　在　地	〒 206-0033　東京都多摩市落合一丁目 14 番 2　　TEL 042 － 374 － 8044
発 行 年 月 日	西暦　2023 年　11 月　30 日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘面積	発掘原因
		市町村	遺跡番号					
いちがやほんむらちょういせき 市谷本村町遺跡	とうきょうとしんじゅくくいちがほんむらちょう 東京都新宿区市谷本村町 7	13104	61	35°41′43″	139°43′34″	20171101～20200331	11,777 ㎡	市ヶ谷警察総合庁舎の整備

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
市谷本村町遺跡	包蔵地 屋敷	縄文時代	土坑・ピット	土器・石器	・尾張藩拝領前の旗本屋敷期における道路状遺構と地下室等を検出。 ・市谷邸（尾張藩徳川家上屋敷）西御殿の礎石建物と廃棄遺構等を検出。 ・明治時代以降の陸軍施設に伴う建物基礎と配管類を検出。
		古墳時代		土器	
		江戸時代	礎石跡・石組溝・石組遺構・地下室・採土坑・井戸・道路状遺構・埋桶・胞衣埋納遺構・溝状遺構・土坑・ピット	磁器・陶器・土器・瓦・土製品・ミニチュア製品・木製品・石製品・金属製品・銭貨・骨角製品・ガラス製品・自然遺物	
		近代	建物基礎・井戸・土管・鉄管・防空壕・埋甕・土坑・ピット	磁器・陶器・瓦・煉瓦・石製品・金属製品・銭貨・骨角製品・樹脂製品・ガラス製品	

要　約

市谷本村町遺跡は、17 世紀中頃から幕末まで尾張藩徳川家の市谷邸が所在した場所と、その東側の寺院などを含む遺跡である。今回の発掘調査は、市谷本村町遺跡の北西側、市谷邸西御殿の北半部にあたり、明和 5 年以前には旗本屋敷や火除地などがあった場所とされる。

調査の結果、江戸時代の礎石跡、井戸、道路状遺構、地下室や土取り穴などのほか、2,000 基を超える土坑やピットが検出された。遺構の時期は、①市谷邸西御殿以前の江戸時代の土地利用、②市谷邸西御殿に伴う土地利用、③近代の陸軍施設に伴う土地利用、という大きく三つの時期に分けられる。

①西御殿以前の遺構では、「御府内往還其外沿革図書」に描かれた尾張藩拝領前に存在した往還と考えられる道路状遺構が調査区全体で検出された。②市谷邸西御殿に伴う遺構は、約 700 基の礎石跡を中心とし、第二次西御殿期の建物配置が明確となった。③近代の陸軍に伴う遺構では、「東京鎮台砲兵営」・「陸軍中央幼年学校」に伴う建物基礎や配管類が検出された。

印刷仕様

表紙	レザック	215kg（四六判）
見返し	上質紙	135kg（四六判）
本文	マットコート紙	90kg（四六判）
写真図版	マットコート紙	90kg（四六判）
印刷方式	オフセット印刷	
使用インク	エコマーク商品認定基準に適合	
製版線数	150 線（カラー 175 線）	

本書は永久保存を考慮し、すべて中性紙を使用

新宿区
市谷本村町遺跡
－市ヶ谷警察総合庁舎の整備に伴う埋蔵文化財の調査（A 区～ C 区）－
東京都埋蔵文化財センター調査報告 第 377 集
（第二分冊）

2023 年 11 月 30 日　発行

編集・発行　公益財団法人東京都教育支援機構
東京都埋蔵文化財センター
東京都多摩市落合一丁目 14 番 2
TEL 042 － 374 － 8044

印刷　明誠企画株式会社
東京都武蔵村山市榎 2-25-5